北 区

栄 町 貝 塚

― 北区栄町付近石神井川流域貯留池工事に伴う埋蔵文化財調査 ―

2023・3

東京都埋蔵文化財センター

北 区

栄 町 貝 塚

― 北区栄町付近石神井川流域貯留池工事に伴う埋蔵文化財調査 ―

2023・3

東京都埋蔵文化財センター

栄町貝塚の発掘調査

栄町貝塚は北区栄町５番地に位置しています。調査は東京都下水道局による北区栄町付近石神井川流域貯留池工事に伴う埋蔵文化財調査として、令和元年度から４年度にかけて実施しました。

栄町貝塚は北区の南東側、JR 京浜東北線上中里駅の北西に位置しています（写真１）。遺跡の北側には石神井川が、北東側には隅田川、荒川が流れており、遺跡の背後である南側には標高 22 ～ 25m 前後の武蔵野台地が形成されていて、その崖線下には東京低地が展開しています。栄町貝塚は武蔵野台地の崖線下に形成されている東京低地西端に立地し、標高は約５.2m 前後です。

上中里駅北西側には飛鳥山微高地、南西側には田端微高地が形成されており、飛鳥山微高地には栄町貝塚、その南東約 500 mの田端微高地には国指定史跡である中里貝塚が立地しています。中里貝塚は縄文時代中期を中心とした、規模が非常に大きい低地の貝塚であることが知られています。栄町貝塚も中里貝塚と同じく低地に立地し、しかも中里貝塚と近接していて貝塚の形成も同様の時期であると想定されることから、その内容や関係が注目されます。このように栄町貝塚は中里貝塚同様、東京低地に形成された微高地上に立地する貝塚で、縄文時代の集落、いわゆる「ムラ」から離れた海岸近くに立地する、「ハマ貝塚」として位置づけられています。

発掘調査は、掘削深度や工程の関係で、調査対象範囲の北側を A 区、南側を B 区として分割し、B 区から発掘調査を開始しました（写真２・図 1）。

以下、栄町貝塚の調査の概要について述べていきたいと思います。

写真１　栄町貝塚の位置（国土地理院空撮写真を一部加工）

写真 2　栄町貝塚全景写真（1/400）

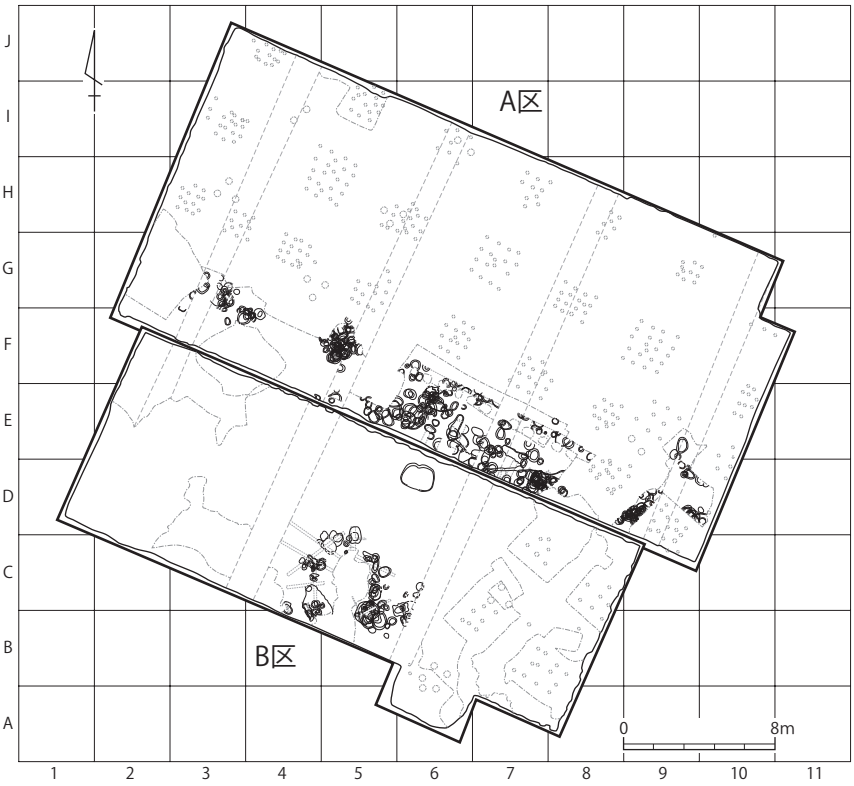


図 1　栄町貝塚全体図（1/400）

栄町貝塚の貝層

（１）堆積の様相

栄町貝塚の貝層は、貝層内から出土した土器や年代測定の結果から主に縄文時代中期を中心に形成されたものと考えられます。

貝層は地表面約 5.2m の高さから、約 1.4m 掘削した標高 3.8m 前後から検出され始めました。工程上、調査区北側を A 区、南側を B 区とし、調査は B 区から行いました。B 区南側ではほとんど貝は出土せず、B 区中央部付近から破砕した貝が層を成して検出され始めます。B 区中央部付近では貝層が標高 3.8m ～ 2.5m の高さまで認められ、貝層下に砂礫層が検出されています。この砂礫層下にはシルト質土が堆積しています。A 区・B 区の境目付近では貝層は約 1.8m の層厚を測ります。ここでは砂礫層は検出されず、貝層下はシルト質土が検出されています。A 区のやや南よりの場所では、標高 3.8m ～ 1.5m の高さまで貝層が形成されています（写真３）。すなわち調査区南側から北側に向かうにつれて貝層はだんだん層厚を増していく様相が伺えます。

A 区は調査区中央部付近から北側まで時計工場の地下施設が造られていたため、標高 1.5m 付近まで削平されていましたが、その下部からは貝層が検出されています。A 区北側の貝層は、標高 1.5m から最も深いところで 0.2m の深さまで堆積していました。地下施設が造られていなければ、栄町貝塚の貝層は最も厚い所で 3.6m 前後の層厚で堆積していた可能性があります。貝層の最下層以下はシルト質土が堆積し、その下層からは部分的に自然貝層由来の貝類遺体が堆積した層が検出され、その下層には下総層群上泉層（東京層）と言われる岩盤が検出されています。

写真 3　貝層堆積状況と作業風景（北東から）

（２）貝層の様相

貝層は最初、B 区では表土直下から破砕したマガキの貝層がシルト質土と混在して検出されていますが、A 区の南側部分では表土直下からヤマトシジミの貝層が検出され（写真４）、様相が異なっています。その下層は A・B 区共にシルト質土混じりのマガキの破砕貝層を挟んで、さらに下層からは、細かい破砕貝が堆積する層も発見されました（写真５）。また貝が平面的に堆積する層も検出され、この層は何らかの圧力がかかって形成された層と思われます（写真６）。この面的な堆積の形成要因として、人間の活動時の痕跡である可能性が示唆されます。その下層からはハマグリが広がる薄い層が部分的に検出されましたが（写真７）、すぐに破砕の少ないマガキの層に変化します。A 区南東部では局所的にアカニシが集中している箇所も検出されました。これらの層の下層からは、青黒く変色したマガキの破砕貝や、同様に変色した細かい破砕貝が認められるようになります。この変色した貝層を境に、そのさらに下層からはマガキ、ハマグリ、ヤマトシジミが混在した貝層が検出されています。A 区北側ではシルト質土の混在が顕著になり、マガキ中心の層やマガキ、変色したマガキ、ハマグリ、ヤマトシジミが混在した層など、ややランダムな堆積が伺えます。このような堆積状況の在り方は、当時の栄町貝塚の地理的環境とそれに伴う形成過程を示しているものと思われます。

写真４　ヤマトシジミ貝層検出状況（北から）

写真５　破砕貝平面検出状況（南から）

写真６　破砕貝堆積状況（西から）

写真７　ハマグリ検出状況（北東から）

栄町貝塚の遺構

（1）焚き火址（写真8・9）

焚き火址としたものは全部で 354 基検出されています。この焚き火址は標高約 3.5m 前後で検出され、灰や炭化物、焼けた破砕貝が 10 ～ 50mm 程度と薄く堆積している点が特徴です。これらの焚き火址にはいくつかのパターンがあり、若干掘り込んだかあるいは地面の凹みを利用して火床を作っているもの、火床に貝を意図的に敷いている様相が伺えるもの、掘り込んだ様子もなく直火で焚き火を行ったものなどが検出されています。焚き火終了後に暫く放置して、一旦シルト質土で埋没した後に、再度同じ場所または近い場所で焚き火を行った様相が伺える遺構が多く、無数の焚き火址が重なって検出されました。また灰や炭化物が遺構の外側に流れているものもありました。

写真 8　遺構掘削風景（南から）

写真 9　灰と炭化物が詰まった焚き火址（南西から）

（2）木杭（写真 10・11）

B 区北側、A 区南側の調査区のほぼ中央部付近から、木杭が合計 20 基検出されました。杭は B 区北側の砂礫層とシルト質土の境目付近に東西方向に分布しています。材質はクサギやイヌガヤ、クリ、オニグルミの木が用いられており、意図的に何らかの活動を目的として打ち込まれたものと思われます。想像を膨らませれば漁撈活動に関わる施設などが想定できますが、残念ながら具体的な証拠は見つかっておりません。杭は貝層やシルト質土の土圧により、北側に傾いているものが多く、貝層が形成される以前のものである可能性が高いと考えられます。

写真 10　木杭検出状況（西から）

写真 11　木杭検出状況接写（西から）

（３）竹杭（写真 12・13）

B 区の中央部付近で、砂礫層下のシルト質土から竹杭が合計 19 基検出されています。4、５本を１単位としてまとめてシルト質土に打ち込まれています（写真 12・13）。砂礫層の上から竹を打ち込むことは素材の硬度的に難しいと思われるため、貝層はもとより砂礫層が堆積する以前に意図的に打ち込まれたものと思われます。この竹杭の周辺に他の遺構や遺物等が検出されていないため、時期や詳細については不明ですが、年代測定では縄文時代前期末葉～中期前半という結果が出ています。

写真 12　竹杭平面検出状況（西から）

写真 13　竹杭断面検出状況（西から）

栄町貝塚の遺物

（１）土器

栄町貝塚から出土した土器は数量的には多くありません。貝層中からの出土も非常に少なく、土器が出土した層序は貝があまり含まれていない B 区南側のシルト質土や、A 区南側の表土～貝が検出され始める最上層付近、また B 区の貝層下に堆積する砂礫層直上のシルト質層や砂礫層上と A 区中央～北の貝層の最深部付近が中心です。

シルト質土や貝層中から出土した土器は中期前～中葉の勝坂式（写真 14）、中期後葉の加曽利 E 式が中心ですが、砂礫層直上付近からは中期初頭の五領ヶ台式が多く出土しています（写真 15）。A 区中央部北側の深い位置で堆積している貝層からは、前期後葉の諸磯 b 式の口縁部破片も出土しています（写真 16）。このことから、栄町貝塚のこの地に縄文人が立ち入ったのは縄文時代前期後葉からであることが理解されます。前期後葉の諸磯 b 式と中期初頭の五

写真 14　土器出土状況その 1（東から）

写真 15　土器出土状況その 2（東から）

領ヶ台式土器は近隣の中里遺跡から出土しており、また中期前葉～後葉の阿玉台式や加曽利E式は中里貝塚からも出土しているため、栄町貝塚との関係が伺えます。

出土した土器は全て破片です。しかし出土した土器の破片の中には割れた面に刻みを施す等の加工を行うことで、紐を掛けられるように細工をした痕跡のあるものが認められます。これは割れた土器を錘へとリサイクルしたもので、土器片錘と呼ばれる土製品です（写真 17）。土器片錘は一般的には網の重りとして用いられていたと考えられています。このことから、栄町貝塚における土器片錘の出土は、当該地で漁撈活動が行われていた証拠でもあります。

栄町貝塚で出土した土器片錘を見てみると、出土したものの多くは他の遺跡で発見される一般的な土器片錘よりも大型です。この特徴が何を示しているのかは明らかではありませんが、何らかの目的があるからこそ、大型の土器片錘が必要だったものと考えられます。

写真 16　土器出土状況その 3（東から）

写真 17　土器片錘出土状況（東から）

（２）人骨

人骨は B 区南側の砂礫層上から前頭骨の一部が（写真 18）、A 区貝層下のシルト質土中から左大腿骨が（写真 19）出土しています。墓などの遺構は栄町貝塚から発見されておらず、また前頭骨・大腿骨以外の骨も出土しなかったことから、流れ着いたものの可能性が高いと思われます。この二つの骨は出土した位置も離れており、人骨鑑定から別人と思われます。年代測定の結果からも、前頭骨は縄文時代中期初頭、大腿骨は縄文時代前期末葉～中期初頭と年代がやや異なるため、やはり別人のようです。

写真 18　前頭骨出土状況（北から）

写真 19　大腿骨出土状況（北から）

（３）貝類遺体

栄町貝塚を構成する貝はほとんどがマガキです。他にはハマグリ、ヤマトシジミ、アカニシ、アサリ、シオフキ、カガミガイ、ツメタガイ、マテガイ、ハイガイ、サルボウ、ウミニナ、ウネナシトマヤガイ、オオノガイ、サビシラトリ等が出土しています（写真 20）。微小貝ではカワザンショウガイ、ヨシダカワザンショウ？、キビガイ、ヒメベッコウマイマイ等が発見されています（写真 21）。貝の種類は栄町貝塚の食糧事情や環境を表しています。

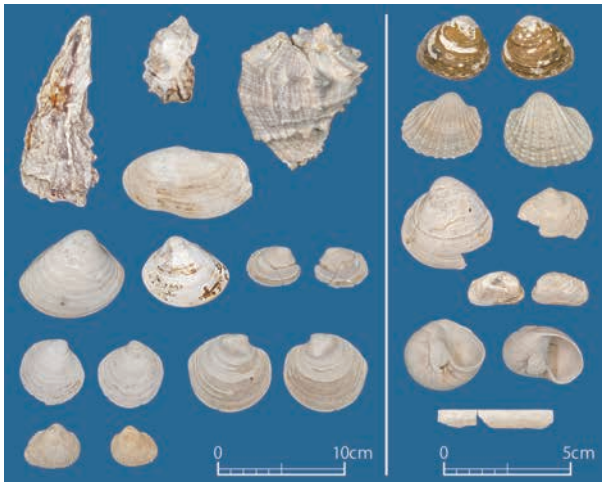


写真 20　出土した大型貝（1/6・1/3）

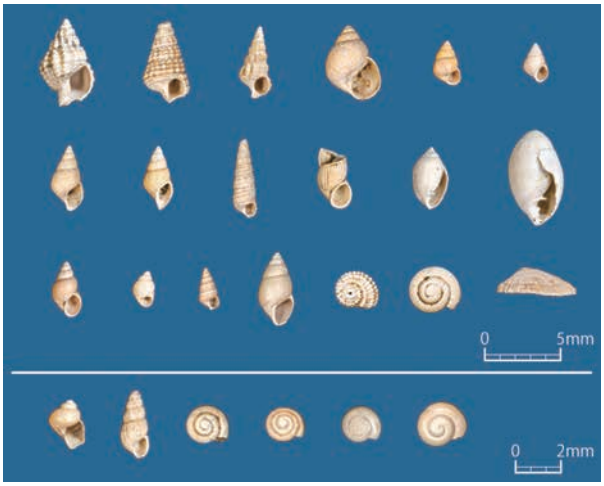


写真 21　出土した微小貝（× 2・× 3）

（４）脊椎動物遺体（写真 22）

栄町貝塚からはイノシシ、シカ、イヌ、鳥類、ネズミ、ヘビ等の獣骨、タイの歯やサメの歯、魚類の骨や鱗も僅かながら発見されました。イノシシやシカ等の大型脊椎動物の骨が出土している点は、狩猟に伴う廃棄遺体の可能性が高いものと思われます。しかしイノシシやシカの一部の骨が発見されたにすぎず、人骨と同様、他の場所から流れ着いたもののようです。

写真 22　出土した獣骨（1/4）

栄町貝塚の自然科学分析

栄町貝塚では発掘調査で採取した層序ごとの貝類のコラムサンプルは計量、計測し、遺構内や貝層内に混在していた炭化物、大形材・木杭・竹杭などのサンプルは放射性炭素年代測定を行いました。またコラムサンプルとは別に、柱状に採取した土層サンプルについては、そこに含まれている珪藻・プラントオパール・花粉分析を行い、栄町貝塚の形成時期や形成過程、当時を取り巻いていた環境や景観復元を捉える試みを行っています。

写真 23　貝層コラムサンプル採取状況

貝類のコラムサンプルはまず乾燥させて乾燥重量を計量し（写真 24）、次に 5㎜・2.5㎜・1㎜メッシュのザルを用いて大きさを選別しながら水洗いし（写真 25）、洗浄後に大きさごとに乾燥させました（写真 26）。その後貝種の分類・計量を行い、個々の貝種の個数・貝殻の左右の個数・大きさの計測というプロセスを経て（写真 27）、それらのデータを作成しています。貝種は圧倒的にマガキが多く、他にはハマグリやアカニシなどのいわば肉量の多い貝種も含まれていました。層序ごとの貝種の変化や貝種ごとのサイズの変化は、食の嗜好の変化というよりも採取可能な季節を示しているものや、栄町貝塚を取り巻く環境に大きく関連していたものと思われます。非常に小型の貝類のため食用ではありませんが、写真 21 の微小貝は、陸生・干潟・河口・潮上帯・潮下帯等、各々の生息域が分かれているので、栄町貝塚がどのような環境だったのかを捉えていく上で非常に重要な貝類です。このよ

写真 24　貝層コラムサンプル計量状況

写真 25　貝層コラムサンプル水洗選別状況

写真 26　貝層コラムサンプル乾燥状況

写真 27　貝層コラムサンプル分類・計測状況

うに貝類のサンプルを細かく分析することで、栄町貝塚の貝類自体の生息環境だけでなく、栄町貝塚そのものの環境を捉える試みを行っています。

放射性炭素年代測定では、木杭や竹杭は縄文時代前期末葉～中期前半、貝層中から出土した炭化物は縄文時代中期前半～後半、A 区南側で検出されたヤマトシジミの貝層付近における遺構内の炭化物は、縄文時代中期後半～後期初頭という結果でした。出土した土器型式・層序の様相と年代測定結果

はほぼ一致しています。

珪藻分析からは、砂礫層やシルト質土が中心の貝層下の層序が、沿岸域～内湾の環境であったことが明らかとなりました。そして汽水性種の珪藻で海水泥質干潟の指標種になるものも検出されていることから、干潟が形成されていた可能性があります。また、ある層序を境にして貝層から海水・汽水性種の珪藻が検出されるようになることから、恐らく陸地～干潟から海中に貝を廃棄していた可能性が示唆されます。珪藻分析からは貝層の形成と干潟環境、地形との関係が注目されます。貝層中の植物珪酸体分析（プラントオパール分析）からはタケ亜科やヨシ属、イネ科起源の棒状珪酸体が僅かながら検出されています。これはヨシ等の植物が干潟付近に、陸地部分には草地が存在していたことが伺えます。花粉分析からは、クリ属やイネ科の花粉が僅かに発見されました。これらの花粉も栄町貝塚の背後に繁っていた木々の花粉と考えられます。

このように発掘調査から得られた情報と自然科学分析を併せると、栄町貝塚では干潟やその近隣で採取したマガキやハマグリを、ヨシやタケが生える干潟の後背地で焚き火を利用して加工し、それらの殻を干潟ないしは海中に廃棄したという風景、景観が想定されます。

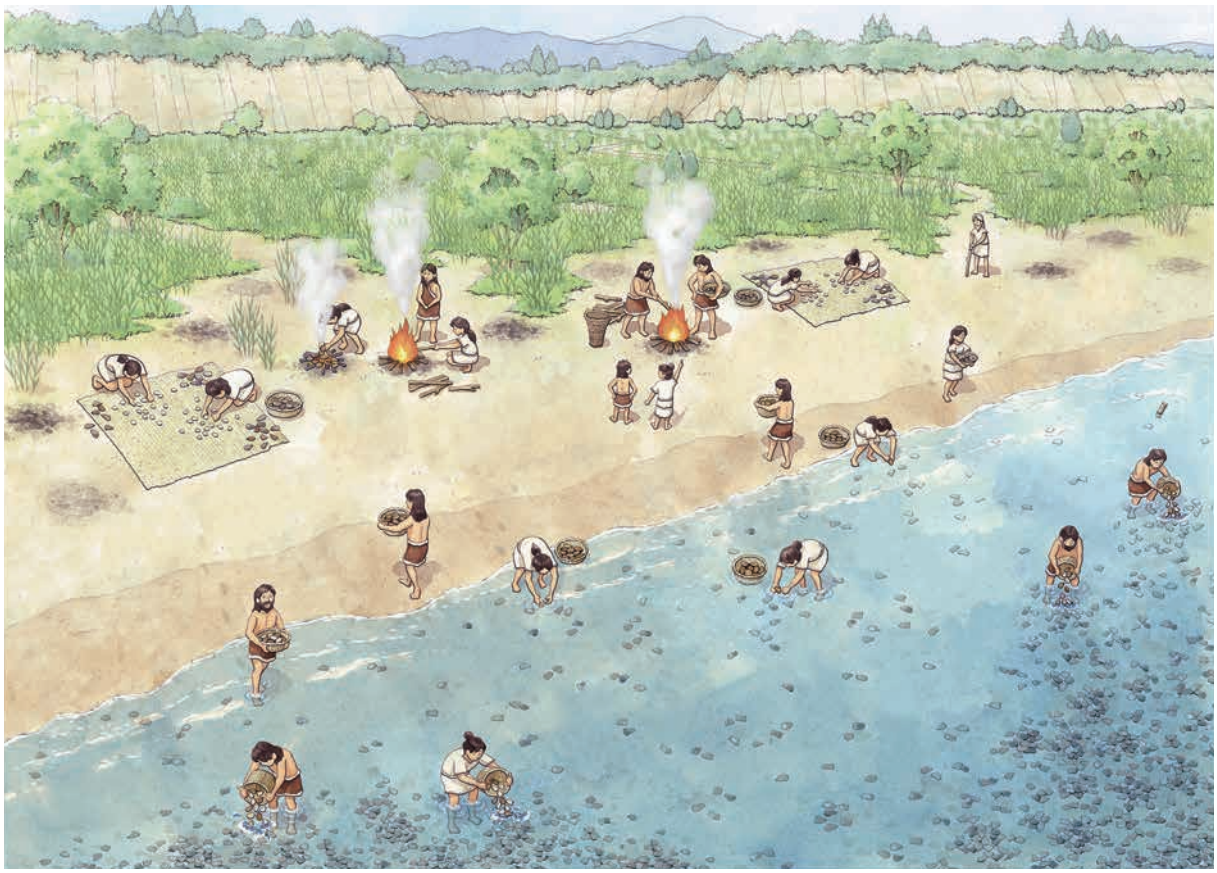


図２　栄町貝塚景観イメージ図

Summary

Located at 5, Sakae-cho, Kita Ward, Tokyo, the Sakae-cho Kitchen Middens (Kitchen Mounds) were excavated by the Tokyo Metropolitan Archaeological Center over an area of 955 square meters from March 2020 to December 2021. The excavation was conducted before works to be conducted on the reservoir in the waters of the Shakujii River near Sakae-cho, Kita Ward, Tokyo, by the Tokyo Metropolitan Government Bureau of Sewerage.

The Sakae-cho Kitchen Middens are situated on a slight highland next to Mt. Asuka, commanding the Tokyo lowland, below the cliff line at the east end of the Musashino Plateau, favored with the Sumida River and the Arakawa River to the east of the ruins. Located to the southwest are the Nakazato Kitchen Middens, a famous national historic site. The present survey unearthed some kitchen mounds and their related relics and remains from the Jomon period.

The shells were found at depths of 1.3 to 1.5 meters and lower. The shell layer, consisting mainly of Pacific oysters, along with some clams and Japanese basket clams, spreads down to the greater depths while inclined to the north. The area to the north of the investigated zone was disturbed down to a depth of about 3.5 meters; however, the stratum under it revealed a shell layer, which spread down to a depth of about 5 meters from ground level.

As for remains, the investigation revealed 354 ruined structures that are presumed to have been the traces of bonfires consisting of a thin accumulation of ashes, carbides, and burned crushed shell pieces.

Multiple wooden piles were excavated from the bottom portion of the shell layer. A group of several bamboo stakes that appeared to have been driven into the ground were unearthed from the lower portion of the gravel layer. The uses and functions of the wooden and bamboo pickets are unknown.

Relics that were found in the survey included broken pieces of earthenware that were unearthed from the shell layer and below the layer from the early to the middle Jomon period. Among the pieces of earthenware revealed were crushed pieces used as earthenware weights. This suggests that fishing activities were performed at the Sakae-cho Kitchen Middens. Part of a human skull and thighbone were also discovered. Other findings included small quantities of deer and boar bones.

Thus, the Sakae-cho Kitchen Middens are very important mounds dating back to the Jomon period. We believe that the excavation has yielded valuable findings that will be useful in exploring the relationship between the Sakae-cho Kitchen Middens and the Nakazato Kitchen Middens, as well as their occupational activities and regional history during the Jomon period.

序　言

北区栄町５番地に所在する栄町貝塚は、武蔵野台地北東端の崖線下に展開する飛鳥山微高地上、貝塚の東側には隅田川、荒川が流れる低地に立地しています。

栄町貝塚の発見は近年ですが、貝塚の近隣には国指定史跡である中里貝塚が所在しています。

今回の調査は東京都下水道局が計画している北区栄町付近石神井川流域貯留池工事に伴う埋蔵文化財調査として実施し、大規模な縄文時代の貝塚及び多くの焚き火址等の遺構が検出されました。

今回の発掘成果によって、栄町貝塚の性格やその形成過程、貝塚内の遺構・遺物の分布を明らかにすることができました。

この発掘調査報告書が、多くの人々に活用され、地域の歴史を解明する資料となることを期待し、埋蔵文化財に対する都民の皆様の関心とご理解を深めていただくことができれば幸いです。

本報告書の刊行に当たり、ご協力とご指導をいただきました東京都下水道局、東京都教育委員会、北区教育委員会に厚く御礼を申し上げるとともに、ご教示いただきました研究者の皆様、地域住民の皆様のご理解とご協力に心より感謝を申し上げます。

令和５年３月

公益財団法人　東京都スポーツ文化事業団
理事長　　榎本　雅人

例　言

1　本書は令和元年～令和４年度 北区栄町付近石神井川流域貯留池工事に伴う、北区栄町貝塚（北区№51 遺跡）の発掘調査報告書（東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 375 集）である。

2　発掘調査事業は東京都下水道局の委託を受け、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団 東京都埋蔵文化財センターが実施した。

3　本調査に先立つ試掘調査は、平成 30 年７月 19 日～８月 23 日にかけて、北区教育委員会の立会の下、東京航業株式会社によって実施された。

4　遺跡所在地：東京都北区栄町５番地

5　調査面積：955㎡

6　調査及び一次整理期間：令和２年３月16日～令和４年２月28日
　　二次整理期間：令和３年11月 1 日～令和５年１月31日

7　本事業における事業者との事業調整などは東京都教育庁地域教育支援部管理課が担当･指導した。
　埋蔵文化財担当統括課長代理 伊藤 敏行（～令和２年３月31日）
　課長代理（埋蔵文化財担当） 鈴木 徳子（令和２年４月１日～令和５年１月31日）
　埋蔵文化財担当　尾田 識好（～令和２年３月31日）
　野口　舞（令和２年４月１日～令和３年３月31日、令和４年４月１日～令和５年１月31日）
　山田 和史（令和３年４月１日～令和４年３月31日）

8　調査担当者
　調査課課長　西澤　明（令和元年７月１日～令和５年１月31日）
　主任調査研究員　鈴木 啓介（令和元年７月１日～令和５年１月31日）
　調査研究員　中島 一成（令和２年３月１日～令和４年７月19日、令和４年９月20日～令和５年１月31日）
　調査協力　株式会社ジオダイナミック　生田建設株式会社

9　本報告書の執筆はⅠ－１を牛山英昭・鈴木啓介、Ⅰ－２・３、Ⅱ－２、Ⅲ、Ⅳ－１、Ⅵ－１、Ⅵ－２－１、Ⅵ－３を鈴木 啓介、Ⅱ－１・３、Ⅳ－１－２、Ⅳ－２～４、Ⅵ－２－２を中島 一成、Ⅴ－１をパリノサーヴェイ株式会社、Ⅴ－２を鈴木 伸哉、Ⅴ－３・５を植月 学、Ⅴ－４を黒住 耐二、Ⅴ－６を梶ケ山 真里、Ⅴ－７を米田 穣、Ⅴ－８を株式会社パレオ･ラボ、Ⅴ－９を柴田 徹が行った。編集は鈴木・中島が行った。

10　出土木製品の保存処理は、長佐古 真也（東京都埋蔵文化財センター）が行った。

11　樹種同定及び分析は、鈴木 伸哉（東京都埋蔵文化財センター）が行った。

12　本調査に係る現地指導及び分析委託は、以下のとおりである。
（1）分析委託
　栄町貝塚出土木材等の放射性年代測定：株式会社 パレオ・ラボ
　栄町貝塚の珪藻・プラントオパール・花粉分析及び種子同定分析：パリノサーヴェイ株式会社

（2）現地指導

1）　栄町貝塚出土の動物遺存体：植月 学（帝京大学文化財研究所准教授）

2）　栄町貝塚の微小貝分析：黒住 耐二（千葉県立中央博物館）

3）　製塩痕跡の分析：阿部 芳郎（明治大学教授）

4）　栄町貝塚の古環境復元：江口 誠一（日本大学教授）

5）　出土人骨の分析：梶ケ山 真里（国立科学博物館）

6）　出土人骨のコラーゲン分析：米田 穣（東京大学総合研究博物館教授）

7）　石材利用及び砂礫層の石質同定：柴田 徹（有限会社考古石材研究所）

13　出土遺物及び発掘調査・整理に関わる図面・写真等記録類は、北区教育委員会で保管している。

14　本書で使用した地図類・写真等の出典については、各挿図・図版中に表記している。

15　本書に先立ち、本遺跡の概要については以下において報告されているが、本書の刊行をもって正式報告とする。

・「24 北区栄町地区」『東京都埋蔵文化財センター年報』40　令和 2（2020）年度　29 頁（2020 年 9 月 30 日刊行）

・「遺跡だより 127　北区栄町貝塚」『多摩のよこやま』123　3 頁（2020 年 12 月 28 日刊行）

・「誌上発表 5 北区栄町貝塚」『遺跡発掘調査発表会 2020（令和 2 年度）発表要旨』10 頁（2021 年 3 月 20 日刊行）

・「18 北区栄町地区」『東京都埋蔵文化財センター年報』41　令和 3（2021）年度　21 頁（2021 年 9 月 30 日刊行）

・「2 北区栄町貝塚」『遺跡発掘調査発表会 2021（令和 3 年度）発表要旨』3 頁（2022 年 3 月 16 日刊行）

16　発掘調査及び整理・報告書作成作業に関して、下記の方々と機関にご指導ご協力を賜った。記して深謝いたします。（順不同・敬称略）

阿部 芳郎・石川 日出志・植月 学・牛山 英昭・江口 誠一・梶ケ山 真里・黒住 耐二・高坂 勇佑・斎藤 あや・柴田 徹・鈴木 直人・丹治 剛・宅間 清公・谷川 章雄・中島 広顕・古間 果那子・安武 由利子・米田 穣

東京都下水道局　東京都教育庁　北区教育委員会事務局教育振興部飛鳥山博物館事業係　北区まちづくり部住宅課　東京消防庁防災部水利課　滝野川消防署警防課

凡　例

（1）本書で使用した標高は、T.P.（東京湾平均海面 : Tokyo Peil）である。単位はメートル表記である。

（2）座標は世界測地系（測地成果 2011）平面直角座標Ⅸ系、方位記号は真北を示す。

（3）使用グリッドについては、北区の公共座標（世界測地系）を使用し、４m を単位として設定している。また必要に応じてその中を細分した。遺跡の座標については以下のとおりである

A １杭　栄町貝塚０起点座標

世界測地系 平面直角座標Ⅸ系 X= － 27924.000、Y= － 7984.000

（4）挿図の縮尺については図中に示したが、原則として以下のとおりである。

1/30：遺構個別図（焚き火址・木杭・竹杭・溝・集石・ピット）

1/50：遺構配置図

1/80：層序全体図

1/40：層序詳細図

1/150：全体図（遺構分布図）

（5）土層の土色や含有物の面積割合、土器の色調等の表記には、農林水産省農林水産技術会議事務局監修『新版標準土色帖』（日本色彩研究所発行 1988 年）を用い、土色・マンセルノーションで示している。

（6）出土遺物の注記記号は「SKE-1- ○○○」である。

（7）調査時における遺構平面図の実測、遺物の取り上げはトータルステーションシステムにより行った。

・光波測距器：トプコン トータルステーション ES

・データコレクター：トプコン FC250

・使用ソフト：遺構くん CUBIC ver.16.05（株式会社 CUBIC）

（8）遺物の縮尺は各挿図中にスケールバーとして示したが、原則、以下のとおりである。

1/3：土器・土器片錘実測図・拓影図

1/3：石器実測図

1/6：大型石器（台石）実測図

1/6：木製品実測図

1/8：大形木製品

（9）スクリーントーン・記号

【遺構】

炭化物層　　灰層

【遺物】

石器磨面　　木杭炭化面

【遺物の水平・垂直分布】

種別：　●土器　　＋土器片錘　　◇石器・礫　　△木材　　☆骨　　◆種子

目　次

栄町貝塚の発掘調査
SUMMARY
序言
例言・凡例
Ⅰ　発掘調査の概要
1　調査に至る経緯 …… 1
2　調査の方法 …… 2
1）発掘調査 …… 2
2）整理調査 …… 4
3　調査の経過 …… 6
Ⅱ　遺跡の位置と環境
1　地理的環境 …… 10
2　歴史的環境 …… 10
3　周辺の遺跡 …… 17
Ⅲ　層序
1）基本層序 …… 23
2）貝層堆積状況 …… 28
3）貝層と貝層下の地形 …… 47
Ⅳ　遺構と遺物
1　縄文時代 …… 66
1面 …… 67
1）遺構 …… 67
A　焚き火址 …… 67
B　灰層廃土遺構 …… 73
C　灰層集中範囲 …… 73
D　ピット …… 73
2）遺物 …… 99
A　土器 …… 99
B　土製品 …… 99
C　石器 …… 99
D　骨類 …… 100
2面 …… 104
1）遺物 …… 104
A　土器 …… 104

B　土製品 …… 104
3面 …… 109
1）遺構 …… 109
A　焚き火址 …… 109
2）遺物 …… 119
A　土器 …… 119
B　土製品 …… 120
C　石器 …… 120
4面 …… 127
1）遺構 …… 127
A　集石 …… 127
B　杭 …… 127
C　溝状遺構 …… 135
2）遺物 …… 144
A　土器 …… 144
B　土製品 …… 144
C　石器 …… 144
D　木製品 …… 148
E　骨類 …… 156
F　植物遺体 …… 158
一括出土遺物 …… 159
2　古代 …… 165
1）遺物 …… 165
A　須恵器 …… 165
3　中世 …… 165
1）遺物 …… 165
A　山茶碗 …… 165
4　近世以降 …… 166
1）遺物 …… 166
A　磁器・陶器・炻器 …… 166
Ⅴ　自然科学分析
1　栄町貝塚の珪藻・植物珪酸体・花粉分析及び種子同定 …… 169
2　栄町貝塚から出土した縄文時代中期の杭の樹種 …… 195
3　栄町貝塚の貝類遺体 …… 201
4　栄町貝塚の堆積物から抽出された微小貝類遺体 …… 271
5　栄町貝塚の脊椎動物遺体（含：カニ類） …… 281
6　栄町貝塚出土の人骨 …… 291

7　栄町貝塚出土人骨ならびに土器付着物の同位体分析 …… 293
8　放射性炭素年代測定 …… 301
9　栄町貝塚で確認されたB区砂礫層（38層）礫・A区Sec.1（A1トレンチ）37層採取礫および47号遺構内礫の岩石種組成とその起源について …… 310
Ⅵ　調査の成果と課題
1　層序の様相 …… 315
2　検出された遺構と遺物 …… 317
1）　遺構 …… 317
A　焚き火址 …… 317
B　木杭・竹杭 …… 320
2）　遺物 …… 320
A　出土土器の様相 …… 320
B　出土土製品 …… 322
3　栄町貝塚の形成過程 …… 325
参考文献 …… 329
写真図版 …… 333
報告書抄録 …… 453

巻頭写真目次

写真1　栄町貝塚の位置…… i
写真2　栄町貝塚全景写真（1/400）…… ii
写真3　貝層堆積状況と作業風景（北東から）…… iii
写真4　ヤマトシジミ貝層検出状況（北から）…… iv
写真5　破砕貝平面検出状況（南から）…… iv
写真6　破砕貝堆積状況（西から）…… iv
写真7　ハマグリ検出状況（北東から）…… iv
写真8　遺構掘削風景（南から）…… v
写真9　灰と炭化物が詰まった焚き火址（南西から）…… v
写真10　木杭検出状況（西から）…… v
写真11　木杭検出状況接写（西から）…… v
写真12　竹杭平面検出状況（西から）…… vi
写真13　竹杭断面検出状況（西から）…… vi
写真14　土器出土状況その1（東から）…… vi
写真15　土器出土状況その2（東から）…… vi
写真16　土器出土状況その3（東から）…… vii
写真17　土器片錘出土状況（東から）…… vii
写真18　前頭骨出土状況（北から）…… vii
写真19　大腿骨出土状況（北から）…… vii
写真20　出土した大型貝（1/6・1/3）…… viii
写真21　出土した微小貝（×2・×3）…… viii
写真22　出土した獣骨（1/4）…… viii
写真23　貝層コラムサンプル採取状況 …… viii
写真24　貝層コラムサンプル計量状況 …… ix
写真25　貝層コラムサンプル水洗選別状況 …… ix
写真26　貝層コラムサンプル乾燥状況 …… ix
写真27　貝層コラムサンプル分類・計測状況 …… ix
図1　栄町貝塚全体図（1/400）…… ii
図2　栄町貝塚景観イメージ図…… x

挿図目次

第1図　遺跡位置図(1/10,000) …… 1
第2図　グリッド・調査区割設定図(1/300) …… 3
第3図　武蔵野台地標高図・断面図 …… 11
第4図　武蔵野台地地形区分 …… 12
第5図　武蔵野台地地形区分断面図 …… 12
第6図　御府内場末往還其外沿革図書西ケ原 …… 13

第７図　武州豊島郡上中里村絵図面 …… 14
第８図　武州豊嶋郡瀧野川村・西ヶ原村
・上中里村近傍絵図 …… 15
第９図　東京三千分一図王子・西ヶ原(1/4,000) …… 17
第10図　周辺の遺跡(1/40,000) …… 19
第11図　基本層序模式図 …… 23
第12図　Sec.1~9位置図(1/150) …… 33
第13図　Sec.1・Sec.2土層堆積状況(1/80) …… 34
第14図　Sec.3・Sec.4土層堆積状況(1/80) …… 35
第15図　Sec.5・Sec.6・Sec.7土層堆積状況(1/80) …… 36
第16図　Sec.8・Sec.9土層堆積状況(1/80) …… 37
第17図　Sec.1土層堆積状況(1/40)…… 38
第18図　Sec.2(1)土層堆積状況(1/40) …… 39
第19図　Sec.2(2)土層堆積状況(1/40) …… 40
第20図　Sec.3(1)土層堆積状況(1/40) …… 41
第21図　Sec.3(2)土層堆積状況(1/40) …… 42
第22図　Sec.4(1)土層堆積状況(1/40) …… 43
第23図　Sec.4(2)・Sec.5土層堆積状況(1/40) …… 44
第24図　Sec.6・Sec.7土層堆積状況(1/40) …… 45
第25図　Sec.8・Sec.9土層堆積状況(1/40) …… 46
第26図　層序柱状図位置図(1/400) …… 47
第27図　層序柱状図(1/80) …… 48
第28図　焚き火址形態模式図 …… 66
第29図　1面 全体図・遺構位置割付図(1/150) …… 75
第30図　1面 遺構位置割付拡大図(1)(1/50) …… 77
第31図　1面 遺構位置割付拡大図(2)(1/50) …… 78
第32図　1面焚き火址(1)(1/30)…… 79
第33図　1面焚き火址(2)(1/30)…… 80
第34図　1面焚き火址(3)(1/30) …… 81
第35図　1面焚き火址(4)(1/30)…… 82
第36図　1面焚き火址(5)(1/30) …… 83
第37図　1面焚き火址(6)(1/30)…… 84
第38図　1面焚き火址(7)(1/30)…… 85
第39図　1面焚き火址(8)(1/30)…… 86
第40図　1面焚き火址(9)(1/30)…… 87
第41図　1面灰層廃土遺構(1/30) …… 88
第42図　1面灰層集中遺構・ピット(1/30) …… 89
第43図　1面出土遺物(1/3・1/2)……100
第44図　1面出土遺物分布図(1/150)……101
第45図　2面出土遺物(1/3) ……104
第46図　2面全景写真(1/150)……105
第47図　2面全体図(1/150)……106
第48図　2面出土遺物分布図(1/150)……107
第49図　3面全景写真(1/150)……111
第50図　3面 全体図・遺構位置割付図(1/150) ……112
第51図　3面 遺構位置割付拡大図(1/50) ……113
第52図　3面焚き火址(1)(1/30)……114
第53図　3面焚き火址(2)(1/30)……115
第54図　3面焚き火址(3)(1/30)……116
第55図　3面出土遺物分布図(1/150) ……121
第56図　3面出土遺物(1)(1/3) ……123
第57図　3面出土遺物(2)(1/2・1/3・1/4) ……124
第58図　4面全景写真(1/150)……133
第59図　4面 遺構全体図・遺構位置割付図(1/150) ……134
第60図　4面47号遺構(1/40) ……135
第61図　木杭・竹杭(1)(1/30) ……136
第62図　木杭・竹杭(2)(1/30) ……137
第63図　木杭・竹杭(3)(1/30) ……138
第64図　4面324号遺構(1/60・1/40)……139
第65図　4面出土遺物分布図(1)(1/150) ……145
第66図　4面出土遺物分布図(2)(1/150) ……146
第67図　4面出土遺物(1)(1/3) ……147
第68図　4面出土遺物(2)(1/3) ……148
第69図　4面出土遺物(3)(1/6) ……151
第70図　4面出土遺物(4)(1/6) ……152
第71図　4面出土遺物(5)(1/6) ……153
第72図　4面出土遺物(6)(1/6) ……154
第73図　4面出土遺物(7)(1/6) ……155
第74図　4面前頭骨出土状況……156
第75図　4面左大腿骨出土状況……156
第76図　動物骨出土状況 ……156
第77図　大形材出土状況平面図(1/50) ……157
第78図　4面出土種子（大型遺存体）……158
第79図　一括出土遺物(1/3) ……159
第80図　須恵器胴部破片(1/3) ……165
第81図　山茶碗口縁部破片(1/3) ……165
第82図　近世以降の出土遺物(1/3) ……167
第83図　土壌サンプル採取位置図・断面図……171
第84図　珪藻化石群集 ……179
第85図　花粉化石群集 ……181
第86図　珪藻化石・植物珪酸体……192
第87図　花粉化石 ……193
第88図　種実遺体 ……194
第89図　栄町貝塚から出土した木材の顕微鏡写真(1) …198
第90図　栄町貝塚から出土した木材の顕微鏡写真(2) …199
第91図　栄町貝塚から出土した木材の顕微鏡写真(3) …200
第92図　栄町貝塚コラムサンプル採取位置平面図 ……206
第93図　栄町貝塚コラムサンプル採取位置断面図 ……207
第94図　貝類組成変化（5.0㎜） ……213
第95図　貝類組成変化（5.0㎜）層序単位 ……214

第96図　貝類組成変化（5.0㎜）コラム単位 ……215
第97図　貝類組成変化（5.0㎜）コラム単位 ……216
第98図　貝類組成変化（2.5 ＋ 1.0㎜） ……217
第99図　貝類組成変化（2.5 ＋ 1.0㎜）層序単位 ……218
第100図　貝類組成変化（2.5 ＋ 1.0㎜）コラム単位 …219
第101図　貝類組成変化（2.5 ＋ 1.0㎜）コラム単位 …220
第102図　マガキ殻高（1）……255
第103図　マガキ殻高（2）……256
第104図　ヤマトシジミ殻長（1）……257
第105図　ヤマトシジミ殻長（2）……258
第106図　ハマグリ殻長推定 ……259
第107図　ハマグリ殻長（1）層序別 ……260
第108図　ハマグリ殻長（2）層序別合計、
　　ハマグリ・ブロック……261
第109図　栄町貝塚における特徴的な微小貝類等の標高別
　　確認状況（概略） ……274
第110図　出土貝類（1） ……277
第111図　出土貝類（2） ……278
第112図　出土貝類（3） ……279
第113図　出土貝類（4） ……280
第114図　カニ類・魚類（1） ……287
第115図　魚類（2） ……288
第116図　魚類（3）・爬虫類・鳥類 ……289
第117図　哺乳類……290
第118図　大腿骨・前頭骨 ……291
第119図　古人骨コラーゲンの炭素・窒素同位体比と各食料
　　資源から期待される範囲 ……297
第120図　土器付着炭化物の炭素・窒素同位体比 ……297
第121図　土器付着炭化物の炭素同位体比とC/N比 ……298
第122図　土器付着炭化物の窒素同位体比とN/C比 ……298
第123図　暦年較正結果（1） ……307
第124図　暦年較正結果（2） ……308
第125図　暦年較正結果（3） ……309
第126図　栄町貝塚内砂礫層・遺構礫および河川・上野台地
　　礫層構成礫の岩石種 ……313
第127図　土器片錘相関図……323

表　目　次

第１表　発掘調査工程表 …… 4
第２表　整理調査工程表 …… 5
第３表　北区栄町貝塚周辺の遺跡（1） …… 21
第４表　北区栄町貝塚周辺の遺跡（2） …… 22
第５表　Sec.1（A1トレンチ）土層説明一覧表（1） …… 49
第６表　Sec.1（A1トレンチ）土層説明一覧表（2） …… 50
第７表　Sec.2（B1トレンチ）土層説明一覧表（1） …… 51
第８表　Sec.2（B1トレンチ）土層説明一覧表（2） …… 52
第９表　Sec.2（A2トレンチ）土層説明一覧表（1） …… 52
第10表　Sec.2（A2トレンチ）土層説明一覧表（2） …… 53
第11表　Sec.2（A2トレンチ）土層説明一覧表（3） …… 54
第12表　Sec.3（B3トレンチ）土層説明一覧表（1） …… 54
第13表　Sec.3（B3トレンチ）土層説明一覧表（2） …… 55
第14表　Sec.3（A4トレンチ）土層説明一覧表（1） …… 55
第15表　Sec.3（A4トレンチ）土層説明一覧表（2） …… 56
第16表　Sec.4（B4トレンチ）土層説明一覧表…… 56
第17表　Sec.4（A5トレンチ）土層説明一覧表（1） …… 56
第18表　Sec.4（A5トレンチ）土層説明一覧表（2） …… 57
第19表　Sec.4（A5トレンチ）土層説明一覧表（3） …… 58
第20表　Sec.5（A5南北セクション）土層説明一覧表 …… 58
第21表　Sec.6（A1東西セクション）土層説明一覧表（1） …… 58
第22表　Sec.6（A1東西セクション）土層説明一覧表（2） …… 59
第23表　Sec.7（A1～A3東西セクション）土層説明一覧表（1）…… 59

第24表　Sec.7(A1～A3東西セクション)土層説明一覧表(2)…… 60
第25表　Sec.7(A1～A3東西セクション)土層説明一覧表(3)…… 61
第26表　Sec.7(A1～A3東西セクション)土層説明一覧表(4)…… 62
第27表　Sec.7(A1～A3東西セクション)土層説明一覧表(5)…… 63
第28表　Sec.8(A3東西セクション)土層説明一覧表 …… 63
第29表　Sec.8(A4・A5東西セクション)土層説明一覧表(1) …… 64
第30表　Sec.8(A4・A5東西セクション)土層説明一覧表(2) …… 65
第31表　Sec.9(B1東西トレンチ)土層説明一覧表…… 65
第32表　Sec.9(B2・B3東西トレンチ)土層説明一覧表 …… 65
第33表　1面遺構観察・土層説明一覧表(1) …… 89
第34表　1面遺構観察・土層説明一覧表(2) …… 90
第35表　1面遺構観察・土層説明一覧表(3) …… 91
第36表　1面遺構観察・土層説明一覧表(4) …… 92
第37表　1面遺構観察・土層説明一覧表(5) …… 93
第38表　1面遺構観察・土層説明一覧表(6) …… 94
第39表　1面遺構観察・土層説明一覧表(7) …… 95
第40表　1面遺構観察・土層説明一覧表(8) …… 96
第41表　1面遺構観察・土層説明一覧表(9) …… 97
第42表　1面灰層廃土遺構観察・土層説明一覧表(1) …… 97
第43表　1面灰層廃土遺構観察・土層説明一覧表(2) …… 98
第44表　1面灰層集中範囲観察・土層説明一覧表 …… 98
第45表　1面ピット観察・土層説明一覧表 …… 98
第46表　1面出土土器観察表…… 103
第47表　1面出土土製品観察表…… 103
第48表　1面出土石器観察表…… 103
第49表　1面出土動物骨観察表…… 103
第50表　2面出土土器観察表…… 104
第51表　2面出土土製品観察表…… 104
第52表　3面焚き火址遺構観察・土層説明一覧表(1) …… 117
第53表　3面焚き火址遺構観察・土層説明一覧表(2) …… 118
第54表　3面出土土器観察表(1) …… 125
第55表　3面出土土器観察表(2) …… 126
第56表　3面出土土製品観察表…… 126
第57表　3面出土石器観察表…… 126
第58表　4面47号遺構観察表 …… 141
第59表　木杭・竹杭観察・土層説明一覧表(1) …… 141
第60表　木杭・竹杭観察・土層説明一覧表(2) …… 142
第61表　木杭・竹杭観察・土層説明一覧表(3) …… 143
第62表　324号遺構観察・土層説明一覧表 …… 143
第63表　4面出土土器観察表(1) …… 159
第64表　4面出土土器観察表(2) …… 160
第65表　4面出土土製品観察表…… 160
第66表　4面出土石器観察表…… 160
第67表　4面出土木杭・竹杭観察表(1) …… 161
第68表　4面出土木杭・竹杭観察表(2) …… 162

第69表　4面出土大形材観察表…… 162
第70表　4面出土人骨・動物骨観察表 …… 162
第71表　4面出土種子観察表(1) …… 162
第72表　4面出土種子観察表(2) …… 163
第73表　4面出土種子観察表(3) …… 164
第74表　一括出土遺物観察表 …… 164
第75表　一括出土動物骨観察表 …… 164
第76表　須恵器観察表 …… 165
第77表　山茶碗観察表 …… 165
第78表　近世以降の出土遺物観察表 …… 168
第79表　堆積物資料一覧 …… 170
第80表　珪藻分析結果(1)…… 177
第81表　珪藻分析結果(2) …… 178
第82表　花粉分析結果 …… 180
第83表　植物珪酸体分析結果 …… 181
第84表　種実同定結果(1)…… 182
第85表　種実同定結果(2)…… 183
第86表　栄町貝塚から出土した木材の樹種 …… 197
第87表　栄町貝塚出土貝類遺体の分類リストと生息場所（1） …… 208
第88表　栄町貝塚出土貝類遺体の分類リストと生息場所（2） …… 209
第89表　栄町貝塚出土貝類遺体の生息域による区分（1） …… 210
第90表　栄町貝塚出土貝類遺体の生息域による区分（2） …… 211
第91表　層序ごとの属性と区分 …… 212
第92表　貝類群別集計（5.0㎜）層序単位 …… 213
第93表　貝類群別集計（5.0㎜）コラム単位 …… 215
第94表　貝類群別集計（2.5 ＋ 1.0㎜）層序単位 …… 217
第95表　貝類群別集計（2.5 ＋ 1.0㎜）コラム単位 …… 219
第96表　貝類出土量 －層序単位－（5.0㎜）（1） …… 221
第97表　貝類出土量 －層序単位－（5.0㎜）（2） …… 222
第98表　貝類出土量 －層序単位－（2.5㎜） …… 223
第99表　貝類出土量 －層序単位－（1.0㎜） …… 224
第100表　貝類出土量－コラム単位－（5.0㎜）（1）…… 225
第101表　貝類出土量－コラム単位－（5.0㎜）（2）…… 226
第102表　貝類出土量－コラム単位－（5.0㎜）（3）…… 227
第103表　貝類出土量－コラム単位－（5.0㎜）（4）…… 228
第104表　貝類出土量－コラム単位－（5.0㎜）（5）…… 229
第105表　貝類出土量－コラム単位－（5.0㎜）（6）…… 230
第106表　貝類出土量－コラム単位－（2.5㎜）（1）…… 231
第107表　貝類出土量－コラム単位－（2.5㎜）（2）…… 232
第108表　貝類出土量－コラム単位－（2.5㎜）（3）…… 233
第109表　貝類出土量－コラム単位－（2.5㎜）（4）…… 234
第110表　貝類出土量－コラム単位－（1.0㎜）（1）…… 235
第111表　貝類出土量－コラム単位－（1.0㎜）（2）…… 236
第112表　貝類出土量－コラム単位－（1.0㎜）（3）…… 237
第113表　貝類出土量－コラム単位－（1.0㎜）（4）…… 238

第114表　貝類出土量－細分層単位－（5.0㎜）（1）…… 239
第115表　貝類出土量－細分層単位－（5.0㎜）（2）…… 240
第116表　貝類出土量－細分層単位－（5.0㎜）（3）…… 241
第117表　貝類出土量－細分層単位－（5.0㎜）（4）…… 242
第118表　貝類出土量－細分層単位－（5.0㎜）（5）…… 243
第119表　貝類出土量－細分層単位－（5.0㎜）（6）…… 244
第120表　貝類出土量－細分層単位－（2.5㎜）（1）…… 245
第121表　貝類出土量－細分層単位－（2.5㎜）（2）…… 246
第122表　貝類出土量－細分層単位－（2.5㎜）（3）…… 247
第123表　貝類出土量－細分層単位－（2.5㎜）（4）…… 248
第124表　貝類出土量－細分層単位－（2.5㎜）（5）…… 249
第125表　貝類出土量－細分層単位－（2.5㎜）（6）…… 250
第126表　貝類出土量－細分層単位－（1.0㎜）（1）…… 251
第127表　貝類出土量－細分層単位－（1.0㎜）（2）…… 252
第128表　貝類出土量－細分層単位－（1.0㎜）（3）…… 253
第129表　貝類出土量－細分層単位－（1.0㎜）（4）…… 254
第130表　マガキ殻高・ヤマトシジミ殻長（層序単位）…… 262
第131表　マガキ殻高（細分層単位）（1）…… 263
第132表　マガキ殻高（細分層単位）（2）…… 264
第133表　ヤマトシジミ殻長（細分層単位）…… 265
第134表　ハマグリ殻長（層序単位）…… 266
第135表　ハマグリ殻長（細分層単位）（1）…… 267
第136表　ハマグリ殻長（細分層単位）（2）…… 268
第137表　ハマグリ殻長（細分層単位）（3）…… 269
第138表　ハマグリ殻長（細分層単位）（4）…… 270
第139表　出土動物遺体一覧（貝類以外）…… 282
第140表　ピックアップ資料同定結果…… 282
第141表　水洗資料(a)同定結果(1)…… 283
第142表　水洗資料(a)同定結果(2)…… 284
第143表　水洗資料(b)同定結果…… 285
第144表　魚類遺体集計（地点、層位別）…… 286
第145表　分析試料と元素濃度と相対比…… 293
第146表　古人骨コラーゲンの炭素・窒素同位体比…… 294
第147表　古人骨コラーゲンの慣用放射性炭素年代…… 295
第148表　古人骨コラーゲンの較正放射性炭素年代…… 295
第149表　土器付着炭化物の炭素・窒素同位体比…… 295
第150表　測定及び処理(1)…… 302
第151表　測定及び処理(2)…… 303
第152表　放射性炭素年代測定及び暦年較正の結果…… 304
第153表　栄町貝塚内砂礫層・遺構礫および河川・上野台地礫層構成礫の岩石種…… 312
第154表　河川および礫層構成礫の岩石種…… 313

図版目次

図版１　1　表土掘削状況その1(A区 東から)
2　表土掘削状況その2(B区 南東から)
3　鋼矢板打設部地中障害物撤去状況(A区 南西から)
4　時計工場構造物検出状況(A区 北東から)
5　地下構造物撤去後表土掘削状況(A区 東から)
6　旧耕作土堆積状況(B区 東から)
7　貝層検出状況(B区 東から)
8　貝層検出状況(B区 北から)

図版２　1　Sec.1(A1トレンチ)貝層堆積状況(南西から)
2　Sec.1(A1トレンチ)貝層堆積状況(北西から)
3　Sec.2(B1トレンチ)北側貝層堆積状況(南東から)
4　Sec.2(B1トレンチ)南側貝層堆積状況(北東から)
5　Sec.2(A2トレンチ)南側貝層堆積状況(北東から)
6　Sec.2(A2トレンチ)北側貝層堆積状況(南東から)
7　Sec.3(B3トレンチ)北側貝層堆積状況(西から)
8　Sec.3(B3トレンチ)南側貝層堆積状況(西から)

図版３　1　Sec.3(A4トレンチ)南側貝層堆積状況(北西から)
2　Sec.3(A4トレンチ)北側貝層堆積状況(南西から)
3　Sec.4(B4トレンチ)北側貝層堆積状況その1
(南東から)
4　Sec.4(B4トレンチ)北側貝層堆積状況その2
(南東から)
5　Sec.4(A5トレンチ)南側貝層堆積状況(北東から)
6　Sec.4(A5トレンチ)南側貝層堆積状況(南東から)
7　Sec.5(A5南北セクション)貝層堆積状況(東から)
8　Sec.5(A5南北セクション)シルト質土堆積状況
(東から)

図版４　1　1面検出状況全景(A区 北東から)
2　1面検出状況全景(A区 北西から)

図版５　1　1面 ヤマトシジミ層検出状況(A区 南から)
2　1面ヤマトシジミ層接写(A区 南から)
3　1面東西方向ヤマトシジミ・ハマグリ・
マガキ堆積状況(A区 北から)
4　1面東西方向ヤマトシジミ・マガキ堆積
状況(A区 北から)
5　1面 1号遺構土層堆積状況(B区 南から)
6　1面 1号遺構完掘状況(B区 北から)
7　1面 48・49号遺構検出状況(A区北から)
8　1面 48号遺構土層堆積状況(A区 北から)

図版６　1　1面 49号遺構土層堆積状況(A区 北から)
2　1面 49号遺構完掘状況(A区 北から)
3　1面 50号遺構検出・半裁状況(A区 西から)
4　1面 50号遺構完掘状況(A区 西から)
5　1面 51a・b号遺構検出状況(A区 東から)
6　1面 51a号遺構完掘状況(A区 東から)
7　1面 51b号遺構完掘状況(A区 東から)
8　1面 52号遺構土層堆積状況(A区 西から)

図版７　1　1面 53a～d号遺構検出状況(A区 西から)
2　1面 53a～d号遺構土層堆積状況(A区 西から)
3　1面 53a号遺構検出状況(A区 西から)
4　1面 53b号遺構検出状況(A区 西から)
5　1面 53c号遺構完掘状況(A区 東から)
6　1面 53d号遺構検出状況(A区 西から)
7　1面 54号遺構検出状況(A区 北から)
8　1面 54号遺構完掘状況(A区 東から)

図版８　1　1面 55号遺構検出状況(A区 西から)
2　1面 55号遺構完掘状況(A区 西から)
3　1面 56号遺構検出状況(A区 南から)
4　1面 56号遺構土層堆積状況(A区 東から)
5　1面 56号遺構完掘状況(A区 南から)
6　1面 57号遺構土層堆積状況(A区 北から)
7　1面 57号遺構完掘状況(A区 北から)
8　1面 58a・b号遺構土層堆積状況(A区 北から)

図版９　1　1面 58a号遺構完掘状況(A区 北から)
2　1面 58b号遺構完掘状況(A区 北から)
3　1面 58c・d号遺構土層堆積状況(A区 北から)
4　1面 58c号遺構完掘状況(A区 北から)
5　1面 58d号遺構完掘状況(A区 北から)
6　1面 59号遺構土層堆積状況(A区 西から)
7　1面 59号遺構完掘状況(A区 西から)
8　1面 61号遺構検出状況(A区 東から)

図版10　1　1面 61号遺構土層堆積状況(A区 東から)
2　1面 61号遺構完掘状況(A区 東から)
3　1面 63号遺構検出状況(A区 東から)
4　1面 63号遺構完掘状況(A区 東から)
5　1面 64a号遺構検出状況(A区 西から)
6　1面 64a号遺構完掘状況(A区 西から)
7　1面 64b号遺構土層堆積状況(A区 東から)
8　1面 64b号遺構完掘状況(A区 東から)

図版11　1　1面 65a号遺構検出状況(A区 東から)
2　1面 65b号遺構土層堆積状況(A区 西から)
3　1面 65b号遺構完掘状況(A区 西から)
4　1面 66号遺構検出状況(A区 北から)
5　1面 66号遺構完掘状況(A区 北から)

6　1面 67a･b号遺構検出状況(A区 南から)
7　1面 67a号遺構土層堆積状況(A区 南西から)
8　1面 67a号遺構完掘状況(A区 南から)

図版12　1　1面 67b号遺構土層堆積状況(A区 西から)
2　1面 67b号遺構完掘状況(A区 北西から)
3　1面 67c号遺構土層堆積状況(A区 北東から)
4　1面 67c号遺構完掘状況(A区 東から)
5　1面 67c号遺構掘り方(A区 南東から)
6　1面 68号遺構検出状況(A区 南から)
7　1面 68号遺構完掘状況(A区 南から)
8　1面 69a～d号遺構検出状況(A区 東から)

図版13　1　1面 69a号遺構完掘状況(A区 東から)
2　1面 69b号遺構完掘状況(A区 東から)
3　1面 69c号遺構完掘状況(A区 東から)
4　1面 69d号遺構完掘状況(A区 東から)
5　1面 70a～d号遺構検出状況(A区 西から)
6　1面 70a号遺構完掘状況(A区 西から)
7　1面 70b号遺構完掘状況(A区 西から)
8　1面 70c号遺構完掘状況(A区 西から)

図版14　1　1面 70d号遺構完掘状況(A区 西から)
2　1面 71号遺構検出･半裁状況(A区 西から)
3　1面 71号遺構完掘状況(A区 西から)
4　1面 72a･b号遺構検出状況(A区 北から)
5　1面 73号遺構検出状況(A区 南から)
6　1面 73号遺構完掘状況(A区 南から)
7　1面 74号遺構検出状況(A区 北から)
8　1面 74号遺構完掘状況(A区 北から)

図版15　1　1面 75号遺構検出状況(A区 東から)
2　1面 75号遺構完掘状況(A区 東から)
3　1面 76号遺構検出状況(A区 西から)
4　1面 76号遺構完掘状況(A区 西から)
5　1面 77号遺構検出状況(A区 南から)
6　1面 77号遺構完掘状況(A区 南から)
7　1面 78号遺構検出状況(A区 北から)
8　1面 78号遺構完掘状況(A区 北から)

図版16　1　1面 80号遺構検出状況(A区 南から)
2　1面 80号遺構完掘状況(A区 南から)
3　1面 81号遺構検出状況(A区 南から)
4　1面 81号遺構完掘状況(A区 南から)
5　1面 82号遺構検出状況(A区 東から)
6　1面 82号遺構完掘状況(A区 東から)
7　1面 83号遺構検出状況(A区 西から)
8　1面 83号遺構完掘状況(A区 西から)

図版17　1　1面 84号遺構検出状況(A区 西から)
2　1面 84号遺構完掘状況(A区 西から)
3　1面 85号遺構検出状況(A区 南から)
4　1面 85号遺構完掘状況(A区 南から)
5　1面 86号遺構検出状況(A区 北から)
6　1面 86号遺構完掘状況(A区 北から)
7　1面 87号遺構検出状況(A区 北から)
8　1面 87号遺構完掘状況(A区 北から)

図版18　1　1面 88号遺構検出状況(A区 北西から)
2　1面 88号遺構完掘状況(A区 北から)
3　1面 89号遺構土層堆積状況(A区 南西から)
4　1面 89号遺構完掘状況(A区 南西から)
5　1面 90号遺構検出状況(A区 東から)
6　1面 90号遺構完掘状況(A区 東から)
7　1面 91号遺構検出状況(A区 東から)
8　1面 91号遺構完掘状況(A区 東から)

図版19　1　1面 92号遺構検出状況(A区 南から)
2　1面 92号遺構完掘状況(A区 南から)
3　1面 93号遺構検出状況(A区 東から)
4　1面 93号遺構完掘状況(A区 東から)
5　1面 94a･b号遺構検出状況(A区 南から)
6　1面 94a号遺構完掘状況(A区 南から)
7　1面 94b号遺構完掘状況(A区 南から)
8　1面 95号遺構検出状況(A区 北から)

図版20　1　1面 95号遺構完掘状況(A区 北から)
2　1面 96号遺構検出状況(A区 北から)
3　1面 96号遺構完掘状況(A区 北から)
4　1面 97号遺構検出状況(A区 南から)
5　1面 97号遺構完掘状況(A区 南から)
6　1面 98号遺構土層堆積状況(A区 東から)
7　1面 98号遺構完掘状況(A区 東から)
8　1面 99号遺構検出状況(A区 西から)

図版21　1　1面 99号遺構完掘状況(A区 西から)
2　1面 100号遺構検出状況(A区 東から)
3　1面 100号遺構完掘状況(A区 東から)
4　1面 101号遺構検出状況(A区 東から)
5　1面 101号遺構土層堆積状況(A区 東から)
6　1面 102a･b号遺構検出状況(A区 南から)
7　1面 102a号遺構完掘状況(A区 南東から)
8　1面 102b号遺構完掘状況(A区 南東から)

図版22　1　1面 102c号遺構検出状況(A区 南東から)
2　1面 102c号遺構完掘状況(A区 南東から)
3　1面 103号遺構検出状況(A区 西から)
4　1面 103号遺構完掘状況(A区 西から)
5　1面 104号遺構検出状況(A区 南から)

6　1面 104号遺構完掘状況(A区 南から)
7　1面 105号遺構検出状況(A区 南から)
8　1面 105号遺構完掘状況(A区 南から)
図版23　1　1面 108号遺構検出状況(A区 東から)
2　1面 108号遺構完掘状況(A区 東から)
3　1面 109号遺構検出状況(A区 西から)
4　1面 109号遺構完掘状況(A区 西から)
5　1面 110号遺構検出状況(A区 南から)
6　1面 110号遺構完掘状況(A区 南から)
7　1面 111号遺構検出状況(A区 北から)
8　1面 111号遺構完掘状況(A区 北から)
図版24　1　1面 112号遺構検出状況(A区 南から)
2　1面 112号遺構完掘状況(A区 南から)
3　1面 113号遺構検出状況(A区 北から)
4　1面 113号遺構完掘状況(A区 北から)
5　1面 114号遺構検出状況(A区 北から)
6　1面 114号遺構完掘状況(A区 北から)
7　1面 115号遺構土層堆積状況(A区 西から)
8　1面 115号遺構完掘状況(A区 西から)
図版25　1　1面 116号遺構完掘状況(A区 西から)
2　1面 117号遺構灰層検出状況(A区 北から)
3　1面 118号遺構検出状況(A区 南から)
4　1面 118号遺構完掘状況(A区 南から)
5　1面 119号遺構検出状況(A区 南から)
6　1面 119号遺構完掘状況(A区 南から)
7　1面 120号遺構検出状況(A区 北から)
8　1面 120号遺構完掘状況(A区 北西から)
図版26　1　1面 121号遺構検出状況(A区 南から)
2　1面 121号遺構完掘状況(A区 南から)
3　1面 123号遺構検出状況(A区 北から)
4　1面 123号遺構土層堆積状況(A区 北から)
5　1面 125a・b号遺構検出状況(A区 北西から)
6　1面 125a号遺構完掘状況(A区 北西から)
7　1面 125b号遺構完掘状況(A区 北西から)
8　1面 126号遺構検出状況(A区 南から)
図版27　1　1面 126号遺構完掘状況(A区 南から)
2　1面 127号遺構検出状況(A区 南から)
3　1面 127号遺構完掘状況(A区 南から)
4　1面 129号遺構検出状況(A区 北から)
5　1面 129号遺構完掘状況(A区 北から)
6　1面 130号遺構検出状況(A区 南から)
7　1面 130号遺構完掘状況(A区 南から)
8　1面 131号遺構検出状況(A区 南から)
図版28　1　1面 131号遺構土層堆積状況(A区 南から)
2　1面 132a・b号遺構土層堆積状況(A区 南東から)
3　1面 132a号遺構完掘状況(A区 南東から)
4　1面 132b号遺構完掘状況(A区 南から)
5　1面 133号遺構土層堆積状況(A区 北から)
6　1面 133号遺構完掘状況(A区 北から)
7　1面 134号遺構検出状況(A区 北西から)
8　1面 134号遺構完掘状況(A区 西から)
図版29　1　1面 136号遺構検出状況(A区 北から)
2　1面 136号遺構完掘状況(A区 北から)
3　1面 137号遺構検出状況(A区 北から)
4　1面 137号遺構完掘状況(A区 北から)
5　1面 138号遺構検出状況(A区 西から)
6　1面 138・139号遺構土層堆積状況
(A区 南西から)
7　1面 138号遺構完掘状況(A区 南西から)
8　1面 139号遺構完掘状況(A区 南西から)
図版30　1　1面 140～142号遺構検出状況(A区 北東から)
2　1面 140～142号遺構土層堆積状況
(A区 北東から)
3　1面 140号遺構完掘状況(A区 北東から)
4　1面 141号遺構完掘状況(A区 北東から)
5　1面 142号遺構完掘状況(A区 北東から)
6　1面 143号遺構検出状況(A区 北から)
7　1面 143号遺構完掘状況(A区 北から)
8　1面 144号遺構検出状況(A区 東から)
図版31　1　1面 144号遺構完掘状況(A区 東から)
2　1面 145号遺構検出状況(A区 東から)
3　1面 145号遺構完掘状況(A区 東から)
4　1面 146号遺構検出状況(A区 北西から)
5　1面 146号遺構完掘状況(A区 北西から)
6　1面 147号遺構検出状況(A区 南西から)
7　1面 147号遺構完掘状況(A区 南東から)
8　1面 148号遺構検出状況(A区 北西から)
図版32　1　1面 148号遺構完掘状況(A区 北西から)
2　1面 149号遺構検出状況(A区 北東から)
3　1面 149号遺構完掘状況(A区 北東から)
4　1面 150号遺構検出状況(A区 北東から)
5　1面 150号遺構完掘状況(A区 北東から)
6　1面 152号遺構検出状況(A区 西から)
7　1面 152号遺構完掘状況(A区 西から)
8　1面 155号遺構土層堆積状況(A区 北西から)
図版33　1　1面 155号遺構完掘状況(A区 北西から)
2　1面 156・157号遺構検出状況(A区 南東から)
3　1面 156号遺構完掘状況(A区 南から)

4　1面 157号遺構完掘状況(A区 南東から)
5　1面 158・159号遺構検出・土層堆積状況(A区 南東から)
6　1面 158号遺構完掘状況(A区 南西から)
7　1面 159号遺構完掘状況(A区 南東から)
8　1面 160a・b号遺構検出状況(A区 東から)
図版34　1　1面 160a号遺構土層堆積状況(A区 東から)
2　1面 160a号遺構完掘状況(A区 東から)
3　1面 160b号遺構完掘状況(A区 西から)
4　1面 161号遺構検出状況(A区 西から)
5　1面 161号遺構完掘状況(A区 西から)
6　1面 162号遺構検出状況(A区 東から)
7　1面 162号遺構完掘状況(A区 北から)
8　1面 163号遺構土層堆積状況(A区 東から)
図版35　1　1面 163号遺構完掘状況(A区 東から)
2　1面 164号遺構土層堆積状況(A区 東から)
3　1面 164号遺構完掘状況(A区 北から)
4　1面 165号遺構検出状況(A区 南から)
5　1面 165号遺構完掘状況(A区 南から)
6　1面 166号遺構検出状況(A区 南から)
7　1面 166号遺構完掘状況(A区 南から)
8　1面 167号遺構検出状況(A区 南から)
図版36　1　1面 167号遺構完掘状況(A区 北東から)
2　1面 168号遺構検出状況(A区 北から)
3　1面 168号遺構完掘状況(A区 北から)
4　1面 169号遺構検出状況(A区 北から)
5　1面 169号遺構完掘状況(A区 北から)
6　1面 170号遺構検出状況(A区 東から)
7　1面 170号遺構完掘状況(A区 東から)
8　1面 171・172号遺構検出状況(A区 東から)
図版37　1　1面 171号遺構完掘状況(A区 南から)
2　1面 172号遺構完掘状況(A区 西から)
3　1面 173号遺構検出状況(A区 南から)
4　1面 173号遺構完掘状況(A区 南から)
5　1面 174号遺構検出状況(A区 北から)
6　1面 174号遺構完掘状況(A区 北から)
7　1面 175号遺構検出状況(A区 南西から)
8　1面 175号遺構完掘状況(A区 南西から)
図版38　1　1面 176号遺構完掘状況(A区 南から)
2　1面 177号遺構検出状況(A区 南から)
3　1面 178号遺構検出状況(A区 西から)
4　1面 178号遺構完掘状況(A区 西から)
5　1面 179号遺構検出状況(A区 東から)
6　1面 179号遺構完掘状況(A区 北から)
7　1面 180号遺構土層堆積状況(A区 北から)
8　1面 180号遺構完掘状況(A区 北から)
図版39　1　1面 181号遺構検出状況(A区 南東から)
2　1面 181号遺構完掘状況(A区 南東から)
3　1面 182号遺構検出状況(A区 西から)
4　1面 182号遺構土層堆積状況(A区 西から)
5　1面 183号遺構検出・土層堆積状況(A区 北から)
6　1面 184号遺構土層堆積状況(A区 東から)
7　1面 184号遺構完掘状況(A区 東から)
8　1面 185号遺構検出状況(A区 北から)
図版40　1　1面 185号遺構完掘状況(A区 北から)
2　1面 187号遺構検出状況(A区 南東から)
3　1面 187号遺構完掘状況(A区 南東から)
4　1面 188号遺構検出状況(A区 東から)
5　1面 188号遺構完掘状況(A区 東から)
6　1面 189～191号遺構土層堆積状況(A区 南から)
7　1面 189号遺構完掘状況(A区 南から)
8　1面 190号遺構完掘状況(A区 南から)
図版41　1　1面 191号遺構検出状況(A区 南から)
2　1面 192号遺構土層堆積状況(A区 西から)
3　1面 192号遺構完掘状況(A区 西から)
4　1面 193号遺構土層堆積状況(A区 南東から)
5　1面 193号遺構完掘状況(A区 南東から)
6　1面 194号遺構検出状況(A区 北から)
7　1面 195号遺構検出状況(A区 北東から)
8　1面 195号遺構完掘状況(A区 北東から)
図版42　1　1面 196号遺構検出状況(A区 南から)
2　1面 196号遺構完掘状況(A区 南から)
3　1面 197・198号遺構検出状況(A区 南から)
4　1面 197号遺構完掘状況(A区 南から)
5　1面 198号遺構完掘状況(A区 西から)
6　1面 200号遺構検出状況(A区 南から)
7　1面 200号遺構完掘状況(A区 南から)
8　1面 201号遺構土層堆積状況(A区 東から)
図版43　1　1面 201号遺構完掘状況(A区 東から)
2　1面 202号遺構検出状況(A区 西から)
3　1面 202号遺構完掘状況(A区 西から)
4　1面 203号遺構検出状況(A区 南東から)
5　1面 203号遺構完掘状況(A区 南東から)
6　1面 204号遺構検出状況(A区 西から)
7　1面 204号遺構完掘状況(A区 西から)
8　1面 205号遺構検出状況(A区 西から)
図版44　1　1面 205号遺構完掘状況(A区 西から)
2　1面 206号遺構検出状況(A区 北西から)

3　1面 206号遺構完掘状況(A区 西から)
4　1面 207号遺構検出状況(A区 西から)
5　1面 207号遺構完掘状況(A区 西から)
6　1面 208a～c号遺構検出状況(A区 北から)
7　1面 208a・b号遺構土層堆積状況(A区 南東から)
8　1面 208c号遺構土層堆積状況(A区 東から)
図版45　1　1面 208a～c号遺構完掘状況(A区 北から)
2　1面 210号遺構検出状況(A区 北西から)
3　1面 210号遺構完掘状況(A区 北西から)
4　1面 211号遺構検出状況(A区 北東から)
5　1面 211号遺構完掘状況(A区 北東から)
6　1面 212号遺構検出状況(A区 北西から)
7　1面 212号遺構完掘状況(A区 北西から)
8　1面 213号遺構土層堆積状況(A区 西から)
図版46　1　1面 213号遺構完掘状況(A区 西から)
2　1面 214号遺構土層堆積状況(A区 東から)
3　1面 214号遺構完掘状況(A区 東から)
4　1面 215号遺構検出状況(A区 西から)
5　1面 215号遺構完掘状況(A区 西から)
6　1面 216号遺構検出状況(A区 北から)
7　1面 216号遺構土層堆積状況(A区 西から)
8　1面 217号遺構検出状況(A区 北から)
図版47　1　1面 217号遺構完掘状況(A区 北から)
2　1面 219号遺構検出状況(A区 西から)
3　1面 219号遺構完掘状況(A区 西から)
4　1面 220号遺構検出状況(A区 西から)
5　1面 220号遺構完掘状況(A区 北から)
6　1面 221a号遺構検出状況(A区 北から)
7　1面 221a号遺構完掘状況(A区 北から)
8　1面 221b号検出遺構状況(A区 北から)
図版48　1　1面 221b号遺構完掘状況(A区 北から)
2　1面 222号遺構土層堆積状況(A区 北から)
3　1面 222号遺構完掘状況(A区 北から)
4　1面 223号遺構検出状況(A区 北から)
5　1面 223号遺構完掘状況(A区 北から)
6　1面 225号遺構検出状況(A区 西から)
7　1面 225号遺構完掘状況(A区 西から)
8　1面 226号遺構土層堆積状況(A区 西から)
図版49　1　1面 226号遺構完掘状況(A区 西から)
2　1面 227号遺構検出状況(A区 西から)
3　1面 227号遺構完掘状況(A区 西から)
4　1面 228号遺構検出状況(A区 北から)
5　1面 228号遺構完掘状況(A区 北から)
6　1面 229号遺構土層堆積状況(A区 南から)
7　1面 229号遺構完掘状況(A区 南から)
8　1面 230号遺構検出状況(A区 西から)
図版50　1　1面 230号遺構完掘状況(A区 西から)
2　1面 231号遺構検出状況(A区 東から)
3　1面 231号遺構完掘状況(A区 東から)
4　1面 232号遺構土層堆積状況(A区 南から)
5　1面 232号遺構完掘状況(A区 南から)
6　1面 233号遺構検出状況(A区 西から)
7　1面 233号遺構完掘状況(A区 西から)
8　1面 234号遺構検出状況(A区 西から)
図版51　1　1面 234号遺構完掘状況(A区 西から)
2　1面 235号遺構検出状況(A区 東から)
3　1面 235号遺構完掘状況(A区 西から)
4　1面 236a・b号遺構検出状況(A区 南西から)
5　1面 236a・b号遺構土層堆積状況(A区 東から)
6　1面 236a・b号遺構完掘状況(A区 東から)
7　1面 237号遺構検出状況(A区 北から)
8　1面 237号遺構完掘状況(A区 北から)
図版52　1　1面 238号遺構検出状況(A区 北から)
2　1面 238号遺構完掘状況(A区 北から)
3　1面 239号遺構検出状況(A区 西から)
4　1面 239号遺構完掘状況(A区 西から)
5　1面 240号遺構土層堆積状況(A区 西から)
6　1面 240号遺構完掘状況(A区 西から)
7　1面 241号遺構検出状況(A区 北から)
8　1面 241号遺構完掘状況(A区 北から)
図版53　1　1面 242号遺構検出状況(A区 北から)
2　1面 242号遺構完掘状況(A区 東から)
3　1面 243号遺構土層堆積状況(A区 東から)
4　1面 243号遺構完掘状況(A区 東から)
5　1面 245号遺構検出状況(A区 南から)
6　1面 245号遺構完掘状況(A区 南から)
7　1面 246・248号遺構検出状況(A区 南から)
8　1面 246・248号遺構土層堆積状況
(A区 南西から)
図版54　1　1面 246・248号遺構完掘状況(A区 南西から)
2　1面 247a・b号遺構検出状況(A区 北から)
3　1面 247a・b号遺構土層堆積状況(A区 北西から)
4　1面 247a号遺構完掘状況(A区 北西から)
5　1面 247b号遺構完掘状況(A区 北西から)
6　1面 248・249号遺構土層堆積状況
(A区 北西から)
7　1面 249号遺構完掘状況(A区 北西から)
8　1面 250号遺構検出状況(A区 東から)

図版55　1　1面 250号遺構完掘状況(A区 東から)
2　1面 251号遺構土層堆積状況(A区 西から)
3　1面 251号遺構完掘状況(A区 西から)
4　1面 252号遺構検出状況(A区 東から)
5　1面 252号遺構完掘状況(A区 東から)
6　1面 253号遺構検出状況(A区 北から)
7　1面 253号遺構完掘状況(A区 東から)
8　1面 254・255号遺構土層堆積状況(A区 東から)
図版56　1　1面 254・255号遺構完掘状況(A区 東から)
2　1面 256号遺構土層堆積状況(A区 西から)
3　1面 256号遺構完掘状況(A区 西から)
4　1面 257号遺構検出・土層堆積状況(A区 南から)
5　1面 257号遺構完掘状況(A区 東から)
6　1面 258号遺構検出状況(A区 東から)
7　1面 258号遺構完掘状況(A区 東から)
8　1面 259号遺構検出状況(A区 北から)
図版57　1　1面 259号遺構完掘状況(A区 北から)
2　1面 260号遺構検出・土層堆積状況(A区 北から)
3　1面 260号遺構完掘状況(A区 北から)
4　1面 261号遺構土層堆積状況(A区 北から)
5　1面 261号遺構完掘状況(A区 北から)
6　1面 262号遺構土層堆積状況(A区 南から)
7　1面 262号遺構完掘状況(A区 南から)
8　1面 263号遺構土層堆積状況(A区 南から)
図版58　1　1面 263号遺構完掘状況(A区 南から)
2　1面 264号遺構検出状況(A区 北東から)
3　1面 264号遺構完掘状況(A区 北東から)
4　1面 265号遺構土層堆積状況(A区 東から)
5　1面 265号遺構完掘状況(A区 東から)
6　1面 266号遺構土層堆積状況(A区 北西から)
7　1面 266号遺構完掘状況(A区 東から)
8　1面 267号遺構土層堆積状況(A区 南西から)
図版59　1　1面 267号遺構完掘状況(A区 北から)
2　1面 268号遺構土層堆積状況(A区 東から)
3　1面 268号遺構完掘状況(A区 東から)
4　1面 269号遺構土層堆積状況(A区 東から)
5　1面 269号遺構完掘状況(A区 東から)
6　1面 270号遺構検出状況(A区 西から)
7　1面 270号遺構完掘状況(A区 西から)
8　1面 272号遺構検出状況(A区 東から)
図版60　1　1面 272号遺構完掘状況(A区 東から)
2　1面 273号遺構土層堆積状況(A区 東から)
3　1面 273号遺構完掘状況(A区 東から)
4　1面 274号遺構検出状況(A区 北から)
5　1面 274号遺構完掘状況(A区 北から)
6　1面 275号遺構検出状況(A区 東から)
7　1面 275号遺構完掘状況(A区 東から)
8　1面 276号遺構検出状況(A区 北から)
図版61　1　1面 276号遺構完掘状況(A区 北から)
2　1面 277号遺構検出状況(A区 北から)
3　1面 277号遺構土層堆積状況(A区 北から)
4　1面 277号遺構完掘状況(A区 北から)
5　1面 278号遺構検出状況(A区 北から)
6　1面 278号遺構土層堆積状況(A区 北から)
7　1面 278号遺構完掘状況(A区 北から)
8　1面 279a・b号遺構検出状況(A区 東から)
図版62　1　1面 279a号遺構完掘状況(A区 東から)
2　1面 279b号遺構完掘状況(A区 東から)
3　1面 280号遺構土層堆積状況(A区 東から)
4　1面 280号遺構完掘状況(A区 北から)
5　1面 281号遺構検出状況(A区 北から)
6　1面 281号遺構完掘状況(A区 北から)
7　1面 282号遺構検出状況(A区 西から)
8　1面 282号遺構完掘状況(A区 西から)
図版63　1　1面 283号遺構検出状況(A区 東から)
2　1面 283号遺構完掘状況(A区 東から)
3　1面 284号遺構検出状況(A区 東から)
4　1面 284号遺構完掘状況(A区 西から)
5　1面 285号遺構検出状況(A区 南西から)
6　1面 285号遺構完掘状況(A区 南西から)
7　1面 286号遺構検出状況(A区 南西から)
8　1面 286号遺構完掘状況(A区 南西から)
図版64　1　1面 287号遺構検出状況(A区 南西から)
2　1面 287号遺構完掘状況(A区 南西から)
3　1面 288号遺構土層堆積状況(A区 東から)
4　1面 288号遺構完掘状況(A区 北から)
5　1面 289号遺構検出状況(A区 東から)
6　1面 289号遺構完掘状況(A区 東から)
7　1面 290号遺構検出状況(A区 東から)
8　1面 290号遺構完掘状況(A区 東から)
図版65　1　1面 291号遺構検出状況(A区 北から)
2　1面 291号遺構完掘状況(A区 北西から)
3　1面 292号遺構検出状況(A区 北から)
4　1面 292号遺構完掘状況(A区 北から)
5　1面 293号遺構検出状況(A区 北西から)
6　1面 293号遺構完掘状況(A区 北西から)
7　1面 294号遺構検出状況(A区 北から)
8　1面 295号遺構検出状況(A区 北から)

図版66　1　1面 295号遺構完掘状況(A区 西から)
2　1面 296号遺構検出状況(A区 東から)
3　1面 296号遺構完掘状況(A区 東から)
4　1面 297号遺構検出状況(A区 東から)
5　1面 297号遺構完掘状況(A区 東から)
6　1面 298号遺構検出状況(A区 南から)
7　1面 298号遺構完掘状況(A区 南から)
8　1面 299号遺構検出状況(A区 北から)
図版67　1　1面 299号遺構完掘状況(A区 北から)
2　1面 300号遺構検出状況(A区 北東から)
3　1面 300号遺構完掘状況(A区 南から)
4　1面 301号遺構検出状況(A区 東から)
5　1面 301号遺構完掘状況(A区 東から)
6　1面 302・303号遺構土層堆積状況
(A区 北西から)
7　1面 302号遺構完掘状況(A区 北西から)
8　1面 303号遺構完掘状況(A区 北西から)
図版68　1　1面 304号遺構検出状況(A区 北から)
2　1面 304号遺構完掘状況(A区 北から)
3　1面 305号遺構土層堆積状況(A区 北から)
4　1面 305号遺構完掘状況(A区 北から)
5　1面 306号遺構検出状況(A区 東から)
6　1面 306号遺構完掘状況(A区 東から)
7　1面 307号遺構検出状況(A区 北から)
8　1面 307号遺構完掘状況(A区 北から)
図版69　1　1面 308号遺構検出状況(A区 北から)
2　1面 308号遺構完掘状況(A区 北から)
3　1面 309号遺構検出状況(A区 北から)
4　1面 309号遺構完掘状況(A区 北から)
5　1面 310号遺構検出状況(A区 南から)
6　1面 310号遺構完掘状況(A区 南から)
7　1面 311号遺構検出状況(A区 北から)
8　1面 311号遺構完掘状況(A区 北から)
図版70　1　1面 312号遺構検出状況(A区 南から)
2　1面 312号遺構完掘状況(A区 北から)
3　1面 313号遺構検出状況(A区 西から)
4　1面 313号遺構完掘状況(A区 西から)
5　1面 314号遺構検出状況(A区 東から)
6　1面 314号遺構完掘状況(A区 東から)
7　1面 315号遺構検出状況(A区 東から)
8　1面 315号遺構完掘状況(A区 東から)
図版71　1　1面 316号遺構検出状況(A区 北から)
2　1面 316号遺構完掘状況(A区 北から)
3　1面 317号遺構検出状況(A区 北から)
4　1面 317号遺構完掘状況(A区 北から)
5　1面 319号遺構検出状況(A区 西から)
6　1面 319号遺構完掘状況(A区 西から)
7　1面 320号遺構検出状況(A区 北から)
8　1面 320号遺構完掘状況(A区 北から)
図版72　1　1面 321号遺構検出状況(A区 東から)
2　1面 321号遺構完掘状況(A区 東から)
3　1面 322号遺構検出状況(A区 西から)
4　1面 322号遺構完掘状況(A区 西から)
5　1面 323号遺構検出状況(A区 東から)
6　1面 323号遺構完掘状況(A区 東から)
7　1面 79号遺構検出状況(A区 北から)
8　1面 79号遺構東西土層堆積状況(A区 北東から)
図版73　1　1面 79号遺構南北土層堆積状況(A区 北西から)
2　1面 79号遺構完掘状況(A区 北から)
3　1面 106号遺構灰層範囲検出状況(A区 北東から)
4　1面 107号遺構灰層範囲検出状況(A区 北東から)
5　1面 135号遺構灰層範囲検出状況(A区 北西から)
6　1面 153号遺構土器出土状況(A区 南西から)
7　1面 153号遺構土器出土状況接写(A区 南西から)
8　1面 153・154号遺構半裁状況(A区 南西から)
図版74　1　1面 153号遺構完掘状況(A区 南西から)
2　1面 154号遺構完掘状況(A区 南西から)
3　2面 検出作業風景(B区 南西から)
4　2面 破砕貝層平面検出状況(B区 北から)
5　2面 破砕貝層堆積状況接写(B区 西から)
6　2面 検出作業風景(A区 北東から)
7　2面 貝層堆積状況その1(A区 北から)
8　2面 貝層堆積状況その2(A区 北から)
図版75　1　2面 B区東側全景(B区 南から)
2　2面 B区中央全景(B区 南から)
図版76　1　2面 B区Sec.3南側付近全景(B区 南から)
2　2面 B区西側全景(B区 南から)
図版77　1　2面 A区全景(A区 北東から)
2　2面 A区全景(A区 北西から)
図版78　1　3面 ハマグリ集中箇所全景(A区 北西から)
2　3面 ハマグリ集中状況その1(A区 北西から)
3　3面 ハマグリ集中状況その2(A区 北から)
4　3面 北西側ハマグリ集中状況その3
(A区 南東から)
5　3面 北西側ハマグリ集中状況接写(A区 北東から)
図版79　1　3面 A区東側ハマグリ集中状況(A区 北から)
2　3面 A区中央ハマグリ層直下マガキ検出状況
(A区 北から)

3　3面 2号遺構検出・半裁状況(B区 北から)
4　3面 2号遺構土層堆積状況(B区 東から)
5　3面 2号遺構完掘状況(B区 北から)
6　3面 3a号遺構検出・半裁状況(B区 西から)
7　3面 3a号遺構土層堆積状況(B区 南から)
8　3面 3a号遺構完掘状況(B区 東から)

図版80　1　3面 3b号遺構検出状況(B区 南から)
2　3面 3b号遺構土層堆積状況(B区 南から)
3　3面 3b号遺構完掘状況(B区 南から)
4　3面 3c号遺構炭化物・灰層検出状況(B区 南から)
5　3面 3c号遺構礫検出状況(B区 南東から)
6　3面 3c号遺構完掘状況(B区 南から)
7　3面 3d～g号遺構検出状況(B区 南から)
8　3面 3d号遺構完掘状況(B区 西から)

図版81　1　3面 3e・f号遺構土層堆積状況(B区 南から)
2　3面 3e号遺構完掘状況(B区 東から)
3　3面 3f号遺構完掘状況(B区 東から)
4　3面 3g号遺構土層堆積状況(B区 南から)
5　3面 3g号遺構完掘状況(B区 南から)
6　3面 3h号遺構検出状況(B区 南から)
7　3面 3h号遺構土層堆積状況(B区 南から)
8　3面 3h号遺構完掘状況(B区 南から)

図版82　1　3面 3i号遺構検出状況(B区 東から)
2　3面 3i号遺構完掘状況(B区 東から)
3　3面 3j号遺構検出状況(B区 南東から)
4　3面 3j号遺構土層堆積状況(B区 南から)
5　3面 3j号遺構完掘状況(B区 北から)
6　3面 3k号遺構土層堆積状況(B区 南から)
7　3面 3k号遺構完掘状況(B区 南から)
8　3面 3l号遺構検出状況(B区 北から)

図版83　1　3面 3l号遺構完掘状況(B区 北から)
2　3面 4号遺構土層堆積状況(B区 南西から)
3　3面 4号遺構完掘状況(B区 南から)
4　3面 5号遺構検出状況(B区 西から)
5　3面 5号遺構完掘状況(B区 北から)
6　3面 6号遺構検出・土層堆積状況(B区 東から)
7　3面 6号遺構完掘状況(B区 東から)
8　3面 7a号遺構検出状況(B区 南から)

図版84　1　3面 7b号遺構検出状況(B区 西から)
2　3面 8号遺構検出状況(B区 南から)
3　3面 8号遺構完掘状況(B区 東から)
4　3面 9・10号遺構検出状況(B区 東から)
5　3面 9・10号遺構完掘状況(B区 東から)
6　3面 11a号遺構検出状況(B区 東から)
7　3面 11b号遺構検出状況(B区 東から)
8　3面 11b号遺構完掘状況(B区 東から)

図版85　1　3面 11c号遺構検出状況(B区 南から)
2　3面 11c号遺構完掘状況(B区 南から)
3　3面 11d号遺構完掘状況(B区 南から)
4　3面 11e号遺構検出状況(B区 南から)
5　3面 11e号遺構完掘状況(B区 南から)
6　3面 11f号遺構検出状況(B区 北から)
7　3面 11f号遺構土層堆積状況(B区 北から)
8　3面 11f号遺構完掘状況(B区 北から)

図版86　1　3面 11g号遺構検出状況(B区 北から)
2　3面 11g号遺構完掘状況(B区 北から)
3　3面 12号遺構検出状況(B区 北から)
4　3面 12号遺構完掘状況(B区 北から)
5　3面 13号遺構検出状況(B区 南から)
6　3面 14号遺構検出状況(B区 北から)
7　3面 15号遺構検出状況(B区 西から)
8　3面 16号遺構検出状況(B区 西から)

図版87　1　3面 17号遺構検出状況(B区 東から)
2　3面 17号遺構完掘状況(B区 東から)
3　3面 18号遺構完掘状況(B区 南から)
4　3面 19号遺構検出状況(B区 西から)
5　3面 19号遺構完掘状況(B区 北から)
6　3面 20a・b号遺構検出状況(B区 西から)
7　3面 20a・b号遺構土層堆積状況(B区 西から)
8　3面 20a・b号遺構完掘状況(B区 西から)

図版88　1　3面 20c号遺構検出状況(B区 西から)
2　3面 20c号遺構完掘状況(B区 西から)
3　3面 21号遺構検出状況(B区 西から)
4　3面 21号遺構完掘状況(B区 西から)
5　3面 22号遺構検出状況(B区 西から)
6　3面 22号遺構完掘状況(B区 西から)
7　3面 23号遺構検出状況(B区 南から)
8　3面 23号遺構完掘状況(B区 南から)

図版89　1　3面 24号遺構検出状況(B区 東から)
2　3面 24号遺構完掘状況(B区 北から)
3　3面 25a号遺構検出状況(B区 南から)
4　3面 25a号遺構完掘状況(B区 南から)
5　3面 25b号遺構検出状況(B区 南から)
6　3面 25b号遺構完掘状況(B区 東から)
7　3面 26号遺構検出状況(B区 東から)
8　3面 26号遺構完掘状況(B区 東から)

図版90　1　3面 27号遺構検出状況(B区 南から)
2　3面 27号遺構完掘状況(B区 東から)

3　3面 28号遺構検出状況(B区 南から)
4　3面 28号遺構完掘状況(B区 南から)
5　3面 29号遺構検出状況(B区 南から)
6　3面 29号遺構完掘状況(B区 南から)
7　3面 30号遺構検出状況(B区 南から)
8　3面 30号遺構完掘状況(B区 南から)

図版91　1　3面 31号遺構検出状況(B区 西から)
2　3面 31号遺構完掘状況(B区 北から)
3　3面 32号遺構検出状況(B区 東から)
4　3面 32号遺構完掘状況(B区 東から)
5　3面 33号遺構検出状況(B区 東から)
6　3面 34号遺構検出状況(B区 西から)
7　3面 35号遺構検出状況(B区 南から)
8　3面 36a・b号遺構検出状況(B区 北から)

図版92　1　3面 37号遺構検出状況(B区 南東から)
2　3面 37号遺構完掘状況(B区 南東から)
3　3面 38号遺構検出状況(B区 東から)
4　3面 39号遺構検出状況(B区 西から)
5　3面 40号遺構検出・土層堆積状況(B区 東から)
6　3面 41号遺構検出状況(B区 北から)
7　3面 42号遺構検出状況(B区 北から)
8　3面 43号遺構完掘状況(B区 北から)

図版93　1　3面 44号遺構検出状況(B区 北東から)
2　3面 44号遺構完掘状況(B区 北東から)
3　3面 45号遺構検出状況(B区 北西から)
4　3面 45号遺構完掘状況(B区 北から)
5　3面 46号遺構完掘状況(B区 東から)
6　3面 18層土器出土状況(B区 東から)
7　3面 19層土器出土状況(B区 東から)
8　3面 19層土器出土状況(B区 東から)

図版94　1　3面 20層土器出土状況(B区 東から)
2　3面 25層土器出土状況(A区 南から)
3　3面 25層土器出土状況(A区 西から)
4　3面 18層土器片錘出土状況(B区 北から)
5　3面 23層土器片錘出土状況(A区 北から)
6　3面 25層出土打製石斧(B区 南から)
7　3面 破砕・還元貝層(23層)検出状況
(A区 北東から)
8　3面 破砕・還元貝層(23層)接写(A区 北から)

図版95　1　3面 B区東側全景(B区 南から)
2　3面 B区中央全景(B区 南から)

図版96　1　3面 B区Sec.3付近全景(B区 南から)
2　3面 B区西側全景(B区 南から)

図版97　1　3面 A区全景(A区 北東から)
2　3面 A区全景(A区 北西から)

図版98　1　3-4面掘削中Sec.2(A2トレンチ)南側貝層堆積
状況(A区 東から)
2　3-4面掘削中Sec.2(A2トレンチ)南側貝層堆積
状況(A区 北東から)

図版99　1　3-4面掘削中Sec.2(A2トレンチ)南側貝層堆積
状況(A区 北東調査区上から)
2　4面 Sec.1(A1トレンチ)北側貝層堆積状況
(A区 北西から)
3　4面 Sec.2(A2トレンチ)南側貝層堆積状況
(A区 北東 から)
4　4面 Sec.2(A2トレンチ)北側貝層堆積状況
(A区 南東から)
5　4面 自然貝層検出状況(A区 北から)

図版100　1　4面 Sec.4(A5トレンチ)北側シルト質土堆積
状況(東から)
2　3-4面 Sec.9(B2・B3トレンチ)貝層堆積状況
その1(北から)
3　3-4面 Sec.9(B2・B3トレンチ)貝層堆積状況
その2(北から)
4　3-4面 Sec.9(B1トレンチ)貝層堆積状況
その1(北から)
5　3–4面 Sec.9(B1トレンチ)貝層堆積状況
その2(北から)
6　3–4面 Sec.9(B1トレンチ)貝層堆積状況
その3(北から)
7　4面 砂礫層検出状況(B区 北から)
8　4面 砂礫層検出状況接写(B区 北から)

図版101　1　4面 杭1半裁状況(B区 西から)
2　4面 杭2半裁状況(B区 西から)
3　4面 杭4・5半裁状況(B区 西から)
4　4面 杭4半裁状況(B区 西から)
5　4面 杭5半裁状況(B区 西から)
6　4面 杭6半裁状況(B区 西から)
7　4面 杭7半裁状況(B区 西から)
8　4面 杭8半裁状況(B区 西から)

図版102　1　4面 杭9・10半裁状況(B区 南から)
2　4面 杭9上部半裁状況(B区 東から)
3　4面 杭9下部半裁状況(B区 西から)
4　4面 杭10半裁状況(B区 西から)
5　4面 杭11半裁状況(B区 東から)
6　4面 杭12半裁状況(B区 東から)
7　4面 杭13半裁状況(B区 東から)
8　4面 杭14半裁状況(B区 西から)

図版103　1　4面 杭15半裁状況(B区 東から)
2　4面 杭16半裁状況(B区 西から)
3　4面 杭17半裁状況(B区 東から)
4　4面 杭18半裁状況(B区 東から)
5　4面 杭19半裁状況(B区 東から)
6　4面 杭20半裁状況(B区 西から)
7　4面 杭21半裁状況(B区 西から)
8　4面 杭22～24(B区 西から)
図版104　1　4面 杭25～27(B区 西から)
2　4面 杭28・29(B区 南から)
3　4面 杭29～32(B区 西から)
4　4面 杭33(B区 西から)
5　4面 杭34・35(B区 西から)
6　4面 杭36半裁状況(B区 西から)
7　4面 杭37半裁状況(A区 北から)
8　4面 杭39上部半裁状況(A区 西から)
図版105　1　4面 杭39下部半裁状況(A区 西から)
2　4面 杭40半裁状況(A区 東から)
3　4面 杭41半裁状況(A区 西から)
4　4面 324号遺構西側完掘状況その1
(A区 北東から)
5　4面 324号遺構西側完掘状況その2
(A区 東から)
6　4面 324号遺構東側完掘状況(A区 北西から)
7　4面 324号遺構土層堆積状況(A区 西から)
8　4面 324号遺構木材出土状況その1
(A区 西から)
図版106　1　4面 324号遺構木材出土状況その2
(A区 東から)
2　4面 324号遺構土器片錘出土状況
(A区 南から)
3　4面 28層土器出土状況その1(B区 西から)
4　4面 28層土器出土状況その2(B区 南から)
5　4面 28層土器出土状況その3(B区 北から)
6　4面 30層土器出土状況その1(B区 東から)
7　4面 30層土器出土状況その2(B区 東から)
8　4面 34層土器出土状況(A区 南から)
図版107　1　4面 38層土器出土状況その1(B区 北から)
2　4面 38層土器出土状況その2(B区 北から)
3　4面 38層土器出土状況その3(B区 北から)
4　4面 38 層土器出土状況その 4 (B 区 南から)
5　4面 38 層土器出土状況その 5 (B 区 北から)
6　4面 38 層土器出土状況その 6 (B 区 北から)
7　4面 28 層土器片錘出土状況 (B 区 東から)
8　4面 30 層乳棒状石製品出土状況(B 区 西から)
図版108　1　4面 35層台石出土状況(A区 西から)
2　4面 38層前頭骨出土状況(B区 南から)
3　4面 40層大腿骨出土状況(A区 南から)
4　4面 38層獣骨出土状況その1(B区 南から)
5　4面 38層獣骨出土状況その2(B区 南から)
6　4面 35層杭出土状況(A区 東から)
7　4面 28層大形材出土状況(B区 北から)
8　4面 30層大形材出土状況(B区 北から)
図版109　1　4面 30層材出土状況(B区 南から)
2　4面 35層材出土状況(A区 西から)
3　4面 38層材出土状況(B区 南から)
4　4面 40層材出土状況(A区 北西から)
5　4面 40層材出土状況(B区 西から)
6　4面 下総層群上泉層(東京層)直上材出土状況
(A区 西から)
7　4面 下総層群上泉層(東京層)生痕化石
(A区 東から)
8　下総層群上泉層(東京層)深掘堆積状況
(A区 東から)
図版110　1　4面 B区全景(B区 南東から)
2　4面 B区東側全景(B区 南から)
図版111　1　4面 B区中央全景(B区 南から)
2　4面 B区西側全景(B区 南から)
図版112　1　4面 A区全景(A区 北東から)
2　4面 A区全景(A区 北西から)
図版113　1　1面 出土遺物
2　2面 出土遺物
図版114　1　3面 出土遺物(1)
図版115　1　3面 出土遺物(2)
2　4面 出土遺物(1)
図版116　1　4面 出土遺物(2)
図版117　1　4面 出土遺物(3)
図版118　1　4面 出土遺物(4)
図版119　1　4面 出土遺物(5)
図版120　1　一括出土遺物

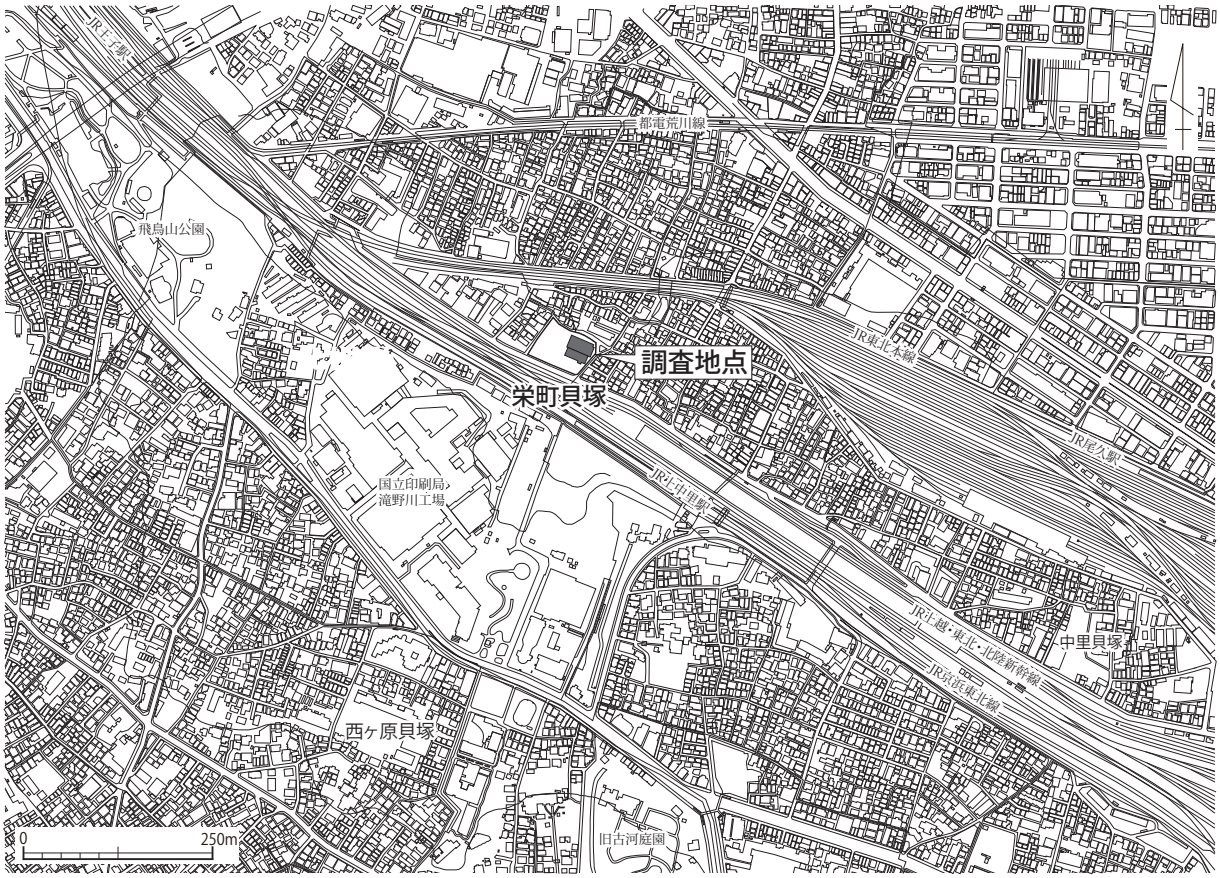
Ⅰ　発掘調査の概要

1　調査に至る経緯

北区栄町貝塚（北区遺跡 No.51）は、JR 京浜東北線 上中里駅の北西約 150m の場所に位置する。地形的には武蔵野台地東端部の崖線下に位置する、東京低地内の飛鳥山微高地に立地する。栄町貝塚は、田端微高地側にある国指定史跡 中里貝塚に対峙する位置にあたる貝塚で、栄町貝塚の発掘調査が行われたのは今回が初めてである。

今回の調査は、東京都下水道局（以下、下水道局という。）による北区栄町付近石神井川流域貯留池工事に伴う埋蔵文化財の事前調査として行われた。この地点は当初、周知の埋蔵文化財包蔵地では無かったが、北区教育委員会（以下、区教委という。）は従前より、事業計画地付近が江戸時代に「貝塚」「蛎から塚」と呼ばれる地にあったことや、近隣に貝殻の散布が認められる場所であることから、縄文時代の貝塚が残されている可能性が高いと推定していた。

事業を計画していた下水道局から区教委に埋蔵文化財に関する照会があり、区教委が現地確認をしたところ、計画地にあった建物の解体工事に伴って、当地域の縄文時代の貝塚によく見られるマガキ・ハマグリ等の貝殻が検出されていることを認めた。このことにより下水道局は、平成 30 年 2 月 27 日付 29 下一基計第 217 号で、文化財保護法第 97 条第 1 項に基づく「遺跡発見の通知について」を提出した。東京都教育委員会（以下、都教委という。）は、平成 30 年 3 月 8 日付 29 教地管埋第



第 1 図　遺跡位置図（1/10,000）（国土地理院基盤地図情報データから作図）

3774 号「遺跡の発見について（通知）」により、遺跡の遺存状態・内容等を把握するための確認調査を行う必要があることを通知した。

確認調査は平成 30 年 7 月 19 日～ 8 月 23 日まで、下水道局の協力を得て区教委により行われた。その結果、地表面から 1.5m の深度で貝層が発見され、また部分的な深掘等の確認により、検出面から少なくとも 1m 以上の貝層が遺存していることを明らかにした。

この確認調査結果に基づき、平成 30 年 9 月 21 日付 30 下一基二第 119 号で、下水道局第一基幹施設再構築事務所より、北区栄町 5-1 所在の埋蔵文化財について照会があり、これに対し区教委は平成 30 年 10 月 1 日付 30 北教教博第 1642 号で北区教育委員会飛鳥山博物館長名により、工事着手の事前に本発掘調査を実施する必要があることを通知し、併せてその旨を東京都教育庁地域教育支援部管理課に報告した。これを受けて下水道局第一基幹施設再構築事務所は、平成 30 年 11 月 1 日付 30 下一基計第 118 号で都教委に、北区栄町 5-1 における発掘調査の実施についての照会を提出し、これに対し東京都教育委員会教育長は平成 30 年 12 月 5 日付 30 教地管第 1686 号で調査の実施に向けての協議を行うよう回答した。

なお当該地は、平成 30 年 12 月 12 日付 30 教地管第 1903 号で、「栄町貝塚（北区遺跡№ 51）」として東京都遺跡台帳に新規登録されている。

下水道局と都教委、区教委は協議を行い、本件の発掘調査は東京都が担当することとし、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団(以下「事業団」という。)が調査を実施することとなった。これを受け、下水道局、都教委及び事業団との間で「北区栄町付近石神井川流域貯留池工事に伴う埋蔵文化財調査に関する協定書」が令和元年 7 月 5 日に締結され、令和元年 7 月 24 日に、下水道局と事業団との間で委託契約が交わされた。

発掘届は、東京都埋蔵文化財センター（以下「都埋文」という。）が令和元年 10 月 10 日付けで区教委・都教委に提出した（31 ス文事埋文第 2329 号）。また令和元年 11 月 7 日に都教委から、都埋文に発掘調査の通知（31 教地管埋第 2706 号）がなされた。

準備工は令和元年 8 月 23 日より開始し、その後ボーリング調査位置について下水道局と協議した後、令和元年 9 月 27 日からボーリング調査を行った。ボーリング調査結果を受け、改めて土留施工の計画と積算、調査及び工程の計画を行い、下水道局と協議・確認を行っている。

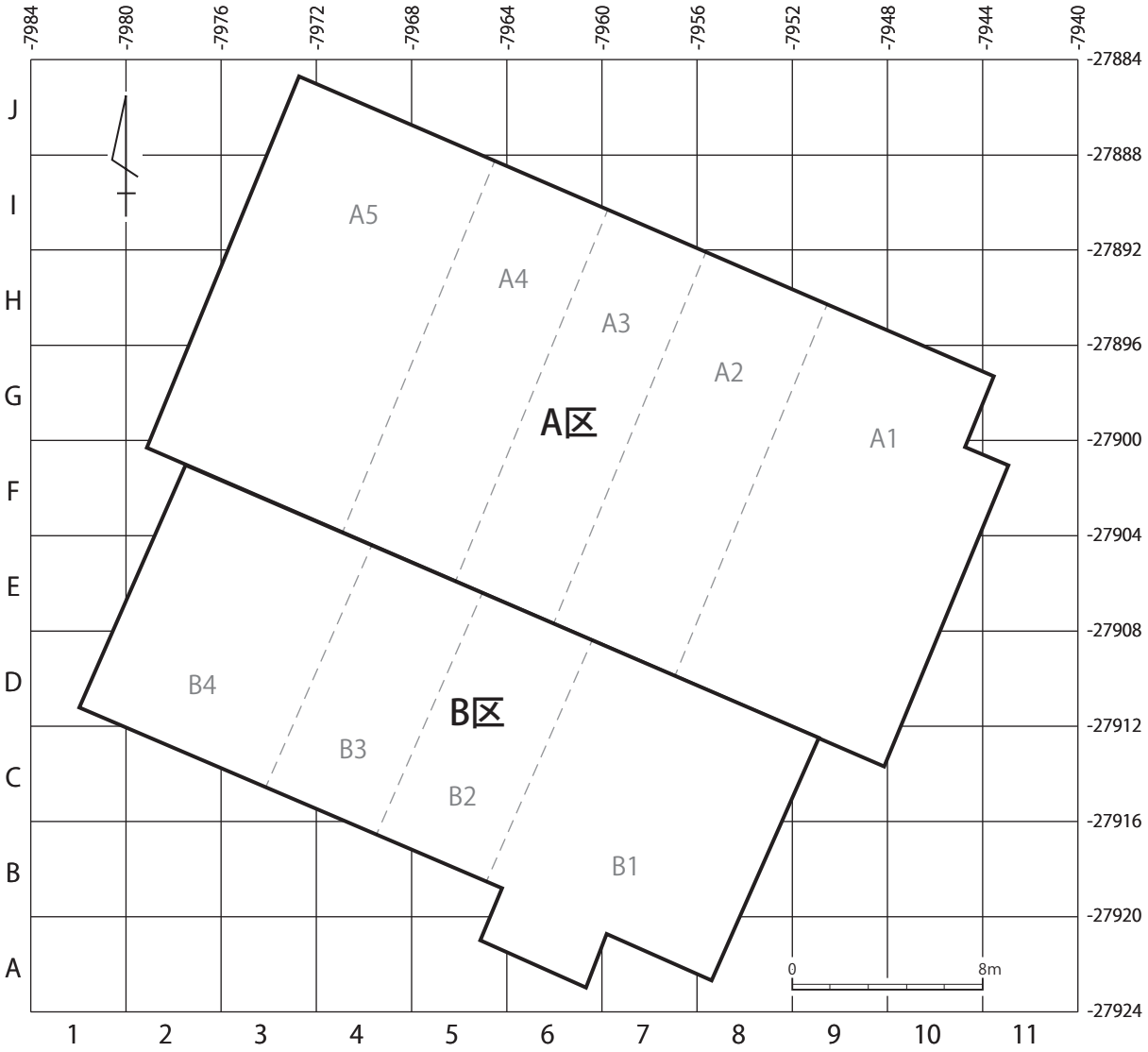
土留施工は令和 2 年 2 月 17 日に調査区南側から開始し、3 月 13 日に調査区南側の鋼矢板圧入が終了した。令和 2 年 3 月 16 日より、重機による表土掘削から発掘調査が開始された。

2　調査の方法

調査対象地は、東京都遺跡地図に「栄町貝塚（北区№ 51 遺跡）」として登録された範囲内の東側に位置し、調査対象面積は 955㎡である。

調査の方法は、区教委と都教委との協議・指導の上決定し、発掘調査の作業手順については、都埋文の作業工程水準表及び掘削作業標準に従って実施した。

また調査にあたり月に一回程度、下水道局、都教委、区教委と都埋文の四者で、栄町分室において定例会議を行い、発掘調査の進捗状況や調査工程等を確認するとともに、調査状況を把握・共有し、調査を円滑に進めるための協議を行った。



第 2 図　グリッド・調査区割設定図（1/300）

1）発掘調査

調査区設定

調査区の設定は、調査区の軸線方向を国土座標に準拠させた 4 × 4 m方眼で区画し、その方眼 1 単位を 1 グリッドとした。グリッド名は南西隅を基点に、南北軸にアルファベットを A ～ J、東西軸にアラビア数字を 1 ～ 11 まで付した。また調査区内は前述したように掘削予定深度の関係で、A・B 区に分けて設定し、地下構造物の探査及び除去の関係上、B 区から調査を始めることになった。

座標軸の基点（原点）は調査区を包括するグリッド域南西端の A–1 杭を 0 基点原点杭とし、世界測地系（測地成果 2011）に基づく座標値は平面直角座標Ⅸ系 X ＝ –27924.000・北緯 35° 36′ 53.79588″、Y ＝ –7984.000・東経 139° 44′ 42.19484″、真北 0° 03′ 05.67″を示す。

掘削

調査は、重機によって貝層上のシルト質土層まで表土掘削を行った。旧建物基礎等により攪乱されていた部分やコンクリートガラの除去についても重機で掘削し、遺存している貝層の検出を行った。

その後B区については、攪乱際の壁面に沿うような状態で南北方向に約1m幅のトレンチを3本設定して掘削を行って、貝層の堆積状況と深度、層序を把握した。遺構については人力掘削による検出、遺構・遺物の記録作業（実測・写真撮影、サンプル採取等）を実施した。遺構名は、1号遺構、2号遺構と連番で確認された時点で逐次付番している。杭については杭1、杭2と別個に連番を付した。整理する上で遺構として捉えられなかったものについては欠番とし、原則として遺構番号・記号の振替を行わなかった。

記録保存－遺物取上

遺物の取り上げ方法は、貝層中出土、遺構出土ともに光波測量機器（トータル・ステーションシステム）を利用して、その出土位置を記録している。遺構等の実測に関しても光波測量機器を活用し、そこで得られた三次元データについては、発掘調査整理支援システムで処理する方法を採用して、作業の省力化とデータの信頼性の確保を図った。表土や撹乱層、明らかに混在していると判断される遺物についてはグリッドを記録して一括遺物として取り上げた。

記録保存－図面

遺構図及び貝層堆積図の作成は、平面図については光波測量機器（トータル・ステーションシステム）による計測、記録を中心に、土層堆積状況等の断面図については写真測量・光波測量機器（トータル・ステーションシステム）・手書きによる作図を併用している。

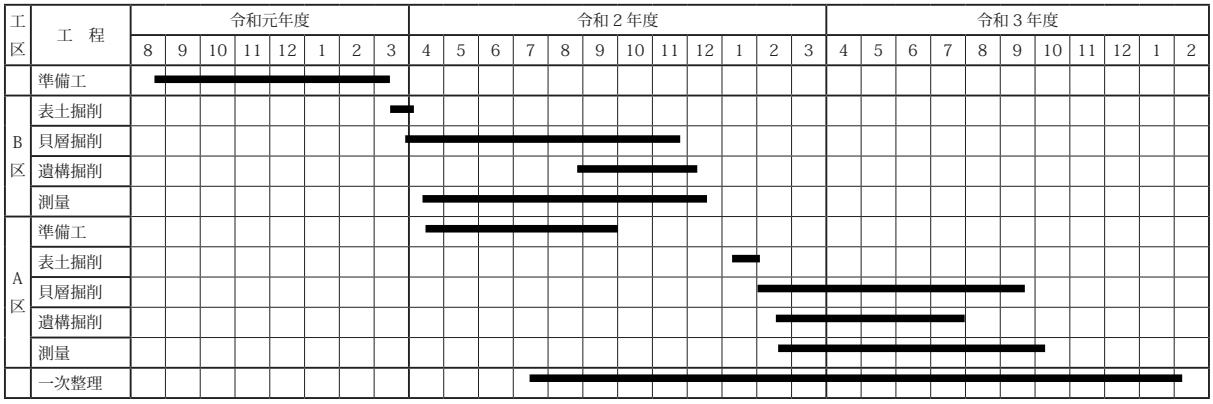
記録保存－写真撮影

記録写真は35mmフィルムカメラによるカラーリバーサルフィルム・白黒フィルム撮影と、一眼レフデジタルカメラを併用して撮影し、全景写真については株式会社リッケイによるオルソ合成写真を作成した。

記録保存－コラムサンプル・土壌サンプルの採取

各トレンチの分層及び土層説明記録後に、トレンチ壁面から50㎝四方のサンプル採取箇所をC1

第1表　発掘調査工程表



～C28まで28箇所設定し、層序・細分層序ごとに貝種組成の分析を行うことを目的としてコラムサンプルを採取している。土壌サンプルは10㎝四方で柱状に最上層から最下層までQ1～Q33までの33箇所設定し、採取を行っている。土壌サンプルは珪藻分析、プラントオパール分析、花粉分析等の分析を行うことを目的として採取した。

2）整理調査

第２表　整理調査工程表

工　程	作業内容	令和３年度					令和４年度										
		11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
遺物整理	貝の分類	■	■	■	■	■				■	■	■	■	■				
	貝の計測						■	■	■									
	貝の台帳の作成	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
	遺物分類								■									
	拓本・実測								■	■								
	トレース									■								
	観察表作成									■								
	版組									■								
	写真撮影										■							
	写真図版										■							
遺構整理	図面修正	■	■	■	■	■	■	■	■									
	図面作成				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
	トレース					■	■	■	■	■	■	■	■	■				
	版組									■	■	■	■	■	■			
	写真整理	■	■	■	■	■												
	写真図版											■	■					
編　集	原稿執筆								■		■	■	■	■	■	■		
	編集													■	■	■		
	校正																■	■
その他	移管作業														■	■		

(1) 一次整理

一次整理は主に貝層のコラムサンプルの洗浄が中心で、層序別に採取したサンプルを袋ごとに乾燥させ、乾燥重量を計測した。計測後、簡易ではあるが遊離選別を行った後、ウォーターセパレーターによって水洗洗浄を行い、洗浄後は乾燥させて、内容物の粗分類を行っている。他にも土器、木杭等の出土遺物の洗浄作業を行っている。

(2) 二次整理

コラムサンプルの分類・計量・計測

採取したコラムサンプル内の貝を種別ごとに分類し、分類後は重量を計測、そしてマガキ・ハマグリ等で左右の判別と大きさが把握できるものについては、それらの記録を行ってデータ化している。

遺物

出土土器・土製品は注記、型式分類後、拓影図・断面実測等を行った。拓影図・断面図はコンピューター上で合成、トレースし図化を行った。石器は手実測した図面をスキャナーで取り込んだ後、トレースを行い図化している。木杭等の木材については、保存処理を目的としてまず常温でポリエチレングリコールによる含浸を行い、その後濃度を上げ、加温しながら含浸させている。報告書に掲載する木杭は、写真実測を行って図化している。図化したものについては種別ごとに遺物図版として作成している。またこれらの遺物については台帳により管理し、掲載遺物については観察表を作成した。

図面

全体図は光波測量機器（トータル・ステーションシステム）により作成されたものを整理・修正、トレースし、個別遺構図面・遺物分布図についても同様に整理・修正、トレースを行っている。貝層堆積状況図は、発掘調査時に写真実測したものと手実測したものを観察記録と合わせて作成し、整理・修正を経てトレースを行った。その後、トレース図を基に遺構図版を作成している。遺構図面は台帳作成を行い、報告書に掲載する遺構のデータについては規模や検出グリッド、土層説明等、遺構観察

表を作成している。

写真

写真は遺構等記録写真の整理、写真台帳の作成を経て、報告書に掲載する遺構写真を抽出し、明度などの調整を経て遺構写真図版を作成した。また、遺物写真は掲載遺物を中心に二次整理作業の中で写真撮影を行い、整理・修正を行った後に遺物写真図版を作成している。

報告書編集

Microsoft Word で作成した調査報告書の原稿と掲載する遺構・遺物のトレース図、写真図版を編集ソフト（Adobe Indesign CC）に貼り付け、文章とともにレイアウトして編集し、印刷業者に入稿した。その後校正作業を経て報告書の刊行となった。

その他

発掘調査の記録類及び作成データ、出土遺物については都教委に移管後、区教委に移譲された。

3　調査の経過

本調査に係わる準備工は令和元年 8 月 23 日に着手し、まず場内整備を行い、その後 9 月 27 日から調査区内における貝層の分布を把握すべくボーリング調査を行っている。ボーリング調査は調査区内を 9 か所、平面的には調査区内を網羅する分布で位置を設定し、約 6 m の深度まで行った。

その結果、ボーリング調査№ 3・5・6・9 から GL-1.8m ～上部貝層が検出され、またボーリング№ 1・3・4・5・6・7・9 から GL-4.5m ～下部貝層が検出された。この結果を受けて、発掘調査の範囲は調査対象地全域、深度は約 5m まで行う必要性が生じた。だが貯留池工事で行う掘削深度は、調査区南側が地盤改良のみのため GL-3.5m までの掘削、北側は貯留池の設置を伴うため掘削深度は GL-5m 以上であった。掘削深度の深い北側を A 区、南側を B 区と呼称し、調査対象深度について都教委と下水道局の間で協議を行った。その結果、A 区はボーリング調査の結果から貝層の堆積が予測される深度である GL-5m まで調査を行うこととし、B 区は地盤改良による影響深度は GL-3.5m であり、地盤改良以外の別工事についても GL-3.5m 以下の層には影響が出ない工法を検討するという事なので、GL-3.5m までの調査となった。その後、調査区の形状と掘削深度に合わせた土留施工の計画と積算、調査及び工程の計画を行い、下水道局と協議・確認を行っている。

土留施工は機材や鋼矢板の搬入後、令和 2 年 2 月 17 日に B 区から開始し、3 月 13 日に B 区の鋼矢板圧入が終了した。B 区の鋼矢板圧入中に、A 区の鋼矢板圧入箇所の事前調査として重機により地中障害物の探査を行ったが、A 区は旧公務員宿舎以前に建てられていた時計工場の地下構造物が、北東隅に GL-2.5m まで残存していたことが明らかとなった。この地下構造物の範囲を確認するために掘削を進めようとしたが、目視により地下水に油の混入が確認されたことから水質検査及び土壌検査の必要が生じた。A 区は検査結果後に地下構造物の範囲確認を行ってから鋼矢板圧入設計及び圧入を行う事になったため、発掘調査は令和 2 年 3 月 16 日より B 区の表土掘削から先行して開始した。

発掘調査にあたっては、調査対象範囲が住宅や保育園・公園などのある閑静な地区であるため、振動や騒音に配慮するとともに、安全対策と合わせ、周辺住宅等に砂塵が飛散しないように調査区および残土をブルーシートで覆う等の対策を徹底した。

調査に伴って排出される残土は埋戻しを行うために仮置し、コンクリートガラ等については適宜搬

出・処分を行った。

B 区の表土掘削開始後、深い部分では GL-2m 前後まで、現代の埋土やコンクリートガラが多量に含まれていたが、部分的に GL-1m 程度で旧耕作土と思われるシルト質土が残っており、それらの土層を残しながら重機によって表土及び攪乱を除去・掘削を行っている。

また遺構及び貝層の確認も同時に行っており、貝層については現代の埋土やコンクリートガラを除去した GL-1.4m の深度で部分的に確認されている。

その後、南北方向にトレンチを３か所設定して掘削し、B 区南側から北側に向けて厚く堆積する貝層の状況を確認した。その層中に破砕貝層が面状に堆積している層序を確認し、この面まで貝層を掘削して当初は 1 面として全景写真の撮影を行った。撮影後は破砕が少ないマガキを多く含む層序まで貝層を掘削し、その面を２面として全景写真撮影を行っている。この面で東西方向にトレンチを設定し、貝層の堆積状況の確認・観察・記録とコラムサンプルを採取した。なお南北・東西トレンチともにコラムサンプルの採取を適宜行っている。

東西トレンチ掘削時に、調査区中央部砂礫層上面から長さ約 3.5 mの大形木材が出土した。加工痕等は不明だが、年代測定により分析したところ、縄文時代中期前半という結果であった。この最下層に近い層から出土した大形木材よりも上層から検出された炭化物等も分析を行ったが、最も新しいもので縄文時代中期後半という結果であったため、このことから B 区では少なくとも縄文時代中期の間は貝塚が形成されていたことが理解される。

また貝層の堆積が薄く、シルト質土が中心でそれに破砕貝が混在する B 区南側中央部付近からは、焼けた破砕貝と炭化物、灰層を含む遺構が 68 基検出された。

以上のような貝層や遺構の調査後、面的に掘り下げを継続し、この大形木材が出土した層位まで下げたところ、この木材よりも南側では砂礫層が検出された。北側では砂礫層が徐々に無くなり、シルト質土中心の層に変化する。このシルト質土からは木材片や堅果類（オニグルミ等）が出土した。また砂礫層上及びシルト質土上からは、打ち込まれた木杭が検出された。この木杭は概ね砂礫層とシルト質土の境界付近に分布し、合計 16 本検出されている。なお、砂礫層上からは人間の頭蓋骨の一部と思われるものが出土している。

これらの木材や遺物を取り上げた後、砂礫層とシルト質土の面を完全に検出し、3 面として 12 月 21 日に全景撮影を行った。

3 面の全景撮影後、下水道局に了承を得た上で砂礫層を除去しながら部分的に深掘りを行い、層序の確認を行った。砂礫層の下層に堆積しているシルト質層の確認を行ったところ、4 箇所で竹が杭状に複数本を一つの単位として打ち込まれている状況が確認された。

層序と竹杭の記録を終了し、B 区の発掘調査は 12 月 25 日に終了した。令和３年 1 月 5 日から埋め戻しを開始し、転圧、切梁の撤去を経て２月 4 日に埋め戻しは終了している。また２月 22 日～25 日で B 区の鋼矢板引抜も完了した。

A 区は前述したように、時計工場の地下構造物の範囲確認を行った後に鋼矢板圧入設計及び圧入を行う事になったため、地下構造物の確認、鋼矢板圧入、地下構造物の撤去等の作業は B 区の発掘調査と並行作業となった。地下構造物の範囲確認は重機によって令和２年 4 月 27 日から開始した。地下構造物の範囲確認中、6 月 3 日に安全に配慮して段掘りを行いながら一部深掘りし、地下構造物の

下部に貝層が堆積している状況を確認している。貝層が遺存していることを受けて、A 区はまず鋼矢板打設部分において先行して地下構造物の撤去を行い、続いて鋼矢板を打設し、その後表土掘削と地下構造物の撤去を行うこととなった。鋼矢板打設部分における地下構造物の撤去は、7 月 29 日から PSP 工法という方法を用いて鋼矢板打設部分の地下構造物を刳り抜く方法で行い、10 月 9 日に終了している。

続いて A 区は鋼矢板の打設作業を 11 月 2 日から開始し、11 月 13 日に終了した。鋼矢板の打設後、11 月 16 日から重機により A 区の地下構造物撤去を開始した。

地下構造物の壁面撤去時には貝層の断面が一部観察され、A 区南側には B 区と繋がる貝層が良好に残っていることが確認された。A 区の中央～北側にかけては地下構造物のコンクリートの下場の深度である GL-3.5m 付近まで攪乱されていた。地下構造物の撤去は令和 3 年 1 月 15 日で終了し、その後、1 月 21 日から A 区南側は旧耕作土まで掘削し、北側は切梁設置に必要深度である GL-2m 前後まで南側の掘削土で一旦埋め戻す作業を行った。A 区南側は旧耕作土から残っている部分が多く、GL-1m 前後で検出されている。従って A 区の表土掘削は南側の旧耕作土までの掘削と北側の切梁設置必要深度までの埋め戻しと並行して行い、2 月 9 日に A 区南側の表土掘削と A 区北側の埋め戻しが終了した。

2 月 10 日から A 区の調査を開始した。表土～貝層までが残っているのは主に A 区南側であるため、切梁設置に要する範囲及び深度まで先行して調査を行った。なお B 区で設置した南北方向のトレンチの軸を A 区に延長させて設定、掘削し層序の観察・確認・記録を行っている。

A 区南側中央・南東側表土直下からは、B 区で多数検出されたものと類似する炭化物と焼けた破砕貝が集中する焚き火址が検出され、まずそれらの遺構を中心に切梁設置予定深度である GL-2 mまで調査を行った。3 月 22 日から切梁設置を開始し、3 月 26 日に切梁の設置は終了した。

切梁設置終了後、4 月 1 日から A 区南側の遺構調査を続行し、一方で A 区北側では小型バックホウにより貝層検出面まで二次掘削を並行して行った。

A 区の遺構調査が終わり、北側の貝層検出面まで掘削終了後、B 区に設置した南北方向のトレンチの軸を A 区に延長させて設定した。なお A 区では焚き火址が 286 基検出され、年代測定の結果からは縄文時代中期後半～後期初頭という結果であった。A 区東側は B 区東側で南北方向のトレンチを設定できなかったため、A1 トレンチとして新たに南北方向に設定して掘削を行っている。他は B 区の B1 トレンチの延長線上に A2 トレンチ、B 区 B3 トレンチの延長線上に A4 トレンチ、B 区 B4 トレンチの延長線上に A5 トレンチとして掘削し、貝層の断面観察・記録を行っている。A 区北側は GL- 約 3.5m まで時計工場の地下構造物により削平を受けていたが、トレンチでの断面観察によりその下部には貝層が遺存しており、A 区最北部では GL-5m の深度まで貝層が検出されている。A 区で貝層が検出された最も高い位置は GL-1.4m であるため、最大で約 3.6m の貝層が堆積していたことが明らかとなった。なお、貝層よりも下層は洪積層である下総層群上泉層（東京層）が検出されている。A 区も B 区と同様に面ごとに掘削・調査を進めたが、A 区で検出された焚き火址が B 区で検出されたものよりも検出レベルが全体的に高いこと、層序が全体的に北に向かって斜行堆積することを鑑みて、A 区の表土直下で検出される遺構群を 1 面とし、細かい破砕貝が面状に堆積する層序を 2 面、B 区の南側で検出された焚き火址及び破砕の少ないマガキ及びハマグリを含む層を 3 面、貝層をすべて掘

り切った面を 4 面として修正している。

A 区では礫層は検出されず、南側の貝層下は砂質のシルト質土が堆積し、それが徐々に中央～北側に向かうにつれて薄くなり、最深部では下総層群上泉層（東京層）が検出されている。

貝層を完掘したこの面を最終面として全景撮影、測量を行い、令和 3 年 10 月 8 日に発掘調査は終了し、翌週の 10 月 12 日から B 区側に仮置きしていた残土を A 区内に埋め戻し、15 日から現場事務所北側に仮置きしている残土を A 区内に埋め戻ししている。10 月 26 日には切梁の高さまで埋め戻しが終了したため、27 日より切梁の撤去を開始した。

切梁の撤去は 10 月 28 日に終了し、11 月 4 日より地下構造物撤去等で不足した残土を外部から搬入し埋め戻しを再開、11 月 29 日に埋め戻しを終了した。そして転圧及び場内整備等を行い、12 月 6 日から鋼矢板の引抜を開始し、鋼矢板引抜は 12 月 10 日に終了している。その後、引抜箇所の埋め戻し及び転圧と場内整備を行い、A 区の作業は 12 月 17 日に全て終了した。

A 区・B 区の調査を終了するにあたっては、現地において、都教委と区教委、下水道局の立会いのもと終了確認を行っている。発掘調査終了を受けて、令和 3 年 12 月 17 日付（3 ス文事埋文第 2302 号）にて終了報告を都教委に提出した。

本調査の埋蔵物発見届及び保管証は、令和 3 年 12 月 17 日付（3 ス文事埋文第 2304 号）にて、発見届については警視庁滝野川警察署長に、保管証については区教委を経由して、東京都教育委員会教育長にそれぞれ提出している。

埋蔵物の文化財認定及び出土品の帰属については、令和 4 年 3 月 15 日（3 教地管埋第 4791 号）にて、東京都教育委員会教育長より東京都埋蔵文化財センター所長宛に通知された。

一次整理は、令和 2 年 7 月 20 日から貝層のコラムサンプルの乾燥→計量→洗浄を開始し継続して行っていたが、令和 4 年 2 月 2 日に終了した。二次整理は、洗浄済サンプルの種別の大分類、貝種の分類作業、図面の整理を令和 3 年 11 月 1 日より現場事務所で行っている。その後令和 4 年 2 月末日で調査現場事務所を撤収し、豊島区北大塚に所在する大塚分室に整理作業事務所を移動して、二次整理作業として洗浄済サンプルの種別の分類、計量、計測並びに遺構測量データの整理と検出遺構の精査、記録写真の整理やデジタル処理、出土遺物の分類と実測、トレースや写真撮影を実施し、それらを栄町貝塚発掘調査報告書としてまとめるために、遺構及び遺物図版の作成や各種観察表の作成、版組み、原稿執筆及び編集を行った。大塚分室での作業は令和 5 年 1 月 31 日まで行った。

出土遺物等の移管については、令和 5 年 2 月 20 日付（4 ス文事埋文第 2454 号）にて東京都教育庁地域教育支援部長に提出した。また、出土した遺物及び写真、図面など各種記録一式について、令和 5 年 2 月 21 日に区教委の立会いのもと、北区飛鳥山博物館及び区教委が管理する群馬県甘楽町収蔵庫に収納された。

Ⅱ　遺跡の位置と環境

1　地理的環境

栄町貝塚（北区 No.51 遺跡）が所在する東京都北区は東京都区部の北東端に位置し、本貝塚は北区の南東部、栄町 5 番地に所在する。北区は、区域が南東から北西に細長く展開し、東側は荒川区、足立区、西側は板橋区、南側は豊島区、文京区、北側は荒川を挟んで埼玉県川口市といったように、6 つの行政区市に接する。北区には武蔵野台地の北東端の台地である本郷台が展開するが、その本郷台の崖線下には東京低地が形成されている。本貝塚はその崖線下の東京低地上で、標高 5m 前後の微高地上に立地する（第 3 図）。

本貝塚の位置する東京低地は、武蔵野台地と下総台地との間に位置する幅広い沖積地である。この地形は、最終氷期極相期に古荒川と古中川が合流した古東京川により浸食された大きな谷地形である。後氷期における有楽町海進最盛期に奥東京湾化した際に、海成層によって埋没した沖積地である。

この東京低地と崖線を介して連続する武蔵野台地は、南を多摩川、北を荒川、東を東京低地により挟まれた東西約 50㎞、南北約 20㎞の広さをもつ洪積台地である。西端の青梅付近を起点に、東へ同心円状の等高線をもって高度を減じながら展開する扇状地形を呈す。この台地内には綾瀬川・黒目川・白子川・石神井川・神田川・目黒川・野川などの河川が流下し、谷を形成している（第 4 図）。

本貝塚は東京低地上の微高地に所在するが、背後には崖線が連なって本郷台が展開し、その標高は 20 ～ 30m 前後を測る。この段丘は古荒川の河床として形成された約 6m に及ぶ関東ローム層が堆積し、地形面は武蔵野 2 面（M2 面）に相当する（第 5 図）。この本郷台は JR 王子駅付近で東へ流れる石神井川により南北に、台地南側の上野台は谷端川によって西側の豊島台と分断されている。

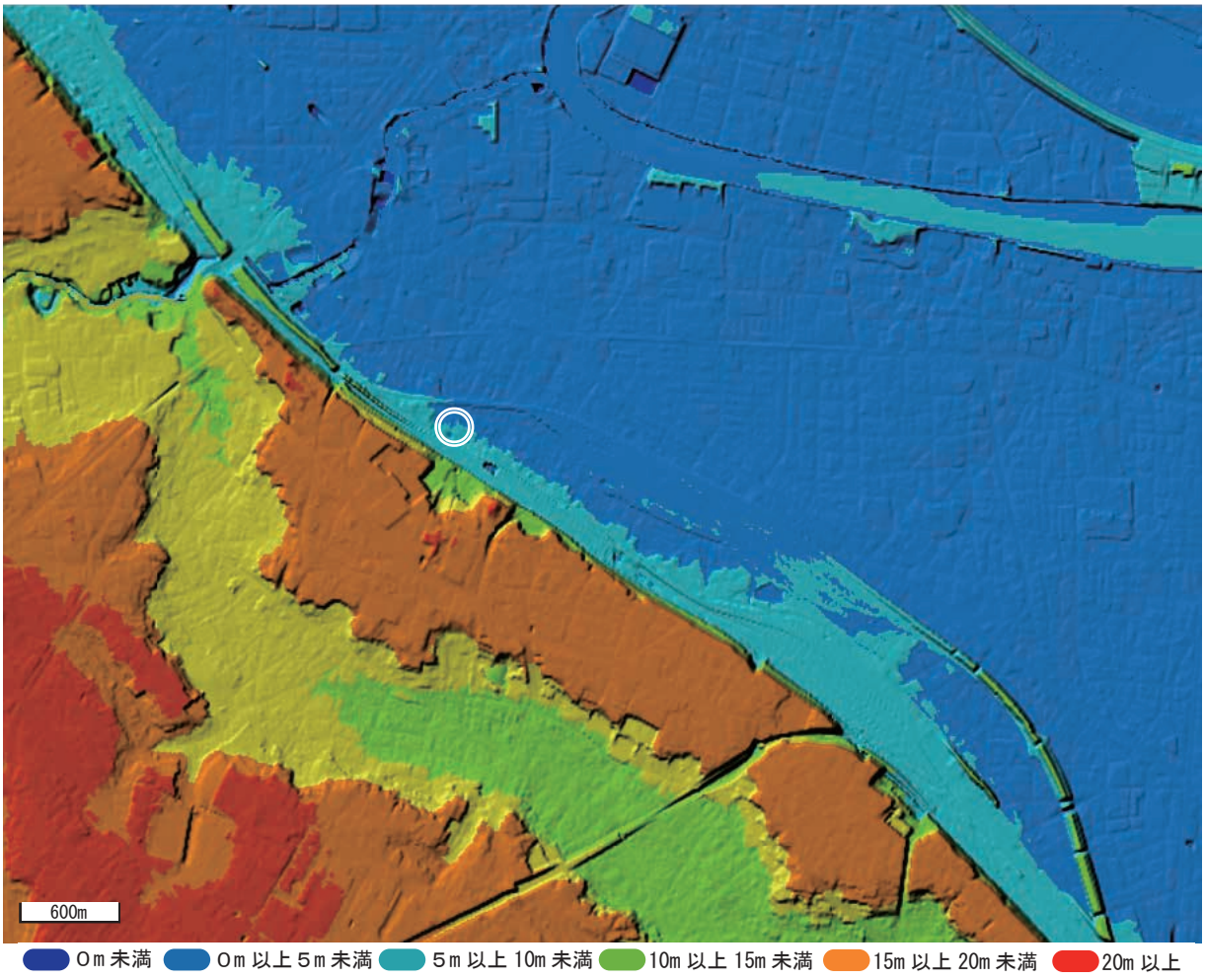
本貝塚と近隣の『中里遺跡Ⅰ』の報告では（東北新幹線中里遺跡調査会 1987）、JR 王子駅東方には飛鳥山微高地、JR 田端駅付近に田端微高地と呼ばれる微高地があることが報告された。田端微高地の形成過程や要因については明らかにされていないが、飛鳥山微高地は武蔵野台地を流下してきた石神井川が東京低地に出る付近に発達していることから、小扇状地のような河成地形と推測されている。この飛鳥山微高地の南東に栄町貝塚は立地する。

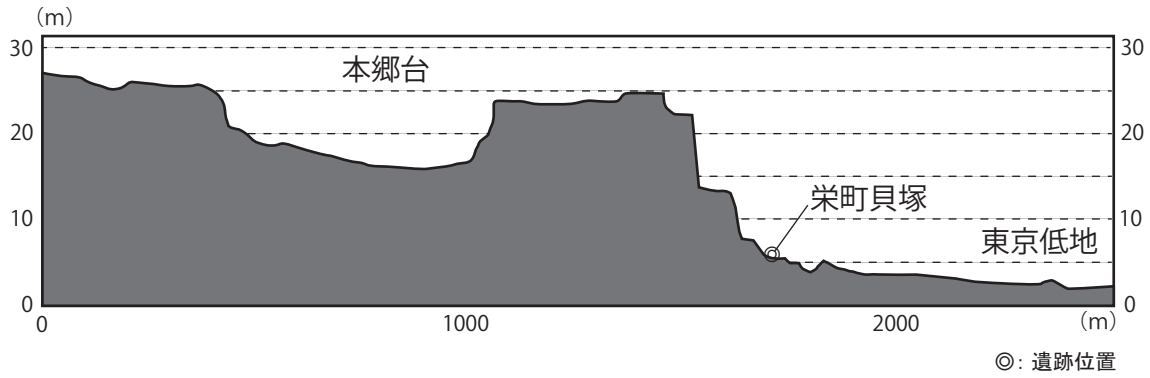
2　歴史的環境

栄町貝塚は今まで調査例がなく、当該地域周辺で触れられてきたのは隣接する中里貝塚である。本貝塚周辺の歴史的環境については中里貝塚の発掘調査報告書（東京都北区教育委員会 2000）及び史跡 中里貝塚総括報告書（東京都北区教育委員会 2018）において詳細が述べられているため、ここでは近世・近代の栄町貝塚・中里貝塚の主な記録や土地利用の在り方について触れていく。

近世

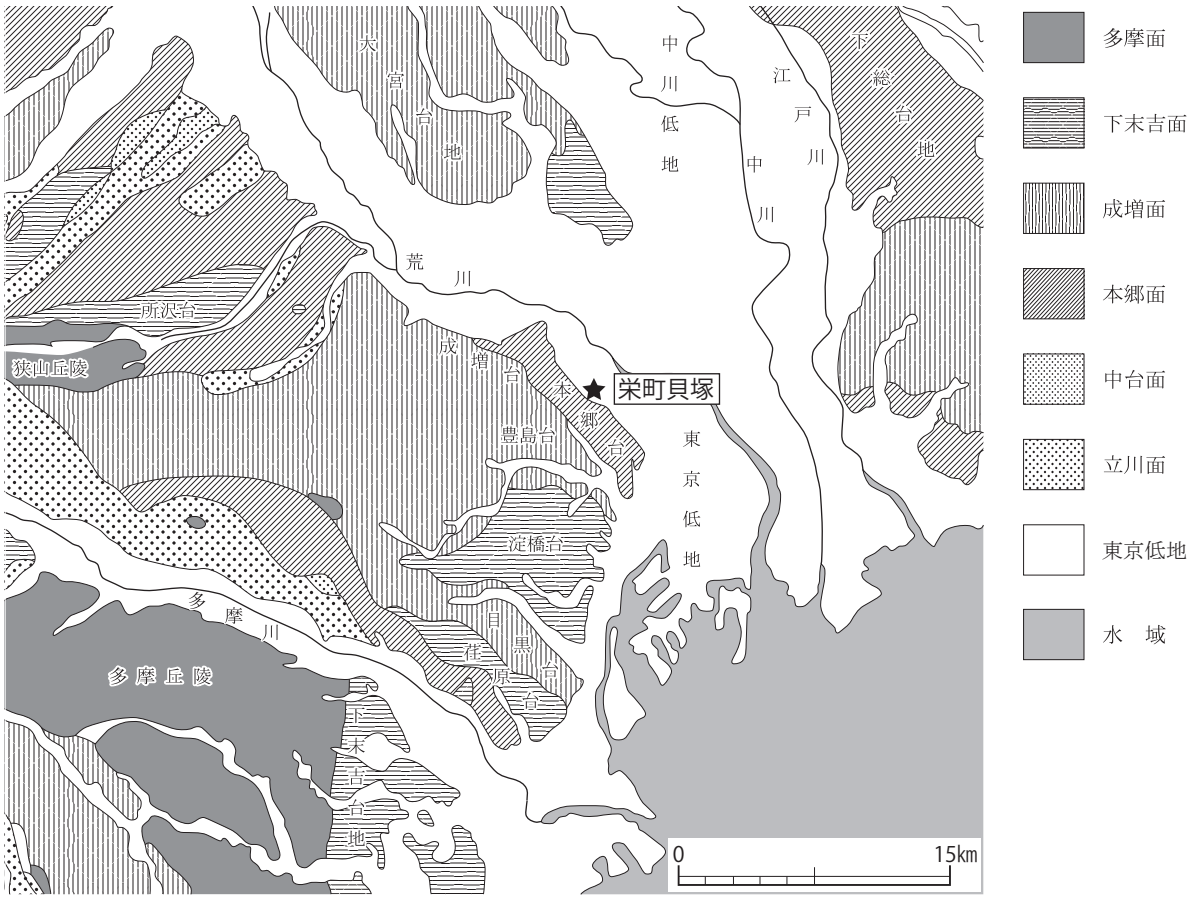
当該時期の栄町貝塚周辺の記録として、江戸時代に作成された西ヶ原村・上中里村・中里村が記されている絵図が残されている。絵図は「御府内場末往還其外沿革図書西ヶ原」（第 6 図）、「武州豊嶋郡上中里村絵図面」（第 7 図）、「武州豊嶋郡瀧野川村・西ヶ原村・上中里村近傍絵図」（第 8 図）で、



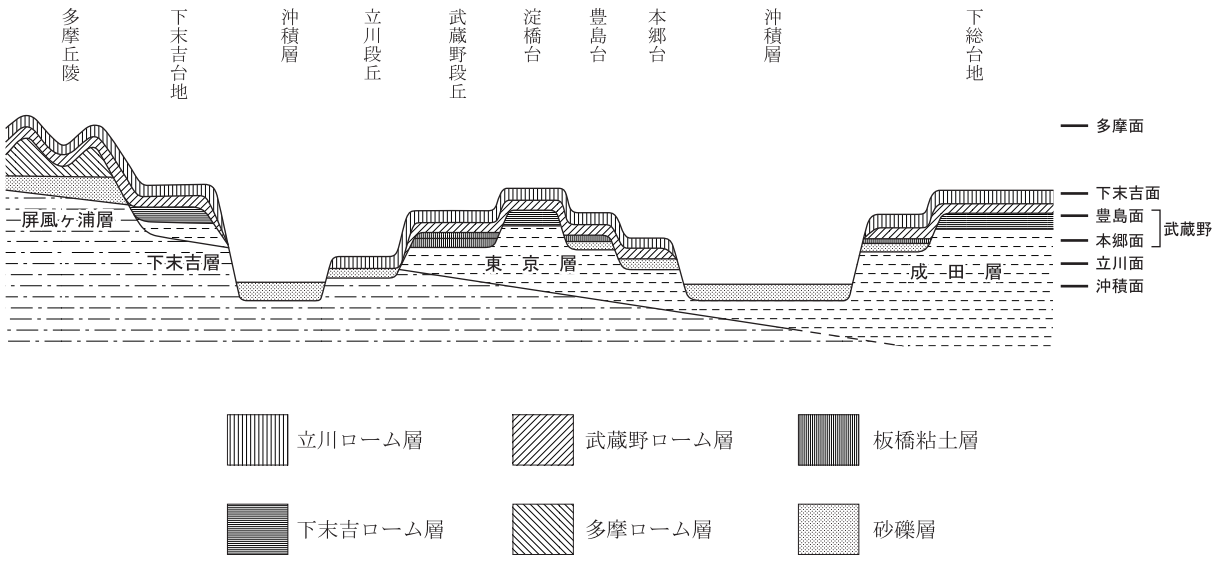


第 3 図　武蔵野台地 標高図・断面図（国土地理院色別標高図をもとに作図）

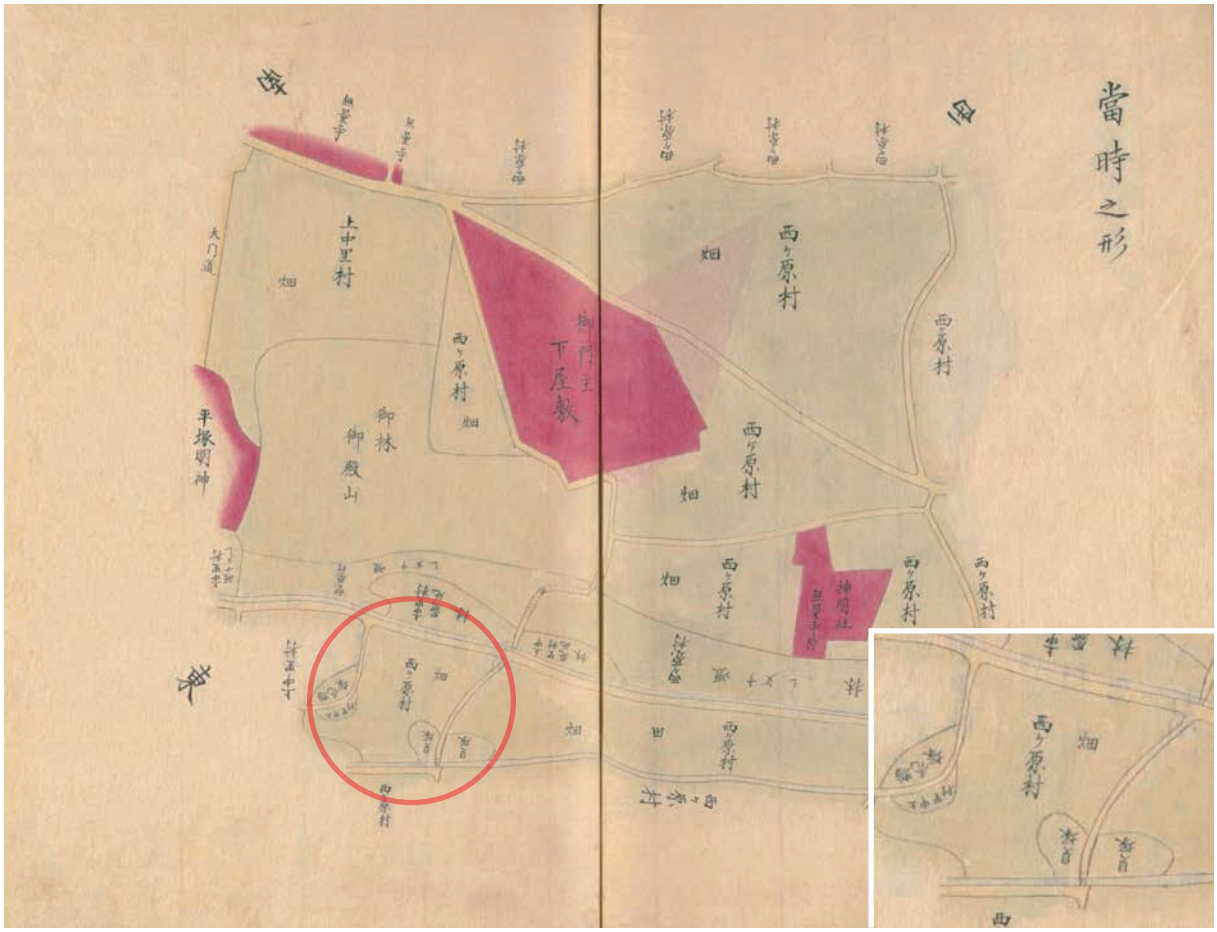
これらの絵図には東に平塚明神（平塚神社）、西に神明社（七社神社）、また「御殿山」の位置が記されており、栄町貝塚の南側に御殿山が所在していた位置関係から、概ね絵図上で栄町貝塚の位置が特定できる。これらの絵図上の栄町貝塚付近には、「貝塚」・「蛎売塚」と表記されており、今回の調査区の東側に「蛎売塚」が所在し、北側に 2 か所の「貝塚」が存在していたものと思われる。上中里駅周辺を含めた他の絵図面である「武州豊嶋郡田端村絵図面」「武州豊嶋郡中里村絵図面」には「蛎殻山」・「蛎売山」・「蛎殻塚」という名称が用いられているが、恐らく同様の意味で用いられ、示され



第 4 図　武蔵野台地 地形区分（『東京の自然史増補第二版』貝塚爽平（1979）より再トレースし、作成）



第 5 図　武蔵野台地 地形区分断面図（「関東ロームの諸問題」関東ローム研究グループ（1956）より再トレースし、作成）



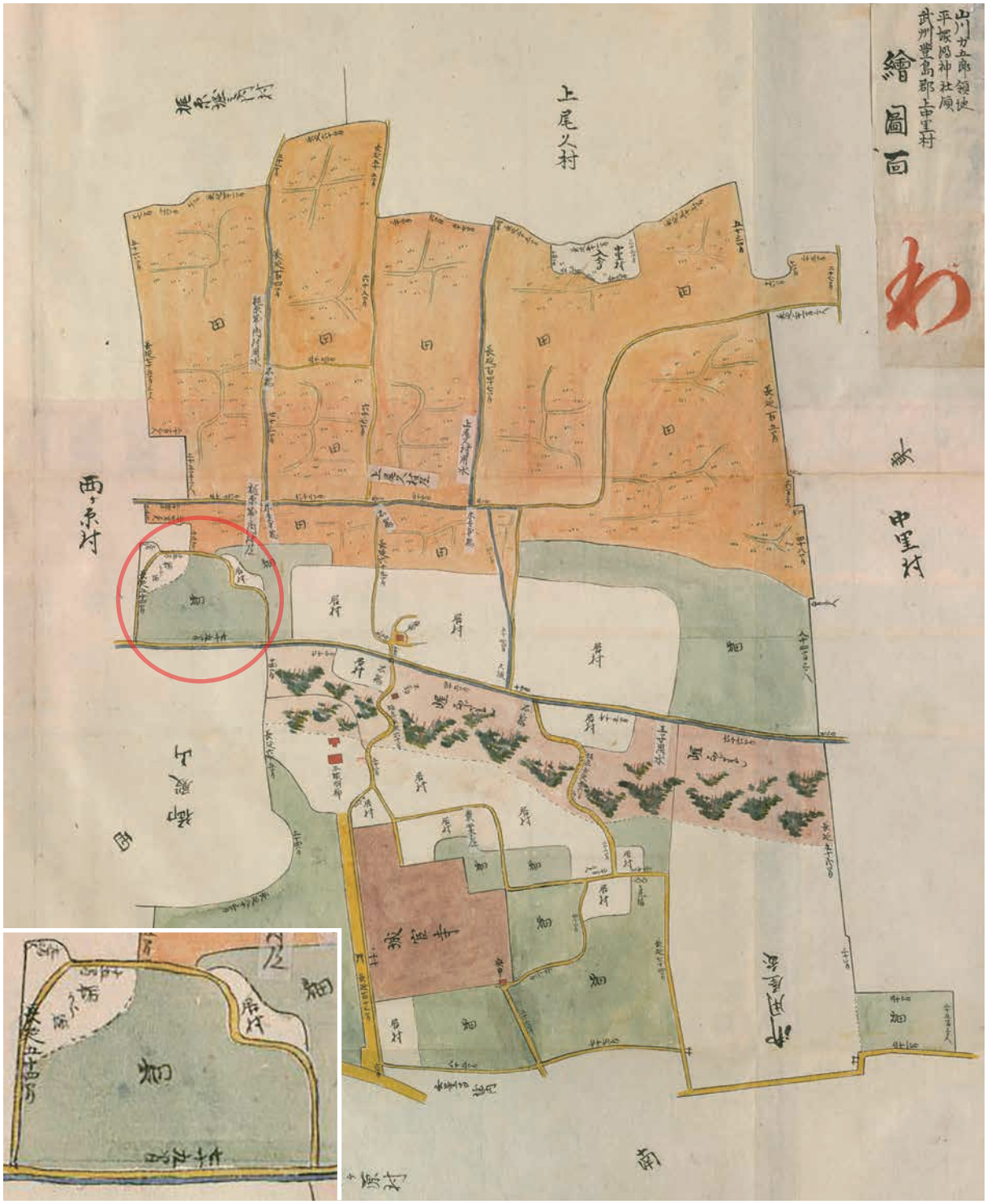
第 6 図　御府内場末往還其外沿革図書西ヶ原（国立国会図書館デジタルコレクションをもとに作図）

ているものと思われる。これらの呼称には「貝」が「塚」状を成していたこと、その「塚」・「山」状を成していた「貝」がカキ（蛎）であること、それ以外にも蛎「売」山、蛎「売」塚とカキ殻を販売していたことが示唆される情報が表記されている。

だが、このカキ殻の「山」や「塚」がどのようにして形成されたものなのか、という疑問は残る。縄文時代に廃棄されて塚状に堆積したものなのか、自然営為により塚状に堆積したものなのか、江戸時代に田畑の開墾・掘削時に出土したものを集積、または商品として出荷するために地中を掘削し積み上げたものなのか、あるいは江戸時代またはそれ以前の時期から採掘ないしは別の意図で掘削されてきて積み上げられたものなのか。これらの問いに対して、今やそれらの巨大な「蛎殻山」は既に存在しないため、明確な答えを用意することは難しい。

明治期

近代に入り、1877 年にエドワード・モースにより大森貝塚が発見、発掘されたことを契機として貝塚研究が活気づく。大森貝塚の調査に参加した佐々木忠次郎は飯島魁と茨城県陸平貝塚の調査を実施した。白井光太郎は、中里貝塚の踏査を行って 1886 年の人類学会報告に「中里村介塚」として報告を行っている（白井 1886）。そこでは近世の部分で江戸志を引用した蛎殻の利用や、「蛎殻山」の規模や遺物について述べ、縄文土器・裏面に渦文（当て具？）を持つ「朝鮮土器」・古代陶器・素焼土器を塚にて採集しているという。また、1884 年 1 月 3 日には人類学会を創設した坪井正五郎とも



第７図　武州豊島郡上中里村絵図面（国立国会図書館デジタルコレクションをもとに作図）

中里貝塚に出向いて遺物の採集を行っている。白井は通常の貝塚においては稀な「朝鮮土器」が、中里貝塚では「朝鮮土器」と縄文土器の比率が７：３である点、石斧、石鏃が発見されない点で他の貝塚とは異なることを指摘している。中里貝塚付近は近代には貝の採掘→貝焼→石灰製造が行われていたという記述があるが、これに従事していた人、「貝焼人」に聞き取りを行い、そこでは鉄鏃と刀剣、小柄を掘り出したことがあるという話を聞きだしているが、実物の実見は叶わなかったようである。

上中里村
畑
畑
無量寺
西ノ原村
上中里村
御林
上中里村
西ノ原村
上中
上中里村
上中里村
西ノ原村
西ノ原村
西ノ原

層序について触れ、約 180cm 程の「土壌ト貝殻ノ屑片トヲ混スル後世ノ層」、次に約 120cm の「木炭片ヲ混スル牡蠣層」、その下に「蛤及ビ木炭ヲ有スル暗青色泥土」が観察され「牡蠣層」からは「貝塚土器」の出土が見られ、中里貝塚が人為的な貝塚であることを提言、結論付けている（佐藤・鳥居 1896）。

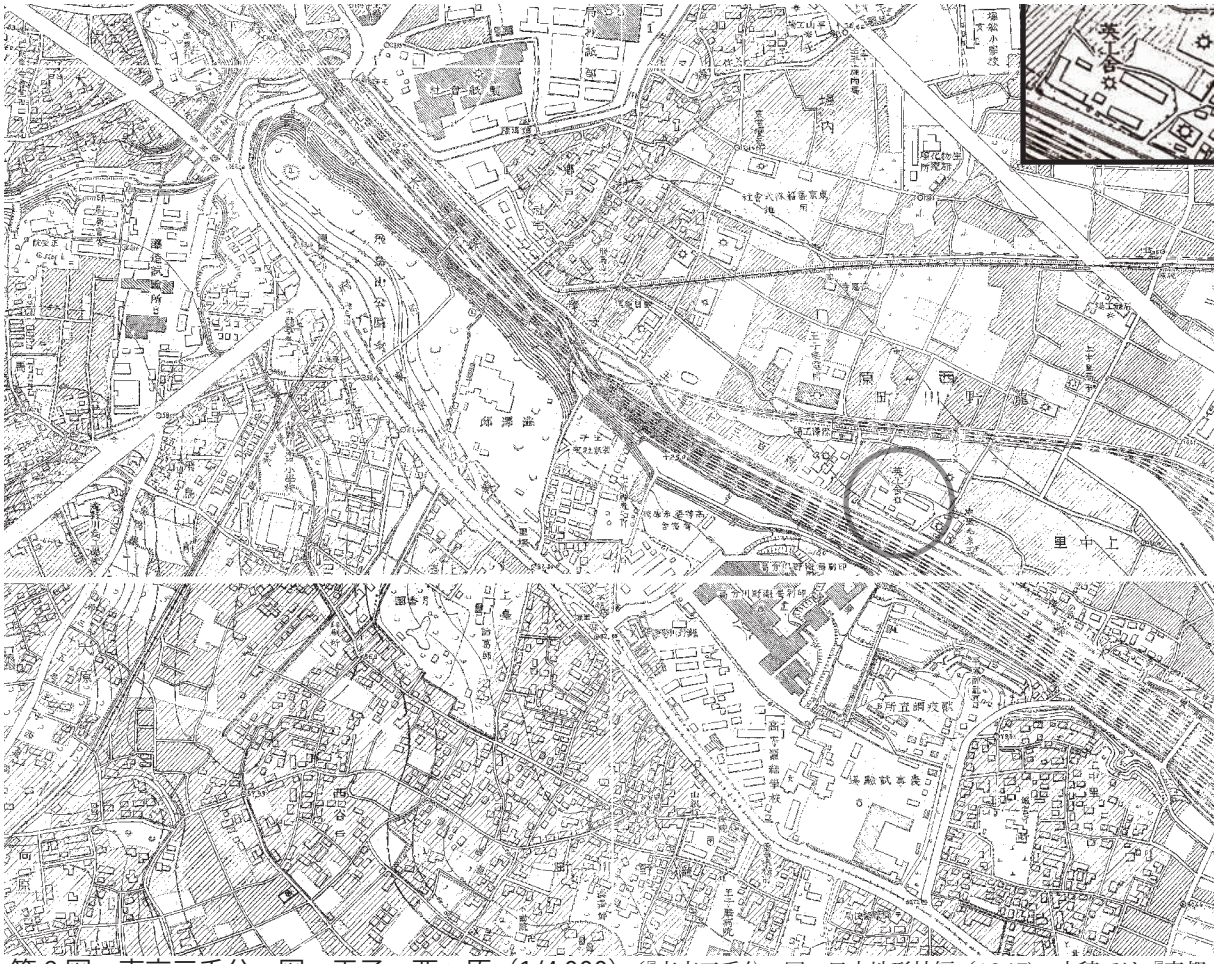
佐藤・鳥居らは中里貝塚の「塚」自体の調査は行っていないようだが、当時「蛎殻山」・「蛎売山」、「貝焼場」としての利用により、塚状に堆積したカキ殻が日々消費されて地形が著しく改変されていたため、調査、言及できなかった可能性もある。だが「朝鮮土器」や円筒埴輪の出土や、金属器等の発見の証言、低地に根岸字貝塚、袋町貝塚の上に古墳が形成されていたことについて言及されている等から、中里貝塚周辺で形成されていた「塚」が古墳であった可能性を指摘していたのかもしれない。それらが後世に「蛎殻山」・「蛎売山」、「貝焼場」として利用されていたとも考えられるが、それらの「塚」が古墳ではなくても、周辺に築造されていたに古墳から遺物が流入、混入した可能性はあるだろう。

明治期における栄町貝塚の記録は残されておらず、研究の中心は中里貝塚であるが、栄町貝塚の周辺にも絵図に「貝塚」・「蛎売塚」が記され、塚状のものが点在していた記録と塚が現存していない現況を鑑みると、栄町貝塚は中里貝塚と同様の在り方や利用により、塚が消費された状況を想起させる。

大正・昭和

大正時代に入ると 1924（大正 13）年、栄町貝塚調査地点には株式会社鶴巻時計店英工舎が造られた（第 9 図）。この英工舎は、鶴巻栄松が 1916（大正 5）年に創業し、1919（大正 8）年から卸売だけでなく時計を製造し始め、1924（大正 13）年に王子滝野川、今回調査地点の栄町 5 番地に本社を設置した。他に鴻巣、北本宿、秩父、桐生、朝霞、赤羽に工場及び営業所があったという。「東京三千分一図」の王子・西ヶ原には当該地に「英工舎」と記載が見られる。戦時中は分散疎開のため、滝野川英工舎は一時赤羽に異動したが、1947（昭和 22）年には再開して置時計ケースを製作していた。だが 1949（昭和 24）年に戦後インフレを治めるべくドッジライン政策が実施され、市場の機能が改善され単一為替レートによって日本市場が国際市場へと復帰することが出来た半面、デフレーションが進行し、労働者の失業や企業の倒産が増えた。この時 50 社以上存在していた時計メーカーも半数以上が倒産・事業撤退に追い込まれ、この中に英工舎も含まれていたという。だが、桐生工場は（株）桐生英工舎として 1951（昭和 26）年に精密小型モーターの製造に転換し、秩父工場はキヤノンの下請けから 1954（昭和 29）年には（株）秩父英工舎を設立、その後（株）キヤノンが株式を全て取得し、併合された。赤羽工場は日産車向けの自動車用計器製作が中心になり、1956（昭和 31）年に日産に買収されて日産の全額出資のもと関東精器が設立され、ここで英工舎の名前は途絶えている（註 1）。滝野川英工舎は 1966（昭和 41）年の国土地理院による航空写真ではその建物が確認されるが、1971（昭和 46）年の航空写真では東京国税局上中里寮が建てられている状況が確認される。この 5 年間に滝野川英工舎が解体され、国税局上中里寮が建てられたことが理解されるが、滝野川英工舎がいつまで稼働していたのかは定かではない。

一方、中里貝塚では 1957（昭和 32）年、和島誠一により東京都の沖積地の陸化の過程を探ることを目的として発掘調査が行われている（和島 1960）。地表面から約 3m まで掘削し、10 層まで分層して層序の観察・記録がなされた。ここでも表土直下の混貝土層である 2 層からは埴輪片が出土している。だが 3 層以下は貝層で、ハマグリ中心の層、マガキ中心の層、炭化物が薄く堆積する層等



第９図　東京三千分一図　王子・西ヶ原（1/4,000）（『東京三千分一図』日本地形社編（1947）。本稿では『帝都地形図』第１集 之潮（2005）を使用し加工した。）

があり、５層とされたカキ主体の層からは縄文土器が２片出土している。６層までは灰や炭化物を含むため、人為的な貝層として捉えられたとするが、人為的な痕跡が乏しい７層～ 10 層については土中の有孔虫を分析し、それらが洪積層のものではないことやハマグリの生育環境等を鑑みて、自然科学的分析や環境からのアプローチによりこれらの層序も人為的な貝層であると結論付けている。このように古くから注目されてきた中里貝塚の研究成果は、近年における縄文時代の「ハマ貝塚」として位置付け（阿部 1997）や調査へと繋がり、それが縄文時代の生業活動に新たな視点を加えることとなった。その研究成果や視点は中里貝塚に近接し、類似した立地である栄町貝塚の在り方を捉えていく上で、非常に重要な研究が紡がれていたと思われる。

註１ TIMEKEEPER 古時計どっとコム（http://www.kodokei.com/index.shtml）参照及び管理人ご教示による。

３　周辺の遺跡

栄町貝塚は、武蔵野台地北東端にあたる本郷台の崖線下の微高地上に位置する遺跡である。この東京低地側の崖線下において確認された遺跡は、本遺跡と中里遺跡のみであるが、本郷台から上野台にかけての台地上一帯では、旧石器時代から近世にかけて、数多くの遺跡が確認されている。ここではまず東京低地および十条台・上野台に立地する旧石器時代から中世まで各時代別に概観し、次に栄町

貝塚周辺に所在する縄文時代の貝塚について触れていきたい（第 10 図・第 3 表）。

旧石器時代の遺跡は、十条台では加賀一丁目遺跡（板 112）・十条台遺跡（北 19）、上野台北部では西ヶ原遺跡群（北 27）飛鳥山遺跡・田端町遺跡（北 31）が挙げられる。

縄文時代草創期は、十条台では十条久保遺跡（北 47）、上野台北部では西ヶ原群（北 27）西ヶ原貝塚が挙げられ、有舌尖頭器が出土している。

早期の遺跡は、十条台では清水坂遺跡（北 18）、上野台北部では、西ヶ原遺跡群（北 27）の飛鳥山遺跡・田端西台通遺跡（北 41）・東谷戸遺跡（北 44）、染井遺跡（豊 5）、崖線下の低地では中里遺跡（北 30）が挙げられる。

前期の遺跡は、赤羽台地周辺では大六天遺跡（北 12）、十条台では、清水坂遺跡（北 18）・十条台（遺跡？）群（北 19）（宿遺跡・亀山遺跡）、上野台北部では、西ヶ原遺跡群（北 27）（飛鳥山遺跡・御殿前遺跡・七社神社前遺跡・西ヶ原貝塚）・田端町遺跡（北 31）・田端不動坂遺跡（北 32）・田端西台通遺跡（北 41）、崖線下の低地では中里遺跡（北 30）が挙げられる。西ヶ原遺跡群（飛鳥山遺跡・御殿前遺跡・西ヶ原貝塚）では、前期前半（関山・黒浜式期）から前期後半（諸磯式）の住居跡が検出されており、また七社神社前では、前期後半（諸磯式期）の拠点集落の存在が確認されている。

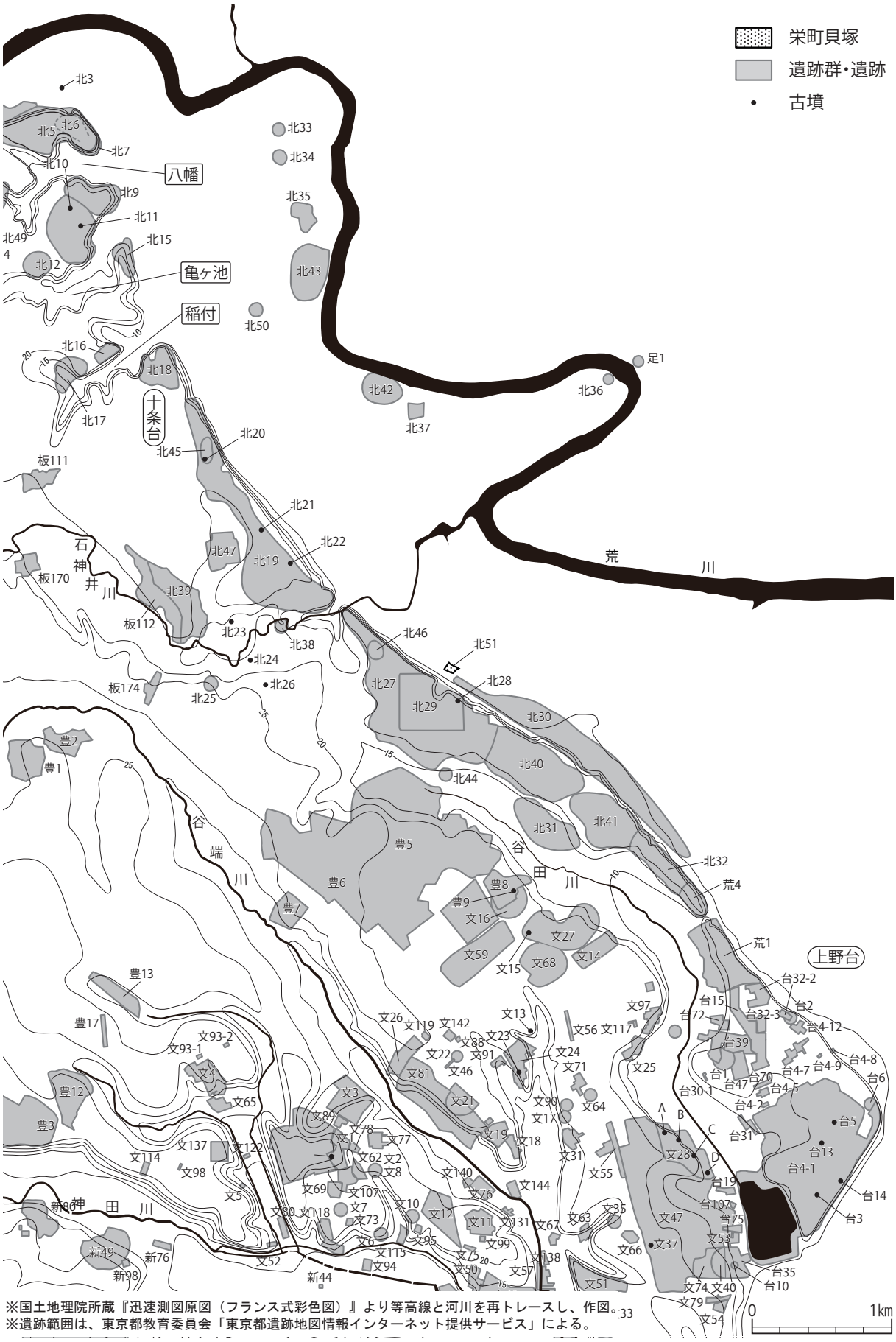
中期の遺跡は、十条台では十条台遺跡群（北 19）南橋遺跡・十条久保遺跡（北 47）、上野台北部では、西ヶ原遺跡群（北 27）・田端町遺跡（北 31）・中里峡上遺跡（北 40）・田端西台通遺跡（北 41）・東谷戸遺跡（北 44）が挙げられる。一方、崖線下の低地では中里遺跡・貝塚（北 30）・栄町貝塚（北 51）など、大規模な貝塚形成が認められる。中里貝塚では最大 4.5m の厚さを測るマガキ・ハマグリを中心とした貝層が検出され、大規模な貝の加工場と推定されている。栄町貝塚でも最大 3.6m の厚さを測る、マガキ・ハマグリを中心とした貝層が検出されている。台地上では、上野台北部の東谷戸遺跡と中里峡上遺跡に中期後半の住居跡、西ヶ原遺跡群より中期の住居跡と貝塚が確認されている。

後期の遺跡は、十条台では、十条台遺跡群（北 19）（南橋遺跡）・十条久保遺跡（北 47）、上野台北部では、西ヶ原遺跡群（北 27）（飛鳥山遺跡・御殿前遺跡・七社神社前遺跡・七社神社裏遺跡・西ヶ原貝塚）・東谷戸遺跡（北 44）・中里峡上遺跡（北 40）・田端不動坂遺跡（北 32）、崖線下の低地では、中里貝塚（北 30）が挙げられる。学史上著名な西ヶ原貝塚は馬蹄形を呈す貝層が形成された貝塚であり、後期の集落が確認されている。

晩期の遺跡は、上野台北部では、西ヶ原遺跡群（北 27）（飛鳥山遺跡・御殿前遺跡・西ヶ原貝塚）、崖線下の低地では、中里貝塚（北 30）が認められる。

弥生時代前期の遺跡は、十条台及び上野台北部では発見されていない。中期の遺跡は、十条台では、十条台遺跡群（北 19）（亀山遺跡）において環濠集落が、上野台北部では、西ヶ原遺跡群（北 27）の飛鳥山遺跡から環濠集落、御殿前遺跡では方形周溝墓が検出されている。後期の遺跡は、赤羽台遺跡（北 5）で環濠集落、田端西台通遺跡（北 41）では、方形周溝墓が発見されている。

古墳時代初頭の遺跡は、上野台北部では西ヶ原遺跡群（北 27）（飛鳥山遺跡・御殿前遺跡・七社神社前遺跡・七社神社裏遺跡）・田端西台通遺跡（北 41）からは集落が、田端不動坂遺跡（北 32）・豊島馬場遺跡（北 42）では集落と方形周溝墓が確認されている。中期の遺跡は、十条台遺跡群（北 19）南橋遺跡で集落が発見されている。低地では、遺構を伴う遺跡は認められないが、都民ゴルフ場遺跡（北 36）、宮堀北遺跡（北 43）より遺物が出土している。後期の遺跡は、十条台では小型の



※国土地理院所蔵『迅速測図原図（フランス式彩色図）』より等高線と河川を再トレースし、作図。
※遺跡範囲は、東京都教育委員会「東京都遺跡地図情報インターネット提供サービス」による。

第 10 図　周辺の遺跡（1/40,000）

群集墳である飛鳥山古墳群（北 46）・甲冑塚古墳（北 28）・田端西台通遺跡（北 41）が、集落は、台地上では十条台群（北 19）南橋遺跡、低地では、宮堀北遺跡（北 43）が確認されている。

奈良時代の遺跡は上野台では西ヶ原遺跡群（北 27）・中里峡上遺跡（北 40）・田端町遺跡（北 31）・田端西台通遺跡（北 41）・田端不動坂遺跡（北 32）で集落が認められ、また武蔵豊島群衙跡が西ヶ原遺跡群（御殿山遺跡）に重複する形で継続することが確認されている。十条台では、集落以外にも横穴墓が十条台小学校横穴墓（北 21）発見されている。低地に形成される飛鳥山微高地では中里遺跡（北 30）で集落が検出されている。

平安時代の遺跡は、十条台北側では、十条台遺跡群（北 19）（南橋遺跡・宿遺跡）・十条久保遺跡（北 47）、上野台では、西ヶ原遺跡群（北 27）（飛鳥山遺跡・御殿前遺跡・七社神社前遺跡）・田端町遺跡（北 31）・田端不動坂遺跡（北 32）・中里峡上遺跡（北 40）・田端西台通遺跡（北 41）で集落が確認されている。低地に形成される飛鳥山微高地では中里遺跡（北 30）で集落が検出されている。中世の遺跡は、上野台では西ヶ原遺跡群（北 27）（飛鳥山遺跡・御殿前遺跡）・田端町遺跡（北 31）・田端不動坂遺跡（北 32）・中里峡上遺跡（北 40）・田端西台通遺跡（北 41）・東谷戸遺跡（北 44）が挙げられる。十条台北部に所在する十条久保（北 47）では、鎌倉街道中ツ道の道路跡が検出されている。

次に栄町貝塚周辺の縄文時代の貝塚について概略を触れておく。十条台では、北区内最古の貝塚である清水坂遺跡（北 18）が挙げられ、前期（花積下層式期）の地点貝塚である。上野台北部では、前期（関山式期）の環状集落内の覆土より貝層が検出された地点貝塚である飛鳥山公園内貝塚（北 27）、田端西台通遺跡田端五町目 5 番地点では、黒浜式期の地点貝塚が確認されている。諸磯式期の住居が検出された七社神社前遺跡では、土坑内より貝ブロックが検出された。中期の地点貝塚である七社神社裏貝塚（北 27）（勝坂式期）・大蔵省印刷局内貝塚（北 27）（加曽利 E1 式期）、中期～晩期の馬蹄形貝塚である西ヶ原貝塚（北 27）、後期の地点貝塚である滝野川八幡神社裏貝塚（北 25）が挙げられる。七社神社裏貝塚では勝坂式期の住居跡より、ヤマトシジミ主体としたマガキ・ハマグリを交えた貝層が検出された。西ヶ原貝塚は、後期の集落内に馬蹄形を呈す貝層の堆積が確認されたムラ貝塚である。また谷端川を挟んだ反対側には、中期～晩期の遺物が出土している氷川神社裏貝塚（豊 1）、中期～後期の貝層が検出された大塚三丁目遺跡（文 3）、上野台南部では中期の地点貝塚である動坂遺跡（文 14）、中期～後期の地点貝塚である領玄寺貝塚（台 1）、後期の地点貝塚である延命院貝塚（荒 1）・天王寺貝塚（台 2）・新坂貝塚（台 6）が挙げられる。崖線下の東京低地では、中期～後期のハマ貝塚である中里貝塚（北 30）と栄町貝塚（北 51）が挙げられる。中里貝塚では、大規模な貝層の堆積状況と、それに伴う加工場としての利用痕跡が確認されている。また荒川低地では、微高地上に立地する袋低地遺跡（北 4）が確認されている。

第 3 表　北区栄町貝塚 周辺の遺跡（1）

区　名	番　号	遺跡名	種　別	立　地	時　代
足立区	1	都民ゴルフ場遺跡	包蔵地	低地	弥生 / 古墳
荒川区	1	諏訪台・日暮里延命院貝塚遺跡群	包蔵地・貝塚	台地縁辺	縄文（後期～晩期）
荒川区	4	道灌山遺跡	集落	台地縁辺	旧石器 / 縄文（前期～後期）/ 弥生 / 奈良 / 平安 / 中世 / 近世
板橋区	105	小豆沢東原／小豆沢宮ノ前遺跡	集落	台地	縄文（後期）/ 弥生 / 古墳 / 奈良 / 平安
板橋区	110	根村遺跡	包蔵地	台地	縄文
板橋区	111	稲荷台遺跡	包蔵地	台地	縄文（早期・後期）
板橋区	112	加賀一丁目遺跡	集落　包蔵地　屋敷　その他（陸軍板橋火薬製造所跡、庭園）	台地	旧石器 / 縄文 (早・前)/ 弥生 / 古墳 / 奈良 / 近世 / その他（近代）
板橋区	170	仲宿遺跡	包蔵地	台地	縄文（早期）/ 古墳 / 中世 / 近世
板橋区	174	山之上遺跡	集落	台地	縄文（中期）/ 近世
北区	3	堂山横穴墓	横穴墓	台地斜面	古墳 / 奈良
北区	4	袋低地遺跡	包蔵地・貝塚	低地微高地	縄文 / 弥生 / 古墳 / 奈良 / 平安 / 中世 / 近世
北区	5	赤羽台遺跡	集落	台地縁辺	旧石器 / 縄文 / 弥生 / 古墳 / 奈良 / 平安 / 中世 / 近世
北区	6	赤羽台古墳群	古墳	台地縁辺	古墳
北区	7	赤羽台横穴墓群	横穴墓	台地斜面	奈良
北区	8	桐ヶ丘遺跡	集落	台地縁辺	旧石器 / 縄文（早期・中期～後期）/ 弥生 / 古墳 / 奈良 / 平安
北区	9	赤羽上ノ台遺跡	集落	台地縁辺	縄文（早期）/ 弥生 / 奈良 / 平安
北区	10	ミタマ古墳	古墳	台地	古墳
北区	11	天王塚古墳	古墳	台地	古墳
北区	12	大六天遺跡	集落跡	台地縁辺	旧石器 / 縄文（前期）/ 平安 / 近世
北区	13	島下遺跡	包蔵地	台地	縄文（早期・後期）/ 弥生
北区	14	大塚古墳	古墳	台地	古墳
北区	15	稲付城跡	集落・城館	台地縁辺	古墳 / 奈良 / 中世
北区	16	稲付公園遺跡	集落	台地縁辺	古墳
北区	17	梅ノ木遺跡	包蔵地	谷	縄文 / 弥生
北区	18	清水坂遺跡	集落・貝塚	台地縁辺	縄文（早期～前期）/ 弥生
北区	19	十条台遺跡群	集落・その他の墓	台地縁辺	旧石器 / 縄文 / 弥生 / 古墳 / 奈良 / 平安 / 近世
北区	20	富士塚古墳	古墳	台地縁辺	古墳
北区	21	十条台小学校横穴墓	横穴墓	台地斜面	奈良
北区	22	王子稲荷裏古墳	古墳	台地縁辺	古墳
北区	23	北区№ 23 遺跡	古銭出土地	台地・谷	中世
北区	24	四本木稲荷古墳	古墳	台地・谷	古墳
北区	25	滝野川八幡社裏貝塚	貝塚・集落	台地斜面	縄文（後期～晩期）/ 古墳
北区	26	滝野川古墳	古墳	台地	古墳
北区	27	西ヶ原遺跡群	集落・貝塚・その他の墓・城館	台地	旧石器 / 縄文 / 弥生 / 古墳 / 奈良 / 平安 / 中世 / 近世
北区	28	甲冑塚古墳	古墳	台地	古墳
北区	29	武蔵国豊島郡衙跡	官衙	台地	古墳 / 奈良 / 平安
北区	30	中里遺跡	包蔵地・貝塚	低地微高地	縄文（早期～後期）/ 弥生 / 古墳 / 奈良 / 平安 / 中世 / 近世
北区	31	田端町遺跡	集落	台地斜面	旧石器 / 縄文（前期・中期）/ 弥生 / 古墳 / 奈良 / 平安 / 中世 / 近世
北区	32	田端不動坂遺跡	集落	台地縁辺	縄文（前期）/ 弥生（中期～後期）/ 古墳 / 奈良 / 平安 / 中世 / 近世 / 近代
北区	33	熊野神社北方遺跡	包蔵地	低地微高地	弥生
北区	34	熊野神社遺跡	包蔵地	低地微高地	弥生
北区	35	志茂遺跡	集落	低地	弥生 / 古墳 / 奈良 / 平安
北区	36	都民ゴルフ場遺跡	包蔵地	低地微高地	古墳
北区	37	豊島清光館跡	城館	低地	中世
北区	38	滝野川城跡	城館	台地縁辺	中世
北区	39	下十条遺跡	集落	台地縁辺	縄文 / 古墳 / 奈良 / 平安 / 中世 / 近世
北区	40	中里峡上遺跡	集落・貝塚	台地	縄文 / 弥生 / 古墳 / 奈良 / 平安 / 近世
北区	41-2	田端西台通 1 号古墳	古墳	台地	古墳
北区	41-3	田端西台通 2 号古墳	古墳	台地	古墳
北区	41-4	田端西台通 3 号古墳	古墳	台地	古墳
北区	41-5	田端西台通 4 号古墳	古墳	台地	古墳
北区	41	田端西台通遺跡	集落・貝塚・古墳	台地	縄文 / 弥生 / 古墳 / 奈良 / 平安 / 中世 / 近世
北区	42	豊島馬場遺跡	集落	低地	弥生（後期）/ 古墳 / 奈良 / 平安 / 中世 / 近世
北区	43	宮堀北遺跡	包蔵地	低地	古墳 / 奈良 / 平安
北区	44	東谷戸遺跡	集落	谷	縄文（早期・中期～後期）/ 弥生 / 近世
北区	45	十条台古墳群	古墳群	台地	古墳
北区	46	飛鳥山古墳群	古墳群	台地	古墳
北区	47	十条久保遺跡	集落	台地・谷	縄文（後期）/ 弥生（後期）/ 奈良 / 平安 / 中世 / 近世
北区	48	袋西浦遺跡	包蔵地	低地	縄文（中期）/ 古墳 / 中世 / 近世
北区	49	道合遺跡	集落	台地	縄文（早期～前期・後期）/ 弥生 / 古墳 / 奈良 / 平安 / 近世
北区	50	神谷遺跡	包蔵地	低地	縄文 / 平安 / 近世
北区	51	栄町貝塚	貝塚	低地微高地	縄文
台東区	1	領玄寺貝塚	包蔵地・貝塚	台地縁辺	縄文（中期～後期）/ 近世
台東区	2	天王寺貝塚	包蔵地・貝塚	台地縁辺	縄文（後期）/ 古墳
台東区	3	摺鉢山古墳	古墳	台地縁辺	古墳
台東区	4-1	上野忍岡遺跡群	包蔵地・集落・社寺・屋敷・その他の墓・その他（花卉園）	台地	旧石器 / 縄文（早期～晩期）/ 弥生（後期）/ 古墳 / 奈良 / 平安 / 中世 / 近世 / 近代
台東区	4-5	上野忍岡遺跡群	包蔵地・集落・貝塚・社寺	台地	旧石器 / 縄文 / 古墳 / 奈良 / 平安 / 中世 / 近世
台東区	4-7	上野忍岡遺跡群	包蔵地・集落・社寺	台地	縄文 / 弥生 / 古墳 / 奈良 / 平安 / 近世

第 4 表　北区栄町貝塚 周辺の遺跡（2）

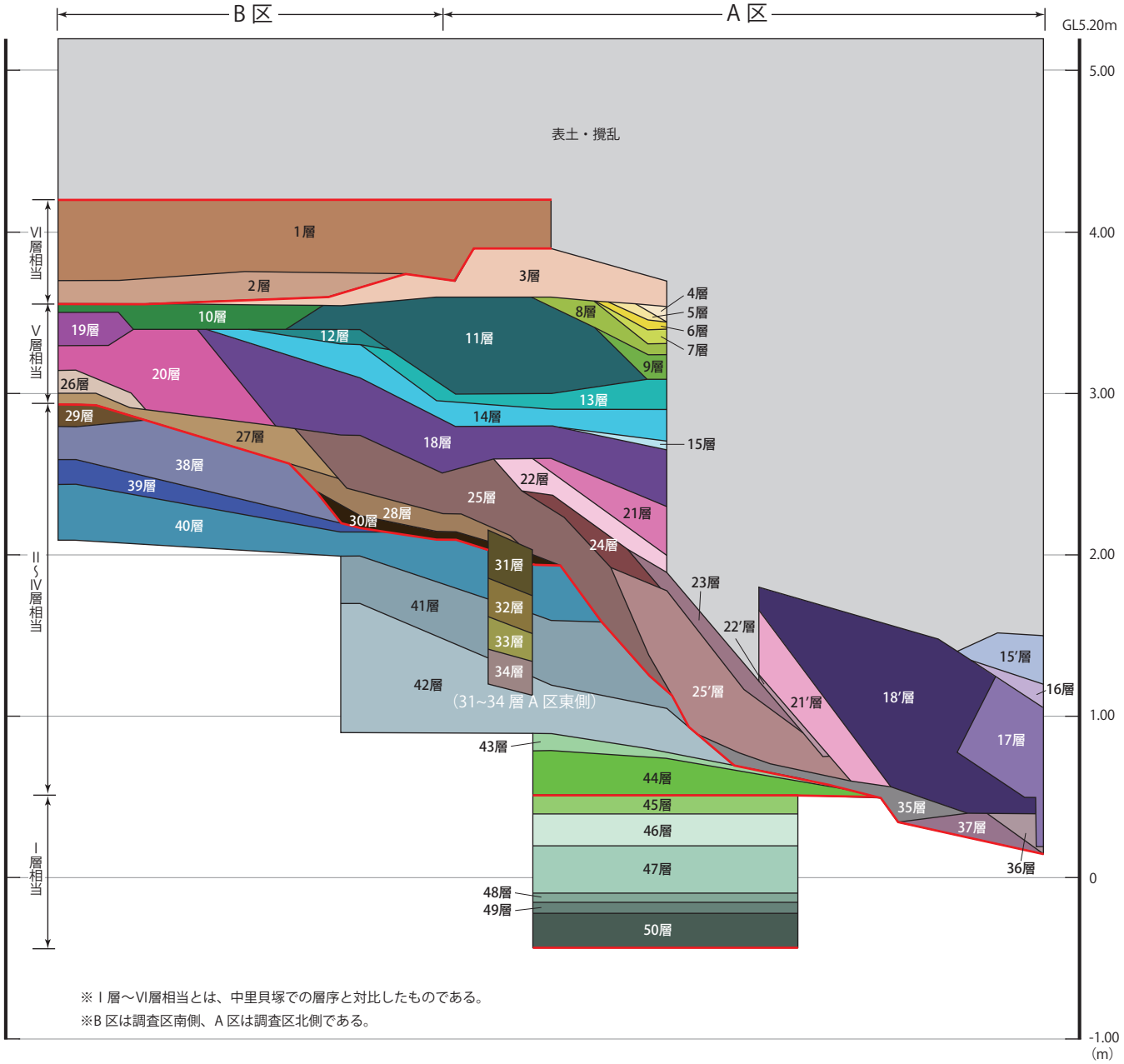
区　名	番　号	遺跡名	種　別	立　地	時　代
台東区	4-8	上野忍岡遺跡群	包蔵地・集落・社寺	台地 / 台地斜面	旧石器 / 縄文 / 弥生 / 古墳 / 奈良 / 平安 / 中世 / 近世
台東区	4-9	上野忍岡遺跡群	包蔵地・集落・社寺	台地	縄文 / 古墳 / 奈良 / 平安 / 近世
台東区	5	台東区№ 5 遺跡	古墳	台地	古墳
台東区	6	新坂貝塚	貝塚	台地	縄文（後期）/ 弥生（後期）
台東区	10	湯島（切通し北）貝塚	貝塚	台地縁辺	縄文（前期～晩期）
台東区	13	蛇塚古墳	古墳	台地	古墳
台東区	14	桜雲台古墳	古墳	台地	縄文 / 古墳 / 奈良 / 平安 / 近世
台東区	30-1	谷中真島町遺跡	集落・屋敷	台地	縄文（中期）/ 古墳 / 奈良 / 平安 / 近世
台東区	30-2	谷中真島町遺跡	包蔵地・屋敷	台地	縄文（早期・後～晩期）/ 弥生 (後期)/ 古墳 / 奈良 / 平安 / 近世 / 近代
台東区	35	茅町遺跡	包蔵地・集落・屋敷・その他（邸宅）	低地	縄文（前期～晩期）/ 弥生 / 平安 / 近世
豊島区	1	氷川神社裏貝塚	包蔵地・貝塚	台地斜面	縄文（前期～晩期）/ 弥生 / 平安 / 近世
豊島区	2	池袋東貝塚	包蔵地・貝塚	台地縁辺	縄文（前期）/ 古墳 / 奈良 / 平安 / 中世
豊島区	3	学習院大学周辺遺跡	包蔵地	台地縁辺	旧石器 / 縄文（後期）
豊島区	5	染井遺跡	包蔵地・集落・貝塚・屋敷（大名屋敷）・その他（町屋）	台地	縄文（早期～後期）/ 弥生（後期）/ 古墳 / 中世 / 近世
豊島区	6	巣鴨遺跡	包蔵地・集落・屋敷（武家屋敷）・その他（町屋）	台地	縄文（中期～後期）/ 弥生（後期）/ 近世
豊島区	7	北大塚遺跡	包蔵地・屋敷（大名屋敷）	谷	縄文 / 古墳 / 近世
豊島区	8	駒込一丁目遺跡	包蔵地・集落・その他（町屋）	台地縁辺	縄文（中期）/ 弥生（後期）/ 近世
豊島区	9	駒込古墳	古墳	台地縁辺	古墳
豊島区	11	高松遺跡	包蔵地	台地縁辺	縄文（中期？）/ 平安？ / 近世
豊島区	12	雑司が谷遺跡	包蔵地・その他（町屋）	台地斜面	縄文（早期）/ 平安 / 中世 / 近世
豊島区	13	東池袋遺跡	包蔵地	谷	縄文 / 近世
豊島区	14	旧感応寺境内遺跡	社寺・屋敷	台地斜面	近世
豊島区	15	椎名町遺跡	集落	台地縁辺	近世
豊島区	16	千早遺跡	包蔵地	台地	縄文 / 古墳
豊島区	17	南池袋遺跡	包蔵地・屋敷	台地	縄文 / 近世
文京区	1	大塚遺跡	集落・屋敷	谷	縄文 / 古墳 / 近世
文京区	2	大塚古墳	古墳	台地	古墳？
文京区	3	大塚三丁目遺跡	包蔵地・貝塚？・屋敷・その他（村）	台地・谷	縄文 / 古墳 / 中世 / 近世
文京区	11	伝通院裏貝塚	包蔵地・集落・貝塚？・社寺・屋敷	台地縁辺	縄文 / 弥生 / 古墳 / 近世
文京区	12	久堅町遺跡	貝塚・屋敷	台地	縄文 / 近世
文京区	13	曙町古墳	古墳	台地	古墳？
文京区	14	動坂遺跡	包蔵地・集落・貝塚・屋敷	台地	旧石器 / 縄文（中期～晩期）/ 弥生 / 近世
文京区	15	富士神社古墳	古墳	台地	古墳
文京区	16	上富士前町遺跡	包蔵地・集落	台地	縄文 / 弥生 / 古墳 / 奈良 / 平安 / 近世
文京区	19	戸崎町遺跡	包蔵地・屋敷	台地	縄文 / 近世
文京区	21	小石川植物園内貝塚・原町遺跡	包蔵地・集落・貝塚・屋敷跡	台地縁辺	旧石器 / 縄文（中期～晩期）/ 近世
文京区	22	原町遺跡	貝塚・屋敷	台地縁辺	縄文 / 近世
文京区	23	白山神社古墳	古墳	台地縁辺	古墳
文京区	24	白山五丁目南遺跡	包蔵地・屋敷	台地縁辺	縄文 / 近世
文京区	25	千駄木貝塚	集落・貝塚・その他の墓・屋敷	台地縁辺	旧石器 / 縄文 / 弥生（後期）/ 近世
文京区	26	林町遺跡	包蔵地・集落・屋敷	台地	旧石器 / 縄文（中期）/ 弥生 / 奈良 / 近世
文京区	27	駒込神明町貝塚	集落・屋敷	台地	縄文 / 近世
文京区	28	弥生町遺跡群	貝塚	台地縁辺	縄文 / 弥生 / 近世
文京区	33	弓町遺跡	包蔵地・集落・屋敷	台地	旧石器 / 縄文 / 弥生（後期）/ 奈良 / 平安 / 中世 / 近世
文京区	37	椿山古墳	古墳	台地	古墳
文京区	40	湯島（切通し北）貝塚	貝塚	台地縁辺	縄文（前期～晩期）
文京区	47	本郷台遺跡群	包蔵地・集落・貝塚・その他の墓・社寺・屋敷・その他（町屋）	台地	旧石器 / 縄文 / 弥生 / 古墳 / 平安 / 近世
文京区	51	真砂町（真砂）遺跡	集落・屋敷	台地	旧石器 / 縄文（早期～後期）/ 弥生 / 古墳 / 奈良 / 平安 / 中世 / 近世
文京区	55	駒込追分町南遺跡	集落・屋敷・その他（町屋・道路跡）	台地	縄文 / 近世
文京区	59	駕籠町遺跡	包蔵地・集落・屋敷	台地	旧石器 / 縄文 / 奈良 / 平安 / 近世
文京区	64	駒込追分町遺跡	包蔵地	台地	近世
文京区	68	駒込富士前町遺跡	包蔵地・社寺・屋敷・その他（町屋）	台地	縄文 / 平安 / 近世
文京区	69	小日向台町遺跡	包蔵地・集落・社寺	台地	縄文 / 古墳 / 奈良 / 近世
文京区	74	龍岡町遺跡	集落・屋敷	台地	縄文（前期・後期）/ 弥生 / 平安 / 近世
文京区	81	小石川御薬園跡	集落・その他	台地	縄文 / 近世
文京区	97	団子坂上遺跡	包蔵地・集落・社寺・屋敷・その他（町屋）	台地	旧石器 / 縄文（中期）/ 弥生（中期）/ 平安 / 近世
文京区	107	小日向三丁目東遺跡	包蔵地・集落・屋敷	台地縁辺	縄文 / 古墳 / 奈良 / 近世
文京区	118	小日向一・二丁目南遺跡	包蔵地・集落・その他の墓・社寺・屋敷・その他（町屋）	台地縁辺	縄文 / 古墳 / 奈良 / 平安 / 中世 / 近世

Ⅲ　層　序

1）基本層序

栄町貝塚の層序は、A 区・B 区及び調査区東側と西側では異なる様相が部分的に看取された。その中でも調査区全体に共通して看取された貝層も存在し、その層序を糸口として、栄町貝塚の堆積状態を捉えている。

第 11 図は栄町貝塚の堆積状態を模式化したものである。層序は旧耕作土の 1 層から部分的に下総層群上泉層（東京層）を掘り下げた 50 層まで分層を行った。以下、各層序について記述するが、分層については貝種・貝の遺存状態・含有状況・炭化物や灰等の含有物、シルト質土の含有状態を基軸



第 1 図　基本層序模式図

にした肉眼的な観察に拠っている。また文中の土色については、農林水産省農林水産技術会議事務局監修『新版標準土色帖』（日本色彩研究所発行 1988）を参照し判定した。

1層：暗褐色土（10YR3/3） 粘性・締り共にやや有り。シルト質土中心の層で、炭化粒子・炭化材を僅かに含む。細かい破砕貝を部分的に僅かに含む。旧耕作土と思われる。

2層：オリーブ褐色土（2.5Y4/3） 粘性有り、締り強い。シルト質土中心の層で、ヤマトシジミの破砕貝を僅かに含む。炭化粒子をやや多く、酸化鉄を少量含む。旧耕作土と思われる。

3層：黒褐色土（2.5Y3/2） 粘性・締り共に有り。シルト質土中心の層だが、ヤマトシジミの破砕貝、炭化粒子をやや多く含む。部分的にマガキ・ハマグリの破砕貝主体の箇所もある。

4層：黒褐色土（2.5Y3/1） 粘性・締り共に有り。ヤマトシジミをやや多く、炭化粒子を少量含む。

5層：暗オリーブ褐色土（2.5Y3/3） 粘性有り、締りやや有り。マガキ、ハマグリ、ヤマトシジミの破砕貝を中量、灰、炭化粒子を少量含む。

6層：暗オリーブ褐色土（2.5Y3/3） 粘性有り、締りやや有り。破砕の少ないハマグリ、ハマグリの破砕貝をやや多く含み、ヤマトシジミを中量含む。

7層：オリーブ褐色土（2.5Y4/4） 粘性・締り共に有り。焼けたマガキの破砕貝を多く、灰、炭化物、炭化粒子を中量、ヤマトシジミの破砕貝を少量含む。

8層：オリーブ褐色土（2.5Y4/4）粘性・締り共に有り。破砕の少ないヤマトシジミを多く、灰、炭化材、炭化物、炭化粒子を中量含む。

9層：オリーブ褐色土（2.5Y4/4） 粘性・締り共に有り。破砕の少ないハマグリ、ハマグリの破砕貝を多く、ヤマトシジミを少量含む。炭化材、炭化物、灰を少量含む。

10層：黒褐色土（10YR3/1） 粘性・締り共に有り。マガキの破砕貝を部分的にブロック状に多く含み、ヤマトシジミの破砕貝、炭化粒子を少量含む。

11層：暗オリーブ色土（5Y4/3） 粘性弱いが締りは有る。マガキの破砕貝を多く含み、部分的に面状に堆積する。炭化物、炭化粒子を少量含む。

11′層：オリーブ黒（7.5Y3/1）粘性弱いが締りは有る。破砕したマガキ、細かい破砕貝を多く、破砕の少ないマガキを中量、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。

12層：暗オリーブ色土（7.5Y4/3） 粘性弱いが締りは有る。マガキのやや細かい破砕貝を多く、焼けた破砕貝を中量含む。部分的に面状に堆積する。

13層：暗オリーブ色土（5Y4/3） 粘性弱いが締りは有る。マガキの細かい破砕貝を多く含み、破砕貝が面状に堆積する。南側は細かい破砕貝が多い。

14層：灰オリーブ色土（7.5Y4/2） 粘性やや有り、締り有り。マガキの細かい破砕貝を多く、部分的に面状に堆積する。焼けた破砕貝を少量含む。

15層：暗緑灰色土（10GY3/1） 粘性・締り共に強い。マガキの破砕貝、ハマグリを中量含む。非常に粘性の強いシルト質土を多く含む層。

15′層：暗緑灰色土（10GY3/1） 粘性・締り共に強い。粘性の強いシルト質土を多く含む点で、15層由来とした。マガキ・ハマグリの破砕貝を少量含む。

16層：暗緑灰色土（10GY4/1） 粘性・締り共に有り。マガキの破砕貝をごく僅かに含む。シルト質土中心の層だが、砂質を帯びる。

17 層：暗緑灰色土（10GY3/1）　粘性・締り共に弱い。マガキの破砕貝をごく僅かに含む。砂質度合いが強い、砂質シルト質土層。

18 層：暗オリーブ灰色土（5GY3/1）　粘性・締り共に有り。マガキの破砕貝、破砕の少ないマガキを多く含む。18 層最上層にはハマグリが含まれる層も看取される。

18′層：暗オリーブ灰色土（2.5GY4/1）　粘性・締り共に有り。構成貝種の在り方から、A 区北側で看取された 18 層由来と思われる層を措定。マガキの破砕貝、破砕の少ないマガキを多く含むが、シルト質土が多い。

19 層:灰オリーブ色土（5Y5/3）　粘性･締り共に有り。炭化粒子､酸化鉄を少量含む。シルト質土層。

20 層:灰オリーブ色土（7.5Y4/2）　粘性･締り共に有り。マガキの破砕貝を中量含み、焼けた破砕貝、炭化材、炭化粒子を僅かに含む。

21 層：灰オリーブ色土（7.5Y4/2）　粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を中量、破砕したマガキ、破砕の少ないマガキ、ヤマトシジミを少量含む。還元した色調の破砕貝を中量含む。

21′層：暗オリーブ灰色土（2.5GY3/1）　粘性・締り共に有り。マガキの破砕貝をやや多く、破砕の少ないものを少量、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。還元した色調の破砕貝を含む。18・18′層と同様、A 区中央～北側で検出された、21 層由来と思われる層を措定している。

22 層：オリーブ黒色土（7.5Y3/2）　粘性・締り共に有り。マガキの破砕貝を多く、還元した色調の破砕貝を少量、ハマグリ、ヤマトシジミをやや多く含む。

22′層：暗オリーブ灰色土（2.5GY4/1）　粘性・締り共に有り。マガキの破砕貝を多く、還元した破砕貝を中量、ヤマトシジミを少量含む。22 層に類似・由来すると思われる A 区中央～北側にかけて検出された層。

23 層：暗オリーブ灰色土（2.5GY4/1）　粘性・締り共に有り。マガキのやや細かい破砕貝で、還元した色調ものを多く含む。ヤマトシジミを少量含む。シルト質土が中心で、破砕の少ないマガキ、ハマグリ等はほとんど含まない。

24 層：灰オリーブ色土（7.5Y4/2）　粘性・締り共に有り。マガキの破砕貝を多く、還元した色調のものを中量、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。

25 層：暗オリーブ灰色土（2.5GY3/1）　粘性・締り共に有り。破砕の少ないマガキを多く含み、還元した色調の破砕貝を含む。ヤマトシジミを僅かに含む。

25′層：暗オリーブ灰色土（2.5GY4/1）　粘性弱いが締りは有る。破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミ、ハマグリを少量含む。25 層由来と考えられる A 区中央～北側にかけて検出された層。

26 層：灰オリーブ色土（7.5Y4/2）　粘性・締り共に強い。微細な炭化粒子、酸化鉄を少量含む。シルト質土が中心の層。

27 層：オリーブ黒色土（7.5Y2/2）　粘性弱いが締りは有る。マガキの破砕貝を少量、部分的にブロック状に含む。小礫、ヤマトシジミを僅かに含む。

28 層：オリーブ黒色土（7.5Y3/1）　粘性・締り共に強い。マガキの微細な破砕貝を僅かに、炭化粒子を少量含む。シルト質粘土質土が中心の層。

29 層:オリーブ黒色土（7.5Y3/1）　粘性･締り共に強い。炭化粒子を少量含む。シルト質粘土質土層。

30 層：オリーブ黒色土（7.5Y3/1） 粘性弱いが締りは有る。破砕の少ないマガキを少量含む。砂質シルトが中心の層。

31 層：暗緑灰色土（10GY3/1） 粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。

32 層：暗緑灰色土（7.5GY3/1） 粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝、ヤマトシジミを少量含む。砂質のシルト質土中心の層。

33 層：暗緑灰色土（7.5GY3/1） マガキの細かい破砕貝を僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。

34 層：暗緑灰色土（7.5GY3/1） 粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。砂質のシルト質土中心の層。

35 層：暗緑灰色土（7.5GY3/1） 粘性弱いが締りは有る。マガキの細かい破砕貝を少量、破砕の少ないマガキを僅かに含む。

36 層：暗緑灰色土（7.5GY3/1） 粘性弱いが締りは有る。破砕の少ないマガキ、マガキの破砕貝を少量含む。小礫を中量含む。

37 層：暗オリーブ灰色土（5GY3/1） 粘性弱いが締りは有る。マガキの細かい破砕貝を僅かに、小礫をやや多く含む。

38 層：オリーブ黒色土（7.5Y3/2） 粘性無いが締りは有る。径 10 ～ 30㎜前後の小礫を非常に多く含む。砂礫層。

39 層：オリーブ黒色土（7.5Y3/1） 粘性無いが締りは有る。径 10㎜前後の小礫を含む。砂礫層。

40 層：暗オリーブ灰色土（2.5GY3/1） 粘性・締り共に強い。粘性の強いシルト質土が中心の層。やや砂質である。

41 層：暗緑灰色土（10G3/1） 粘性・締り共に強い。40 層よりも砂質度合いが強いシルト質層。

42 層：暗緑灰色土（7.5G3/1） 粘性弱いが締りは有る。砂質のシルト質土が中心の層。部分的に粘性の強いシルト質土がブロック状に認められる。

43 層：暗オリーブ灰色土（2.5GY4/1） 粘性弱いが締りは有る。自然貝層由来のサビシラトリ、マテガイ、カガミガイ等を含む砂質シルト質土が中心の層。

44 層：暗緑灰色土（7.5G3/1） 粘性・締り共に弱い。砂質のシルト質土で、若干粘性を帯びる。

45 層：緑黒色土（5G2/1） 粘性無いが締りは強い。硬質のシルト質層で、下総層群上泉層（東京層）の最上部。生痕化石が観察される。

46 層：暗緑灰色土（5G4/1） 粘性無いが締りは強い。硬質のシルト質層。部分的に砂質土がブロック状に認められる。下総層群上泉層（東京層）。

47 層：灰オリーブ色土（7.5Y4/2） 粘性無いが締りは強い。46 層よりも砂質のシルト質土を全体的に含み、砂質の度合いが強くなる。下総層群上泉層（東京層）。

48 層：オリーブ黒色土（7.5Y3/1） 粘性弱いが締りは有る。砂質の層。下総層群上泉層（東京層）。

49 層：灰色土（7.5Y5/1） 粘性弱いが締りは強い。部分的に砂質土がブロック状に認められる。下総層群上泉層（東京層）。

50 層：オリーブ黒色土（7.5Y3/1） 粘性弱いが締りは強い。砂質のシルト質土が中心。下部に径 10 ～ 30㎜前後の小礫と砂を極少量含む。下総層群上泉層（東京層）。

以上、基本層序について個々の層の土層説明を行ってきたが、次にこれらの層序について、所見を含めてその様相について具体的に述べていく。

地表面の標高約 5.2 m前後から約 1m 掘り下げた深度でシルト質の旧耕作土が検出され（1 層・ 2 層）、1.4m 前後で炭化物や細かい破砕貝を部分的に僅かに含む 3 層が検出され始める。そして 1.5m 程度掘り下げた標高約 3.7m の深度から貝層が検出され始め（3 ～ 9 層）、その深度から標高約 3.3m まで、炭化物や灰、焼けた破砕貝等が含まれた焚き火址と思われる遺構が数多く検出されている。これらの層を中心とした、B 区北側の一部と A 区南側の遺構が集中する面を本貝塚では 1 面として捉えている。A 区中央部付近では、B 区では見られなかったハマグリ（6 層）ヤマトシジミ（8 層）を主に含む貝層が検出され、その層序付近においても焚き火址が多く検出されている。

11 層とした層序は A・B 区で共通して検出されており、特に A 区中央部付近と B 区の 11 層は破砕貝が中心でシルト質土を多く含むが、A 区東側・西側では破砕の少ないマガキが堆積している状況が伺えた。A 区の 11 層上部からは焚き火址の痕跡が検出され、A 区の 11 層中部～下部にかけては流れた様相の灰や炭化物・炭化材、焼けた破砕貝が含まれている。

13 層は細かい破砕貝が広がる層序で、14 層は 13 層に見られた細かい破砕貝と何らかの営為で潰れた破砕貝が面的に堆積する層序である。B 区中央部～ A 区南側にかけて観察されたこれらの層序を 2 面として位置づけている。

15 層及び 15′層は非常に粘性の強いシルト質土が特徴的な層で、いわば貝層の堆積が僅かに途絶えた層として捉えられそうである。15′層については、A 区北側で看取された層で、南側との間は地下構造物で攪乱されているが、土質や色調、標高から類似した層序として捉えている。

16・17 層は A 区北西隅のみで検出された砂質シルト土で、18′層と交差しながら堆積しているが、その断面形状から水中で砂堆状に堆積した層の可能性が示唆される。

18・18′層はシルト質土を少量、破砕の少ないマガキを多く含み、A 区西側では最上層部にハマグリが含まれている層序であった。18′層については、18 層と比較してシルト質土を多く含むものの、破砕の少ないマガキが中心であったことから 18 層が北側に伸びて深い位置まで堆積したものと捉えている。この 18 層も 13・14 層と同様に B 区中央付近～ A 区南側に観察される。

B 区南側で看取された 20 層は、シルト質土を多く含むマガキのやや細かい破砕貝を含んだ層序で、19 層のシルト質土層とともに焚き火址が多く検出されている。この 18 ～ 20 層を中心とした層を 3 面として捉えている。

21 ～ 24 層は破砕し還元した色調のマガキやヤマトシジミが含まれている層で、特に 23 層はやや細かく破砕し還元した色調のマガキとシルト質土を多く含み、人為的な廃棄というより、自然営為等で堆積した印象を受ける。25・25′層は破砕の少ないマガキ、ハマグリ、ヤマトシジミが含まれている層で、25 層と 25′層の関係は 18・18′層の在り方と類似する。27・28・30 層はシルト質土が中心の層で、27・30 層ではマガキやヤマトシジミが少量含まれる層であり、28 層は一時的に貝の堆積が途絶えた間層のような層である。26・29 層は B 区南側のみで検出された層で、シルト質土のみの層である。31 ～ 34 層は A 区東側のみで堆積が認められた層で、31・33 層は破砕貝を僅かに、32 層は破砕貝を少量、34 層は破砕貝をやや多く含むという差があるが、シルト質土を多く含んでいる層である。32・34 層にはヤマトシジミも含まれている。35 ～ 37 層は東京層直上の破砕貝を含ん

だシルト質土中心の層で、37 層は小礫を多く含む。

38・39 層は B 区のみで検出された砂礫層で、調査区の南側で検出された旧海岸線、「礫浜」を形成していた層である。その下層の 40 ～ 42 層はシルト質土で、下層に向かうにつれて砂質を帯びるようになる。礫浜の干潟と捉えた 28・30 層や、人為的な貝層が見られなくなり、砂礫層及びシルト質土層に変わった 38 ～ 40 層を 4 面として捉えた。

43 層はカガミガイ・マテガイ・サビシラトリ等の貝を含む層で、栄町貝塚の貝層を形成する貝種組成とは異なるものである。その貝種組成から、自然貝層由来の貝種が堆積した層として捉えられる。

44 層は砂質シルト層で、沖積世における栄町貝塚の最下層である。

45 層以下は洪積世後期の海成層である下総層群上泉層（東京層）で、45 層は硬質のシルト質土層で、生痕（巣穴）化石が非常に多く観察された。46 層も硬質のシルト質土層だが、部分的に砂質土がブロック状に看取される。47 層は 46 層に類似するが、46 層よりも砂質のシルト質土を全体的に含み、砂質の度合いが強くなる。48 層になるとほぼ砂質の層で構成される。49 層は硬質のシルト質土層だが、砂質土をブロック状に含む。50 層はやや硬質の砂質のシルト質土が中心で、下部に径 10 ～ 30㎜前後の小礫と砂を極少量含む。

2）貝層堆積状況

本貝塚では、調査区に対して直交ないしは平行にトレンチ及びセクションを設定し層序の観察・記録に努めたが、旧建物の地下構造物等により攪乱されている部分が非常に多く、攪乱等を避けて設定したため若干の軸や位置のズレがある。また記録壁面の東・西壁面については最も層序記録に適した面を選択したため、統一していない。

またトレンチを設定し掘削後に層序の観察・記録を行ったものと、攪乱除去後の壁面をセクション面に用いたものが混在する。調査は鋼矢板打設や攪乱除去、掘削深度の関係で B 区とした南側から調査を行ったが、廃土搬出等の工程により東から B1・B2・B3・B4 と B 区内を分割している。同様に A 区においても東から A1・A2・A3・A4・A5 と分割している。

トレンチについて、A・B 区の南北に縦断するトレンチを 3 本、A1 に南北トレンチを 1 本、B 区では東西に横断するトレンチを 1 本設定したが、調査の段階ではそれぞれを A1 トレンチ、B1・A2 トレンチ、B3・A4 トレンチ、B4・A5 トレンチ、B1 東西トレンチ、B2・B3 東西トレンチと呼称して記録を行っている。A 区では前述したように、攪乱除去後の壁面を利用して記録したセクションがあり、東西方向を横断するセクションと A5 北西側南北セクションを記録したが、東西方向のものは A1 ～ A3 セクション、A3 ～ A5 セクション、A5 北西側南北セクションとして呼称している。これらのトレンチ・セクションの呼称については煩雑さを防ぐため集約し、東側から A1 トレンチを Sec.1、B1・A2 トレンチを Sec.2、B3・A4 トレンチを Sec.3、B4・A5 トレンチを Sec.4、A5 北西側南北セクションを Sec.5、A1 東西セクションを Sec.6、A1 ～ A3 東西セクションを Sec.7、A3 ～ A5 東西セクションを Sec.8、B1 ～ B3 東西トレンチを Sec.9 として呼称を改めた。例えば Sec.2 で A・B 区の南北全体のセクションを指す場合は Sec.2 とするが、Sec.2 の B 区側を指す場合は Sec.2（B1 トレンチ）と表記し、東西セクションの場合は例えば A1 ～ A3 にかけて計測した Sec.7 全体を指す場合は Sec.7、Sec.7 の特定の位置を指す場合は Sec.7（A1 セクション）と表記する。

なお Sec.1 ～ 4 の南北方向の堆積状況について、図面中央部付近から北側にかけて時計工場の地下

構造物により GL-3.7m の深度まで削平されているが、その下部には貝層が遺存している。また Sec.5 は、地下構造物の壁と鋼矢板打設時のシートパイラーによる掘削で南北方向に僅かに堆積が残っている状況で、なおかつ層序の下部については地下構造物の壁がオーバーハングして食い込んでいたため未掘である。記録可能であった箇所のみ掲載した。

第 12 ～ 16 図は Sec.1 ～ 9 の全体堆積状況を、第 17 ～ 25 図は 1/40 に拡大して Sec.1 ～ 9 の詳細な堆積状況を図示し、さらに第 17 ～ 25 図では観察された各層序内を構成貝種や含有物等の状況に応じて①、②、③…と細分した。なおこの細分層序については Sec.1 ～ 4 の A 区及び B 区、Sec.5、Sec.6、Sec.7、Sec.8（A3・A4 セクション）、Sec.8（A4・A5 セクション）、Sec. 9（B1 ～ B3 セクション）、Sec. 9（B1 セクション) で、それぞれの Sec. の中で個別に①・②・③…と細分層序番号を付しており、その土層説明を第 5 ～ 32 表に記載した。

以下、各 Sec. について述べていく。

A　Sec.1（第 12・13・17 図・第 5・6 表）

Sec.1 は A 区東側、南北方向に設定したトレンチである。B 区では同軸方向のトレンチは調査区外のため、設定していない。Sec.1 南側では 3・5・7・9 層から焚き火址が多数検出されている。

11 層とした破砕貝を多く含む層の堆積は厚く、南側は攪乱により削平されているが、その下層の 13・14・18 層は 11 層とともに厚く堆積していたものと想定される。13・14 層は細かい破砕貝を多く含み、特に 14 層では面状に堆積する状況が伺える。18 層は破砕の少ないマガキが中心だが、ハマグリ、アカニシを多く含む箇所が認められる。18′層とした北側の層はシルト質土が多くややランダムな堆積だが、破砕の少ないマガキ、ハマグリを含み、18 層との関連が伺えるため 18′層としている。13 層までは南から北に向かって緩やかに傾斜しているが、18 層以下は傾斜が大きくなる。この様相は Sec.1 ～ 4 に共通する。従って貝層は南から北に向かって落ち込む状況である。21 層は破砕したマガキ、ハマグリ、ヤマトシジミを含み、還元した色調を呈したマガキを多く含む。22 層はシルト質が強まり、破砕したマガキが増える。北側の 21′・22′層は 18 層と 18′層との関係と同様である。23・24 層は細かい還元した色調の破砕貝が中心の層で、23 層は北側に向かうに従いシルト質土が多くなる。25 層は南側が破砕の少ないマガキ、ヤマトシジミが中心だが、中央部分から北側は破砕貝が増えるため 25′層とした。31 ～ 34 層はシルト質土中心の層で、31・33 層は破砕貝を僅かに、32・34 層は破砕貝を少量含む。この 31 ～ 34 層は南北トレンチでは Sec.1 に、東西トレンチでは Sec.6・Sec.7（A1・A2 セクション）で観察された層序である。特に Sec.1 のこれらの層序は南から北に向かって傾斜が大きくなる。35 層はシルト質土が中心だが、破砕の少ないマガキを含んでおり、37 層は径 20 ～ 30㎜程度の小礫をやや多く含む。42・44 層は砂質のシルト質土で、破砕貝は僅かである。43 層はシルト質土が多いが、カガミガイやマテガイ、サビシラトリ、ツメタガイ等を含む貝層で、他の貝層とは構成種が異なっている。自然貝層由来の貝層の可能性が考えられる。

B　Sec.2（第 12・13・18・19 図、第 7 ～ 11 表）

Sec.2 は B 区 B1 及び A 区 A2 に縦断して設定したトレンチである。本貝塚の層序の基軸としている。

1・2 層は旧耕作土と考えられ、シルト質土である。遺存状態により色調が異なる部分が看取される。3 層は Sec.1 にもみられる層で、焚き火址が検出されるが、その下層の 5・6・8・9 層から明瞭な焚き火址が多く検出される。5・6 層はややシルト質土が多い破砕したハマグリが中心の層で、8

層はヤマトシジミ主体の貝層、9層は破砕したハマグリが中心の層に変わる。10層はシルト質土中心で、やや細かいヤマトシジミを部分的に含む。11層はSec.1と同様のシルト質土を多く含む破砕したマガキが中心の層で、12～14層は非常に細かい破砕貝で構成される貝層である。12層は若干シルト質土が多く含まれている。15′層は北端に検出されたシルト質土の層で、粘性が非常に強いのが特徴である。18層は破砕の少ないマガキを多く含む層で、18′層は貝種構成から18層由来で北側に堆積した層と捉えている。19層は南端で検出されたシルト質土中心の層で、20層は同様にシルト質土中心だが破砕貝を含んでいる。この層序から焚き火址が多数検出されている。21層は破砕したマガキ、ハマグリ、ヤマトシジミを含む層で、A区南側から中央にかけて堆積する。21′層も貝種構成が類似するため、おそらく21層由来のものと思われる。22層は21層に類似するが、マガキが多く、ハマグリ、ヤマトシジミが減り密な堆積を呈している。21′層も同様の貝種構成の呈することから、21層との関連が伺える層である。23層はやや細かく破砕し、還元した色調のマガキが中心の層で、Sec.1の23層と同様、特徴的な層序である。24層はやや細かい還元した色調の破砕貝が中心の層だが、ヤマトシジミ、ハマグリを含んでいる。25層は破砕の少ないマガキ、ヤマトシジミが中心だが、やや多くシルト質土を含んでいてA区南側から中央にかけては破砕貝に変わる。貝種構成等から25′層とした。26・29層はB区南に堆積するシルト質土で、その間の27層は破砕貝・破砕の少ない貝を少量含むシルト質土中心の層、28層は破砕貝を僅かに含むやや砂質のシルト質土層である。30層も28層に類似するが、砂質が強まり破砕貝が増える。35層は砂質シルト質土が中心でマガキの破砕貝、ヤマトシジミを少量含み、36層は35層に類似するものの破砕の少ないマガキを含んでいる。37層は径20～30㎜程度の小礫をやや多く、破砕貝を少量含む層で、Sec.1と同様である。38・39層はB区南側から中央にかけて堆積する砂礫層で、39層は砂礫の径が小さく、砂質である。

40～42・44層はシルト質土で、42・44層は砂質シルト質土である。43層はSec.1においても検出された自然貝層由来の貝層である。40～44層は北側に向かう傾斜は緩やかだが、25′層がそれらの層序上に堆積しながら急激に北に傾斜する。45～50層は下総層群上泉層（東京層）である。

C　Sec.3（第12・14・20・21図、第12～15表）

Sec.3はB区B3及びA区A4に縦断して設定したトレンチである。A区南側で1・2層の旧耕作土が遺存しているが、B区側では削平されている。3層もA区南側で辛うじて遺存しており、他のSec.と同様にこの層序から焚き火址が検出され始め、8・9層で非常に多く検出される。8層はSec.2でも見られたヤマトシジミ主体の貝層である。10層もSec.2と同様でほぼシルト質だが破砕貝が僅かに混在する。11層もSec.1・Sec.2で見られた層序だが、ややシルト質土が多い。12～14層は細かい破砕貝を多く含む層であるが、B区南側の14層が非常に厚く堆積している一方でB区北側では消失し、A区南側で再び現れる。北側には15′層が看取されたが粘性は強いもののやや砂質で、15層に類似する層とした。18層は破砕の少ないマガキの層で、北側の18′層は他のSec.と同様、貝種構成から18層由来の層として捉えた。20層は破砕貝中心のシルト質土の層で、Sec.2の20層と同様、焚き火址が検出されている。21～24層はSec.2と同様だが、23層は還元した色調の破砕貝がさらに細かくシルト質土が多い。また時計工場の地下構造物による削平もあり、Sec.1・2で見られたような21′・22′層は見られない。25層は破砕の少ないマガキ、マガキの破砕貝、ヤマトシジミが混在している層だが、シルト質土をやや多く含み、類似した25′層に変化しながら北側に伸びる。26

～ 30 層は Sec.2 と同様、シルト質土が中心の層である。26・29 層はシルト質土の層で 26 層からは焚き火址が検出される。27・28・30 層は破砕貝・破砕の少ない貝を少量含むシルト質土中心の層で、28･30 層は破砕貝を僅かに含み、やや砂質である。35 層は砂質シルト質土が中心でマガキの破砕貝、ヤマトシジミを少量含む層であるが、Sec.2 よりもシルト質土が多い。Sec.1・2 と同様、37 層は破砕貝を少量、小礫をやや多く含む層である。38・39 層は砂礫層、40 ～ 42・44 層はシルト質土で、42・44 層は砂質が強い。43 層は Sec.1・2 と同様の自然貝層由来の貝層である。

D　Sec.4（第 12・14・22・23 図、第 16 ～ 19 表）

Sec.4 は B 区南側が攪乱・削平されており、B 区北側に一部残存している状況である。Sec.2・3 と比較すると、B 区側の貝層は全体的に層厚が薄い。2・3・11・13・14・18・25・28 層といった土層・貝層は Sec.1 ～ 3 で看取された層序と同様であるが､他の Sec. よりも全体的にシルト質土を多く含む。

また A 区南側～中央にかけて堆積する 15 層とした層序は、非常に粘性の高いシルト質土に破砕貝を少量含む特徴的な層序で、類似する層序が A 区北側で検出されているが、破砕貝の含有量が少ない点で異なり 15′層とした。15′層の下層には 16・17 層といった砂質シルト質土が検出され、17 層は 16 層よりも砂質である。この 16・17 層は 18′層と交差しながら砂堆状に堆積している状況が伺える。Sec.3 では 25 層が A 区の途中で無くなり 40 層の上に 23 層が堆積する状況だが、Sec.4 の A 区南側で一旦 25 層が途切れるものの、破砕貝が多くヤマトシジミを含む 25 層由来と考えている 25′層が堆積し、その上に還元した色調の細かい破砕貝を含む 23 層が堆積する。25′層は部分的に破砕貝が多い層も含まれるが、破砕の少ない還元した色調のマガキやマガキの破砕貝、ヤマトシジミを含む層が北側まで伸びる。25 層以下の層は、砂礫層の 38・39 層、自然貝層との関連が伺える 43 層、シルト質土及び砂質シルト質土の 40 ～ 42・44 層が他の Sec. と同様に看取される。

E　Sec.5（第 12・15・23 図、第 20 表）

Sec.5 は A 区北西隅に部分的に遺存しているセクションである。前述したが、時計工場の地下構造物の壁面裏側に残存していたもので、北側隅及び 18′層下部は鋼矢板打設時の掘削と地下構造物の攪乱が入り込んでいたため崩落の危険もあり、未掘で記録が得られなかった。また攪乱の影響でセクション中途から南北方向の軸がずれているが、合成して記録を行っている。検出された層序は 11′層・15′層・18′層の 3 層で、それぞれ貝種の構成や土質から 11・15・18 層起源の層と推定している。11′層と 15′層は部分的に交差しながら堆積している部分が認められ、15′層は北側に向かうにつれて層厚が厚くなる。15 層同様、粘性が非常に強い層である。また 18′層は特に 15′層直下にハマグリを多く含んでおり、A 区の特に西側で 18 層上面から大量にハマグリが検出された状況と類似する。この層序の在り方から、11′層と 18′層は 15′層を挟んでヒアタスが想定されるが、敷衍すると 11 層と 18 層の間に時間的な懸隔が存在する可能性がある。

F　Sec.6（第 12・15・24 図、第 21・22 表）

Sec.6 は A 区東側の東西方向のセクションである。切梁敷設の関係上、11 層よりも上層は遺構調査を優先したため、堆積状況の記録は行っていない。また Sec.7 よりも北側で記録を行っていることもあり、Sec.7 と合成はせず個別のセクションとして取り扱った。検出された貝層は 11・13・14・18･21 ～ 24･25′･31 ～ 34 層である。特に 21 ～ 25′層にかけて、還元した色調の破砕貝が目立つ。11 層を除き 22 層までは、西側に向かって非常に緩やかな傾斜が伺えるが、31 層以下は逆に東に向

かって緩やかに傾斜している状況である。

G　Sec.7（第 12・15・24 図、第 23 ～ 27 表）

Sec.7 は A 区東～中央部付近の東西方向のセクションである。3 層は Sec.1 ～ 4 においても検出されているが、ヤマトシジミの破砕貝を含む 4 層は Sec.7 のみで検出されている。おそらく 8 層のヤマトシジミ主体の貝層と関連する層と思われ、この層序からも焚き火址が多数検出されている。9 層は破砕したハマグリを多く含む層であるが、Sec.7 の状況から部分的に 11 層に食い込むような状況で堆積していることが伺え、11 層が途切れている箇所も認められる。Sec.7 全体の層序の在り方は 3 ～ 25 層までは西側に向かって緩やかに傾斜している様相が看取される。31 ～ 34 層は Sec.7 東側においても看取され、それらは Sec.1 に連なるが、破砕貝やヤマトシジミを多く含む。これらの層序は Sec.6 で伺えた状況と同様に、東に向かって傾斜する。特に破砕貝が僅かしか含まれないシルト質土層の 40 層になると明瞭に東側に傾斜する。41 ～ 44 層までの堆積状況も緩やかに東に向かって傾斜する。

H　Sec.8（第 12・16・25 図、第 28 ～ 30 表）

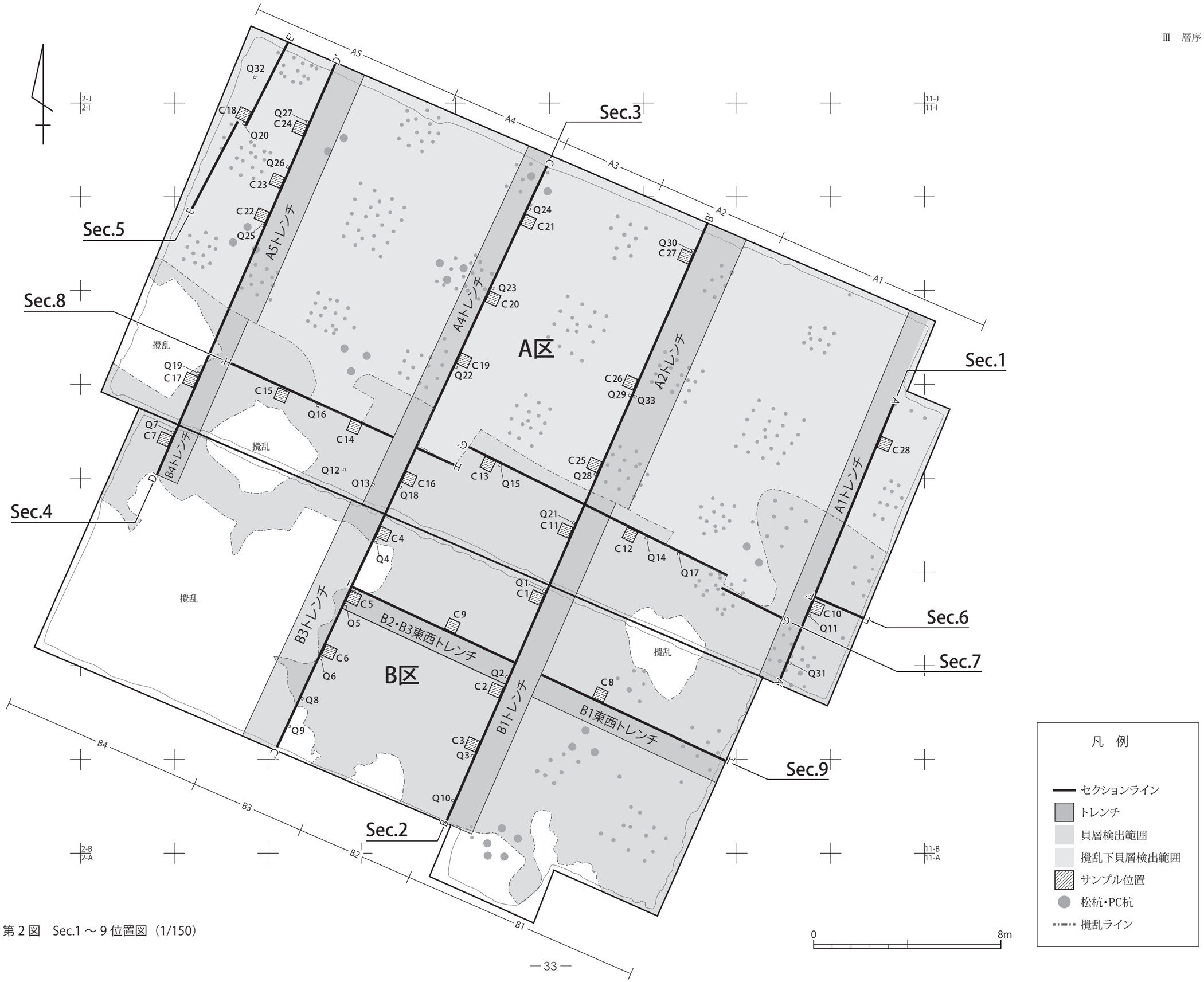
Sec.8 は A 区中央～西側付近の東西方向のセクションである。攪乱の関係で Sec.7 と比較してやや南よりに東西軸を設定している。また Sec.3 とともに攪乱部分を利用して層序観察を行ったこともあり Sec.8 東側と西側の間が空いているが、ここは Sec.3 のトレンチを掘削し、セクションを東側に設定している。検出された貝層は 8・9・11 ～ 13・18・21 ～ 23 層で、24 ～ 30 層はここでは検出されていない。23 層の下層はシルト質土層の 40・41 層である。Sec.8 東側ではヤマトシジミ主体の貝層である 8 層、破砕したハマグリを多く含む 9 層が看取されるが、西側は 11 層直上まで表土・攪乱されていたため、記録は 11 層からになる。11 層は遺存状態もあるが、西側に向かうにつれて層厚が増すようである。11・13・14・18・21・22 層まで、西側に向かって僅かに傾斜する様相が伺えるが、Sec.7 で看取されたほどの傾斜は認められない。Sec.8 東側では、23・40 層が東に緩やかに傾斜しているが、中央部から西側にかけては傾斜もなくほぼフラットである。

I　Sec.9（第 12・16・25 図、第 31・32 表）

Sec.9 は B 区東側と中央部付近の東西方向のセクションである。当初記録する予定ではなかったが、遺構調査後に急遽設定したため、上層の 1 ～ 11 層までは掘削後で記録していない。B 区西側は砂礫層上まで攪乱されているため、貝層残存部の B 区中央及び東側と、層序は 18 層からの記録となった。

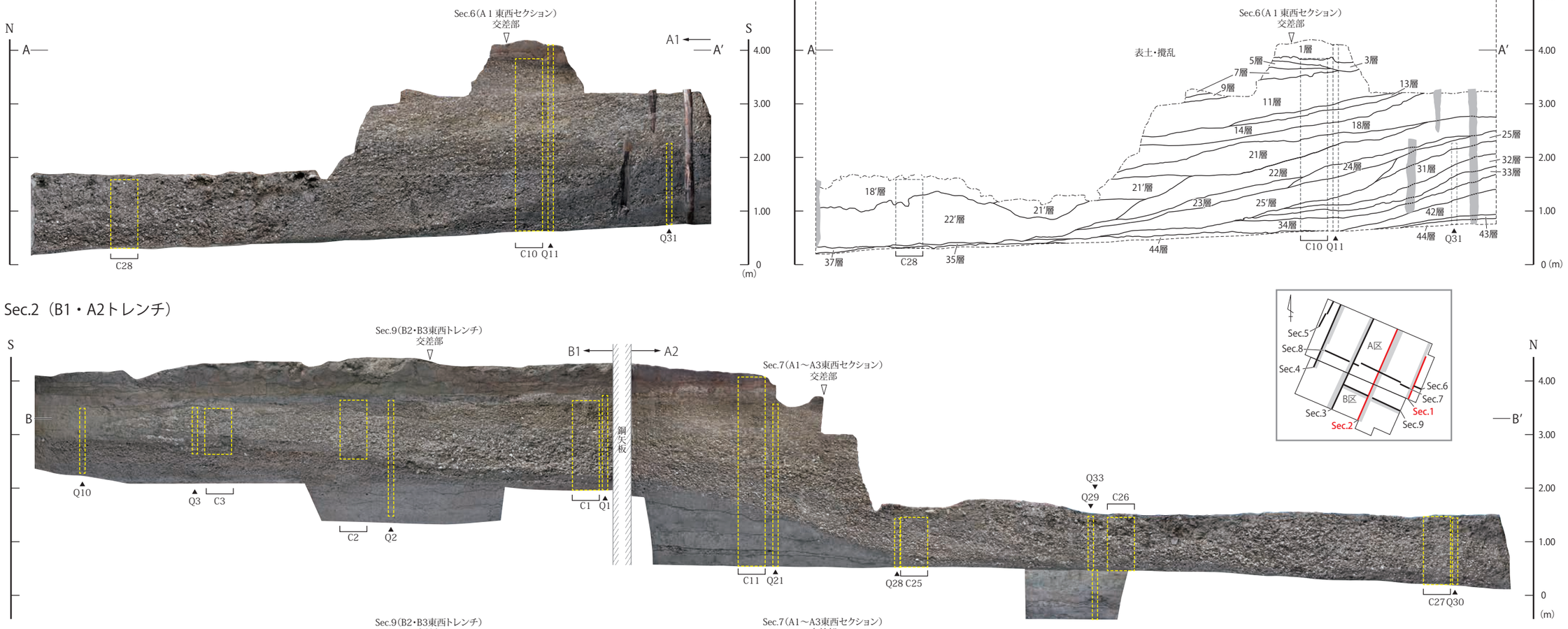
検出された層序は 18・20・25・27・28・30 層が貝層で、38 層は砂礫層である。18 層は東に緩やかに傾斜し、20 層は B 区中央のみで看取される。27 ～ 30 層も 18 層同様、東側へ緩やかに傾斜する。この堆積状況は Sec.7 において 31 層以下の層で見られた傾斜方向と同様だが、18 層は傾斜方向が Sec.7 とは異なっている。

以上、栄町貝塚の層序を南北方向、東西方向で見てきたが、栄町貝塚を捉えていく上でいくつか特徴的な層を挙げておきたい。まず 8 層のヤマトシジミ主体の貝層である。この層とその上下の破砕したハマグリが含まれる層も含め、焚き火址が多数検出されている。このヤマトシジミ及び破砕したハマグリの層は B 区では検出されていない。次に 13・14 層の非常に細かい破砕貝が密集し、破砕貝が部分的に面状に堆積する層序である。これらの層は B 区北側から A 区南側までやや広い範囲で検出されているが、細かい破砕貝が特に多く検出されたのは B 区である。破砕貝が面状にフラットに

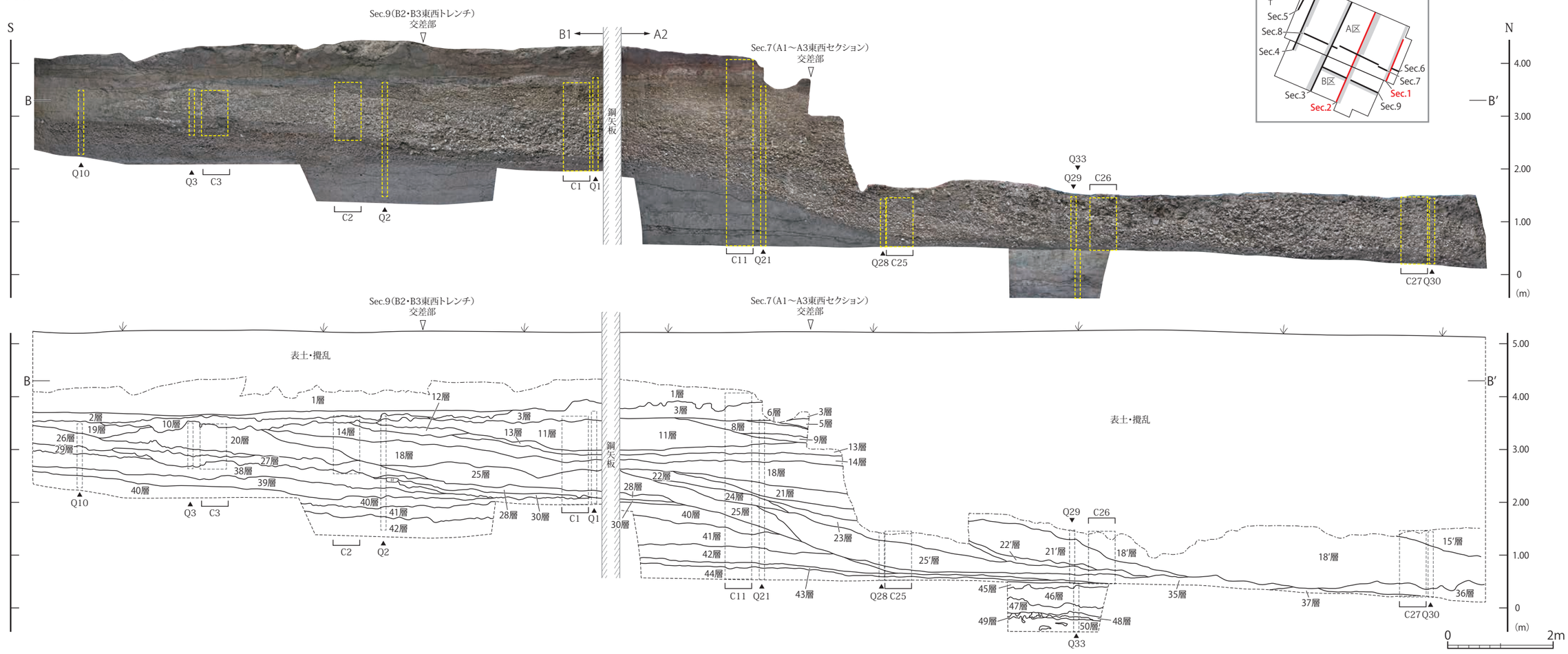


第 2 図　Sec.1 ～ 9 位置図（1/150）

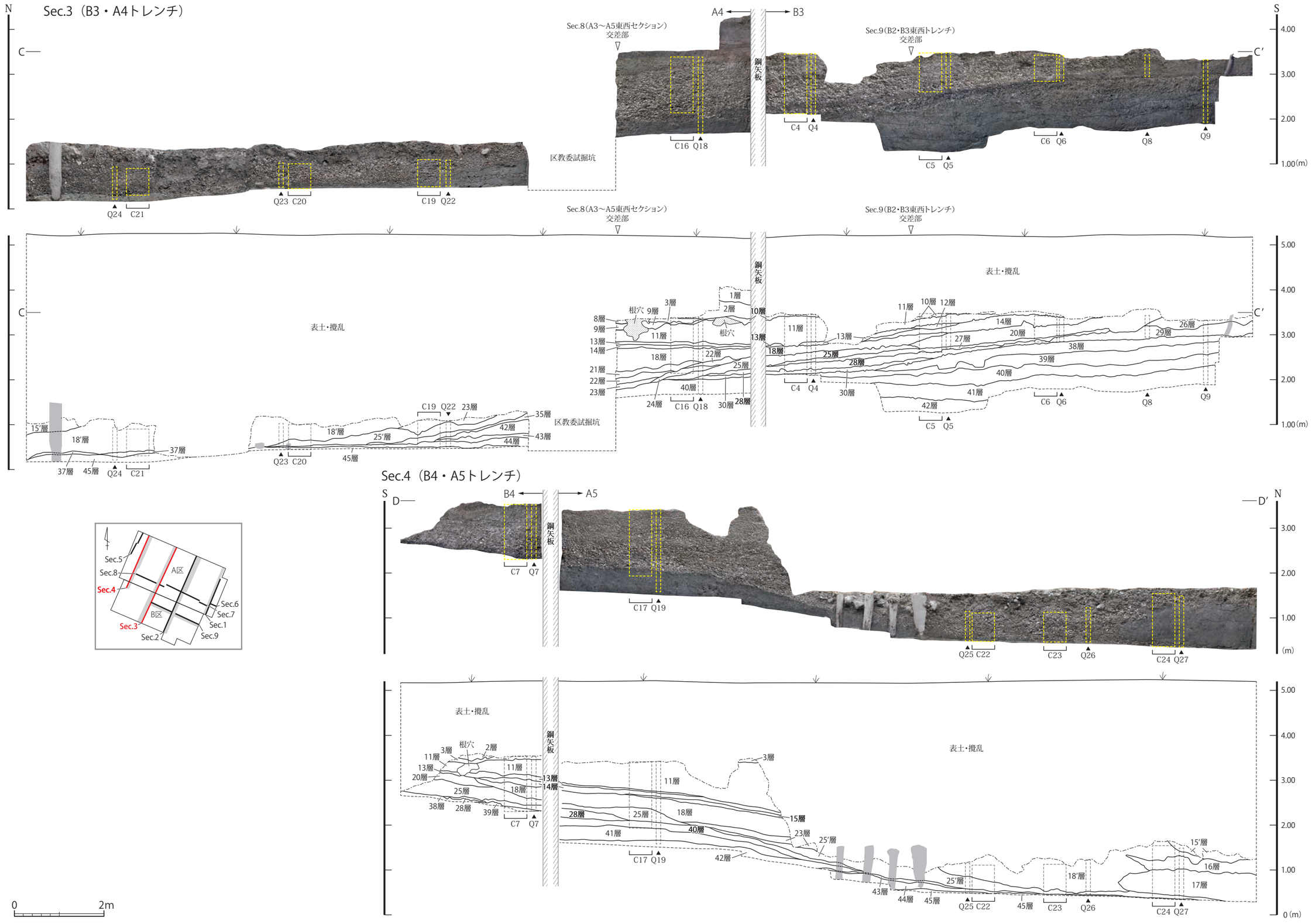
Sec.1（A1トレンチ）



Sec.2（B1・A2トレンチ）

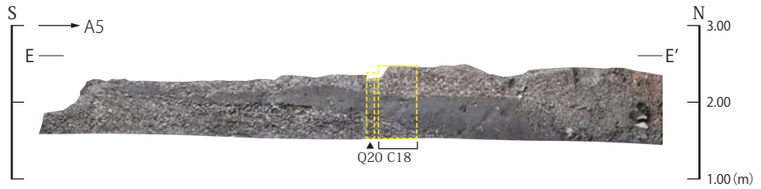


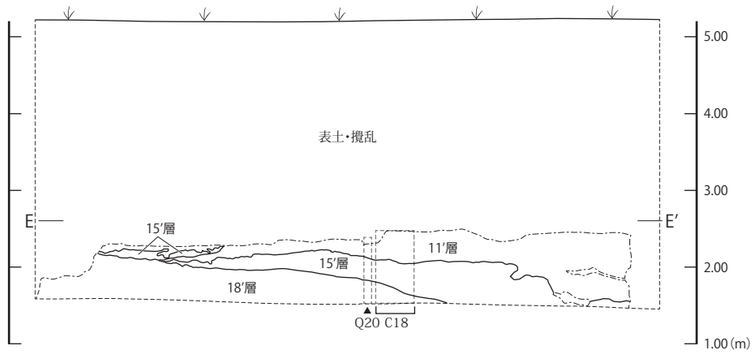
第 3 図　Sec.1・Sec.2 土層堆積状況（1/80）

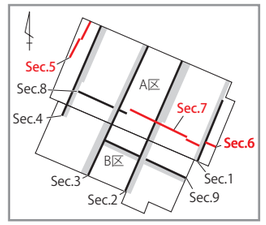


第 4 図　Sec.3・Sec.4 土層堆積状況（1/80）

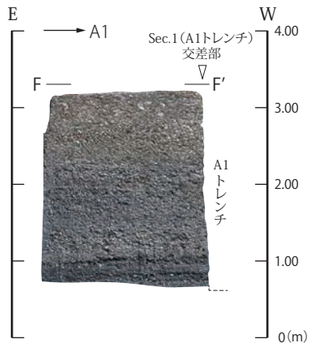
Sec.5（A5南北セクション）

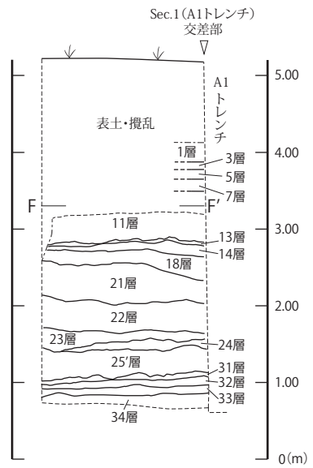




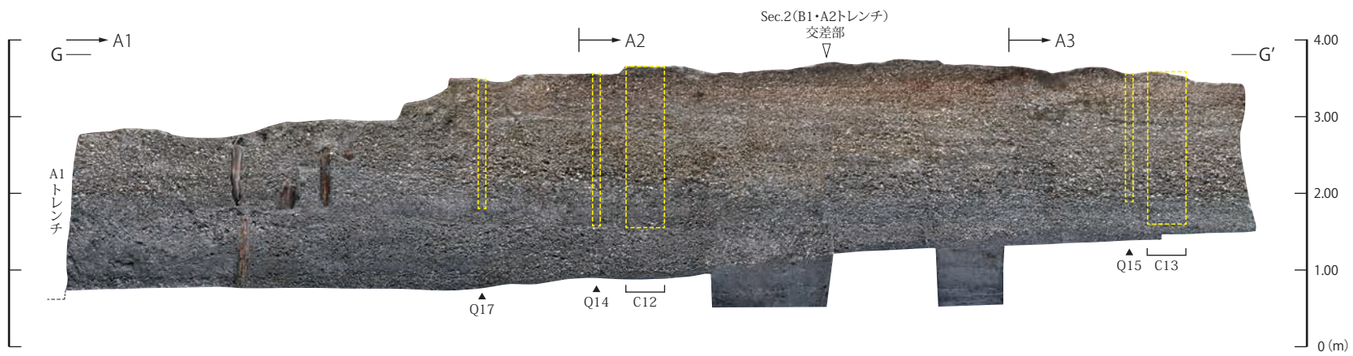


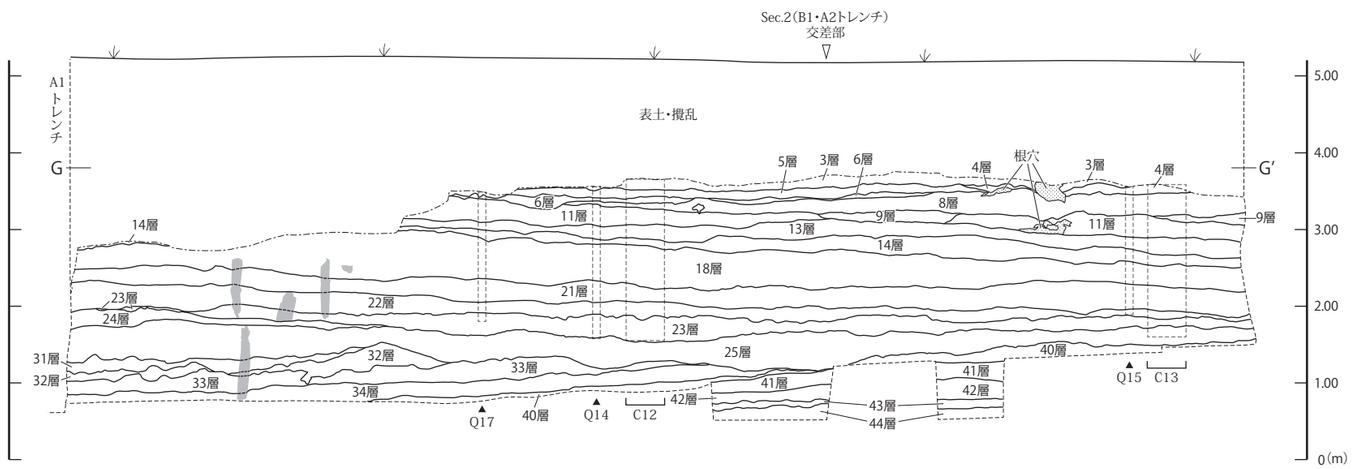
Sec.6（A1東西セクション）





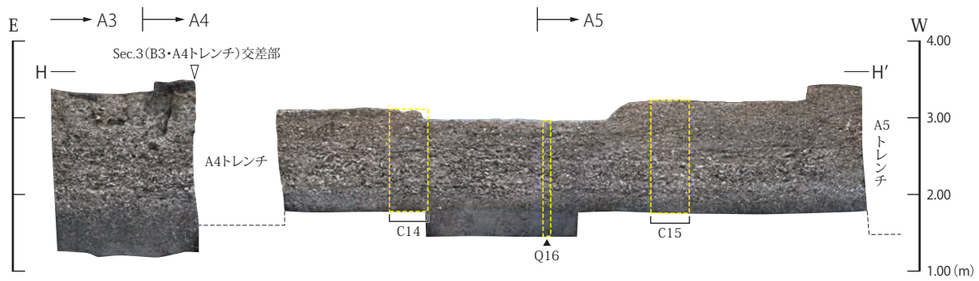
Sec.7（A1～A3東西セクション）

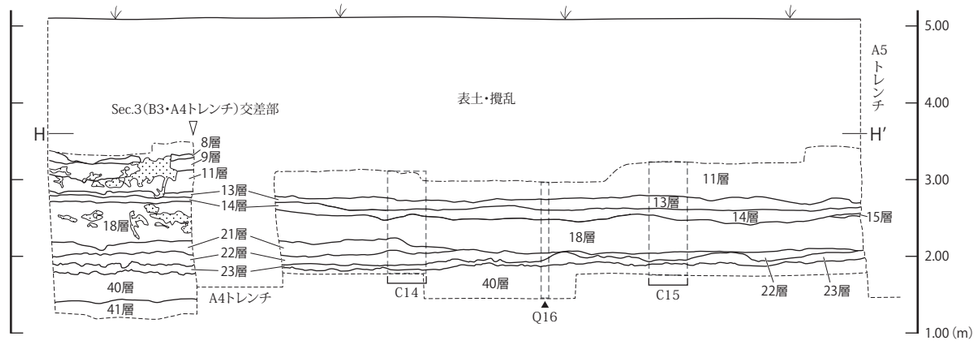




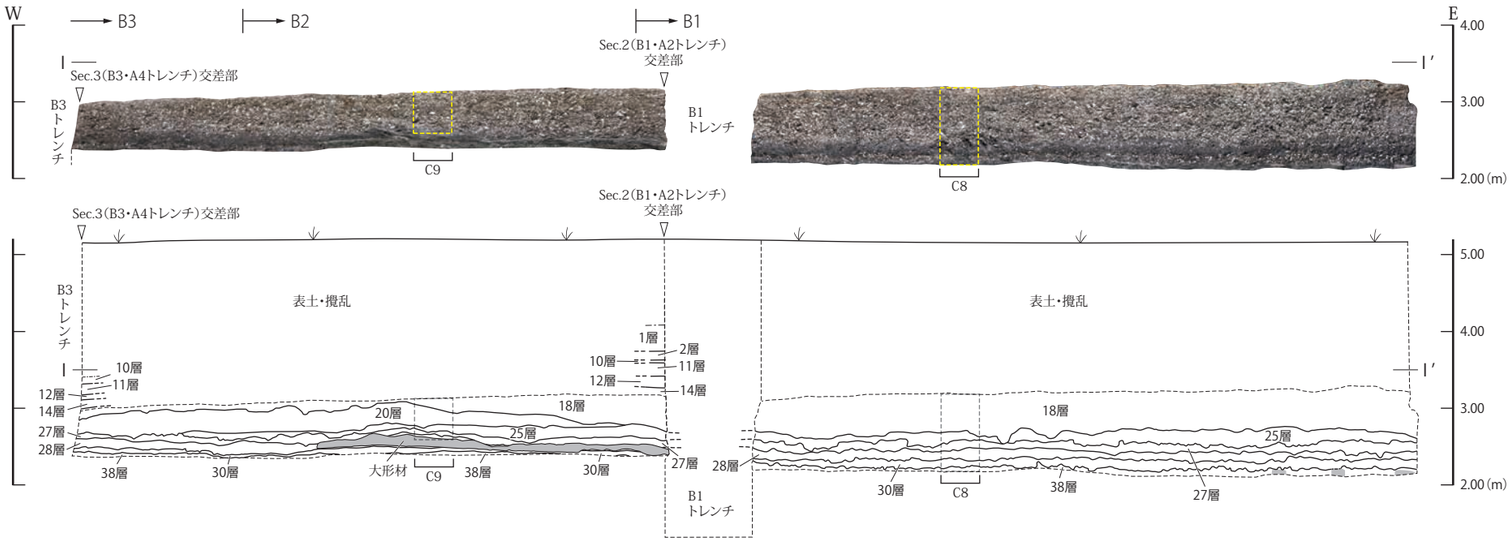
第 5 図　Sec.5・Sec.6・Sec.7 土層堆積状況（1/80）

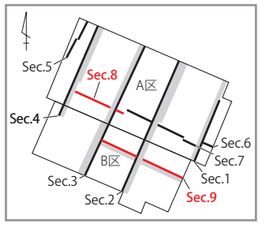
Sec.8（A3 ～ A5 セクション）





Sec.9（B1 ～ B3 トレンチ）

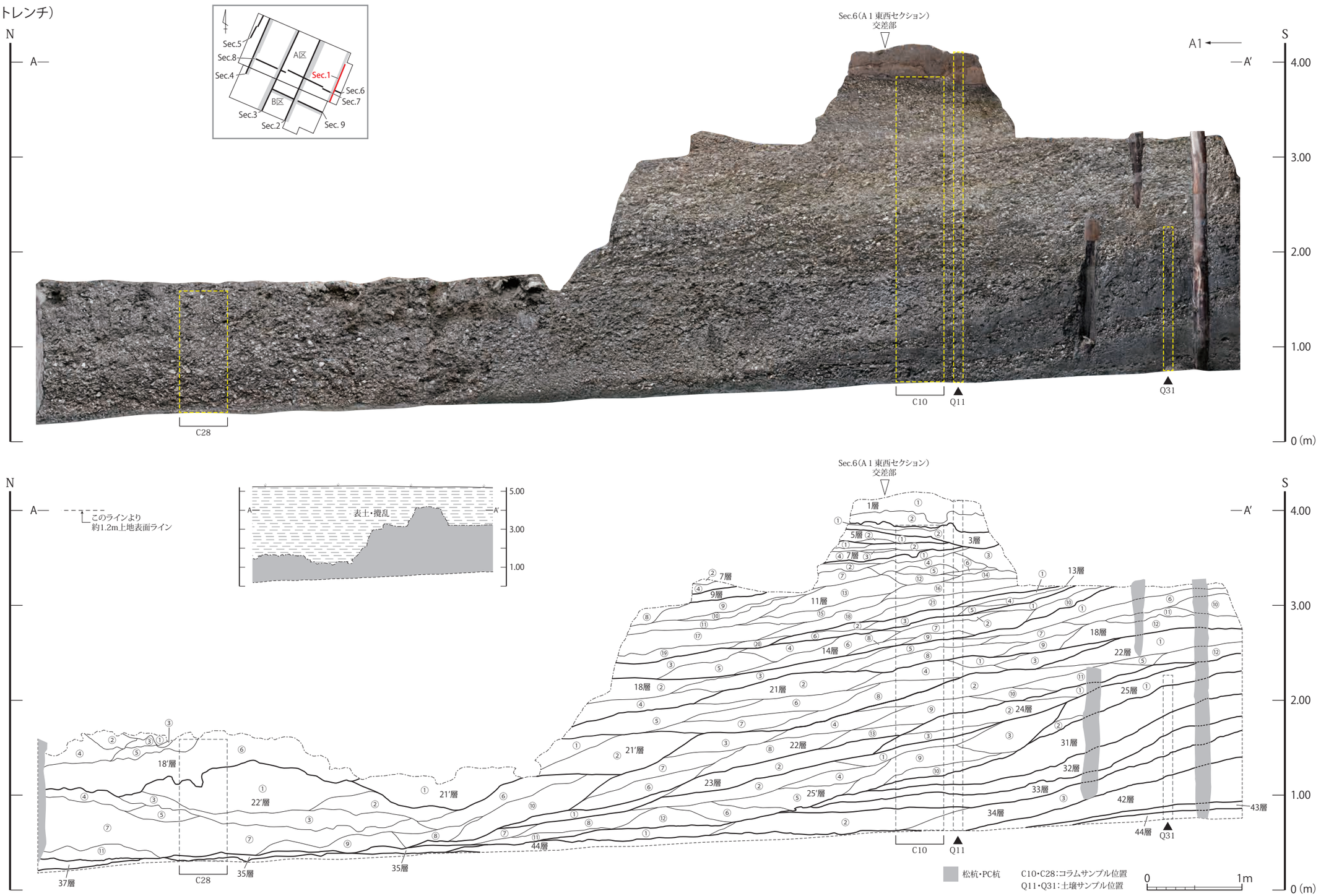




0　2m

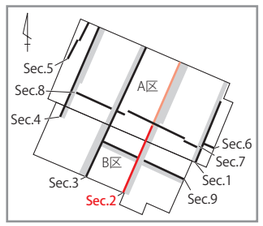
第 6 図　Sec.8・Sec.9 土層堆積状況（1/80）

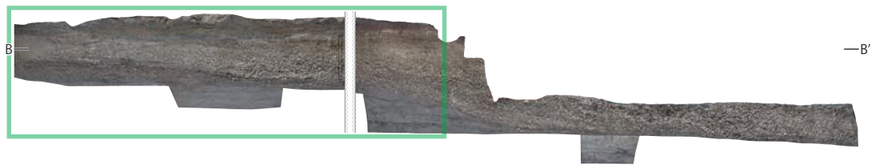
Sec.1（A1トレンチ）

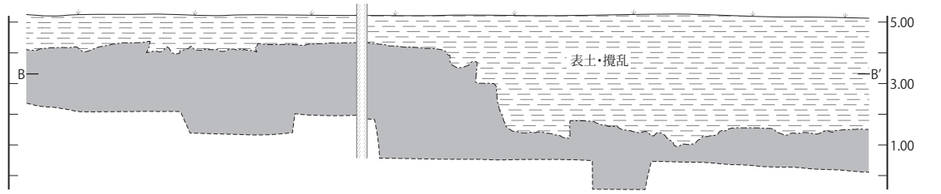


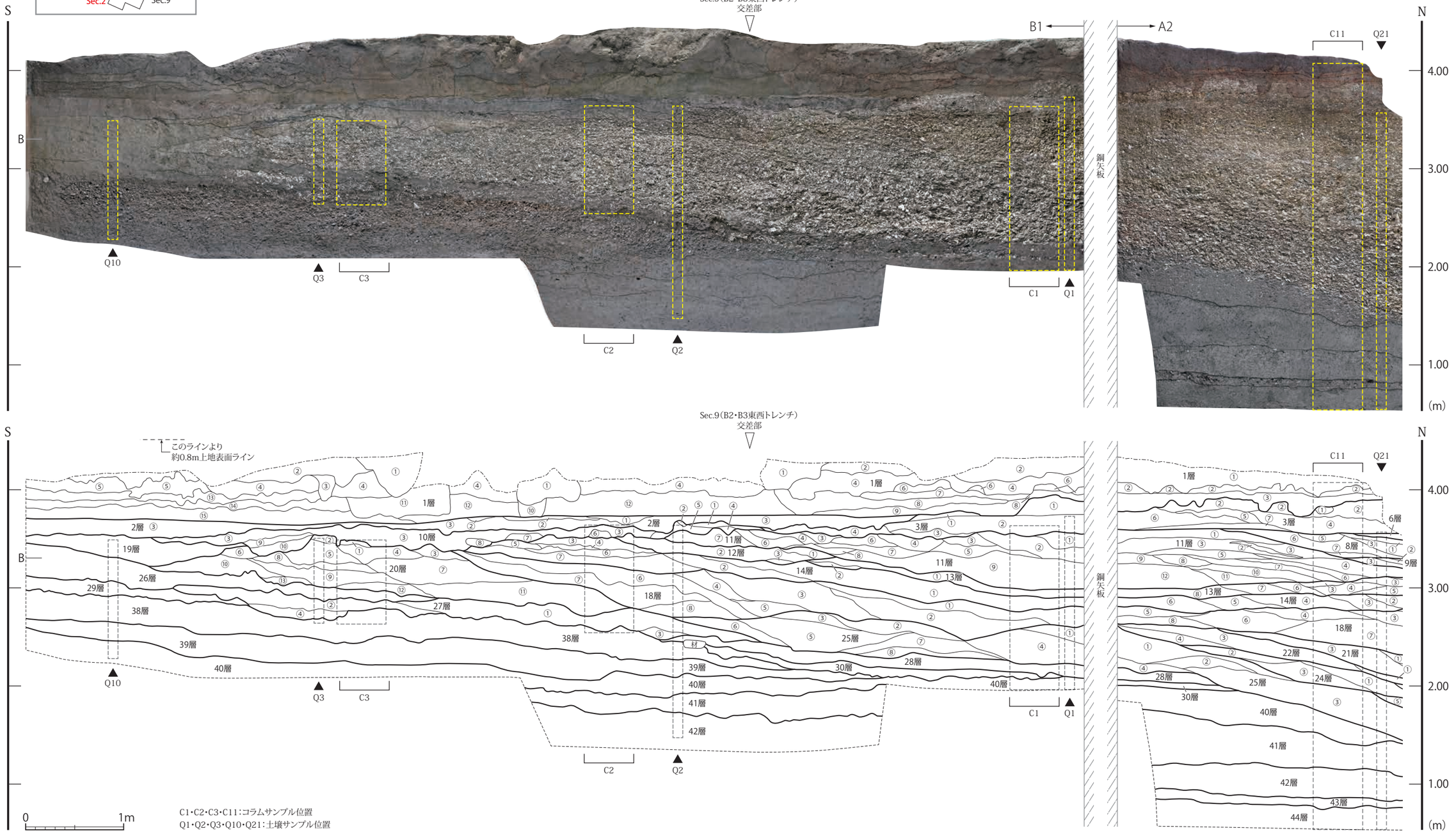
第７図　Sec.1 土層堆積状況（1/40）

Sec.2（B1・A2トレンチ）（1）



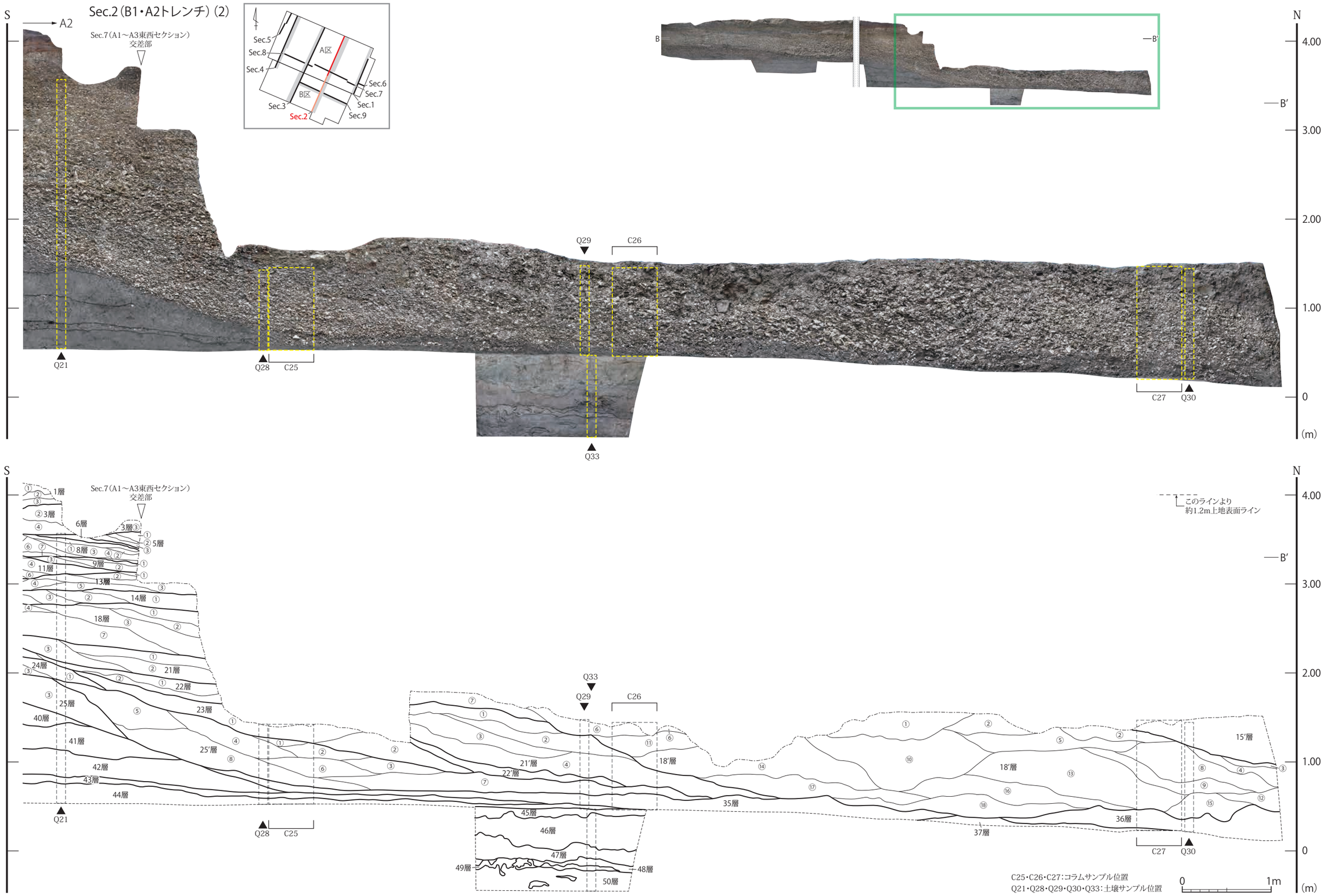






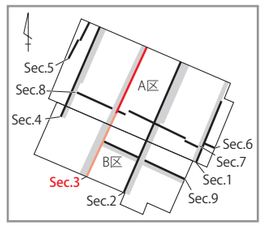
第 8 図　Sec.2（1）土層堆積状況（1/40）

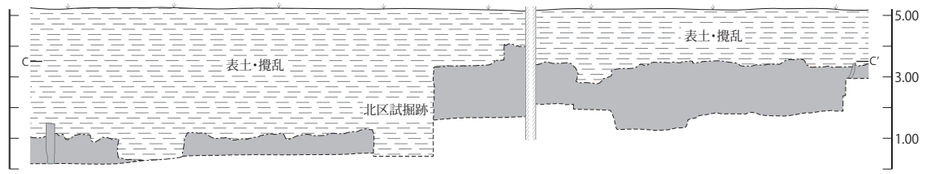
Sec.2（B1・A2トレンチ）（2）

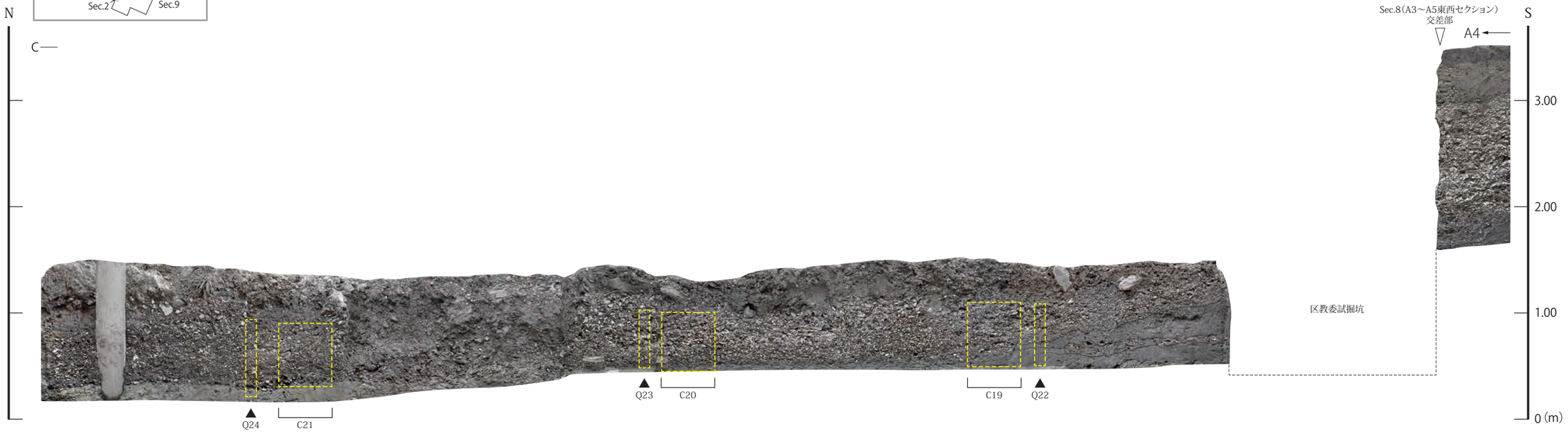


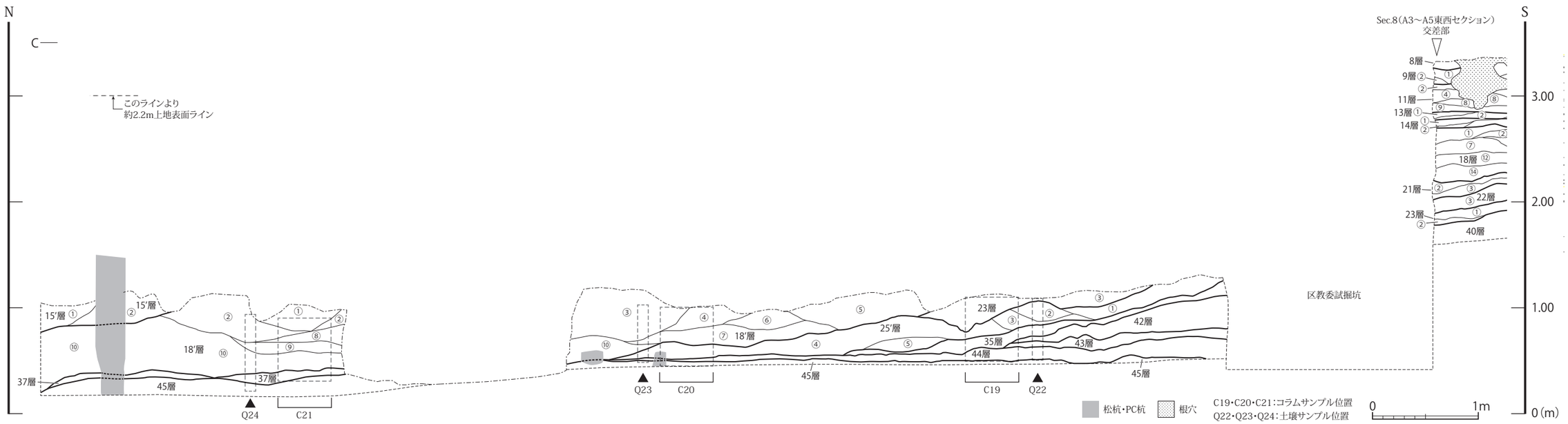
第 9 図　Sec.2（2）土層堆積状況（1/40）

Sec.3（B3・A4トレンチ）（1）



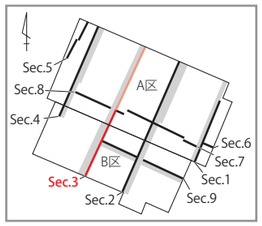


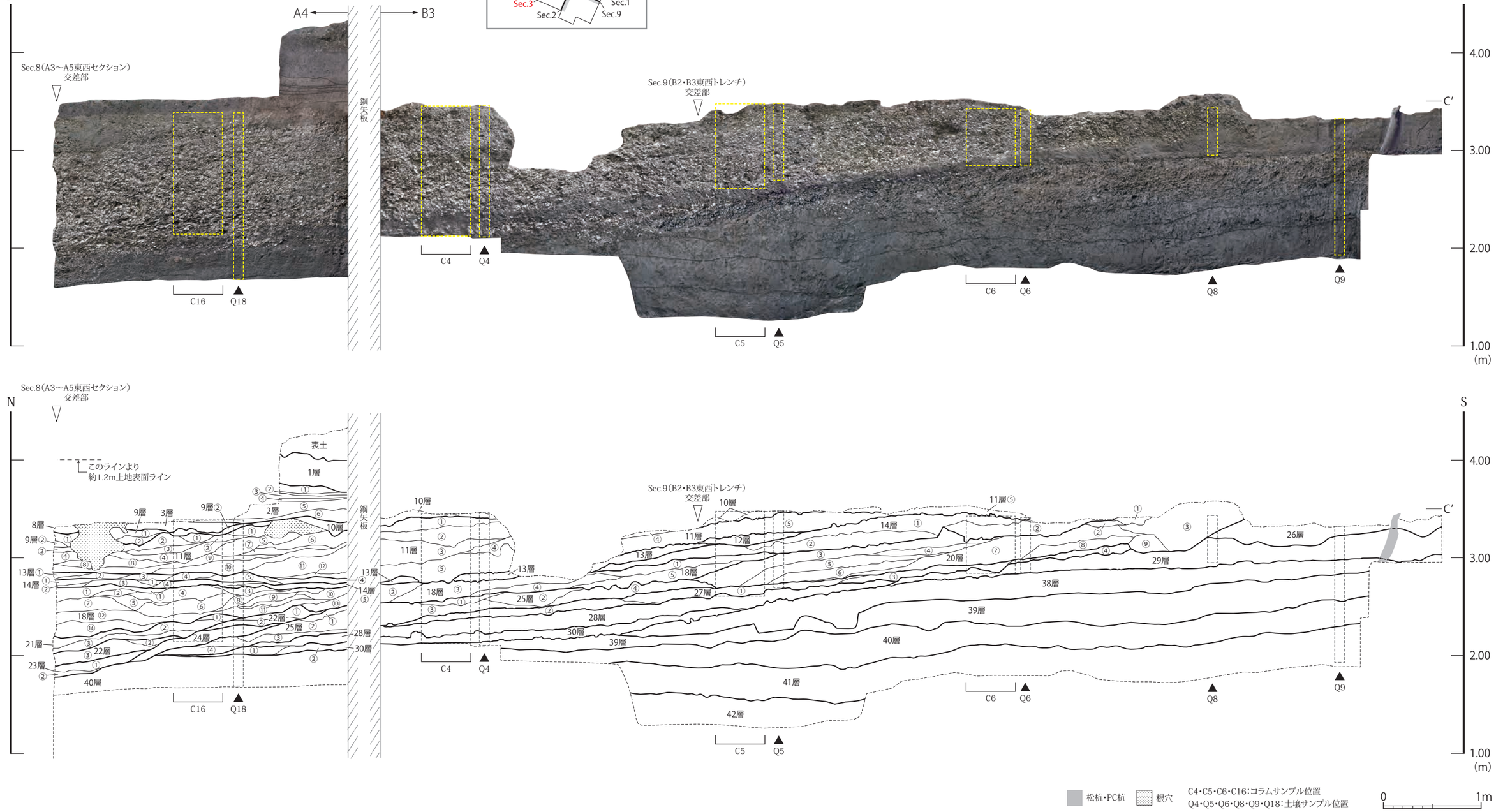




第 10 図　Sec.3（1）土層堆積状況（1/40）

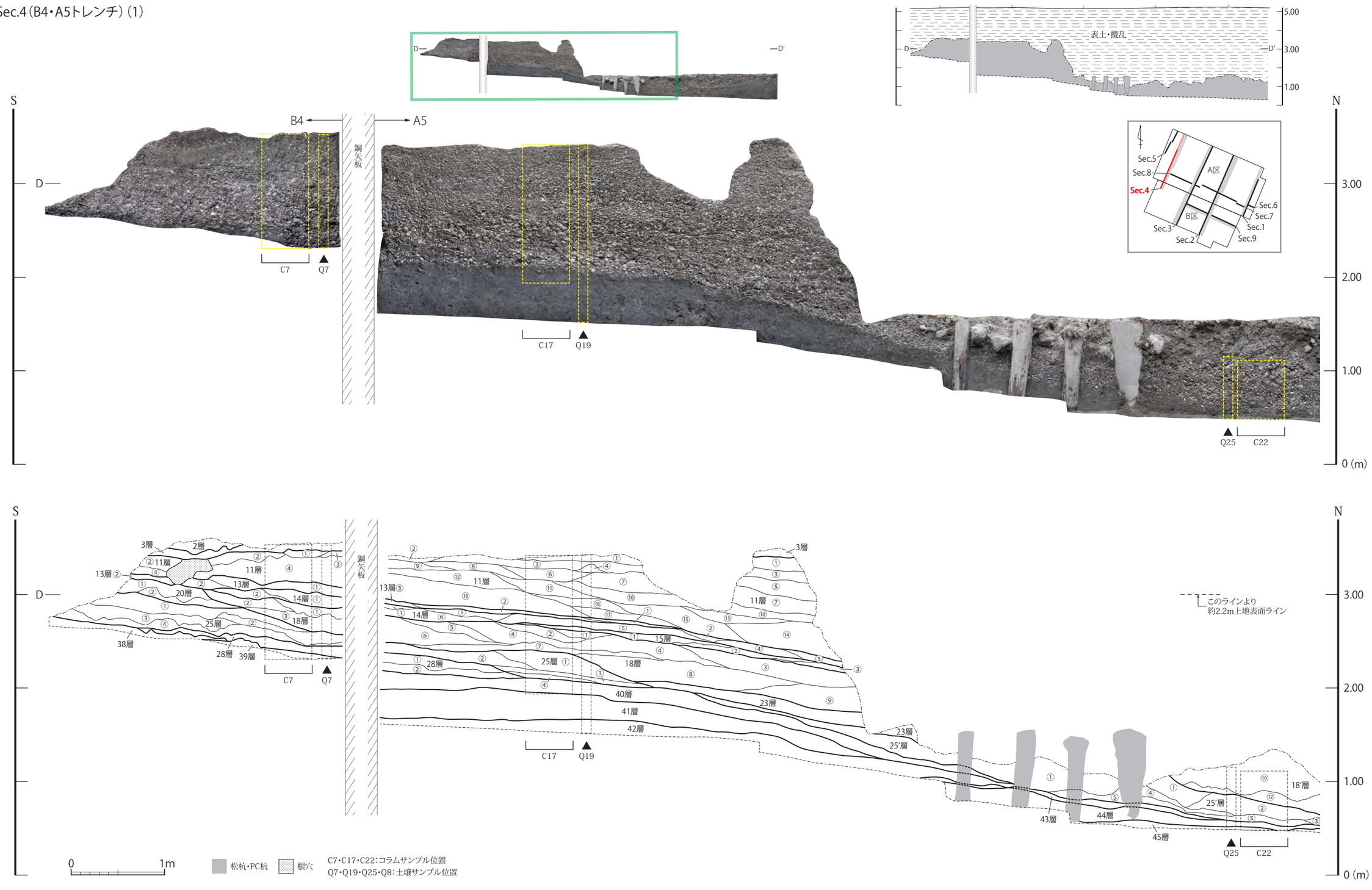
Sec.3（B3・A4トレンチ）（2）





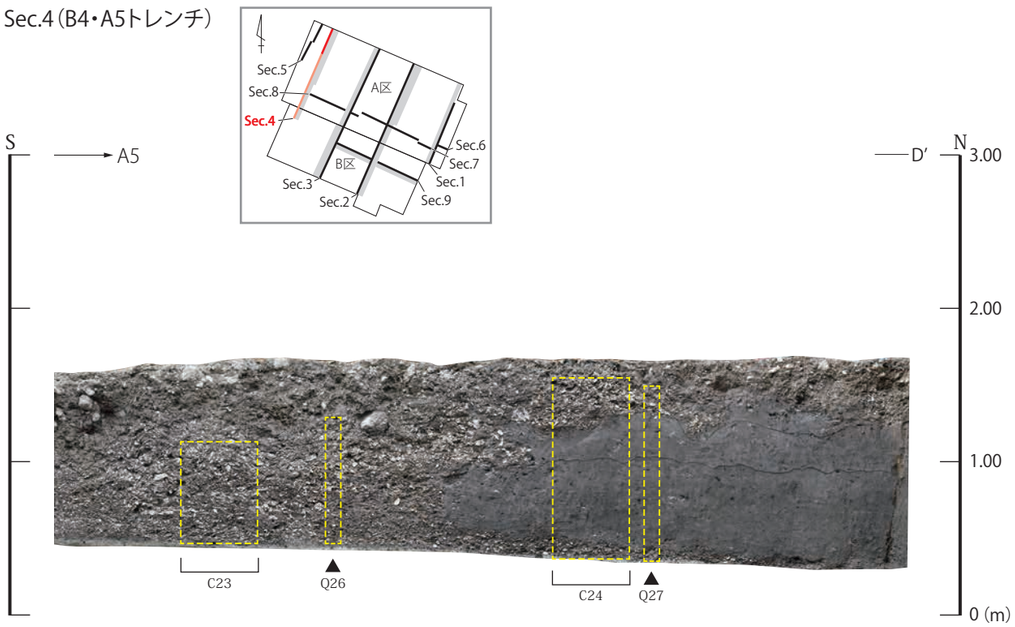
第 11 図　Sec.3（2）土層堆積状況（1/40）

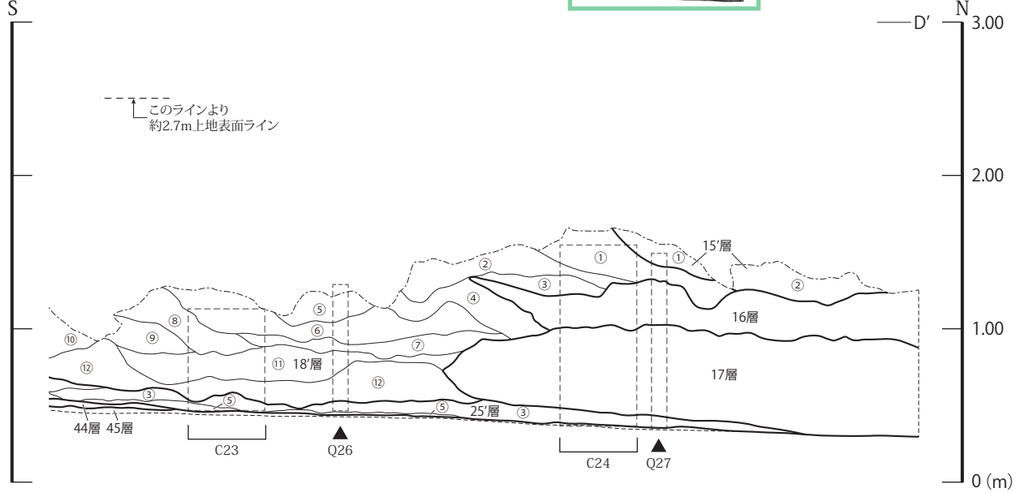
Sec.4（B4・A5トレンチ）（1）



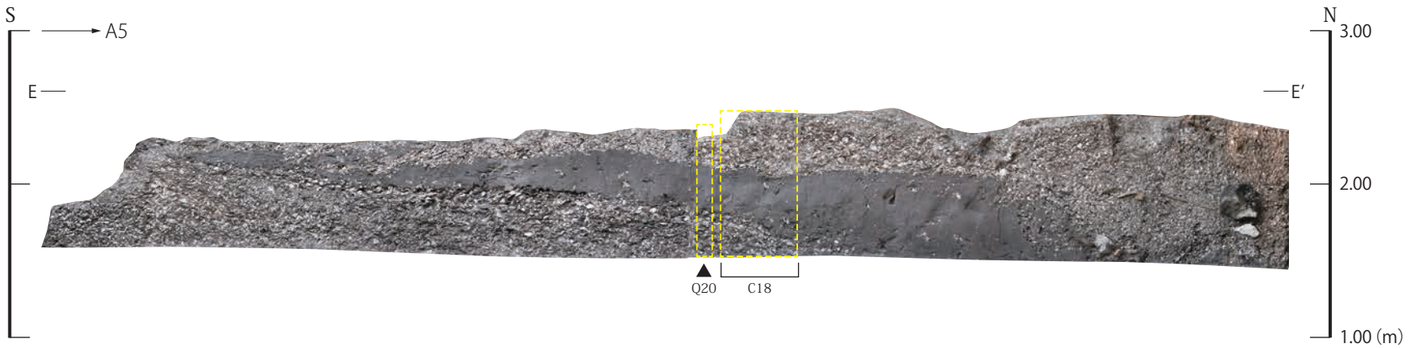
第 12 図　Sec.4（1）土層堆積状況（1/40）

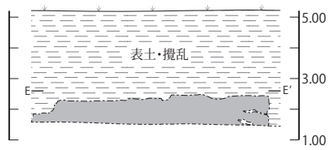
Sec.4（B4・A5トレンチ）

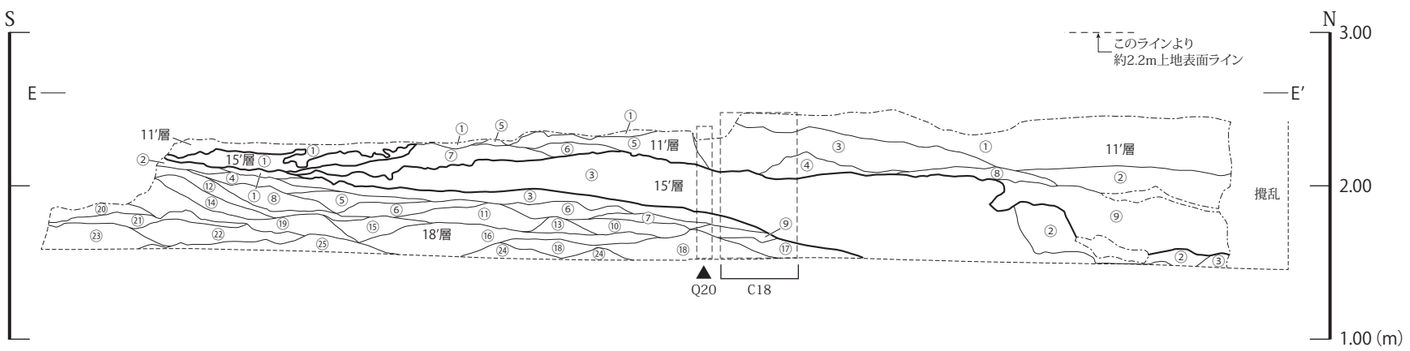


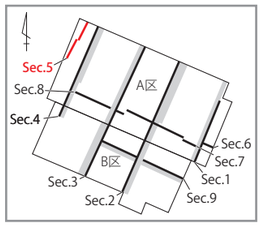


Sec.5（A5南北セクション）





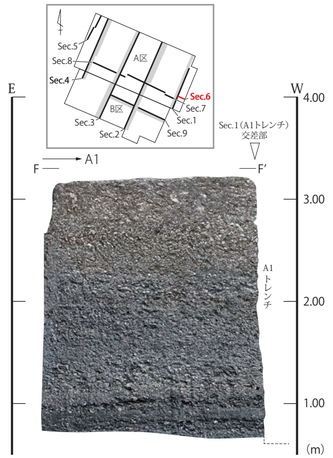




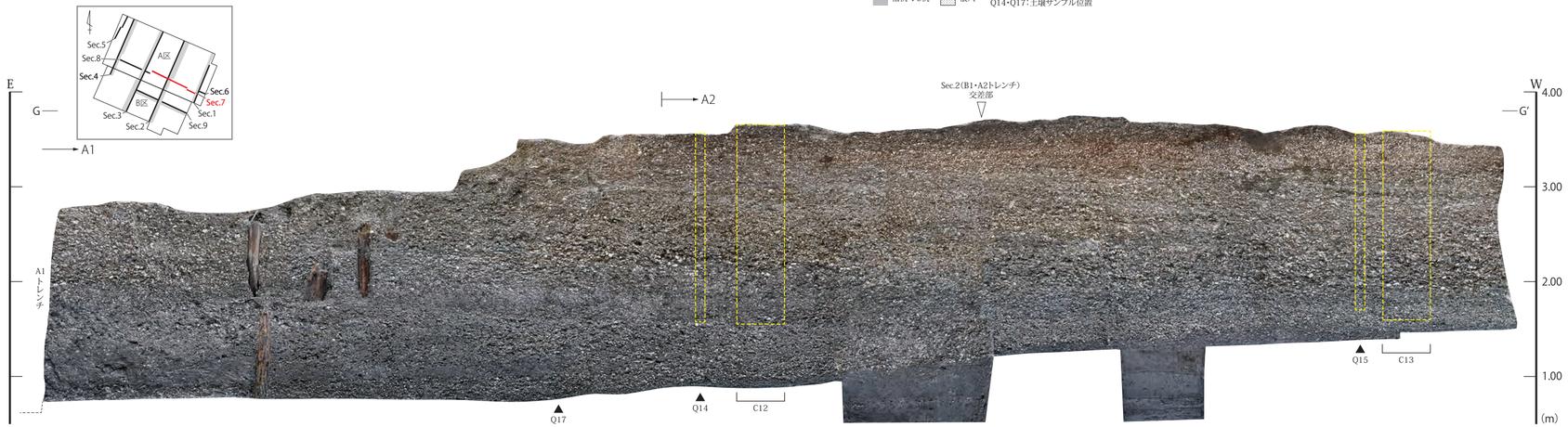
松杭・PC杭　根穴　C18・C23・C24：コラムサンプル位置　Q20・Q26・Q27：土壌サンプル位置　0　1m

第 13 図　Sec.4（2）・Sec.5 土層堆積状況（1/40）

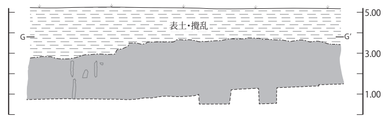
Sec.6（A1東西セクション）

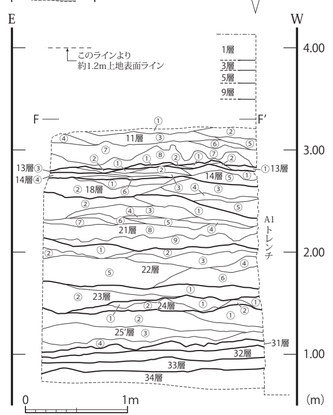


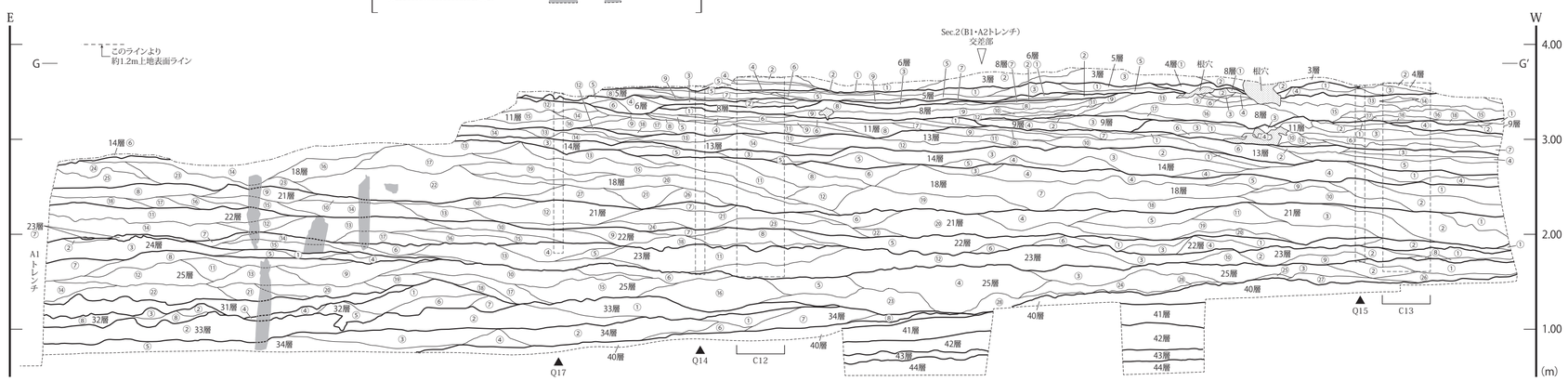
Sec.7（A1～A3東西セクション）



松杭・PC杭　根穴　C12：コラムサンプル位置　Q14・Q17：土壌サンプル位置



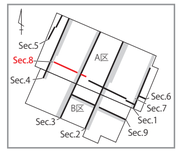


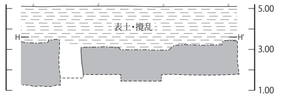


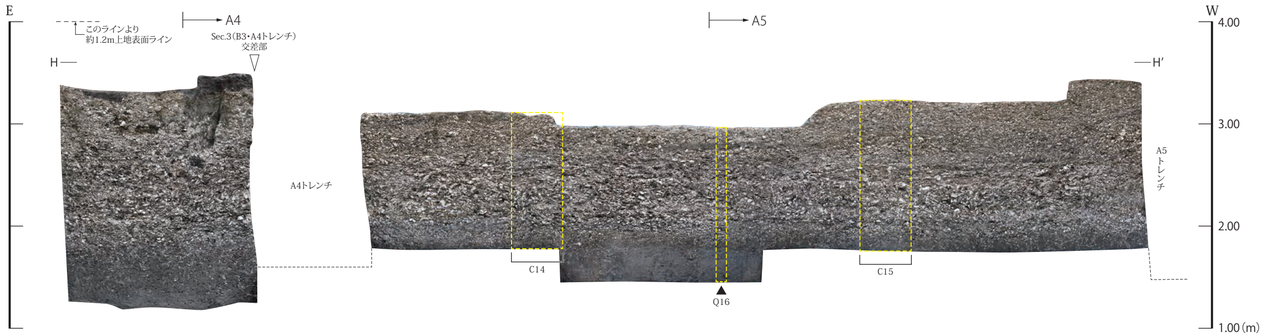
0　1m

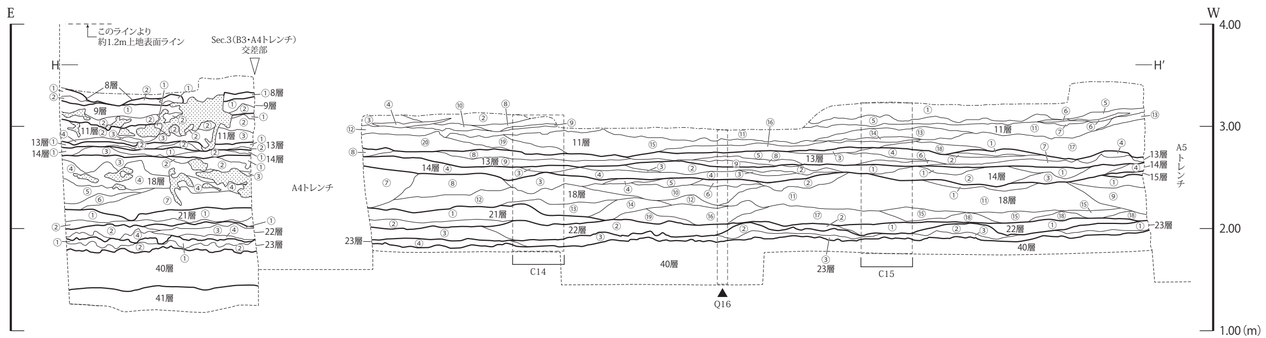
第 14 図　Sec.6・7 土層堆積状況（1/40）

Sec.8（A3〜A5東西セクション）

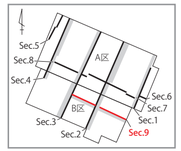


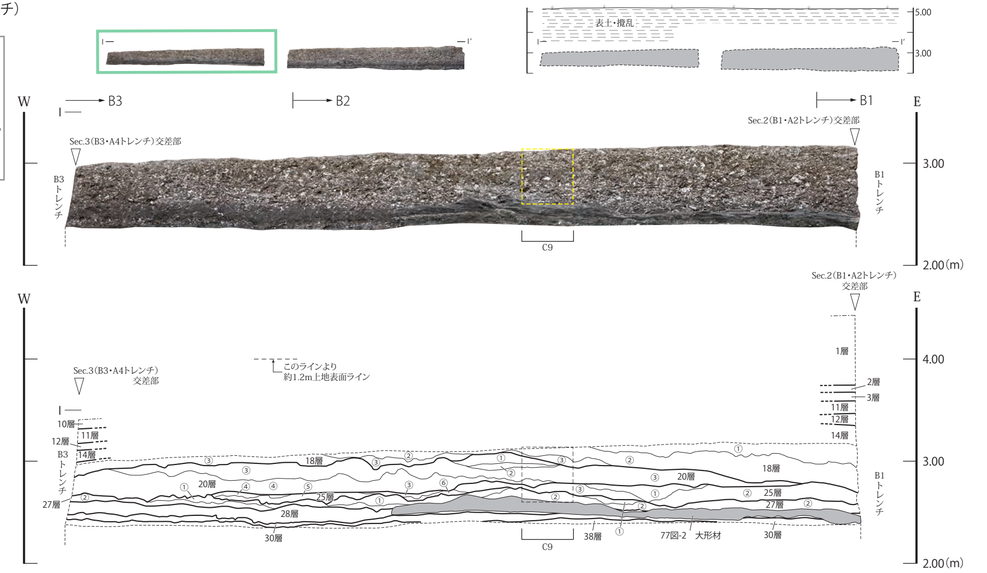






Sec.9（B1〜B3東西トレンチ）





根穴　C14・C15：コラムサンプル位置　Q16：土壌サンプル位置

松杭・PC杭　C8・C9：コラムサンプル位置

第 15 図　Sec.8・9 土層堆積状況（1/40）

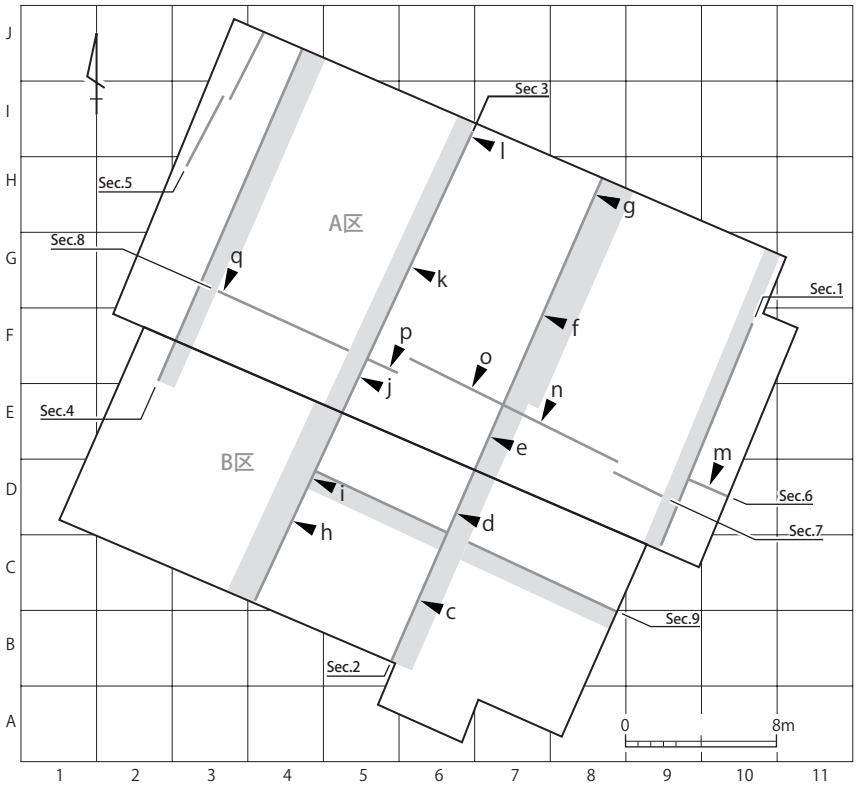
堆積する状況はA区・B区の両方で認められた。そして破砕の少ないマガキが多く含まれている18層である。セクション面では確認が困難であったが、B区北側からA区Sec.2の西～Sec.4の間にかけて、ハマグリが一面に広がる状況が確認されている。またA区のSec.1東側ではこの層から部分的に面状にアカニシがまとまって検出されている。この層で検出されるマガキは、下層に至るにつれて還元した色調を呈するものが増える。さらに23層はシルト質土を多く含み、13・14層で含まれるような細かい破砕貝が中心の層で､還元した色調のものを多く含んでいる。特徴的な貝層は以上だが、貝層下にはB区で見られるような38・39層といった砂礫層、40～44層といったシルト質土層や砂質シルト質土層が見られる。B区の砂礫層は海岸部の「礫浜」的な様相が想定され、シルト質土層及び砂質シルト質土は干潟の土をイメージさせる。これらの砂礫層やシルト質土・砂質シルト質土は当時の自然地形を表しているものと考えている。

3）貝層と貝層下の地形（第26・27図）

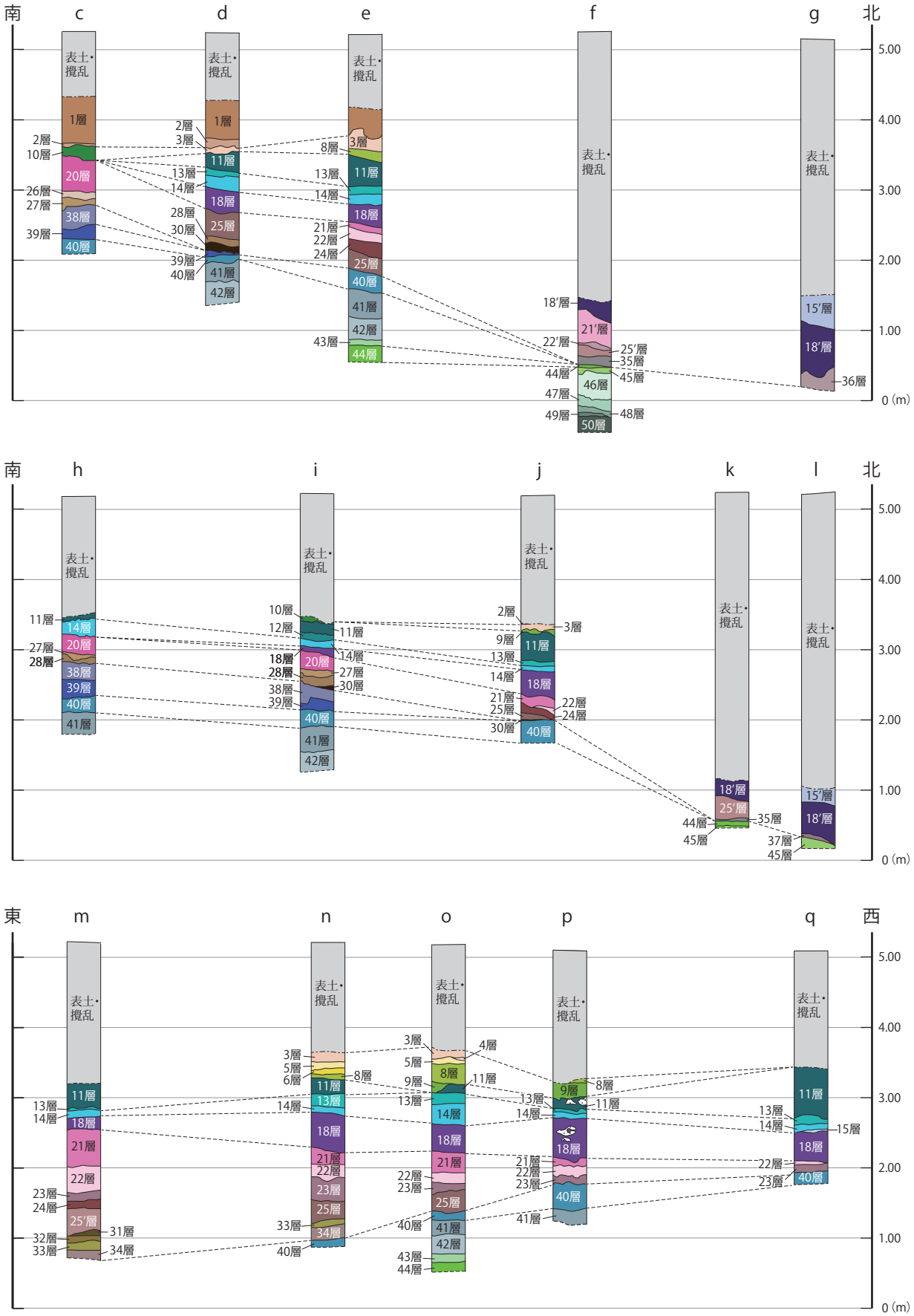
貝層堆積状況及び本貝塚の地形を俯瞰するため、層序柱状図（第27図）によって表した。基軸としたのは南北方向Sec.2・3、東西方向のSec.6・7・8の一部を柱状化したものである。

Sec.2・3に共通しているのは、時計工場の地下構造物により攪乱されている部分が多いものの北側に向かって傾斜している点である。また途中から急激に北側に向かって落ち込む傾斜も共通する。だが南側から中央部付近までの傾斜はSec.2よりもSec.3の方が緩やかである。

Sec.6・7・8の東西方向の堆積状況を見ると、21層よりも上層はやや上下に波打っている堆積状況だが、概ね一定で堆積に伴う大きな地形の変化は見られず、22層以下は東側に向かって傾斜している状況が伺える。Sec.2・3・6・7・8の柱状図から、栄町貝塚は北東方向に向かって地形が傾斜し、その傾斜とともに廃棄された貝が北東側で厚く堆積していることが理解される。



第16図　層序柱状図位置図（1/400）



第 17 図　層序柱状図（1/80）

第 79 表Sec.1（A1 トレンチ）土層説明一覧表（1）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
1	旧耕作土	1	褐（10YR4/1）	やや有	やや有	破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		2	オリーブ褐（2.5Y4/6）	やや有	やや有	破砕貝を僅かに、炭化材、炭化粒子をやや多く含む。部分的に酸化鉄を多く含む。
3	混貝土層	1	暗褐（10YR3/3）	有	有	破砕貝を少量、炭化材、炭化粒子をやや多く含む。
		2	黒褐（10YR2/2）	有	有	破砕したマガキを中量、焼けた破砕貝、炭化材、炭化粒子を少量含む。
5	混土貝層	1	オリーブ黒（5Y3/2）	やや有	やや有	破砕したマガキを多く、破砕したハマグリを少量、破砕したヤマトシジミ、炭化粒子を僅かに含む。
		2	黒褐（2.5Y3/1）	やや有	やや有	破砕したマガキを多く、破砕したハマグリを少量、焼けた破砕貝を多く含む。炭化材、炭化粒子を少量含む。
7	混土貝層	1	オリーブ褐（2.5Y4/4）	有	有	破砕し焼けたマガキを多く含む。炭化粒子、炭化物を中量含む。遺構の可能性あり。
		2	黒褐（2.5Y3/2）	有	有	破砕したマガキを多く含み、炭化粒子、炭化物を少量含む。ヤマトシジミをごく僅かに含む。
		3	オリーブ（5Y5/4）	有	有	破砕し焼けたマガキを多く含む。炭化粒子、炭化物を中量、ヤマトシジミをごく僅かに含む。
		4	暗オリーブ（5Y4/3）	有	有	破砕したマガキを多く含み、炭化粒子、炭化物、ヤマトシジミを僅かに含む。
9	混土貝層	1	暗オリーブ（5Y4/3）	有	有	破砕したマガキを少量、ヤマトシジミを多く含む。
11	混土貝層	1	オリーブ褐（2.5Y4/3）	弱	有	細かく破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝を少量含む。炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		2	オリーブ褐（2.5Y4/4）	弱	有	やや細く破砕したマガキを非常に多く、焼けた破砕貝を少量含む。炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		3	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	やや細く破砕したマガキを少量含む。根穴の可能性あり。
		4	灰オリーブ（5Y5/3）	弱	有	細かく破砕したマガキ、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		5	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	細かく破砕したマガキを中量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		6	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	細かく破砕したマガキ、焼けた破砕貝を中量、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		7	灰オリーブ（5Y5/3）	弱	有	破砕の少ないマガキを僅かに、やや細く破砕したマガキ、焼けた破砕貝を多く、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		8	オリーブ褐（2.5Y4/6）	弱	有	破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝を中量、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		9	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	細かく破砕したマガキを非常に多く、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		10	灰オリーブ（5Y5/3）	弱	有	破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝を少量、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		11	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	破砕の少ないマガキを少量、破砕したマガキをやや多く、炭化材、炭化粒子を少量含む。
		12	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	破砕したマガキ、焼けた破砕貝、炭化材、炭化粒子を少量含む。
		13	暗オリーブ（5Y4/4）	弱	有	破砕の少ないマガキを少量、破砕したマガキを非常に多く、炭化材、炭化粒子を少量含む。
		14	灰オリーブ（5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキを少量含む。
		15	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	破砕の少ないマガキを少量、破砕したマガキをやや多く含む。
		16	オリーブ（5Y5/4）	弱	有	破砕の少ないマガキを少量、破砕したマガキを中量含む。
		17	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	破砕の少ないマガキを中量、破砕したマガキをやや多く含む。
		18	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	破砕の少ないマガキ、破砕したマガキを中量含む。
		19	灰オリーブ（7.5Y4/2）	弱	有	破砕の少ないマガキをやや多く、破砕したマガキを中量含む。
		20	灰オリーブ（5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキを多く含む。
		21	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	破砕の少ないマガキを僅かに、破砕したマガキを中量含む。
13	混土貝層	1	暗オリーブ（5Y4/3）	有	有	破砕したマガキを多く含み、破砕貝が面状に堆積する。
		2	暗オリーブ（5Y4/3）	有	有	破砕したマガキを中量含む。
		3	暗オリーブ（5Y4/2）	有	有	破砕したマガキをやや多く含み、破砕貝が部分的に面状に堆積する。
		4	暗オリーブ（5Y4/3）	有	有	破砕の少ないマガキを僅かに、破砕貝をやや多く含む。部分的に面状に堆積する。
		5	オリーブ（5Y5/4）	有	有	破砕の少ないマガキを僅かに、破砕貝を中量含む。部分的に面状に堆積する。
		6	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕の少ないマガキを少量、破砕貝を中量含む。部分的に面状に堆積する。
14	混土貝層	1	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	破砕したマガキを中量含む。
		2	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキをやや多く含む。
		3	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	破砕の少ないマガキを少量、破砕したマガキをやや多く含む。
		4	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕の少ないマガキを中量、破砕したマガキを少量含む。
		5	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕の少ないマガキ、破砕したマガキを中量含む。
		6	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕の少ないマガキをやや多く、破砕したマガキを中量含む。
		7	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕の少ないマガキをやや多く、破砕したマガキを少量含む。
		8	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕の少ないマガキを中量、破砕したマガキを僅かに含む。
		9	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕の少ないマガキを中量含む。
		10	暗オリーブ（7.5Y4/3）	有	有	破砕の少ないマガキを多く、破砕したマガキを少量含む。
18	混土貝層	1	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを非常に多く、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕の少ないマガキを少量、破砕したマガキを非常に多く、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		3	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕の少ないマガキを少量、破砕したマガキを多く、ハマグリを少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕の少ないマガキを少量、破砕したマガキを多く含む。
		5	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを非常に多く、ハマグリを少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		6	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを多く含み、破砕の少ないマガキを僅かに含む。
		7	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキをやや多く含み、破砕の少ないマガキを僅かに含む。
		8	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを多く含み、ハマグリを少量含む。
		9	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く含み、ハマグリを少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		10	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキを非常に多く含む。
		11	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを僅かに含む。
		12	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを多く、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
18′	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く含む。
		2	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	破砕の少ないマガキを少量、細かく破砕したマガキを多く含む。
		3	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	破砕の少ないマガキを中量含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		5	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキを中量含む。
		6	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキを非常に多く、破砕の少ないマガキを中量、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。

第 80 表Sec.1（A1 トレンチ）土層説明一覧表（2）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
21	混土貝層	1	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を少量、ハマグリをやや多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
		2	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを中量、還元した色調の破砕貝を少量、ハマグリをやや多く、ヤマトシジミを少量含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを僅かに、還元した色調の破砕貝を少量、ハマグリを中量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		4	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを多く、ハマグリを中量、ヤマトシジミを少量含む。
		5	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	やや細かく破砕したマガキを多く、ハマグリをやや多く、ヤマトシジミを少量含む。
		6	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキ、ハマグリをやや多く、ヤマトシジミを少量含む。
		7	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を少量、ハマグリを多く、ヤマトシジミを少量含む。
		8	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝を僅かに、ハマグリ、ヤマトシジミをやや多く含む。
21′	混土貝層	1	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を非常に多く、ハマグリ、ヤマトシジミを多く含む。
22	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを少量含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキを少量、還元した色調の破砕貝をやや多く含む。
		3	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		4	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝をやや多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
		5	暗オリーブ（7.5Y4/3）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		6	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを中量含む。
		7	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝をやや多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
		8	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
		9	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を少量、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		10	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキをやや多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
		11	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキ、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		12	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキ、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		13	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
22′	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを多く、ハマグリを僅かに含む。
		2	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキ、ハマグリを中量含む。
		4	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを多く含む。
		5	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを中量、ハマグリを僅かに含む。
		6	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝、ハマグリ、ヤマトシジミを中量含む。
		7	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを中量、還元した色調の破砕貝、ハマグリを少量、ヤマトシジミをやや多く含む。
		8	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを中量、還元した色調の破砕貝、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		9	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を少量、ハマグリ、ヤマトシジミを中量含む。
		10	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を少量、ハマグリ、ヤマトシジミをやや多く含む。
		11	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを少量、ハマグリをやや多く、ヤマトシジミを少量含む。
23	混土貝層	1	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を中量、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		2	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く含む。
24	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを少量、還元した色調の破砕貝を中量含む。
		3	暗緑灰（7.5G4/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く含む。
25	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を含む。ヤマトシジミを僅かに含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキを僅かに、還元した色調の破砕貝を少量含む。ヤマトシジミを僅かに含む。
25′	混土貝層	1	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
		2	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		4	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを少量、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		5	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、ハマグリを僅かに含む。
		6	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、ハマグリを僅かに含む。
		7	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		8	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリを僅かに含む。
		9	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを少量、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		10	暗緑灰（7.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキを少量、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		11	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキ、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		12	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリを少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
31	混貝土層	1	暗緑灰（10GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。
32	混貝土層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、ヤマトシジミを少量含む。砂質のシルト質土中心の層。
33	混貝土層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。
34	混貝土層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、ハマグリを少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		2	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキ、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		3	緑黒（10GY2/1）	弱	有	細かく破砕したマガキを中量、ヤマトシジミを僅かに含む。
35	混貝土層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキを僅かに含む。
37	混貝土層	1	暗オリーブ灰（5GY3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキを僅かに、小礫をやや多く含む。
42	砂質シルト質土層	1	緑黒（7.5GY2/1）	弱	有	非常に細かい破砕貝を僅かに含む。砂質のシルト質土が中心。
43	砂質シルト質土層	1	暗オリーブ灰（5GY3/1）	弱	有	自然貝層由来のサビシラトリ、マテガイ、カガミガイ等を含む砂質シルト質土の層。
44	砂質シルト質土層	1	緑黒（10GY2/1）	弱	有	砂質のシルト質土が中心で、若干粘性を帯びる。

第 81 表Sec.2（B1 トレンチ）土層説明一覧表（1）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
1	旧耕作土	1	暗褐（10YR3/3）	やや有	やや有	黒褐色粒、黒褐色土を含み、酸化鉄を少量含む。
		2	黒褐（10YR2/3）	やや有	弱	暗褐色土のブロック、黒褐色粒、酸化鉄を少量含む。
		3	黒褐（10YR3/1）	やや有	やや有	黒褐色粒、酸化鉄を僅かに含む。
		4	黒褐（10YR2/2）	やや有	やや有	黒褐色土をやや多く、酸化鉄を多く含む。
		5	黒（10YR2/1）	やや有	やや有	白色粒子を少量、黒褐色粒、酸化鉄を僅かに含む。
		6	暗赤褐（5YR3/3）	やや有	やや有	黒褐色粒、酸化鉄を中量含む。
		7	明黄褐（10YR5/6）	有	やや有	黒褐色粒を少量、酸化鉄を中量含む。
		8	黒褐（10YR2/3）	やや有	やや有	黒褐色粒、酸化鉄を少量含む。
		9	暗褐（10YR3/4）	やや有	やや有	炭化物、炭化粒子を少量、酸化鉄を僅かに含む。
		10	にぶい黄褐（10YR4/3）	やや有	やや有	酸化鉄を中量含む。
		11	暗褐（10YR3/4）	やや有	やや有	黒褐色粒を少量、酸化鉄を中量含む。
		12	緑黒（10G1.7/1）	有	有	炭化物、酸化鉄をブロック状に含む。
		13	緑黒（10G2/1）	有	やや有	炭化物、酸化鉄を少量含む。
		14	緑黒（10G1.7/1）	有	有	炭化物、酸化鉄を僅かに含む。
		15	暗赤褐（7.5YR3/4）	やや有	やや有	黒褐色粒を中量、酸化鉄をやや多く含む。
2	旧耕作土	1	オリーブ褐（2.5Y4/3）	有	強	微細に破砕したヤマトシジミをごく僅かに含む。炭化粒子を多く含む。部分的に酸化鉄あり。
		2	オリーブ褐（2.5Y4/3）	有	強	1 に類似するが締りが増す。
		3	オリーブ褐（2.5Y4/3）	有	強	微細に破砕したヤマトシジミを僅かに、炭化粒子を多く含む。部分的に酸化鉄あり。
3	混貝土層	1	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	有	有	微細に破砕したヤマトシジミを少量、炭化粒子を多く含む。
		2	オリーブ褐（2.5Y4/3）	有	有	微細に破砕したヤマトシジミを中量、炭化粒子を中量含む。
		3	オリーブ褐（2.5Y4/4）	有	有	微細に破砕したヤマトシジミを中量、破砕貝を少量、炭化粒子を中量含む。
		4	オリーブ褐（2.5Y4/4）	有	有	細かく破砕したヤマトシジミ、破砕貝を少量、炭化粒子を多く含む。
10	混貝土層	1	黒褐（10YR3/1）	有	有	微細に破砕したヤマトシジミ・マガキを僅かに、炭化粒子を少量含む。
		2	黒褐（10YR3/1）	有	有	微細に破砕したヤマトシジミ・マガキ、焼けた破砕貝をごく僅かに、炭化粒子を少量含む。
		3	黒褐（10YR3/1）	有	有	破砕貝はほとんど含まず、シルト質土中心の層。炭化粒子を少量含む。
		4	黒色（10YR2/1）	有	有	微細に破砕したヤマトシジミ・マガキ、焼けた破砕貝をごく僅かに、炭化粒子を少量含む。
		5	黒褐（10YR3/1）	有	有	細かく破砕したヤマトシジミ・マガキ、焼けた破砕貝を僅かに、炭化粒子を少量含む。
		6	黒（10YR2/1）	有	有	細かく破砕したヤマトシジミ、炭化粒子を少量含む。
		7	黒褐（10YR3/1）	有	有	細かく破砕したヤマトシジミを中量、炭化粒子を少量含む。
		8	褐灰（10YR4/1）	有	有	細かく破砕したヤマトシジミをやや多く、炭化粒子を僅かに含む。
		9	黒（10YR2/1）	有	有	炭化粒子を層状に含む。
		10	褐灰（10YR4/1）	有	有	ヤマトシジミの破砕貝をやや多く、炭化粒子を多く含む。
11	混土貝層	1	オリーブ褐（2.5Y4/3）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを中量、焼けた破砕貝を少量含む。炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		2	オリーブ褐（2.5Y4/4）	弱	有	やや細かく破砕したマガキをやや多く､焼けた破砕貝を少量含む。炭化粒子､炭化材を僅かに含む。
		3	オリーブ褐（2.5Y4/4）	弱	有	やや細かく破砕したマガキ、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		4	オリーブ褐（2.5Y4/6）	弱	有	細かく破砕したマガキをやや多く、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		5	オリーブ褐（2.5Y4/3）	弱	有	細かく破砕したマガキを中量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		6	オリーブ褐（2.5Y4/4）	弱	有	細かく破砕したマガキ、焼けた破砕貝をやや多く、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		7	オリーブ褐（2.5Y4/4）	弱	有	やや細かく破砕したマガキ、焼けた破砕貝をやや多く、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		8	オリーブ褐（2.5Y4/6）	弱	有	細かく破砕したマガキ、焼けた破砕貝を中量、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		9	オリーブ褐（2.5Y4/6）	弱	有	破砕したマガキのを多く、焼けた破砕貝を中量、炭化粒子、炭化材を少量含む。
12	混貝土層	1	暗オリーブ（7.5Y4/3）	有	有	破砕したマガキ・ヤマトシジミをやや多く、焼けた破砕貝を少量含む。
		2	暗オリーブ（7.5Y4/3）	有	有	破砕したマガキ・ヤマトシジミ、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		3	暗オリーブ（7.5Y4/3）	有	有	細かく破砕したマガキ・ヤマトシジミを多く、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
13	混土貝層	1	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	破砕したマガキを多く含み、破砕貝が面状に堆積する。
		2	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	細かく破砕したマガキを多く含み、破砕貝が面状に堆積する。
14	混土貝層	1	灰オリーブ（5Y5/3）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを非常に多く含み、破砕貝を面状に含む。
		2	灰オリーブ（5Y4/2）	弱	有	細かく破砕したマガキを非常に多く含み、破砕貝を面状に含む。
		3	灰オリーブ（5Y4/2）	弱	有	細かく破砕したマガキを中量含み、破砕貝を面状に含む。部分的にシルト質土のブロックを含む。
		4	灰オリーブ（5Y4/2）	弱	有	細かく破砕したマガキをやや多く含み、破砕貝を面状に含む。
		5	灰オリーブ（5Y5/3）	弱	有	細かく破砕したマガキを少量含む。
		6	灰オリーブ（5Y5/3）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを非常に多く含み、破砕貝を面状に含む。
		7	灰オリーブ（5Y5/3）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを非常に多く含み、部分的にシルト質土のブロックを含む。
18	混土貝層	1	暗緑灰（10G3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを非常に多く、ハマグリをごく僅かに含む。
		2	暗緑灰（10G3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを中量含む。
		3	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを多く含み、破砕の少ないマガキ、シルト質土のブロックを少量含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを多く含み、破砕の少ないマガキを少量含む。
		5	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを非常に多く含む。
		6	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを多く含み、破砕の少ないマガキを僅かに含む。
		7	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキをやや多く含み、破砕の少ないマガキを僅かに含む。
		8	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを中量含み、破砕の少ないマガキを少量含む。
19	シルト質土層	1	灰オリーブ（5Y5/3）	有	有	炭化粒子、酸化鉄を少量含む。

第 82 表Sec.2（B1 トレンチ）土層説明一覧表（2）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
20	混貝土層	1	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	細かく破砕したマガキを少量含み、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		2	灰オリーブ（7.5Y5/2）	有	有	細かく破砕したマガキを中量含み、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		3	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキを少量含み、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		4	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキを中量含み、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		5	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	破砕したマガキを中量含み、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		6	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	細かく破砕したマガキ、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材をを僅かに含む。
		7	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキを中量含み、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		8	灰オリーブ（7.5Y5/3）	有	有	細かく破砕したマガキを中量含み、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		9	灰オリーブ（7.5Y5/2）	有	有	細かく破砕したマガキをやや多く含み、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		10	灰オリーブ（7.5Y5/2）	有	有	細かく破砕したマガキ、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		11	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキをやや多く含み、焼けた破砕貝を中量、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		12	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	細かく破砕したマガキを少量含み、シルト質土のブロックを部分的に含む。
		13	オリーブ黒（7.5Y3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを少量含み、シルト質土のブロックを部分的に含む。
25	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを多く含み、還元した色調の破砕貝を含む。ヤマトシジミを僅かに含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を中量含む。ヤマトシジミを僅かに含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを少量、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを多く、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミを少量、ハマグリを僅かに含む。
		5	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを多く、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミを少量含む。
		6	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを少量含む。部分的にシルト質土のブロックを含む。
		7	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを多く、ヤマトシジミを少量含む。
		8	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
26	シルト質土層	1	灰オリーブ（7.5Y4/2）	強	強	微細な炭化粒子、酸化鉄を少量含む。
27	混貝土層	1	オリーブ黒（7.5Y3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキ、小礫を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		2	オリーブ黒（7.5Y2/2）	弱	有	破砕したマガキをブロック状に少量、小礫、ヤマトシジミを僅かに含む。
		3	オリーブ黒（7.5Y2/2）	弱	有	細かく破砕したマガキを少量、小礫、ヤマトシジミを僅かに含む。
		4	オリーブ黒（7.5Y2/2）	有	有	破砕したマガキ、小礫を少量含む。
28	シルト質粘土質土	1	オリーブ黒（7.5Y3/1）	強	強	微小に破砕したマガキをごく少量、炭化粒子を少量含む。シルト質粘土質土が中心の層
29	シルト質粘土質土	1	オリーブ黒（7.5Y3/1）	強	強	炭化粒子を少量含む。
30	混貝土層	1	オリーブ黒（7.5Y3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを僅かに含む。砂質シルトが中心の層。
38	砂礫層	1	オリーブ黒（7.5Y3/2）	無	有	径 10 ～ 30㎜前後の小礫を非常に多く含む。砂礫層。
39	砂礫層	1	オリーブ黒（7.5Y3/1）	無	有	径 10㎜前後の小礫を少量含む。砂礫層。
40	シルト質土層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	強	強	粘性の強いシルト質土が中心。やや砂質である。
41	シルト質土層	1	暗緑灰（10G3/1）	強	強	40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。
42	砂質シルト質土層	1	暗緑灰（7.5G3/1）	弱	有	砂質のシルト質土が中心。部分的に粘性の強いシルト質土がブロック状に認められる。

第 83 表Sec.2（A2 トレンチ）土層説明一覧表（1）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
1	旧耕作土	1	暗褐（10YR3/3）	やや有	やや有	炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		2	暗赤褐（5YR3/3）	やや有	やや有	黒褐色粒、酸化鉄を中量含む。
		3	極暗赤褐（5YR2/4）	やや有	やや有	黒褐色粒、酸化鉄を少量含む。
3	混貝土層	1	黒褐（2.5Y3/2）	有	有	微細に破砕したヤマトシジミをごく僅かに、炭化粒子を少量含む。
		2	黒褐（2.5Y3/2）	有	強	微細に破砕したヤマトシジミを少量、部分的にブロック状に含む。炭化粒子を多く含む。
		3	黒褐（2.5Y3/1）	有	有	細かく破砕したヤマトシジミ、炭化粒子を少量含む。
		4	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	有	有	細かく破砕したヤマトシジミ、破砕貝を少量、炭化粒子を多く含む。
		5	黒褐（2.5Y3/2）	有	有	細かく破砕したヤマトシジミ、破砕貝をやや多く、炭化粒子を少量含む。
		6	オリーブ褐（2.5Y4/3）	有	有	細かく破砕したヤマトシジミを中量、炭化粒子を中量含む。（B2 3 － 2 と同一）
		7	オリーブ褐（2.5Y4/4）	有	有	破砕したヤマトシジミを非常に多く面状に含む。炭化粒子を少量含む。
5	混土貝層	1	オリーブ黒（5Y3/1）	有	有	破砕したハマグリを多く、破砕したヤマトシジミ、炭化粒子を少量含む。
		2	オリーブ黒（5Y3/2）	有	有	破砕したハマグリを少量、破砕したヤマトシジミ、炭化粒子を僅かに含む。
		3	オリーブ黒（5Y3/2）	有	有	破砕の少ないハマグリを少量、破砕したヤマトシジミ、炭化粒子を僅かに含む。
6	混土貝層	1	オリーブ褐（2.5Y4/4）	有	有	破砕の少ないハマグリを非常に多く、破砕したヤマトシジミ、炭化粒子を少量含む。
8	混土貝層	1	オリーブ褐（2.5Y4/4）	有	有	破砕の少ないヤマトシジミを非常に多く面状に含み、炭化粒子、炭化材、灰を少量含む。
		2	オリーブ褐（2.5Y4/3）	有	有	破砕したヤマトシジミ、炭化粒子、炭化材、灰を少量含む。
		3	オリーブ褐（2.5Y4/4）	有	有	破砕の少ないヤマトシジミを非常に多く、炭化粒子、炭化材、灰を少量含む。
		4	暗灰黄（2.5Y4/2）	有	有	破砕したヤマトシジミをやや多く、炭化粒子、炭化材、灰を少量含む。
		5	オリーブ褐（2.5Y4/3）	有	有	細かく破砕したヤマトシジミ、炭化粒子、炭化材、灰を僅かに含む。
		6	オリーブ褐（2.5Y4/6）	有	有	破砕の少ないヤマトシジミを中量、炭化粒子、炭化材、灰を僅かに含む。
		7	オリーブ褐（2.5Y4/4）	有	有	破砕したヤマトシジミ、炭化粒子、炭化材、灰を少量含む。
9	混土貝層	1	オリーブ褐（2.5Y4/4）	有	有	破砕したハマグリをやや多く、ヤマトシジミを少量、炭化粒子、炭化材、灰を僅かに含む。
		2	オリーブ褐（2.5Y4/3）	有	有	破砕の少ないハマグリを多く、ヤマトシジミを少量、炭化粒子、炭化材、灰を少量含む。
		3	オリーブ褐（2.5Y4/4）	有	有	ハマグリ、破砕したヤマトシジミを多く、炭化粒子、炭化材、灰を少量含む。
11	混土貝層	1	オリーブ褐（2.5Y4/3）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを中量、焼けた破砕貝を少量含む。炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		2	黄褐（2.5Y5/3）	弱	有	細かく破砕したマガキ、焼けた破砕貝を少量含む。炭化粒子、炭化材を非常に多く含む。遺構か。
		3	黄褐（2.5Y5/4）	弱	有	やや細かく破砕したマガキ、焼けた破砕貝を中量、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		4	黄褐（2.5Y5/3）	弱	有	細かく破砕したマガキを中量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。部分的にシルト質土をブロック状に含む。
		5	黄褐（2.5Y5/4）	弱	有	細かく破砕したマガキ、焼けた破砕貝を多く面状に、炭化粒子、炭化材を少量含む。

第 84 表Sec.2（A2 トレンチ）土層説明一覧表（2）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
11	混土貝層	6	オリーブ褐（2.5Y4/3）	弱	有	細かく破砕したマガキ、焼けた破砕貝をやや多く、炭化粒子、炭化材を少量含む。部分的にシルト質土をブロック状に含む。
		7	暗灰黄（2.5Y5/2）	弱	有	細かく破砕したマガキ、焼けた破砕貝を多く、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		8	オリーブ褐（2.5Y4/3）	弱	有	細かく破砕したマガキ、焼けた破砕貝を非常に多く、炭化粒子、炭化材をやや多く含む。
		9	オリーブ褐（2.5Y4/3）	弱	有	細かく破砕したマガキ、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		10	暗灰黄（2.5Y5/2）	弱	有	破砕したマガキを非常に多く、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		11	暗灰黄（2.5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキ、焼けた破砕貝を非常に多く、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		12	暗灰黄（2.5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキを中量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
13	混土貝層	1	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	細かく破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝を少量、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。破砕貝が面状に堆積する。
		2	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	細かく破砕したマガキを中量含み、焼けた破砕貝を少量含む。炭化粒子、炭化材を僅かに含む。破砕貝が面状に堆積する。
		3	灰オリーブ（5Y4/2）	弱	有	細かく破砕したマガキを非常に多く含み、焼けた破砕貝を少量含む。炭化粒子、炭化材を僅かに含む。破砕貝が面状に堆積する。
		4	灰オリーブ（5Y5/3）	弱	有	破砕したマガキを中量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		5	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝を少量、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		6	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		7	灰オリーブ（5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキを少量、焼けた破砕貝を多く、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		8	灰オリーブ（7.5Y4/2）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
14	混土貝層	1	灰オリーブ（5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキをやや多く、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		2	灰オリーブ（5Y4/2）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを非常に多く含み、破砕貝を面状に含む。
		3	灰オリーブ（5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキを少量含み、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		4	灰オリーブ（5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキをやや多く含み、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		5	オリーブ黒（5Y3/2）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを多く含み、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		6	オリーブ黒（5Y3/2）	弱	有	やや細かくしたマガキを中量含み、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
15′	シルト質土層	1	暗緑灰（10GY4/1）	強	強	破砕したマガキを僅かに含む。
18	混土貝層	1	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを非常に多く含む。
		2	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを中量含む。
		3	オリーブ黒（5Y3/2）	有	有	破砕の少ないマガキを中量含む。
		4	灰オリーブ（5Y4/2）	有	有	破砕したマガキを多く含む。
		5	オリーブ黒（5Y3/2）	有	有	破砕したマガキを非常に多く含む。
		6	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキを少量含む。
		7	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	やや細かく破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキをやや多く含む。
		8	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキをやや多く含む。
18′	混土貝層	1	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを少量含む。
		2	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキをやや多く含む。
		3	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを中量含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキを少量含む。
		5	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを中量、ハマグリを僅かに含む。
		6	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを非常に多く、破砕の少ないマガキを少量含む。
		7	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	破砕の少ないマガキを多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
		8	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を中量、ハマグリを少量含む。
		9	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		10	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキをやや多く含む。
		11	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕の少ないマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		12	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを少量、還元した色調の破砕貝を僅かに含む。
		13	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	細かく破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを多く、ヤマトシジミ、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		14	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	細かく破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキ、ヤマトシジミ、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		15	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕の少ないマガキをやや多く、ハマグリを少量含む。
		16	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕の少ないマガキを中量含む。
		17	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕の少ないマガキをやや多く含む。
		18	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕の少ないマガキを少量含む。
21	混土貝層	1	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	細かく破砕したマガキを中量、やや破砕したマガキ、破砕の少ないマガキ、ヤマトシジミを少量含む。還元した色調の破砕貝中量を含む。
		2	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないもの、ヤマトシジミ、ハマグリを中量含む。還元した色調のものを含む。
		3	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキを多く、ヤマトシジミ、ハマグリをやや多く含む。還元した色調のものを含む。
21′	混土貝層	1	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキを多く、ハマグリをやや多く含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ない破砕貝を少量、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。還元した色調の破砕貝を含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを少量、ハマグリ、ヤマトシジミを中量含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを少量、ハマグリ、ヤマトシジミを多く含む。還元した色調のものを含む。
22	混土貝層	1	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	やや細かく破砕したマガキを多く、やや破砕したもの、還元した色調のものを少量、ハマグリ、ヤマトシジミをやや多く含む。
		2	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調のものを少量、ハマグリ、ヤマトシジミをやや多く含む。
		3	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキを非常に多く、還元した色調の破砕貝、ハマグリを少量、ヤマトシジミを中量含む
		4	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
22′	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した破砕貝を中量、ヤマトシジミを少量含む。
23	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキで還元した色調ものを多く含む。ヤマトシジミを少量含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキで還元した色調ものを非常に多く含む。ヤマトシジミを中量含む。
24	混土貝層	1	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキを非常に多く含む。還元した色調のものを少量含む。
		2	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調のものを中量、ハマグリを僅かに含む。
		3	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調のものを中量、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。

第 85 表Sec.2（A2 トレンチ）土層説明一覧表（3）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
25	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを多く含み、還元した色調の破砕貝を含む。ヤマトシジミを僅かに含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を中量含む。ヤマトシジミを僅かに含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを少量、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを多く、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミを少量、ハマグリを僅かに含む。
25′	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ヤマトシジミ、ハマグリを僅かに含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミ、ハマグリを少量含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを少量、破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝、ヤマトシジミ、ハマグリを中量含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを少量、破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ヤマトシジミ、ハマグリを中量含む。
		5	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ヤマトシジミ、ハマグリを中量含む。
		6	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを中量、還元した色調の破砕貝、ヤマトシジミ、ハマグリを少量含む。
		7	暗オリーブ灰（5GY4/1）	弱	有	破砕したマガキ、ヤマトシジミを中量、ハマグリを少量含む。
		8	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを僅かに、破砕したマガキを多く、ヤマトシジミを中量、ハマグリを僅かに含む。礫を少量含む。
28	シルト質粘土質土	1	オリーブ黒（7.5Y3/1）	強	強	微細に破砕したマガキをごく少量、炭化粒子を少量含む。シルト質粘土質土が中心の層
30	混貝土層	1	オリーブ黒（7.5Y3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを僅かに含む。砂質シルトが中心の層。
35	混貝土層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキを僅かに含む。
36	混貝土層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを中量、破砕したマガキを少量含む。小礫を中量含む。
37	混貝土層	1	暗オリーブ灰（5GY3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキを僅かに、小礫をやや多く含む。
40	シルト質土層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	強	強	粘性の強いシルト質土が中心。やや砂質である。
41	シルト質土層	1	暗緑灰（10G3/1）	強	強	40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。
42	砂質シルト質土層	1	暗緑灰（7.5G3/1）	弱	有	砂質のシルト質土が中心。部分的に粘性の強いシルト質土がブロック状に認められる。
43	砂質シルト質土層	1	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	自然貝層由来のサビシラトリ、マテガイ、カガミガイ等を含む砂質の層。
44	砂質シルト質土層	1	暗緑灰（7.5G3/1）	弱	弱	砂質のシルト質土が中心で、若干粘性を帯びる。
45	東京層 1	1	緑黒（5G2/1）	無	強	硬質のシルト質層。
46	東京層 2	1	暗緑灰（5G4/1）	無	強	硬質のシルト質層。部分的に砂質土がブロック状に認められる。
47	東京層 3	1	灰オリーブ（7.5Y4/2）	無	強	46 層よりを砂質のシルト質土を全体的に含み、砂質の度合いが強くなる。
48	東京層 4	1	オリーブ黒（7.5Y3/1）	弱	有	砂質の層。
49	東京層 5	1	灰（7.5Y5/1）	弱	強	部分的に砂質土がブロック状に認められる。
50	東京層 6	1	オリーブ黒（7.5Y3/1）	弱	強	砂質のシルト質土が中心。下部に径 10 ～ 30㎜前後の小礫と砂を極少量含む。

第 86 表Sec.3（B3 トレンチ）土層説明一覧表（1）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
10	混貝土層	1	黒褐（10YR3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、破砕したヤマトシジミを僅かに、炭化粒子を少量含む。
11	混土貝層	1	オリーブ褐（2.5Y4/3）	弱	有	細かく破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		2	オリーブ褐（2.5Y4/4）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		3	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	破砕したマガキを多く含み、シルト質土を少量含む。部分的に面状に堆積する。
		4	灰オリーブ（5Y5/3）	弱	有	破砕したマガキをやや多く含み、シルト質土を多く含む。
		5	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	破砕したマガキを少量含み、シルト質土を多く含む。
12	混土貝層	1	暗オリーブ（7.5Y4/3）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝を中量含む。部分的に面状に堆積する。
13	混土貝層	1	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	破砕したマガキを多く含み、破砕貝が面状に堆積する。南側は細かい破砕貝が多い。
14	混土貝層	1	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	やや有	破砕したマガキを多く、部分的に面状に堆積する。焼けた破砕貝、シルト質土を少量含む。
		2	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	やや有	細かく破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝を少量、シルト質土を僅かに含む。
18	混土貝層	1	暗オリーブ灰（5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを非常に多く含む。
		2	暗オリーブ灰（5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを中量含む。
		3	オリーブ黒（5Y3/2）	弱	有	破砕の少ないマガキを中量含み、シルト質土を部分的にブロック状に含む。
		4	灰オリーブ（5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキを多く含む。
		5	オリーブ黒（5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキを中量、破砕貝を少量含む。
20	混貝土層	1	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	細かく破砕したマガキを少量含み、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		2	灰オリーブ（7.5Y5/2）	有	有	細かく破砕したマガキを中量含み、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		3	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキを少量含み、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		4	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキを中量含み、部分的に面状を呈する。焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		5	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	破砕したマガキ、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		6	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝を少量、炭化粒子、炭化材をを僅かに含む。
		7	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキを中量含み、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		8	灰オリーブ（7.5Y5/3）	有	有	細かく破砕したマガキ、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		9	灰オリーブ（7.5Y5/2）	有	有	細かく破砕したマガキ、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
25	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを中量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキをやや多く含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを多く、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを少量含む。
26	シルト質土層	1	灰オリーブ（7.5Y4/2）	強	強	微細な破砕貝、炭化粒子、酸化鉄を僅かに含む。
27	混貝土層	1	オリーブ黒（7.5Y3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキを少量含む。
		2	オリーブ黒（7.5Y2/2）	弱	有	破砕したマガキをブロック状に少量含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	破砕したマガキを中量含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	破砕したマガキを少量含む。

第 87 表Sec.3（B3 トレンチ）土層説明一覧表（2）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
28	シルト質粘土質土	1	オリーブ黒（7.5Y3/1）	強	強	微細に破砕したマガキをごく少量含む。シルト質粘土質土が中心の層
29	シルト質粘土質土	1	オリーブ黒（7.5Y3/1）	強	強	炭化粒子を少量含む。シルト質粘土の層
30	混貝土層	1	オリーブ黒（7.5Y3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを少量、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質シルトが中心の層。
38	砂礫層	1	オリーブ黒（7.5Y3/2）	無	有	径 10 ～ 30㎜前後の小礫を非常に多く含む砂質の層。
39	砂礫層	1	オリーブ黒（7.5Y3/1）	無	有	径 10㎜前後の小礫を少量含む、砂質の層。
40	シルト質土層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	強	強	粘性の強いシルト質土が中心。やや砂質である。
41	シルト質土層	1	暗緑灰（10G3/1）	強	強	40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。
42	砂質シルト質土層	1	暗緑灰（7.5G3/1）	弱	有	砂質のシルト質土が中心。部分的に粘性の強いシルト質土がブロック状に認められる。

第 88 表Sec.3（A4 トレンチ）土層説明一覧表（1）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
1	旧耕作土	1	暗緑灰（7.5GY4/1）	有	有	酸化鉄を僅かに含む。
2	旧耕作土	1	灰オリーブ（5Y5/2）	有	有	酸化鉄をやや多く、炭化物を少量含む。
		2	灰オリーブ（5Y5/2）	有	有	酸化鉄を少量、炭化物を層状にやや多く含む。
		3	灰オリーブ（5Y5/2）	有	有	酸化鉄をやや多く、炭化物を僅かに含む。
		4	灰オリーブ（5Y5/2）	有	有	酸化鉄を中量、炭化物を多く含む。
		5	暗オリーブ（7.5Y4/3）	有	有	酸化鉄を多く、炭化物を中量含む。
		6	暗オリーブ（7.5Y4/3）	有	有	酸化鉄をやや多く、炭化物を少量含む。
3	混貝土層	1	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したハマグリを少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
8	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したヤマトシジミを中量、炭化物粒子、炭化材、灰を少量含む。
9	混貝土層	1	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したハマグリを中量、ヤマトシジミを少量含む。
10	混貝土層	1	黒褐（10YR3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、破砕したヤマトシジミ、炭化粒子を少量含む。
11	混貝土層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを中量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、破砕貝を少量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	細かく破砕したマガキを非常に多く、炭化物粒子、炭化材を少量含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	破砕したマガキを多く、炭化物粒子、炭化材を僅かに含む。
		5	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキをやや多く含み、シルト質土をブロック状に含む。
		6	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを中量含む。
		7	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを多く含む。
		8	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	破砕したマガキを多く、炭化物粒子、炭化材を僅かに含む。
		9	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを多く含む。
		10	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを非常に多く含む。
		11	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを少量含む。
		12	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキを中量含む。
13	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを中量含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキを少量含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキを少量含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキを中量含む。
		5	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く含む。
14	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを中量含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを中量含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕の少ないマガキをやや多く、破砕したマガキを中量含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く含む。
		5	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキ、やや細かい破砕貝を中量含む。
15′	シルト質土層	1	暗緑灰（10GY4/1）	強	強	破砕したマガキを僅かに含む。
		2	暗緑灰（10GY4/1）	強	強	破砕したマガキを少量含む。
18	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを中量含む。ハマグリを僅かに含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを多く、ハマグリを僅かに含む。
		3	暗オリーブ灰（5GY3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを少量、破砕したマガキを多く、ハマグリを僅かに含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを中量、破砕したマガキを多く、ハマグリを僅かに含む。
		5	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキ、破砕したマガキを中量含む。
		6	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを中量、破砕したマガキを非常に多く含む。
		7	暗オリーブ灰（5GY3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを少量、破砕したマガキを多く含む。
		8	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを多く含む。
		9	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを非常に多く含む。
		10	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを少量含む。
		11	暗オリーブ灰（5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを中量含む。
		12	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	破砕の少ないマガキ、破砕したマガキを中量含む。
		13	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを中量、破砕したマガキをやや多く含む。
		14	暗緑灰（7.5GY4/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを少量、破砕したマガキを中量含む。
18′	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝、ハマグリを僅かに含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキを僅かに、還元した色調の破砕貝、破砕の少ないマガキ、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		3	暗オリーブ灰（5GY3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを中量、還元した色調の破砕貝を少量、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		4	暗オリーブ灰（5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを中量、還元した色調の破砕貝を僅かに含む。
		5	暗緑灰（7.5G3/1）	弱	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝を中量含む。
		6	暗オリーブ灰（5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		7	暗オリーブ灰（5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		8	暗オリーブ灰（5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		9	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を少量含む。

第 89 表Sec.3（A4 トレンチ）土層説明一覧表（2）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
18′	混土貝層	10	暗緑灰（7.5G3/1）	弱	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
21	混土貝層	1	暗緑灰（7.5G3/1）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキをやや多く、ハマグリを僅かに含む。
		2	暗緑灰（7.5G3/1）	有	有	破砕の少ないマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝を少量、ハマグリを僅かに含む。
		3	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕の少ないマガキを多く、還元した色調の破砕貝、ハマグリを中量含む。
22	混土貝層	1	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く含む。ハマグリを僅かに含む。
		2	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を多く含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、還元した色調の細かい破砕貝を非常に多く含む。
23	混土貝層	1	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	還元した色調の細かい破砕貝を中量含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	還元した色調の細かい破砕貝をやや多く含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	還元した色調の細かい破砕貝を非常に多く含む。
24	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミを少量含む。
25	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を中量含む。
		2	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキをやや多く含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを多く、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを少量、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
25′	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を中量、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を少量、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝、ハマグリ、ヤマトシジミを中量含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝、ハマグリ、ヤマトシジミを中量含む。
		5	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、ハマグリ、ヤマトシジミを中量、還元した色調の破砕貝を少量含む。
28	シルト質粘土質土	1	暗緑灰（7.5G3/1）	有	有	微細に破砕したマガキをごく少量含む。シルト質粘土質土が中心の層
30	混貝土層	1	オリーブ黒（7.5Y3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを少量、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質シルトが中心の層。
		2	オリーブ黒（7.5Y3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキをごく僅かに、小礫を少量含む。砂質のシルト質土中心の層。
35	混貝土層	1	暗緑灰（7.5G3/1）	弱	有	破砕したマガキ、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
37	混貝土層	1	暗緑灰（7.5G3/1）	弱	有	破砕したマガキを僅かに、小礫をやや多く含む。
40	シルト質土層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	強	強	粘性の強いシルト質土が中心。やや砂質である。
42	砂質シルト質土層	1	暗緑灰（7.5G3/1）	弱	有	砂質のシルト質土が中心。部分的に粘性の強いシルト質土がブロック状に認められる。
43	砂質シルト質土層	1	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	自然貝層由来のサビシラトリ、マテガイ、カガミガイ等を含む砂質の層。
44	砂質シルト質土層	1	暗緑灰（7.5G3/1）	弱	弱	砂質のシルト質土が中心で、若干粘性を帯びる。
45	東京層 1	1	緑黒（5G2/1）	無	強	硬質のシルト質層。

第 90 表Sec.4（B4 トレンチ）土層説明一覧表

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
2	旧耕作土	1	オリーブ黒（7.5Y3/1）	有	有	破砕したマガキを僅かに含む。
3	混貝土層	1	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	有	有	細かく破砕したヤマトシジミ、破砕貝を少量、炭化粒子を多く含む。
11	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、破砕したヤマトシジミを少量、炭化物を僅かに含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキを少量、ヤマトシジミ、炭化物を僅かに含む。部分的に酸化鉄で赤化する。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを少量、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。部分的に酸化鉄で赤化する。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを中量含み、部分的に面状に堆積する。炭化物を僅かに含む。
13	混土貝層	1	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝を少量、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。破砕貝が面状に堆積する。
		2	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキをやや多く、焼けた破砕貝を少量、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。破砕貝が部分的に面状に堆積する。
14	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを非常に多く、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。破砕貝が面状に堆積する。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキをやや多く含み、破砕貝を部分的に面状に含む。
18	混土貝層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキを僅かに含む。
		2	暗緑灰（10GY3/1）	有	有	破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキを少量含む。
		3	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキを中量含む。
20	混土貝層	1	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキを少量含む。
		2	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキを僅かに含む。
25	混土貝層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを中量、ハマグリを僅かに含む。
		2	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキのをやや多く、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		3	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を中量含む。ハマグリを僅かに含む。
		4	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキを少量、還元した色調の破砕貝を中量含む。
28	シルト質粘土質土	1	オリーブ黒（7.5Y3/1）	強	強	破砕したマガキを少量含む。シルト質粘土質土が中心の層
38	砂礫層	1	オリーブ黒（7.5Y3/2）	無	有	径 10 ～ 30㎜前後の小礫を非常に多く含む砂質の層。
39	砂礫層	1	オリーブ黒（7.5Y3/1）	無	有	径 10㎜前後の小礫を少量含む、砂質の層。

第 91 表Sec.4（A5 トレンチ）土層説明一覧表（1）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
3	混貝土層	1	黒褐（2.5Y3/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、微細に破砕したヤマトシジミを僅かに含む。
11	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	破砕したマガキを中量、焼けた破砕貝を少量、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキ、焼けた破砕貝、炭化粒子を僅かに含む。
		3	暗緑灰（7.5GY 4/1）	弱	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを中量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキを僅かに含む。

第 92 表Sec.4（A5 トレンチ）土層説明一覧表（2）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
11	混土貝層	5	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキ、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		6	暗オリーブ灰（5GY4/1）	弱	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキを多く、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		7	暗オリーブ灰（5GY4/1）	弱	有	破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキを多く、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		8	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキ、焼けた破砕貝を少量、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		9	暗オリーブ灰（5GY4/1）	弱	有	破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		10	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを中量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		11	暗オリーブ灰（5GY4/1）	弱	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキ、焼けた破砕貝を少量、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		12	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを中量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		13	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを少量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		14	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキをやや多く含む。
		15	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを中量含む。
		16	暗緑灰（10GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキを中量含む。
		17	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキをやや多く含む。
		18	暗緑灰（5GY3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキ、破砕貝、破砕の少ないマガキを中量含む。
13	混土貝層	1	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	細かく破砕したマガキ、破砕貝を多く含む。破砕貝が面状に堆積する。
		2	暗オリーブ（5Y4/3）	弱	有	破砕したマガキを多く含む。破砕貝が面状に堆積する。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	細かく破砕したマガキを多く含み、破砕貝が部分的に面状に堆積する。
14	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキを少量含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキをやや多く、ハマグリを僅かに含む。
		3	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを少量含み、、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		4	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを非常に多く含む。
		5	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを僅かに含む。
		6	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	やや細かく破砕したマガキ、破砕の少ないマガキをやや多く含む。
15	シルト質土層	1	暗緑灰（10GY3/1）	強	強	破砕したマガキ、ハマグリを中量含む。
		2	暗緑灰（10GY3/1）	強	強	破砕したマガキ、ハマグリを少量含む。
		3	暗オリーブ灰（5GY3/1）	強	強	破砕したマガキを少量含む。
15′	シルト質土層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	強	強	破砕したマガキ、ハマグリを僅かに含む。
		2	暗緑灰（10GY4/1）	強	強	破砕したマガキを僅かに含む。
16	砂質シルト質土層	1	暗緑灰（10GY4/1）	有	有	破砕したマガキをごく僅かに含む。やや砂質を帯びる。
17	砂質シルト質土層	1	暗緑灰（10GY3/1）	弱	弱	破砕したマガキをごく僅かに含む。砂質が強い。
18	混土貝層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを非常に多く含む。
		2	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを中量含む。
		3	暗緑灰（7.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキを多く含む。
		4	暗緑灰（10GY3/1）	有	有	破砕したマガキを僅かに、破砕の少ないマガキを多く、ハマグリを少量含む。
		5	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを非常に多く含む。
		6	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキを多く含む。
		7	暗緑灰（10GY3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキをやや多く、ハマグリを少量含む。
		8	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキを少量含む。
		9	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く含む。
18′	混土貝層	1	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを中量、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		2	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		3	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		4	暗緑灰（10GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		5	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く含む。
		6	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝を中量含む。
		7	暗緑灰（10GY3/1）	有	有	破砕の少ないマガキを僅かに含む。
		8	暗緑灰（10GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を中量含む。
		9	暗緑灰（10GY4/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を中量、破砕の少ないマガキを僅かに含む。
		10	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝をやや多く含む。
		11	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを僅かに、破砕の少ないマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝を中量含む。
		12	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を中量含む。
23	混土貝層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキで、還元した色調ものを多く含む。ヤマトシジミを少量含む。
25	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを多く含み、還元した色調の破砕貝を含む。ヤマトシジミを僅かに含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を中量含む。ヤマトシジミを僅かに含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを少量、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを多く、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミを少量、ハマグリを僅かに含む。
25′	混土貝層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を少量、ヤマトシジミ、ハマグリを僅かに含む。小礫を少量含む。
		2	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ヤマトシジミ、ハマグリ、小礫を少量含む。
		3	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を中量、破砕の少ないマガキ、小礫を少量含む。
		4	暗緑灰（10GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を少量、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。小礫を少量含む。
		5	暗緑灰（10GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝、ハマグリ、ヤマトシジミ、サビシラトリ等を僅かに含む。小礫を少量含む。
28	シルト質粘土質土	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、ヤマトシジミを僅かに含む。シルト質粘土質土が中心の層
		2	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、ヤマトシジミを僅かに含む。シルト質粘土質土が中心の層
40	シルト質土層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	強	強	粘性の強いシルト質土が中心。やや砂質である。
41	シルト質土層	1	暗緑灰（10GY3/1）	強	強	40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。

第 93 表Sec.4（A5 トレンチ）土層説明一覧表（3）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
42	砂質シルト質土層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	砂質のシルト質土が中心。部分的に粘性の強いシルト質土がブロック状に認められる。
43	砂質シルト質土層	1	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	自然貝層由来のサビシラトリ、マテガイ、カガミガイ等を含む砂質の層。
44	砂質シルト質土層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	弱	砂質のシルト質土が中心で、若干粘性を帯びる。
45	東京層 1	1	緑黒（5G2/1）	無	強	硬質のシルト質層。

第 94 表Sec.5（A5 南北セクション）土層説明一覧表

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
11′	混土貝層	1	オリーブ黒（7.5Y3/1）	弱	有	破砕したマガキを多く含み、ハマグリを僅かに含む。
		2	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキを少量、細かい破砕貝をやや多く含む。
		3	オリーブ黒（7.5Y3/1）	弱	有	破砕したマガキ、細かい破砕貝を多く、破砕の少ないマガキを中量、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		4	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキ、細かい破砕貝を多く、破砕の少ないマガキ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		5	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを多く含む。
		6	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを中量、ハマグリを僅かに含む。
		7	オリーブ黒（10Y3/1）	弱	有	破砕したマガキを中量、細かい破砕貝を多く含む。
		8	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		9	オリーブ黒（10Y3/1）	弱	有	破砕したマガキを少量、細かい破砕貝を多く、還元した色調の破砕貝、ヤマトシジミ、小礫を少量含む。
15′	シルト質土層	1	オリーブ黒（10Y3/1）	強	強	細かい破砕貝を僅かに含む。粘性・締りの強いシルト質土中心の層。
		2	オリーブ黒（10Y3/1）	強	強	細かい破砕貝を少量、小礫を僅かに含む。
		3	オリーブ黒（10Y3/1）	強	強	破砕貝、細かい破砕貝、小礫をごく僅かに含む。
18′	混土貝層	1	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を中量、ハマグリを僅かに含む。
		2	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、還元した色調の破砕貝、ハマグリを中量含む。
		3	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキを中量、細かく破砕したマガキを少量、ハマグリをやや多く、ヤマトシジミを少量含む。
		4	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキ、細かく破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリを中量、ヤマトシジミを少量含む。
		5	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く含む。
		6	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝をやや多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
		7	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		8	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを中量、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		9	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキ、細かく破砕したマガキを少量、還元した色調の破砕貝を中量含む。
		10	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、還元した色調の破砕貝を多く、ヤマトシジミを少量含む。
		11	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキを中量、還元した色調の破砕貝を少量、小礫を僅かに含む。
		12	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを少量、細かい破砕貝をやや多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
		13	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を中量含む。
		14	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、やや細かい破砕貝を多く、還元した色調の破砕貝を僅かに含む。
		15	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを少量、還元した色調の破砕貝をやや多く含む。
		16	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを中量、還元した色調の破砕貝をやや多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
		17	暗緑灰（7.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		18	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝をやや多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
		19	オリーブ黒（10Y3/2）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを多く、還元した色調の破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		20	オリーブ黒（7.5Y3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を中量含む。
		21	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		22	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝をやや多く、破砕の少ないマガキを少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		23	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を中量含む。
		24	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミを少量含む。
		25	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、還元した色調の破砕貝をやや多く、ヤマトシジミを僅かに含む。

第 95 表Sec.6（A1 東西セクション）土層説明一覧表（1）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
11	混土貝層	1	オリーブ褐（2.5Y4/3）	弱	有	細かく破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝を少量、ハマグリを僅かに含む。炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		2	オリーブ褐（2.5Y4/4）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを面状に非常に多く含み、焼けた破砕貝を少量、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		3	灰オリーブ（5Y5/2）	弱	有	破砕の少ないマガキを中量、破砕したマガキ、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		4	灰オリーブ（5Y5/3）	弱	有	破砕の少ないマガキを少量、破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		5	灰オリーブ（5Y5/3）	弱	有	破砕の少ないマガキを多く、破砕したマガキを中量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		6	灰オリーブ（7.5Y5/2）	弱	有	破砕の少ないマガキ、破砕したマガキを中量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		7	灰オリーブ（7.5Y5/2）	弱	有	破砕の少ないマガキを僅かに、破砕したマガキを中量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		8	灰オリーブ（5Y5/2）	弱	有	破砕の少ないマガキを中量、破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
13	混土貝層	1	灰オリーブ（5Y4/2）	有	有	破砕したマガキを多く含み、破砕貝が面状に堆積する。
		2	灰オリーブ（5Y4/3）	有	有	やや細かく破砕したマガキを多く含む。
		3	灰オリーブ（5Y4/2）	有	有	破砕したマガキ、やや細かい破砕貝を非常に多く含み、部分的に面状に堆積する。
14	混土貝層	1	灰オリーブ（7.5Y5/2）	有	有	破砕したマガキを中量含む。
		2	灰オリーブ（7.5Y5/2）	有	有	破砕したマガキ、やや細かい破砕貝を多く含む。

第 96 表Sec.6（A1 東西セクション）土層説明一覧表（2）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
14	混土貝層	3	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキをやや多く、部分的に面状に堆積する。ハマグリを僅かに含む。
		4	暗オリーブ（7.5Y4/3）	有	有	破砕したマガキを中量含み、部分的に面状に堆積する。
		5	暗オリーブ（7.5Y4/3）	有	有	破砕の少ないマガキを僅かに、破砕したマガキを中量、ハマグリを僅かに含む。
		6	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキをやや多く含む。
18	混土貝層	1	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕の少ないマガキ、破砕したマガキを中量含む。
		2	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	有	破砕したマガキをやや多く、ハマグリを僅かに含む。
		3	暗オリーブ（7.5Y4/3）	有	有	破砕の少ないマガキを中量、破砕したマガキを多く含む。
		4	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	破砕の少ないマガキを中量、破砕したマガキをやや多く部分的に面状に堆積する。ハマグリを少量含む。
		5	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	破砕の少ないマガキ、破砕したマガキを非常に多く、部分的に面状に堆積する。ハマグリを僅かに含む。
21	混土貝層	1	オリーブ灰（10Y4/2）	有	有	破砕の少ないマガキを中量、破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を少量、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		2	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を中量、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを僅かに、還元した色調の破砕貝を少量、ハマグリを中量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		4	灰（5GY4/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く含む。
		5	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		6	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	やや細かく破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		7	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	やや細かく破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ヤマトシジミを中量含む。
		8	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を非常に多く、ハマグリを少量、ヤマトシジミをやや多く含む。
		9	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、破砕貝、還元した色調の破砕貝、ハマグリ、ヤマトシジミを中量含む。
22	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、破砕の少ないマガキを少量、ハマグリ、ヤマトシジミを中量含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキを少量、還元した色調の破砕貝をやや多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
		3	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、細かい破砕貝、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		4	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝をやや多く、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		5	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを少量、還元した色調の細かい破砕貝をを多く、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		6	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを中量、還元した色調の細かい破砕貝を非常に多く、ハマグリ、ヤマトシジミを中量含む。
23	混土貝層	1	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		2	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
24	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを少量、還元した色調の破砕貝を中量含む。
25′	混土貝層	1	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		2	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミを少量、ハマグリを僅かに含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを中量、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		4	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	破砕したマガキ、ハマグリ、ヤマトシジミを中量、還元した色調の破砕貝を少量含む。
31	混貝土層	1	暗緑灰（10GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。
32	混貝土層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを少量、ヤマトシジミを中量、ハマグリを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。
33	混貝土層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。
34	混貝土層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。

第 97 表Sec.7（A1 ～ A3 東西セクション）土層説明一覧表（1）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
3	混貝土層	1	黒褐（2.5Y3/2）	有	有	破砕したヤマガキ、マトシジミ、炭化粒子を少量含む。灰層を部分的にブロック状に含む。
		2	黒褐（2.5Y3/2）	有	有	破砕したヤマガキ、微細に破砕したヤマトシジミを中量、炭化粒子を少量含む。灰層を部分的にブロック状に含む。
		3	黒褐（2.5Y3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、細かく破砕したヤマトシジミ、炭化粒子を少量含む。灰層を部分的にブロック状に含む。
		4	黒褐（2.5Y3/1）	有	有	破砕したマガキを中量、炭化粒子、灰層を少量含む。
		5	黒褐（2.5Y3/2）	有	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキを中量含む。炭化粒子、灰層を少量含む。
4	混土貝層	1	黒褐（2.5Y3/1）	有	有	ヤマトシジミをやや多く、炭化粒子を少量含む。
		2	暗灰黄（2.5Y4/2）	有	有	破砕したヤマトシジミを非常に多く、炭化粒子を少量含む。
		3	オリーブ褐（2.5Y4/3）	有	有	ヤマトシジミを多く含み、炭化粒子を少量含む。
		4	黒褐（2.5Y3/2）	有	有	ヤマトシジミを非常に多く含み、炭化粒子を少量含む。
5	混土貝層	1	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	有	やや有	破砕したマガキを中量、破砕したハマグリ、破砕したヤマトシジミ、炭化粒子を少量含む。
		2	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	有	やや有	破砕の少ないマガキを中量、破砕したマガキ、ハマグリを少量、破砕したヤマトシジミ、炭化粒子を僅かに含む。
		3	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	有	やや有	破砕の少ないハマグリを少量、破砕したヤマトシジミ、炭化粒子を僅かに含む。
		4	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	有	やや有	破砕したマガキ、ハマグリ、焼けた破砕貝、灰層、炭化物を含む。遺構の覆土。
		5	黒褐（2.5Y3/2）	有	やや有	破砕したマガキ、ハマグリを中量、焼けた破砕貝、灰層、炭化物を少量含む。
		6	黒褐（2.5Y3/2）	有	やや有	破砕したマガキを中量、破砕したハマグリ、焼けた破砕貝、灰層、炭化粒子を少量含む。
		7	黒褐（2.5Y3/1）	有	やや有	破砕したマガキをやや多く、破砕したハマグリ、ヤマトシジミ、焼けた破砕貝、灰層、炭化粒子を少量含む。

第 98 表Sec.7（A1 ～ A3 東西セクション）土層説明一覧表（2）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
5	混土貝層	8	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	有	やや有	破砕したマガキを中量、破砕したハマグリ、ヤマトシジミ、焼けた破砕貝、灰層、炭化粒子を僅かに含む。
		9	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	有	やや有	破砕したマガキを面状に堆積し、ハマグリ、ヤマトシジミ、焼けた破砕貝、灰層、炭化粒子を僅かに含む。
6	混土貝層	1	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	有	やや有	破砕したハマグリを多く、破砕したヤマトシジミ、炭化粒子を少量含む。
		2	黒褐（2.5Y3/2）	有	やや有	破砕したハマグリを少量、破砕したヤマトシジミをやや多く含む。炭化粒子を少量含む。
		3	黒褐（2.5Y3/1）	有	やや有	破砕の少ないハマグリを多く、ヤマトシジミを少量、炭化粒子、炭化材、灰を少量含む。
		4	暗灰黄（2.5Y4/2）	有	やや有	破砕の少ないハマグリを非常に多く、ヤマトシジミを僅かに、炭化粒子を少量含む。
		5	黒褐（2.5Y3/2）	有	やや有	破砕の少ないハマグリを多く、破砕したヤマトシジミを中量、炭化粒子を少量含む。
		6	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	有	やや有	破砕したハマグリを多く、破砕したヤマトシジミを中量含む。
8	混土貝層	1	黒褐（2.5Y3/1）	有	有	ヤマトシジミを中量、ハマグリを僅かに含む。灰層を含む。遺構の覆土の可能性あり。
		2	黒褐（2.5Y3/2）	有	有	ヤマトシジミを多く、焼けた破砕貝、灰層を少量含む。遺構の覆土の可能性あり。
		3	黒褐（2.5Y3/1）	有	有	ヤマトシジミ、焼けた破砕貝、灰層を多く含む。遺構の覆土の可能性あり。
		4	黒褐（2.5Y3/1）	有	有	ヤマトシジミを多く、焼けた破砕貝、灰層を中量含む。遺構の覆土の可能性あり。
		5	黒褐（2.5Y3/1）	有	有	ヤマトシジミを多く、焼けた破砕貝、灰層をやや多く含む。遺構の覆土の可能性あり。
		6	黒褐（2.5Y3/1）	有	有	ヤマトシジミを非常に多く、焼けた破砕貝、灰層をやや多く含む。遺構の覆土の可能性あり。
		7	オリーブ褐（2.5Y4/3）	有	有	破砕したヤマトシジミを多く、面状に堆積する。焼けた破砕貝、灰層を少量含む。酸化鉄で部分的に赤化する。
		8	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	有	有	ヤマトシジミを非常に多く、破砕したマガキを少量含む。酸化鉄で部分的に赤化する。
		9	暗灰黄（2.5Y4/2）	有	有	ヤマトシジミを非常に多く含む。酸化鉄で部分的に赤化する。
		10	オリーブ褐（2.5Y4/3）	有	有	破砕したヤマトシジミをやや多く含む。
		11	黒褐（2.5Y3/1）	有	有	ヤマトシジミを多く含む。
		12	黒褐（2.5Y3/2）	有	有	破砕したヤマトシジミを多く、破砕したマガキを少量含み、面状に堆積する。
		13	暗灰黄（2.5Y4/2）	有	有	破砕の少ないヤマトシジミを非常に多く含む。
		14	黒褐（2.5Y3/1）	有	有	ヤマトシジミをやや多く、焼けた破砕貝を中量、灰層を少量含む。遺構の覆土の可能性あり。
		15	暗灰黄（2.5Y5/2）	有	有	ヤマトシジミを中量含む。部分的にシルト質土をブロック状に含む。
		16	黒褐（2.5Y3/2）	有	有	ヤマトシジミを多く含み、部分的にシルト質土をブロック状に含む。
		17	黒褐（2.5Y3/2）	有	有	破砕したヤマトシジミを多く含む。
		18	暗灰黄（2.5Y4/2）	有	有	破砕したヤマトシジミを多く含み、部分的に面状に堆積する。
9	混土貝層	1	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	破砕したマガキを多く、ハマグリを少量、炭化粒子、炭化材、灰を僅かに含む。
		2	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	破砕したマガキを少量、破砕したハマグリを多く、炭化粒子、炭化材、灰を僅かに含む。
		3	暗オリーブ（5Y4/3）	有	有	破砕の少ないハマグリ、破砕したハマグリを多く、炭化粒子、炭化材、灰を少量含む。
		4	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないハマグリ、破砕したハマグリを多く、炭化粒子、炭化材、灰を僅かに含む。
11	混土貝層	1	オリーブ黒（5Y3/1）	弱	有	破砕したマガキを多く含み、破砕したヤマトシジミ、炭化粒子、炭化材、灰を僅かに含む。
		2	灰オリーブ（7.5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキ、焼けた破砕貝を少量含む。炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		3	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキを中量、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		4	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキ、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。部分的にシルト質土をブロック状に含む。
		5	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキ、焼けた破砕貝をやや多く、炭化粒子、炭化材を少量含む。遺構か。
		6	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		7	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝を少量、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		8	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキを中量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		9	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを中量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		10	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを少量含む。
		11	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを僅かに含む。
		12	暗オリーブ（7.5Y4/3）	弱	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを中量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		13	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキを中量含む。
		14	灰オリーブ（7.5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを中量含む。
		15	灰オリーブ（7.5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキ、焼けた破砕貝を少量含む。
		16	暗オリーブ（7.5Y4/3）	弱	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキ、焼けた破砕貝を少量、炭化粒子、炭化材、灰を僅かに含む。
		17	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキを少量含む。
		18	灰オリーブ（7.5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキを中量含む。
13	混土貝層	1	灰オリーブ（7.5Y4/2）	弱	有	細かく破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝を少量、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。破砕貝が面状に堆積する。
		2	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	細かく破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝を中量含む。破砕貝が面状に堆積する。
		3	灰オリーブ（7.5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキ、細かい破砕貝を多く含み、焼けた破砕貝を少量含む。炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		4	灰オリーブ（7.5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキ、細かい破砕貝を非常に多く、焼けた破砕貝を中量、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。部分的に面状に堆積する。
		5	灰オリーブ（7.5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを多く、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		6	灰オリーブ（7.5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキを中量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。
		7	灰オリーブ（7.5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキ、細かい破砕貝を多く、破砕の少ないマガキ、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		8	灰オリーブ（7.5Y4/2）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを非常に多く、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。部分的に面状に堆積する。
		9	灰オリーブ（7.5Y4/2）	弱	有	細かく破砕したマガキを非常に多く、破砕の少ないマガキ、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		10	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	細かく破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを中量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。

第 99 表Sec.7（A1 ～ A3 東西セクション）土層説明一覧表（3）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
13	混土貝層	11	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	細かく破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを少量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。部分的に面状に堆積する。
		12	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	細かく破砕したマガキを非常に多く、破砕の少ないマガキ、焼けた破砕貝を中量、炭化粒子、炭化材を少量含む。部分的に面状に堆積する。
		13	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	細かく破砕したマガキを非常に多く、破砕の少ないマガキを少量、焼けた破砕貝を中量、炭化粒子、炭化材を少量含む。部分的に面状に堆積する。
		14	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	細かく破砕したマガキを非常に多く、焼けた破砕貝を中量、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。部分的に面状に堆積する。
14	混土貝層	1	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝をやや多く、炭化粒子、炭化材を少量含む。部分的に面状に堆積する。
		2	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを中量含み、部分的に面状に堆積する。
		3	灰オリーブ（7.5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキを中量、焼けた破砕貝を僅かに含む。
		4	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキをやや多く含み、破砕の少ないマガキを中量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		5	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを非常に多く、焼けた破砕貝を少量、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		6	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキを多く、やや細かい破砕貝を中量、焼けた破砕貝、炭化粒子を僅かに含む。
18	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを少量含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝を僅かに含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキを僅かに含む。
		4	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを多く、焼けた破砕貝を僅かに、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		5	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキをやや多く、焼けた破砕貝、還元した色調の破砕貝を僅かに含む。
		6	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキを中量含む。
		7	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを中量含む。シルト質土がやや多い。
		8	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキをやや多く含む。
		9	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを中量含む。シルト質土がやや多い。
		10	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキを中量含む。シルト質土がやや多い。
		11	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキを少量含む。
		12	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを中量含む。
		13	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキを中量含む。焼けた破砕貝を僅かに含む。
		14	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキを少量含む。
		15	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキを中量含む。部分的にシルト質土をブロック状に含む。
		16	暗オリーブ灰（5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを多く、ハマグリを僅かに含む。
		17	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキ、焼けた破砕貝を僅かに含む。
		18	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを中量含む。
		19	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		20	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキを多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
		21	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		22	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを非常に多く、還元した色調の破砕貝、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		23	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝、ハマグリ、ヤマトシジミを中量含む。
		24	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを中量含む。
		25	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		26	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキを少量、ハマグリを僅かに含む。
		27	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を多く含む。
21	混土貝層	1	暗緑灰（10GY3/1）	有	有	破砕の少ないマガキを多く、還元した色調の破砕貝を中量含む。
		2	暗緑灰（10G3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝、ハマグリ、ヤマトシジミを中量含む。
		3	暗緑灰（10G3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を少量、破砕の少ないマガキを多く含む。ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		4	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く含み、ハマグリを少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		5	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く含み、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		6	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝、ハマグリを少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		7	暗緑灰（10GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、破砕したハマグリを中量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		8	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリを中量、ヤマトシジミを少量含む。
		9	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、破砕貝をやや多く、還元した色調の破砕貝、ハマグリ、ヤマトシジミを中量含む。
		10	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを中量、マガキの破砕貝、還元した色調の破砕貝、ハマグリ、ヤマトシジミを中量含む。
		11	暗緑灰（10G3/1）	有	有	破砕したマガキを非常に多く、還元した色調の破砕貝、ハマグリを中量、ヤマトシジミを少量含む。
		12	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝を中量、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		13	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	還元した色調の破砕貝を多く、破砕したハマグリをやや多く、ヤマトシジミを中量含む。
		14	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	還元した色調の細かい破砕貝を非常に多く、ハマグリ、ヤマトシジミを中量含む。
		15	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝、ハマグリを中量、ヤマトシジミを少量含む。
		16	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を中量、ハマグリを多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
		17	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	細かく破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝、ハマグリを少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		18	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝、ハマグリを少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		19	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキを中量、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを中量含む。小礫を僅かに含む。
		20	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを中量、還元した色調の破砕貝を非常に多く、ハマグリをやや多く、ヤマトシジミ、小礫を少量含む。
		21	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、破砕貝、還元した色調の破砕貝を多く、破砕の少ないマガキ、ハマグリ、ヤマトシジミを中量含む。
		22	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を少量、破砕の少ないマガキ、ハマグリをやや多く含む。小礫を僅かに含む。

第 100 表Sec.7（A1 ～ A3 東西セクション）土層説明一覧表（4）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
21	混土貝層	23	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリを中量、ヤマトシジミ、小礫を少量含む。
		24	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、還元した色調の破砕貝を多く、ヤマトシジミを少量含む。
22	混土貝層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、細かい破砕貝、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		2	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	還元した色調の破砕貝を非常に多く、ハマグリを少量含む。
		3	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	還元した色調の細かい破砕貝を非常に多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
		4	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		5	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		6	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	還元した色調の破砕貝を多く、ヤマトシジミを少量含む。
		7	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	還元した色調の細かい破砕貝を非常に多く、ヤマトシジミを少量含む。
		8	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の細かい破砕貝を多く、ヤマトシジミを中量含む。
		9	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の細かい破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		10	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ヤマトシジミ、小礫を僅かに含む。
		11	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、細かい破砕貝を非常に多く、還元した色調の破砕貝を少量、ヤマトシジミ、小礫を僅かに含む。
		12	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝をやや多く、ハマグリ、ヤマトシジミを中量含む。
		13	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	還元した色調の細かい破砕貝を非常に多く、ハマグリを僅かに含む。
		14	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキ、やや細かい破砕貝を多く、還元した色調の破砕貝、ヤマトシジミを少量含む。
		15	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		16	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		17	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		18	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキ、細かい破砕貝を少量、還元した色調の細かい破砕貝を非常に多く含む。
23	混土貝層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを少量、還元した色調の破砕貝をやや多く含む。ヤマトシジミを僅かに含む。
		2	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを少量、還元した色調の細かい破砕貝を多く含む。ヤマトシジミを少量含む。
		3	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを多く、還元した色調の細かい破砕貝を中量含む。
		4	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを多く、還元した色調の細かい破砕貝を中量、ヤマトシジミを少量含む。
		5	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを少量、還元した色調の細かい破砕貝を非常に多く含む。ヤマトシジミを僅かに含む。
		6	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを中量、還元した色調の破砕貝を多く含む。ヤマトシジミを僅かに含む。
		7	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを少量、還元した色調の破砕貝をやや多く含む。
		8	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを僅かに、還元した色調の破砕貝を多く含む。
		9	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを中量、還元した色調の破砕貝を多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
		10	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを多く、還元した色調の細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		11	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の細かい破砕貝を多く含む。ヤマトシジミを僅かに含む。
		12	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキ、還元した色調の細かい破砕貝を多く含む。ヤマトシジミを少量含む。
		13	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを少量、還元した色調の細かい破砕貝を多く含む。ヤマトシジミを少量含む。
		14	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキを少量、還元した色調の細かい破砕貝を多く含む。
		15	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、破砕貝、還元した色調の破砕貝を多く含む。
24	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを非常に多く、還元した色調のものを少量含む。
		2	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを中量含む。
		3	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調のものを中量、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		4	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	還元した色調の細かい破砕貝を多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
		5	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を中量含む。
25	混土貝層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		2	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキ、細かい破砕貝、破砕の少ないマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝を中量含む。ヤマトシジミ、小礫をを僅かに含む。
		3	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、細かい破砕貝、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を中量含む。ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		4	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を中量含む。
		5	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を中量、破砕したハマグリを少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		6	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝、ハマグリを少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		7	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキの破砕貝を少量、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		8	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを少量、還元した色調の細かい破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		9	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを少量、還元した色調の破砕貝、細かい破砕貝をやや多く、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		10	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	還元した色調の破砕したマガキを非常に多く、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		11	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	還元した色調の破砕したマガキを多く、ハマグリを少量含む。
		12	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキを少量、還元した色調の破砕貝、やや細かい破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		13	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、還元した色調の破砕貝をやや多く、ハマグリを中量、ヤマトシジミを少量含む。
		14	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	還元した色調の破砕貝、細かい破砕貝をやや多く、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		15	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	還元した色調の破砕貝をやや多く、ハマグリ、ヤマトシジミを中量含む。
		16	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキ、やや細かい破砕貝、還元した色調の破砕貝、ハマグリ、ヤマトシジミを中量含む。
		17	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	還元した色調のやや細かい破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		18	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	還元した色調のマガキの破砕貝を多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
		19	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の細かく破砕したマガキを中量、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		20	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	還元した色調の細かく破砕したマガキをやや多く、ヤマトシジミを中量含む。

第 101 表Sec.7（A1 ～ A3 東西セクション）土層説明一覧表（5）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
25	混貝土層	21	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	還元した色調の破砕したマガキ、ヤマトシジミを少量含む。
		22	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	還元した色調の細かく破砕したマガキ、ヤマトシジミを中量含む。
		23	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキ、細かく破砕した破砕貝を中量、還元した色調の細かい破砕貝を少量含む。
		24	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		25	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		26	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミを少量含む。
		27	暗緑灰（5G3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の細かい破砕貝を少量含む。
		28	暗緑灰（10GY3/1）	有	有	やや細かく破砕したマガキを少量、還元した色調の細かい破砕貝を僅かに含む。
31	混貝土層	1	オリーブ黒（5GY3/1）	弱	有	非常に細かく破砕したマガキを僅かに、ヤマトシジミを少量含む。砂質シルトが中心の層。
32	混貝土層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	還元した色調の非常に細かい破砕貝、ヤマトシジミを少量含む。砂質シルトが中心の層。
		2	暗緑灰（10GY3/1）	弱	有	還元した色調の破砕貝、ヤマトシジミを少量含む。
		3	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを僅かに含む。
		4	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	還元した色調の破砕貝を僅かに、ヤマトシジミを少量含む。
		5	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
		6	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の細かい破砕貝を中量、ヤマトシジミを少量含む。
		7	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを僅かに、細かい破砕貝、還元した色調の細かい破砕貝を中量、ハマグリを僅かに、ヤマトシジミを少量含む。
		8	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の細かい破砕貝、ヤマトシジミを少量含む。
33	混貝土層	1	暗緑灰（10GY3/1）	弱	有	破砕したマガキ、細かい破砕貝、還元した色調の細かい破砕貝を少量、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		2	暗緑灰（10GY3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の細かい破砕貝、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
34	混貝土層	1	暗緑灰（10GY3/1）	弱	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を多く含む。
		2	暗緑灰（10GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを少量、還元した色調の破砕貝をやや多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
		3	暗緑灰（7.5GY3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキを少量、還元した色調の細かい破砕貝を多く含む。
		4	暗緑灰（10GY3/1）	弱	有	細かく破砕したマガキを中量、還元した色調の細かい破砕貝を多く含む。
		5	暗緑灰（10GY3/1）	弱	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを中量、還元した色調の破砕貝を多く、ヤマトシジミを中量含む。
		6	緑黒（(10G2/1）	弱	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を中量含む。
		7	緑黒（(10G2/1）	弱	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を中量、ヤマトシジミを少量含む。
		8	暗緑灰（10GY3/1）	弱	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。
40	シルト質土層	1	暗緑灰（7.5G3/1）	有	有	細かい破砕貝を少量、木片を僅かに含む。
41	シルト質土層	1	暗緑灰（10GY3/1）	有	有	細かい破砕貝、木片を僅かに含む。40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。
42	砂質シルト質土層	1	暗緑灰（10GY3/1）	弱	有	細かい破砕貝がごく僅かに混じる。砂質のシルト質土が中心。部分的に粘性の強いシルト質土がブロック状に認められる。
43	砂質シルト質土層	1	緑黒（7.5GY2/1）	弱	有	自然貝層由来のサビシラトリ、マテガイ、カガミガイ等を含む砂質の層。
44	砂質シルト質土層	1	緑黒（10G2/1）	弱	弱	砂質のシルト質土が中心で、若干粘性を帯びる。

第 102 表Sec.8（A3 東西セクション）土層説明一覧表

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
8	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したヤマトシジミ、炭化物粒子、炭化材、灰を少量含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したヤマトシジミを多く、炭化物粒子、炭化材、灰を少量含む。
9	混貝土層	1	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したハマグリを中量、ヤマトシジミを少量含む。
11	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、破砕貝を少量、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	破砕したマガキを多く、炭化物粒子、炭化材を僅かに含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを多く含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを中量含む。
13	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを中量含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、破砕の少ないマガキを少量含む。
14	混土貝層	1	オリーブ黒（7.5Y2/2）	有	やや有	破砕したマガキを多く含む。
		2	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	やや有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを中量含む。
		3	オリーブ黒（7.5Y3/1）	有	やや有	破砕したマガキ、細かく破砕したマガキを中量含む。
18	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	弱	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを中量含む。ハマグリを僅かに含む。
		2	暗オリーブ灰（5GY3/1）	弱	有	破砕の少ないマガキを少量、破砕したマガキを多く含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	弱	有	破砕の少ないマガキ、破砕したマガキを中量含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕の少ないマガキを少量、破砕したマガキを中量含む。
		5	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕の少ないマガキを少量、破砕したマガキをやや多く含む。
		6	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、やや細かい破砕貝を非常に多く含む。
		7	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、細かく破砕したマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝を少量、ハマグリを僅かに含む。
21	混土貝層	1	暗緑灰（7.5G3/1）	有	有	破砕の少ないマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝を少量、ハマグリを僅かに含む。
		2	暗緑灰（10GY3/1）	有	有	破砕したマガキを中量、還元した色調の破砕貝、ハマグリを少量含む。
22	混土貝層	1	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを中量、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	還元した色調の破砕したマガキを多く、ヤマトシジミを少量含む。
		3	暗緑灰（7.5G3/1）	有	有	還元した色調の破砕したマガキを非常に多く、ヤマトシジミを僅かに含む。
		4	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリ、ヤマトシジミを少量含む。
23	混土貝層	1	暗緑灰（7.5G3/1）	有	有	還元した色調の細かく破砕したマガキを中量含む。
		2	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	還元した色調の細かく破砕したマガキを少量含む。
40	シルト質土層	1	暗緑灰（7.5G3/1）	有	有	細かい破砕貝を少量、木片を僅かに含む。
41	シルト質土層	1	暗緑灰（10GY3/1）	強	強	40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。

第 103 表Sec.8（A4・A5 東西セクション）土層説明一覧表（1）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
11	混土貝層	1	灰オリーブ（5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキを多く含み、破砕の少ないマガキを中量含む。
		2	灰オリーブ（7.5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを少量含む。
		3	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキを多く、ハマグリを僅かに含む。
		4	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキ、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。遺構か。
		5	灰オリーブ（7.5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキを僅かに含む。
		6	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキを僅かに、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を少量含む。遺構か。
		7	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	細かく破砕したマガキをやや多く含む。
		8	灰オリーブ（7.5Y5/2）	弱	有	破砕したマガキをやや多く含む。
		9	灰オリーブ（7.5Y5/2）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを多く含む。
		10	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを少量含む。
		11	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝、炭化粒子、炭化材を僅かに含む。
		12	灰オリーブ（7.5Y4/2）	弱	有	やや細かく破砕したマガキを非常に多く含み、部分的に面状に堆積する。
		13	灰オリーブ（7.5Y4/2）	弱	有	破砕したマガキをやや多く、焼けた破砕貝を僅かに含む。部分的に面状に堆積する。
		14	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキを少量含む。
		15	オリーブ黒（7.5Y3/2）	弱	有	破砕したマガキを中量、細かく破砕したマガキを少量含む。
		16	オリーブ黒（7.5Y3/1）	強	強	破砕したマガキを僅かに含む。粘性・締りの強いシルト質土中心の層。
		17	オリーブ黒（7.5Y3/1）	弱	有	破砕したマガキを少量、細かく破砕したマガキを中量含む。
		18	オリーブ黒（7.5Y2/2）	弱	有	破砕したマガキを少量、細かく破砕したマガキをやや多く含む。
		19	オリーブ黒（7.5Y3/1）	弱	有	破砕したマガキをやや多く、細かく破砕したマガキを少量含む。
		20	オリーブ黒（7.5Y3/1）	弱	有	破砕したマガキを多く、細かく破砕したマガキを少量含む。
13	混土貝層	1	オリーブ黒（7.5Y3/1）	有	やや有	細かく破砕したマガキを非常に多く含む。破砕貝が面状に堆積する。
		2	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	やや有	やや細かく破砕したマガキを多く含む。破砕貝が面状に堆積する。
		3	オリーブ黒（7.5Y3/1）	有	やや有	破砕したマガキ、細かい破砕貝をやや多く含む。
		4	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	やや有	細かく破砕したマガキをやや多く、焼けた破砕貝を僅かに含む。部分的に面状に堆積する。
		5	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	やや有	破砕したマガキを少量、細かい破砕貝を破砕多く、焼けた破砕貝を僅かに含む。
		6	灰オリーブ（7.5Y4/2）	有	やや有	細かく破砕したマガキを中量、焼けた破砕貝を僅かに含む。
		7	オリーブ黒（7.5Y2/2）	有	やや有	破砕したマガキ、細かい破砕貝を少量含む。部分的に面状に堆積する。
		8	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	やや有	破砕したマガキを少量、細かい破砕貝を中量含む。
		9	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	やや有	破砕したマガキを中量、細かい破砕貝を多く含む。部分的に面状に堆積する。
14	混土貝層	1	オリーブ黒（7.5Y2/2）	有	やや有	破砕したマガキを少量、細かく破砕したマガキを多く、焼けた破砕貝を僅かに含む。
		2	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	やや有	破砕したマガキを僅かに、細かく破砕したマガキを多く、ハマグリを僅かに含み、部分的に面状に堆積する。
		3	オリーブ黒（7.5Y3/1）	有	やや有	破砕したマガキ少量、細かく破砕したマガキをやや多く、焼けた破砕貝を僅かに含む。
		4	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	やや有	破砕したマガキ、細かく破砕したマガキを多く含み、ハマグリ、焼けた破砕貝を僅かに含む。
15	シルト質土層	1	暗緑灰（10GY3/1）	強	強	破砕したマガキ、ハマグリを少量含む。
18	混土貝層	1	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを僅かに、細かく破砕したマガキを多く含む。
		2	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、細かく破砕したマガキをやや多く含む。
		3	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	有	有	破砕したマガキを中量、細かく破砕したマガキを少量含む。
		4	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、細かく破砕したマガキを中量含む。
		5	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、焼けた破砕貝を僅かに含む。
		6	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝を僅かに含む。
		7	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、細かく破砕したマガキをやや多く、ハマグリを僅かに含む。
		8	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキをやや多く含む。
		9	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、細かく破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキを少量、還元した色調の破砕貝を中量含む。
		10	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	破砕したマガキを中量含む。シルト質土がやや多い。
		11	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		12	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキを中量含む。
		13	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、細かく破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキ、焼けた破砕貝を僅かに含む。
		14	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、破砕の少ないマガキを中量含む。
		15	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝をやや多く含む。
		16	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキをやや多く、還元した色調の破砕貝を僅かに含む。
		17	暗オリーブ灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を中量含む。
		18	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		19	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキを中量含む。
21	混土貝層	1	暗緑灰（5GY3/1）	有	有	破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキを少量、還元した色調の破砕貝をやや多く、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		2	暗緑灰（10G3/1）	有	有	還元した色調の細かい破砕貝を非常に多く、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
22	混土貝層	1	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	細かく破砕したマガキを中量、還元した色調のやや細かく破砕したマガキを多く、ハマグリ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		2	オリーブ黒（7.5Y3/2）	有	有	細かく破砕したマガキを少量、還元した色調の細かく破砕したマガキを多く、ハマグリ、ヤマトシジミ、小礫を少量含む。
		3	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	細かく破砕したマガキを僅かに、還元した色調の細かく破砕したマガキを非常に多く、ハマグリ、ヤマトシジミ、小礫を少量含む。

第 104 表Sec.8（A4・A5 東西セクション）土層説明一覧表（2）

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
23	混土貝層	1	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを少量、還元した色調の破砕貝をやや多く含む。ヤマトシジミ、小礫を僅かに含む。
		2	暗緑灰（7.5GY3/1）	有	有	細かく破砕したマガキを僅かに、還元した色調の細かい破砕貝を中量、ハマグリ、ヤマトシジミ、小礫を僅かに含む。
		3	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	細かく破砕したマガキを少量、還元した色調の細かい破砕貝を中量、小礫を僅かに含む。
		4	オリーブ黒（5GY2/1）	有	有	細かく破砕したマガキ、還元した色調の細かい破砕貝、小礫を少量含む。
40	シルト質土層	1	暗緑灰（7.5G3/1）	有	有	細かい破砕貝を少量、木片を僅かに含む。

第 105 表Sec.9（B1 東西トレンチ）土層説明一覧表

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
18	混土貝層	1	オリーブ灰（10Y4/2）	有	有	破砕の少ないマガキを中量、破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリを僅かに含む。
		2	オリーブ灰（10Y4/2）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を少量、ハマグリを僅かに含む。
		3	オリーブ灰（10Y4/2）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを少量含む。
		4	オリーブ灰（10Y4/2）	有	有	破砕の少ないマガキ、破砕したマガキを少量含む。
		5	オリーブ黒（10Y3/2）	有	有	破砕の少ないマガキを少量、破砕したマガキを多く含む。
		6	オリーブ灰（10Y4/2）	有	有	破砕の少ないマガキを中量、破砕したマガキを少量含む。
		7	オリーブ黒（10Y3/2）	有	有	破砕の少ないマガキ、破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		8	オリーブ黒（10Y3/2）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を中量、破砕の少ないマガキを少量含む。
		9	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、破砕の少ないマガキを少量含む。
		10	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、破砕の少ないマガキを中量含む。
25	混土貝層	1	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		2	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		3	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを中量、還元した色調の破砕貝を少量含む。
27	混貝土層	1	暗緑灰（10GY3/1）	やや有	やや有	破砕したマガキを少量含む。
		2	暗緑灰（7.5GY3/1）	やや有	やや有	破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキを僅かに含む。
		3	暗緑灰（7.5GY3/1）	やや有	やや有	破砕したマガキを少量、破砕の少ないマガキを僅かに含む。
28	シルト質粘土質土	1	暗緑灰（10GY3/1）	やや有	やや有	細かく破砕したマガキを僅かに、木片、小礫を少量含む。
		2	暗緑灰（10GY3/1）	やや有	やや有	細かく破砕したマガキをごく僅かに、木片、小礫を中量含む。
		3	暗緑灰（10GY3/1）	やや有	やや有	細かく破砕したマガキを僅かに、破砕の少ないマガキをごく僅かに、木片、小礫を中量含む。
30	混貝土層	1	緑黒（10GY2/1）	やや有	やや有	破砕の少ないマガキを少量、破砕したマガキ、ヤマトシジミを僅かに含む。
		2	緑黒（10GY2/1）	やや有	やや有	破砕したマガキ、細かい破砕貝を少量、破砕の少ないマガキ、ヤマトシジミを僅かに含む。
38	砂礫層	1	オリーブ黒（7.5Y3/2）	無	有	径 10 ～ 30㎜前後の小礫を非常に多く含む砂質の層。

第 106 表Sec.9（B2・B3 東西トレンチ）土層説明一覧表

層序番号	層　種	細分番号	色　調	粘性	締り	含　有　物
18	混土貝層	1	オリーブ灰（10Y4/2）	有	有	破砕の少ないマガキを中量、破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を多く、ハマグリを僅かに含む。
		2	オリーブ灰（10Y4/2）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を少量、ハマグリを僅かに含む。
		3	オリーブ灰（10Y4/2）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを少量含む。
20	混貝土層	1	オリーブ灰（10Y4/2）	有	有	破砕したマガキを少量含む。
		2	暗オリーブ（7.5Y4/3）	有	有	破砕したマガキを中量含み、部分的に面状に堆積する。
		3	オリーブ灰（10Y4/2）	有	有	破砕の少ないマガキ、破砕したマガキを少量含む。
		4	オリーブ黒（10Y3/2）	有	有	破砕したマガキを中量、破砕の少ないマガキを少量含む。
25	混土貝層	1	オリーブ黒（10Y3/2）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキを僅かに含む。
		2	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、破砕の少ないマガキ、還元した色調の破砕貝を少量含む。
		3	オリーブ灰（10Y4/2）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を中量、破砕の少ないマガキを僅かに含む。
		4	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕の少ないマガキ、破砕したマガキ、還元した色調の破砕貝を中量含む。
		5	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕したマガキを多く、還元した色調の破砕貝を中量、破砕の少ないマガキを少量含む。
		6	オリーブ黒（10Y3/1）	有	有	破砕の少ないマガキを中量、破砕したマガキの、還元した色調の破砕貝を少量含む。
27	混貝土層	1	暗オリーブ灰（5GY3/1）	やや有	やや有	破砕したマガキを中量含む。
		2	暗オリーブ灰（5GY3/1）	やや有	やや有	破砕したマガキ、小礫を少量含む。
28	混貝土層	1	暗オリーブ灰（5GY3/1）	やや有	やや有	細かく破砕したマガキ、ヤマトシジミを僅かに、小礫を中量含む。
30	シルト質土層	1	暗緑灰（10GY3/1）	やや有	やや有	破砕の少ないマガキを少量、破砕したマガキ、ヤマトシジミを少量、小礫を中量含む。
38	砂礫層	1	オリーブ黒（7.5Y3/2）	無	有	径 10 ～ 30㎜前後の小礫を非常に多く含む砂質の層。

Ⅳ　遺構と遺物

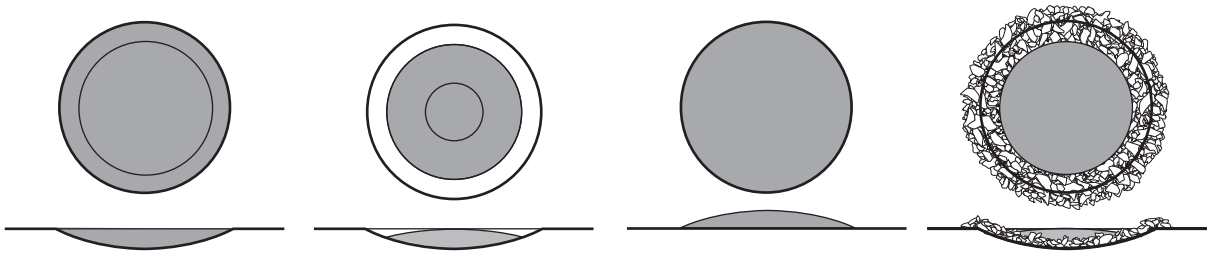
1　縄文時代

栄町貝塚は、国指定史跡中里貝塚及び中里遺跡と隣接する。時期はそれらの遺跡と同様に、縄文時代中期が中心である。今回の調査においても縄文時代前期の遺物、中期・後期の遺構と遺物が出土、検出されている。

今回の調査では工程の関係上、B 区から調査を開始した。細かい破砕貝が密集し部分的に面状を呈する 12 ～ 14 層を当初は 1 面として捉え、その下層から検出された破砕の少ないマガキが多く含まれる層を 2 面、さらに下層の砂礫層ないしは貝をあまり含まないシルト質土層、貝層の堆積が見られなくなった層を 3 面として調査を進めていた。だが A 区の調査を始めたところ、3 層から 9 層にかけて焚き火址と目される遺構が多数検出され、また 8 層ではヤマトシジミを多く含む混土貝層が検出され、B 区とは異なる様相が伺えた。焚き火址は B 区においても検出されているが、調査や層序の精査を進めるにつれて、検出された標高は同様ではあるが遺構が形成されている層が A 区・B 区では異なっており、時期差が存在することが明らかとなった。そこで A 区の 3 ～ 9 層を新たに 1 面として捉え、12 ～ 14 層を 2 面、B 区で遺構が検出された 10・19・20・26 層、破砕の少ないマガキの堆積が伺える 18 ～ 27 層を 3 面、自然堆積層とその付近の層の 28 ～ 30 層、38 ～ 44 層を 4 面として捉えている。ここで言う面は人為的な活動が行われた「面」という性格もあるが、文化層的な意味合いも多分に含んでいるため、近世等で表される「面」とは意味合いが異なる。特に 3 面は主な貝層としては 18・25 層だが、A 区中央～北側ではそれらの貝層と貝種が類似する層が、シルト質土を多く交えながら深い位置に流れ込む様相が観察されている。これらの層については 18′・25′層としているが、18・25 層のような人為的な行為の結果として堆積した層に関連する層序として、3 面の中に位置付けている。

遺構について、1・3 面から焚き火址が合計 354 基、同じく 1 面から灰層廃土遺構が 1 基、灰層集中範囲が 3 基、4 面から集石遺構 1 基、杭 39 基、溝 1 条が検出されている。

本貝塚から最も多く検出された焚き火址については、炭化物・焼けた破砕貝・灰がプラン状に検出されたものを焚き火址として、記録を行っている。それらの焚き火址の多くは炭化物･焼けた破砕貝･灰の堆積が浅く、最も浅いものでは 10㎜程度のものも看取された。炭化物・焼けた破砕貝・灰の除去を行うとシルト質土と破砕貝を含む層が現れ、遺構の底部が検出されて完掘であるが、その層の下、



第 28 図　焚き火址形態模式図

あるいは完掘した遺構の底から部分的に別の炭化物・焼けた破砕貝・灰が検出される状況が多い。また焚き火址が切り合って検出される状況や、掘削中に切り合い関係が判明するという状態が非常に多く認められた。

これらの焚き火址は遺存状態においていくつかのパターンが認められた。最も多いのが若干掘り込んでそこで焚き火を行ったもの（第 28 図 A）、次に若干掘り込んで焚き火を行い、灰や炭化物がマウンド状に残存したもの（第 28 図 B）、掘り込まずに直接焚き火を行った結果、灰や炭化物がマウンド上に残存したもの（第 28 図 C）、掘り込んだ窪みに意図的に破砕した貝を敷いて焚き火を行ったもの（第 28 図 D）など、4 種類に類型化される。

遺物はそれほど多くないものの、縄文時代前期後葉～中期後葉の土器、旧耕作土付近の層序から僅かに後期前葉・後葉、晩期の土器が出土した。さらに土器片錘などの土製品、石器、木杭、竹杭が出土している。また獣骨・人骨や大形材などの出土も見られた。

ここでは面ごとに遺構及び遺物を整理し、記述していく。

1 面

1）遺構（第 29 ～ 42 図、第 33 ～ 44 表、図版 4 ～ 74）

前述したが、1 面からは焚き火址が合計 287 基、同じく 1 面から灰層廃土遺構が 1 基、灰層集中範囲が 3 基、ピットが 2 基検出されている。遺構は 3 層～ 11 層上部で検出され、それらの遺構では A 区中央部付近はヤマトシジミが含まれていることが多く、A 区東側・西側ではマガキの破砕貝が含まれている。

A　焚き火址（第 32 ～ 40 図、第 33 ～ 41 表、図版 4 ～ 72）

1 基のみ B 区でやや大型の焚き火址が検出されているが、他は A 区から検出されている。遺構の重複が激しく、全体図上で個々の遺構の位置を表すことが困難なため、第 29 図に 1 面全体図・遺構位置割付図、第 30・31 図に 1 面遺構位置割付拡大図を掲載した。また第 32 ～ 40 図には個々の焚き火址の平面及び断面図を掲載している。遺構番号は基本的に検出された順に付しているが、調査工程上 B 区から調査を開始したこと、欠番はリネームせずに欠番のままとして取り扱ったため遺構番号は必ずしも連続していない。また遺構確認時には 1 つの遺構として番号を付したが、半裁及び掘削、記録時に複数の遺構に分かれるケースが多く、これらの場合は基本的には a・b・c・・・と枝番を付している。ここでは主に特徴のある焚き火址を抽出して記述していくが、他は図及び観察・土層説明一覧表を参照されたい。

1 号遺構（第 32 図、第 33 表、図版 5）

D-6 グリッドに位置し、平面形はやや不定形な隅丸方形で、類型は A である。規模は長軸 176.9cm、短軸 139.9cm、最大深度 8.0cm で、大型の焚き火址である。覆土は 3 層で、3 層から炭化物層が検出される。

48 号遺構（第 32 図、第 33 表、図版 5）

E-6 グリッドに位置し、平面形は不定形な長楕円形で、類型は C である。炭化物が山状に堆積するものである。規模は長軸 100.9cm、短軸 48.7cm、最大深度 1.7cm である。覆土は 1 層で炭化物を含む。

49 号遺構（第 32 図、第 33 表、図版 5・6）

E-6 グリッドに位置し、平面形は不定形な長楕円形で、類型は A である。覆土の様相から僅かな

掘り込みないしは凹みを利用したものである。規模は長軸 77.2cm、短軸 56.0cm、最大深度 2.0cm である。覆土は 1 層で炭化物を含む。

50 号遺構（第 32 図、第 33 表、図版 6）

E-6 グリッドに位置し、平面形はやや不定形な隅丸方形で類型は A である。規模は長軸 48.2cm、短軸 41.2cm、最大深度 4.9cm である。覆土は 1 層で、全体的に炭化物を多く含む。

51a・b 号遺構（第 32 図、第 33 表、図版 6）

D-9 グリッドに位置し、中央付近から南側が攪乱される。51b 号は 51a 号の下層から検出された。平面形は不定形な円形で類型は A である。

53a ～ d 号遺構（第 32 図、第 33 表、図版 7）

D-8・9 グリッドに位置する。4 つの遺構が切り合っている。北西側は攪乱に切られる。全て類型は A で、切り合い関係は 53c・53d → 53b → 53a 号である。

56 号遺構（第 32 図、第 34 表、図版 8）

D・E-7 グリッドに位置する。平面形は不定形な長方形で、類型は A である。規模は長軸 146.9cm、短軸 56.7cm、最大深度 3.3cm である。覆土は 2 層に分層され、1 層に炭化物を多く含む。検出高及び平面形態と覆土にほとんど破砕貝が含まれていないなど、やや異質な様相を持つ。あるいは後出の時期の可能性も否定できない。

58a ～ d 号遺構（第 32 図、第 34 表、図版 8・9）

D-7 グリッドに位置する。平面形は全て円形で、類型は A である。58d → 58c → 58a → 58b 号遺構の順である。全体的に下層部分に灰を多く含んでおり、58d 号は 58c 号遺構に灰層が切られている様相が看取された。

64a・b 号遺構（第 32 図、第 34 表、図版 10）

D-7 グリッドに位置する。両方とも平面形は円形で、類型は A である。64b 号遺構は 65b 号遺構の底面で検出され、平面的な範囲も異なることから別遺構として取り扱った。

65a・b 号遺構（第 33 図、第 34 表、図版 11）

D-9 グリッドに位置する。東側が不明瞭だが隅丸長方形と思われ、類型は 65a 号が A、65b 号は灰層が山状に堆積しているため B である。これらも 65a 号遺構の底面から 65b 号が重なるように検出されたものである。

67a ～ d 号遺構（第 33 図、第 34 表、図版 11・12）

E-6 グリッドに位置する。東側が 67b → 67a → 67c 号という順番である。全て類型は A である。67a 号遺構は 2 層に含まれている炭化物、3 層の灰層が 67b 号遺構に切られている堆積が看取された。67d 号遺構はヤマトシジミの破砕貝が多く含まれている。

68 号遺構（第 33 図、第 34 表、図版 12）

D・E-7 グリッドに位置し平面形はやや不定形な楕円形で、類型は C である。覆土は 1 層で灰を多く含んでいるが、西側に灰層が流れている状況が看取された。

69a ～ d 号遺構（第 33 図、第 34 表、図版 12・13）

D-9 グリッドに位置する。69c → 69a・69b・69d 号の順である。全て類型は A で、遺構の覆土は各々の全て 1 層で灰層が中心だが、69c 号のみ炭化物を覆土に多く含む。

70a ～ d 号遺構（第 33 図、第 34 表、図版 13・14）

D-8・9 グリッドに位置する。北東側が攪乱に切られる。全てやや不定形な円形と思われ、類型は A である。切り合い関係は 70b → 70d 号遺構に観察される。同一の場所で繰り返し焚き火が行われた様相が想起させられる。

72a・b 号遺構（第 33 図、第 34・35 表、図版 14）

D-9 グリッドに位置する。東側が攪乱に切られる。やや不定形な楕円形と思われ、類型は A である。当初は一つの遺構と捉えていたものだが、精査中に二つの遺構と判明したものである。72b 号遺構は灰層が南西側に側に流れており、これが 72a 号上に堆積していたため 1 つの遺構と捉えていた要因である。

73 号遺構（第 33 図、第 35 表、図版 14）

D・E-7 グリッドに位置する。平面形は楕円形で、類型は A である。規模は長軸 111.0cm、短軸 85.0cm、最大深度 6.6cm である。覆土は 4 層に分層され、2 層に灰を多く含む。平面図上から、灰層が東西に大きく流れている点が特徴的なものである。

78 号遺構（第 33 図、第 35 表、図版 15）

E-7 グリッドに位置し、北側が攪乱に切られる。平面形は楕円形と思われ、類型は A である。断面図では掘り込みが看取されたが、灰層の堆積は 1 層のみで、それが大幅に東側に流れる。

82 号遺構（第 34 図、第 35 表、図版 16）

D-9 グリッドに位置し、南東側が攪乱に切られる。平面形は楕円形と思われ、類型は A である。覆土は 2 層に分層され、1 層に焼けて灰色に変色したマガキの破砕貝と灰を多く含んでいる。

83 号遺構（第 34 図、第 35 表、図版 16）

D-9 グリッドに位置し南東側が攪乱に切られる。平面形は円形と思われ、類型は A である。覆土は 2 層に分層され、1 層に焼けた破砕貝・灰を多く含む。

91 号遺構（第 34 図、第 35 表、図版 18）

D-9 グリッドに位置し、南東側が攪乱に切られる。平面形は円形と思われ、類型は A である。覆土は 2 層に分層され、1 層で焼けた破砕貝･灰を多く含む。平面完掘状況では浅く小さいプランだが、灰が半分以上南西側に流れている状況である。完掘状況で検出された平面形態は、焚き火の用途ではなく別の用途を持つ可能性も想定されようか。

94a・b 号遺構（第 34 図、第 35 表、図版 19）

D-9 グリッドに位置する。平面形は円形で、類型は A である。94a 号遺構掘削中に下部に別の焚き火址が検出された状況である。大型の類型 C の可能性も考えたが、94a 号遺構で僅かに灰や炭化物をあまり含まない底面が看取されたことから別遺構とした。

95 号遺構（第 34 図、第 35 表、図版 19・20）

D-9 グリッドに位置する。平面形は円形と思われ、類型は A である。覆土は 2 層に分層され、1 層の焼けた破砕貝・灰層が多く含まれているが、北側に大きく灰層が流れる。91 号と類似した在り方を呈している。

98 号遺構（第 34 図、第 35 表、図版 20）

D-7 グリッドに位置し南東側が攪乱に切られる。平面形は楕円形と思われ、底面及び周辺に破砕貝

を含んだ覆土が密集しているものである。類型はDである。覆土は7層に分層され、2層に炭化物を多く、4層に焼けた破砕貝・灰を多く含む。層序や平面形態から、シルト質土を掘り込んで破砕貝が底面・縁辺に意図的に散布させた状況が伺える。

102a～c号遺構（第34図、第35・36表、図版21・22）

E-5・6グリッドに位置する。平面形はやや不定形な円形で、102a・c号は類型A、102b号はCである。102c号は102b号に切られる。102b･c号遺構は1層に焼けたヤマトシジミの破砕貝､灰、炭化物を多く含む。

117号遺構（第35図、第36表、図版25）

D・E-6・7グリッドに位置し、南西側が一部攪乱に切られる。平面形は不定形で、類型はCである。覆土は1層で灰を多く含んでいるが、灰が不規則に流れた結果、不定形な形態で遺存した状況が伺える。

125a・b号遺構（第35図、第36表、図版26）

E-6グリッドに位置する。125a号が125b号遺構を切る。平面形は楕円形で、双方とも類型はAである。125a号は覆土の上層のみに灰層が含まれるが、125b号は覆土全体に灰層が含まれており、125b号の覆土が断面観察で切られている状況が伺える。

127・130号遺構（第35図、第36表、図版27）

D・E-9グリッドに位置し、西側、南側が攪乱に切られる。平面形は円形と思われ、類型はAである。覆土は2層に分層され、1層で灰を多く含む。2層～遺構底面にかけて焼けて硬化した焼成粘質土が見られる。

132a・b号遺構（第35図、第36表、図版28）

E-6グリッドに位置し、132a号は東側が67c号遺構に切られる。双方とも平面形は円形と思われ、類型はAである。検出時のプランは明瞭だったが、他の遺構と比較して灰や炭化物、焼けた破砕貝があまり多く含まれていない。

140～142号遺構（第36図、第36・37表、図版30）

E-6グリッドに位置し、これらの遺構は検出状況から各々が別遺構と捉えられたものである。140号は北側を141号遺構に切られる。140～142号平面形は楕円形ないしは不定形な円形と思われ、類型は全てAである。140・141号遺構に特徴的なのは、焼けたヤマトシジミの破砕貝を多く含んでいる点である。

144号遺構（第36図、第37表、図版30・31）

E-7グリッドに位置する。平面形はやや不定形な楕円形で、類型はCである。覆土は1層で灰を多く含む。遺構がやや傾きのある状態で、底面はテラス状の平坦面が捉えられたことから、流れた灰層が滞留したものの可能性もある。

145号遺構（第36図、第37表、図版31）

E-7グリッドに位置する。平面形はやや不定形な楕円形で、類型はAである。覆土は1層で灰を多く含み、127・130号でも看取された、遺構底面に焼けて硬化した焼成粘質土が見られる。

150号遺構（第36図、第37表、図版32）

E-6グリッドに位置する。平面形は不定形で、類型はCである。覆土は1層で灰を多く含む。こ

のような状況から、117 号遺構とサイズの大小は異なるが類似するものである。

156 ～ 159・176・177・187 号遺構（第 36 図、第 37・38 表、図版 33・40）

F-5 グリッドに位置する。156 号は 187 号遺構を、157 号は 177 号遺構を切る。176 号が類型 C だが、他は類型 A で平面形は全て円形ないしは楕円形を呈している。これらは一群の焚き火址だが、平面形態の把握のためにサブトレンチを設定し、その結果、平面的・断面的な範囲を捉えることが出来たものである。156 号遺構に炭化物が非常に多く含まれているが、他は覆土中に灰層を主に含んでいる。

160a・b 号遺構（第 36 図、第 37 表、図版 33・34）

D-7 グリッドに位置し、160a 号が 160b 号遺構を切る。平面形は 160a 号が円形、160b 号が楕円形で、類型は両方とも A である。160a 号の方が若干深く、灰層の堆積状況が異なっているため 2 つの遺構として捉えている。

164 号遺構（第 36 図、第 37 表、図版 35）

F-6 グリッドに位置する。平面形は楕円形で、類型は A である。浅いプランは規模が小さく、覆土の灰が北東側に大きく流れている。91・95 号と同様の形態である。

182・183・184 号遺構（第 37 図、第 37 表、図版 39）

182 号が G-3 グリッド、183 号が E-5 グリッド、184 号が F-3 グリッドに位置する。各々半分程度、攪乱に切られているが、これらは平面形態が円形で掘り込みが無く、灰が盛り上がるように遺存しているもので、類型は C である。

185・188 号遺構（第 37 図、第 38 表、図版 39・40）

185 号は E-5 グリッド、188 号は F-5 グリッドに位置する。両方とも平面形は楕円形と思われ、類型は A である。185・188 号遺構は掘り込まれていて規模・形態的に、覆土の様相においても類似するものである。

203 号遺構（第 37 図、第 38 表、図版 43）

F-5 グリッドに位置する。平面形は円形で、類型は A である。覆土は 2 層に分層され、1 層に灰を多く含む。僅かに北東側に灰層が流れる。この堆積状況は他にも看取されるが、焚き火を行った後に一旦灰や炭化物が流れ、僅かにシルト質土が堆積した後に、灰や炭化物が新たに流れ込んだ可能性もある。

205 号遺構（第 37 図、第 38 表、図版 43・44）

F-5 グリッドに位置し、西側を攪乱に切られる。平面形は円形で、灰層、炭化物層が中心に残っていて、その周囲がシルト質土で埋まったもので覆土は 2 層に分層される。2 層で炭化物を多く含み、断面三角形状に堆積する。類型は B である。

208a ～ c 号遺構（第 37 図、第 38 表、図版 44・45）

D-7・8 グリッドに位置し、南西側が攪乱に切られる。平面形は円形と思われ、208a・b 号は類型は A、208c 号は類型 C である。208b 号は覆土に炭化物を多く含んでいるが、灰層中心の 208a 号に切られている様相が看取された。208c 号は 208a・b 号完掘後にその下部から検出されたものであるが、掘り込みは認められず、灰層が盛り上がる類型 C であった。

220 号遺構（第 38 図、第 38 表、図版 47）

E-6 グリッドに位置する。平面形は楕円形で、遺構の規模はやや小型である。類型は A である。覆

土は 2 層に分層され、遺構の中心部付近に 1 層で炭化物が集中している層が看取される。1 層の周辺及び下層である 2 層には灰が多く含まれている。

221a・b 号遺構（第 38 図、第 38 表、図版 47・48）

F-5 グリッドに位置する。平面形は楕円形で、共に類型は A である。221a 号遺構は 221b 号遺構内に掘り込まれている。覆土は 1 層で炭化物を、2 層で灰を多く含む。この 221a 号に切られるような状況で 221b 号が検出されているが、220 号遺構のように 221a 号が 221b 号の炭化物層である可能性も否定できない。

222 号遺構（第 38 図、第 38 表、図版 48）

D-7・8 グリッドに位置する。平面形は円形で、類型は C である。規模は長軸 27.0cm、短軸 25.0cm、最大深度 1.6cm である。覆土は 1 層で灰を多く含む。南・東・西側に灰層が流れる。

236a・b 号遺構（第 38 図、第 39 表、図版 51）

F・G-3・4 グリッドに位置する。236a 号が 236b 号を切る。平面形は円形ないしは楕円形で、類型は A である。覆土に灰、焼けた破砕貝を多く含む。236b 号の覆土は 2 層に分かれるが、1 層が 236a 号との間層のような状況である。

249a・b 号遺構（第 39 図、第 39 表、図版 54）

F-5 グリッドに位置する。249a 号が 249b 号遺構を切る。両方とも平面形は楕円形で、類型は A である。覆土は質の異なる灰層で切り合い関係が把握された。249b 号の方が焼けた破砕貝を多く含んでいる。

250 号遺構（第 39 図、第 39 表、図版 54・55）

E-7 グリッドに位置する。平面形は楕円形で若干凹みは見られるが、ほぼ平らな遺構底面に灰層が盛り上がるような形態で、類型は C である。北東側に灰層が大量に流れる。

257 号遺構（第 39 図、第 39 表、図版 56）

F-5 グリッドに位置する。平面形は楕円形で、僅かに凹みが見られるため類型は A であるが、南東側は遺構の立ち上がりが不明で灰層が流れている。浅い立ち上がりが灰とともに流れた可能性がある。

271 号遺構（第 39 図、第 40 表）

E-6 グリッドに位置する。平面形はやや不定形な長楕円形で、類型は A である。覆土は 6 層に分層され、3 層で灰を多く、4 層で焼けて硬化した焼成粘質土を含む。4 層から、この遺構で焚き火を行ったことが理解されるが、全体的に西側に灰や覆土が流れている状況である。

279a・b・280 号遺構（第 39 図、第 40 表、図版 61・62）

G-3 グリッドに位置する。279a 号は南側が 280 号遺構に切られ、279b 号遺構を切る。平面形は円形・楕円形で、類型は 279a・280 号が A、279b 号が C である。279a・b 号は北西側から北側にかけて灰層が流れる。

289・290 号遺構（第 40 図、第 40 表、図版 64）

E-7 グリッドに位置し、両方とも平面形は円形と思われ、類型は A である。遺構の平面及び深度は小規模だが、炭化物を多く含んだ覆土が特徴的な焚き火址である。

296・297 号遺構（第 40 図、第 41 表、図版 66）

G-3 グリッドに位置する。296 号遺構はサブトレンチ、遺構掘削によりに切られているため南東

側が不明瞭だが、平面形は隅丸方形と思われる。また 297 号遺構に切られる。ともに類型は A で、灰を多く含んだ覆土が 296 号は北側に流れている。

314・315 号遺構（第 40 図、第 41 表、図版 70）

E–7 グリッドに位置し、東側が Sec.2（A2 南北トレンチ）に切られる。平面形は不定形な楕円形と思われ、315 号は 314 号遺構に切られる。両方とも類型は C である。314 号の覆土は 1 層で灰、焼けた破砕貝を多く含む。北側に灰層が流れる。315 号は遺構の底面に焼けて硬化した焼成粘質土を含む。

B　灰層廃土遺構（第 41 図、第 42・43 表、図版 72・73）

A 区 1 面の南東側、D–7 グリッドで検出された。規模は長軸 139.1cm、短軸 114.1cm、最大高度 16.0cm を測る。平面形は不定形で、北東側に灰層が伸びる。灰層・炭化物層・シルト質土層が互層状かつマウンド状に堆積しており、灰層及び炭化物が意図的に廃棄された可能性も考えられたため、灰層廃土遺構として各々の範囲や厚さにより 79a ～ 79p 号遺構として細分し、記録を行った。79a ～ d、79f ～ h、79j・k・o・p 号遺構が灰層、79e・i・l ～ n 号遺構が炭化物層である。それらの間層も含め、24 層に分層される。遺物の出土は認められない。

C　灰層集中範囲（第 42 図、第 44 表、図版 73）

A 区 1 面 D–7 グリッドからは、灰層のみが集中する範囲が 3 基検出されている。いずれも不定形で同一の箇所で調査区北側に向かって流れるような状況である。

106 号遺構（第 42 図、第 44 表、図版 73）

東側が攪乱に切られ、平面形は不定形な扇形か。北東側に灰層が流れる。規模は長軸（301.3）cm、短軸（190.4）cm、最大深度 8.0cm を測る。覆土は 1 層で灰を多く含む。

107 号遺構（第 42 図、第 44 表、図版 73）

106 号遺構の下層からシルト質土の間層を挟んで検出された。東側が攪乱に切られ、平面形は 106 号遺構同様に不定形な扇形か。北東側に灰層が流れる。規模は長軸（314.9）cm、短軸（181.3）cm、最大深度 3.2cm を測る。覆土は 1 層で灰を多く含む。

135 号遺構（第 42 図、第 44 表、図版 73）

106・107 号遺構のさらに下層から検出された。東側の堆積は明瞭ではなかったが、北側に灰層が伸びる状況が確認されている。規模は長軸（55.4）cm、短軸（47.1）cm、最大深度 2.3cm である。覆土は 1 層で灰を多く含み、ヤマトシジミの破砕貝を少量含む。

検出されたレベルが若干異なるが、前述した 79 号遺構もほぼ同一の地点で検出されており、遺構間の関連が示唆されるが、これらの遺構はやや広い範囲で不定形に検出されている点で異なるため、別遺構として取り扱った。また前述したように、106・107 号は間に最大 10cm ほどの灰や炭化物をあまり含まない間層が認められる。135 号遺構は、106・107 号遺構の西側で検出されるが検出深度が異なり、東側の広がりは不明瞭であまり広範囲に展開しない。あるいは焚き火址と同様の遺構の可能性もあるが、135 号遺構はヤマトシジミの破砕貝を含む点で 106・107 号遺構とは異なる様相である。

D　ピット（第 42 図、第 45 表、図版 73・74）

ピットは 2 基検出されている。貝層中にシルト質土がやや不安定な楕円形で落ち込んでおり、根

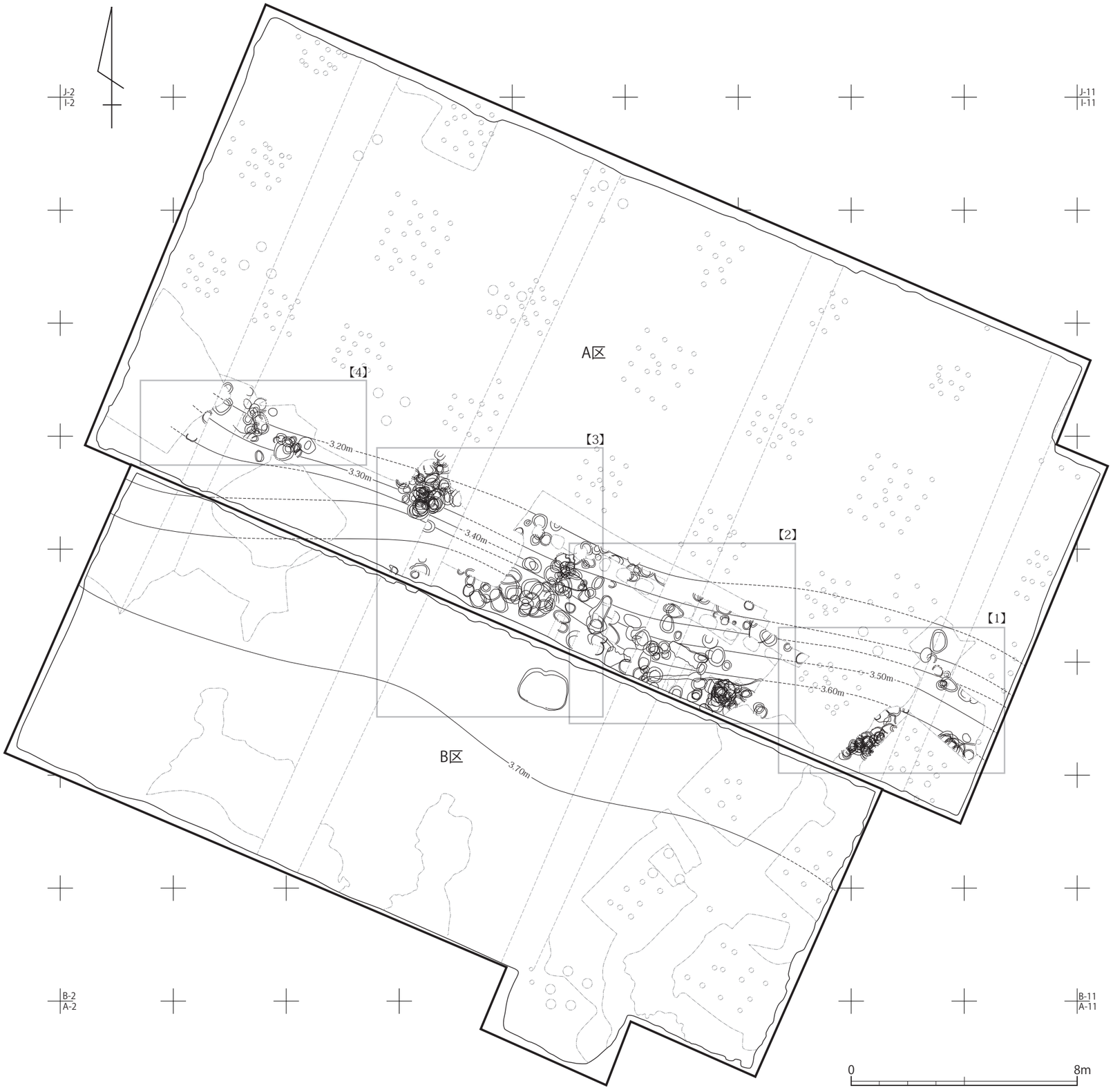
穴の可能性も否定できない。

153 号遺構（第 42 図、第 45 表、図版 73・74）

E-6 グリッドに位置し、東側が攪乱に切られる。平面形は不定形な瓢箪型である。規模は長軸（99.1）cm、短軸（53.3）cm、最大深度 46.7cm である。覆土は 1 層で、シルト質土中心の層である。この 153 号遺構からは、土器が 1 点出土している（第 43 図 1）。土器は RL の縄文と沈線が施文される胴部破片である。加曽利 E4 式と推定される。

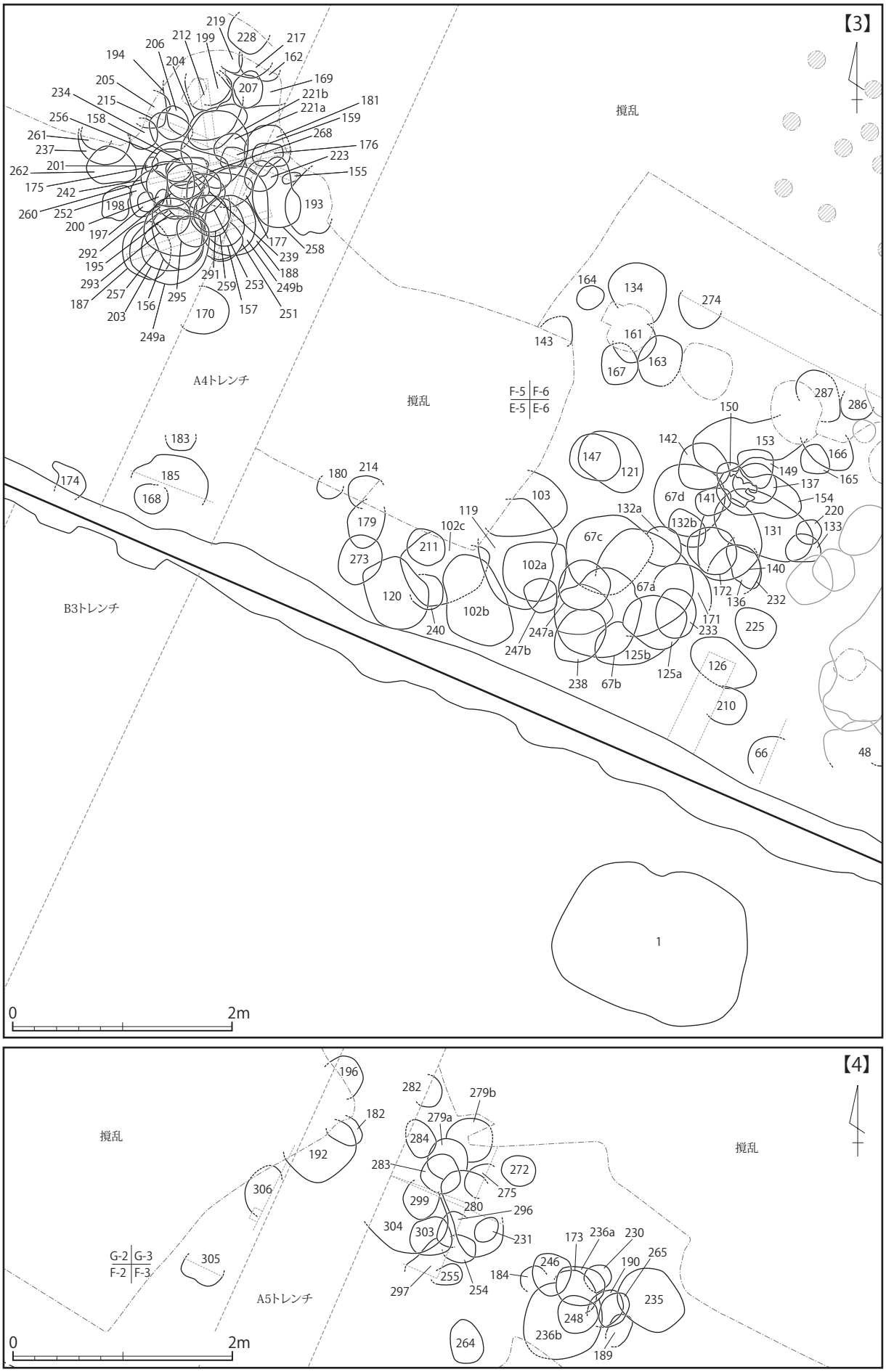
154 号遺構（第 42 図、第 45 表、図版 73・74）

E-6 グリッドに位置する。平面形は不定形な瓢箪型で、北西側の一部を 153 号遺構に切られる。規模は長軸 79.5cm、短軸（43.3）cm、最大深度 31.6cm である。覆土は 1 層で、シルト質土中心の層である。

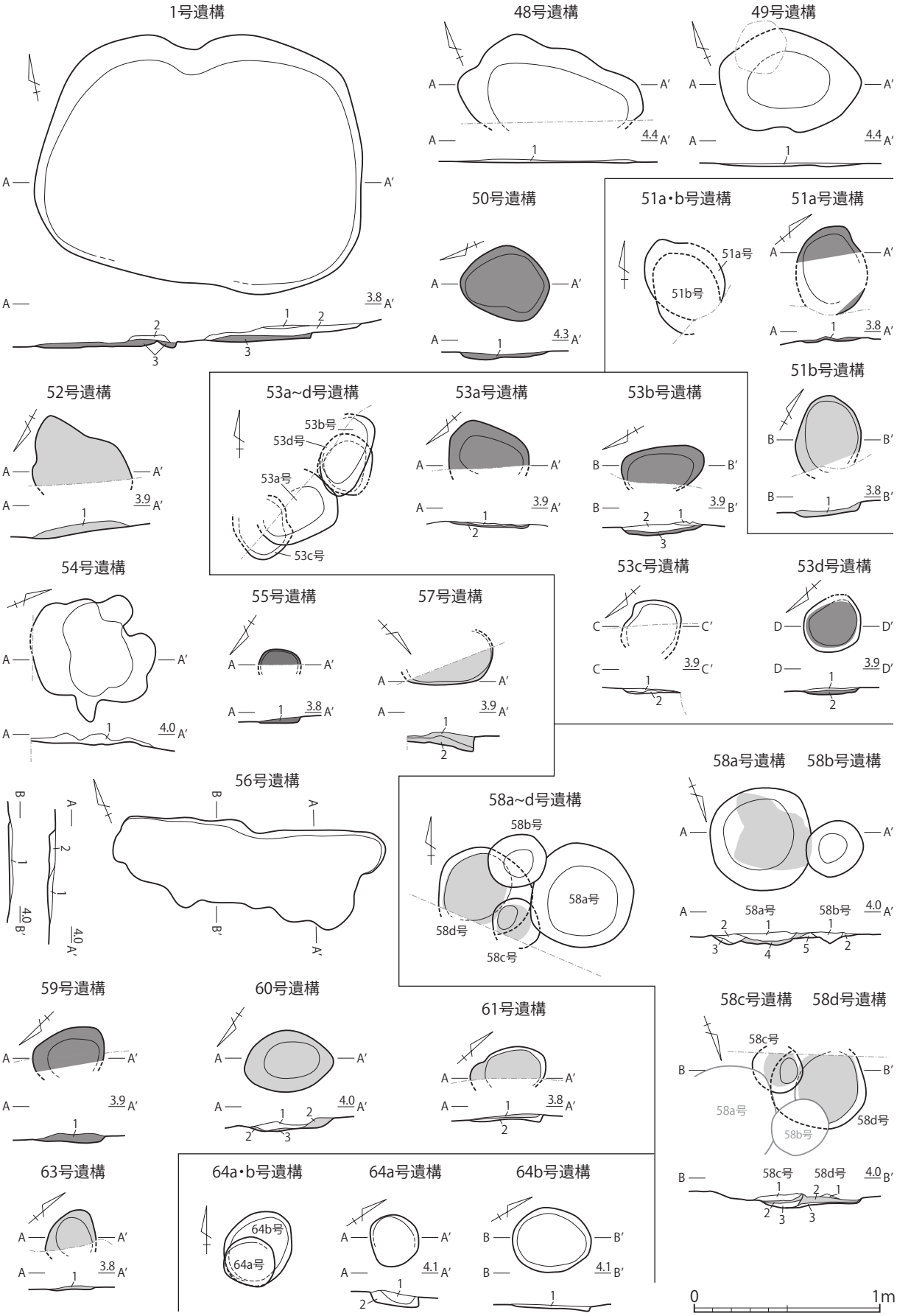


第 29 図　1 面 全体図・遺構位置割付図（1/150）

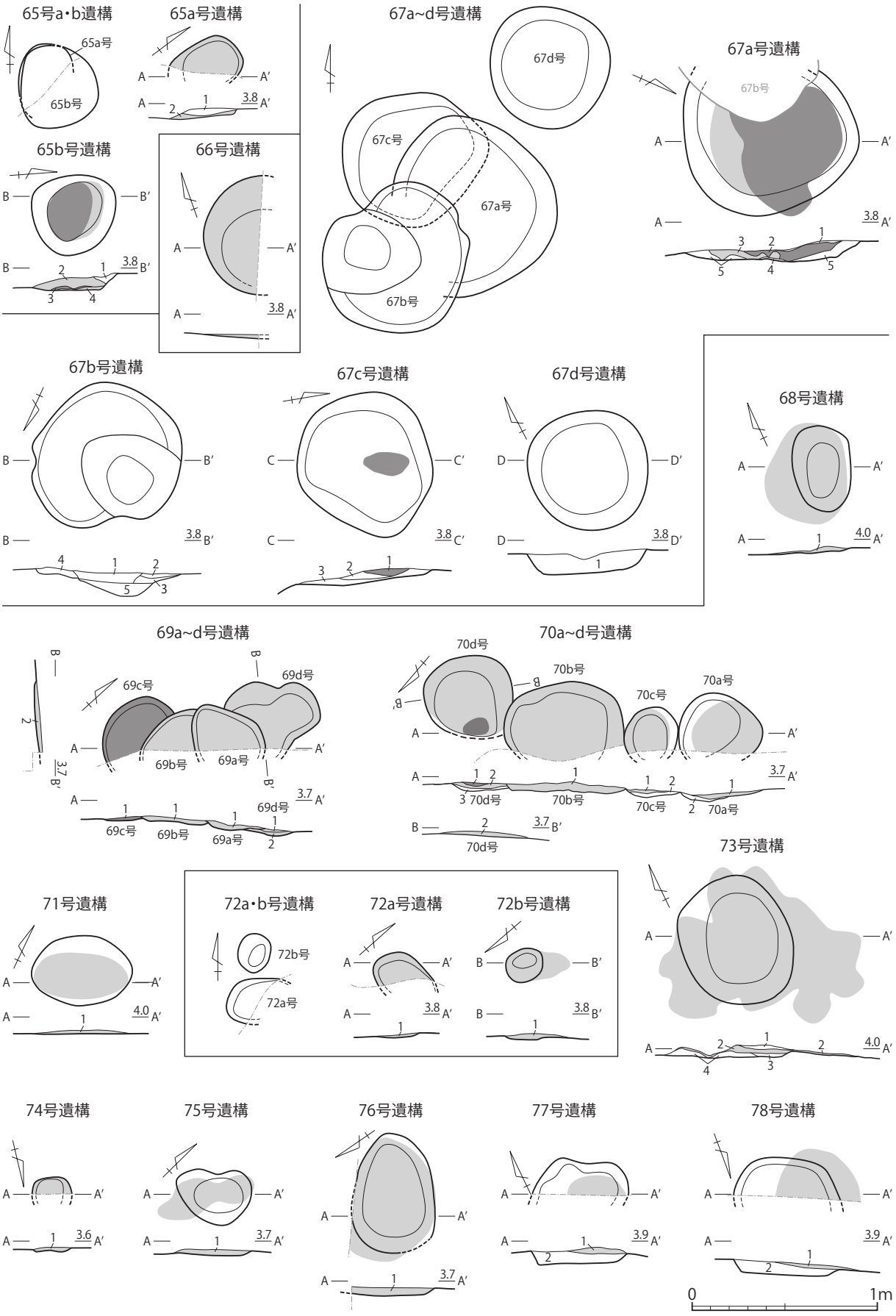
第 30 図　1 面 遺構位置割付拡大図（1）（1/50）



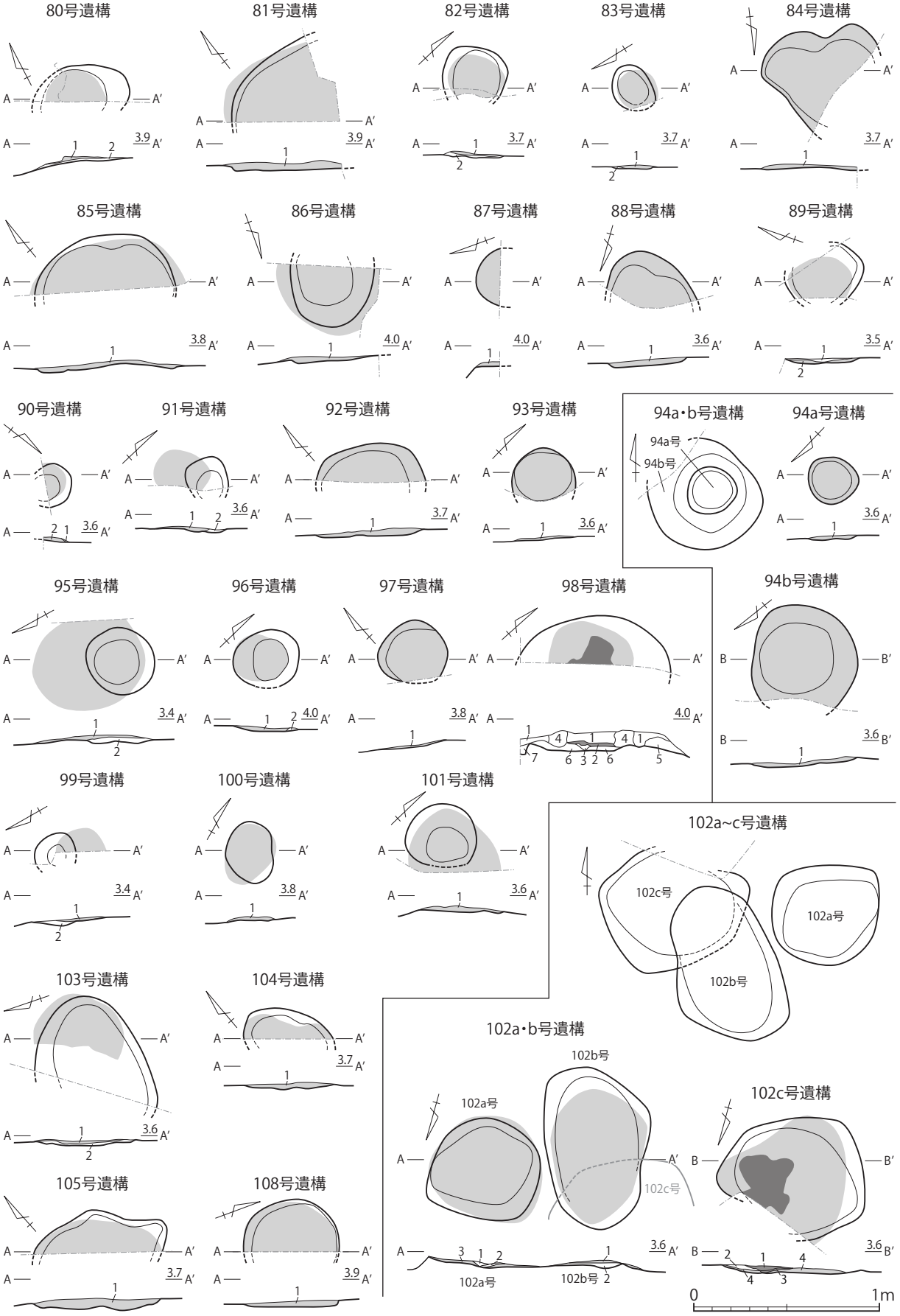
第 31 図　1 面 遺構位置割付拡大図（2）（1/50）



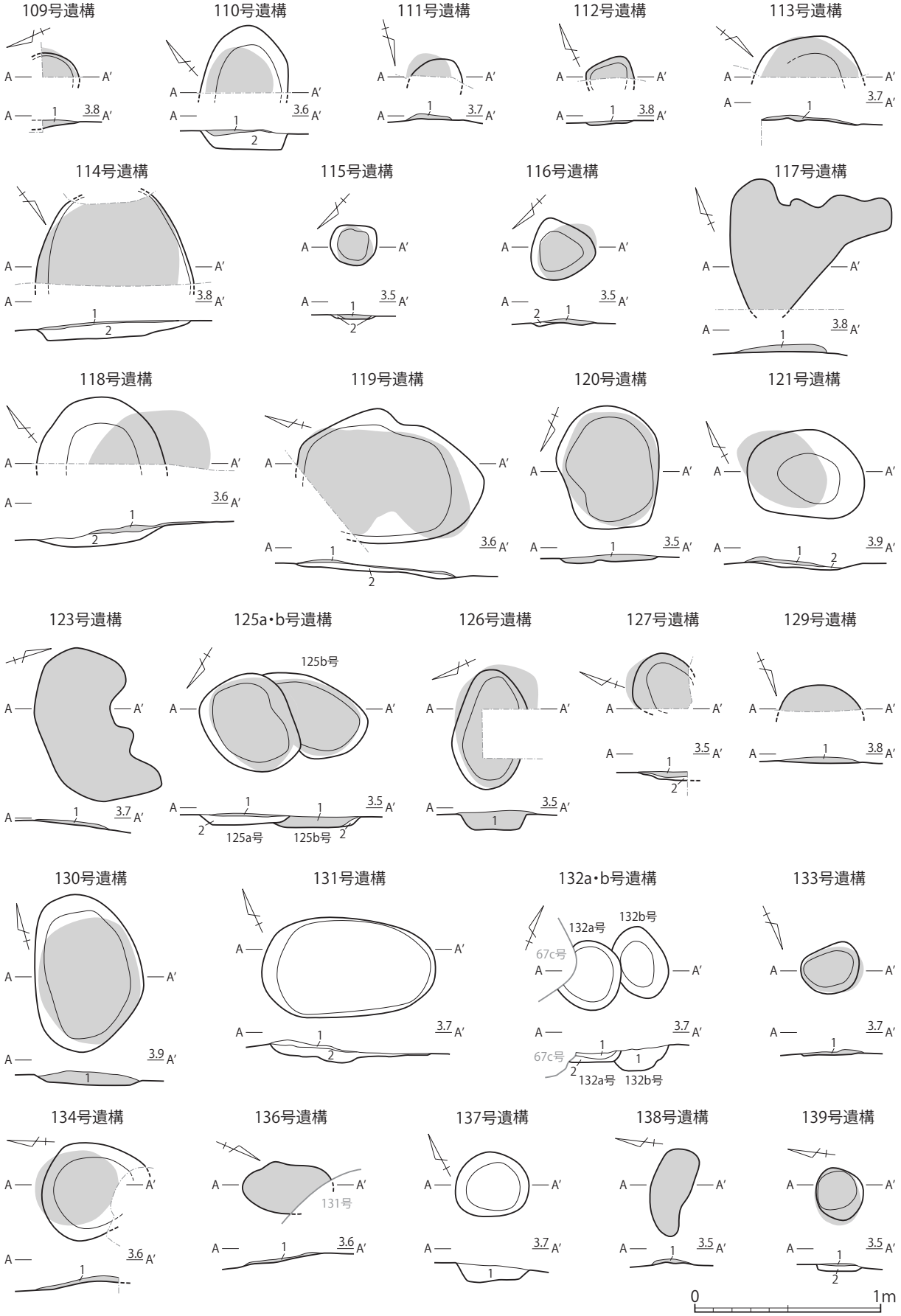
第 32 図　1 面焚き火址（1）（1/30）



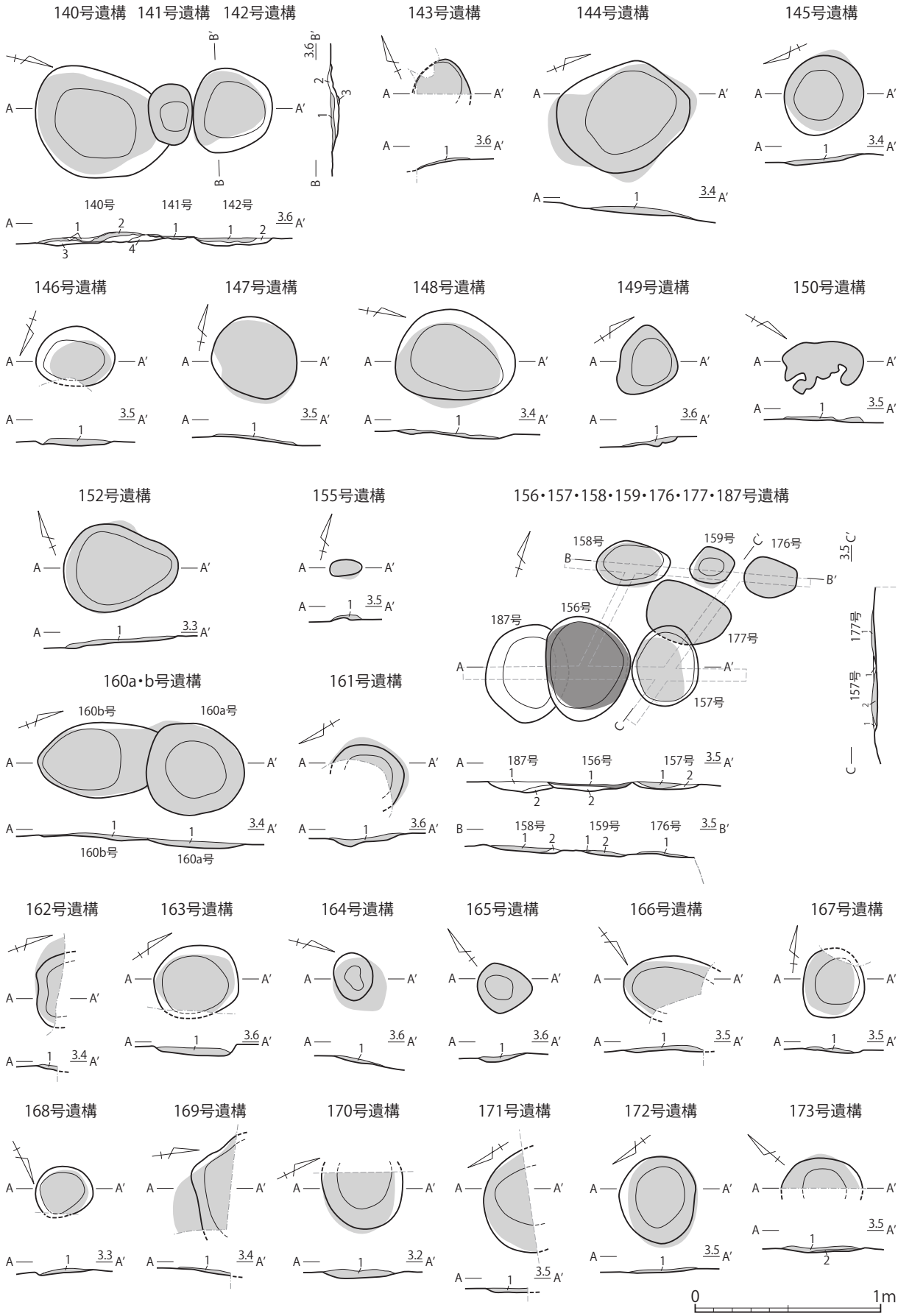
第 33 図　1 面焚き火址（2）（1/30）



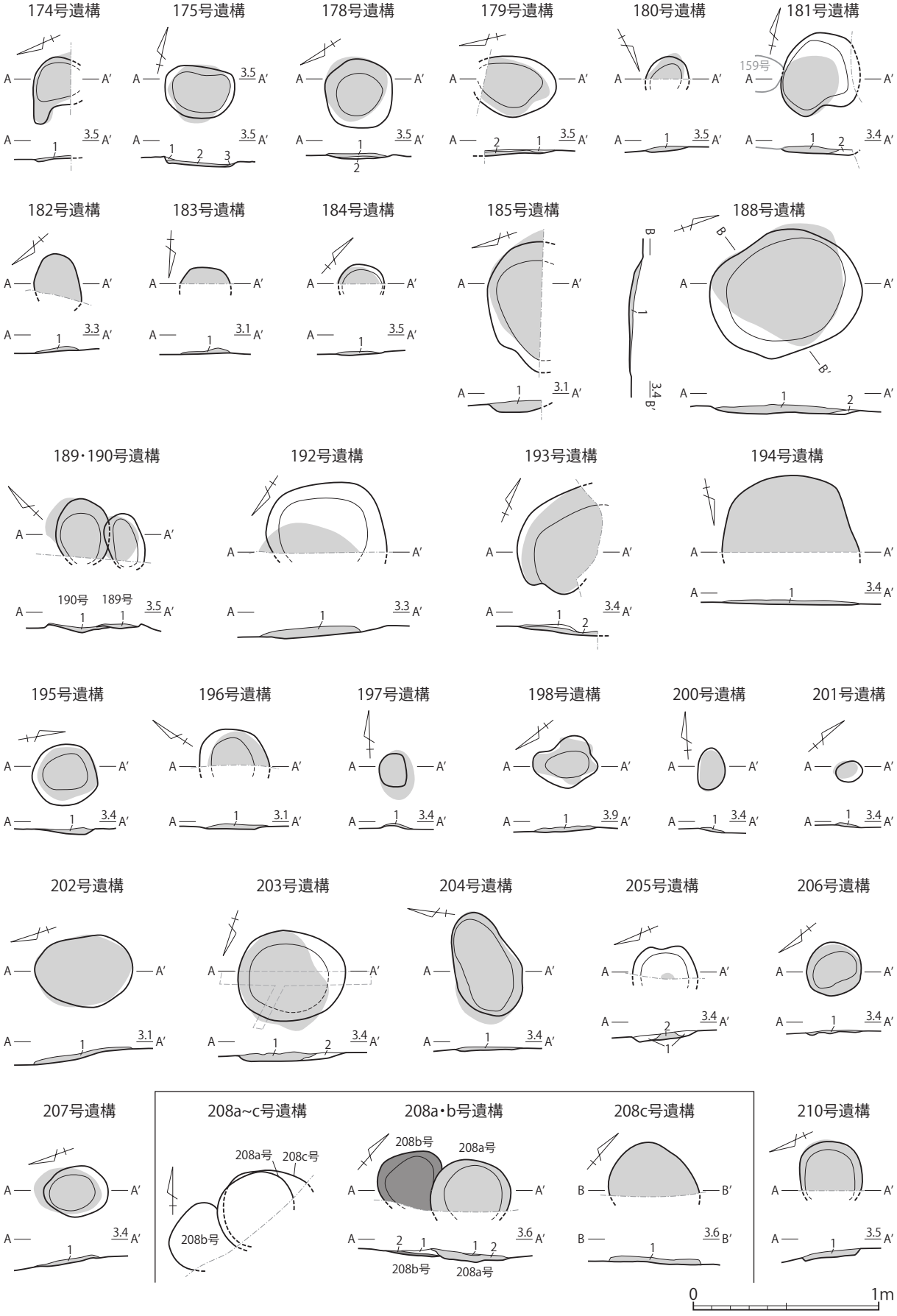
第 34 図　1 面焚き火址（3）（1/30）



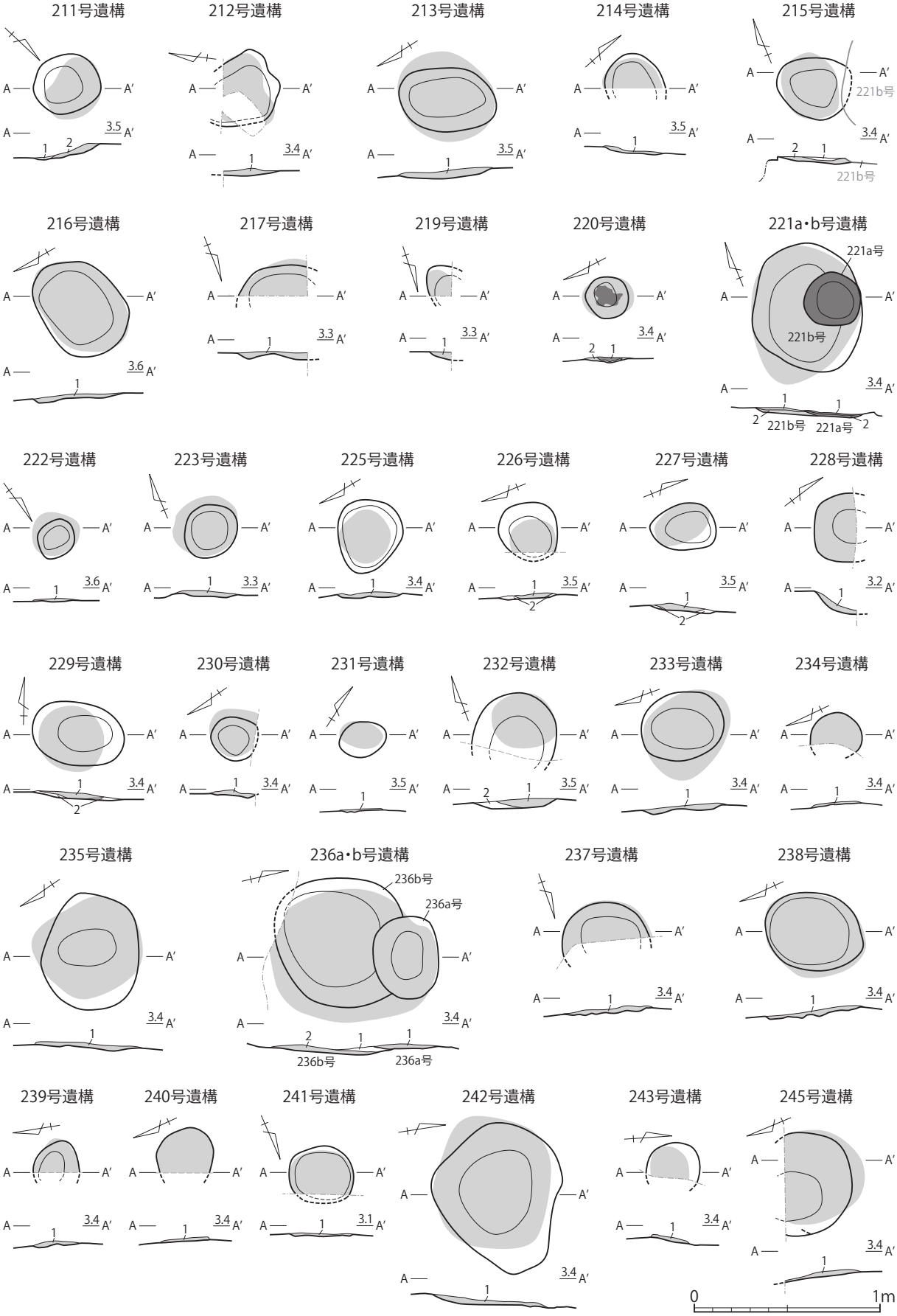
第 35 図　1 面焚き火址（4）（1/30）



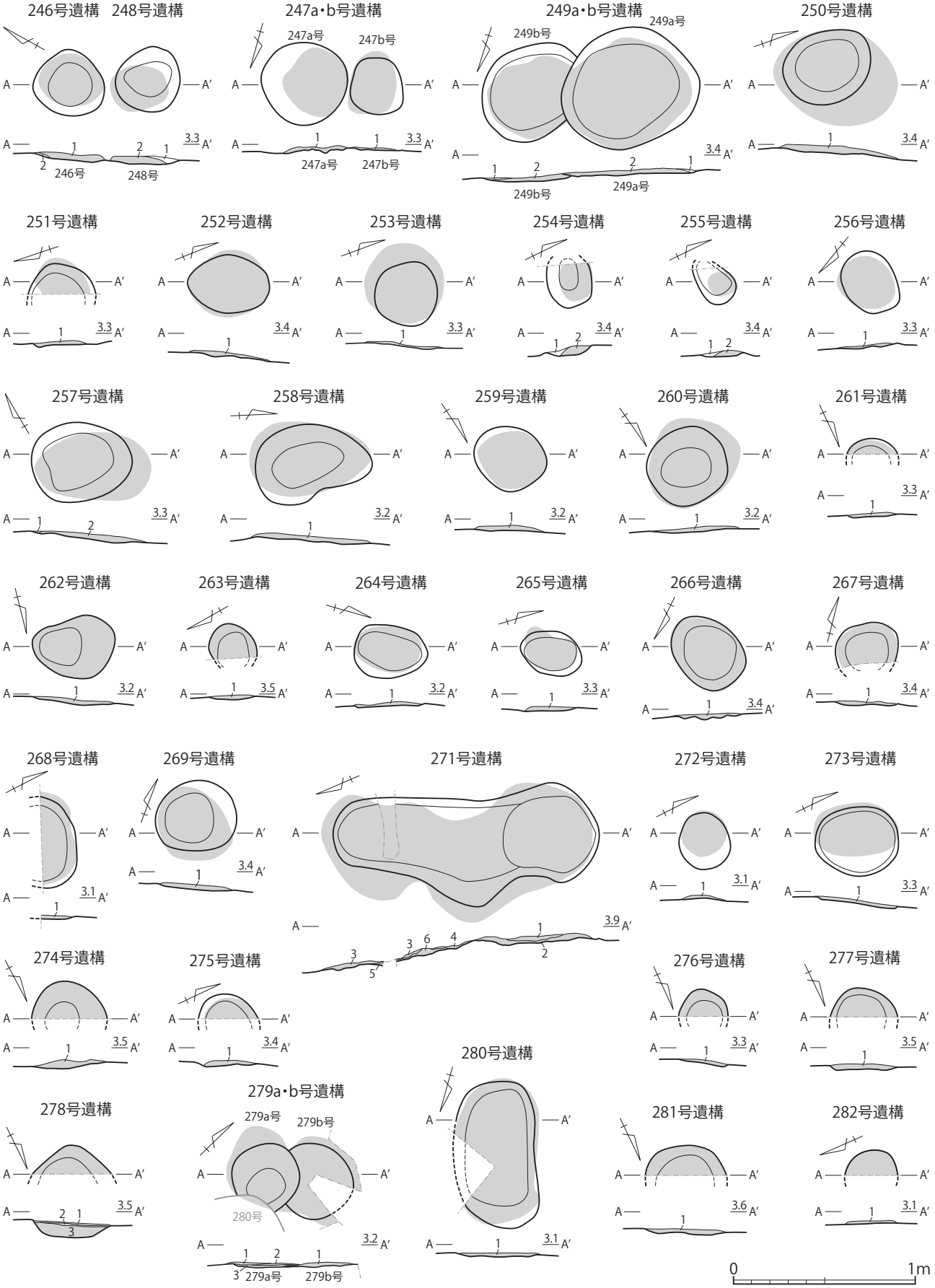
第 36 図　1 面焚き火址（5）（1/30）



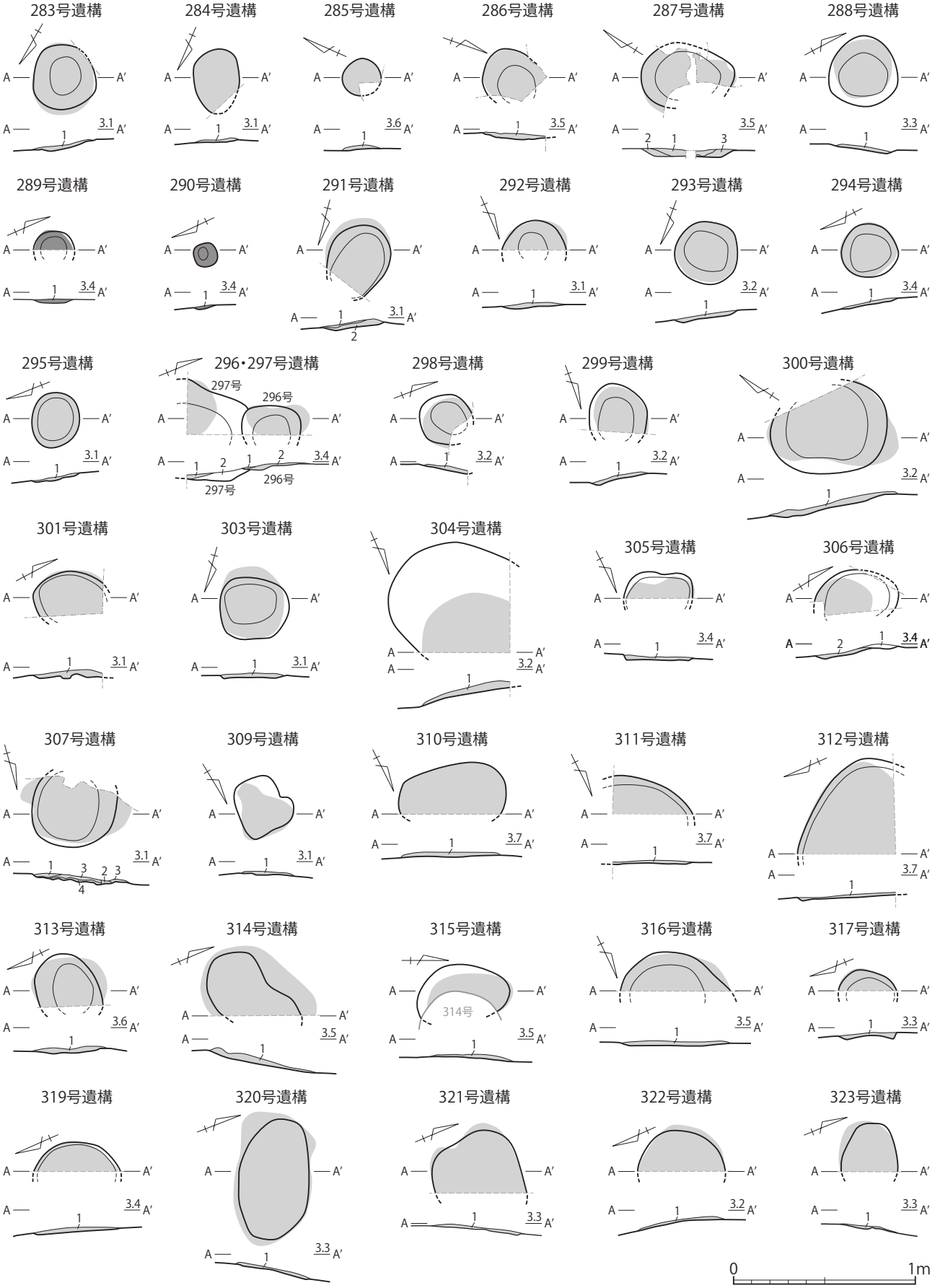
第 37 図　1 面焚き火址（6）（1/30）



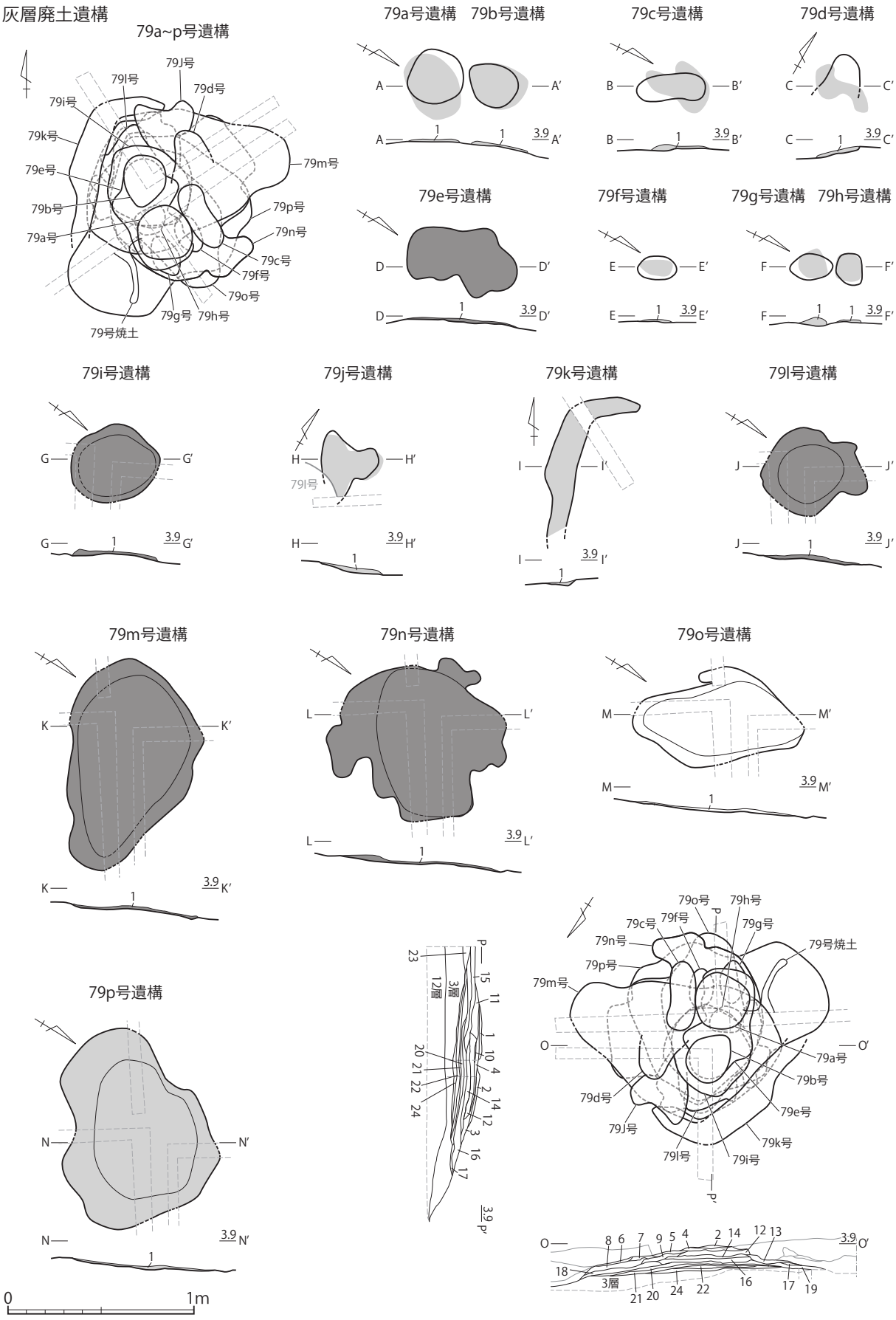
第 38 図　1 面焚き火址（7）（1/30）



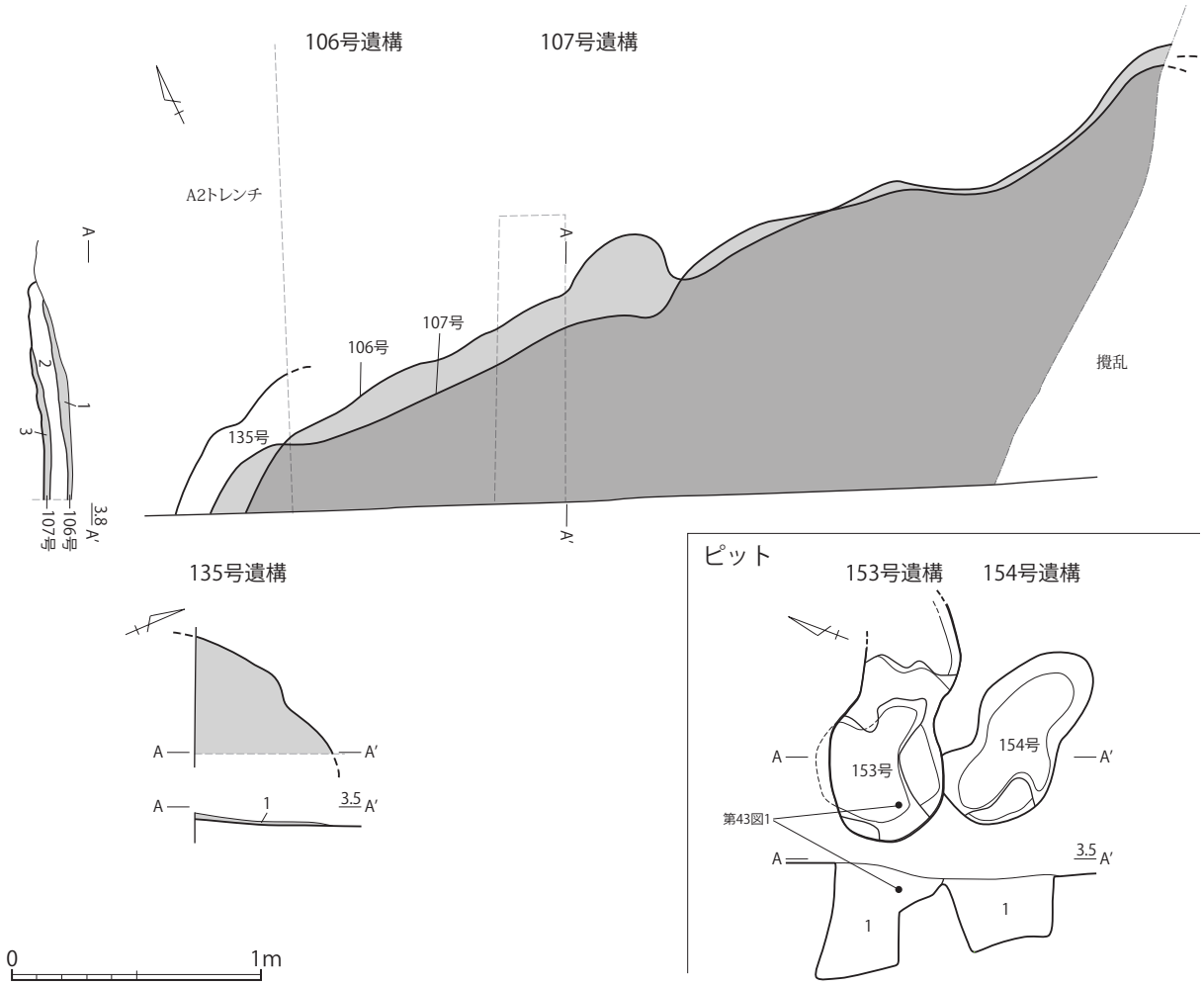
第 39 図　1 面焚き火址（8）（1/30）



第 40 図　1 面焚き火址（9）（1/30）



第 41 図　1 面灰層廃土遺構（1/30）



第 42 図　1 面灰層集中遺構・ピット（1/30）

第 33 表　1 面遺構観察・土層説明一覧表（1）

挿図番号	図版番号	遺構名	遺構種別	グリッド	類型	規　模 長×短×深（cm）	層序番号	色　調	土　説
32	5	1 号	焚き火址	D-6	A	176.9 × 139.9 × 8.0	1 層	黒褐（10YR2/3）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝を多く、鉄分を少量含む。
							2 層	黒褐（10YR2/3）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝を中量含む。
							3 層	黒褐（10YR1.7/1）	粘性・締り共に弱い。炭化物を多く、破砕貝を中量含む。
32	5	48 号	焚き火址	E-6	C	100.9 × 48.7 × 1.7	1 層	暗褐（10YR3/3）	粘性弱いが締りはやや有る。炭化物を中量、灰を少量、小礫を僅かに含む。
32	5・6	49 号	焚き火址	E-6	A	77.2 × 56.0 × 2.0	1 層	暗褐（10YR3/3）	粘性弱いが締りはやや有る。炭化物を中量、鉄分を僅かに含む。
32	6	50 号	焚き火址	E-6	A	48.2 × 41.2 × 4.9	1 層	暗褐（10YR2/3）	粘性弱いが締りはやや有る。炭化物を多く、鉄分を少量、径 15mm 前後の小礫を僅かに含む。
32	6	51a 号	焚き火址	D-9	A	47.4 ×（35.2）× 2.1	1 層	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	粘性・締り共に有り。炭化物・焼けた破砕貝を多く、灰を少量含む。
32	6	51b 号	焚き火址	D-9	A	（43.4）× 34.7 × 5.6	1 層	暗褐（10YR3/4）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く、炭化物と鉄分を少量含む。
32	6	52 号	焚き火址	D-9	C	53.8 ×（37.6）× 4.5	1 層	暗褐（10YR3/4）	粘性・締り共にやや有り。焼けた破砕貝、灰を多く、炭化物と鉄分を少量含む。
32	7	53a 号	焚き火址	D-8・9	A	43.7 ×（25.8）× 2.7	1 層	暗オリーブ（5Y4/4）	粘性・締り共に有り。破砕貝、灰、炭化物を少量含む。
							2 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性有り、締りやや有り。焼けた破砕貝、炭化物を多く含む。
32	7	53b 号	焚き火址	D-9	A	45.1 ×（21.9）× 5.8	1 層	黄褐（10YR3/2）	粘性・締り共に有り。焼けた破砕貝、炭化物を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。焼けた破砕貝、灰を多く含む。
							3 層	暗オリーブ（3Y4/3）	粘性弱いが締りは有る。焼けた破砕貝、灰、炭化物を多く含む。
32	7	53c 号	焚き火址	D-8・9	A	（33.4）×（31.4）× 2.8	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性弱いが締りは有る。焼けた破砕貝を多く、灰、炭化物を少量含む。
							2 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性弱いが締りは有る。焼けた破砕貝、灰、炭化物を少量含む。
32	7	53d 号	焚き火址	D-9	A	31.9 ×（29.0）× 3.5	1 層	暗褐（7.5Y4/3）	粘性・締り共に有り。焼けた破砕貝を少量、灰、炭化物を僅かに含む。
							2 層	暗オリーブ褐（2.5Y3/2）	粘性・締り共に有り。焼けた破砕貝、炭化物、破砕貝を多く含む。
32	7	54 号	焚き火址	D-7	C	（67.4）× 66.1 × 6.0	1 層	黄褐（10YR5/6）	粘性・締り共に有り。焼けた破砕貝、破砕貝、灰、炭化物を少量含む。

第 34 表　1 面遺構観察・土層説明一覧表（2）

挿図番号	図版番号	遺構名	遺構種別	グリッド	類型	規　模 長×短×深（cm）	層序番号	色　調	土　説
32	8	55 号	焚き火址	D-9	A	22.7 ×（14.0）× 2.7	1 層	暗褐（10YR3/4）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝と灰を多く、炭化物を少量含む。
32	8	56 号	焚き火址	D･E-7	A	146.9 × 56.7 × 3.3	1 層	黒褐（10YR3/2）	粘性やや弱いが締りは有る。炭化物を多く、鉄分を少量含む。
							2 層	暗褐（10YR3/3）	粘性やや有り締り有り。鉄分を中量、炭化物を少量含む。
32	8	57 号	焚き火址	D-7	A	49.2 ×（13.5）× 7.9	1 層	黒褐（10YR2/3）	粘性・締り共にやや有り。焼けた破砕貝、灰を多く、鉄分を少量含む。
							2 層	暗褐（10YR3/4）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、焼けた破砕貝を少量含む。
32	8・9	58a 号	焚き火址	D-7	A	57.9 × 56.9 × 7.8	1 層	暗褐（10YR3/4）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝を少量、鉄分を僅かに含む。
							2 層	暗褐（10YR3/3）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝を僅かに、鉄分を少量含む。
							3 層	褐（10YR4/4）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝を多く含む。
							4 層	暗褐（10YR3/3）	粘性･締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、炭化物、鉄分を少量含む。
							5 層	暗褐（10YR3/4）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝を多く含む。
32	9	58b 号	焚き火址	D-7	A	31.4 ×（28.6）× 6.0	1 層	暗褐（10YR3/4）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝、鉄分を僅かに含む。
							2 層	暗褐（10YR3/3）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝を中量、鉄分を少量含む。
32	9	58c 号	焚き火址	D-7	A	27.5 ×（21.2）× 6.9	1 層	黒褐（10YR2/3）	粘性有り締りやや有り。破砕貝、鉄分を少量含む。
							2 層	暗褐（10YR3/4）	粘性･締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
							3 層	暗褐（10YR3/3）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝を多く、炭化物と鉄分を僅かに含む。
32	9	58d 号	焚き火址	D-7	A	（51.9）×（43.0）× 7.4	1 層	暗褐（10YR3/3）	粘性・締り共に有り。破砕貝を中量、鉄分を少量含む。
							2 層	にぶい黄褐（10YR4/3）	粘性有り締りやや有り。灰を多く、鉄分、炭化物を少量含む。
							3 層	黒褐（10YR3/2）	粘性・締り共に有り。破砕貝を多く含む。
32	9	59 号	焚き火址	D･E-7	A	40.1 ×（20.5）× 5.1	1 層	灰オリーブ（7.5Y4/2）	粘性弱いが締りは有る。焼けた破砕貝、破砕貝、灰、炭化物を中量含む。
32	－	60 号	焚き火址	E-7	A	48.3 × 33.5 × 6.5	1 層	暗褐（10YR3/4）	粘性・締り共に有り。破砕貝、灰、炭化物を少量含む。
							2 層	褐（7.5YR4/4）	粘性・締り共に有り。破砕貝、灰をやや多く含む。
							3 層	暗オリーブ灰（7.5GY4/1）	粘性・締り共に弱い。焼けた破砕貝、灰、炭化物を多く含む。
32	9・10	61 号	焚き火址	D-9	A	41.8 ×（25.7）× 1.8	1 層	暗褐（10YR3/3）	粘性･締り共にやや有り。破砕貝と灰を多く、炭化物、鉄分を少量含む。
							2 層	暗褐（10YR3/4）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝、炭化物を少量含む。
32	10	63 号	焚き火址	D-9	A	30.4 ×（26.5）× 1.6	1 層	暗褐（10YR3/4）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝、灰を多く、炭化物を中量含む。
32	10	64a 号	焚き火址	D-7	A	28.2 × 25.5 × 7.0	1 層	褐（10YR4/4）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝、炭化物、鉄分を少量含む。
							2 層	褐（10YR4/6）	粘性・締り共にやや有り。焼けた破砕貝を多く、灰を少量含む。
32	10	64b 号	焚き火址	D-7	A	42.5 × 35.1 × 2.4	1 層	暗褐（10YR3/3）	粘性･締り共にやや有り。破砕貝を多く、灰を中量、炭化物を少量含む。
33	11	65a 号	焚き火址	D-9	A	39.8 ×（20.8）× 4.9	1 層	にぶい黄褐（10YR4/3）	粘性・締り共にやや有り。焼けた破砕貝を多く、炭化物と鉄分を少量含む。
							2 層	褐（10YR4/4）	粘性･締り共にやや有り。焼けた破砕貝、灰を多く、炭化物を少量含む。
33	11	65b 号	焚き火址	D-9	A	45.6 × 45.0 × 9.5	1 層	暗褐（7.5YR3/4）	粘性・締り共に有り。破砕貝を少量含む。
							2 層	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	粘性・締り共に有り。焼けた破砕貝、灰を多く含む。
							3 層	黒（N2/）	粘性・締り共に弱い。炭化物を多く、焼けた破砕貝を少量含む。
							4 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性弱いが締りはややある。焼けた破砕貝、灰を多く、炭化物を少量含む。
33	11	66 号	焚き火址	E-6	A	64.3 ×（40.1）× 2.4	1 層	暗褐（10YR3/3）	粘性有り、締りやや有り。灰を多く、炭化物を少量含む。
33	11	67a 号	焚き火址	E-6	A	97.5 ×（65.2）× 9.9	1 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性・締り共に有り。焼土、破砕貝、炭化物を少量含む。
							2 層	オリーブ黒（5GY2/1）	粘性・締り共に有り。炭化物を多く、、破砕貝を少量含む。
							3 層	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	粘性有り、締りやや有り。焼けた破砕貝を多く、炭化物、灰を中量含む。
							4 層	オリーブ黒（7.5Y3/2）	粘性・締り共に有り。破砕貝を多く、炭化物、灰を少量含む。
							5 層	オリーブ黒（5Y3/1）	粘性・締り共に有り。焼土、破砕貝、炭化物を少量含む。
33	11・12	67b 号	焚き火址	E-6	A	80.8 × 78.3 × 13.6	1 層	黒褐（2.5Y3/2）	粘性・締り共に有り。焼土、炭化物を少量含む。
							2 層	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	粘性強く締りも有る。破砕貝、炭化物を僅かに含む。
							3 層	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	粘性・締り共に有り。破砕貝、炭化物を中量含む。
							4 層	暗灰黄（2.5Y4/2）	粘性・締り共に有り。焼けた破砕貝を多く、灰、炭化物を少量含む。
							5 層	黒褐（2.5Y3/2）	粘性強く、締りはやや有る。焼けたたヤマトシジミ、炭化物を含む。
33	12	67c 号	焚き火址	E-6	A	78.8 × 73.2 × 6.3	1 層	黒（10Y2/1）	粘性・締り共に有り。炭化物を多く、焼けた破砕貝を少量含む。
							2 層	オリーブ黒（5Y2/2）	粘性・締り共に有り。ヤマトシジミの破砕貝を中量、灰を少量含む。
							3 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共に有り。ヤマトシジミの破砕貝を多く、灰、炭化物を少量含む。
33	－	67d 号	焚き火址	E-6	A	65.5 × 65.2 × 11.0	1 層	暗褐（10YR3/3）	粘性・締り共にやや有り。ヤマトシジミの破砕貝を多く、灰、炭化物と鉄分を少量含む。
33	12	68 号	焚き火址	D･E-7	C	55.2 × 53.3 × 2.8	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物と破砕貝を中量含む。
33	12・13	69a 号	焚き火址	D-9	A	39.7 ×（24.5）× 3.6	1 層	暗褐（10YR4/4）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝と灰を多く、炭化物を中量、鉄分少量含む。
33	12・13	69b 号	焚き火址	D-9	A	（29.1）×（22.8）× 2.8	1 層	暗褐（10YR3/4）	粘性やや有り、締り有り。灰を多く、鉄分と炭化物を少量含む。
33	12・13	69c 号	焚き火址	D-9	A	45.2 ×（24.9）× 2.2	1 層	黒褐（10YR3/2）	粘性・締り共に有り。炭化物を多く、鉄分を少量、破砕貝を少量含む。
33	12・13	69d 号	焚き火址	D-9	A	52.1 ×（36.3）× 3.2	1 層	灰オリーブ（7.5Y3/2）	粘性･締りともにやや有り。灰、破砕貝をやや多く、炭化物を少量含む。
							2 層	灰黄褐（10YR4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を中量、鉄分を少量、炭化物を僅かに含む。
33	13	70a 号	焚き火址	D-8･9	A	45.4 ×（32.2）× 4.8	1 層	褐（10YR4/4）	粘性・締り共にやや有り。灰を多量、炭化物と破砕貝を中量、鉄分を少量含む。
							2 層	オリーブ黒（7.5Y3/2）	粘性・締り共に有り。破砕貝、灰、炭化物を少量含む。
33	13	70b 号	焚き火址	D-9	A	65.7 ×（36.8）× 5.2	1 層	にぶい黄褐（10YR4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く含み、炭化物をブロック状に含む。鉄分を少量含む。
33	13	70c 号	焚き火址	D-8･9	A	29.2 ×（25.9）× 4.5	1 層	にぶい黄褐（10YR4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物を中量含む。
							2 層	褐（10YR4/4）	粘性・締り共に有り。炭化物、破砕貝を多く含む。
33	13・14	70d 号	焚き火址	D-9	A	（48.7）×（43.7）× 5.2	1 層	暗褐（10YR3/3）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝、炭化物を中量、鉄分を少量含む。
							2 層	灰黄褐（10YR4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を中量含む。
							3 層	にぶい黄褐（10YR4/3）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝を多く含む。
33	14	71 号	焚き火址	D-7	C	54.4 × 38.2 × 1.8	1 層	にぶい黄褐（10YR4/3）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝を多く、鉄分を少量含む。
33	14	72a 号	焚き火址	D-9	A	33.5 ×（16.9）× 1.8	1 層	暗褐（10YR3/3）	粘性・締り共にやや有り。灰と炭化物を多く、破砕貝を中量含む。

第 35 表　1 面遺構観察・土層説明一覧表（3）

挿図番号	図版番号	遺構名	遺構種別	グリッド	類型	規　模 長×短×深（cm）	層序番号	色　調	土　説
33	14	72b 号	焚き火址	D-9	A	35.0 × 18.8 × 3.6	1 層	暗褐（10YR3/4）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、鉄分を少量含む。
33	14	73 号	焚き火址	D･E-7	A	111.0 × 85.0 × 6.6	1 層	黒褐（10YR2/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を中量、破砕貝を少量含む。
							2 層	灰黄褐（10YR5/2）	粘性･締り共にやや有り。灰を多く、炭化物を少量、破砕貝を中量含む。
							3 層	暗褐（10YR3/4）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝、灰を中量含む。
							4 層	黒褐（10YR3/4）	粘性やや有り締り有り。鉄分、炭化物を少量含む。
33	14	74 号	焚き火址	D-9	A	21.9 ×（15.1）× 2.6	1 層	にぶい黄褐（10YR5/4）	粘性有り締りやや有り。灰を多く、炭化物と破砕貝を中量、鉄分を少量含む。
33	15	75 号	焚き火址	D-9	A	54.4 × 33.8 × 3.7	1 層	にぶい黄褐（10YR4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰と炭化物を多く、破砕貝を中量含む。
33	15	76 号	焚き火址	D-9	A	69.8 × 45.6 × 4.6	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性やや有り、締り有り。灰を多く、焼けた細かい破砕貝をやや多く、炭化物を少量含む。
33	15	77 号	焚き火址	E-7	A	52.1 × 19.7 × 8.6	1 層	オリーブ黒（5Y2/2）	粘性・締り共に有り。灰を多く、炭化物を中量含む。
							2 層	黒褐（10YR3/2）	粘性・締り共に弱い。破砕貝を中量、灰、炭化物を少量含む。
33	15	78 号	焚き火址	E-7	A	69.2 ×（26.3）× 6.9	1 層	暗オリーブ灰（2.5GY2/1）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、炭化物を中量含む。
							2 層	にぶい黄褐（10YR4/3）	粘性･締り共にやや有り。灰、破砕貝を中量、炭化物と鉄分を少量含む。
34	16	80 号	焚き火址	E-6	C	（52.1）×（19.9）× 3.8	1 層	黒褐（10YR2/3）	粘性･締り共にやや有り。灰を多く、炭化物を中量、破砕貝を少量含む。
							2 層	褐（10YR4/2）	粘性・締り共に有り。灰、炭化物、破砕貝を少量含む。
34	16	81 号	焚き火址	D-9･10	A	(62.3) ×) (45.9) × 4.8	1 層	黒褐（10YR2/3）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝を多く、灰を中量、炭化物、鉄分を少量含む。
34	16	82 号	焚き火址	D-9	A	35.5 ×（24.8）× 3.3	1 層	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	粘性・締り共にやや有り。焼けた破砕貝、破砕貝を多く、炭化物、灰を少量含む
							2 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。焼けた破砕貝、破砕貝、炭化物、灰を少量含む
34	16	83 号	焚き火址	D-9	A	（26.6）× 23.4 × 2.0	1 層	にぶい黄褐（10YR5/4）	粘性･締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く含み、炭化物と鉄分、破砕貝を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（7.5Y5/2）	粘性・締り共に有り。灰、破砕貝、炭化物を中量含む。
34	17	84 号	焚き火址	D-8･9	C	62.5 ×（58.5）× 2.5	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性やや有り、締り有り。焼けた破砕貝、灰を多く、炭化物をやや多く含む。シルト質土を僅かに含む。
34	17	85 号	焚き火址	D-9･10	A	84.5 ×（29.4）× 2.8	1 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性弱いが締りはやや有る。焼けた破砕貝を多く含み、灰及び炭化物を中量含む。
34	17	86 号	焚き火址	D-7	A	（55.5）×（38.3）× 3.7	1 層	灰オリーブ（7.5Y5/2）	粘性・締り共に有り。灰を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
34	17	87 号	焚き火址	D-7	C	31.2 ×（12.9）× 2.4	1 層	暗褐（10YR3/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物を多く、破砕貝を中量、鉄分を少量含む。
34	18	88 号	焚き火址	D-9	A	48.4 ×（30.9）× 3.2	1 層	にぶい黄褐（10YR4/3）	粘性･締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
34	18	89 号	焚き火址	D-9	A	42.5 ×（29.6）× 2.6	1 層	にぶい黄褐（10YR5/4）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝を多く、炭化物、灰を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（7.5Y5/2）	粘性･締り共にやや有り。焼けた破砕貝を多く､灰､炭化物を中量含む。
34	18	90 号	焚き火址	D-9	A	24.4 ×（15.7）× 2.3	1 層	灰オリーブ（7.5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝を多く、灰、炭化物を少量含む。
							2 層	にぶい黄褐（10YR4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
34	18	91 号	焚き火址	D-9	A	40.9 ×（20.8）× 2.4	1 層	灰オリーブ（7.5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝を多く、灰、炭化物を少量含む。
							2 層	にぶい黄褐（10YR4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
34	19	92 号	焚き火址	D-9	A	58.9 ×（21.5）× 4.9	1 層	灰オリーブ（7.5Y6/2）	粘性やや有り、締り有り。灰を多く、破砕貝をやや多く、炭化物を中量含む。
34	19	93 号	焚き火址	D-9	C	34.9 ×（29.2）× 1.4	1 層	にぶい黄褐（10YR5/4）	粘性･締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
34	19	94a 号	焚き火址	D-9	A	27.2 × 25.2 × 2.3	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性弱いが締りは有る。焼けた破砕貝を多く、灰をやや多く含む。シルト質土を少量含む。
34	19	94b 号	焚き火址	D-9	A	（62.2）× 60.4 × 3.0	1 層	にぶい黄褐（10YR5/4）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、ブロック状の炭化物を少量含む。
34	19・20	95 号	焚き火址	D-9	A	66.6 ×（49.4）× 4.1	1 層	灰黄褐（10YR5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く、破砕貝、炭化物を中量含む。
							2 層	にぶい黄（2.5Y6/3）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝を中量、灰、炭化物を少量含む。
34	20	96 号	焚き火址	D･E-7	A	36.5 ×（31.2）× 2.4	1 層	暗オリーブ褐（2.5Y3/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、焼けた破砕貝、破砕貝、炭化物を中量含む。
							2 層	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	粘性・締り共に有り。破砕貝、灰、炭化物を少量含む。
34	20	97 号	焚き火址	D-9･10	A	37.8 ×（33.3）× 1.6	1 層	褐（10YR4/4）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、炭化物を中量含む。
34	20	98 号	焚き火址	D-7	A	82.1 ×（27.1）× 11.6	1 層	暗褐（7.5YR3/3）	粘性・締り共に有り。破砕貝、炭化物を僅かに含む。
							2 層	黒褐（2.5Y3/2）	粘性・締り共に有り。炭化物を多く含む。
							3 層	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	粘性・締り共に有り。破砕貝、焼土を僅かに含む。
							4 層	黒褐（2.5Y3/2）	粘性・締り共に有り。破砕貝を多く、焼けた破砕貝、灰、炭化物を少量含む。
							5 層	黒褐（10YR3/2）	粘性・締り共に有り。焼けた破砕貝、炭化物、灰をやや多く含む。
							6 層	黒褐（10YR2/3）	粘性・締り共に有り。焼けた破砕貝を多く、炭化物をやや多く、灰を少量含む。
							7 層	暗褐（7.5YR3/3）	1 層に類似するが、破砕貝、炭化物の量がやや増す。
34	20・21	99 号	焚き火址	D-9	A	39.1 ×（15.0）× 3.4	1 層	にぶい黄褐（10YR5/4）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y5/3）	粘性有り、締りやや有り。破砕貝を多く、灰、炭化物を少量含む。
34	21	100 号	焚き火址	D-9･10	C	34.8 × 26.9 × 2.1	1 層	にぶい黄褐（10YR4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝と炭化物を少量含む。
34	21	101 号	焚き火址	D-9	C	53.2 ×（37.9）× 3.2	1 層	にぶい黄褐（10YR4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝と炭化物を中量、鉄分を少量含む。
34	21	102a 号	焚き火址	E-5･6	A	61.9 × 58.1 × 2.4	1 層	黒褐（2.5Y3/2）	粘性･締り共にやや有り。ヤマトシジミの破砕貝､炭化物を僅かに含む。
							2 層	暗オリーブ灰（2.5Y3/3）	粘性・締り共にやや有り。焼けた破砕貝、炭化物、灰をやや多く含む。
							3 層	暗黄灰（2.5Y4/3）	粘性・締り共に弱い。ヤマトシジミの破砕貝、灰を多く含み、炭化物を少量含む。
34	21	102b 号	焚き火址	E-5	C	88.4 × 58.4 × 4.3	1 層	暗オリーブ灰（2.5Y3/3）	粘性・締り共にやや有り。焼けたヤマトシジミの破砕貝、炭化物、灰を多く含む。
							2 層	黒褐（2.5Y3/2）	粘性・締り共にやや有り。ヤマトシジミを多く、灰を少量含む。

第 36 表　1 面遺構観察・土層説明一覧表（4）

挿図番号	図版番号	遺構名	遺構種別	グリッド	類型	規　模 長×短×深（cm）	層序番号	色　調	土　説
34	22	102c 号	焚き火址	E-5	A	80.8 ×（67.9）× 4.0	1 層	黒褐（10YR2/2）	粘性やや有り、締り弱い。焼けたヤマトシジミの破砕貝、灰、炭化物を多く含む。
							2 層	黒褐（2.5Y3/2）	粘性・締り共に有り。焼けたヤマトシジミの破砕貝を少量、灰を僅かに含む 。
							3 層	黒（1.7/1）	粘性・締り共に有り。炭化物を中量、破砕貝を少量含む。
							4 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性・締り共に有り。ヤマトシジミの破砕貝、灰を多く、炭化物をやや多く含む。
34	22	103 号	焚き火址	E-5・6	A	（79.6）× 58.5 × 3.7	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性弱いが締りはやや有る。ヤマトシジミの破砕貝、灰をやや多く、炭化物を少量含む。
							2 層	暗灰黄（2.5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。ヤマトシジミの破砕貝を多く含む。
34	22	104 号	焚き火址	D-9	A	48.8 ×（16.5）× 3.3	1 層	黄褐（10YR5/4）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
34	22	105 号	焚き火址	D-9	A	72.9 ×（25.0）× 5.7	1 層	褐（10YR4/4）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物、破砕貝、鉄分を少量含む。
34	23	108 号	焚き火址	D・E-6・7	A	52.0 ×（28.1）× 3.3	1 層	褐（10YR3/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物、破砕貝を少量含む。
35	23	109 号	焚き火址	E-6	A	（22.7）×（16.8）× 4.3	1 層	褐（10YR3/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物を中量、破砕貝、焼土を少量含む。
35	23	110 号	焚き火址	D-9	A	47.5 ×（36.6）× 10.9	1 層	にぶい黄褐色（10YR4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物と鉄分を少量含む。
							2 層	にぶい黄褐色（10YR4/3）	粘性・締り共に有り。灰、炭化物、鉄分を少量含む。
35	23	111 号	焚き火址	D-10	C	30.6 ×（16.0）× 2.7	1 層	にぶい黄褐（10YR4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
35	24	112 号	焚き火址	E-7	A	26.2 ×（12.8）× 2.9	1 層	褐（10YR3/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
35	24	113 号	焚き火址	D-9・10	C	57.5 ×（22.4）× 2.7	1 層	にぶい黄褐（10YR4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く含む。
35	24	114 号	焚き火址	E-8	A	85.2 ×（49.6）× 8.4	1 層	暗灰黄（2.5Y3/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物、細かい破砕貝、炭化物を少量含む。
							2 層	暗灰黄（2.5Y3/2）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝を多く、鉄分を中量、灰、炭化物を少量含む。
35	24	115 号	焚き火址	D-9	A	25.3 × 22.7 × 2.6	1 層	褐（10YR4/4）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物と破砕貝を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝、灰、炭化物を少量含む。
35	25	116 号	焚き火址	D-8・9	A	38.6 × 33.3 × 2.3	1 層	灰黄褐（10YR6/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を中量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を少量、破砕貝を中量含む。
35	25	117 号	焚き火址	D・E-6・7	C	（91.9）×（70.4）× 3.8	1 層	暗褐（10YR3/3）	粘性・締り共にやや有り。灰と破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
35	25	118 号	焚き火址	D-9	A	93.8 ×（38.8）× 8.3	1 層	灰黄褐（10YR5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物と破砕貝を少量含む。
							2 層	オリーブ褐（2.5Y4/6）	粘性・締り共に有り。破砕貝を中量、灰、炭化物を少量含む。
35	25	119 号	焚き火址	E-5	C	（101.2）× 72.5 × 4.2	1 層	暗オリーブ褐（5Y4/3）	粘性有り、締りやや有り。焼けたヤマトシジミの破砕貝を多く、灰をやや多く、炭化物を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y5/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を少量、ヤマトシジミの破砕貝を中量含む。
35	25	120 号	焚き火址	E-5	A	66.7 × 56.8 × 3.7	1 層	灰黄褐（10YR5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕したヤマトシジミを中量含む。炭化物を少量含む。
35	26	121 号	焚き火址	E-6	C	71.4 × 52.5 × 4.2	1 層	褐灰（10YR5/1）	粘性・締り共にやや有り。灰、ヤマトシジミの破砕貝を多く、炭化物を中量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物、ヤマトシジミの破砕貝を少量含む。
35	26	123 号	焚き火址	D-7	C	84.4 × 60.1 × 1.8	1 層	灰オリーブ（7.5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。焼けたヤマトシジミの破砕貝、灰を多く、炭化物、シルト質土を少量含む。
35	26	125a 号	焚き火址	E-6	A	55.8 × 47.4 × 4.4	1 層	灰オリーブ（7.5Y6/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物、破砕貝を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
35	26	125b 号	焚き火址	E-6	A	63.6 ×（38.9）× 5.5	1 層	灰オリーブ（7.5Y4/2）	粘性有り締りやや有り。灰を多く、炭化物、破砕貝を少量含む。
							2 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性・締り共に有り。灰、炭化物、破砕貝を少量含む。
35	26・27	126 号	焚き火址	E-6	A	68.1 ×（42.2）× 10.8	1 層	オリーブ黒（7.5Y3/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
35	27	127 号	焚き火址	D・E-9	A	36.3 ×（35.8）× 4.7	1 層	灰オリーブ（7.5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝、炭化物を中量含む。
							2 層	にぶい黄（2.5Y6/4）	粘性やや有り、締り強い。灰、破砕貝を中量、焼土を僅かに含む。
35	27	129 号	焚き火址	E-7	C	43.9 ×（14.4）× 3.3	1 層	灰オリーブ（5Y5/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、細かい破砕貝を多く、鉄分、炭化物を少量含む。
35	27	130 号	焚き火址	E-7	A	85.7 × 58.6 × 6.6	1 層	灰オリーブ（5Y5/3）	粘性・締り共に有り。灰、破砕貝を多く、炭化物、焼成粘質土を少量含む。
35	27・28	131 号	焚き火址	E-7	A	93.7 × 54.3 × 8.2	1 層	暗褐（10YR3/3）	粘性有り、締りやや有り。ヤマトシジミの破砕貝を多く、灰と炭化物を少量、鉄分を僅かに含む。
							2 層	暗褐（10YR3/4）	粘性有り、締りやや有り。ヤマトシジミの破砕貝を中量、鉄分を少量、炭化物を僅かに含む。
35	28	132a 号	焚き火址	E-6	A	37.0 ×（34.1）× 6.7	1 層	灰オリーブ（7.5Y5/3）	粘性・締り共に有り。ヤマトシジミの破砕貝、炭化物を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。炭化物、ヤマトシジミの破砕貝をやや多く含む。
35	28	132b 号	焚き火址	E-6	A	39.5 ×（27.5）× 11.6	1 層	灰オリーブ（7.5Y5/3）	粘性・締り共に有り。ヤマトシジミの破砕貝、炭化物を少量含む。
35	28	133 号	焚き火址	E-6	A	33.9 × 29.2 × 2.7	1 層	灰オリーブ（5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰とヤマトシジミ、ハマグリの破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
35	28	134 号	焚き火址	F-6	C	（59.5）× 53.3 × 2.9	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性・締り共にやや有り。灰、ヤマトシジミの破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
35	29	136 号	焚き火址	E-6	C	（47.6）× 28.2 × 1.4	1 層	暗灰黄（2.5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
35	29	137 号	焚き火址	E-6	A	39.8 × 35.7 × 10.6	1 層	灰（7.5Y4/1）	粘性・締り共にやや有り。鉄分、炭化物をやや多く、破砕貝を少量含む。
35	29	138 号	焚き火址	E-7	C	47.5 × 26.3 × 2.3	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、焼けた破砕貝、炭化物、鉄分を少量含む。
35	29	139 号	焚き火址	E-7	A	31.6 × 26.6 × 3.9	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性有り、締りやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
							2 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性有り、締りやや有り。灰、破砕貝、炭化物を少量含む。
36	30	140 号	焚き火址	E-6	A	（75.8）× 57.5 × 5.5	1 層	暗褐（10YR3/3）	粘性弱いが締りはやや有り。ヤマトシジミの破砕貝を多く、焼けたヤマトシジミの破砕貝を少量、炭化物を僅かに含む。
							2 層	灰（5Y6/1）	粘性・締り共に弱い。灰、ヤマトシジミの破砕貝、焼けたヤマトシジミの破砕貝 を多く、炭化物を少量含む。
							3 層	暗褐（10YR5/4）	粘性・締り共にやや有り。ヤマトシジミの破砕貝を多く、焼けたヤマトシジミの破砕貝、炭化物、灰を少量含む。
							4 層	黒褐（2.5YR3/2）	粘性・締り共にやや有り。ヤマトシジミの破砕貝、焼けたヤマトシジミの破砕貝を多く、灰、炭化物を少量含む。

第 37 表　1 面遺構観察・土層説明一覧表（5）

挿図番号	図版番号	遺構名	遺構種別	グリッド	類型	規　模 長×短×深（cm）	層序番号	色　調	土　説
36	30	141 号	焚き火址	E-6	A	33.0 × 23.8 × 2.7	1 層	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	粘性やや弱く締りは弱い。灰、焼けたヤマトシジミの破砕貝を中量含む。
36	30	142 号	焚き火址	E-6	A	46.1 × 42.6 × 4.2	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、ヤマトシジミの破砕貝を多く含む。
							2 層	黄灰（2.5Y6/1）	粘性・締り共にやや有り。灰、ヤマトシジミの破砕貝を少量含む。
							3 層	黒（2.5Y2/1）	粘性有り、締りやや弱い。炭化物を多く、ヤマトシジミの破砕貝を少量含む。
36	30	143 号	焚き火址	F-6	C	（29.3）×（18.7）× 1.5	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝と炭化物を少量含む。
36	30・31	144 号	焚き火址	E-7	C	82.3 × 64.5 × 3.7	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/6）	粘性有り、締りやや有り。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝、炭化物を中量含む。
36	31	145 号	焚き火址	E-7	A	48.2 × 41.8 × 2.6	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性有り、締りやや有り。灰を多く、炭化物、白色の焼成粘質土を少量含む。
36	31	146 号	焚き火址	E-7	A	42.8 ×（32.8）× 3.7	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性有り、締りやや有り。灰、破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
36	31	147 号	焚き火址	E-6	C	49.1 × 46.3 × 1.5	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性有り、締りやや有り。灰、ヤマトシジミの破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
36	31・32	148 号	焚き火址	E-7	A	64.8 × 53.4 × 2.5	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物を多く、破砕貝を中量含む。
36	32	149 号	焚き火址	E-6	A	37.4 × 33.0 × 3.8	1 層	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	粘性・締り共にやや有り。ヤマトシジミ、マガキの破砕貝を多く、灰を中量含む。
36	32	150 号	焚き火址	E-6	C	43.9 × 28.7 × 3.4	1 層	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、ヤマトシジミの破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
36	32	152 号	焚き火址	E-7	A	62.2 × 50.3 × 2.8	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性有り、締りやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
36	32・33	155 号	焚き火址	F-5	C	17.6 × 11.3 × 2.8	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を少量、赤色粒を僅かに含む
36	33	156 号	焚き火址	F-5	A	56.8 × 46.2 × 3.3	1 層	黒（2.5Y2/1）	粘性・締り共にやや有り。炭化物、破砕貝をやや多く含む。
							2 層	暗オリーブ（2.5Y3/3）	粘性、締りややあり。破砕貝を多く、灰、炭化物を少量含む。
36	33	157 号	焚き火址	F-5	A	43.6 × 35.9 × 3.6	1 層	暗灰黄（2.5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
							2 層	暗オリーブ（2.5Y3/3）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝を多く、灰、炭化物を少量含む。
36	33	158 号	焚き火址	F-5	A	40.1 × 24.1 × 2.8	1 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性有り、締りやや有り。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝、炭化物を中量含む。
							2 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物を少量、破砕貝を多く含む。
36	33	159 号	焚き火址	F-5	A	24.5 × 22.6 × 2.3	1 層	暗オリーブ褐（2.5Y3/2）	粘性・締り共に有り。灰、炭化物を少量、赤色粒を僅かに含む。
							2 層	暗灰黄（2.5Y4/2）	粘性有り、締りやや有り。灰を多く、炭化物を少量含む。
36	33・34	160a 号	焚き火址	D-7	A	53.5 × 53.0 × 5.7	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝、炭化物を少量含む。
36	33・34	160b 号	焚き火址	E-7	A	（66.4）× 40.7 × 4.4	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
36	34	161 号	焚き火址	F-6	A	41.9 ×（28.6）× 7.5	1 層	灰黄（2.5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、ヤマトシジミの破砕貝を多く含む。
36	34	162 号	焚き火址	F-5	A	48.8 ×（14.8）× 2.3	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物、赤色粒を少量、破砕貝を中量含む。
36	34・35	163 号	焚き火址	F-6	A	45.8 ×（36.6）× 3.9	1 層	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	粘性弱いが締りはやや強い。灰、ヤマトシジミの破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
36	35	164 号	焚き火址	F-6	A	35.8 × 28.4 × 1.8	1 層	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	粘性弱く、締りはやや強い。灰、ヤマトシジミの破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
36	35	165 号	焚き火址	E-6	A	30.0 × 27.6 × 3.4	1 層	黒褐（2.5Y3/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、ヤマトシジミの破砕貝を多く、炭化物を中量含む。
36	35	166 号	焚き火址	E-6	A	（42.1）×（37.1）× 3.0	1 層	暗灰黄（2.5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
36	35・36	167 号	焚き火址	F-6	A	（38.0）× 33.4 × 2.2	1 層	暗オリーブ（2.5Y3/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、ヤマトシジミの破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
36	36	168 号	焚き火址	E-5	A	31.2 ×（26.9）× 2.0	1 層	暗オリーブ灰（5GY3/1）	粘性有り、締りやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
36	36	169 号	焚き火址	F-5	C	（53.5）×（35.2）× 1.8	1 層	暗灰黄（2.5Y4/2）	粘性弱いが、締りはやや有る。灰を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
36	36	170 号	焚き火址	F-5	A	44.5 ×（32.9）× 5.2	1 層	灰（5Y5/1）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
36	36・37	171 号	焚き火址	E-6	A	56.0 ×（26.0）× 2.1	1 層	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を中量、炭化物を少量、焼土を僅かに含む。
36	36・37	172 号	焚き火址	E-6	C	50.0 × 42.9 × 1.4	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量、焼土を僅かに含む。
36	37	173 号	焚き火址	F-3・4	C	44.0 ×（19.1）× 2.7	1 層	暗オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物を多く、細かい破砕貝、破砕貝を中量含む。
							2 層	暗オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を少量、破砕貝、炭化物を多く含む。
37	37	174 号	焚き火址	E-4	A	（42.9）×（24.6）× 1.8	1 層	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
37	37	175 号	焚き火址	F-5	A	（36.2）×（33.1）× 4.8	1 層	灰オリーブ（7.5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物を少量、破砕貝を中量含む。
							2 層	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝、炭化物を中量含む。
							3 層	灰オリーブ（7.5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物、破砕貝を少量含む。
36	38	176 号	焚き火址	F-5	C	28.9 × 22.5 × 3.4	1 層	暗オリーブ灰（5GY3/1）	粘性有り、締りやや弱い。灰を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
36	38	177 号	焚き火址	F-5	C	44.3 × 31.6 × 1.7	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共に弱い。灰を多く、焼けた貝を中量、炭化物を少量含む。
37	38	178 号	焚き火址	E-6	A	40.7 × 38.7 × 2.7	1 層	暗オリーブ褐（2.5Y3/3）	粘性・締り共に有り。灰を多く、ヤマトシジミの破砕貝を中量、炭化物を僅かに含む。
							2 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性・締り共にやや有り。灰を中量、ヤマトシジミの破砕貝をやや多く、焼土、炭化物を僅かに含む。
37	38	179 号	焚き火址	E-5	A	（39.7）× 33.7 × 2.7	1 層	灰オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共に有り。焼けた破砕貝を中量、灰、炭化物を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性有るが締りは弱い。灰を多く、炭化物を中量、破砕貝を少量含む。
37	38	180 号	焚き火址	E-5	A	23.7 ×（14.2）× 2.7	1 層	オリーブ灰（10Y3/1）	粘性・締り共にやや有り。ヤマトシジミの破砕貝を多く、灰、炭化物を少量含む。
37	39	181 号	焚き火址	F-5	A	（48.9）× 42.2 × 3.7	1 層	暗オリーブ（7.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝、炭化物を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（7.5Y5/2）	粘性・締り共に有り。灰を少量、炭化物、破砕貝を多く含む。
37	39	182 号	焚き火址	G-3	C	（29.8）×（24.9）× 2.2	1 層	暗オリーブ（7.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
37	39	183 号	焚き火址	E-5	C	26.9 ×（9.2）× 2.8	1 層	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	粘性有り、締りやや有り。灰、破砕貝を多く、炭化物を少量含む。

第 38 表　1 面遺構観察・土層説明一覧表（6）

挿図番号	図版番号	遺構名	遺構種別	グリッド	類型	規　模 長×短×深（cm）	層序番号	色　調	土　説
37	39	184 号	焚き火址	F-3	C	26.2 ×（11.0）× 1.8	1 層	灰オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く焼けた破砕貝、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
37	39・40	185 号	焚き火址	E-5	A	77.1 ×（30.3）× 6.0	1 層	暗オリーブ（2.5GY4/1）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物、破砕貝を中量含む。
36	40	187 号	焚き火址	F-5	A	53.6 ×（44.3）× 5.7	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性･締り共に有り。炭化物をやや多く､灰を少量､破砕貝を僅かに含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共に有り。炭化物、灰を僅かに、破砕貝を多く含む。
37	40	188 号	焚き火址	F-5	A	82.2 × 75.6 × 6.0	1 層	灰オリーブ（5Y4/3）	粘性やや有り、締りは弱い。灰を多く、炭化物を中量含む。焼土、白色の焼成粘質土が僅かに観察される。
37	41	189 号	焚き火址	F-4	A	（31.0）× 23.7 × 2.3	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝、炭化物を少量含む
37	41	190 号	焚き火址	F-4	A	（38.7）× 30.3 × 3.2	1 層	暗オリーブ色（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量、焼土を僅かに含む。
37	41	192 号	焚き火址	G-3	C	（69.3）× 38.2 × 5.0	1 層	暗オリーブ（7.5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、炭化物を中量含む。
37	41	193 号	焚き火址	F-5	A	58.8 ×（43.7）× 4.3	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物を少量、破砕貝を中量含む。
							2 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、焼けた破砕貝、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
37	41	194 号	焚き火址	F-5	C	74.1 ×（41.0）× 2.3	1 層	灰オリーブ（5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、炭化物を中量含む。
37	41	195 号	焚き火址	F-5	A	35.5 × 33.2 × 3.6	1 層	灰オリーブ（7.5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝、焼けた貝を中量、炭化物を少量含む。
37	42	196 号	焚き火址	G-3	A	38.0 ×（20.6）× 2.8	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物を少量含む。
37	42	197 号	焚き火址	F-5	C	27.2 × 19.4 × 1.2	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物、破砕貝を中量含む。
37	42	198 号	焚き火址	F-5	C	35.5 × 29.2 × 2.4	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、酸化鉄、炭化物を少量含む。
37	42	200 号	焚き火址	F-5	C	23.7 × 14.9 × 1.7	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝をやや多く、炭化物を中量含む。
37	42・43	201 号	焚き火址	F-5	C	16.2 × 11.8 × 1.6	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝、破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
37	43	202 号	焚き火址	D･E-9	C	53.2 × 39.2 × 3.0	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
37	43	203 号	焚き火址	F-5	A	58.7 × 54.5 × 4.7	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝、破砕貝を多く、炭化物を中量、酸化鉄を少量含む。
							2 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性・締り共に有り。灰、破砕貝、炭化物を少量含む。
37	43	204 号	焚き火址	F-5	A	61.3 × 38.9 × 2.2	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝、炭化物を中量含む。
37	43・44	205 号	焚き火址	F-5	B	35.6 × 18.2 × 3.8	1 層	灰オリーブ（5Y5/2）	粘性有り、締りやや有り。炭化物、破砕貝を多く、灰を少量含む。
							2 層	暗オリーブ（2.5Y3/3）	粘性有り、締りやや有り。炭化物を少量、酸化鉄を中量含む。
37	44	206 号	焚き火址	F-5	A	29.8 × 29.3 × 1.6	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性有り、締りやや有り。灰を多く、炭化物を中量、破砕貝をやや多く含む。
37	44	207 号	焚き火址	F-5	C	40.3 × 28.8 × 2.2	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝、炭化物を中量含む。
37	44・45	208a 号	焚き火址	D-8	A	43.6 ×（29.2）× 4.2	1 層	暗オリーブ（2.5Y3/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝、炭化物を中量含む。
							2 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性・締り共に有り。灰、破砕貝を多く、炭化物を中量、焼土をを少量含む。
37	44・45	208b 号	焚き火址	D-7･8	A	32.3 × 31.0 × 4.1	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物、破砕貝をを少量含む。
							2 層	黒（2.5Y2/1）	粘性・締り共にやや有り。炭化物を多く、灰、破砕貝を少量含む。
37	44・45	208c 号	焚き火址	D-8	C	（49.1）×（29.5）× 2.8	1 層	灰オリーブ（7.5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
37	45	210 号	焚き火址	E-6	A	32.8 ×（28.3）× 5.1	1 層	灰オリーブ（2.5Y3/3）	粘性・締り共にやや有り 。灰、破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
38	45	211 号	焚き火址	E-5	A	36.6 × 35.6 × 4.1	1 層	灰オリーブ（7.5Y4/2）	粘性やや強く締りも有る。破砕貝、灰、炭化物を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
38	45	212 号	焚き火址	F-5	A	44.1 ×（30.6）× 4.0	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
38	45・46	213 号	焚き火址	E-6	A	54.5 × 48.4 × 4.2	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、ヤマトシジミの破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
38	46	214 号	焚き火址	E-5	A	34.7 ×（18.8）× 2.1	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性強く、締り有り。灰を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
38	46	215 号	焚き火址	F-5	A	40.8 × 37.6 × 3.1	1 層	暗オリーブ褐（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝と炭化物を少量含む。
							2 層	灰オリーブ色（5Y5/2）	粘性･締り共にやや有り。灰を多く､破砕貝を中量､炭化物を僅かに含む。
38	46	216 号	焚き火址	D-7	A	58.2 × 43.1 × 3.1	1 層	灰オリーブ（7.5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、炭化物、焼けた破砕貝を中量含む。
38	46・47	217 号	焚き火址	F-5	A	（40.5）×（26.7）× 3.7	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性･締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く、炭化物をやや多く、破砕貝を中量含む。
38	47	219 号	焚き火址	F-5	A	（19.3）×（18.4）× 4.2	1 層	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く、破砕貝、炭化物を中量含む。
38	47	220 号	焚き火址	E-6	A	28.1 × 23.1 × 2.6	1 層	黒（7.5Y2/1）	粘性・締り共に弱い。炭化物を多く、破砕貝を僅かに含む。
							2 層	オリーブ灰（5GY5/1）	粘性・締り共に有り。灰を多く、破砕貝、炭化物を中量含む。
38	47	221a 号	焚き火址	F-5	A	31.4 × 29.8 × 1.8	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。炭化物を多く、灰、破砕貝を中量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性･締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝を少量含む。
38	47・48	221b 号	焚き火址	F-5	A	76.2 × 59.8 × 3.1	1 層	灰オリーブ色（7.5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰をやや多く、炭化物、破砕貝を中量、焼けた破砕貝を少量含む。
							2 層	灰オリーブ色（7.5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝、焼けた破砕貝、炭化物を少量含む。
38	48	222 号	焚き火址	D-7･8	C	27.0 × 25.0 × 1.6	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝を中量、破砕貝、炭化物を少量含む。
38	48	223 号	焚き火址	F-5	A	37.0 × 32.6 × 2.9	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、炭化物を中量含む。
38	48	225 号	焚き火址	E-6	A	40.7 × 35.5 × 2.8	1 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性･締り共にやや有り。灰を多く、炭化物を少量、破砕貝を中量含む。
38	48・49	226 号	焚き火址	E-7	C	（36.2）× 31.2 × 2.5	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰をやや多く、破砕貝を中量、炭化物、焼けた破砕貝を少量含む。
							2 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性有り、締りやや有り。灰、破砕貝、炭化物を少量含む。

第 39 表　1 面遺構観察・土層説明一覧表（7）

挿図番号	図版番号	遺構名	遺構種別	グリッド	類型	規　模 長×短×深（cm）	層序番号	色　調	土　説
38	49	227 号	焚き火址	E-7	A	36.0 × 26.1 × 3.6	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く、炭化物、破砕貝を中量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性有り、締りやや有り。灰、破砕貝、炭化物を少量含む。
38	49	228 号	焚き火址	F-5	A	37.9 ×（25.1）× 3.3	1 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く、炭化物を中量含む。
38	49	229 号	焚き火址	E-7	A	50.7 × 37.3 × 3.2	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性有り、締りやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く、炭化物を中量、白色の焼成粘質土を少量含む。
							2 層	暗オリーブ（7.5Y4/3）	粘性・締り共に有り。灰、焼けた破砕貝を少量、炭化物を中量含む。
38	49・50	230 号	焚き火址	F-4	A	30.3 × 28.9 × 2.8	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く、炭化物を中量、破砕貝を少量含む。
38	50	231 号	焚き火址	G-3	C	26.4 × 20.4 × 1.5	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、焼けた破砕貝、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
38	50	232 号	焚き火址	E-6	A	45.0 ×（34.3）× 4.9	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く、炭化物と破砕貝を中量含む。
							2 層	オリーブ黒（7.5Y3/2）	粘性・締り共に有り。灰、焼けた破砕貝、炭化物を少量、破砕貝をやや多く含む。
38	50	233 号	焚き火址	E-6	A	51.6 × 45.7 × 3.1	1 層	灰オリーブ（5Y5/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
38	50・51	234 号	焚き火址	F-4	C	27.9 ×（25.7）× 1.2	1 層	暗オリーブ（7.5Y4/3）	粘性有り、締りやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
38	51	235 号	焚き火址	F-4	A	63.1 × 60.1 × 2.6	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝、焼けた破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
38	51	236a 号	焚き火址	F･G-3･4	A	44.7 × 35.7 × 2.6	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
38	51	236b 号	焚き火址	F-3･4	A	79.7 ×（71.6）× 4.3	1 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を中量、破砕貝を多く、焼けた破砕貝、炭化物を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（7.5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝、破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
38	51	237 号	焚き火址	F-4･5	A	49.5 ×（26.7）× 2.7	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。白色の焼成粘質土を含む。
38	52	238 号	焚き火址	E-6	A	57.0 × 47.2 × 3.4	1 層	灰（10Y5/1）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く、破砕貝、炭化物を中量含む。
38	52	239 号	焚き火址	F-5	A	25.5 × 19.2 × 2.8	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
38	52	240 号	焚き火址	E-5	C	32.5 ×（29.4）× 1.7	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝、炭化物を少量含む。
38	52	241 号	焚き火址	E-8	A	35.3 ×（27.0）× 1.7	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、焼けた破砕貝、破砕貝、炭化物を少量含む。
38	53	242 号	焚き火址	F-5	A	88.2 × 70.5 × 3.4	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝、破砕貝を多く、炭化物を中量含む。白色の焼成粘質土を含む。
38	53	243 号	焚き火址	E-7	C	29.0 ×（20.8）× 2.1	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性・締り共に有り。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝、炭化物を中量含む。
38	53	245 号	焚き火址	E-7	C	57.2 ×（43.4）× 2.6	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝、炭化物を少量含む。
39	53・54	246 号	焚き火址	F･G-3	A	39.6 × 36.0 × 5.0	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共に有り。灰、焼けた破砕貝、破砕貝、炭化物を少量含む。
39	54	247a 号	焚き火址	E-6	C	48.5 × 46.0 × 3.0	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物、ハマグリの破砕貝を少量含む。
39	54	247b 号	焚き火址	E-5･6	A	35.6 × 30.6 × 1.5	1 層	灰オリーブ（5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、ハマグリの破砕貝を少量、炭化物を僅かに含む。
39	53・54	248 号	焚き火址	F-3･4	B	39.2 × 36.8 × 4.5	1 層	オリーブ黒（7.5Y3/2）	粘性・締り共に有り。破砕貝、焼けた破砕貝、炭化物を少量、灰を僅かに含む。
							2 層	オリーブ灰（2.5GY5/1）	粘性やや有り、締り有り。灰、焼けた破砕貝を多く、破砕貝、炭化物を中量含む。
39	54	249a 号	焚き火址	F-5	A	77.3 × 66.1 × 2.5	1 層	オリーブ灰（5GY5/1）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝を多く、灰、炭化物を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝、炭化物を中量含む。
39	54	249b 号	焚き火址	F-5	A	（60.7）× 50.6 × 3.0	1 層	暗オリーブ灰（5GY4/1）	粘性・締り共に有り。破砕貝を多く、灰、焼けた破砕貝、炭化物を僅かに含む。
							2 層	灰オリーブ色（5Y5/4）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝、破砕貝を多く、炭化物を中量含む。
39	54・55	250 号	焚き火址	E-7	C	68.4 × 53.8 × 4.5	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝、炭化物を中量含む。
39	55	251 号	焚き火址	F-5	A	37.5 ×（26.0）× 2.5	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物、破砕貝を中量含む。
39	55	252 号	焚き火址	F-5	C	45.6 × 37.8 × 4.0	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物、焼けた破砕貝、破砕貝を中量含む。
39	55	253 号	焚き火址	F-5	C	46.8 × 44.7 × 1.5	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
39	55・56	254 号	焚き火址	G-3	A	（29.0）× 25.1 × 5.0	1 層	オリーブ灰（2.5GY5/1）	粘性やや強く締り有り。灰、炭化物と破砕貝を少量含む。
							2 層	灰オリーブ色（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
39	55・56	255 号	焚き火址	F-3	A	（26.4）× 19.3 × 3.5	1 層	灰オリーブ色（7.5Y4/2）	粘性・締り共に有り。灰、炭化物、破砕貝を少量含む。
							2 層	オリーブ灰（2.5GY5/1）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物を多く、破砕貝を中量、焼けた破砕貝を少量含む。
39	56	256 号	焚き火址	F-5	C	36.9 × 30.9 × 3.0	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝、炭化物を少量含む。
39	56	257 号	焚き火址	F-5	A	66.2 × 45.9 × 4.0	1 層	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	粘性・締り共に有り。灰、破砕貝、炭化物を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性弱いが締りはややある。灰を多く、炭化物、焼けた破砕貝を少量含む。
39	56	258 号	焚き火址	F-5	C	67.9 × 46.1 × 3.5	1 層	灰オリーブ（5Y4/3）	粘性有るが、締りは弱い。灰、焼けた破砕貝を多く、炭化物を中量含む。

第 40 表　1 面遺構観察・土層説明一覧表（8）

挿図番号	図版番号	遺構名	遺構種別	グリッド	類型	規　模 長×短×深（cm）	層序番号	色　調	土　説
39	56・57	259 号	焚き火址	F-5	C	41.0 × 35.3 × 3.0	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや強い。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝、炭化物、白色焼成粘質土を少量含む。
39	57	260 号	焚き火址	F-5	A	54.6 × 47.8 × 2.5	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、炭化物、焼けた破砕貝を少量含む。
39	57	261 号	焚き火址	F-4・5	A	28.0 ×（15.5）× 2.5	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝を中量含む。
39	57	262 号	焚き火址	F-4・5	A	45.5 × 35.0 × 5.0	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝、炭化物中量含む。
39	57・58	263 号	焚き火址	E-6	A	（28.0）× 24.0 × 3.0	1 層	暗オリーブ（2.5Y3/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、ヤマトシジミの破砕貝を多く、焼けたヤマトシジミの破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
39	58	264 号	焚き火址	F-3	A	41.5 × 30.0 × 2.0	1 層	オリーブ灰（5GY6/1）	粘性有り、締りやや有り。灰を多く、破砕貝をやや多く、炭化物、焼けた破砕貝を少量含む。
39	58	265 号	焚き火址	F-4	A	44.5 × 24.5 × 3.0	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝、炭化物を中量、焼けた破砕貝を少量含む。
39	58	266 号	焚き火址	D-8	A	45.5 × 34.0 × 3.5	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝、焼けた破砕貝を多く、炭化物、白色焼成粘質土を少量含む。
39	58・59	267 号	焚き火址	D-7・8	A	36.0 ×（29.0）× 2.5	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝、焼けた破砕貝を中量、炭化物と白色焼成粘質土を少量含む。
39	59	268 号	焚き火址	F-5	A	53.0 ×（26.5）× 2.0	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝、焼けた破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
39	59	269 号	焚き火址	D-7・8	A	45.0 × 44.0 × 3.0	1 層	灰オリーブ（5Y5/3）	粘性有り、締りやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、焼けた破砕貝、炭化物を少量含む。
39	—	271 号	焚き火址	E-6	A	153.5 × 68.0 × 4.0	1 層	灰オリーブ（5Y4/3）	灰オリーブ（5Y4/3）粘性有り、締りやや有り。灰、炭化物を中量、破砕貝を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y6/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物を中量、破砕貝を少量含む。
							3 層	暗オリーブ色（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物、破砕貝をを中量含む。
							4 層	灰白（5Y7/2）	粘性弱いが締りは強い。白色焼成粘土質土を主体とし、灰、破砕貝、炭化物を少量含む。
							5 層	黄褐（2.5Y5/3）	粘性・締り共に有り。灰、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
							6 層	黄褐（2.5Y5/4）	粘性有り、締りやや有り。灰、炭化物を少量、破砕貝を多く含む。
39	59・60	272 号	焚き火址	G-3	C	32.5 × 28.5 × 2.5	1 層	暗オリーブ（7.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、焼けた破砕貝、炭化物を少量含む。
39	60	273 号	焚き火址	E-5	A	47.0 × 40.5 × 2.0	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、焼けた破砕貝、炭化物を少量含む。
39	60	274 号	焚き火址	F-6	A	41.5 ×（28.0）× 5.5	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/6）	粘性・締り共にやや有り。焼けたヤマトシジミの破砕貝を多く、灰、炭化物を少量含む。
39	60	275 号	焚き火址	G-3	A	33.0 ×（21.5）× 4.5	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝を多く、灰、炭化物を中量含む。
39	60・61	276 号	焚き火址	E-8	A	27.0 ×（21.5）× 3.5	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性やや有るが締りは弱い。灰、破砕貝、焼けた破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
39	61	277 号	焚き火址	E-7	A	37.5 ×（23.5）4.0	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、ヤマトシジミの破砕貝を中量、焼けたヤマトシジミの破砕貝、炭化物を少量含む。
39	61	278 号	焚き火址	E・F-6	A	（50.0）×（22.5）× 8.5	1 層	褐（10YR4/4）	粘性・締り共にやや有り。ヤマトシジミの破砕貝を中量､灰を少量含む。
							2 層	褐（10YR4/6）	粘性・締り共にやや有り。ヤマトシジミの破砕貝を多く、焼けたヤマトシジミの破砕貝、灰を中量含む。
							3 層	にぶい黄褐（10YR4/3）	粘性やや有るが､締りは弱い。灰､焼けたヤマトシジミの破砕貝を多く､炭化物を中量含む。
39	61・62	279a 号	焚き火址	G-3	A	45.5 × 40.5 × 2.0	1 層	オリーブ灰（2.5GY5/1）	粘性やや有り、締り有り。灰を多く、破砕貝を中量、炭化物、焼成粘質土を少量含む。
							2 層	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	粘性・締り共に有り。灰、炭化物を多く、破砕貝を中量含む。
							3 層	暗オリーブ灰（5GY4/1）	粘性・締り共に有り。灰を多く、炭化物を中量、破砕貝を少量含む。
39	61・62	279b 号	焚き火址	G-3	C	（50.0）× 42.0 × 3.0	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
39	62	280 号	焚き火址	G-3	A	82.5 ×（46.5）× 2.0	1 層	オリーブ灰（2.5GY6/1）	粘性・締り共に弱い。灰を多く、炭化物を中量、破砕貝を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性やや有るが、締りは弱い。灰を多く、破砕貝、炭化物を少量含む。
39	62	281 号	焚き火址	E-7	A	44.5 ×（24.0）× 3.0	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝、炭化物を少量含む。
39	62	282 号	焚き火址	G-3	C	29.0 ×（20.5）× 2.0	1 層	灰オリーブ（7.5Y4/2）	粘性やや有るが､締りは弱い。灰､破砕貝､焼けた破砕貝を多く､炭化物、白色焼成粘質土を少量含む。
40	63	283 号	焚き火址	G-3	A	40.0 × 35.5 × 4.0	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、焼けた破砕貝、炭化物を少量含む。
40	63	284 号	焚き火址	G-3	C	（35.5）× 25.0 × 2.0	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝、焼けた破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
40	63	285 号	焚き火址	E-6	C	21.5 × 20.5 × 3.0	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝、炭化物を少量含む。
40	63	286 号	焚き火址	E-6	A	（39.5）×（30.5）× 3.0	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性やや有り、締り有り。灰、ヤマトシジミの破砕貝、焼けたヤマトシジミの破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
40	64	287 号	焚き火址	E-6	A	52.5 ×（36.0）× 5.0	1 層	オリーブ灰（2.5GY6/1）	粘性弱いが締りはやや有る。灰、ヤマトシジミの破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
							2 層	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	粘性・締り共にやや有り。灰、ヤマトシジミの破砕貝をやや多く、炭化物を中量含む。
							3 層	灰オリーブ（7.5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物を少量、ヤマトシジミの破砕貝を多く含む。
40	64	288 号	焚き火址	D-8	A	39.0 × 37.5 × 2.5	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
40	64	289 号	焚き火址	E-7	A	22.5 ×（17.5）× 4.0	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。炭化物、ヤマトシジミの破砕貝を多く、灰を中量含む。
40	64	290 号	焚き火址	E-7	A	13.5 × 13.0 × 2.0	1 層	黒（5Y2/1）	粘性有るが締りは弱い。炭化物、破砕貝を多く含む。
40	65	291 号	焚き火址	F-5	A	（43.0）× 36.0 × 4.0	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共に弱い。灰、破砕貝を多く、炭化物を中量含む。

第 41 表　1 面遺構観察・土層説明一覧表（9）

挿図番号	図版番号	遺構名	遺構種別	グリッド	類型	規　模 長×短×深（cm）	層序番号	色　調	土　説
40	65	292 号	焚き火址	F-5	A	35.5 ×（24.0）× 3.0	1 層	灰オリーブ（5Y5/3）	粘性、しまりややあり。灰、破砕員を多く、炭化物、白色焼成粘質土を少量含む。
40	65	293 号	焚き火址	F-5	A	33.5 × 34.5 × 2.5	1 層	灰オリーブ（5Y5/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物、破砕員を多く、焼けた破砕員を中量含む。
40	65	294 号	焚き火址	E-8	A	32.5 × 30.0 × 2.0	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕員を多く、焼けた破砕員を中量、炭化物を少量含む。
40	65・66	295 号	焚き火址	F-5	A	30.5 × 26.0 × 2.0	1 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性有り、締りやや有り。灰、破砕員を多く、焼けた破砕員、炭化物を中量含む。
40	66	296 号	焚き火址	G-3	A	47.0 × 23.0 × 3.0	1 層	灰オリーブ（7.5Y4/2）	粘性・締り共に有り。灰、破砕員、炭化物を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕員を多く、焼けた破砕員、炭化物を少量含む。
40	66	297 号	焚き火址	F･G-3	A	（40.0）×（38.0）× 5.5	1 層	オリーブ灰（2.5GY6/1）	粘性・締り共に弱い。灰、破砕員を多く、炭化物を少量含む。
							2 層	暗オリーブ灰（2.5GY4/1）	粘性・締り共にやや有り。 破砕員を多く、灰、焼けた破砕員、炭化物を少量含む。
40	66	298 号	焚き火址	E-8	A	30.0 ×（29.5）× 2.5	1 層	にぶい黄橙（10YR6/4）	粘性有り、締りやや有り。灰、破砕員を多く、焼けた破砕員、炭化物を中量含む。
40	66・67	299 号	焚き火址	G-3	A	（43.0）× 33.0 × 2.5	1 層	灰オリーブ（7.5Y6/2）	粘性有り、締りやや有り。灰、焼けた破砕員、破砕員を多く、炭化物を少量含む。
40	67	300 号	焚き火址	E-8	A	73.0 ×（61.5）× 5.0	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕員、焼けた破砕員を多く、炭化物を中量含む。
40	67	301 号	焚き火址	D･E-8	A	（42.5）×（30.0）× 5.0	1 層	暗オリーブ（5Y4/4）	粘性やや有るが、締りは弱い。灰、炭化物を少量、焼けた破砕員、破砕員を多く含む。
40	67	303 号	焚き火址	G-3	A	40.0 × 38.0 × 3.0	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕員を多く、破砕員を中量、炭化物を少量含む。
40	68	304 号	焚き火址	G-3	C	（75.0）×（80.5）× 4.5	1 層	暗オリーブ色（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕員を多く、焼けた破砕員、炭化物を中量含む。
40	68	305 号	焚き火址	F･G-3	A	38.0 ×（19.5）× 2.5	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕員を多く、破砕員を中量、炭化物を少量含む。
40	68	306 号	焚き火址	G-3	A	47.0 ×（27.0）× 5.0	1 層	オリーブ灰（2.5GY6/1）	粘性有り、締りやや有り。灰を少量、破砕員、焼けた破砕員、炭化物を少量含む。
							2 層	灰オリーブ色（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕員、破砕員を多く、炭化物を中量含む。
40	68	307 号	焚き火址	D-8	A	71.0 ×（40.4）× 4.0	1 層	灰白（2.5Y8/2）	粘性弱いが締りは強い。灰､破砕員を多く､白色焼成粘質土を中量含む。
							2 層	2 層 黄褐（2.5Y5/3）	粘性弱いが締りは強い。灰、炭化物、破砕員を少量、白色焼成粘質土を多く含む。
							3 層	灰オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕員を多く、炭化物を少量含む。
							4 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性有り、締りやや有り。灰､破砕員、破砕の少ないマガキを少量含む。
40	69	309 号	焚き火址	E-7	C	33.0 × 33.0 × 2.0	1 層	灰（7.5Y5/1）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕員、焼けた破砕員を中量、炭化物を少量含む。
40	69	310 号	焚き火址	E-7	C	60.0 ×（43.0）× 3.0	1 層	灰オリーブ褐（2.5Y3/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕員を多く、焼けた破砕員を中量、炭化物を少量含む。
40	69	311 号	焚き火址	E-7	A	（50.5）×（27.5）× 2.0	1 層	灰オリーブ褐（2.5Y3/3）	粘性・締り共にやや有り。酸化し赤化した破砕員を中量、破砕員と炭化物を少量含む。
40	70	312 号	焚き火址	E-6	A	（60.0）×（59.0）× 3.5	1 層	黒褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を中量、破砕員を多量、酸化した破砕員、焼けた破砕員、炭化物を少量含む。
40	70	313 号	焚き火址	E-7	A	（46.0）× 42.0 × 3.5	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕員を多く、焼けた破砕員、炭化物を中量含む。ヤマトシジミの破砕員を少量含む。
40	70	314 号	焚き火址	E-7	C	66.7 ×（44.8）× 6.0	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性・締り共にやや有り 。灰、焼けた破砕員を多く、破砕員、炭化物を中量含む。
40	70	315 号	焚き火址	E-7	C	54.0 ×（30.8）× 4.5	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、焼けた破砕員、破砕員を中量、白色焼成粘質土と炭化物を少量含む。
40	71	316 号	焚き火址	E-7	A	61.0 ×（28.0）× 2.5	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/6）	粘性・締り共にやや有り。灰、ヤマトシジミの破砕員を多く含む。シジミ主体層。炭化物を少量含む。
40	71	317 号	焚き火址	E-7	A	32.5 ×（19.0）× 3.5	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性・締り共に弱い。灰、破砕員を多く、焼けた破砕員、ハマグリの破砕員、炭化物を少量含む。
40	71	319 号	焚き火址	E-6	A	48.0 ×（22.5）× 3.0	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/6）	粘性やや有るが締りは弱い。灰を多く、破砕員を中量、炭化物を少量含む。
40	71	320 号	焚き火址	E-6･7	C	73.5 × 43.0 × 2.0	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕員を多く、破砕員、炭化物を中量、白色焼成粘質土を少量含む。
40	72	321 号	焚き火址	E-7	A	（44.5）× 48.5 × 2.5	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕員を多く、焼けた破砕員を中量、炭化物を少量含む。
40	72	322 号	焚き火址	E-6	C	48.5 ×（32.0）× 1.8	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性有り、締りやや有り。灰、破砕員を多く、焼けた破砕員を中量、炭化物を少量含む。
40	72	323 号	焚き火址	E-7	C	（33.0）× 32.5 × 2.0	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕員、焼けた破砕員、炭化物を少量含む。

第 42 表　1 面灰層廃土遺構観察・土層説明一覧表（1）

挿図番号	図版番号	遺構名	遺構種別	グリッド	規　模 長×短×深（cm）	層序番号	色　調	土　説
41	—	79a 号	灰層廃土址	D-7	37.8 × 32.4 × 2.0	1 層	灰オリーブ（7.5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物、破砕員を中量含む。
41	—	79b 号	灰層廃土址	D-7	32.3 × 25.4 × 6.6	1 層	灰オリーブ（5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物を多く、破砕員を中量含む。
41	—	79c 号	灰層廃土址	D-7	39.4 × 28.0 × 3.6	1 層	灰オリーブ（7.5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕員を多く、炭化物を少量含む。
41	—	79d 号	灰層廃土址	D-7	35.3 ×（26.6）× 6.3	1 層	暗褐（10YR3/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物を多く、破砕員を少量含む。
41	—	79e 号	灰層廃土址	D-7	61.8 × 36.9 × 2.0	1 層	黒（10YR1.7/1）	粘性･締り共に弱い。炭化物を多く灰､破砕員を少量含む。79e 号相当。
41	—	79f 号	灰層廃土址	D-7	21.3 × 12.9 × 2.1	1 層	暗灰黄（2.5Y4/2）	粘性・締り共に有り。灰、炭化物を少量、破砕員を多く含む。
41	—	79g 号	灰層廃土址	D-7	23.5 × 16.8 × 5.0	1 層	灰オリーブ（5Y5/2）	粘性・締り共に有り。灰、破砕員を多く、焼けた破砕員を中量、炭化物を少量含む。

第 43 表　1 面灰層廃土遺構観察・土層説明一覧表（2）

挿図番号	図版番号	遺構名	遺構種別	グリッド	規　模 長×短×深（cm）	層序番号	色　調	土　説
41	—	79h 号	灰層廃土址	D-7	19.1 × 16.7 × 1.9	1 層	黒（10YR1.7/1）	粘性・締り共に有り。炭化物を多く、灰を中量、破砕貝を僅かに含む。
41	—	79i 号	灰層廃土址	D-7	49.0 × 41.0 × 6.7	1 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性･締り共に有り。炭化物をやや多く､灰を少量､破砕貝を僅かに含む。
41	—	79j 号	灰層廃土址	D-7	（36.3）× 33.6 × 7.1	1 層	灰オリーブ（7.5Y5/2）	粘性・締り共に有り。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝、炭化物を少量含む。
41	—	79k 号	灰層廃土址	D-7	（81.9）× 43.0 × 3.6	1 層	灰（7.5Y4/1）	粘性･締り共にやや有り。灰を多く、炭化物を少量、破砕貝を中量含む。
41	—	79l 号	灰層廃土址	D-7	58.0 ×（47.5）× 5.8	1 層	黒（10YR1.7/1）	粘性・締り共に弱い。炭化物を多く、灰を中量、破砕貝を少量含む。
41	—	79m 号	灰層廃土址	D-7	115.7 ×（73.5）× 8.6	1 層	灰（7.5Y4/1）	粘性・締り共に弱い。炭化物を多く、灰、破砕貝を中量含む。
41	—	79n 号	灰層廃土址	D-7	97.3 × 90.1 × 9.5	1 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性・締り共に弱い。 炭化物を多く、灰を中量、破砕貝を少量含む。
41	—	79o 号	灰層廃土址	D-7	（92.8）× 54.3 × 7.9	1 層	暗オリーブ灰（5GY4/1）	粘性・締り共に弱い。炭化物を少量、灰を中量、破砕貝を多く含む。
41	—	79p 号	灰層廃土址	D-7	107.7 × 85.1 × 7.2	1 層	灰（7.5Y4/1）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝、焼けた破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
41	72・73	79 号全体	灰層廃土址（79a）	D-7	37.8 × 32.4 × 2.0	1 層	灰オリーブ（7.5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、炭化物、破砕貝を中量含む。79a 号相当。
			灰層廃土址（79b）		32.3 × 25.4 × 6.6	2 層	灰オリーブ（5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物を多く、破砕貝を中量含む。79b 号相当。
			灰層廃土址		—	3 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物、破砕貝を少量含む。
			灰層廃土址（79e）		61.8 × 36.9 × 2.0	4 層	黒（10YR1.7/1）	粘性･締り共に弱い。炭化物を多く灰､破砕貝を少量含む。79e 号相当。
			灰層廃土址		—	5 層	暗褐（10YR3/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物、破砕貝を少量含む。
			灰層廃土址		—	6 層	褐灰（10YR5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を少量含む。
			灰層廃土址		—	7 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性・締り共に有り。炭化物、破砕貝を僅かに含む。
			灰層廃土址		—	8 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性・締り共に有り。灰、炭化物、破砕貝を僅かに含む。
			灰層廃土址（79d）		35.3 ×（26.6）× 6.3	9 層	暗褐（10YR3/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物を多く、砕貝を少量含む。79d 号相当。
			灰層廃土址（79h）		19.1 × 16.7 × 1.9	10 層	黒（10YR1.7/1）	粘性・締り共に有り。炭化物を多く、灰を中量、破砕貝を僅かに含む。79h 号相当。
			灰層廃土址		—	11 層	オリーブ黒（7.5Y3/2）	粘性・締り共に有り。炭化物、破砕貝を僅かに含む。
			灰層廃土址（79i）		49.0 × 41.0 × 6.7	12 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性･締り共に有り。炭化物をやや多く､灰を少量､破砕貝を僅かに含む。79i 号相当。
			灰層廃土址		—	13 層	暗灰黄（2.5Y4/2）	粘性・締り共に有り。灰、炭化物、破砕貝を少量含む。
			灰層廃土址（79l）		58.0 ×（47.5）× 5.8	14 層	黒（10YR1.7/1）	粘性・締り共に弱い。炭化物を多く、灰を中量、破砕貝を少量含む。79l 号相当。
			灰層廃土址		—	15 層	オリーブ黒（5Y3/1）	粘性・締り共に有り。灰、炭化物、破砕貝を少量含む。
			灰層廃土址		—	16 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性・締り共に有り。灰、炭化物を少量、破砕貝を中量含む。
			灰層廃土址（79k）		（81.9）× 43.0 × 3.6	17 層	灰（7.5Y4/1）	粘性･締り共にやや有り。灰を多く、炭化物を少量、破砕貝を中量含む。79k 号相当。
			灰層廃土址		—	18 層	灰（10Y4/1）	粘性･締り共にやや有り。灰を少量､炭化物を僅かに､破砕貝を多く含む。
			灰層廃土址		—	19 層	灰オリーブ（5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
			灰層廃土址（79m）		115.7 ×（73.5）× 8.6	20 層	灰（7.5Y4/1）	粘性･締り共に弱い。炭化物を多く､灰､破砕貝を中量含む。79m 号相当。
			灰層廃土址（79n）		97.3 × 90.1 × 9.5	21 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性・締り共に弱い。 炭化物を多く、灰を中量、破砕貝を少量含む。79n 号相当。
			灰層廃土址（79o）		（92.8）× 54.3 × 7.9	22 層	暗オリーブ灰（5GY4/1）	粘性・締り共に弱い。炭化物を少量、灰を中量、破砕貝を多く含む。79o 号相当。
			灰層廃土址		—	23 層	黒褐（2.5Y3/2）	粘性・締り共に有り。炭化物、灰を僅かに、破砕貝を少量含む。
			灰層廃土址（79p）		107.7 × 85.1 × 7.2	24 層	灰（7.5Y4/1）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝、焼けた破砕貝を中量、炭化物を少量含む。79p 号相当。

第 44 表　1 面灰層集中範囲観察・土層説明一覧表

挿図番号	図版番号	遺構名	遺構種別	グリッド	規　模 長×短×深（cm）	層序番号	色　調	土　説
42	73	106 号	灰層範囲	D-7	（301.3）×（190.4）× 8.0	1 層	にぶい黄褐（10YR4/3）	粘性･締まり共にやや有り。灰を多く、破砕貝、炭化物を少量含む。
42	73	107 号	灰層範囲	D-7	（314.9）×（181.3）× 3.2	1 層	にぶい黄褐（10YR5/3）	粘性締まり共に弱い。灰を多く、炭化物を中量、破砕貝を少量含む。
42	73	135 号	灰層範囲	D-7	（55.4）×（47.1）× 2.3	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締まり共にやや有り。灰を多く、炭化物を中量、ヤマトシジミの破砕貝を少量含む。

第 45 表　1 面ピット観察・土層説明一覧表

挿図番号	図版番号	遺構名	遺構種別	グリッド	規　模 長×短×深（cm）	層序番号	色　調	土　説
42	73・74	153 号	ピット	E-6	（99.1）×（53.3）× 46.7	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/6）	粘性やや強く、締りやや有り。ヤマトシジミの破砕貝、炭化物を僅かに含む。根痕もしくは倒木痕の可能性もある。
42	73・74	154 号	ピット	E-6	79.5 ×（43.3）× 31.6	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/6）	粘性やや強く､締りやや有り。ヤマトシジミの破砕貝を僅かに含む。153 号と類似し、根痕もしくは倒木痕の可能性もある。

2）遺物（第 43・44 図、第 46 ～ 48 表、図版 113）

1 面からは縄文時代中期後葉から後期の土器 27 点、571.3g、土製品 6 点、132.6g、石器 3 点、52.7g が出土した。遺物の多くは A 区からの出土である。調査区北側、A 区北側は時計工場の地下構造物により 1 面は削平されており、また B 区西側は大部分が砂礫層まで攪乱されていたため遺物の出土は見られない。1 面は、地形的には北側向かって緩やかに傾斜している様相が等高線からも伺えるが、特に A 区中央部付近の地形的に僅かに落ち込むエリアに集中している（第 44 図）。遺物の出土は、標高約 4 m前後で 1・2 層とした旧耕作土からの出土が目立つが、遺構の分布と同様の位置で出土していることから、何らかの関連が想定される。また 1 面から出土した後期前葉～晩期の土器は、1 面の遺構から検出された炭化物の年代測定の結果や、貝層が検出され始める層位よりも上層から出土したものも含まれるため、新しい時期のものが混在した可能性がある。ここでは図示可能な土器 22 点、土製品 6 点、石器 3 点を掲載した。

A　土器（第 43 図、第 46 表、図版 113）

中期後葉

2 ～ 11 は、地文に縄文が施文される胴部破片である。2 は沈線による区画文と RL の縄文が施文される。3 は LR の縄文が施文され、2 本の沈線区画が垂下する。4・6 は RL の縄文が施文され、沈線が垂下する。これらは加曽利 E2 式と思われる。5 は RL の縄文が施文され、渦巻文の一部とみられる隆起線の貼付が看取される。7 は地文に RL の縄文が施文され、沈線が垂下する。沈線間は磨り消され、加曽利 E3 式に比定される。8 ～ 10 は地文に縄文が施文される。8・9 は LR、10 は RL の縄文である。加曽利 E 式の範疇と推定される。11 は胴部破片で RL の縄文が施文される。

後期～晩期

12 は胴部破片で LR の縄文施文の後、懸垂文と斜交文が施文される。堀之内 I 式と思われる。13 は無文の口縁部破片で口縁部がやや外反し、外削状に成形されている。内面は調整痕が観察される。14・15 は無文の胴部破片で、胎土や調整の様相から 13 と類似する。16 ～ 19 は無文の胴部破片で胎土や器内外面の観察から、後期の土器の無文部位か無文土器と考えられる。20 は口縁部破片である。文様は横位の連続刺突と斜行沈線が施文される。21 は口縁部破片である。口縁部形態は波状口縁を呈すものと思われる。文様は沈線が施文され、沈線間に刻み目が充填される。22 は胴部破片で、刻み目が施文される。21・22 は胎土や施文具が類似し同一個体と思われる。これらは安行 3c 式と推定される。

B　土製品（第 43 図、第 47 表、図版 113）

23 ～ 28 は土器片錘である。23 のみ口縁部破片で、他は胴部破片が転用されたものである。

23 は口縁部上以外の左右下片に緩い抉りが施されている。他の土器片錘と比較してやや大型である。24 は上下右片に切目、左辺に浅い抉りが看取される。地文に RL の縄文が施され、弧状の浅い太沈線の施文が看取され、連弧文土器の転用と思われる。25 は 1 辺のみに刻みが看取される。RL の縄文と太沈線が施文される。加曽利 E 式土器の範疇に含まれる。26 は左辺にのみ切目が看取され、沈線が看取される。27 は左右の辺に切目が看取され、28 は上下左右に浅く小さい抉りが看取される。

C　石器（第 43 図、第 48 表、図版 113）

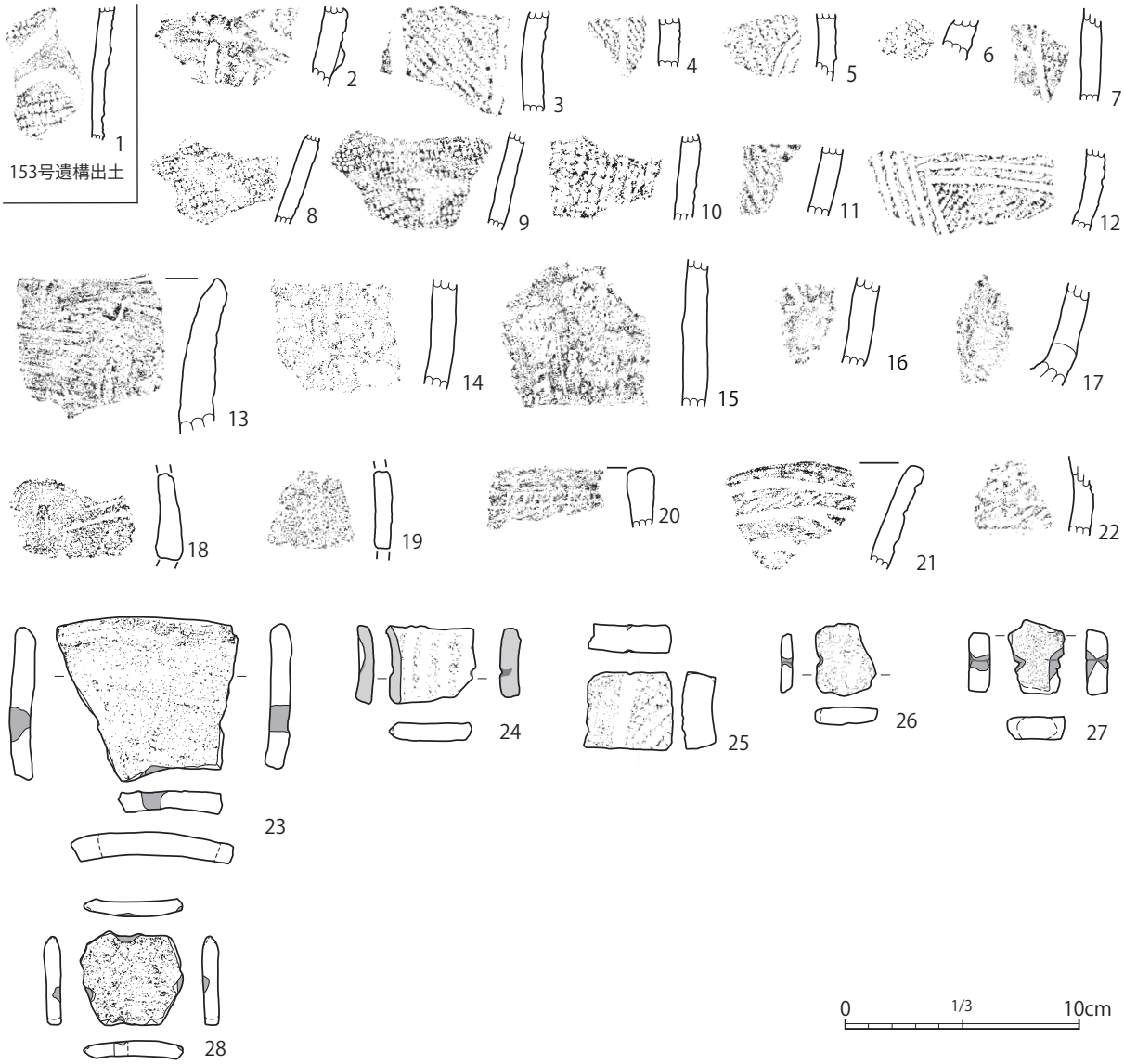
1 面からは黒曜石製の剥片 1 点、残核が 1 点、打製石斧が 1 点出土している。29 は黒曜石製の分

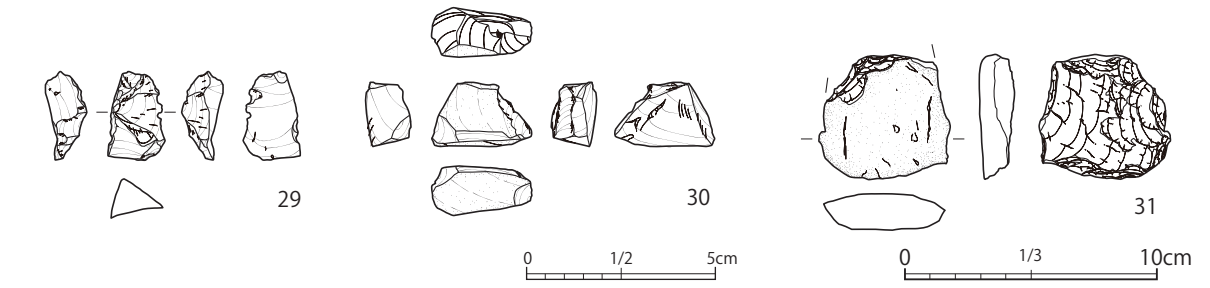
厚い剥片で、二次加工等は看取されない。30 は黒曜石製の残核で、表面に自然面が残る。31 は打製石斧である。分銅形あるいは撥形の可能性があるが、欠損しているため不明である。表面に自然面が残存し、側縁の一部には形態調整を行ったと思われる敲打痕が看取される。

D　骨類（第 117 図、第 49 表）

動物骨

1 層中よりイノシシとシカの指骨が各 1 点出土した。今回は 1 面の出土遺物として掲載したが、1 層からの出土であるため、縄文時代よりも新しい時期の可能性がある。





第 43 図　1 面出土遺物（1/3・1/2）

第 44 図　1 面出土遺物分布図（1/150）

第 46 表　1 面出土土器観察表

挿図番号	図版番号	調査区	グリッド・コラムNo.	出土層位	時　期	器種	部位	型　式	文　様	色　調（外）	色　調（内）	焼成	胎　土
43-1	113-1	A 区	E-6	8 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E4	縄文（RL）、沈線	明赤褐色（5YR5/6）	にぶい褐色（7.5YR5/4）	良好	長石、石英
43-2	113-2	A 区	E-6	1 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E2	縄文（RL）	灰黄褐色（10YR4/2）	灰黄褐色（10YR5/2）	良好	石英、長石
43-3	113-3	A 区	E-5	2 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E2	縄文（LR）	にぶい黄褐色（10YR4/3）	褐色（10YR4/6）	普通	石英
43-4	113-4	A 区	E-6	1 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E2	縄文（RL）、沈線	にぶい褐色（7.5YR5/4）	にぶい褐色（7.5YR5/4）	良好	長石
43-5	113-5	A 区	E-7	3 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E2	縄文（RL）、沈線	明褐色（7.5YR5/8）	黒色（7.5Y1.7/1）	良好	白色粒
43-6	113-6	A 区	E-6	3 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E2	縄文（RL）、沈線、磨り消し	褐色（10YR4/4）	黄褐色（10YR5/8）	普通	石英、白色粒
43-7	113-7	A 区	D-9	7 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E2	沈線、縄文（RL）	黒褐色（10YR3/1）	にぶい黄褐色（10YR4/3）	良好	石英
43-8	113-8	B 区	D-6	2 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E2	縄文（LR）、磨り消し	にぶい黄褐色（10YR5/3）	黒褐色（10YR3/1）	普通	石英、長石
43-9	113-9	A 区	E-6	1 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E	縄文（LR）	にぶい黄褐色（10YR5/3）	にぶい黄褐色（10YR4/3）	普通	石英、長石
43-10	113-10	B 区	B-7	2 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E2	縄文（RL）	赤褐色（5YR4/6）	黒色（5YR1.7/1）	普通	石英、長石
43-11	113-11	A 区	E-7	1 層	後期？	深鉢	胴部	堀之内？	縄文（RL）	にぶい褐色（7.5YR5/4）	にぶい黄褐色（10YR5/4）	良好	白色粒
43-12	113-12	A 区	E-5	1 層	中期後葉	浅鉢	胴部	堀之内Ⅰ？	縄文（LR）、懸垂文、斜交文	にぶい黄橙色（10YR6/4）	にぶい黄橙色（10YR7/3）	良好	石英、長石、チャート
43-13	113-13	A 区	E-6	3 層	後期？	深鉢	口縁部	堀之内？	無文	にぶい黄褐色（10YR4/3）	にぶい黄褐色（10YR5/4）	良好	石英、長石
43-14	113-14	A 区	E-6	3 層	後期？	深鉢	胴部	堀之内？	無文	にぶい黄橙色（10YR6/4）	黒褐色（10YR3/2）	普通	石英、長石
43-15	113-15	A 区	E-6	3 層	後期？	深鉢	胴部	堀之内？	無文	褐色（7.5YR4/4）	にぶい褐色（7.5YR5/4）	良好	石英、白色粒子
43-16	113-16	B 区	C-8	1 層	後期初頭？	深鉢	胴部		無文	にぶい黄橙色（10YR6/4）	褐色（10YR4/6）	良好	チャート、長石
43-17	113-17	A 区	E-6	3 層	後期初頭？	深鉢	胴部		無文	灰黄褐色（10YR4/2）	褐色（10YR4/6）	良好	石英、長石
43-18	113-18	A 区	E-6	1 層	後期初頭？	深鉢	胴部		無文	にぶい黄橙色（10YR7/3）	灰黄色（2.5Y6/2）	良好	石英、長石
43-19	113-19	A 区	E-6	1 層	後期初頭？	深鉢	胴部		無文	にぶい黄色（2.5Y6/4）	にぶい黄色（2.5Y6/4）	普通	石英、長石
43-20	113-20	A 区	E-7	1 層	後期前葉	深鉢	口縁部		横位連続刺突、斜交沈線	にぶい褐色（7.5YR5/4）	明褐色（7.5YR5/6）	良好	石英、長石、赤褐粒
43-21	113-21	A 区	D-9	3 層？	晩期？	深鉢	口縁部	安行 3c	沈線、刻み目	橙色（7.5YR6/6）	明褐色（7.5YR5/6）	普通	石英
43-22	113-22	A 区	D-9	3 層	晩期？	深鉢	胴部	安行 3c	刻み目	橙色（7.5YR6/6）	にぶい褐色（7.5YR5/4）	普通	石英、長石

第 47 表　1 面出土土製品観察表

挿図番号	図版番号	調査区	グリッド・コラムNo.	出土層位	時期	器種	部位	型式	文　様	最大長（cm）	最大幅（cm）	最大厚（cm）	重量（g）	色調（外）	色調（内）	焼成	胎　土
43-23	113-23	B 区	B-7	1 層	後期	深鉢	口縁部		無文	7.7	6.8	1.05	62.9	にぶい黄褐色（10YR4/3）	黄褐色（10YR5/6）	良好	石英、長石
43-24	113-24	A 区	E-6	3 層	後期？	深鉢	胴部	堀之内？	沈線	3.75	3.4	0.85	12.5	橙色（7.5YR7/6）	橙色（7.5YR6/6）	良好	赤褐粒
43-25	113-25	A 区	E-7	3 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E2	縄文（RL）、単沈線	3.7	3.4	1.35	24.7	暗褐色（7.5YR5/6）	褐色（7.5YR4/6）	良好	石英
43-26	113-26	A 区	E-6	1 層	中期	深鉢	胴部		無文	3.05	2.55	0.75	6.6	にぶい黄褐色（10YR4/3）	褐色（7.5YR4/4）	良好	白色粒
43-27	113-27	B 区	E-6	1 層	中期	深鉢	胴部		無文	3.1	2.45	1	8.5	黒色（10YR2/1）	褐灰色（10YR5/1）	良好	石英、白色粒
43-28	113-28	A 区	E-6	1 層	中期	深鉢	胴部		無文	4.35	3.95	0.7	17.4	にぶい褐色（7.5YR5/4）	にぶい黄褐色（10YR4/3）	良好	石英、チャート

第 48 表　1 面出土石器観察表

挿図番号	図版番号	調査区	グリッド・コラムNo.	出土層位	器種	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	石　材	備　考
43-29	113-29	A 区	D-7	1 層	剥片	24	15	11	2.4	黒曜石	
43-30	113-30	A 区	D-9	3 層	剥片	17	26	12	5.9	黒曜石	
43-31	113-31	A 区	D-10	1 層	打製石斧	（49）	（52）	14	44.4	砂岩	基部のみ

第 49 表　1 面出土動物骨観察表

挿図番号	図版番号	調査区	グリッド・コラムNo.	出土層位	種　別	部　位	長さ（mm）	幅（mm）	重量（g）	No.	備　考
117-7	—	A 区	E-6	1 層	イノシシ	中節骨	20.4	13.8	1.1	01	風化
117-10	—	A 区	E-6	1 層	ニホンジカ	中節骨	40.9	23.8	3.3	02	

2 面

2 面は細かい破砕貝が密集し、破砕貝が面的に堆積する範囲を本調査では捉えているが、この面に該当する遺構は検出されていない。等高線からは地形的に A 区中央部付近に僅かに凹むが、貝の廃棄または積極的な人間活動が行われていない一時的な時間的懸隔が発生している時期かもしれない。

1）遺物（第 45・48 図、第 50・51 表、図版 113）

2 面出土の遺物は土器が 6 点、167.1g、土製品が 1 点、66.6g 出土している。散漫な出土分布で、主に A 区の広範囲で出土している（第 48 図）。ここでは図示可能なものを抽出し、土器 5 点と土製品 1 点を掲載した。

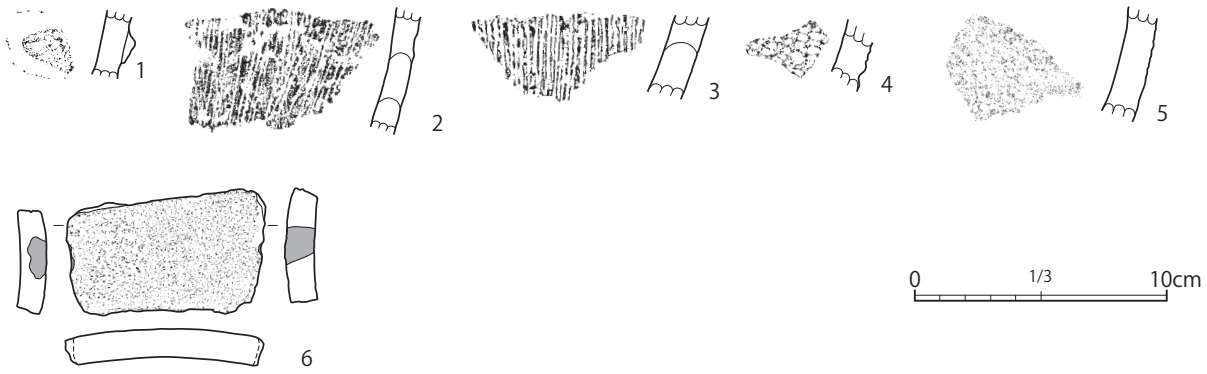
A　土器（第 45 図、第 50 表、図版 113）

中期後葉

1 ～ 5 は胴部破片である。1 は単節 RL の縄文が施され、沈線により区画される。文様要素から加曽利 E2 式と思われる。2 は半裁竹管腹面による条線が施文される。3 は条線が施文される。2・3 は加曽利 E 式に比定される。4 は単節 RL の縄文が施文される。5 は摩滅が著しいが、単節 LR の縄文が施されている。4・5 は加曽利 E 式の範疇と考えられる。

B　土製品（第 45 図、第 51 表、図版 113）

6 は無文の胴部破片で、左右に浅い抉りが観察される。やや大型の破片を転用した土器片錘である。



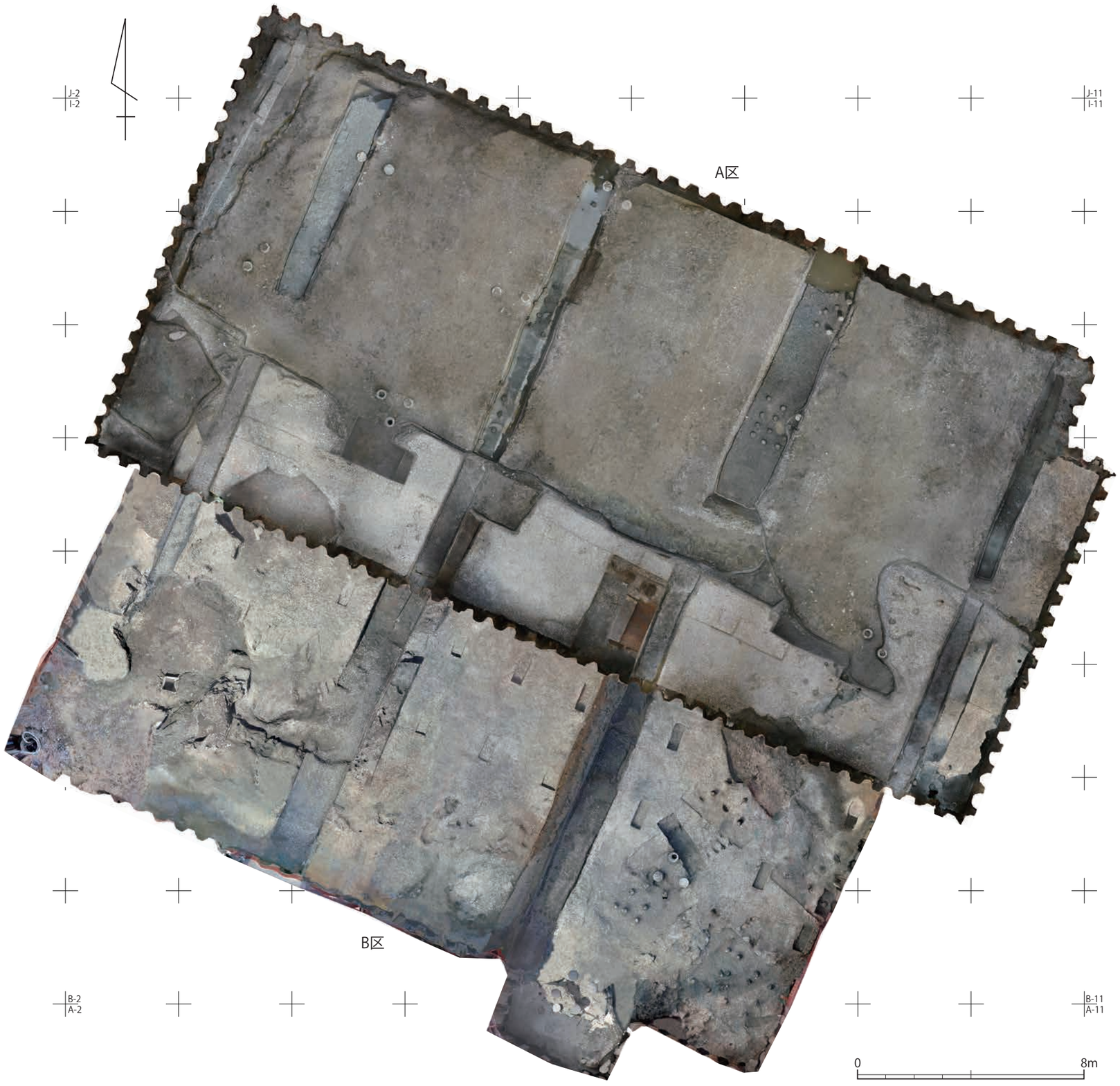
第 45 図　2 面出土遺物（1/3）

第 50 表　2 面出土土器観察表

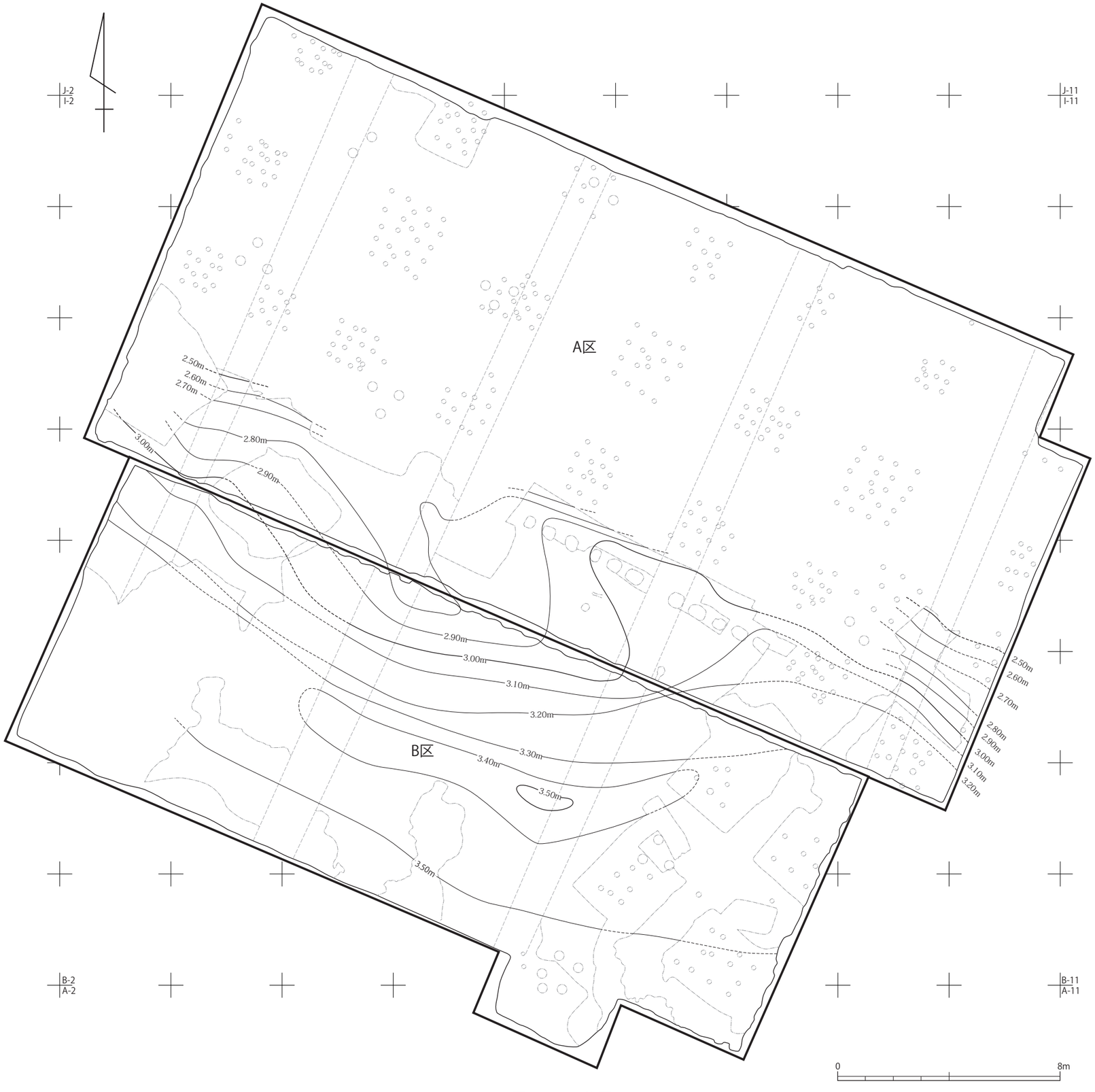
挿図番号	図版番号	調査区	グリッド・コラムNo.	出土層位	時　期	器種	部位	型式	文　様	色調（外）	色調（内）	焼成	胎　土
45-1	113-32	A 区	F-4	13 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E2	縄文（RL）、沈線	黒色（10YR2/1）	褐灰色（10YR4/1）	良好	赤褐粒、チャート
45-2	113-33	B 区	D-6	14 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E	条線	にぶい黄褐色（10YR5/3）	灰黄褐色（10YR4/2）	普通	石英
45-3	113-34	A 区	G-3	14 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E	条線	黒色（10YR1.7/1）	黒褐色（10YR3/2）	普通	白色粒
45-4	113-35	B 区	F-3	13 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E	縄文（RL）	黒褐色（10YR5/3）	暗灰黄色（10YR4/2）	普通	赤褐粒、石英
45-5	113-36	A 区	F-4	14 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E	縄文（LR）	褐灰色（10YR5/1）	褐灰色（10YR5/1）	良好	白色粒

第 51 表　2 面出土土製品観察表

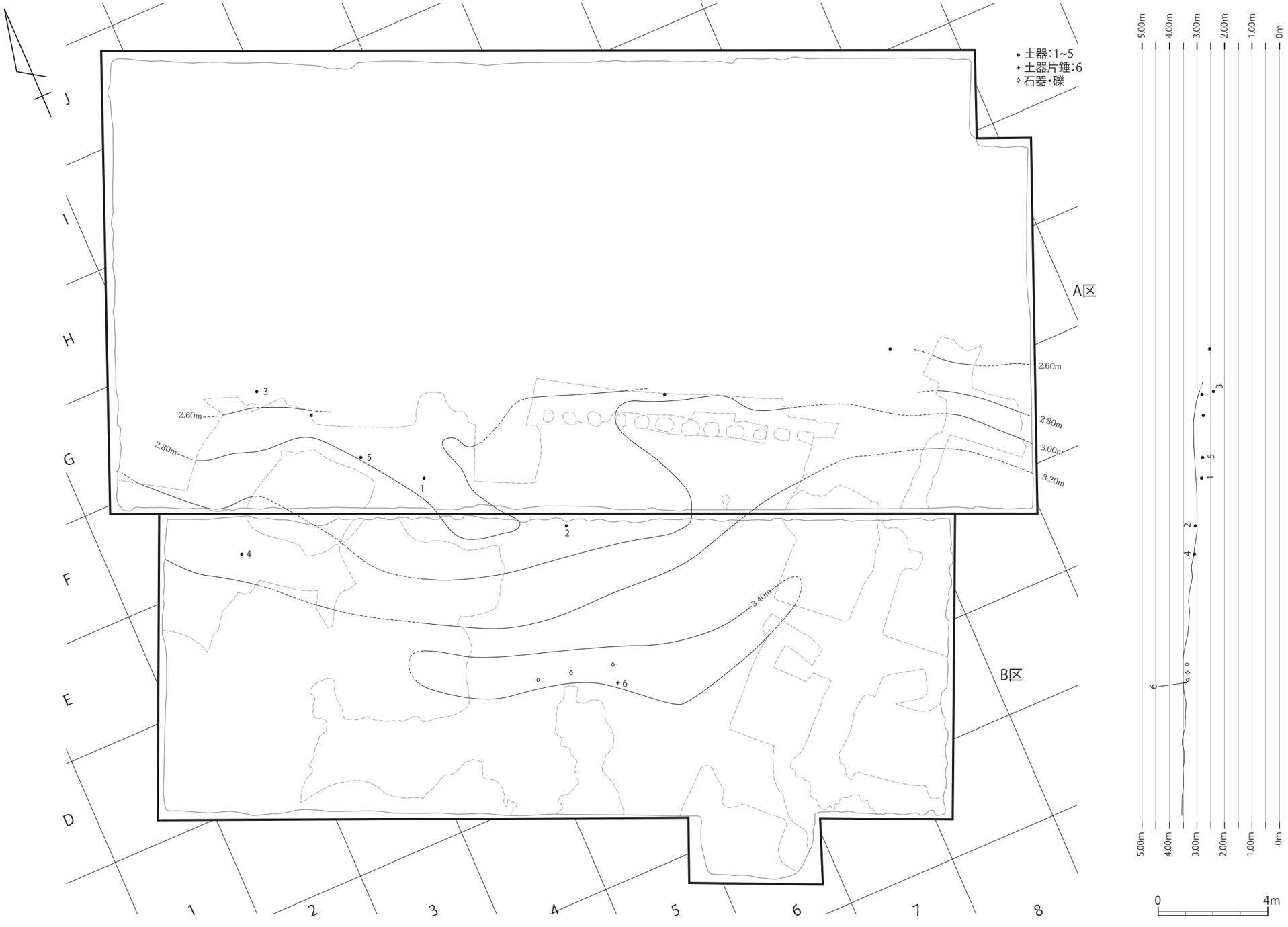
挿図番号	図版番号	調査区	グリッド・コラムNo.	出土層位	時　期	器種	部位	型式	文様	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	色調（外）	色調（内）	焼成	胎　土
45-6	113-37	B 区	C-3	14 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E ？	無文	8	4.9	1.1	66.6	黒褐色（10YR3/1）	灰黄褐色（10YR5/2）	普通	石英、白色粒



第 46 図　2 面全景写真（1/150）



第 47 図　2 面全体図（1/150）



第 48 図　2 面出土遺物分布図（1/150）

3 面

1）遺構（第 49 ～ 54 図、第 52・53 表、図版 79 ～ 93）

3 面からは焚き火址が合計 67 基検出されている。検出されたのは全て B 区中央部南側で、B 区東側、西側では時計工場の基礎等の攪乱で削平されていたこともあって検出されていない。検出された層序はシルト質土の 19・26 層、マガキの破砕貝を少量含む 20 層が中心で、ヤマトシジミの破砕貝を含む層が認められなかったことや Sec.1・Sec.2 で観察された堆積状況から、北側に向かって層序が傾斜する点と検出された標高を鑑みて、1 面とは時間的に異なるものとして 3 面の遺構として捉えている。だが 1 面で検出された焚き火址と同様、遺構の重複が激しく、覆土が薄く、浅いものが多い。

A　焚き火址（第 52 ～ 54 図、第 52・53 表、図版 79 ～ 93）

1 面で検出された焚き火址と同様、重複している遺構が多く看取された。3 面検出の焚き火址においても遺構番号は基本的に検出順に付しており、欠番はリネームせずに欠番のままとして取り扱ったため遺構番号は必ずしも連続していない。また遺構確認時には 1 つの遺構として番号を付したが、半裁及び掘削、記録時に複数の遺構に分かれる場合、a・b・c・・・と枝番を付している。第 50 図に 3 面全体図･遺構位置割付図、第 51 図に 3 面遺構位置割付拡大図を掲載し、第 52 ～ 54 図には個々の焚き火址の平面及び断面図を掲載している。

ここでは主に特徴のある焚き火址を抽出して記述していくが、他は図及び観察・土層説明一覧表を参照されたい。

2 号遺構（第 52 図、第 52 表、図版 79）

C-5 グリッドに位置する。範囲及び層序の確認を目的としてサブトレンチを入れている。平面形は楕円形で、類型は A である。1 面の焚き火址と比較してやや深く掘り込まれているのが特徴である。また覆土は 1 層だが、炭化物を多く含んだ層が厚く堆積している。

3a ～ 3l 号遺構（第 52 図、第 52 表、図版 79 ～ 83）

B・C-5 グリッドに位置する。12 基の焚き火址が重複同様の範囲で検出されたため、検出された順番で枝番を付している。個々の焚き火址の形態は、やや小さめの 30cm 前後のものから 100cm 前後のものまでバラエティーに富む。3a・3b・3h 号遺構は 2 号遺構と同様、1 面で検出された焚き火址よりも掘り込みが深い。平面形態は概ね円形または楕円形である。類型は 3e・3f 号が C で、他は全て A である。3a・3h 号が覆土に炭化物を多く含むが、3b・3e ～ g・3i・3j 号の覆土は灰層が中心である。3c・3d・3k については細かい破砕貝と灰、炭化物が覆土に混在している状態であったため焚き火址かどうか判断が難しいが、灰層等が流れてしまっている可能性も考慮して焚き火址として捉えている。また 3c 号遺構からは礫の出土が認められた。

6 号遺構（第 53 図、第 52 表、図版 83）

C・D-5 グリッドに位置し、東側を 8 号遺構に切られる。平面形は不定形で、類型は A である。覆土は 3 層に分層されるが、灰を多く含むのは 1 層で、1 層が遺構外西側に流れている。2・3 層も破砕貝や灰、炭化物が混在しているため、埋没した焚き火址に灰層が流れ込んだか、あるいは 6 号遺構が一度遺棄された後、再度焚き火址として用いられた可能性が伺える。

7a・b 号遺構（第 53 図、第 52 表、図版 83・84）

C-4・5 グリッドに位置する。遺構の各所が根穴により攪乱されていたこともあり、平面形は不定

形な様相である。両方とも類型はAである。7a号の覆土は3層に分層され、2層に炭化物を多く含む。また7a号は7b号を切っている。7b号は遺構の底部に灰層が堆積する。

9号遺構（第53図、第52表、図版84）

B-6グリッドに位置し、東側をSec.1に切られる。平面形は楕円形で、類型はAである。覆土の堆積はそれほど厚くないが3層に分層され、遺構の中心に灰層が堆積し、その周辺に炭化物の層がドーナツ状に堆積する。

10号遺構（第53図、第52表、図版84）

B・C-6グリッドに位置する。平面形は不定形だが、細かい破砕貝がシルト質土に混在して遺構底面及び遺構の壁や、遺構周辺に巡るように4層が堆積している。その外側と1層はシルト質土が堆積しているため、破砕貝及び遺構の中心に1層のシルト質土と2層とした炭化物層が、平面的にはドーナツ状に検出されている。また2層の下層に、灰層である3層が薄く堆積している。細かい破砕貝が焚き火を行う前に、意図的に敷かれている可能性が示唆される焚き火址である。類型はDである。

11a～g号遺構（第53図、第52・53表、図版84～86）

B・C-4グリッドに位置する。根により攪乱されている箇所が複数見受けられる。遺構の中では11a・11c・11d号が覆土に炭化物を多く含み、11b・11f・11g号が灰を多く含んでいる。11e号は炭化物と灰の両方を含んでいる。11e・11f号が類型はCで、他はAである。11b号遺構は灰層が西側遺構外に大きく流れている。また11c号も炭化物層が東側に流れている。3号と比較するとやや小型の焚き火址が重複している様相である。

19号遺構（第54図、第53・54表、図版87）

C-5グリッドに位置する。北側が不明瞭だが、平面形は不定形な長楕円形で、灰および焼けた破砕貝を多く含む覆土が盛り上がるように堆積し、覆土が南側に流れている。類型はCである。また19号遺構からは土器が出土している。第56図1は胴部破片でRLの縄文が施文される。文様要素や胎土の様相から中期後葉の土器と思われる。

20a～c号遺構（第54図、第53表、図版87・88）

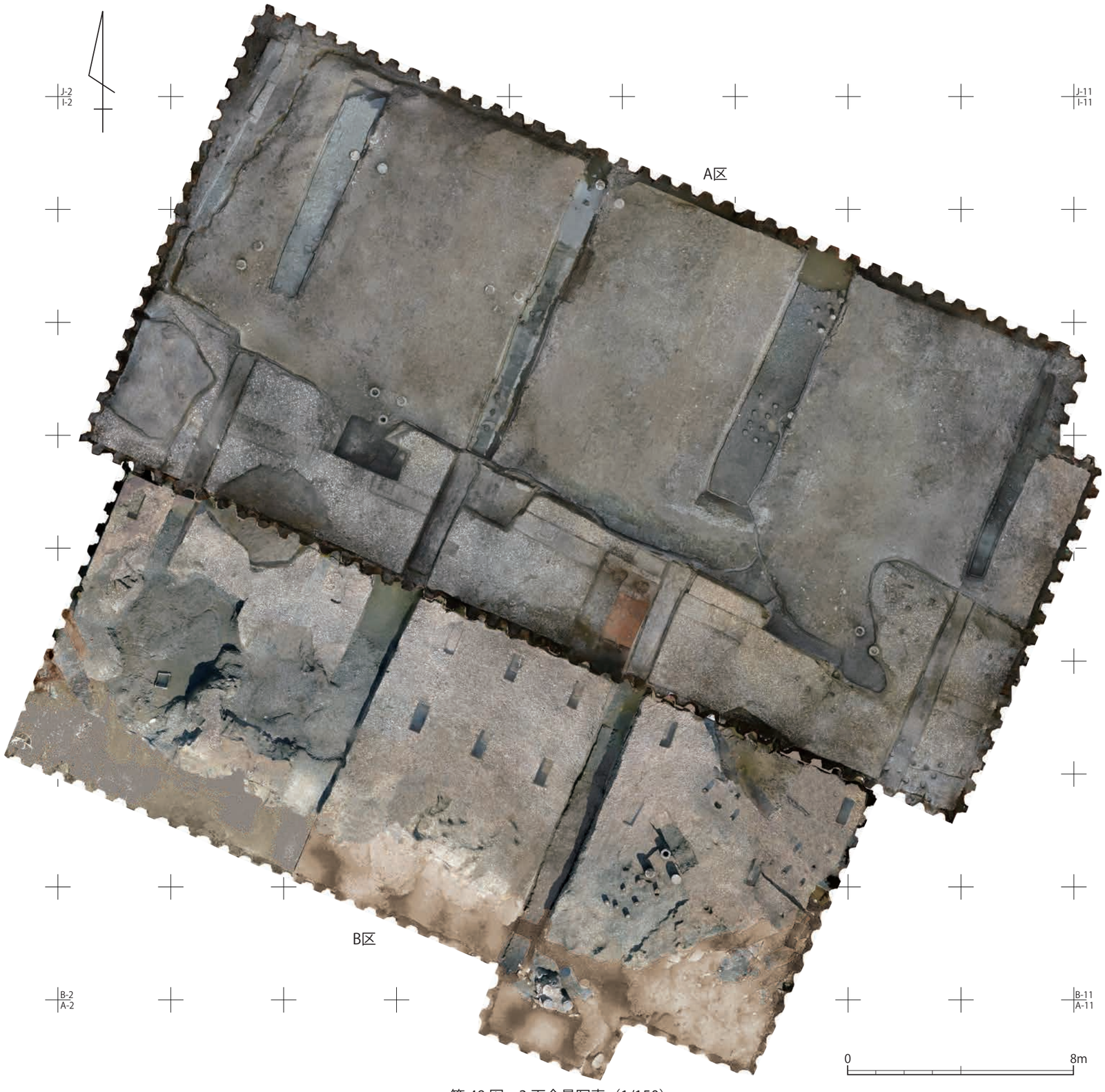
C・D-4・5グリッドに位置する。20a号の平面形は不定形な隅丸方形で、20b号は楕円形、20c号は円形である。これらの類型はCである。明確な掘り込みもなく、覆土の様相は盛り上がる灰層が近接して分布しているもので、3e･3f号のように灰層の違いから看取されたような重複関係は無く、同時期の同一遺構の可能性もある。

23号遺構（第54図、第53表、図版88）

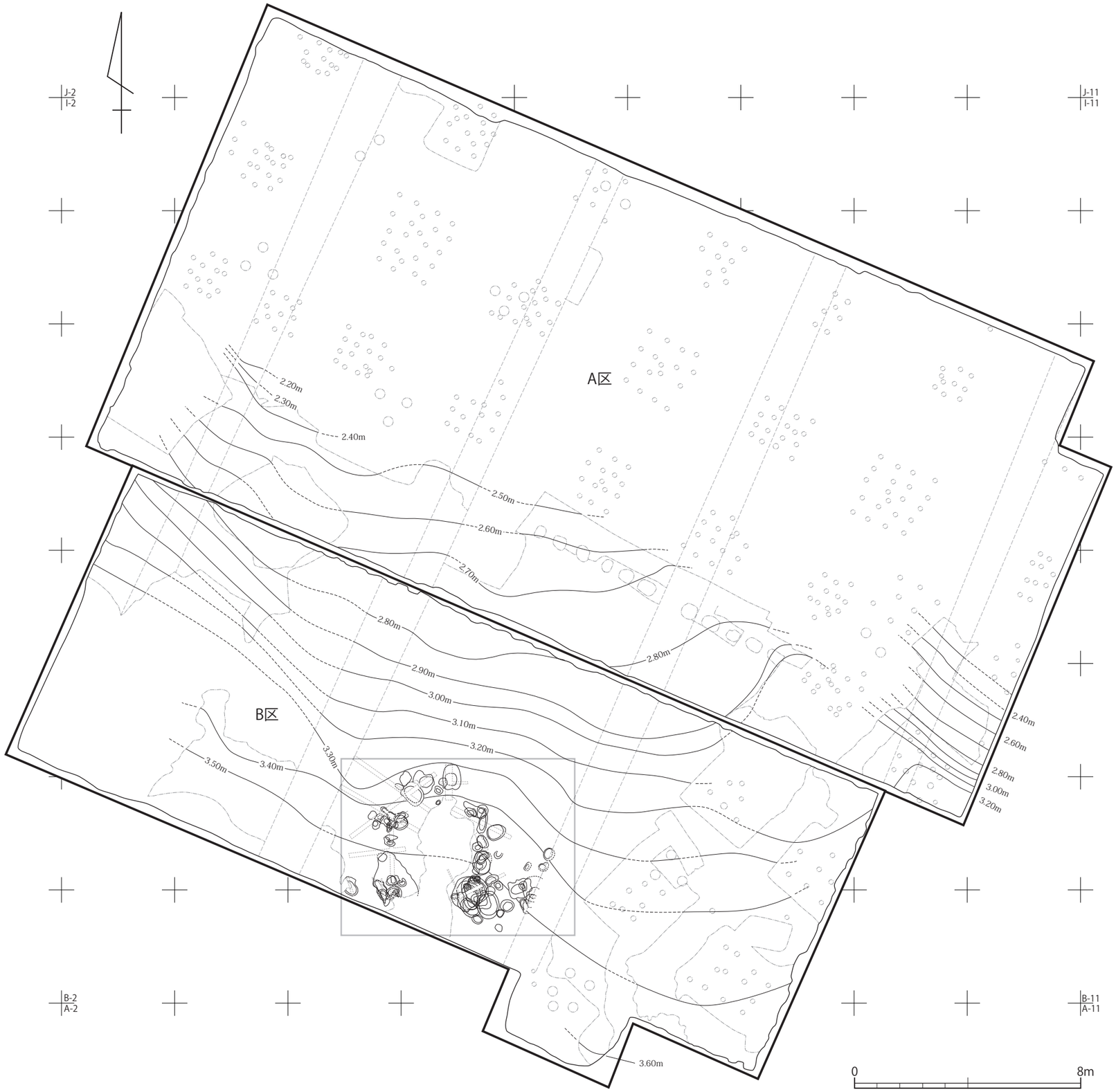
C-5グリッドに位置する。平面形は楕円形で、類型はAである。覆土は2層で1層に炭化物を多く含むが、検出された調査時の炭化物の範囲の在り方は遺構中心部に集中し、調査時点ではほぼ土壌化していたものの、炭化材の形態が遺存して覆土及びその平面形態に遺存していた可能性が伺える。

25a・b号遺構（第54図、第53表、図版89）

C-5グリッドに位置する。平面形は長楕円形で、両方とも類型はAである。25a号の覆土は2層に分層されるが、1層に炭化物がまとまった状態で多く含まれている。1層は遺構の中心部付近に集中し、平面的には23号遺構の1層のように、土壌化してしまった炭化材のような様相を示している。



第 49 図　3 面全景写真（1/150）



第 50 図　3 面 全体図・遺構位置割付図（1/150）

また 25b 号は覆土全面に炭化物を多く含んでいる層で、これらの遺構からは灰層が僅かしか検出されていない。炭化物あるいは炭化材だけ残存し、灰は流れてしまったのであろうか。いずれにせよこれらの遺構が近接した位置で検出されていることから、遺構間での何らかの関係が示唆される。

33・34 号遺構（第 54 図、第 53 表、図版 91）

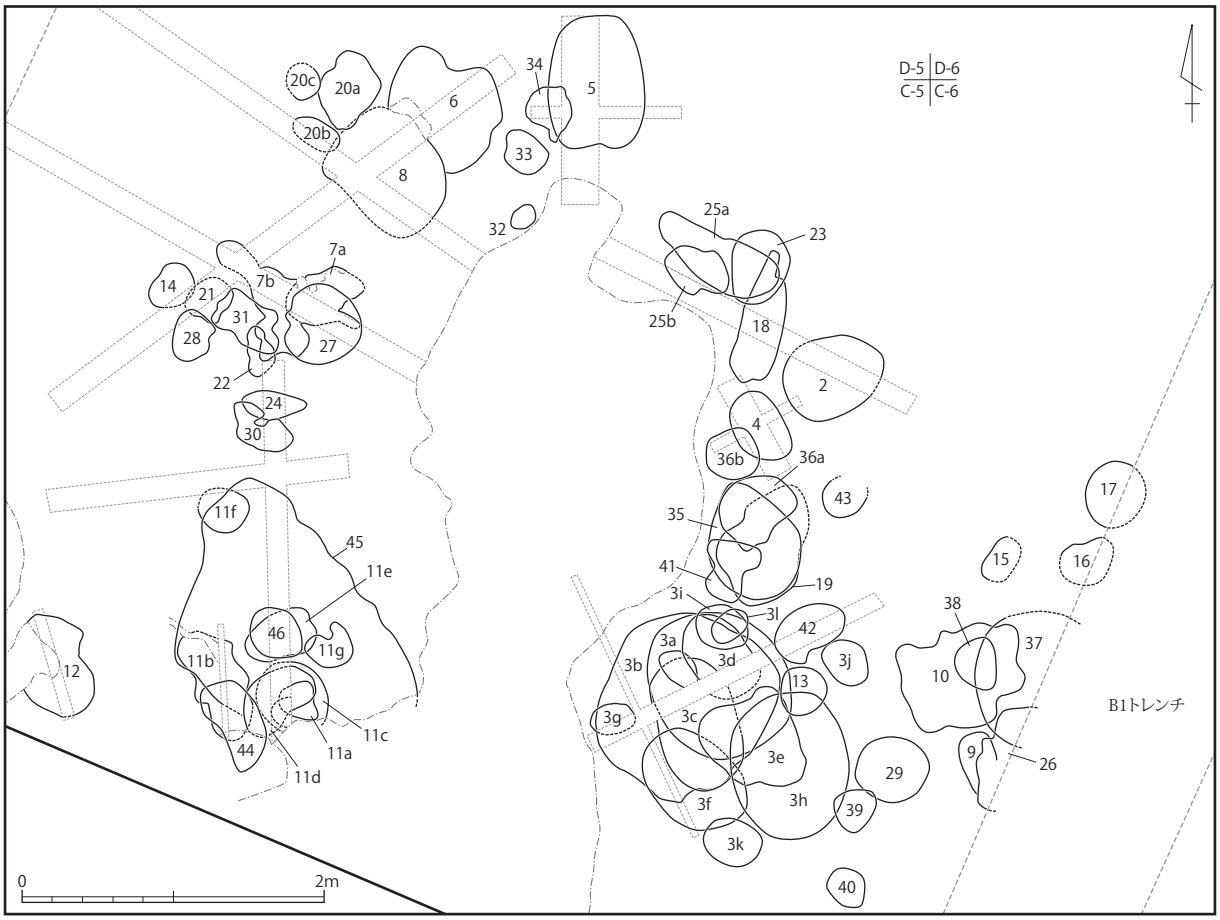
C-5 グリッドに位置する。両方とも平面形はやや不定形な円形で、類型は C である。近接する 34 号遺構は炭化物を多く含んでいる層で、33 号遺構の覆土は 1 層で灰を中心とした層序である。双方の層が含有する内容物は異なるため別遺構として捉えているが、あるいは一連の遺構の可能性もある。

36a・b 号遺構（第 54 図、第 53 表、図版 91）

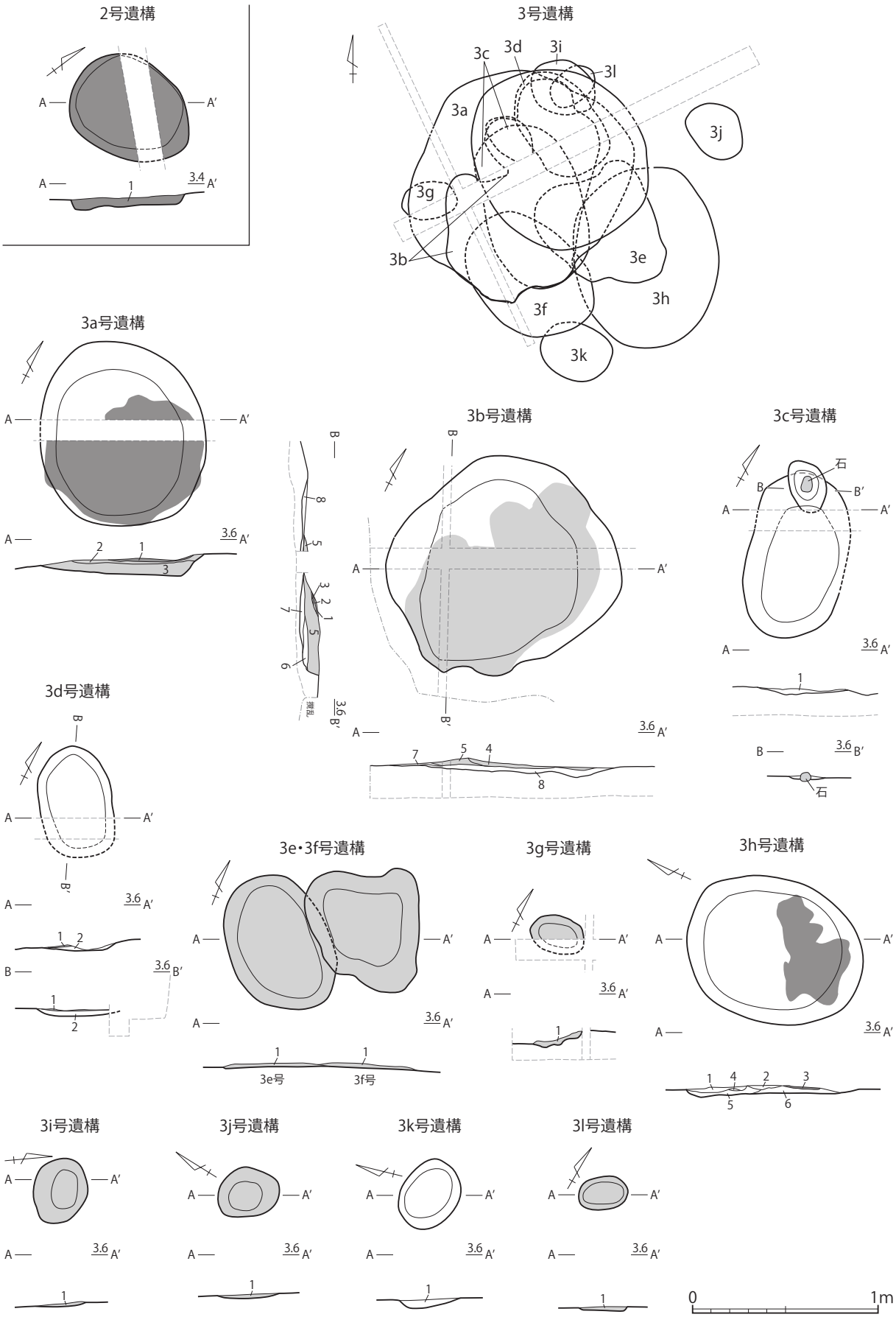
C-5 グリッドに位置する。両方とも平面形はやや不定形な楕円形で、類型は C である。覆土は両方とも 1 層で灰を多く含む層である。単位としては 2 単位の遺構だが、隣接して検出されたため 33・34 号と同様、一連の遺構の可能性も示唆される。

45 号遺構（第 54 図、第 53 表、図版 93）

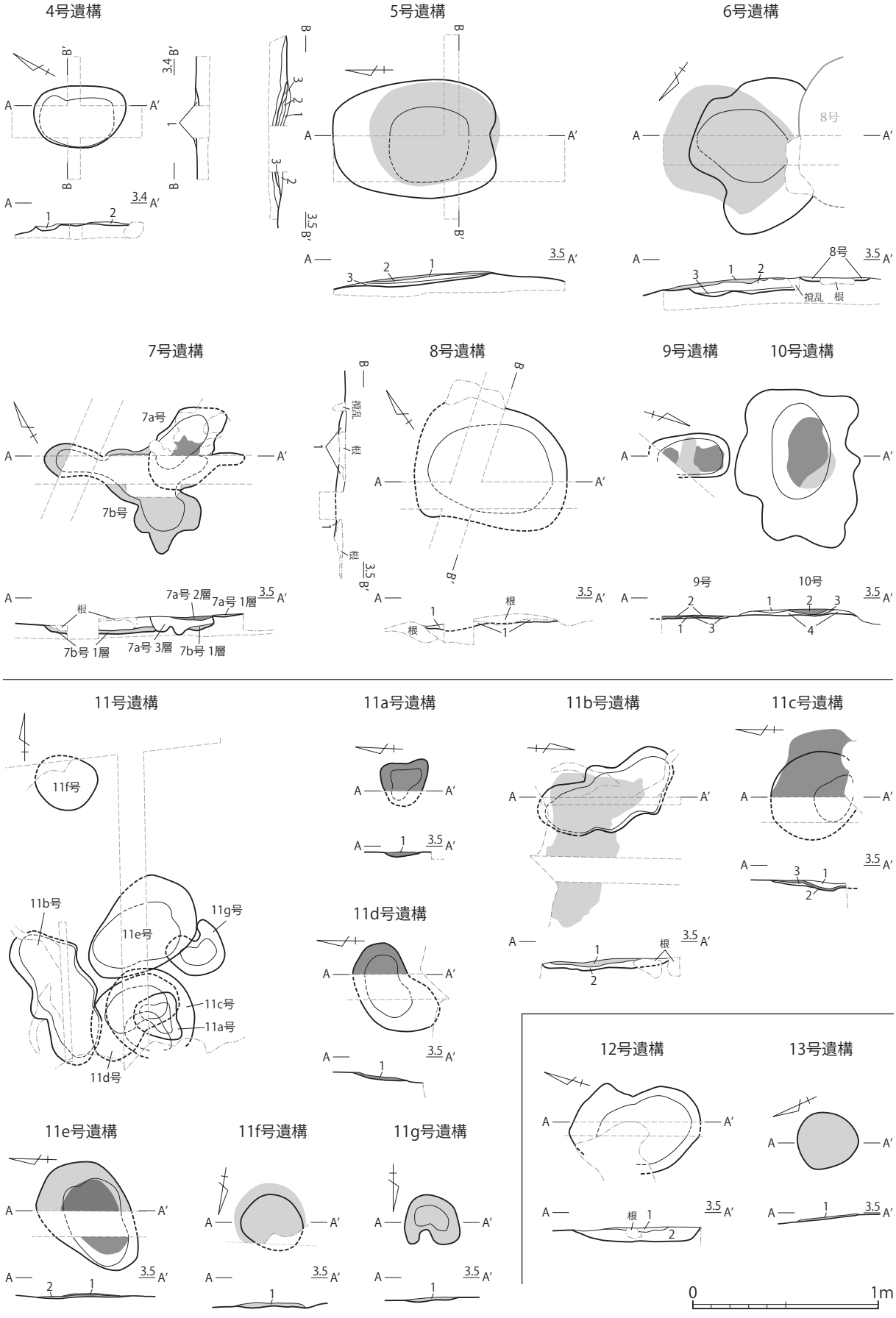
B・C-4・5 グリッドに位置する。平面形はやや不定形な円形で、類型は A である。規模が大きいが、覆土は浅く 1 層で、細かい破砕貝を多く含む。焚き火を行う場として選択され、シルト質土上の一定の範囲に細かい破砕貝を敷き詰めたとも想定される。



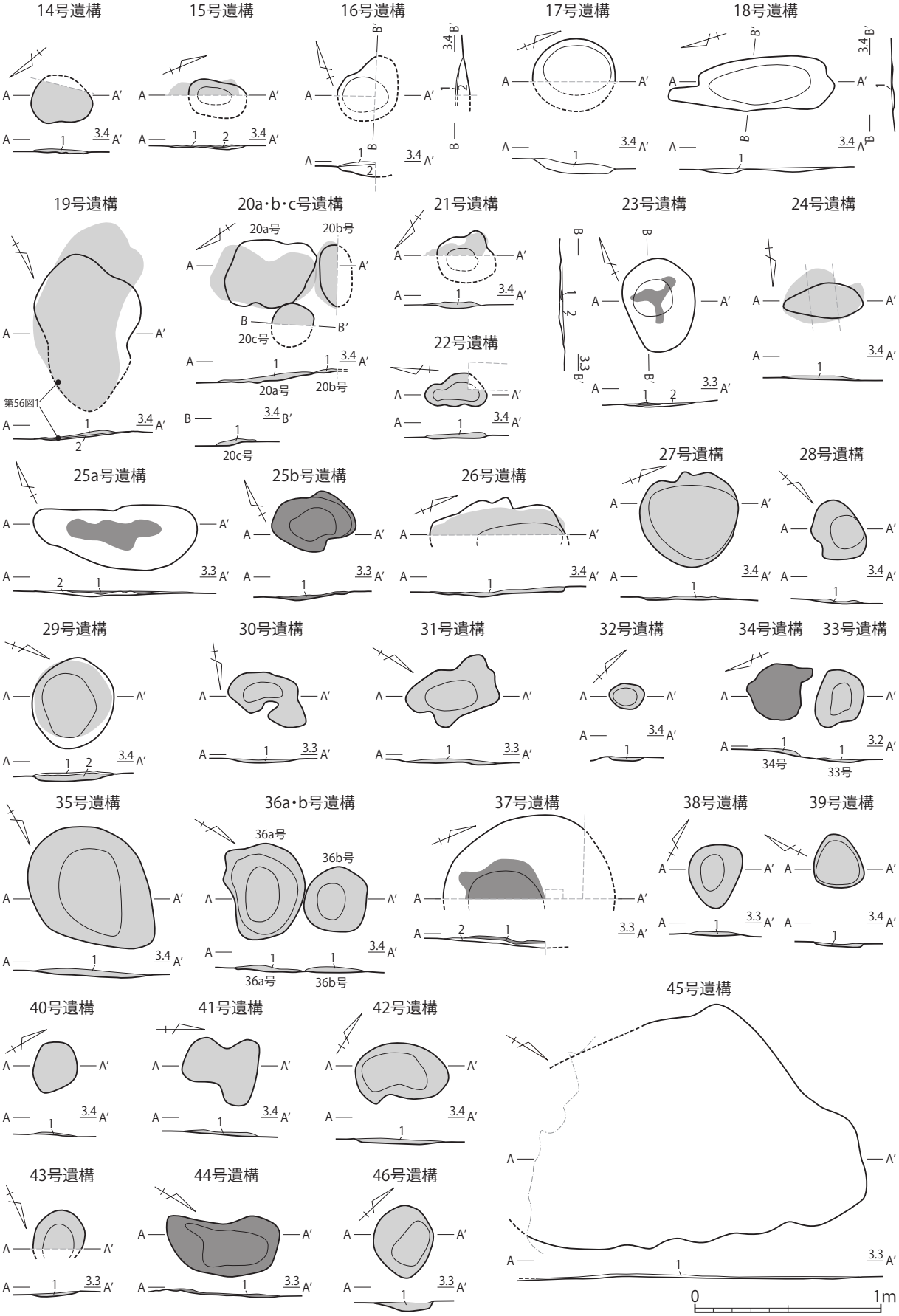
第 51 図　3 面 遺構位置割付拡大図（1/50）



第 52 図　3 面焚き火址（1）（1/30）



第 53 図　3 面焚き火址（2）（1/30）



第 54 図　3 面焚き火址（3）（1/30）

第 52 表　3 面焚き火址遺構観察・土層説明一覧表（1）

挿図番号	図版番号	遺構名	遺構種別	グリッド	類型	規　模 長×短×深（cm）	層序番号	色　調	土　説
52	79	2 号	焚き火址	C-5	A	68.4 × 51.6 × 5.9	1 層	黒（10YR1.7/1）	粘性有るが締りは弱い。炭化物、破砕員を多く含む。
52	79	3a 号	焚き火址	B･C-5	A	103.1 × 96.9 × 8.9	1 層	黒（10YR2/1）	粘性やや有るが、締りは弱い。破砕員、炭化物を多く、灰、焼けた破砕員を少量含む。
							2 層	暗灰黄（2.5Y5/2）	粘性･締り共にやや有り。破砕員､焼けた破砕員を多く､灰を中量含む。
							3 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。炭化物、破砕員を多く、灰、焼けた破砕員を中量含む。
52	80	3b 号	焚き火址	B･C-5	A	127.1 × 119.0 × 11.3	1 層	黒（10YR3/1）	粘性やや有るが締りは弱い。炭化物を多く、灰、破砕員を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y4/3）	粘性有り、締りやや有り。破砕員を中量、炭化物、焼けた破砕員を少量含む。
							3 層	黒（10YR3/1）	粘性やや有るが締りは弱い。炭化物を多く、破砕員を中量、焼けた破砕員、灰を少量含む。
							4 層	暗灰黄（2.5Y5/2）	粘性やや有るが締りは弱い。焼けた破砕員、灰を少量、炭化物を多く含む。
							5 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性･締り共にやや有り。破砕員を多く､灰を中量､炭化物を少量含む。
							6 層	暗灰黄（2.5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物を多く、破砕員を中量、焼けた破砕員を少量含む。
							7 層	暗灰黄（2.5Y5/2）	粘性・締り共に弱い。灰、炭化物を中量、破砕員を多く含む。
							8 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共に有り。破砕員を多く、灰、炭化物を少量含む。
52	80	3c 号	焚き火址	B･C-5	A	96.2 × 52.4 × 3.1	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性弱いが締りは有る。破砕員を多く、炭化物を中量含む。
52	80	3d 号	焚き火址	C-5	A	（39.1）× 37.2 × 3.5	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共に有り。灰を多く、炭化物、破砕員、焼けた破砕員を中量含む。
							2 層	灰オリーブ（7.5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。灰を中量、破砕員を多く含む。
52	80・81	3e 号	焚き火址	B-5	C	74.1 × 62.0 × 2.0	1 層	黒褐（2.5Y3/2）	粘性・締り共に弱い。破砕員、灰、炭化物を多く、焼けた破砕員を中量含む。
52	80・81	3f 号	焚き火址	B-5	C	76.2 × 47.2 × 2.2	1 層	暗灰黄（2.5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。破砕員、灰を多く、炭化物、焼けた破砕員を少量含む。
52	80・81	3g 号	焚き火址	B-5	A	27.6 ×（12.6）× 3.3	1 層	灰オリーブ（7.5Y5/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕員を多く、焼けた破砕員、炭化物を少量含む。
52	81	3h 号	焚き火址	B-5	A	98.7 × 82.2 × 4.6	1 層	暗灰黄（2.5Y5/2）	粘性・締り共に弱い。灰、焼けた破砕員を多く、破砕員を中量、炭化物を少量含む。
							2 層	暗灰黄（2.5Y4/2）	粘性・締り共に弱い。灰を多く、焼けた破砕員を少量、炭化物を僅かに含む。
							3 層	赤黒（2.5YR1.7/1）	粘性・締り共にやや有り。炭化物を多く、灰、破砕員を中量、焼けた破砕員を少量含む。
							4 層	赤黒（2.5YR1.7/1）	粘性・締り共にやや有り。3 層に類似するが炭化物がさらに多い。
							5 層	灰オリーブ（5Y5/2）	粘性・締り共に有り。破砕員を多く含む。
							6 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや強い。破砕員を多く、焼けた破砕員、炭化物を少量含む。
52	82	3i 号	焚き火址	C-5	A	34.2 × 27.9 × 1.6	1 層	灰オリーブ（7.5Y4/2）	粘性・締り共に有り。灰・炭化物を中量、焼けた破砕員をやや多く、破砕員を少量含む。
52	82	3j 号	焚き火址	B･C-5	A	33.9 × 24.2 × 2.1	1 層	暗オリーブ色（5Y4/3）	粘性・締り共に有り。灰、破砕員を多く、焼けた破砕員、炭化物を中量含む。
52	82	3k 号	焚き火址	B-5	A	38.7 × 32.9 × 4.2	1 層	灰オリーブ色（5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。 破砕員を多く、焼けた破砕員、灰、炭化物を少量含む。
52	82・83	3l 号	焚き火址	C-5	A	27.2 × 18.1 × 2.3	1 層	灰オリーブ（7.5Y4/2）	粘性･締り共に有り。破砕員をやや多く､灰を中量､炭化物を少量含む。
53	83	4 号	焚き火址	C-5	A	50.2 × 34.9 × 2.2	1 層	暗オリーブ灰（2.5Y4/1）	粘性･締り共に有り。炭化物、灰、破砕員、焼けた破砕員を少量含む。
							2 層	暗灰黄（2.5Y5/2）	粘性・締り共に弱い。炭化物、灰、焼けた破砕員を中量含む。
53	83	5 号	焚き火址	C･D-5	A	92.1 × 69.0 × 4.9	1 層	暗オリーブ（5Y4/4）	粘性･締り共に有り。灰､焼けた破砕員をやや多く､破砕員を中量含む。
							2 層	暗オリーブ（5Y4/4）	粘性弱いが締りは有る。焼けた破砕員を少量､破砕員をやや多く含む。
							3 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性弱いが締りは有る。破砕員を多く、焼けた破砕員を中量、炭化物を少量含む。
53	83	6 号	焚き火址	C･D-5	A	87.3 × 86.5 × 8.2	1 層	オリーブ黒（7.5Y3/2）	粘性弱いが締りはやや有る。灰、破砕員を多く、焼けた破砕員を中量含む。
							2 層	灰オリーブ（7.5Y4/2）	粘性・締り共に有り。灰、焼けた破砕員を少量、破砕員を多く含む。
							3 層	オリーブ黒（7.5Y3/2）	粘性・締り共に有り。灰、焼けた破砕員を多く、炭化物を少量含む。
53	83	7a 号	焚き火址	C-4･5	A	（51.1）×（28.6）× 9.3	1 層	オリーブ黒（10Y3/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、破砕員を多く、焼けた破砕員、炭化物を中量含む。
							2 層	黒褐（10YR2/2）	粘性・締り共にやや有り。灰、炭化物を多く、破砕員、焼けた破砕員を中量含む。
							3 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性・締り共に有り。破砕員を中量、焼けた破砕員、焼土、炭化物を少量含む。
53	84	7b 号	焚き火址	C-4･5	A	107.9 × 58.2 × 2.5	1 層	灰オリーブ（7.5YR5/2）	粘性・締り共に弱い。灰、破砕員を多く、焼けた破砕員、炭化物を少量含む。
53	84	8 号	焚き火址	C-4･5	A	（82.5）×（64.4）× 4.4	1 層	暗オリーブ（7.5Y4/3）	粘性・締り共に有り。破砕員を多く、灰、焼けた破砕員を中量、炭化物を少量含む。
53	84	9 号	焚き火址	B-6	A	（29.5）× 24.2 × 2.6	1 層	灰オリーブ（5Y5/2）	粘性・締り共に有り。破砕員を多く、灰、炭化物を少量含む。
							2 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共に有り。炭化物を多く、灰、焼けた破砕員を少量含む。
							3 層	灰オリーブ（5Y5/2）	粘性・締り共に有り。破砕員、灰、炭化物を僅かに含む。
53	84	10 号	焚き火址	B･C-6	D	92.4 × 79.9 × 3.9	1 層	灰オリーブ（5Y5/2）	粘性・締り共に有り。破砕員、灰、炭化物を僅かに含む。
							2 層	黒（5Y2/1）	粘性・締り共に有り。炭化物を多く、灰、焼けた破砕員、破砕員を少量含む。
							3 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性･締り共に有り。炭化物、灰を少量、焼けた破砕員を中量含む。
							4 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。破砕員を多く含む。
53	84	11a 号	焚き火址	B･C-4	A	25.7 ×（17.4）× 2.8	1 層	黒（10YR1.7/1）	粘性有るが締りは弱い。炭化物を多く、灰、破砕員、焼けた破砕員を少量含む。
53	84	11b 号	焚き火址	B･C-4･5	A	107.2 ×（62.5）× 5.2	1 層	オリーブ黒（5Y3/1）	粘性･締り共に有り。灰を多く､炭化物､破砕員を中量､焼けた破砕員､焼土を少量含む。
							2 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性・締り共に有り。破砕員を多く含む。

第 53 表　3 面焚き火址遺構観察・土層説明一覧表（2）

挿図番号	図版番号	遺構名	遺構種別	グリッド	類型	規　模 長×短×深（cm）	層序番号	色　調	土　説
53	85	11c 号	焚き火址	B･C-4･5	A	(43.3) × (36.7) × 4.2	1 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性・締り共に有り。破砕貝を多く、灰、炭化物を少量含む。
							2 層	黒（7.5YR2/1）	粘性・締り共にやや有り。炭化物を多く、灰と破砕貝を少量含む。
							3 層	灰オリーブ（7.5Y4/2）	粘性・締り共に有り。灰、焼けた破砕貝、炭化物を中量含む。
53	85	11d 号	焚き火址	B･C-4･5	A	53.4 × 31.3 × 1.5	1 層	黒（7.5YR2/1）	粘性・締り共にやや有り。炭化物を多く、灰と破砕貝を少量含む。
53	85	11e 号	焚き火址	C-4･5	C	66.4 × 43.9 × 1.8	1 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性・締り共に有り。破砕貝を多く、炭化物を中量、灰を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（7.5Y4/2）	粘性・締り共に有り。破砕貝を多く、焼けた破砕貝、灰を中量、炭化物を少量含む。
53	85	11f 号	焚き火址	C-4	C	38.2 × (32.8) × 2.8	1 層	暗灰黄（2.5Y4/2）	粘性･締り共にあり。炭化物、焼けた破砕貝、破砕貝、灰を多く含む。
53	86	11g 号	焚き火址	C-4･5	A	31.9 × 30.6 × 1.8	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性弱いが締りは強い。灰、破砕貝を多く、焼けた破砕貝、炭化物を中量含む。
53	86	12 号	焚き火址	B･C-4	A	71.2 × 49.9 × 7.7	1 層	暗灰黄（2.5Y3/2）	粘性・締り共に弱い。破砕貝を中量、炭化物、灰、焼けた破砕貝を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（7.5Y5/3）	粘性・締り共に有り。破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
53	86	13 号	焚き火址	B･C-5	C	33.1 × 31.3 × 0.9	1 層	灰白（2.5Y7/1）	粘性やや有り締りやや強い。灰、焼けた破砕貝を多く、破砕貝、炭化物を少量含む。
54	86	14 号	焚き火址	C-4	C	33.3 × (20.4) × 2.0	1 層	灰白（2.5Y7/1）	粘性・締り共にやや弱い。灰を多く、破砕貝、炭化物を少量、焼土を僅かに含む。
54	86	15 号	焚き火址	C-6	A	42.3 × (8.9) × 2.3	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性やや有り締り強い。灰、破砕貝を多く、炭化物を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共に有り。破砕貝を少量、炭化物を僅かに含む。
54	86	16 号	焚き火址	C-6	A	(21.5) × (20.1) × 7.7	1 層	灰オリーブ色（5Y4/2）	粘性やや有り、締り強い。破砕貝を多く、灰を中量、炭化物を少量含む。
							2 層	灰オリーブ色(7.5Y4/2)	粘性・締り共に有り。破砕貝を多く、灰、炭化物を僅かに含む。
54	87	17 号	焚き火址	C-6	A	44.5 × (22.5) × 5.5	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/4）	粘性有り締り強い。破砕貝を中量、灰、炭化物を少量含む。
54	87	18 号	焚き火址	C-5	A	89.7 × 29.6 × 2.9	1 層	灰白（2.5Y7/1）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝、灰を中量、炭化物を少量含む。
54	87	19 号	焚き火址	C-5	C	102.1 × 56.8 × 2.5	1 層	暗灰黄（2.5Y4/2）	粘性・締り共に有り。焼けた破砕貝、破砕貝、灰を多く、炭化物を中量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性・締り共に有り。破砕貝、灰、炭化物を少量含む。
54	87	20a 号	焚き火址	C･D-4･5	C	58.9 × 37.3 × 3.3	1 層	灰白（2.5Y7/1）	粘性･締り共に弱い。灰を多く、炭化物を少量、破砕貝を僅かに含む。
54	87	20b 号	焚き火址	C-4･5	C	36.9 × (13.1) × 1.6	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性やや有り、締りやや弱い。灰を中量、炭化物、焼土を少量含む。
54	88	20c 号	焚き火址	C･D-4	C	24.8 × (12.0) × 2.5	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性やや有り、締りやや弱い。灰を多く、破砕貝、炭化物を少量含む。
54	88	21 号	焚き火址	C-4	C	36.9 × (13.2) × 3.3	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性･締り共にやや弱い。灰､焼けた破砕貝を多く､破砕貝を少量含む。
54	88	22 号	焚き火址	C-4	A	33.4 × 18.5 × 3.1	1 層	暗オリーブ褐(2.5Y3/3)	粘性・締り共にやや弱い。灰、焼けた破砕貝を多量、炭化物、焼土を少量含む。
54	88	23 号	焚き火址	C-5	A	50.8 × 38.5 × 2.4	1 層	黒（10YR1.7/1）	粘性・締り共にやや有り。炭化物を多く、焼けた破砕貝を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性やや有り締りやや強い。灰､焼けた破砕貝､破砕貝､炭化物を中量､焼土を少量含む。
54	89	24 号	焚き火址	C-4	C	44.7 × 30.0 × 1.8	1 層	暗オリーブ（7.5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く、焼土粒、炭化物を少量含む。
54	89	25a 号	焚き火址	C-5	A	88.2 × 36.5 × 3.2	1 層	黒色（10YR2/1）	粘性・締り共にやや有り。炭化物を多く、灰、破砕貝、焼けた破砕貝を少量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y5/2）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝をやや多く、灰、炭化物を少量含む
54	89	25b 号	焚き火址	C-5	A	45.3 × 33.1 × 2.2	1 層	黒色（10YR2/1）	粘性・締り共にやや有り。炭化物を多く、灰、破砕貝、焼けた破砕貝を少量含む。
54	89	26 号	焚き火址	B-6	C	73.0 × 20.3 × 2.7	1 層	暗オリーブ（7.5Y4/3）	粘性･締り共にやや有り。灰､焼けた破砕貝を多く､炭化物を少量含む。
54	90	27 号	焚き火址	C-4･5	A	52.4 × 52.3 × 1.6	1 層	灰（5Y6/1）	粘性･締り共にやや有り。灰を多く､破砕貝を中量､炭化物を少量含む。
54	90	28 号	焚き火址	C-4	C	34.1 × 25.9 × 1.7	1 層	灰（5Y6/1）	粘性・締り共にやや有り。灰、焼けた破砕貝を多く、炭化物、焼土を少量含む。
54	90	29 号	焚き火址	B-5	A	49.4 × 43.7 × 4.6	1 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性やや有り締り強い。灰、炭化物を少量、破砕貝を中量含む。
							2 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性やや有り締り強い。灰、焼けた破砕貝を多く、炭化物、破砕貝を少量含む。
54	90	30 号	焚き火址	C-4	A	45.6 × 24.9 × 1.5	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性やや有り締り強い。灰､焼けた破砕貝を多く､炭化物を少量含む。
54	91	31 号	焚き火址	C-4	C	49.7 × 34.3 × 2.5	1 層	暗灰黄（2.5Y4/2）	粘性・締り共に強い。焼けた破砕貝を多く、灰を中量、炭化物を少量含む。
54	91	32 号	焚き火址	C-5	A	19.2 × 4.3 × 1.7	1 層	暗灰黄（2.5Y4/2）	粘性･締り共にやや有り。焼けた破砕貝を多く､灰､炭化物を中量含む。
54	91	33 号	焚き火址	C-5	C	32.1 × 25.3 × 2.7	1 層	灰（5Y6/1）	粘性・締り共にやや弱い。灰、焼けた破砕貝、破砕貝を中量含む。
54	91	34 号	焚き火址	C-5	C	35.6 × 30.9 × 1.3	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性･締り共にやや弱い。炭化物を多く､灰を中量､焼土を僅かに含む。
54	91	35 号	焚き火址	C-5	A	79.7 × 61.7 × 3.5	1 層	暗オリーブ（5Y4/2）	粘性･締り共にやや有り。焼けた破砕貝､灰を多く､炭化物を少量含む。
54	91	36a 号	焚き火址	C-5	C	51.7 × 44.1 × 2.9	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共にやや有り。灰を多く、破砕貝、焼けた破砕貝、炭化物を少量含む。
54	91	36b 号	焚き火址	C-5	C	36.3 × 35.0 × 3.1	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性無く締り弱い。灰を多く、焼けた破砕貝、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
54	92	37 号	焚き火址	B･C-6	C	(74.9) × (45.2) × 3.1	1 層	黒　(2.5Y2/2)	粘性無く締り弱い。炭化物を非常に多く、細かい破砕貝を中量、灰、焼けた破砕貝を少量含む。
							2 層	オリーブ褐　(2.5Y4/3)	粘性やや有り締り強い。破砕貝を多く含む。
54	92	38 号	焚き火址	B･C-6	C	34.3 × 28.9 × 2.0	1 層	灰オリーブ（5Y4/2）	粘性やや有り締り強い。灰を多く、焼けた破砕貝、焼土を少量、炭化物を僅かに含む。
54	92	39 号	焚き火址	B-5	A	30.0 × 26.3 × 1.8	1 層	オリーブ黒（5Y3/2）	粘性有り締りやや有り。灰を多く、破砕貝を中量、焼けた破砕貝、炭化物を少量含む。
54	92	40 号	焚き火址	B-5	C	28.2 × 23.4 × 1.1	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性強く締りも有る。焼けた破砕貝､灰を多く､炭化物を僅かに含む。
54	92	41 号	焚き火址	C-5	C	41.1 × 36.0 × 2.0	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性・締り共に有り。灰、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
54	92	42 号	焚き火址	C-5	A	50.4 × 35.3 × 2.5	1 層	暗灰黄（2.5Y4/2）	粘性・締り共にやや有り。破砕貝を多く、焼けた破砕貝を中量、灰、炭化物を少量含む。
54	92	43 号	焚き火址	C-5	A	25.2 × (21.0) × 1.6	1 層	オリーブ褐（2.5Y4/3）	粘性・締り共に有り。灰、破砕貝を中量、炭化物を少量含む。
54	93	44 号	焚き火址	B･C-4	C	61.3 × 39.7 × 1.9	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性やや有り締り強い。炭化物を多く、灰、破砕貝を中量、焼けた破砕貝を少量含む。
54	93	45 号	焚き火址	B･C-4･5	C	185.9 × 129.3 × 1.5	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性やや有り締り強い。破砕貝を多く、焼けた破砕貝、炭化物、灰を少量含む。
54	93	46 号	焚き火址	C-4	A	39.4 × 32.6 × 4.7	1 層	暗オリーブ（5Y4/3）	粘性やや有り締り強い。灰を多く、破砕貝を中量、焼けた破砕貝、炭化物を少量含む。

2）遺物（第 55 ～ 57 図、第 54 ～ 57 表、図版 114・115）

3 面より出土した遺物は土器 42 点、1235.4g、土製品 8 点、516.8g、石器 5 点、8235.7g である。そのうち遺構出土の土器は 1 点、10.5g である。遺物の分布は B 区南側、遺構の周辺で出土している傾向がある。A 区ではやや散漫な出土状況だが、3 面として捉えている 18 層付近で多く出土している。貝層とシルト質土または下総層群上泉層（東京層）との間の深い貝層で出土したものもあるが、海中投棄に伴って流されたものと思われる（第 55 図）。ここでは図示可能な土器 41 点と土製品 8 点、石器 5 点を掲載した。

A　土器（第 56 図、第 54・55 表、図版 114）

前期後葉

2 は口縁部破片である。口縁部は平滑であり、単節 LR の縄文が施文された後、棒状工具による横位連続刺突が施文される。諸磯 b 式である。

中期初頭

3 ～ 5 は口縁部破片である。3 は口唇部に爪形文が施され、口縁部に集合沈線が施文される五領ヶ台 I 式である。4 は半裁竹管による縦位方向の連続する短沈線施文後に、口縁部直下横位、縦位に沈線が施文され、口縁部直下に突起が張り付けられている。五領ヶ台 I 式とみられる。5 は無文であり、口縁は平縁である。

中期前葉～中葉

6 ～ 8 は口縁部破片であり、勝坂 1 式に比定される。6 は D 字形の爪形文と波状沈線が施文される。7 は口唇部にキャタピラ文と沈線が施文される。勝坂 2 式である。8 は波状文と三角押文によるキャタピラ文が施文される。勝坂 1 式の範疇である。9 ～ 11 は胴部破片である。9・10 は隆帯脇に幅の狭い角押文と波状沈線をともなうキャタピラ文が施文される。11 は隆帯とキャタピラ文を組み合わせた三角形区画文をもつ胴部破片である。勝坂 2 式である。12 ～ 16 は口縁部破片で、12 は口唇部に刻み目をもち、波状口縁を呈す。口縁部に幅の狭い竹管押引きによるキャタピラ文が施される。13 は隆帯脇を幅狭なキャタピラ文が施文される。14・15 は波状口縁を呈し、眼鏡状突起をもつ口縁部破片である。14 は波状口縁の一部が欠損している。楕円形区画文内は、三角押文・キャタピラ文と沈線文が施文される。15 は波状口縁内に三角押文が施文される。楕円形区画文内にキャタピラ文と沈線文が施文される。これらは勝坂 2 式の範疇であり、同一個体の可能性がある。16 は眼鏡状突起が付く胴部破片である。隆帯による楕円形区画が施され、キャタピラ文が施文されるとみられる。勝坂 2 式とみられる。17 は胴部破片で、隆帯上に刻み目が施される。18 は口縁部破片で、半裁竹管腹面による横位沈線と沈線区画によるパネル文が施文される。勝坂 2 式である。19・20 は胴部破片である。半裁竹管腹面による褶曲文が施文される。勝坂 3 式であり、同一個体の可能性がある。21・22 は無文の胴部破片で、接合はしないが胎土中に金雲母と石英を含んでいる点で類似しており、同一個体の可能性がある。

中期後葉

23 は口縁部に渦巻をともなう窓枠文が付き、区画内に RL の縄文が充填される。頸部に 2 条の横位沈線が巡り、胴部の沈線による区画内単節 RL の縄文が施文される。胴部文様は渦巻文をともなうタイプか。24 は口縁部破片、25 は頸部破片である。24 は沈線による窓枠状の区画文が配される。

25 は単節 RL の縄文と沈線による窓枠状のモチーフをもつ。26・27 は胴部破片である。26 は地文に単節 RL の縄文が施文され、太沈線により区画される。27 は LR の縄文が施文され、沈線で区画される。加曽利 E2 式である。28 は胴部破片で、縄文が施文され、太沈線が施文される。加曽利 E3 式に比定される。

29 ～ 33 は地文に条線が施文される胴部破片で、29 は縦位の条線に 1 本の沈線が垂下する。30 ～ 32 は縦位の条線が施文される。加曽利 E2 式と推定される。33 は地文に波状を呈す条線が施文される。加曽利 E3 式に比定される。34 ～ 37 は RL の縄文が施文され、磨り消しがともなう胴部破片である。38・39 は無文の口縁部破片、40・41 は無文の胴部破片である。胎土や調整、色調から 38 ～ 41 は同一個体と思われる。これらは加曽利 E3 式か。

B　土製品（第 57 図、第 56 表、図版 114）

42 ～ 49 は土器片錘である。42 は口縁部破片を転用した大型の土器片錘である。左右の辺に抉りが観察される。炭化物が口縁部直下に大量に付着する。43 も口縁部破片を転用した大型の土器片錘である。左右の辺に刻みないしは抉りが看取される。勝坂 3 式土器であろうか。44 は左右の辺に切目が施されたもので、勝坂 3 式の頸部付近の破片が転用されたものと思われる。45 も左右の辺に切目が施されたもので、勝坂 3 式の頸部破片の転用である。46 は下辺に抉りが施される。上・左右の辺の加工は破損によるものか、明瞭ではない。RL の縄文と太沈線による施文が観察され、加曽利 E2 式の胴部破片の転用と考えられる。47 は条線が看取される胴部破片で、左辺に切目が観察されるが、右辺は破損していると思われる。48 は右辺のみに抉りが看取され、左辺は欠損しているものと思われる。無文の胴部破片が転用されたものである。49 は左右の辺に僅かな刻みが看取されるもので、無文の胴部破片が転用されたものである。この 49 を除き、3 面の土器片錘は概して大型である。

C　石器（第 57 図、第 57 表、図版 115）

3 面からは剥片、打製石斧、石錘、磨石、台石が各 1 点出土した。

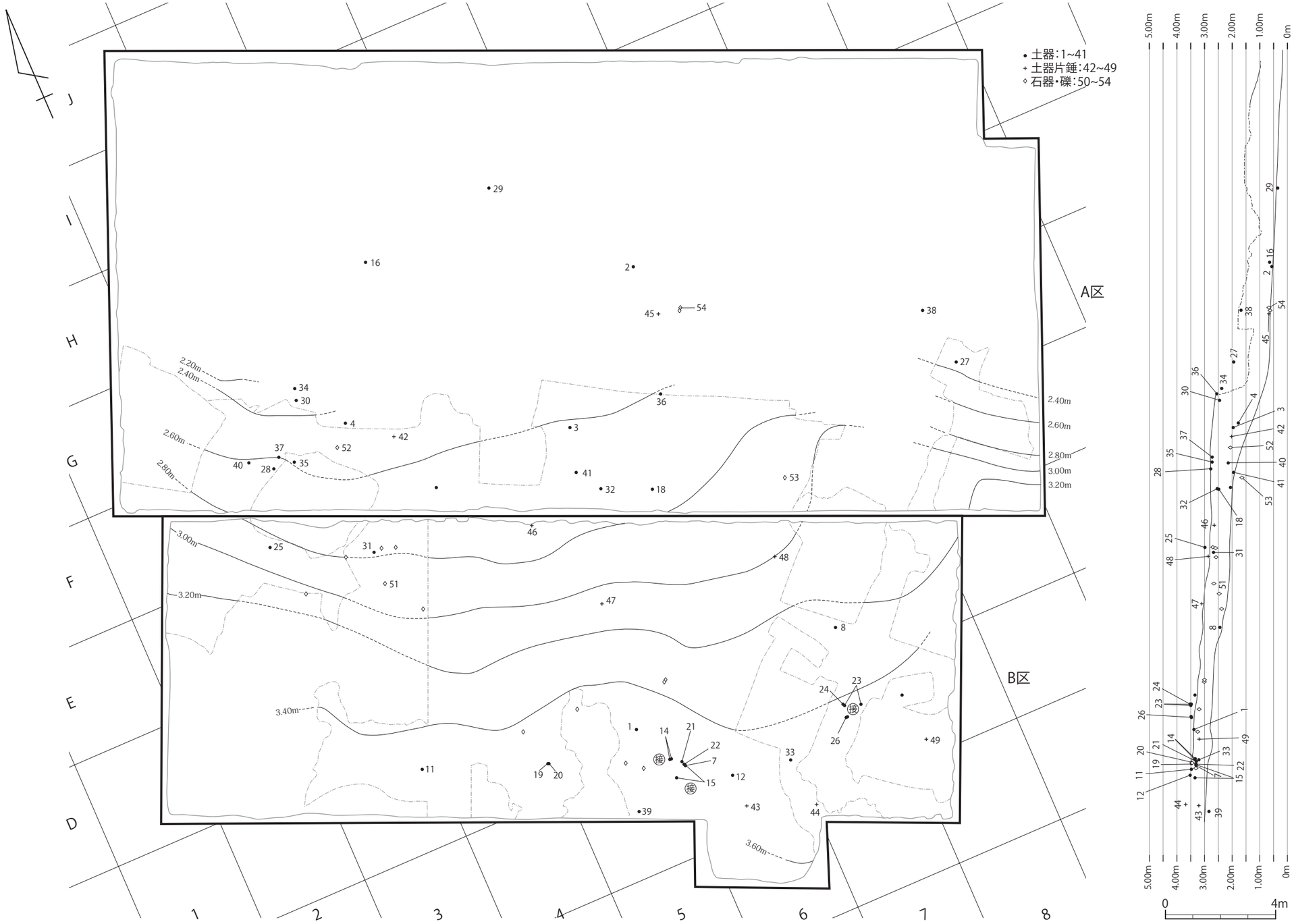
50 は剥片である。横長の薄手の剥片で、二次加工は看取されない。石材は黒曜石である。

51 は打製石斧である。刃部が欠損しているが撥形ないしは短冊形と思われる。表面に自然面が残存し、両側縁には形態調整を行ったと思われる敲打痕による潰れた面が看取される。石材は砂岩である。

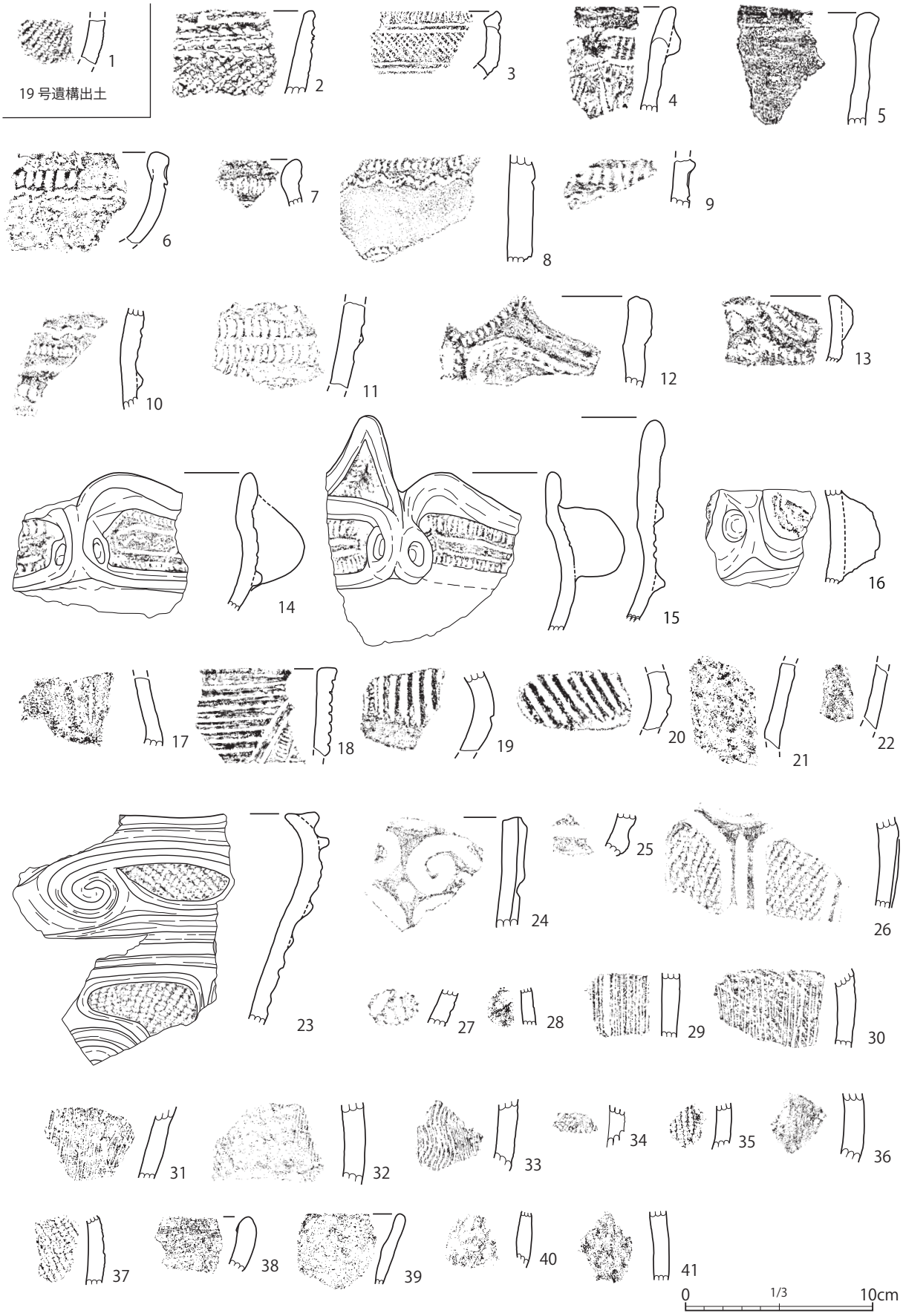
52 は石錘である。薄手で長楕円形の礫を選択し、左側縁には敲打によるものと思われる抉りが看取される。右側縁はガジリだが、僅かに敲打痕が看取される。表・裏面共に風化により部分的に礫面が剥離する。石材は砂岩である。

53 は磨石である。平面形態は楕円形である。石質が軟質のため風化が著しいが、表面中央部付近に磨面が観察される。裏面は部分的に剥離、欠損しているが、広範囲に磨面が形成されていたものと思われる。石材は弱固結泥凝灰質泥岩である。

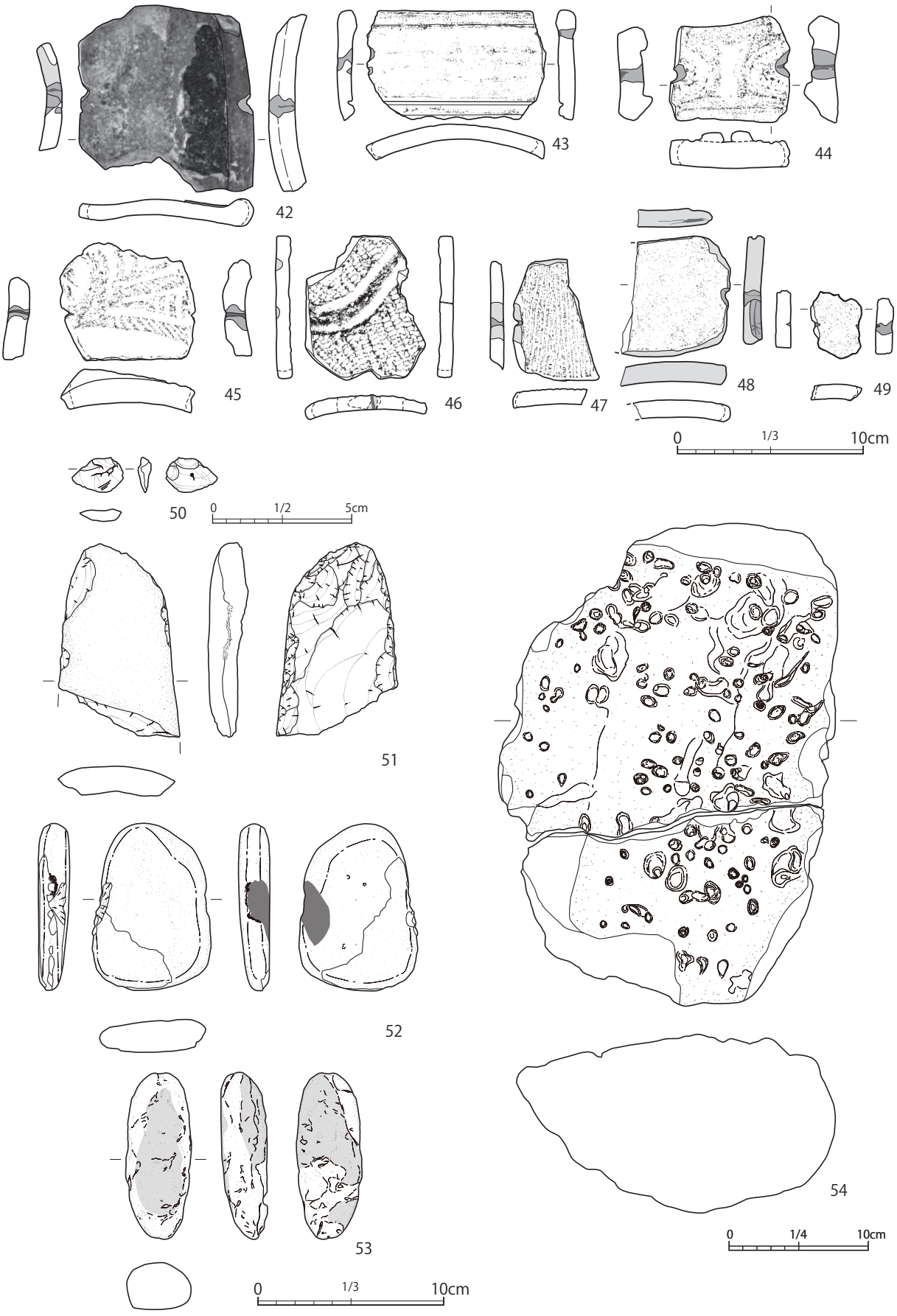
54 は台石である。作業面は平坦面が形成され、部分的に研磨によるものと思われる面が観察される。石材は砂質凝灰岩である。



第 55 図　3 面出土遺物分布図（1/150）



第 56 図　3 面出土遺物（1）（1/3）



第 57 図　3 面出土遺物（2）（1/2・1/3・1/4）

第 54 表　3 面出土土器観察表（1）

挿図番号	図版番号	調査区	グリッド・コラムNo.	出土層位	時　期	器種	部位	型　式	文　様	色調（外）	色調（内）	焼成	胎　土
56-1	114-1	B 区	C-5	20 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E	縄文（RL）	にぶい褐色（10YR5/4）	黒褐色（10YR3/1）	やや良好	石英、長石
56-2	114-2	A 区	G-7	25 層	前期後葉	深鉢	口縁部	諸磯 b	縄文（LR）、連続刺突文	にぶい赤褐色（5YR4/3）	にぶい赤褐色（5YR5/3）	良好	石英、赤褐粒
56-3	114-3	A 区	F-6	21 層	中期初頭	深鉢	口縁部	五領ヶ台 I	爪形文、集合沈線	黒褐色（2.5Y3/1）	暗灰色（2.5YR4/2）	良好	石英、輝石
56-4	114-4	A 区	F-4	40 層	中期初頭	深鉢	口縁部	五領ヶ台 I	沈線、ボタン状突起	黒褐色（3Y3/2）	黒色（10YR2/1）	良好	チャート
56-5	114-5	B 区	C5	18 層	中期初頭	深鉢	口縁部	五領ヶ台 I	無文	黒褐色（10YR2/2）	褐色（10YR4/3）	良好	石英、輝石
56-6	114-6	A 区	C20	25′層	中期前葉～中葉	深鉢	口縁部	勝坂 2	D 字形の爪形文、波状沈線	褐色（7.5YR4/3）	褐灰色（7.5YR4/1）	やや良好	白色粒
56-7	114-7	B 区	B-6	19 層	中期前葉～中葉	深鉢	口縁部	勝坂 2	キャタピラ文、沈線	灰黄褐色（10YR4/2）	黒褐色（10YR3/1）	やや良好	金雲母、石英
56-8	114-8	B 区	C-7	27 層	中期前葉	深鉢	胴部	勝坂 1	連続爪形文、波状文	黒褐色（10YR3/1）	黒色（10YR1.7/1）	良好	白色粒、赤褐色、金雲母
56-9	114-9	A 区	C16	25 層	中期前葉～中葉	深鉢	胴部	勝坂 2	キャタピラ文、沈線	灰黄褐色（10YR4/2）	褐灰色（10YR6/2）	良好	白色粒
56-10	114-10	A 区	C19	35 層	中期前葉～中葉	深鉢	頸部	勝坂 2	キャタピラ文、沈線	オリーブ褐色（2.5Y4/3）	黄灰色（2.5Y4/1）	やや良好	金雲母、長石
56-11	114-11	B 区	C-3	20 層	中期前葉～中葉	深鉢	胴部	勝坂 2	隆帯、キャタピラ文	にぶい赤褐色（5YR5/4）	明赤褐色（5YR5/6）	良好	砂、長石
56-12	114-12	B 区	B-6	19 層	中期前葉～中葉	深鉢	口縁部	勝坂 2	口唇部刻目、キャタピラ文	明赤褐色（5YR5/6）	黒褐色（5YR2/1）	良好	金雲母、石英
56-13	114-13	B 区	C1	18 層	中期前葉～中葉	深鉢	胴部	勝坂 2	隆帯、キャタピラ文	暗灰黄色（2.5YR5/2）	黄灰色（2.5Y4/1）	やや良好	金雲母、石英
56-14	114-14	B 区	B-5	19 層	中期前葉～中葉	深鉢	口縁部	勝坂 2	三角押文、キャタピラ文、沈線	にぶい褐色（7.5YR5/4）	黒褐色（7.5YR3/1）	良好	金雲母、石英
56-15	114-15	B 区	B-5	19 層	中期前葉～中葉	深鉢	口縁部	勝坂 2	キャタピラ文、沈線	にぶい褐色（7.5YR5/4）	黒褐色（7.5YR3/1）	良好	金雲母、石英
56-16	114-16	A 区	H-5	18′層	中期前葉～中葉	深鉢	頸部	勝坂 2	眼鏡状突起、キャタピラ文	黒褐色（2.5YR3/1）	暗灰黄色（2.5YR4/2）	良好	金雲母、石英
56-17	114-17	A 区	C10	21 層	中期前葉～中葉	深鉢	口縁部	勝坂 2	隆帯（刻目）	赤褐色（5YR5/3）	黄褐色（2.5Y5/3）	やや良好	金雲母、石英
56-18	114-18	A 区	E-6	22 層	中期前葉～中葉	深鉢	口縁部	勝坂 2	沈線、隆帯（刻目）	にぶい黄褐色（10YR6/3）	にぶい黄褐色（10YR5/3）	良好	赤色粒、砂
56-19	114-19	B 区	C-4	20 層	中期中葉	深鉢	頸部	勝坂 3	褶曲文	黒褐色（10YR2/3）	暗灰色（10YR3/3）	良好	石英、輝石
56-20	114-20	B 区	C-5	20 層	中期中葉	深鉢	頸部	勝坂 3	褶曲文	黒褐色（10YR2/3）	暗灰色（10YR3/3）	良好	石英、輝石
56-21	114-21	B 区	B-6	20 層	中期前葉～中葉	深鉢	胴部	勝坂	無文	褐色（7.5YR4/3）	黒褐色（10YR3/1）	良好	金雲母、石英
56-22	114-22	B 区	B-6	20 層	中期前葉～中葉	深鉢	胴部	勝坂	無文	褐色（7.5YR4/3）	黒褐色（10YR3/1）	良好	金雲母、石英
56-23	114-23	B 区	B-7	19 層	中期後葉	深鉢	口縁部	加曽利 E2	窓枠文、縄文（RL）、渦巻文？	にぶい黄褐色（10YR5/3）	にぶい黄褐色（10YR6/3）	良好	長石、チャート
56-24	114-24	B 区	B-7	20 層	中期後葉	深鉢	口縁部	加曽利 E2 ～ 3	縄文（RL）	にぶい褐色（7.5YR5/4）	黄褐色（10YR5/6）	良好	石英、長石
56-25	114-25	B 区	F-3	18 層	中期後葉	深鉢	頸部		縄文（RL）、沈線	褐灰色（10YR4/1）	褐灰色（10YR4/1）	やや良好	白色粒
56-26	114-26	B 区	B-7	20 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E2	縄文（RL）、太沈線	にぶい褐色（7.5YR5/4）	灰褐色（7.5YR4/2）	良好	赤色粒
56-27	114-27	A 区	E-9	21 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E2	縄文（LR）、沈線	黒色（10YR2/1）	黒色（10YR2/1）	良好	砂
56-28	114-28	A 区	F-3	18 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E3	縄文、太沈線、磨り消し	褐灰色（10YR4/1）	褐灰色（10YR5/1）	やや良好	白色粒、チャート
56-29	114-29	A 区	H-6	18′層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E2	条線、沈線	にぶい黄褐色（10YR5/3）	にぶい褐色（7.5YR5/4）	良好	白色粒
56-30	114-30	A 区	G-4	18 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E2	条線	灰黄褐色（10YR4/2）	灰黄褐色（10YR5/2）	やや良好	白色粒、砂岩
56-31	114-31	B 区	E-4	39 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E2	条線	灰黄褐色（10YR6/2）	にぶい褐色（7.5YR5/3）	やや良好	
56-32	114-32	A 区	E-6	22 層	中期？	深鉢	胴部	加曽利 E2	条線	にぶい褐色（7.5YR5/3）	黒褐色（7.5YR3/2）	やや良好	赤褐粒
56-33	114-33	A 区	B-6	18′層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E3	波状条線	黒色（10YR1.7/1）	黒褐色（10YR3/1）	良好	赤褐粒、長石

第 55 表　3 面出土土器観察表（2）

挿図番号	図版番号	調査区	グリッド・コラムNo.	出土層位	時　期	器種	部位	型　式	文　様	色調（外）	色調（内）	焼成	胎　土
56-34	114-34	A 区	G-4	18 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E3 ？	縄文（RL）	褐灰色（10YR4/1）	黒褐色（10YR3/1）	良好	石英、長石
56-35	114-35	A 区	F-3	18 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E3 ？	縄文（RL）	黒色（10YR2/1）	黒色（10YR1.7/1）	良好	石英、長石
56-36	114-36	A 区	E-7	18 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E3 ？	縄文（RL）、磨り消し	灰黄褐色（10YR6/2）	黒褐色（10YR1.7/1）	やや良好	石英、長石
56-37	114-37	A 区	F-3	18 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E3 ？	縄文（RL）	黒色（10YR2/1）	黒色（10YR1.7/1）	良好	石英、長石
56-38	114-38	A 区	E-9	22 層	中期後葉	深鉢	口縁部		無文	黒褐色（10YR3/1）	黒色（10YR2/1）	やや良好	白色粒
56-39	114-39	A 区	B-5	19 層	中期後葉？	深鉢	口縁部		無文	褐色（7.5YR4/3）	灰オリーブ（5Y4/2）	やや良好	砂粒子、石英
56-40	114-40	A 区	F-3	25 層	中期？	深鉢	胴部		無文	黒褐色（2.5Y3/1）	灰黄褐色（10YR4/2）	良好	石英
56-41	114-41	A 区	E-6	25 層	中期？	深鉢	胴部		無文	灰黄褐色（10YR4/2）	黒褐色（10YR1.7/1）	良好	赤褐粒、石英、チャート

第 56 表　3 面出土土製品観察表

挿図番号	図版番号	調査区	グリッド・コラムNo.	出土層位	時期	器種	部位	型　式	文　様	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	色調（外）	色調（内）	焼成	胎　土
57-42	114-42	A 区	F-4	22 層	中期初頭	深鉢	口縁部	五領ヶ台 I?	無文	9.75	9.5	1	127.6	黒色（10YR2/1）	黒褐色（10YR3/1）	良好	白色粒、長石
57-43	114-43	B 区	B-6	26 層	中期中葉	深鉢	口縁部	勝坂 3	半裁竹管による沈線	9.65	5.95	0.85	79.4	黒褐色（10YR3/2）	黒褐色（10YR3/1）	良好	白色粒
57-44	114-44	B 区	B-7	19 層	中期中葉	深鉢	口縁部	勝坂 3	隆帯、半裁竹管による爪形文	6.6	5.7	2	87.9	褐色（7.5YR4/4）	褐色（7.5YR4/3）	良好	金雲母・石英
57-45	114-45	A 区	F-7	25′層	中期中葉	深鉢	胴部	勝坂 3	沈線、隆帯（刻み目）	7.25	6.4	2	83	にぶい黄橙色（10YR6/3）	褐灰色（10YR4/1）	良好	石英、金雲母、長石
57-46	114-46	B 区	E-5	25 層	中期後葉	深鉢	胴部	連弧文	前段多縄（RL）、2 条の沈線文	7.65	6.5	0.8	48	灰黄褐色（10YR5/2）	黒褐色（10YR3/1）	良好	赤褐粒、チャート？
57-47	114-47	B 区	D-5	18 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E	沈線（刷毛目）	6.5	4	0.8	27	にぶい黄橙色（10YR7/4）	黒褐色（10YR3/1）	良好	—
57-48	114-48	B 区	D-7	19 層	中期	深鉢	胴部		無文	6.4	5.4	1	54	灰褐色（7.5YR4/2）	褐色（7.5YR4/3）	良好	赤褐粒、長石
57-49	114-49	B 区	B-8	20 層	中期	深鉢	胴部		無文	3	2.8	0.95	9.9	暗赤褐色（5YR3/4）	暗赤褐色（5YR3/2）	良好	石英

第 57 表　3 面出土石器観察表

挿図番号	図版番号	調査区	グリッド・コラムNo.	出土層位	器　種	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	石　材	備　考
57-50	115-50	A 区	C11	25 層	剥片	13	18	5	0.7	黒曜石	
57-51	115-51	A 区	E-4	25 層	打製石斧	（105）	（66）	21	137.4	砂岩	刃部欠損
57-52	115-52	A 区	F-4	40 層	石錘	90	64	17	159.7	砂岩	
57-53	115-53	A 区	D-7	23 層	磨石	89	35	25	37.9	弱固結泥凝灰質泥岩	軽石
57-54	115-54	A 区	F-7	25 層	台石か	344	240	128	7900	砂質凝灰岩	

4 面

1）遺構（第 58 ～ 64 図、第 58 ～ 62 表、図版 101 ～ 106）

4 面からは集石が 1 基、杭が 39 基、溝状遺構が 1 基検出されている。集石が検出されたのは B 区中央部 38 層の砂礫層上、杭も B 区 28 層～ 30 層のシルト質土、38 層の砂礫層上、40 層の砂質シルト質土中から検出されている。杭は A 区の南側～ B 区の中央部にかけて分布し、第 59 図の等高線を参照すると、A 区の標高 1.7cm ～ B 区の標高 2.7cm 付近に北西から南東に帯状に分布する。溝状遺構は A 区北側、下総層群上泉層（東京層）に看取された。第 59 図に 4 面遺構全体図・遺構位置割付図を掲載した。割付拡大図については遺構図とともに第 60 ～ 64 図に掲載している。

A　集石（第 60 図、第 58 表）

47 号遺構（第 60 図、第 58 表）

B 区南側、C-5 グリッドに位置する。平面形態は、握り拳大の礫が 1 か所に集中しているが、定型的ではなく、不定形である。規模は長軸 118.0cm、短軸 115.0cm である。検出状況は 38 層の砂礫層を精査中に検出された。38 層の砂礫層を構成する礫は概ね径 20 ～ 40㎜が多く、いわば小礫がほとんどであるが、C-5 グリッド付近で最小のもので 47㎜、最大のもので 135㎜の礫がやや散漫ながらも集中している箇所が認められたため、人為的に一定サイズの礫が集められたと考え、集石として取り扱った。掘り込み等は観察されなかった。B 区南側は貝層下に 38 層の砂礫層が検出され、それが東西方向に伸びて礫浜状の旧海岸線を形成するが、他の 38 層の砂礫層が検出されたグリッドからは、47 号遺構と同様のものは検出されていない。集石として捉えた礫は 24 点で、総重量は 8112.3g である。

石質の内訳は砂岩が 13 点（5184.6g）、ホルンフェルスが 2 点（657.5g）、チャートが 8 点（2107.9g）、弱固結凝灰質泥岩が 1 点（162.3g）であった。これらの礫には被熱による赤化や、加工痕、破砕等の人為的な痕跡は認められない。遺構の時期決定を可能にする遺物の出土は無いが、遺構周辺及び 38 層上からは中期初頭～中期前半の土器が出土していることから、これらの時期との関連が考えられる。

B　杭（第 61 ～ 63 図、第 59 ～ 61 表、図版 101 ～ 105、117 ～ 119）

杭 1（第 61 図、第 59 表、図版 101）

B 区 B-8 グリッドに位置する。棒状で、上部・先端部とも欠損している。部分的に樹皮ないしは炭化した箇所が残存する。規模は高さ 68.0cm、杭幅 8.0cm である。38 層上で検出され、先端部は欠損しているが 41 層中で出土している。杭は後の土圧によるものか、北東側に向かって中途で歪みながら傾く状況で 38 層～ 41 層にかけて検出されている。樹種はニワトコ属である。時期は 38 層上で中期初頭～前半の土器が出土していることから、これらの時期との関連が考えられる。

杭 2（第 63 図、第 59 表、図版 101）

B 区 E-4 グリッドに位置する。棒状で、上部・先端部とも欠損している。部分的に炭化による黒色化が看取される。形態の加工痕はあまり見られない。規模は高さ 35.0cm、杭幅 6.0cm である。

40 層上で検出され、上部は欠損している。杭は後の土圧によるものか、北東側に向かって傾く状況で 40・41 層にかけて検出された。樹種はクサギである。時期は 38 層上で中期初頭～前半の土器の出土していることから、これらの時期との関連が考えられる。

杭 4（第 61 図、第 59 表、図版 101）

B 区 D-5 グリッドに位置する。棒状で、上部～中央部は削って若干の形態調整を行っている様相が伺え、先端部は炭化して尖っている。高さ 10.4cm、杭幅 6.0cm である。杭の上部は 25 層上で検出され、先端部は 41 層中に食い込んでいる。杭はほぼ垂直だが、ごく僅かに北東側に傾く状況で検出された。樹種はクサギである。時期は検出された層序が 25 層であるが、この杭 4 については年代測定により、縄文時代中期初頭～前半（4595 ± 22yrBP）の年代が付与されている。

杭 5（第 61 図、第 59 表、図版 101）

B 区 E-6 グリッドに位置する。先端部は割れて二股に分かれている。規模は高さ 82.0cm、杭幅 4.0cm である。杭の上部は 25 層で検出され、先端部は 41 層中に食い込んでいる。杭は後の土圧によるものか、41 層から弧状に北東側に曲がって斜位で検出された。樹種はタケ亜科である。検出された層序は 25 層で、時期は杭 4 と同様に縄文時代中期初頭～前半の可能性があるが、不明である。

杭 6（第 62 図、第 59 表、図版 101）

B 区 D-5 グリッドに位置する。棒状で、両端は折れている。部分的に線条痕や凹みが看取される。

規模は高さ 26.0cm、杭幅 6.0cm である。杭の上部は 38 層で検出されたが、下部は 38 層中で北東側に折れて検出されている。樹種はクスノキ科である。時期は 38 層で検出されたため、縄文時代中期初頭～前半の可能性が示唆される。

杭 7（第 62 図、第 59 表、図版 101）

B 区 D-5 グリッドに位置する。棒状で、中途で欠損し、先端部も欠損している。規模は高さ 26.0cm、杭幅 4.0cm である。38 層中で北東側に倒れた状態で検出されている。樹種はアカメガシワである。38 層で検出されたため、縄文時代中期初頭～前半の可能性が示唆される。

杭 8（第 63 図、第 59 表、図版 101）

B 区 F-2 グリッドに位置する。棒状で、全体的に摩滅している。先端部を面状に削って尖らせている部分が観察される。規模は高さ 48.0cm、杭幅 6.0cm である。25 層から検出され、先端部は 39 層に到達する。杭はほぼ垂直に打ち込まれているが、ごく僅かに北東側に傾く状況で検出された。樹種はカエデ属である。検出された層序が 25 層で、時期は他の杭と同様に縄文時代中期初頭～前半の可能性も想定されるが、不明である。

杭 9（第 63 図、第 59 表、図版 102）

B 区 E-4 グリッドに位置する。樹皮が部分的に炭化して残存する。節なども残存し、あまり加工が施されていない。規模は高さ 58.0cm、杭幅 7.0cm である。杭 10 と北西－南東方向で並列している。杭は北東側に傾く状況で検出されている。25 層で検出され、先端は 39 層まで到達する。樹種はヤナギ属である。時期は検出された層序が 25 層であることから、他の杭と同様に縄文時代中期初頭～前半の可能性があるが、不明である。

杭 10（第 63 図、第 59 表、図版 102）

B 区 E-4 グリッドに位置する。樹皮が部分的に炭化して残存する。先端部は炭化してやや尖り気味だが丸みを帯びている。規模は高さ 52.0cm、杭幅 7.0cm である。杭 9 と北西－南東方向で並列し、北東側に傾く状況で検出された。27 層で検出され、杭 10 と同様、先端部は 39 層まで到達する。樹種はクリである。時期は検出された層序が 27 層で、他の杭と同様に縄文時代中期初頭～前半の可能

性があるが、不明である。

杭 11（第 63 図、第 59 表、図版 102）

B 区 E-4 グリッドに位置する。上部・先端部は欠損し、一部残存している。規模は高さ 22.0cm、杭幅 3.0cm である。北東側に傾く状況で 30・39 層で検出された。樹種はタケ亜科である。時期は検出された層序が 30 層で、他の杭と同様に縄文時代中期初頭～前半の可能性もあるが、不明である。

杭 12（第 63 図、第 60 表、図版 102）

B 区 E-4 グリッドに位置する。上端部は不明だが先端部はやや尖る様相が伺える。高さ 78.0cm、杭幅 4.0cm である。上部は破損し、全体的に北東側に傾く状況で検出された。掘り方か、1 ～ 3 層が看取された。周囲の土層は 30・39 ～ 41 層である。樹種はタケ亜科である。時期は検出された層序が 30 層で、他の杭と同様に縄文時代中期初頭～前半の可能性も想定されるが、不明である。

杭 13（第 61 図、第 60 表、図版 102）

B 区 C-6 グリッドに位置する。先端部は尖る部分も看取されるが、潰れて丸みを帯びる。規模は高さ 18.0cm、杭幅 4.5cm である。全体的に北東側に傾く状況で 40・41 層から検出された。時期は検出された層序が 40 層で、38 層よりも下層だが、上部が欠損していることから縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 14（第 62 図、第 60 表、図版 102）

B 区 C-6 グリッドに位置する。上端部及び先端部が欠損し、規模は高さ 48.0cm、杭幅 6.0cm である。北東側にほぼ横倒しに傾く状況で 38・39 層から検出された。樹種はニシキギ属である。時期は検出された層序が 38 層のため、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 15（第 61 図、第 60 表、図版 103）

B 区 C-6 グリッドに位置する。上端部及び先端部が欠損していると思われる。規模は高さ 45.0cm、杭幅 6.0cm である。北東側に傾く状況で 39・40 層から検出された。樹種はケンポナシ属である。時期は検出された層序が 39 層のため、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 16（第 62 図、第 60 表、図版 103）

B 区 D-4 グリッドに位置する。1 箇所折れており、先端部は鉛筆状に削られているが、潰れてやや鈍角である。規模は高さ 64.0cm、杭幅 8.0cm である。北東側に僅かに傾く状況で 39 ～ 42 層から検出されている。樹種はクスノキ科である。時期は検出された層序が 39 層のため、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 17（第 62 図、第 60 表、図版 103）

B 区 D-4 グリッドに位置する。先端部が部分的に残存か。形態はあまり加工された痕跡が見られない。規模は高さ 23.0cm、杭幅 3.0cm である。北東側に傾く状況で 39・40 層から検出されている。樹種はクサギである。時期は検出された層序が 39 層のため、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 18（第 62 図、第 60 表、図版 103）

B 区 C・D-5 グリッドに位置する。4 箇所折れており、先端部は一方向から削って尖らせている。

規模は高さ 24.0cm、杭幅 4.0cm である。北東側にほぼ横倒しに傾く状況で 39・40 層から検出されている。樹種クワ属である。時期は検出された層序が 39 層のため、縄文時代中期初頭～前半の可

能性がある。

杭 19（第 62 図、第 60 表、図版 103）

B 区 D-4 グリッドに位置する。全体的に摩滅している。先端部は一方向から削って尖らせているが、鈍角である。規模は高さ 40.0cm、杭幅 5.0cm である。39･40 層内から垂直に検出されているが、上部の 1/4 は折れていて、北東側に傾く状況で検出された。樹種はクサギである。検出された層序が 39 層のため、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 20（第 62 図、第 60 表、図版 103）

B 区 D-4 グリッドに位置する。先端部、上端部は欠損し、一部のみ残存。摩滅しており、形態調整の痕跡は不明瞭である。規模は高さ 20.0cm、杭幅 6.0cm である。ごく僅かに北東側に傾く状況で 40・41 層内から検出された。樹種はクサギである。時期は検出された層序が 40 層であり、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 21（第 62 図、第 60 表、図版 103）

B 区 D-4 グリッドに位置する。先端部は二股に裂けるように割れている。規模は高さ 66.0cm、杭幅 2.0cm である。ごく僅かに北東側に傾く状況で 39 ～ 41 層にかけて検出された。樹種はタケ亜科である。時期は検出された層序が 39 層で、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 22（第 62 図、第 60 表、図版 103）

B 区 D-5 グリッドに位置する。節が観察され、部分的に波打っている。先端部は鈍角に斜めに加工されているものと思われる。規模は高さ 40.0cm、杭幅 2.0cm である。杭 23・24 とともに北側に向かって並ぶように 39 ～ 42 層にかけて検出された。僅かに北東側に傾く状況である。樹種はタケ亜科である。時期は検出された層序が 39 層のため、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 23（第 62 図、第 60 表、図版 103）

B 区 D-5 グリッドに位置する。節が観察され、部分的に波打っている。規模は高さ 46.0cm、杭幅 4.0cm である。杭 22・24 とともに北側に向かって並ぶように、39 ～ 42 層にかけて検出された。僅かに北東側に傾いている。樹種はタケ亜科である。時期は検出された層序が 39 層で、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 24（第 62 図、第 60 表、図版 103）

B 区 D-5 グリッドに位置する。節が観察され、部分的に波打っている。規模は高さ 42.0cm、杭幅 2.0cm である。杭 22・23 とともに北側に向かって並ぶように 39 ～ 42 層にかけて検出された。僅かに北東側に傾く状況である。樹種はタケ亜科である。時期は検出された層序が 39 層で、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 25（第 62 図、第 60 表、図版 104）

B 区 D-5 グリッドに位置する。節が観察され、途中から縦位に半分に割れている。規模は高さ 36.0cm、杭幅 2.0cm である。杭 22 ～ 24 の東側に杭 26・27 とともに北側に向かって並ぶように、39 ～ 42 層にかけて検出された。僅かに北東側に傾く。位置的に杭 22 ～ 27 は一つのまとまりの可能性がある。樹種はタケ亜科である。検出された層序が 39 層で、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 26（第 62 図、第 60 表、図版 104）

B 区 D-5 グリッドに位置する。節が観察され、部分的に波打っている。先端部は鋭角に斜めに加工されているものと思われる。規模は高さ 51.0cm、杭幅 3.0cm である。杭 26・27 とともに北側に向かって並ぶように 39 ～ 42 層から検出された。僅かに北東側に傾く状況である。樹種はタケ亜科である。検出された層序が 39 層で、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 27（第 62 図、第 60 表、図版 104）

節が観察され、部分的に波打っている。先端部は欠損している。規模は高さ 27.0cm、杭幅 3.0cm である。杭 25・26 とともに北側に向かって並ぶように 39 ～ 42 層にかけて検出された。僅かに北東側に傾く状況である。樹種はタケ亜科である。時期は検出された層序が 39 層で、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 28（第 61 図、第 61 表、図版 104）

B 区 C-6 グリッドに位置する。上端部・先端部は欠損している。規模は高さ 21.0cm、杭幅 3.0cm である。杭 29 とともに等高線に沿って並ぶように 39 ～ 42 層にかけて検出された。西側に傾く状況である。樹種はタケ亜科である。時期は検出された層序が 39 層で、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 29（第 61 図、第 61 表、図版 104）

B 区 C-6 グリッドに位置する。節が観察され、部分的に波打っている。先端部は鋭角に斜めに加工されているものと思われる。規模は高さ 61.0cm、杭幅 2.0cm である。杭 28 とともに等高線に沿って並ぶように 40 ～ 42 層にかけて検出された。西側に傾く状況である。樹種はタケ亜科である。時期は検出された層序が 40 層で、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 30（第 61 図、第 61 表、図版 104）

B 区 C-6 グリッドに位置する。全体的に捩れたように波打っている。先端部は欠損している。規模は高さ 26.0cm、杭幅 2.0cm である。杭 31・32 と近接して北側に並ぶように 40 ～ 42 層から検出された。また杭 29 とも近接し、一つのまとまりの可能性がある。杭は北側に傾く状況である。樹種はタケ亜科である。時期は検出された層序が 40 層で、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 31（第 61 図、第 61 表、図版 104）

B 区 C-6 グリッドに位置する。全体的に捩れたように波打っている。一部のみ残存し、全体像は不明である。規模は高さ 16.0cm、杭幅 2.0cm である。杭 30・33 と近接して北側に並ぶように 40 ～ 42 層から検出された。杭は北側にやや大きく傾く状況である。樹種はタケ亜科である。検出された層序が 40 層で、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 32（第 61 図、第 61 表、図版 104）

B 区 C-6 グリッドに位置する。部分的に波打ち、欠損のため空洞部分が観察される。先端部は欠損している。規模は高さ 26.0cm、杭幅 3.0cm である。杭 31・32 と近接して北側に並ぶように 40 ～ 42 層から検出された。杭は北側に傾く状況である。樹種はタケ亜科である。時期は検出された層序が 40 層で、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 33（第 61 図、第 61 表、図版 104）

B 区 C-6 グリッドに位置する。形態は上半部は捩れるように波打つ。先端部は鋭角に斜めに加工されているものと思われる。規模は高さ 92.0cm、杭幅 2.0cm である。杭 30 ～ 32 と近接し、南北

軸で杭 30 と 31 の間に並ぶように、40 ～ 42 層にかけて検出されている。杭は北側に傾く状況である。樹種はタケ亜科である。検出された層序が 40 層で縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 34（第 62 図、第 61 表、図版 104）

B 区 C-4 グリッドに位置する。形態は全体的に波打っている。先端部は欠損によるものか、平坦である。規模は高さ 58.0cm、杭幅 3.0cm である。杭 35 と近接し、南北に並ぶように 39 ～ 42 層から検出されている。杭は北側に傾く状況である。樹種はタケ亜科である。時期は検出された層序が 39 層で、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 35（第 62 図、第 61 表、図版 104）

B 区 C-4 グリッドに位置する。形態は全体的に波打っている。先端部は欠損によるものか、平坦である。規模は高さ 58.0cm、杭幅 2.0cm である。杭 34 と近接し、南北に並ぶように 39 ～ 42 層から検出され杭はごく僅かに北側に傾いている。樹種はタケ亜科である。時期はこの資料については年代測定を行っており、その結果 4595 ± 22yrBP という縄文時代中期初頭～前半という結果が出ている。

杭 36（第 61 図、第 61 表、図版 104）

B 区 C-6 グリッドに位置する。形態は全体的に捩れるように波打つ。先端部は鋭角に斜めに加工されていると思われる。規模は高さ 52.0cm、杭幅 3.0cm である。杭 33 の北側で杭 30 ～ 32 と近接する。南北軸で杭 31 と 32 の間に並ぶように 40・41 層から検出されている。杭は北側に傾く状況である。樹種はタケ亜科である。時期は検出された層序が 40 層で、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 37（第 63 図、第 61 表、図版 104）

A 区 F-4 グリッドに位置する。全体的に摩滅が伺え、先端付近は鈍角に鉛筆状に削られ加工されていると思われるが、先端部は潰れている。規模は高さ 54.0cm、杭幅 4.0cm である。杭は傾くこともなく 40 ～ 42 層にかけて垂直に打ち込まれている。樹種はムクノキである。時期は検出された層序が 40 層で、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 39（第 63 図、第 61 表、図版 104・105）

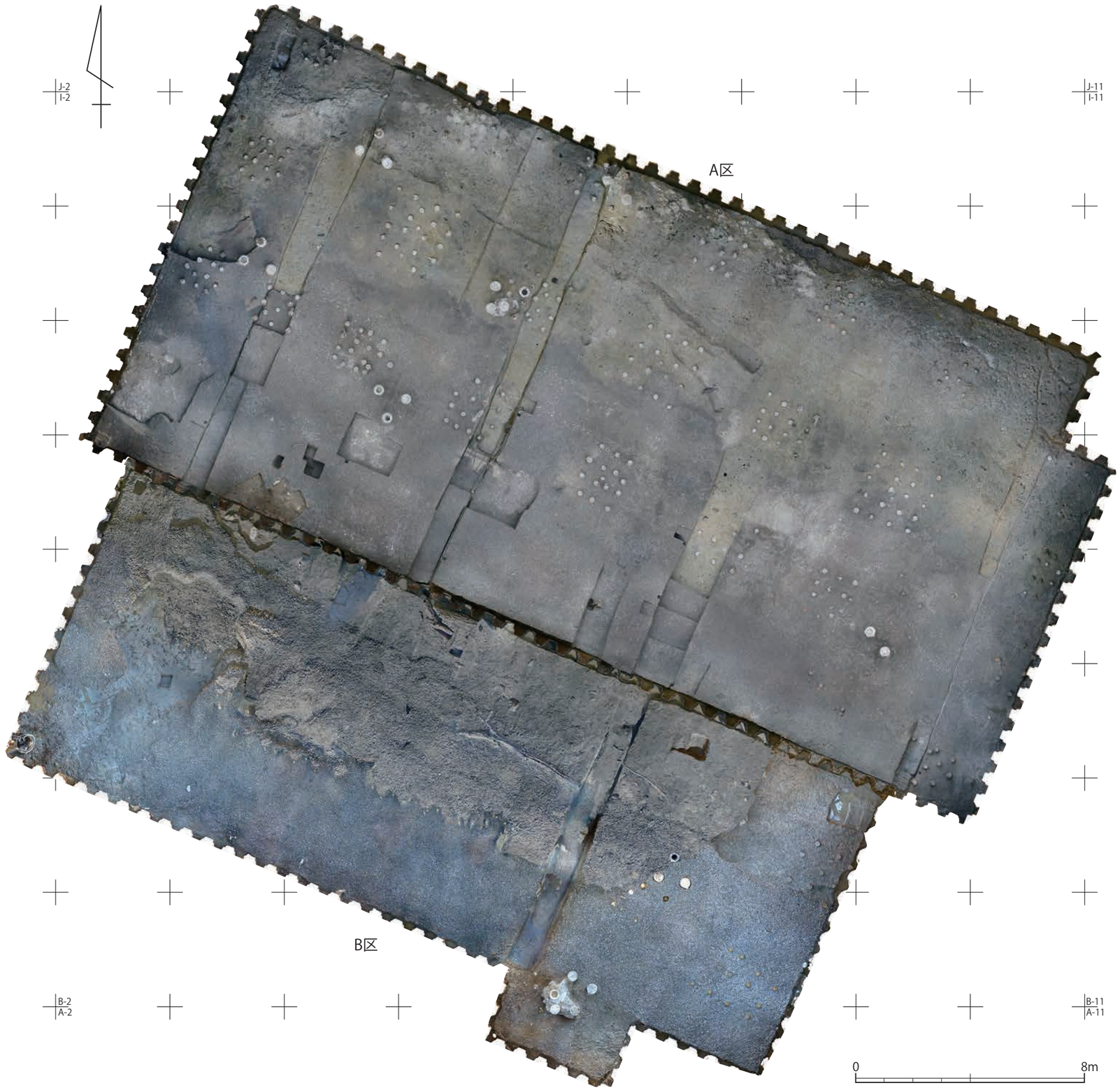
A 区 F-3 グリッドに位置する。遺存状態が良く、樹皮も部分的に残存している。先端部は鈍角に鉛筆状に削られ面状に加工されているものと思われる。規模は高さ 132.0cm、杭幅 10.0cm である。僅かに北側に傾いており、19・25・28・40 ～ 42 層にかけて検出されている。樹種はイヌガヤである。検出された層序が 19 層で他の杭と比較して遺存状態が非常に良く、時期的に下る可能性も考えられるが、不明である。

杭 40（第 63 図、第 61 表、図版 105）

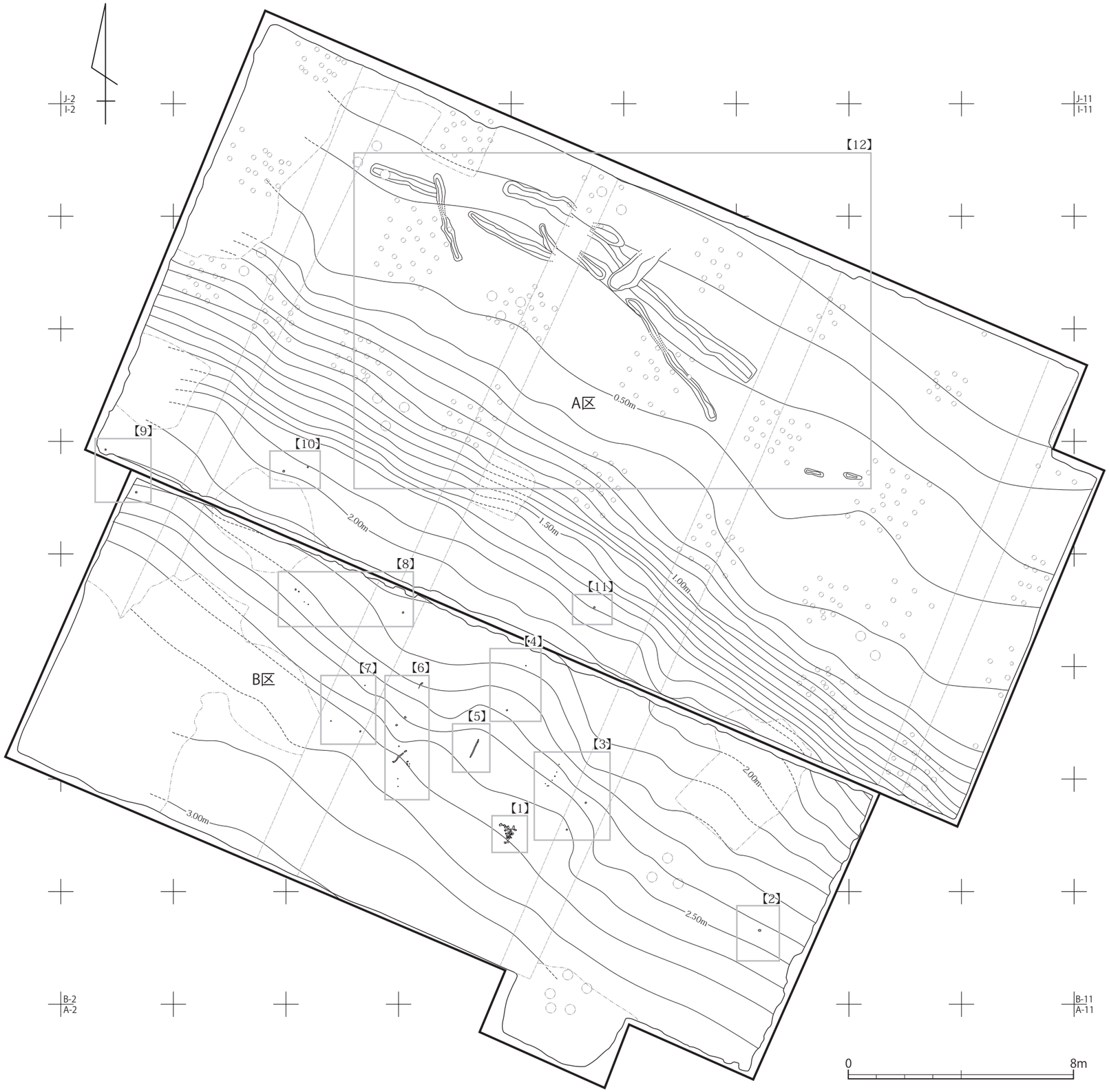
A 区 F-2 グリッドに位置する。全体的に炭化が看取され、先端部は一方向から鋭角に削られている。規模は高さ 28.0cm、杭幅 6.0cm である。北側に傾く状況で 28･40 層から検出されている。樹種はクリである。時期は検出された層序が 28 層で、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

杭 41（第 63 図、第 61 表、図版 105）

A 区 E-6 グリッドに位置する。全体的に炭化が看取され、1 箇所折れている。先端部は鉛筆状に鈍角に削られ加工されている。規模は高さ 39.0cm、杭幅 7.0cm である。北側に傾く状況で、28・40



第 58 図　4 面全景写真（1/150）



第 59 図　4 面 全体図・遺構位置割付図（1/150）

層から検出されている。樹種はクリである。時期は検出された層序が 40 層で、縄文時代中期初頭～前半の可能性がある。

C 溝状遺構

A 区北側中央部やや西よりで、下総層群上泉層（東京層）に等高線と並行するような形で、324 号遺構とした溝状遺構が検出されている。この 324 号遺構は覆土内に礫を含み、また土器片錘が 1 点、土器が 2 点、やや大形の材が 2 点出土している。材の中には遺構に食い込むように検出されたものもある。

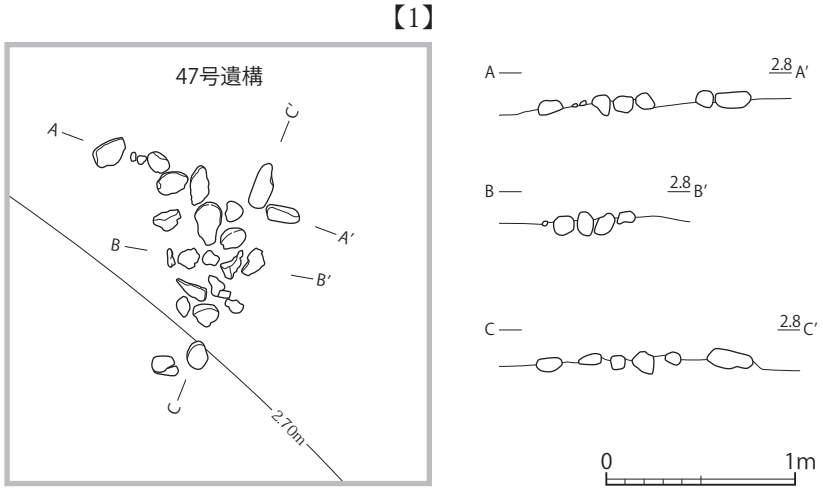
324 号遺構（第 64 図、第 62 表、図版 105・106）

A 区 F ～ I-4 ～ 8 グリッドに位置する。平面形態は長楕円状の溝状、断面形態はレンズ状の形態である。全体の規模は最大長（206.2）cm、最大幅（40.5）cm、最大深度 10.0cm である。等高線に沿って北西～南東に形成されるものが 7 基密集し、南北に形成されるものも 2 基検出されている。覆土は 38 層に類似した破砕貝を含む砂質シルト質土層が中心で、小礫等も含まれる。この遺構内から材が検出されているが、樹種はムクノキである。覆土からは土器片、土器片錘、材、小礫が出土している。

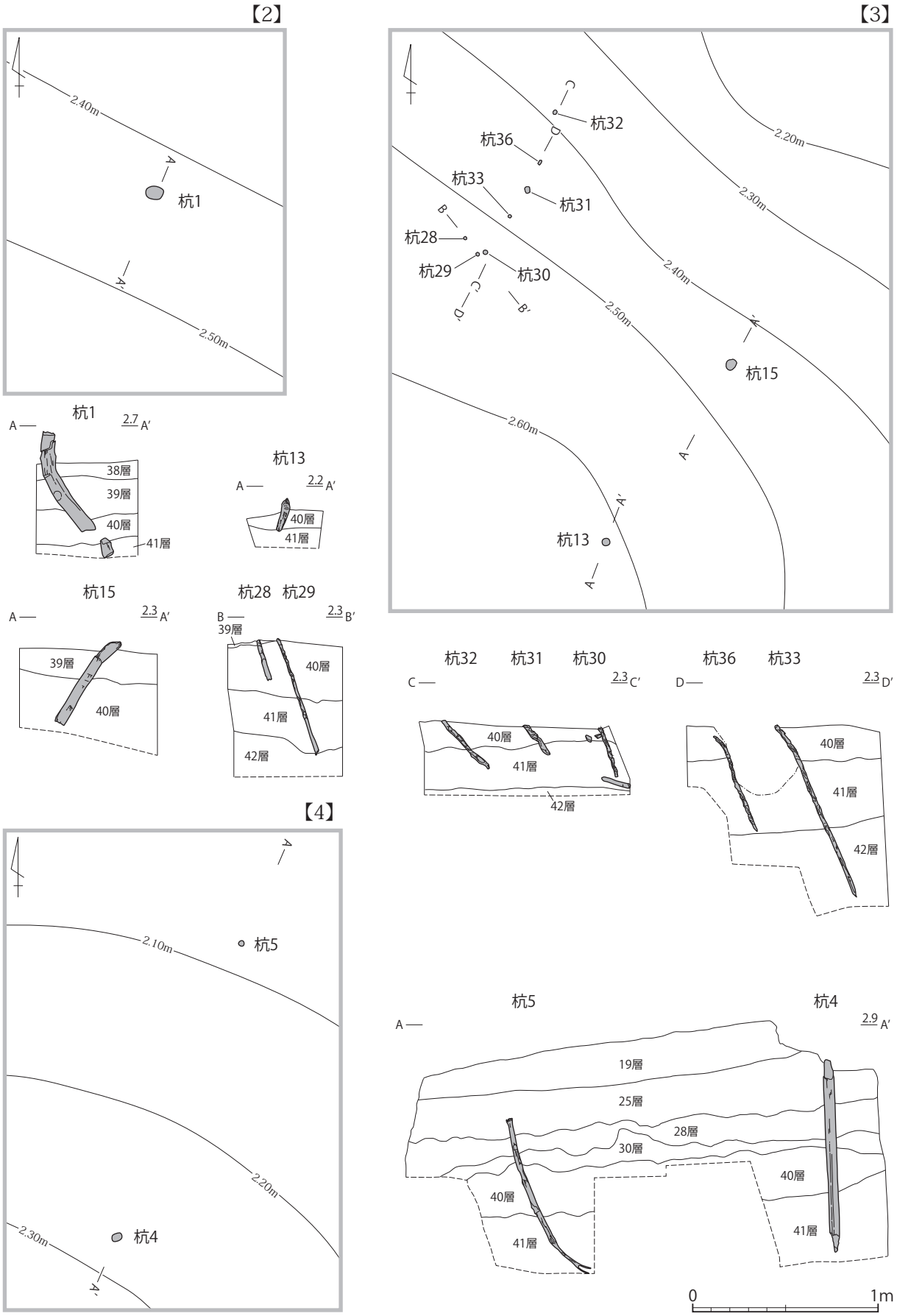
第 67 図 1・2 は 324 号遺構より出土した胴部破片である。1 は L の縄文が施文され、貝殻背圧痕が部分的に看取される。五領ヶ台式と推定される。2 は地文に RL の縄文が施文され、隆起線により区画が行われる。加曽利 E2 式と考えられる。

3 は 324 号遺構から出土した､胴部破片が転用された土器片錘である。左右の辺に切目が施される。器外面には l の縄文が看取される。

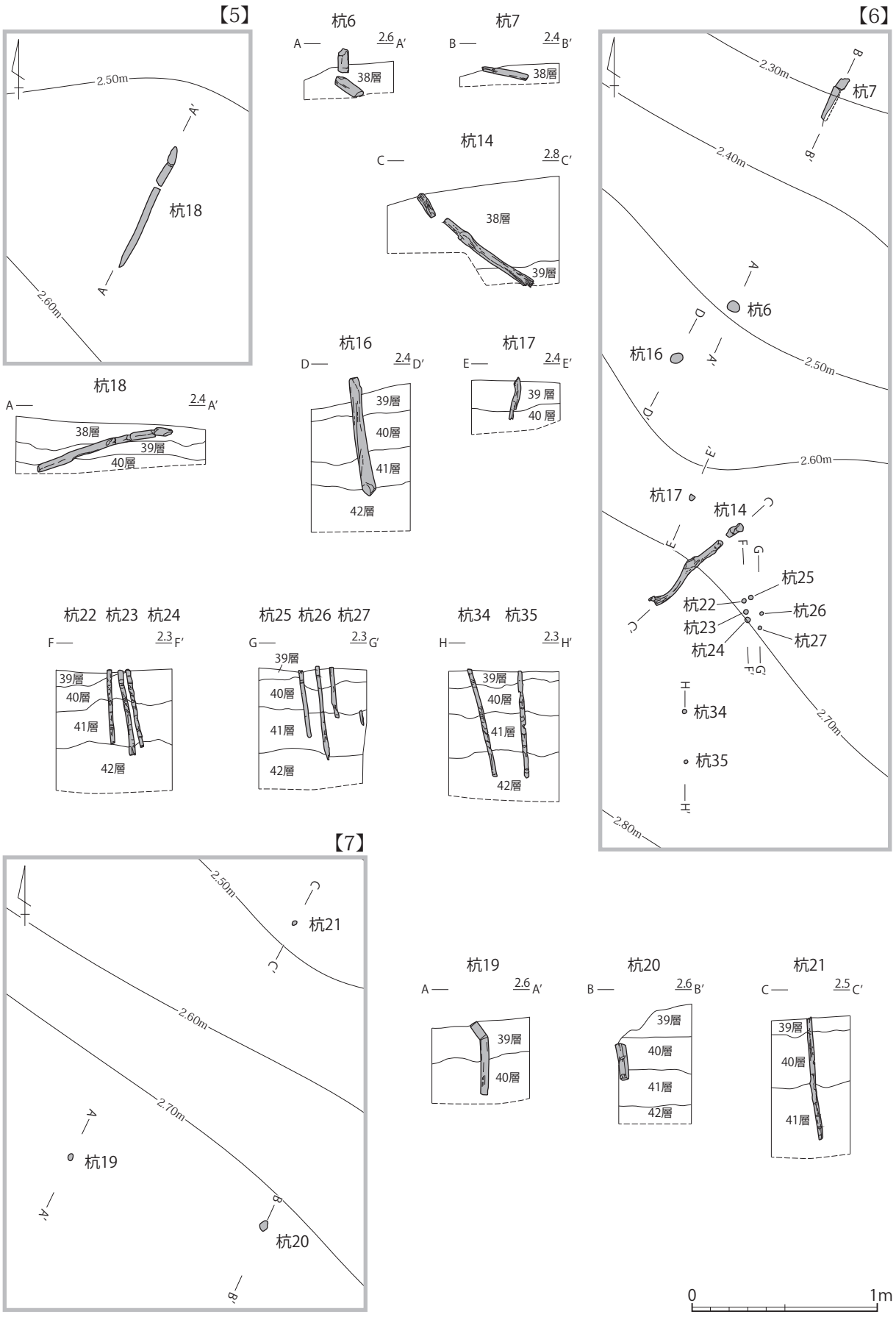
検出された確認面は 45 層で下総層群上泉層（東京層）である。覆土から出土した材の年代測定の結果、バックグラウンド試料よりも古い値で、バックグラウンド補正していない参考値ではあるが、47870 ± 35yrBP であった。当初、何らかの施設の可能性も想定していたが、時期的には縄文時代よりもはるかにさかのぼる年代値と確認面の深さから、人為的なものではない可能性が高い。



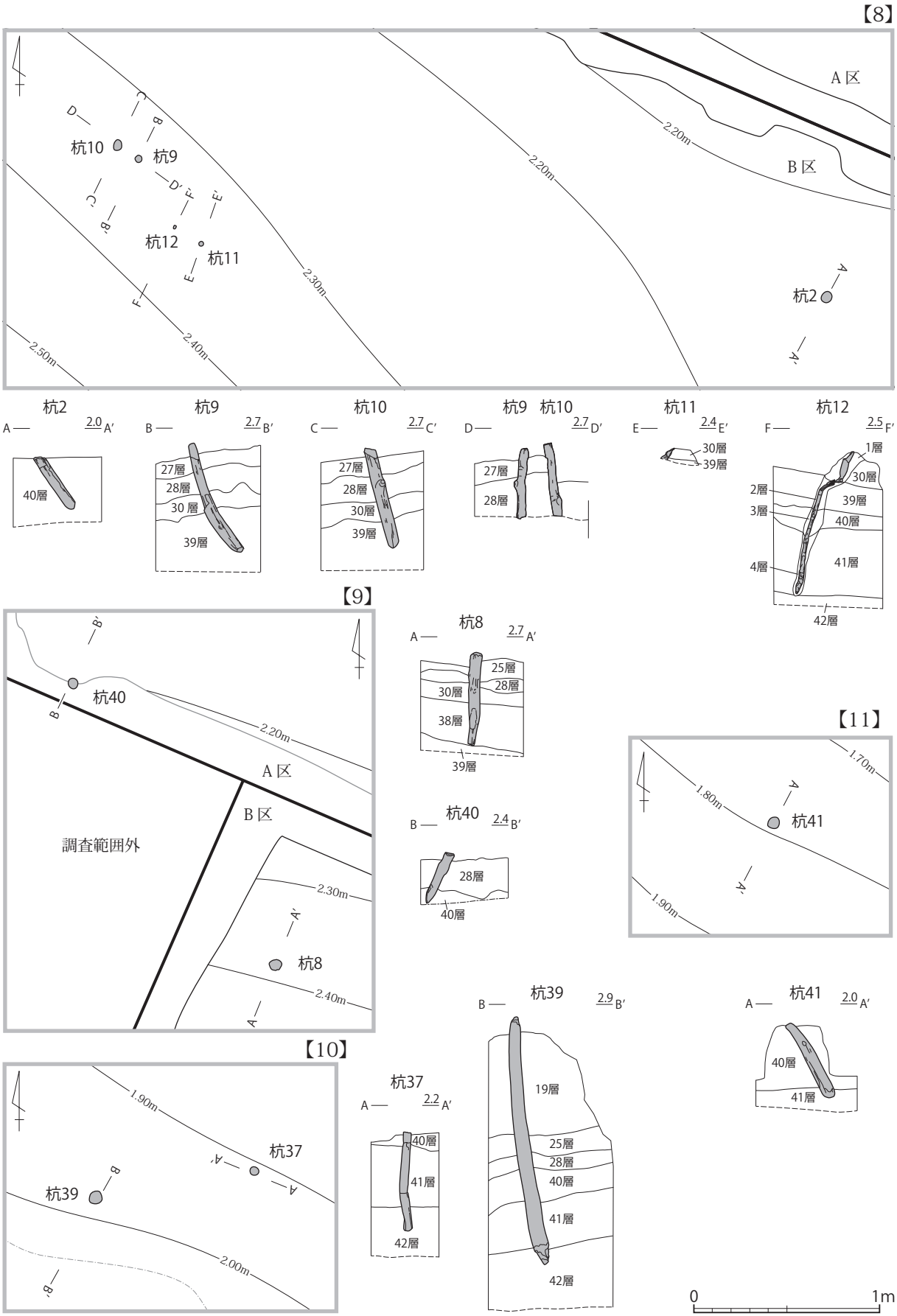
第 60 図　4 面 47 号遺構（1/40）



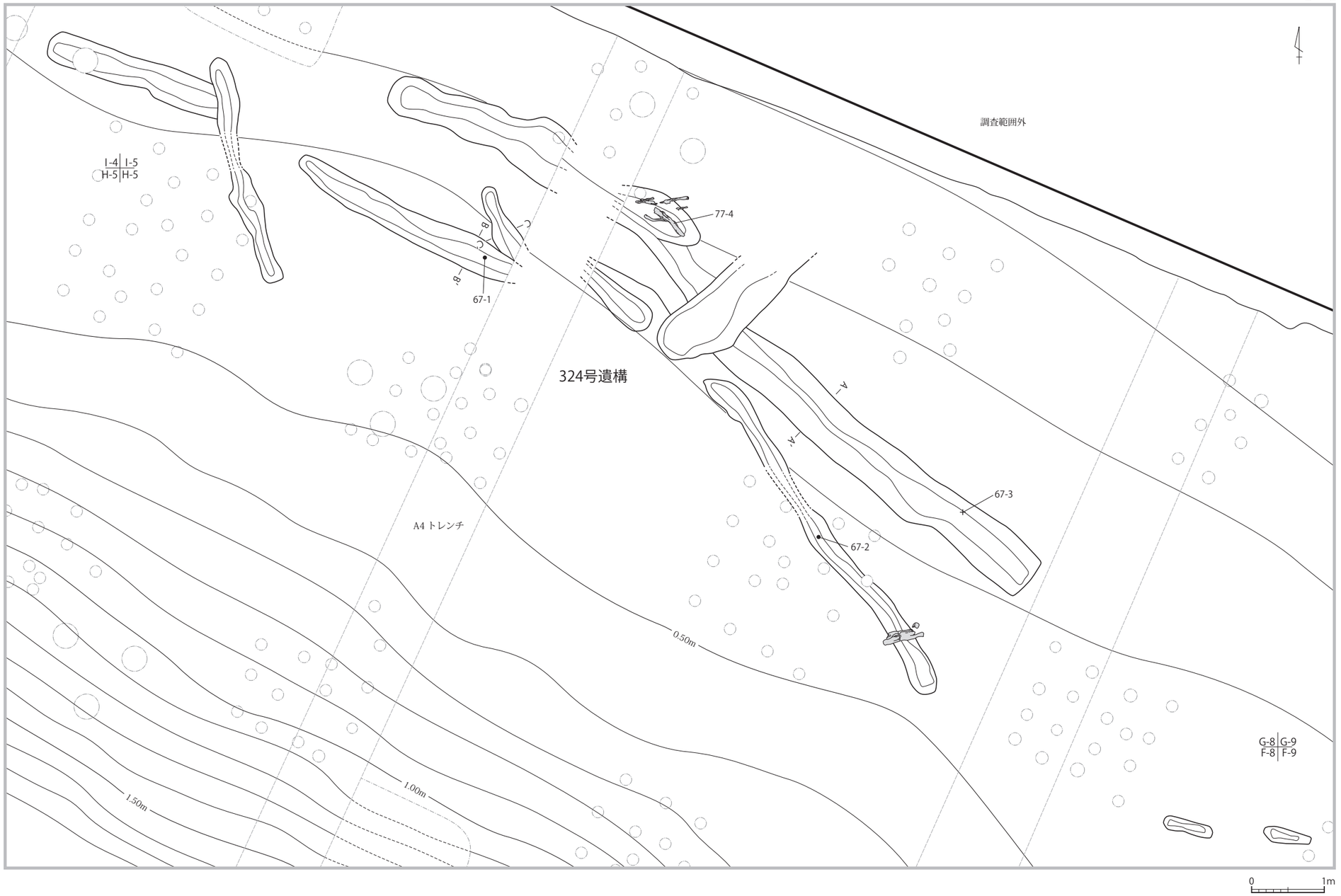
第 61 図　木杭・竹杭（1）（1/30）

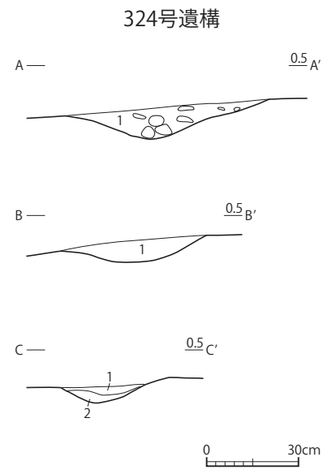


第 62 図　木杭・竹杭（2）（1/30）



第 63 図　木杭・竹杭（3）（1/30）





第 64 図　4 面 324 号遺構（1/60・1/40）

第 58 表　4 面 47 号遺構観察表

挿図番号	図版番号	遺構名	遺構種別	グリッド	規　模 長×短（cm）	備　考
60	—	47 号	集石	C-5・6	118.0 × 115.0	24 個の握り拳台の礫で構成される。石種の内訳は砂岩 13、チャート 8、ホルンフェルス 2、弱固結凝灰質泥岩 1 の 4 種類である。

第 59 表　木杭・竹杭観察・土層説明一覧表（1）

挿図番号	図版番号	遺構名	遺構種別	グリッド	規　模 長×短（cm）	層序番号	色　調	土　説	樹　種
61	101	杭 1	木杭	B-8	68.0 × 8.0	38 層	オリーブ黒（7.5Y3/2）	粘性無いが締りは有る。径 10 ～ 30㎜前後の小礫を非常に多く含む。砂礫層。基本層序 38 層。	ニワトコ属
						39 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性無いが締りは有る。径 10㎜前後の小礫を含む。砂礫層。基本層序 39 層。	
						40 層	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	粘性・締り共に強い。粘性の強いシルト質土が中心の層。やや砂質である。基本層序 40 層。	
						41 層	暗緑灰（10G3/1）	粘性・締り共に強い。40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。基本層序 41 層。	
63	101	杭 2	木杭	E-4	35.0 × 6.0	40 層	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	粘性・締り共に強い。粘性の強いシルト質土が中心の層。やや砂質である。基本層序 40 層。	クサギ
61	101	杭 4	木杭	D-5	10.4 × 6.0	19 層	灰オリーブ（5Y5/3）	粘性･締り共に有り。炭化粒子､酸化鉄を少量含む。シルト質土層。基本層序 19 層。	クサギ
						25 層	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	粘性・締り共に有り。破砕の少ないマガキを多く含み、還元した色調の破砕貝を含む。ヤマトシジミを僅かに含む。基本層序 25 層。	
						28 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性・締り共に強い。マガキの微細な破砕貝をごく少量、炭化粒子を少量含む。シルト質粘土質土が中心の層。基本層序 28 層。	
						30 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性弱いが締りは有る。破砕の少ないマガキを僅かに含む。砂質シルトが中心の層。基本層序 30 層。	
						40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	
						41 層	暗緑灰（10G3/1）	粘性・締り共に強い。40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。基本層序 41 層。	
61	101	杭 5	竹杭	E-6	82.0 × 4.0	19 層	灰オリーブ（5Y5/3）	粘性･締り共に有り。炭化粒子､酸化鉄を少量含む。シルト質土層。基本層序 19 層。	タケ亜科
						25 層	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	粘性・締り共に有り。破砕の少ないマガキを多く含み、還元した色調の破砕貝を含む。ヤマトシジミを僅かに含む。基本層序 25 層。	
						28 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性・締り共に強い。マガキの微細な破砕貝をごく少量、炭化粒子を少量含む。シルト質粘土質土が中心の層。基本層序 28 層。	
						30 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性弱いが締りは有る。破砕の少ないマガキを僅かに含む。砂質シルトが中心の層。基本層序 30 層。	
						40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	
						41 層	暗緑灰（10G3/1）	粘性・締り共に強い。40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。基本層序 41 層。	
62	101	杭 6	木杭	D-5	26.0 × 6.0	38 層	オリーブ黒（7.5Y3/2）	粘性無いが締りは有る。径 10 ～ 30㎜前後の小礫を非常に多く含む。砂礫層。基本層序 38 層。	クスノキ科
62	101	杭 7	木杭	D-5	26.0 × 4.0	38 層	オリーブ黒（7.5Y3/2）	粘性無いが締りは有る。径 10 ～ 30㎜前後の小礫を非常に多く含む。砂礫層。基本層序 38 層。	アカメガシワ
63	101	杭 8	木杭	F-2	48.0 × 6.0	25 層	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	粘性・締り共に有り。破砕の少ないマガキを多く含み、還元した色調の破砕貝を含む。ヤマトシジミを僅かに含む。基本層序 25 層。	カエデ属
						28 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性・締り共に強い。マガキの微細な破砕貝をごく少量、炭化粒子を少量含む。シルト質粘土質土が中心の層。基本層序 28 層。	
						30 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性弱いが締りは有る。破砕の少ないマガキを僅かに含む。砂質シルトが中心の層。基本層序 30 層。	
						38 層	オリーブ黒（7.5Y3/2）	粘性無いが締りは有る。径 10 ～ 30㎜前後の小礫を非常に多く含む。砂礫層。基本層序 38 層。	
						39 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性無いが締りは有る。径 10㎜前後の小礫を含む。砂礫層。基本層序 39 層。	
63	102	杭 9	木杭	E-4	58.0 × 7.0	27 層	オリーブ黒（7.5Y2/2）	粘性弱いが締りは有る。 マガキの破砕貝を少量、部分的にブロック状に含む。小礫、ヤマトシジミを僅かに含む。基本層序 27 層。	ヤナギ属
						28 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性・締り共に強い。マガキの微細な破砕貝をごく少量、炭化粒子を少量含む。シルト質粘土質土が中心の層。基本層序 28 層。	
						30 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性弱いが締りはある。破砕の少ないマガキを僅かに含む。砂質シルトが中心の層。基本層序 30 層。	
						39 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性無いが締りは有る。径 10㎜前後の小礫を含む。砂礫層。基本層序 39 層。	
						40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	
63	102	杭 10	木杭	E-4	52.0 × 7.0	27 層	オリーブ黒（7.5Y2/2）	粘性弱いが締りは有る。 マガキの破砕貝を少量、部分的にブロック状に含む。小礫、ヤマトシジミを僅かに含む。基本層序 27 層。	クリ
						28 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性・締り共に強い。マガキの微細な破砕貝をごく少量、炭化粒子を少量含む。シルト質粘土質土が中心の層。基本層序 28 層。	
						30 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性弱いが締りは有る。破砕の少ないマガキを僅かに含む。砂質シルトが中心の層。基本層序 30 層。	
						39 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性無いが締りは有る。径 10㎜前後の小礫を含む。砂礫層。基本層序 39 層。	
						40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	
63	102	杭 11	竹杭	E-4	22.0 × 3.0	30 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性弱いが締りは有る。破砕の少ないマガキを僅かに含む。砂質シルトが中心の層。基本層序 30 層。	タケ亜科
						39 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性無いが締りは有る。径 10㎜前後の小礫を含む。砂礫層。基本層序 39 層。	

第 60 表　木杭・竹杭観察・土層説明一覧表（2）

挿図番号	図版番号	遺構名	遺構種別	グリッド	規　模 長×短（cm）	層序番号	色　調	土　説	樹　種
63	102	杭 12	竹杭	E-4	78.0 × 4.0	1 層	オリーブ黒（10Y3/1）	粘性やや有るが締りは弱い。破砕貝、小礫を少量含む。	タケ亜科
						2 層	暗オリーブ灰（5GY3/1）	粘性有り、締りやや有り。礫をやや多く含む砂質のシルト質土。	
						3 層	暗オリーブ灰（5GY4/1）	粘性・締り共に有り。細かい礫を少量含む。	
						4 層	緑灰（7.5GY5/1）	粘性やや強く締りも有る。小礫を僅かに含む。	
						30 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性弱いが締りは有る。破砕の少ないマガキを僅かに含む。砂質シルトが中心の層。基本層序 30 層。	
						39 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性無いが締りは有る。径 10㎜前後の小礫を含む。砂礫層。基本層序 39 層。	
						40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	
						41 層	暗緑灰（10G3/1）	粘性・締り共に強い。40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。基本層序 41 層。	
						42 層	暗緑灰（7.5G3/1）	粘性弱いが締りは有る。砂質のシルト質土が中心の層。部分的に粘性の強いシルト質土がブロック状に認められる。基本層序 42 層。	
61	102	杭 13	木杭	C-6	18.0 × 4.5	40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	—
						41 層	暗緑灰（10G3/1）	粘性・締り共に強い。40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。基本層序 41 層。	
62	102	杭 14	木杭	C-6	48.0 × 6.0	38 層	オリーブ黒（7.5Y3/2）	粘性無いが締りは有る。径 10 ～ 30㎜前後の小礫を非常に多く含む。砂礫層。基本層序 38 層。	ニシキギ属
						39 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性無いが締りは有る。径 10㎜前後の小礫を含む。砂礫層。基本層序 39 層。	
61	103	杭 15	木杭	C-6	45.0 × 6.0	39 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性無いが締りは有る。径 10㎜前後の小礫を含む。砂礫層。基本層序 39 層。	ケンポナシ属
						40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	
62	103	杭 16	木杭	D-4	64.0 × 8.0	39 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性無いが締りは有る。径 10㎜前後の小礫を含む。砂礫層。基本層序 39 層。	クスノキ科
						40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	
						41 層	暗緑灰（10G3/1）	粘性・締り共に強い。40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。基本層序 41 層。	
						42 層	暗緑灰（7.5G3/1）	粘性弱いが締りは有る。砂質のシルト質土が中心の層。部分的に粘性の強いシルト質土がブロック状に認められる。基本層序 42 層。	
62	103	杭 17	木杭	D-4	23.0 × 3.0	39 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性無いが締りは有る。径 10㎜前後の小礫を含む。砂礫層。基本層序 39 層。	クサギ
						40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	
62	103	杭 18	木杭	C・D-5	24.0 × 4.0	38 層	オリーブ黒（7.5Y3/2）	粘性無いが締りは有る。径 10 ～ 30㎜前後の小礫を非常に多く含む。砂礫層。基本層序 38 層。	クワ属
						39 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性無いが締りは有る。径 10㎜前後の小礫を含む。砂礫層。基本層序 39 層。	
						40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	
62	103	杭 19	木杭	D-4	40.0 × 5.0	39 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性無いが締りは有る。径 10㎜前後の小礫を含む。砂礫層。基本層序 39 層。	クサギ
						40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	
62	103	杭 20	木杭	D-4	20.0 × 6.0	38 層	オリーブ黒（7.5Y3/2）	粘性無いが締りは有る。径 10 ～ 30㎜前後の小礫を非常に多く含む。砂礫層。基本層序 38 層。	クサギ
						39 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性無いが締りは有る。径 10㎜前後の小礫を含む。砂礫層。基本層序 39 層。	
						40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	
						41 層	暗緑灰（10G3/1）	粘性・締り共に強い。40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。基本層序 41 層。	
62	103	杭 21	竹杭	D-4	66.0 × 2.0	39 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性無いが締りは有る。径 10㎜前後の小礫を含む。砂礫層。基本層序 39 層。	タケ亜科
						40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	
						41 層	暗緑灰（10G3/1）	粘性・締り共に強い。40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。基本層序 41 層。	
62	103	杭 22 杭 23 杭 24	竹杭	D-5	杭 22 40.0 × 2.0 杭 23 46.0 × 4.0 杭 24 42.0 × 2.0	39 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性無いが締りは有る。径 10㎜前後の小礫を含む。砂礫層。基本層序 39 層。	タケ亜科
						40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	
						41 層	暗緑灰（10G3/1）	粘性・締り共に強い。40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。基本層序 41 層。	
62	104	杭 25 杭 26 杭 27	竹杭	D-5	杭 25 36.0 × 2.0 杭 26 51.0 × 3.0 杭 27 27.0 × 3.0	39 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性無いが締りは有る。径 10㎜前後の小礫を含む。砂礫層。基本層序 39 層。	タケ亜科
						40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	
						41 層	暗緑灰（10G3/1）	粘性・締り共に強い。40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。基本層序 41 層。	
						42 層	暗緑灰（7.5G3/1）	粘性弱いが締りは有る。砂質のシルト質土が中心の層。部分的に粘性の強いシルト質土がブロック状に認められる。基本層序 42 層。	

第 61 表　木杭・竹杭観察・土層説明一覧表（3）

挿図番号	図版番号	遺構名	遺構種別	グリッド	規　模 長×短（cm）	層序番号	色　調	土　説	樹　種
61	104	杭 28 杭 29	竹杭	C-6	杭 28 21.0 × 3.0 杭 29 61.0 × 2.0	40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	タケ亜科
						41 層	暗緑灰（10G3/1）	粘性・締り共に強い。40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。基本層序 41 層。	
						42 層	暗緑灰（7.5G3/1）	粘性弱いが締りは有る。砂質のシルト質土が中心の層。部分的に粘性の強いシルト質土がブロック状に認められる。基本層序 42 層。	
61	104	杭 30 杭 31 杭 32	竹杭	C-6	杭 30 26.0 × 2.0 杭 31 16.0 × 2.0 杭 32 26.0 × 3.0	40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	タケ亜科
						41 層	暗緑灰（10G3/1）	粘性・締り共に強い。40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。基本層序 41 層。	
						42 層	暗緑灰（7.5G3/1）	粘性弱いが締りはある。砂質のシルト質土が中心の層。部分的に粘性の強いシルト質土がブロック状に認められる。基本層序 42 層。	
61	104	杭 33 杭 36	竹杭	C-6	杭 33 92.0 × 2.0 杭 36 52.0 × 3.0	40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	タケ亜科
						41 層	暗緑灰（10G3/1）	粘性・締り共に強い。40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。基本層序 41 層。	
						42 層	暗緑灰（7.5G3/1）	粘性弱いが締りはある。砂質のシルト質土が中心の層。部分的に粘性の強いシルト質土がブロック状に認められる。基本層序 42 層。	
62	104	杭 34 杭 35	竹杭	C-4	杭 34 58.0 × 3.0 杭 35 58.0 × 2.0	39 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性無いが締りは有る。径 10㎜前後の小礫を含む。砂礫層。基本層序 39 層。	タケ亜科
						40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	
						41 層	暗緑灰（10G3/1）	粘性・締り共に強い。40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。基本層序 41 層。	
						42 層	暗緑灰（7.5G3/1）	粘性弱いが締りはある。砂質のシルト質土が中心の層。部分的に粘性の強いシルト質土がブロック状に認められる。基本層序 42 層。	
63	104	杭 37	木杭	F-4	54.0 × 4.0	40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	ムクノキ
						41 層	暗緑灰（10G3/1）	粘性・締り共に強い。40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。基本層序 41 層。	
						42 層	暗緑灰（7.5G3/1）	粘性弱いが締りは有る。砂質のシルト質土が中心の層。部分的に粘性の強いシルト質土がブロック状に認められる。基本層序 42 層。	
63	104 ・ 105	杭 39	木杭	F-3	132.0 × 10.0	19 層	灰オリーブ（5Y5/3）	粘性･締り共に有り。炭化粒子､酸化鉄を少量含む。シルト質土層。基本層序 19 層。	イヌガヤ
						25 層	暗オリーブ灰（2.5GY3/1）	粘性・締り共に有り。破砕の少ないマガキを多く含み、還元した色調の破砕貝を含む。ヤマトシジミを僅かに含む。基本層序 25 層。	
						28 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性・締り共に強い。マガキの微細な破砕貝をごく少量、炭化粒子を少量含む。シルト質粘土質土が中心の層。基本層序 28 層。	
						40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	
						41 層	暗緑灰（10G3/1）	粘性・締り共に強い。40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。基本層序 41 層。	
						42 層	暗緑灰（7.5G3/1）	粘性弱いが締りは有る。砂質のシルト質土が中心の層。部分的に粘性の強いシルト質土がブロック状に認められる。基本層序 42 層。	
63	105	杭 40	木杭	F-2	28.0 × 6.0	28 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性・締り共に強い。マガキの微細な破砕貝をごく少量、炭化粒子を少量含む。シルト質粘土質土が中心の層。基本層序 28 層。	クリ
						40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	
63	105	杭 41	木杭	E-6	39.0 × 7.0	40 層	暗緑灰（10GY3/1）	粘性・締り共に有り。マガキの細かい破砕貝を少量、ヤマトシジミを僅かに含む。砂質のシルト質土中心の層。基本層序 40 層。	クリ
						41 層	暗緑灰（10G3/1）	粘性・締り共に強い。40 層よりも砂質度合いが強くなるシルト質層。基本層序 41 層。	

第 62 表　324 号遺構観察・土層説明一覧表

挿図番号	図版番号	遺構名	遺構種別	グリッド	規　模 長×短×深（cm）	層序番号	色　調	土　説
64	105	324 号	溝址	F ～ I -4 ～ 8	（206.2）×（40.5）× 10.0	A-A′ 1 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性弱いが締りは強い。破砕貝、小礫を少量含む。
						B-B′ 1 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性弱いが締りはやや強い。破砕貝、小礫を少量含む。
						C-C′ 1 層	オリーブ黒（7.5Y3/2）	粘性・締り共にやや有り。砂質シルト中心で細かい破砕貝を僅かに含む。
						C-C′ 2 層	オリーブ黒（7.5Y3/1）	粘性・締り共にやや有り。砂質シルト中心で、小礫を少量含む。

2）遺物（第 65 ～ 68 図、第 63 ～ 66 表、図版 115・116）

4 面より出土した遺物は土器 31 点、1725.6g、土製品 4 点、289.3g、石器 6 点、474.5g、杭 40 点、16,834g である。そのうち、図示可能な土器 30 点と土製品 4 点、石器 6 点、杭 40 点を掲載した。土器・土製品・石器等の分布は B 区の砂礫層上で出土し、北側の A 区では貝層下のシルト質土上で出土する。これら A 区中央部～北側にかけて出土した遺物は下総層群上泉層（東京層）直上で出土したものもあり、廃棄後に潮位変化によって北側の深い位置に動いたものと思われる（第 65 図）。B 区砂礫層上、A 区の貝層下シルト質土上では人骨が出土し、B 区砂礫層上では動物骨の出土も見られる。また木杭も砂礫層上で検出されている。木片やオニグルミ等の種子類も B 区の砂礫層上～ A 区の貝層下シルト質土上付近で出土している。（第 66 図）

A　土器（第 67 図、第 63・64 表、図版 115・116）

中期初頭

4・5 は口縁部破片で、4 は口唇部に鋸歯状の沈線と刺突による沈線が巡る。胴部には竹管状工具を用いた押し引きによる逆 U 字文が施される。5 は口唇部下より L の結節縄文が施文される。6 は 2 条の沈線と三角印刻文が連続する胴部破片である。7 は頸部から胴部にかけて遺存する。L の結節縄文が施文される。8 は胴部～底部である。底径は復元であるが、10.6cm である。S 字状結節文が施される。9 ～ 12 は地文に結節縄文が施される胴部破片である。11 は地文に S 字状結節文が施文される。12 は LR の結節縄文が施文される。13 は貝殻腹縁が縦位に施文される胴部破片である。14 は地文に L R の縄文と結節縄文が施文され、沈線による対向 U 字文による懸垂文に三角印刻文が伴う。15・16 は胴部破片である。15 は地文に L R の縄文を持ち、外面に炭化物が付着する。16 は R L の縄文が施文される。内外面に炭化物が付着している。これらは五領ヶ台 I 式の範疇である。

中期前葉～中葉

17 は隆帯区画に結節沈線文を持つ胴部破片である。胎土に金雲母と石英を含む。阿玉台 1 式に比定される。18 は太沈線が観察され、胎土に雲母を多く含む。19 は縄文 R L が看取され、内面に炭化物の付着が見られる。20 は無文である。胎土等から中期中葉の胴部破片と思われる。21 ～ 31 は無文の口縁部～底部にかけての破片を一括した。21 は内削状の口縁で、やや外側に膨らむ器形である。22 も内削状の口縁で器形は外側に膨らむ。補修孔が看取される。23 ～ 28 は胴部破片だが、胎土の様相等から中期後葉の可能性がある。29 ～ 31 は底部で、底部外面及び器外面には擦痕が顕著に観察される。

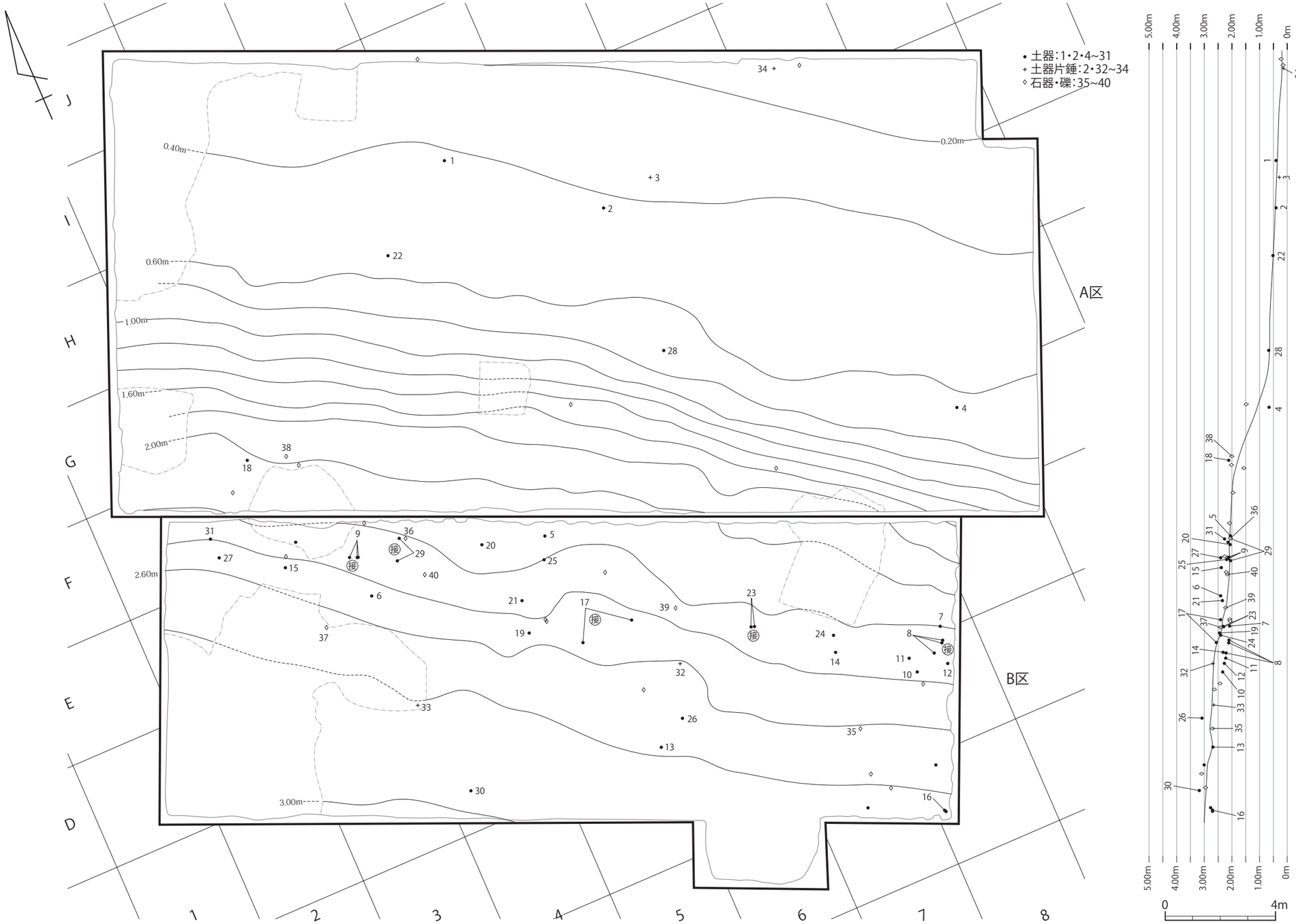
B　土製品（第 68 図、第 65 表、図版 115・116）

32 は左右の辺に切目が看取される。口縁部破片で貼付状の隆起線と沈線で区画が行われ、区画内は R L の縄文が施文される。五領ヶ台式と思われる。33 は胴部破片で、左辺に抉りが看取される。文様は縦位の沈線が施文される。34 は右辺のみに明瞭な抉りが観察される。無文の口縁部破片で、口縁部形態から中期後葉の土器が転用されたものと思われる。

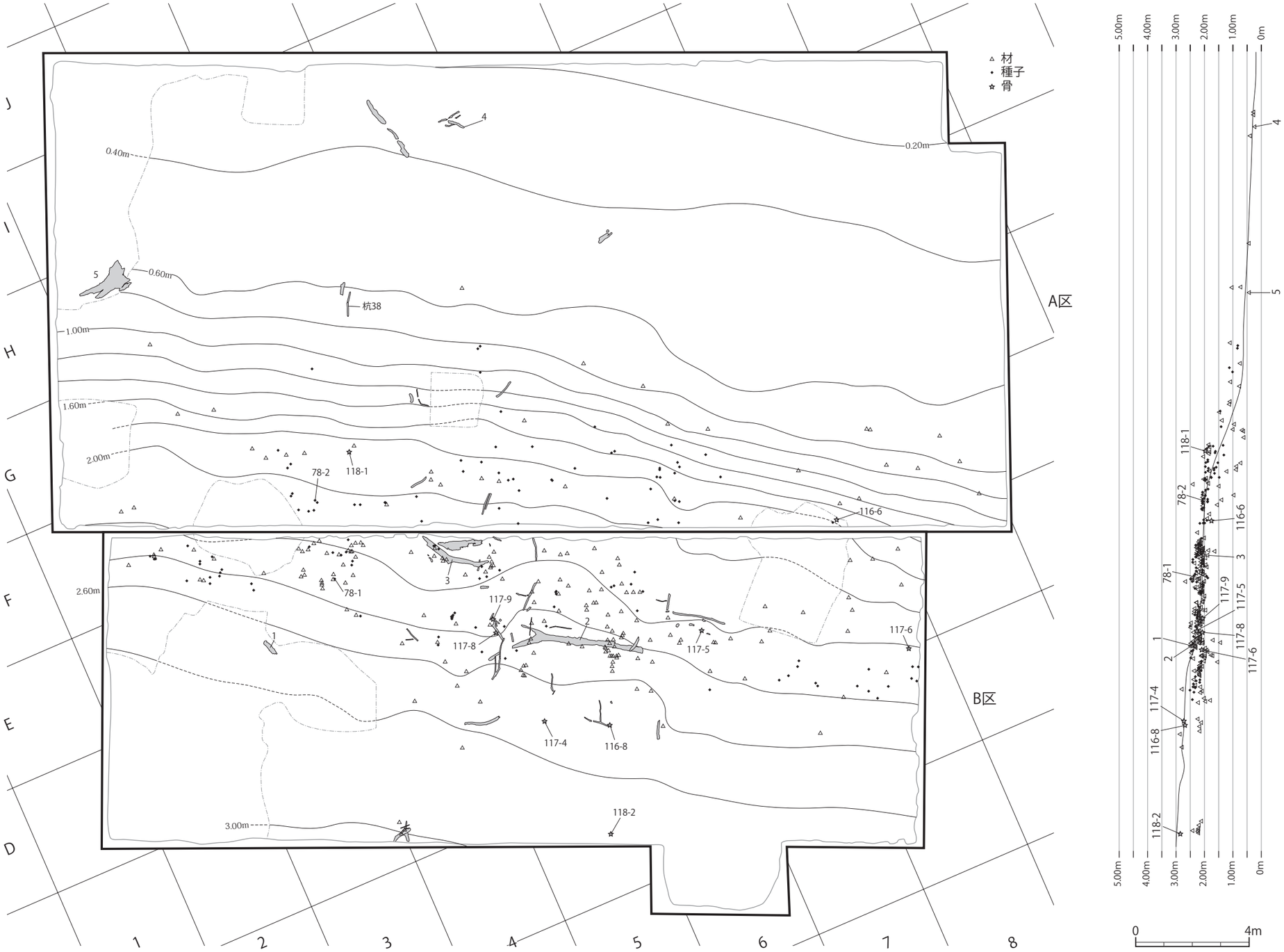
C　石器（第 68 図、第 66 表、図版 116）

4 面から石器は凹石 1 点、磨石 4 点、乳棒状石製品 1 点が出土した。

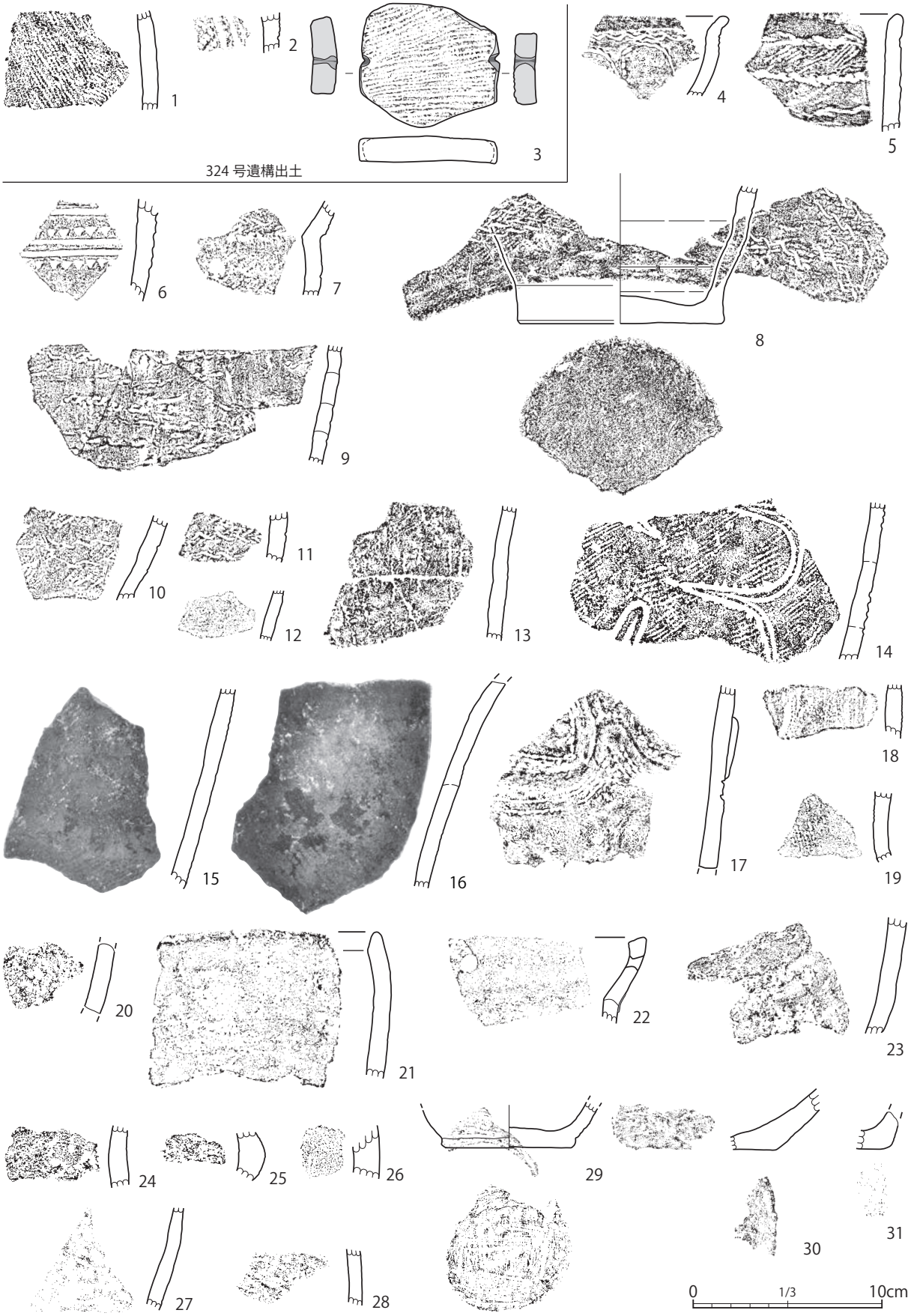
35 は凹石である。中央部付近にやや深い凹みが敲打痕により形成されていた。裏面は平滑である。石材は安山岩である。



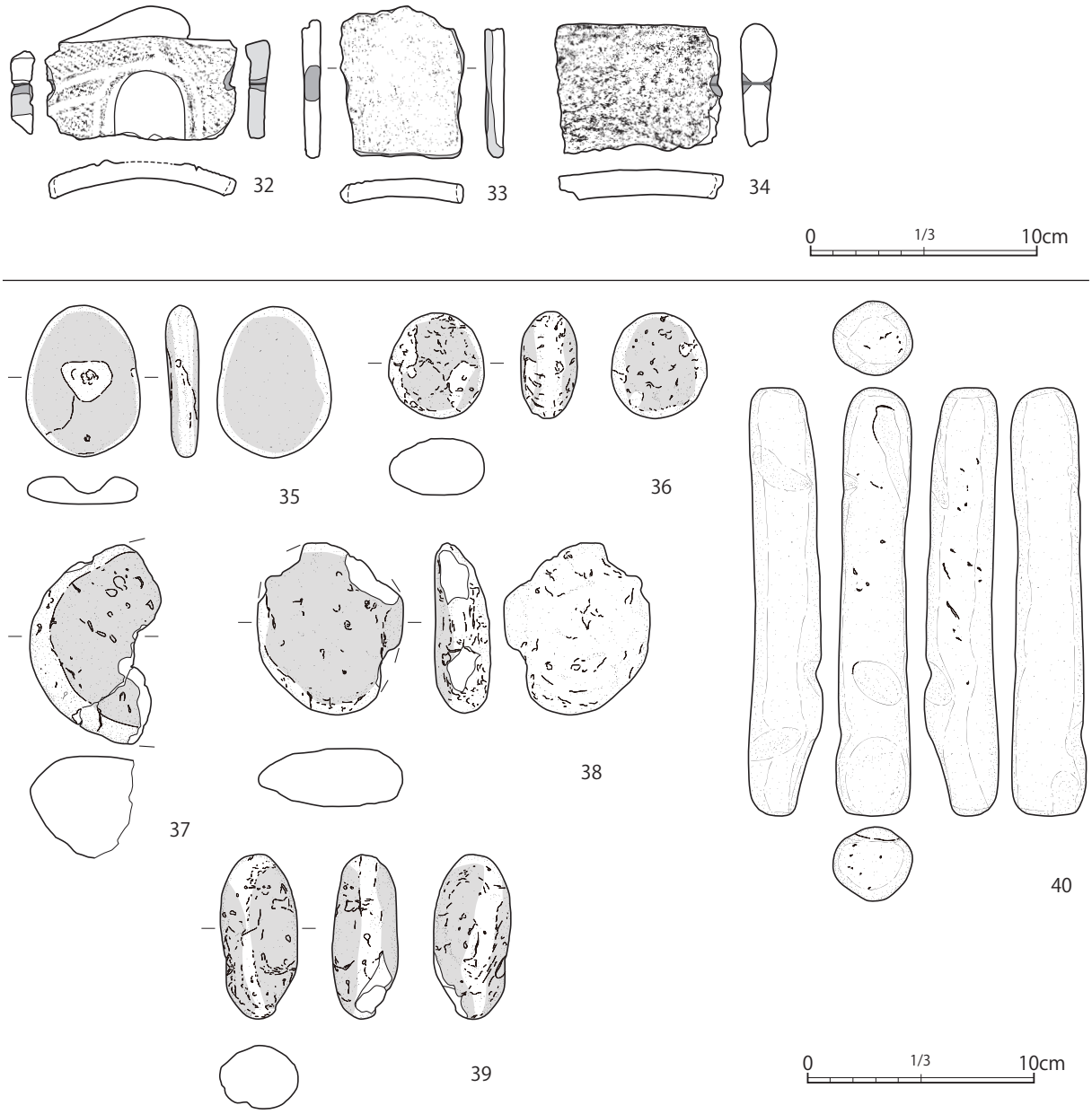
第 65 図　4 面出土遺物分布図（1）（1/150）



第 66 図　4 面出土遺物分布図（2）（1/150）



第 67 図　4 面出土遺物（1）（1/3）



第 68 図　4 面出土遺物（2）（1/3）

36 ～ 38・40 は磨石である。形態は 36 が円形を呈し、37 は半分欠損しているが円形もしくは楕円形を呈すと想定される。38・39 は楕円形である。36 は表面・裏面に磨面が観察されるが、部分的に風化により剥離が認められる。37 は表面のみに磨面による平坦面が観察される。38 は表面に磨面が観察されるが、裏面は明瞭ではない。39 は表面・裏面共に中央部を頂点として左右に緩い磨面が形成される。石材は、37・38 が弱固結泥凝灰質泥岩、36・39 が弱固結砂質泥岩である。

40 は乳棒状石製品である。幅 1cm 前後の浅い窪みが 4 箇所みられる。先端部分は丸みを帯びているが、緩やかな面状の平坦面が認められる。敲打痕は認められなかった。石材は石灰質シルト岩である。

D　木製品（第 69 ～ 73 図、第 67・68 表、図版 117 ～ 119）

今回の調査では 4 面から植物遺体が出土している。その中で加工され、製品と捉えられるものは 40 点である。その多くが礫層または砂質シルト層に垂直方向に刺さる杭状の木製品、竹製品である。

以下、図示可能な木杭と竹杭について述べていく。

なお今回掲載した 40 点の資料については、東京都埋蔵文化財センターの鈴木伸哉氏が樹種同定分析を行った。詳細は第Ⅴ章第 2 節を参照されたい。

41(杭 1）は、長さが現存値で 56.6cm、幅 7.6cm、最大径 8.1cm を測る。樹皮の一部が残る。黒色に変色した部分が確認されたが、焼けていない。上部と先端部は欠損している。樹種はニワトコ属である。

42(杭 2）は、長さが現存値で 27.7cm、最大幅 5.6cm、最大径 5.7cm を測る。樹皮の一部が残る。杭上部に斜め方向の凹みがみられる。杭の両端は欠損しているものと思われる。樹種はクサギである。

43(杭 4）は、長さが現存値で 97.0cm、最大幅 8.0cm、最大径 8.6cm を測る。樹皮の一部が残る。杭の中央部に、幅 2.4cm、高さ 1.9cm 大の横位方向の凹みが 2 箇所観察された。杭の先端部は焼けており、炭化している。炭化している箇所は、面状に削られており、人為的に加工された可能性が高い。樹種はクサギである。この資料は放射性炭素年代測定の分析結果より 4595 ± 22yrBP の暦年代が示され、縄文時代中期前半に相当する年代が出ている。

44(杭 5）は長さが現存値で 93.3cm、最大幅 2.9cm を測る。部分的に節が観察され、先端部は二股に分かれている。全体が弧状の形態を呈しているが、土圧により歪んだものと思われる。樹種はタケ亜科である。

45(杭 6）は、長さが現存値で 14.0cm、幅 5.9cm、最大径 5.9cm を測る。両端は欠損している。樹皮の一部が残存する。線状痕や凹みが複数看取され、加工痕跡と思われる。樹種はクスノキ科である。

46(杭 7）の上下の杭は接合していないが同一個体である。上は長さが現存値で 6.6cm、幅 2.6cm、最大径 3.3cm と下は長さが現存値で 18.0cm、最大幅 4.2cm、最大径 4.3cm を測る。両端と中途が欠損し、表面には樹皮の一部が残る。先端は樹皮が削られて段差状である。樹種はアカメガシワである。

47(杭 8）は、長さが現存値で 54.4cm、幅 7.6cm、最大径 7.9cm を測る。杭中央部に幅 1 ～ 2cm の横位方向の線状痕が 0.5cm 間隔で確認されるが、先端付近のみ、0.8cm 幅である。杭の先端に向かうにつれて細くなり、削られた面が 4 面確認された。杭の先端部は丸みを帯びる。樹種はカエデ属である。

48(杭 9）は、長さが現存値で 46.8cm、幅 6.0cm、最大径 7.6cm を測る。樹皮や節が残り、全体的に焼けて炭化している。杭中部付近に線状痕がみられる。先端は丸みを帯び、潰れている。樹種はヤナギ属である。

49(杭 10）は、長さが現存値で 54.4cm、幅 7.6cm、最大径 7.9cm を測る。樹皮や節が残る。杭の中央から先端にかけて焼けており、炭化している。先端は丸みを帯びる。杭は先端から上部にかけて、樹皮が段差状に捲れている。斜位の線状痕がみられる。樹種はクリである。

50（杭 11）は長さが現存値で 9.4㎝、幅 2.5㎝を測る。遺存状態が悪く、一部のみ残存している。樹種はタケ亜科である。

51(杭 12）は長さが現存値で 83.0cm、最大幅 3.8cm を測る。部分的に節が遺存し、先端部はやや丸みを帯びながらも尖頭状を呈している。上部中途で捩れや折れ、破裂による膨張した部分が観察されるが、土圧によるものと思われる。樹種はタケ亜科である。

52(杭 13）は現存値で 18.4cm、最大幅 4.6cm を測る。遺存状態が悪く、上部と先端部は欠損して

いるものと思われるが、上部に瘤状の節が残存している。

53（杭 14）は、長さが現存値で 70.4cm、幅 5.0cm、最大径 7.5cm を測る。両端と中途が欠損し、樹皮の一部が残る。杭中央に加工痕と思われる削り痕が 3 箇所確認される。樹種はニシキギ属である。

54（杭 15）は、長さが現存値で 55.6cm、幅 6.0cm、最大径 7.9cm を測る。樹皮の一部が残る。全体の 3 分の 2 が焼け、炭化している。3㎜間隔の幅 1 ～ 2cm の線状痕及び杭に対して直交する凹みが 4 箇所確認された。凹みは上側が抉れ、下側は平滑である。先端部は潰れているが、その形態から斜位に加工し尖らせている可能性がある。樹種はケンポナシ属である。

55（杭 16）は、長さが現存値で 68.0cm、幅 7.8cm、最大径 9.2cm を測る。杭の先端は部分的に黒変している。杭に直交・斜行する線状痕や凹みがみられる。先端部は潰れているが、削られて尖らせているものと思われる。樹種はクスノキ科である。

56（杭 17）は、長さが現存値で 12.0cm、幅 2.8cm、最大径 5.2cm を測る。両端は欠損していると思われる。遺存状態が悪く、一部のみ残存している状況だが検出状況から杭として捉えた。先端から段差状に削れている点からも杭の可能性が高いことが伺える。樹種はクサギである。

57（杭 18）は、長さが現存値で 67.0cm、幅 5.1cm、最大径 7.2cm を測る。中途部分が 4 箇所折れている。幅 2cm の浅い凹みと 6㎜の線状痕が 6 箇所確認された。先端部分は一方向からの削りにより斜めに尖らせているものと思われるが、潰れて丸みを帯びている。樹種はクワ属である。

58（杭 19）は、長さが現存値で 40.3cm、幅 4.2cm、最大径 4.5cm を測る。上端部は欠損している。樹皮の一部が残存し、また段差状に樹皮が削られている部分が観察され。先端部は潰れているが、その形態から斜位に加工し尖らせている可能性がある。樹種はクサギである。

59（杭 20）は、長さが現存値で 18.2cm、幅 4.1cm、最大径 4.6cm を測る。両端は欠損している。幅 1cm 程度の線状痕が 3 箇所と杭中央部分に凹みが観察される。樹種はクサギである。

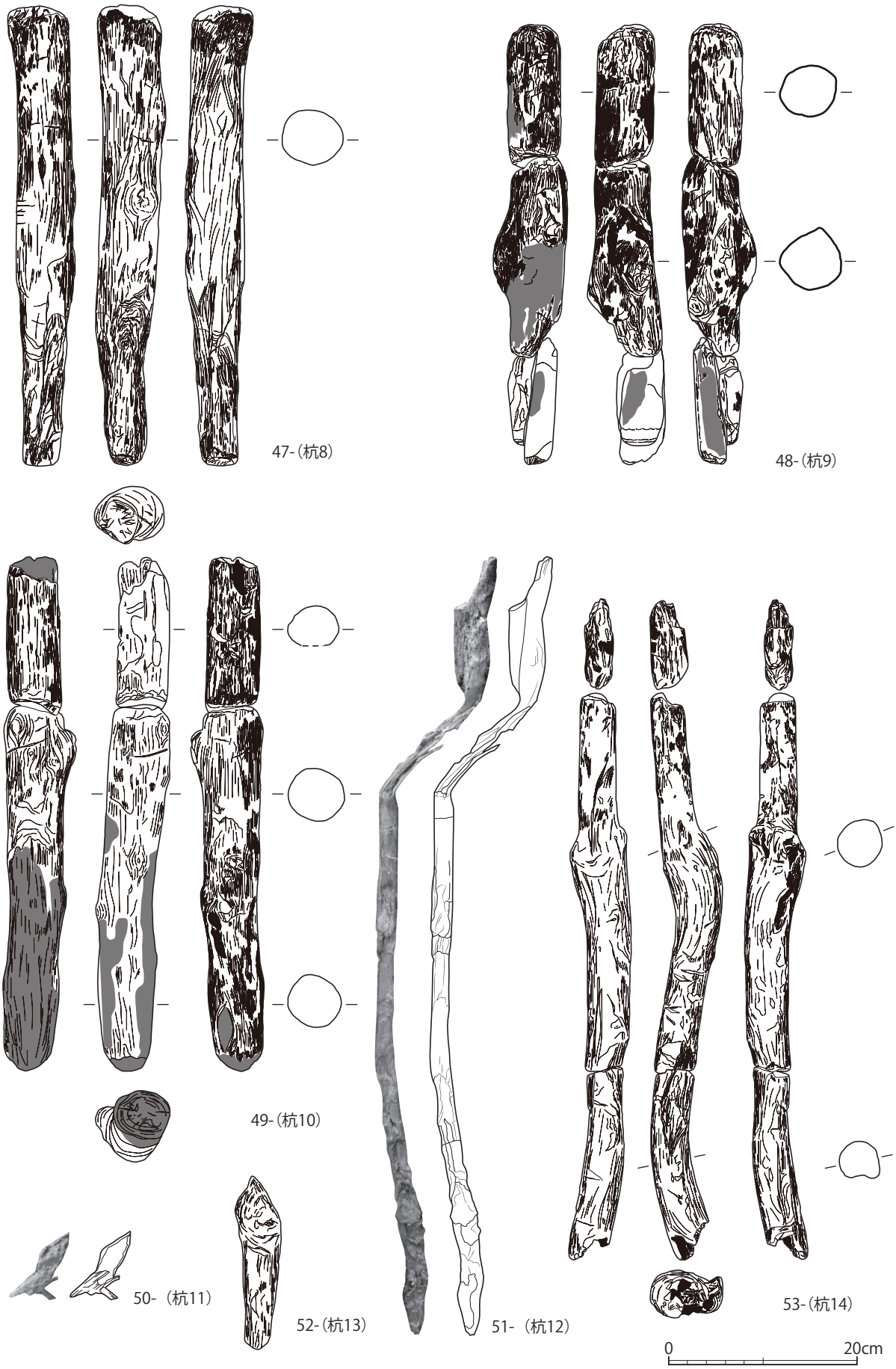
60 ～ 75（杭 21 ～ 36）は、タケ亜科の杭である。いずれの杭も節が観察される。60（杭 21）・71（杭 32）は折れによる中空部分の破裂が観察され、63（杭 24）・68 ～ 70（杭 29 ～ 31）・72（杭 33）・75（杭 36）は捩れによりらせん状に遺存している状態である。また先端部は 61 ～ 64（杭 22 ～ 25）などは平坦なもの、66（杭 27）・68（杭 29）・71（杭 31）・73（杭 34）・74（杭 35）は鈍角だが斜位に先端部が形成されている。遺存状態が悪く、先端部の状況が明瞭でないものや欠損しているものも看取される。

76（杭 37）は、長さが現存値で 80.5cm、幅 5.2cm、最大径 5.3cm を測る。部分的に黒変が見られるが、焼けていない。杭の長軸方向に対して直交する線状痕が確認された。先端は削られて尖らせているものと思われるが、潰れて鈍角である。樹種はムクノキである。

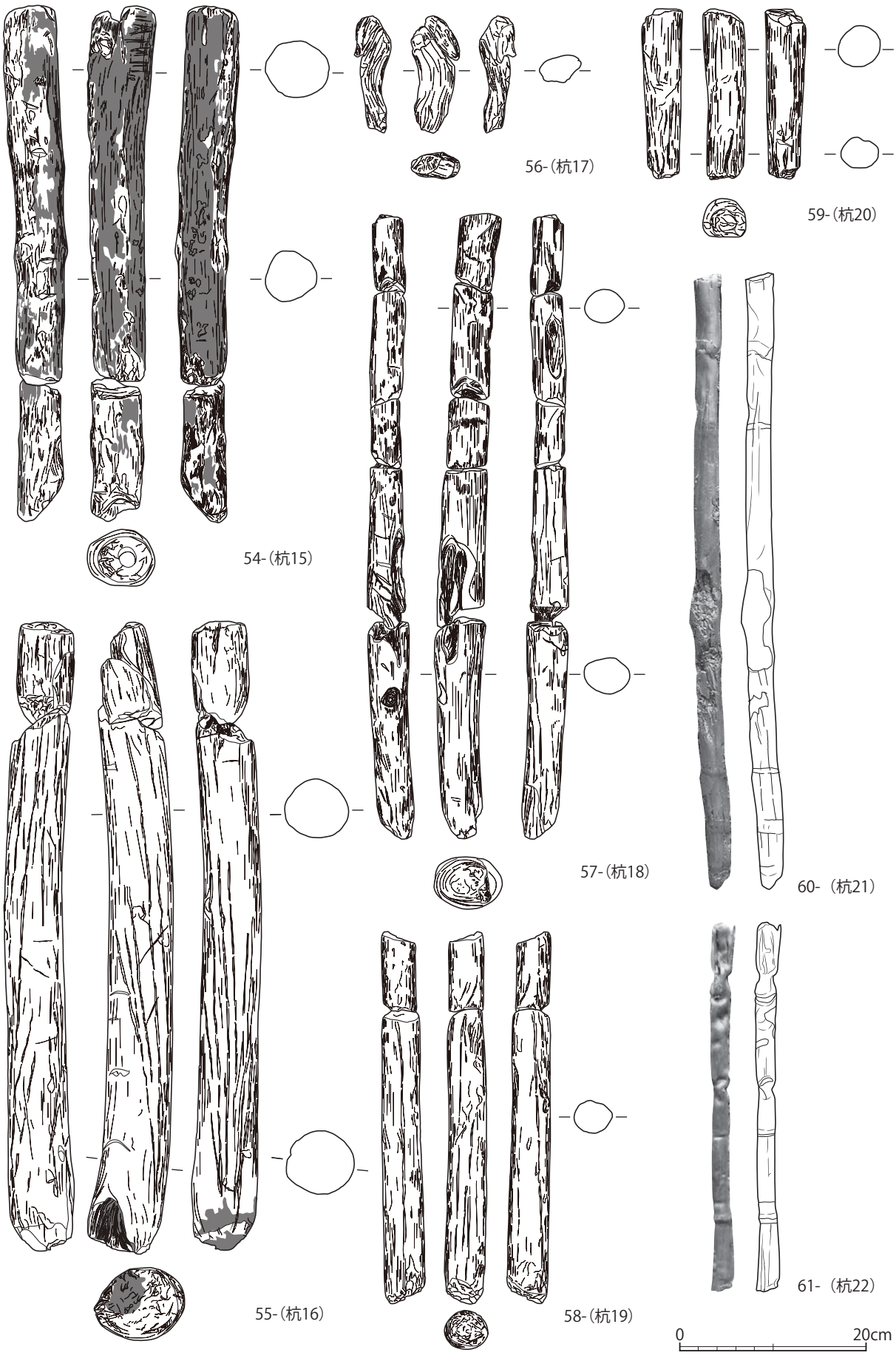
77（杭 38）は、G-5 グリッドの 40 層より、2 本に折れた状況で出土している。長さが現存値で 90.4cm、幅 5.8cm、最大径 6.8cm を測る。焼けて炭化し、黒変している部分が看取される。一方向から加工され、鋭角な状態が作出されている。樹種はイヌガヤである。

78（杭 39）は、長さが現存値で 135.4cm、幅 8cm、最大径 8.5cm を測る。両端部は尖っており、削りにより尖頭部を作出している様相が伺える。遺存状態が非常に良く、堅固な状態であることや、他の木杭と比較して標高が高い位置からの検出であることから、時期的には縄文時代よりも新しい杭の可能性もある。樹種はイヌガヤである。

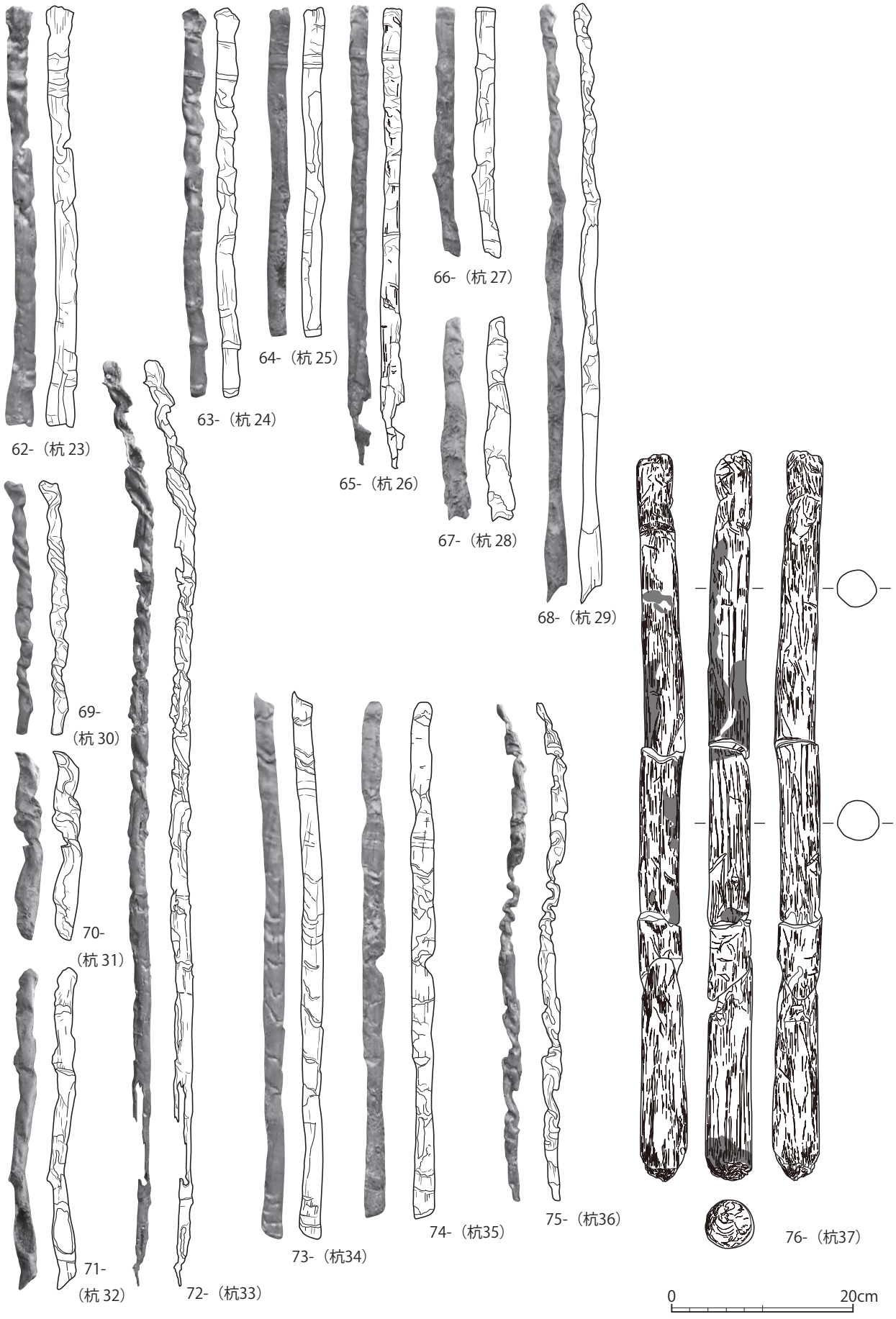
第 69 図　4 面出土遺物（3）（1/6）



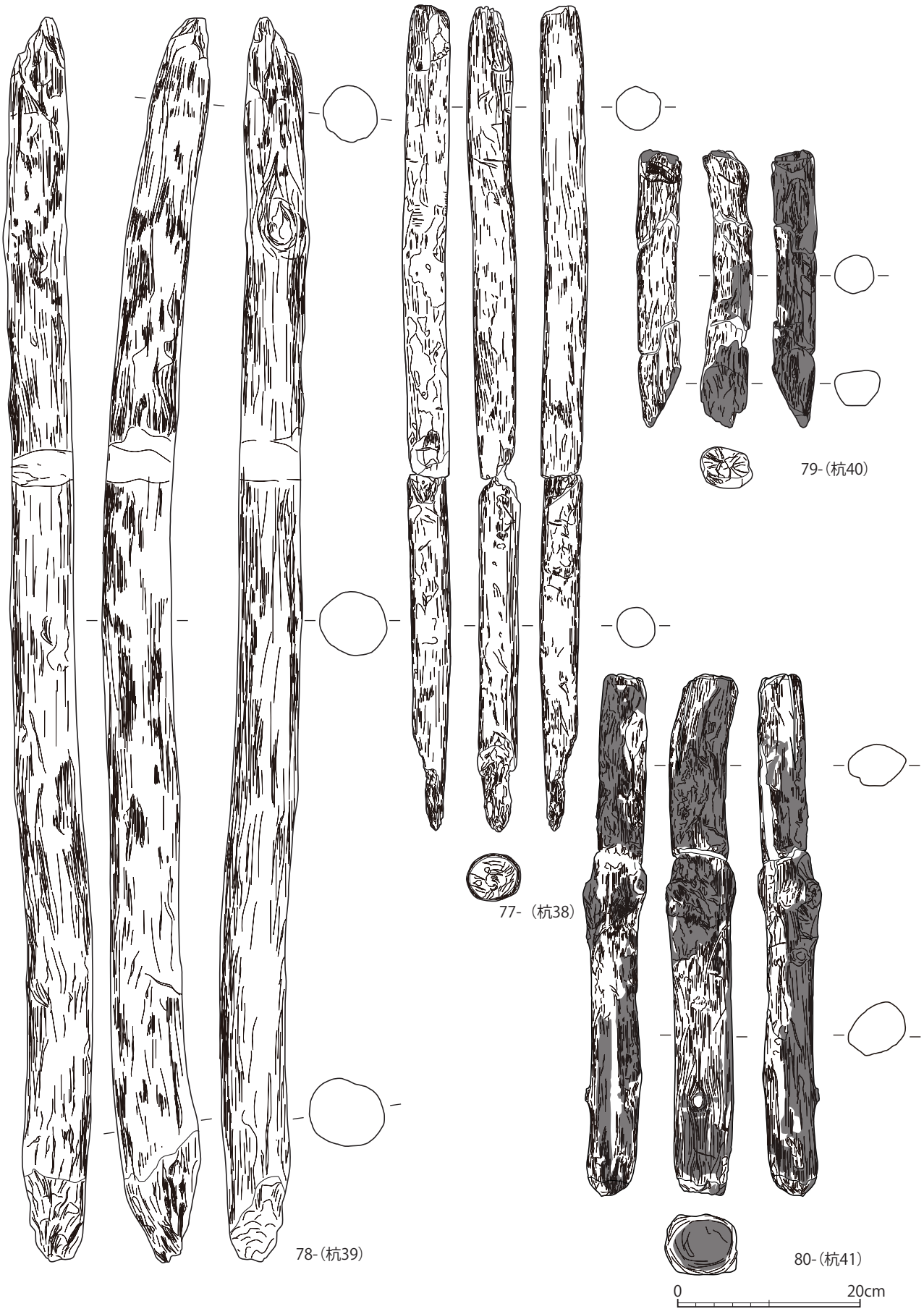
第 70 図　4 面出土遺物（4）（1/6）



第 71 図　4 面出土遺物（5）（1/6）



第 72 図　4 面出土遺物（6）（1/6）



第 73 図　4 面出土遺物（7）（1/6）

79（杭 40）は、長さが現存値で 30.4cm、幅 4.5cm、最大径 5.7cm を測る。杭は全体的に黒変している。先端は、一方向から削られて鋭角な状態が作出されている。杭の先端部のみ、焼けて炭化している。樹種はクリである。

80（杭 41）は、長さが現存値で 57.2cm、幅 6.7cm、最大径 7.9cm を測る。焼けて炭化しているが、樹皮が一部残存している。先端部は二方向から削られて尖頭部分の作出が伺えるが、潰れているため丸みを帯びる。樹種はクリである。

E　骨類（第 74 ～ 76・116 ～ 118 図、第 70・75 表、図版 108）

人骨 2 点と動物骨 12 点が出土した。人骨を国立科学博物館の梶ケ山真理氏、動物骨を帝京大学文化財研究所の植月学氏に分析を依頼した。詳細はそちらを参照されたい（人骨：第Ⅴ章第 6 節、脊椎動物遺体：第Ⅴ章第 5 節）。

第 74 図　4 面 前頭骨出土状況

第 75 図　4 面左大腿骨出土状況

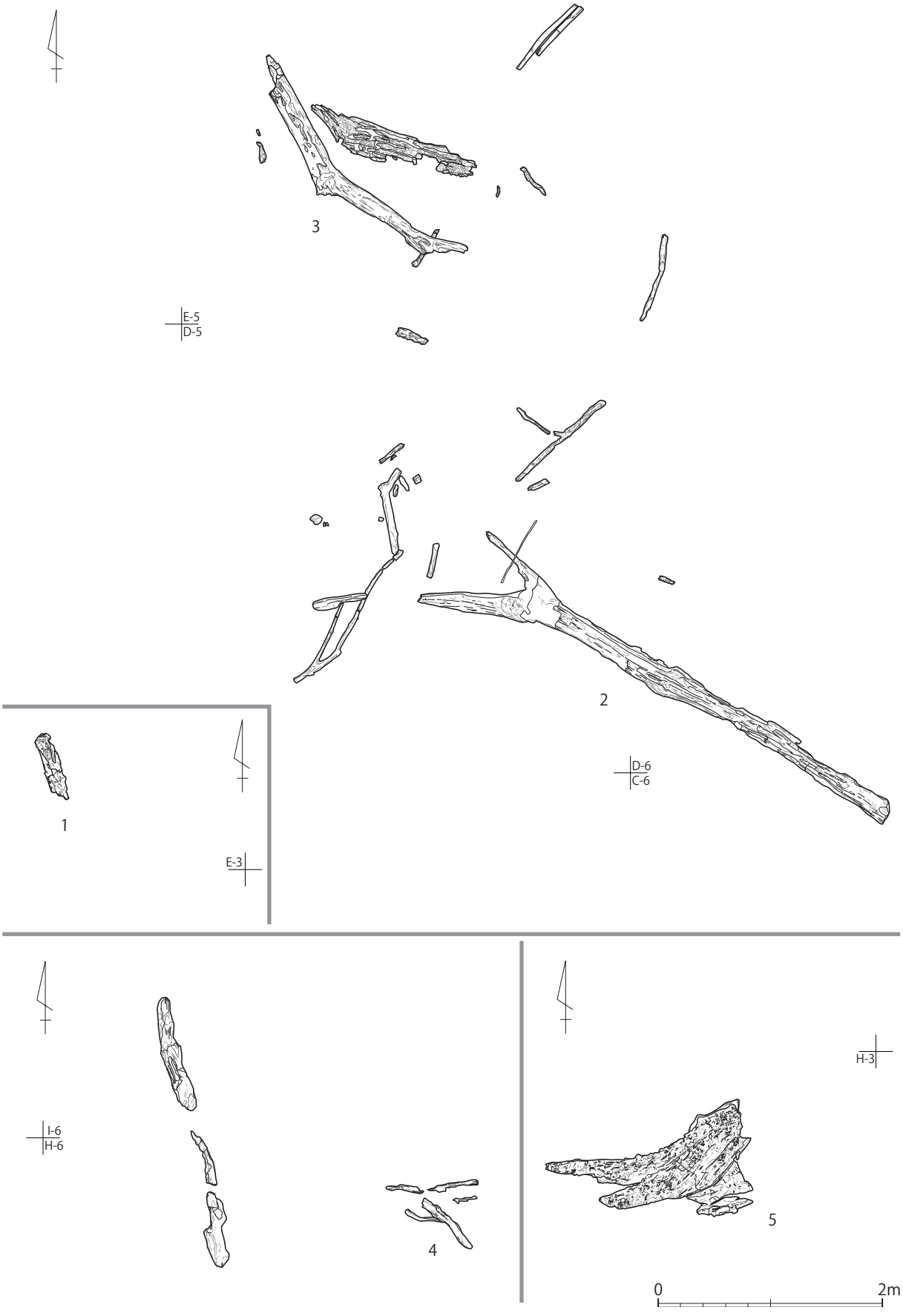
人骨（第 74・75・118 図、第 70・75 表、図版 108）

人骨は、前頭骨と左大腿骨が各 1 点出土した。ともに 4 面からの出土である。

1 は頭蓋骨の前頭骨にあたる部分である。B-5 グリッドから、礫層上に外面を上側にした状態で出土した。遺存状態は良い。

2 は左大腿骨である。F-4 グリッドより検出され、40 層中に横たわる形で出土した。遺存状態は良い。計測値は最大長 390㎜×中央骨体中

第 76 図　動物骨出土状況



第 77 図　大形材出土状況平面図（1/50）

央周 79㎜を測る。

動物骨（第 76・116・117 図、第 70・75 表）

4 面より動物骨は 7 点出土した。その内訳は、イノシシ 3 点、シカ 2 点、鳥類 2 点である。また一括資料として、イヌ 1 点、イノシシ 2 点が出土した。これらの動物骨の多くは、4 面の地形の変化に沿った形で分布している。

またあわせて、コラムサンプルの全地点を対象に動物骨の抽出作業を行った。C2・10・11・17・18・19・24・25・27 の 9 地点は、5㎜・2.5㎜・1㎜を対象とし、それ以外の 19 地点は 5㎜・2.5㎜を対象とした。種別の同定不可能な資料も含めて、60 点以上抽出された。種別が同定された資料のみ表にて掲載した（第 141 ～ 144 表）。

F　植物遺体（大形材・種子）（第 77・78 図、第 69・71 ～ 73 表）

植物遺体は、大形材から小枝等の小ぶりなものまで様々な種類が出土している。出土点数は 252 点である。そのほとんどが 4 面中からの出土であり、南から北側に向かって落ち込む 4 面の地形の変化に沿った形で分布する状況がみられる。

大形材（第 77 図、第 69 表、図版 108・109）

1 は、E-3 グリッドの 38 層の砂礫層上から検出された。規模は長さ 93.8cm ×幅 17.3cm を測る。^{14}C 年代測定の分析により縄文時代中期前半という結果が出ている。

2 は、D-6・D-5・6 グリッドの 38 層より検出された。38 層（砂礫層）と 30 層（砂質シルト質層）の境に位置する地点から出土した。規模は長さ 460cm ×幅 29cm を測る。樹種はクリである。^{14}C 年代測定の分析により縄文時代中期前半という結果が出ている。

3 は E-5 グリッドの 30 層（砂質シルト質層）より検出された。規模は長さ 249.2cm ×幅 30cm を測る。樹種はオニグルミである。

4 は、H-6 グリッドの 324 号（溝状遺構）の覆土より検出された。規模は長さ 68.2 ×幅 8.9cm を測る。樹種はエノキ属である。^{14}C 年代測定の分析結果では、本遺跡が形成されたと推定される年代よりもかなり古い値が測定された。

5 は、H-3 グリッド、44 層より検出された。規模は長さ 186.6cm ×幅 92.5cm を測る。樹種はクスノキ科である。^{14}C 年代測定の分析により縄文時代早期後葉という結果が出ている。

種子（大型遺存体）（第 78・88 図、第 71 ～ 73 表）

種実が同定できた種子は合計 224 点である。その内訳は、イヌガヤ 1 点とオニグルミ 123 点とコラムサンプルより 100 点である。出土したオニグルミのうち、35 点が完形もしくは完形に近い状態であり、可食された痕跡は認められない。出土した種子の多くが、4 面の砂礫層から連続して北側へ

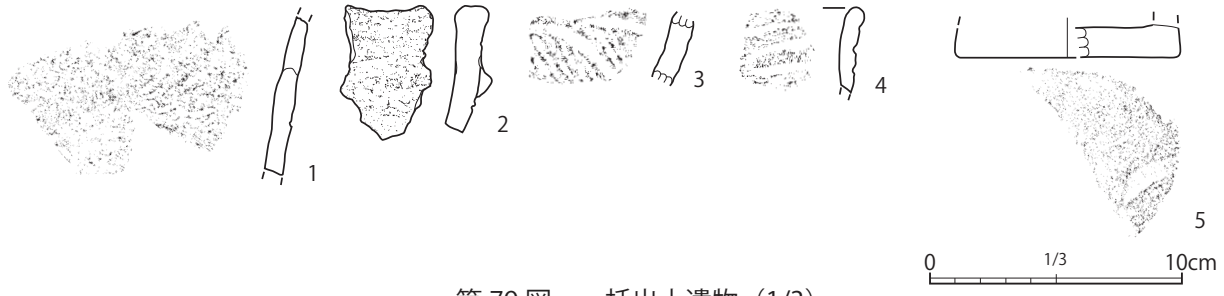
第 78 図　4 面出土種子（大型遺存体）

落ち込むシルト質層上に分布している。

またコラムサンプル内から出土した種子の内訳はカヤ、イヌガヤ、アサダ、イヌシデ、ムクノキ、コブシ、ヤブニッケイ、サクラ節、アカメガシワ、カラスザンショウ、サンショウ、ムクロジ、ミツバウツギ、クマヤナギ、ブドウ属、ノブドウ、ミズキ、クマノミズキ、クサギ、ニワトコ、ヒルムシロ属、スゲ属、カナムグラ、オニバス、シソ属である。種実の同定については、パリノ・サーヴェイ株式会社に分析を依頼した。詳細については、第Ⅴ章第 1 節を参照されたい。

一括出土遺物（第 79 図、第 74 表、図版 120）

一括出土遺物の総点数は土器 8 点、170.8g、動物骨 3 点、26.3g である。そのうち、土器の破片資料 5 点を掲載した。1 は地文に R の結節縄文を施文する胴部破片である。五領ヶ台 I 式である。2 は口縁部破片で、横位の隆帯を持ち、口縁部直下及び隆帯に沿わせるように結節沈線文が施される。胎土に金雲母、石英を多く含み、阿玉台式土器と思われる。3 は胴部破片で、地文に RL の縄文を持ち、横位の沈線が 3 本施文される。中期後葉の土器に位置付けられる。4 は口縁部破片で、口縁部直下に横位に 3 本の太沈線が施文される。後期の土器と思われる。5 は底部破片であり、底部の網代痕は観察されなかった。底径は 4.4cm と推測される。



第 79 図　一括出土遺物（1/3）

第 63 表　4 面出土土器観察表（1）

挿図番号	図版番号	調査区	グリッド・コラムNo.	出土層位	時　期	器種	部位	型　式	文　様	色調（外）	色調（内）	焼成	胎　土	備　考
67-1	115-1	A 区	H-6	37 層	中期初頭	深鉢	胴部	五領ヶ台	縄文（RL）、貝殻背圧痕	オリーブ黒色（5Y3/1）	オリーブ黒色（5Y3/1）	良好	石英、チャート	
67-2	115-2	A 区	G-7	35 層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E2	縄文（RL）、隆起線	黒褐色（10YR3/1）	黒色（10YR1.7/1）	良好	長石	
67-4	115-4	A 区	D-9	34 層	中期初頭	深鉢	口縁部	五領ヶ台 I	鋸歯状沈線、刺突沈線	黒褐色（2.5Y3/1）	黄灰色（2.5Y4/1）	良好	石英	
67-5	115-5	A 区	E-5	38 層	中期初頭	深鉢	口縁部	五領ヶ台 I	結節縄文（L）	灰黄褐色（10YR4/2）	黒褐色（10YR3/1）	良好	雲母、石英	
67-6	115-6	B 区	E-4	38 層	中期初頭	深鉢	胴部	五領ヶ台 I	沈線、三角印刻文	オリーブ黒色（5Y3/1）	灰オリーブ色（5YR4/2）	良好	石英、輝石	
67-7	115-7	B 区	C-8	38 層	中期初頭	深鉢	頸部	五領ヶ台 I	結節縄文（L）	暗灰色（7.5YR3/1）	黒褐色（7.5YR3/1）	良好	白色粒	
67-8	115-8	B 区	B-8	26 層	中期初頭	深鉢	胴部～底部	五領ヶ台	結節縄文（S 字状結節文）	暗黄灰色（2.5Y4/2）	黒褐色（2.5Y3/1）	やや良好	長石、白色粒子	
67-9	115-9	B 区	E-4	30 層	中期初頭	深鉢	胴部	五領ヶ台 I	結節縄文	黒褐色（2.5Y3/1）	黒褐色（2.5Y3/1）	良好	白色粒	
67-10	115-10	B 区	B-8	30 層	中期初頭	深鉢	胴部	五領ヶ台 I	結節縄文	黒褐色（10YR3/1）	黒褐色（7.5YR3/2）	良好	白色粒	
67-11	115-11	B 区	B-8	30 層	中期初頭	深鉢	胴部	五領ヶ台 I	S 字状結節文	黒褐色（10YR2/2）	黒色（10YR1.7/1）	良好	白色粒	
67-12	115-12	B 区	B-8	38 層	中期初頭	深鉢	胴部	五領ヶ台 I	結節縄文（LR）	オリーブ黒色（5Y4/2）	黒色（5Y2/1）	良好	赤褐粒	

第 64 表　4 面出土土器観察表（2）

挿図番号	図版番号	調査区	グリッド・コラムNo.	出土層位	時　期	器種	部位	型　式	文　様	色調（外）	色調（内）	焼成	胎　土	備　考
67-13	115-13	B区	C-7	38層	中期初頭	深鉢	胴部	五領ヶ台Ⅰ	貝殻腹縁	黒褐色（10YR3/1）	黒色（10YR1.7/1）	良好	石英、チャート	
67-14	115-14	B区	C-5	38層	中期後葉	深鉢	胴部	五領ヶ台	結節縄文（LR）、沈線、三角印刻文	にぶい赤褐色（5YR5/4）	黒褐色（7.5YR3/1）	良好	石英、チャート	
67-15	115-15	B区	E-3	28層	中期初頭	深鉢	胴部	五領ヶ台	縄文（LR）、結節縄文（L）	灰黄褐色（10YR4/2）	黒褐色（10YR3/1）	良好	石英	
67-16	115-16	B区	A-8	38層	中期初頭	深鉢	胴部	五領ヶ台	縄文（RL）	黒褐色（2.5Y3/1）	黒色（10YR1.7/1）	良好	石英	
67-17	115-17	B区	D-5・6	38層	中期前葉	深鉢	胴部	阿玉台Ⅰ	隆帯、結節沈線文	にぶい褐色（7.5YR6/3）	黒褐色（7.5YR3/1）	良好	金雲母、石英、白色粒	
67-18	115-18	A区	F-3	40層	中期中葉	深鉢	胴部	阿玉台？	太沈線	黒褐色（10YR3/1）	灰黄褐色（10YR4/2）	やや良好	雲母、長石	
67-19	115-19	B区	A-8	38層	中期前葉	深鉢	胴部	阿玉台？	無文	暗灰黄色（2.5YR4/2）	黒色（2.5Y2/1）	良好	雲母	内面炭化物付着
67-20	115-20	B区	E-5	39層	中期前葉	深鉢	胴部	阿玉台？	無文	灰褐色（7.5YR4/2）	灰黄褐色（10YR4/2）	やや良好	金雲母、石英	
67-21	115-21	B区	D-5	30層	中期後葉？	深鉢	口縁部		無文	黒褐色（10YR3/1）	黒色（10YR2/1）	やや良好	石英、金雲母	
67-22	115-22	A区	H-5	35層	中期後葉？	深鉢	口縁部		無文	黒褐色（10YR3/1）	黒褐色 2.5Y3/1）	良好	砂粒子、金雲母、	
67-23	116-23	B区	C-7	38層	中期？	深鉢	胴部		無文	黒褐色（10YR3/1）	黒色（10YR2/1）	やや良好	石英、金雲母	
67-24	116-24	B区	C-7	38層	中期？	深鉢	胴部		無文	褐灰色（7.5YR4/1）	黒褐色（7.5YR3/1）	良好	石英、金雲母	
67-25	116-25	B区	E-5	40層	中期？	深鉢	胴部		無文	黒褐色（10YR3/1）	灰黄褐色（10YR4/2）	やや良好	石英、金雲母	
67-26	115-26	B区	C-6	29層	中期後葉？	深鉢	胴部		無文	にぶい褐色（7.5YR5/4）	黒色（7.5YR2/1）	やや良好	砂、赤褐粒	
67-27	116-27	B区	F-2	38層	中期？	深鉢	胴部		無文	黄褐色（2.5Y5/3）	黒褐色（2.5Y3/1）	良好	チャート、石英	
67-28	116-28	A区	F-7	35層	中期？	深鉢	胴部		無文	灰褐色（7.5YR4/2）	黒褐色（7.5YR3/2）	良好	石英	
67-29	116-29	B区	E-4	39層	中期初頭？	深鉢	底部		無文	灰黄褐色（10YR4/2）	黒褐色（10YR3/1）	良好	赤褐粒（土器片）、石英	
67-30	116-30	B区	C-4	29層	中期？	深鉢	底部		無文	にぶい褐色（7.5YR5/4）	明赤褐色（5YR5/6）	やや良好	白色粒、石英	
67-31	116-31	B区	A-7	38層	中期？	深鉢	底部		無文	にぶい赤褐色（5YR5/4）	黒色（5YR1.7/1）	良好	白色粒	

第 65 表　4 面出土土製品観察表

挿図番号	図版番号	調査区	グリッド・コラムNo.	出土層位	時　期	器種	部位	型　式	文　様	最大長（㎜）	最大幅（㎜）	最大厚（㎜）	重量（g）	色調（外）	色調（内）	焼成	胎　土
67-3	115-3	A区	G-7	35層	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E1?	撚糸文	7.4	6.5	1.3	85.2	灰オリーブ色（5Y4/2）	暗オリーブ色（5Y4/3）	良好	石英・長石
68-32	116-32	B区	C-6	38層	中期初頭	深鉢	口縁部	五領ヶ台	縄文（RL）、隆起線、沈線	8.5	6	2.35/0.85	75.4	灰褐色（7.5YR4/2）	黒褐色（7.5YR3/1）	良好	赤褐粒
68-33	116-33	B区	D-4	38層	中期初頭	深鉢	口縁部	五領ヶ台	結節縄文	6.65	5.45	0.85	45.8	黒褐色（10YR3/2）	黒褐色（10YR3/2）	良好	石英
68-34	115-34	A区	H-9	36層	中期後葉	深鉢	口縁部	不明	無文	7.4	5.7	1.5	82.9	黄灰色（2.5Y4/1）	黒褐色（2.5Y3/1）	良好	砂粒子

第 66 表　4 面出土石器観察表

挿図番号	図版番号	調査区	グリッド・コラムNo.	出土層位	器　種	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	石　材	備　考
68-35	116-35	B区	B-7	38層	凹石	67	50	25	67.9	安山岩	
68-36	116-36	B区	E-4	39層	磨石	45	42	25	20.9	弱固結砂質泥岩	軽石
68-37	116-37	B区	E-3	38層	磨石	（88）	（58）	（46）	61.1	弱固結泥凝灰質泥岩	軽石
68-38	116-38	A区	F-3	40層	磨石	76	65	23	47.9	弱固結泥凝灰質泥岩	軽石
68-39	116-39	B区	D-6	39層	磨石	73	29	21	28.7	弱固結砂質泥岩	軽石
68-40	116-40	B区	E-4	39層	乳棒状石製品	190	33	33	248	石灰質シルト岩	

第 67 表　4 面出土木杭・竹杭観察表（1）

名称	挿図番号	図版番号	調査区	グリッド	種別	樹　種	長さ（㎜）	幅（㎜）	最大径（㎜）	重量（g）	樹種同定分析番号	年代測定分析番号	備　考
41- 杭 1	69-41	117-41	B 区	B-8	木杭	ニワトコ属	(566)	76	81	762	SKE01-1	—	樹皮一部残存、上部・先端欠損
42- 杭 2	69-42	117-42	B 区	E-5	木杭	クサギ	(277)	56	57	680	SKE01-2	—	樹皮残存、両端欠損
43- 杭 4	69-43	117-43	B 区	D-5	木杭	クサギ	(970)	80	86	2080	SKE01-3	試料 No.14	先端加工（炭化・ケズリ）、凹み
44- 杭 5	69-44	—	B 区	E-6	竹杭	タケ亜科	933.1	29.4	—	—	SKE01-4	—	
45- 杭 6	69-45	117-45	B 区	D-5	木杭	クスノキ科	(140)	59	59	401	SKE01-5	—	樹皮一部残存、両端欠損、線状痕・凹み
46- 杭 7	69-46	117-46	B 区	D-5	木杭	アカメガシワ	(18.0) (6.6)	4.2 2.6	4.3 3.3	280	SKE01-6	—	樹皮一部残存、両端・中途欠損
47- 杭 8	70-47	117-47	B 区	F-2	木杭	カエデ属	(544)	76	79	1300	SKE01-7	—	線状痕、先端加工（ケズリ）
48- 杭 9	70-48	117-48	B 区	E-4	木杭	ヤナギ属	468	60	76	1190	SKE01-8	—	樹皮一部残存、線状痕
49- 杭 10	70-49	118-49	B 区	E-4	木杭	クリ	(544)	76	79	1200	SKE01-9	—	樹皮残存、中央～先端（炭化）
50- 杭 11	70-50	—	B 区	E-4	竹杭	タケ亜科	94.1	25.9	—	—	SKE01-10	—	
51- 杭 12	70-51	—	B 区	E-4	竹杭	タケ亜科	830.1	38.0	—	—	SKE01-11	—	
52- 杭 13	70-52	118-52	B 区	C-6	木杭	—	(184.0)	46.2	—	—	—	—	
53- 杭 14	70-53	118-53	B 区	D-4・5	木杭	ニシキギ属	(704)	50	75	348	SKE01-12	—	樹皮一部残存、両端・中途欠損、加工痕
54- 杭 15	71-54	118-54	B 区	C-6	木杭	ケンポナシ属	(556)	61	79	1098	SKE01-13	—	樹皮一部残存、線状痕・凹み
55- 杭 16	71-55	118-55	B 区	D-4	木杭	クスノキ科	(680)	78	92	1640	SKE01-14	—	先端（黒変）、線状痕・凹み
56- 杭 17	71-56	118-56	B 区	D-5	木杭	クサギ	(120)	28	52	90	SKE01-15	—	両端欠損
57- 杭 18	71-57	118-57	B 区	D-5	木杭	クワ属	(670)	51	72	668	SKE01-16	—	線状痕、凹み
58- 杭 19	71-58	118-58	B 区	D-4	木杭	クサギ	(403)	42	45	287	SKE01-17	—	樹皮一部残存、
59- 杭 20	71-59	118-59	B 区	D-4	木杭	クサギ	(182)	41	46	260	SKE01-18	—	両端欠損、線状痕・凹み
60- 杭 21	71-60	—	B 区	D-4	竹杭	タケ亜科	659.4	34.2	—	—	SKE01-19	—	
61- 杭 22	71-61	—	B 区	D-5	竹杭	タケ亜科	396.8	25.1	—	—	SKE01-20	—	
62- 杭 23	72-62	—	B 区	D-5	竹杭	タケ亜科	465.4	32.5	—	—	SKE01-21	—	
63- 杭 24	72-63	—	B 区	D-5	竹杭	タケ亜科	429.2	24.1	—	—	SKE01-22	—	
64- 杭 25	72-64	—	B 区	D-5	竹杭	タケ亜科	364.1	22.7	—	—	SKE01-41	—	
65- 杭 26	72-65	—	B 区	D-5	竹杭	タケ亜科	507.1	26.9	—	—	SKE01-23	—	
66- 杭 27	72-66	—	B 区	D-5	竹杭	タケ亜科	276.8	23.5	—	—	SKE01-42	—	
67- 杭 28	72-67	—	B 区	C-6	竹杭	タケ亜科	225.7	28.9	—	—	SKE01-24	—	
68- 杭 29	72-68	—	B 区	C-6	竹杭	—	659	26.6	—	—	—	—	
69- 杭 30	72-69	—	B 区	C-6	竹杭	タケ亜科	279.7	20.9	—	—	SKE01-25	—	
70- 杭 31	72-70	—	B 区	D-6	竹杭	タケ亜科	208.7	28.2	—	—	SKE01-26	—	
71- 杭 32	72-71	—	B 区	D-6	竹杭	タケ亜科	354.8	25.4	—	—	SKE01-27	—	
72- 杭 33	72-72	—	B 区	C-6	竹杭	タケ亜科	1024.9	22.9	—	—	SKE01-28	—	
73- 杭 34	72-73	—	B 区	D-4	竹杭	タケ亜科	604.2	24.3	—	—	SKE01-29	—	
74- 杭 35	72-74	—	B 区	C-4	竹杭	タケ亜科	569.6	23.9	—	—	SKE01-30	試料 No.13	
75- 杭 36	72-75	—	B 区	D-6	竹杭	タケ亜科	548.7	22.7	—	—	SKE01-31	—	
76- 杭 37	72-76	119-76	A 区	F-4	木杭	ムクノキ	(805)	52	53	1260	SKE01-32	—	線状痕、先端加工（ケズリ）
77- 杭 38	73-77	119-77	A 区	G-5	木杭	イヌガヤ	(904)	58	68	1400	SKE01-33	—	
78- 杭 39	73-78	119-78	A 区	F-3	木杭	イヌガヤ	1354	80	85	3400	SKE01-34	—	両端加工（ケズリ）

第 68 表　4 面出土木杭・竹杭観察表（2）

名称	挿図番号	図版番号	調査区	グリッド	種別	樹　種	長さ（㎜）	幅（㎜）	最大径（㎜）	重量（g）	樹種同定分析番号	年代測定分析番号	備　考
79- 杭 40	73-79	119-79	A 区	F-2	木杭	クリ	(304)	45	57	450	SKE01-35	—	先端加工（炭化）
80- 杭 41	73-80	119-80	A 区	E-6	木杭	クリ	(572)	67	79	1440	SKE01-36	—	樹皮一部残存、炭化

第 69 表　4 面出土大形材観察表

挿図番号	図版番号	調査区	グリッド	種別	樹　種	長さ（cm）	幅（cm）	最大径（㎜）	樹種同定分析番号	年代測定分析番号	備　考
77-1	109-3	B 区	E-3	材	—	93.8	17.3	152.0	—	試料 No.11	
77-2	108-7	B 区	D-6	材	クリ	460.4	29.0	250.0	SKE01-37	試料 No.10	
77-3	108-8	B 区	E-5	材	オニグルミ	249.2	30.0	200.0	SKE01-38	—	
77-4	106-1	A 区	H-6	材	エノキ属	68.2	8.9	200.0	SKE01-39	試料 No.19	
77-5	109-6	A 区	H-3	材	クスノキ科	186.6	92.5	800.0	SKE01-40	試料 No.20	

第 70 表　4 面出土人骨・動物骨観察表

挿図番号	図版番号	調査区	グリッド・コラム№	層位	種　別	部　位	長さ（㎜）	幅（㎜）	重量（g）	脊椎動物分析番号	備　考
118-2	108-2	B 区	B-5	38 層	人骨	前頭骨	—	（94）	—	—	資料番号 391
118-1	108-3	A 区	F-4	40 層	人骨	左大腿骨	390	（26.1）	—	—	資料番号 640
116-6	—	A 区	D-8	32 層	ガン族	上腕骨	（111.4）	10.5	7.5	03	資料番号 721
116-8	—	B 区	C-6	38 層	カモメ科	上腕骨	（52.0）	4.3	1	09	資料番号 299
117-4	108-4	B 区	C-5	38 層	イノシシ	肩甲骨	168.7	（61.2）	66	08	資料番号 219
117-5	108-5	B 区	C-7	38 層	イノシシ	上腕骨	（87.6）	31.6	28	06	資料番号 176
117-6	—	B 区	B-8	39 層	イノシシ	脛骨	127.2	25.6	32	07	資料番号 181
117-8	—	B 区	D-5	40 層	二ホンジカ	胸椎	106.1	53.6	13	10	前後骨端末癒合、資料番号 360
117-9	—	B 区	D-5	40 層	二ホンジカ	肋骨	（67.9）	11.7	3.8	11	第 4 ～ 6 前後、資料番号 361

第 71 表　4 面出土種子観察表（1）

挿図番号	図版番号	調査区	グリッド	層　位	種　別	長さ（㎜）	幅（㎜）	厚さ（㎜）	重量（g）	備　考
66-1	78-1	B 区	E-4	39 層	イヌガヤ	17.05	10.14	8.14	—	資料番号 085、状態：完形未満
66-2	78-2	A 区	F-4	40 層	オニグルミ	34	29	27	10.9	資料番号 656、状態：完形未満
66	—	A 区	D-7	30 層	オニグルミ	30	22	—	2.9	状態：破片（半分以上）
66	—	A 区	D-7	30 層	オニグルミ	—	—	—	3.3	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	D-7	30 層	オニグルミ	—	—	—	3.8	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	D-8	30 層	オニグルミ	26	24	22	6.8	状態：完形未満
66	—	A 区	E-6	30 層	オニグルミ	35	27	25	6.8	状態：完形未満
66	—	A 区	E-6	30 層	オニグルミ	24	24	21	7	状態：完形未満
66	—	A 区	E-6	30 層	オニグルミ	33	26	26	11.3	状態：完形未満
66	—	A 区	E-6	30 層	オニグルミ	—	27	—	5	状態：破片（半分以上）
66	—	A 区	E-6	30 層	オニグルミ	—	—	—	3.5	状態：破片（半分以上）
66	—	A 区	E-6	30 層	オニグルミ	—	26	—	3.4	状態：破片（半分以上）
66	—	A 区	E-6	30 層	オニグルミ	—	—	—	3	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	E-6	30 層	オニグルミ	—	—	—	1.5	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	F-4	30 層	オニグルミ	29	28	—	3.7	状態：破片（半分以上）
66	—	A 区	D-7	40 層	オニグルミ	—	—	—	2.4	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	E-5	40 層	オニグルミ	35	29	28	13	状態：完形未満

第 72 表　4 面出土種子観察表（2）

挿図番号	図版番号	調査区	グリッド	層　位	種　別	長さ（㎜）	幅（㎜）	厚さ（㎜）	重量（g）	備　考
66	—	A 区	E-5	40 層	オニグルミ	—	—	—	4.1	状態：破片（半分以上）
66	—	A 区	E-5	40 層	オニグルミ	—	—	—	3.6	状態：破片（半分以上）
66	—	A 区	E-5	40 層	オニグルミ	28	27	—	3.8	状態：破片（半分以上）
66	—	A 区	E-5	40 層	オニグルミ	—	—	—	3.4	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	E-6	40 層	オニグルミ	—	—	—	1.3	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	E-7	40 層	オニグルミ	24	24	21	7.1	状態：完形未満
66	—	A 区	E-7	40 層	オニグルミ	24	25	22	7.7	状態：完形未満
66	—	A 区	E-7	40 層	オニグルミ	39	29	—	7	状態：破片（半分以上）
66	—	A 区	E-7	40 層	オニグルミ	34	27	—	3.7	状態：破片（半分以上）
66	—	A 区	E-7	40 層	オニグルミ	—	—	—	6.4	状態：破片（半分以上）
66	—	A 区	E-7	40 層	オニグルミ	—	—	—	3.1	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	E-7	40 層	オニグルミ	—	—	—	3.9	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	E-7	40 層	オニグルミ	—	—	—	1.1	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	E-7	40 層	オニグルミ	—	—	—	3.7	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	E-7	40 層	オニグルミ	—	—	—	3	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	F-4	40 層	オニグルミ	28	22	21	5.8	状態：完形未満
66	—	A 区	F-4	40 層	オニグルミ	25	25	21	7.1	状態：完形未満
66	—	A 区	F-4	40 層	オニグルミ	31	28	23	10.3	状態：完形未満
66	—	A 区	F-4	40 層	オニグルミ	24	23	23	7.5	状態：完形未満
66	—	A 区	F-4	40 層	オニグルミ	30	24	19	6.3	状態：完形未満
66	—	A 区	F-4	40 層	オニグルミ	—	—	—	5.9	状態：破片（半分以上）
66	—	A 区	F-4	40 層	オニグルミ	—	27	—	3	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	F-4	40 層	オニグルミ	—	—	—	5.1	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	F-4	40 層	オニグルミ	—	—	—	3.6	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	F-4	40 層	オニグルミ	—	—	—	3.1	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	F-5	40 層	オニグルミ	35	30	—	5.4	状態：破片（半分以上）
66	—	A 区	F-5	40 層	オニグルミ	—	—	—	0.3	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	F-5	40 層	オニグルミ	—	—	—	1	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	F-6	40 層	オニグルミ	31	30	—	4.6	状態：破片（半分以上）
66	—	A 区	F-6	40 層	オニグルミ	—	—	—	3.3	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	E-6	40 層	オニグルミ	—	—	—	3.4	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	E-6	41 層	オニグルミ	—	—	—	4	状態：破片（半分以上）
66	—	A 区	E-7	41 層	オニグルミ	31	24	19	6.7	状態：完形未満
66	—	A 区	E-7	41 層	オニグルミ	35	24	23	9.1	状態：完形未満
66	—	A 区	E-7	41 層	オニグルミ	—	—	—	1.8	状態：破片（半分以上）
66	—	A 区	E-7	41 層	オニグルミ	—	—	—	2.5	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	E-7	41 層	オニグルミ	—	—	—	2.8	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	F-6	42 層	オニグルミ	—	—	—	4	状態：破片（半分以上）
66	—	A 区	F-6	42 層	オニグルミ	—	—	—	2.8	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	F-6	42 層	オニグルミ	—	—	—	3.1	状態：破片（半分以下）
66	—	A 区	G-4	42 層	オニグルミ	33	29	25	7.1	状態：完形未満
66	—	B 区	D-4	30 層	オニグルミ	—	32	—	8.1	状態：完形未満
66	—	B 区	D-4	30 層	オニグルミ	—	—	—	0.7	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	D-5	30 層	オニグルミ	30	30	27	10.6	状態：完形未満
66	—	B 区	D-5	30 層	オニグルミ	34	30	30	14.1	状態：完形未満
66	—	B 区	D-5	30 層	オニグルミ	32	29	28	13	状態：完形未満
66	—	B 区	D-5	30 層	オニグルミ	30	27	24	9.2	状態：完形未満
66	—	B 区	D-5	30 層	オニグルミ	31	30	—	6.6	状態：完形未満
66	—	B 区	D-5	30 層	オニグルミ	—	—	—	3	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	D-5	30 層	オニグルミ	—	27	—	4.8	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	D-5	30 層	オニグルミ	—	—	—	2.6	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	D-5	30 層	オニグルミ	—	—	—	2.1	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	D-5	30 層	オニグルミ	—	—	—	2.6	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	D-5	30 層	オニグルミ	—	—	—	2.1	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	D-6	30 層	オニグルミ	—	—	—	3.7	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	D-6	30 層	オニグルミ	—	—	—	3.3	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	D-6	30 層	オニグルミ	—	—	—	2.8	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	D-6	30 層	オニグルミ	—	—	—	2.4	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	D-6	30 層	オニグルミ	—	22	—	2.3	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	E-4	30 層	オニグルミ	28	26	26	7.9	状態：完形未満
66	—	B 区	E-4	30 層	オニグルミ	—	—	—	0.7	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	E-4	30 層	オニグルミ	—	—	—	1.8	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	B-8	38 層	オニグルミ	—	—	—	3.6	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	B-8	38 層	オニグルミ	—	32	—	6.5	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	B-8	38 層	オニグルミ	—	—	—	2.2	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	B-8	38 層	オニグルミ	—	—	—	1.5	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	C-6	38 層	オニグルミ	—	32	—	3.5	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	C-7	38 層	オニグルミ	—	—	—	1.8	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	C-7	38 層	オニグルミ	—	—	—	4.6	状態：破片（半分以上）

第 73 表　4 面出土種子観察表（3）

挿図番号	図版番号	調査区	グリッド	層　位	種　別	長さ（㎜）	幅（㎜）	厚さ（㎜）	重量（g）	備　考
66	—	B 区	C-7	38 層	オニグルミ	—	30	—	5.5	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	C-7	38 層	オニグルミ	—	—	—	2.4	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	B-8	39 層	オニグルミ	41	—	—	7	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	B-8	39 層	オニグルミ	—	27	—	2.9	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	B-8	39 層	オニグルミ	—	—	—	2.9	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	B-8	39 層	オニグルミ	—	—	—	4.4	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	B-8	39 層	オニグルミ	—	—	—	2.8	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	C-7	39 層	オニグルミ	—	22	—	2.3	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	C-7	39 層	オニグルミ	—	—	—	1.4	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	E-3	39 層	オニグルミ	33	22	29	6.2	状態：完形未満
66	—	B 区	E-3	39 層	オニグルミ	—	—	—	4.9	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	E-3	39 層	オニグルミ	—	27	—	4.2	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	E-3	39 層	オニグルミ	—	28	—	4.5	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	E-4	39 層	オニグルミ	24	25	22	7.7	状態：完形未満
66	—	B 区	E-4	39 層	オニグルミ	29	28	26	10.3	状態：完形未満
66	—	B 区	E-4	39 層	オニグルミ	—	—	—	3.7	状態：完形未満
66	—	B 区	E-4	39 層	オニグルミ	—	—	—	4.3	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	E-4	39 層	オニグルミ	—	29	—	4.3	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	E-4	39 層	オニグルミ	30	26	—	3.4	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	E-5	39 層	オニグルミ	—	—	—	2.8	状態：完形未満
66	—	B 区	E-5	39 層	オニグルミ	—	—	—	2.1	状態：完形未満
66	—	B 区	E-5	39 層	オニグルミ	—	—	—	2.7	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	F-2	39 層	オニグルミ	33	27	24	9.9	状態：完形未満
66	—	B 区	F-2	39 層	オニグルミ	—	—	—	4.6	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	F-2	39 層	オニグルミ	—	—	—	4.1	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	F-3	39 層	オニグルミ	—	—	—	4.2	状態：完形未満
66	—	B 区	F-3	39 層	オニグルミ	—	36	—	5.7	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	F-3	39 層	オニグルミ	—	24	—	3	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	F-3	39 層	オニグルミ	—	—	—	2.8	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	F-3	39 層	オニグルミ	—	—	—	1.7	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	F-3	39 層	オニグルミ	—	—	—	3.9	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	F-3	39 層	オニグルミ	—	—	—	1	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	F-3	39 層	オニグルミ	—	—	—	1.1	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	D-6	40 層	オニグルミ	35	29	27	13	状態：完形未満
66	—	B 区	D-6	40 層	オニグルミ	26	24	25	8.4	状態：完形未満
66	—	B 区	D-6	40 層	オニグルミ	—	—	—	3.5	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	D-6	40 層	オニグルミ	—	—	—	3.2	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	D-6	40 層	オニグルミ	—	—	—	2.5	状態：破片（半分以下）
66	—	B 区	E-5	40 層	オニグルミ	30	24	22	7.9	状態：完形未満
66	—	B 区	E-5	40 層	オニグルミ	35	24	22	7	状態：完形未満
66	—	B 区	E-5	40 層	オニグルミ	—	35	—	5.4	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	E-5	40 層	オニグルミ	—	27	—	4.4	状態：破片（半分以上）
66	—	B 区	E-5	40 層	オニグルミ？	—	29	—	4.5	状態：破片（半分以上）

第 74 表　一括出土遺物観察表

挿図番号	図版番号	調査区	グリッド・コラムNo.	時期	器種	部位	型　式	文　様	色調（外）	色調（内）	焼成	胎　土	備　考
79-1	120-1	B 区	一括	中期初頭	深鉢	胴部	五領ヶ台 I	結節縄文（R）	褐灰色（10YR4/1）	黒褐色（10YR3/1）	良好	—	
79-2	120-2	A 区	一括	中期前葉	深鉢	口縁部	阿玉台 I	隆帯、結節沈線文	にぶい赤褐色（5YR5/4）	黒褐色（10YR3/1）	やや良好	金雲母・石英・赤褐粒	
79-3	120-3	B 区	一括	中期後葉	深鉢	胴部	加曽利 E	縄文（RL）、沈線	明褐色（7.5YR5/6）	にぶい黄色（2.5Y6/4）	やや良好	赤褐色	内面炭化物付着
79-4	120-4	A 区	一括	後期	深鉢	口縁部		沈線	明黄褐色（10YR6/6）	黄褐色 1（0YR5/6）	やや良好	長石・チャート	
79-5	120-5	B 区	一括	中期	深鉢	底部		無文	褐色（7.5YR4/4）	明褐色（7.5YR5/6）	良好	—	

第 75 表　一括出土動物骨観察表

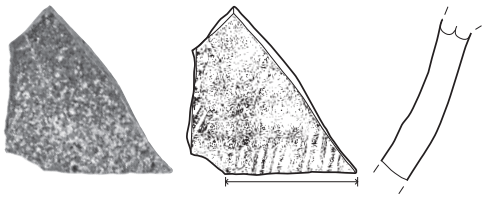
挿図番号	図版番号	調査区	グリッド・コラムNo.	出土位置	種別	部位	長さ（㎜）	幅（㎜）	重量（g）	分析 No.	備　考
117-1	—	B 区	一括	A-5	イヌ	撓骨	90.2	9.4	5.1	12	遠位端末癒合
116-10	—	A 区	一括	B-4	鳥類	頸椎	—	34.0	1.2	05	
117-3	—	A 区	一括	A-2 攪乱	イノシシ	頸椎	41.5	51.8	20	04	風化

2　古　代

1）遺物

A　須恵器（第 80 図、第 76 表）

表土から須恵器の胴部破片が 1 点出土している。表面には平行タタキ目が観察される。また顕著ではないが、下片の割れ面には摩滅が見られ、転用されている可能性がある。坪井正五郎らが中里貝塚で採集した遺物の中で「朝鮮式土器」として須恵器が紹介されており、栄町貝塚においても中里貝塚と同様に須恵器の出土が認められたため掲載した。



第 80 図　須恵器胴部破片（1/3）

第 76 表　須恵器観察表

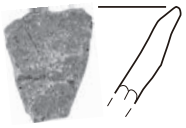
挿図番号	調査区	器種	遺存部位	法量	重量（g）	成形・調整	胎土	焼成	色　調	備　考
80	B 区	甕	胴部	—	67.3	器外面平行タタキ目	砂粒	良好	黄灰（2.5Y4/1）	自然釉

3　中　世

1）遺物

A　山茶碗（第 81 図、第 77 表）

表土中から、中世のものと思われる山茶碗、片口鉢の破片が 1 点出土している。口縁部破片でその形態は内削状で器厚はやや厚手である。器内外面に自然釉が看取される。器外面にはロクロ目が残存する。産地は東海系と推定され、時期は 12 世紀中頃～ 13 世紀中頃と思われる。



第 81 図　山茶碗口縁部破片（1/3）

第 77 表　山茶碗観察表

挿図番号	調査区	器種	遺存部位	法量	重量（g）	成形・調整	胎土	焼成	色　調	備　考
81	A 区	片口鉢	口縁部	—	18.8	ロクロ回転による成形	砂粒	良好	灰（5Y6/1）	自然釉　12c 中～ 13c 中

4　近世以降

絵図によると近世の栄町貝塚付近には「蛎売塚」「貝塚」と記載されており、その他は田畑として土地利用されていた。また大正時代に入ると、「英工舎」という時計工場が建設され、工場として土地利用されていた。これらの時代の遺物は、表土及び攪乱中から僅かに出土している。年代的には、17 世紀～ 20 世紀に至る年代幅をもち、特に 19 世紀以降の近代に含まれる遺物が半数以上を占める。

出土した遺物は 1345.3g で、すべて陶磁器土器類の破片資料である。そのうち図化可能な 18 点を掲載した。内訳は、陶器 8 点、173.9g、磁器 7 点、458.2g、炻器 2 点、70.7g、土器 1 点、51.5g である。以下、それらの様相について触れていく。

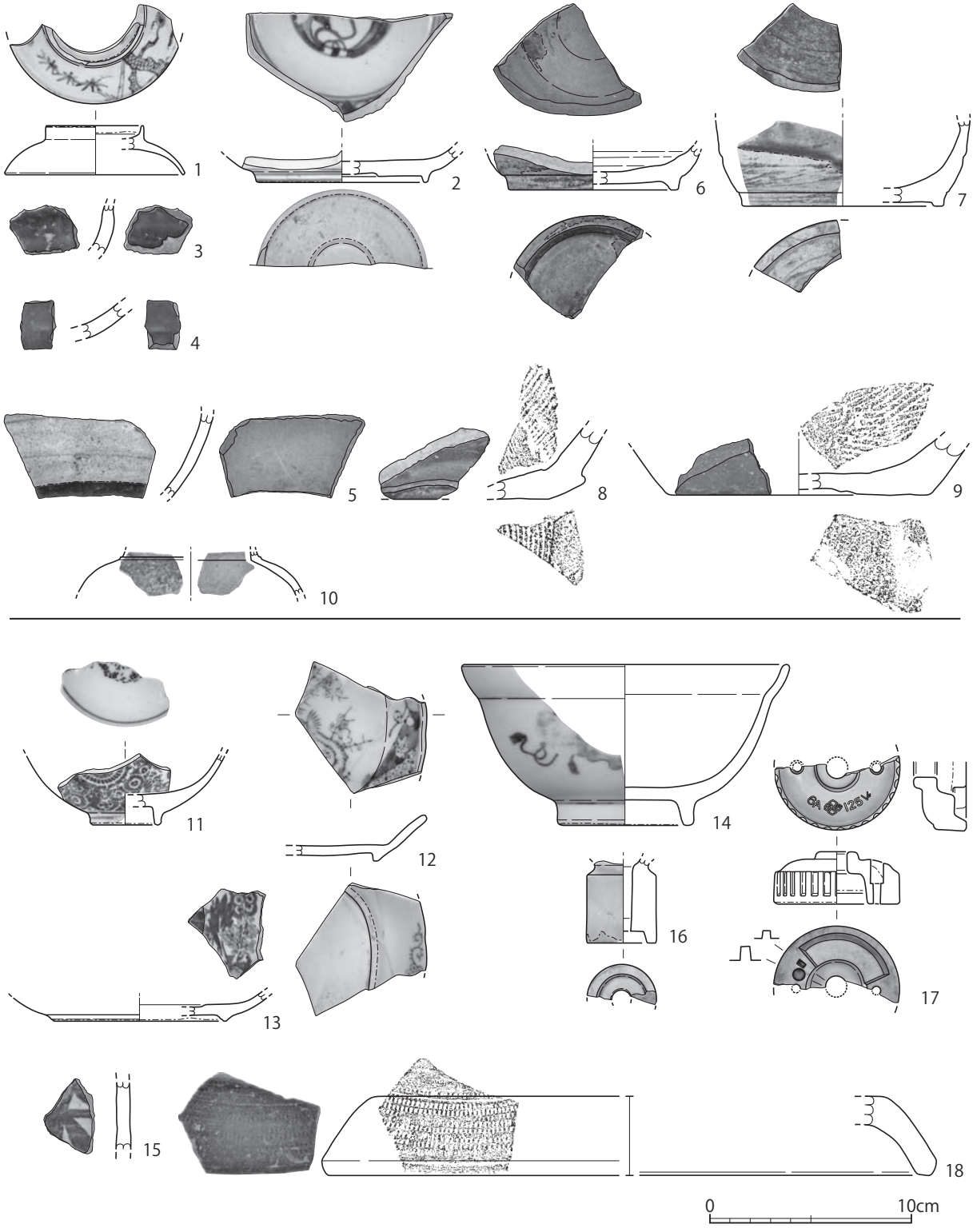
近世以降

1）遺物

A　磁器・陶器・炻器（第 82 図、第 78 表）

1 ～ 10 は近世の範疇と思われる遺物である。1・2 は磁器で 1 は肥前産の染付の広東碗蓋、2 は肥前産の染付の蛇の目凹形高台を持つ皿である。3・4・5・6・7・8 は陶器で、3 は瀬戸・美濃産の天目茶碗で、鉄釉が施される。4 は肥前産の銅緑釉輪剥皿で、内外に緑釉が施される。5 は文様部分が欠損しているが、山水土瓶の可能性がある。6・7 は瀬戸・美濃産の徳利で、五合瓶と推定される。6 は飴釉が施され、7 は外面に飴釉、内面は無釉である。8 は瀬戸･美濃産の擂鉢で、鉄釉が施される。9 は堺産の炻器の擂鉢である。10 は信楽産の炻器の壺である。卵形の器形を呈し、透明釉が施される。

11 ～ 18 は近・現代の範疇と思われる遺物である。11・12 は瀬戸・美濃産の磁器で、11 は丸碗である。銅板絵付技法による施文で、内側に竹文、外側に扇と花が描かれる。12 は皿である。ゴム印による施文で、内側に梅、外側に唐草文が施文される。13 は磁器のティーカップのソーサーである。高台畳付の段差により日本で生産された可能性が高い。14 は瀬戸・美濃産の磁器の鉢（丼鉢）である。上絵付技法による宝文が描かれる。15 は瀬戸･美濃産の陶器の灰釉鉄文字徳利である。砕片の為、文字の判読不能である。16 は肥前産、17 は瀬戸・美濃産の碍子であり、透明釉が施される。形状より屋内使用されたものと考えられる。18 は在地系の瓦質土器の火消し壺の蓋である。畳目文が回転施文される。



第 82 図　近世以降の出土遺物（1/3）

第 78 表　近世以降の出土遺物観察表

挿図番号	調査区	材質	器種	器形	法量（㎜）	重量（g）	遺存状態	成形・調整	装飾（釉薬・絵付）	文　様	産　地	時　期	備　考
82-1	A 区	磁器	碗蓋	広東形	口径（89） 器高　25 摘み径（49）	22.7	摘み～縁	ロクロ	染付・透明釉	松竹文	肥前	18C 後葉～19C 前葉	（広東碗）
82-2	B 区	磁器	皿		口径　— 器高　*17 底径　86	56.1	底部	ロクロ・蛇の目凹形高台	染付		肥前	1740 年～19C 前葉	深皿
82-3	A 区	陶器	碗	天目形	口径　— 器高　— 底径　—	6.8	胴部	ロクロ	鉄釉		瀬戸・美濃	17C ？	摩耗
82-4	A 区	陶器	皿		口径　— 器高　— 底径　—	4.2	胴部	ロクロ・輪ハゲ	内外緑釉		肥前	17C 後葉～18C 前葉	
82-5	A 区	陶器	土瓶		口径　— 器高　— 底径　—	29	胴部	ロクロ	透明釉・呉須	不明		19C 中葉～	山水土瓶・被熱
82-6	B 区	陶器	徳利		口径　— 器高　*22 底径（85）	41.7	底部	ロクロ	飴釉・内面無釉		瀬戸・美濃	17C 末～18C 前葉	五合瓶・底部釉薬拭取り
82-7	A 区	陶器	徳利		口径　— 器高　*42 底径（100）	41.6	底部	ロクロ	飴釉・内面施釉		瀬戸・美濃	17C 末～18C 前葉	五合瓶・底部釉薬拭取り
82-8	A 区	炻器	擂鉢		口径　— 器高　— 底径　*35	62.6	底部	紐作り			堺	18C ～ 19C	
82-9	A 区	陶器	擂鉢		口径　— 器高　*28 底径（130）	32.1	底部	ロクロ	鉄釉		瀬戸・美濃	17C ～ 19C	底部糸切痕
82-10	A 区	炻器	壺	卵形	口径　— 器高　*34 底径（36）	8.1	肩～頸部	ロクロ	透明釉		信楽	17C ～ 19C	
82-11	A 区	磁器	碗	丸形	口径　— 器高　— 底径　—	27.8	底部	ロクロ	銅板絵付・人工コバルト	（外）扇・花 （内）竹文	瀬戸・美濃	19C 後葉～20C 前葉	
82-12	B 区	磁器	皿	輪花楕円形	口径　— 器高　*23 底径　—	29.8	口縁～底部	型打・ロクロ	ゴム印	（外）唐花文 （内）梅	瀬戸・美濃	20C 前葉	
82-13	A 区	硬質陶器	皿		口径　— 器高（14） 底径（88）	10.9	底部	型打ロクロ	染付・白釉・白彩・藍彩	ウィローパターン	日本	19C 第四半期後葉～20C 初頭	ティーカップソーサー
82-14	A 区	磁器	鉢（丼鉢）	折縁	口径（163） 器高　80 底径　68	241.9	口縁～底部	型打・付高台？	透明釉・上絵付（金・赤・青）	（外）宝文？	瀬戸・美濃	20C 前葉	
82-15	A 区	陶器	徳利		口径　— 器高　— 底径　—	7.6	胴部	ロクロ	灰釉・鉄絵（文字）	不明	瀬戸・美濃	19C 後葉～20C	鉄文字徳利・摩耗
82-16	A 区	磁器	碍子		口径　— 器高　*41 底径（34）	31			透明釉		肥前	近代	ノップ碍子
82-17	A 区	磁器	碍子		口径（21） 器高　26 底径　63	48.9			透明釉	6A 四つ菱文 125V	瀬戸・美濃	近代	碍子ローゼット
82-18	B 区	土器（瓦質）	火消壺蓋		口径　— 器高　（39）	51.5	口縁部	型打ロクロ	回転施文	畳目文	在地系	19C ～ 20C	

法量の（　）は推定値、*は現存値、—は計測不能を示す。

Ⅴ　自然科学分析

1　栄町貝塚の珪藻・植物珪酸体・花粉分析及び種子同定

パリノ・サーヴェイ株式会社
赤堀 岳人・井上 智仁・斎藤 崇人・馬場 健司・松元 美由紀

はじめに

東京都北区に所在する栄町貝塚は武蔵野台地縁辺の飛鳥山微高地上に立地し、国指定史跡の中里貝塚に隣接する。縄文時代中期以降と考えられる複数の貝層が確認されている。

今回は、縄文時代の古環境（堆積環境や植生）を復元する上での基礎資料を得るために自然科学分析を実施した。具体的には、堆積環境について珪藻分析、周辺の森林植生や草本植生について花粉分析と植物珪酸体分析を選択した。

また貝層からは種実遺体も数多く産出しており、当該期の植物質食料の一端を反映するものと想定された。そこで、貝層から取り上げられた種実遺体を同定し、可食植物の有無を明らかにするとともに、植生についても併せて情報を得る。

1. 試料

(1) 堆積物試料

珪藻分析の対象とした試料は、

Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q10 に見られた土層の 19 層、26 層、29 層、38 層、40 層より採取された 5 点（No.1,2,3,4,5）

同じく Q3 で見られた土層の 20 層より採取された 1 点（No.6）

同じく Q2 で見られた土層の 10 層より採取された 1 点（No.7）

同じく Q1 に見られた土層の 3 層、11 層、13 層、25 層、28 層より採取された 5 点（No.8,9,10,11,12）

Sec.2(B1･A2 トレンチ)Q21 に見られた土層の 8 層､18 層､44 層より採取された 3 点(No.13,14,16)

同じく Q28 に見られた土層の 23 層、43 層より採取された 2 点（No.17,18）

同じく Q29 に見られた土層の 18′層、35 層より採取された 2 点（No.19,20）

同じく Q33 に見られた土層の 45 層、48 層、50 層より採取された 3 点（No.21,22,23）

Sec.1（A1 トレンチ）Q31 に見られた土層の 32 層、33 層、34 層の 3 点（No.24,25,26）

Sec.5（A5 北西側南北セクション）Q20 に見られた土層の 15′層の 1 点（No.27）

Sec.4（B4・A5 トレンチ）に見られた 15 層より採取された 1 点（No.28）

同じく Q27 に見られた 16 層、17 層より採取された 2 点（No.29,30）

の合計 29 点である。

花粉分析および植物珪酸体分析の対象とした試料は、

Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q10 に見られた土層の 26 層と 38 層より採取された 2 点（No.2,4）、

同じく Q1 に見られた土層の 3 層、11 層、13 層より採取された 3 点（No.8,9,10）、

Sec.2(B1・A2 トレンチ)Q21 に見られた土層の 8 層、18 層、42 層より採取された 1 点(No.13,14,15)

Sec.4（B4・A5 トレンチ）に見られた 15 層より採取された 1 点（No.28)、Q27 の 16 層より採取された 1 点（No.29)

の合計 10 点である。

以上の堆積物試料の詳細を第 79 表に示す。

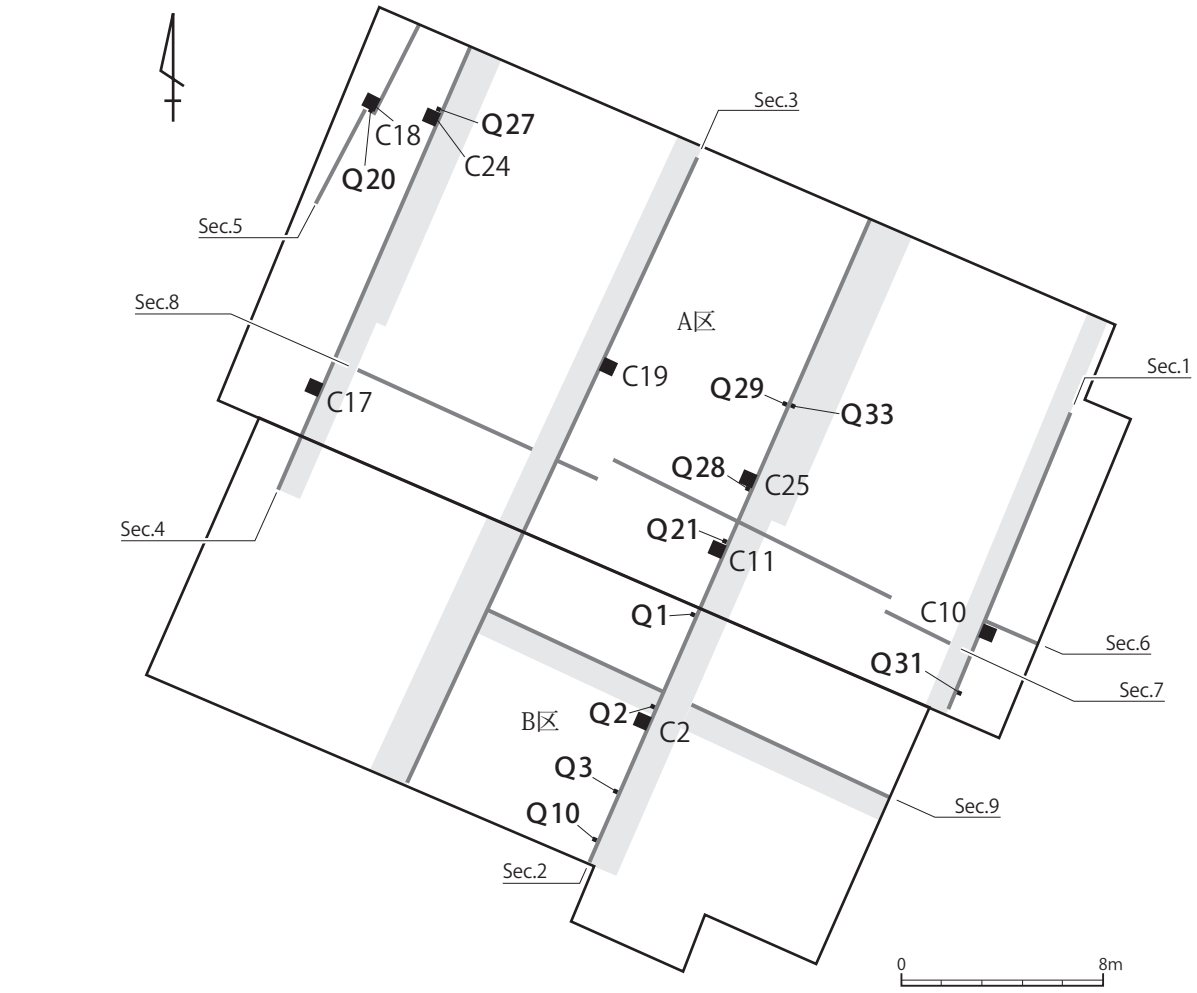
第 79 表　堆積物資料一覧

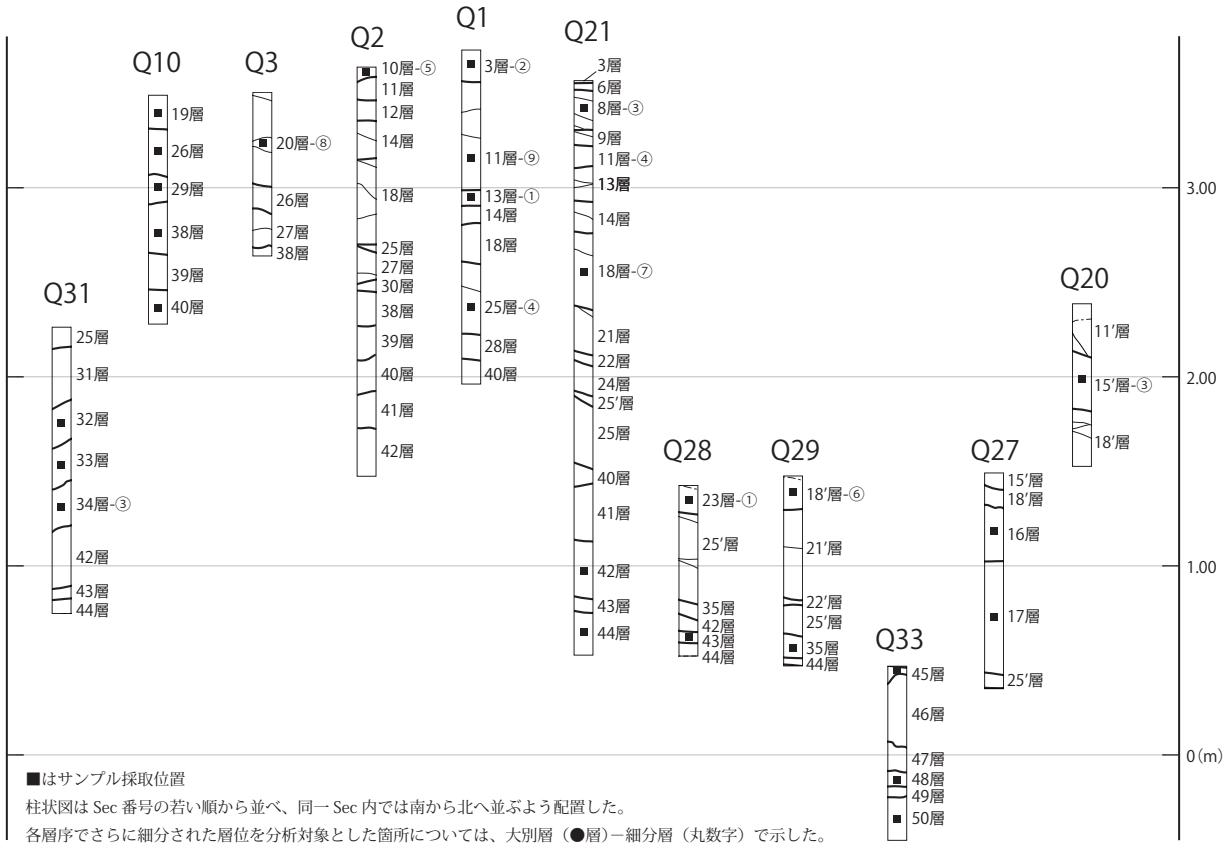
No.	地　点	採取地点番号―採取番号	層位	珪藻分析	花粉分析	植物珪酸分析
1	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q10-②	19 層	○		
2	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q10-⑥	26 層	○	○	○
3	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q10-⑩	29 層	○		
4	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q10-⑭	38 層	○	○	○
5	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q10-㉒	40 層	○		
6	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q3-⑥	20 層	○		
7	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q2-①	10 層	○		
8	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q1-②	3 層	○	○	○
9	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q1-⑨	11 層	○	○	○
10	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q1-⑮	13 層	○	○	○
11	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q1-㉖	25 層	○		
12	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q1-㉜	28 層	○		
13	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q21-③	8 層	○	○	○
14	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q21-⑳	18 層	○	○	○
15	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q21-㊷	42 層		○	○
16	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q21-㊽	44 層	○		
17	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q28-②	23 層	○		
18	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q28-⑯	43 層	○		
19	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q29-③	18′層	○		
20	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q29-⑱	35 層	○		
21	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q33-①	45 層	○		
22	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q33-⑬	48 層	○		
23	Sec.2（B1・A2 トレンチ）	Q33-⑰	50 層	○		
24	Sec.1（A1 トレンチ）	Q31-⑩	32 層	○		
25	Sec.1（A1 トレンチ）	Q31-⑭	33 層	○		
26	Sec.1（A1 トレンチ）	Q31-⑱	34 層	○		
27	Sec.5（A5 北西側南北セクション）	Q20-⑥	15′層	○		
28	Sec.4（B4・A5 トレンチ）		15 層	○	○	○
29	Sec.4（B4・A5 トレンチ）	Q27-⑦	16 層	○	○	○
30	Sec.4（B4・A5 トレンチ）	Q27-⑮	17 層	○		

(2) 種実試料

種実同定試料は、調査中に取り上げられたオニグルミ以外の種実遺体 100 点（番号 1 ～ 9）である。

東京都埋蔵文化財センター提供試料一覧による試料の内訳は、B 区 No.085（番号 1）が 1 点、コラムサンプル C2（番号 2）が 2 点、A 区コラムサンプル C10（番号 3）が 35 点、コラムサンプル C11（番号 4）が 11 点、コラムサンプル C17（番号 5）が 7 点、コラムサンプル C18（番号 6）が 4 点、コラムサンプル C19（番号 7）が 4 点、コラムサンプル C24（番号 8）が 9 点、コラムサンプル C25（番号 9）が 27 点である。この他、試料ラベル記載情報を加筆した詳細を、同定結果とともに第 84 表、





■はサンプル採取位置
柱状図は Sec 番号の若い順から並べ、同一 Sec 内では南から北へ並ぶよう配置した。
各層序でさらに細分された層位を分析対象とした箇所については、大別層（●層）－細分層（丸数字）で示した。

第 83 図　土壌サンプル採取位置図・断面図

第 85 表に示す。

2. 分析方法

(1) 珪藻分析

湿重約 5g をビーカーに計り取り、過酸化水素水と塩酸を加えて試料の泥化と有機物の分解・漂白を行う。次に、分散剤を加えた後、蒸留水を満たし放置する。その後、上澄み液中に浮遊した粘土分を除去し、珪藻殻の濃縮を行う。この操作を 4 ～ 5 回繰り返す。次に、自然沈降法による砂質分の除去を行い、検鏡し易い濃度に希釈し、カバーガラス上に滴下して乾燥させる。乾燥した試料上に封入剤のプリュウラックスを滴下し、スライドガラスに貼り付け永久プレパラートを作製する。

検鏡は、油浸 600 倍または 1000 倍で行い、メカニカルステージを用い任意に出現する珪藻化石が 200 個体以上になるまで同定・計数した。なお、原則として、珪藻殻が半分以上破損したものについては、誤同定を避けるため同定・計数は行わない。200 個体が産出した後は、示準種等の重要な種類の見落としがないように、全体を精査し、含まれる種群すべてが把握できるように努める。

珪藻の同定と種の生態性については、Horst Lange-Bertalot *et al.*（2000）、Hustedt（1930-1966）、Krammer and Lange-Bertalot（1985 ～ 1991）、Desikachary（1987）などを参考にする。群集解析にあたり個々の産出化石は、まず塩分濃度に対する適応性により、海水生、海水～汽水生、汽水生、淡水生に生態分類し、さらにその中の淡水生種は、塩分、pH、水の流動性の 3 適応性についても生態分類し表に示した。

堆積環境の変遷を考察するために珪藻化石が 100 個体以上産出した試料について珪藻化石群集変遷図を作成した。出現率は化石総数を基数とした百分率で表し、基本的に 1% 以上（産出種数により変更）の産出率を示す分類群についてのみ表示した（図中の●印は、総数が 100 個体以上産出した試料うち 1% 未満の種を示し、+ 印は総数 100 個体未満の場合の産出を示す）。表示する分類群は、分析試料全体で産出率の合計が 1% 以上の分類群である。また、図中には、海水生・汽水生・淡水生種の相対頻度と淡水生種を基数とした塩分・pH・流水の相対頻度について図示した。

塩分に対する適応性とは、淡水中の塩類濃度の違いにより区分したもので、ある程度の塩分が含まれた方がよく生育する種類は好塩性種とし、少量の塩分が含まれていても生育できるものを不定性種、塩分が存在する水中では生育できないものを嫌塩性種として区分している。これは、主に水域の化学的な特性を知る手がかりとなるが、単に塩類濃度が高いか低いかといったことが分かるだけでなく、塩類濃度が高い水域というのは概して閉鎖水域である場合が多いことから、景観を推定する上でも重要な要素である。

pH に対する適応性とは、アルカリ性の水域に特徴的に認められる種群を好アルカリ性種、逆に酸性水域に生育する種群を好酸性種、中性の水域に生育する種を不定性種としている。これも、単に水の酸性・アルカリ性のいずれかがわかるだけでなく、酸性の場合は湿地であることが多いなど、間接的には水域の状況を考察する上で必要不可欠である。

流水に対する適応性とは、流れのある水域の基物（岩石・大型の藻類・水生植物など）に付着生育する種群であり、特に常時、流れのあるような水域でなければ生育出来ない種群を好流水性種、逆に流れのない水域に生育する種群を好止水性種として区分している。流水不定は、どちらにでも生育できる可能性もあるが、それらの大半は止水域に多い種群である。なお、好流水性種と流水不定性種の

多くは付着性種であるが、好止水性種には水塊中を浮遊生活する浮遊性種も存在する。浮遊性種は、池沼あるいは湖沼の環境を指標する。

なお、淡水生種の中には、水中から出て陸域の乾いた環境下でも生育する種群が存在し、これらを陸生珪藻と呼んで、水中で生育する種群と区分している。陸生珪藻は、陸域の乾いた環境を指標することから、古環境を推定する上で極めて重要な種群である。

(2) 花粉分析

試料約 10g について、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液（臭化亜鉛，比重 2.2）による有機物の分離、フッ化水素酸による鉱物質の除去、アセトリシス（無水酢酸 9：濃硫酸 1 の混合液）処理による植物遺体中のセルロースの分解を行い、物理・化学的処理を施して花粉を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作製し、400 倍の光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査し、出現する全ての種類について同定・計数する。同定は、当社保有の現生標本や島倉（1973）、中村（1980）、藤木・小澤（2007）、三好ほか（2011）等を参考にする。

結果は同定・計数結果の一覧表、及び花粉化石群集の分布図として表示する。図表中で複数の種類をハイフォンで結んだものは、種類間の区別が困難なものを示す。図中の木本花粉は木本花粉総数を、草本花粉・シダ類胞子は総数から不明花粉を除いた数をそれぞれ基数として、百分率で出現率を算出し図示する。なお、木本花粉総数が 100 個未満のものは、統計的に扱うと結果が歪曲する恐れがあるので、出現した種類を＋で表示するにとどめておく。

(3) 植物珪酸体分析

各試料について過酸化水素水・塩酸処理、沈定法、重液分離法（ポリタングステン酸ナトリウム，比重 2.5）の順に物理・化学処理を行い、植物珪酸体を分離・濃集する。これをカバーガラス上に滴下・乾燥させる。乾燥後、プリュウラックスで封入してプレパラートを作製する。400 倍の光学顕微鏡下で全面を走査し、その間に出現するイネ科葉部（葉身と葉鞘）の葉部短細胞に由来した植物珪酸体（以下、短細胞珪酸体と呼ぶ）および葉身機動細胞に由来した植物珪酸体（以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ）を、近藤（2010）の分類を参考に同定し、計数する。

分析の際には、分析試料の乾燥重量、プレパラート作成に用いた分析残渣量を正確に計量し、乾土 1g あたりの植物珪酸体含量（同定した数を乾土 1g あたりの個数に換算）を求める。

結果は、植物珪酸体含量の一覧表で示す。その際、100 個 /g 未満は「<100」で表示する。各分類群の含量は 10 の位で丸め（100 単位にする）、合計は各分類群の丸めない数字を合計した後に丸めている。

(4) 種実同定

試料を双眼実体顕微鏡下で観察する。同定は、現生標本や石川（1994）、谷城（2007）、中山ほか（2010）、鈴木ほか（2018）等を参考に実施する。結果は、部位・状態別の個数を一覧表で示し、各分類群の写真を添付する。実体顕微鏡下による区別が困難な複数分類群間は、ハイフォンで結んで表示する。次に、保存状態が良好な一部の種実遺体は、大きさをデジタルノギスで計測し、結果を一覧表に併記する。分析後は、種実遺体を容器に入れて保管する。B 区 No.085（番号 1）は、70% 程度のエタノール溶液で液浸保存する。

3. 結果

（1）珪藻分析

分析結果を第 80 表、第 81 表、第 84 図に示した。

以下、地点ごとに結果を記す。

・Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q10 の 19 層（No.1）・26 層（No.2）・29 層（No.3）・38 層（No.4）・40 層（No.5）、Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q3 の 20 層（No.6）、Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q2 の 10 層（No.7）、Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q1 の 3 層（No.8）・11 層（No.9）・13 層（No.10）・25 層（No.11）・28 層（No.12）

分析した 12 試料のうち、40 層・38 層・29 層・28 層・26 層・25 層・11 層の 7 試料から珪藻化石が産出し、20 層・19 層・13 層・10 層・3 層の 5 層は無化石であった。産出した試料のうち 40 層から 100 個体以上産出したが、その他の試料の産出数は少なかった。保存状態は、全体的に、壊れた殻が多く、一部の殻に溶解の痕跡が認められるため、不良～極不良である。

以下、試料ごとに結果の詳細を記す。

40 層からは、105 個体産出した。産出した分類群は、海水生種を主として、海水～汽水生種、汽水生種、低率に淡水生種を伴う種群で構成される。特徴的に産出した種は、海水生種の *Actinoptychus senarius* 、*Paralia sulcata*、*Thalassionema nitzschioides*、海水～汽水生種の *Cyclotella striata*、汽水生種の *Nitzschia granulata* 等である。

38 層からは、3 個体産出した。産出した分類群は、海水生種および汽水生種で構成される。

29 層からは、13 個体産出した。産出した分類群は、海水生種、海水～汽水生種、汽水生種および淡水生種で構成される。

28 層からは、75 個体産出した。産出した分類群は、海水生種、海水～汽水生種、汽水生種、淡水生種、低率に淡水～汽水性種で構成される。産出した種は、海水～汽水生種の *Cyclotella striata*、*Cocconeis scutellum*、汽水生種の *Nitzschia levidensis*、淡水生種で流水生種の *Cocconeis placentula* var. *lineata* 等である。

26 層からは、2 個体産出した。産出した分類群は、海水生種および汽水生種で構成される。

25 層からは、24 個体産出した。産出した分類群は、海水～汽水生種を主にして、海水生種、汽水生種、低率に淡水生種を伴う種群で構成される。産出した種は、海水～汽水生種の *Cyclotella striata* である。

11 層からは、1 個体産出した。産出した分類群は、海水～汽水生種である。

20 層は、無化石であった。

19 層は、無化石であった。

13 層は、無化石であった。

10 層は、無化石であった。

3 層は、無化石であった。

・Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q21 の 8 層（No.13）、18 層（No.14）・44 層（No.16）、Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q28 の 23 層（No.17）・43 層（No.18）、Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q29 の 18′層（No.19）・35 層（No.20）、Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q33 の 32 層（No.21）・48 層（No.22）・50 層（No.23）

分析した 10 試料のうち、8 層を除く 9 試料から珪藻化石が産出した。珪藻化石が産出したいずれ

の試料も産出数は少なかった。保存状態は、全体的に、壊れた殻が多く、一部の殻に溶解の痕跡が認められるため、不良～極不良である。

以下、試料ごとに結果の詳細を記す。

50 層からは、25 個体産出した。産出した分類群は、淡水生種のみで構成される。産出した種は、淡水生種で流水性種の *Cymbella turgidula* 等である。

48 層からは、24 個体産出した。産出した分類群は、淡水生種を主にして、淡水～汽水生種を伴う種群で構成される。淡水生種で流水性種の *Cymbella turgidula* 等である。

45 層からは、4 個体産出した。産出した分類群は、淡水生種のみで構成される。

44 層からは、12 個体産出した。産出した分類群は、海水生種を主として、海水～汽水生種を伴う種群で構成される。

43 層からは、3 個体産出した。産出した分類群は、海水生種および汽水生種で構成される。

35 層からは、14 個体産出した。産出した分類群は、海水生種、汽水生種、淡水生種で構成される。

23 層からは、20 個体産出した。産出した分類群は、汽水生種を主として、海水生種を伴う種群で構成される。

18 層からは、3 個体産出した。産出した分類群は、海水生種および海水～汽水生種で構成される。

18′層からは、82 個体産出した。産出した分類群は、汽水生種を主として、海水生種、海水～汽水生種、低率に淡水～汽水生種を伴う種群で構成される。産出した種は、海水生種の *Paralia sulcata*、*Thalassionema nitzschioides*、海水～汽水生種の *Cocconeis scutellum*、汽水生種の *Pseudopodosira kosugii* 等である。

8 層は、無化石であった。

・Sec.1（A1 トレンチ）Q31 の 32 層（No.24）・33 層（No.25）・34 層（No.26）

分析した 3 試料のすべてから珪藻化石が産出したが、産出数は少なかった。保存状態は、全体的に、壊れた殻が多く、一部の殻に溶解の痕跡が認められるため、不良～極不良である。

以下、試料ごとに結果の詳細を記す。

34 層からは、53 個体産出した。産出した分類群は、海水生種を主として、海水～汽水生種、低率に汽水生種および淡水生種を伴う種群で構成される。産出した種は、海水生種の *Thalassionema nitzschioides* 等である。

33 層からは、65 個体産出した。産出した分類群は、海水～汽水生種を主として、海水生種、低率に汽水生種、淡水～汽水生種および淡水生種を伴う種群で構成される。産出した種は、海水～汽水生種の *Cyclotella striata* 等である。

32 層からは、69 個体産出した。産出した分類群は、汽水生種を主として、海水生種、低率に海水～汽水生種、淡水～汽水生種および淡水生種を伴う種群で構成される。産出した種は、汽水生種の *Nitzschia granulata* 等である。

・Sec.5（A5 北西側南北セクション）Q20 の 15′層（No.27）、Sec.4（B4・A5 トレンチ）の 15 層（No.28）、Sec.4（B4・A5 トレンチ）Q27 の 16 層（No.29）・17 層（No.30）

分析した 4 試料のうち、17 層を除く 3 試料から珪藻化石が産出した。珪藻化石が産出した試料のうち、15′層および 16 層からは 100 個体以上産出したが、15 層からの産出数は少なかった。保存

状態は、全体的に、壊れた殻が多く、一部の殻に溶解の痕跡が認められるため、不良～極不良である。

以下、試料ごとに結果の詳細を記す。

17 層は、無化石であった。

16 層からは、134 個体産出した。産出した分類群は、海水生種を主として、海水～汽水生種、汽水生種、淡水～汽水生種および低率に淡水生種を伴う種群で構成される。特徴的に産出した種は、海水生種の *Paralia sulcata*、*Thalassionema nitzschioides*、海水～汽水生種の *Cyclotella striata*、淡水～汽水生種の *Bacillaria paradoxa* 等である。

15 層からは、32 個体産出した。産出した分類群は、海水生種を主として、低率に海水～汽水生種および汽水生種を伴う種群で構成される。産出した種は、海水生種の *Paralia sulcata* 等である。

15′層からは、140 個体産出した。産出した分類群は、海水生種および海水～汽水生種を主として、汽水生種、淡水～汽水生種および淡水生種を伴う種群で構成される。産出した種は、海水生種の *Thalassionema nitzschioides*、海水～汽水生種の *Cocconeis scutellum*、*Cyclotella striata* 等である。

(2) 花粉分析

結果を第 82 表、第 85 図に示す。

花粉化石の産状は、試料により大きく異なる。

Sec.2（B1･A2 トレンチ）の 5 試料では、Q10 の 38 層（No.4）から花粉化石が豊富に産出したが、それ以外の試料からはほとんど、あるいは全く検出されていない。わずかにツガ属、クマシデ属―アサダ属、コナラ属コナラ亜属、コナラ属アカガシ亜属などの木本花粉、クワ科、ヨモギ属などの草本花粉が認められた程度である。

38 層では花粉化石が豊富に産出するが、保存状態は普通～やや悪い。花粉化石群集を見ると、木本花粉の割合が高く、コナラ亜属が最も多く産出する。その他ではツガ属、マツ属、スギ属、クマシデ属―アサダ属、ブナ属、アカガシ亜属、ニレ属―ケヤキ属、エノキ属―ムクノキ属などを伴う。草本花粉ではガマ属、イネ科、カヤツリグサ科などが認められる。また、サンショウモ、アカウキクサ属など、水生シダ類もわずかながら確認された。

Sec.2（B1・A2 トレンチ）の 3 試料では、Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q21 の 42 層（No.15）からかろうじて定量解析が行える程度の産出が認められたが、それ以外の試料からは検出が少ない。わずかにマツ属、コナラ亜属、クリ属などの木本花粉、イネ科などの草本花粉が認められた程度である。

42 層はかろうじて定量解析が行える程度の産出であり、保存状態も全体的にやや悪い。群集組成は木本花粉の割合が高く、コナラ亜属が最も多く産出する。その他ではモミ属、スギ属、クマシデ属―アサダ属、ブナ属、アカガシ亜属、クリ属、ニレ属―ケヤキ属、エノキ属―ムクノキ属などを伴う。

草本花粉ではイネ科、カヤツリグサ科、サナエタデ節―ウナギツカミ節、ヨモギ属が認められる。

Sec.4（B4・A5 トレンチ）の 2 試料では、花粉化石が産出するものの、いずれの試料も定量解析を行えるだけの個体数は得られなかった。花粉化石の保存状態は全体的にやや悪く、産出傾向としては木本花粉の割合が高い。木本花粉ではスギ属、サワグルミ属、クルミ属、ハンノキ属、コナラ亜属、アカガシ亜属、エノキ属―ムクノキ属などが、草本花粉ではイネ科、サナエタデ節―ウナギツカミ節、ヨモギ属、キク亜科などが認められる。

なお海棲微化石の渦鞭毛藻類が Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q10 の 26 層（No.2）、38 層（No.14）、

第 80 表　珪藻分析結果（1）

種類	生態性			環境	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	16
					Sec. 2 Q10					Sec. 2 Q3	Q2	Sec. 2 Q1					Sec. 2 Q21		
	塩分	pH	流水	指標種	19層	26層	29層	38層	40層	20層	10層	3層	11層	13層	25層	28層	8層	18層	44層
Actinocyclus ehrenbergii Ralfs	Euh			A,B	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Actinoptychus senarius (Ehr.) Ehrenberg	Euh			A,B	−	−	−	−	9	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Amphiprora spp.	Euh			A,B	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Annelus spp.	Euh			A,B	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Azpeitia nodulifer (A.Schmidt) Fryxell et Sims	Euh				−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−
Azpeitia spp.	Euh			A	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Biddulphia sinensis Greville	Euh			A,B	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Campylodiscus spp.	Euh			A,B	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Dimerogramma hyalinum Hustedt	Euh			D1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Grammatophora macilenta W.Smith	Euh			A,B	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	7
Grammatophora oceanica (Ehr.) Grunow	Euh			A,B	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Hemidiscus cuneiformis Wallich	Euh				−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Nitzschia spp.	Euh			A	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Paralia sulcata (Ehr.) Cleve	Euh			A,B	−	1	5	2	26	−	−	−	−	−	2	4	−	2	3
Rhizosolenia bergonii Peragallo	Euh			A	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Surirella fastuosa (Ehr.) Kuetzing	Euh				−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−
Thalassionema nitzschioides (Grun.) Grunow	Euh			A,B	−	−	−	−	8	−	−	−	−	−	−	5	−	−	−
Thalassiosira eccentrica (Ehr.) Cleve	Euh			A	−	−	−	−	5	−	−	−	−	−	−	2	−	−	−
Thalassiosira hyalina (Grun.) Gran	Euh			A,B	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Thalassiosira lineata Jouse	Euh			A	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Thalassiosira spp.	Euh			A	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−
Trachyneis aspera (Ehr.) Cleve	Euh			A	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−
Cocconeis scutellum Ehrenberg	Euh-Meh			C1	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−
Cyclotella striata (Kuetz.) Grunow	Euh-Meh			B	−	−	3	−	25	−	−	−	1	−	13	8	−	1	2
Cyclotella spp.	Euh-Meh			B	−	−	−	−	3	−	−	−	−	−	1	1	−	−	−
Delphineis surirella (Ehr.) Andrews	Euh-Meh			B	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	2	−	−	−
Diploneis bombus (Ehr.) Ehrenberg ex Cleve	Euh-Meh			B	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Diploneis smithii (Breb. ex W.Smith) Cleve	Euh-Meh			E2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Diploneis spp.	Euh-Meh				−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Fallacia forcipata (Grev.) Stickle & D.G.Mann	Euh-Meh			B	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Navicula alpha Cleve	Euh-Meh			D2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Navicula marina Ralfs	Euh-Meh			B	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Navicula spp.	Euh-Meh				−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Nitzschia spp.	Euh-Meh				−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Achnanthes brevipes C.Agardh	Meh			D1	−	−	−	−	3	−	−	−	−	−	−	3	−	−	−
Achnanthes haukiana Grunow	Meh			D1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Achnanthes spp.	Meh				−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Amphora coffeaeformis (Ag.) Kuetzing	Meh			E1,E2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−
Amphora spp.	Meh				−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Diploneis pseudovalis Hustedt	Meh			E1,E2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	4	−	−	−
Nitzschia cocconeiformis Grunow	Meh			E1	−	−	1	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Nitzschia compressa (Bailey) Boyer	Meh			E1	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Nitzschia granulata Grunow	Meh			E1	−	−	1	1	8	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−
Nitzschia levidensis (W.Smith) Grunow	Meh			E1	−	−	−	−	3	−	−	−	−	−	−	7	−	−	−
Nitzschia levidensis var. *salinarum* Grunow	Meh			E1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Nitzschia lorenziana Grunow	Meh			E2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−
Nitzschia vitrea Norman	Meh			C,D,E	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Nitzschia spp.	Meh				−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−	−	−
Opephora martyi Heribaud	Meh			D1	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−	−	−
Pseudopodosira kosugii Tanimura et Sato	Meh			D1,E1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	5	−	−	−	−
Thalassiosira bramaputrae (Ehr.) Hakansson & Locker	Meh			B	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Bacillaria paradoxa Gmelin	Ogh-Meh	al-bi	l-ph	U	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−
Navicula gregaria Donkin	Ogh-Meh	al-il	ind	U	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Navicula veneta Kuetzing	Ogh-Meh	al-il	ind	U	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Navicula spp.	Ogh-Meh	al-il	ind		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Nitzschia palea (Kuetz.) W.Smith	Ogh-Meh	ind	ind	S	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Rhopalodia gibberula (Ehr.) Mueller	Ogh-Meh	al-il	ind	U	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Achnanthes japonica H.Kobayasi	Ogh-ind	al-il	r-bi	J,T	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Aulacoseira ambigua (Grun.) Simonsen	Ogh-ind	al-il	l-bi	N	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−
Aulacoseira spp.	Ogh-unk	unk	l-ph	U	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Caloneis silicula (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind	O	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Cocconeis placentula var. *euglypta* (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	r-ph	T	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Cocconeis placentula var. *lineata* (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	r-ph	T	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	5	−	−	−
Cocconeis spp.	Ogh-unk	unk	unk		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	5	−	−	−
Cymbella naviculiformis Auerswald	Ogh-ind	ind	ind	O	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Cymbella turgidula Grunow	Ogh-ind	al-il	r-ph	K,T	−	−	−	−	3	−	−	−	−	−	−	3	−	−	−
Cymbella spp.	Ogh-unk	unk	unk		−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Diploneis spp.	Ogh-unk	unk	unk		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Encyonema silesiacum (Bleisch in Rabenh.) D.G.Mann	Ogh-ind	ind	ind	T	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Epithemia adnata (Kuetz.) Brebisson	Ogh-ind	al-bi	ind	U	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−
Eunotia pectinalis var. *minor* (Kuetz.) Rabenhorst	Ogh-hob	ac-il	ind	O	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Fragilaria capucina Desmazieres	Ogh-ind	al-il	ind	T	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Fragilaria ulna (Nitzsch) Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-il	ind	O,U	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	3	−	−	−
Fragilaria spp.	Ogh-unk	unk	unk		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−
Frustulia vulgaris (Thwaites) De Toni	Ogh-ind	al-il	ind	U	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−
Gomphonema acuminatum Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-ph	O	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−
Gomphonema parvulum (Kuetz.) Kuetzing	Ogh-ind	ind	ind	U	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Gomphonema truncatum Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-ph	T	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Gomphonema spp.	Ogh-unk	unk	unk		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−	−	−
Gyrosigma acuminatum (Kuetz.) Rabenhorst	Ogh-ind	al-il	ind		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Hantzschia amphioxys (Ehr.) Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RA,U	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Luticola mutica (Kuetz.)D.G.Mann	Ogh-ind	al-il	ind	RA,S	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Melosira varians C.Agardh	Ogh-hil	al-bi	r-ph	K,U	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Neidium ampliatum (Ehr.) Krammer	Ogh-ind	ind	l-ph	O	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Nitzschia amphibia Grunow	Ogh-ind	al-bi	ind	S	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−
Nitzschia brevissima Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RB,U	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−	−	−
Pinnularia subcapitata Gregory	Ogh-ind	ac-il	ind	RB,S	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−
Pinnularia viridis (Nitz.) Ehrenberg	Ogh-ind	ind	ind	O	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Pinnularia spp.	Ogh-unk	unk	unk		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−
Planothidium lanceolatum (Breb. ex Kuetz.) Lange-Bertalot	Ogh-ind	ind	r-ph	K,T	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Reimeria sinuata (Greg.) Kociolek et Stoermer	Ogh-ind	ind	r-ph	K,T	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−
Rhopalodia gibba (Ehr.) Mueller	Ogh-ind	al-il	ind	O,U	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Rhopalodia quisumbirgiana Skvortzow	Ogh-hil	al-il	ind	O,U	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Sellaphora bacillum (Ehr.) D.G.Mann	Ogh-ind	al-il	ind	U	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Stauroneis phoenicenteron (Nitz.) Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-ph	N,O,U	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Surirella ovata Kuetzing	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Surirella spp.	Ogh-unk	unk	unk		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
海水生種					0	1	6	2	51	0	0	0	0	0	3	14	0	2	10
海水～汽水生種					0	0	3	0	32	0	0	0	1	0	14	12	0	1	2
汽水生種					0	1	2	1	17	0	0	0	0	0	6	20	0	0	0
淡水～汽水生種					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
淡水生種					0	0	2	0	5	0	0	0	0	0	1	28	0	0	0
珪藻化石総数					0	2	13	3	105	0	0	0	1	0	24	75	0	3	12

凡例

塩分:塩分濃度に対する適応性
- Euh　:海水生種
- Euh-Meh:海水生種-汽水生種
- Meh　:汽水生種
- Ogh-Meh:淡水生種-汽水生種
- Ogh-hil:貧塩好塩性種
- Ogh-ind:貧塩不定性種
- Ogh-hob:貧塩嫌塩性種
- Ogh-unk:貧塩不明種

pH:水素イオン濃度に対する適応性
- al-bi:真アルカリ性種
- al-il:好アルカリ性種
- ind　:pH不定性種
- ac-il:好酸性種
- ac-bi:真酸性種
- unk　:pH不明種

流水:流水に対する適応性
- l-bi:真止水性種
- l-ph:好止水性種
- ind :流水不定性種
- r-ph:好流水性種
- r-bi:真流水性種
- unk :流水不明種

環境指標種
- A:外洋指標種　B:内湾指標種　C1:海水藻場指標種　C2:汽水藻場指標種
- D1:海水砂質干潟指標種　D2:汽水砂質干潟指標種
- E1:海水泥質干潟指標種　E2:汽水泥質干潟指標種　F:淡水底生種群(以上は小杉,1988)
- G:淡水浮遊生種群　H:河口浮遊性種群　J:上流性河川指標種　K:中～下流性河川指標種
- L:最下流性河川指標種群　M:湖沼浮遊性種　N:湖沼沼沢湿地指標種　O:沼沢湿地付着生種
- P:高層湿原指標種群　Q:陸域指標種群(以上は安藤,1990)
- S:好汚濁性種　U:広適応性種　T:好清水性種(以上はAsai and Watanabe,1995)
- R:陸生珪藻(RA:A群, RB:B群, RI:未区分、伊藤・堀内,1991)

第 81 表　珪藻分析結果（2）

	生態性			環境	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
					Sec. 2	Q28	Sec. 2	Q29	Sec. 2		Q33	Sec. 1		Q31	Sec. 5 Q20	Sec. 4	Sec. 4 Q27	
	塩分	pH	流水	指標種	23層	43層	18' 層	35層	45層	48層	50層	32層	33層	34層	15' 層	15層	16層	17層
Actinocyclus ehrenbergii Ralfs	Euh			A,B	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	2	–
Actinoptychus senarius (Ehr.) Ehrenberg	Euh			A,B	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Amphiprora spp.	Euh			A,B	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–
Annelus spp.	Euh			A,B	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Azpeitia nodulifer (A.Schmidt) Fryxell et Sims	Euh				–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	2	–	–	–
Azpeitia spp.	Euh			A	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–
Biddulphia sinensis Greville	Euh			A,B	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–
Campylodiscus spp.	Euh			A,B	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–
Dimerogramma hyalinum Hustedt	Euh			D1	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Grammatophora macilenta W.Smith	Euh			A,B	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Grammatophora oceanica (Ehr.) Grunow	Euh			A,B	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–
Hemidiscus cuneiformis Wallich	Euh				–	–	–	–	–	–	–	2	1	–	–	–	–	–
Nitzschia spp.	Euh			A	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–
Paralia sulcata (Ehr.) Cleve	Euh			A,B	2	1	8	7	–	–	–	3	5	–	7	8	13	–
Rhizosolenia bergonii Peragallo	Euh			A	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–
Surirella fastuosa (Ehr.) Kuetzing	Euh				–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Thalassionema nitzschioides (Grun.) Grunow	Euh			A,B	–	1	12	–	–	–	–	3	–	20	22	2	15	–
Thalassiosira eccentrica (Ehr.) Cleve	Euh			A	–	–	4	–	–	–	–	8	–	–	7	8	5	–
Thalassiosira hyalina (Grun.) Gran	Euh			A,B	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	3	–
Thalassiosira lineata Jouse	Euh			A	–	–	2	–	–	–	–	2	3	–	2	3	3	–
Thalassiosira spp.	Euh			A	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	5	2	2	–
Trachyneis aspera (Ehr.) Cleve	Euh			A	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	7	–
Cocconeis scutellum Ehrenberg	Euh-Meh			C1	–	–	10	–	–	–	–	–	3	6	15	–	8	–
Cyclotella striata (Kuetz.) Grunow	Euh-Meh			B	–	–	2	–	–	–	–	–	15	1	24	3	8	–
Cyclotella spp.	Euh-Meh			B	–	–	–	–	–	–	–	–	3	1	5	–	–	–
Delphineis surirella (Ehr.) Andrews	Euh-Meh			B	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	18	–	3	–
Diploneis bombus (Ehr.) Ehrenberg ex Cleve	Euh-Meh			B	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–
Diploneis smithii (Breb. ex W.Smith) Cleve	Euh-Meh			E2	–	–	3	–	–	–	–	–	3	5	–	1	7	–
Diploneis spp.	Euh-Meh				–	–	–	–	–	–	–	–	3	2	–	–	–	–
Fallacia forcipata (Grev.) Stickle & D.G.Mann	Euh-Meh			B	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	1	–
Navicula alpha Cleve	Euh-Meh			D2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–
Navicula marina Ralfs	Euh-Meh			B	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Navicula spp.	Euh-Meh				–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–
Nitzschia spp.	Euh-Meh				–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–
Achnanthes brevipes C.Agardh	Meh			D1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	3	–
Achnanthes haukiana Grunow	Meh			D1	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Achnanthes spp.	Meh				–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	1	–	2	–
Amphora coffeaeformis (Ag.) Kuetzing	Meh			E1,E2	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–
Amphora spp.	Meh				–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–
Diploneis pseudovalis Hustedt	Meh			E1,E2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Nitzschia cocconeiformis Grunow	Meh			E1	3	1	–	–	–	–	–	1	–	1	–	–	–	–
Nitzschia compressa (Bailey) Boyer	Meh			E1	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	1	–
Nitzschia granulata Grunow	Meh			E1	1	–	–	–	–	–	–	23	–	–	–	–	8	–
Nitzschia levidensis (W.Smith) Grunow	Meh			E1	–	–	8	–	–	–	–	–	8	3	2	3	5	–
Nitzschia levidensis var. *salinarum* Grunow	Meh			E1	–	–	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Nitzschia lorenziana Grunow	Meh			E2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Nitzschia vitrea Norman	Meh			C,D,E	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–
Nitzschia spp.	Meh				–	–	2	–	–	–	–	2	2	–	1	–	1	–
Opephora martyi Heribaud	Meh			D1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–
Pseudopodosira kosugii Tanimura et Sato	Meh			D1,E1	14	–	17	5	–	–	–	–	–	–	7	2	1	–
Thalassiosira bramaputrae (Ehr.) Hakansson & Locker	Meh			B	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–
Bacillaria paradoxa Gmelin	Ogh-Meh	al-bi	l-ph	U	–	–	3	–	–	–	–	–	3	–	5	–	12	–
Navicula gregaria Donkin	Ogh-Meh	al-il	ind	U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–
Navicula veneta Kuetzing	Ogh-Meh	al-il	ind	U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–
Navicula spp.	Ogh-Meh	al-il	ind		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–
Nitzschia palea (Kuetz.) W.Smith	Ogh-Meh	ind	ind	S	–	–	–	–	–	1	–	6	–	–	1	–	–	–
Rhopalodia gibberula (Ehr.) Mueller	Ogh-Meh	al-il	ind	U	–	–	2	–	–	2	–	2	–	–	2	–	–	–
Achnanthes japonica H.Kobayasi	Ogh-ind	al-il	r-bi	J,T	–	–	–	–	–	1	1	–	–	–	–	–	–	–
Aulacoseira ambigua (Grun.) Simonsen	Ogh-ind	al-il	l-bi	N	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–
Aulacoseira spp.	Ogh-unk	unk	l-ph	U	–	–	–	–	–	3	–	–	–	–	–	–	–	–
Caloneis silicula (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind	O	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–
Cocconeis placentula var. *euglypta* (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	r-ph	T	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–
Cocconeis placentula var. *lineata* (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	r-ph	T	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–
Cocconeis spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	1	–	–	–
Cymbella naviculiformis Auerswald	Ogh-ind	ind	ind	O	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–
Cymbella turgidula Grunow	Ogh-ind	al-il	r-ph	K,T	–	–	–	–	–	3	7	4	3	3	–	–	2	–
Cymbella spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	2	1	–	–	–	–	–	–
Diploneis spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–
Encyonema silesiacum (Bleisch in Rabenh.) D.G.Mann	Ogh-ind	ind	ind	T	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–
Epithemia adnata (Kuetz.) Brebisson	Ogh-ind	al-bi	ind	U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Eunotia pectinalis var. *minor* (Kuetz.) Rabenhorst	Ogh-hob	ac-il	ind	O	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–
Fragilaria capucina Desmazieres	Ogh-ind	al-il	ind	T	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	–	–
Fragilaria ulna (Nitzsch) Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-il	ind	O,U	–	–	–	–	–	3	2	–	–	1	3	–	–	–
Fragilaria spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Frustulia vulgaris (Thwaites) De Toni	Ogh-ind	al-il	ind	U	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–
Gomphonema acuminatum Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-ph	O	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Gomphonema parvulum (Kuetz.) Kuetzing	Ogh-ind	ind	ind	U	–	–	–	–	–	–	5	–	–	–	–	–	–	–
Gomphonema truncatum Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-ph	T	–	–	–	–	1	–	3	–	–	–	–	–	–	–
Gomphonema spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Gyrosigma acuminatum (Kuetz.) Rabenhorst	Ogh-ind	al-il	ind		–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–
Hantzschia amphioxys (Ehr.) Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RA,U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–
Luticola mutica (Kuetz.)D.G.Mann	Ogh-ind	al-il	ind	RA,S	–	–	–	1	–	–	1	–	2	–	–	–	–	–
Melosira varians C.Agardh	Ogh-hil	al-bi	r-ph	K,U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–
Neidium ampliatum (Ehr.) Krammer	Ogh-ind	ind	l-ph	O	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–
Nitzschia amphibia Grunow	Ogh-ind	al-bi	ind	S	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Nitzschia brevissima Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RB,U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Pinnularia subcapitata Gregory	Ogh-ind	ac-il	ind	RB,S	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–
Pinnularia viridis (Nitz.) Ehrenberg	Ogh-ind	ind	ind	O	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Pinnularia spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Planothidium lanceolatum (Breb. ex Kuetz.) Lange-Bertalot	Ogh-ind	ind	r-ph	K,T	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–
Reimeria sinuata (Greg.) Kociolek et Stoermer	Ogh-ind	ind	r-ph	K,T	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Rhopalodia gibba (Ehr.) Mueller	Ogh-ind	al-il	ind	O,U	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–
Rhopalodia quisumbirgiana Skvortzow	Ogh-hil	al-il	ind	O,U	–	–	–	–	–	–	1	–	–	1	–	–	–	–
Sellaphora bacillum (Ehr.) D.G.Mann	Ogh-ind	al-il	ind	U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Stauroneis phoenicenteron (Nitz.) Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-ph	N,O,U	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–
Surirella ovata Kuetzing	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–
Surirella spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–
海水生種					2	2	27	8	0	0	0	21	16	26	48	23	51	0
海水～汽水生種					0	0	15	0	0	0	0	1	27	15	64	4	31	0
汽水生種					18	1	35	5	0	0	0	30	10	4	13	5	30	0
淡水～汽水生種					0	0	5	0	0	3	0	8	3	0	8	0	18	0
淡水生種					0	0	0	1	4	21	25	9	9	8	7	0	4	0
珪藻化石総数					20	3	82	14	4	24	25	69	65	53	140	32	134	0

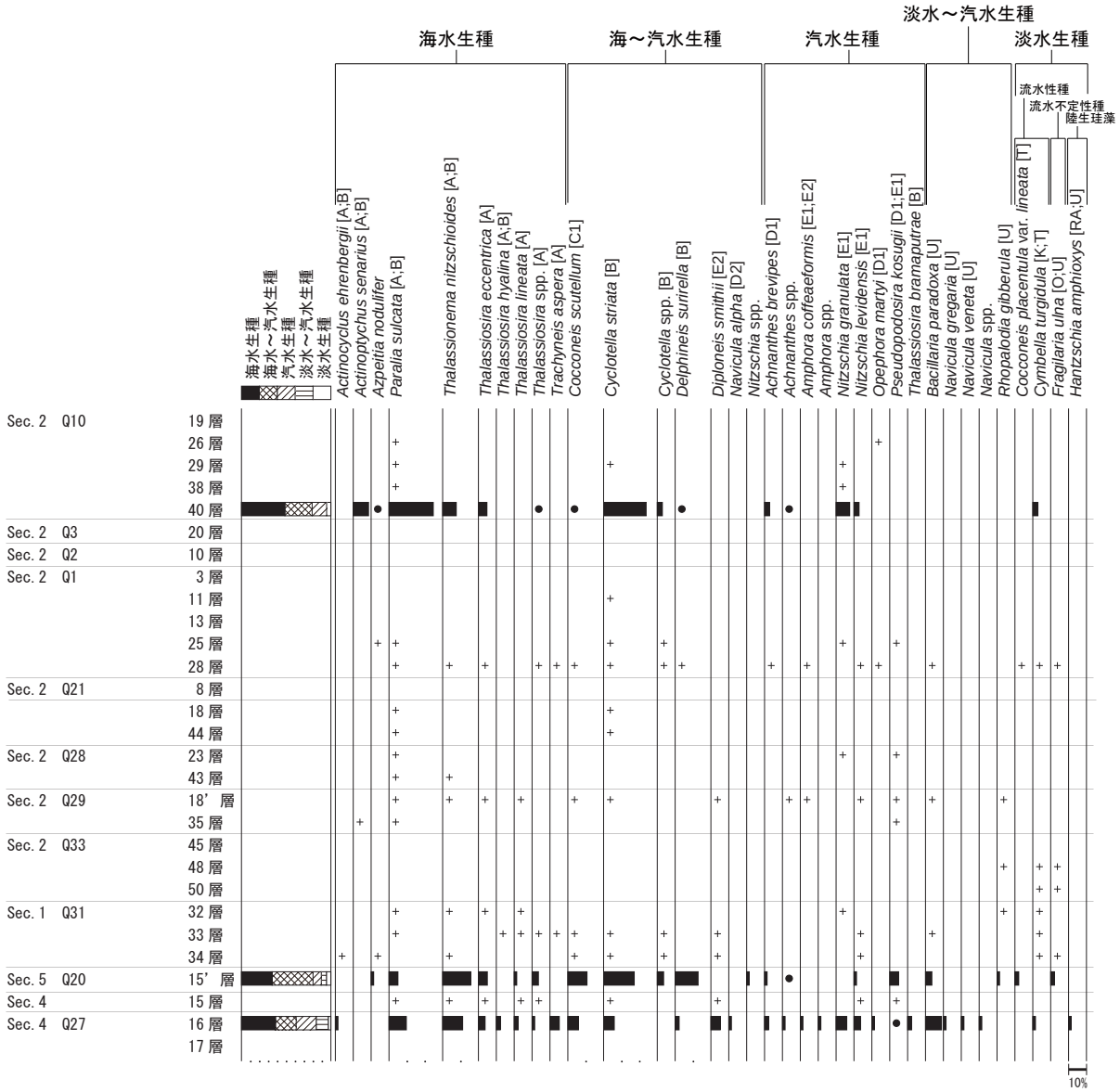
凡例

塩分:塩分濃度に対する適応性
- Euh　:海水生種
- Euh-Meh:海水生種-汽水生種
- Meh　:汽水生種
- Ogh-Meh:淡水生種-汽水生種
- Ogh-hil:貧塩好塩性種
- Ogh-ind:貧塩不定性種
- Ogh-hob:貧塩嫌塩性種
- Ogh-unk:貧塩不明種

pH:水素イオン濃度に対する適応性
- al-bi:真アルカリ性種
- al-il:好アルカリ性種
- ind　:pH不定性種
- ac-il:好酸性種
- ac-bi:真酸性種
- unk　:pH不明種

流水:流水に対する適応性
- l-bi:真止水性種
- l-ph:好止水性種
- ind :流水不定性種
- r-ph:好流水性種
- r-bi:真流水性種
- unk :流水不明種

環境指標種
- A:外洋指標種　B:内湾指標種　C1:海水藻場指標種　C2:汽水藻場指標種
- D1:海水砂質干潟指標種　D2:汽水砂質干潟指標種
- E1:海水泥質干潟指標種　E2:汽水泥質干潟指標種　F:淡水底生種群(以上は小杉,1988)
- G:淡水浮遊生種群　H:河口浮遊性種群　J:上流性河川指標種　K:中～下流性河川指標種
- L:最下流性河川指標種群　M:湖沼浮遊性種　N:湖沼沼沢湿地指標種　O:沼沢湿地付着生種
- P:高層湿原指標種群　Q:陸域指標種群(以上は安藤,1990)
- S:好汚濁性種　U:広適応性種　T:好清水性種(以上はAsai and Watanabe,1995)
- R:陸生珪藻(RA:A群, RB:B群, RI:未区分、伊藤・堀内,1991)



海水－汽水－淡水生種産出率・各種産出率・完形殻産出率は全体基数、淡水生種の生態性の比率は淡水生種の合計を基数として百分率で算出した。
いずれも100個体以上検出された試料について示す。なお、●は1%未満、＋は100個体未満の試料について検出した種類を示す。

環境指標種
A:外洋指標種 B:内湾指標種 C1:海洋藻場指標種 C2:汽水藻場指標種 D1:海水砂質干潟指標種 D2:汽水砂質干潟指標種 E1:海水泥質干潟指標種
E2:汽水泥質干潟指標種 F:淡水底生種群(以上は小杉,1988) G:淡水浮遊生種群 H:河口浮遊性種群 J:上流性河川指標種 K:中～下流性河川指標種
L:最下流性河川指標種群 M:湖沼浮遊性種 N:湖沼沼沢湿地指標種 O:沼沢湿地付着生種 P:高層湿原指標種群 Q:陸域指標種群(以上は安藤,1990)
S:好汚濁性種 T:好清水性種 U:広適応性種(以上はAsai & Watanabe,1995) RI:陸生珪藻 (RA:A群,RB:B群;伊藤・堀内,1991)

第 84 図　珪藻化石群集

Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q1 の 13 層（No.10）、Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q21 の 18 層（No.14）、42 層（No.15）、Sec.4（B4・A5 トレンチ）の 15 層（No.28）、Sec.4（B4・A5 トレンチ）Q27 の 16 層（No.29）から確認される。

(3) 植物珪酸体分析

結果を第 83 表に示す。

各試料からは植物珪酸体が検出されるものの、概して保存状態が悪い。また検出される分類群と含量が、いずれも少ない。

Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q10 に見られた 26 層（No.2）と 38 層（No.4）および Q1 に見られた 3 層（No.8）、11 層（No.9）、13 層（No.10）では、いずれもタケ亜科や分類群が明確にならない不

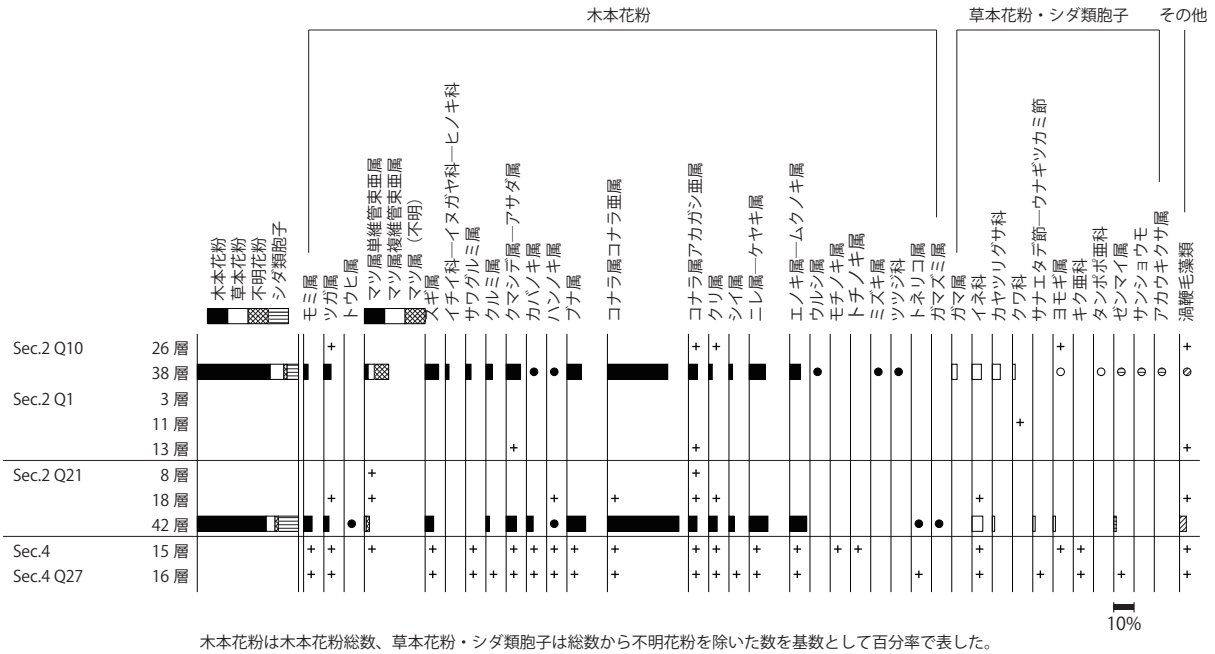
明が検出され、ヨシ属が稀に認められる。また南の 26 層と 38 層ではイネ科起源の棒状珪酸体や植物珪酸体以外に海綿骨針も検出される。

Sec.2（B1・A2 トレンチ）の Q21 に見られた 8 層（No.13）、18 層（No.14）、42 層（No.15）ではタケ亜科やヨシ属、不明が検出される。またイネ科起源の棒状珪酸体も検出され、植物珪酸体以外に海綿骨針も見られる。

Sec.4（B4・A5 トレンチ）では、15 層（No.28）と Q27 の 16 層（No.29）で同様な分類群が見られ、タケ亜科の産出がやや多い傾向が見られる。またイネ科起源の棒状珪酸体も見られる。植物珪酸体以外に海綿骨針も多く検出される。

第 82 表　花粉分析結果

種　類	2	4	8	9	10	13	14	15	28	29
	Sec.2	Q10		Sec.2 Q1			Sec.2 Q21		Sec.4	Sec.4 Q27
	26層	38層	3層	11層	13層	8層	18層	42層	15層	16層
木本花粉										
モミ属	-	5	-	-	-	-	-	5	2	1
ツガ属	1	8	-	-	-	-	1	3	1	1
トウヒ属	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
マツ属単維管束亜属	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
マツ属複維管束亜属	-	7	-	-	-	1	-	1	-	-
マツ属（不明）	-	16	-	-	-	-	2	2	1	-
スギ属	-	15	-	-	-	-	-	5	1	4
イチイ科―イヌガヤ科―ヒノキ科	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
サワグルミ属	-	6	-	-	-	-	-	-	4	2
クルミ属	-	7	-	-	-	-	-	2	-	5
クマシデ属―アサダ属	-	16	-	-	1	-	-	6	1	1
カバノキ属	-	1	-	-	-	-	-	4	1	2
ハンノキ属	-	2	-	-	-	-	1	1	1	7
ブナ属	-	16	-	-	-	-	-	11	3	1
コナラ属コナラ亜属	-	67	-	-	-	-	7	42	11	15
コナラ属アカガシ亜属	1	10	-	-	1	1	1	5	4	11
クリ属	3	4	-	-	-	-	4	5	1	1
シイ属	-	4	-	-	-	-	-	3	-	1
ニレ属―ケヤキ属	-	18	-	-	-	-	-	11	2	3
エノキ属―ムクノキ属	-	12	-	-	-	-	-	10	1	4
ウルシ属	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
モチノキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
トチノキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
ミズキ属	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ツツジ科	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
トネリコ属	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
ガマズミ属	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
草本花粉										
ガマ属	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
イネ科	-	14	-	-	-	-	3	9	7	8
カヤツリグサ科	-	12	-	-	-	-	-	2	-	-
クワ科	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-
サナエタデ節―ウナギツカミ節	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
ヨモギ属	2	3	-	-	-	-	-	2	1	-
キク亜科	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
タンポポ亜科	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
不明花粉										
不明花粉	1	10	-	-	1	-	1	6	1	2
シダ類胞子										
ゼンマイ属	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1
サンショウモ	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
アカウキクサ属	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
他のシダ類胞子	4	33	1	1	7	1	4	33	13	15
合　計										
木本花粉	5	225	0	0	2	2	16	119	36	60
草本花粉	2	42	0	1	0	0	3	15	9	11
不明花粉	1	10	0	0	1	0	1	6	1	2
シダ類胞子	4	36	1	1	7	1	4	35	13	16
合計(不明を除く)	11	303	1	2	9	3	23	169	58	87
その他										
渦鞭毛藻類	1	1	-	-	1	-	1	6	2	2



木本花粉は木本花粉総数、草本花粉・シダ類胞子は総数から不明花粉を除いた数を基数として百分率で表した。
丸印は 1% 未満、＋は木本花粉 100 個未満の試料において検出された種類を示す。

第 85 図　花粉化石群集

第 83 表　植物珪酸体分析結果

(個/g)

分　類　群	2	4	8	9	10	13	14	15	28	29
	Sec.2	Q10		Sec.2 Q1			Sec.2 Q21		Sec.4	Sec.4 Q27
	26層	38層	3層	11層	13層	8層	18層	42層	15層	16層
イネ科葉部短細胞珪酸体										
タケ亜科	<100	<100	<100	-	<100	-	-	<100	100	200
ヨシ属	<100	-	-	-	<100	-	-	-	<100	<100
不明	<100	<100	<100	<100	<100	<100	<100	<100	<100	<100
イネ科葉身機動細胞珪酸体										
タケ亜科	100	200	<100	-	<100	<100	<100	-	400	400
ヨシ属	-	<100	-	-	-	<100	<100	<100	<100	100
不明	<100	<100	<100	<100	100	100	<100	<100	300	400
イネ科起源(その他)										
棒状珪酸体	＋	＋	-	-	-	＋	＋	＋	＋	＋
その他										
海綿骨針	＋	＋	-	-	＋	＋	＋	＋	＋	＋
合　計										
イネ科葉部短細胞珪酸体	100	100	<100	<100	<100	<100	<100	<100	300	200
イネ科葉身機動細胞珪酸体	200	300	<100	<100	200	200	200	100	800	900
植物珪酸体含量	300	400	100	200	300	300	200	200	1,000	1,100
イネ科起源(その他)										
棒状珪酸体	＊	＊	-	-	-	＊	＊	＊	＊	＊
その他										
海綿骨針	＊	＊	-	-	＊	＊	＊	＊	＊＊	＊＊

含量は、10の位で丸めている(100単位にする)
合計は各分類群の丸めない数字を合計した後に丸めている
<100：100個/g未満
－：未検出,＊：含有,＊＊：多い

第 84 表　種実同定結果（1）

番号	調査区	出土地点	資料番号	点数	試料ラベル記載情報		状態	分類群	部位	状態	個数	長さ (mm)		幅 (mm)		厚さ (mm)		図版番号	備　考
1	B 区	E-4	No.085	1 点	B 区	No.085	水浸	イヌガヤ	種子	完形	1	17.05		10.14		8.14		2	出土地点は第 66 図参照
2	B 区	コラムサンプル C2		2 点	Sec.2-C2	27 層 - ① -i	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C2	14 層 - ⑦ -a	乾燥	種実ではない			1	2.25		-		-		-	偏球体 , 中空 , 磁着
3	A 区	コラムサンプル C10		35 点	Sec.1-C10	21 層 - ⑧ -e	乾燥	アカメガシワ	種子	完形未満	1	-		-		-		-	僅かに欠損
					Sec.1-C10	22 層 - ⑨ -c	乾燥	カラスザンショウ	種子	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.1-C10	22 層 - ⑬	乾燥	ミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.1-C10	22 層 - ⑬	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.1-C10	22 層 - ⑬	乾燥	ミズキ属 (ミズキ ?)	核	完形	1	-		-		-		-	表面摩耗
					Sec.1-C10	22 層 - ⑬	乾燥	ヤブニッケイ	種子	完形	1	5.13		4.16		3.82		7	
					Sec.1-C10	24 層 - ③ -b	乾燥	ムクノキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.1-C10	25′ 層 - ① -a	乾燥	クマノミズキ	核	完形未満	1	-		-		-		-	側面僅かに欠損
					Sec.1-C10	25′ 層 - ① -a	乾燥	ミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	頂部尖りやや潰れている
					Sec.1-C10	25′ 層 - ① -c	乾燥	ミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.1-C10	25′ 層 - ① -b	乾燥	ヒルムシロ属	果実	完形	1	2.77		2.35		1.33		21	
					Sec.1-C10	25′ 層 - ⑨ -c	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.1-C10	25′ 層 - ⑨ -d	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.1-C10	25′ 層 - ⑨ -e	乾燥	アカメガシワ	種子	破片	7	-		-		-		-	計 1 個体分
					Sec.1-C10	25′ 層 - ⑨ -e	乾燥	不明	種実	完形	1	2.41		-		-		-	偏球体 , アカメガシワ種子内胚乳 ?
					Sec.1-C10	25′ 層 - ⑨ -g	乾燥	クマノミズキ	核	完形	2	-		-		-		-	
					Sec.1-C10	25′ 層 - ⑨ -g	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.1-C10	25′ 層 - ⑨ -h	乾燥	サンショウ	種子	完形	1	4.31		2.97		2.95		11	
					Sec.1-C10	25′ 層 - ⑨ -h	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.1-C10	25′ 層 - ⑩ -a	乾燥	ミズキ属 (ミズキ ?)	核	完形	1	-		-		-		-	表面摩耗
					Sec.1-C10	25′ 層 - ⑩ -a	乾燥	ミズキ	核	完形	1	4.70		4.26		3.34		-	頂部尖る
					Sec.1-C10	25′ 層 - ⑩ -a-1	乾燥	ミズキ属 (クマノミズキ ?)	核	完形	1	2.18		2.16		1.71		-	小型 , 臍あり
					Sec.1-C10	25′ 層 - ⑩ -e	乾燥	ムクノキ	核	完形	1	-		-		-		-	一部裂開
					Sec.1-C10	25′ 層 - ⑩ -e	乾燥	ミズキ属 (クマノミズキ ?)	核	完形	1	-		-		-		-	表面摩耗
					Sec.1-C10	31 層 - ① -a	乾燥	ムクノキ	核	完形	2	6.65		6.45		5.53		5	
					Sec.1-C10	31 層 - ① -a	乾燥	ミツバウツギ	種子	破片	1	-		-		-		13	
					Sec.1-C10	31 層 - ① -b	乾燥	ムクノキ	核	完形未満	1	-		-		-		-	頂部僅かに欠損
					Sec.1-C10	31 層 - ① -b	乾燥	ミツバウツギ ?	種子 ?	破片	3	2.88	+	-		-		-	
					Sec.1-C10	32 層 - ① -a	乾燥	ミツバウツギ	種子	破片	1	-		-		-		-	
					Sec.1-C10	33 層 - ① -b	乾燥	不明 (ミズキ ?)	核	完形	1	4.51		4.40		2.75		-	
					Sec.1-C10	33 層 - ① -c	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.1-C10	33 層 - ① -d	乾燥	種実ではない	果柄 ?	破片	1	5.72	+	3.51		-		-	
					Sec.1-C10	33 層 - ① -e	乾燥	クサギ	核	完形	1	5.55		4.39		2.66		19	
					Sec.1-C10	33 層 - ① -e	乾燥	種実ではない	果柄 ?	破片	1	3.50	+	4.28		-			
					Sec.1-C10	34 層 - ① -e	乾燥	不明 (種実ではない ?)		破片	1	0.09		5.95		-		-	
					Sec.1-C10	34 層 - ① -f	乾燥	ミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.1-C10	34 層 - ② -b	乾燥	ミズキ	核	完形	1	4.15		4.74		4.09		17	
4	A 区	コラムサンプル C11		11 点	Sec.2-C11	21 層 - ③ -e	乾燥	シソ属 (エゴマ ?)	果実	完形	1	2.27		1.90		1.72		26	
					Sec.2-C11	24 層 - ① -e	乾燥	サクラ節	核	完形	1	5.06		4.43		3.26		-	
					Sec.2-C11	25 層 - ③ -a	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C11	25 層 - ③ -a	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C11	40 層 - ① -c	乾燥	オニバス	果実	完形	1	8.29		8.52		7.98		25	
					Sec.2-C11	40 層 - ① -d	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C11	40 層 - ① -d	乾燥	サクラ節	核	完形	1	6.11		5.58		3.68		8	
					Sec.2-C11	40 層 - ① -i	乾燥	不明	種実	完形	1	4.40		4.05		3.25		-	
					Sec.2-C11	40 層 - ① -j	乾燥	ミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C11	40 層 - ① -j	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C11	40 層 - ① -l	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	

第 85 表　種実同定結果（2）

番号	調査区	出土地点	資料番号	点数	試料ラベル記載情報		状態	分類群	部位	状態	個数	長さ (mm)		幅 (mm)		厚さ (mm)		図版番号	備　考
5	A 区	コラムサンプル C17		7 点	Sec.4-C17	25 層 - ① -b	乾燥	コブシ - タムシバ	種子	完形	1	8.45		9.93		4.69		6	
					Sec.4-C17	25 層 - ③ -f	乾燥	ニワトコ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.4-C17	25 層 - ③ -g	乾燥	コブシ - タムシバ	種子	完形	1	7.51		7.22		3.50		-	
					Sec.4-C17	25 層 - ④ -b	乾燥	ノブドウ	種子	完形	1	3.58		3.52		2.83		16	
					Sec.4-C17	40 層 - ① -b	乾燥	ムクロジ	種子	完形未満	1	9.12		8.83		7.44		12	食痕
					Sec.4-C17	40 層 - ① -d	乾燥	カラスザンショウ	種子	完形	1	3.70		3.20		2.64		10	
					Sec.4-C17	40 層 - ① -g	乾燥	ミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	頂部尖る
6	A 区	コラムサンプル C18		4 点	Sec.4-C18	11′ 層 - ③ -b	乾燥	イヌシデ	果実	完形	1	4.36		3.33		1.89		4	
					Sec.4-C18	11′ 層 - ③ -g	乾燥	ニワトコ	核	完形	4	2.19		1.28		0.62		20	
					Sec.4-C18	15′ 層 - ③ -h	乾燥	アサダ	果実	完形	1	6.01		2.97		1.62		3	
					Sec.4-C18	18′ 層 - ⑰ -c	乾燥	カナムグラ	果実・核	完形	1	3.89		3.57		2.81		24	頂部に果皮残存
7	A 区	コラムサンプル C19		4 点	Sec.3-C19	23 層 - ① -d	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.3-C19	23 層 - ① -h	乾燥	サクラ節	核	完形	1	3.91		3.56		2.82		-	
					Sec.3-C19	23 層 - ① -h	乾燥	サンショウ	種子	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.3-C19	25′ 層 - ④ -f	乾燥	ミズキ属	核	完形未満	1	1.89		2.82		2.18		-	小型 , 一部欠損
8	A 区	コラムサンプル C24		9 点	Sec.4-C24	16 層 - ① -K	乾燥	シソ属 (エゴマ ?)	果実	完形	1	2.28		2.36		1.88		27	
					Sec.4-C24	17 層 - ① -b	乾燥	スゲ属	果実	完形	1	4.35		1.68		1.54		22	3 面体
					Sec.4-C24	17 層 - ① -r	乾燥	スゲ属	果実	完形	1	3.52		1.38		1.35		23	3 面体
					Sec.4-C24	17 層 - ① -u	乾燥	サクラ節	核	完形	1	3.87		3.42		2.11		-	
					Sec.4-C24	17 層 - ① -z-5	乾燥	アカメガシワ	種子	完形	1	3.92		3.79		2.97		9	
					Sec.4-C24	17 層 - ① -z-8	乾燥	ムクノキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.4-C24	17 層 - ① -z-13	乾燥	サクラ節	核	完形	1	4.10		3.60		2.93		-	
					Sec.4-C24	17 層 - ① -z-13	乾燥	ミズキ属 (ミズキ ?)	核	完形	1	-		-		-		-	表面摩耗
					Sec.4-C24	18′ 層 - ② - c	乾燥	ムクノキ	核	完形	1	-		-		-		-	
9	A 区	コラムサンプル C25		27 点	Sec.2-C25	23 層 - ① -d	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C25	23 層 - ① -h	乾燥	ミズキ属 (ミズキ ?)	核	完形	1	-		-		-		-	表面摩耗
					Sec.2-C25	23 層 - ① -h	乾燥	ムクノキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C25	23 層 - ① -h	乾燥	ヤブニッケイ	種子	完形	2	5.13		4.17		3.91		-	
					Sec.2-C25	23 層 - ① -h	乾燥	ヤブニッケイ	種子	完形	-	5.25		4.23		4.33		-	
					Sec.2-C25	23 層 - ① -i	乾燥	イヌガヤ	種子	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C25	25′ 層 - ① -a	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C25	25′ 層 - ① -a	乾燥	ミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C25	25′ 層 - ② -a	乾燥	カヤ	種子	破片	1	9.57	+					1	
					Sec.2-C25	25′ 層 - ② -e	乾燥	ミズキ属 (ミズキ ?)	核	完形未満	1	-		-		-		-	小型 , 表面摩耗 , 一部欠損
					Sec.2-C25	25′ 層 - ④ -c	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C25	25′ 層 - ⑥ -c	乾燥	ムクノキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C25	25′ 層 - ⑥ -e	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C25	25′ 層 - ⑥ -e	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	3.64		3.55		3.48		18	
					Sec.2-C25	25′ 層 - ⑥ -e	乾燥	クマヤナギ属	核	完形	1	4.43		3.12		2.08		14	
					Sec.2-C25	25′ 層 - ⑧ -c	乾燥	ミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C25	25′ 層 - ⑧ -c	乾燥	ミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C25	25′ 層 - ⑧ -e	乾燥	ブドウ属	種子	完形	1	4.72		3.88		2.67		15	基部尖る , サンカクヅル ?
					Sec.2-C25	35 層 - ① -a	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C25	35 層 - ① -a	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C25	35 層 - ① -c	乾燥	ミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	潰れている
					Sec.2-C25	35 層 - ① -c	乾燥	オニバス	果実	完形未満	1	5.46	+	6.50		6.43		-	
					Sec.2-C25	35 層 - ① -c	乾燥	ムクノキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C25	35 層 - ① -c	乾燥	アカメガシワ	種子	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C25	35 層 - ① -c	乾燥	不明	果実	完形	1	3.78		3.99		3.69		-	
					Sec.2-C25	43 層 - ① -b	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C25	43 層 - ① -b	乾燥	クマノミズキ	核	完形	1	-		-		-		-	
					Sec.2-C25	43 層 - ① -b	乾燥	不明	果実 ?	破片	1	4.23		4.62		3.12	+	-	
合計				100 点							116	-							

注) 計測はデジタルノギスを使用し、欠損は残存値に「+」で示す。

（4）種実同定

結果を第 84 表、第 85 表に示す。

全 9 試料を通じて、木本のカヤ種子 1 個、イヌガヤ種子 2 個、アサダ果実 1 個、イヌシデ果実 1 個、ムクノキ核 10 個、コブシ－タムシバ種子 2 個、ヤブニッケイ種子 3 個、サクラ節核 5 個、アカメガシワ種子 10 個、カラスザンショウ種子 2 個、サンショウ種子 2 個、ムクロジ種子 1 個、ミツバウツギ種子 2 個、ミツバウツギ？種子 ?3 個、クマヤナギ属核 1 個、ブドウ属種子 1 個、ノブドウ種子 1 個、ミズキ核 12 個、ミズキ属（ミズキ ?）核 5 個、クマノミズキ核 25 個、ミズキ属（クマノミズキ ?）核 2 個、ミズキ属核 1 個、クサギ核 1 個、ニワトコ核 5 個、草本のヒルムシロ属果実 1 個、スゲ属果実 2 個、カナムグラ果実・核 1 個、オニバス種子 2 個、シソ属（エゴマ ?）果実 2 個の、合計 107 個が同定された。6 個は同定ができなかった。種実以外は、果柄 ?2 個、磁着物質 1 個が確認された。不明や種実以外を含む総数は、116 個である。

種実遺体の保存状態は良好である。栽培植物は確認されなかった。栽培の可能性は、シソ属が 2 個確認された。シソ属には、栽培種で軟実のエゴマと、硬実のシソのほかに、硬実の雑草型エゴマがあり、雑草型エゴマの果実の大きさはエゴマとシソの中間型を示す（新田 ,2001）。出土果実の大きさは、A 区コラムサンプル C11（番号 4）が長さ 2.27mm、幅 1.90mm（図版番号 26）、A 区コラムサンプル C24（番号 8）が長さ 2.27mm、幅 2.36mm（図版番号 27）を測り、笠原（1982）の基準によるエゴマの大きさに該当するため、シソ属（エゴマ ?）としている。

栽培の可能性を除いた分類群は、木本 21 分類群 99 個、草本 4 分類群 6 個の、計 105 個が確認され、圧倒的な木本主体の組成を示す。木本は、針葉樹で常緑高木のカヤ、常緑小高木～低木のイヌガヤ、広葉樹で常緑高木のヤブニッケイ、落葉高木のアサダ、イヌシデ、ムクノキ、コブシ－タムシバ、サクラ節、アカメガシワ、カラスザンショウ、ムクロジ、ミズキ、クマノミズキ、ミズキ属、落葉低木のサンショウ、ミツバウツギ、クマヤナギ属、クサギ、ニワトコ、落葉藤本のブドウ属、ノブドウが確認された。クマノミズキが最も多く、ミズキが次ぎ、ミズキ属（クマノミズキ、ミズキ）が種実遺体群全体の 4 割（45 個）を占める。草本は、浮葉植物のヒルムシロ属、オニバス、中生植物のスゲ属、カナムグラが確認された。 以下、試料別状況を記す。

・B 区 No.085（番号 1）

イヌガヤ 1 個が確認された。

・B 区コラムサンプル C2（番号 2）

クマノミズキ 1 個、種実ではない 1 個の、計 2 個が確認された。

・A 区コラムサンプル C10（番号 3）

ムクノキ 5 個、ヤブニッケイ 1 個、アカメガシワ 8 個、カラスザンショウ 1 個、サンショウ 1 個、ミツバウツギ 2 個、ミツバウツギ ?3 個、ミズキ 6 個、ミズキ属（ミズキ ?）2 個、クマノミズキ 9 個、ミズキ属（クマノミズキ ?）2 個、クサギ 1 個、ヒルムシロ属 1 個、不明（ミズキ？核）1 個、不明種実（アカメガシワ ?）1 個、不明（種実ではない ?）1 個、種実ではない（果柄 ?）2 個の、計 47 個が確認された。

・A 区コラムサンプル C11（番号 4）

サクラ節 2 個、ミズキ 1 個、クマノミズキ 5 個、オニバス 1 個、シソ属（エゴマ ?）1 個、不明種

実 1 個の、計 11 個が確認された。
・A 区コラムサンプル C17（番号 5）
コブシ－タムシバ 2 個、カラスザンショウ 1 個、ムクロジ 1 個、ノブドウ 1 個、ミズキ 1 個、ニワトコ 1 個の、計 7 個が確認された。
・A 区コラムサンプル C18（番号 6）
アサダ 1 個、イヌシデ 1 個、ニワトコ 4 個、カナムグラ 1 個の、計 7 個が確認された。
・A 区コラムサンプル C19（番号 7）
サクラ節 1 個、サンショウ 1 個、クマノミズキ 1 個、ミズキ属 1 個の、計 4 個が確認された。
・A 区コラムサンプル C24（番号 8）
ムクノキ 2 個、サクラ節 2 個、アカメガシワ 1 個、ミズキ属（ミズキ？）1 個、スゲ属 2 個、シソ属（エゴマ？）1 個の、計 9 個が確認された。
・A 区コラムサンプル C25（番号 9）
カヤ 1 個、イヌガヤ 1 個、ムクノキ 3 個、ヤブニッケイ 2 個、アカメガシワ 1 個、クマヤナギ属 1 個、ブドウ属 1 個、ミズキ 4 個、ミズキ属（ミズキ？）2 個、クマノミズキ 9 個、オニバス 1 個、不明果実 1 個、不明果実 ?1 個の、計 28 個が確認された。

4. 考察

（1）堆積環境

以下、珪藻分析の結果から堆積時の環境を地点ごとに推定する。
・Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q10 の 19 層（No.1）・26 層（No.2）・29 層（No.3）・38 層（No.4）・40 層（No.5）、Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q3 の 20 層（No.6）、Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q2 の 10 層（No.7）、Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q1 の 3 層（No.8）・11 層（No.9）・13 層（No.10）・25 層（No.11）・28 層（No.12）

まず、本地点から特徴的に産出した種について述べる。40 層からは、海水生種の *Actinoptychus senarius* 、*Paralia sulcata*、*Thalassionema nitzschioides*、海水～汽水生種の *Cyclotella striata*、汽水生種の *Nitzschia granulata* 等である。28 層から産出した種は、海水～汽水生種の *Cyclotella striata*、*Cocconeis scutellum*、汽水生種の *Nitzschia levidensis*、淡水生種で流水生種の *Cocconeis placentula* var. *lineata* 等である。25 層から産出した種は、産出した種は、海水～汽水生種の *Cyclotella striata* である。

海水生種の *Actinoptychus senarius* は、外洋の浮遊性種であり、世界的に分布する種である。海水生種の *Paralia sulcata* は、内湾水中を浮遊生活する種であり、小杉（1988）によれば内湾指標種群とされている。海水生種の *Thalassionema nitzschioides* は、日本近海の沿岸・内湾に極めて普通にかつ冬春季に多量にあらわれるとされる（山路 ,1980）。本種は、生産力の高い種であり、海洋全般に認められる種である。海水～汽水生種の *Cyclotella striata* は、一般に内湾奥部で浮遊生活する種とされ（Hustedt,1930）、内湾指標種群とも呼ばれる（小杉 ,1988）。海水～汽水生種の *Cocconeis scutellum* は、塩分濃度が 12 パーミル以上の水域の海藻や海草（アマモなど）に付着生活する種群とされ、海水藻場指標種群（小杉 ,1988）と呼ばれている。汽水生種の *Nitzschia granulata* は、閉塞性の高い塩性湿地や泥質の干潟域のなどに泥底に付着生活する種であり、小杉（1988）は海水泥質

干潟の指標種としている。汽水生種の *Nitzschia levidensis* は、沿岸部の汽水域でも泥質の干潟に特徴的に認められる種である。好流水性種の *Cocconeis placentula* var. *lineata* は、河川等の流水域の基物（礫等）に大型の藻類と共に付着生育する種である。Asai and Watanebe（1995）は、清浄な水域に生育する種であることから、好清水性種としている。

また、無化石または 100 個体以上産出しなかった試料については、珪藻化石の生態性や群集の生育特性による、直接的な堆積環境の推定は危険であるため、避けたい。経験的には、堆積後に好気的環境下で大気に曝されると、短期間に分解消失することがわかっている。次に、珪藻化石を構成するシリカ鉱物は、温度が高いほど、流速が早いほど、水素イオン濃度指数が高いほど溶解度が大きくなり溶けやすいことが実験により推定されている（千木良 ,1995）。また、小杉（1986）によると、珪藻の遺骸は、堆積する際には、その大きさからシルトと挙動と共にするとされていることから、粗粒な堆積物の場合、珪藻殻は取り込まれにくいことが推定される。また、不安定な水域（潮間帯～干潟）等、珪藻殻が分解されやすく、珪藻殻の保存が悪く、産出数が少ないことが多い。

これらを踏まえて、産出した種の生態性と群集の特徴から、本地点の各層の堆積時の環境について推定する。まず、40 層は、沿岸域～内湾に生息する種が特徴的に産出したことから、概ね沿岸域～内湾の環境であったと考えられる。次に、28 層からは、沿岸域から産出する種が複数種産出したため、もともと沿岸域の環境であった可能生が示唆されるが、取り込まれたほとんどの珪藻化石は、分解・消失した可能性が高い。次に、38 層・29 層・26 層・25 層・11 層からは、海水生種、海水～汽水生種および汽水生種が産出したものの、無化石であった 20 層・13 層・19 層・10 層・3 層と同様に、もともと珪藻化石が取り込まれにくかったか、取り込まれたほとんどの珪藻化石は、分解・消失した可能性が高い。

・Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q21 の 8 層（No.13）・18 層（No.14）・44 層（No.16）、Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q28 の 23 層（No.17）・43 層（No.18）、Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q29 の 18′層（No.19）・35 層（No.20）、Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q33 の 32 層（No.21）・48 層（No.22）・50 層（No.23）

まず、本地点から特徴的に産出した種（前述していない種）について述べる。50 層から産出した種は、淡水生種で流水性種の *Cymbella turgidula* 等である。48 層から産出した種は、*Cymbella turgidula* 等である。18′層から産出した種は、海水生種の *Paralia sulcata*、*Thalassionema nitzschioides*、海水～汽水生種の *Cocconeis scutellum*、汽水生種の *Pseudopodosira kosugii* 等である。

汽水生種の *Pseudopodosira kosugii* は、休眠胞子を考えられてきた。休眠胞子とは、生育する水域（この場合は、海域）において、その時期の環境がその種群の生育に適さない環境に変化した場合に、環境の回復を待つ間にとるひとつの防御体制として殻の形態を変化させたものをいう。したがって、この休眠胞子が多く認められたことは、当時の環境に何らかの変化が比較的急速に起こり、それが継続していたことを物語っている。ひとつの防御体制として殻の形態を変化させたものをいう。小杉（1988）は、本種を汽水泥質干潟の指標種群として位置付けている。汽水泥質干潟とは、塩分濃度が 12 ～ 2 パーミル程度の水域の泥底であり、淡水の影響により汽水化した塩性湿地等も含むと定義されている。本種については、経験的には、塩分濃度が不安定な沿岸の干潟の環境に爆発的に出現する傾向にある。塩分濃度が不安定なために、他の種類は生育が困難なためか、単調な組成の中で本種の占める割合が高い場合が多い。次に、淡水生種で流水性種の *Cymbella turgidula* は中～下流性河

川指標種群（安藤 ,1990）と呼ばれ、河川沿いの河成段丘、扇状地および自然堤防、後背湿地といった地形がみられる部分に集中して出現するとされる。

これらを踏まえて、本地点の各層の堆積時の環境について、推定する。まず、50 層・48 層・45 層は、本地点の他の層と比べて、淡水生種で構成されることで特徴付けられ、特に 50 層・48 層は、淡水生種で流水生種の *Cymbella turgidula* が産出したことから、流水の影響があったことが示唆されるが、取り込まれたほとんどの珪藻化石は、分解・消失した可能性が高い。また、18' 層は、内湾～沿岸域に生息する種や汽水域に生息する種が産出したことから、沿岸域であった可能性が示唆されるが、取り込まれたほとんどの珪藻化石は、分解・消失した可能性が高い。そして、44 層・43 層・35 層・23 層・18 層は、海水生種、海水～汽水生種および汽水生種が産出したものの、無化石であった 8 層と同様に、もともと珪藻化石が取り込まれにくかったか、取り込まれたほとんどの珪藻化石は、分解・消失した可能性が高い。

・Sec1（A1 トレンチ）Q31 の 32 層（No.24）・33 層（No.25）・34 層（No.26）

まず、本地点から特徴的に産出した種（前述していない種）について述べる。34 層から産出した種は、海水生種の *Thalassionema nitzschioides* 等である。33 層から産出した種は、海水～汽水生種の *Cyclotella striata* 等である。32 層から産出した種は、汽水生種の *Nitzschia granulata* 等である。汽水生種の *Nitzschia granulata* は、閉塞性の高い塩性湿地や泥質の干潟域のなどに泥底に付着生活する種であり、小杉（1988）は海水泥質干潟の指標種としている。

以上の産出した種の生態性と群集の特徴から、本地点の各層の堆積時の環境について推定する。本地点の珪藻化石は、産出数が少ないものの、下位の 34 層から上位の 32 層にかけて、主となる生態性が海水生種から汽水生種へと変遷していく特徴が認められる。34 層および 33 層は、内湾～沿岸域に生息する種が特徴的に産出し、32 層は干潟性種が特徴的に産出したことから、34 および 33 層は内湾～沿岸域環境、32 層は干潟環境であった可能性が示唆されるが、取り込まれたほとんどの珪藻化石は、分解・消失した可能性が高い。

・Sec.5（A5 北西側南北セクション）Q20 の 15′層（No.27）、Sec.4（B4・A5 トレンチ）の 15 層（No.28）、Sec.4（B4・A5 トレンチ）Q27 の 16 層（No.29）・17 層（No.30）

まず、本地点から特徴的に産出した種（前述していない種）について述べる。16 層から特徴的に産出した種は、海水生種の *Paralia sulcata*、*Thalassionema nitzschioides*、海水～汽水生種の *Cyclotella striata*、淡水～汽水生種の *Bacillaria paradoxa* 等である。16 層から産出した種は、海水生種の Paralia sulcata 等である。16′層から産出した種は、海水生種の *Thalassionema nitzschioides*、海水～汽水生種の *Cocconeis scutellum*、*Cyclotella striata* 等である。淡水～汽水生種の *Bacillaria paradoxa* は、淡水にも生育するが、水の排水が悪いために水中の塩分濃度が高まった塩性湿地や沿岸部の後背湿地に多く認められる種である。

以上の産出した種の生態性と群集の特徴から、本地点の各層の堆積時の環境について推定する。16 層および 15′層からは、内湾～沿岸域に生息する種が特徴的に産出したことから、内湾～沿岸域の環境であったと考えられる。15 層からは、海水性種が産出したものの、無化石であった 17 層と同様に取り込まれたほとんどの珪藻化石は、分解・消失した可能性が高い。

なお各試料からは海綿骨針も検出されており、海の影響がうかがえる。南北ベルト Sec.4（B4・A5

トレンチ）では検出が多く、他の地点よりも海の影響がより強かったのかもしれない。

（2）周辺植生

まず、花粉分析の結果によると、今回分析を実施した 10 試料のうち、定量解析が行えたのは 2 試料のみであり、その他の試料では花粉化石の産出状況、保存状態が悪かった。一般的に花粉やシダ類胞子の堆積した場所が、常に酸化状態にあるような場合、花粉は酸化や土壌微生物によって分解・消失するとされている（中村 ,1967; 徳永・山内 ,1971; 三宅・中越 ,1998 など）。貝塚が形成されていることを踏まえると、堆積場は好気的環境に曝されることが多かった可能性が高い。その結果、花粉やシダ類胞子が分解・消失したと推測される。

定量解析が行えた Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q10 の 38 層（No.4）、および Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q21 の 42 層（No.15）は、いずれも花粉化石群集が類似しており、木本類の割合が高く、コナラ属コナラ亜属が最も多く産出する。その他ではモミ属、ツガ属、マツ属、スギ属などの針葉樹、クマシデ属―アサダ属、ブナ属、ニレ属―ケヤキ属、エノキ属―ムクノキ属などの落葉広葉樹、コナラ属アカガシ亜属などの常緑広葉樹が認められる。定量解析が行えなかったが、Sec.4（B4・A5 トレンチ）の 15 層（No.28）、Sec.4（B4・A5 トレンチ）Q27 の 16 層（No.29）のでも、これらの木本花粉がやや多く確認されている。このことから、少なくともこの 4 層準では同様の森林植生を反映していると推測される。よって、これらの層位が堆積した頃の周辺には、コナラ亜属を中心とした落葉広葉樹林が広がっており、部分的にマツ属、スギ属などの針葉樹、アカガシ亜属などの常緑広葉樹が分布していたと推測される。また、ニレ属―ケヤキ属、エノキ属―ムクノキ属などは渓谷沿いや河畔などに生育する種を含み、サワグルミ属、クルミ属、クマシデ属―アサダ属、ハンノキ属などにも同様の生育環境を示す種が含まれる。よって、これらは当時の河川沿いなどに生育していた可能性が高い。

関東周辺の調査事例によると、最終氷期終了後の後氷期初期にはナラ林を主とする落葉広葉樹林が平野部に成立しており、約 4000 年前以降にアカガシ亜属などの照葉樹林要素やスギ属などの針葉樹が増加するとされている（内山 ,1998）。栄町貝塚は、縄文時代中期～後期初頭にかけての遺跡と考えられることから、今回得られた花粉化石群集は、既存の調査事例と調和的と言える。草本植生を見ると、少ないながらもイネ科、カヤツリグサ科、サナエタデ節―ウナギツカミ節、ヨモギ属など、開けた明るい場所に生育する種類が検出された。これらは調査地周辺の草地などに由来すると思われる。

また、Sec.2（B1・A2 トレンチ）Q10 の 38 層（No.4）では、ガマ属、サンショウモ、アカウキクサ属など、水湿地に生育する草本・シダ類が確認された。よって、これらが生育する水湿地が周辺に存在したことがうかがえる。植物由来の微化石以外では、海棲微化石の渦鞭毛藻類がいくつかの試料から確認された。栄町貝塚は、縄文時代中期～後期初頭にかけて当時の海岸線に形成された可能性が指摘されている。よって、土層が堆積する際、海水の影響を受けやすい環境であったと推測される。

一方、植物珪酸体分析の結果によると、Sec.2（B1・A2 トレンチ）の Q10 に見られた 26 層（No.2）と 38 層（No.4）および Q1 に見られた 3 層（No.8）、11 層（No.9）、13 層（No.10）では植物珪酸体の産出が悪く、堆積速度が速いなどの要因により植物珪酸体の蓄積が少なかったことがうかがえる。検出された分類群を見る限り、これらの層が形成された頃には少なくともタケ亜科やヨシ属などの生育が考えられる。タケ亜科には乾いた場所に生育する種類が多く、またヨシ属は湿潤な場所に生育することから、周辺にタケ亜科が生育するような乾いた場所やヨシ属などが生育する湿潤地の存在がう

かがえる。

Sec.2（B1・A2 トレンチ）の Q21 に見られた 8 層（No.13）、18 層（No.14）、42 層（No.15）でも、堆積速度が速いなどの要因により植物珪酸体の蓄積が少なかったことがうかがえる。なお、これらの層が形成された頃には少なくともタケ亜科やヨシ属などの生育が考えられる。タケ亜科には乾いた場所に生育する種類が多く、またヨシ属は湿潤な場所に生育することから、周辺にタケ亜科が生育するような乾いた場所やヨシ属などが生育する湿潤地の存在がうかがえる。

Sec.4（B4・A5 トレンチ）の 15 層（No.28）や Q27 の 16 層（No.29）でも植物珪酸体の蓄積が少なかったものの、少なくともタケ亜科やヨシ属などの生育が考えられる。なお、タケ亜科の産出がやや多い傾向が見られたことから、乾いた場所が近かった可能性がある。

（3）植物利用

オニグルミを除いた種実同定の結果、A 区コラムサンプル C11、C24 より栽培の可能性があるシソ属（エゴマ？）が確認された。畑作物のエゴマに由来する場合、利用された可能性がある。栽培の可能性を除いた分類群は木本主体で、針葉樹で常緑高木のカヤ、常緑小高木～低木のイヌガヤ、広葉樹で常緑高木のヤブニッケイ、落葉高木のアサダ、イヌシデ、ムクノキ、コブシ－タムシバ、サクラ節、アカメガシワ、カラスザンショウ、ムクロジ、ミズキ、クマノミズキ、ミズキ属、落葉低木のサンショウ、ミツバウツギ、クマヤナギ属、クサギ、ニワトコ、落葉籐本のブドウ属、ノブドウが確認され、クマノミズキやミズキを含むミズキ属が全体の約 4 割を占める組成を示した。河畔林要素や林縁などの明るく開けた場所に生育する分類群が多いことから、当時の栄町貝塚周辺の河畔林や森林の林縁等に生育していたと考えられる。

草本は、浮葉植物のヒルムシロ属、オニバス、中生植物のスゲ属、カナムグラが確認された。当時の調査区近辺のやや水深がある（水深 2m 以浅）の水湿地や、明るく開けた草地に生育していたと考えられる。

ムクノキ、サクラ節、ブドウ属は果実が食用可能であり、オニバスは種子内部の子葉が食用可能である。サンショウは果実が食用や薬用、香辛料等に利用可能である。カヤは種子が食用や油料に、イヌガヤは種子が油料に、種子を包む外種皮が食用に利用可能である。ムクロジは、種子に油脂を多く含むため食用可能で、後代には数珠等の製品の材料とされる。果皮はサポニンを含むため洗髪や洗濯等に利用可能である。この他、カラスザンショウは、防駆虫剤としての利用の可能性が指摘されている（真邉・小畑 2017）。ニワトコは果実の食用例はないが、縄文時代での出土例の多さと利用の可能性が指摘されている（平岡ほか ,2021）。これらの出土種実に人による明瞭な利用痕跡は確認されないが、周辺域の森林より採取・利用可能な環境であったと推測される。

引用文献

安藤一男 ,1990, 淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用 . 東北地理 ,42,73-88.

Asai, K. and Watanabe, T.,1995,Statistic Classification of Epilithic Diatom Species into Three Ecological Groups relating to Organic Water Pollution (2) Saprophilous and saproxenous taxa.Diatom,10,35 － 47.

千木良雅弘 ,1995, 風化と崩壊 . 近未来社 ,204p.

Desikachary, T. V., 1987, Atlas of Diatoms. Marine Diatoms of the Indian Ocean. Madras science foundation,1-13, Plates,401-621.

藤木利之・小澤智生 ,2007, 琉球列島産植物花粉図鑑 . アクアコーラル企画 ,155p.

Hustedt, F., 1930, Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. under Berucksichtigung der ubrigen Lander Europas Sowie der angrenzenden Meeresgebiete. in Dr. Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs unt der Schweiz, 7, Leipzig, Part 1, 920p.

Hustedt, F., 1937-1938, Systematische unt okologische Untersuchungen mit die Diatomeen-Flora von Java, Bali und Sumatra. Ⅰ～Ⅲ . Arch. Hydrobiol. Suppl., 15, 131-809p, 1-155p, 274-349p.

Hustedt, F., 1959, Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. under Berucksichtigung der ubrigen Lander Europas Sowie der angrenzenden Meeresgebiete. in Dr. Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs unt der Schweiz, 7, Leipzig, Part 2, 845p.

Hustedt, F., 1961-1966, Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. under Berucksichtigung der ubrigen Lander Europas Sowie der angrenzenden Meeres-gebiete. in Dr. Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs unt der Schweiz, 7, Leipzig, Part 3, 816p.

平岡　和・那須浩郎・金子明裕 ,2021, 縄文時代におけるニワトコ果実の用途の推定 . 第 36 回日本植生史学会大会講演要旨集 ,54-55.

伊藤良永・堀内誠示 ,1989, 古環境解析からみた陸生珪藻の検討　－陸生珪藻の細分－ . 日本珪藻学会第 10 回大会講演要旨集 ,17.

伊藤良永・堀内誠示 ,1991, 陸生珪藻の現在に於ける分布と古環境解析への応用 . 日本珪藻学誌 ,6,23-44.

石川茂雄 ,1994, 原色日本植物種子写真図鑑 . 石川茂雄図鑑刊行委員会 ,328p.

笠原安夫 ,1982, 鳥浜貝塚の植物種実の検出とエゴマ・シソ種実タール状塊について . 鳥浜貝塚 1980 年度発掘調査概報・研究の成果－縄文前期を主とする低湿地遺跡の調査 2 － , 福井県教育委員会 ,65-87.

近藤錬三 ,2010, プラント・オパール図譜 . 北海道大学出版会 ,387p.

小杉正人 ,1986, 陸生珪藻による古環境の解析とその意義－わが国への導入とその展望－ . 植生史研究 ,1,9-44.

小杉正人 ,1988, 珪藻の環境指標種群の設定と古環境復原への応用 . 第四紀研究 ,27,1-20.

Krammer, K. and H. Lange-Bertalot,1985,Naviculaceae. Bibliothyca Diatomologica,9,250p.

Krammer, K. and H. Lange-Bertalot,1986,Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa, 2(1): 876p.

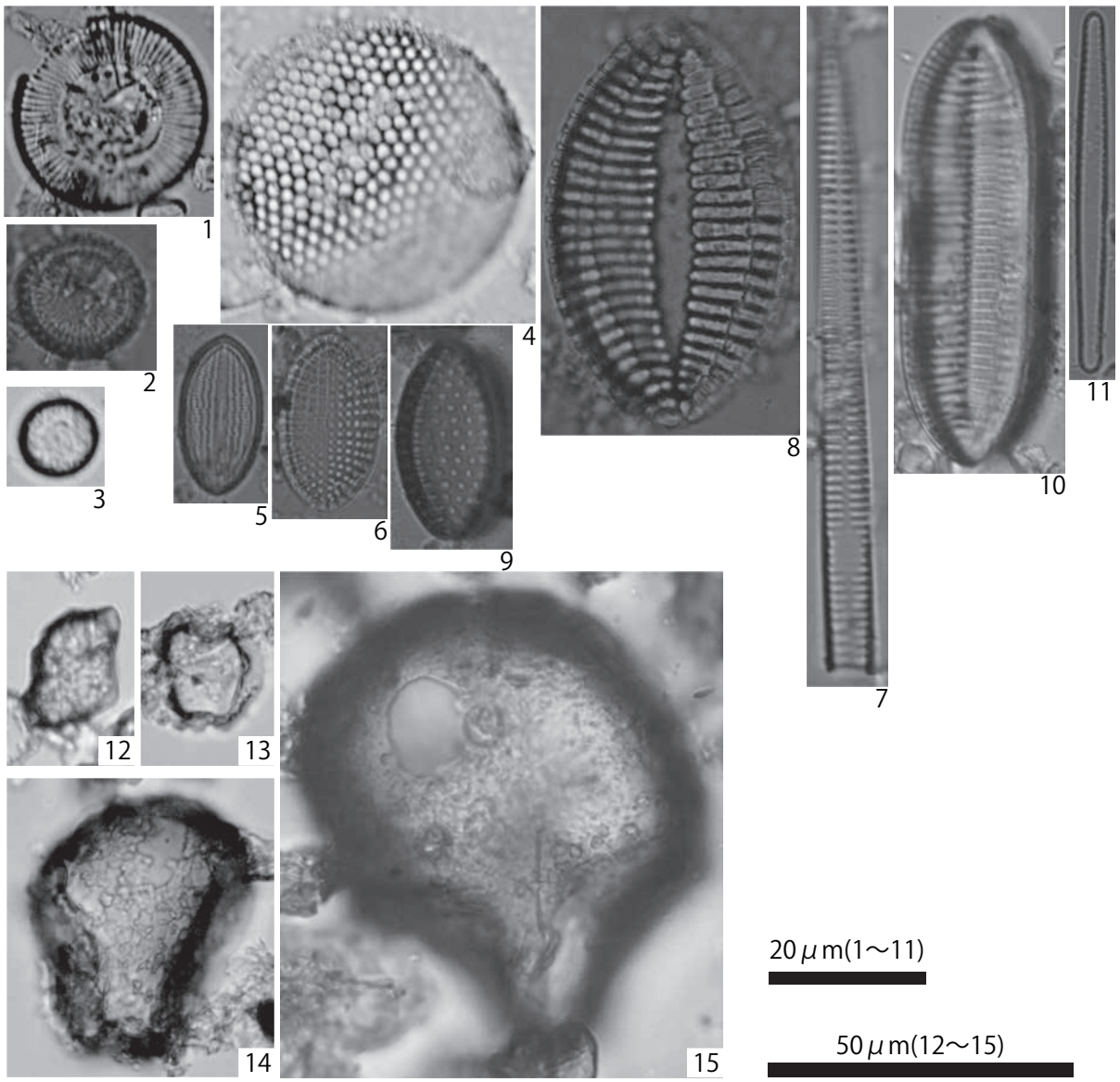
Krammer, K. and H. Lange-Bertalot,1988,Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2(2): 596p.

Krammer, K. and H. Lange-Bertalot,1990,Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2(3): 576p.

Krammer, K. and H. Lange-Bertalot,1991,Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2(4): 437p.

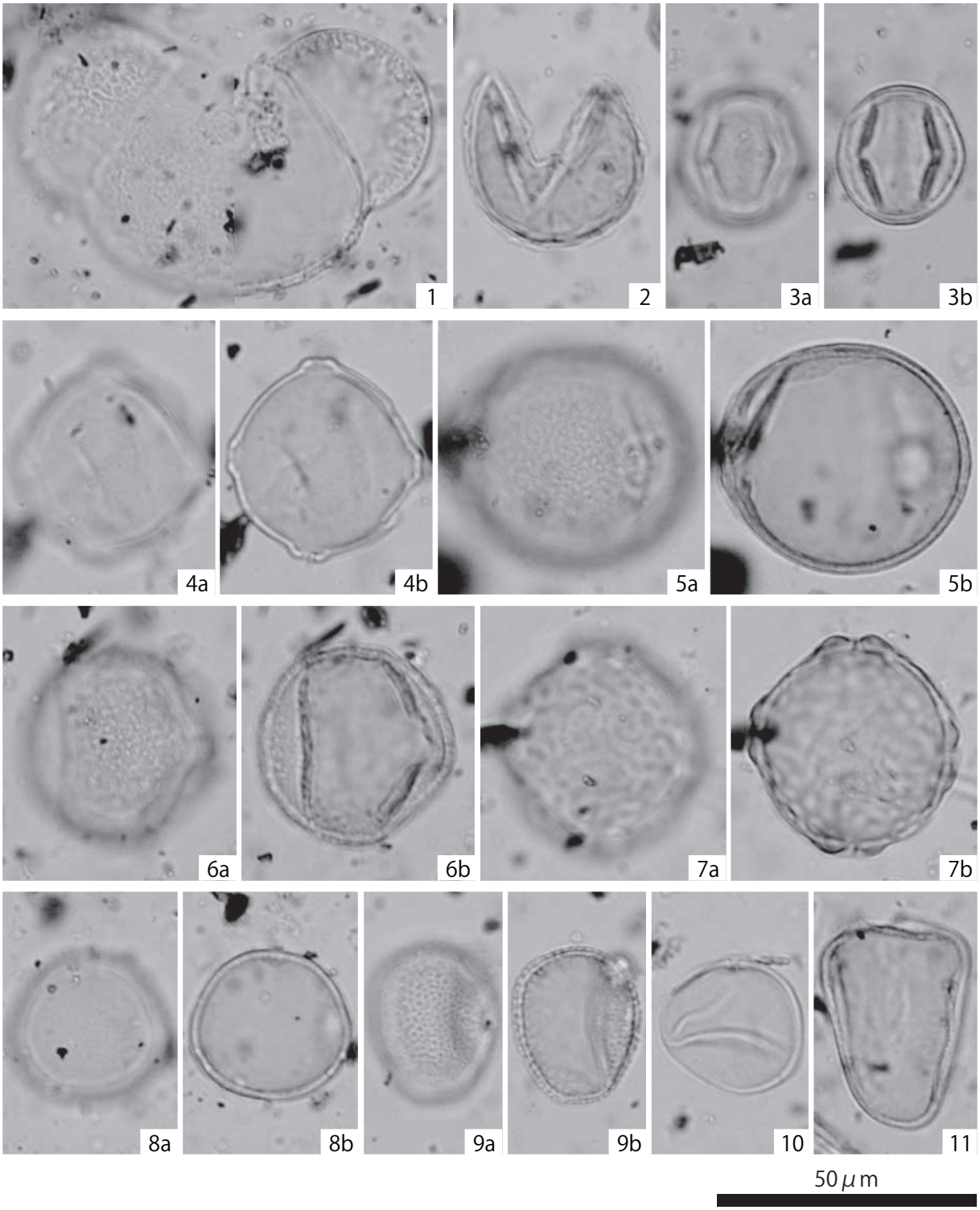
Lange-Bertalot, H., Witowski, A., and Metzeltin, D., 2000,ICONOGRAPHIA DIATOMOLOGICA Annotated diatom

micrographs. Diatom Flora of Marine Coasts ,1,925p.
真邉　彩・小畑弘己 ,2017, 産状と成分からみたカラスザンショウ果実の利用法 . 植生史研究第 26 巻第 1 号 ,27-40.
三宅尚・中越信和 ,1998, 森林土壌に堆積した花粉・胞子の保存状態 . 植生史研究 ,6,15-30.
三好教夫・藤木利之・木村裕子 ,2011, 日本産花粉図鑑 . 北海道大学出版会 ,824p.
中村純 ,1967, 花粉分析 . 古今書院 ,232p.
中村純 ,1980, 日本産花粉の標徴　Ⅰ , Ⅱ (図版). 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録　第 12,13 集 ,91p.
中山至大・井之口希秀・南谷忠志 ,2010, 日本植物種子図鑑 (2010 年改訂版). 東北大学出版会 ,678p.
島倉巳三郎 ,1973, 日本植物の花粉形態 . 大阪市立自然科学博物館収蔵目録　第 5 集 ,60p.
新田みゆき ,2001, シソとエゴマの分化と多様性 . 栽培植物の自然史－野生植物と人類の共進化－ 山口裕文・島本義也編 , 北海道大学図書刊行会 ,165-175.
鈴木庸夫・高橋冬・安延尚文 ,2018, 草木の種子と果実－形態や大きさが一目でわかる 734 種　増補改訂－ . ネイチャーウォッチングガイドブック , 誠文堂新光社 ,303p.
徳永重元・山内輝子 ,1971, 花粉・胞子 . 化石の研究法 , 共立出版株式会社 ,50-73.
内山隆 ,1998, 関東地方の植生史 . 安田喜憲・三好教夫 (編著), 図説 日本列島植生史 , 朝倉書店 ,73-91.
山路勇 ,1980, 日本海洋プランクトン図鑑 . 保育社 , 1-537p.
谷城勝弘 ,2007, カヤツリグサ科入門図鑑 . 全国農村教育協会 ,247p.



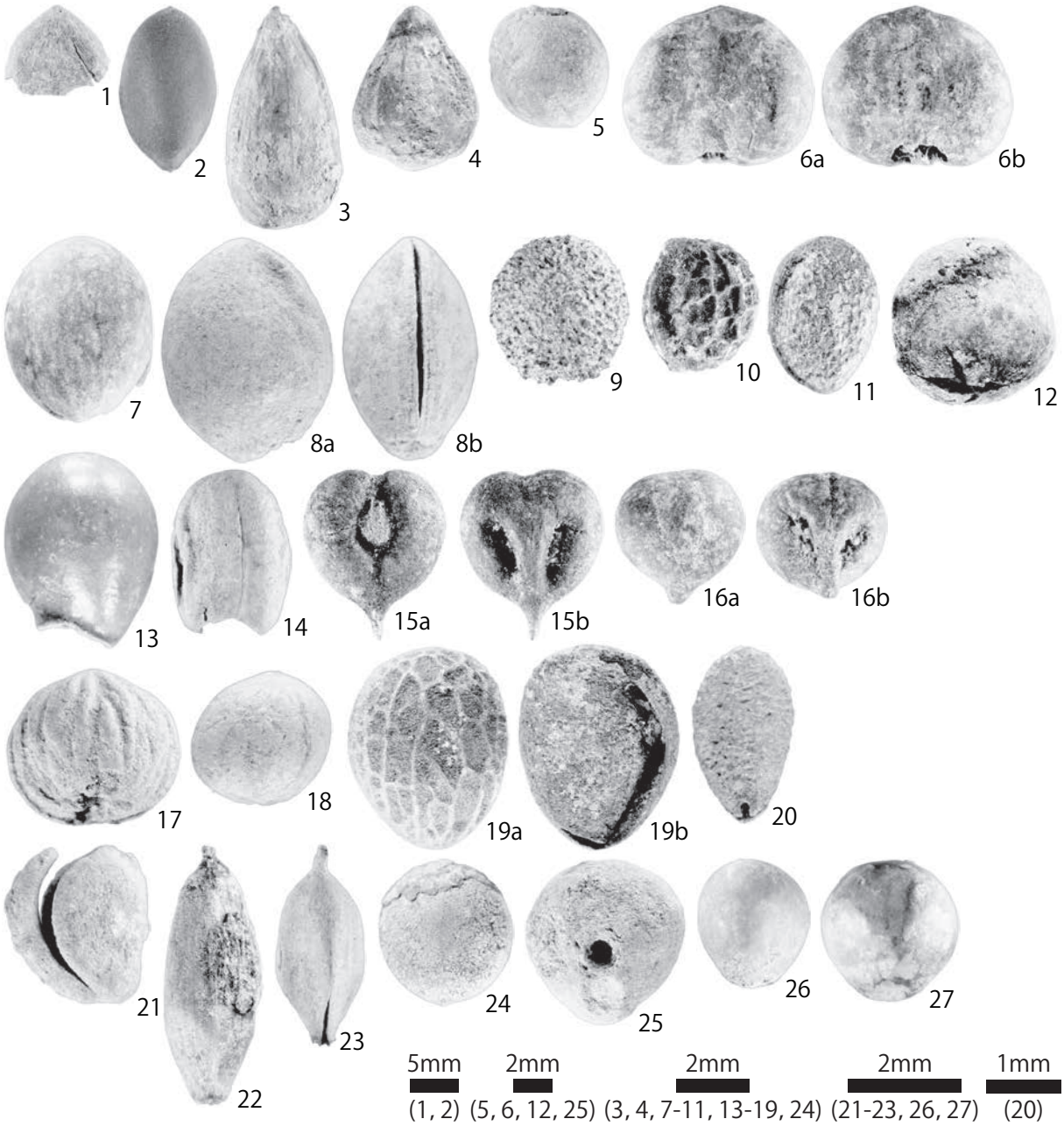
1．*Cyclotella striata*（Kuetz.）Grunow（Sec.2 Q10;40層）
2．*Paralia sulcata*（Ehr.）Cleve (Sec.2 Q10;40層)
3．*Pseudopodosira kosugii* Tanimura et Sato (Sec.2 Q29;18′層)
4．*Thalassiosira eccentrica*（Ehr.）Cleve (Sec.5 Q20;15′層)
5．*Cocconeis placentula* var. *lineata*（Ehr.）Cleve (Sec.2 Q1;28層)
6．*Cocconeis scutellum* Ehrenberg (Sec.5 Q20;15′層)
7．*Fragilaria ulna*（Nitzsch）Lange-Bertalot (Sec.5 Q20;15′層)
8．*Nitzschia cocconeiformis* Grunow (Sec.2 Q28;23層)
9．*Nitzschia granulata* Grunow (Sec.2 Q10;40層)
10．*Nitzschia levidensis*（W.Smith）Grunow (Sec.2 Q1;28層)
11．*Thalassionema nitzschioides*（Grun.）Grunow (Sec.5 Q20;15′層)
12．タケ亜科短細胞珪酸体(Sec.2 Q10;38層)
13．ヨシ属短細胞珪酸体(Sec.4 ;15層)
14．タケ亜科機動細胞珪酸体(Sec.2 Q10;26層)
15．ヨシ属機動細胞珪酸体(Sec.4 Q27;16層)

第 86 図　珪藻化石・植物珪酸体



1.マツ属(Sec.2 Q10;38層)
2.スギ属(Sec.2 Q10;38層)
3.コナラ属アカガシ亜属(Sec.2 Q10;38層)
4.クマシデ属―アサダ属(Sec.2 Q10;38層)
5.ブナ属(Sec.2 Q10;38層)
6.コナラ属コナラ亜属(Sec.2 Q10;38層)
7.ニレ属―ケヤキ属(Sec.2 Q10;38層)
8.エノキ属―ムクノキ属(Sec.2 Q10;38層)
9.ガマ属(Sec.2 Q10;38層)
10.イネ科(Sec.2 Q10;38層)
11.カヤツリグサ科(Sec.2 Q10;38層)

第 87 図　花粉化石



1.カヤ 種子(Sec.2-C25;25'層-②-a)
2.イヌガヤ 種子(B区;No.085)
3.アサダ 果実(Sec.4-C18;15'層-③-h)
4.イヌシデ 果実(Sec.4-C18;11'層-③-b)
5.ムクノキ 核(Sec.1-C10;31層-①-a)
6.コブシ - タムシバ 種子(Sec.4-C17;25層-①-b)
7.ヤブニッケイ 種子(Sec.1-C10;22層-⑬24層-②-d)
8.サクラ節 核(Sec.2-C11;40層-①-d)
9.アカメガシワ 種子(Sec.4-C24;17層-①-z-5)
10.カラスザンショウ 種子(Sec.4-C17;40層-①-d)
11.サンショウ 種子(Sec.1-C10;25'層-⑨-h)
12.ムクロジ 種子(Sec.4-C17;40層-①-b)
13.ミツバウツギ 種子(Sec.1-C10;31層-①-a)
14.クマヤナギ属 核(Sec.2-C25;25'層-⑥-e)
15.ブドウ属 種子(Sec.2-C25;25'層-⑧-e)
16.ノブドウ 種子(Sec.4-C17;25層-④-b)
17.ミズキ 核(Sec.1-C10;34層-②-b)
18.クマノミズキ 核(Sec.2-C25;25'層-⑥-e)
19.クサギ 核(Sec.1-C10;33層-①-e)
20.ニワトコ 核(Sec.4-C18;11'層-③-g)
21.ヒルムシロ属 果実(Sec.1-C10;25'層-①-b)
22.スゲ属 果実(Sec.4-C24;17層-①-b)
23.スゲ属 果実(Sec.4-C24;17層-①-r)
24.カナムグラ 果実・核(Sec.4-C18;18'層-⑰-c)
25.オニバス 果実(Sec.2-C11;40層-①-c)
26.シソ属 果実(Sec.2-C11;21層-③-e)
27.シソ属 果実(Sec.4-C24;18層-①-K)

第 88 図　種実遺体

2　栄町貝塚から出土した縄文時代中期の杭の樹種

東京都埋蔵文化財センター　鈴木 伸哉

栄町貝塚の調査において、縄文時代中期初頭～前葉のものを主体とする杭が出土した。ここではこれらに用いられた木材の樹種を同定した結果について報告し、あわせて若干の考察を加えた。

資料と方法

樹種同定は木材組織の顕微鏡観察により行った。出土した木材から片刃剃刀を用いて横断面と接線断面、放射断面の切片を作成し、これらをガムクロラールで封入してプレパラートとした。作成したプレパラートには SKE01-01 ～ 42 の標本番号を付した。これらは他の出土資料とともに北区教育委員会によって保管されている。試料採取に併せて、木取りと年輪幅についても観察した。年輪幅が平均して概ね 1㎜未満のものを A、1 ～ 2㎜程度のものを B、2㎜以上のものを C とした。

結果

同定の結果、針葉樹 1 分類群と広葉樹 13 分類群、単子葉類 1 分類群が認められた。以下に木材の解剖学的記載と顕微鏡写真を示す。

イヌガヤ *Cephalotaxus harringtonia* (Knight ex Forbes) K.Koch var. harringtonia イチイ科（写真：SKE01-34）

垂直・水平のいずれの樹脂道も欠く針葉樹材。仮道管の壁は厚く、早材から晩材への移行は緩やかで晩材は少ない。樹脂細胞が年輪内に散在する。仮道管の内壁には水平に近く走るらせん肥厚がある。放射組織は放射柔細胞のみからなり、分野壁孔はごく小型のトウヒ型で 1 分野にふつう 2 ～ 3 個。

クスノキ科 Lauraceae（写真：SKE01-14）

中型でやや厚壁の道管が単独または放射方向に 2 ～ 3 個複合してまばらに散在する散孔材。木部柔組織は周囲状でときに油細胞をもつ。道管の穿孔は単一で、ときに数本の横棒からなる階段状。放射組織は異性で 2 ～ 3 細胞幅。

タケ亜科 subfam. Bambusoideae イネ科（写真：SKE01-26）

厚壁の繊維細胞が木部と篩部を取り囲んで維管束を形成し、それが散在して不斉中心柱をなす。木部では原生木部の小道管の左右外側に 1 対の大道管があり、篩部は原生木部の外方に位置する。

ケンポナシ属 *Hovenia* クロウメモドキ科（写真：SKE01-13）

大型の道管が年輪のはじめに並び、晩材では徐々に径を減じた厚壁の小道管が単独または放射方向に数個複合して散在する半環孔材。道管の穿孔は単一。木部柔組織は周囲状～連合翼状。放射組織は上下端の 2 ～ 4 細胞が直立する異性で 6 細胞幅くらい。

ムクノキ *Aphananthe aspera* (Thunb.) Planch. アサ科（写真：SKE01-32）

やや大型で厚壁の丸い道管が単独または放射方向に 2 ～ 3 個複合して散在する散孔材。木部柔組織は翼状～帯状。道管の穿孔は単一。放射組織は異性で 2 ～ 4 細胞幅くらいで、しばしば上下端に結晶をもつ。

エノキ属 *Celtis* アサ科（写真：SKE01-39）

大型～中型で丸い道管が単独か２個複合して年輪のはじめに１～２列並び、晩材では徐々に径を減じた小道管が塊をなして斜めに連なる傾向をみせて配列する環孔材。道管の穿孔は単一で、小道管にはらせん肥厚がある。放射組織は上下端の１～４細胞ほどが直立する異性で 10 細胞幅くらいとなり、不明瞭な鞘細胞をもつ。

クワ属 *Morus* クワ科（写真：SKE01-16）

やや大型で丸い道管が単独または数個複合して年輪のはじめに数列集合し、晩材では徐々に径を減じた小道管が丸い塊をなして斜めに連なる傾向をみせて配列する環孔材。道管の穿孔は単一で、小道管にはらせん肥厚がある。放射組織は上下端の１～２細胞が直立する異性で 10 細胞幅くらい。

クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. ブナ科（写真：SKE01-9）

ごく大型で丸い道管が年輪のはじめに１～３列ほど並んで孔圏をなし、晩材では小型で薄壁の道管が火炎状に配列する環孔材。木部柔細胞は短接線状。道管の穿孔は単一。放射組織は単列同性。

オニグルミ *Juglans mandshurica* Maxim. var. sachalinensis (Komatsu) Kitam. クルミ科（写真：SKE01-38）

やや大型で丸い道管が単独または放射方向に数個複合してまばらに散在する半環孔材。木部柔細胞は接線方向に 1 細胞幅の帯状をなす。道管の穿孔は単一。放射組織は同性で 4 細胞幅くらい。

ニシキギ属 *Euonymus* ニシキギ科（写真：SKE01-12）

ごく小型でやや角ばった道管がほぼ単独で密に散在する散孔材。道管の直径と密度は年輪界でやや急激に減少する。道管の穿孔は単一。放射組織は単列同性。

アカメガシワ *Mallotus japonicus* (L.f.) Müll.Arg. トウダイグサ科（写真：SKE01-6）

大型でやや厚壁の道管が年輪のはじめに単独または放射方向に数個複合して配列し、晩材に向かって径を減じながら単独で放射方向に並んで散在する半環孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は異性でほぼ単列。

ヤナギ属 *Salix* ヤナギ科（写真：SKE01-8）

中型の道管が単独または放射方向に２～３個複合して均一にやや密に散在する散孔材。道管は晩材でゆるやかに径を減じる。道管の穿孔は単一。放射組織は単列で上下端の２～４細胞が直立する異性。道管放射組織間の壁孔は単壁孔様で角張る。

カエデ属 *Acer* ムクロジ科（写真：SKE01-7）

やや小型で丸い道管がほぼ単独でまばらに散在する散孔材。道管の穿孔は単一で、内壁にはらせん肥厚がある。放射組織は同性で１～４細胞幅。

クサギ *Clerodendrum trichotomum* Thunb. var. trichotomum シソ科（写真：SKE01-3）

やや大型で丸い道管が単独または２個複合して年輪界に向けて徐々に径を減じながら散在する半環孔材。木部柔組織は早材で周囲状、晩材で翼状～連合翼状。道管の穿孔は単一。放射組織は上下端の 1 細胞が直立する異性で３～４細胞幅。

ニワトコ属 *Sambucus racemosa* L. subsp. sieboldiana (Miq.) H.Hara ガマズミ科（写真：SKE01-1）

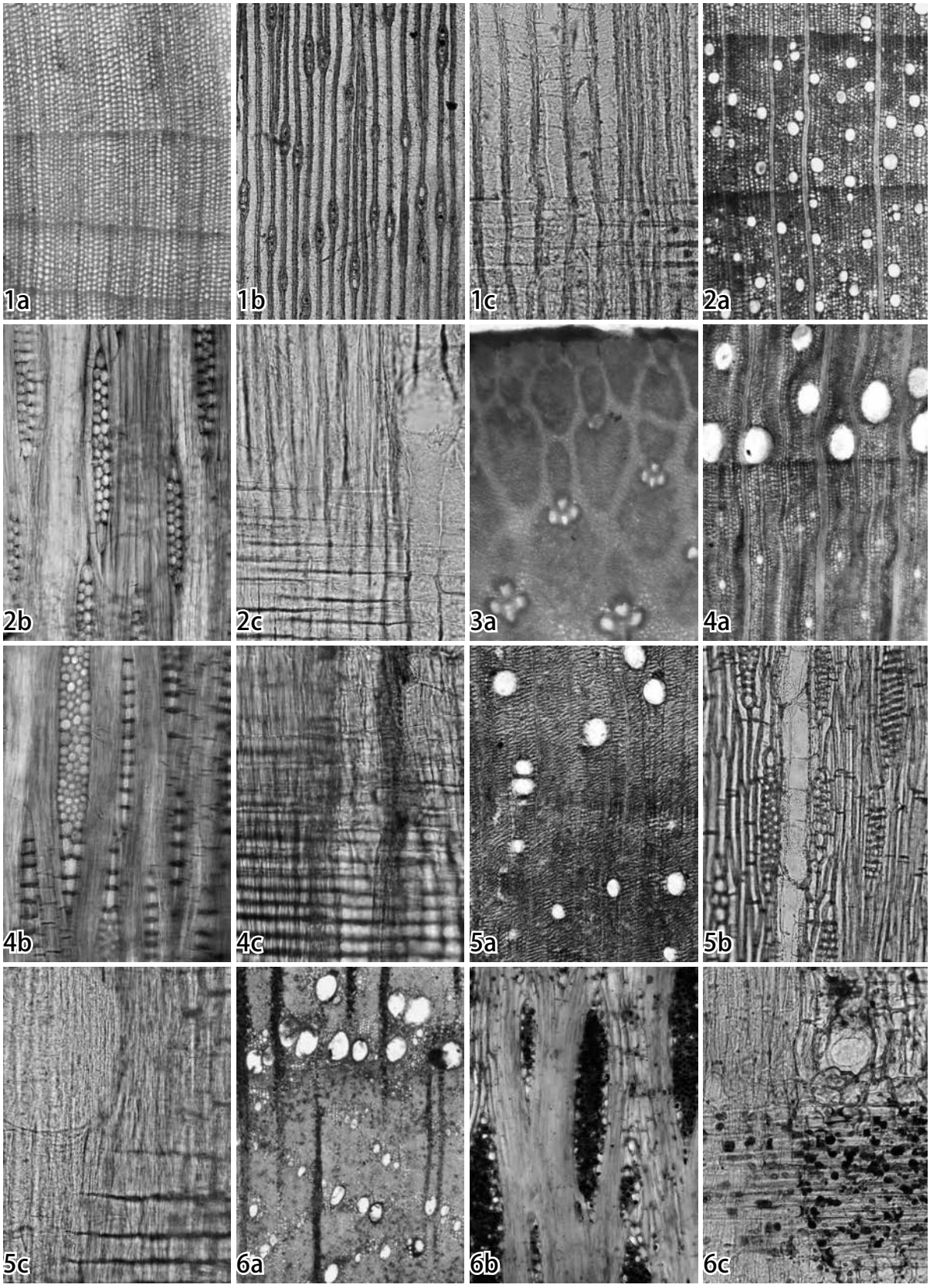
小型の道管が数個複合して年輪界に向けて徐々に径を減じながら散在する散孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は異性で４～５細胞幅くらい。

考察

栄町貝塚で出土した縄文時代中期初頭～前葉を中心とする杭材には、タケ亜科（竹笹類）が多く用いられていた他、当時の武蔵野台地に広く分布した落葉広葉樹が多数を占めた。このうちムクノキやエノキ属、アカメガシワ、クサギ、ニワトコ属などの、山野の林縁に多く分布する分類群は、貝塚の立地する汀線沿いから少し上がった台地の縁辺部に由来するものであろう。一方、人との関わりの深さをうかがわせる植物はクリがやや多く認められたのを除けばわずかにとどまる。こうした用材傾向は、縄文時代中期初頭から前葉にかけてのこの貝塚周辺には集落跡などの目立った痕跡がないこととも関係するものと考えられる。集落から離れた貝塚周辺で、手近に入手・利用可能な木材を選択した結果が、杭材の樹種のバラエティに反映したものであろう。

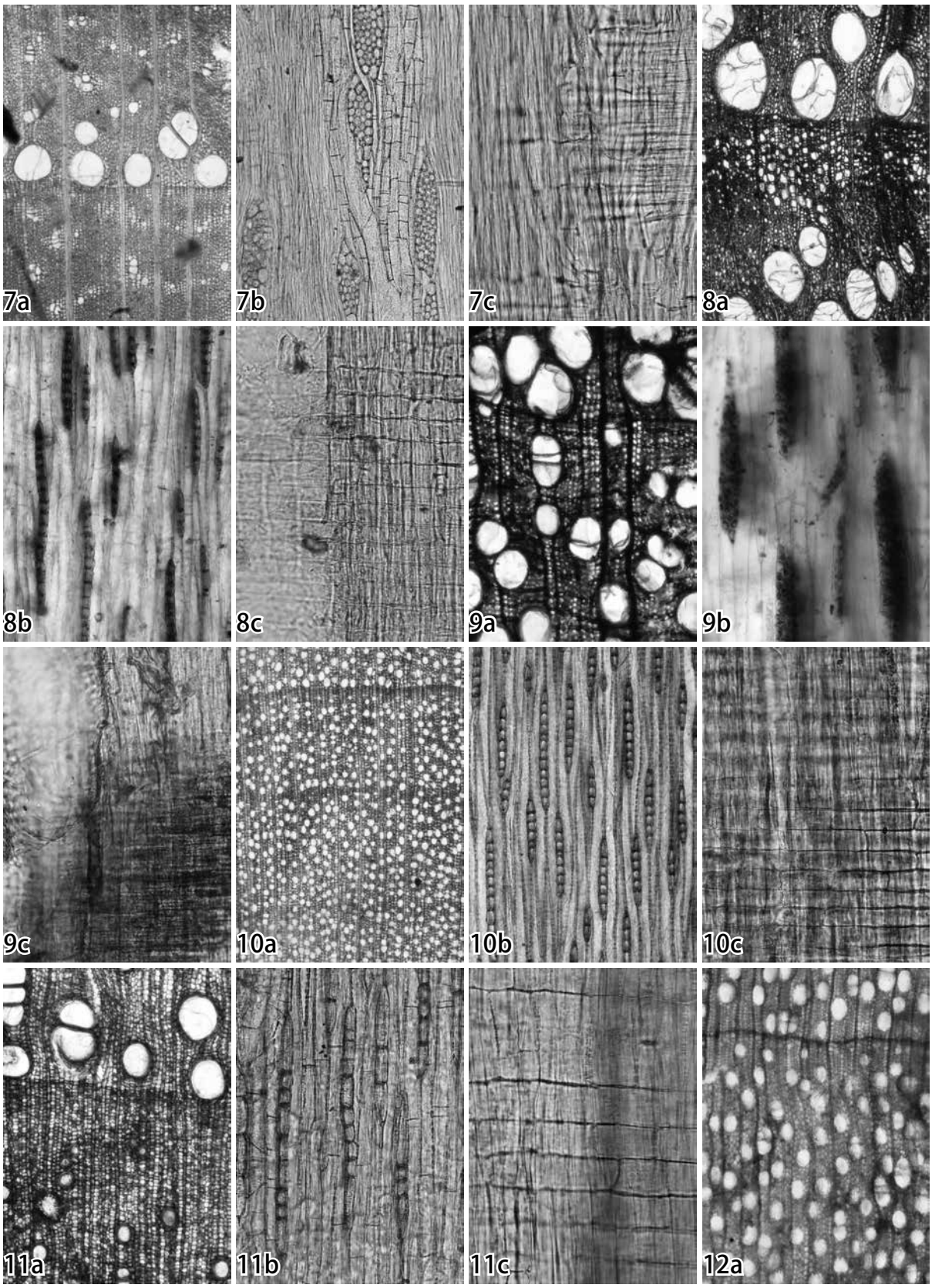
第 86 表　栄町貝塚から出土した木材の樹種

挿図番号	資料番号	分析番号	調査区	種別	樹種	木取り	年輪
69- 杭 1	41- 杭 1	SKE01-1	B 区	杭	ニワトコ属	芯持ち丸木	C
69- 杭 2	42- 杭 2	SKE01-2	B 区	杭	クサギ	芯持ち丸木	C
69- 杭 4	43- 杭 4	SKE01-3	B 区	杭	クサギ	芯持ち丸木	C
69- 杭 5	44- 杭 5	SKE01-4	B 区	竹	タケ亜科	－	
69- 杭 6	45- 杭 6	SKE01-5	B 区	杭	クスノキ科	芯持ち丸木	C
69- 杭 7	46- 杭 7	SKE01-6	B 区	杭	アカメガシワ	芯持ち丸木	C
70- 杭 8	47- 杭 8	SKE01-7	B 区	杭	カエデ属	芯持ち丸木	C
70- 杭 9	48- 杭 9	SKE01-8	B 区	杭	ヤナギ属	芯持ち丸木	C
70- 杭 10	49- 杭 10	SKE01-9	B 区	杭	クリ	芯持ち丸木	C
70- 杭 11	50- 杭 11	SKE01-10	B 区	竹	タケ亜科	－	－
70- 杭 12	51- 杭 12	SKE01-11	B 区	竹	タケ亜科	－	－
70- 杭 14	53- 杭 14	SKE01-12	B 区	杭	ニシキギ属	芯持ち丸木	C
70- 杭 15	54- 杭 15	SKE01-13	B 区	杭	ケンポナシ属	芯持ち丸木	C
71- 杭 16	55- 杭 16	SKE01-14	B 区	杭	クスノキ科	芯持ち丸木	B
71- 杭 17	56- 杭 17	SKE01-15	B 区	杭	クサギ	割材	C
71- 杭 18	57- 杭 18	SKE01-16	B 区	杭	クワ属	芯持ち丸木	C
71- 杭 19	58- 杭 19	SKE01-17	B 区	杭	クサギ	芯持ち丸木	C
71- 杭 20	59- 杭 20	SKE01-18	B 区	杭	クサギ	芯持ち丸木	C
71- 杭 21	60- 杭 21	SKE01-19	B 区	竹	タケ亜科	－	－
71- 杭 22	61- 杭 22	SKE01-20	B 区	竹	タケ亜科	－	－
71- 杭 23	62- 杭 23	SKE01-21	B 区	竹	タケ亜科	－	－
72- 杭 24	63- 杭 24	SKE01-22	B 区	竹	タケ亜科	－	－
72- 杭 26	65- 杭 26	SKE01-23	B 区	竹	タケ亜科	－	－
72- 杭 28	67- 杭 28	SKE01-24	B 区	竹	タケ亜科	－	－
72- 杭 30	69- 杭 30	SKE01-25	B 区	竹	タケ亜科	－	－
72- 杭 31	70- 杭 31	SKE01-26	B 区	竹	タケ亜科	－	－
72- 杭 32	71- 杭 32	SKE01-27	B 区	竹	タケ亜科	－	－
72- 杭 33	72- 杭 33	SKE01-28	B 区	竹	タケ亜科	－	－
72- 杭 34	73- 杭 34	SKE01-29	B 区	竹	タケ亜科	－	－
72- 杭 35	74- 杭 35	SKE01-30	B 区	竹	タケ亜科	－	－
72- 杭 36	75- 杭 36	SKE01-31	B 区	竹	タケ亜科	－	－
72- 杭 37	76- 杭 37	SKE01-32	A 区	杭	ムクノキ	芯持ち丸木	C
72- 杭 38	77- 杭 38	SKE01-33	A 区	材	イヌガヤ	芯持ち丸木	C
72- 杭 39	78- 杭 39	SKE01-34	A 区	杭	イヌガヤ	芯持ち丸木	B
73- 杭 40	79- 杭 40	SKE01-35	A 区	杭	クリ	芯持ち丸木	C
73- 杭 41	80- 杭 41	SKE01-36	A 区	杭	クリ	芯持ち丸木	C
77-2	No.235	SKE01-37	B 区	材（自然木？）	クリ	芯持ち丸木	C
77-3	No.302	SKE01-38	B 区	材（自然木？）	オニグルミ	芯持ち丸木	B
77-4	No.755	SKE01-39	A 区	材（自然木？）	エノキ属	割材？	C
77-5	No.798	SKE01-40	A 区	材（自然木？）	クスノキ科	割材？	C
72- 杭 25	64- 杭 25	SKE01-41	B 区	竹	タケ亜科	－	－
72- 杭 27	66- 杭 27	SKE01-42	B 区	竹	タケ亜科	－	－



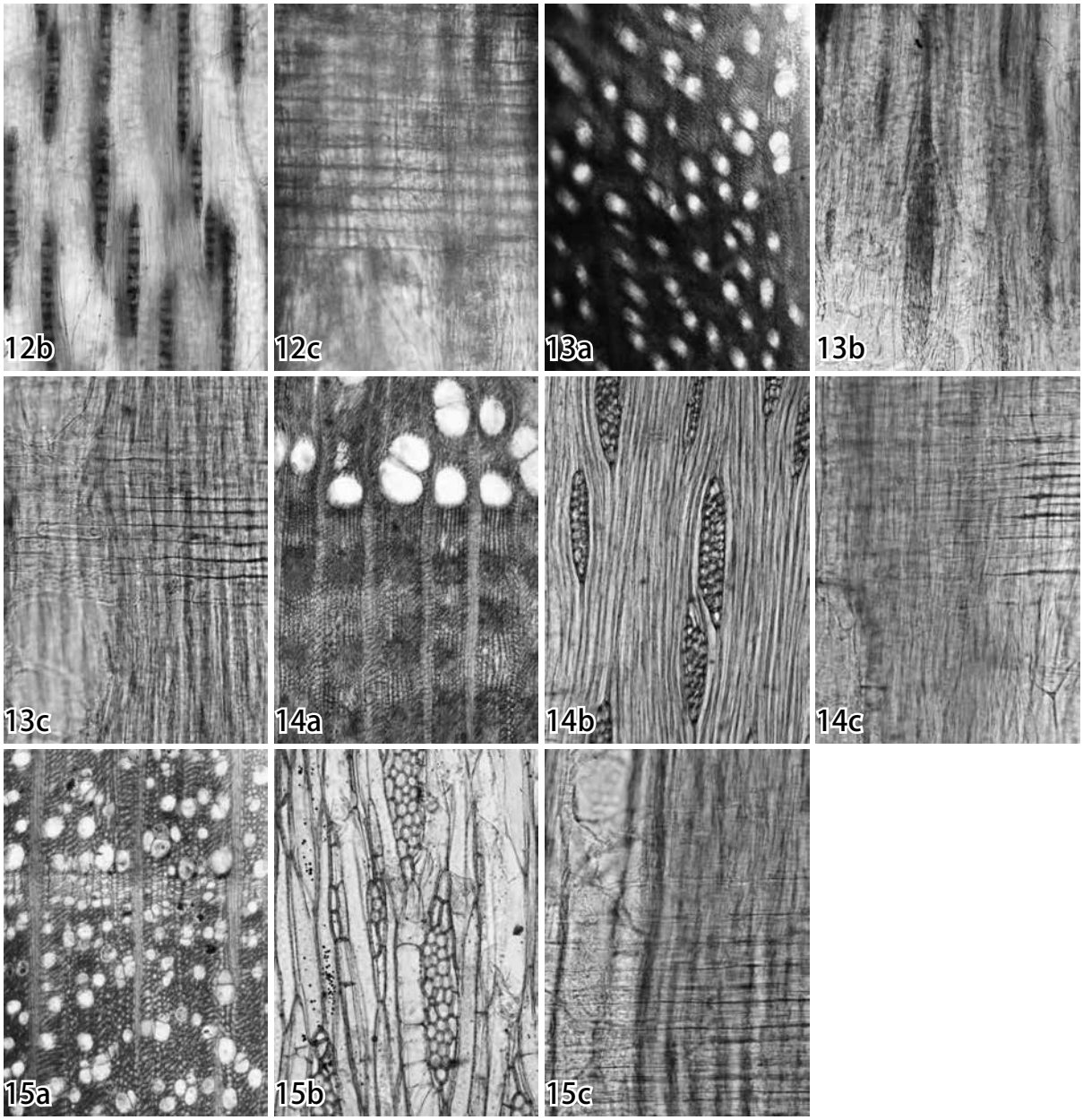
1: イヌガヤ（SKE01-34）, 2: クスノキ科（SKE01-14）, 3: タケ亜科（SKE01-26）, 4: ケンポナシ属（SKE01-13）, 5: ムクノキ（SKE01-32）, 6: エノキ属（SKE01-39）. a：横断面× 40, b: 接線断面× 100, c: 放射断面× 200（1a: × 400）.

第 89 図　栄町貝塚から出土した木材の顕微鏡写真（1）



7: クワ属（SKE01-16）, 8: クリ（SKE01-9）, 9: オニグルミ（SKE01-38）, 10: ニシキギ属（SKE01-12）, 11: アカメガシワ（SKE01-6）,12: ヤナギ属（SKE01-8）. a：横断面× 40, b: 接線断面× 100, c: 放射断面× 200.

第 90 図　栄町貝塚から出土した木材の顕微鏡写真（2）



12: ヤナギ属（SKE01-8），13: カエデ属（SKE01-7），14: クサギ（SKE01-3），15: ニワトコ属（SKE01-1）. a：横断面× 40, b: 接線断面× 100, c: 放射断面× 200.

第 91 図　栄町貝塚から出土した木材の顕微鏡写真（3）

3　栄町貝塚の貝類遺体

帝京大学文化財研究所　植月　学

1. はじめに

本稿では栄町貝塚より出土した貝類遺体の資料採取と処理方法について記載し、分析結果については主に 5.0㎜メッシュで回収された大型貝類遺体について報告する。これらは一般的に食用とみなされている種を中心とするが、下層では自然遺体も混在している。また、食用種（主にマガキ）に付随して持ち込まれた貝類とフジツボ類も含む。2.5㎜と 1.0㎜メッシュで回収された微小貝類遺体の分析結果はⅤ章 4 節を参照いただきたい。資料の年代はおおむね下部自然貝層が中期初頭以前、人為貝層下部が中期前半～後半、上部が中期後半～後期初頭頃である（年代測定の詳細は第Ⅴ章 8 節参照）。

2. 資料と分析方法

（1）資料の採取と処理

コラムサンプルのうち 9 か所を対象として分析を実施した（C 2、10、11、17、18、19、24、25、27。採取位置は第 92 図参照）。コラムサンプルは層序に従って採取されており、大別層の層序（算用数字）＋細分層（丸数字）の組み合わせで表記される。細分層が複数の土嚢袋に分かれた場合は上部より順にさらにアルファベットが付された。このほかに完形に近いハマグリが面的に検出されたハマグリ・ブロックのサンプルも分析対象とした。サンプルはウォーターセパレーション（5.0、2.5、1.0㎜メッシュ）により水洗選別をおこなった。

（2）標本の抽出、同定、計測

5.0 ～ 1.0㎜メッシュのすべてから標本を抽出した。巻貝類については殻頂部・殻口部、二枚貝類については殻頂部を残す標本を抽出した。フジツボ類はすべての標本を抽出した。巻貝類は殻頂部および殻口部により、二枚貝類は殻頂部により同定を行った。巻貝は殻頂部と殻口部のうち多い方、二枚貝は左右のうち多い方により集計した。ただし、2.5㎜と 1.0㎜で抽出した二枚貝殻頂部については左右を区別せず、幼貝のみ左右を区別した。このため、組成を算定する際には半数として個体数換算してある。

計測はマガキ（殻高）、ヤマトシジミ（殻長）、ハマグリ（殻長）について 1 ㎜単位で計測した。各サンプルとも 50 点を上限としてランダムに抽出し、計測した。ハマグリは破損標本が多かったため、50 点に満たない場合は楯面長も追加計測した。次に久保（1988）の方法に従って楯面長より殻長・殻高を推定した。C10 の完存標本の楯面長と殻長を計測し、両者の相関を求めたところ、良好な相関（R^2 ＝ 0.83）が認められた（第 106 図）。そこで、破損標本については次の回帰式により楯面長から殻長を求めた。y =2.8464x + 7.076（y ＝殻長。x ＝楯面長）。

（3）集計

種構成や計測値の集計は 3 段階の区分でおこなった。もっとも大局的な区分は①層序単位で、各コラムの同一層序を合計して示した。次の区分は②コラム単位で、①と同様に層序単位ではあるが、同一コラムで直接重なり合っているため、複数コラムを統合している①に比べてより上下関係が確実である。最後にもっとも細かい区分は③細分層単位の集計で、コラムごとで層序より細かいレベルでの比較となる。第 96 ～ 126 表の配列もこの順序になっており、その中でさらに 5.0㎜、2.5㎜、1.0

㎜のメッシュごとに掲載した。なお、採取方法で述べたように、さらに細かい単位として細分層内の袋単位（a,b,c…）も存在するが、大きな変動は認められなかったため、このレベルは合算して扱った。

3．分析結果

（1）同定結果（第 87 ～ 90 表）

第 87、88 表には同定された分類群と生息場所を生物学的分類により配列した。第 89、90 表は生息域によって区分したもので、A ～ E 群までの 5 群に分類した。以下の組成分析は後者の分類にもとづく。＊を付した種は自然遺体と考えられる微小種で、Ⅴ章 4 節において詳述する。

（2）組成変化（第 94 ～ 101 図、第 92 ～ 129 表）

第 94 図上の円グラフにはコラム 9 か所の総計を示した。マガキが約 8 割を占め、その随伴種であるウネナシトマヤと合わせれば 9 割近くになる。これにヤマトシジミ、ハマグリが次ぐ。ウネナシトマヤを除く 3 種が本遺跡で食用に採集された主な貝類となる。

① 層序単位（第 94・95 図、第 92・96・97 表）

第 94 図、第 92 表はA ～ E 群による集計、第 95 図、第 96、97 表は種による集計である。まず群別にみると、マガキ関連の A 群が基調となるが、その他の群が顕著な層序がいくつかある。下部より 44 ～ 42 層ではB群、43 ～ 35 層ではC群、34 ～ 31 層ではD群が目立つ。25′層以上はA群が優占しD群がやや目立つ層が主で、これに一部D群が増加する層（17、16、12、9、8、6 層など）が介在する。B群がやや多い層もある（21、17、15、9 層など）。第 95 図により構成種を確認すると、A群＝マガキ＋ウネナシトマヤ、B群＝ハマグリ、D群＝ヤマトシジミがほとんどの単調な組成である。ただし、B群の最下層（44 ～ 42 層）の一群のみはアサリ、カガミガイ、ナミマガシワなど砂泥質干潟の多様な種を含む。同様に最下層（44 ～ 35 層）のC群もオオノガイ、サビシラトリ、オキシジミなどの泥質干潟の多様な種を含む。以上は最下層が上層とは性質の異なる自然遺体主体の層であることによる。

② コラム単位（第 96・97 図、第 93・100 ～ 105 表）

第 96 図、第 93 表はA ～ E 群による集計、第 97 図、第 100 ～ 105 表は種による集計である。層序単位の集計である点は①と同様であり、結果も基本的に同様であったことからコラム間の層序の対応には大きな齟齬はない。すなわち、下層が存在するコラムではB群、C群の多様な種が認められる。上層が存在するコラムではマガキ（A群）を主体に、一部ヤマトシジミ（D群）が主体となる層や、ハマグリ（B群）が目立つ層が介在する。

③ 細分層単位

出土量は第 114 ～ 119 表に示した。紙数の都合上、グラフは省略した。

（3）計測結果（第 102 ～ 108 図、第 130 ～ 138 表）

いずれもヒストグラムは層序単位の合算結果のみ示した。表は紙数の都合により層序単位と細分層単位のみ掲載し、コラム単位は省略した。

・マガキ殻高（第 102・103 表、第 130 ～ 132 表）

全体としては 10㎜未満～ 140㎜まで分布し、45 ～ 50㎜にピークを持つ。層序別にみると、全体と同様に 40 ～ 50㎜の大型を中心とする層（13、14、18、21、22、27 層など）、より小型の 30㎜前後に偏る層（16、32、36 層など）、大･小が混在して台形状を呈する層（11、15、25、34 層など）

に大別できる。近隣の中里貝塚の下層で自然遺体とみなされたマガキのモードは 20 ～ 30㎜、平均は 30 ～ 35㎜であった（樋泉ほか 2000）。栄町貝塚の小型の一群もおおむねこれに対応し、同様に自然遺体とみなされる。

・ヤマトシジミ殻長（第 104・105 図、第 130・133 表）

全体の合計では 10㎜前後と 24㎜前後に小さなピークを持つ双峰形の分布を呈する。層序別にみると、マガキと同様に大型主体（8、14、18、21、22、32 層）、小型主体（16、36、40 層）、大小混合（17、18′、23 ～ 31 層）に大別できる。大型主体は上位の層、小型主体は最下層、混合はその中間層にみられる。御殿前遺跡、中里峡上遺跡、西ヶ原貝塚、七社神社裏遺跡など近隣台地上集落（中期中葉～後期後葉）で出土した廃棄遺体のヤマトシジミの殻長平均は 21.8 ～ 29.2㎜であることから、栄町貝塚の小型個体は自然遺体と判断できる。

・ハマグリ殻長（第 106 ～ 108 図、第 134 ～ 138 表）

全体としては 10㎜未満から 110㎜前後までの広い分布を持ち、ピークは 40㎜台後半にある（第 108 図上部）。層序単位でみると、43 層のみ小型に偏り、平均値も 40㎜に満たない点で独特である。その他の層は平均値で 49.1 ～ 58.5㎜まで若干のばらつきはあるものの、57㎜を超える大型の層は 25、18、14 層と分散しており、単純に大型化、あるいは小型化するという傾向は認められない。

層序単位とは別に完形に近いハマグリが面的に検出された「ハマグリブロック」3 グリッド（いずれも 18 層）10 サンプルの結果も示した（第 108 図）。平均値ではほぼ全体と同じだが、34㎜以下の標本がほとんど見られない点が異なる。自然遺体が含まれる全体に対して、廃棄遺体の特徴を示していると考えられる。

4. 考察

（1）自然遺体と廃棄遺体の区別

本遺跡に近く、立地や時期、遺構や人工遺物、貝類以外の動物遺体の乏しさなどの特徴から類似の性格をもち、一連の遺跡とも考えられる中里貝塚では、自然貝層の上部に人為的な貝層が形成されたことが明らかにされている（樋泉ほか 2000）。ここでもその成果にならい、まず自然遺体と廃棄遺体の区別をしておきたい。

第 91 表には大型貝類組成、主要 3 種のサイズにもとづく層序区分を示した。参考として微小貝類の組成も示した。自然遺体中心と推定される層群を「1 帯」、廃棄遺体主体と推定される層群を「2 帯」に大別し、さらに細分できると考えられた層群には「a,b…」などの細分記号を付した。

・1 帯

自然貝層と推定される。層相としてはシルト主体で混貝率が低い点を特徴とする。

・1a 帯

44 ～ 42 層が相当する。砂泥質潮間帯に生息する多様な種が本帯にのみ特徴的に出現する。同じ B 群でも廃棄遺体の 2 帯ではほぼハマグリのみしか出現しないのとは対照的である。自然遺体ではあるが、中里貝塚で報告されたような合弁、直立状態のオオノガイのような現地性の遺体は確認されておらず、死後の“掃き寄せ”のような状況が想定される（Ⅴ章 4 節参照）。

・1b 帯

41 ～ 25 層が相当する。主体は A 群だが、C 群が特徴的にみられる点を指標とした。厳密には C

群は 1a 帯でも目立つが、B 群の減少により区別した。泥質干潟の雑多な種を含む。D 群のヤマトシジミもやや多く、1c 帯に向かって増加する。

・1c 帯

C 群は減少し、D 群（ヤマトシジミ）が A 群に次いで主体となる。ヤマトシジミについては廃棄と自然の区別が問題となるが、殻長が指標になる。先述のように、本遺跡のヤマトシジミは 12㎜前後の小型と、24㎜前後の大型に 2 分できる。前者はサイズからみて食用とは考えにくく、16 層以下にのみ分布することからも、自然遺体の混入の可能性が高い。特に 1b ～ 1c 帯では小形主体の層が多いため、自然遺体中心とみなした。この点は大型マガキの層が 34 層を除いて存在しない点からも裏付けられる。ただし、32 層や 35 層のように大型ヤマトシジミ主体の層も存在することから、この段階で人為的な廃棄が始まっていた可能性はある。

・2 帯

組成がより単調となり、主要 3 種が大型主体となることから人為的な廃棄遺体主体と考えられる層群である。混貝率も高くなり、大規模な貝層形成が始まったと推定される。まだ自然遺体の混入も続いているとみなされる 2a 帯と、ほぼ廃棄遺体のみからなるとみなされる 2b 帯に分けた。

・2a 帯

27 ～ 18 層が相当する。A 群（マガキ＋ウネナシトマヤ）が主体で、ヤマトシジミもやや目立つ。マガキ、ヤマトシジミともに大型個体が多くなり、ハマグリ（大型）がやや目立つ層も出現するため、廃棄遺体が中心と判断できる。ただし、マガキ、ヤマトシジミともに小型個体も一定量混在することから、自然遺体の混入も継続していたと推測される。

境界は完全には一致しないが、微小貝類組成におけるアシ原～泥質干潟由来の自然遺体（カワザンショウ類、シラギク）から、マガキ付随の廃棄遺体（カキウラクチキレモドキ類、ウネナシトマヤ）への移行と近い変動を示すことからも、18 層前後を境に自然遺体の供給がなくなるような周辺環境の変化、ないし廃棄の進行＝標高のかさ上げによる環境変化が起きたと考えておきたい。

なお、16、17 層は調査区北西端（Sec.4、C 27 付近）、つまり沖側にのみ見られた混貝率の低い盛土状の堆積で、周辺層序との上下関係の把握が難しかった。貝類分析の結果では 16 層はマガキ、ヤマトシジミともに小型、17 層は大小シジミ混在で、2b 帯より古い層であっても矛盾はないが、上下の層が流されて混在している可能性も否定できない。

・2b 帯

マガキ、ヤマトシジミともに小型単独、大小混合の層はなくなり、大型のみの層が主体となることから上記のように自然遺体の混入が途絶え、ほぼ廃棄遺体により形成されたと推定される。

微小貝類は下半ではマガキに付随して持ち込まれたと考えられる廃棄遺体（カキウラクチキレモドキ類、ウネナシトマヤ）中心であった。上半では微小貝類がほとんど検出されなかった。

（2）貝類採集活動の特徴

栄町貝塚における人間活動に関しては貝類相からも出土量的にも 2 帯が活発な時期となる。ただし、1b 帯、すなわち本地点形成初期に一部大型ヤマトシジミが廃棄された可能性がある。同一層序で出土したマガキも廃棄遺体の可能性がある。出土量（貝の包含率）からみて規模としてはさほど活発でなかったとみられる。

量的に見て活動が本格化するのは 2a 帯の時期である。マガキが主体で少量のヤマトシジミが含まれる。ヤマトシジミは自然遺体の可能性がある小型個体も含まれるが、大型の廃棄遺体もコンスタントに存在する。次の 2b 帯の時期もマガキ主体だが、ヤマトシジミを多産する層が時折介在する点が異なる。量的にはさらに少ないが、ハマグリが目立つ層がいくつかある。以上のように、大規模な廃棄行為、すなわち採集と加工活動は前半のマガキ主体から後半のマガキ＋ヤマトシジミ、ハマグリへという変遷をたどったと考えられる。

（３）周辺遺跡との比較

まず立地、時期、性格の共通性から本遺跡と一連である可能性の高い中里貝塚との比較をおこなう。環境的な対比はⅤ章 4 節においてなされるので、ここでは貝類採集活動に絞る。中里貝塚Ａ地点の廃棄遺体群では、マガキ主体層（V-1 層）からマガキ・ハマグリの互層（V-2 層）へという変化が確認された(樋泉ほか 2000)。V-1 層はおおむね 4600 ～ 4100 年前､V-2 層は 4100 年前頃とされる。最上部ではマガキ主体（V-3 層）に戻り、その年代は約 4000 ～ 3900 年前である。栄町貝塚の組成変化はマガキ主体の 2a 帯が V-1 層に、ヤマトシジミとハマグリが加わる 2b 帯は V-2 層に対応させることができるかもしれない。年代的にも大きな齟齬はない。ただし、栄町貝塚のハマグリの割合は中里 V-2 層に比べればかなり少ない。栄町貝塚 2b 帯ではむしろヤマトシジミが目立ったが、中里貝塚では廃棄遺体とみられるヤマトシジミの多産はこれまでのところ G 地点の上部においてのみ確認されている（樋泉・植月 2002)。付近からは約 3900 年前の年代が得られており、栄町貝塚の今回の地点に後続する年代である。ヤマトシジミ廃棄の活発化は中里貝塚・栄町貝塚における貝層形成末期の様相を表わしている可能性がある。なお、G 地点は中里貝塚のこれまでの調査地点では最も西に位置し、栄町貝塚にも近いので、あるいは環境的な共通性も想定できるかもしれない。

中里貝塚の貝類相が同時期の台地上集落との間で明らかに異なることはすでに指摘されており、ハマと集落における活動の差として理解されてきた（阿部 1998、樋泉ほか 2000、植月 2012 など)。具体的には台地上ではヤマトシジミが主体となることや、ハマグリのサイズがより小型を含むこと、中里で主体となるマガキがほとんど含まれない点などである。こうした台地上との差異は今回の栄町貝塚の結果でも追認された。栄町貝塚では上層のヤマトシジミ（廃棄遺体）の多さが台地上と共通するようにも見えるが、台地上では七社神社裏遺跡（勝坂２～３。植月 2021)、御殿前遺跡（勝坂３。植月 2012)、西ヶ原貝塚 XI（加曽利Ｅ３。植月 2004)、中里峡上遺跡（加曽利Ｅ４。植月 2007）などで 50 ～ 90％の高率を占めることから、2b 帯の廃棄遺体に絞れば６％程度を占めるに過ぎない栄町貝塚とはまったく性質が異なる。七社神社裏遺跡と御殿前遺跡の例は中期中葉に属することから、栄町貝塚でヤマトシジミの採集が活発化し始めた時期以前にも台地上では消費活動が行われていたことは明らかである。

栄町貝塚における貝類利用は中里貝塚と同様に台地上集落遺跡とは異なっていたことがあきらかになり、さらに類似の変遷を辿ったことも窺われた。今後両者のより詳細な年代とミクロな環境の対比を通じて、その形成過程と性格を一体的に理解していくことが必要である。

謝辞：不明種と微小貝類の同定、および生息域に関して黒住耐二氏（千葉県立中央博物館）のご指導を仰いだ。東京都埋蔵文化財センターの鈴木啓介氏、中島一成氏には分析に際して多くの便宜を図っていただいた。末筆ながら記して感謝申し上げる次第である。

引用文献

阿部芳郎　1998「西ヶ原貝塚の形成過程と遺跡群の構成」『都内重要遺跡等調査報告書』 都内重要遺跡等調査団

植月 学　2002 「動物遺体」『七社神社裏貝塚・西ヶ原貝塚Ⅲ・中里貝塚Ⅱ』 北区教育委員会

植月 学　2004 「西ヶ原貝塚第 XI 地点出土の動物遺体」『西ヶ原貝塚Ⅳ』 北区教育委員会

植月 学　2007 「動物遺体」『東京都北区中里峡上遺跡』 大成エンジニアリング株式会社埋蔵文化財調査部

植月 学　2012 「御殿前遺跡出土の動物遺体」『東京都北区御殿前遺跡』 独立行政法人国立印刷局・大成エンジニアリング株式会社

植月 学　2016 「西ヶ原貝塚 XVII 地点出土の動物遺体」『西ヶ原貝塚』 株式会社メデューム・大成エンジニアリング株式会社

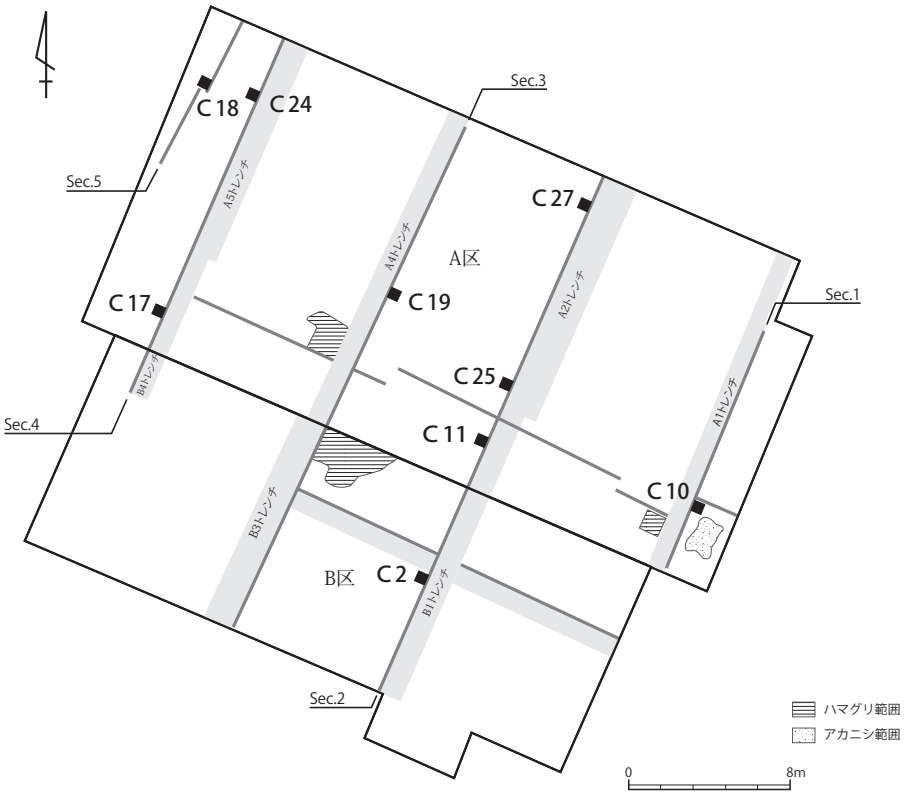
植月 学　2021「七社神社裏遺跡第 5 地点から出土した動物遺体」『東京都北区七社神社裏遺跡』 野村不動産株式会社ほか

植月 学・金子浩昌　2002 「動物遺体」『七社神社裏貝塚・西ヶ原貝塚 III・中里貝塚 II』北区教育委員会

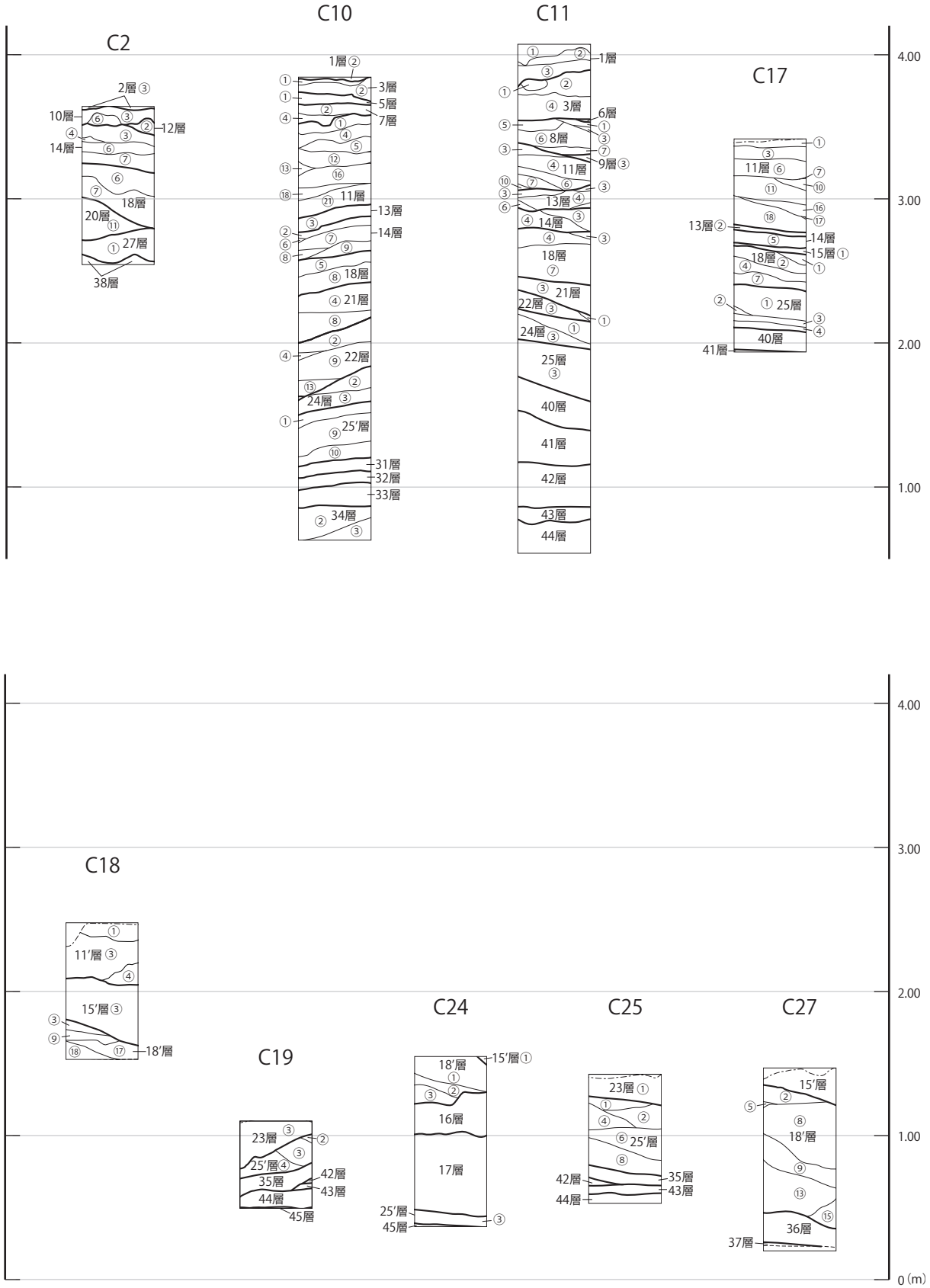
久保和士　1988 「ハマグリの殻長推定に関する一試論」『古代文化』40(5)

樋泉岳二・植月 学　2002「中里貝塚 B・C・G 地点の貝類遺体群」『七社神社裏貝塚・西ヶ原貝塚Ⅰ III・中里貝塚 II』 pp.374-390、北区教育委員会

樋泉岳二・黒住耐二・山谷文人・切通雅子 2000「貝類遺体」『中里貝塚　北区教育委員会



第 92 図　栄町貝塚コラムサンプル採取位置平面図



第 93 図　栄町貝塚コラムサンプル採取位置断面図

第 87 表　栄町貝塚出土貝類遺体の分類リストと生息場所（1）

軟体動物門　Mollusca
腹足綱　Gastropoda
ユキノカサ科　Lottiidae
シボリガイ　*Patelloida pygmaea*　内湾/潮間帯中部/マガキ上
ツボミ　*Patelloida conulus*　内湾/潮間帯中部/ウミニナ類上
ニシキウズ科　Trochidae
イボキサゴ　*Umbonium moniliferum*　内湾/潮間帯下部/砂泥底
アマオブネ科　Neritidae
ヒロクチカノコ　*Neripteron pieolus*　内湾奥部/潮間帯中部/アシ原
ゴマガイ科　Diplommatinidae
ヒダリマキゴマガイ　*Diplommatina pusilla*　陸域/林縁
ウキツボ科　Litiopidae
シマハマツボ　*Alaba picta*　内湾/潮間帯下部～潮下帯/砂泥底・海草上
ウミニナ科　Batillariidae
ウミニナ　*Batillaria multiformis*　内湾/潮間帯中部/砂泥底
ホソウミニナ　*Batillaria attramentaria*　内湾/潮間帯中部/砂泥底
イボウミニナ　*Batillaria zonalis*　内湾奥部/潮間帯中部/泥底
ヘナタリ科　Potamididae
フトヘナタリ　*Cerithidea moerchii*　内湾奥部/潮間帯上部/アシ原
クロヘナタリ　*Cerithideopsis largillierti*　内湾奥部/潮間帯中部/アシ原泥底
ヘナタリ　*Pirenella nipponica*　内湾奥部/潮間帯中部/泥底
カワアイ　*Pirenella pupiformis*　内湾奥部/潮間帯中部/泥底
タマキビ科　Littorinidae
タマキビ　*Littorina brevicula*　内湾/潮間帯上部/岩礁・マガキ間
ワカウラツボ科　Iravadiidae
カワグチツボ　*Iravadia elegantula*　内湾奥部/潮間帯下部～潮下帯/泥底
ワカウラツボ　*Iravadia sakaguchii*　内湾奥部/潮間帯下部/礫下
カワザンショウガイ科　Assimineidae
カワザンショウガイ　*Assiminea japonica*　内湾/潮間帯中部/アシ原
クリイロカワザンショウ　*Angustassiminea castanea*　内湾/潮間帯上部/アシ原
ヨシダカワザンショウ？　*Angustassiminea yoshidayukioi*？　内湾奥部/潮上帯/礫下
クビキレガイ科　Truncatellidae
キュウシュウクビキレ　*Truncatella pfeifferi*　内湾～外海/潮上帯/礫下
イソマイマイ科　Tornidae
シラギク　*Pseudoliotia pulchella*　内湾奥部/潮間帯下部～潮下帯/泥底礫下
ミズゴマツボ科　Stenothyridae
ミズゴマツボ　*Stenothyra japonica*　内湾奥部/汽水域～潮上帯/泥底
ウミゴマツボ　*Stenothyra edogawensis*　内湾奥部/潮間帯下部～潮下帯/泥底
タマガイ科　Naticidae
ツメタガイ　*Glossaulax didyma*　内湾/潮間帯下部～潮下帯/砂泥底
ケシカニモリ科　Cerithiopsidae
ケシカニモリ類　*Cerithiopsis*? sp.　内湾奥部/泥底/潮下帯
アッキガイ科　Muricidae
レイシ　*Thais bronni*　内湾～外海/潮間帯下部～潮下帯/岩礁
イボニシ　*Thais clavigera*　内湾～外海/潮間帯中・下部/岩礁
アカニシ　*Rapana venosa*　内湾/潮間帯下部～潮下帯/砂泥底
フトコロガイ科　Columbellidae
マルテンスマツムシ　*Mitrella martensi*　内湾/潮間帯下部～潮下帯/砂泥底・海草上
オリイレヨフバイ科　Nassariidae
アラムシロ　*Niotha festiva*　内湾/潮間帯中部～潮下帯/砂泥底
コロモガイ科　Cancellariidae
コロモガイ　*Cancellaria spengleriana*　内湾/潮下帯/砂泥底
トウガタガイ科　Pyramidellidae
イトカケギリ類　*Turbonilla* sp.　内湾奥部/潮下帯/砂泥底
カゴメイトカケギリ類　*Pyrgulina casta*?　内湾奥部/潮間帯下部～潮下帯/泥底
ヨコイトカケギリ類　*Cingulina* sp.　内湾奥部/潮間帯下帯/泥底
クチキレガイモドキ類　*Brachystomia* sp. cf. *planata*

第 88 表　栄町貝塚出土貝類遺体の分類リストと生息場所（2）

カキウラクチキレモドキ類　*Brachystomia* sp. cf. *bipyramidata*　内湾/潮間帯中部/マガキ間
ホソマキギヌの一種　*Monotygma* sp.　内湾奥部/潮下帯/砂泥底
　オカミミガイ科　Ellobiidae
オカミミガイ　*Ellobium chinense*　内湾奥部/潮上帯/アシ原
キヌカツギハマシイノミ　*Melampus sincaporensis*　内湾奥部/潮上帯/アシ原
ナギサノシタタリ　*Microtralia alba*　内湾/潮間帯上部/礫下
　ヒラマキガイ科　Planorbidae
ヒラマキモドキ　*Polypylis hemisphaerula*　淡水域/止水
　ナタネガイ科　Punctidae
ナタネガイ　*Punctum amblygonum*　陸域/林縁
　ベッコウマイマイ科　Helicarionidae
ハリマキビ　*Parakaliella harimensis*　陸域/開放地
ヒメベッコウ類似属　*Discoconulus*? sp.　陸域/開放地
　エゾエンザ科　Pristilomatidae
ヒメコハクガイ類似種　*Hawaiia* sp. cf. *minuscula*　陸域/開放地
　ナンバンマイマイ科　Camaenidae
ニッポンマイマイ　*Satsuma japonica*　陸域/林縁
エンスイマイマイ　*Aegista izuensis*　陸域/林縁

二枚貝綱　Bivalvia
　フネガイ科　Arcidae
サルボオ　*Anadaraa kagoshimensis*　内湾/潮間帯中・下部部/砂泥底
ハイガイ　*Tegillarca granosa*　内湾奥部/潮間帯下部/泥底
　イタボガキ科　Ostreidae
イタボガキ　*Ostrea denselamellos*　内湾奥部/潮下帯/泥底
マガキ　*Magallana gigas*　内湾/潮間帯中部/泥底・礫底
　ナミマガシワ科　Anomiidae
ナミマガシワ　*Anomia cytaeum*　内湾～外海/潮間帯～潮下帯/礫等
　エゾオオノガイ科　Myidae
オオノガイ　*Mya japonica oonogai*　内湾奥部/潮間帯下部～潮下帯/泥底
　コダキガイ科　Corbiculidae
ヌマコダキガイ類　*Pomamocorbula* sp. cf. *amurensis*　河口域/潮間帯下部/汽水域泥底
ヒメヌマコダキガイ　*Pomamocorbula takatuayamaensis*　河口域/潮間帯下部/汽水域泥底
　マテガイ科　Solenidae
マテガイ　*Solen strictus*　内湾/潮間帯中・下部/砂泥底
　ニッコウガイ科　Tellinidae
イチョウシラトリ　*Serratina diaphana*　内湾奥部/潮間帯下部/泥底
ヒメシラトリ　*Macoma incongrua*　内湾部/潮間帯中・下部/砂泥底
サビシラトリ　*Limecola contabulata*　内湾奥部/潮間帯下部/泥底
　バカガイ科　Mactridae
シオフキ　*Mactra quadrangularis*　内湾/潮間帯中・下部/砂泥底
　フナガタガイ科　Trapeziidae
ウネナシトマヤ　*Neotrapezium liratum*　内湾奥部/潮間帯中部/マガキ間
　ハナグモリ科　Glauconomidae
ハナグモリ　*Glauconome angulate*　内湾奥部/潮間帯下部/泥底
　シジミ科　Cyreneidae
ヤマトシジミ　*Corbicula japonica*　河口域/潮間帯下部/汽水域泥底
　マルスダレガイ科　Veneridae
カガミガイ　*Dosinia japonica*　内湾/潮間帯中・下部/砂泥底
アサリ　*Ruditapes philippinarum*　内湾/潮間帯中・下部/砂泥底
ハマグリ　*Meretrix lusoria*　内湾/潮間帯下部/砂泥底
オキシジミ　*Cyclina sinensis*　内湾奥部/潮間帯下部/泥底

節足動物門　Arthropoda
　フジツボ科？　Balanidae?
フジツボ/フジツボ類　Balanidae?　内湾奥部/潮間帯中部/マガキ上

第 89 表　栄町貝塚出土貝類遺体の生息域による区分（1）

＊微小種＝自然遺体（食用種の幼貝を含む可能性あり）

A. 食用マガキ関連
マガキ　*Magallana gigas*　内湾 / 潮間帯中部 / 泥底・礫底
＊シボリガイ　*Patelloida pygmaea*　内湾 / 潮間帯中部 / マガキ上
＊タマキビ　*Littorina brevicula*　内湾 / 潮間帯上部 / 岩礁・マガキ間
＊カキウラクチキレモドキ類　*Brachystomia* sp. cf. *bipyramidata*　内湾 / 潮間帯中部 / マガキ間
＊ウネナシトマヤ　*Neotrapezium liratum*　内湾奥部 / 潮間帯中部 / マガキ間
＊フジツボ / フジツボ類　Balanidae?　内湾奥部 / 潮間帯中部 / マガキ上
B. 食用ハマグリ関連／砂泥質潮間帯
ハマグリ　*Meretrix lusoria*　内湾 / 潮間帯下部 / 砂泥底
イボキサゴ　*Umbonium moniliferum*　内湾 / 潮間帯下部 / 砂泥底
ウミニナ　*Batillaria multiformis*　内湾 / 潮間帯中部 / 砂泥底
ホソウミニナ　*Batillaria attramentaria*　内湾 / 潮間帯中部 / 砂泥底
ツメタガイ　*Glossaulax didyma*　内湾 / 潮間帯下部～潮下帯 / 砂泥底
レイシ　*Thais bronni*　内湾～外海 / 潮間帯下部～潮下帯 / 岩礁
イボニシ　*Thais clavigera*　内湾～外海 / 潮間帯中・下部 / 岩礁
アカニシ　*Rapana venosa*　内湾 / 潮間帯下部～潮下帯 / 砂泥底
コロモガイ　*Cancellaria spengleriana*　内湾 / 潮下帯 / 砂泥底
サルボオ　*Anadaraa kagoshimensis*　内湾 / 潮間帯中・下部部 / 砂泥底
ナミマガシワ　*Anomia cytaeum*　内湾～外海 / 潮間帯～潮下帯 / 礫等
マテガイ　*Solen strictus*　内湾／潮間帯中・下部 / 砂泥底
ヒメシラトリ　*Macoma incongrua*　内湾部 / 潮間帯中・下部 / 砂泥底
シオフキ　*Mactra quadrangularis*　内湾 / 潮間帯中・下部 / 砂泥底
カガミガイ　*Dosinia japonica*　内湾 / 潮間帯中・下部 / 砂泥底
アサリ　*Ruditapes philippinarum*　内湾 / 潮間帯中・下部 / 砂泥底
イタボガキ　*Ostrea denselamellos*　内湾奥部 / 潮下帯 / 泥底
＊ツボミ　*Patelloida conulus*　内湾 / 潮間帯中部 / ウミニナ類上
＊シマハマツボ　*Alaba picta*　内湾 / 潮間帯下部～潮下帯 / 砂泥底・海草上
＊ケシカニモリ類　*Cerithiopsis*？sp.　内湾奥部 / 泥底 / 潮下帯
＊マルテンスマツムシ　*Mitrella martensi*　内湾 / 潮間帯下部～潮下帯 / 砂泥底・海草上
＊アラムシロ　*Niotha festiva*　内湾 / 潮間帯中部～潮下帯 / 砂泥底
＊ヨコイトカケギリ類　*Cingulina* sp.　内湾奥部 / 潮間帯下帯 / 泥底
＊クチキレガイモドキ類　*Brachystomia* sp. cf. *planata*

第 90 表　栄町貝塚出土貝類遺体の生息域による区分（2）

＊微小種＝自然遺体（食用種の幼貝を含む可能性あり）

C. 食用／泥質干潟潮間帯
イボウミニナ　*Batillaria zonalis*　内湾奥部 / 潮間帯中部 / 泥底
フトヘナタリ　*Cerithidea moerchii*　内湾奥部 / 潮間帯上部 / アシ原
クロヘナタリ　*Cerithideopsis largillierti*　内湾奥部 / 潮間帯中部 / アシ原泥底
ヘナタリ　*Pirenella nipponica*　内湾奥部 / 潮間帯中部 / 泥底
カワアイ　*Pirenella pupiformis*　内湾奥部 / 潮間帯中部 / 泥底
ハイガイ　*Tegillarca granosa*　内湾奥部 / 潮間帯下部 / 泥底
オオノガイ　*Mya japonica oonogai*　内湾奥部 / 潮間帯下部～潮下帯 / 泥底
イチョウシラトリ　*Serratina diaphana*　内湾奥部 / 潮間帯下部 / 泥底
サビシラトリ　*Limecola contabulata*　内湾奥部 / 潮間帯下部 / 泥底
ハナグモリ　*Glauconome angulate*　内湾奥部 / 潮間帯下部 / 泥底
オキシジミ　*Cyclina sinensis*　内湾奥部 / 潮間帯下部 / 泥底
＊ヒロクチカノコ　*Neripteron pieolus*　内湾奥部 / 潮間帯中部 / アシ原
＊カワグチツボ　*Iravadia elegantula*　内湾奥部 / 潮間帯下部～潮下帯 / 泥底
＊ワカウラツボ　*Iravadia sakaguchii*　内湾奥部 / 潮間帯下部 / 礫下
＊カワザンショウガイ *Assiminea japonica*　内湾 / 潮間帯中部 / アシ原
＊クリイロカワザンショウ *Angustassiminea castanea*　内湾 / 潮間帯上部 / アシ原
＊ヨシダカワザンショウ？ *Angustassiminea yoshidayukioi*？　内湾奥部 / 潮上帯 / 礫下
＊キュウシュウクビキレ　*Truncatella pfeifferi*　内湾～外海 / 潮上帯 / 礫下
＊シラギク　*Pseudoliotia pulchella*　内湾奥部 / 潮間帯下部～潮下帯 / 泥底礫下
＊ミズゴマツボ　*Stenothyra japonica*　内湾奥部 / 汽水域～潮上帯 / 泥底
＊ウミゴマツボ　*Stenothyra edogawensis*　内湾奥部 / 潮間帯下部～潮下帯 / 泥底
＊イトカケギリ類　*Turbonilla* sp.　内湾奥部 / 潮下帯 / 砂泥底
＊カゴメイトカケギリ類　*Pyrgulina casta*？　内湾奥部 / 潮間帯下部～潮下帯 / 泥底
＊ホソマキギヌの一種　Monotygma sp.　内湾奥部 / 潮下帯 / 砂泥底
＊オカミミガイ　*Ellobium chinense*　内湾奥部 / 潮上帯 / アシ原
＊キヌカツギハマシイノミ　*Melampus sincaporensis*　内湾奥部 / 潮上帯 / アシ原
＊ナギサノシタタリ　*Microtralia alba*　内湾 / 潮間帯上部 / 礫下
D. シジミ漁関係
ヤマトシジミ　*Corbicula japonica*　河口域 / 潮間帯下部 / 汽水域泥底
＊ヌマコダキガイ類　*Pomamocorbula* sp. cf. *amurensis*　河口域 / 潮間帯下部 / 汽水域泥底
＊ヒメヌマコダキガイ　*Pomamocorbula takatuayamaensis*　河口域 / 潮間帯下部 / 汽水域泥底
E. 淡水産・陸産
＊ヒラマキモドキ　*Polypylis hemisphaerula*　淡水域 / 止水
＊ハリマキビ　*Parakaliella harimensis*　陸域 / 開放地
＊ヒメベッコウ類似属　*Discoconulus*？sp.　陸域 / 開放地
＊ヒメコハクガイ類似種　*Hawaiia* sp. cf. *minuscula*　陸域 / 開放地
＊ヒダリマキゴマガイ　*Diplommatina pusilla*　陸域 / 林縁
＊ナタネガイ　*Punctum amblygonum*　陸域 / 林縁
＊ニッポンマイマイ　*Satsuma japonica*　陸域 / 林縁
＊エンスイマイマイ　*Aegista izuensis*　陸域 / 林縁

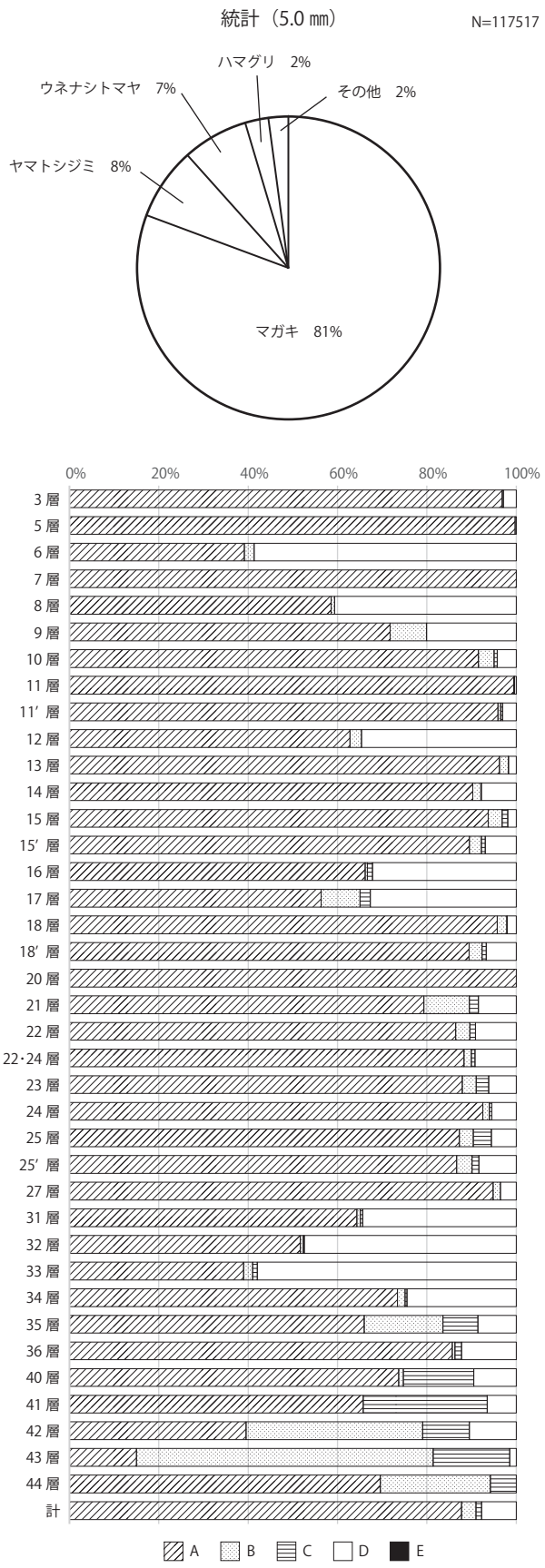
第 91 表　層序ごとの属性と区分

貝類採集活動	区分帯	層序	大型貝類								微小貝類		C14		
			主体群	その他	マガキ S (25-30)	マガキ L (50-55)	シジミ S (10-12)	シジミ L (24)	ハマグリ S <30	ハマグリ L 50<	主体群	種の消長	(yrBP)		No.
大規模マガキ中心時にシジミ、ハマグリ	2b	3	A												
		5	A		●										
		6	D												
		7	A										**4035**		15
		8	D					●					**4065**		17
		9	D	ハマグリ											
		10	A										**4140**		1
		11	A			●							4355	4070 **4060**	2/4/18
		11′	A		●			●			A				
		12	D										4140	4145	3/5
		13	A			●							4435	4390	6/7
		14				●		●		●	A	カキウラ、ウネナシ	4455		8
		15		ハマグリ	●	●									
		15′			●	●		●		●					
	?	16	D		●		●								
		17		ハマグリ			●	●					4095		21
大規模マガキ中心シジミ少量	2a	18	AD			●		●		●	AD				
		18′				●	●	●		●			4455		9
		20											4370		12
		21				●		●			A	ヨシダ？			
		22		ハマグリ		●		●							
		22・24				●	●	●							
		23			●		●	●			C	シラギク			
		24				●		●							
		25			●	●	●	●		●			4425		16
		25′			●	●				●					
小規模マガキとシジミ	1c	27	A								C				
		28	（サンプルなし）										4470		10
		31	D		●		●				AD	シジミ幼 カワザンショウ			
		32			●			●							
		33					●								
		34				●	●								
× （自然）	1b	35	BCD					●			A				
		36	D		●		●								
		40	CD				●				C		**4595**		13
		41													
	1a	42													
		43	BC	B 群多様					●						
		44											**7185**		20

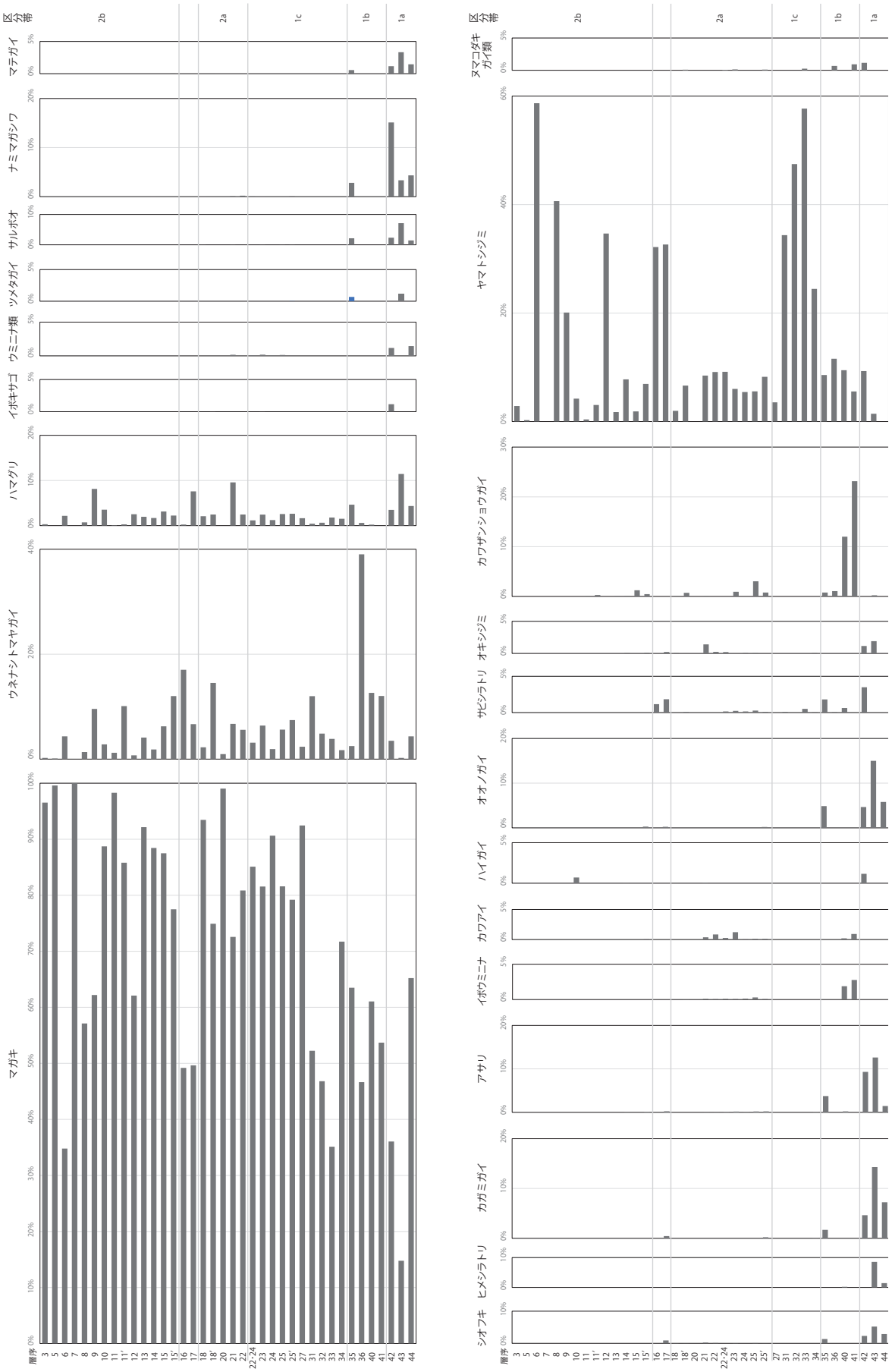
貝の S ＝小型、L= 大型。数字はモード。C14 の太字は同一層順の 2 試料のうち新しい方の年代

第 92 表　貝類群別集計（5.0㎜）層序単位

層序	A	B	C	D	E	計
3 層	1622	5	0	48	0	1675
5 層	744	0	0	2	0	746
6 層	18	1	0	27	0	46
7 層	528	0	0	0	0	528
8 層	654	9	0	454	0	1117
9 層	150	17	0	42	0	209
10 層	130	5	1	6	0	142
11 層	8256	9	1	32	0	8298
11′ 層	4042	25	18	129	0	4214
12 層	174	7	0	96	0	277
13 層	2206	45	1	40	0	2292
14 層	5339	105	9	460	0	5913
15 層	300	10	4	6	0	320
15′ 層	2295	69	22	178	0	2564
16 層	284	2	5	138	0	429
17 層	245	38	10	142	0	435
18 層	9506	214	11	196	0	9927
18′ 層	18327	602	184	1378	0	20491
20 層	208	0	0	0	0	208
21 層	6333	816	159	677	0	7985
22 層	4483	155	58	433	0	5129
22・24 層	1665	31	16	174	0	1886
23 層	5479	194	174	383	0	6230
24 層	3985	63	24	234	0	4306
25 層	4684	168	218	299	0	5369
25′ 層	15114	599	267	1457	0	17437
27 層	1043	18	0	39	0	1100
31 層	601	7	5	321	0	934
32 層	723	9	3	664	0	1399
33 層	152	8	4	226	0	390
34 層	1457	33	9	485	0	1984
35 層	584	156	69	76	0	885
36 層	1280	9	22	183	0	1494
40 層	350	5	75	45	0	475
41 層	71	0	30	7	0	108
42 層	34	34	9	9	0	86
43 層	63	279	72	6	0	420
44 層	48	17	4	0	0	69
計	103177	3764	1484	9092	0	117517



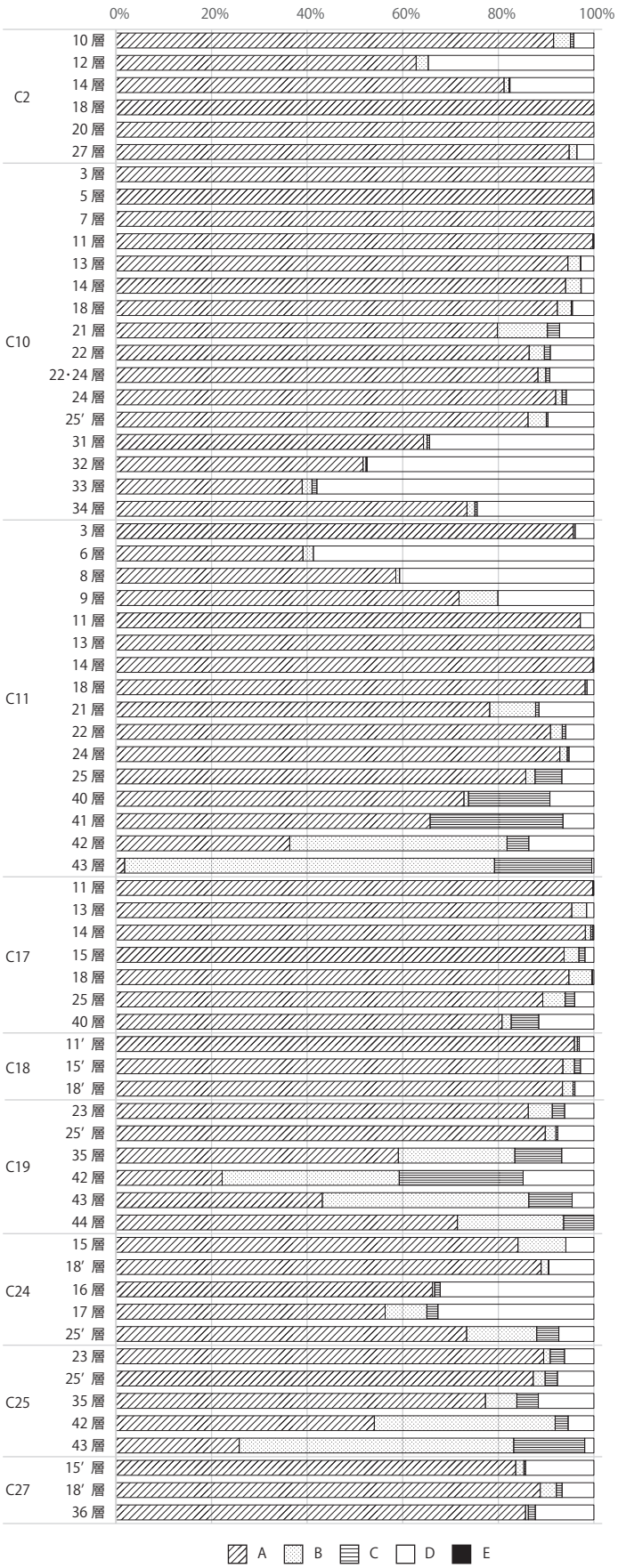
第 94 図　貝類組成変化（5.0㎜）
上：総計、下：層序単位



第 95 図　貝類組成変化（5.0㎜）層序単位

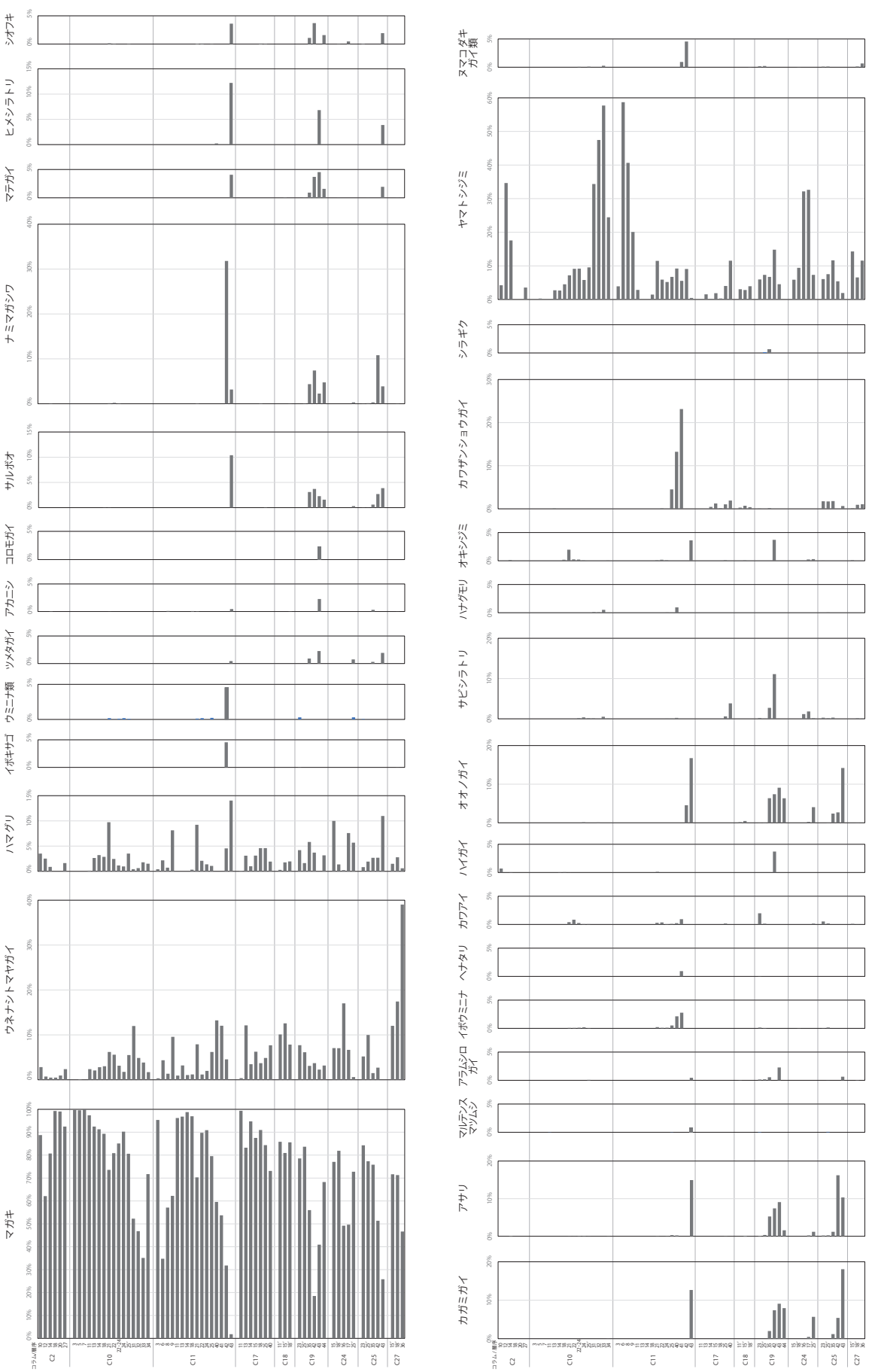
第 93 表　貝類群別集計（5.0㎜）コラム単位

地点	層序	A	B	C	D	E	計
C2	10 層	130	5	1	6	0	142
	12 層	174	7	0	96	0	277
	14 層	1849	24	4	400	0	2277
	18 層	1629	0	0	0	0	1629
	20 層	208	0	0	0	0	208
	27 層	1043	18	0	39	0	1100
	計	5033	54	5	541	0	5633
C10	3 層	450	0	0	0	0	450
	5 層	744	0	0	2	0	746
	7 層	528	0	0	0	0	528
	11 層	3188	5	0	2	0	3195
	13 層	1179	33	1	34	0	1247
	14 層	2048	70	1	58	0	2177
	18 層	3050	96	8	149	0	3303
	21 層	4462	586	142	402	0	5592
	22 層	3481	128	50	368	0	4027
	22 層・24 層	1665	31	16	174	0	1886
	24 層	1507	22	14	95	0	1638
	25′ 層	5624	250	21	629	0	6524
	31 層	601	7	5	321	0	934
	32 層	723	9	3	664	0	1399
	33 層	152	8	4	226	0	390
	34 層	1457	33	9	485	0	1984
	計	30859	1278	274	3609	0	36020
C11	3 層	1172	5	0	48	0	1225
	6 層	18	1	0	27	0	46
	8 層	654	9	0	454	0	1117
	9 層	150	17	0	42	0	209
	11 層	822	0	0	24	0	846
	13 層	657	0	0	0	0	657
	14 層	566	1	0	0	0	567
	18 層	2709	11	0	40	0	2760
	21 層	1871	230	17	275	0	2393
	22 層	1002	27	8	65	0	1102
	24 層	2478	41	10	139	0	2668
	25 層	2644	60	173	207	0	3084
	40 層	308	4	72	39	0	423
	41 層	71	0	30	7	0	108
	42 層	8	10	1	3	0	22
	43 層	4	171	45	1	0	221
	44 層	3	3	0	0	0	6
	計	15137	590	356	1371	0	17454
C17	11 層	4246	4	1	6	0	4257
	13 層	370	12	0	6	0	388
	14 層	876	10	4	2	0	892
	15 層	300	10	4	6	0	320
	18 層	2118	107	3	7	0	2235
	25 層	2040	108	45	92	0	2285
	40 層	42	1	3	6	0	52
	計	9992	252	60	125	0	10429
C18	11′ 層	4042	25	18	129	0	4214
	15′ 層	1421	37	19	43	0	1520
	18′ 層	2657	63	11	113	0	2844
	計	8120	125	48	285	0	8578
C19	23 層	2565	149	77	182	0	2973
	25′ 層	2036	51	9	171	0	2267
	35 層	325	134	54	37	0	550
	42 層	6	10	7	4	0	27
	43 層	19	19	4	2	0	44
	44 層	45	14	4	0	0	63
	計	4996	377	155	396	0	5924
C24	15′ 層	143	17	0	10	0	170
	16 層	284	2	5	138	0	429
	17 層	245	38	10	142	0	435
	18′ 層	2083	49	1	298	0	3151
	25′ 層	490	98	31	49	0	668
	計	3965	204	47	637	0	4853
C25	23 層	2914	45	97	201	0	3257
	25′ 層	6964	200	206	608	0	7978
	35 層	259	22	15	39	0	335
	42 層	20	14	1	2	0	37
	43 層	40	89	23	3	0	155
	計	10197	370	342	853	0	11762
C27	15′ 層	731	15	3	125	0	874
	18′ 層	12867	490	172	967	0	14496
	36 層	1280	9	22	183	0	1494
	計	14878	514	197	1275	0	16864
計		103177	3764	1484	9092	0	117517



※ N=20 以上の層のみ図示

第 96 図　貝類組成変化（5.0㎜）コラム単位

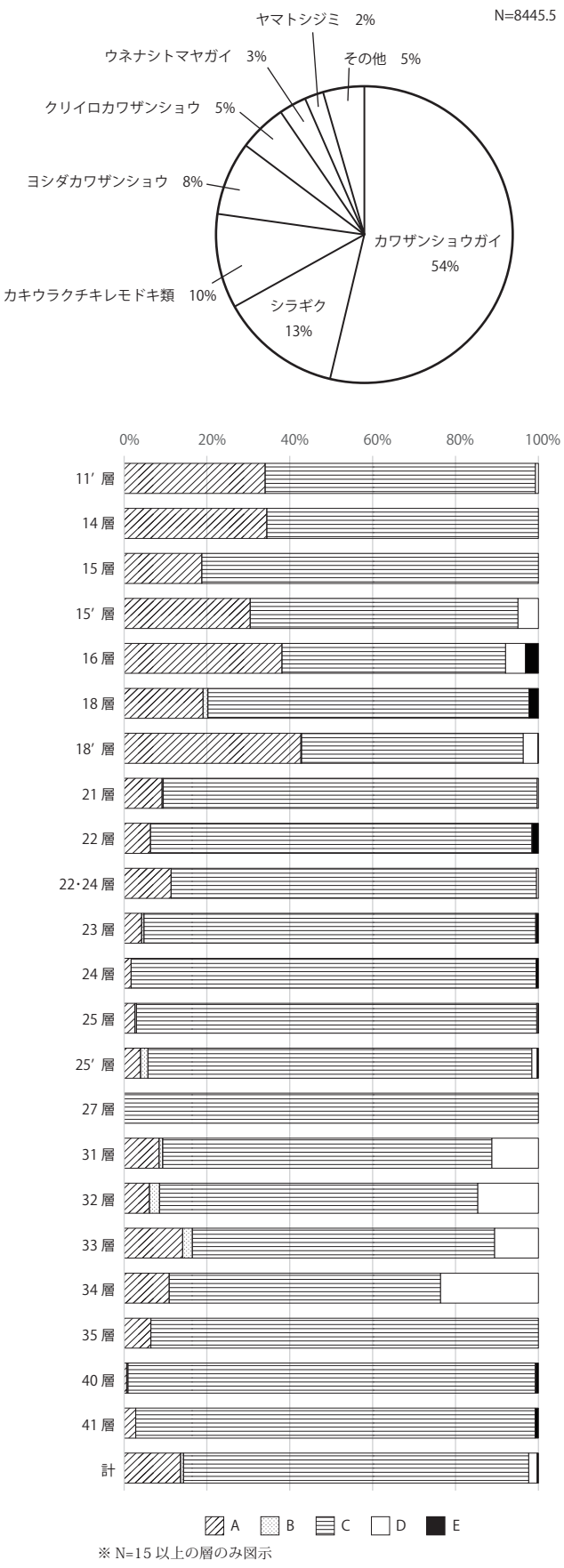


第 97 図　貝類組成変化（5.0㎜）コラム単位

第 94 表　貝類群別集計（2.5 ＋ 1.0㎜）層序単位

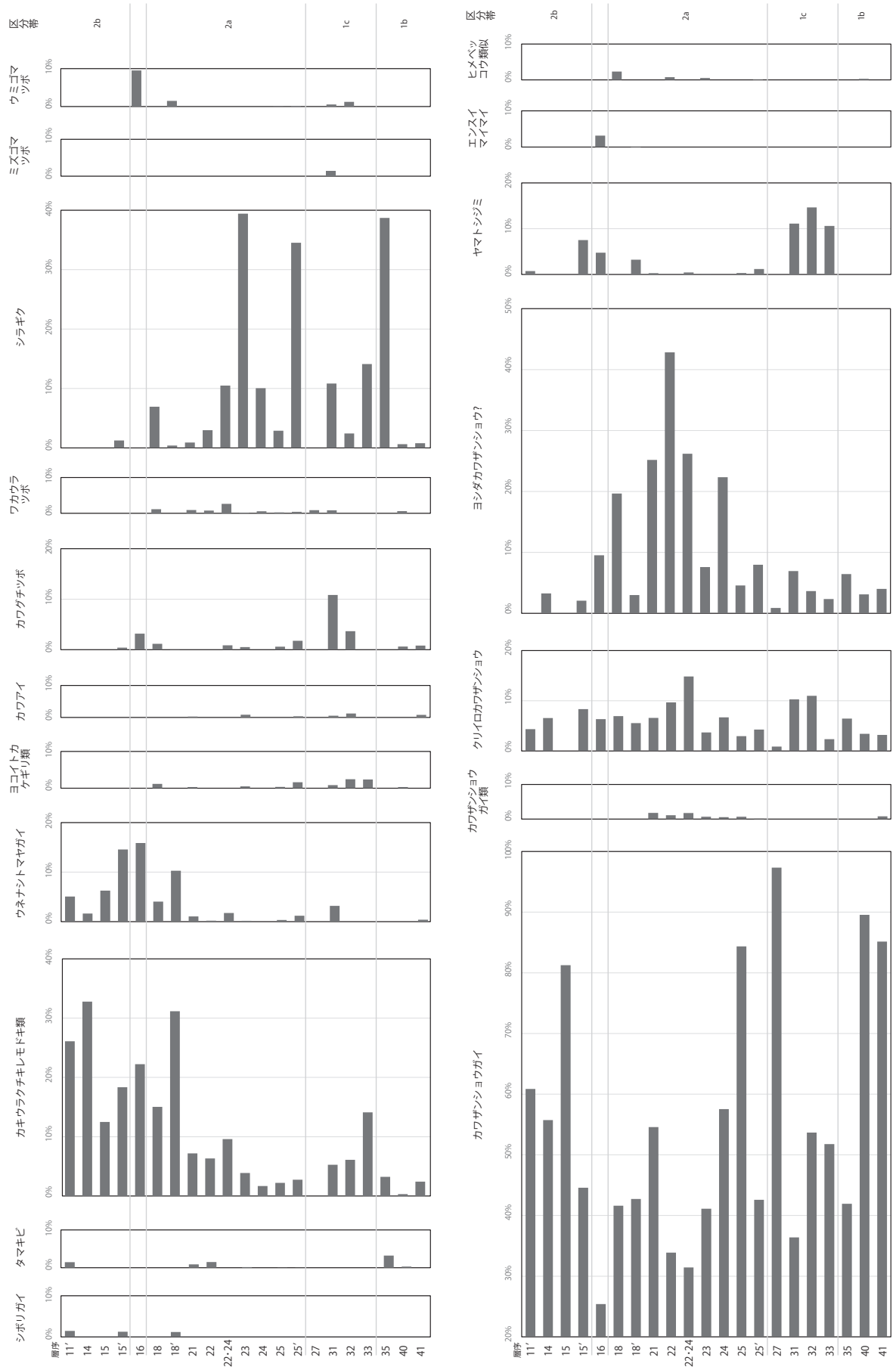
層序	A	B	C	D	E	計
3 層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5 層	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	4.0
6 層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7 層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8 層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9 層	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
10 層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11 層	0.5	0.0	1.0	0.0	0.0	1.5
11′ 層	23.5	0.0	45.0	0.5	0.0	69.0
12 層	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
13 層	7.0	0.0	6.0	0.0	0.0	13.0
14 層	10.5	0.0	20.0	0.0	0.0	30.5
15 層	2.5	0.0	13.0	0.0	0.0	15.5
15′ 層	64.5	0.0	137.0	10.5	0.0	212.0
16 層	12.0	0.0	17.0	1.5	1.0	31.5
17 層	0.0	0.0	2.0	0.5	0.0	2.5
18 層	16.5	1.0	67.0	0.0	2.0	86.5
18′ 層	753.0	3.0	944.0	62.0	3.0	1765.0
20 層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21 層	30.5	1.0	301.0	1.0	0.0	333.5
22 層	24.0	0.0	348.0	0.0	6.0	378
22・24 層	13.0	0.0	101.0	0.5	0.0	114.5
23 層	25.0	3.5	561.0	1.0	3.0	593.5
24 層	3.0	0.0	175.0	0.0	1.0	179.0
25 層	39.0	5.0	1439.0	5.0	1.0	1489.0
25′ 層	84.0	37.5	1954.0	26.0	7.0	2108.5
27 層	0.0	0.0	113.0	0.0	0.0	113.0
31 層	30.5	3.0	286.0	40.5	0.0	360.0
32 層	5.0	2.0	63.0	12.0	0.0	82.0
33 層	6.0	1.0	31.0	4.5	0.0	42.5
34 層	3.0	0.0	18.0	6.5	0.0	27.5
35 層	2.0	0.0	29.0	0.0	0.0	31.0
36 層	3.0	0.0	10.0	0.5	0.0	13.5
40 層	2.0	1.0	315.0	0.5	2.0	320.5
41 層	3.5	0.0	120.0	0.0	1.0	124.5
42 層	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	3.0
43 層	2.0	3.0	4.0	0.0	0.0	9.0
44 層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	1166.5	61.0	7127.0	173.0	27.0	8554.5

※二枚貝は半数にしてある。



※ N=15 以上の層のみ図示

第 98 図　貝類組成変化（2.5 ＋ 1.0㎜）
上：総計、下：層序単位

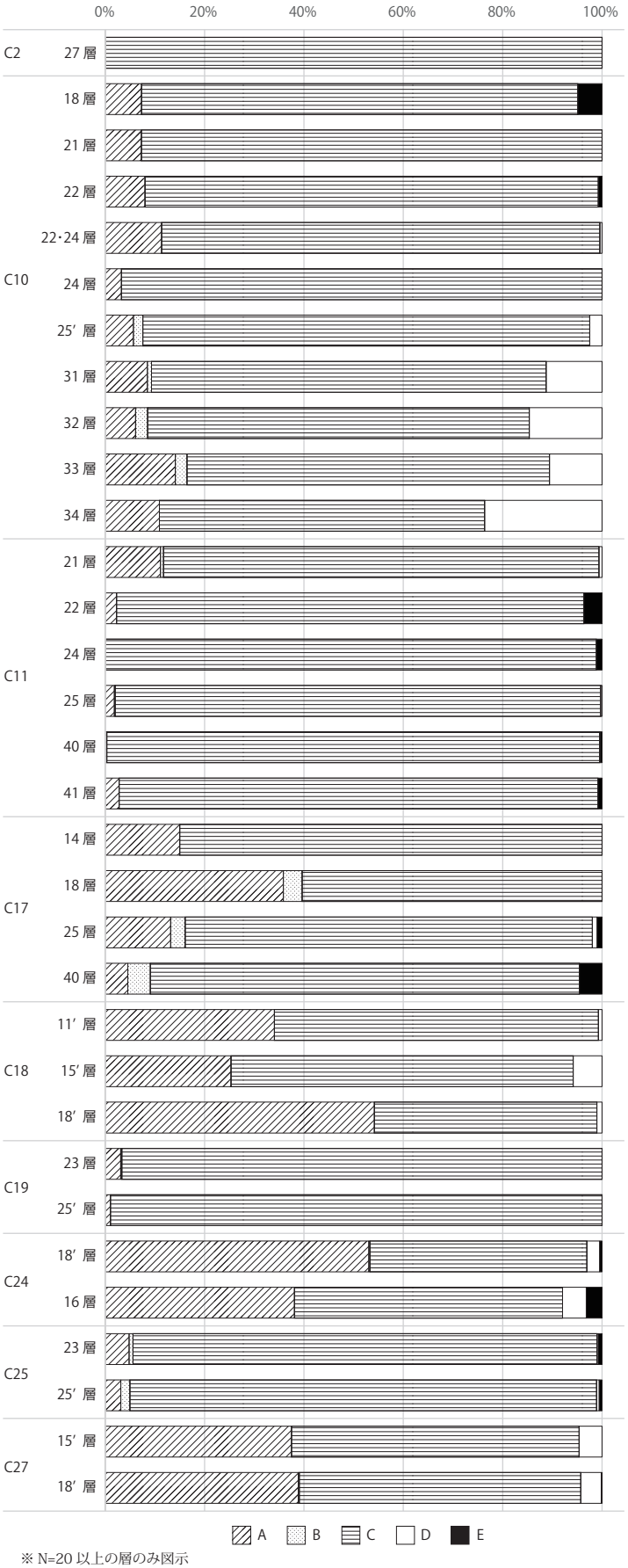


第 99 図　貝類組成変化（2.5 ＋ 1.0㎜）層序単位

第 95 表　貝類群別集計（2.5 ＋ 1.0㎜）コラム単位

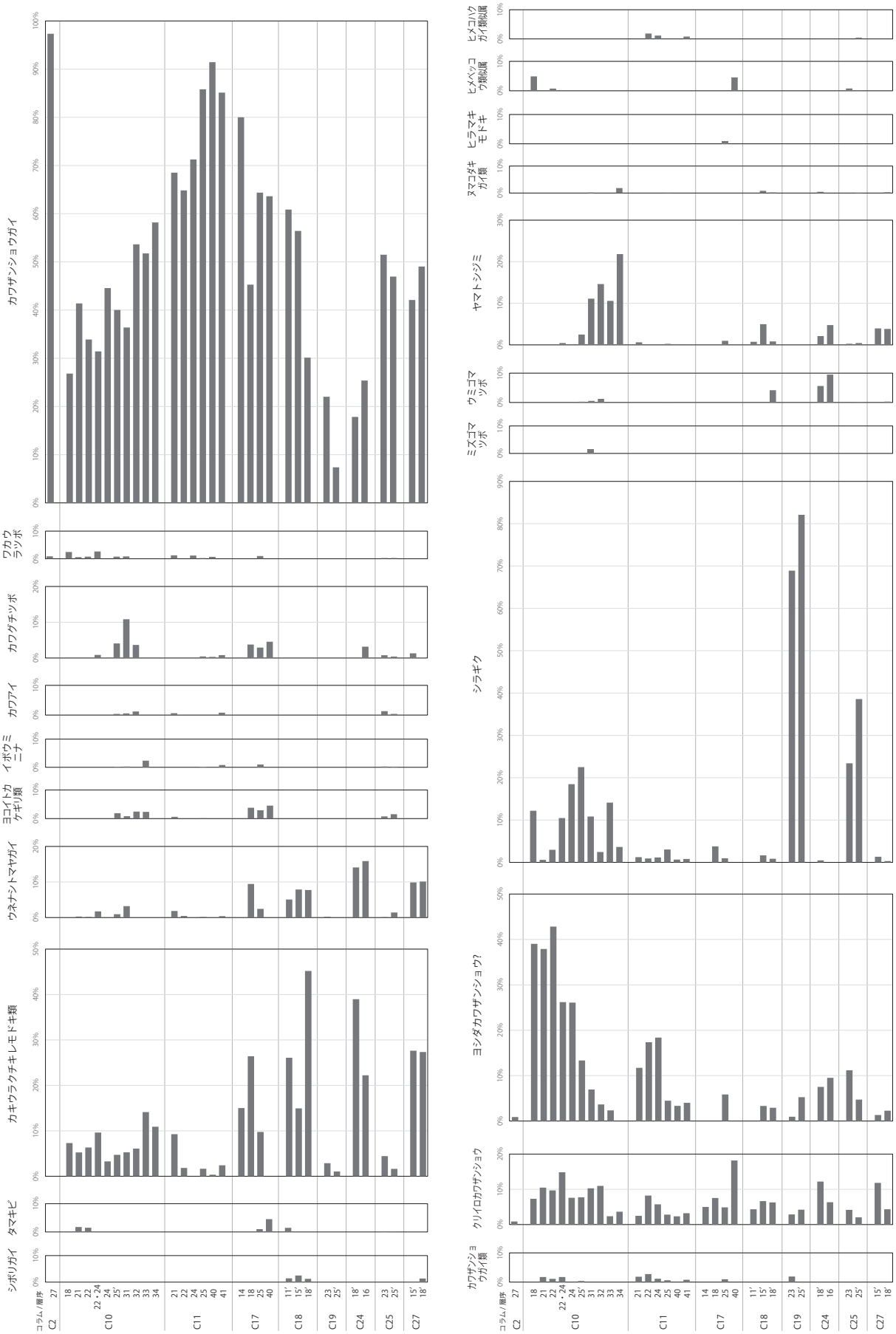
地点	層序	A	B	C	D	E	計
C2	10 層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	12 層	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
	14 層	4.0	0.0	2.0	0.0	0.0	6.0
	18 層	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
	20 層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	27 層	0.0	0.0	113.0	0.0	0.0	113.0
	計	6.5	0.0	115.0	0.0	0.0	121.5
C10	3 層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5 層	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	4.0
	7 層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	11 層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	13 層	1.0	0.0	2.0	0.0	0.0	3.0
	14 層	3.0	0.0	1.0	0.0	0.0	4.0
	18 層	3.0	0.0	36.0	0.0	2.0	41.0
	21 層	12.5	0.0	159.0	0.0	0.0	171.5
	22 層	21.5	0.0	245.0	0.0	2.0	268.5
	22 層・24 層	13.0	0.0	101.0	0.5	0.0	114.5
	24 層	3.0	0.0	89.0	0.0	0.0	92.0
	25′ 層	44.5	15.0	708.0	19.5	0.0	787.0
	31 層	30.5	3.0	286.0	40.5	0.0	360.0
	32 層	5.0	2.0	63.0	12.0	0.0	82.0
	33 層	6.0	1.0	31.0	4.5	0.0	42.5
	34 層	3.0	0.0	18.0	6.5	0.0	27.5
	計	146.0	21.0	1743.0	83.5	4.0	1729.0
C11	3 層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6 層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8 層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	9 層	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
	11 層	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
	13 層	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
	14 層	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
	18 層	2.0	0.0	15.0	0.0	0.0	17.0
	21 層	18.0	1.0	142.0	1.0	0.0	162.0
	22 層	2.5	0.0	103.0	0.0	4.0	109.5
	24 層	0.0	0.0	86.0	0.0	1.0	87.0
	25 層	25.5	2.0	1355.0	4.0	0.0	1386.5
	40 層	1.0	0.0	296.0	0.5	1.0	298.5
	41 層	3.5	0.0	120.0	0.0	1.0	124.5
	42 層	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	2.0
	43 層	1.0	1.0	2.0	0.0	0.0	4.0
	44 層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	計	58.0	4.0	2121.0	5.5	7.0	2195.5
C17	11 層	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0
	13 層	3.0	0.0	4.0	0.0	0.0	7.0
	14 層	3.0	0.0	17.0	0.0	0.0	20.0
	15 層	2.5	0.0	13.0	0.0	0.0	15.5
	18 層	9.5	1.0	16.0	0.0	0.0	26.5
	25 層	13.5	3.0	84.0	1.0	1.0	102.5
	40 層	1.0	1.0	19.0	0.0	1.0	22.0
	計	32.5	5.0	154.0	1.0	2.0	194.5
C18	11′ 層	23.5	0.0	45.0	0.5	0.0	69.0
	15′ 層	30.5	0.0	83.0	7.0	0.0	120.5
	18′ 層	129.5	0.0	107.0	2.5	0.0	239.0
	計	183.5	0.0	235.0	10.0	0.0	428.5
C19	23 層	6.5	0.5	202.0	0.0	0.0	209.0
	25′ 層	1.0	0.0	94.0	0.0	0.0	95.0
	35 層	1.0	0.0	13.0	0.0	0.0	14.0
	42 層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	43 層	1.0	2.0	1.0	0.0	0.0	4.0
	44 層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	計	9.5	2.5	310.0	0.0	0.0	322.0
C24	15′ 層	5.5	0.0	10.0	0.0	0.0	15.5
	18′ 層	113.0	0.5	93.0	5.5	1.0	213.0
	16 層	12.0	0.0	17.0	1.5	1.0	31.5
	17 層	0.0	0.0	2.0	0.5	0.0	2.5
	25′ 層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	計	130.5	0.5	122.0	7.5	2.0	262.5
C25	23 層	18.5	3.0	359.0	1.0	3.0	384.5
	25′ 層	38.5	22.5	1152.0	6.5	7.0	1226.5
	35 層	1.0	0.0	16.0	0.0	0.0	17.0
	42 層	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0
	43 層	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0
	計	58.0	25.5	1529.0	7.5	10.0	1630.0
C27	15′ 層	28.5	0.0	44.0	3.5	0.0	76.0
	18′ 層	510.5	2.5	744.0	54.0	2.0	1313.0
	36 層	3.0	0.0	10.0	0.5	0.0	13.5
	計	542.0	2.5	798.0	58.0	2.0	1402.5
計		1166.5	61.0	7127.0	173.0	27.0	8286.0

※二枚貝は半数にしてある。



※ N=20 以上の層のみ図示

第 100 図　貝類組成変化（2.5 ＋ 1.0㎜）コラム単位



第 101 図　貝類組成変化（2.5 ＋ 1.0㎜）コラム単位

第 96 表　貝類出土量 －層序単位－（5.0㎜）（1）

群	層序	フジツボ	マガキ		シボリガイ	タマキビ	カキウラクチキレモドキ類	ウネナシトマヤ		ハマグリ		イボキサゴ	ウミニナ	ホソウミニナ	ウミニナ類	ツメタガイ	レイシ	アカニシ	コロモガイ	サルボオ		ナミマガシワ		マテガイ		ヒメシラトリ		シオフキ		カガミガイ		アサリ		イタボガキ		ツボミ	マルテンスマツムシ	マルテンスマツムシ？	アラムシロ	ヨコイトカケギリ類
			左	右				左	右	左	右									左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右					
A	3	0	1617	480	0	1	0	4	1	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	736	518	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	16	13	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7	0	505	385	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8	0	605	463	0	1	0	9	13	1	7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9	0	113	115	0	0	0	17	14	15	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	126	30	0	0	0	4	3	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	3	7747	4468	0	0	0	71	74	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11′	14	3204	3250	0	0	0	390	376	5	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12	0	172	72	0	0	0	1	2	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	0	1323	2014	0	0	0	89	60	36	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	19	4720	3771	0	0	0	90	89	67	84	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15	0	274	266	0	0	0	19	18	9	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15′	67	1938	1320	0	0	0	281	249	47	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16	0	208	78	0	0	0	60	60	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17	7	200	147	0	0	0	23	19	20	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	24	8449	6989	2	4	0	188	167	163	167	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18′	843	15155	8926	0	2	1	2790	2686	422	439	3	0	0	0	0	3	3	0	0	0	2	3	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20	2	206	53	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21	18	5275	5354	0	2	0	452	468	675	673	0	8	8	13	0	0	2	0	1	0	7	0	0	0	0	0	7	8	0	0	1	1	0	0	0	0	1
	22	8	3107	2991	0	0	0	195	210	87	75	0	10	7	1	0	0	0	0	0	0	7	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	22・24	8	1387	1554	0	1	0	56	47	19	12	0	4	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	23	24	5075	3569	0	0	0	360	375	119	142	1	6	2	11	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	1	0	0	1	4	1
	24	8	3475	3551	0	0	0	75	69	40	44	0	5	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25	32	4371	2315	0	1	0	269	265	110	107	0	4	5	7	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	25′	175	13530	9898	0	7	0	1173	1189	393	364	0	5	2	9	5	2	0	0	2	2	1	11	0	2	0	0	3	0	0	0	0	1	6	0	10	2
	27	13	1009	669	0	0	0	22	18	10	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31	37	488	295	0	1	0	102	107	3	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	32	2	655	304	0	0	0	59	60	6	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	33	7	137	93	0	0	0	12	11	6	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	34	29	1420	872	0	0	0	27	28	24	19	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	35	227	557	417	0	0	0	18	17	34	24	0	0	0	0	0	2	1	0	17	11	4	23	1	0	0	5	3	11	11	22	23	0	0	3	0	0	0
	36	55	697	290	0	0	0	509	571	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40	0	245	239	0	0	0	46	48	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	41	0	51	35	0	0	0	11	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	42	23	24	22	0	0	0	2	1	2	3	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	5	13	1	0	0	1	1	2	2	4	6	0	0	0	0	0	0
	43	524	36	60	0	0	0	1	0	44	42	0	0	0	0	5	0	2	1	22	24	2	13	8	11	28	32	8	9	53	53	44	41	0	2	0	3	0
	44	61	41	19	0	0	0	2	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3	0	0	1	1	0	1	0	4	4	0	1	0	0	1	0	0
	計	2230	88894	65905	2	20	1	7431	7327	2380	2390	5	43	30	48	16	8	12	1	47	39	33	66	15	18	30	33	30	28	105	101	120	122	1	103	12	1	27	4

第 97 表　貝類出土量 －層序単位－（5.0㎜）（2）

群	層序	3	5	6	7	8	9	10	11	11′	12	13	14	15	15′	16	17	18	18′	20	21	22	22・24	23	24	25	25′	27	31	32	33	34	35	36	40	41	42	43	44	計
5.0mm 貝類計		2195	1257	76	890	1899	364	181	12411	7494	414	3623	9634	607	4202	655	683	16478	33054	263	14389	7405	3403	10540	7701	8221	29624	1806	1615	2308	701	3287	1437	2425	730	145	116	661	89	192983
D	ヌマコダキガイ類 右	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	1	4	0	0	12	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	32
	ヌマコダキガイ類 左	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	5	0	0	10	0	0	0	1	0	0	7	0	1	1	0	0	35
	ヤマトシジミ 右	40	0	17	0	365	36	5	21	106	96	39	385	5	155	124	132	146	1197	0	597	337	162	329	214	265	1325	36	306	549	216	413	61	166	40	3	5	3	0	7896
	ヤマトシジミ 左	45	2	27	0	434	40	6	20	120	61	27	413	4	133	115	97	182	1125	0	620	319	136	332	194	257	1239	25	302	664	215	471	63	147	29	6	6	5	0	7881
C	キヌカツギハマシイノミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	オカミミガイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
	ホソマキギヌの一種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	カゴメイトカケギリ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	イトカケギリ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	シラギク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	4
	クリイロカワザンショウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	カワザンショウガイ	0	0	0	0	0	0	0	1	12	0	1	4	4	12	0	0	3	148	0	1	0	0	59	0	163	138	0	0	0	0	0	7	16	57	25	0	1	0	652
	ヒロクチカノコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3	8	6	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	25
	オキシジミ 右	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	1	6	1	0	103	9	2	1	3	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	8	0	143
	オキシジミ 左	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	64	6	4	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	85
	ハナグモリ 右	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	9
	ハナグモリ 左	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	1	2	0	0	0	3	0	0	0	0	10
	サビシラトリ？ 左	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	サビシラトリ 右	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	6	0	11	0	0	0	3	12	5	14	16	0	1	0	1	1	11	0	1	0	3	0	0	90
	サビシラトリ 左	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	0	14	0	0	0	1	12	6	10	9	0	1	0	2	0	10	1	2	0	0	0	0	76
	イチョウシラトリ 右	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	オオノガイ 右	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	30	0	0	1	0	0	29	0	0	0	3	53	2	133
	オオノガイ 左	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	39	0	0	0	3	44	3	119
	ハイガイ 右	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6
	ハイガイ 左	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	カワアイ？	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	カワアイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	30	34	5	76	2	7	23	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	183
	ヘナタリ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	6
	ヘナタリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	クロヘナタリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	1	1	2	7	0	4	13	0	0	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	45
	イボウミニナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	9	3	2	5	6	16	16	0	0	0	0	0	0	0	9	3	0	0	0	70

第 98 表　貝類出土量 －層序単位－（2.5㎜）

| 群 | 層序 | A | | |

第 99 表　貝類出土量 －層序単位－（1.0㎜）

| 群 | 層序 | A | | | | | | | | B | | | C | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | D | | | | | | | | | | E | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

第 100 表　貝類出土量－コラム単位－（5.0㎜）（1）

群		A								B															
地点	層序	フジツボ	マガキ		シボリガイ	タマキビ	カキウラクチキレモドキ類	ウネナシトマヤ		ハマグリ		イボキサゴ	ウミニナ	ホソウミニナ	ウミニナ類	ツメタガイ	レイシ	アカニシ	コロモガイ	サルボオ		ナミマガシワ		マテガイ	
			左	右				左	右	左	右									左	右	左	右	左	右
C2	10	0	126	30	0	0	0	4	3	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12	0	172	72	0	0	0	1	2	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	19	1838	1114	0	0	0	8	7	19	14	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
	18	14	1604	880	2	2	0	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20	2	206	53	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	27	13	1009	669	0	0	0	22	18	10	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	48	4955	2818	2	2	0	44	34	34	42	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
C10	3	0	449	182	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	736	518	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7	0	505	385	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	1	2841	2247	0	0	0	55	56	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	0	439	1153	0	0	0	26	13	24	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	0	1496	1859	0	0	0	52	47	46	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	4	2639	2528	0	0	0	82	72	76	78	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
	21	13	3740	3866	0	2	0	293	299	482	459	0	8	7	10	0	0	1	0	0	1	6	0	0	0
	22	8	3107	2991	0	0	0	195	210	87	75	0	10	7	1	0	0	0	0	0	0	7	1	0	0
	22・24	8	1387	1554	0	1	0	56	47	19	12	0	4	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	24	0	1282	1348	0	0	0	26	26	12	16	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25′	22	5108	4143	0	7	0	316	329	205	194	0	4	0	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	31	37	488	295	0	1	0	102	107	3	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	32	2	655	304	0	0	0	59	60	6	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	33	7	137	93	0	0	0	12	11	6	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	34	29	1420	872	0	0	0	27	28	24	19	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	129	26429	24338	0	12	0	1301	1306	994	948	0	28	19	22	0	2	1	0	1	2	14	1	0	0
C11	3	0	1168	298	0	0	0	4	1	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	16	13	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8	0	605	463	0	1	0	9	13	1	7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	9	0	113	115	0	0	0	17	14	15	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	2	743	670	0	0	0	6	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	0	604	538	0	0	0	16	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	0	557	259	0	0	0	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	3	2276	2136	0	0	0	25	26	8	8	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	21	5	1535	1488	0	0	0	159	169	193	214	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
	22	0	893	843	0	0	0	7	13	23	11	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	24	8	2193	2203	0	0	0	49	43	28	28	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25	30	2453	1472	0	0	0	175	171	25	22	0	4	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40	0	216	213	0	0	0	42	47	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	41	0	51	35	0	0	0	11	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	42	5	2	7	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	7	0	0
	43	337	2	2	0	0	0	0	0	28	26	0	0	0	0	1	0	1	0	21	17	0	7	7	6
	44	20	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	410	13427	10757	0	1	0	527	527	328	334	1	8	7	14	1	0	5	0	21	17	2	14	7	6

第 101 表　貝類出土量－コラム単位－（5.0㎜）（2）

群		B														C										
		ヒメシラトリ		シオフキ		カガミガイ		アサリ		イタボガキ	ツボミ	マルテンスマツムシ	マルテンスマツムシ？	アラムシロガイ	ヨコイトカケギリ類	イボウミニナ	クロヘナタリ	ヘナタリ	ヘナタリ類	カワアイ	カワアイ？	ハイガイ		オオノガイ		イチョウシラトリ
地点	層序	左	右	左	右	左	右	左	右	右												左	右	左	右	右
C2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
C10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	21	0	0	6	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	1	0	1	23	2	1	0	0	0	0
	22	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	34	0	0	0	0	0	0
	22・24	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	5	0	0	0	0	0	0
	24	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0
	25′	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	5	0	3	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0
	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	34	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	8	9	0	1	2	4	0	0	1	0	5	0	15	5	0	3	67	3	3	1	0	3	0
C11	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	7	0	2	2	0	0	0
	22	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
	24	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	25	0	0	1	0	0	0	8	5	0	0	1	0	0	0	16	4	0	0	3	0	0	0	0	0	0
	40	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	9	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	43	19	24	5	7	25	24	28	28	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	33	0
	44	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	21	25	8	9	25	24	38	35	0	1	3	0	1	1	37	4	1	0	17	0	2	2	26	33	0

第 102 表　貝類出土量－コラム単位－（5.0㎜）（3）

群		C																D				
地点	層序	サビシラトリ		サビシラトリ？	ハナグモリ		オキシジミ		ヒロクチカノコ	カワザンショウガイ	クリイロカワザンショウ	シラギク	イトカケギリ類	カゴメイトカケギリ類	ホソマキギヌの一種	オカミミガイ	キヌカツギハマシイノミ	ヤマトシジミ		ヌマコダキガイ類		5.0mm 貝計
		左	右	左	左	右	左	右										左	右	左	右	
C2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5	0	0	181
	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	96	0	0	414
	14	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	355	338	0	0	3701
	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2497
	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	263
	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	36	0	0	1806
	計	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	447	475	0	0	8862
C10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	632
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1257
	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	890
	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	5206
	13	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	25	33	0	0	1736
	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57	46	0	0	3665
	18	0	0	0	0	0	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	140	117	0	0	5744
	21	0	0	0	0	0	62	103	1	1	0	0	0	0	0	0	0	358	360	0	0	10104
	22	0	0	0	0	0	6	9	1	0	0	0	0	0	0	0	1	319	337	0	0	7405
	22・24	1	3	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	136	162	0	1	3403
	24	6	4	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	67	89	0	0	2890
	25′	5	6	0	0	0	1	0	3	1	0	0	0	0	0	1	0	547	567	2	5	11468
	31	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	302	306	0	0	1615
	32	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	664	549	0	0	2308
	33	2	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	215	216	1	0	701
	34	0	1	1	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	471	413	0	0	3287
	計	15	16	1	3	3	75	122	11	3	0	0	0	0	0	3	2	3304	3196	3	6	62311
C11	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	40	0	0	1563
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	17	0	0	76
	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	434	365	0	0	1899
	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	36	0	0	364
	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	16	0	0	1455
	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1170
	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	825
	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	27	0	0	4545
	21	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	262	237	0	0	4285
	22	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	57	60	0	0	1919
	24	0	1	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	127	125	0	0	4811
	25	0	1	0	0	1	0	0	8	139	0	0	0	1	0	0	0	184	184	0	0	4890
	40	1	0	0	3	3	0	0	0	56	0	0	0	0	0	1	0	29	34	0	0	660
	41	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	6	3	1	0	145
	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	26
	43	0	0	0	0	0	3	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	351
	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	計	1	2	0	4	4	6	11	10	221	0	0	0	1	0	1	0	1264	1146	2	0	28990

第 103 表　貝類出土量－コラム単位－（5.0㎜）（4）

群		A								B																	
地点	層序	フジツボ	マガキ		シボリガイ	タマキビ	カキウラクチキレモドキ類	ウネナシトマヤ		ハマグリ		イボキサゴ	ウミニナ	ホソウミニナ	ウミニナ類	ツメタガイ	レイシ	アカニシ	コロモガイ	サルボオ		ナミマガシワ		マテガイ	
			左	右				左	右	左	右									左	右	左	右	左	右
C17	11	0	4163	1551	0	0	0	10	13	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	0	280	323	0	0	0	47	35	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	0	829	539	0	0	0	27	30	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15	0	274	266	0	0	0	19	18	9	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	3	1930	1445	0	2	0	74	67	79	81	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	25	2	1918	843	0	1	0	94	94	85	85	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	40	0	29	26	0	0	0	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	5	9423	4993	0	3	0	275	258	188	198	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
C18	11′	14	3204	3250	0	0	0	390	376	5	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15′	8	1181	958	0	0	0	177	152	22	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	18′	13	2434	1060	0	0	0	205	171	37	51	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0
	計	35	6819	5268	0	0	0	772	699	64	81	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	1
C19	23	11	2330	1633	0	0	0	200	219	95	118	1	3	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25′	19	1897	1191	0	0	0	120	129	23	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	35	203	304	213	0	0	0	13	14	25	22	0	0	0	0	5	2	0	0	15	11	4	22	4	1
	42	11	3	5	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0
	43	134	8	18	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	2
	44	41	41	17	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	1
	計	419	4583	3077	0	0	0	336	363	144	175	1	3	2	9	6	2	1	1	16	13	8	25	5	5
C24	15′	0	131	40	0	0	0	9	12	16	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18′	11	2581	801	0	0	0	194	201	39	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	16	0	208	78	0	0	0	60	60	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17	7	200	147	0	0	0	23	19	20	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25′	67	418	473	0	0	0	1	4	38	28	0	0	2	2	5	0	0	0	2	1	1	2	0	0
	計	85	3538	1539	0	0	0	287	296	114	103	0	1	2	2	5	0	0	0	2	1	1	2	0	1
C25	23	13	2745	1936	0	0	0	160	156	24	24	0	3	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
	25′	67	6107	4091	0	0	0	736	727	127	109	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	8	0	1
	35	24	253	204	0	0	0	5	3	9	2	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	1	0	0
	42	7	19	10	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	4	0	0
	43	53	26	40	0	0	0	0	0	16	16	0	0	0	0	3	0	0	0	1	6	1	6	1	3
	計	164	9150	6281	0	0	0	901	887	177	152	0	4	0	3	4	1	1	0	5	7	5	20	1	4
C27	15′	59	626	322	0	0	0	95	85	9	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18′	819	10140	7065	0	2	1	2391	2314	346	355	3	0	0	0	0	1	2	0	0	0	2	2	2	1
	36	55	697	290	0	0	0	509	571	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	933	11463	7677	0	2	1	2995	2970	360	368	3	0	0	0	0	1	2	0	0	0	2	2	2	1
計		2228	89787	66748	2	20	1	7438	7340	2403	2401	5	44	30	50	16	8	12	1	46	40	33	66	15	18

第 104 表　貝類出土量－コラム単位－（5.0㎜）（5）

群		B															C											
		ヒメシラトリ		シオフキ		カガミガイ		アサリ		イタボガキ	ツボミ	マルテンスマツムシ	マルテンスマツムシ？	アラムシロガイ	ヨコイトカケギリ類	イボウミニナ	クロヘナタリ	ヘナタリ	ヘナタリ類	カワアイ	カワアイ？	ハイガイ		オオノガイ		イチョウシラトリ
地点	層序	左	右	左	右	左	右	左	右	右												左	右	左	右	右
C17	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1
	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	2	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1
C18	11′	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6	0
	15′	0	0	0	0	0	0	2	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0
	18′	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	2	0	0	22	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	12	0
C19	23	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	2	0	4	0	4	1	1	3	59	0	0	0	0	1	0
	25′	0	0	0	0	0	0	6	8	0	0	0	0	4	0	1	2	0	0	3	0	0	0	0	1	0
	35	0	0	5	3	9	8	22	19	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	24	0
	42	0	0	1	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0
	43	3	2	0	0	2	4	3	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	0
	44	0	0	1	0	4	4	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0
	計	3	2	7	4	17	16	36	33	0	0	2	1	12	0	5	3	1	3	62	0	0	1	39	34	0
C24	15′	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18′	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	25′	0	0	0	0	34	29	4	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	21	26	0
	計	0	0	2	1	35	30	5	7	1	4	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	22	26	0
C25	23	0	0	2	1	0	0	4	5	0	1	0	0	0	1	1	6	0	0	17	0	0	0	0	0	0
	25′	0	0	0	0	0	0	16	18	0	3	6	0	1	2	12	11	0	0	15	0	0	0	2	3	0
	35	0	0	0	0	2	3	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	5	0
	42	0	0	0	0	0	2	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
	43	6	6	3	2	26	25	13	9	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	16	0
	計	6	6	5	3	28	30	35	42	0	4	6	0	2	3	13	17	0	0	32	0	0	0	26	25	0
C27	15′	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	18′	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67	0	0	6	0	0	11	0	0	3	0	0	0	2	0	0
	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	69	0	0	6	0	0	16	0	0	4	0	0	0	2	0	0
計		30	33	31	28	105	101	120	122	1	103	12	1	27	4	71	45	2	6	187	3	5	6	119	133	1

第 105 表　貝類出土量－コラム単位－（5.0㎜）（6）

群		C																D				
地点	層序	サビシラトリ		サビシラトリ？	ハナグモリ		オキシジミ		ヒロクチカノコ	カワザンショウガイ	クリイロカワザンショウ	シラギク	イトカケギリ類	カゴメイトカケギリ類	ホソマキギヌの一種	オカミミガイ	キヌカツギハマシイノミ	ヤマトシジミ		ヌマコダキガイ類		5.0mm 貝計
		左	右	左	左	右	左	右										左	右	左	右	
C17	11	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	5750
	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	0	0	717
	14	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1443
	15	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	5	0	0	607
	18	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0	3692
	25	10	13	0	0	0	0	2	0	24	0	0	0	0	0	0	0	73	81	0	0	3331
	40	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	70
	計	11	14	0	0	0	0	2	0	37	0	0	0	0	0	0	0	89	105	0	0	15610
C18	11′	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	120	106	0	0	7494
	15′	0	0	0	0	0	0	1	0	11	0	0	0	0	0	0	0	31	29	0	0	2600
	18′	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	96	94	0	1	4167
	計	0	0	0	0	0	0	1	0	34	0	0	0	0	0	0	0	247	229	0	1	14261
C19	23	4	5	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	147	168	4	2	5021
	25′	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	142	160	1	4	3729
	35	10	10	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	31	29	0	0	864
	42	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	33
	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	64
	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83
	計	14	19	0	0	0	1	0	0	3	0	4	0	0	0	0	0	326	360	5	6	9794
C24	15′	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	9	0	0	244
	18′	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	216	275	0	1	4348
	16	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	115	124	0	0	655
	17	6	6	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	97	132	0	0	683
	25′	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	45	0	0	1183
	計	9	11	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	473	585	0	1	7113
C25	23	8	7	0	0	0	1	1	1	57	1	0	0	0	4	0	0	185	161	1	2	5519
	25′	3	9	0	3	2	0	0	3	137	2	0	0	0	8	0	0	515	553	7	3	13244
	35	0	1	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	32	32	0	0	573
	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	57
	43	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	246
	計	11	17	0	3	2	1	1	4	201	3	0	0	0	12	0	0	736	749	8	5	19639
C27	15′	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	92	117	0	0	1358
	18′	14	11	0	0	0	0	1	0	137	0	0	1	0	0	0	0	813	828	10	8	24539
	36	1	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	147	166	7	5	2425
	計	15	11	0	0	0	0	2	0	154	0	0	1	0	0	0	0	1052	1111	17	13	28322
計		76	90	1	10	9	86	144	25	653	3	4	1	1	12	4	2	7938	7956	35	32	194902

第 106 表　貝類出土量－コラム単位－（2.5㎜）（1）

群		A									B						C									
地点	層序	マガキ		シボリガイ	タマキビ	カキウラクチキレモドキ類	カキウラクチキレモドキ類？	ウネナシトマヤ			ハマグリ			イボキサゴ	アラムシロガイ	ヨコイトカケギリ類	イボウミニナ	フトヘナタリ	クロヘナタリ	カワアイ	カワアイ？	ハイガイ		カワグチツボ	ワカウラツボ	ワカウラツボ？
		一	左					一	左	右	一	左	右									一	右			
C2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	計	0	0	0	0	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
C10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	21	0	0	0	2	6	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	22	0	0	0	3	11	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
	22・24	0	0	0	0	7	0	4	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0
	24	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25′	0	0	0	0	30	0	15	10	5	0	0	0	0	0	14	1	0	0	3	0	0	0	16	3	0
	31	0	0	0	0	14	4	23	17	6	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	23	2	0
	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	33	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	34	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	5	82	8	44	28	16	0	0	0	0	0	20	3	0	0	3	0	0	0	41	12	1
C11	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21	0	0	0	0	11	3	6	3	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0
	22	0	0	0	0	2	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	24	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	25	0	0	0	0	15	5	5	5	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	3	2	0
	40	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0
	41	0	0	0	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	43	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	37	11	17	10	6	0	0	0	1	0	3	4	1	0	2	0	0	0	3	7	0

第 107 表　貝類出土量－コラム単位－（2.5㎜）（2）

群		C												D								E		
地点	層序	カワザンショウガイ	カワザンショウガイ類	クリイロカワザンショウ	クリイロカワザンショウ？	ヨシダカワザンショウ？	ヨシダカワザンショウ？類	キュウシュウクビキレ	シラギク	ミズゴマツボ	ウミゴマツボ	カゴメイトカケギリ類	ナギサノシタタリ	ヤマトシジミ			ヌマコダキガイ類			ヒメヌマコダキガイ		ヒメベッコウ類似属	エンスイマイマイ	2.5mm 計
														－	左	右	－	左	右	－	左			
C2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	14	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	27	78	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80
	計	79	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	88
C10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	13	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	14	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	18	9	0	1	0	2	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	22
	21	46	2	14	0	37	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	112
	22	69	2	12	0	43	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	152
	22・24	27	1	4	3	8	0	0	8	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71
	24	35	0	3	0	9	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58
	25′	215	1	40	0	28	0	0	88	0	1	2	0	36	18	18	0	0	0	0	0	0	0	544
	31	82	0	20	0	9	0	0	26	1	0	1	0	59	30	29	0	0	0	0	0	0	0	350
	32	29	0	7	0	0	0	0	2	0	1	0	0	23	9	14	0	0	0	0	0	0	0	88
	33	15	0	1	0	1	0	0	6	0	0	0	0	9	5	4	0	0	0	0	0	0	0	49
	34	15	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	12	6	6	0	0	0	0	0	0	0	44
	計	544	6	106	3	138	0	0	154	1	2	3	0	140	68	71	0	0	0	0	0	1	0	1500
C11	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	18	10	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
	21	84	2	3	0	13	4	0	0	0	0	0	0	2	1	4	0	0	0	0	0	0	0	142
	22	50	0	1	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63
	24	56	0	1	1	9	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70
	25	859	4	21	0	15	0	0	19	0	0	0	0	6	2	4	1	0	1	0	0	0	0	972
	40	205	0	3	0	4	1	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	221
	41	87	0	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	99
	42	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	43	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1354	6	32	1	48	5	0	24	0	0	0	0	9	3	9	1	0	1	0	0	0	0	1595

第 108 表　貝類出土量－コラム単位－（2.5㎜）（3）

群		A									B						C									
地点	層序	マガキ		シボリガイ	タマキビ	カキウラクチキレモドキ類	カキウラクチキレモドキ類？	ウネナシトマヤ			ハマグリ			イボキサゴ	アラムシロガイ	ヨコイトカケギリ類	イボウミニナ	フトヘナタリ	クロヘナタリ	カワアイ	カワアイ？	ハイガイ		カワグチツボ	ワカウラツボ	ワカウラツボ？
		一	左					一	左	右	一	左	右									一	右			
C17	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	0	0	0	0	4	1	5	2	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	25	0	0	0	1	3	0	5	3	2	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	40	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	計	0	0	0	2	10	1	11	5	6	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0
C18	11′	0	0	1	0	15	0	7	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15′	0	0	3	0	9	0	18	4	11	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	18′	0	0	2	0	42	1	36	19	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0
	計	0	0	6	0	66	1	61	25	29	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	2	0	0	0
C19	23	0	0	0	0	2	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25′	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	3	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C24	15′	0	0	0	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18′	0	0	0	0	45	0	53	31	22	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16	0	0	0	0	3	0	10	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25′	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	51	0	64	35	29	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C25	23	0	0	0	1	4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	5	0	0	0	1	1	0
	25′	0	0	0	1	2	2	35	21	12	1	0	2	0	0	14	3	1	0	5	0	0	0	0	3	0
	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	2	6	2	36	22	12	1	0	2	0	0	17	4	1	0	10	0	0	0	1	4	0
C27	15′	0	0	0	0	13	0	15	12	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18′	1	1	17	0	147	4	254	136	101	3	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	36	0	0	0	0	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	17	0	162	4	271	149	105	3	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
計		1	1	23	9	421	29	506	275	203	6	3	3	1	1	45	12	2	1	15	1	2	2	48	25	1

第 109 表　貝類出土量－コラム単位－（2.5㎜）（4）

群		C												D								E		
地点	層序	カワザンショウガイ	カワザンショウガイ類	クリイロカワザンショウ	クリイロカワザンショウ？	ヨシダカワザンショウ？	ヨシダカワザンショウ？類	キュウシュウクビキレ	シラギク	ミズゴマツボ	ウミゴマツボ	カゴメイトカケギリ類	ナギサノシタタリ	ヤマトシジミ			ヌマコダキガイ類			ヒメヌマコダキガイ		ヒメベッコウ類似属	エンスイマイマイ	2.5mm 計
														ー	左	右	ー	左	右	ー	左			
C17	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	13	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	14	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	15	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
	18	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
	25	39	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	64
	40	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
	計	74	0	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	127
C18	11′	28	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	57
	15′	26	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	4	5	1	0	1	0	0	0	0	96
	18′	28	0	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	2	2	1	1	0	0	0	0	0	164
	計	82	0	7	0	0	0	0	1	0	0	0	0	15	6	8	2	1	1	0	0	0	0	317
C19	23	31	0	2	0	1	0	0	109	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	149
	25′	6	0	1	0	1	0	0	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68
	35	5	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	43	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	42	0	4	0	2	0	0	173	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	228
C24	15′	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	18′	15	0	2	0	3	0	0	1	0	0	0	0	8	4	4	2	2	0	0	0	0	1	195
	16	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	33
	17	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	25′	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	18	0	4	0	4	0	0	1	0	0	0	0	11	4	7	2	2	0	0	0	0	2	236
C25	23	141	0	6	0	5	1	0	11	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	186
	25′	400	0	8	0	7	0	0	144	0	0	0	0	11	4	7	2	2	0	0	0	0	0	687
	35	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	43	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	548	0	15	0	12	1	0	155	0	0	0	0	13	5	8	2	2	0	0	0	0	0	881
C27	15′	9	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	2	0	0	0	1	1	0	0	67
	18′	268	0	23	1	4	0	1	3	0	0	0	3	89	39	50	7	6	1	0	0	0	1	1164
	36	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	15
	計	283	0	27	1	4	0	1	3	0	0	0	3	94	42	52	8	7	1	1	1	0	1	1246
計		3024	12	200	5	208	6	1	512	1	2	3	3	284	128	157	15	12	3	1	1	1	3	6218

第 110 表　貝類出土量－コラム単位－（1.0㎜）（1）

群		A									B			C														
地点	層序	マガキ	シボリガイ	タマキビ	カキウラクチキレモドキ類	カキウラクチキレモドキ類？	ウネナシトマヤ			フジツボ	シマハマツボ	ケシカニモリ類	ヨコイトカケギリ類	カワアイ	カワグチツボ	ワカウラツボ	カワザンショウガイ	カワザンショウガイ類	クリイロカワザンショウ	クリイロカワザンショウ？	ヨシダカワザンショウ？	ヨシダカワザンショウ？類	シラギク	ミズゴマツボ	ウミゴマツボ	カゴメイトカケギリ類	キヌカツギハマシイノミ
		片					－	片	右																			
C2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
C10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	14	0	0	0	0	0	0	0
	21	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	1	4	0	28	0	0	0	0	0	0	0
	22	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	1	14	0	72	0	1	0	0	0	0	0
	22・24	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1	13	0	22	0	4	0	0	0	0	0
	24	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	4	0	15	0	7	0	0	0	0	0
	25′	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	1	0	16	3	100	2	21	0	77	0	89	0	1	1	0	0
	31	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	16	1	49	0	17	0	16	0	13	4	2	0	1	0
	32	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	15	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0
	33	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	2	35	0	0	0	0	0	0	0	1	3	34	4	236	5	78	0	247	0	114	4	3	1	1	0
C11	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	1	1	0	6	0	2	0	0	0	0	0
	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	3	8	0	14	0	0	0	0	0	0	0
	24	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	4	1	7	0	0	0	0	0	0	0
	25	0	0	0	8	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	331	5	18	1	47	1	23	0	1	0	0	0
	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	68	0	4	0	6	0	0	0	0	0	0	0
	41	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	19	1	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0
	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	12	8	1	0	0	0	0	0	0	0	5	1	476	11	37	2	84	1	25	0	1	0	0	0

第 111 表　貝類出土量－コラム単位－（1.0㎜）（2）

群		D						E								1.0mm 計
		ヤマトシジミ			ヌマコダキガイ類	ヌマコダキガイ類	ヌマコダキガイ類	ヒラマキミドキ	ハリマキビ	ヒメコハクガイ類似種	ヒメベッコウ類似属	ヒダリマキゴマガイ	ナタネガイ	ニッポンマイマイ	陸産貝類	
地点	層序	一	左	右	一	左	右									
C2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37
C10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	19
	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62
	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	119
	22・24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53
	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34
	25′	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	323
	31	21	10	10	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	169
	32	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	34	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	計	25	13	10	2	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	823
C11	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41
	22	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	50
	24	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	21
	25	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	445
	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	80
	41	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	28
	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	0	0	0	0	0	0	4	0	1	1	1	0	673

第 112 表　貝類出土量－コラム単位－（1.0㎜）（3）

群		A									B			C												
地点	層序	マガキ 古	シボリガイ	タマキビ	カキウラクチキレモドキ類	カキウラクチキレモドキ類？	ウネナシトマヤ 一	ウネナシトマヤ 古	ウネナシトマヤ 古	フジツボ	シマハマツボ	ケシカニモリ類	ヨコイトカケギリ類	カワアイ	カワグチツボ	ワカウラツボ	カワザンショウガイ	カワザンショウガイ類	クリイロカワザンショウ	クリイロカワザンショウ？	ヨシダカワザンショウ？	ヨシダカワザンショウ？類	シラギク	ミズゴマツボ	ウミゴマツボ	カゴメイトカケギリ類	キヌカツギハマシイノミ
C17	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	25	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	27	1	3	0	6	0	1	0	0	0	0
	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	51	1	9	0	6	0	1	0	0	0	0
C18	11′	1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	15′	0	0	0	9	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	42	0	6	0	4	0	2	0	0	0	0
	18′	0	1	0	66	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	44	0	11	0	7	0	1	0	10	0	0
	計	1	1	1	78	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	100	0	19	0	11	0	3	0	10	0	0
C19	23	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	4	4	0	1	0	35	0	0	0	0
	25′	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	4	0	19	0	0	0	0
	35	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0
	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	43	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	6	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	16	4	7	0	7	0	55	0	0	0	0
C24	15′	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	18′	0	0	0	38	0	7	4	2	0	0	0	0	0	0	0	23	0	24	0	13	0	0	0	12	0	0
	16	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0	1	0	2	0	0	0	3	0	0
	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	25′	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	44	0	7	4	2	1	0	0	0	0	1	0	35	0	28	0	15	0	0	0	16	0	0
C25	23	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	57	0	10	1	38	0	79	0	0	2	0
	25′	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	3	5	0	5	0	176	0	17	0	51	2	329	0	2	1	0
	35	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0
	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	31	0	0	0	0	0	0	3	5	0	7	0	235	0	27	1	89	2	416	0	2	3	0
C27	15′	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	23	0	6	0	1	0	1	0	0	0	0
	18′	0	1	0	212	4	12	1	3	0	0	0	0	0	0	0	376	0	34	2	26	0	1	0	4	0	0
	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	1	0	220	4	12	1	3	0	0	0	0	0	1	0	402	0	40	2	27	0	2	0	4	0	0
計		1	2	4	443	12	22	6	6	1	2	3	6	3	51	5	1583	21	246	5	487	4	616	4	36	4	1

第 113 表　貝類出土量－コラム単位－（1.0㎜）（4）

群		D						E								
地点	層序	ヤマトシジミ			ヌマコダキガイ類	ヌマコダキガイ類	ヌマコダキガイ類	ヒラマキモドキ	ハリマキビ	ヒメコハクガイ類似種	ヒメベッコウ類似属	ヒダリマキゴマガイ	ナタネガイ	ニッポンマイマイ	陸産貝類	1.0mm 計
		ー	左	右	ー	左	右									
C17	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	25	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	49
	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	9
	計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	88
C18	11′	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
	15′	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	71
	18′	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	142
	計	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	234
C19	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	64
	25′	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27
	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	98
C24	15′	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	18′	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	125
	16	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	25′	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	157
C25	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	205
	25′	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0	616
	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	832
C27	15′	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41
	18′	12	4	8	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	701
	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	計	13	4	8	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	745
計		43	22	18	3	2	1	1	1	9	9	1	1	1	1	3687

第 114 表　貝類出土量－細分層単位－（5.0㎜）（1）

群			A											B																									
地点	層序	細分	フジツボ	マガキ（定量）※		マガキ		シボリガイ	タマキビ	カキウラクチキレモドキ類	ウネナシトマヤ		ハマグリ		イボキサゴ	ウミニナ	ホソウミニナ	ウミニナ類	ツメタガイ	レイシ	アカニシ	コロモガイ	サルボオ		ナミマガシワ		マテガイ		ヒメシラトリ		シオフキ		カガミガイ		アサリ	
				左	右	左	右				左	右	左	右									左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右
C2	10	③	0	－	－	103	23	0	0	0	3	2	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	－	－	23	7	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12	②	0	－	－	172	72	0	0	0	1	2	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	③・④	0	－	－	172	94	0	0	0	3	3	15	9	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
		⑥	10	－	－	954	555	0	0	0	4	2	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
		⑦	9	－	－	712	465	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	18	⑥	9	－	－	908	624	2	2	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		⑦	5	－	－	696	256	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	20	⑪	2	－	－	206	53	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	27	①	13	－	－	1009	669	0	0	0	22	18	10	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
C10	3	①	0	－	－	18	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		②	0	－	－	431	164	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	5	①	0	－	－	736	518	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	7	②	0	－	－	321	247	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		④	0	－	－	184	138	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	11	①	0	－	－	619	499	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		④	0	－	－	417	190	0	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		⑤	0	－	－	426	213	0	0	0	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		⑫・⑬	0	－	－	349	335	0	0	0	14	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		⑯	0	－	－	114	83	0	0	0	8	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		⑱	0	－	－	88	61	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		㉑	1	－	－	828	866	0	0	0	18	20	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	13	③	0	－	－	439	1153	0	0	0	26	13	24	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	14	②	0	－	－	306	409	0	0	0	2	1	5	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		⑦	0	－	－	540	545	0	0	0	5	3	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		⑧	0	－	－	157	146	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		⑨	0	－	－	493	759	0	0	0	43	41	39	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	18	⑤	3	－	－	864	766	0	0	0	56	44	49	54	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		⑧	1	－	－	1775	1762	0	0	0	26	28	27	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	21	④	11	－	－	2232	2443	0	1	0	152	161	253	215	0	8	7	10	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1		
		⑧	2	－	－	1508	1423	0	1	0	141	138	229	244	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	5	4	0	0	0	0		
	22	②	5	－	－	814	696	0	0	0	39	42	30	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0		
		⑨	3	－	－	2293	2295	0	0	0	156	168	57	45	0	10	7	1	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
	22・24	⑬・②	8	166	146	1387	1554	0	1	0	56	47	19	12	0	4	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
	24	③	0	－	－	1282	1348	0	0	0	26	26	12	16	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
	25′	①	5	－	－	1211	900	0	0	0	44	35	18	13	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		⑨	5	－	－	2671	2502	0	1	0	132	140	180	173	0	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0		
		⑩	12	－	－	1226	741	0	6	0	140	154	7	8	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		
	31	①	37	－	－	488	295	0	1	0	102	107	3	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	32	①	2	－	－	655	304	0	0	0	59	60	6	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	33	①	7	－	－	137	93	0	0	0	12	11	6	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	34	②	21	－	－	1027	590	0	0	0	27	28	19	11	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0			
		③	8	－	－	393	282	0	0	0	0	0	5	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		

※マガキが多い場合に一部のみカウントし、重量比により総数を推計

第 115 表　貝類出土量－細分層単位－（5.0㎜）（2）

群			B						C																											D				
地点	層序	細分	イタボガキ	ツボミ	マルテンスマツムシ	マルテンスマツムシ？	アラムシロガイ	ヨコイトカケギリ類	イボウミニナ	クロヘナタリ	ヘナタリ	ヘナタリ類	カワアイ	カワアイ？	ハイガイ		オオノガイ		イチョウシラトリ	サビシラトリ		サビシラトリ？	ハナグモリ		オキシジミ		ヒロクチカノコ	カワザンショウガイ	クリイロカワザンショウ	シラギク	イトカケギリ類	カゴメイトカケギリ類	ホソマキギヌの一種	オカミミガイ	キヌカツギハマシイノミ	ヤマトシジミ		ヌマコダキガイ類		5.0mm 貝計
			右												左	右	左	右	右	左	右	左	左	右	左	右										左	右	左	右	
C2	10	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	143
		⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	38
	12	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	96	0	0	414
	14	③・④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	291	280	0	0	874
		⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58	51	0	0	1634
		⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	7	0	0	1193
	18	⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1542
		⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	955
	20	⑪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	263
	27	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	36	0	0	1806
C10	3	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36
		②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	596
	5	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1257
	7	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	568
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	322
	11	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1120
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	614
		⑤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	657
		⑫・⑬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	714
		⑯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	211
		⑱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	152
		㉑	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1738
	13	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	25	33	0	0	1736
	14	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	739
		⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	1108
		⑧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	309
		⑨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49	39	0	0	1509
	18	⑤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	4	0	0	1849
		⑧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	130	113	0	0	3895
	21	④	0	0	0	0	0	0	4	1	0	1	22	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	90	1	1	0	0	0	0	0	0	0	288	303	0	0	6249
		⑧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70	57	0	0	3855
	22	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	105	0	0	1877
		⑨	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	1	0	0	0	0	0	0	0	1	219	232	0	0	5528
	22・24	⑬・②	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	5	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	136	162	0	1	3403
	24	③	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	6	4	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	67	89	0	0	2890
	25′	①	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	102	0	1	2433
		⑨	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	189	233	1	4	6247
		⑩	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	258	232	1	0	2788
	31	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	302	306	0	0	1615
	32	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	664	549	0	0	2308
	33	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	215	216	1	0	701
	34	②	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	377	305	0	0	2393
		③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	94	108	0	0	894

第 116 表　貝類出土量－細分層単位－（5.0㎜）（3）

群			A											B																							
地点	層序	細分	フジツボ	マガキ（定量）※		マガキ		シボリガイ	タマキビ	カキウラクチキレモドキ類	ウネナシトマヤ		ハマグリ		イボキサゴ	ウミニナ	ホソウミニナ	ウミニナ類	ツメタガイ	レイシ	アカニシ	コロモガイ	サルボオ		ナミマガシワ		マテガイ		ヒメシラトリ		シオフキ		カガミガイ		アサリ	
				左	右	左	右				左	右	左	右									左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右
C11	3	②	0	—	—	110	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	—	—	1058	263	0	0	0	4	1	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	①	0	—	—	16	13	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8	①	0	—	—	52	32	0	1	0	3	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	0	—	—	67	59	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑤	0	—	—	34	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	—	—	291	271	0	0	0	6	7	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦	0	—	—	161	95	0	0	0	0	2	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9	③	0	—	—	113	115	0	0	0	17	14	15	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	③	0	—	—	22	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	2	—	—	570	565	0	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	—	—	133	86	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦・⑩	0	—	—	18	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	③	0	—	—	236	201	0	0	0	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	—	—	255	199	0	0	0	10	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑤・⑥	0	—	—	113	138	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	③	0	—	—	26	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	—	—	531	230	0	0	0	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	③	0	—	—	147	182	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	—	—	494	613	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦	3	—	—	1635	1341	0	0	0	18	20	8	8	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21	③	5	519	534	1535	1488	0	0	0	159	169	193	214	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0
	22	①	0	121	152	307	385	0	0	0	6	7	17	10	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		③	0	306	244	586	458	0	0	0	1	6	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	24	①	3	246	265	1257	1394	0	0	0	20	17	17	15	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	5	447	426	936	809	0	0	0	29	26	11	13	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	25	③	30	—	—	2453	1472	0	0	0	175	171	25	22	0	4	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	8	5
	40	①	0	—	—	216	213	0	0	0	42	47	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
	41	①	0	—	—	51	35	0	0	0	11	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	42	①	5	—	—	2	7	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	43	①	337	—	—	2	2	0	0	0	0	0	28	26	0	0	0	0	1	0	1	0	21	17	0	7	7	6	19	24	5	7	25	24	28	28
	44	①	20	—	—	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
C17	11	①	0	—	—	195	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	③	0	—	—	347	315	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	—	—	1296	456	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑩	0	—	—	175	69	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑪	0	—	—	904	332	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑯	0	—	—	348	118	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑱	0	—	—	898	194	0	0	0	7	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	②	0	165	190	280	323	0	0	0	47	35	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	⑤	0	—	—	829	539	0	0	0	27	30	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15	①	0	—	—	274	266	0	0	0	19	18	9	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	①	3	—	—	161	119	0	0	0	11	11	6	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		②	0	120	111	771	826	0	1	0	22	18	8	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		④	0	—	—	502	258	0	0	0	18	19	21	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※マガキが多い場合に一部のみカウントし、重量比により総数を推計

第 117 表　貝類出土量－細分層単位－（5.0㎜）（4）

群			B						C																												D				5.0mm 貝計
地点	層序	細分	イタボガキ		ツボミ	マルテンスマツムシ	マルテンスマツムシ？	アラムシロガイ	ヨコイトカケギリ類	イボウミニナ	クロヘナタリ	ヘナタリ	ヘナタリ類	カワアイ	カワアイ？	ハイガイ		オオノガイ		イチョウシラトリ		サビシラトリ		サビシラトリ？		ハナグモリ		オキシジミ		ヒロクチカノコ	カワザンショウガイ	クリイロカワザンショウ	シラギク	イトカケギリ類	カゴメイトカケギリ類	ホソマキギヌの一種	オカミミガイ	キヌカツギハマシイノミ	ヤマトシジミ		ヌマコダキガイ類		
			亦													左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右										左	右	左	右	
C11	3	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	145
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	40	0	0	1418
	6	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	17	0	0	76
	8	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	241	195	0	0	528
		③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31	0	0	190
		⑤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	17	0	0	67
		⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	151	115	0	0	843
		⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	0	0	271
	9	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	36	0	0	364
	11	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	16	0	0	1173
		⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	223
		⑦・⑩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27
	13	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	446
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	472
		⑤・⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	252
	14	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55
		④	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	770
	18	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	330
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1119
		⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	27	0	0	3096
	21	③	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	7	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	262	237	0	0	4285
	22	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	35	43	0	0	818
		③	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	17	0	0	1101
	24	①	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	95	86	0	0	2909
		③	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	32	39	0	0	1902
	25	③	0	0	1	0	0	0	0	16	4	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	8	139	0	0	0	1	0	0	0	184	184	0	0	4890
	40	①	0	0	0	0	0	1	0	9	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	3	0	0	0	56	0	0	0	0	0	1	0	29	34	0	0	660
	41	①	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	6	3	1	0	145
	42	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	26
	43	①	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	33	0	0	0	0	0	0	3	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	351
	44	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
C17	11	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	262
	11	③	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	665
		⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1752
		⑩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	245
		⑪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1238
		⑯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	468
		⑱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	1120
	13	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	0	0	717
	14	⑤	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1443
	15	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	5	0	0	607
	18	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	329
		②	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1664
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	832

第 118 表　貝類出土量－細分層単位－（5.0㎜）（5）

群			A											B																													
地点	層序	細分	フジツボ	マガキ（定量）※		マガキ		シボリガイ	タマキビ	カキウラクチキレモドキ類	ウネナシトマヤ			ハマグリ		イボキサゴ	ウミニナ	ホソウミニナ	ウミニナ類	ツメタガイ	レイシ	アカニシ	コロモガイ	サルボオ		ナミマガシワ		マテガイ		ヒメシラトリ		シオフキ		カガミガイ		アサリ	
				左	右	左	右				左	右		左	右									左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右
C17	18	⑦	0	－	－	496	242	0	1	0	23	19		44	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25	①	0	－	－	1225	330	0	0	0	32	35		22	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		②	0	－	－	47	33	0	0	0	12	9		2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	2	－	－	578	422	0	1	0	46	42		60	61	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		④	0	－	－	68	58	0	0	0	4	8		1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40	①	0	－	－	29	26	0	0	0	4	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C18	11′	①	2	145	220	429	520	0	0	0	20	21		5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	12	1192	1223	2285	2346	0	0	0	193	209		0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	167	131	490	384	0	0	0	177	146		0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15′	③	8	－	－	1181	958	0	0	0	177	152		22	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	18′	③	0	－	－	191	104	0	0	0	18	16		9	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑨	0	－	－	489	197	0	0	0	58	42		7	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑰	13	－	－	1754	759	0	0	0	129	113		21	23	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C19	23	③	11	－	－	2330	1633	0	0	0	200	219		95	118	1	3	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0
	25′	②	0	－	－	49	38	0	0	0	6	7		0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
		③	1	－	－	487	293	0	0	0	45	51		7	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
		④	18	－	－	1361	860	0	0	0	69	71		16	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	6	0	0	0	0
	35	①	203	－	－	304	213	0	0	0	13	14		25	22	0	0	0	0	5	2	0	0	15	11	4	22	4	1	0	0	5	3	9	8	22	19	0	0	0	0	0	0
	42	①	11	－	－	3	5	0	0	0	1	0		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	1	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	43	①	134	－	－	8	18	0	0	0	1	0		0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	2	3	2	0	0	2	4	3	4	0	0	0	0	0	0
	44	①	41	－	－	41	17	0	0	0	1	1		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	1	0	0	1	0	4	4	0	1	0	0	0	0	0	0
C24	15′	①	0	－	－	131	40	0	0	0	9	12		16	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16	①	0	－	－	208	78	0	0	0	60	60		1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17	①	7	－	－	200	147	0	0	0	23	19		20	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0
	18′	①	7	－	－	2023	641	0	0	0	132	136		38	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		②	3	－	－	289	88	0	0	0	26	35		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	1	－	－	269	72	0	0	0	36	30		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25′	③	67	－	－	418	473	0	0	0	1	4		38	28	0	0	2	2	5	0	0	0	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	34	29	4	6	0	0	0	0	0	0
C25	23	①	13	－	－	2745	1936	0	0	0	160	156		24	24	0	3	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0
	25′	①	3	－	－	630	444	0	0	0	198	198		4	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	6	4	0	0	0	0	0	0
		②	8	－	－	1077	694	0	0	0	292	260		17	15	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	12	0	0	0	0	0	0
		④	5	330	218	846	493	0	0	0	111	133		14	10	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	6	－	－	702	276	0	0	0	98	96		11	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0
		⑧	45	896	631	2852	2184	0	0	0	37	40		81	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	35	①	24	－	－	253	204	0	0	0	5	3		9	2	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3	0	4	0	0	0	0	0	0
	42	①	7	－	－	19	10	0	0	0	0	1		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	2	2	6	0	0	0	0	0	0
	43	①	53	－	－	26	40	0	0	0	0	0		16	16	0	0	0	0	3	0	0	0	1	6	1	6	1	3	6	6	3	2	26	25	13	9	0	0	0	0	0	0
C27	15′	①	59	－	－	626	322	0	0	0	95	85		9	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18′	②	67	－	－	1145	726	0	0	0	176	150		6	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑧	415	－	－	4864	3370	0	2	1	1117	1088		118	135	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑨	131	－	－	1324	1293	0	0	0	362	359		186	186	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑬	185	360	294	2008	1322	0	0	0	539	541		36	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑮	21	－	－	799	354	0	0	0	197	176		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	36	①	55	－	－	697	290	0	0	0	509	571		5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計			2230	－	－	89787	66748	2	20	1	7438	7340		2403	2401	5	44	30	50	16	8	12	1	46	40	33	66	15	18	30	33	31	28	105	101	120	122						

※マガキが多い場合に一部のみカウントし、重量比により総数を推計

第 119 表　貝類出土量－細分層単位－（5.0㎜）（6）

| 群 | | | B | | | | | | | C | | | | | | |

第 120 表　貝類出土量－細分層単位－（2.5㎜）（1）

群			A									B						C										
地点	層序	細分	マガキ		シボリガイ	タマキビ	カキウラクチキレモドキ類	カキウラクチキレモドキ類？	ウネナシトマヤ	ウネナシトマヤ		ハマグリ			イボキサゴ	アラムシロガイ	ヨコイトカケギリ類	イボウミニナ	フトヘナタリ	クロヘナタリ	カワアイ	カワアイ？	ハイガイ		カワグチツボ	ワカウラツボ	ワカウラツボ？
			一	左						左	右	一	左	右									一	右			
C2	10	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12	②	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	③・④	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	⑥	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20	⑪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	27	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
C10	3	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑫・⑬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		㉑	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	③	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑨	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	⑤	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑧	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	21	④	0	0	0	1	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑧	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	22	②	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		⑨	0	0	0	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
	22・24	⑬・②	0	0	0	0	7	0	4	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	
	24	③	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25′	①	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑨	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	3	0	0	0	3	1	0	
		⑩	0	0	0	0	9	0	15	10	5	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	13	2	0	
	31	①	0	0	0	0	14	4	23	17	6	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	23	2	0	
	32	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
	33	①	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	34	②	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

第 121 表　貝類出土量－細分層単位－（2.5㎜）（2）

群			C												D								E		
地点	層序	細分	カワザンショウガイ	カワザンショウガイ類	クリイロカワザンショウ	クリイロカワザンショウ？	ヨシダカワザンショウ？	ヨシダカワザンショウ？類	キュウシュウクビキレ	シラギク	ミズゴマツボ	ウミゴマツボ	カゴメイトカケギリ類	ナギサノシタタリ	ヤマトシジミ			ヌマコダキガイ類			ヒメヌマコダキガイ		ヒメベッコウ類似属	エンスイマイマイ	2.5mm 貝計
															－	左	右	－	左	右	－	左			
C2	10	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	14	③・④	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	18	⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20	⑪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	27	①	78	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80
C10	3	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	①	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	7	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑫・⑬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		㉑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	13	③	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	14	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑨	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	18	⑤	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
		⑧	4	0	1	0	2	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	16
	21	④	34	1	6	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63
		⑧	12	1	8	0	22	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49
	22	②	8	0	2	0	16	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33
		⑨	61	2	10	0	27	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	119
	22・24	⑬・②	27	1	4	3	8	0	0	8	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71
	24	③	35	0	3	0	9	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58
	25′	①	30	0	0	0	11	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58
		⑨	131	0	14	0	13	0	0	48	0	0	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	245
		⑩	54	1	26	0	4	0	0	29	0	1	0	0	34	17	17	0	0	0	0	0	0	0	241
	31	①	82	0	20	0	9	0	0	26	1	0	1	0	59	30	29	0	0	0	0	0	0	0	350
	32	①	29	0	7	0	0	0	0	2	0	1	0	0	23	9	14	0	0	0	0	0	0	0	88
	33	①	15	0	1	0	1	0	0	6	0	0	0	0	9	5	4	0	0	0	0	0	0	0	49
	34	②	15	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	12	6	6	0	0	0	0	0	0	0	44
		③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第 122 表　貝類出土量－細分層単位－（2.5㎜）（3）

群			A									B						C										
地点	層序	細分	マガキ		シボリガイ	タマキビ	カキウラクチキレモドキ類	カキウラクチキレモドキ類？	ウネナシトマヤ	ウネナシトマヤ		ハマグリ			イボキサゴ	アラムシロガイ	ヨコイトカケギリ類	イボウミニナ	フトヘナタリ	クロヘナタリ	カワアイ	カワアイ？	ハイガイ		カワグチツボ	ワカウラツボ	ワカウラツボ？
			一	左						左	右	一	左	右									一	右			
C11	3	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9	③	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦・⑩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑤・⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21	③	0	0	0	0	11	3	6	3	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	
	22	①	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	24	①	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
		③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25	③	0	0	0	0	15	5	5	5	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	3	2	0	
	40	①	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	
	41	①	0	0	0	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
	42	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	43	①	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	44	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C17	11	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	②	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	⑤	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15	①	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	①	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		②	0	0	0	0	2	1	4	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
		④	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第 123 表　貝類出土量－細分層単位－（2.5㎜）（4）

群			C												D								E		
地点	層序	細分	カワザンショウガイ	カワザンショウガイ類	クリイロカワザンショウ	クリイロカワザンショウ？	ヨシダカワザンショウ？	ヨシダカワザンショウ？類	キュウシュウクビキレ	シラギク	ミズゴマツボ	ウミゴマツボ	カゴメイトカケギリ類	ナギサノシタタリ	ヤマトシジミ			ヌマコダキガイ類			ヒメヌマコダキガイ		ヒメベッコウ類似属	エンスイマイマイ	2.5mm 貝計
															ー	左	右	ー	左	右	ー	左			
C11	3	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	11	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦・⑩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
		⑤・⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	18	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦	10	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
	21	③	84	2	3	0	13	4	0	0	0	0	0	0	2	1	4	0	0	0	0	0	0	0	142
	22	①	28	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33
		③	22	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
	24	①	35	0	0	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43
		③	21	0	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27
	25	③	859	4	21	0	15	0	0	19	0	0	0	0	6	2	4	1	0	1	0	0	0	0	972
	40	①	205	0	3	0	4	1	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	221
	41	①	87	0	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	99
	42	①	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	43	①	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	44	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C17	11	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑱	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	13	②	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	14	⑤	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	15	①	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
	18	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		②	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
		④	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6

第 124 表　貝類出土量－細分層単位－（2.5㎜）（5）

群			A									B						C											
地点	層序	細分	マガキ		シボリガイ	タマキビ	カキウラクチキレモドキ類	カキウラクチキレモドキ類？	ウネナシトマヤ	ウネナシトマヤ		ハマグリ			イボキサゴ	アラムシロガイ	ヨコイトカケギリ類	イボウミニナ	フトヘナタリ	クロヘナタリ	カワアイ	カワアイ？	ハイガイ		カワグチツボ	ワカウラツボ	ワカウラツボ？
			一	左						左	右	一	左	右									一	右			
C17	18	⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25	①	0	0	0	0	1	0	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		②	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		④	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40	①	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
C18	11′	①	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	0	0	1	0	6	0	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15′	③	0	0	3	0	9	0	18	4	11	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	18′	③	0	0	1	0	2	0	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
		⑨	0	0	0	0	8	1	8	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
		⑰	0	0	1	0	32	0	24	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C19	23	③	0	0	0	0	2	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25′	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	35	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	42	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	43	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	44	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C24	15′	①	0	0	0	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18′	①	0	0	0	0	24	0	30	19	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		②	0	0	0	0	6	0	18	10	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	0	0	0	0	15	0	5	2	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16	①	0	0	0	0	3	0	10	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25′	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C25	23	①	0	0	0	1	4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	5	0	0	0	1	1	0
	25′	①	0	0	0	0	1	0	18	10	6	0	0	0	0	0	7	3	0	0	3	0	0	0	0	1	0
		②	0	0	0	1	0	2	9	4	5	0	0	1	0	0	4	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0
		④	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	0	0	0	0	0	5	4	1	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑧	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	35	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	42	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	43	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C27	15′	①	0	0	0	0	13	0	15	12	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18′	②	0	0	1	0	10	0	37	22	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		⑧	1	1	12	0	69	2	145	81	55	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑨	0	0	0	0	30	0	14	5	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑬	0	0	3	0	37	1	52	25	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑮	0	0	1	0	1	1	6	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	36	①	0	0	0	0	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計			1	1	23	9	421	29	506	275	203	6	3	3	1	1	45	12	2	1	15	1	2	2	48	25	1

第 125 表　貝類出土量－細分層単位－（2.5㎜）（6）

群			C													D								E		2.5mm 貝計
地点	層序	細分	カワザンショウガイ	カワザンショウガイ類	クリイロカワザンショウ	クリイロカワザンショウ？	ヨシダカワザンショウ？	ヨシダカワザンショウ？類	キュウシュウクビキレ	シラギク	ミズゴマツボ	ウミゴマツボ	カゴメイトカケギリ類	ナギサノシタタリ	ヤマトシジミ			ヌマコダキガイ類			ヒメヌマコダキガイ			ヒメベッコウ類似属	エンスイマイマイ	
															－	左	右	－	左	右	－	左			
C17	18	⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
	25	①	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	16
		②	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0		0	0	4
		③	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0		0	0	39
		④	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	5
	40	①	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	13
C18	11′	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	4
		③	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	35
		④	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0		0	0	18
	15′	③	26	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	4	5	1	0	1	0	0		0	0	96
	18′	③	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	16
		⑨	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	34
		⑰	19	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	2	1	1	0	0	0		0	0	114
C19	23	③	31	0	2	0	1	0	0	109	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	149
	25′	②	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	5
		③	4	0	0	0	1	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	27
		④	2	0	1	0	0	0	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	36
	35	①	5	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	10
	42	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
	43	①	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	1
	44	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
C24	15′	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	5
	18′	①	10	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0		0	1	104
		②	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0		0	0	48
		③	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	1	2	2	0	0	0		0	0	43
	16	①	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0		0	1	33
	17	①	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0		0	0	3
	25′	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
C25	23	①	141	0	6	0	5	1	0	11	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0		0	0	186
	25′	①	84	0	0	0	1	0	0	34	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0		0	0	172
		②	69	0	3	0	2	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	154
		④	48	0	2	0	1	0	0	18	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0		0	0	74
		⑥	72	0	2	0	2	0	0	33	0	0	0	0	7	1	6	1	1	0	0	0		0	0	139
		⑧	127	0	1	0	1	0	0	9	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0		0	0	148
	35	①	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	7
	42	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
	43	①	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	1
C27	15′	①	9	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	2	0	0	0	1	1		0	0	67
	18′	②	14	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	1	1	0	0	0		0	1	110
		⑧	135	0	3	1	1	0	0	2	0	0	0	0	33	16	17	4	4	0	0	0		0	0	587
		⑨	63	0	7	0	1	0	1	0	0	0	0	2	22	10	12	1	0	1	0	0		0	0	178
		⑬	47	0	7	0	2	0	0	1	0	0	0	1	27	12	15	1	1	0	0	0		0	0	257
		⑮	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	0	0		0	0	32
	36	①	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0		0	0	15
計			3024	12	200	5	208	6	1	512	1	2	3	3	284	128	157	15	12	3	1	1		1	3	6218

第 126 表　貝類出土量－細分層単位－（1.0㎜）（1）

群			A									B			C								
地点	層位	細分	フジツボ	マガキ		シボリガイ	タマキビ	カキウラクチキレモドキ類	カキウラクチキレモドキ類?	ウネナシトマヤ			シマハマツボ	ケシカニモリ類	ヨコイトカケギリ類	カワアイ	カワグチツボ	ワカウラツボ	カワザンショウガイ	カワザンショウガイ類	クリイロカワザンショウ	クリイロカワザンショウ?	ヨシダカワザンショウ?	ヨシダカワザンショウ?類
				左						ー	左	右												
C2	10	③	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12	②	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	③・④	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		⑥	0	0		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	⑥	0	0		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20	⑪	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	27	①	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	0	0	1	1
C10	3	①	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		②	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	①	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	7	②	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	①	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑤	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑫・⑬	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑯	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑱	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		㉑	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	③	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	②	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑧	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑨	0	0		0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	⑤	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑧	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	14	0
	21	④	0	0		0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	1	0	0	14	0
		⑧	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	4	0	14	0
	22	②	0	0		0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	2	0	20	0
		⑨	0	0		0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	1	12	0	52	0
	22・24	⑬・②	0	0		0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1	13	0	22	0
	24	③	0	0		0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	4	0	15	0
	25′	①	0	0		0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2	3	0	23	0
		⑨	0	0		0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	4	1	41	0	7	0	21	0
		⑩	0	0		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	12	2	53	0	11	0	33	0
	31	①	0	0		0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	2	16	1	49	0	17	0	16	0
	32	①	0	0		0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	15	0	2	0	3	0
	33	①	0	0		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0
	34	②	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		③	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C11	3	②	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	①	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8	①	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑤	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9	③	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	③	0	0		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦・⑩	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	③	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑤・⑥	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	③	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	③	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
		⑦	0	0		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	21	③	0	0		0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	1	1	0	6	0
	22	①	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1	2	0	1	0
		③	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	2	6	0	13	0

第 127 表　貝類出土量－細分層単位－（1.0㎜）（2）

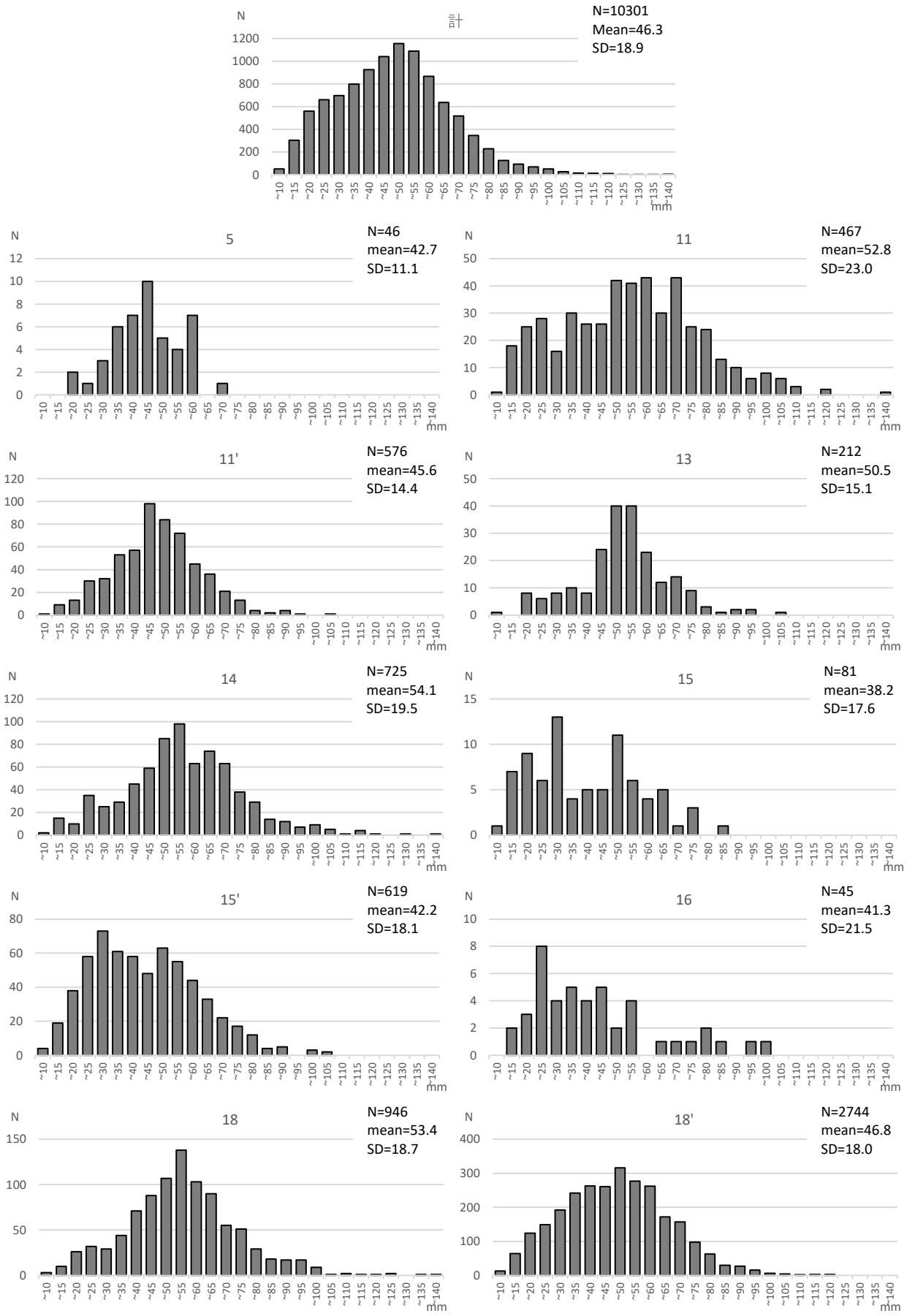
群			C					D						E								1.0mm 貝類計
地点	層位	細分	シラギク	ミズゴマツボ	ウミゴマツボ	カゴメイトカケギリ類	キヌカツギハマシイノミ	ヤマトシジミ			ヌマコダキガイ類			ヒラマキモドキ	ハリマキビ	ヒメコハクガイ類似種	ヒメベッコウ類似属	ヒダリマキゴマガイ	ナタネガイ	ニッポンマイマイ	陸産貝類	
								一	左	右	一	左	右									
C2	10	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	③・④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20	⑪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	27	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34
C10	3	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	7	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑫・⑬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		㉑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	18	⑤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		⑧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
	21	④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33
		⑧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29
	22	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29
		⑨	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	90
	22・24	⑬・②	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53
	24	③	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34
	25′	①	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54
		⑨	57	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	137
		⑩	14	0	1	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	132
	31	①	13	4	2	0	1	21	10	10	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	169
	32	①	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
	33	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	34	②	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
		③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C11	3	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑦・⑩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		⑤・⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	21	③	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41
	22	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	14
		③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	36

第 128 表　貝類出土量－細分層単位－（1.0㎜）（3）

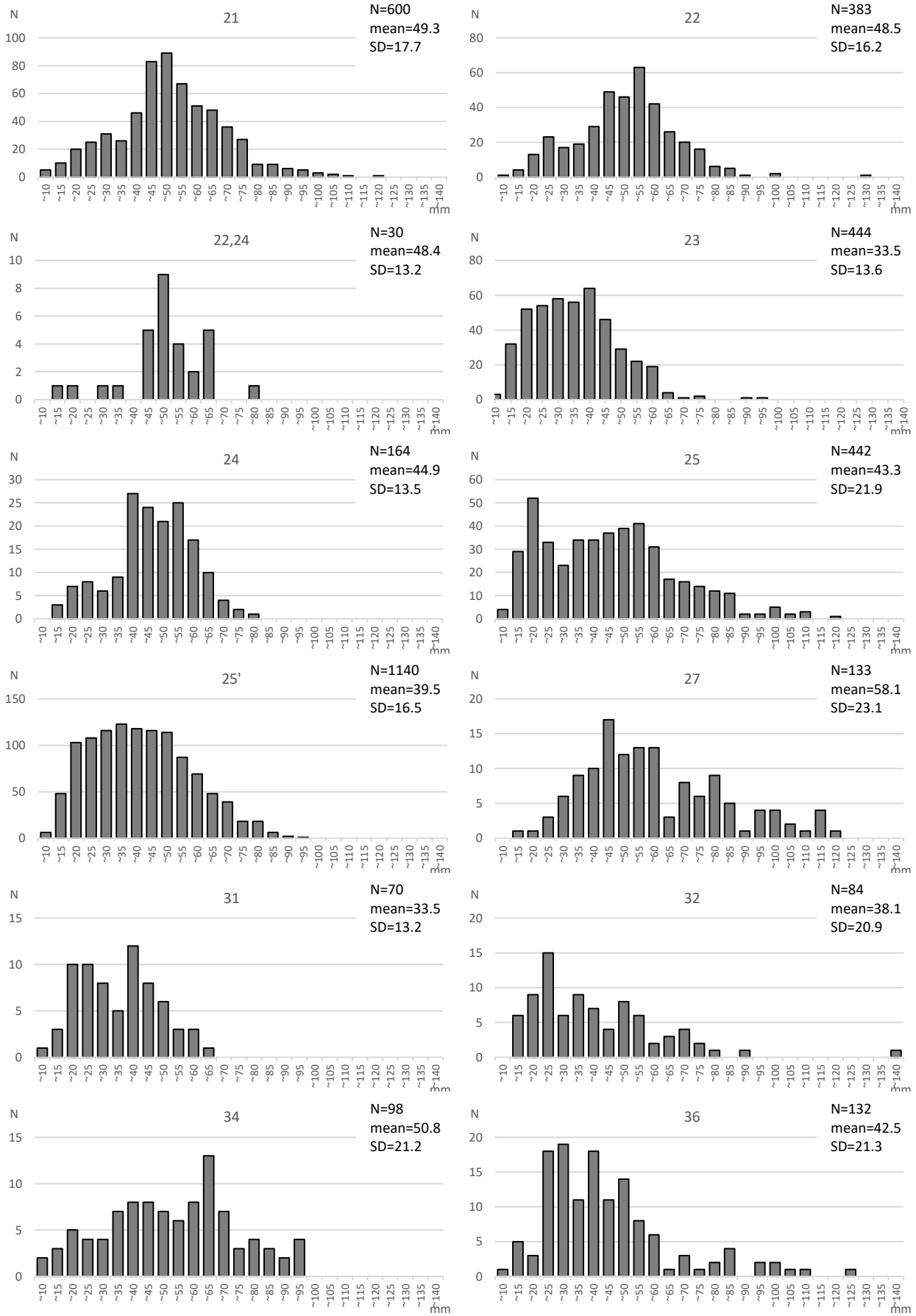
群			A									B			C								
地点	層位	細分	フジツボ	マガキ	シボリガイ	タマキビ	カキウラクチキレモドキ類	カキウラクチキレモドキ類？	ウネナシトマヤ			シマハマツボ	ケシカニモリ類	ヨコイトカケギリ類	カワアイ	カワグチツボ	ワカウラツボ	カワザンショウガイ	カワザンショウガイ類	クリイロカワザンショウ	クリイロカワザンショウ？	ヨシダカワザンショウ？	ヨシダカワザンショウ？類
				左					ー	左	右												
C11	24	①	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	1	5	0
		③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	2	0
	25	③	0	0	0	0	8	4	0	0	0	0	0	0	0	3	1	331	5	18	1	47	1
	40	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	68	0	4	0	6	0
	41	①	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	19	1	1	0	4	0
	42	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	43	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	44	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C17	11	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	②	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	14	⑤	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0
	15	①	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
	18	①	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
		②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		④	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0
		⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	25	①	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
		②	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	16	1	3	0	4	0
		④	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6	0	0	0	2	0
	40	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0
C18	11′	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	2	0	0	0
		④	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
	15′	③	0	0	0	0	9	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	42	0	6	0	4	0
	18′	③	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	2	0	2	0
		⑨	0	0	0	0	11	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
		⑰	0	0	1	0	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	8	0	5	0
C19	23	③	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	4	4	0	1	0
	25′	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	4	0
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	35	①	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	42	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	43	①	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	44	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C24	15′	①	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	3	0	0	0
	18′	①	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	16	0	7	0
		②	0	0	0	0	9	0	7	4	2	0	0	0	0	0	0	2	0	6	0	5	0
		③	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	2	0	1	0
	16	①	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0	1	0	2	0
	17	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25′	③	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C25	23	①	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	57	0	10	1	38	0
	25′	①	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	35	0	6	0	11	0
		②	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	37	0	7	0	18	0
		④	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	16	0	2	0	4	0
		⑥	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	22	0	2	0	13	0
		⑧	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	66	0	0	0	5	2
	35	①	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	42	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	43	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C27	15′	①	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	23	0	6	0	1	0
	18′	②	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	3	1	1	0
		⑧	0	0	0	0	97	4	10	0	2	0	0	0	0	0	0	192	0	7	1	5	0
		⑨	0	0	0	0	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77	0	10	0	5	0
		⑬	0	0	0	0	57	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	82	0	12	0	15	0
		⑮	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	2	0	0	0
	36	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
計			1	1	2	4	443	12	22	6	6	2	3	6	3	51	5	1583	21	246	5	487	4

第 129 表　貝類出土量－細分層単位－（1.0㎜）（4）

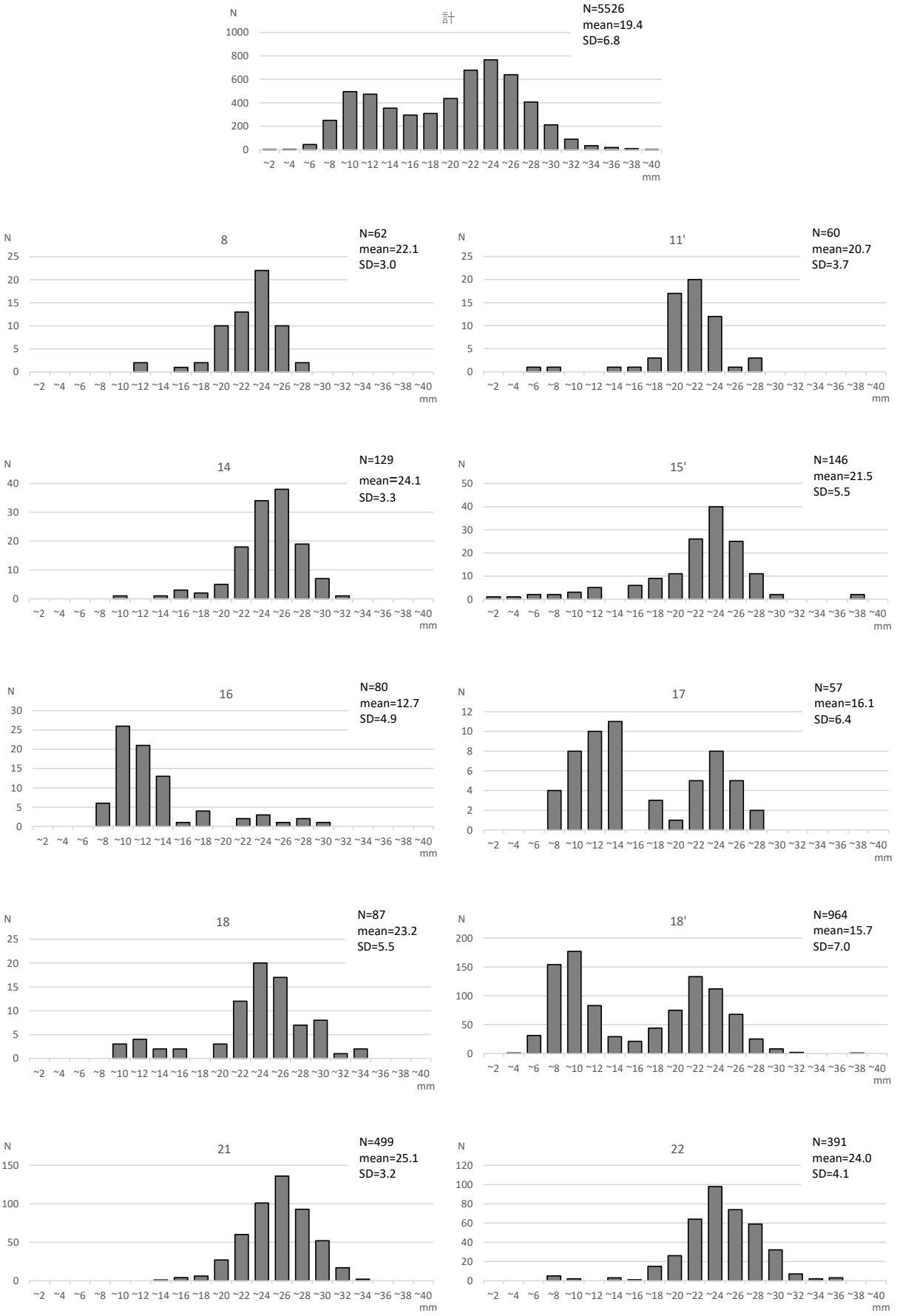
群			C					D						E								
地点	層位	細分	シラギク	ミズゴマツボ	ウミゴマツボ	カゴメイトカケギリ類	キヌカツギハマシイノミ	ヤマトシジミ			ヌマコダキガイ類			ヒラマキモドキ	ハリマキビ	ヒメコハクガイ類似種	ヒメベッコウ類似属	ヒダリマキゴマガイ	ナタネガイ	ニッポンマイマイ	陸産貝類	1.0mm 貝類計
								ー	左	右	ー	左	右									
C11	24	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	13
		③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	25	③	23	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	445
	40	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	80
	41	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	28
	42	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	43	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	44	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C17	11	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	14	⑤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	15	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	18	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
		②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
		⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	25	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
		②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
		③	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	30
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	40	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	9
C18	11′	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
		④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	15′	③	2	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	71
	18′	③	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38
		⑨	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
		⑰	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87
C19	23	③	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	64
	25′	②	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		③	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
		④	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
	35	①	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	42	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	43	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	44	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C24	15′	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	18′	①	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55
		②	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40
		③	0	0	5	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
	16	①	0	0	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
	17	①	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	25′	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C25	23	①	79	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	205
	25′	①	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	112
		②	152	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	226
		④	77	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	105
		⑥	40	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	86
		⑧	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87
	35	①	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	42	①	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	43	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C27	15′	①	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41
	18′	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38
		⑧	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	323
		⑨	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	139
		⑬	0	0	0	0	0	10	4	6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	191
		⑮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	36	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
計			616	4	36	4	1	43	22	18	3	2	1	1	1	9	9	1	1	1	1	3686



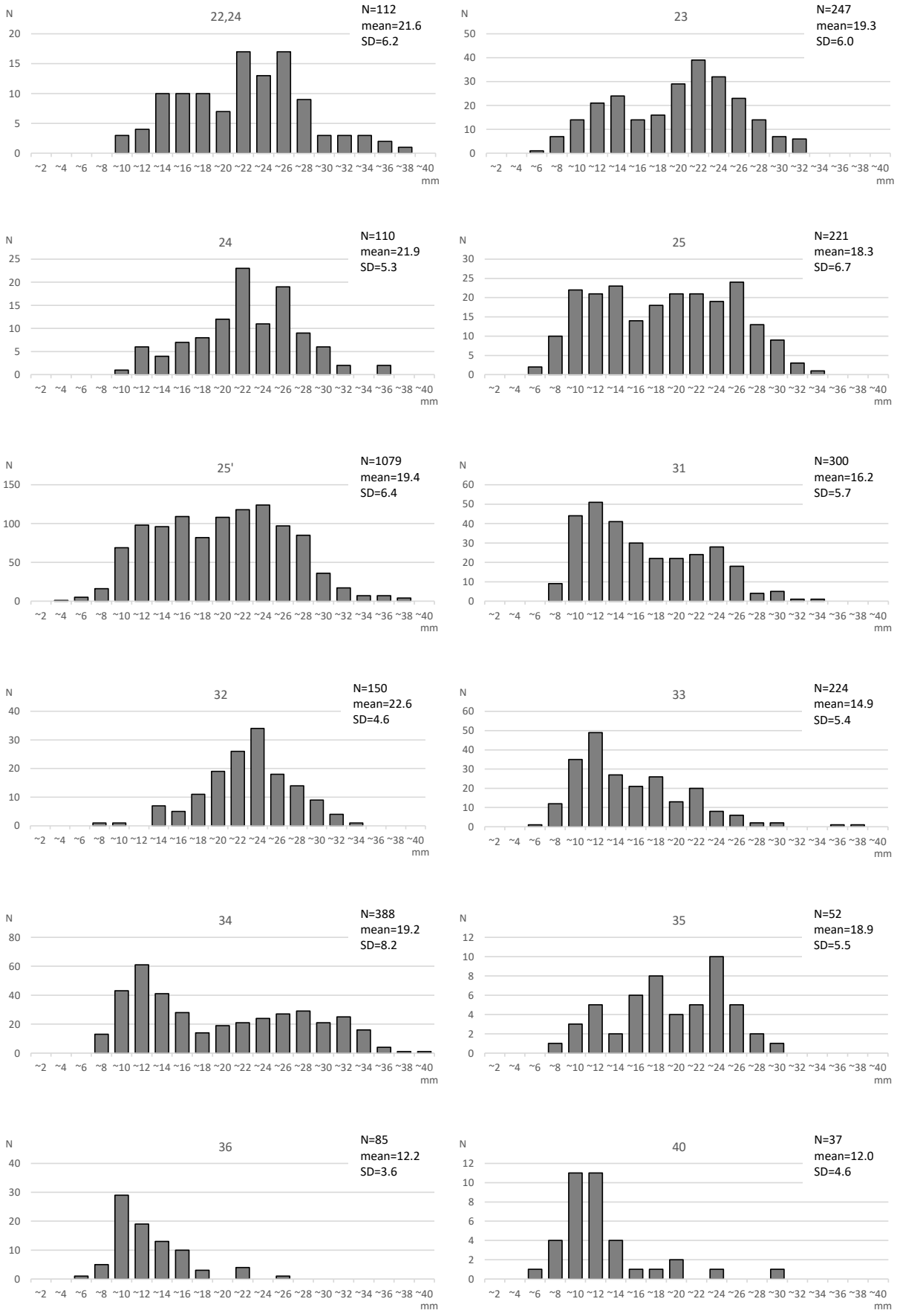
第 102 図　マガキ殻高（1）



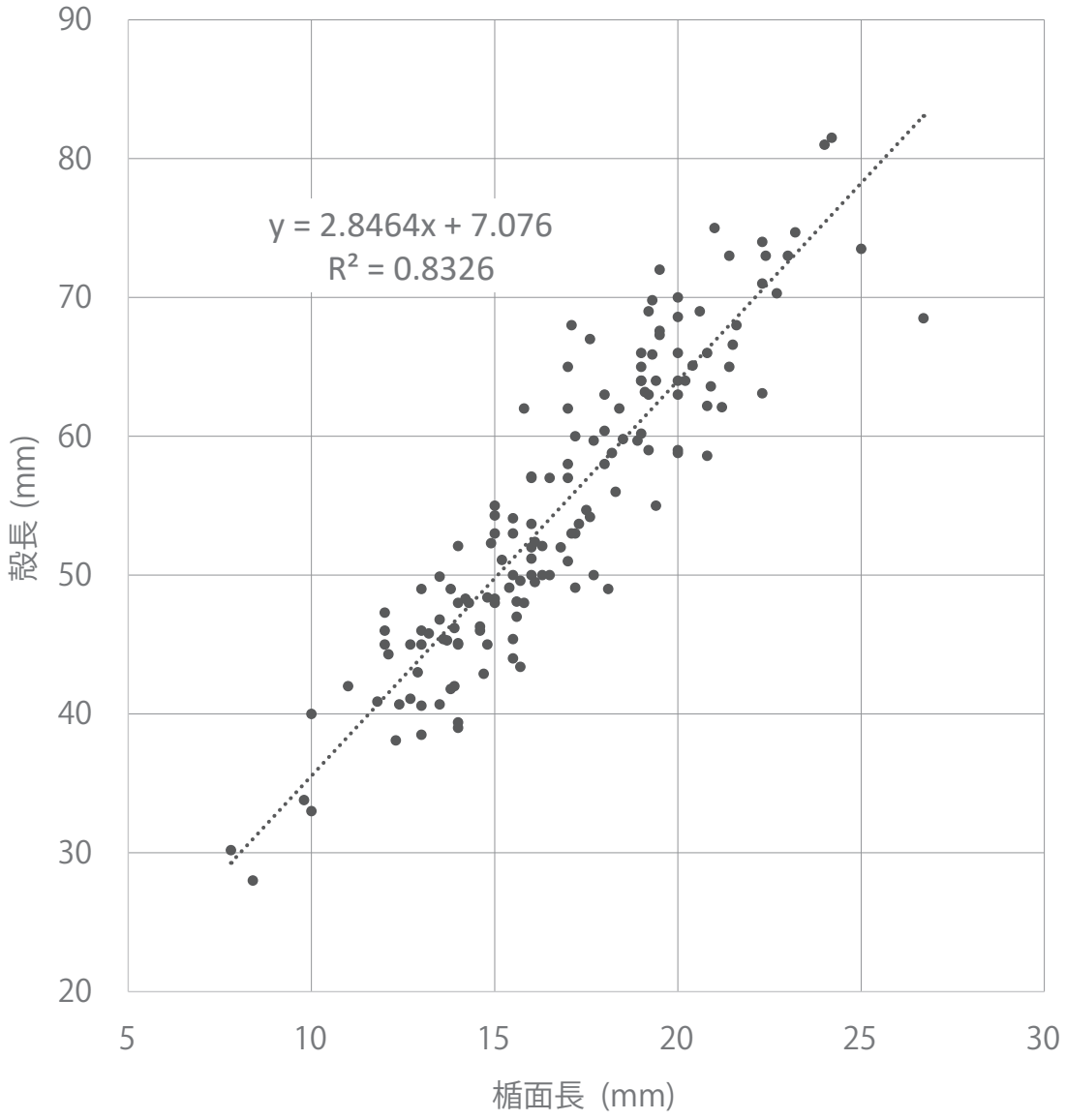
第 103 図　マガキ殻高（2）



第 104 図　ヤマトシジミ殻長（1）



第 105 図　ヤマトシジミ殻長（2）



左殻

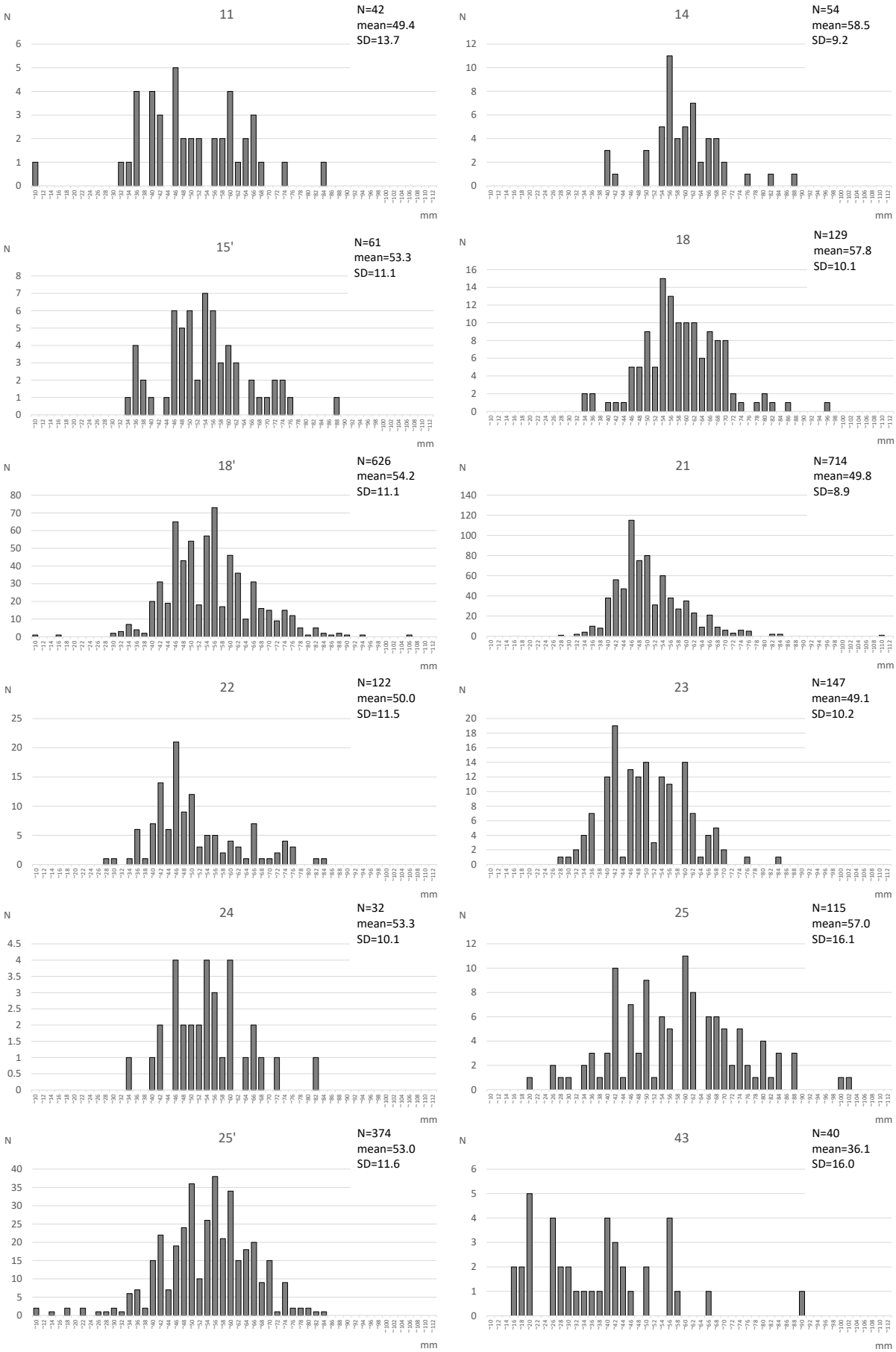
楯面長	殻長	楯面長	殻長	楯面長	殻長	楯面長	殻長
24	81	22.3	63.1	15.5	54.1	15.6	47
21	75	20	63	17.3	53.7	13.5	46.8
22.3	74	19.2	63	15.5	53	14.6	46
25	73.5	18	63	14.9	52.3	12	46
23	73	21.2	62.1	16.3	52.1	15.5	45.4
22.4	73	18.4	62	14	52.1	13.6	45.4
22.3	71	17	62	16	52	14.8	45
20	70	15.8	62	16	51.2	12	45
19.3	69.8	18	60.4	17.7	50	12.1	44.3
20.6	69	19	60.2	16.5	50	15.7	43.4
19.2	69	17.2	60	16.3	50	12.9	43
26.7	68.5	17.7	59.7	15.5	50	11	42
17.1	68	20	59	13.5	49.9	13.8	41.8
20.8	66	19.2	59	15.7	49.6	13.5	40.7
20	66	20	58.8	17.2	49.1	13	40.6
19	66	20.8	58.6	15.4	49.1	10	40
21.4	65	17	58	18.1	49	14	39.4
19	65	16	57.1	13.8	49	14	39
20	64	16.5	57	13	49	13	38.5
19.4	64	19.4	55	15.6	48.1	12.3	38.1
19	64	15	55	15.8	48	8.4	28

右殻

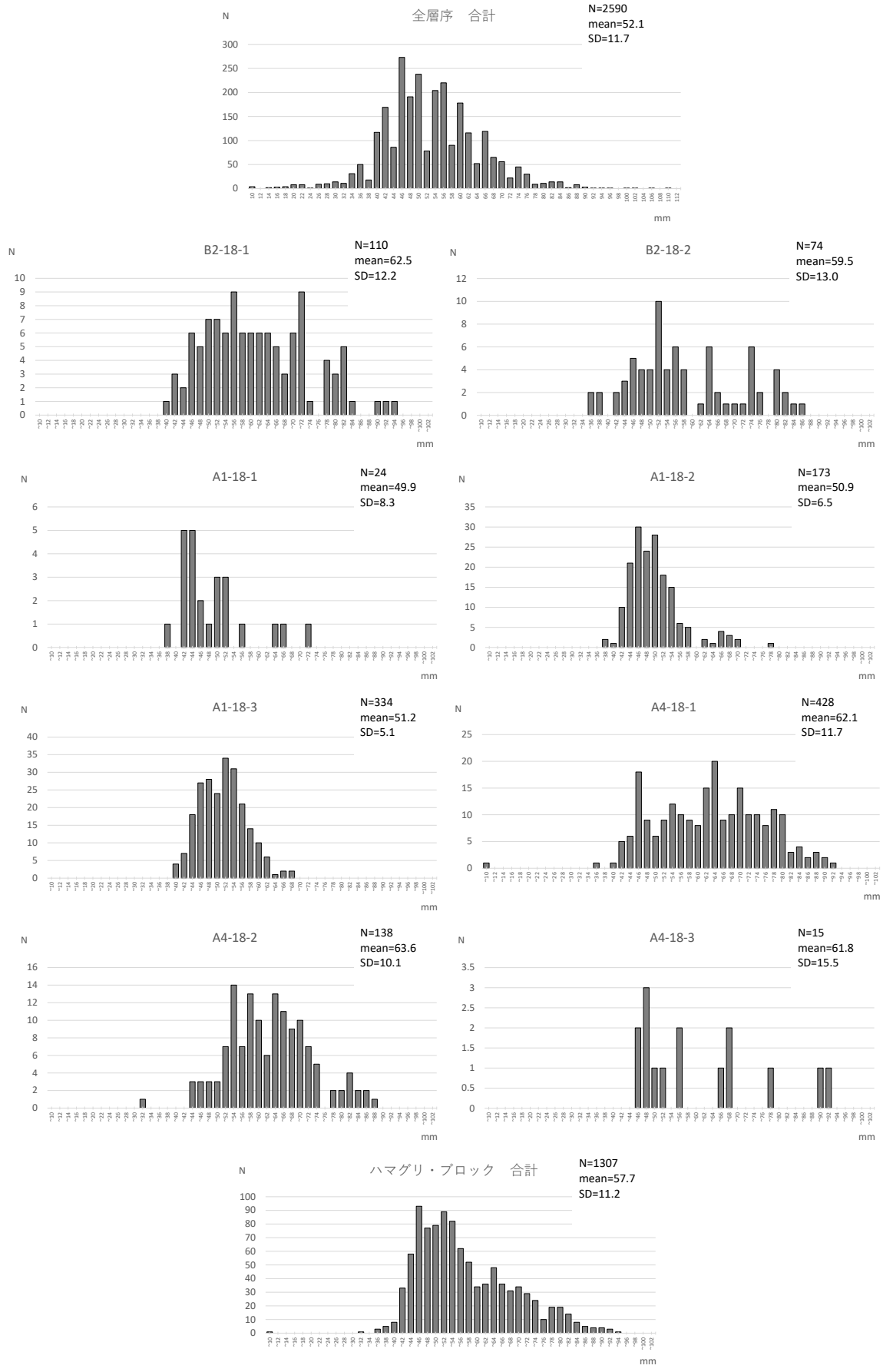
楯面長	殻長	楯面長	殻長	楯面長	殻長	楯面長	殻長
24.2	81.5	20.9	63.6	15	53	13	46
23.2	74.7	19.1	63.2	16.1	52.4	13.2	45.8
21.4	73	20.8	62.2	16.8	52	13.7	45.3
19.5	72	18.5	59.8	15.2	51.1	14	45.1
22.7	70.3	18.9	59.7	17	51	14	45
20	68.6	18.2	58.8	16	50	13	45
21.6	68	18	58	16.1	49.5	12.7	45
19.5	67.6	17	57	14.8	48.4	15.5	44
19.5	67.3	16	57	15	48.3	14.7	42.9
17.6	67	18.3	56	14.2	48.3	13.9	42
21.5	66.6	17.5	54.7	15	48	12.7	41.1
19.3	65.9	15	54.3	14.3	48	11.8	40.9
20.4	65.1	17.6	54.2	14	48	12.4	40.7
17	65	16	53.7	12	47.3	9.8	33.8
20.2	64	17.2	53	14.6	46.3	10	33
19	64	17.1	53	13.9	46.2	7.8	30.2

(mm)

第 106 図　ハマグリ殻長推定



第 107 図　ハマグリ殻長（1）層序別



第 108 図　ハマグリ殻長（2）　上：層序別合計、下：ハマグリ・ブロック

第 130 表　マガキ殻高・ヤマトシジミ殻長（層序単位）

マガキ

層序	3	5	7	8	9	11	11′	13	14	15	15′	16	17	18	18′	20	21	22	22,24	23	24	25	25′	27	31	32	33	34	35	36	40	41	42	43	計
N	2	46	13	18	4	467	576	212	725	81	619	45	11	946	2744	14	600	383	30	444	164	442	1140	133	70	84	15	98	12	132	25	1	3	2	10301
平均	37.5	42.7	44.4	38.6	55.8	52.8	45.6	50.5	54.1	38.2	42.2	41.3	32.3	53.4	46.8	63.1	49.3	48.5	48.4	33.5	44.9	43.3	39.5	58.1	33.5	38.1	46.8	50.8	18.5	42.5	17.1	12.0	15.7	21.8	46.3
標準偏差	26.2	11.1	11.5	15.4	11.9	23.0	14.4	15.1	19.5	17.6	18.1	21.5	15.3	18.7	18.0	23.5	17.7	16.2	13.2	13.6	13.5	21.9	16.5	23.1	13.2	20.9	11.4	21.2	7.8	21.3	3.7	-	6.7	3.9	18.9
最小	19	17	27	12	39	5	9	6	5	10	7	11	17	9	4	28	4	10	14	9	12	9	5	11	10	11	29	7	8	7	11	12	10	19	4
最大	56	66	62	60	66	138	103	101	137	81	102	96	61	136	120	106	119	126	77	94	76	119	95	119	65	136	61	94	37	123	28	12	23	24.5	138
～10mm	0	0	0	0	0	1	1	1	2	1	4	0	0	3	13	0	5	1	0	3	0	4	6	0	1	0	0	2	2	1	0	0	1	0	52
～15mm	0	0	0	1	0	18	9	0	15	7	19	2	0	10	64	0	10	4	1	32	3	29	48	1	3	6	0	3	2	5	9	1	1	0	303
～20mm	1	2	0	3	0	25	13	8	10	9	38	3	4	26	124	0	20	13	1	52	7	52	103	1	10	9	0	5	5	3	13	0	0	1	561
～25mm	0	1	0	2	0	28	30	6	35	6	58	8	0	32	149	0	25	23	0	54	8	33	108	3	10	15	0	4	2	18	2	0	1	1	662
～30mm	0	3	3	0	0	16	32	8	25	13	73	4	2	29	192	1	31	17	1	58	6	23	116	6	8	6	1	4	0	19	1	0	0	0	699
～35mm	0	6	1	0	0	30	53	10	29	4	61	5	1	44	242	0	26	19	1	56	9	34	123	9	5	9	3	7	0	11	0	0	0	0	798
～40mm	0	7	0	2	1	26	57	8	45	5	58	4	2	71	263	1	46	29	0	64	27	34	118	10	12	7	1	8	1	18	0	0	0	0	925
～45mm	0	10	3	2	0	26	98	24	59	5	48	5	0	88	261	2	83	49	5	46	24	37	116	17	8	4	2	8	0	11	0	0	0	0	1041
～50mm	0	5	2	3	0	42	84	40	85	11	63	2	0	107	316	1	89	46	9	29	21	39	114	12	6	8	1	7	0	14	0	0	0	0	1156
～55mm	0	4	2	4	0	41	72	40	98	6	55	4	0	138	277	1	67	63	4	22	25	41	87	13	3	6	2	6	0	8	0	0	0	0	1089
～60mm	1	7	1	1	1	43	45	23	63	4	44	0	1	103	262	2	51	42	2	19	17	31	69	13	3	2	4	8	0	6	0	0	0	0	868
～65mm	0	0	1	0	1	30	36	12	74	5	33	1	1	90	172	1	48	26	5	4	10	17	48	3	1	3	1	13	0	1	0	0	0	0	637
～70mm	0	1	0	0	1	43	21	14	63	1	22	1	0	55	157	1	36	20	0	1	4	16	39	8	0	4	0	7	0	3	0	0	0	0	518
～75mm	0	0	0	0	0	25	13	9	38	3	17	1	0	51	98	0	27	16	0	2	2	14	18	6	0	2	0	3	0	1	0	0	0	0	346
～80mm	0	0	0	0	0	24	4	3	29	0	12	2	0	29	63	1	9	6	1	0	1	12	18	9	0	1	0	4	0	2	0	0	0	0	230
～85mm	0	0	0	0	0	13	2	1	14	1	4	1	0	18	30	0	9	5	0	0	0	0	11	6	5	0	0	0	3	0	4	0	0	0	0	127
～90mm	0	0	0	0	0	10	4	2	12	0	5	0	0	17	27	1	6	1	0	1	0	2	2	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	94
～95mm	0	0	0	0	0	6	1	2	7	0	0	1	0	17	16	0	5	0	0	1	0	2	1	4	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	69
～100mm	0	0	0	0	0	8	0	0	9	0	3	1	0	9	6	0	3	2	0	0	0	5	0	4	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	52
～105mm	0	0	0	0	0	6	1	1	5	0	2	0	0	1	4	1	2	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	28
～110mm	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	2	2	1	1	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	15
～115mm	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
～120mm	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	3	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
～125mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
～130mm	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
～135mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
～140mm	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4

ヤマトシジミ

層序	3	8	9	11	11′	12	13	14	15′	16	17	18	18′	21	22	22,24	23	24	25	25′	27	31	32	33	34	35	36	40	41	43	計
N	9	62	6	2	60	6	16	129	146	80	57	87	964	499	391	112	247	110	221	1079	4	300	150	224	388	52	85	37	2	1	5526
平均	23.8	22.1	21.7	24.5	20.7	24.0	23.0	24.1	21.5	12.7	16.1	23.2	15.7	25.1	24.0	21.6	19.3	21.9	18.3	19.4	16.3	16.2	22.6	14.9	19.2	18.9	12.2	12.0	14.5	11.0	19.4
標準偏差	2.9	3.0	1.8	2.1	3.7	3.2	2.6	3.3	5.5	4.9	6.4	5.5	7.0	3.2	4.1	6.2	6.0	5.3	6.7	6.4	6.4	5.7	4.6	5.4	8.2	5.5	3.6	4.6	0.7	-	6.8
最小	20	12	20	23	5.5	18	19	10	2	7	7	9	4	14	7	9	5	10	5	4	7	6.9	8	6	6.5	7.5	6	6	14	11	2
最大	30	27	24.5	26	27	27	28	31	38	29	28	33	37.5	34	36	38	32	35	34	38	21	32.5	34	37	39	29	26	29	15	11	39
～2mm	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
～4mm	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
～6mm	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	31	0	0	0	1	0	2	5	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	45
～8mm	0	0	0	0	1	0	0	0	2	6	4	0	154	0	5	0	7	0	10	16	1	9	1	12	13	1	5	4	0	0	251
～10mm	0	0	0	0	0	0	0	1	3	26	8	3	177	0	2	3	14	1	22	69	0	44	1	35	43	3	29	11	0	0	495
～12mm	0	2	0	0	0	0	0	0	5	21	10	5	83	0	0	4	21	6	21	98	0	51	0	49	61	5	19	11	0	1	473
～14mm	0	0	0	0	1	0	0	1	0	13	11	2	29	1	3	10	24	4	23	96	0	41	7	27	41	2	13	4	1	0	354
～16mm	0	1	0	0	1	0	0	3	6	1	0	2	21	4	1	10	14	7	14	109	0	30	5	21	28	6	10	1	1	0	296
～18mm	0	2	0	0	3	1	0	2	9	4	3	0	44	6	15	10	16	8	18	82	1	22	11	26	14	8	3	1	0	0	309
～20mm	1	10	2	0	17	0	1	5	11	0	1	3	75	27	26	7	29	12	21	108	1	22	19	13	19	4	0	2	0	0	436
～22mm	1	13	2	0	20	0	3	18	26	2	5	12	133	60	64	17	39	23	21	118	1	24	26	20	21	5	4	0	0	0	678
～24mm	4	22	1	1	12	1	4	34	40	3	8	22	112	101	98	13	32	11	19	124	0	28	34	8	24	10	0	1	0	0	767
～26mm	2	10	1	1	1	3	1	38	25	1	5	18	68	136	74	17	23	19	24	97	0	18	18	6	27	5	1	0	0	0	639
～28mm	0	2	0	0	3	1	1	19	11	2	2	8	25	93	59	9	14	9	13	85	0	4	14	2	29	2	0	0	0	0	407
～30mm	1	0	0	0	0	0	0	7	2	1	0	9	8	52	32	3	7	6	9	36	0	5	9	2	21	1	0	1	0	0	212
～32mm	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	17	7	3	6	2	3	17	0	1	4	0	25	0	0	0	0	0	89
～34mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	3	0	0	1	7	0	1	1	0	16	0	0	0	0	0	35
～36mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	2	0	7	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	19
～38mm	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	10
～40mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

第 131 表　マガキ殻高（細分層単位）（1）

コラム	C2						C10																						
層序	14	14	18	18	20	27	3	5	7	7	11	11	11	11	11	11	11	13	14	14	14	14	18	18	21	21	22	22
細分	3,4	7	6	7	11	1	2	1	2	4	1	4	5	12	16	18	21	3	2	7	8	9	5	8	4	8	2	9
N	1	6	8	15	14	133	2	46	8	5	21	13	9	38	4	6	192	171	141	190	48	206	147	243	204	188	78	250
平均	41.0	50.3	57.4	56.9	63.1	58.1	37.5	42.7	40.4	50.8	50.7	53.4	69.4	59.7	73.8	90.2	64.3	52.3	60.5	54.9	53.7	51.8	54.4	48.5	47.6	51.2	51.7	47.3
標準偏差	-	11.8	9.2	9.9	23.5	23.1	26.2	11.1	10.7	10.8	10.8	17.0	13.8	18.3	31.5	17.2	21.6	13.8	15.9	20.0	23.9	19.7	13.8	14.2	15.1	21.0	13.6	16.6
最小	41	34	47	42	28	11	19	17	27	35	36	27	47	11	46	60	14	6	12	14	13	5	17	13	4	9	18	10
最大	41	69	76	78	106	119	56	66	54	62	73	82	87	97	119	106	138	101	115	112	129	137	108	123	101	119	84	126
～10㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	4	0	1
～15㎜	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	4	1	2	0	3	0	4	0	3
～20㎜	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	0	4	1	1	1	4	4	9	1	9
～25㎜	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1	1	6	3	18	3	10	12	5	3	17
～30㎜	0	0	0	0	1	6	0	3	3	0	0	1	0	1	0	0	3	3	0	9	2	9	3	6	9	13	1	13
～35㎜	0	1	0	0	0	9	0	6	0	1	0	0	0	2	0	0	5	6	4	9	3	8	4	13	7	6	5	13
～40㎜	0	0	0	0	1	10	0	7	0	0	4	2	0	1	0	0	4	5	3	13	6	17	10	19	20	12	6	19
～45㎜	1	1	0	1	2	17	0	10	2	1	2	2	0	1	0	0	7	21	7	16	2	19	12	34	41	19	6	37
～50㎜	0	1	1	2	1	12	0	5	2	0	7	2	1	2	1	0	11	36	20	16	7	25	22	45	36	23	10	29
～55㎜	0	2	3	6	1	13	0	4	1	1	3	1	0	6	0	0	10	33	23	20	5	29	26	48	29	18	16	39
～60㎜	0	0	2	1	2	13	1	7	0	1	1	1	2	7	0	1	19	23	17	17	3	13	18	29	13	9	12	24
～65㎜	0	0	1	2	1	3	0	0	0	1	1	0	0	5	1	0	18	10	21	20	1	22	20	13	11	20	7	15
～70㎜	0	1	0	1	1	8	0	1	0	0	2	2	2	3	1	0	27	13	14	18	3	16	13	7	5	21	6	12
～75㎜	0	0	0	1	0	6	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	20	7	11	12	2	6	9	6	6	5	2	10
～80㎜	0	0	1	1	1	9	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	19	2	6	8	3	6	3	1	2	7	1	5
～85㎜	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	1	2	1	0	1	8	1	3	5	2	2	1	3	5	3	2	1
～90㎜	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	8	2	4	3	1	4	0	0	0	2	0	0
～95㎜	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	1	1	3	1	1	0	0	2	3	0	0
～100㎜	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	5	0	2	5	0	2	1	0	0	2	0	2
～105㎜	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	1	1	0	0	4	0	1	1	1	0	0
～110㎜	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0
～115㎜	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
～120㎜	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
～125㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
～130㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
～135㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～140㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
～145㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

コラム	C10										C11																	
層序	22,24	24	25′	25′	25′	31	32	33	34	34	8	8	8	8	9	11	13	13	13	14	18	18	18	21	22	22	24	24
細分	13,2	3	1	9	10	1	1	1	1	2	1	3	6	7	3	4	3	4	5	3	3	4	7	3	1	3	1	3
N	30	58	66	174	197	70	84	15	92	6	1	3	6	8	4	26	5	5	5	21	10	42	175	207	32	23	53	53
平均	48.4	45.4	38.3	45.2	43.0	33.5	38.1	46.8	52.4	27.2	60.0	50.0	37.5	32.5	55.8	31.4	55.4	57.2	38.2	53.3	52.9	40.5	55.7	49.4	48.2	50.7	45.9	43.2
標準偏差	13.2	13.3	17.3	16.9	17.2	13.2	20.9	11.4	20.3	21.2	-	6.1	11.9	17.2	11.9	13.5	14.2	12.2	23.6	18.6	19.0	19.5	19.9	16.8	18.9	15.7	11.8	15.3
最小	14	12	11	16	11	10	11	29	7	10	60	43	23	12	39	5	40	45	18	17	18	17	9	11	13	20	13	13
最大	77	68	72	85	89	65	136	61	94	60	60	54	52	55	66	56	77	75	74	91	88	96	135	100	90	83	75	76
～10㎜	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
～15㎜	1	1	5	0	6	3	6	0	1	2	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	2	6	1	0	1	1
～20㎜	1	3	7	16	18	10	9	0	4	1	0	0	0	3	0	4	0	0	1	2	1	6	3	7	2	1	1	3
～25㎜	0	2	7	15	18	10	15	0	4	0	0	0	2	0	0	4	0	0	1	0	0	6	5	8	2	1	1	5
～30㎜	1	2	7	13	11	8	6	1	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	4	6	9	2	1	0	4
～35㎜	1	3	7	9	17	5	9	3	7	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	4	7	12	0	1	3	3
～40㎜	0	8	5	14	16	12	7	1	8	0	0	0	2	0	1	3	1	0	0	0	2	4	13	14	3	1	12	7
～45㎜	5	10	4	14	18	8	4	2	8	0	0	1	0	1	0	2	0	1	0	2	0	3	14	23	3	3	7	7
～50㎜	9	6	5	22	24	6	8	1	6	1	0	0	1	2	0	3	1	1	1	3	0	3	18	30	3	4	9	6
～55㎜	4	10	6	22	18	3	6	2	6	0	0	2	1	1	0	1	1	1	0	2	2	3	16	20	6	2	9	6
～60㎜	2	7	4	15	21	3	2	4	7	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	2	3	17	29	2	4	6	4
～65㎜	5	5	5	12	10	1	3	1	13	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	4	1	2	22	17	2	2	3	2
～70㎜	0	1	3	12	9	0	4	0	7	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	1	1	11	10	2	0	0	3
～75㎜	0	0	1	2	5	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	18	16	2	2	1	1
～80㎜	1	0	0	6	3	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	6	0	0	0	0	1
～85㎜	0	0	0	2	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	0	0
～90㎜	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	4	1	0	0	0
～95㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	7	0	0	0	0	0
～100㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0
～105㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～110㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～115㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～120㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～125㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～130㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～135㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
～140㎜	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～145㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第 132 表　マガキ殻高（細分層単位）（2）

コラム	C11				C17																	C18						
層序	25	40	41	43	11	11	11	11	11	11	11	13	14	15	18	18	18	18	25	25	25	11′	11′	11′	15′	18′	18′	18′
細分	3	1	1	1	3	6	6	10	11	16	18	2	5	1	1	2	4	7	1	3	4	1	3	4	3	3	9	17
N	187	25	1	1	8	10	40	10	27	36	27	26	112	81	23	111	67	105	175	66	14	131	408	37	457	50	71	387
平均	37.9	17.1	12.0	19.0	33.0	41.9	43.2	45.5	32.5	34.4	38.8	39.3	49.5	38.2	62.9	60.9	55.0	52.6	48.9	43.7	44.0	43.5	45.7	52.4	40.1	56.6	53.9	47.2
標準偏差	19.6	3.7	-	-	16.2	14.1	16.3	13.1	14.3	17.1	18.0	17.6	19.3	17.6	15.2	22.7	23.0	20.9	24.4	18.9	12.4	12.4	14.8	15.6	20.2	15.1	13.3	17.4
最小	9	11	12	19	16	15	13	21	11	12	15	16	10	10	40	17	10	12	10	10	25	12	9	23	7	26	22	10
最大	109	28	12	19	57	58	70	60	57	74	71	95	118	81	95	136	107	122	119	84	71	94	103	81	227	120	91	106
～10㎜	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	2	0	0	1	0	4	0	0	1
～15㎜	18	9	1	0	0	1	3	0	4	3	2	0	7	7	0	0	2	3	11	0	0	2	7	0	19	0	0	9
～20㎜	30	13	0	1	3	0	3	0	3	6	3	2	2	9	0	7	0	4	15	7	0	2	11	0	38	0	0	10
～25㎜	16	2	0	0	0	1	2	1	4	4	3	4	7	6	0	4	3	1	12	3	2	6	23	1	52	0	1	23
～30㎜	16	1	0	0	1	0	1	1	1	3	3	4	4	13	0	0	7	3	2	5	0	10	21	1	54	2	1	25
～35㎜	13	0	0	0	1	0	5	0	2	8	3	4	3	4	0	5	3	8	16	4	1	16	33	4	47	0	1	37
～40㎜	11	0	0	0	1	1	3	1	3	1	2	2	6	5	1	5	4	13	10	10	3	16	41	0	45	3	4	45
～45㎜	16	0	0	0	0	2	3	1	3	2	1	2	11	5	3	6	3	12	11	8	2	24	66	8	31	4	11	37
～50㎜	17	0	0	0	0	2	3	2	5	1	2	1	13	11	1	5	4	6	17	4	1	21	57	6	43	8	16	44
～55㎜	12	0	0	0	1	2	8	2	1	3	3	5	17	6	3	10	7	14	18	7	4	14	54	4	40	10	9	35
～60㎜	11	0	0	0	1	1	3	2	1	2	1	0	12	4	4	11	7	9	16	4	0	11	33	1	25	7	9	35
～65㎜	6	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	6	5	3	15	4	7	9	2	0	4	30	2	20	4	6	23
～70㎜	9	0	0	0	0	0	2	0	0	2	2	1	8	1	2	10	4	5	4	3	0	3	15	3	13	4	6	25
～75㎜	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	7	3	2	7	3	4	7	1	1	1	8	4	6	5	4	19
～80㎜	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	6	5	5	4	5	0	0	2	2	7	1	0	10
～85㎜	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	7	4	1	8	1	0	0	1	1	3	1	0	1
～90㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	2	4	2	0	0	0	4	0	4	0	2	4
～95㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	0	5	2	0	0	1	0	0	0	0	1	3
～100㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	5	0	0	0	0	0	3	0	0	0
～105㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	2	0	0	0
～110㎜	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
～115㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～120㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
～125㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～130㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～135㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～140㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～145㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

コラム	C19					C24							C25									C27						
層序	23	25′	25′	25′	35	15′	18′	18′	18′	16	17	25′	23	25′	25′	25′	25′	25′	35	42	43	15′	18′	18′	18′	18′	18′	36
細分	1	2	3	4	1	1	1	2	3	1	1	3	1	1	2	4	6	8	1	1	1	1	2	8	9	13	15	1
N	266	11	88	95	11	35	431	76	50	45	11	8	178	100	156	86	82	77	1	3	1	128	206	774	278	253	168	132
平均	34.3	42.0	37.9	33.4	18.4	49.5	48.2	41.7	42.4	41.3	32.3	37.4	32.3	35.4	38.6	39.7	40.3	34.6	20.0	15.7	24.5	49.2	45.9	44.4	45.4	51.3	47.1	42.5
標準偏差	13.4	12.1	12.4	14.7	8.1	13.4	17.7	24.9	21.7	21.5	15.3	18.2	14.0	13.8	13.6	17.4	20.3	16.9	-	6.7	-	16.4	15.6	16.1	16.2	20.2	24.1	21.3
最小	9	30	5	10	8	21	11	12	9	11	17	19	9	11	11	9	10	10	20	10	25	21	14	4	9	6	10	7
最大	94	62	69	75	37	72	108	119	94	96	61	79	90	71	87	95	82	82	20	23	25	89	85	105	120	114	115	123
～10㎜	1	0	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	2	1	1	0	1	0	0	0	6	2	1	2	1
～15㎜	17	0	1	6	2	0	6	9	5	2	0	0	15	3	4	6	9	8	0	1	0	0	2	13	5	10	5	5
～20㎜	32	0	4	15	4	0	22	13	2	3	4	1	20	6	11	6	9	10	1	0	0	0	5	30	12	10	20	3
～25㎜	28	0	9	11	2	2	17	6	5	8	0	0	26	18	11	7	6	6	0	1	1	4	12	50	9	10	16	18
～30㎜	30	2	10	14	0	1	24	4	5	4	2	2	28	19	19	5	4	10	0	0	0	18	18	65	21	12	15	19
～35㎜	32	3	14	12	0	4	34	5	6	5	1	2	24	12	20	9	11	7	0	0	0	10	22	77	32	20	8	11
～40㎜	47	0	10	8	1	1	55	1	3	4	2	1	17	15	27	7	6	9	0	0	0	12	25	74	31	14	8	18
～45㎜	26	3	16	6	0	6	35	7	3	5	0	1	20	6	23	18	2	5	0	0	0	11	20	87	32	16	9	11
～50㎜	21	0	11	9	0	4	46	7	2	2	0	0	8	5	19	5	3	11	0	0	0	16	27	104	26	21	15	14
～55㎜	18	0	6	5	0	4	47	4	4	4	0	0	4	5	8	8	6	3	0	0	0	11	12	82	39	25	10	8
～60㎜	10	2	3	4	0	6	47	2	0	0	1	0	9	3	4	4	7	2	0	0	0	13	24	73	27	29	9	6
～65㎜	1	1	1	1	0	3	29	3	6	1	1	0	3	4	4	1	8	1	0	0	0	10	17	38	16	19	11	1
～70㎜	1	0	2	1	0	3	24	5	4	1	0	0	0	3	2	3	4	0	0	0	0	6	10	34	9	26	10	3
～75㎜	1	0	0	2	0	1	18	2	1	1	0	0	1	1	0	3	4	0	0	0	0	10	4	18	7	11	9	1
～80㎜	0	0	0	0	0	0	12	2	0	2	0	1	0	0	3	1	1	3	0	0	0	5	3	12	6	12	5	2
～85㎜	0	0	0	0	0	0	6	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	5	2	1	8	3	4
～90㎜	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	6	1	5	6	0
～95㎜	1	0	0	0	0	0	3	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	3	2
～100㎜	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2
～105㎜	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1
～110㎜	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
～115㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0
～120㎜	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
～125㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
～130㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～135㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～140㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～145㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第 133 表　ヤマトシジミ殻長（細分層単位）

コラム	C2					C10																					C11			
層序	12	14	14	14	27	11	13	14	14	18	18	21	21	22	22	22,24	24	25'	25'	25'	31	32	33	34	34	3	8	8	8
細分	2	3,4	6	7	1	16	3	7	9	5	8	4	8	2	9	13,2	3	1	9	10	1	1	1	1	2	4	1	3	5
N	6	87	6	1	4	1	10	3	31	4	56	242	59	118	208	112	44	69	169	42	300	150	224	301	87	9	27	8	2
平均	24.0	23.9	20.6	25.0	16.3	23.0	23.0	26.0	25.2	21.2	22.5	25.5	25.1	24.3	23.6	21.6	22.1	18.9	19.8	17.8	16.2	22.6	14.9	17.5	25.4	23.8	21.7	23.3	18.0
標準偏差	3.2	3.2	5.2	-	6.4	-	2.6	2.6	2.8	6.0	5.9	2.8	4.2	3.6	4.3	6.2	5.6	5.8	5.8	5.3	5.7	4.6	5.4	8.1	5.3	2.9	3.1	1.7	2.8
最小	18	10	13	25	7	23	19	23	20	13	9	16	14	8	7	9	10	8	6	4	7	8	6	7	10	20	12	20	16
最大	27	29	29	25	21	23	28	28	31	26	33	34	33	32	36	38	35	33	36	28	33	34	37	39	37	30	26	25	20
～2mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～4mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～6mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
～8mm	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	1	2	0	9	1	12	13	0	0	0	0	0
～10mm	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	3	1	4	7	2	44	1	35	42	1	0	0	0	0
～12mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	1	7	14	6	51	0	49	60	1	0	1	0	0
～14mm	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	10	4	8	12	2	41	7	27	39	2	0	0	0	0
～16mm	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0	1	10	1	5	15	4	30	5	21	27	1	0	0	0	1
～18mm	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	10	10	4	2	14	2	22	11	26	12	2	0	2	0	0
～20mm	0	4	0	0	1	0	1	0	1	0	2	6	1	4	18	7	5	8	20	13	22	19	13	13	6	1	4	1	1
～22mm	0	8	4	0	1	0	3	0	6	1	9	28	6	21	33	17	7	18	22	8	24	26	20	13	8	1	6	1	0
～24mm	1	28	0	0	0	1	4	1	5	0	12	52	11	26	59	13	3	5	24	0	28	34	8	10	14	4	10	4	0
～26mm	3	28	0	1	0	0	1	0	8	2	12	72	13	26	33	17	9	4	18	0	18	18	6	11	16	2	4	2	0
～28mm	1	9	0	0	0	0	1	2	8	0	5	44	13	28	22	9	4	5	13	4	4	14	2	14	15	0	0	0	0
～30mm	0	4	1	0	0	0	0	0	2	0	4	32	5	8	20	3	4	1	4	0	5	9	2	16	5	1	0	0	0
～32mm	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	6	4	1	2	3	0	0	1	0	1	4	0	15	10	0	0	0	0
～34mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	3	0	1	0	0	1	1	0	12	4	0	0	0	0
～36mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	1	0	2	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0
～38mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
～40mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

コラム	C11											C17										C18						
層序	8	9	18	21	22	22	24	24	25	40	41	11	13	14	18	25	25	25	25	40	11'	11'	15'	18'	18'	18'	18'
細分	6	3	7	3	1	3	1	3	3	1	1	18	2	5	2	1	2	3	4	1	3	4	3	3	9	17	18
N	25	6	20	198	37	28	43	23	155	35	2	1	6	1	1	1	4	59	2	2	27	33	26	20	20	16	71
平均	22.4	21.7	25.8	24.7	24.5	24.2	22.0	21.2	18.3	11.8	14.5	26.0	23.2	26.0	20.0	9.0	14.1	18.9	11.5	16.5	21.2	20.2	20.2	22.9	21.0	23.5	21.1
標準偏差	7.0	1.8	3.2	3.2	3.6	4.5	4.9	5.7	6.4	4.6	0.7	-	6.5	-	-	-	8.0	7.3	2.1	4.9	2.8	4.3	5.5	3.1	6.4	2.0	5.8
最小	12	20	21	17	13	14	11	11	7	6	14	26	11	26	20	9	7	5	10	13	13	6	2	17	7	20	4
最大	27	25	33	32	31	33	32	35	34	29	15	26	30	26	20	9	24	29	13	20	27	27	28	29	29	27	32
～2mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
～4mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
～6mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0
～8mm	0	0	0	0	0	0	0	0	5	4	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	1	0	0	2	0	3
～10mm	0	0	0	0	0	0	0	0	11	11	0	0	0	0	0	1	1	8	1	0	0	0	0	0	0	0	4
～12mm	1	0	0	0	0	0	3	2	19	11	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	1	0	1
～14mm	0	0	0	0	1	1	0	0	18	3	1	0	0	0	0	0	0	4	1	1	1	0	0	0	1	0	2
～16mm	0	0	0	0	0	0	2	4	13	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	0	2
～18mm	0	0	0	5	0	3	3	1	15	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2	1	3	0	0	1
～20mm	4	2	0	20	3	1	6	1	16	1	0	0	0	0	1	0	0	5	0	1	10	7	1	1	2	1	5
～22mm	6	2	2	26	7	3	10	6	17	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	6	14	8	4	5	3	19
～24mm	8	1	8	38	6	7	6	2	7	1	0	0	2	0	0	0	1	11	0	0	7	5	6	7	1	7	14
～26mm	4	1	3	51	11	4	6	4	15	0	0	1	1	1	0	0	0	9	0	0	0	1	2	3	6	4	12
～28mm	2	0	2	36	4	5	4	1	9	0	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0	2	1	2	1	1	1	5
～30mm	0	0	4	15	3	1	1	1	6	1	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0
～32mm	0	0	0	7	2	2	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
～34mm	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～36mm	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～38mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～40mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

コラム	C19						C24							C25								C27						
層序	23	25'	25'	25'	25'	35	15'	18'	18'	18'	16	17	25'	23	25'	25'	25'	25'	25'	35	43	15'	18'	18'	18'	18'	18'	36
細分	3	2	3	4	4	1	1	1	2	3	1	1	3	1	1	2	4	6	8	1	1	1	2	8	9	13	15	1
N	130	6	5	13	76	26	12	122	34	27	80	57	22	117	15	47	13	57	321	26	1	108	48	334	138	95	39	85
平均	18.8	13.3	18.8	23.9	23.6	18.1	21.9	22.2	11.4	11.5	12.7	16.1	21.1	19.8	16.2	16.3	16.2	11.7	22.1	19.7	11.0	21.8	17.9	14.7	11.7	12.3	10.8	12.2
標準偏差	6.2	3.4	8.9	6.0	5.6	4.8	3.1	3.9	4.9	4.7	4.9	6.4	4.0	5.8	6.2	4.8	7.5	4.3	6.2	6.1	-	5.7	5.3	6.4	5.9	6.5	4.7	3.6
最小	5	10	9	10	8	8	17	7	7	6	7	7	15	8	8	9	6	6	7	9	11	2	8	5	5	5	6	6
最大	32	18	30	34	38	28	29	30	30	23	29	28	29	31	31	26	30	26	38	29	11	38	26	30	30	38	24	26
～2mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～4mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
～6mm	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	2	0	8	9	9	4	1
～8mm	5	0	0	0	1	1	0	1	8	3	6	4	0	2	1	0	0	8	2	0	0	2	2	58	45	24	8	5
～10mm	8	2	1	1	1	0	0	2	11	12	26	8	0	6	1	6	2	16	10	3	0	3	4	75	34	21	14	29
～12mm	13	1	1	0	0	3	0	1	10	5	21	10	0	8	0	6	3	11	12	2	1	3	4	31	12	12	6	19
～14mm	13	1	0	0	4	0	0	1	1	2	13	11	0	11	5	7	1	9	20	2	0	0	3	9	7	2	1	13
～16mm	7	0	0	0	4	5	0	3	1	0	1	0	5	7	4	8	1	5	24	1	0	3	4	5	2	3	1	10
～18mm	6	2	0	0	4	6	2	8	0	1	4	3	1	10	2	6	1	0	22	2	0	6	4	21	1	4	1	3
～20mm	14	0	1	0	6	3	1	11	0	0	0	1	3	15	0	3	1	1	27	1	0	9	5	35	8	7	0	0
～22mm	24	0	0	5	4	3	5	38	1	0	2	5	3	15	0	6	0	1	28	2	0	13	13	41	6	2	1	4
～24mm	15	0	1	1	13	2	2	20	0	3	3	8	7	17	0	1	1	2	52	8	0	32	5	39	7	6	3	0
～26mm	14	0	0	3	17	2	1	23	1	0	1	5	0	9	0	4	0	1	42	3	0	22	4	8	4	3	0	1
～28mm	5	0	0	1	12	1	0	12	0	0	2	2	2	9	0	0	0	0	40	1	0	9	0	2	2	1	0	0
～30mm	2	0	1	0	6	0	1	2	1	0	1	0	1	5	1	0	2	0	19	1	0	1	0	2	1	0	0	0
～32mm	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～34mm	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～36mm	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～38mm	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	2	0	0	0	1	0	0
～40mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第 134 表　ハマグリ殻長（層序単位）

層序	9	11	11′	12	13	14	15	15'	16	17	18	18′	21	22	23	24	25	25′	27	31	32	33	34	35	36	40	42	43	44	計
N	3	42	7	2	14	54	12	61	2	18	129	626	714	122	147	32	115	374	11	5	6	6	20	18	4	1	4	40	1	2590
平均	41.7	49.4	47.7	59.7	66.6	58.5	60.4	53.3	42.7	49.9	57.8	54.2	49.8	50.0	49.1	53.3	57.0	53.0	50.3	53.8	48.8	49.4	54.0	30.2	48.7	66.9	36.3	36.1	32.0	52.1
標準偏差	12.9	13.7	4.6	6.0	21.4	9.2	10.3	11.1	18.1	17.8	10.1	11.1	8.9	11.5	10.2	10.1	16.1	11.6	7.1	8.2	6.9	14.0	10.8	13.2	9.1	-	14.2	16.0	-	11.7
最小	29.8	9.9	44.1	55.5	27	38.4	46.9	32.7	29.8	21.3	32.7	8	28	27	27	32.7	18.5	8	41.5	44.1	39.4	35.5	41.2	12.8	37	66.9	21.3	14.4	32	8
最大	55.5	83	55.5	64	91	86.8	78.2	87.5	55.5	84	95	106	110	83.9	83.9	81.5	101	83.9	64	64	58.3	72.5	83.9	64	58.3	66.9	48.3	88.5	32	110
～10mm	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
～12mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～14mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
～16mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
～18mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4
～20mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	5	0	8
～22mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	8
～24mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
～26mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	9
～28mm	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	10
～30mm	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	0	14
～32mm	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	11
～34mm	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	2	7	4	1	4	1	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	31
～36mm	0	4	0	0	0	0	0	4	0	0	2	4	10	6	7	0	3	7	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	50
～38mm	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	8	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	18
～40mm	1	4	0	0	0	3	0	1	0	2	1	20	38	7	12	1	3	15	0	0	1	1	0	3	0	0	0	4	0	117
～42mm	0	3	0	0	0	1	0	0	0	3	1	31	56	14	19	2	10	22	1	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	169
～44mm	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	19	47	6	1	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	86
～46mm	0	5	3	0	0	0	0	6	0	0	5	65	115	21	13	4	7	19	3	1	1	1	3	0	0	0	0	1	0	273
～48mm	0	2	2	0	0	0	1	5	0	1	5	43	75	9	12	2	3	24	2	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	191
～50mm	0	2	0	0	0	3	2	6	0	0	9	54	80	12	14	2	9	36	1	0	1	0	3	0	0	0	2	2	0	238
～52mm	0	2	0	0	0	0	0	2	0	1	5	18	31	3	3	2	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78
～54mm	0	0	1	0	2	5	2	7	0	0	15	57	60	5	12	4	6	26	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	204
～56mm	1	2	1	1	0	11	0	6	1	2	13	73	38	5	11	3	5	38	0	1	1	0	2	1	0	0	0	4	0	220
～58mm	0	2	0	0	0	4	0	3	0	1	10	17	27	2	0	1	0	21	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	90
～60mm	0	4	0	0	0	5	0	4	0	0	10	46	35	4	14	4	11	34	2	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	178
～62mm	0	1	0	0	0	7	2	3	0	0	10	36	23	3	7	0	8	15	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	116
～64mm	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	6	10	9	1	1	1	0	18	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	52
～66mm	0	3	0	1	1	4	1	2	0	1	9	31	21	7	4	2	6	20	1	1	0	0	2	1	0	0	0	1	0	119
～68mm	0	1	0	0	0	4	2	1	0	1	8	16	9	1	5	1	6	9	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	65
～70mm	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	8	15	6	1	2	0	5	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56
～72mm	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	9	3	2	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22
～74mm	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	1	15	6	4	0	0	5	9	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	45
～76mm	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	12	5	3	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
～78mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
～80mm	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
～82mm	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	5	2	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
～84mm	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	2	1	1	0	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	14
～86mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
～88mm	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
～90mm	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
～92mm	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
～94mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
～96mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
～98mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～100mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
～102mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
～104mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～106mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
～108mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～110mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
～112mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第 135 表　ハマグリ殻長（細分層単位）（1）

コラム	C2			C10																				C11
層序	12	14	27	13	14			18		21		22			24	25′			31	32	33	34		9
細分	2	6	1	3	2	7	9	5	8	4	8	2	9	13	3	1	9	10	1	1	1	1	2	3
N	2	2	11	3	3	3	37	27	11	195	295	25	56	18	15	18	219	9	5	6	6	19	1	3
平均	59.7	39.8	50.3	60.5	53.2	55.5	58.8	56.6	52.9	48.5	47.0	51.6	48.0	50.3	53.5	56.2	54.9	50.4	53.8	48.8	49.4	53.7	58.3	41.7
標準偏差	6.0	2.0	7.1	12.9	13.6	4.9	5.9	5.3	5.2	8.3	6.3	11.1	11.5	10.7	12.7	8.2	8.8	12.7	8.2	6.9	14.0	11.0	-	12.9
最小	55.5	38.4	41.5	52.6	38.4	52.6	38.4	48.6	44.1	28.0	30.2	38.4	27.0	29.3	38.4	39.0	32.7	29.8	44.1	39.4	35.5	41.2	58.3	29.8
最大	64.0	41.2	64.0	75.4	65.1	61.2	69.7	67.1	61.2	81.1	69.7	83.9	81.0	75.4	81.5	68.6	77.1	73.0	64.0	58.3	72.5	83.9	58.3	55.5
～10㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～12㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～14㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～16㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～18㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～20㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～22㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～24㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～26㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～28㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～30㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
～32㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～34㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
～36㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	4	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0
～38㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～40㎜	0	1	0	0	1	0	1	0	0	8	20	2	4	0	1	1	5	1	0	1	1	0	0	1
～42㎜	0	1	1	0	0	0	0	0	0	20	30	2	10	1	2	0	9	1	0	0	0	3	0	0
～44㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	32	1	4	1	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0
～46㎜	0	0	3	0	0	0	0	0	2	40	55	4	7	5	4	1	10	0	1	1	1	3	0	0
～48㎜	0	0	2	0	0	0	0	0	0	23	36	1	4	2	0	1	16	0	1	1	1	1	0	0
～50㎜	0	0	1	0	0	0	1	4	0	24	33	6	4	0	0	0	23	1	0	1	0	3	0	0
～52㎜	0	0	0	0	0	0	0	2	2	9	17	0	1	2	1	3	6	0	0	0	0	0	0	0
～54㎜	0	0	1	2	0	2	2	3	2	15	24	2	1	1	0	0	19	2	0	0	0	0	0	0
～56㎜	1	0	0	0	0	0	10	5	2	7	7	1	4	0	1	4	22	0	1	1	0	2	0	1
～58㎜	0	0	0	0	1	0	3	4	2	7	10	0	0	2	0	0	16	2	0	0	0	1	0	0
～60㎜	0	0	2	0	0	0	4	2	0	3	10	2	1	0	2	2	24	0	1	1	1	0	1	0
～62㎜	0	0	0	0	0	1	6	2	1	2	5	0	1	0	0	1	11	0	0	0	0	1	0	0
～64㎜	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	1	1	0	0	1	0	14	0	0	0	0	2	0	0
～66㎜	1	0	1	0	1	0	3	3	0	3	2	0	2	2	1	2	14	0	1	0	0	2	0	0
～68㎜	0	0	0	0	0	0	4	1	0	3	1	0	1	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0
～70㎜	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	1	0	0	1	11	0	0	0	0	0	0	0
～72㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～74㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	3	1	0	0	1	0	0	0
～76㎜	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
～78㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
～80㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～82㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～84㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
～86㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～88㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～90㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～92㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～94㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～96㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～98㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～100㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～102㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～104㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～106㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～108㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～110㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～112㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第 136 表　ハマグリ殻長（細分層単位）（2）

コラム	C11										C17													C18	
層序	11	18	21	22		24		25	42	43	13	14	15	18				25				40	11′		
細分	4	7	3	1	3	1	3	3	1	1	2	5	1	1	2	4	7	1	2	3	4	1	1	3	
N	42	7	224	21	2	7	10	25	2	26	11	9	12	12	2	16	54	22	2	61	5	1	4	1	
平均	49.4	59.7	54.6	53.0	50.8	53.4	52.9	47.7	48.3	34.3	68.2	64.5	60.4	49.8	40.7	57.9	61.5	64.1	56.6	57.2	70.2	66.9	49.8	46.9	
標準偏差	13.7	11.5	10.3	12.1	21.5	3.9	9.5	11.5	0.0	12.8	23.4	14.4	10.3	13.1	11.3	6.6	10.7	12.6	21.8	15.8	30.0	-	5.2	-	
最小	9.9	46.9	31.3	35.5	35.5	46.9	32.7	24.2	24.2	14.4	27.0	49.8	46.9	32.7	32.7	46.9	38.4	29.8	41.2	18.5	37.0	66.9	44.1	46.9	
最大	83.0	78.2	109.5	75.4	66.0	58.3	66.5	106.0	106.0	106.0	91.0	86.8	78.2	68.3	48.6	69.7	95.0	83.9	72.0	86.8	101.0	66.9	55.5	46.9	
～10㎜	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
～12㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
～14㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
～16㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
～18㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
～20㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
～22㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
～24㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
～26㎜	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
～28㎜	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
～30㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
～32㎜	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
～34㎜	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
～36㎜	4	0	5	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
～38㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
～40㎜	4	0	10	1	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	
～42㎜	3	0	6	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	6	0	0	0	0	
～44㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
～46㎜	5	0	20	5	0	0	0	6	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
～48㎜	2	1	16	2	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	2	0	0	2	0	0	1	1	
～50㎜	2	1	23	2	0	0	2	2	2	0	0	2	2	0	1	2	1	0	0	7	0	0	0	0	
～52㎜	2	0	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
～54㎜	0	0	21	1	0	4	0	1	0	0	0	1	2	1	0	2	7	1	0	4	0	0	1	0	
～56㎜	2	2	24	0	0	0	2	1	0	3	0	1	0	0	0	2	2	1	0	3	0	0	1	0	
～58㎜	2	0	10	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	
～60㎜	4	0	22	1	0	2	0	2	0	0	0	1	0	0	0	2	6	2	0	7	0	0	0	0	
～62㎜	1	0	16	2	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	6	3	0	4	0	0	0	0	
～64㎜	2	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	
～66㎜	3	0	16	2	1	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0	3	2	4	0	1	0	0	0	0	
～68㎜	1	1	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	1	0	1	4	1	0	4	0	1	0	0	
～70㎜	0	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	5	1	0	3	0	0	0	0	
～72㎜	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	
～74㎜	1	0	5	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	2	1	0	0	0	
～76㎜	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	
～78㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	
～80㎜	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	3	0	0	0	0	
～82㎜	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
～84㎜	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	
～86㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
～88㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	
～90㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
～92㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
～94㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
～96㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
～98㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
～100㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
～102㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
～104㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
～106㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
～108㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
～110㎜	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
～112㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

第 137 表　ハマグリ殻長（細分層単位）（3）

コラム	C18					C19						C24							C25					
層序	11′	15′	18′			23	25′			35	44	15′	18′			16	17	25′	23	25′				
細分	4	3	3	9	17	3	2	3	4	1	1	1	1	2	3	1	1	3	1	1	2	4	6	8
N	2	30	22	8	31	120	1	11	8	15	1	23	51	1	2	2	18	10	27	12	21	17	10	38
平均	44.1	55.0	56.9	56.6	58.0	49.5	13.0	52.6	56.3	28.0	32.0	47.8	52.6	66.9	59.7	42.7	49.9	57.9	47.6	56.8	44.0	50.9	50.9	45.6
標準偏差	0.0	8.7	13.5	13.2	15.1	10.5	-	14.3	8.7	10.6	-	10.3	10.7	-	18.1	18.1	17.8	10.1	9.0	16.4	15.0	11.9	13.7	15.3
最小	44.1	44.0	41.0	42.5	32.7	29.8	13.0	29.8	46.9	12.8	32.0	32.7	32.7	66.9	46.9	29.8	21.3	41.2	27.0	27.0	8.0	21.3	35.5	17.0
最大	44.1	75.0	86.8	84.0	106.0	83.9	13.0	74.0	72.5	55.5	32.0	65.5	81.1	66.9	72.5	55.5	84.0	72.5	64.0	82.0	65.4	72.5	78.2	83.9
～10㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
～12㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～14㎜	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～16㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～18㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
～20㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～22㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1
～24㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～26㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1
～28㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
～30㎜	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
～32㎜	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
～34㎜	0	0	0	0	1	3	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1
～36㎜	0	0	0	0	1	6	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	2
～38㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
～40㎜	0	0	0	0	1	10	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	2	0	2	0	3	0	0	5
～42㎜	0	0	2	0	1	15	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	3	1	4	1	1	3	1	4
～44㎜	0	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
～46㎜	2	3	4	0	2	11	0	0	0	0	0	2	6	0	0	0	0	0	2	0	3	0	2	3
～48㎜	0	3	1	0	2	10	0	0	2	0	0	1	8	0	1	0	1	0	2	0	2	2	0	1
～50㎜	0	3	2	1	3	10	0	2	0	0	0	3	4	0	0	0	0	1	4	1	2	2	1	3
～52㎜	0	2	0	0	2	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
～54㎜	0	4	1	0	1	8	0	1	0	0	0	3	2	0	0	0	0	1	4	1	1	0	0	1
～56㎜	0	5	1	2	1	9	0	1	2	1	0	0	4	0	0	1	2	3	2	0	1	3	0	2
～58㎜	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0
～60㎜	0	1	3	1	2	12	0	0	1	0	0	2	4	0	0	0	0	1	2	0	0	2	2	2
～62㎜	0	0	1	0	2	7	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0
～64㎜	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1
～66㎜	0	0	0	0	4	3	0	0	1	0	0	1	3	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1
～68㎜	0	1	1	0	1	5	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0
～70㎜	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
～72㎜	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
～74㎜	0	1	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0
～76㎜	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
～78㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
～80㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
～82㎜	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
～84㎜	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
～86㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～88㎜	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～90㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～92㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～94㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～96㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～98㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～100㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～102㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～104㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～106㎜	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～108㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～110㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～112㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第 138 表　ハマグリ殻長（細分層単位）（4）

コラム	C25			C27						
層序	35	42	43	15′	18′					36
細分	1	1	1	1	2	8	9	13	15	1
N	3	2	14	8	8	184	274	42	1	4
平均	41.2	53.6	39.3	62.2	60.4	52.8	54.0	58.4	41.2	48.7
標準偏差	21.5	4.0	20.9	14.4	17.2	10.6	10.2	11.7	-	9.1
最小	21.3	21.3	15.0	44.1	32.7	28.4	8.0	41.2	41.2	37.0
最大	64.0	27.0	88.5	87.5	78.0	89.0	92.5	86.8	41.2	58.3
～10㎜	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
～12㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～14㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～16㎜	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
～18㎜	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
～20㎜	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
～22㎜	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
～24㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～26㎜	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
～28㎜	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
～30㎜	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0
～32㎜	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0
～34㎜	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0
～36㎜	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
～38㎜	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1
～40㎜	1	0	1	0	0	11	7	0	0	0
～42㎜	0	0	2	0	1	6	10	5	1	0
～44㎜	0	0	0	0	0	6	7	0	0	0
～46㎜	0	0	0	1	0	24	27	2	0	0
～48㎜	0	0	0	1	1	9	20	1	0	1
～50㎜	0	0	2	0	0	14	25	5	0	0
～52㎜	0	0	0	0	0	7	7	1	0	0
～54㎜	0	0	0	0	0	17	33	2	0	1
～56㎜	0	0	1	1	0	19	42	4	0	0
～58㎜	0	0	0	0	0	8	8	1	0	0
～60㎜	0	0	0	1	0	13	18	5	0	1
～62㎜	0	0	0	0	0	9	19	2	0	0
～64㎜	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0
～66㎜	1	0	1	1	1	8	12	3	0	0
～68㎜	0	0	0	0	0	3	8	1	0	0
～70㎜	0	0	0	1	0	7	3	3	0	0
～72㎜	0	0	0	0	1	3	2	0	0	0
～74㎜	0	0	0	1	2	2	4	3	0	0
～76㎜	0	0	0	0	0	3	7	1	0	0
～78㎜	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0
～80㎜	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
～82㎜	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
～84㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～86㎜	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
～88㎜	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
～90㎜	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
～92㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～94㎜	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
～96㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～98㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～100㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～102㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～104㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～106㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～108㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～110㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～112㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ハマグリブロック

区	B2			A1			A4				計
層序	18			18			18				
回	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	
N	110	74	8	24	173	334	428	138	15	3	1307
平均	62.5	59.5	56.8	49.9	50.9	51.2	62.1	63.6	61.8	66.5	57.7
標準偏差	12.2	13.0	12.5	8.3	6.5	5.1	11.7	10.1	15.5	14.0	11.2
最小	40.7	36.5	40.7	39.7	38.7	40.4	7.1	32.7	46.9	50.3	7.1
最大	94.2	87.4	74.3	72.8	79.4	68.8	92.8	89.4	92.2	75.4	94.2
～10㎜	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
～12㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～14㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～16㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～18㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～20㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～22㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～24㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～26㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～28㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～30㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～32㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～34㎜	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
～36㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～38㎜	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	3
～40㎜	0	2	0	1	2	0	1	0	0	0	6
～42㎜	1	0	1	0	1	5	4	0	0	0	12
～44㎜	3	2	1	5	10	10	9	0	0	0	40
～46㎜	2	3	0	5	21	33	17	3	0	0	84
～48㎜	6	5	0	2	30	56	26	3	2	0	130
～50㎜	5	4	0	1	24	45	17	3	3	0	102
～52㎜	7	4	2	3	28	50	18	3	1	1	117
～54㎜	7	10	0	3	18	48	21	7	1	0	115
～56㎜	6	4	0	0	15	31	17	14	0	0	87
～58㎜	9	6	0	1	6	21	29	7	2	0	81
～60㎜	6	4	1	0	5	14	27	13	0	0	70
～62㎜	6	0	0	0	0	10	16	10	0	0	42
～64㎜	6	1	0	0	2	6	27	6	0	0	48
～66㎜	6	6	0	1	1	1	37	13	0	0	65
～68㎜	5	2	1	1	4	2	24	11	1	0	51
～70㎜	3	1	1	0	3	2	23	9	2	0	44
～72㎜	6	1	0	0	2	0	22	10	0	0	41
～74㎜	9	1	0	1	0	0	21	7	0	1	40
～76㎜	1	6	1	0	0	0	17	5	0	1	31
～78㎜	0	2	0	0	0	0	12	0	0	0	14
～80㎜	4	0	0	0	1	0	12	2	1	0	20
～82㎜	3	4	0	0	0	0	14	2	0	0	23
～84㎜	5	2	0	0	0	0	3	4	0	0	14
～86㎜	1	1	0	0	0	0	4	2	0	0	8
～88㎜	0	1	0	0	0	0	2	2	0	0	5
～90㎜	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	4
～92㎜	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	4
～94㎜	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3
～96㎜	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
～98㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～100㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～102㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4　栄町貝塚の堆積物から抽出された微小貝類遺体

千葉県立中央博物館　黒住 耐二

栄町貝塚は、隣接する縄文時代中期～後期の中里貝塚と同様な時期にマガキを中心としてハマグリ・ヤマトシジミを食用に処理した「ハマ貝塚」と認識される遺跡である。

本遺跡の９カ所からコラムサンプルが採取され（第 92・93 図）、1.0㎜メッシュまでの水洗選別が行われ、浮遊部分は分離せずに取り扱われた。ここでは、2.5㎜および 1.0㎜メッシュ上に残ったものを微小貝類として取り扱い、以下に報告する。

水洗・分類・同定・カウントは東京都埋蔵文化財センターで行われ、分類された微小貝類と一部の中大型種の再同定を黒住が行った。

結果

今回の分析対象となるものの詳細な結果が第 106 ～ 113、120 ～ 129 表に示されている。これらの全てのコラムサンプルから抽出された貝類遺体（一部フジツボ類を含む）は、第 87・88 表に示した腹足類（巻貝類）26 科 47 種、二枚貝類 12 科 20 種と、フジツボ類であった。貝類の場合は、中大型種でも幼貝は今回対象の微小貝類となることから、種数を示すことはできないが、巻貝ではカワザンショウガイ科・トウガタガイ科・イソマイマイ科のシラギク、二枚貝では食用になるヤマトシジミ（以下、シジミと略）とマガキの殻表にすむウネナシトマヤ（以下、ウネナシと略）の幼貝が多かった。

様々な状況から、今回の報告では、セクション（トレンチ）ごとの各コラムサンプルの結果の概略を述べることとし、詳細な個体数に関してはⅤ章３節を参照されたい。

（１）Sec.1（A1 トレンチ）

C10 コラム：5 層（約 +3.6m）から 34 層（約 +0.9m）

上部には貝は稀であったが、５・13・14 層からカワザンショウガイ（以下、カワザンショウと略）が僅かに抽出されていた。18 層から 24 層ではカワザンショウとヨシダカワザンショウ？（以下、ヨシダと略）がかなり多く、僅かに陸産種（ヒメベッコウ類似属）も見られた。22 層から 24 層でもカワザンショウとヨシダが多いものの、巻貝のシラギク・カキウラクチキレモドキ類（以下、カキウラ）も普通であった。ヒロクチカノコ・ワカウラツボや東京湾からは絶滅したクロヘナタリ・キヌカツギハマシイノミもみられた。25′層から 31 層にかけてはカワザンショウがヨシダよりも多くなり、シラギク・カワグチツボ・カキウラも目立ち、やはり現在の東京湾には生息しないオカミミガイが含まれていた。二枚貝では、シジミとウネナシの幼貝が普通で、僅かにヌマコダキガイも抽出された。32 層になると、カワグチツボ・2 種の二枚貝の幼貝が激減していた。33 層では、カワザンショウは普通なものの、ヨシダは見られなかった。34 層ではフジツボが目立っていた。

（２）Sec.2（B1・A2 トレンチ）

ａ．C2 コラム：10 層（約 +3.6m）から 27 層（約 +2.6m）

上部ではカワザンショウとカキウラが僅かに見られた程度で、下部ではカワザンショウが多くなり、ヨシダやシジミ幼貝がごく僅かという状況であった。

b．C11 コラム：14 層（約 +3.3m）から 44 層（約 +0.8m）

上部の 18 層（マガキ・ハマグリ層）まではほとんど貝は含まれていなかった。中部の 21 層から 25 層ではカワザンショウが普通で、クリイロカワザンショウも少しみられ、ヨシダも比較的多く、特に 25 層では目立っていた。ヒロクチカノコ・クロヘナタリも抽出され、シラギクは多かったものの、カワグチツボは得られなかった。シジミ・ウネナシの幼貝も僅かであった。下部の 40・41 層ではカワザンショウは普通なものの、他の種は少なく、ただカワグチツボが少数認められた。42 層でも貝はほとんどなかった。43 層は自然貝層とされ、中大型種ではオオノガイ・アサリ・シオフキ・ナミマガシワ・ヒメシラトリ等が確認されているものの、微小貝類はほとんど含まれていなかった。

c．C25 コラム：23 層（約 +1.2m）から 43 層（約 +0.6m）

上部ではカワザンショウが多く、ヨシダが少しで、シラギクが普通、カキウラも僅かであり、ヒロクチカノコ・クロヘナタリ・ワカウラツボ・ヒメベッコウ類似属等、シジミ等の二枚貝幼貝も僅かに認められた。C25 コラムの上部に特徴的な主として、ホソマキギヌの一種・ヨコイトカケギリ類・マルテンスマツムシが得られた。中大型種ではサビシラトリが存在した。下部にはカワザンショウが僅かに抽出されていた程度で、中大型種ではオオノガイが確認されていた。

d．C27 コラム：15′層（約 +1.4m）から 36 層（約 +0.4m）

上部の 15′層ではカワザンショウが少しで、クリイロカワザンショウ・ヨシダも僅かであった。カキウラやシジミとウネナシの幼貝も稀であった。中部の 18′層ではカワザンショウが普通となり、他の 2 種のカワザンショウガイ類も稀ではなく、少数であったがキュウシュウクビキレ・ナギサノシタタリ・ツボミも見つかっていた。ウネナシの幼貝は多く、シジミ幼貝も普通で、ヌマコダキガイも存在していた。下部の 36 層になると、カワザンショウやウネナシ幼貝が少し抽出されていたもののシジミは見られなかった。一方フジツボは多かった。

（3）Sec.3（B3・A4 トレンチ）

C19 コラム：23 層（約 +1.0m）から 44 層（約 +0.5m）

上部の 23・25′層では、カワザンショウ・シラギク・ヌマコダキガイ等が少し得られていた。中部の 35 層では、上部の種が認められたものの、個体数はかなり少なくなっていた。中大型種では、オオノガイが普通で、サビシラトリも含まれていた。下部は自然貝層の 43 層でアサリ・サルボオ・シオフキ・ヒメシラトリ・マテガイ等の中大型種に、微小種のシマモツボが僅かに含まれていた。最下部の 44 層では、前述の中大型種やマガキ等は得られていたものの、微小種は確認されなかった。

（4）Sec.4（B4・A5 トレンチ）

a．C17 コラム：11 層（約 +3.3m）から 40 層（約 +2.0m）

このコラムではほとんどカワザンショウのみが抽出され、中部の 15 層と 25 層で普通であったものの、他の層ではごく稀であった。中部にカキウラが少し見られた。

b．C24 コラム：15′層（約 +1.7m）から 25′層（約 +0.3m）

このコラムでもカワザンショウが全体から抽出されており、中部の 18′・16 層（層順は上下で逆となっている）で抽出数がやや多くなっており、クリイロカワザンショウ・ヨシダも少数認められた。カキウラも上・中部で認められた。18′層では特徴的にウミゴマツボやウネナシトマヤ・シジミ幼貝やヌマコダキガイが存在していた。16 層でサビシラトリが、下部の 25′層でオオノガイが含まれて

いた。下部の 17・25′層からはカワザンショウが僅かに得られていただけであった。

（5）Sec.5（A5 北西側南北セクション）

C18 コラム：11′層（約 +2.2m）から 18′層（約 +1.5m）

上部の 11′層ではカワザンショウがやや多く、クリイロカワザンショウやカキウラ・ウネナシトマヤ幼貝も得られていた。中大型種でウミニナ類は認められなかったが、ウミニナ上に生息するツボミもみられた。中部ではカワザンショウが増加し、他のカワザンショウガイ類も得られ、ウネナシトマヤの個体数が多くなり、シジミ幼貝も含まれていた。下部の 18′層は、およそ 15′層と同様であった。

考察

（1）貝塚の景観

陸側から海側にかけて、9 カ所コラムサンプルを分析した結果、全てのサンプルでカワザンショウの抽出数が極めて多かった（第 106 ～ 113、120 ～ 129 表）。カワザンショウは内湾の潮間帯上部のアシ（ヨシ）原に高密度で生息する種である。他に抽出された微小貝類でも他のカワザンショウガイ科の種やクロヘナタリ・オカミミガイ等はアシ原にすみ、カワグチツボ・ウミゴマツボ等のアシ原の前面を含めて内湾泥底でみられる種で構成されており、貝塚は、内湾の泥質干潟の後背部のアシ原潮間帯（主に上部）に形成されていたといえる。このアシ原に形成されたという状況は、隣接した中里貝塚（樋泉ら , 2000）と同様であり、およそ連続した地理的位置と立地からも理解できよう。

本貝塚では、コラムサンプルと同じ断面の隣接した地点からも植物珪酸体（プラントオパール）や珪藻・花粉の分析結果が報告されている（パリノ・サーヴェイ , 本報告書）。植物珪酸体では、ヨシ属（＝アシ）も確認されているが、陸上に生育するタケ亜科よりも検出地点が少ないことが示されている。

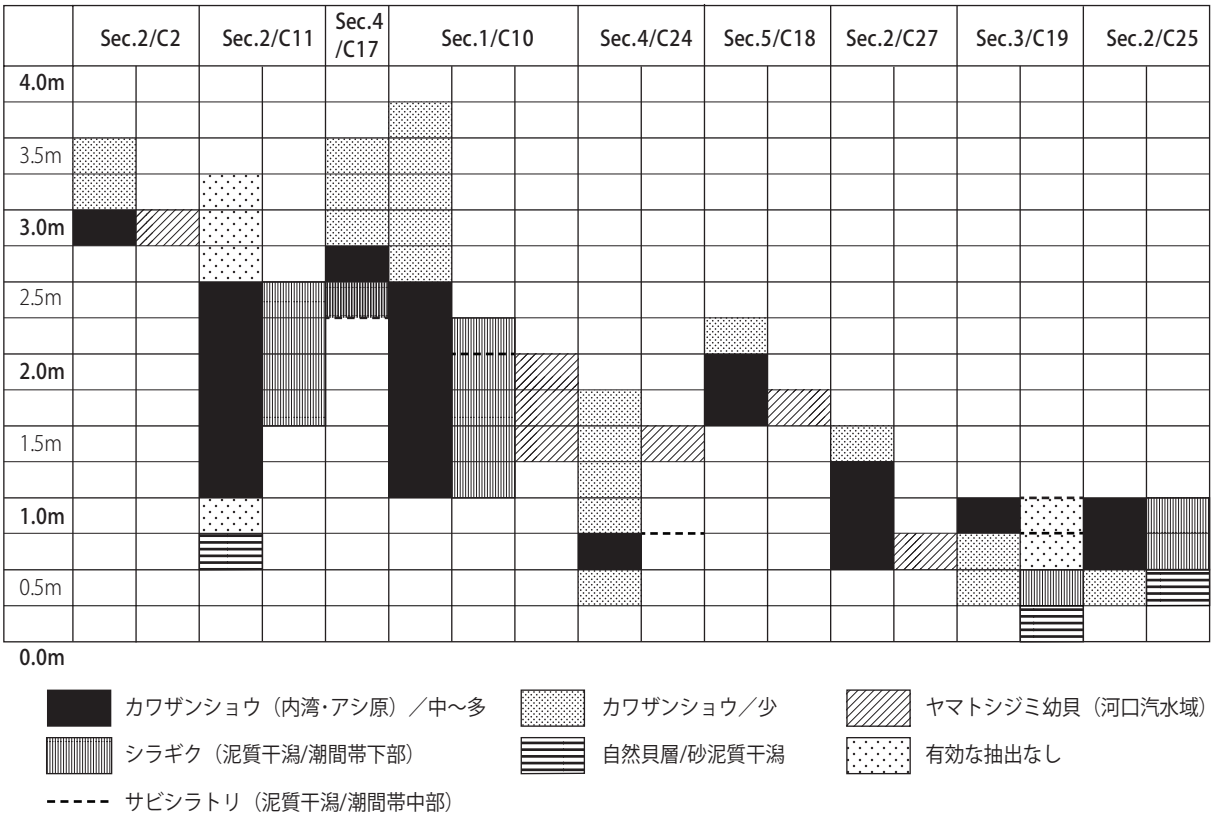
珪藻分析はかなり多くの試料（29 点）を検討した結果、有効と思われるのは 3 資料のみで、海水および海～汽水生が優占し、およそ沿岸域～内湾と推定されている。花粉分析では 10 試料が分析され、2 試料のみから明瞭な結果が得られている。その結果は、コナラ亜属がかなり多く、ヨシを含むイネ科は認められているもののかなり少ない。

植物珪酸体等の分析結果は、微小貝類から復元された「内湾奥部のアシ原潮間帯」という景観と矛盾することはないものの、明確に貝塚の “ ピンポイントの景観復元 ” を行えていないと思われる。つまり、貝塚が存在していれば、微小貝類からの復元の方が、高精度であることを明瞭に示していると考えられる。なお、植物珪酸体とともに、海綿骨針が多くの試料から検出されており、特に標高の低い Q27 で多く見られていることから、淡水性種ではなく、マガキ殻表を覆っていたカイメンに由来するものだと推測される。

（2）堆積状況

上述の中里貝塚では、およそ N1 帯の化石マガキ礁（N1a 帯）／シラギク等の内湾泥底干潟の潮間帯下・中部（N1b 帯）＋ N2 帯のヤマトシジミ等の河口域～ N3 帯のカワザンショウガイ類の優占するアシ原の潮間帯中・上部～ N4 帯のアシ原の潮上帯～ N5 帯として淡水性種・陸性種からなる陸域という堆積状況が示されている（樋泉ら , 2000）。

隣接地であることから、栄町貝塚でも結果で述べたように中里貝塚と類似した状況であることがわかった。極めて概略的であるが、今回確認できた微小貝類の優占種の産出標高を、およそ陸側から海側に向かって示した（第 109 図）。この図では、C11・C19・C25 の最下部にアサリ・サルボオ・シ



第 109 図　栄町貝塚における特徴的な微小貝類等の標高別確認状況（概略）

オフキ・ヒメシラトリ等の砂泥質干潟に生息する種からなる自然貝層を示してある（第 92・93 図の Sec.1 および Sec.3）。自生のものではなく、死後に “ 掃き寄せられた ” 他生のものであり、堆積物の淘汰の関係であろうが、微小貝類はほとんど含まれていなかった。この自然貝層は中里貝塚では認められていない。なお、中里貝塚の化石マガキ礁（N1a 帯）は、栄町貝塚ではそれ程明瞭ではなく、C19 と C24 の自然貝層の下部の砂質シルト質土層（45 層）が同じ堆積物の可能性が高い。やはり、この層からも微小貝は抽出できていない。

また、中里貝塚では現地性遺体として、波食台凹部に堆積した標高 0.2 ～ 0.3m のシルト層から、殻長 10cm 程度のオオノガイの直立した合弁個体が多数確認されている。栄町貝塚では、このような層は認められていないものの、C11・C24・C25 と主に海側でコラムの最下部からオオノガイが得られており、もしかするとこのオオノガイは中里貝塚と同時期の類似した状況のものかもしれない。

栄町貝塚では、自然貝層は明瞭に識別出来たが、その上にシラギク（N1b 帯）やヤマトシジミ幼貝（N2 帯）が、一部にはカワザンショウの多い層準（N3 帯）の下位にあるものの、多くはカワザンショウと同じレベルでみられており、やはり明瞭ではなかった。同様に、ヨシダで特徴づけられるアシ原の潮上帯（N4 帯）も、ヨシダは多く抽出されていたものの、カワザンショウとほぼ同じサンプルから抽出されていた。さらに、陸域（N5 帯）はほとんど確認できなかった。陸域の欠落は、栄町貝塚では、貝層の上部が削平されたためと想定される。

中里貝塚と比較すると、栄町貝塚では堆積状況が “ 乱れていた ” というように考えられ、このことは、カワザンショウの多く見られる標高が陸側では 1.0m ～ 3.0m 程度であったが（C2・C11・C10 等）、

海側では 1.0m 以下でも多い（C27・C19・C25）ということにも表れている（第 109 図）。中里貝塚では、カワザンショウの多い N3 帯の標高は 2.0 ～ 3.5m に位置するとされ、現生貝類の定性的な観察結果よりも生息潮位の幅が広いものの、栄町貝塚よりも幅狭く、潮間帯中部はおよそ標高 2.0m と推定されており、妥当な値と思われる。同じ状況は、中里貝塚では合弁で生位置のサビシラトリ自生個体が標高 2.0 ～ 2.3m で確認されている（樋泉ら , 2000）が、栄町貝塚では合弁の確認はできていないが、サビシラトリは 2.2m 程度と、1.0m 以下から見つかっている（第 109 図）。

栄町貝塚で、カワザンショウの優占する層位が幅広くなっている要因には、様々なことが想定されるが、一部には廃棄後の堆積した部分の小規模な崩落ということも挙げられるのかもしれない。同様な、堆積後の小規模な崩落等は、東京湾奥部の千葉県市川市の雷下遺跡の微小貝類から想定したことがある（黒住 , 2019）。また、前述した珪藻等の分析（パリノ・サーヴェイ , 本報告書）で、種々の理由で分解等により検出できない場合も示唆されている。微小貝類でも、殻が溶けている可能性の高い層位が存在しており、堆積後の淡水の影響にも起因するものではないかと考えており、これらのことが、小規模な崩落に関与している可能性もあろう。また、堆積物の性状も微小貝類の残存に影響しているようで、Sec.4 の C24 は、貝殻廃棄が別な方向から行われたのではないかと想定されており、微小貝類により何らかの相違が認められるのではないかと思われたが、堆積物の粒度が粗いようであり、抽出された個体の状態は良好ではなく、明瞭な結果を示せなかった。

（3）貝類採集活動に伴う事象

ａ．マガキ採集の季節性推定の可能性

マガキに付随して持ち込まれた微小貝類の中で、ウネナシの幼貝は集中して確認される層位が存在しており（例えば、C10 中部・C19・C24 中部等：第 91 表の 14 ～ 16 層）、これはマガキの採集季節の相違によるものかもしれない。ウネナシの繁殖期・成長のデータを未見であるので、現時点では季節を推測することはできないが、今後に検討すべき課題だと思われる。類似した例に、京都府日本海側の縄文後期・浜詰遺跡ではウネナシは幼貝しか確認できず、この遺跡の貝塚はある季節に限って形成された可能性を指摘したこともある（黒住 , 2022）。

同じく、マガキの殻表にすむと思われる微小巻貝のカキウラクチキレモドキ類の抽出数も、サンプルや層位によって多寡が存在していた（例えば、C10 中部・C17・C18 等で多かった）。貝類を含む海産無脊椎動物では、年ごとの個体数が大きく変化することも多く（年変動）、この巻貝の抽出数も年変動の結果かもしれないが、採集季節によるものの可能性も十分に想定される。

ｂ．海藻利用

海藻（アマモ等の海草を含めて）の上に生息する葉上性微小貝類の遺跡からの出土によって、海藻利用を検証できるのではないか、という研究がある。隣接の中里貝塚では、葉上性微小巻貝のシマハマツボが 400 個体以上も一つの堆積物サンプルが抽出された例があり（樋泉ら , 2000；C2）、筆者がこれまでにかかわらせて頂いた中で唯一のものである。種の存否だけではなく、その個体数や集中性が、海藻利用の判断基準となる。関東地方の縄文貝塚でも、加納（2001）が少数例を紹介している程度である。今回の栄町貝塚では、シマハマツボをはじめ葉上性微小種はほとんど抽出できず、海藻利用は明らかにできなかった。

ｃ．藻塩焼き

現在、海草のアマモ焼いた灰（藻灰）を用いて、製塩を行っていたという藻塩焼き製塩の新たな研究が進展している（阿部 , 2016）。その検証に、巻貝と同様な棲管という殻を持つウズマキゴカイ類（環形動物）の焼けた殻の集中した出土が、藻灰の根拠となっている。ウズマキゴカイ類は、水洗選別では 1mm メッシュを通過してしまう個体が大半で、今回の使用メッシュサイズだと確認できなかった可能性もある。ただ、1mm メッシュまでの水洗選別を行った千葉県袖ケ浦市の縄文後期・山野貝塚では焼けたウズマキゴカイはただ 1 個体のみの抽出であったが、少数の焼けた巻貝や貝殻片が同時に確認され、藻灰型の製塩が行われていた可能性を指摘した（黒住 , 2016）。栄町貝塚でも、マガキ殻上にもウズマキゴカイ類は付着しているものの、抽出されなかった。併せて、焼けた微小貝類もほぼ見られていないことから、栄町貝塚で藻塩焼き製塩を検証することはできなかった。

海浜部で、マガキやハマグリの加工を大規模に行っていた栄町貝塚においても、海藻利用や藻塩焼き製塩を確認できなかったことは、なかったと結論付けることはできないが、特別な加工以外には海産物利用は明確ではなく、存在していたとしても限定的であったと想定され、当時の生活実態の一断面を示すことができたと考えられる。

謝辞：興味深い本貝塚の微小貝類遺体の検討の機会を与えて頂き、水洗・分類・カウント・集計まで行っていただいた東京都埋蔵文化財センターの鈴木啓介・中島一成の両氏と困難な作業を行って頂いた方々および種々お世話になった帝京大学の植月 学氏にお礼申し上げる。本報告には、JSPS 科研費 19H00545 を用いた。

引用文献

阿部芳郎 2016「「藻塩焼く」の考古学―縄文時代における土器製塩技術の実験考古学的検討―」『考古学研究』63(1): 22-41.

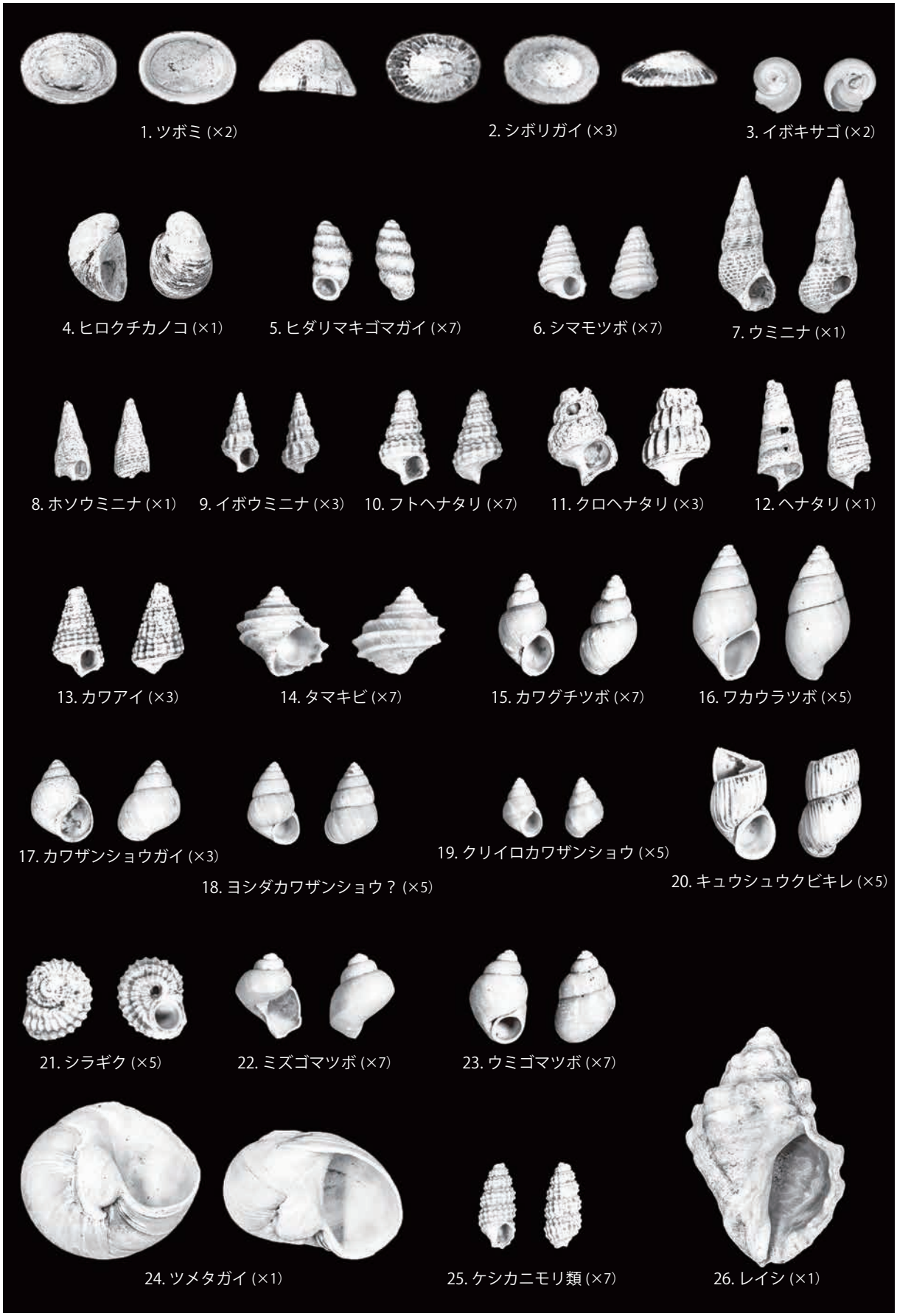
加納哲哉 2001『微小動物遺存体の研究』國學院大學大学院研究叢書 .

黒住耐二 2016「微小貝類遺体」『山野貝塚総括報告書』pp. 172-179. 袖ヶ浦市教育委員会 .

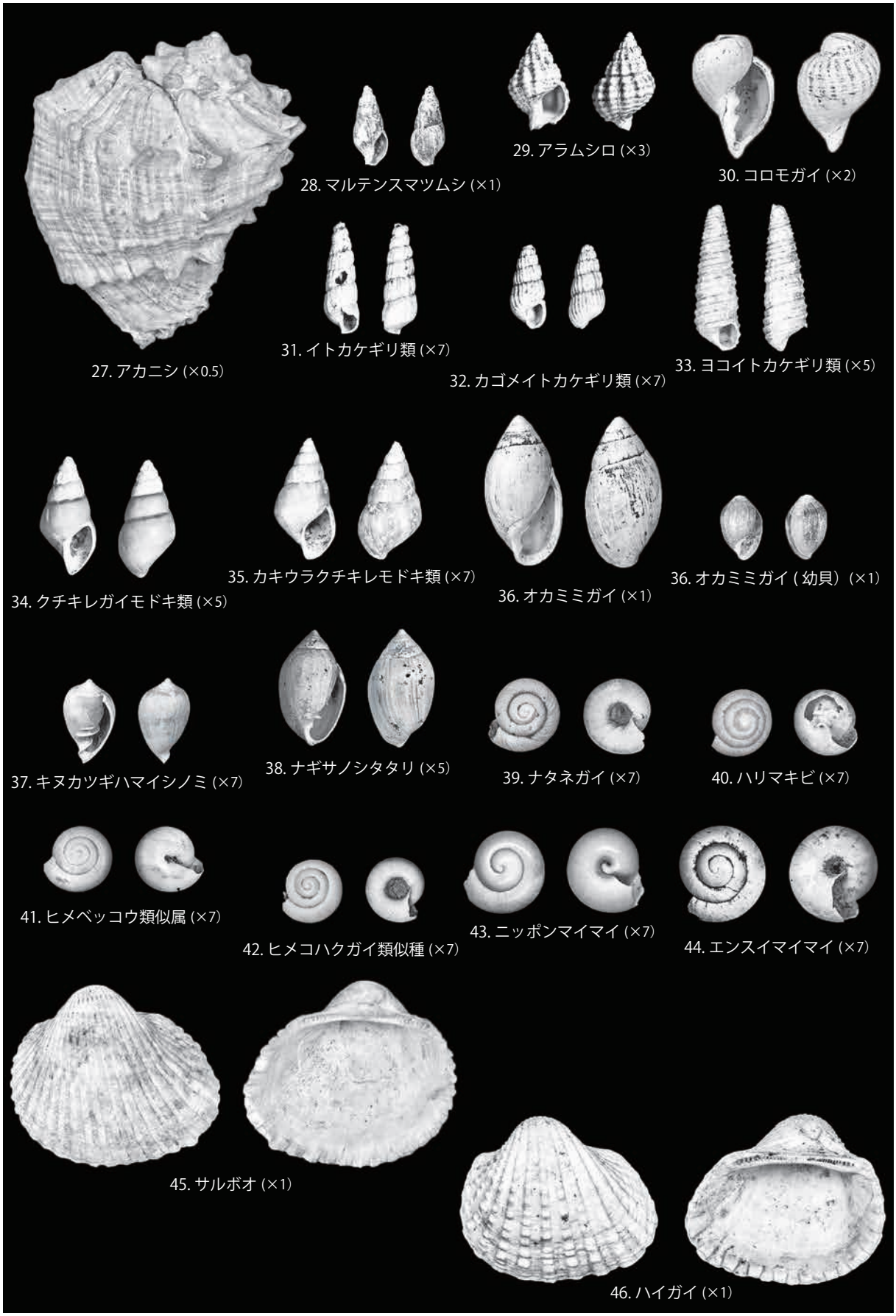
黒住耐二 2019「微小貝類」『市川市雷下遺跡 (1) ～ (4)・(7) ～ (10) ，千葉県教育振興財団発掘調査報告書』(780): 474-485.

黒住耐二 2022「浜詰遺跡の貝塚から得られた貝類遺体（予報）」『令和元～３年度市内遺跡発掘調査報告書，京丹後市文化財調査報告書』(24): 12-13,22.

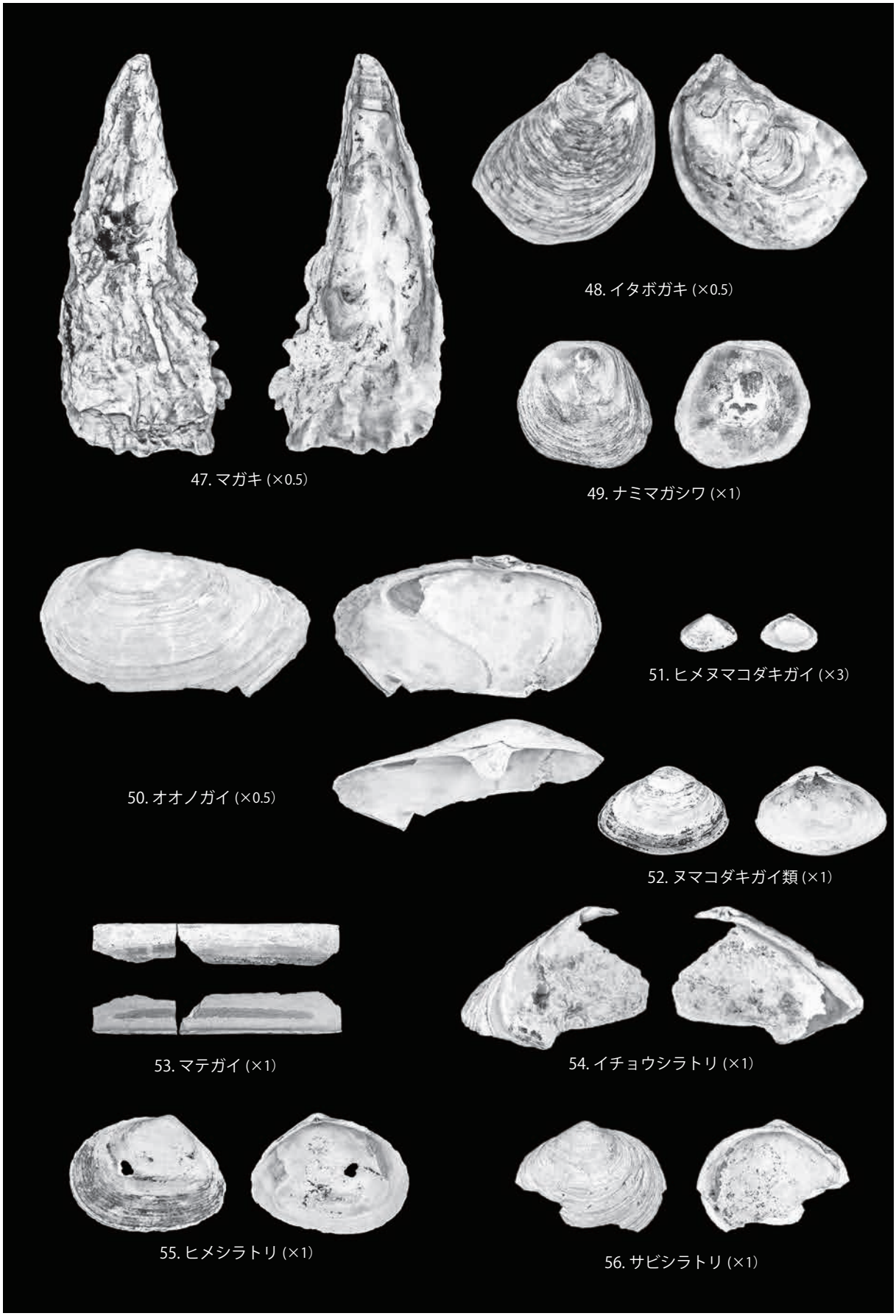
樋泉岳二・黒住耐二・山谷文人・切通雅子 2000「貝類遺体」『中里貝塚，北区埋蔵文化財調査報告書』(23)：99-171.



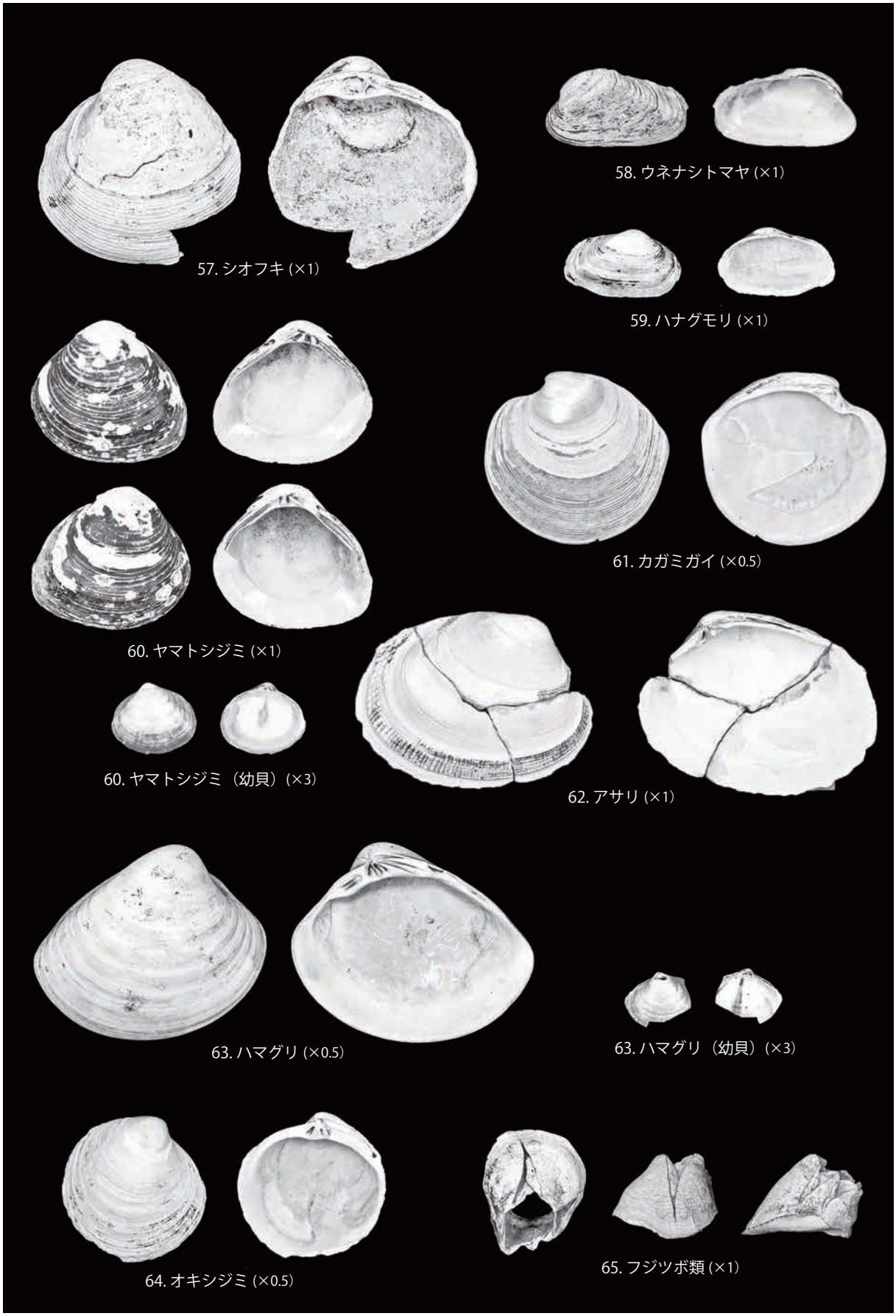
第 110 図　栄町貝塚出土貝類（1）



第 111 図　栄町貝塚出土貝類（2）



第 112 図　栄町貝塚出土貝類（3）



第 113 図　栄町貝塚出土貝類（4）

5　栄町貝塚の脊椎動物遺体 (含：カニ類)

帝京大学文化財研究所　植月　学

1　資料と方法

資料は発掘調査時の目視による回収（ピックアップ資料)、および貝層サンプルの水洗選別による回収の 2 種からなる。後者はさらに 1.0㎜まで抽出が行われたサンプル（水洗資料 a）と 2.5㎜までにとどまるサンプル（水洗資料 b）がある。水洗選別、および骨類とみなされた全資料の抽出は東京都埋蔵文化財センターにより実施され、同定は現生標本との比較をもとに筆者が行った。

2　分析結果

同定できた分類群はカニ類、軟骨魚類 2 、硬骨魚類 11、爬虫類 1（ヘビ類)、鳥類 4、哺乳類 4 であった（第 139 表)。カニ類は鉗部分が 2 点検出された。いずれも被熱している。魚類は鱗を除けば 60 点程度で、サンプル処理量に比してごく少なかった（第 140 ～ 143 表)。タイ科、マアジが主体で、コイ、エイ類、ウナギ属、スズキ属などが次ぐ。ただし、タイ科はほとんどが歯であり、コイも咽頭歯のみである。鱗は 120 点以上が確認できたが、現生標本の不備により同定に至っていない。小林（1958）の検索表との照合により、タイ科の特徴に類似する標本を確認できたが、異なるものも少なくとも 3 種含まれており、仮に TypeB ～ D に分類した。貝層内での魚類遺体の分布を把握するためにコラム単位、および層位ごとに集計したが、特に集中はみられず、全体に少量ずつ分散して含まれていたと推定される（第 144 表)。ただし、マアジはコラムでは C20、層位では 18′層とその周辺に限られており、ごく少数回の廃棄に由来する可能性もある。鱗についても 18′層付近に集中が見られた。鳥類、哺乳類はピックアップ資料が中心で、ごく少ない。平面的には陸側の調査区南半 (B 区寄り）に集中する。点上げ資料の標高は 2.0 ～ 4.0 mに分布し、おおむね貝層形成のレベルに対応する。

3　考察

本遺跡には汀線付近に形成された貝層も存在するため、魚類は自然遺体の存在も含めてその由来が問題となる。同定できた標本はいずれも淡水～汽水域や内湾性の種であり、本地域の縄文人が利用した魚類としては一般的な組成である。焼けて黒変した標本も一定数確認されたことから、人間活動に由来する標本が多く含まれると推測される。鱗については 18′層付近に集中しており、鱗を落とす行為も想定されるが、量的には数個体分であってもおかしくない程度である。魚骨、鱗の包含量からみて、本地点において魚類の活発な加工や消費が行われていたとは考えにくい。

ヘビ類やネズミ科などの小動物は人間活動に由来するか判断が難しい。鳥類も 4 分類群中 3 分類群は水鳥であり、自然遺体混入の可能性も排除できない。イヌ、イノシシ、シカについては遺跡の立地から自然遺体の混入は考えにくいが、解体痕や被熱などの人為的痕跡は確認できなかった。

以上のように、カニ類、脊椎動物遺体の検出は少量であった。それらが人為的な廃棄物であったとしても、その限定性は本遺跡が基本的に貝類の処理、消費を中心とした場であったことを示している。

小林久雄　1958「魚類の鱗の比較形態と検索」『愛知学芸大学研究報告』第 7 輯（特輯号）

第 139 表　出土動物遺体一覧（貝類以外）

軟甲綱	MALACOSTRACA		
カニ下目	BRACHYUA	サバ属	*Scomber* sp.
軟骨魚綱	CHONDRICHTHYES	フグ科	Tetraodontidae
ネズミザメ	*Lamna ditropis*	爬虫綱	REPTILIA
イタチザメ	*Galeocerdo cuvier*	ヘビ亜目	OPHIDIA
エイ亜区	BATOIDEA	鳥綱	AVES
硬骨魚綱	OSTEICHTHYES	ガン族	Anserini
ウナギ属	*Anguilla* sp.	ミズナギドリ科	Procellariidae
ニシン科	Clupeidae	カモメ科	Laridae
コイ	*Cyprinus carpio*	カラス科	Corvus
コチ科	Platycephalidae	哺乳綱	MAMMALIA
スズキ属	*Lateolabrax* sp.	イヌ	*Canis familiaris*
ブリ属	*Seriola* sp.	イノシシ	*Sus scrofa*
マアジ	*Trachurus japonicus*	ニホンジカ	*Cervus nippon*
ヘダイ	*Rhabdosargus sarba*	ネズミ科	Muridae
ニベ科	Sciaenidae		

第 140 表　ピックアップ資料同定結果

種	部　位	位　置	左右	数	備　考	計測	資料番号	区	G	No.	出土位置	重量 (g)
ガン族	上腕骨	近位部 - 遠位部	右	1	－	－	721	A	D-8	03		7.5
カモメ科	上腕骨	骨幹 - 遠位端	右	1	小型	Bd:9.7	299	B	C-6	09		1
鳥類	頸椎	完存	－	1	－	－	一括	A	－	05	A5 一括	1.2
イヌ	橈骨	完存	左	1	遠位端未癒合	Bd:16.4	一括	B	－	12	B4 一括	5.1
イノシシ	頸椎	完存	－	1	風化	Bpacr:48.0 BFcr:28.8 HFcr: 21.0	一括	A	－	04	A2 一括	20.3
イノシシ	肩甲骨	近位端 - 骨幹	右	1	－	SLC:29.5 GLP:40.2 LG:33.6 BG:30.0	219	B	C-5	08		65.5
イノシシ	上腕骨	骨幹 - 遠位部	左	1	pitting(遠)	SD:15.2	176	B	C-2	06		28.3
イノシシ	脛骨	近位部 - 遠位部	左	1		SD:16.1	181	B	B-8	07		31.7
イノシシ	中節骨 II/V	完存	?	1	風化		540	A	E-6	01		1.1
ニホンジカ	胸椎	完存	－	1	前半。前後骨端未癒合	BFcr:26.4 BFcd:37.5	360	B	D-5	10		12.7
ニホンジカ	肋骨	近位端	左	1	第 4 ～ 6 前後		361	B	D-5	11		3.8
ニホンジカ	中節骨	完存	?	1	－	GL:40.40 Bp:15.9	551	A	E-6	02		3.3

計測位置は Driesch（1977）による。 No.= 同定時に付与した整理番号

第 141 表　水洗資料 (a) 同定結果（1）

種	部　位	位置	左右	数	備　考	C	層　位			Tr.	㎜	No.	
カニ下目	鉗		?	1	焼	17	25	3	e	A5	2.5	131	
				1	焼。小型	25	25′	1	b	A1	2.5	152	
ネズミザメ	歯		?	1		19	35	1	b	A4	5.0	136	
ウナギ属	腹椎		—	1		27	36	1	d	A2	2.5	259	
				1	小型	27	18′	13	b	A2	2.5	250	
	尾椎		—	1		27	18′	8	p	A2	1.0	233	
ニシン科	尾椎		—	1	小型	27	18′	13	b	A2	1.0	251	
コイ	咽頭歯	A1	?	1	焼。小型	10	34	1	f	A1	1.0	122	1
		A2	右	1	焼	10	34	1	i	A1	2.5	124	1
		A3	左	1		10	25′	1	d	A1	2.5	107	
		B1	?	1	焼	10	34	1	f	A1	2.5	121	1
ヘダイ	歯		?	1		25	43	1	a	A2	5.0	154	
タイ科	歯		?	1		2	14	6	a	B1	1.0	159	
				1		10	25	1	a	A1	1.0	104	
				1		10	34	1	f	A1	1.0	122	2
				1	焼	10	34	1	f	A1	2.5	121	3
				1		10	34	2	b	A1	2.5	123	1
				1		10	25′	1	d	A1	1.0	108	
				1		19	23	1	i	A4	2.5	134	
				1	焼	19	35	1	c	A4	?	137	
				1	焼	19	25′	3	a	A4	?	283	
				1		25	23	1	f	A2	?	151	
				1	焼	27	18′	8	q	A2	2.5	236	
	腹椎		—	1		27	36	1	f	A2	5.0	261	
サバ属	尾椎		—	1		18	11	3	c	A5	5.0	132	
フグ科	擬鎖骨		右	1		18	18′	3	a	A5	5.0	133	
真骨類未同定	腹椎		—	1	第 1 椎骨？風化。ブリ属？	19	35	1	b	A4	2.5	135	
			—	1	第 1 椎骨？小型	27	36	1	i	A2	1.0	265	
			—	1	焼。カサゴ型	27	36	1	a	A2	2.5	257	
	尾椎		—	1	フグ型	27	18′	8	i	A2	1.0	217	
	鱗		?	1	タイ型	2	27	1	k	B1	5.0	160	
				1	未分類	10	25′	9	h	A1	5.0	109	
				1	未分類	10	32	1	b	A1	2.5	112	
				1	C type	10	32	1	c	A1	?	114	
				2	未分類	10	33	1	c	A1	?	115	
				1	未分類	10	33	1	e	A1	?	117	
				1	未分類	10	34	2	b	A1	2.5	123	2
				1	B type	11	42	1	f	A2	?	127	
				1	タイ型	24	16	1	s	A5	?	284	
				1	タイ型	24	17	1	v	A5	5.0	141	
				2	タイ型	24	18	1	a	A5	5.0	142	
				1	B type	24	18	1	b	A5	5.0	143	
				2	B type	24	18	1	c	A5	5.0	144	
				2	タイ型	24	18	1	t	A5	5.0	147	

第 142 表　水洗資料 (a) 同定結果（2）

種	部　位	位置	左右	数	備　考	C	層　位			Tr.	㎜	No.	
真骨類未同定	鱗		?	1	タイ型	27	18′	8	c	A2	2.5	208	
				2	タイ型	27	18′	8	d	A2	5.0	209	
				5	未分類	27	18′	8	d	A2	2.5	210	
				1	未分類	27	18′	8	g	A2	2.5	214	
				1	未分類	27	18′	8	g	A2	5.0	213	
				1	タイ型	27	18′	8	h	A2	5.0	215	
				2	未分類	27	18’	8	h	A2	5.0	216	
				5	タイ型	27	18′	8	j	A2	5.0	219	
				3	未分類	27	18′	8	j	A2	5.0	218	
				1	B type	27	18’	8	k	A2	5.0	220	
				8	未分類	27	18′	8	k	A2	5.0	221	
				4	タイ型	27	18′	8	l	A2	2.5	223	
				6	タイ型	27	18′	8	m	A2	5.0	226	
				1	D type	27	18′	8	m	A2	5.0	225	
				7	未分類	27	18′	8	m	A2	2.5	227	
				2	タイ型	27	18′	8	o	A2	2.5	228	
				2	未分類	27	18′	8	o	A2	1.0	229	
				3	タイ型小	27	18′	8	p	A2	2.5	231	
				1	B type	27	18’	8	p	A2	5.0	230	
				1	未分類	27	18′	8	p	A2	1.0	232	
				2	タイ型	27	18′	8	q	A2	5.0	235	
				2	未分類	27	18′	8	r	A2	2.5	238	
				2	未分類	27	18′	8	s	A2	2.5	239	
				4	未分類	27	18′	8	w	A2	5.0	241	
				4	タイ型	27	18′	8	x	A2	2.5	243	
				1	未分類	27	18′	9	b	A2	5.0	244	
				1	タイ型小	27	18′	9	d	A2	2.5	245	
				2	B type	27	18′	9	h	A2	5.0	248	
				1	未分類	27	18′	13	a	A2	5.0	249	
				1	タイ型	27	18′	13	f	A2	2.5	253	
				1	タイ型	27	18′	15	a	A2	5.0	255	
				1	未分類	27	18′	15	a	A2	5.0	254	
				1	B type	27	18′	15	c	A2	5.0	256	
				1	未分類	24	18′	2	c	A5	?	149	
				1	B type	27	18′	8	f	A2	5.0	211	
				1	未分類	27	18′	8	f	A2	2.5	212	
				1	タイ型	27	36	1	c	A2	2.5	258	
	鱗？		?	+	未分類	10	25′	1	c	A1	?	106	
ヘビ亜目	椎骨		-	1		10	32	1	a	A1	2.5	111	
ミズナギドリ科	上腕骨	近位端 - 骨幹	左	1	焼？	19	44	1	g	A4	5.0	140	
カラス科	足根中足骨	骨幹 - 遠位端	左	1	若？	10	32	1	c	A1	5.0	113	1
ネズミ科	上顎切歯		右	1		10	21	4	g	A1	5.0	101	
ネズミ科？	下顎骨	切歯～臼歯部分歯槽。舌側	右	1		11	25	3	p	A2	2.5	126	1

C= コラムサンプル , No.= 同定時に付した番号 , ㎜ = 分離メッシュ , Tr.= トレンチ

第 143 表　水洗資料 (b) 同定結果

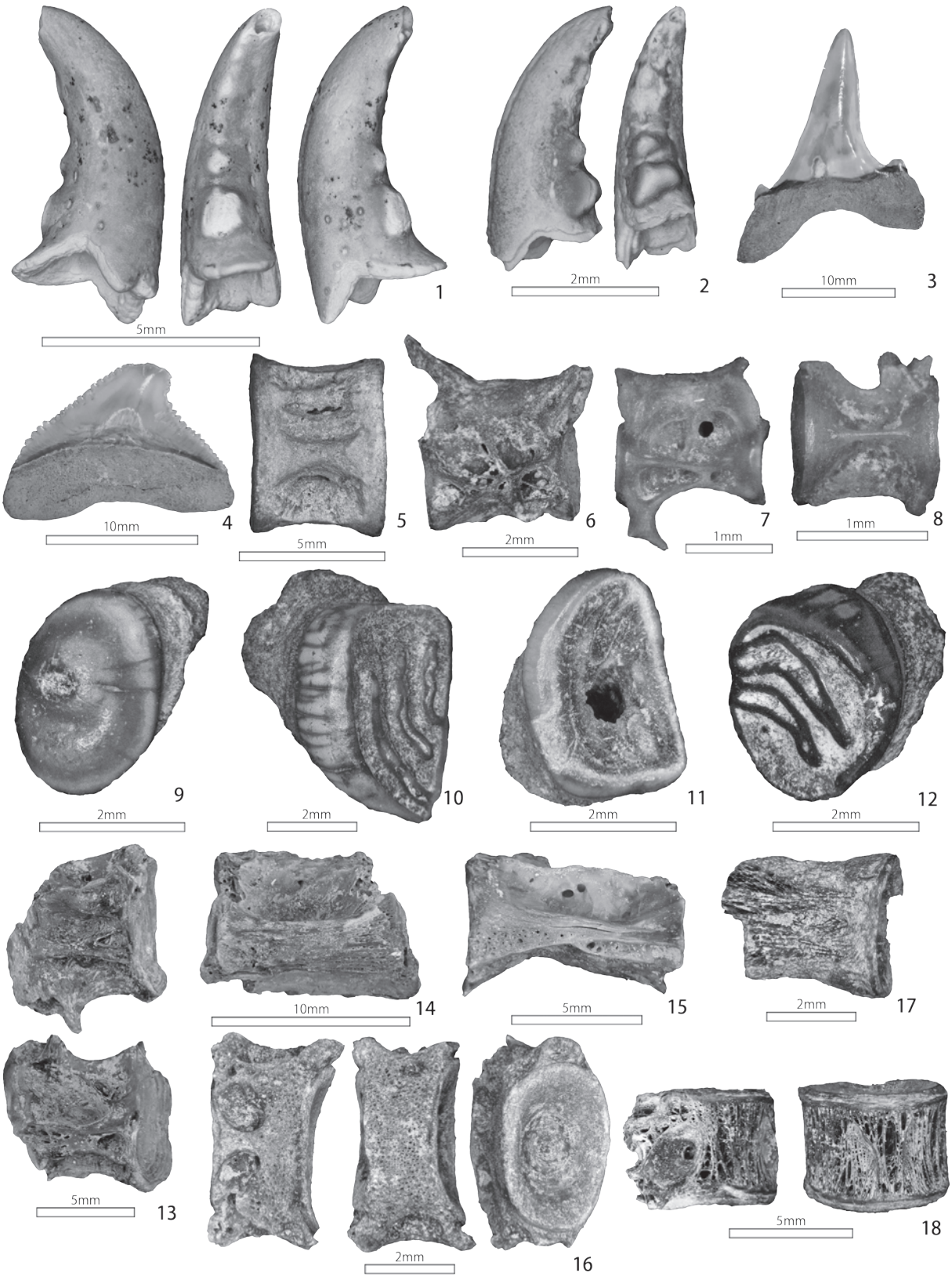
種	部　位	位　置	左右	数	備　考	C	層位			Tr	㎜	No.	
イタチザメ	歯		?	1		20	25′	4	j	A4	5.0	181	
エイ亜区	椎体		－	1		4	40	1	b	B3	2.5	166	
				1		4	30	1	e	B3	5.0	164	1
				1		6	14	2	b	B3	2.5	277	
				1		8	28	3	e	B1	2.5	174	1
ウナギ属	腹椎		－	1		1	28	1	g	B1	2.5	155	1
コイ	咽頭歯	A2	右	1		9	14	2	h	B2	2.5	179	
コイ科	腹椎			1		9	25	3	b	B2	5.0	180	
コチ科	腹椎			1		16	25	4	f	A4	5.0	129	
	尾椎			1	最後尾	1	40	1	a	B1	5.0	157	
コチ科？	第 1 椎骨		－	1	小型	23	18′	6	f	A5	2.5	194	
スズキ属	基後頭骨		－	1		8	28	3	h	B1	2.5	176	1
	腹椎			1	焼	8	25	2	d	B1	5.0	172	
			－	1		8	28	3	g	B1	2.5	175	
			－	1		8	30	1,2	b	B1	2.5	178	
ブリ属	腹椎			1		1	30	1	f	B1	5.0	156	
マアジ	主上顎骨		左	1		20	18′	7	k	A4	5.0	186	
			右	1		20	18′	7	h	A4	2.5	183	1
	前上顎骨		左	1		20	18′	7	h	A4	2.5	183	2
			左	1		28	22′	1	d	A1	2.5	267	
			右	1		20	18′	7	k	A4	2.5	185	
	歯骨		左	1		28	18′	6	h	A1	5.0	266	1
			右	1		20	18′	7	h	A4	2.5	183	3
	角骨	破片	右	1		26	18′	11	h	A2	5.0	200	
	方骨		左	1		26	18′	14	c	A2	2.5	203	
	主鰓蓋骨		右	1		28	18′	6	h	A1	5.0	266	2
	第 1 椎骨		－	1	小型	20	18′	4	e	A4	2.5	182	
	尾椎		－	1		23	18′	11	a	A5	5.0	197	
マアジ？	主上顎骨		右	1		22	18′	12	c	A5	2.5	190	
タイ科	歯		?	1		8	18	2	e	B1	2.5	171	
				1		8	28	3	e	B1	2.5	174	2
				1	焼	21	18′	10	n	A4	2.5	188	
ニベ科	前上顎骨		右	1		1	28	1	g	B1	5.0	154	1
サバ属	尾椎		－	1		4	30	1	e	B3	5.0	164	2
				1	焼	21	18′	10	o	A4	5.0	189	
真骨類未同定	鱗		?	+	未分類	6	26	3	a	B3	2.5	168	
				1	未分類	13	21	2	n	A2-3	2.5	279	
				1	未分類	13	21	3	e	A2	2.5	280	
				1	未分類	13	21	3	j	A2-3	5.0	281	
				3	タイ型	23	18′	6	a	A5	5.0	193	
				3	タイ型	23	18′	7	a	A5	5.0	195	
				2	未分類	23	18′	8	a	A5	5.0	196	
				1	未分類	23	18′	11	a	A5	5.0	198	
				1	タイ型小	23	18′	11	f	A5	5.0	199	
				1	B type	26	21′	4	o	A2	2.5	206	
				3	未分類	28	22′	7	d	A1	2.5	273	
				1	タイ型	28	22′	7	p	A1	5.0	275	
				1	タイ型小	28	22′	7	r	A1	2.5	276	
ヘビ亜目	椎体		－	1		4	25	1	b	B3	2.5	161	
イノシシ	後頭骨	底	－	1	幼獣	8	30	1,2	b	B1	5.0	177	
ネズミ科	上顎切歯		左	1		16	25	4	j	A4	2.5	128	
小型獣	脛骨？	近位端 - 骨幹	?	1		28	22′	1	i	A1	2.5	268	

C= コラムサンプル , No.= 同定時に付した番号 , ㎜ = 分離メッシュ , Tr.= トレンチ

第 144 表　魚類遺体集計（左：コラム単位、右：層序単位）

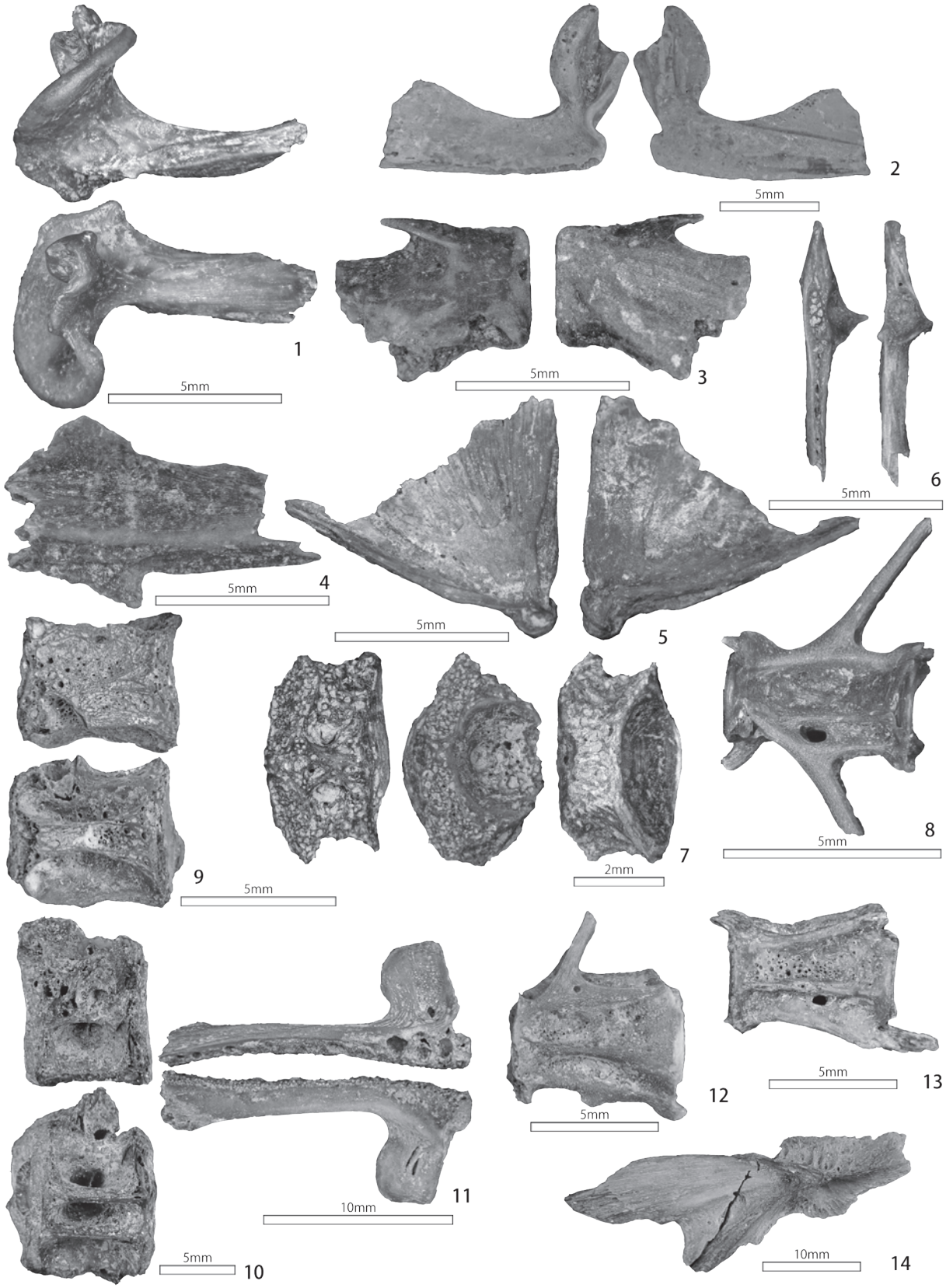
区分	コラム	魚類（右以外）	タイ科歯	コイ科咽頭歯	鱗	備考
1.0 mm まで	2		1		1	
	10		5	4	7	
	11				1	
	17					
	18	4	3			
	24				10	
	25		2			
	27	8	1		83	ウナギやや多
	計	12	12	4	102	
2.5 mm まで	1	4				
	3					
	4	3				
	5					
	6	1			+	
	7					
	8	5	2			スズキ多
	9	1		1		
	12					
	13				3	
	14					
	15					
	16	1				
	20	7				マアジ多
	21	1	1			
	22	1				
	23	2			10	
	26	2			1	
	28	3			5	マアジやや多
	計	31	3	1	19	
	総計	43	15	5	121	

層位	魚類（右以外）	タイ科歯	コイ科咽頭歯	鱗
12	1			
14	1	1	1	
16				1
17				1
18		1		7
18′	19	2		93
21				3
21′				1
22′	1			5
23		2		
25	3	1		
25′	1	2	1	1
26				+
27				1
28	5	1		
30	4			
32				2
33				3
34		3	3	1
35	2	1		
36	4			1
40	2			
42				1
43		1		
計	43	15	5	121



カニ下目[1.鉗(131) 2.鉗(152)] 3.ネズミザメ歯(136) 4.イタチザメ歯(181) 5.エイ亜区椎体(164-1) ウナギ属[6.腹椎(155) 7.尾椎(233)] 8.ニシン科尾椎(251) コイ[9.咽頭歯A1(122) 10.咽頭歯A2(124) 11.咽頭歯A3(107) 12.咽頭歯B1(121)] 13.コイ科腹椎(180) コチ科[14.腹椎(129) 15.尾椎(157)] 16.コチ科?第1椎骨(194) スズキ属[17.基後頭骨(176-1) 18.腹椎(172)]

第 114 図　カニ類・魚類（1）　（　）内は No.



マアジ[1.主上顎骨L(186) 2.前上顎骨L(183-2) 3.歯骨R(183-3) 4.角骨R(200) 5.方骨L(203) 6.主鰓蓋骨R(266-2) 7.第1椎骨(182) 8.尾椎(197)] 9.ブリ属腹椎(156) 10.タイ科腹椎(261) 11.ニベ科前上顎骨R(154) サバ属[12.尾椎(132) 13.尾椎(164)] 14.フグ科擬鎖骨(133)

第 115 図　魚類（2）　（　）内は No.

真骨類未同定[1.ブリ属第1椎骨?(135) 2.第1椎骨?(265) 3.腹椎(257) 4.尾椎(217)] 5.ヘビ亜目椎骨(111) 6.ガン族上腕骨R(3) 7.ミズナギドリ科上腕骨L(140) 8.カモメ科上腕骨R(9) 9.カラス科足根中足骨L(113-1) 10.鳥類頸椎(5)

第 116 図　魚類（3）・爬虫類・鳥類　　（　）内は No.

1.イヌ橈骨L(12) イノシシ[2.幼獣・後頭骨(177) 3.頸椎(04) 4.肩甲骨R(08) 5a.上腕骨L(06) 5b.咬痕拡大 6.脛骨L(07) 7.中節骨II/V(01)] ニホンジカ[8.胸椎(10) 9.肋骨L(11) 10.中節骨(02)] 11.ネズミ科上顎切歯左(128) 12.ネズミ科?下顎骨右(126-1) 13.小型獣脛骨?(268)

第 117 図　哺乳類　　（　）内は No.

6　栄町貝塚出土の人骨

国立科学博物館　人類研究部・人類史研究グループ
梶ケ山 真里

1．はじめに

東京都北区栄町に所在する栄町貝塚は、令和２年・３年度にわたって東京都埋蔵文化財センターによって発掘調査が行われた。周辺には西ヶ原貝塚、中里貝塚、御殿前遺跡などの縄文時代の遺跡があり、特に中里貝塚との関連が想定されている。

栄町貝塚はいわゆる「ハマ貝塚」であり、貝層の堆積状況や貝の検出状況から縄文時代の海岸線の状況が推測できる。検出された人骨は、A 区から大腿骨、B 区から前頭骨、各 1 点合計 2 点が検出されている。

なお、A 区および B 区から縄文時代前期から中期に相当する土器片が検出している。

2．検出人骨

A 区：大腿骨

破損はなく完形な状態である。骨質が非常に厚く丈夫で緻密質が厚く重量がある。マルチンによる計測値では、最大長 390㎜、中央骨体中央周 79㎜、中央断面示数 107.5（中央矢状径 24.5/ 中央横径 22.8）骨体上断面示数 80（骨体上横径 27.5/ 骨体上矢状径 22.0）である。

ちなみに、津雲縄文人の大腿骨最大長は 418㎜、畿内縄文人の大腿骨最大長は 413㎜である。大腿骨骨頭窩は、完全にはふさがっていないものの、骨増殖によってほとんど痕跡がなくなる寸前である。辺縁部に骨棘によるエッジの形成はない。骨体中央断面形は矢状径が大きく、骨体を摘まんだような形態であるものの、顕著にピラスターを形成しているとはいえない。ただし、古墳時代人以降の大腿骨に比べてピラスターは発達している。しかし、大腿骨頸部下の小転子の横方向への突出は強く、生前の腸腰筋の強い発達が考えられる。一方、骨体上部には強い扁平性はなく、骨体遠位端の下間窩は狭く、やや女性的であるものの、形態的な

第 118 図　大腿骨・前頭骨

特徴を総合すると、やはり男性の可能性が高い。

最大長から推定される身長は、藤井法によると、男性ならば約 151㎝、女性ならば約 149㎝と算定できる。縄文時代人男性平均（159.1㎝）、女性平均（148㎝）いずれにしても男女の平均身長におおむね一致する。ただし、この縄文時代の推定身長に用いた資料は、縄文時代後期以降の遺跡から出土した資料を利用している。一般に、縄文時代早前期の人骨は、それ以降の人より小柄であるといわれる。

B 区：前頭骨

左右の側頭線は縫合部分まで明瞭に確認できる。最小前頭幅（94）は大きく、右眉弓は顕著に隆起する。眉間の形態は破損しているのでわからない。左右の前頭骨頬骨突起はやや斜め方向に下垂する。眼窩上壁には栄養状態（鉄分不足）に関連するといわれるクリブラ・オルビタリア（眼窩篩）は確認できない。左右眼窩上縁はやや湾曲しており、縄文時代人特有の直線的な眼窩上縁ではない。ただし、骨体は厚みがありいわゆる眼窩上三角を形成している。内板は比較的なめらかであり、冠状縫合の鋸歯は長年の風化によりほとんどなくなっている。最小前頭幅がやや広く、右眉間の隆起が顕著であることから、おそらく男性個体と推測される。前頭骨の顔面部分の形態は、眼窩上縁が直線的であるという縄文的特徴は確認できなない。何しろこの頭蓋に伴うものは他には発見されていないので、これ以上のことは不明としか言えない。

３．検討・考察

Ａ区から大腿骨、Ｂ区から前頭骨が断片的に検出され、それぞれ成人男性と推測される。どちらも頑丈で強壮な個体を推測できるもの、明確に縄文時代人として顕著な特徴は確認できない。つまり、大腿骨断面形が強い滴状ではない点、前頭骨では眼窩上縁がやや曲線を呈し、縄文時代人に顕著にみられる直線的ではない点である。とはいえ、縄文時代以降の人骨であるならば、あまりに骨質が緻密で、腸腰筋や大腿四頭筋等の顕著な発達がうかがえ強壮な形態であることから、２点の人骨は縄文時代人のものとして矛盾はないと思われる。

参考文献

山口敏　1984.「縄文人骨」『縄文文化の研究１　縄文人とその環境』雄山閣

平本嘉助　1972.「縄文時代から現代に至る関東地方人身長の時代的変化」人類学雑誌 80　221 － 236

7　栄町貝塚出土人骨ならびに土器付着物の同位体分析

東京大学総合研究博物館　米田 穣・尾嵜 大真・大森 貴之

栄町遺跡から出土した人骨２点から残存するコラーゲンを抽出し、炭素・窒素安定同位体比から生前の食生活を推定し、あわせて放射性炭素年代を測定した。さらに、土器に付着する炭化物で炭素・窒素同位体比を測定し、土器加熱時の内容物を推定した。

資料と方法

分析試料を採取した人骨と土器付着炭化物の資料一覧を第 145 表に示す。分析に供した人骨２点はいずれも埋葬骨格ではなく散乱した状態で発見された部分骨格である。骨資料については、ダイヤモンドカッターを用いてそれぞれ 0.36g と 0.26g の小片を切り出し、アルカリ洗浄とゼラチン化による前処理に供した（Longin 1971, Yoneda et al. 2002）。まず表面から異物を除去するために、酸化アルミ粉末をサンドブラストして表層を除去して、純水中で 10 分間超音波洗浄した。これを半透膜であるセルロース膜に封入した状態で 0.4M 塩酸に漬け、40 時間 10 分にわたり 4℃で脱灰することで、無機成分ハイドロキシアパタイトを除去した。塩酸を純水に換えて、中性になるまで 4 時間水を交換して中性化した。セルロース膜中から回収した有機物を室温の 0.1M 水酸化ナトリウム溶液中に静置して、土壌有機物（フルボ酸とフミン酸）を溶解し、純水中に 4 時間静置することで塩酸を洗浄して中性にした。残った有機物を塩酸で pH4 に調整した溶液中で 90℃に 40 時間 30 分加熱することで、有機物に含まれるコラーゲンを可溶性にするゼラチン化を行った。溶液をガラス繊維濾紙（Whatman GF/F）で濾過しすることで不溶分画を除去して、精製されたゼラチン溶液を凍結乾燥したものを分析に供した。

第 145 表　分析試料と元素濃度と相対比

資料名	試料の種類	挿図番号
A 区 No.640	ヒト左大腿骨	第 75 図・第 118 図
B 区 No.391	ヒト前頭骨	第 74 図・第 118 図
B 区 No.039	土器付着炭化物	第 67 図 15
B 区 No.094	土器付着炭化物	第 67 図 16
B 区 No.135	土器付着炭化物	第 67 図 12
B 区 No.182	土器付着炭化物	第 67 図 8
B 区 No.183	土器付着炭化物	第 67 図 8
B 区 No.254	土器付着炭化物	第 67 図 17
A 区 No.628	土器付着炭化物	第 56 図 36
B 区 No.013	土器付着炭化物	第 43 図 10

土器付着物は内側器面から薬さじなどを用いて剥離し、東京大学放射性炭素年代測定室において前処理した。B 区 No.182 と B 区 No.183 は同一個体に由来する。顕微鏡下で土器胎土や毛根、土壌などの異物を除去した後、5 ～ 50mg の炭化物を 15ml 遠沈管にいれ、0.1M 塩酸と 80℃で 10 分加熱した後、純水で中性に戻るまで数回洗浄した（Yoneda et al. 2019）。これを 80℃で一晩乾燥させたものを分析に供した。

炭素および窒素の重量含有率および安定同位体比の測定は、放射性炭素年代測定室において、Thermo Fisher Scientifics 社製の Flash2000 元素分析を前処理装置として、ConFlo IV インターフェースを経由して、Delta V 安定同位体比質量分析装置で測定する、EA-IRMS 装置を用いて行った。骨から抽出したゼラチン試料ならびに洗浄した土器付着炭化物をそれぞれ約 0.5mg あるいは約 1.5mg

を錫箔に包み取り、EA-IRMS測定に供した。測定誤差は、同位体比が値付けされている二次標準物質（アラニン等）を試料と同時に測定することで標準偏差を計算した。通常の測定精度は、$\delta^{13}C$ の測定誤差は 0.2‰、$\delta^{15}N$ の誤差は 0.2‰以下である。

放射性炭素年代測定は試料をグラファイト化して、東京大学総合研究博物館が所有する加速器質量分析装置（AMS）を用いて測定した。まず、1mg 炭素が含まれると期待される約 2.5mg のゼラチン試料を銀カップに秤量し、Elementar 社製 Vario ISOTOPE SELECT 元素分析計に導入し、燃焼後、精製された二酸化炭素を真空ガラスラインに導入し、あらかじめ鉄触媒約 2mg を秤量したコック付き反応管に水素ガス (炭素モル数の 2.2 倍相当) とともに封入して、650℃で 6 時間加熱して実施した（Omori et al. 2017）。

グラファイト化した炭素試料における放射性炭素同位体存在比（$^{14}C/^{12}C$）の測定は、複数の濃度既知の標準物質とバックグランドを同時測定して作成した検量線を用いて補正して、同位体分析補正は AMS にて同時測定した $\delta^{13}C$ 値を用いて実施した。放射性炭素年代は慣用 ^{14}C 年代（年 BP；Stuiver and Polach 1977）から、較正曲線 IntCal20 と Marine20 を参照し、年代較正プログラム OxCal4.4 を用いて較正 ^{14}C 年代を推定した（Bronk Ramsey 2009, Reimer et al. 2020, Heaton et al. 2020）。さらに人骨の場合、海産物利用によって見かけ上の放射性炭素年代が古くなる海洋リザーバ効果について、炭素安定同位体比から海産物の影響を評価して補正する必要がある。山野貝塚から出土した陸獣と海産魚類の平均値（-22.6‰と -10.9‰）を端点として、海産物由来の炭素をそれぞれ推定した（米田ら 2016）。これに 5% の誤差を与えて、IntCal20 と Marine20 を混合して人骨用の較正曲線を作成した。また、東京湾における地域補正値を西暦 1882 年に採取されたシオフキ貝殻（534 ± 36 BP；Yoshida et al. 2010）をもとに、Marine20 に合わせた地域補正値を -98 ± 37 年を適応した（Reimer & Reimer 2017）。

結果

骨から抽出されたゼラチンが純粋なコラーゲンから構成されているかの評価には、炭素濃度（重量%）が 13%以上、窒素濃度（重量%）が 4.8% 以上、C/N 比（原子数）が 2.9 ～ 3.6 というそれぞれ

第 146 表　古人骨コラーゲンの炭素・窒素同位体比

資料名	%C	%N	C/N	$\delta^{13}C$ (‰)	$\delta^{15}N$ (‰)
A 区 No.640	41.1	15	3.2	-18.3	10.5
B 区 No.391	41.3	14.9	3.2	-19.8	7.8

の正常値を参照した（DeNiro 1985, van Klinken 1999）。今回分析した 2 点の人骨から抽出されたゼラチンはいずれに基準から保存状態のよいコラーゲンであると考えられた（第 146 表）。

コラーゲンで得られた炭素・窒素同位体比の分析結果を第 146 表に示す。日本列島で利用可能な代表的は食料資源の同位体比と比較すると（第 119 図；Yoneda et al. 2004）、A 区 No.640 大腿骨は炭素と窒素の同位体比がともに、陸上動植物中心の食性よりも高く、海産物を一定量利用したと推定される。一方、B 区 No.391 前頭骨は、陸上生態系だけではなく海産物も利用しているが、海産物の量はより少ない食性と推定される。

コラーゲン 2 点の慣用放射性炭素年代と較正放射性炭素年代をそれぞれ第 147 表と第 148 表に示

第 147 表　古人骨コラーゲンの慣用放射性炭素年代

資料名	測定 ID	測定 ID	^{14}C 年代 (BP)	補正用 δ^{13}C(‰)
A 区 No.640	YL47289	TKA-25739	4691 ± 21	-20.1 ± 0.2 ‰
B 区 No.391	YL47290	TKA-25740	4544 ± 21	-21.1 ± 0.2 ‰

第 148 表　古人骨コラーゲンの較正放射性炭素年代

資料名	較正年代 (1SD) (cal BP)	較正年代 (2SD) (cal BP)	較正データ	注記
A 区 No.640	5306 (40.8%) 5220	5313 (95.4%) 5060	IntCal20+Marine20	Marine 37 ± 5%
	5185 (23.3%) 5134			Δ R -98 ± 37
	5097 (4.1%) 5086			
B 区 No.391	5234 (16.7%) 5185	5279 (30.4%) 5157	IntCal20+Marine20	Marine 24 ± 5%
	5129 (8.5%) 5104	5145 (63.5%) 4953		Δ R -98 ± 37
	5067 (43.0%) 4972	4933 (1.4%) 4916		

第 149 表　土器付着炭化物の炭素・窒素同位体比

資料名	試料の種類	%C	%N	C/N	N/CX100	δ^{13}C (‰)	δ^{15}N (‰)
B 区 No.039	土器付着炭化物	40.5	1.4	35	2.9	-26.5	3
B 区 No.094	土器付着炭化物	51	5.5	10.8	9.3	-23.5	10.8
B 区 No.135	土器付着炭化物	37.1	2	21.7	4.6	-24.5	10.4
B 区 No.182	土器付着炭化物	35.2	1.7	23.7	4.2	-17.8	8.2
B 区 No.183	土器付着炭化物	55.3	6.6	9.7	10.3	-19.6	11
B 区 No.254	土器付着炭化物	51.5	4.8	12.5	8	-25.9	5.8
A 区 No.628	土器付着炭化物	16.3	0.9	20.3	4.9	ND	ND
B 区 No.013	土器付着炭化物	5.4	0.4	17.5	5.7	ND	ND

す。炭素同位体比をもとに、A 区 No.640 大腿骨と B 区 No.391 前頭骨のコラーゲンにおける海洋由来炭素の割合をそれぞれ 37％と 24％と推定して、海洋リザーバ効果を補正した。較正年代は互いに類似しており、おおよそ縄文時代中期初頭の五領ヶ台式から勝坂式の年代に相当する（5415 ～ 4950 cal BP; 小林 2017）。

土器付着炭化物 8 点のうち 2 点（A 区 No.628 と B 区 No.013）は試料量が不十分で信頼できる測定結果が得られなかった（第 149 表）。残りの 6 点について、炭素・窒素同位体比を食料資源の同位体比と比較した（第 120 図）。B 区 No.182 と B 区 No.183 の 2 点は海産物に類似した値を示し、B 区 No.039 は陸上の C3 植物と類似した同位体比を示した。B 区 No.182 と B 区 No.183 は同一個体に由来するが、炭素・窒素同位体比は一致しなかった。一方、B 区 No.094、B 区 No.135、B 区 No.254 の 3 点は、炭素同位体比は陸上の動植物と同程度の低い値を示すが、窒素同位体比は陸上の動植物よりも高い値を示している。これら 3 点は食料資源の単純な混合では説明することが難しく、炭素と窒素の由来が異なっていると考えられる（Yoneda et al. 2019）。

次に、吉田（2006）を参照して炭素の由来に着目して炭素同位体比と C/N 比を比較した（第 121 図）炭素の由来でも B 区 No.183 は海産物の影響が示された。一方、B 区 No.182 は炭素同位体比が高いが C/N 比も比較的高く C4 植物の影響のようにも見える。B 区 No.182 と B 区 No.183 は同一個体に由来するが、C/N も一致しなかった。B 区 No.182 については後述する窒素の解析から、強熱の影響で窒素同位体比と C/N 比が変化している可能性が示されており、積極的な解釈からは除外した

方がよい。B 区 No.094、B 区 No.135 と B 区 No.254 の 3 点は陸上の動植物と類似する対し、B 区 No.039 は堅果類などデンプン質を示す高い C/N 比を示す特徴がある。

最後に、窒素の由来に着目して窒素同位体比と N/C 比を比較した（第 122 図）。陸上生態系で植物と動物を様々な割合で煮炊きしたと推定されたさいたま市大木戸遺跡のデータと比較すると、B 区 No.094 と B 区 No.183 の 2 点に含まれる窒素は海産物由来と考えられる。炭素の由来では前者は陸上の動植物と、後者は海産物と推定されていたので、前者は陸上の動物と海産魚を同時に加熱したのに対し、後者は海産物のみが加熱されたと推定できる。炭素の由来で堅果類などデンプン質中心と推定された B 区 No.039 は、窒素の由来でも植物中心と推定されており、植物だけで加熱されたと推定できる。

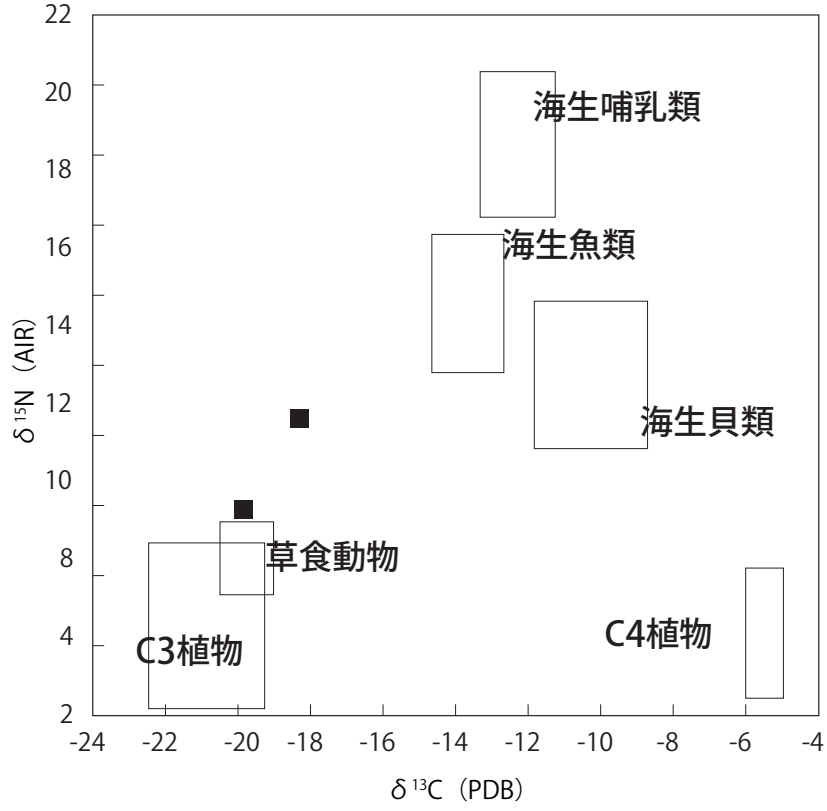
炭素で陸上生態系に由来すると推定されていた 2 点のうち B 区 No.254 は動物と植物が含まれている可能性が示されたが、デンプン質がやや多い炭素由来を示した B 区 No.135 と C4 植物のように見えた B 区 No.182 については、外面の付着した炭化物と類似しており、空焚きなどで強熱された影響が考えられる。

考察

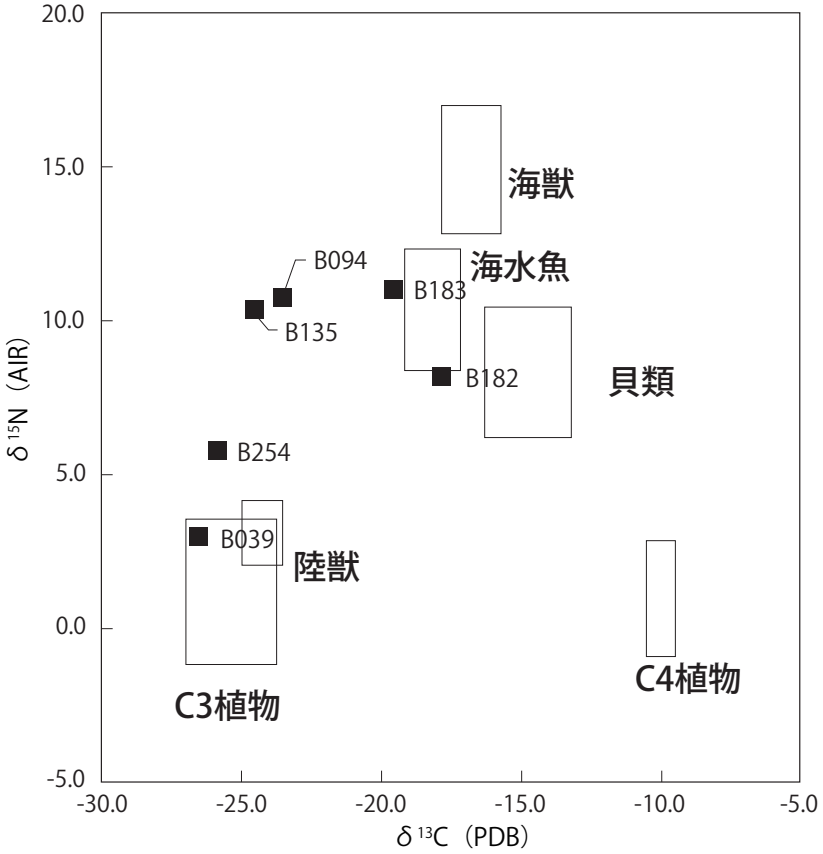
栄町貝塚は、貝の加工場と推定されるハマ貝塚として知られる中里貝塚に関連するため、出土人骨の炭素・窒素同位体比が貝類に強く依存した食性を示す可能性を期待したが、2 点の人骨で観察された炭素・窒素同位体比は陸上資源を中心に海洋資源が加わった食性と推定された。武蔵野台地上に立地する新宿区市谷加賀町二丁目遺跡で縄文時代中期加曽利 EII 式期の埋葬人骨 2 体は海産物利用の少なかった B 区 No.391 前頭骨の結果と近かった（米田 2014）。市谷加賀町遺跡では、中期の 2 個体は互いに類似した食生活が示唆されたのに、後期人骨 6 点では植物中心の 2 個体と海産物がより多い 4 個体という食生活の二極化が示された。北区西ヶ原貝塚では後期人骨で同様の二極化が示され、資源利用の時期変遷と関連する可能性が指摘された（阿部ら 2016）。東京湾沿岸の貝塚では、後期になると遺跡内の同位体比の個人差が拡大する傾向があるが（米田 2019）、本研究では縄文時代中期初頭にも炭素・窒素同位体比で大きな個人差が存在した可能性が示された。集落の墓地ではなく、ハマ貝塚という遺跡の性質も考慮して検討する必要がある。

土器付着物の同位体比が示した内容物では、炭素同位体比・窒素同位体比の特徴が海産物に類似する資料が 2 点みられたが（第 121 図参照）、窒素の由来を検討したところ、そのうち B 区 No.182 は強熱されて窒素同位体比が変化していたが、B 区 No.183 は窒素でも海産物由来の傾向が確認できた（第 122 図参照）。土器付着物の炭素と窒素は、植物の炭水化物と動物のタンパク質にそれぞれ由来することが多いが（Yoneda et al. 2019）、B 区 No.183 は植物を加えずに海産物だけで煮沸してできた炭化物と推察される。このような事例は、北海道を除いては非常に報告例が少ない（坂本 2007）。中里貝塚では木枠付土坑での焼石を用いた貝類の加工が想定されているが（阿部 2014）、土器を使った貝類の加熱もあったのかもしれない。

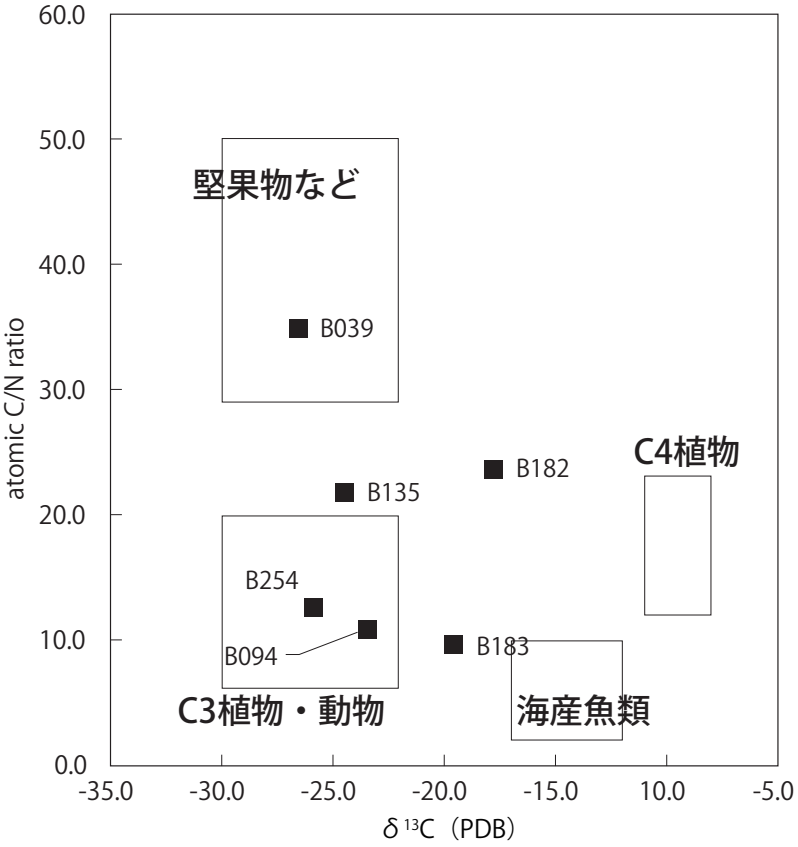
一方、炭素・窒素の双方で植物質の利用が示された B 区 No.039 や、陸獣と植物を混合して加熱したと想定される B 区 No.254 などもあり、栄町貝塚で用いられた土器には調理道具も含まれることを確認した。土器の利用の実態から遺跡の活動を推定するためには、より多くの土器付着炭化物を分析する必要があるが、土器付着炭化物の同位体比はハマ貝塚における人間活動の一端を示している。



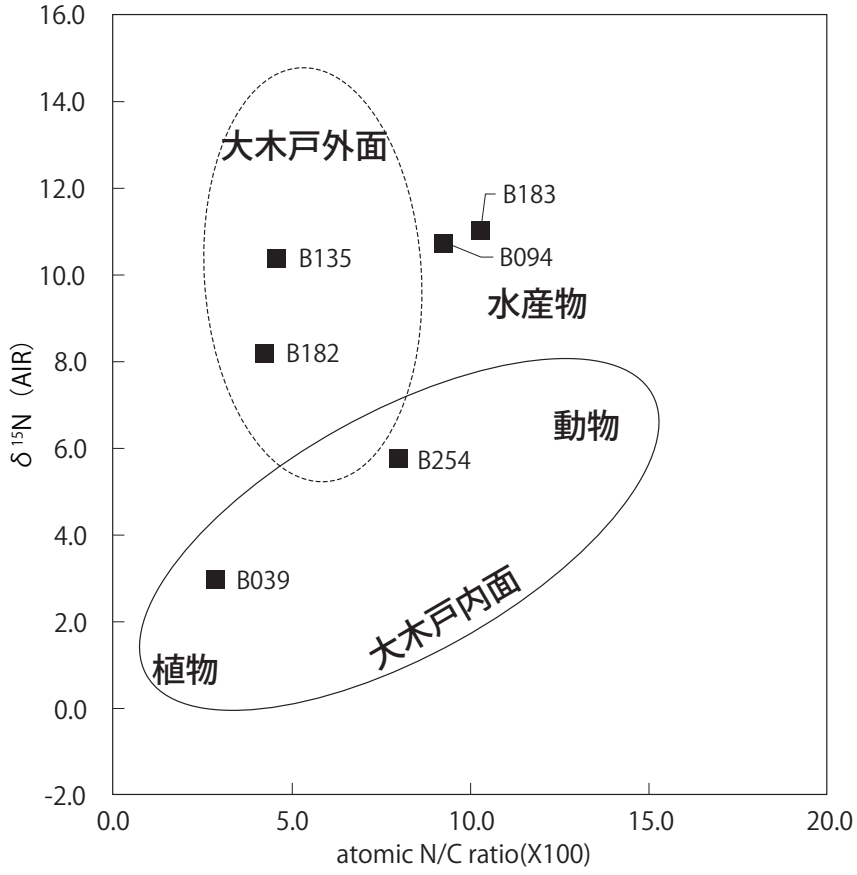
第 119 図　古人骨コラーゲンの炭素・窒素同位体比と各食料資源から期待される範囲



第 120 図　土器付着炭化物の炭素・窒素同位体比



第 121 図　土器付着炭化物の炭素同位体比と C/N 比



第 122 図　土器付着炭化物の窒素同位体比と N/C 比

引用文献

阿部芳郎 2014「資源利用からみる縄文社会」『別冊季刊考古学２１縄文の資源資料と社会』pp. 7-13

阿部芳郎・米田穣・尾嵜大真・大森貴之 (2016). 西ヶ原貝塚出土人骨の同位体比からみた古食性と生業 . 飛鳥山博物館研究報告 18, 1-18.

小林謙一 2017『縄紋時代の実年代』同成社

坂本稔 2007「安定同位体比の基づく土器付着物の分析」『国立歴史民俗博物館研究報告』137, pp. 305-315

吉田邦夫 2006「煮炊きして出来た炭化物の同位体分析」『新潟県立歴史博物館研究紀要』7, pp. 51-58

米田穣 2014「市谷加賀町二丁目遺跡６次調査出土縄文時代人骨の炭素・窒素同位体分析および放射性炭素年代測定」『東京都新宿区市谷加賀町二丁目遺跡 VI』pp. 64-68, 新宿区

米田穣・尾嵜大真・大森貴之・小林紘一・伊藤茂 2016「山野貝塚から出土した縄文時代人骨の同位体分析と放射性炭素年代」『山野貝塚総括報告書』pp. 266-272, 袖ヶ浦市教育委員会

米田穣 2019「炭素・窒素同位体比でみた縄文時代の食資源利用」『先史文化研究の新展開 1 縄文文化の繁栄と衰退』pp. 91-110, 雄山閣

Bronk Ramsey, C. (2009). Bayesian analysis of radiocarbon dates. Radiocarbon 51(4), 337-360.

DeNiro, M.J. (1985). Postmortem preservation and alteration of invivo bone-collagen isotope ratios in relation to paleodietary reconstruction. Nature 317, 806-809.

Heaton, T. J., Köhler, P., Butzin, M., Bard, E., Reimer, R. W., Austin, W. E. N., Bronk Ramsey, C., Grootes, P. M., Hughen, K. A., Kromer, B., Reimer, P. J., Adkins, J., Burke, A., Cook, M. S., Olsen, J., & Skinner, L. C. (2020). Marine20—The Marine Radiocarbon Age Calibration Curve (0–55,000 cal BP). Radiocarbon, 62(4), 779–820.

Longin, R. (1971). New method of collagen extraction for radiocarbon dating. Nature, 230, 241-242.

Omori, T., Yamazaki, K., Itahashi, Y., Ozaki, H., Yoneda, M., (2017) Development of a simple automated graphitization system for radiocarbon dating at the University of Tokyo. The 14th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry.

Reimer, R.W., P.J. Reimer (2017) An online application for Δ R calculation. Radiocarbon 59, 1623-127

Reimer, P. J., Austin, W. E. N., Bard, E., Bayliss, A., Blackwell, P. G., Bronk Ramsey, C., Butzin, M., Cheng, H., Edwards, R. L., Friedrich, M., Grootes, P. M., Guilderson, T. P., Hajdas, I., J Heaton, T., Hogg, A. G., Hughen, K. A., Kromer, B., Manning, S. W., Muscheler, R., Palmer, J. G., Pearson, C., J. van der Plicht, C., Reimer, R. W., Richards, D. A., Scott, E. M., Southon, J. R., Turney, C. S. M., Wacker, L., Adolphi, F., Büntgen, U., Capano, M., Fahrni, S. M., Fogtmann-Schulz, A., Friedrich, R., Köhler, P., Kudsk, S., Miyake, F., Olsen, J., Reinig, F., Sakamoto, M., Sookdeo, A., Talamo, S. (2020) The IntCal20 Northern hemisphere radiocarbon age calibration curve (0–55 cal kBP). Radiocarbon 62(4), 725-757.

Stuiver., M., and H.A. Polach (1977). Discussion: Reporting of 14C data. Radiocarbon 19(3), 355-363.

van Klinken, G.J. (1999). Bone collagen quality indicators for palaeodietary and radiocarbon measurements. Journal of Archaeological Science 26, 687-695.

Yoneda, M., M. Hirota, M. Uchida, A. Tanaka, Y. Shibata, M. Morita, and T. Akazawa (2002). Radiocarbon and stable isotope analyses on the Earliest Jomon skeletons from the Tochibara rockshelter, Nagano, Japan.

Radiocarbon 44, 549-557.

Yoneda, M., Y. Shibata, M. Morita, R. Suzuki, T. Sukegawa, N. Shigehara, and T. Akazawa (2004). Isotopic evidence of inland-water fishing by a Jomon population excavated from the Boji site, Nagano, Japan. Journal of Archaeological Science 31(1), 97-107.

Yoneda, M., K. Kisida, T. Gakuhari, T. Omori, Y. Abe (2019). Interpretation of bulk nitrogen and carbon isotopes in archaeological foodcrusts on potshards. Rapid Communications in Mass Spectrometry 33, 1097-1106.

Yoshida, K., T. Hara, D. Kunikita, Y. Miyazaki, T. Sasaki, M. Yoneda, and H. Matsuzaki (2010). Pre-bomb marine reservoir ages in the Western Pacific. Radiocarbon 52, 1197-1206.

8　放射性炭素年代測定

パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ
伊藤　茂・加藤和浩・廣田正史・佐藤正教・山形秀樹・Zaur Lomtatidze・黒沼保子

1. はじめに

東京都北区の栄町貝塚から出土した試料について、加速器質量分析法（AMS 法）による放射性炭素年代測定を行った。

2. 試料と方法

試料は、炭化材 15 点と炭化草本 1 点、生材 5 点の、合計 21 点である。B 区の Sec.2（B1 トレンチ）西壁では、10 層から採取された炭化材（試料 No.1：PLD-41690）、11 層から採取された炭化材 2 点（試料 No.2：PLD-41691、試料 No.4：PLD-41693）、12 層から採取された炭化材 2 点（試料 No.3：PLD-41692、試料 No.5：PLD-41694）、13 層から採取された炭化材 2 点（試料 No.6：PLD-41695、試料 No.7：PLD-41696）、14 層から採取された炭化材（試料 No.8：PLD-41697）、18 層から採取された生材（試料 No.9：PLD-41698）、28 層から採取された炭化材（試料 No.10：PLD-41699）である。また、B 区の B4 攪乱付近（東端）では、砂礫層 38 層から採取された生材（試料 No.11：PLD-41700）である。また 003h 号遺構覆土 3 層から出土した炭化材（試料 No.12：PLD-46599）と、B 区の 40 層から出土した炭化草本（試料 No.13：PLD-46600）、B2 区出土の生材（試料 No.14：PLD-46601）である。A 区では、Sec.2（A2 トレンチ）西壁の 8 層から出土した炭化材（試料 No.15：PLD-46602）、Sec.2（A2 トレンチ）西壁コラムサンプル C11 の 25 層から出土した炭化材（試料 No.16：PLD-46603）、067c 号遺構覆土 1 層から出土した炭化材（試料 No.17：PLD-46604）、079m 号遺構覆土 1 層から出土した炭化材（試料 No.18:PLD-46605）、324 号遺構（Sec.3 北側付近）の 45 層から出土した生材（試料 No.19：PLD-46606）、A 区 44 層から出土した生材（試料 No.20：PLD-46607）、Sec.5（A5 南北セクション）西壁コラムサンプル C24 の 17 層から出土した炭化材（試料 No.21：PLD-46608）である。

A 区の Sec.2（A2 トレンチ）西壁コラムサンプル C11 の試料 No.16（PLD-46603）と 324 号遺構の試料 No.19（PLD-46606）の 2 点は、最終形成年輪が残存していた。それ以外の試料は最終形成年輪が残存しておらず、部位不明であった。

測定試料の情報、調製データは第 150・151 表のとおりである。試料は調製後、加速器質量分析計（パレオ・ラボ、コンパクト AMS：NEC 製 1.5SDH）を用いて測定した。得られた ^{14}C 濃度について同位体分別効果の補正を行った後、^{14}C 年代、暦年代を算出した。

3. 結果

第 152 表に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比（$\delta^{13}C$）、同位体分別効果の補正を行って暦年較正に用いた年代値と較正によって得られた年代範囲、慣用に従って年代値と誤差を丸めて表示した ^{14}C 年代、第 123 ～ 125 図に暦年較正結果をそれぞれ示す。暦年較正に用いた年代値は下 1 桁を丸めていない値であり、今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。

第 150 表　測定及び処理（1）

測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理
PLD-41690	調査区：B 区 採取地点：Sec.2(B1 トレンチ）西壁 層位：10 層 測量 No.001 試料 No.1	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外、部位不明 状態：wet	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-41691	調査区：B 区 採取地点：Sec.2(B1 トレンチ）西壁 層位：11 層 測量 No.002 試料 No.2	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外、部位不明 状態：wet	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L） セメンタイト化
PLD-41692	調査区：B 区 採取地点：Sec.2(B1 トレンチ）西壁 層位：12 層 測量 No.003 試料 No.3	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外、部位不明 状態：wet	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-41693	調査区：B 区 採取地点：Sec.2(B1 トレンチ）西壁 層位：11 層 測量 No.004 試料 No.4	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外、部位不明 状態：wet	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-41694	調査区：B 区 採取地点：Sec.2(B1 トレンチ）西壁 層位：12 層 測量 No.005 試料 No.5	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外、部位不明 状態：wet	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-41695	調査区：B 区 採取地点：Sec.2(B1 トレンチ）西壁 層位：13 層 測量 No.006 試料 No.6	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外、部位不明 状態：wet	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-41696	調査区：B 区 採取地点：Sec.2(B1 トレンチ）西壁 層位：13 層 測量 No.007 試料 No.7	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外、部位不明状態：wet	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-41697	調査区：B 区 採取地点：Sec.2(B1 トレンチ）西壁 層位：14 層 測量 No.008 試料 No.8	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外、部位不明 状態：wet	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-41698	調査区：B 区 採取地点：Sec.2(B1 トレンチ）西壁 層位：18 層 測量 No.009 試料 No.9	種類：生材 試料の性状：最終形成年輪以外、部位不明 状態：wet	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-41699	調査区：B 区 採取地点：Sec.2(B1 トレンチ）西壁 層位：28 層 測量 No.010 試料 No.10	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外、部位不明 状態：wet	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L） 処理備考：未炭化
PLD-41700	調査区：B 区 採取地点：B4 攪乱付近（東端） 層位：砂礫層 38 層 測量 No.B 区 -025 試料 No.11	種類：生材 試料の性状：最終形成年輪以外、部位不明 状態：wet	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-46599	調査区：B 区 遺構：003h 号遺構 層位：遺構覆土 3 層 遺物 No.003 号 h 試料 No.12	種類：炭化材（広葉樹） 試料の性状：最終形成年輪以外、部位不明 状態：wet	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-46600	調査区：B 区 位置：B2 層位：40 層 杭 No.35 試料 No.13	種類：炭化草本（イネ科） 試料の性状：不明 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-46601	調査区：B 区 位置：B2 杭 No.4 試料 No.14	種類：生材（広葉樹） 試料の性状：最終形成年輪以外、部位不明 状態：wet	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-46602	調査区：A 区 位置：Sec.2(A2 トレンチ）西壁 層位：8 層 炭化物 No.23 試料 No.15	種類：炭化材（クリ） 試料の性状：最終形成年輪以外、部位不明 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-46603	調査区：A 区 位置：Sec.2(A2 トレンチ）西壁 C11 層位：25 層 遺物 No.25 層 - ③ -h 試料 No.16	種類：炭化材（クリ） 試料の性状：最終形成年輪 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）

第 151 表　測定及び処理（2）

測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理
PLD-46604	調査区：A 区 遺構：067c 号遺構 層位：遺構覆土 1 層 遺物 No.067 号 c 試料 No.17	種類：炭化材（クリ） 試料の性状：最終形成年輪以外、部位不明 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-46605	調査区：A 区 遺構：079m 号遺構 層位：遺構覆土 1 層 遺物 No.079 号 m 試料 No.18	種類：炭化材（広葉樹） 試料の性状：最終形成年輪以外、部位不明 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-46606	調査区：A 区 遺構：324 号遺構（Sec.3 北側付近） 層位：45 層 遺物 No.755 試料 No.19	種類：生材（エノキ属） 試料の性状：最終形成年輪 状態：wet	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-46607	調査区：A 区 位置：A5 層位：44 層 遺物 No.798 試料 No.20	種類：生材（ムクノキ） 試料の性状：最終形成年輪以外、部位不明 状態：wet	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-46608	調査区：A 区 位置：Sec.5(A5 セクション）西壁 C24 層位：17 層 遺物 No.17 層 -s 試料 No.21	種類：炭化材（広葉樹） 試料の性状：最終形成年輪以外、部位不明 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）

^{14}C 年代は AD1950 年を基点にして何年前かを示した年代である。^{14}C 年代（yrBP）の算出には、^{14}C の半減期として Libby の半減期 5568 年を使用した。また、付記した ^{14}C 年代誤差（± 1 σ）は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の ^{14}C 年代がその ^{14}C 年代誤差内に入る確率が 68.27％であることを示す。

なお、暦年較正の詳細は以下のとおりである。

暦年較正とは、大気中の ^{14}C 濃度が一定で半減期が 5568 年として算出された ^{14}C 年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の ^{14}C 濃度の変動、および半減期の違い（^{14}C の半減期 5730 ± 40 年）を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。

^{14}C 年代の暦年較正には OxCal4.4（較正曲線データ：IntCal20）を使用した。なお、1 σ暦年代範囲は、OxCal の確率法を使用して算出された ^{14}C 年代誤差に相当する 68.27％信頼限界の暦年代範囲であり、同様に 2 σ暦年代範囲は 95.45％信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は ^{14}C 年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年較正曲線を示す。

4. 考察

以下、各試料の暦年較正結果のうち 2 σ暦年代範囲（確率 95.45%）に着目して結果を整理する。なお、縄文時代の土器編年と暦年代の対応関係については小林（2017）を参照した。

B 区の Sec.2（B1 トレンチ）西壁の 10 層から採取された炭化材（試料 No.1：PLD-41690）は、2873-2797 cal BC（30.62%）および 2783-2624 cal BC（64.82%）暦年代を示した。これは縄文時代中期後半に相当する暦年代である。

11 層の炭化材（試料 No.2：PLD-41691）は 3257-3255 cal BC（0.15%）および 3098-2890 cal BC（95.30%）の暦年代を示した。これは縄文時代中期前半～後半の暦年代に相当する。同じく 11 層の炭化材（試料 No.4：PLD-41693）は、2843-2813 cal BC（7.22%）、2741-2733 cal BC（0.71%）、2673-2564 cal BC（70.51%）、2534-2494 cal BC（17.01%）の暦年代を示した。これは縄文時代中期後半～後期初頭の暦年代に相当する。

第 152 表　放射性炭素年代測定及び暦年較正の結果

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP ± 1 σ)	^{14}C 年代 (yrBP ± 1 σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ暦年代範囲	2 σ暦年代範囲
PLD-41690 試料 No.1 遺物 No.001	-25.22 ± 0.12	4140 ± 22	4140 ± 20	2863-2833 cal BC (14.56%) 2820-2804 cal BC (7.63%) 2757-2719 cal BC (19.24%) 2704-2665 cal BC (20.43%) 2649-2633 cal BC (6.41%)	2873-2797 cal BC (30.62%) 2783-2624 cal BC (64.82%)
PLD-41691 試料 No.2 遺物 No.002	-20.77 ± 0.23	4356 ± 45	4355 ± 45	3016-2910 cal BC (68.27%)	3257-3255 cal BC (0.15%) 3098-2890 cal BC (95.30%)
PLD-41692 試料 No.3 遺物 No.003	-27.04 ± 0.12	4138 ± 23	4140 ± 25	2861-2832 cal BC (14.43%) 2821-2805 cal BC (7.93%) 2755-2720 cal BC (18.03%) 2703-2664 cal BC (20.44%) 2650-2633 cal BC (7.44%)	2873-2798 cal BC (30.42%) 2783-2623 cal BC (64.39%) 2591-2586 cal BC (0.64%)
PLD-41693 試料 No.4 遺物 No.004	-26.01 ± 0.16	4070 ± 22	4070 ± 20	2659-2656 cal BC (1.40%) 2629-2571 cal BC (56.11%) 2516-2500 cal BC (10.77%)	2843-2813 cal BC (7.22%) 2741-2733 cal BC (0.71%) 2673-2564 cal BC (70.51%) 2534-2494 cal BC (17.01%)
PLD-41694 試料 No.5 遺物 No.005	-27.09 ± 0.11	4144 ± 23	4145 ± 25	2866-2836 cal BC (14.20%) 2818-2803 cal BC (6.97%) 2767-2717 cal BC (23.85%) 2706-2667 cal BC (19.71%) 2645-2636 cal BC (3.53%)	2873-2796 cal BC (30.70%) 2784-2626 cal BC (64.75%)
PLD-41695 試料 No.6 遺物 No.006	-28.14 ± 0.17	4437 ± 24	4435 ± 25	3308-3300 cal BC (2.50%) 3283-3275 cal BC (2.63%) 3266-3242 cal BC (10.65%) 3103-3019 cal BC (52.48%)	3328-3227 cal BC (28.09%) 3184-3155 cal BC (4.70%) 3112-3008 cal BC (56.12%) 2987-2931 cal BC (6.55%)
PLD-41696 試料 No.7 遺物 No.007	-30.47 ± 0.14	4392 ± 23	4390 ± 25	3076-3064 cal BC (7.42%) 3026-3005 cal BC (15.53%) 2991-2928 cal BC (45.32%)	3092-3052 cal BC (18.61%) 3040-2918 cal BC (76.84%)
PLD-41697 試料 No.8 遺物 No.008	-25.57 ± 0.15	4455 ± 24	4455 ± 25	3319-3238 cal BC (39.11%) 3174-3162 cal BC (4.69%) 3105-3085 cal BC (10.03%) 3059-3030 cal BC (14.44%)	3333-3214 cal BC (46.85%) 3190-3149 cal BC (10.88%) 3137-3020 cal BC (37.72%)
PLD-41698 試料 No.9 遺物 No.009	-26.90 ± 0.13	4456 ± 24	4455 ± 25	3320-3237 cal BC (39.70%) 3175-3161 cal BC (5.38%) 3105-3086 cal BC (9.63%) 3059-3030 cal BC (13.55%)	3333-3214 cal BC (47.56%) 3190-3149 cal BC (11.20%) 3137-3021 cal BC (36.69%)
PLD-41699 試料 No.10 遺物 No.010	-27.03 ± 0.30	4468 ± 24	4470 ± 25	3327-3228 cal BC (46.75%) 3182-3156 cal BC (11.03%) 3110-3092 cal BC (7.38%) 3051-3041 cal BC (3.11%)	3335-3212 cal BC (53.38%) 3192-3080 cal BC (33.28%) 3062-3028 cal BC (8.79%)
PLD-41700 試料 No.11 遺物 No.B 区 -025	-23.49 ± 0.18	4710 ± 23	4710 ± 25	3525-3499 cal BC (20.72%) 3433-3379 cal BC (47.55%)	3622-3582 cal BC (10.68%) 3531-3492 cal BC (25.31%) 3464-3375 cal BC (59.45%)
PLD-46599 試料 No.12	-26.00 ± 0.19	4370 ± 23	4370 ± 25	3011-2974 cal BC (31.82%) 2969-2940 cal BC (22.85%) 2938-2922 cal BC (13.60%)	3081-3062 cal BC (5.24%) 3028-2911 cal BC (90.21%)
PLD-46600 試料 No.13	-28.91 ± 0.10	4595 ± 22	4595 ± 20	3486-3473 cal BC (20.19%) 3372-3354 cal BC (48.08%)	3495-3456 cal BC (33.56%) 3377-3338 cal BC (60.15%) 3208-3195 cal BC (1.74%)
PLD-46601 試料 No.14	-34.49 ± 0.41	4464 ± 27	4465 ± 25	3326-3232 cal BC (43.18%) 3181-3157 cal BC (9.46%) 3108-3090 cal BC (7.72%) 3055-3033 cal BC (7.91%)	3336-3211 cal BC (50.11%) 3193-3073 cal BC (33.38%) 3067-3025 cal BC (11.96%)
PLD-46602 試料 No.15	-27.38 ± 0.14	4036 ± 22	4035 ± 20	2579-2559 cal BC (17.80%) 2539-2491 cal BC (50.46%)	2622-2594 cal BC (9.68%) 2584-2473 cal BC (85.77%)
PLD-46603 試料 No.16	-25.96 ± 0.12	4423 ± 23	4425 ± 25	3260-3253 cal BC (2.39%) 3099-3011 cal BC (62.79%) 2975-2970 cal BC (1.71%) 2943-2939 cal BC (1.38%)	3316-3295 cal BC (2.52%) 3287-3240 cal BC (8.95%) 3171-3164 cal BC (0.63%) 3104-3000 cal BC (65.78%) 2998-2925 cal BC (17.57%)
PLD-46604 試料 No.17	-28.37 ± 0.18	4065 ± 22	4065 ± 20	2626-2570 cal BC (53.96%) 2517-2500 cal BC (14.31%)	2841-2814 cal BC (5.21%) 2671-2560 cal BC (67.39%) 2538-2492 cal BC (22.85%)
PLD-46605 試料 No.18	-26.15 ± 0.11	4062 ± 22	4060 ± 20	2625-2570 cal BC (51.33%) 2518-2499 cal BC (16.94%)	2839-2815 cal BC (4.06%) 2670-2558 cal BC (64.67%) 2540-2490 cal BC (26.72%)
PLD-46606 試料 No.19	-27.79 ± 0.15	バックグラウンド試料以下	バックグラウンド試料以下	-	-
PLD-46607 試料 No.20	-29.06 ± 0.19	7185 ± 26	7185 ± 25	6064-6023 cal BC (68.27%)	6076-5995 cal BC (95.45%)
PLD-46608 試料 No.21	-26.51 ± 0.14	4096 ± 22	4095 ± 20	2837-2817 cal BC (13.00%) 2668-2644 cal BC (14.82%) 2638-2579 cal BC (40.45%)	2853-2809 cal BC (20.05%) 2748-2725 cal BC (5.91%) 2699-2573 cal BC (68.39%) 2512-2504 cal BC (1.11%)

12 層の炭化材（試料 No.3：PLD-41692）は、2873-2798 cal BC（30.42%）、2783-2623 cal BC（64.39%）、2591-2586 cal BC（0.64%）の暦年代を示した。同じく 12 層の炭化材（試料 No.5：PLD-41694）は、2873-2796 cal BC（30.70%）および 2784-2626 cal BC（64.75%）の暦年代を示した。いずれも縄文時代中期後半に相当する暦年代である。

13 層の炭化材（試料 No.6：PLD-41695）は 3328-3227 cal BC（28.09%）、3184-3155 cal BC（4.70%）、3112-3008 cal BC（56.12%）、2987-2931 cal BC（6.55%）の暦年代を示した。これは縄文時代中期前半～後半に相当する暦年代である。同じく 13 層の炭化材（試料 No.7：PLD-41696）は、3092-3052 cal BC（18.61%）および 3040-2918 cal BC（76.84%）であった。これは縄文時代中期中頃に相当する暦年代である。

14 層の炭化材（試料 No.8：PLD-41697）は、3333-3214 cal BC（46.85%）、3190-3149 cal BC（10.88%）、3137-3020 cal BC（37.72%）の暦年代を示した。これは縄文時代中期前半に相当する暦年代である。

18 層の生材（試料 No.9：PLD-41698）は、3333-3214 cal BC（47.56%）、3190-3149 cal BC（11.20%）、3137-3021 cal BC（36.69%）の暦年代を示した。これは縄文時代中期前半に相当する暦年代である。

28 層の炭化材（試料 No.10：PLD-41699）は、3335-3212 cal BC（53.38%）、3192-3080 cal BC（33.28%）、3062-3028 cal BC（8.79%）の暦年代を示した。これは縄文時代中期前半に相当する暦年代である。

B 区の B4 攪乱付近（東端）の砂礫層 38 層から採取された生材（試料 No.11：PLD-41700）は、3622-3582 cal BC（10.68%）、3531-3492 cal BC（25.31%）、3464-3375 cal BC（59.45%）の暦年代を示した。これは縄文時代前期後葉～中期初頭に相当する暦年代である。

B 区の 003h 号遺構覆土 3 層から出土した炭化材（試料 No.12：PLD-46599）は、3081-3062 cal BC（5.24%）および 3028-2911 cal BC（90.21%）の暦年代を示した。これは、縄文時代中期中頃に相当する暦年代である。

B 区の 40 層から出土した炭化草本（試料 No.13：PLD-46600）は、3495-3456 cal BC（33.56%）、3377-3338 cal BC（60.15%）、3208-3195 cal BC（1.74%）の暦年代を示した。これは、縄文時代前期末葉～中期前半に相当する暦年代である。

B 区出土の生材（試料 No.14：PLD-46601）は、3336-3211 cal BC（50.11%）、3193-3073 cal BC（33.38%）、3067-3025 cal BC（11.96%）の暦年代を示した。これは、縄文時代中期前半に相当する暦年代である。

A 区の Sec.2（A2 トレンチ）西壁の 8 層から出土した炭化材（試料 No.15：PLD-46602）は、2622-2594 cal BC（9.68%）および 2584-2473 cal BC（85.77%）の暦年代を示した。これは、縄文時代中期後半～後期初頭に相当する暦年代である。

Sec.2（A2 トレンチ）コラムサンプル C11 の 25 層から出土した炭化材（試料 No.16：PLD-46603）は、3316-3295 cal BC（2.52%）、3287-3240 cal BC（8.95%）、3171-3164 cal BC（0.63%）、3104-3000 cal BC（65.78%）、2998-2925 cal BC（17.57%）の暦年代を示した。これは、縄文時代中期前半～後半に相当する暦年代である。

067c 号遺構覆土 1 層から出土した炭化材（試料 No.17：PLD-46604）は、2841-2814 cal BC（5.21%）、

2671-2560 cal BC（67.39%）、2538-2492 cal BC（22.85%）の暦年代を示した。これは、縄文時代中期後半～後期初頭に相当する暦年代である。

079m号遺構覆土1層から出土した炭化材（試料No.18：PLD-46605）は、2839-2815 cal BC（4.06%）、2670-2558 cal BC（64.67%）、2540-2490 cal BC（26.72%）の暦年代を示した。これは、縄文時代中期後半～後期初頭に相当する暦年代である。

324 号遺構（Sec.3 北側付近）の 45 層から出土した生材（試料 No.19：PLD-46606）は、バックグラウンド試料（Wako 純薬製安息香酸 :47144 ± 2006 yrBP）よりも古い値となったため、バックグラウンド値以下とした。参考値として、バックグラウンド補正していない測定値は 47870 ± 357 yrBP であった。したがって、縄文時代以前の試料と言える。

A5 の 44 層から出土した生材（試料 No.20：PLD-46607）は、6076-5995 cal BC（95.45%）の暦年代を示した。これは、縄文時代早期後葉に相当する暦年代である。

Sec.5（A5 南北セクション）西壁コラムサンプル C24 の 17 層から出土した炭化材（試料 No.21：PLD-46608） は、2853-2809 cal BC（20.05%）、2748-2725 cal BC（5.91%）、2699-2573 cal BC（68.39%）、2512-2504 cal BC（1.11%）の暦年代を示した。これは縄文時代中期後半～後期初頭に相当する暦年代である。

なお、木材は最終形成年輪部分を測定すると枯死もしくは伐採年代が得られるが、内側の年輪を測定すると内側であるほど古い年代が得られる（古木効果）。Sec.2（A2 トレンチ）西壁コラムサンプル C11 の試料 No.16（PLD-46603）と 324 号遺構の試料 No.19（PLD-46606）は最終形成年輪が残存しており、得られた最終形成年輪の年代は、木材が伐採もしくは枯死した年代を示していると考えられる。それ以外の試料は、いずれも最終形成年輪が残存しておらず、残存している最外年輪のさらに外側にも年輪が存在していたはずである。したがって、木材が実際に枯死もしくは伐採されたのは、測定結果の年代よりもやや新しい時期であったと考えられる。

引用・参考文献

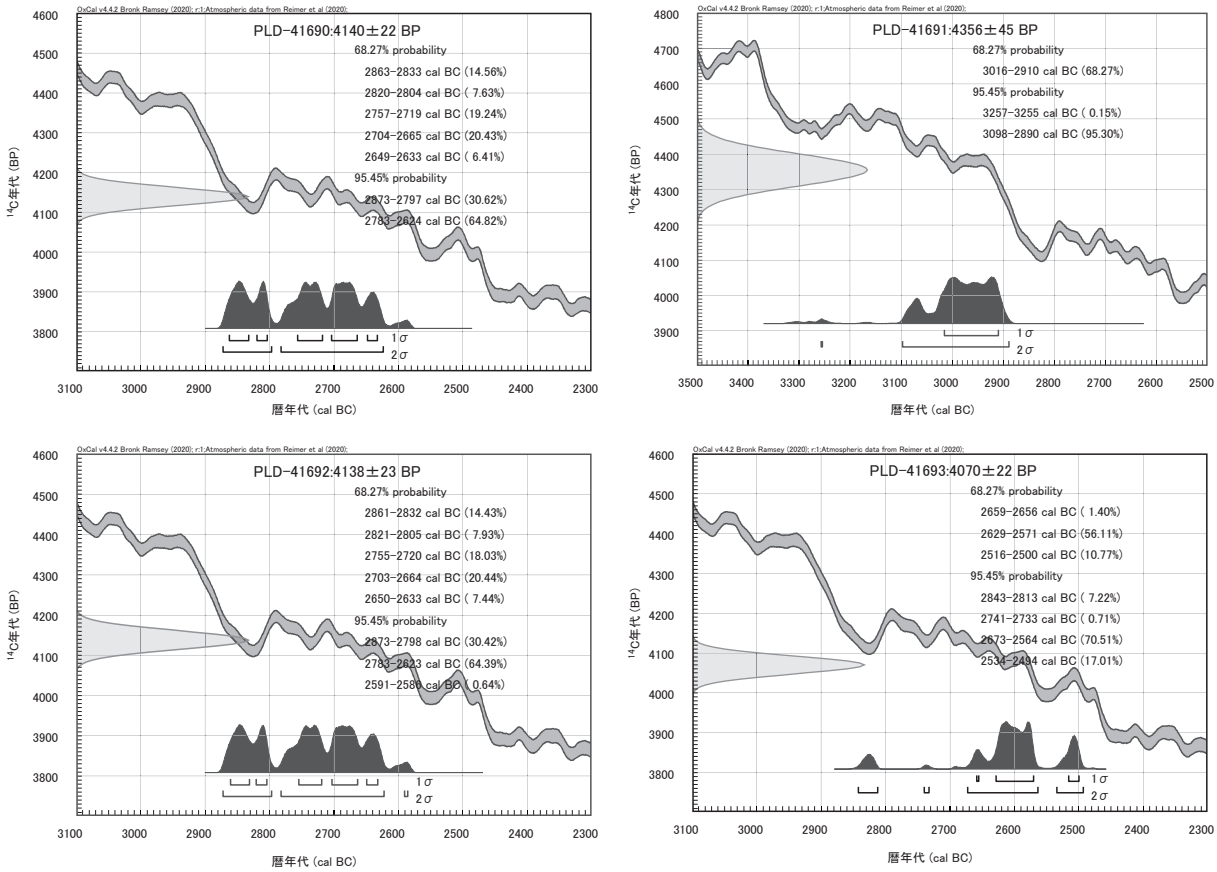
Bronk Ramsey, C. (2009) Bayesian Analysis of Radiocarbon dates. Radiocarbon, 51(1), 337-360.

小林謙一（2017）縄文時代の実年代―土器型式編年と炭素 14 年代―．263p，同成社．

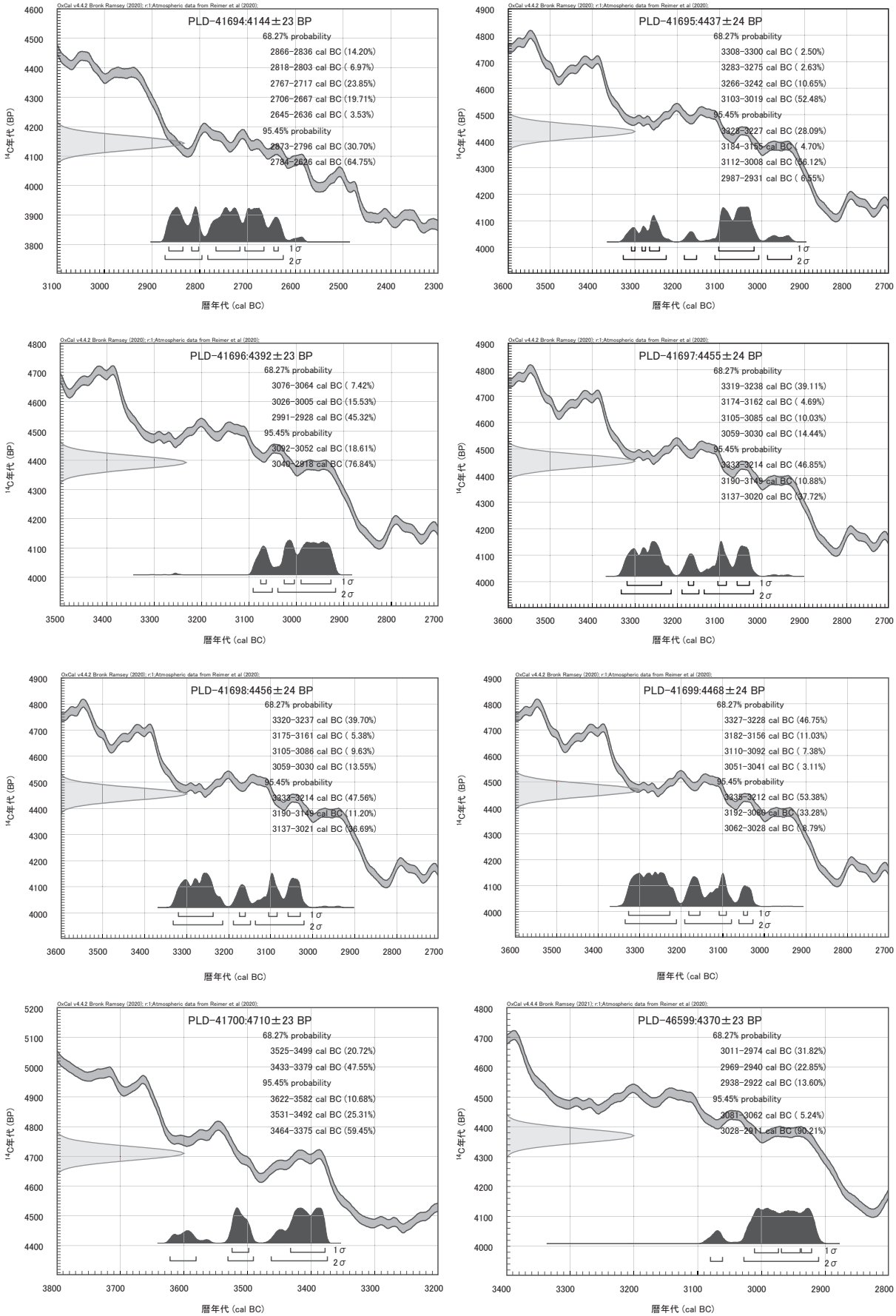
中村俊夫（2000）放射性炭素年代測定法の基礎．日本先史時代の ^{14}C 年代編集委員会編「日本先史時代の ^{14}C 年代」：3-20，日本第四紀学会．

大森貴之・山﨑孔平・椛澤貴行・板橋　悠・尾嵜大真・米田　穣（2019）微量試料の高精度　放射性炭素年代測定．石丸恒存・島田顕臣・國分（齋藤）陽子・藤田奈津子・渡邊隆弘編「第 20 回 AMS シンポジウム報告集」：55，日本原子力研究開発機構．

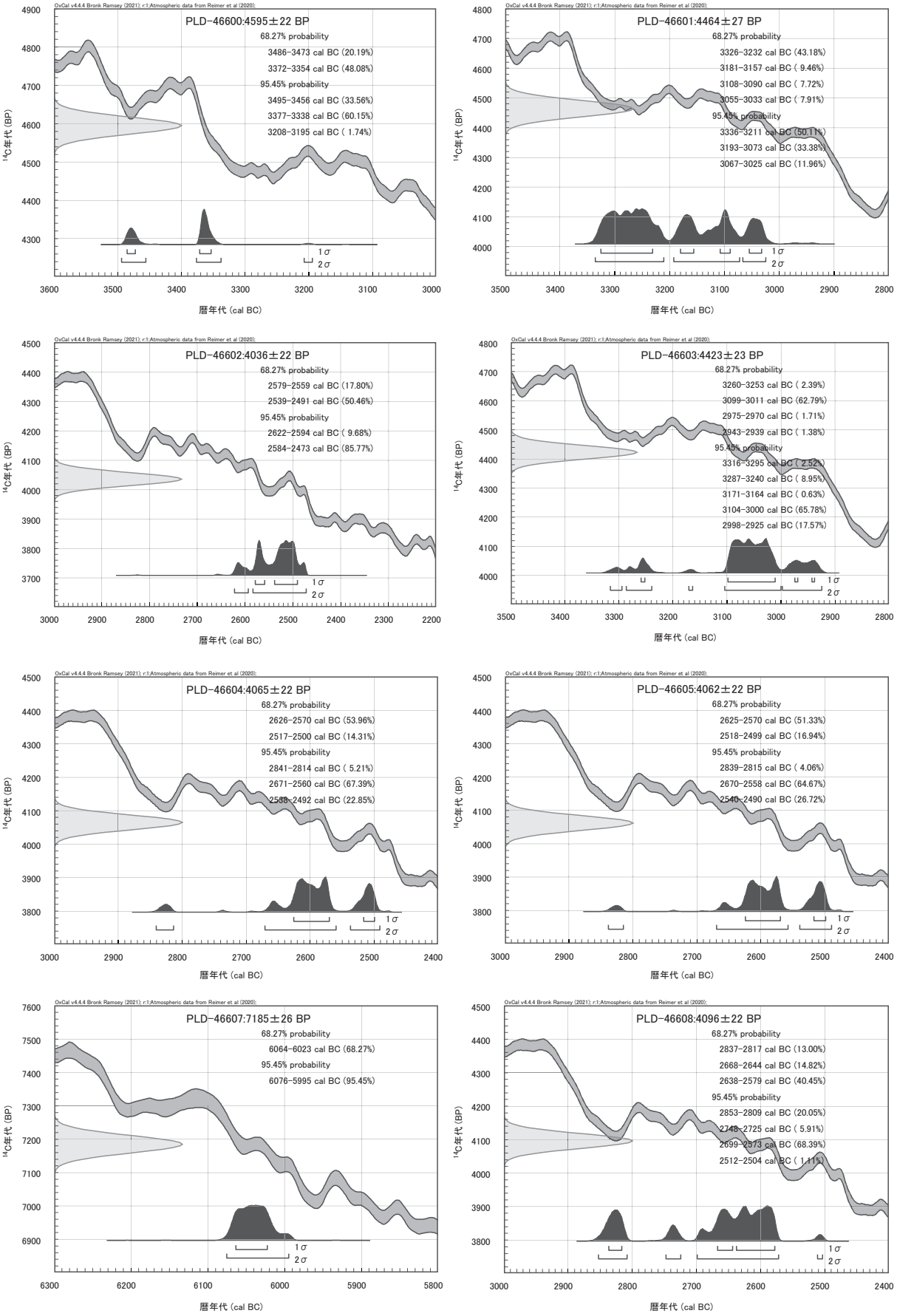
Reimer, P.J., Austin, W.E.N., Bard, E., Bayliss, A., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Butzin, M., Cheng, H., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Hajdas, I., Heaton, T.J., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kromer, B., Manning, S.W., Muscheler, R., Palmer, J.G., Pearson, C., van der Plicht, J., Reimer, R.W., Richards, D.A., Scott, E.M., Southon, J.R., Turney, C.S.M., Wacker, L., Adolphi, F., Büntgen, U., Capano, M., Fahrni, S.M., Fogtmann-Schulz, A., Friedrich, R., Köhler, P., Kudsk, S., Miyake, F., Olsen, J., Reinig, F., Sakamoto, M., Sookdeo, A. and Talamo, S. (2020) The IntCal20 Northern Hemisphere radiocarbon age calibration curve (0-55 cal kBP). Radiocarbon, 62(4), 725-757, doi:10.1017/RDC.2020.41. https://doi.org/10.1017/RDC.2020.41 (cited 12 August 2020)



第 123 図　暦年較正結果（1）



第 124 図　暦年較正結果（2）



第 125 図　暦年較正結果（3）

9　栄町貝塚で確認されたB区砂礫層（38層）礫・A区Sec.1（A1トレンチ）37層採取礫および47号遺構内礫の岩石種組成とその起源について

考古石材研究所　柴田　徹

B区の標高２m付近の砂礫層（38層）採取礫およびA区下総層群上泉層（東京層）直上に堆積するSec.1（A1トレンチ）37層採取礫、47号遺構内礫の岩石種鑑定を実施した。

Ⅰ　採取礫の岩石種

１．B区砂礫層（38層）採取礫（197点）

砂岩が93点47.2%と最も多く半数近くを占め、次いでチャートが69点35.0%、頁岩が12点6.1%、流紋岩が10点5.1%と多い。以上4種で184点93.4%ほとんどを占める。ほかに石英が7点、石英斑岩・安山岩が各2点、ガラス質黒色安山岩・石英片岩が各1点である。

２．Sec.1 37層採取礫（308点）

砂岩が136点44.2%と最も多く、次いでチャートが97点31.5%、頁岩が31点10.1%、流紋岩が22点7.1%と多い。以上4種で286点92.9%とほとんどを占める。ほかに安山岩が10点、石英片岩・石英が各4点、石英斑岩・緑色岩が各1点、不明・その他が2点である

３．47号遺構内礫（24点）

砂岩が13点、チャートが8点、ホルンフェルスが2点、弱固結凝灰質泥岩が1点である。弱固結凝灰質泥岩は遺跡脇の台地の崖を構成する泥に近い石材であり、ほかの23点とは異なる起源の礫と判断した。以下の検討では弱固結凝灰質泥岩を除いた23点を用いる。

４．まとめ

B区砂礫層（38層）採取礫とA区Sec.1 37層採取礫は構成岩石種が酷似している。同一河川が運搬堆積した礫と考えられる。一方、47号遺構内礫にはホルンフェルスが含まれ、流紋岩や安山岩が含まれていない。このことは47号遺構内礫とほかの２地点の礫とは運搬堆積した河川が異なる可能性が著しく高いと言える。

Ⅱ　礫を運搬堆積した河川

礫を運搬堆積した河川を特定するためには、現在の河川が堆積した河原礫や過去に堆積した礫層礫と比較する必要がある。

武蔵野台地およびその東側に位置する本遺跡を考えると、礫を堆積した河川として多摩川、利根川、荒川を候補として上げることができる。数万年前の利根川は武蔵野台地と大宮台地の間を通り本遺跡付近を流れていた。荒川は熊谷付近で利根川に合流しており、本遺跡付近における利根川の構成岩石種に少しの影響を与えた程度の存在と考えられる。２万年前の利根川の河原礫が本遺跡東方の足立区付近では深度56m付近のボーリングサンプルで確認できる。

納谷・中澤（2021）によれば、本遺跡付近（北区中央公園）のボーリングサンプルでは、礫層として標高13～16m付近の武蔵野Ⅱ段丘堆積物と標高1m～3m付近に上泉層の基底礫層の存在が確認されている。『史跡　中里貝塚　総括報告書』中では12m～15m付近に本郷層の砂礫層、2m～5m付近に東京層上部の砂礫層の存在が記されている。北区中央公園の武蔵野Ⅱ段丘堆積物が総括

報告書の本郷層の砂礫層に、北区中央公園の上泉層の基底礫層が総括報告書の東京層の砂礫層に該当すると考えられる。東京層と上泉層では地質年代が異なり、今後の検討が必要である。

標高および堆積状況を考慮すると今回検討するＢ区砂礫層は上泉層の基底礫層もしくは東京層上部の砂礫層と判断できる。堆積状況を考慮するとＡ区 Sec.1 37 層採取礫は２次堆積したものと推定される。

北区中央公園の乗る台地は赤羽から上野まで続く本郷台とされているが、上野の国立博物館地点など上野公園付近では標高５m前後に厚さ数mの礫層が存在している。北区で確認される二つの礫層のいずれに該当するか確定はできないが、何れかである事は明らかである。

以下に、現在の利根川（深谷市）・荒川（熊谷市）・多摩川（府中市）の河原礫、足立区でのボーリングサンプル礫、台東区上野公園付近で標高５m前後の礫層礫、板橋区赤塚の板橋礫層礫と本遺跡で観察した礫を比較する。なお、河原礫は１m四方の表面に顔を出している礫の観察結果である。

１．礫層・河原の構成礫

１）東京国立博物館３号井戸礫層礫（1281 点）

チャートが 478 点 37.3% と最も多く、次いで砂岩が 397 点 31.0%、頁岩が 147 点 11.5%、流紋岩が 86 点 6.7% と多い。以上４種で 1108 点 86.5% とほとんどを占める。ほかに安山岩が 61 点、石英片岩が 30 点、石英が 45 点、石英斑岩が 16 点、ホルンフェルスが４点、その他・不明が 17 点である。

２）上野桜木一丁目 10 番地点礫層礫（813 点）

砂岩が 323 点 39.7% と最も多く、次いでチャートが 264 点 32.5%、頁岩が 64 点 7.9%、流紋岩が 54 点 6.6% と多い。以上４種で 705 点 86.7% とほとんどを占める。ほかに安山岩・石英片岩が各 32 点、石英が 25 点、石英斑岩が 11 点、ホルンフェルスが８点である。

３）足立区江北高等学校ボーリングサンプル（236 点）

チャートが 82 点 34.7% と最も多く、次いで砂岩が 51 点 21.6%、流紋岩が 35 点 14.8%、石英が 27 点 11.4%、頁岩が 25 点 10.6% と多い。以上５種で 220 点 93.2% とほとんどを占める。ほかに石英斑岩が７点、石英片岩が４点、緑色岩が２点、安山岩・閃緑岩が各１点、不明・その他が１点である。

４）板橋礫層・板橋区赤塚地点（1345 点）

砂岩が 868 点 66.0% と最も多く、次いでチャートが 334 点 25.4%、頁岩が 55 点 4.2%、ホルンフェルスが 50 点 3.8%、不明その他が８点である。

５）利根川・上武大橋下地点河原礫（297 点）

流紋岩が 75 点 25.3% と最も多く、次いで安山岩が 57 点 19.2%、砂岩が 47 点 15.8%、チャートが 37 点 12.5%、石英斑岩が 24 点 8.1%、緑色岩が 17 点 5.7% と多い。以上６種で 257 点 86.5% とほとんどを占める。ほかに頁岩が 14 点、閃緑岩が９点、結晶片岩・石英が各４点、アプライトが３点、花崗岩が２点、ホルンフェルスが１点、不明・その他が３点である。なお、結晶片岩は石英片岩と緑色片岩を合わせた点数である。

６）荒川・荒川大橋下地点河原礫（140 点）

砂岩が 90 点 64.3% と最も多く、次いでチャートが 20 点 14.3%、ホルンフェルスが７点 5.0% と多い。

以上３種で 117 点 83.6% とほとんどを占める。ほかに結晶片岩が５点、流紋岩が４点、蛇紋岩が３点、頁岩・石英斑岩が各２点、閃緑岩・石英が各１点、不明・その他が５点である。なお、結晶片岩は石英片岩と緑色片岩を合わせた点数である。流紋岩と石英斑岩であるが、利根川の流紋岩・石英斑岩とは岩相の異なるものである。

７）多摩川・府中市堤政橋下地点河原礫（273 点）

砂岩が 207 点 75.8% と最も多く、次いでチャートが 30 点 11.0%、頁岩が 21 点 7.7%、ホルンフェルスが 13 点 4.8%、不明・その他が２点で全てである。

２．Ｂ区砂礫層礫を堆積した河川、Sec.1 37 層採取礫の起源、47 号遺構内礫の採取地について

約２万年以前の利根川の河床礫である足立区の江北高等学校ボーリング礫と台東区の東京国立博物館３号井戸礫層礫および上野桜木一丁目 10 番地点礫層とは構成岩石種が良く似ている。つまり、台東区の２地点の礫層は利根川が堆積したものと判断できる。流紋岩・石英斑岩・安山岩・石英片岩の存在は多摩川起源でないことの決定的な証拠である。台東区の２地点の流紋岩・石英斑岩は、岩相から荒川ではなく利根川に分布するものと判断できる。

多摩川は極めて単純な岩石種組成を示し、板橋礫層は多摩川が堆積した礫層であることは明らかである。

本遺跡Ｂ区４面砂礫層は、流紋岩・石英斑岩・安山岩・石英片岩が認められる点および砂岩・チャート・頁岩の構成比率などから、台東区上野公園付近の礫層と同じく、かつての利根川が堆積した河原礫であることは明らかである。

Ａ区 Sec.1 37 層採取の礫は、構成岩石種がＢ区砂礫層礫と極めてよく似ている。このことから、Ｂ区砂礫層の属する上泉層の基底礫層もしくは東京層上部の砂礫層が洗い出され再堆積したものであることは明らかである。

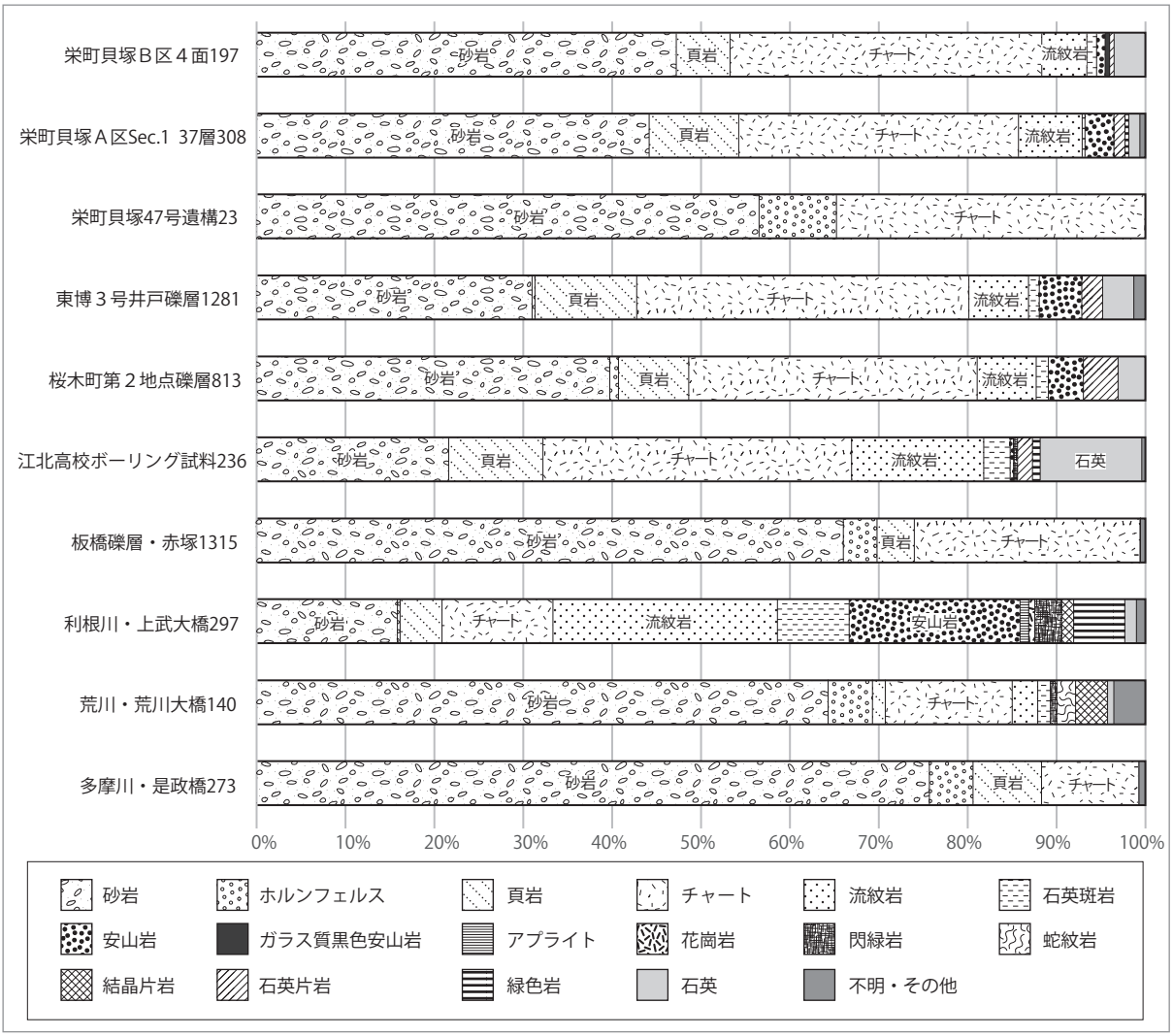
本遺跡 47 号遺構の礫だが、板橋礫層や多摩川堤政橋下と構成岩石種が類似している。板橋礫層など本郷台地部分より西方の武蔵野台地の礫層もしくは多摩川の名残川である石神井川河床で採取したものであると判断できる。

第 153 表　栄町貝塚内砂礫層・遺構礫および河川・上野台地礫層構成礫の岩石種

	北区栄町貝塚						台東区				足立区		板橋区		太田市		熊谷市		府中市	
	Ｂ区４面砂礫層		Ａ区 Sec.1 37 層		47 号遺構礫		東博３号井戸礫層		上野桜木一丁目 10 番地点礫層		江北高等学校ボーリング		赤塚・板橋礫層		利根川・上武大橋		荒川・荒川大橋		多摩川・是政橋	
砂岩	93	47.2%	136	44.2%	13	54.2%	397	31.0%	323	39.7%	51	21.6%	868	66.0%	47	7.2	90	64.3%	207	75.8%
ホルンフェルス					2	8.3%	4	0.3%	8	1.0%			50	3.8%	1	0.3%	7	5.0%	13	4.8%
頁岩	12	6.1%	31	10.1%			147	11.5%	64	7.9%	25	10.6%	55	4.2%	14	4.7%	2	1.4%	21	7.7%
チャート	69	35.0%	97	31.5%	8	33.3%	478	37.3%	264	32.5%	82	34.7%	334	25.4%	37	12.5%	20	14.3%	30	11.0%
流紋岩	10	5.1%	22	7.1%			86	6.7%	54	6.6%	35	14.8%			75	25.3%	4	2.9%		
石英斑岩	2	1.0%	1	0.3%			16	1.2%	11	1.4%	7	3.0%			24	8.1%	2	1.4%		
安山岩	2	1.0%	10	3.2%			61	4.8%	32	3.9%	1	0.4%			57	19.2%				
ガラス質黒色安山岩	1	0.5%																		
アプライト															3	1.0%				
花崗岩															2	0.7%				
閃緑岩											1	0.4%			9	3.0%	1	0.7%		
蛇紋岩																	3	2.1%		
結晶片岩															4	1.3%	5	3.6%		
石英片岩	1	0.5%	4	1.3%			30	2.3%	32	3.9%	4	1.7%								
緑色岩			1	0.3%							2	0.8%			17	5.7%				
石英	7	3.6%	4	1.3%			45	3.5%	25	3.1%	27	11.4%			4	1.3%	1	0.7%		
不明・その他			2	0.6%	1	4.2%	17	1.3%			1	0.4%	8	0.6%	3	1.0%	5	3.6%	2	0.7%
計	197	100%	308	100%	24	100%	1281	100%	813	100%	236	100%	1315	100%	297	100%	140	100%	273	100%

第 154 表　河川および礫層構成礫の岩石種

	調布市	熊谷市	太田市	板橋区	足立区	台東区	台東区	北区栄町貝塚		
	多摩川・是政橋 273	荒川・荒川大橋 140	利根川・上武大橋 297	板橋礫層・赤塚 1315	江北高校ボーリング試料 236	桜木町第２地点礫層 813	東博３号井戸礫層 1281	栄町貝塚 47 号遺構 23	栄町貝塚Ａ区 Sec.1 37 層 308	栄町貝塚Ｂ区４面 197
砂岩	207	90	47	868	51	323	397	13	136	93
ホルンフェルス	13	7	1	50		8	4	2		
頁岩	21	2	14	55	25	64	147		31	12
チャート	30	20	37	334	82	264	478	8	97	69
流紋岩		4	75		35	54	86		22	10
石英斑岩		2	24		7	11	16		1	2
安山岩			57		1	32	61		10	2
ガラス質黒色安山岩										1
アプライト			3							
花崗岩			2							
閃緑岩		1	9		1					
蛇紋岩		3								
結晶片岩		5	4							
石英片岩					4	32	30		4	1
緑色岩			17		2				1	
石英		1	4		27	25	45		4	7
不明・その他	2	5	3	8	1		17		2	
計	273	140	297	1315	236	813	1281	23	308	197



2010　第２章　自然科学分析　第１節　上野忍岡遺跡群出土礫群礫の岩種組成に関する考察 『上野忍岡遺跡群　上野桜木一丁目 10 番地点』p.187-192　台東区文化財調査会

標高 5m 前後に厚さ２m程度で分布

1997（Ｈ９年）「付編　第６節　平成館地点において検出された江戸時代遺構に使用された石材の種類と産地について　－付､3 号井戸底部付近の礫層について－」『上野忍岡遺跡群　－東京国立博物館平成館（仮称）および法隆寺宝物館建設地点発掘調査報告書－　Ⅰ　総括編』p.109-121　東京国立博物館構内発掘調査団

およそ標高 7.5m ～ 4m

第 126 図　栄町貝塚内砂礫層・遺構礫および河川・上野台地礫層構成礫の岩石種

参考文献

柴田　徹　1996「第２節　四葉地区遺跡出土の旧石器時代の使用石材について」『四葉地区遺跡　旧石器時代編』p.342-353　板橋区四葉遺跡調査会・東京都建設局

柴田　徹　1997「第６節　平成館地点において検出された江戸時代遺構に使用された石材の種類と産地について　－付、３号井戸底部付近の礫層について」『上野忍岡遺跡群　－東京国立博物館平成館（仮称）および法隆寺館宝物館建設地点発掘調査報告書　Ⅰ　総括編』p.118-121　東京国立博物館構内発掘調査団

柴田　徹　2006「後期更新世におけるトネ川・ワタラセ川の流路変遷」『松戸市立博物館紀要』第 13 号　p.1-16　松戸市立博物館

柴田　徹　2010「第２章第１節　上野忍岡遺跡出土礫群の岩種組成に関する考察」『上野忍岡遺跡群　上野桜木一丁目 10 番地点』p.187-192　台東区文化財調査会

中野守久　2018「第１章　第１節　立地と地理的環境」『史跡　中里貝塚　総括報告書』p.1-9　東京都北区教育委員会

納谷友規・中澤　努　2021「東京都区部の台地を構成する地層の層序　－東京層と下総層群」『ＧＳＪ地質ニュース』Vol.10　No.7　p.153-158　産総研地質調査総合センター

Ⅵ　調査の成果と課題

栄町貝塚の調査では、表土～下総層群上泉層（東京層）の一部まで掘削を行うことが出来、層序が50層に分層された。遺構は焚き火址が354基、灰層廃土遺構が1基、灰層集中範囲が2基、ピットが2基、木杭・竹杭が39基、集石が1基、溝が1基検出されている。遺物は人工遺物では土器、土製品、石器、杭、貝以外の自然遺物では人骨、獣骨、大形材、材、種子等が出土した。

ここでは調査の成果と課題として、調査による所見と自然科学分析の結果を併せて、層序及び貝層の様相と1～4面の在り方についてまとめ、遺構については焚き火址と木杭・竹杭等について触れておく。遺物については主に土器、土製品について時期的特徴や特に土製品の特徴など、特価的なものについて述べることとする。最後に栄町貝塚の形成過程と利用の在り方について述べ、調査のまとめと代えたい。

1　層序の様相

層序は1・2層が旧耕作土、3～9層、12～14層、18～25･28･30･32･34～37･43層は貝層、10・11・15～17層、26・27・29・31・33・40～42層、44層がシルト質土または砂質シルト質土層、38・39層が砂礫層である。45～50層は下総層群上泉層（東京層）である。

A区南側では3～9層とした層序から焚き火址が非常に多く発見され、またヤマトシジミ中心の貝層が検出されるなど､特徴的な様相を見せている。この面を1面として調査を行った。1面の67c号、79m号遺構から出土した炭化物の年代測定では、縄文時代中期末～後期初頭の年代値が分析結果から出ており、この1面とした層序は、層序的・分析結果的に栄町貝塚における縄文時代の貝層の中で新しい時期に該当すると思われる。1面の層序を構成する3・7・8層の土壌サンプルで行った珪藻分析では、珪藻が検出されていない。潮間帯～干潟環境で珪藻殻が分解されたことが要因で検出されなかったことも想定されるが、海退期に入って陸地化していた可能性もある。

11層とした破砕貝中心のシルト質土を多く含む貝層は、出土炭化物の年代測定から縄文時代中期前半～後半、中期後半～後期初頭という年代値が得られている。また珪藻分析では珪藻が僅かに検出されているが、この層も潮間帯～干潟環境で珪藻殻が分解された可能性も想定され、中里貝塚報文で示されている最高潮位、マリーンリミットが3.5mであったことを敷衍して考えると、11層途中から上層は陸地化している可能性が示唆される。この層序からも焚き火址、灰層廃土遺構が検出されており、11層の上面から縄文時代中期後半～後期初頭の「1面」の生業活動が行われていたと考えられる。

11層は特にB区やA区中央部付近、Sec.1（B1・A2トレンチ）では破砕したマガキが中心でシルト質土を多く含んでいるため、堆積過程で自然営為により破砕貝が混入した層の印象があるが、A区東側のSec.1（A1トレンチ）及びA区西側のSec.4（A5トレンチ）では、破砕の少ないマガキが含まれた11層に対比される層序が確認されているため、B区・A区中央部付近で観察された11層は、A区東・西側に堆積していた破砕の少ないマガキ由来の破砕貝が、潮位変化等の自然営為により堆積した可能性がある。このことはB区及びA区中央部の11層付近ではあまり貝の廃棄は行われず、A

区の東西側で貝の廃棄が行われたことを示していると思われる。A 区側を廃棄場所として選択していたのであるならば、11 層以下の層が貝層とシルト質土の堆積によって徐々に陸地化が進んだため、廃棄場所も北側に移行しつつあった時期とも考えられる。

13・14 層は 2 面とした層序で、細かい粉末状の破砕貝を多く含み、その下部に面状の破砕貝が看取される特徴的な層序である。面状の破砕貝の堆積は物理的な圧力、例えば人間の活動による可能性が想定される。粉末状の破砕貝は 13 層から珪藻が検出されていないものの海綿骨針が含まれており、潮間帯～干潟環境では珪藻殻が遺存しにくいことを併せて鑑みると、廃棄等に伴う人為的な堆積結果というよりも、物理的な圧力や風化由来の破砕貝が、潮位変化等の自然営為による二次的な要因で堆積したものと考えられる。13・14 層よりも上層の 3 層及び 11 層からは海綿骨針は検出されていないため、1 面と 2 面の間には環境的なヒアタスが存在するようである。

3 面は主に 18・25 層の破砕の少ないマガキを多く含む貝層で、部分的に 18 層最上層付近にハマグリを多く含んでいる。この 3 面は B 区南側では 19・20・26 層付近で焚き火址が検出されている。珪藻分析では 19・20 層には珪藻は含まれず、18 層から海水～汽水生種の珪藻が検出されている。B 区 20 層上の焚き火址である、3b 号遺構から出土した炭化材の年代測定結果では、中期前半～後半とやや幅広い年代測定結果が出ているが、1 面の中期後半～後期初頭とされた焚き火址よりも古相を示す。18 層から出土した材の年代測定結果では中期前半とされているため、B 区 19・20・26 層の焚き火址と 18 層は時期的に近いと思われる。あるいは 3 面の焚き火址と 18 層には、貝の加熱加工と廃棄という関係があるのかもしれない。また構成貝種の類似から A 区北側に 18′層とした層があるが、この層からは汽水生種、海水生種、海水～汽水生種の珪藻が多く検出されており、貝殻の海中投棄を示すものと言えよう。18 層の下部や 18′層のマガキには還元し青みがかったものが多く含まれていることは、こういった影響が作用していると思われる。

25 層はマガキを中心に若干ヤマトシジミを含む貝層で、25 層中から出土した炭化物の年代測定結果では、中期前半～後半という結果が示されている。遺物の様相を含め、18 層とは時期的に明確な差は見られないが、層序的には 18 層より下層に位置し、検出面も深く、構成貝種が若干異なるなど、3 面の中でも古い貝層と思われる。25 層には汽水生種、海水生種、海水～汽水生種の珪藻が含まれており、還元した色調の貝が多く含まれていることから、海中投棄された貝層の可能性が高い。この 25 層は A 区中央部西側の Sec.3（A4 トレンチ）・Sec.4（A5 トレンチ）では検出されているが、その間の Sec.8（A3 ～ A5 セクション）では観察されず、23 層の下層は砂質シルト質土の 40 層が堆積する。23 層は還元した色調の細かい破砕貝をシルト質土中に含む層で、18 層と 25 層の間層的な様相である。この 23 層には汽水生種、海水生種の珪藻が含まれている。

3 面は概して破砕の少ないマガキが多く含まれている層序が特徴だが、その中でも 23 層のような間層的な層序の存在も看取されるなど、層序の観察からは短い停滞期があった可能性が推察される。

4 面は B 区に堆積する 38・39 層の砂礫層と B 区北側 28・30 層、A 区 35 ～ 37、40 層以下の貝をあまり含まない自然堆積層前後の層を対象とした。B 区で 38・39 層上に堆積する 28・30 層は、破砕貝が混じるシルト質土層・砂質シルト質土層で、これらの層序と砂礫層 38 層上面からは中期初頭の五領ヶ台式土器が出土している。B 区では砂礫層の下層から、A 区では貝層下から砂質シルト質土層の 40 層が堆積する。B 区の砂礫層上からは木杭が、40 層からは竹杭が検出されている。年代測

定によると竹杭は前期末～中期初頭で木杭は中期前半という結果なので、竹杭は木杭よりも古い時期に構築された可能性が高い。このことから砂礫層は中期初頭・中期前半の間の短期間に一気に形成されたことが理解される。これらの層序には海水生種、汽水生種、海水～汽水生種の珪藻が含まれる。

2　検出された遺構と遺物

1）遺構

A　焚き火址

栄町貝塚からは前述したように、354 基の焚き火址が検出されている。1 面から 287 基、3 面から 67 基検出された。灰や炭等、焚き火の残渣が凹みに流れ込んだものも含まれている可能性も想定されるため、全て焚き火址かどうかは判断が難しいが、調査段階で半裁及びサブトレンチ等の断面観察で焚き火址の可能性が高いと判断したものについて記録を行っている。また 1 面の焚き火址の中には、130・145・271 号遺構など、底面の粘土質土が燃焼により部分的に硬化した箇所が認められたものが複数検出されている。遺構底面が全面的に硬化していれば炉跡などで形成されるいわゆる「火皿」状とも捉えられるが、硬化は一部で、長期間繰り返して燃焼が行われた状況ではないようである。いずれにせよこれらの事例は、少なくともここで焚き火を行った証左である。この焚き火址の灰層について、明治大学文学部 阿部芳郎氏に製塩痕跡の分析をお願いしたところ、その痕跡は認められなかった。この結果は本貝塚における焚き火址の機能の推察のみならず、製塩の開始時期を思考する上で一つの成果である。

焚き火址の機能の推察について、『史跡 中里貝塚 総括報告書』（東京都北区教育委員会 2018）内では、加熱により貝類を開口させた剥き身処理を行った遺構であることが記されている。剥き身は干し貝とし、貝殻は海中に投棄されたため、貝層は干し貝加工の副産物であると述べられている。同様に、焚き火址も貝層に付随するものである。本貝塚においても焚き火址と貝層形成が中里貝塚と同様に看取されたため、ここでも焚き火址については貝の加工施設として捉えておく。

1 面の焚き火址は、貝層が検出され始める 3 層付近からヤマトシジミが多く含まれる 9 層付近まで検出される。主に A 区南側から検出されており、B 区からは A 区と近接する箇所で 1 基検出されるにとどまっている。重複関係が激しく、覆土が薄い様相から、浅く掘り込んでいるものや僅かなくぼみを利用して焚き火を行ったもの、平地でそのまま焚き火を行ったものなどが看取される。

前述したように、1 面の焚き火址の覆土から出土した炭化物の年代測定結果では、縄文時代中期末～後期初頭という結果であった。またその分布は、1 面以前に廃棄された貝層とシルト質土の堆積により陸地化したことと、この時期に発生した海退により海岸線が退いたことで B 区よりも汀線に近い場所で焚き火が行われたため、A 区で焚き火址が多く検出されたと考えられる。また海退により周辺で汽水域が形成された結果、縄文時代中期末～後期初頭の本貝塚周辺ではヤマトシジミが多く採取されるようになったものと思われる。ヤマトシジミはマガキやハマグリと比較すると貝肉量は非常に少ないが、マガキやハマグリと同様に「干し貝」として加工され、食料資源としたものであれば、小形が故に圧倒的に作業効率が悪いものの、加工された食料として利用されていたと考えられなくもない。現在よりも食料の対象物が環境への依存度が高く、食料獲得の選択肢が少ないと思われる先史社会では、海退等の環境変化に適応した食料資源対象の一つとして、ヤマトシジミが積極的に採取・加

工・食料として利用されていたと考えられる。

本貝塚 1 面の焚き火址に伴う遺物は僅少だが、中里貝塚 A 地点では焚き火址に伴って称名寺式土器が出土しており、本貝塚 1 面焚き火址の中期後半～後期初頭という年代測定結果と合わせると、同様の時期に土地利用されていたことが伺える。また中里貝塚の中で最も北西に位置する G 地点では、ヤマトシジミが含まれる貝層が検出されている。K 地点では客体的にヤマトシジミが混ざる層序とその直上の泥炭層から、後・晩期の土器が出土している。本貝塚でもヤマトシジミを含む 3 層よりも上層から僅かに後・晩期の土器が出土しており、その関連が示唆される。

3 面の焚き火址は、B 区中央部南側に主に分布する。北側では検出されず、B 区東側及び西側では攪乱されていたため検出されていない。遺構は主に 19・20 層から検出されているが、これらの層序は北側に向かうにつれて徐々に傾斜するため、検出された標高が 1 面で検出された焚き火址とほぼ同様であっても時期的には 1 面よりも古い可能性が高く、3 面の焚き火址とした。3 面の焚き火址は、1 面で検出されたようなヤマトシジミは含まれず、ハマグリもほとんど含まれない。マガキの破砕貝が中心である。遺構は後世の根による攪乱されているものが多く、不定形な平面形態のものも多い。

3 面の遺構の中で比較的平面形態が明瞭であった 3 号遺構は、遺構内での重複が多数見られ、またやや掘り込んでいる状況が伺えた。覆土には炭化物や灰、焼けた破砕貝が多く含まれている。遺構の遺存状態にもよるため単純に比較することは難しいが、3 号遺構のみで考えると規模が大きく、形態の定型性や掘り込み、覆土の様相からは 1 面の焚き火址とは様相が異なる印象がある。逆にサイズが 1 面と同様のものも多く検出されている。ただ 3 号遺構も含め、遺構覆土を除去後に遺構底面とした層の下層から新たな灰層が現れ､別の遺構が検出される状況は 1 面の焚き火址と同様に見受けられた。

3 面の焚き火址の遺構覆土に含まれている炭化物の年代測定を行ったが、中期前半～後半というやや広い結果であった。だが遺構周辺では勝坂式土器が出土しており、中里貝塚 A 地点での木枠付土坑の年代測定結果及び阿玉台式土器の出土事例と、時期的には近い類例である。

1 面・3 面の焚き火址は形成された時期が異なる可能性が高いが、平面形態や覆土の様相、重複の多さという点で類似する。この類似性が発生する要因は 1 面・3 面の焚き火址が貝の加工施設として継続的に利用されたものではなく、一時使用が繰り返されていたことに起因すると思われる。本貝塚では住居跡等、居住施設が検出されておらず、また土器や石器等の遺物も少なく、3 面については最高潮位 3.5m といったマリーンリミットから想定しうる、潮の干満の影響による作業場としての土地利用が期間的･時間的に制限を受けることから、一時的な利用が繰り返された要因の一つと思われる。

1 面の焚き火址は、最高潮位よりも上位のレベルから検出されたものが多いため、3 面のように潮の干満によって焚き火を用いた貝類の加工には影響が少ないが、貝類採取可能時間と期間は潮の干満といった環境的条件に依存することから焚き火は貝類採取に伴って行われるため、断続的に行われることになる。また 1 面も居住施設としての機能を持つ遺構は検出されていないため、集落としての場の機能は保持していなかったと推察されることから、加工対象物の数量や日没等の外的・環境的要因で、加工作業は終了せざるを得ない。このような要因で焚き火址は断続的かつ一時的な利用として制限されざるを得なかったのであろう。

貝類の採取と加工は環境的条件に依存するが、それ以外に季節性も関わるものと思われる。中里貝塚ではハマグリの成長線分析から春～夏前半、マガキは晩秋～冬季と採取時期を想定しており、マガ

キとハマグリの互層構造から年に２回、それぞれの貝種を選択して採取が行われていたことが指摘されている。一方、本貝塚でハマグリは部分的に薄く層を成している箇所も認められたが、全体的には出土は非常に少ない。このことから潮の干満や季節的採取可能時期を鑑みると、本貝塚は中里貝塚よりも貝類採取活動において短期・中期的に時間的懸隔が発生していた可能性がある。それに付随して貝の加熱処理として用いられた焚き火址の使用も継続的ではなく、断続的であったことが想定される。大潮の時ならば、その期間の干潮時に貝類採取と加工が可能だが、潮の状況によっては短期的に不可能な時期もあり、また採取を行っていない時期には中長期的に焚き火は行われなくなる。この時間的懸隔により使用後の焚き火址は自然営為等の影響により消滅、破損し、またはその痕跡を僅かに残す程度まで埋没した可能性が考えられる。これらの事象は調査時に灰や炭化物が遺構の外に流れているものや、覆土にシルト質土や破砕貝が薄く堆積しているもの、遺構の底部に薄く堆積しているシルト質土の下層から別の焚き火址が検出された状況から想定される。このように短期的・中長期な時間的懸隔が想定される焚き火址だが、後に再度この地で貝類採取や加工を行おうとする場合、遺棄された炭等が遺存している状態が焚き火を行った場所の目印、意図せずに「アフォーダンス」として貝類加工場所及び位置の再選択に導く役割を果たしていたと想定される。遺存していた大型の炭は「消し炭」的なキャッシュとして、後に本貝塚に貝類採集・加工目的で訪れた集団により焚き火場所の再選択と炭の再利用が行われたかもしれない。焚き火により発生する視覚的・物的情報は、焚き火を行った集団とは別の集団が立ち入った場合でも、そこで焚き火が行われていたこと、あるいは貝殻とその加工痕跡が残っていたならば、その情報から焚き火を行う目的を把握することも可能にする。すなわち貝類採取→加工→食料獲得→廃棄というプロセスを行う新規の集団が発生する契機にも繋がる。このように潮位変動や季節性、非居住域といった環境的・時間的な場の利用の制限は、本貝塚において複数集団が遭遇する機会が増えると推察される。複数の集団が貝類の採取・加工を行う場合、焚き火は同一のものを利用するのではなく、別のスペースで焚き火を行うと考えられる。環境的・時間的な規制は複数集団により焚き火、貝類採取、加工が同時に行われ、作業後はその行為の情報が痕跡として残される。その痕跡は場の再利用へと繋がるとともに、新たにこの地を訪れた集団には生業活動の情報獲得になる。またそこでは集団間で場の利用や食料獲得についてコミュニケーションによる情報交換が行われたと想定され、それが貝の獲得や加工、貝殻の廃棄といった一連の作業効率の向上を促す。環境的・時間的規制、痕跡から得られる場の情報、本貝塚内外での集団間のコミュニケーションによる情報交換、これらがリゾーム状に絡み合いながら円環的に行為が反復された結果、集団数と貝類採取の肥大を招き、本貝塚における膨大で厚い貝層の形成と無数の焚き火址が残された要因に繋がったものと考えられる。

まとめると、１面・３面の焚き火址は、継続的利用を目的とした施設としての屋外炉と捉えることが難しい点や、重複が多く遺構の覆土や形態などの類似点が多いことから一時的な利用の様相が強い点で共通する。この共通点は、潮位変化による時間的な制限や季節性により、貝類採取及び加工に伴う焚き火を断続的かつ便宜的に行わざるを得なかった状況が要因と思われる。また集団の土地利用が重複し、貝類採取・加工の度に焚き火が繰り返されたため、多くの焚き火址が本貝塚に残されたものと思われる。その行為と痕跡は貝類採取と加工の情報となり、利用する集団や焚き火遺構数、貝層を肥大化させながら再生産を促し、それは意図せずに陸地化に繋がったとも言える。

B　木杭・竹杭

本貝塚からは木杭・竹杭が合計 39 基検出されている。これらは主に B 区で検出されており、平面的には B 区の砂礫層が北側で堆積が途切れてシルト質土層に移行する、砂礫層とシルト質土の境目付近の旧海岸線と想定される付近を中心に北西から南東へ打ち込まれている。断面観察からは 25 層の土圧で北側に傾いている状況から、木杭は 25 層以前に打ち込まれたものと考えられる。また木杭の年代測定結果では中期前半という年代が示されていて、B 区 38 層の砂礫層と境目付近の層序である、B 区北側の 28 層のシルト質土層から出土した木材と同様の年代結果である。従って木杭は 28 層前後、25 層以前に打ち込まれたものと思われる。25 層は中期前半を含めたそれ以降の層序として捉えられるが、年代測定の結果では中期前半～後半という結果が提出されている。少なくとも 25 層の貝層が形成される以前に何らかの施設を構築することを目的として、砂礫層とシルト質土の境目、礫浜の汀線付近に打ち込まれたと思われる。中里貝塚においても列状の木杭が検出されており、そこではマガキの養殖が行われた可能性が指摘されているが、中里貝塚例と同様、本貝塚で検出された木杭からマガキが付着している様相やその痕跡は看取されなかったため、木杭が如何なる目的で汀線付近に打ち込まれたのかを明らかにすることはできなかった。ただ木杭が列状に打ち込まれている様相については中里貝塚例と類似するものである。その一方で本貝塚における木杭の樹種同定の結果からは、木杭に特定の樹種の選択や希求は見られず、周辺で獲得及び利用可能な木材を利用していた在り方が伺える。

砂礫層 38・39 層の下層のシルト質土層である 40 層からは、B 区のみからであるがタケ亜科を用いた竹杭が検出されている。複数本を 1 単位として打ち込まれており、竹杭を砂礫層に打ち込むことは物理的に困難と考えると、砂礫層が堆積する以前に竹杭が打ち込まれたものと考えられよう。竹杭の年代測定の結果は前期末葉から中期前半というやや広い結果だが、木杭は中期前半という年代測定結果であったため、木杭と竹杭は砂礫層を挟んで時期差が存在する可能性がある。すなわちシルト質土層が広がっていた本貝塚において、その時は何らかの意図により竹杭を用いてそれがシルト質土中に打ち込まれていたが、中期前半のある時期に自然営為により砂礫層が一気に堆積するイベントが発生し､砂礫層に竹杭を打ち込むことが困難になったため木杭の利用へと置き換わったとも考えられる。砂礫層上からは中期初頭の五領ヶ台式土器が出土しているため、木杭は中期初頭前後の可能性が考えられるが、竹杭が検出されている層序では土器等の遺物は出土していないため、前期末葉から中期前半という年代測定結果の範囲内で構築されたものと位置付けざるを得ない。この竹杭は中里貝塚では検出されておらず、木杭と同様に如何なる用途や機能を持つ遺構・遺物なのかは不明である。ただ前期末葉～中期前半という時期の中で、それらの杭が保持する物理特性、堆積状況や年代測定の結果から、竹杭の利用→砂礫層堆積→木杭の利用という一連の流れは指摘できよう。

2）遺物

A　出土土器の様相

今回の調査で出土した縄文時代の土器の総点数は 181 点、4021.4g である。そのうち、中心を占めるのは中期初頭の五領ヶ台式、中期前葉～中葉の勝坂式、中期後葉の加曽利 E 式である。少量ではあるが、前期後葉の諸磯式、後期前葉の堀之内式、晩期の安行 3 式も出土している。ここでは出土土器を概観し、時間的な位置付けを確認するとともに周辺の遺跡との出土例を比較することで、栄町

貝塚出土土器の在り方について捉えていきたい。

前期後葉の諸磯式土器は 1 点のみ出土した。今村編年（今村 1982）の諸磯 b 式に比定される。中期初頭の五領ヶ台式土器は 16 点出土している。集合沈線が施文されるものと単沈線と沈線が施文されるもの、地文に結節縄文が施されるもの、縦位の結節縄文が貝殻腹縁文に置換されたと思われるもの、沈線に三角印刻文がともなうものに大別される。これらは今村編年（今村 1985）の五領ヶ台Ⅰ式に比定される。中期前葉～中葉の勝坂式土器は 17 点出土している。分類は今福編年（今福 1999）に準拠した。勝坂 1 ～ 3 式まで断片的ではあるが、出土している。キャタピラ文を持つものと爪形文による重三角文が施文されるもの、眼鏡状突起をもつもの、沈線によるパネル文、半裁竹管内面による褶曲文を持つものに大別される。古い段階に見られる施文具の竹管の幅が狭いものから段々幅が広いものに変化していく流れも看取される。また併行する土器型式である阿玉台式土器も出土している。阿玉台式と比定された資料は 3 点である。1 点は隆帯脇に結節沈線文が施されるもので、小林編年（小林 1999）の阿玉台Ⅰ式に比定される。また土器の胎土より阿玉台式期と判断した資料が 2 点出土している。中期後葉の加曽利 E 式土器は 26 点出土した。地文は沈線・条線・縄文がみられ、加曽利 E2 ～ 4 式に比定される資料が出土している。後期前葉の堀之内式は 1 点のみ出土した。複数の沈線による懸垂文と斜行文が施文されるタイプの深鉢土器で、堀之内Ⅰ式と位置付けた。晩期の安行３式は 2 点出土した。この 2 点は同一個体の可能性があるが、横位の沈線と沈線間に列点が充填されるもので、安行 3c 式に比定される。類似した資料が御殿前遺跡より出土している。

ここまで簡単ではあるが、栄町貝塚より出土した土器について型式ごとに特徴を述べた。次に今回の調査で捉えてきた面、1 ～ 4 面と出土土器の関係について概観し、時間的な在り方について触れていく。

1 面からは、中期後葉の加曽利 E 式 11 点、後期前葉の堀之内式 4 点、後期 4 点、晩期の安行 3 式 2 点が出土した。1 面は遺構から検出された炭化物の年代測定の結果から中期後半～後期初頭という結果が出ており、また後期前葉以降の土器は貝層が検出され始める 3 層よりも上層から出土したものも含まれているため、新しい時期のものが混在している可能性がある。2 面からは、中期後葉の加曽利 E 式 5 点が出土し、 3 面からは、前期後葉の諸磯式 1 点、中期初頭の五領ヶ台式 4 点、中期前葉～中葉の勝坂式 17 点、中期後葉の加曽利 E 式 15 点、中期の範疇で捉えられるものが 4 点出土している。ただ 3 面の土器の組成から、諸磯 b 式は混入した可能性が高い。4 面から出土した土器は中期初頭の五領ヶ台式 12 点、中期前葉の阿玉台式 1 点、中期の範疇のものが 15 点である。当然のことだが、土器は製作されてから廃棄されるまで時間幅を持っており、単純に出土した土器の時期＝各面の使用された時間幅とすることは出来ないが、年代測定の結果や面ごとの出土土器の組成を踏まえるならば、1 面は中期後葉～後期初頭、2 面は中期後葉、3 面は中期初頭～中期後葉、4 面は中期初頭～中期前葉と捉えることが出来る。

また本貝塚周辺には低地・台地を含めて縄文時代中期初頭～後期初頭の遺跡が分布している。中期初頭の土器が出土している遺跡では低地の中里遺跡がある。五領ヶ台Ⅰ式の出土も認められる。中期前葉～中葉の土器が出土している遺跡は七社神社裏遺跡や御殿前遺跡で阿玉台Ⅰ式が出土し、また西ヶ原遺跡群国立印刷局滝野川工場地点では勝坂２式が出土している。中期後葉から後期初頭にかけては七社神社裏貝塚で勝坂３式～加曽利Ｅ 1 式の土器を伴う住居跡が検出され、また中期後葉以降

は御殿前遺跡から加曽利Ｅ３～４式、後期初頭の称名寺式も出土している。

以上のように栄町貝塚の周辺に分布する遺跡からも、同様の同時期の土器が出土しており、また住居跡等の遺構も認められることから、本貝塚と周辺の遺跡との密接なつながりが示唆される。

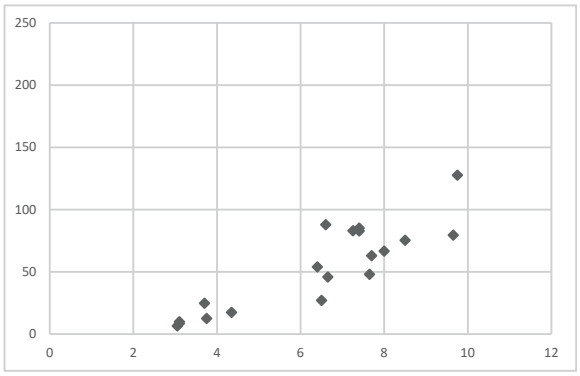
ここまで栄町貝塚より出土した土器を型式ごとに概観し、出土土器から推定される各面の時期幅について触れた。そして、栄町貝塚周辺の中期の遺跡の分布状況について簡単であるが確認してきた。1～3面が形成された時期には、西ヶ原遺跡群を中心に台地上に遺跡が存在しており、既に中里貝塚で指摘されているのと同様に、栄町貝塚も台地上の人々が利用していたと考えられる。また4面の中期初頭～中葉の時期では台地上では活動痕跡があまりみられないが、土器の出土状況から同時期の人々による低地の利用痕跡が栄町貝塚において確認出来た点は一つの成果である。

Ｂ　出土土製品

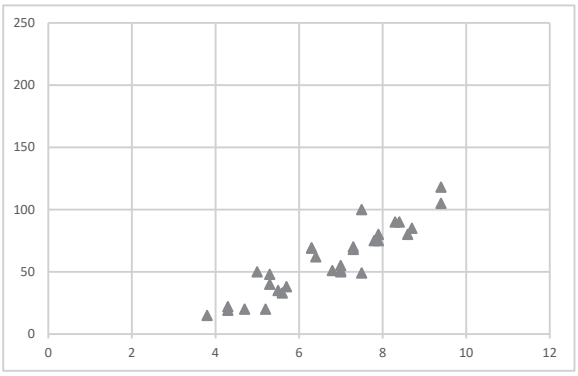
栄町貝塚からは土製品19点、1005.3gが出土している。そのすべてが土器片錘である。その用途は端部に刻み目が施され、その刻み目に紐を巻き付けて用いられた錘である。本貝塚の立地からも漁撈に関わる道具として用いられていた可能性が高く、本貝塚の生業の一端を知る手がかりとして、重要な資料といえる。

出土した19点の土器片錘に使用されている土器は、中期初頭の五領ヶ台式3点、中期前葉～中葉の勝坂式1点・阿玉台式1点、中期後葉の加曽利Ｅ式4点・連弧文土器1点、後期前葉の堀之内式？1点､型式不明のものが8点である｡土器片錘は縄文時代中期･後期のものが用いられているが､五領ヶ台式～堀之内式までの型式幅を持っている。形状は、方形2点、長方形9点、台形1点、多角形1点、不定形5点である。完形・欠損のものを含め、重量は6.6～127.6gを測り、平均重量は51.9gである。型式ごとの平均重量は、五領ヶ台式が82.9g、勝坂式が79.4g、阿玉台式が87.9g、加曽利Ｅ式50.8g、連弧文土器が48g、堀之内式が12.5g、型式不明のものが40.6gである。長軸は、3㎝以上4㎝未満が5点、4㎝以上5㎝未満が1点、6㎝以上7㎝未満が4点、7㎝以上8㎝未満が5点、8㎝以上9㎝未満が2点、9㎝以上10未満が2点である。使用される土器の部位は口縁部6点、胴部12点である。また使用されている土器片錘の網かけ部では、土器片横位の輪積み方向が13点、土器片の垂直方向が2点、土器片横位の輪積み方向＋垂直方向が2点、欠損により不明瞭なものが2点である。面ごとの出土状況であるが、1面からは6点出土しており、型式別の内訳は加曽利Ｅ式が1点、堀之内式？が1点、型式不明のものが4点である。2面からは1点出土しており、型式別の内訳は加曽利Ｅ式？1点である。3面からは8点出土しており、型式別の内訳は五領ヶ台式が1点、勝坂式が1点、阿玉台式が1点、加曽利Ｅ式が1点、連弧文土器が1点、型式不明のものが3点である。4面からは4点出土しており、型式別の内訳は五領ヶ台式が2点、加曽利Ｅ式が1点、型式不明のものが1点である。栄町貝塚から出土した土器片錘は30g以下と50g以上のグループに大きく分かれ、大型の土器片錘の出土が目立つ傾向がある。

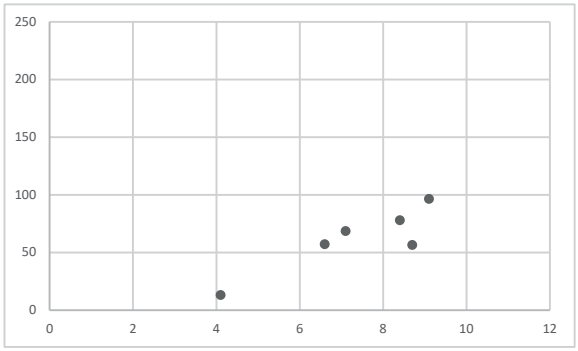
ここまで栄町貝塚より出土した土器片錘について簡単ではあるが触れてきた。次に本貝塚周辺の遺跡から出土している土器片錘について見ていきたい。ここでは、栄町貝塚と同様に区内の低地の貝塚である中里貝塚と袋低地遺跡、そして後背地にあたる武蔵野台地上に所在する西ヶ原遺跡群の七社神社裏貝塚・御殿前遺跡と赤羽台遺跡出土資料を比較対象として扱う。各遺跡の詳細については、Ⅲ章３節の周辺の遺跡で触れているので、ここでは割愛する。



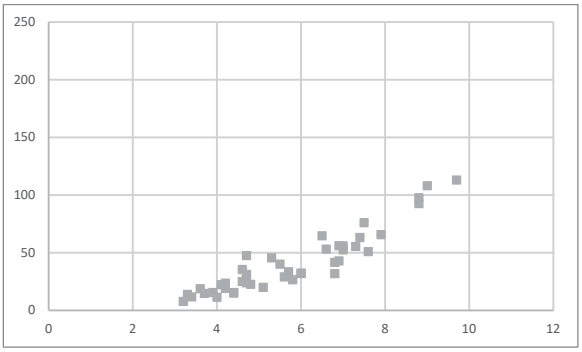
栄町貝塚



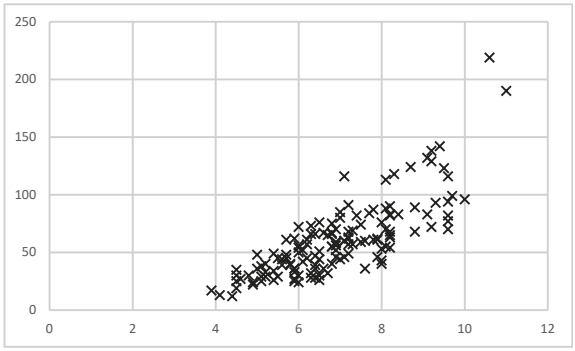
七社神社裏貝塚



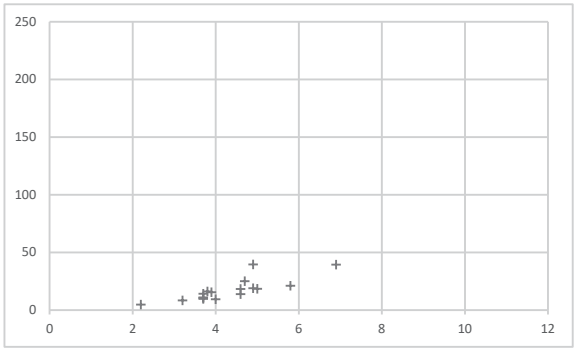
中里貝塚



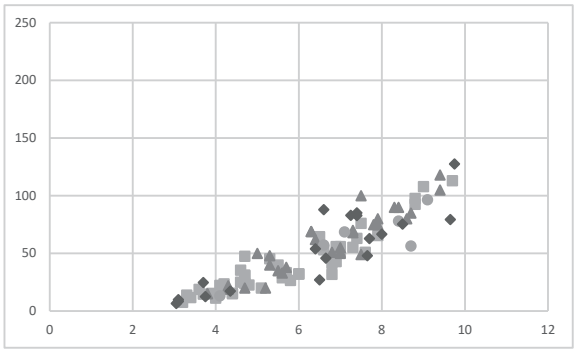
御殿前遺跡



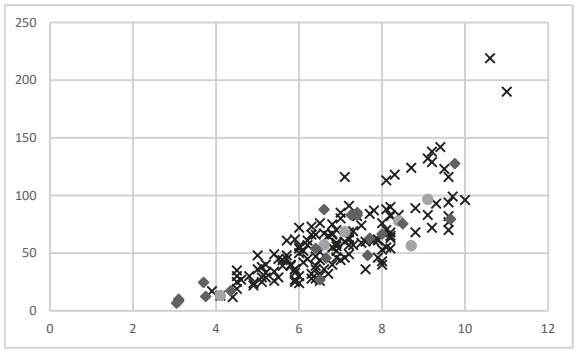
袋低地遺跡



赤羽台遺跡



♦栄町貝塚　●中里貝塚
■御殿前遺跡　▲七社神社裏貝塚



♦栄町貝塚　●中里貝塚　× 袋低地遺跡

※(縦軸：重量（g）　横軸：長軸（cm）)

第 127 図　土器片錘相関図

中里貝塚では、砂堆部分より土器片錘が 6 点出土している。使用された土器は中期の土器であり、勝坂式が 1 点、阿玉台式が 4 点、加曽利 E 式が 1 点である。出土した土器片錘の大部分が 6 ～ 10㎝・51g 以上である。

袋低地遺跡から土器片錘は 153 点出土しており、その大部分が河川の流路跡からの出土である。使用された土器は加曽利 E 式であり、中期の勝坂式と後期の称名寺式、堀之内式が数点含まれる。出土した土器片錘の 9 割が長軸 5㎝以上であり、20 ～ 90g の間に基本的には収まる。100 g 以上の資料が 11 点確認され、200g を超える資料も 1 点出土している。

七社神社裏貝塚は中期の住居跡が 3 軒検出されており、土器片錘が 1 号住から 31 点、2 号住から 1 点出土している。使用された土器は中期の土器が主体であり、そのうち勝坂式期のものが 6 点含まれる。長軸のピークは 4 ～ 6㎝と 6 ～ 8㎝に見られるが、全体的に大きなばらつきはない。重量はピークが見られるほど、特定な偏りを持たない。

御殿前遺跡では土器片錘が 52 点出土している。使用された土器は中期初頭の五領ヶ台式・中期前葉の勝坂式 8 点、中期後葉の加曽利 E 式 36 点であり、中期に属する土器は 44 点であった。出土した土器片錘は土坑群、もしくは中期後葉の土器片整地層、縄文河道を検出した地区より出土している。長軸のまとまりは 4 ～ 6㎝、6 ～ 8㎝、9㎝以上だが、明確な差は見いだせない。重量は 100g 前後の資料が数点出土する特徴を持つ。

赤羽台遺跡からは中期後葉～後期初頭（加曽利 E 式から称名寺式）の破片が用いられた土器片錘が 17 点出土している。これらの土器片錘は遺構外からの出土である。長軸は 3 ～ 5㎝、重量が 25g 以下にまとまる。長軸と重量ともに赤羽台遺跡以外の 5 遺跡と比べて、小型の傾向が見られる。

ここまで、栄町貝塚周辺の遺跡から出土した土器片錘について概観してきた。長軸と重量の関係を示したグラフから、出土した土器片錘の多くが 4 ～ 8㎝、100g 以下に集中することが読み取ることができるが、赤羽台遺跡出土の土器片錘は他の遺跡と比べて小型の傾向がみられた（図 127）。また 100g 前後以上の重量を持つ大型の土器片錘は少量ではあるが、赤羽台遺跡以外の 5 遺跡から出土している。赤羽台遺跡を除いて、台地上の遺跡と低地上の遺跡間ではサイズや重量において類似する。

その理由として、台地の集落に住む人々が低地を利用していたため、その組成が類似した傾向を示している可能性がある。また近藤康久は関東近辺から出土している土器片錘を対象に、ＧＩＳを用いて分析を行っているが（近藤 2007）、そこでは中期の土器片錘の重量の平均値は、24.7 g であることを示している。栄町貝塚で出土した 100g 前後の土器片錘は、近藤が示した中期の土器片錘の平均値と比較しても大型であることが分かる。この大型の土器片錘は栄町貝塚に限らず、中里貝塚、袋低地遺跡、七社神社裏貝塚、御殿前遺跡より出土している。他地域の土器片錘の在り方を検討していないため、この大型の土器片錘の出土がハマ貝塚の利用に関わる地域的な特徴か否かは不明であるが、少なくとも当該地域の中期の遺跡からは 100g を超える大型の土器片錘が台地と低地の遺跡と同様に出土することが指摘できる。

以上、栄町貝塚から出土した土器と土器片錘についてそれぞれ触れてきたが、最後にまとめていきたい。前項で述べたように時期的に同様のものであることから、栄町貝塚は台地上の集落に利用されていた可能性を指摘した。また土器片錘においては、栄町貝塚周辺の台地の遺跡と低地の貝塚では赤

羽台遺跡を除き土器片錘のサイズと重量の関係において類似した傾向を示し、また 100g を超える大型の土器片錘が台地と低地の両遺跡から出土している点から、台地上の人々が栄町貝塚を含めた低地の「ハマ貝塚」を利用していたことを裏付けるものと指摘できる。台地上の人々の低地に立地する貝塚の利用については、中里貝塚の報告書内で指摘されてきたが、栄町貝塚出土土器及び土器片錘の在り方により、さらにその可能性が強いものと指摘することができた。

今回は栄町貝塚を取り巻く周辺の台地上集落及び、低地における縄文時代の遺跡出土遺物から検討を行った。今後の課題として、台地上と低地の遺跡で土器片錘のサイズや重量に類似する傾向が地域的な様相なのか否か、今後さらなる資料の追加を行い、改めて検討を行う必要がある。

3　栄町貝塚の形成過程

1 で栄町貝塚の層序と堆積状況及び遺構について、2 で出土遺物について触れてきた。ここではそれらを基軸として栄町貝塚の形成過程について紡いでいくが、本貝塚は大きく分けて 4 期に分けることが可能と考えている。以下、期ごとにその形成過程と様相について述べてゆく。

第 1 期は出土土器、木杭・竹杭の検出状況とそれらの年代測定結果から、栄町貝塚に縄文人が足を踏み入れたのは主に縄文時代前期末葉～中期前半の頃と想定される。

木杭・竹杭の在り方と年代測定の結果から、前期末葉～中期前半のいずれかの時期にシルト質土上に砂礫層が一気に堆積した可能性が想定されるが、砂礫層よりも下層からは竹杭が検出され、また、砂礫層上からは中期初頭の土器等の遺物が出土している状況から、本貝塚での土地利用は砂礫層堆積前後から開始されたと思われる。この砂礫層にも海水生種、汽水生種、海水～汽水生種の珪藻が含まれており、中里貝塚の報文中で示された最高潮位は 3.5m とされているため、この潮位時には水没する。平均潮位とされる 2m 前後の潮位時や干潮時には礫浜と干潟が表出するため、この時期や時間帯に活動の場として利用されていたものと思われる。

また本稿の米田による五領ヶ台式土器底部破片の付着物の同位体分析の報告から、海産物のみを煮沸、加工した可能性が高いとされたものが出土している。このことから土器を用いた海産物の加工が本貝塚の中期初頭段階で行われていたと言える。だが今回の調査では、確実に五領ヶ台式期に伴う貝層が検出されていないため､この分析の結果から貝塚の形成初期段階と結び付けることはできないが、少なくとも縄文時代中期初頭頃には本貝塚の礫浜上で土地利用が行われていたことは指摘できよう。

第 2 期は 3 面で、焚き火址が形成される B 区南側の 19・20 層と B 区から A 区にわたって形成される貝層が中心である。主に 18 層～ 25 層で、栄町貝塚で顕著に看取された貝層形成期である。

観察された層序の状況から、3 面とした貝層を厳密に捉えると 25 層前後の貝層と、焚き火址及び 18 層前後の貝層の 2 つの時期に分かれるものと考えられる。

25 層は 26 層のシルト質土及び 27 層を足場として北側に貝の廃棄が行われた結果、堆積したものと思われる。25 層内の貝の多くは還元によると思われる青みがかった変色が看取されることから、貝殻が干潟内ないしは海中投棄された可能性が示唆される。この 25 層の貝層形成に関わると考えられる焚き火址等の遺構は検出されていないが、B 区南側で堆積しているシルト質土の様相から、25 層に伴う焚き火址等の遺構が検出されるならば、B 区の調査範囲より南側に分布する可能性がある。

Sec.1（B1・A2 トレンチ）とした貝層断面では A 区南側から中央部にかけて、破砕貝が中心であ

る 21 ～ 24 層が堆積している。24 層は破砕貝が多く含まれ、25 層と構成貝種が類似することから 25 層の貝層が北側に流れて堆積した可能性を考えているが、23 層はやや異質で、この層はシルト質土を多く含む細かい破砕貝の層で、破砕の少ない貝はあまり含まれていなかった。23 層の様相から、24 層前後の時期に貝の加工→廃棄が低調となったため、自然営為によって細かい破砕貝とシルト質土が堆積したと想定される。その後、21 層・22 層が堆積するが、これらの層はヤマトシジミを含んでいるため、構成貝種は 25 層に類似するが、21 層については破砕の少ないマガキを含んでいる点で、上層の 18 層との関連が伺える。シルト質土を多く含む 23 層は Sec.2（B1・A2 トレンチ）の観察から、B 区側へと続いていないため、21・22 層が 18 層・25 層のどちらとの関連が強いのかは層序の観察からは看取できなかった。いずれにせよ、21 ～ 24 層の間には貝種や貝の様相、23 層の存在から 18 層と 25 層と時間的懸隔が存在する状況を示唆させる。25 層についてはコラムサンプルから検出された炭化物について年代測定を行っているが、縄文時代中期前半～後半の年代測定結果であった。

2 期の後半期として考えているのは 18 ～ 20 層の段階である。18 層は破砕の少ないマガキと 18 層最上層付近にハマグリが多く検出される層序で、ヤマトシジミは含まれていない。19 層はシルト質土が中心で、焚き火址が多く検出されている面である。また 20 層は細かい破砕貝が含まれ、部分的に破砕貝が面状に堆積しているもののシルト質土を多く含んでいる層である。この層の中で特に上部から焚き火址が多く検出されている。19・20 層の最上面は最高潮位を超える標高であり、この面を中心に焚き火を行って貝の加工→貝殻の廃棄が反復して行われていたことにより 18 層が形成されたと考えている。この 18 層からは海水生種及び海水～汽水生種の珪藻が検出されており、基本的には海中投棄された可能性がある。また A 区中央～北側には 18 層と貝の構成種が類似していることから 18′層とした、地形的に深い深度に堆積している 18 層由来の貝層があるが、汽水生種を中心に海水生種、海水～汽水生種の珪藻が多数検出されている。25 層も 18 層・18′層との関係と同様に、A 区中央から北側に 25′層として堆積している層序が観察されたが、18′層・25′層ともにシルト質土を多く含んでおり、それらの貝層は、18 層・25 層のそれぞれの形成時期において、海中投棄されたものが自然営為により沖合に流されてシルト質土とともに堆積した状況と想定される。

A 区は中央部から北側にかけて、18′層から上層は時計工場の地下構造物による攪乱により削平されているためその様相は明らかではないが、おそらく A 区中央部付近から北側に向かって落ち込む地形が、18′層・25′層による堆積で埋没し、南から北側に向かう傾斜が緩やかなものに変化したと思われる。とはいえ、この段階では A 区中央部から北側は概ね水没している状況であろう。

また A 区北側に Sec.4（A5 トレンチ）で検出された、15 層と類似する非常に粘性の強いシルト質土の堆積が看取された。この類似層は 15′層としたが、主に Sec.2 ～ 5 の北側に堆積が認められた。15 層については A 区西側の Sec.4（A5 トレンチ）、Sec.5（A5 南北セクション）で検出されている。

15′層は北側に向かうにつれ層厚が厚くなり、また 15 層と質的に類似することから、18 層の形成後は貝の廃棄が途絶えていた状況が伺える。なお Sec.4（B4・A5 トレンチ）北側で砂堆状に堆積している砂質シルト質土層の 16・17 層があるが、17 層から出土した炭化物の年代測定結果は縄文時代中期後半～後期初頭であり、18 層の年代測定結果の中期前半と先後関係において矛盾はない。

3 期は調査時に 2 面として捉えた 12 ～ 14 層の時期である。これらの層序では粉状の細かい破砕貝と部分的に面状に形成されている破砕貝の堆積が看取された。18 層上層の 12 ～ 14 層で部分的に

看取された面状の堆積状況は何らかの圧力、例えば人間の歩行等、活動結果により遺されたと考えられる。また 12 ～ 14 層では面状に形成された破砕貝とともにパウダー状の細かい破砕貝が看取されたが、面状の破砕貝が圧力により形成された過程で発生した細かい破砕貝が風化し、潮位変化や風成作用などの自然営為により堆積した可能性が伺える。このことは Sec.4（A5 トレンチ）等では 18 層の上層に 15 層のような粘性の非常に強いシルト質土中心の層が観察されたことから、18 層が堆積していた段階で既に B 区及び A 区南側では陸地化が進み、汀線や廃棄位置が北側に移動していたため、面状・粉状の破砕貝が形成されたと考えている。13 層からは珪藻が検出されていないことも物証の一つである。だが 2 面では遺構が未検出で、A 区北側は攪乱されていたため廃棄の在り方が把握できなかった部分もあるが、3 期は本貝塚においてあまり明瞭に土地利用がなされていない印象が伺える。

12 ～ 14 層は年代測定によれば中期前半～後半、中期後半という結果が示されているが、B 区中央～北側、A 区南側にかけて検出された 11 層は中期前半～後半、中期後半～後期初頭という年代結果であった。この 11 層は B 区側ではマガキの破砕貝が中心、北側では破砕貝と破砕の少ないマガキ及びシルト質土を多く含む層であり、A 区南側と B 区では稀に面状の堆積が看取される。11 層からは 1 個体、海水～汽水生種の珪藻が検出されている。この 11 層は特に Sec.1 ～ Sec.3（B3・B4）の 11 層には破砕の少ないマガキがほとんど含まれておらず、シルト質土が多く含まれている破砕貝中心の層という点で、自然営為による堆積であると仮定してもその由来となる層序が看取できなかったため、如何なる過程で堆積したものなのかを想定することが難しい。ただ Sec.1・Sec.4・Sec.5 では、A 区の時計工場の地下構造物に攪乱される直前の位置付近の層序には破砕が少ないマガキ等が含まれている。このことから想定できるのは、11 層の段階では B 区側では 12 層付近まで貝層及びシルト質土による陸地化が進み、貝殻の海中投棄可能な位置が北側に移動したため、A 区では破砕の少ない貝が堆積し、それが自然営為によって北側から南側へと流され、B 区では破砕貝とシルト質土とともに堆積したものと捉えることが出来ようか。だが 2 期とした 3 面の在り方と比較すると、貝の加工施設として捉えられる焚き火址等の遺構が検出されていない。 1 面の範疇で捉えた焚き火址で A 区の 11 層においていくつか検出されているものも有るが、これらが 11 層を形成した貝層と関連するものと現場の所見では捉えられなかったため、この 11 層について今回の調査では、1 面・3 面のように積極的に位置付けることが出来なかった。

第 4 期は 1 面の焚き火址及び貝層である。層序的には一部 2 層付近から遺構の灰及び炭化物が検出されているが、基本的には 3 ～ 10 層、11 層上部付近までと捉えている。この 1 面の遺構内及びヤマトシジミ主体の貝層から出土した炭化物による年代測定では、中期後半～後期初頭という結果が示されているため、2 ～ 4 期よりも新しい時期の遺構及び貝層として捉えられる。貝層の特徴としては前述したようにヤマトシジミ主体の貝層やヤマトシジミとマガキ、ハマグリ等が混在している層が挙げられるが、 1 面の層序である 3・10 層からは珪藻は検出されていない。遺存状態により珪藻が溶解してしまっている可能性もあるが、後期初頭という時期及びヤマトシジミの主体の貝層の存在などから、この時期には海退が始まっており、環境変動に伴って貝類の生息域の変化が発生した結果、食料として獲得可能な貝類の組成が変化したと考えられる。また 11 層の段階で貝の海中投棄やシルト質土の堆積により陸地化が進んでいるが、海退という環境変動により A 区まで陸地化したことに伴い、貝類採取の場の位置も北側に移動したため、焚き火による加工を行う位置も 3 面よりも北側の

採取場所に近いA区南側に移動し、そこで形成されたのではなかろうか。

ヤマトシジミは2期とした3面の25層やその下層にも含まれ、また周辺の台地上の遺跡で検出された貝層はヤマトシジミが主体であるため、2期とした中期前半～後半においても採取が行われていたが、本貝塚の2期では貝種の主体となるような状況は見られなかった。1期においてヤマトシジミ主体層が形成されるほどの採取と加工が行われたのは、本貝塚の北西側に流れる石神井川に関連するものと思われる。環境変動により海退が発生し水位が低くなったことで、石神井川の河口に近い栄町貝塚近辺で汽水域が形成されたため、ヤマトシジミの採取と加工が主体になったのであろう。中里貝塚ではヤマトシジミは縄文時代後期以降の時期に客体的に混ざると報告がなされているが、本貝塚は中里貝塚よりも石神井川に近い場所に立地しているため、後期以降はヤマトシジミの採取が中心に行われ、その貝層が残されたと考えられる。

以上、栄町貝塚の形成過程について、1～4期に分けて述べてきた。まとめると、

1期：40層のシルト質土に砂礫層が堆積し、その砂礫層上で活動が認められる時期、前期末葉～中期前半、4面。

↓

2期：破砕の少ないマガキが検出される18・25層とB区南側の19・20層付近で検出された焚き火址が形成された時期、中期前半～後半、3面。

↓

3期:12～14層の細かい破砕貝層と破砕貝の面的な堆積が認められる時期、中期前半～後半、2面。

↓

4期：3～10層のヤマトシジミが多く含まれる層とA区南側で焚き火址が多数形成された時期、中期後半～後期初頭、1面。

栄町貝塚の形成過程を説明する上での視点として、行われたであろう貝類の採取と加工、廃棄という一連の行為と、調査時に観察された遺構及び層序記録を併せたものを基軸にした。このように言わば内部観測的な視点で本貝塚を捉えてみると、遺構と貝層の形成要因とその関係をより明瞭に示すことが出来たと考えている。また自然科学分析の成果から、貝層形成の時期や貝種組成の変化等に示されていたように、本貝塚を取り巻く環境を垣間見ることが出来たと思われる。

だが年代測定結果や遺物の様相から本貝塚と同時期と考えられる、周辺の台地上の遺跡で検出された貝塚及び貝層はヤマトシジミが主体であり、本稿第Ⅴ章－3において植月により示された本貝塚の貝種組成がマガキ・ハマグリ主体という結果とは異なる。本貝塚と中里貝塚の貝種組成は概ね類似するため、中里貝塚と周辺の台地上の遺跡の貝塚及び貝層の貝種組成とも同様に異なっている。この差異が如何なる要因のものかを明らかにすることはできなかったが、その差異こそが当該地域における生業・社会・経済システムを象徴的に表しているものかもしれない。その差異は阿部や中島が指摘しているように（阿部2000）・（中島2018）「干し貝」として加工された貝肉が武蔵野台地河川流域の内陸部集落に供給されていた可能性や、あるいは供給を契機とした情報交換から貝肉の獲得と加工に関するネットワークが拡大し、内陸部集落の集団が安定した保存食料獲得を目的として、直接採取と加工を行ったという在り方も想定されうるであろう。「ハマ貝塚」形成の背景に根差している、当該地域における生業・社会・経済システムの動的な様相については今後の課題としたい。

参考文献

白井光太郎 1886「中里村介塚」『人類学会報告』1-4
坪井正五郎 1886「東京近傍古跡指明図（第 5 版）」『東京人類学会報告』1-5
小金井良精 1890「本邦貝塚ヨリ出タル人骨に就テ」『東京人類学雑誌』6-56
坪井正五郎 1891「小金井博士の貝塚人骨論を讀む」『東京人類学雑誌』6-61
佐藤傳蔵・鳥居龍蔵 1894a「武蔵北豊島郡中里村貝塚取調報告」『東京人類学雑誌』9-98
佐藤傳蔵・鳥居龍蔵 1894b「武蔵北豊島郡中里村貝塚取調報告」『東京人類学雑誌』9-99
佐藤傳蔵・鳥居龍蔵 1896「武蔵北豊島郡中里村貝塚取調報告」『東京人類学雑誌』11-121
関東ローム研究グループ 1956「関東ロームの諸問題」『地質学雑誌』第 62 巻第 729 号
和島誠一 1960「付 3 中里貝塚の発掘－下町の陸化の過程－」『千代田区史』上巻 千代田区
動坂貝塚調査会 1978『文京区・動坂遺跡』
貝塚爽平 1979『東京の自然史 増補第二版』紀伊国屋書店
港区伊皿子貝塚遺跡調査会 1981『伊皿子貝塚遺跡』
東北新幹線中里遺跡調査会 1984『中里遺跡・発掘調査の概要Ⅰ』
小林謙一 1984「中部・関東地方における勝坂・阿玉台式土器成立期の様相」『神奈川考古』第 19 号神奈川考古同人会
なすな原遺跡調査会 1984『なすな原遺跡』
今村啓爾 1985「五領ヶ台式土器の編年：その細分および東北地方との関係を中心に」『東京大学文学部考古学研究室研究紀要』4 93
東北新幹線中里遺跡調査会 1985『中里遺跡・発掘調査の概要Ⅱ』
東北新幹線中里遺跡調査会 1987a『中里遺跡 1 －遺跡と古環境 1 －』
東北新幹線中里遺跡調査会 1987b『中里遺跡 2 －遺跡と古環境 2 －』
遠藤秀典・相原輝雄・宇野沢昭・松本英二・富樫茂子 1988「東京低地の本所埋没段丘及びその埋積堆積物の形成年代」第四紀研究 26-4
久保和士 1988「ハマグリの殻長推定に関する一試論」『古代文化』40(5)
東京都北区教育委員会 1988『御殿前遺跡』
東京都北区教育委員会 1988『七社神社前遺跡Ⅰ』
小林謙一 1989「千葉県八日市場八辺貝塚出土土器についてー東関東地方縄文時代中期初頭段階の土器様相ー」『史学』58-2
東京都荒川区教育委員会 1990『日暮里延命院貝塚』東京都荒川区教育委員会
東京都北区教育委員会 1992a『中里遺跡 仮称第二特別養護老人ホーム地点』
東京都北区教育委員会 1992b『西ヶ原遺跡群滝野川支所地点・中里峡上遺跡滝野川教会地点』
東北新幹線赤羽地区遺跡調査会 1992『袋低地遺跡 考古編』
新宿区内藤町遺跡調査会 1992『新宿区内藤町遺跡 第 2 分冊遺物編』東京都建設局他
東京都北区教育委員会 1993『中里遺跡 東日本旅客鉄道株式会社東京地域本社ビル地点』
杉原重夫編『埋没立川段丘の地質調査報告書』北区教育委員会

東京都北区教育委員会 1994『西ヶ原貝塚Ⅱ・東谷戸遺跡』
東京都北区史編纂委員会 1994『北区史（資料編 考古Ⅰ）』
板橋区史編さん調査会 1995『板橋区史』資料編 1（考古）
黒尾和久・小林謙一・中山真治 1995「多摩丘陵・武蔵野台地を中心とした縄文時代中期の時期設定」『シンポジウム　縄文中期集落研究の新地平』縄文中期集落研究グループ
東京都北区史編纂委員会 1996『北区史（通史編 原始古代）』
なすな原遺跡調査会 1996『なすな原遺跡』
嶋田繁・増渕和夫・中野守久・叶内敦子・杉原重夫 1996「東京低地 王子付近の埋没立川段丘の地質層序と形成年代」『第四紀研究』第 58 巻 2 号
中島広顕 1997「中里貝塚の貝処理場とカキ養殖」『考古学ジャーナル』420 ニュー・サイエンス社
保坂太一 1997「中里貝塚の調査」『文化財研究紀要』10 東京都北区教育委員会
東京都北区教育委員会 1997『飛鳥山遺跡Ⅱ』
東京都北区教育委員会 1997『中里貝塚－発掘調査概報－』
阿部芳郎 1998「西ヶ原貝塚の形成過程と遺跡群の構成」『都内重要遺跡等調査報告書』都内重要遺跡等調査団
東京都北区教育委員会 1998『七社神社前遺跡Ⅱ』
植月 学 1999「縄文時代前半期低地性貝塚の研究」『早稲田大学大学院 文学研究科紀要』44-4
北区飛鳥山博物館 1999『貝塚と縄文人のくらし』
国立王子病院跡地遺跡調査会 2000 a『赤羽台遺跡 国立王子病院跡地地区（第一分冊）』
国立王子病院跡地遺跡調査会 2000b『赤羽台遺跡 国立王子病院跡地地区（第二分冊）』
東京都北区教育委員会 2000『中里貝塚』
樋泉岳二・黒住耐二・山谷文人・切通雅子 2000「貝類遺体」『中里貝塚　北区教育委員会
植月 学 2000「縄文時代後期における貝類採集活動の空間的構造」『史観』第 142 冊
山谷文人 2000a「中里貝塚の調査概要」『文化財研究紀要』13 東京都北区教育委員会
山谷文人 2000b「縄文時代における干潟の利用と遺跡群－中里貝塚と周辺の貝塚とのかかわり－」『文化財研究紀要』13 東京都北区教育委員会
山本典幸 2000『縄文時代の地域生活史』アム・プロモーション
植月 学 2001「縄文時代における貝塚形成の多様性」『文化財研究紀要』14 東京都北区教育委員会
東京都北区教育委員会 2002『七社神社裏貝塚・西ヶ原貝塚Ⅲ・中里貝塚Ⅱ』
植月 学 2002「動物遺体」『七社神社裏貝塚・西ヶ原貝塚Ⅲ・中里貝塚Ⅱ』 北区教育委員会
植月 学・金子浩昌 2002「動物遺体」『七社神社裏貝塚・西ヶ原貝塚 III・中里貝塚 II』北区教育委員会
樋泉岳二・植月 学 2002「中里貝塚 B・C・G 地点の貝類遺体群」『七社神社裏貝塚・西ヶ原貝塚 III・中里貝塚 II』 北区教育委員会
中島広顕 2002「中里貝塚保存と活用－史跡指定と一般公開の記録－」『文化財の保護』第 34 号 東京都北区教育委員会
植月 学 2004「西ヶ原貝塚第 XI 地点出土の動物遺体」『西ヶ原貝塚Ⅳ』 北区教育委員会
縄文集落研究グループ・セトルメント研究会 2004『縄文集落研究の新地平 3―勝坂から曽利へ―』縄文集落研究グループ・セトルメント研究会

丹野雅人 2004「縄文時代の土製品考」『白門考古論叢－生稲典太郎先生追悼考古学論集－』中央考古会・中央大学考古学研究会
東京都北区教育委員会 2004『西ヶ原貝塚Ⅳ』
阿部芳郎 2005「貝食文化と貝塚形成」『地域と文化の考古学Ⅰ』明治大学文学部考古学研究室編 六一書房
井口悦男編 2005『帝都地形図』第 1 集 之潮
加藤建設株式会社埋蔵文化財調査部 2005『七社神社前遺跡 3』堀江 恒太郎他
東京都北区教育委員会 2005『区内遺跡発掘調査報告』北区埋蔵文化財調査報告第 36 集
阿部芳郎 2007「貝塚から縄文社会を読み解く」『考古学ジャーナル（特集 縄文貝塚と社会 大森貝塚発掘 130 周年記念』563 ニュー・サイエンス社
黒住耐二 2007「微小貝が解き明かす先史地表面の環境」『考古学ジャーナル（特集 縄文貝塚と社会 大森貝塚発掘 130 周年記念』563 ニュー・サイエンス社
近藤康久 2007「武蔵野ー多摩ー鶴見地域における縄文時代錘具の分布評価―GIS で考古遺物の性格を読み解く―」『東京大学考古学研究室研究紀要』21 巻 1-81 頁
植月 学 2007「動物遺体」『東京都北区中里峡上遺跡』 大成エンジニアリング株式会社埋蔵文化財調査部
阿部芳郎・植月 学 2008「縄文社会と貝塚」『季刊考古学』105 雄山閣
丹野雅人 2008「土器片加工円盤・錘」『総覧　縄文土器』『総覧　縄文土器』刊行委員会
東京都埋蔵文化財センター 2008『七社神社前遺跡－警視庁単身待機宿舎滝野川警察署滝野川寮改築工事に伴う調査－』
武蔵文化財研究所 2008『日暮里延命院貝塚 :B 地点における埋蔵文化財発掘調査報告書』武蔵文化財研究所
堀越正行 2009「貝塚を発掘した人々とその研究」『東京湾巨大貝塚の時代と社会』雄山閣
北区飛鳥山博物館 2010『中里貝塚国史跡指定 10 周年記念 奥東京湾の貝塚文化－中里貝塚とその時代－展 展示図録』
東京都埋蔵文化財センター 2011『西ヶ原貝塚－西ヶ原一丁目地区都市再生機構用地に関わる埋蔵文化財発掘調査－』
植月 学 2012「御殿前遺跡出土の動物遺体」『東京都北区御殿前遺跡』 独立行政法人国立印刷局・大成エンジニアリング株式会社
東京都埋蔵文化財センター 2012『北区　御殿前遺跡』東京都埋蔵文化財センター調査報告第 268 集
加藤建設株式会社 文化財調査部 2013『豊島馬場遺跡 : 王子 5 丁目 26 番 20 号地点』大成有楽不動産株式会社・加藤建設株式会社
阿部芳郎編 2014「ムラとハマの貝塚論－大森貝塚と中里貝塚」『ハマ貝塚と縄文社会』雄山閣
植月 学 2014「低地における貝塚形成の多様性から見た中里貝塚」『ハマ貝塚と縄文社会』雄山閣
古泉 弘 2014「中里遺跡の発掘（新幹線部分）」『ハマ貝塚と縄文社会』雄山閣
奈良忠寿 2014「武蔵野台地の地域社会－集落の分布と消長から」『ハマ貝塚と縄文社会』雄山閣
安武由利子 2014「中里貝塚の発見」『ハマ貝塚と縄文社会』雄山閣
植月 学 2016「西ヶ原貝塚 XVII 地点出土の動物遺体」『西ヶ原貝塚』 株式会社メデューム・大成エンジニアリング株式会社
大成エンジニアリング株式会社 2016『東京都北区　西ヶ原貝塚』株式会社メデューム

東京都埋蔵文化財センター 2016『北区　御殿前遺跡ー西ヶ原研修合同庁舎（仮称）の整備に伴う埋蔵文化財調査―』第一分冊
東京都埋蔵文化財センター 2017a「御殿前遺跡－西ヶ原研修合同調査（仮称）の整備に伴う埋蔵文化財調査－」第２分冊・第３分冊
東京都埋蔵文化財センター 2017b『北区　道合遺跡―東京都都市計画道路事業補助線街路第 85 号線（赤羽台Ⅱ期）整備事業に伴う埋蔵文化財調査―』
東京都北区教育委員会 2018『史跡 中里貝塚 総括報告書』
遠藤邦彦他 2019「武蔵野台地の新たな地形区分」『ミニシンポジウム「首都圏の地下を探る」特集号』
公益財団法人千葉県教育振興財団 2019『千葉県教育振興財団調査報告 780：東京外かく環状道路埋蔵文化財調査報告書 14』公益財団法人千葉県教育振興財団
東京都埋蔵文化財センター 2020『北区　田端西台通遺跡―東京都都市計画道路事業補助線街路第 92 号に伴う埋蔵文化財調査―』
植月 学 2021「七社神社裏遺跡第 5 地点から出土した動物遺体」『東京都北区七社神社裏遺跡』 野村不動産株式会社ほか
黒住耐二 2021『くらべてわかる貝殻』山と渓谷社
納谷知規・中澤務 2021「東京都区部の大地を構成する地層の層序－東京層と下総層群－」『GSJ 地質ニュース Vol.10』7　産総研
遠藤邦彦他 2022『縄文海進－海と陸の変遷と人々の適応－』株式会社富山房インターナショナル

図版 1

1　表土掘削状況その 1 （A区 東から）

2　表土掘削状況その2（B区 南東から）

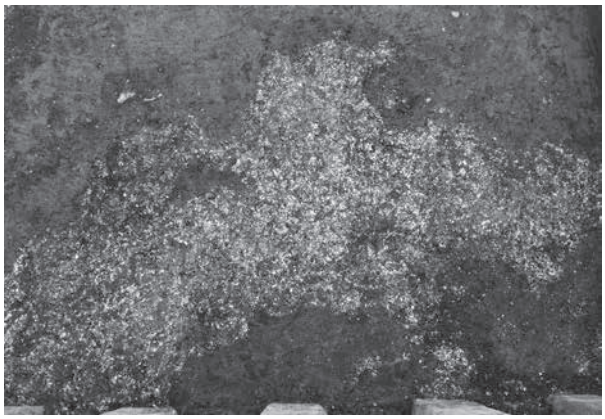
3　鋼矢板打設部地中障害物撤去状況（A区 南西から）

4　時計工場構造物検出状況（A区 北東から）

5　地下構造物撤去後表土掘削状況（A区 東から）

6　旧耕作土堆積状況（B区 東から）

7　貝層検出状況（B区 東から）



8　貝層検出状況（B区 北から）

図版 2

1　Sec.1（A1トレンチ）貝層堆積状況（南西から）

2　Sec.1（A1トレンチ）貝層堆積状況（北西から）

3　Sec.2（B1トレンチ）北側貝層堆積状況（南東から）

4　Sec.2（B1トレンチ）南側貝層堆積状況（北東から）

5　Sec.2（A2トレンチ）南側貝層堆積状況（北東から）

6　Sec.2（A2トレンチ）北側貝層堆積状況（南東から）

7　Sec.3（B3トレンチ）北側貝層堆積状況（西から）

8　Sec.3（B3トレンチ）南側貝層堆積状況（西から）

図版 3

1　Sec.3（A4トレンチ）南側貝層堆積状況（北西から）

2　Sec.3（A4トレンチ）南側貝層堆積状況（南西から）

3　Sec.4（B4トレンチ）北側貝層堆積状況その1（南東から）

4　Sec.4（B4トレンチ）北側貝層堆積状況その2（南東から）

5　Sec.4（A5トレンチ）南側貝層堆積状況（北東から）

6　Sec.4（A5トレンチ）南側貝層堆積状況（南東から）

7　Sec.5（A5南北セクション）貝層堆積状況（東から）

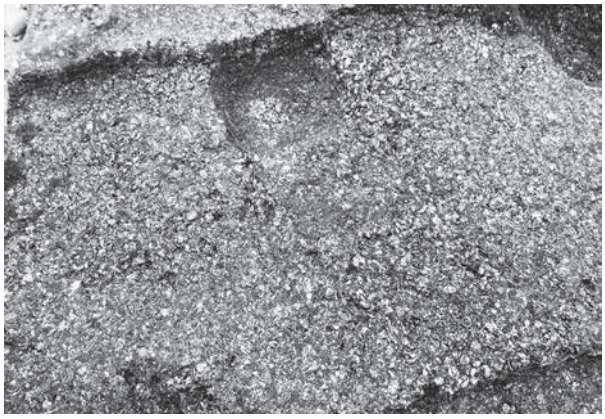
8　Sec.5（A5南北セクション）シルト質土堆積状況（東から）

図版 4

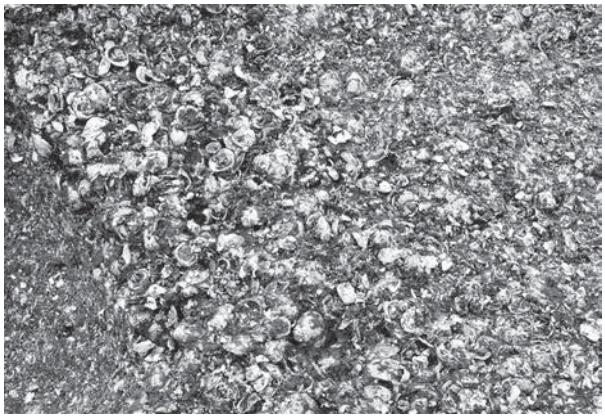
1　1面検出状況全景（A区 北東から）

2　1面検出状況全景（A区 北西から）

図版 5



1　1 面 ヤマトシジミ層検出状況（A 区 南から）



2　1 面ヤマトシジミ層接写（A 区 南から）

3　1面東西方向ヤマトシジミ・ハマグリ・マガキ堆積状況（A区 北から）

4　1面東西方向ヤマトシジミ・マガキ堆積状況（A区 北から）

5　1面 1号遺構土層堆積状況（B区 南から）

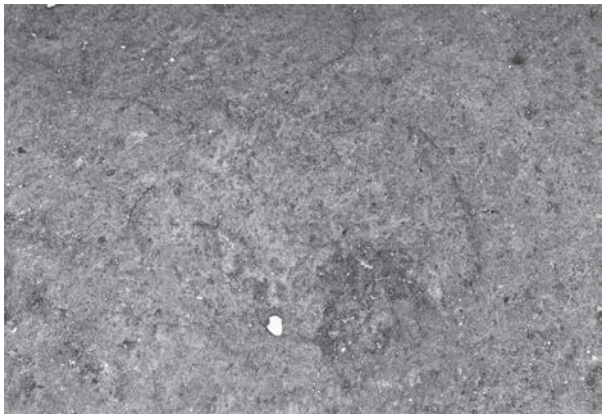
6　1面 1号遺構完掘状況（B区 北から）

7　1面 48・49号遺構検出状況（A区 北から）

8　1面 48号遺構土層堆積状況（A区 北から）

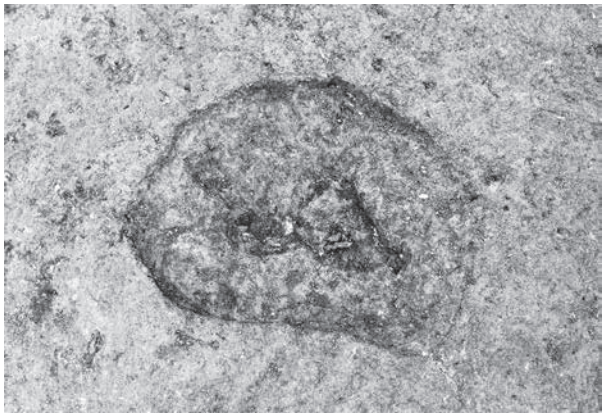
図版 6

1　1面 49号遺構土層堆積状況（A区 北から）

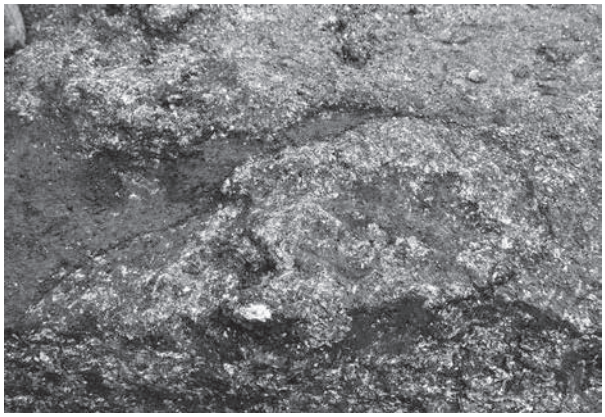


2　1面 49号遺構完掘状況（A区 北から）

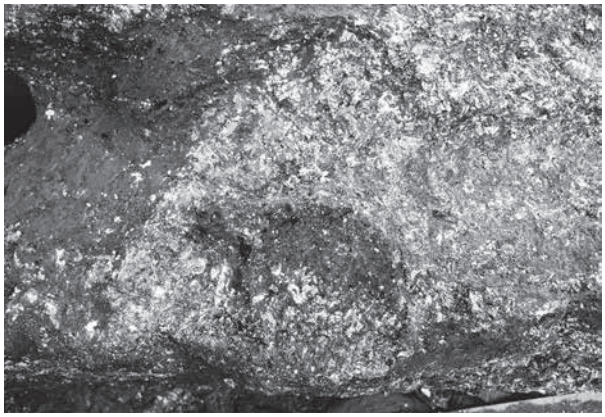
3　1面 50号遺構検出・半裁状況（A区 西から）



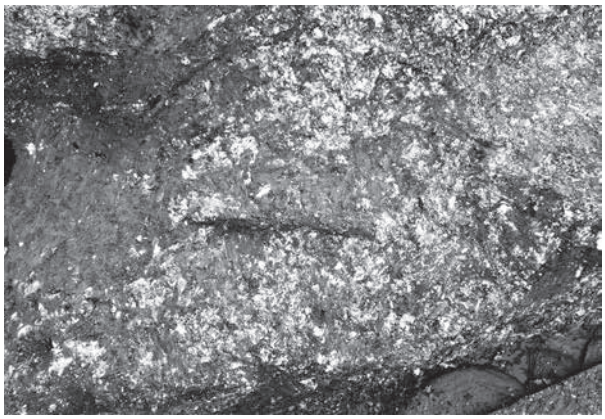
4　1面 50号遺構完掘状況（A区 西から）



5　1面 51a・b号遺構検出状況（A区 東から）



6　1面 51a号遺構完掘状況（A区 東から）



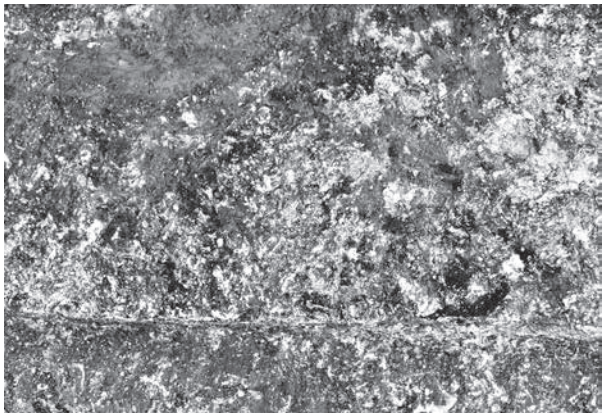
7　1面 51b号遺構完掘状況（A区 東から）

8　1面 52号遺構土層堆積状況（A区 西から）

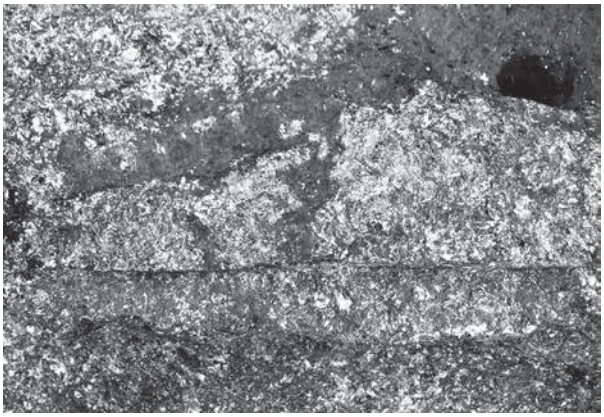
図版 7

1　1面 53a～d号遺構検出状況（A区 西から）

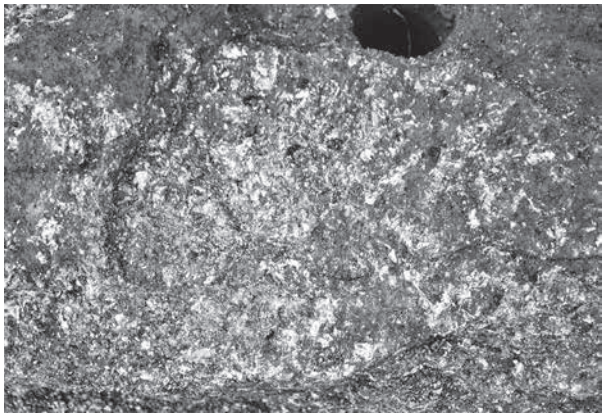
2　1面 53a～d号遺構土層堆積状況（A区 西から）



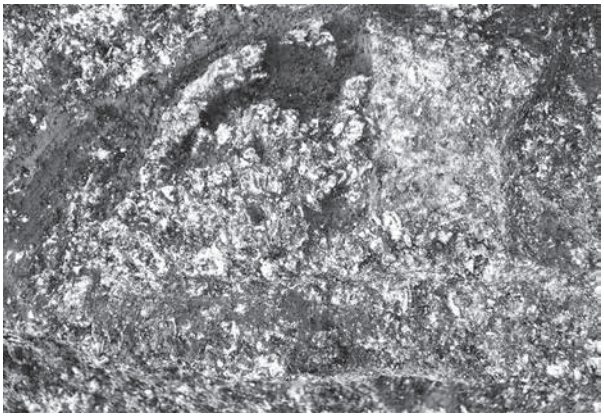
3　1面 53a号遺構検出状況（A区 西から）



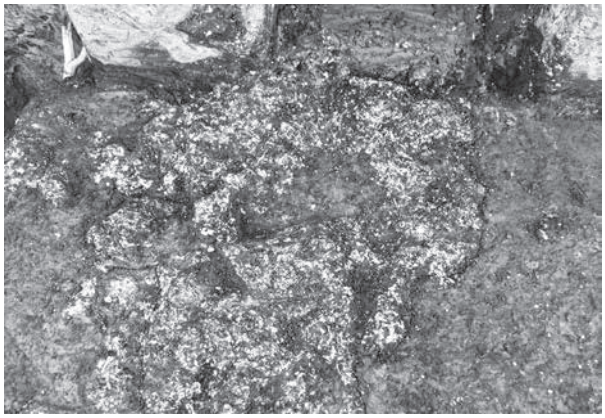
4　1面 53b号遺構検出状況（A区 西から）



5　1面 53c号遺構完掘状況（A区 東から）



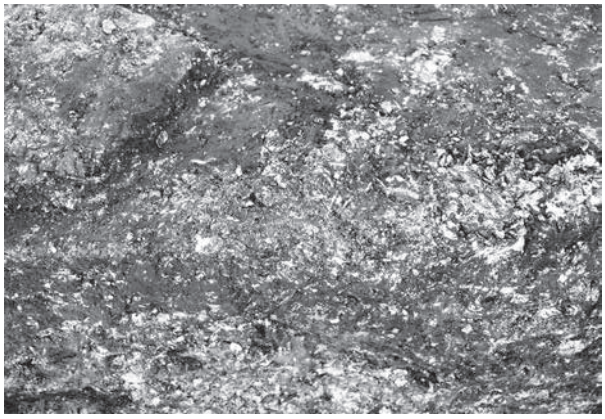
6　1面 53d号遺構検出状況（A区 西から）



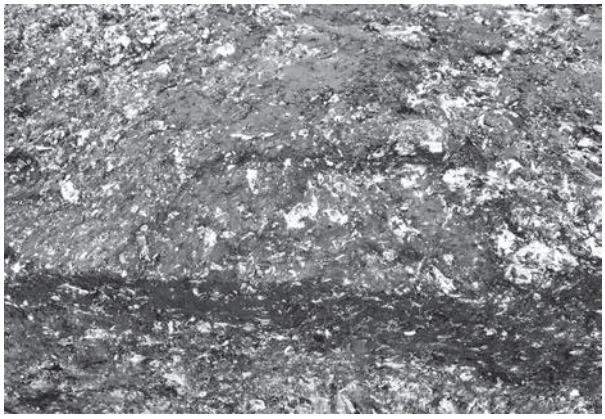
7　1面 54号遺構検出状況（A区 北から）

8　1面 54号遺構完掘状況（A区 東から）

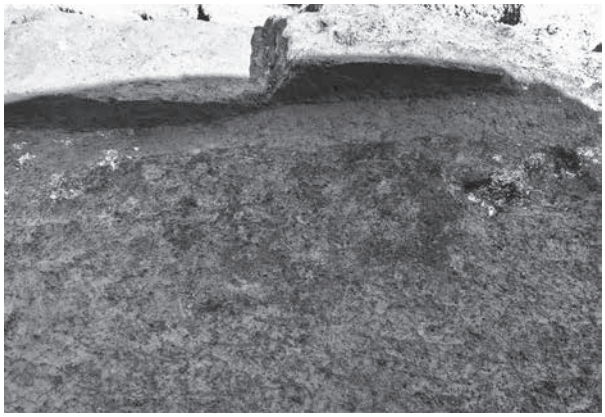
図版 8



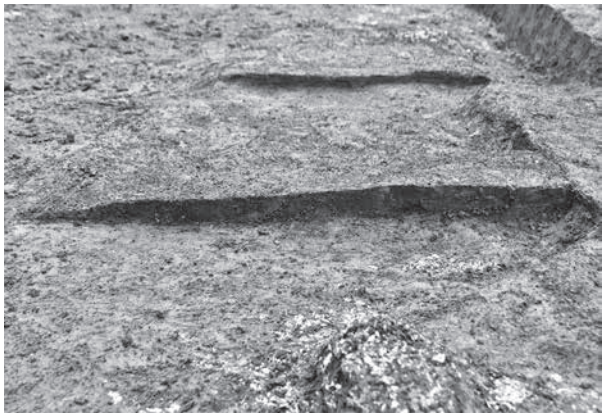
1　1面 55号遺構検出状況（A区 西から）



2　1面 55号遺構完掘状況（A区 西から）



3　1面 56号遺構検出状況（A区 南から）

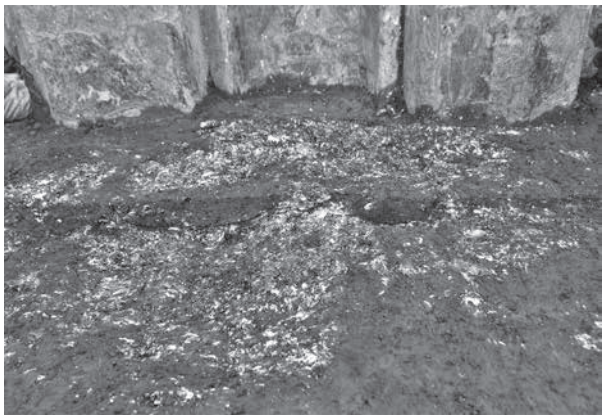


4　1面 56号遺構土層堆積状況（A区 東から）

5　1面 56号遺構完掘状況（A区 南から）

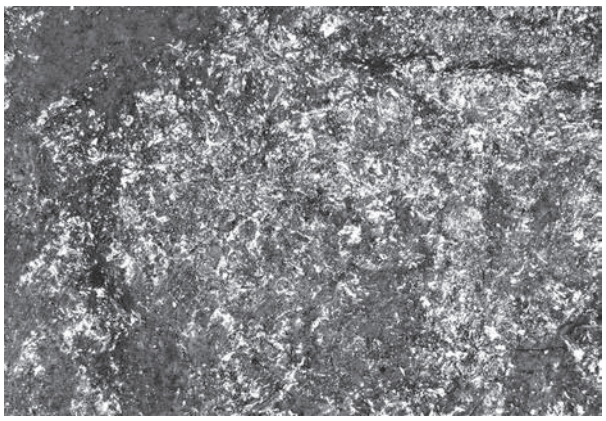
6　1面 57号遺構土層堆積状況（A区 北から）

7　1面 57号遺構完掘状況（A区 北から）

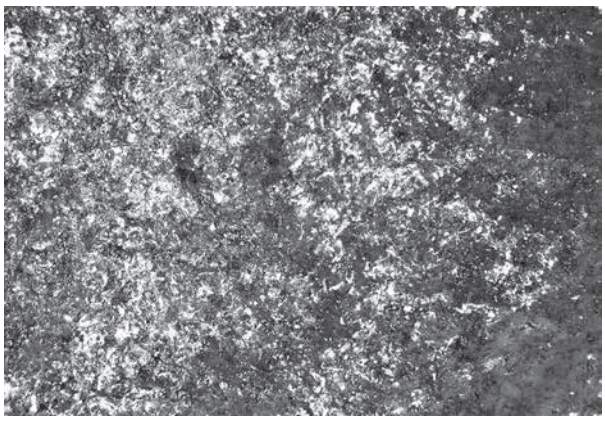


8　1面 58a・b号遺構土層堆積状況（A区 北から）

図版 9

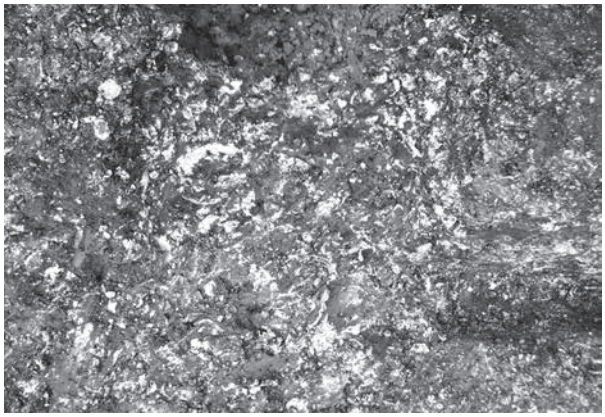


1　1面 58a号遺構完掘状況（A区 北から）

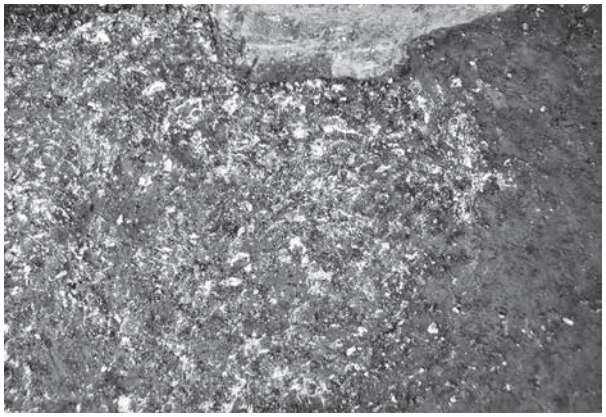


2　1面 58b号遺構完掘状況（A区 北から）

3　1面 58c・d号遺構土層堆積状況（A区 北から）

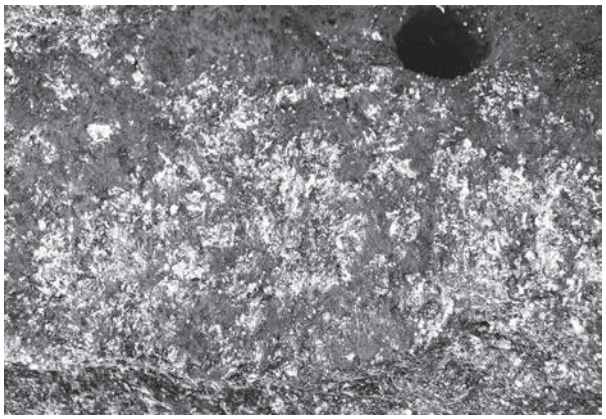


4　1面 58c号遺構完掘状況（A区 北から）

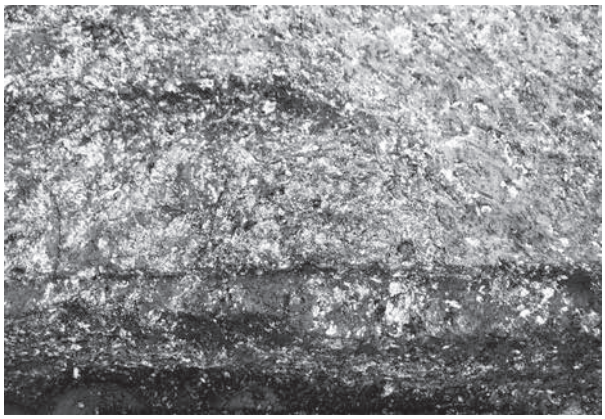


5　1面 58d号遺構完掘状況（A区 北から）

6　1面 59号遺構土層堆積状況（A区 西から）



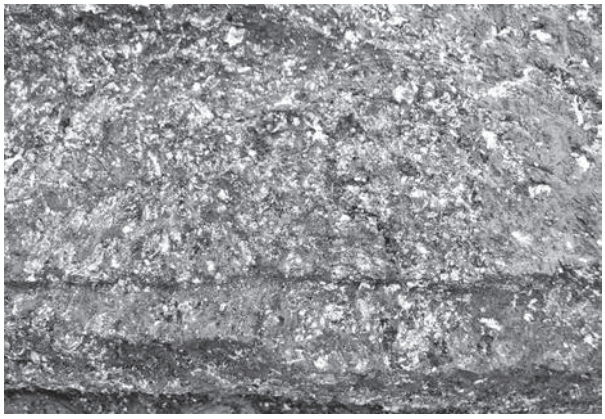
7　1面 59号遺構完掘状況（A区 西から）



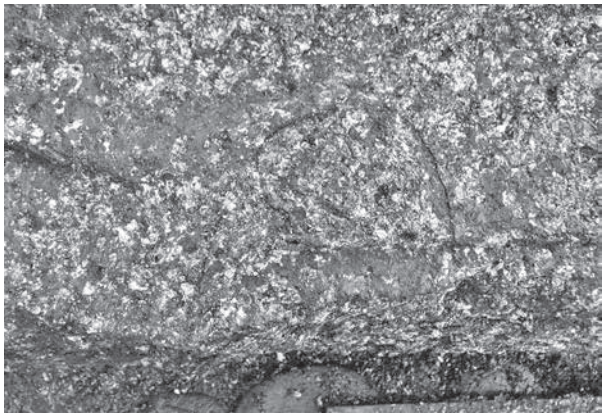
8　1面 61号遺構検出状況（A区 東から）

図版 10

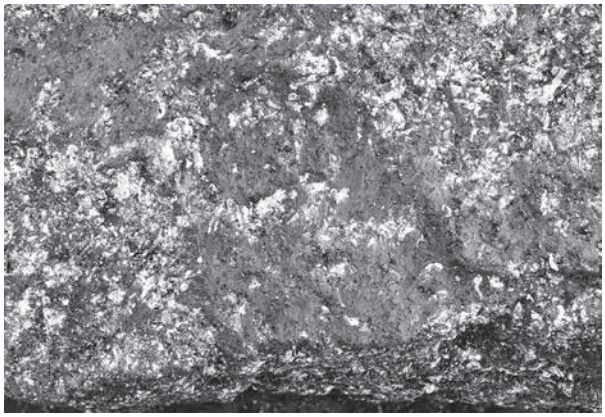
1　1面 61号遺構土層堆積状況（A区 東から）



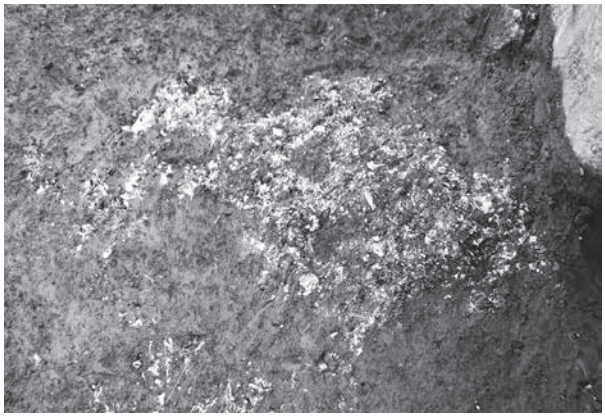
2　1面 61号遺構完掘状況（A区 東から）



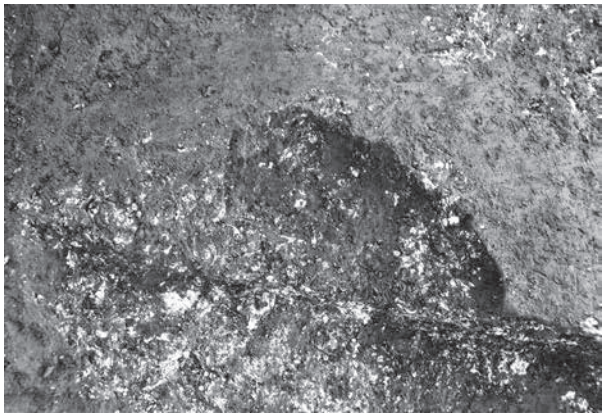
3　1面 63号遺構検出状況（A区 東から）



4　1面 63号遺構完掘状況（A区 東から）

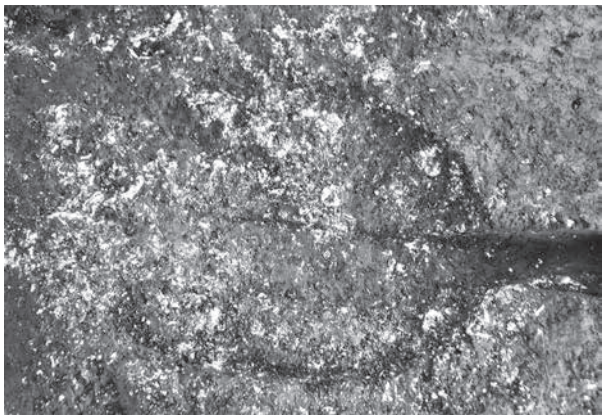


5　1面 64a号遺構検出状況（A区 西から）



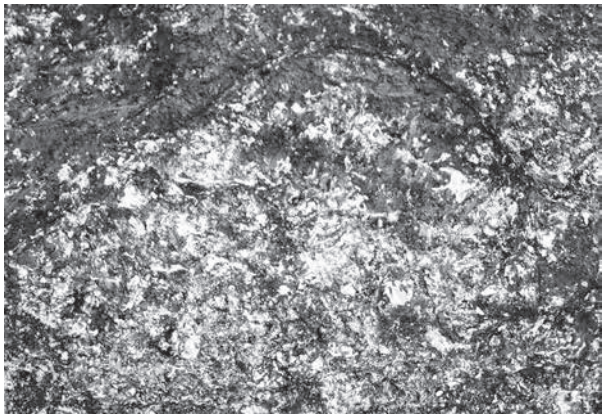
6　1面 64a号遺構完掘状況（A区 西から）

7　1面 64b号遺構土層堆積状況（A区 東から）

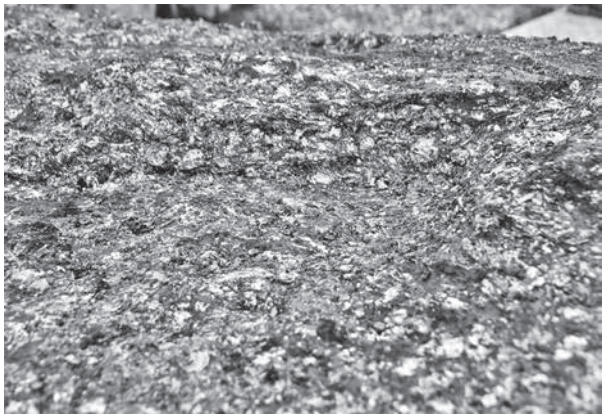


8　1面 64b号遺構完掘状況（A区 東から）

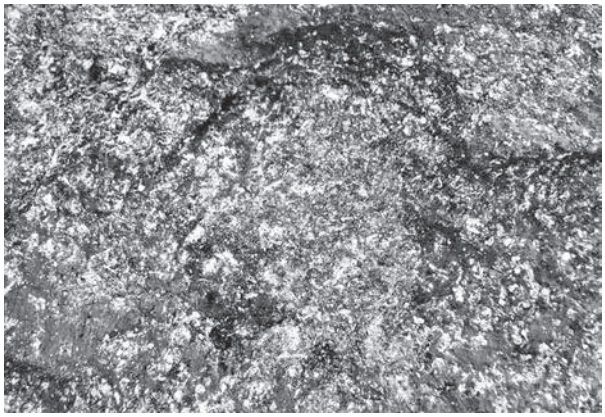
図版 11



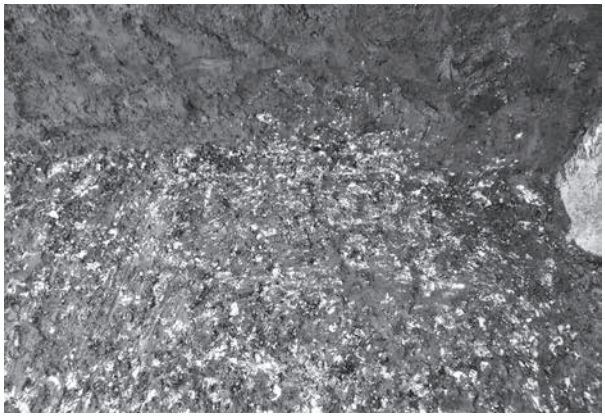
1　1面 65a号遺構検出状況（A区 東から）



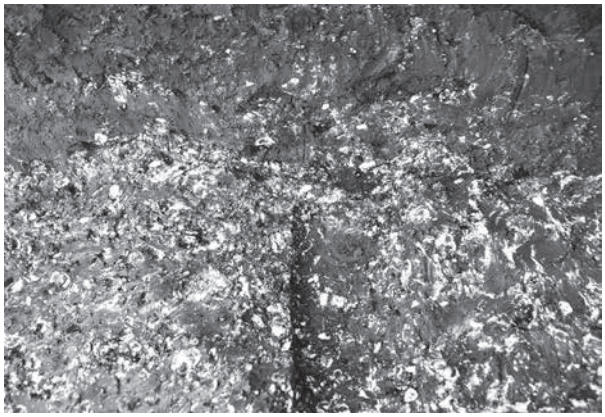
2　1面 65b号遺構土層堆積状況（A区 西から）



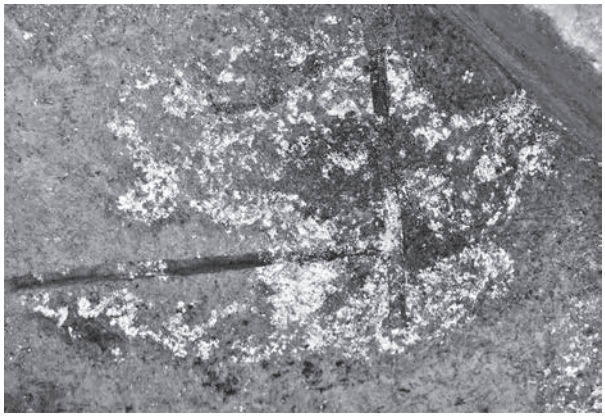
3　1面 65b号遺構完掘状況（A区 西から）



4　1面 66号遺構検出状況（A区 北から）



5　1面 66号遺構完掘状況（A区 北から）

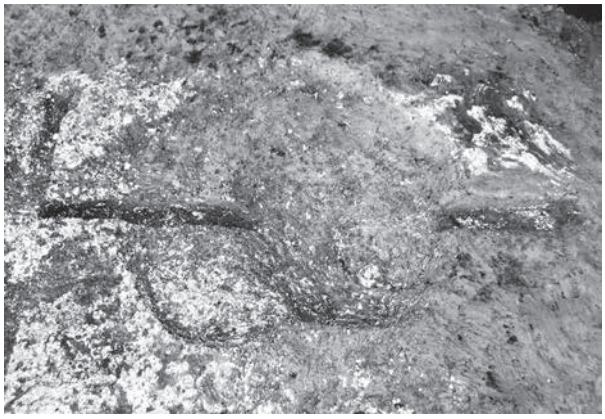


6　1面 67a・b号遺構検出状況（A区 南から）

7　1面 67a号遺構土層堆積状況（A区 南西から）

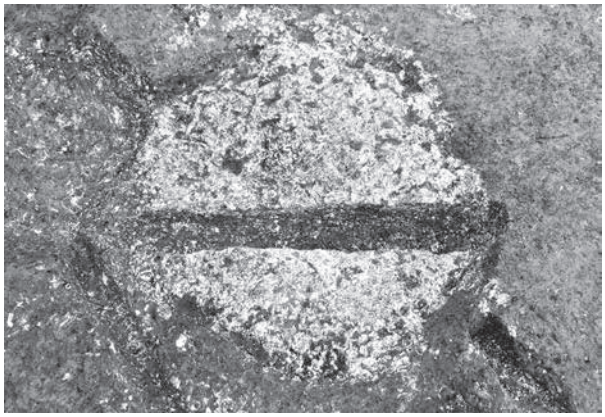
8　1面 67a号遺構完掘状況（A区 南から）

1　1面 67b号遺構土層堆積状況（A区 西から）

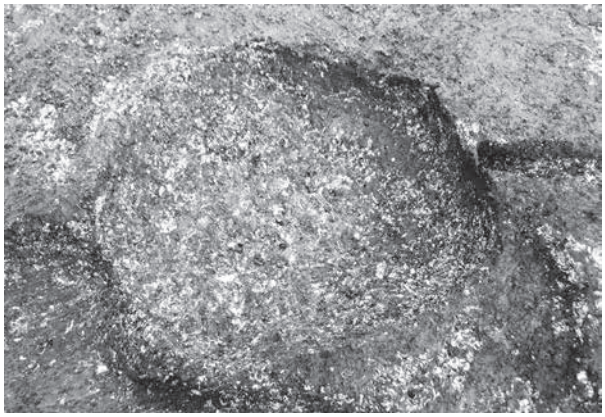


2　1面 67b号遺構完掘状況（A区 北西から）

3　1面 67c号遺構土層堆積状況（A区 北東から）

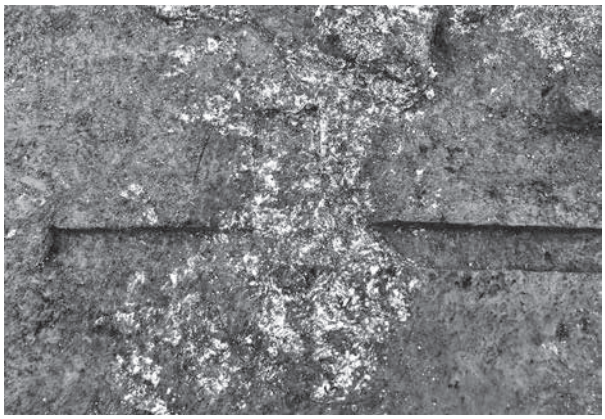


4　1面 67c号遺構完掘状況（A区 東から）

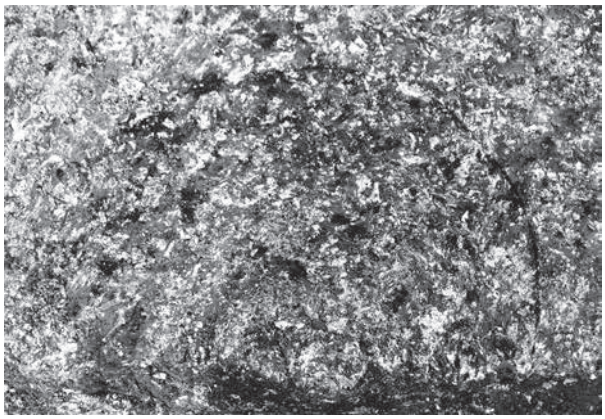


5　1面 67c号遺構掘り方（A区 南東から）

6　1面 68号遺構検出状況（A区 南から）

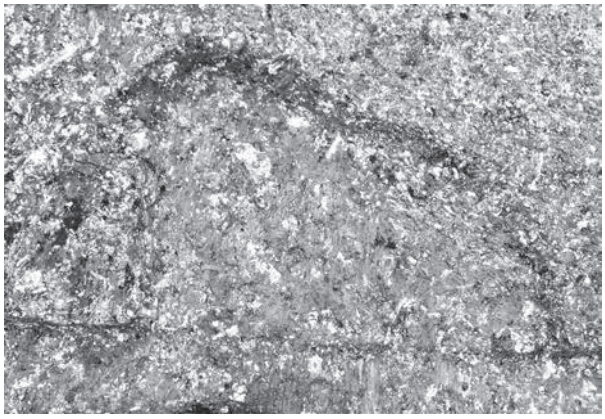


7　1面 68号遺構完掘状況（A区 南から）

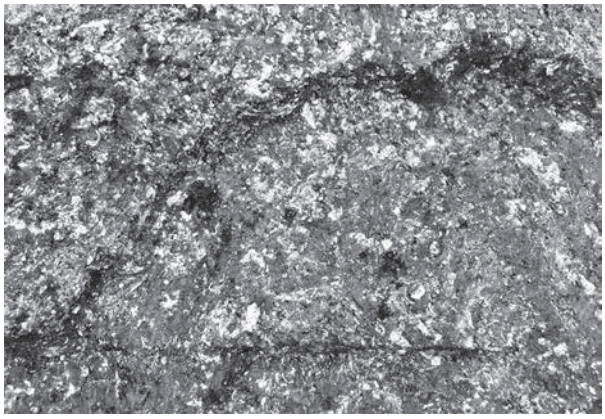


8　1面 69a～d号遺構検出状況（A区 東から）

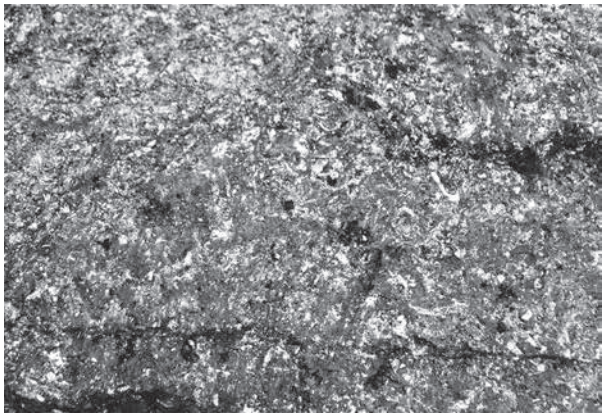
図版 13



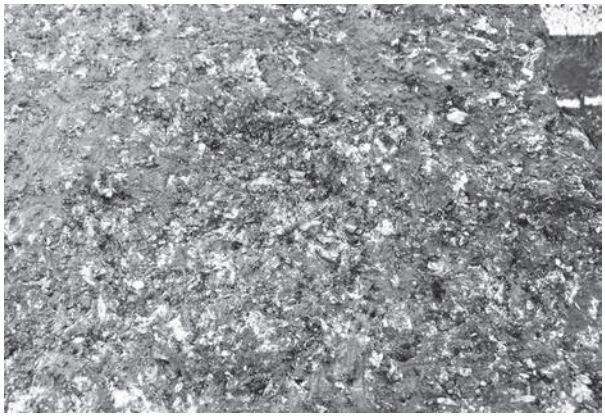
1　1面 69a号遺構完掘状況（A区 東から）



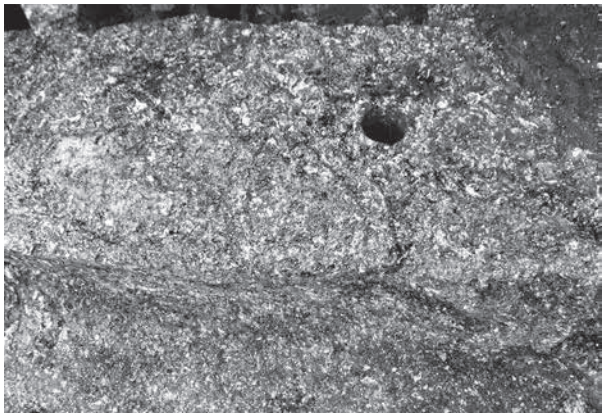
2　1面 69b号遺構完掘状況（A区 東から）



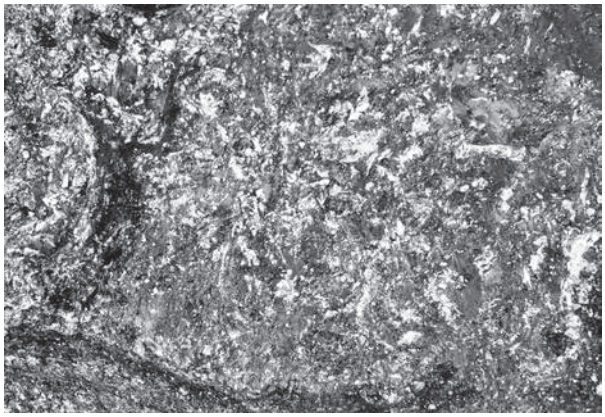
3　1面 69c号遺構完掘状況（A区 東から）



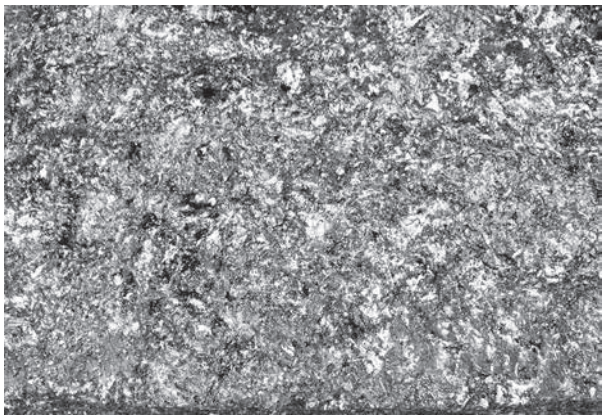
4　1面 69d号遺構完掘状況（A区 東から）



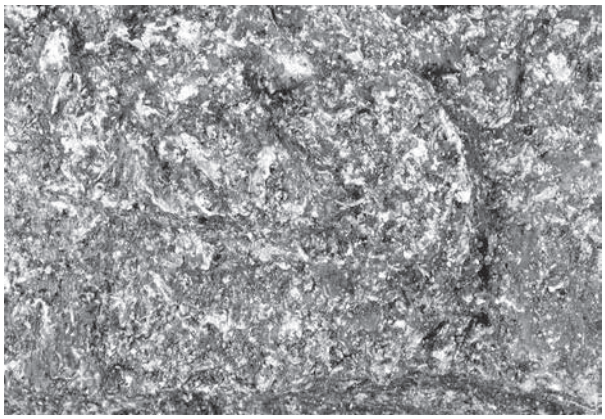
5　1面 70a～d号遺構検出状況（A区 西から）



6　1面 70a号遺構完掘状況（A区 西から）

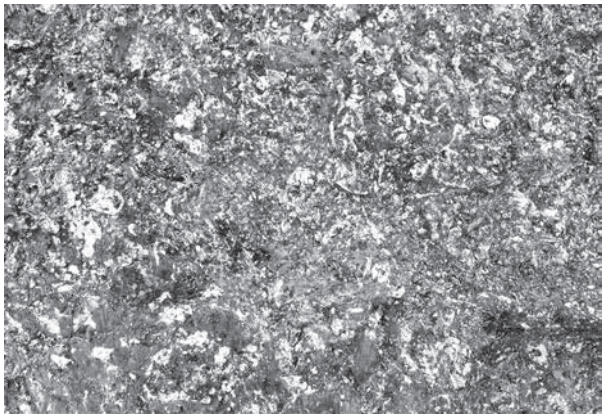


7　1面 70b号遺構完掘状況（A区 西から）



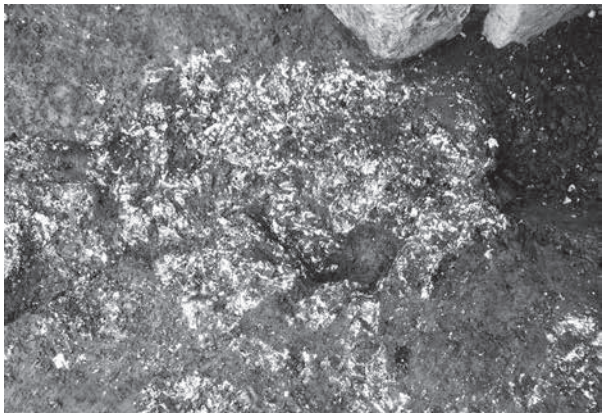
8　1面 70c号遺構完掘状況（A区 西から）

図版 14

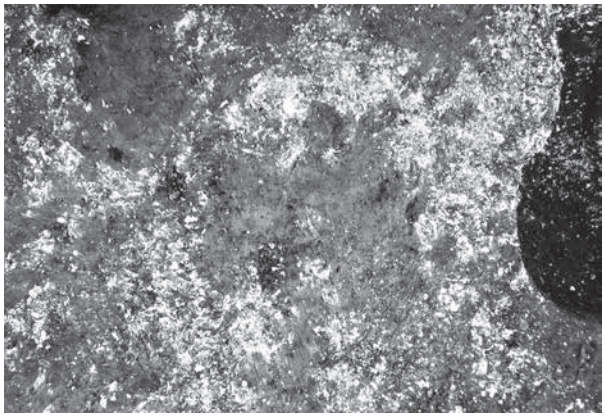


1　1面 70d号遺構完掘状況（A区 西から）

2　1面 71号遺構検出・半裁状況（A区 西から）

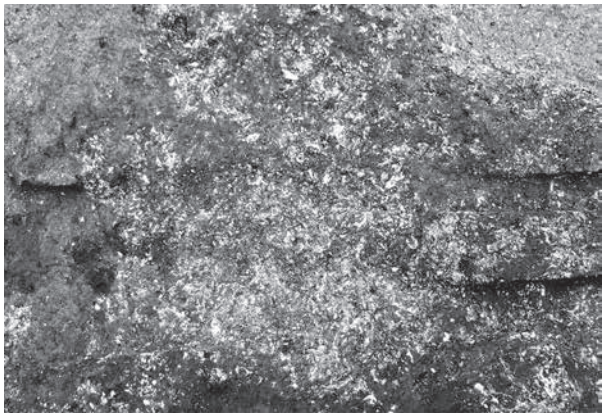


3　1面 71号遺構完掘状況（A区 西から）

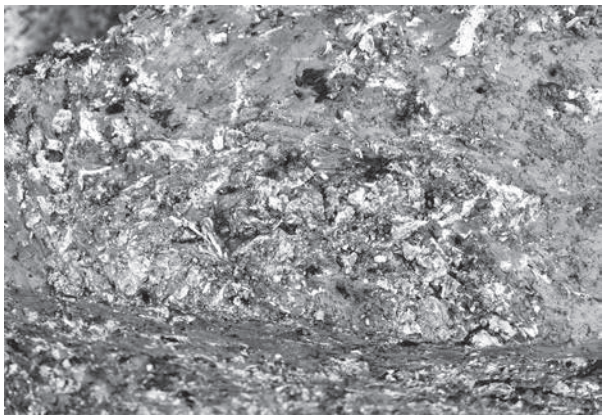


4　1面 72a・b号遺構検出状況（A区 北から）

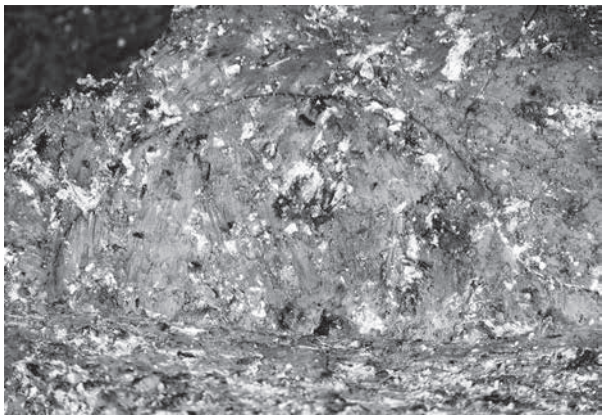
5　1面 73号遺構検出状況（A区 南から）



6　1面 73号遺構完掘状況（A区 南から）

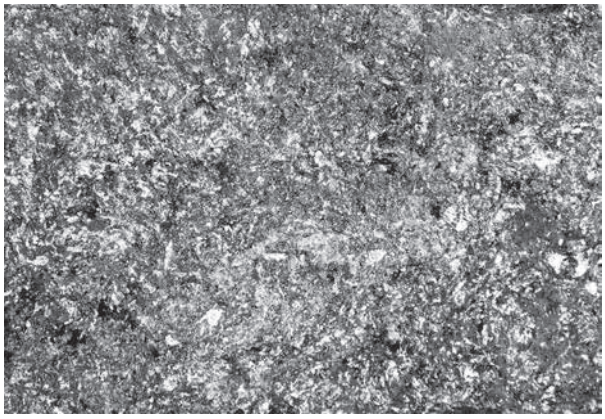


7　1面 74号遺構検出状況（A区 北から）

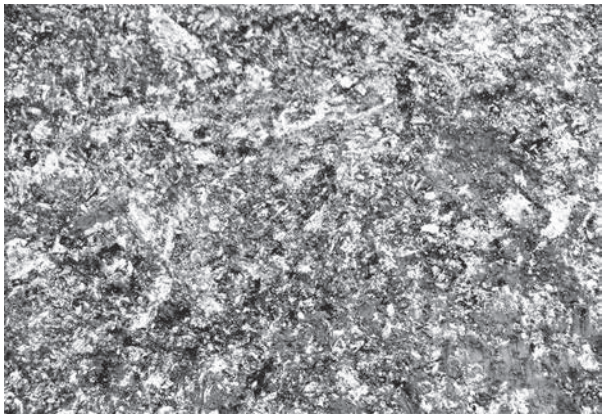


8　1面 74号遺構完掘状況（A区 北から）

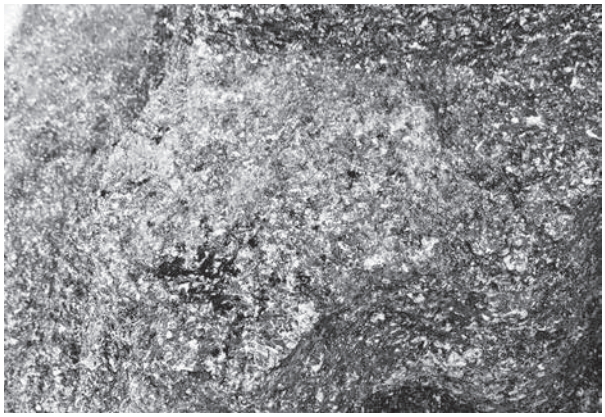
図版 15



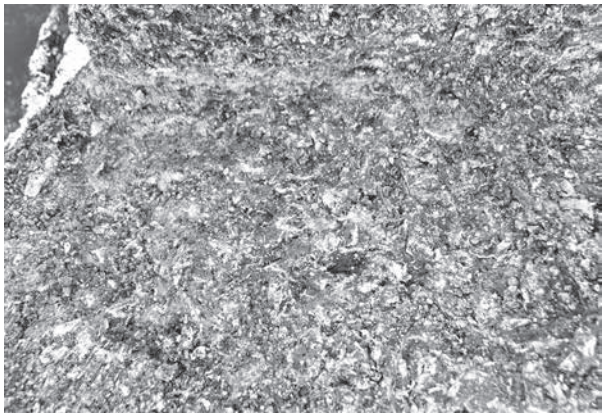
1　1面 75号遺構検出状況（A区 東から）



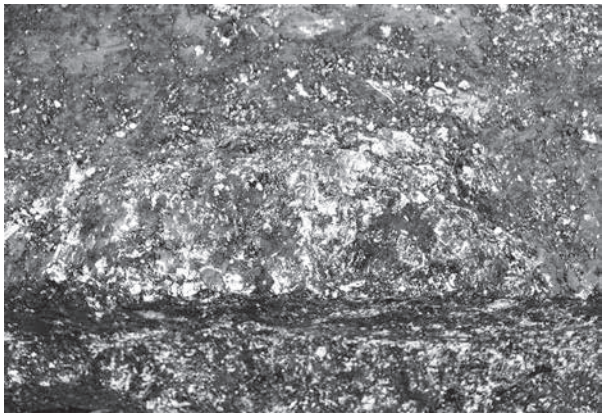
2　1面 75号遺構完掘状況（A区 東から）



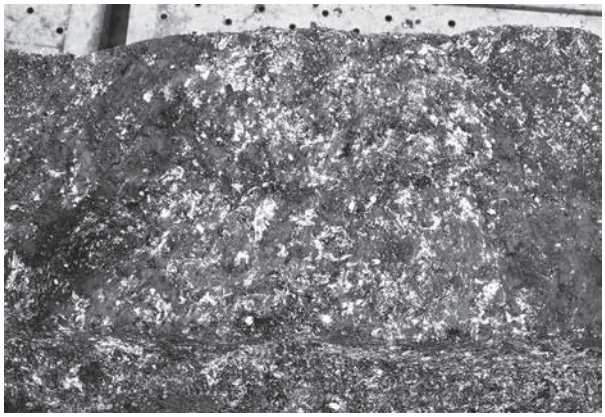
3　1面 76号遺構検出状況（A区 西から）



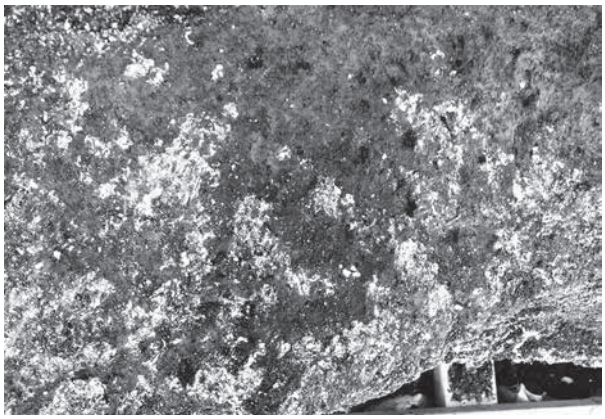
4　1面 76号遺構完掘状況（A区 西から）



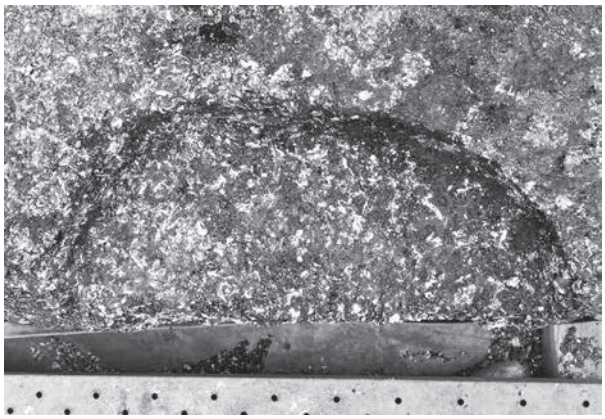
5　1面 77号遺構検出状況（A区 南から）



6　1面 77号遺構完掘状況（A区 南から）

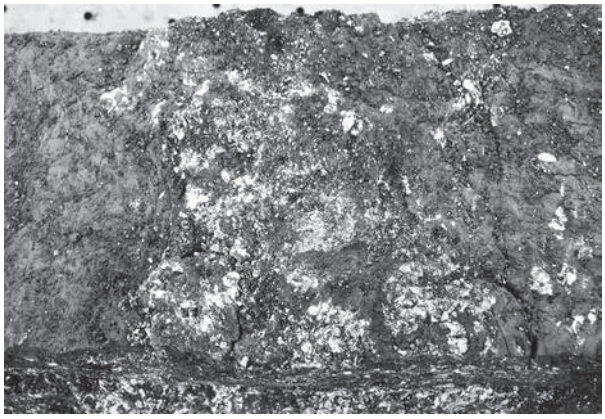


7　1面 78号遺構検出状況（A区 北から）

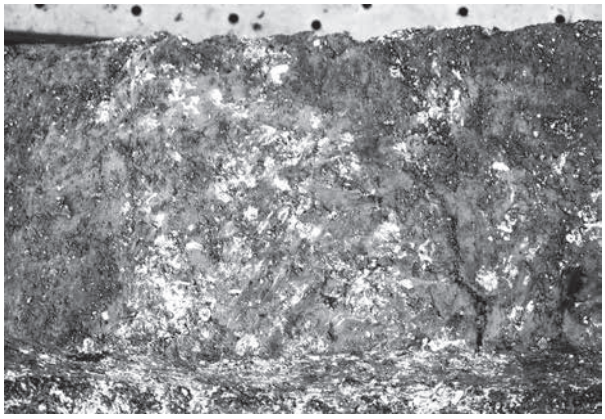


8　1面 78号遺構完掘状況（A区 北から）

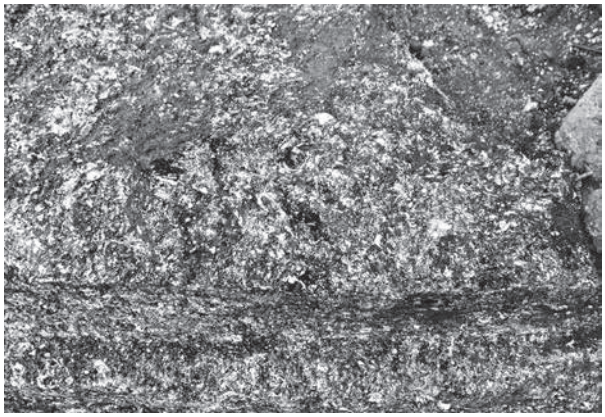
図版 16



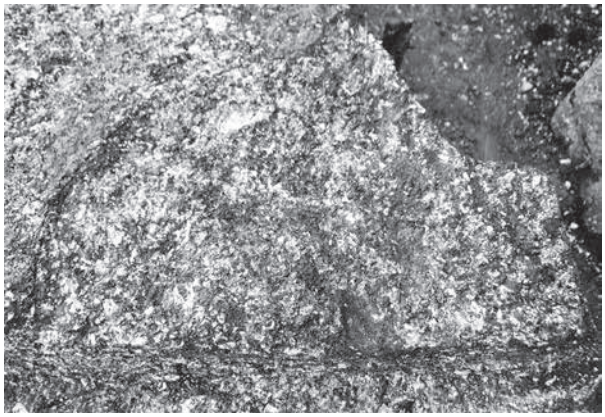
1　1面 80号遺構検出状況（A区 南から）



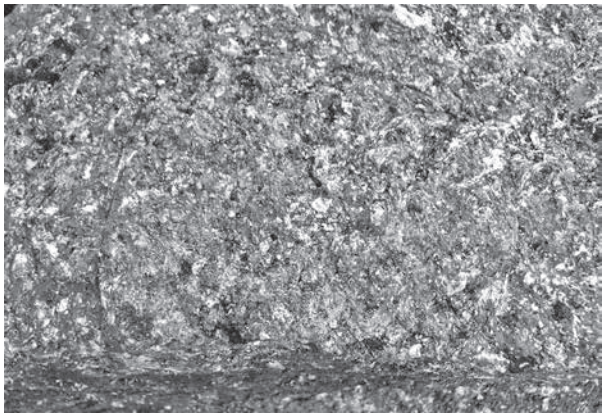
2　面 80号遺構完掘状況（A区 南から）



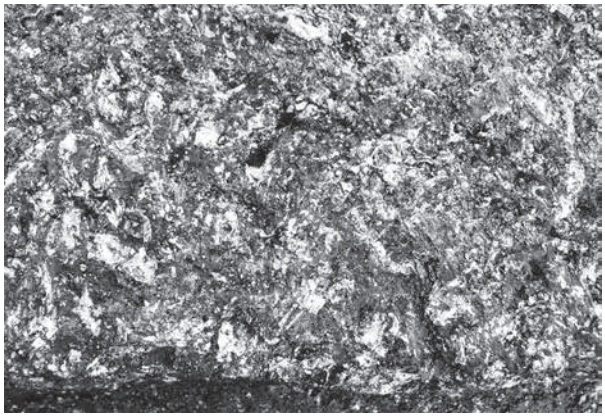
3　1面 81号遺構検出状況（A区 南から）



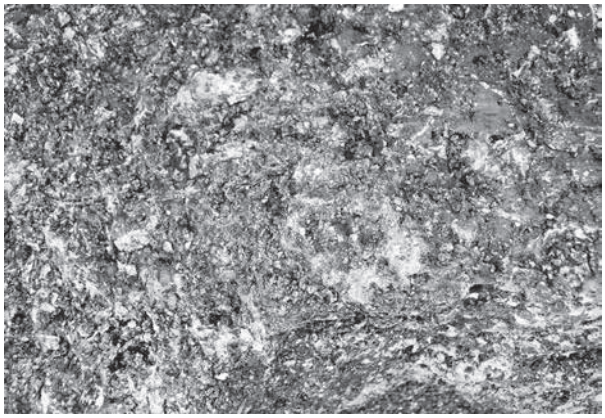
4　1面 81号遺構完掘状況（A区 南から）



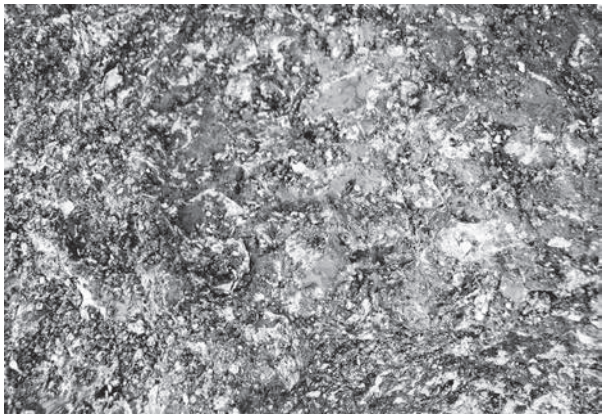
5　1面 82号遺構検出状況（A区 東から）



6　1面 82号遺構完掘状況（A区 東から）

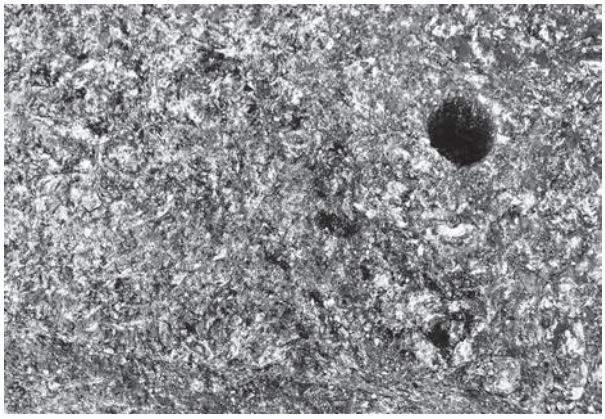


7　1面 83号遺構検出状況（A区 西から）

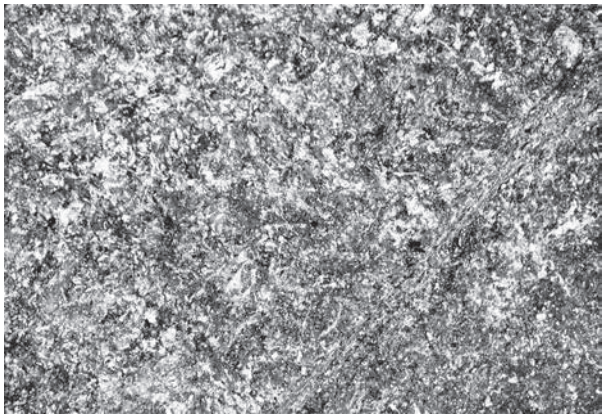


8　1面 83号遺構完掘状況（A区 西から）

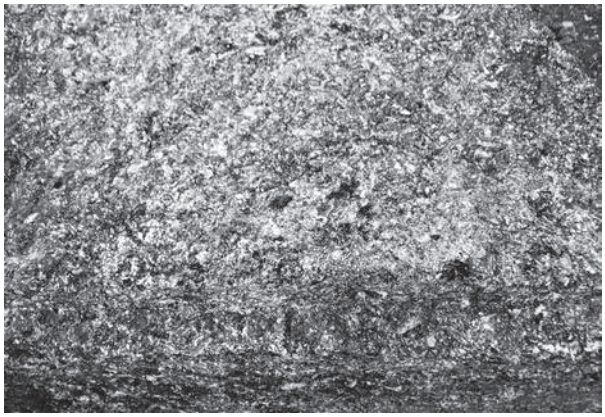
図版 17



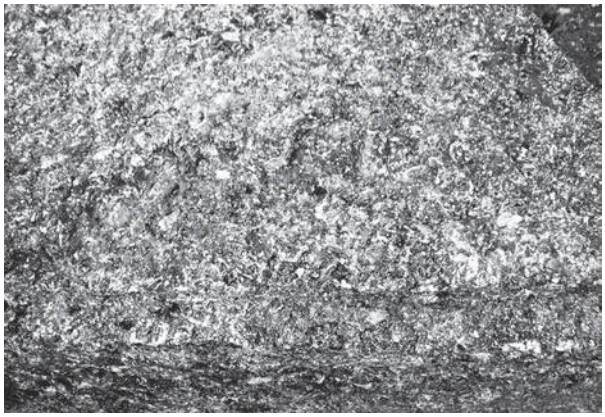
1　1面 84号遺構検出状況（A区 西から）



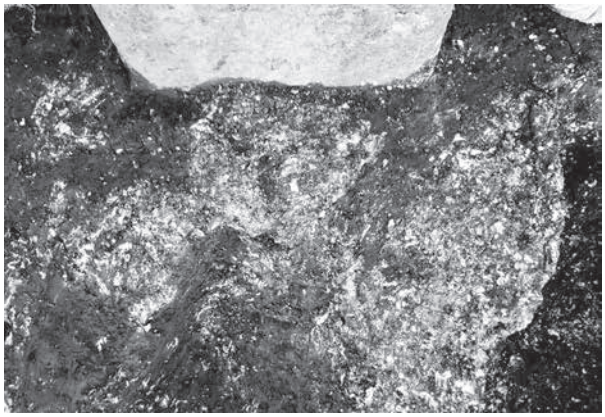
2　1面 84号遺構完掘状況（A区 西から）



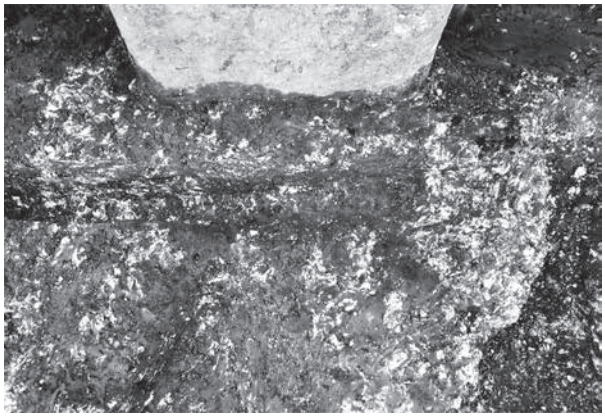
3　1面 85号遺構検出状況（A区 南から）



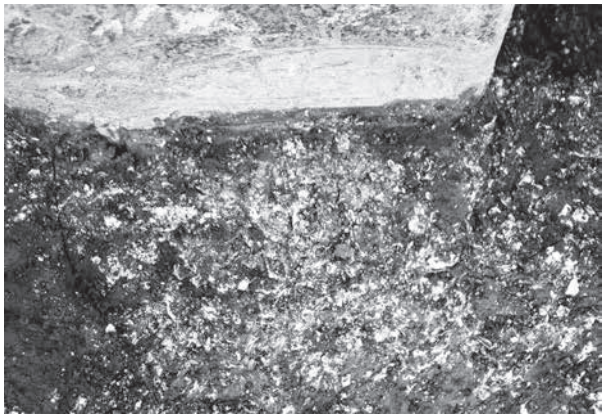
4　1面 85号遺構完掘状況（A区 南から）



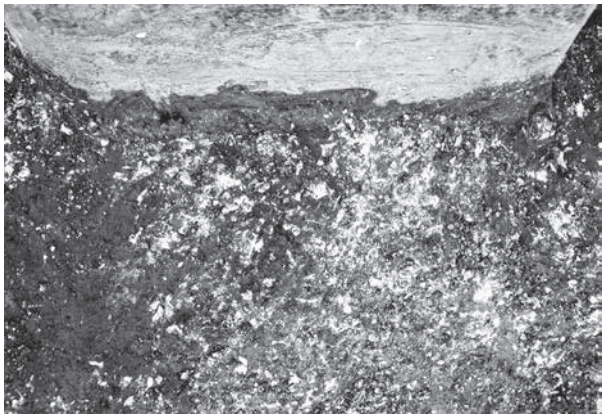
5　1面 86号遺構検出状況（A区 北から）



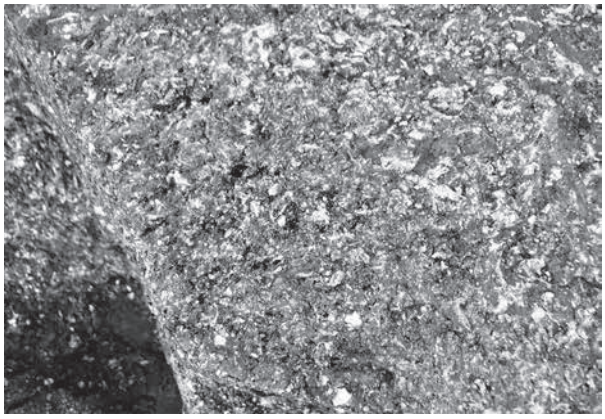
6　1面 86号遺構完掘状況（A区 北から）



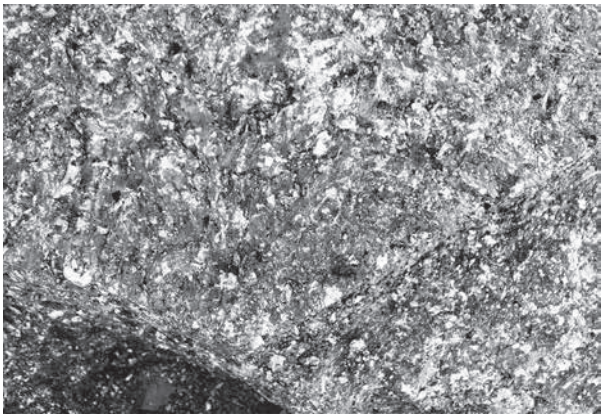
7　1面 87号遺構検出状況（A区 北から）



8　1面 87号遺構完掘状況（A区 北から）

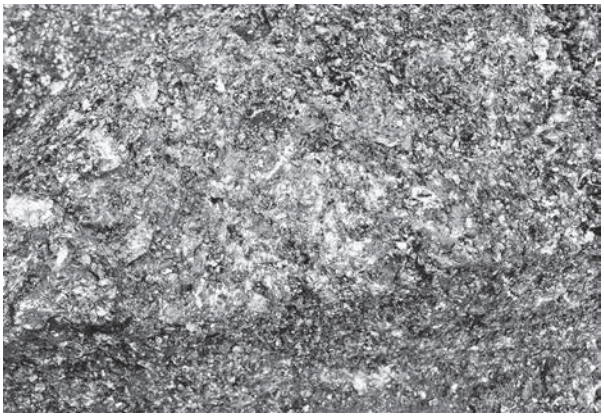


1　1面 88号遺構検出状況（A区 北西から）

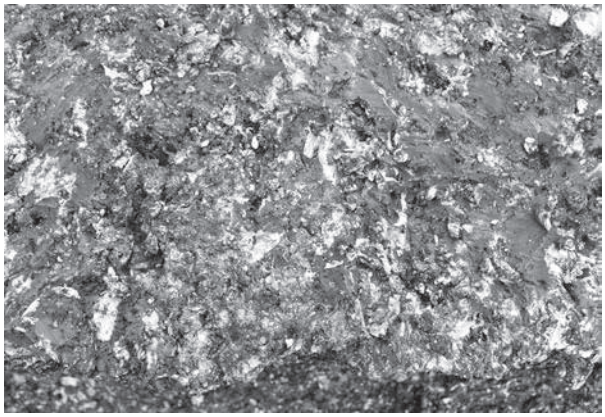


2　1面 88号遺構完掘状況（A区 北から）

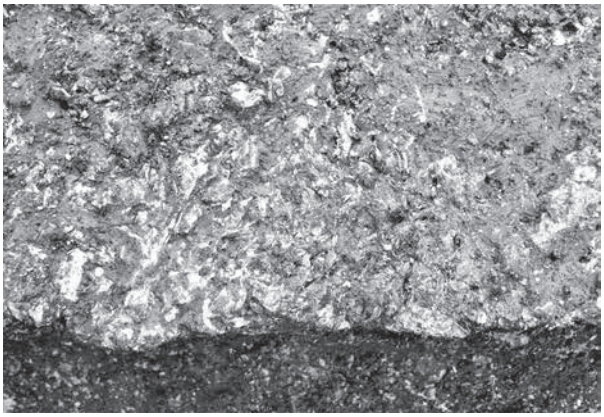
3　1面 89号遺構土層堆積状況（A区 南西から）



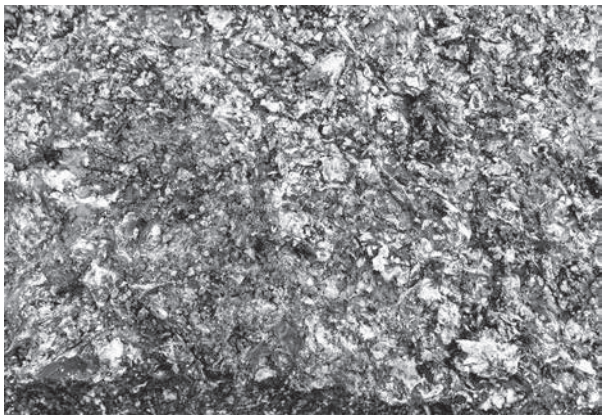
4　1面 89号遺構完掘状況（A区 南西から）



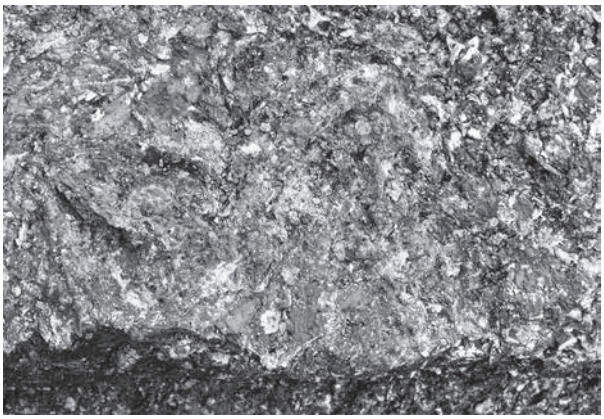
5　1面 90号遺構検出状況（A区 東から）



6　1面 90号遺構完掘状況（A区 東から）

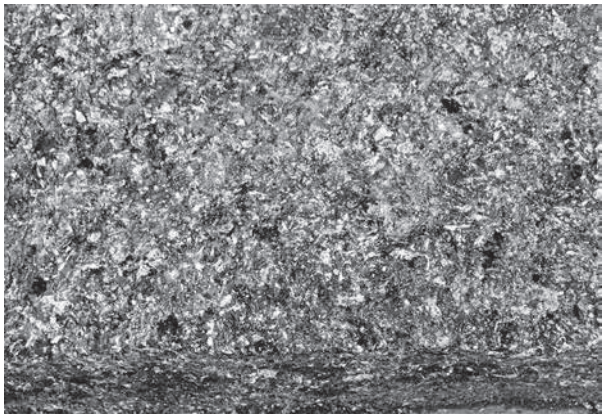


7　1面 91号遺構検出状況（A区 東から）

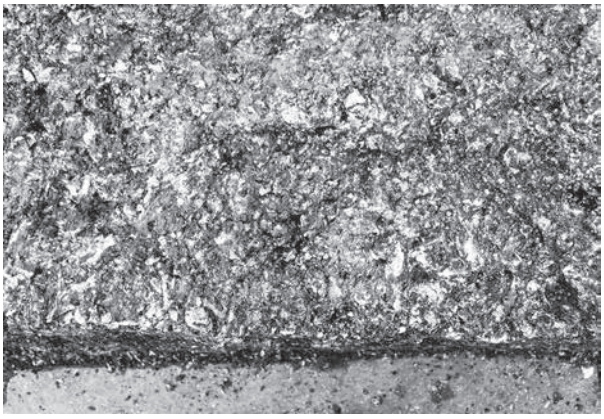


8　1面 91号遺構完掘状況（A区 東から）

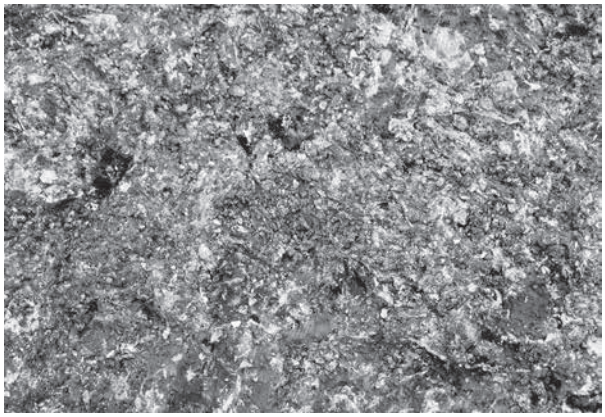
図版 19



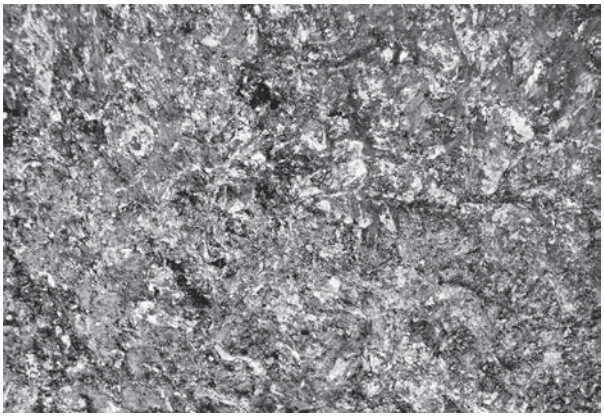
1　1面 92号遺構検出状況（A区 南から）



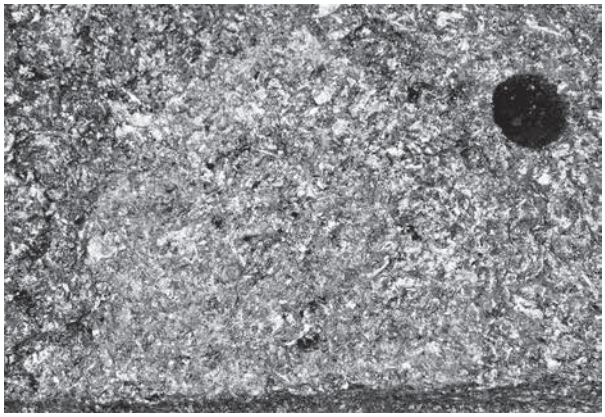
2　1面 92号遺構完掘状況（A区 南から）



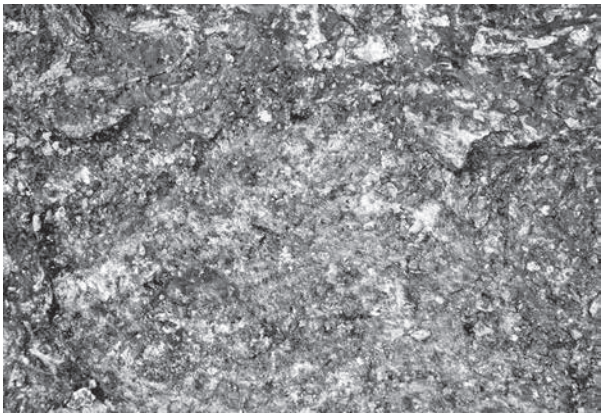
3　1面 93号遺構検出状況（A区 東から）



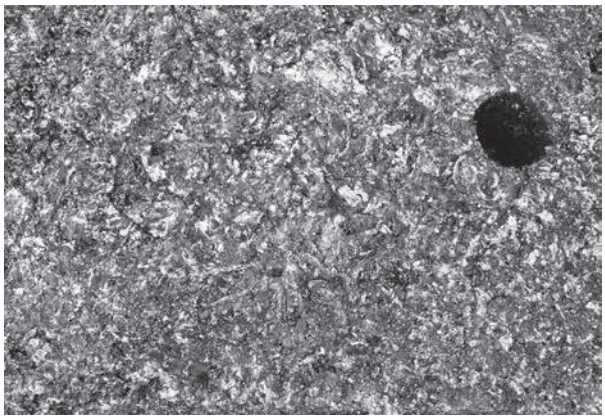
4　1面 93号遺構完掘状況（A区 東から）



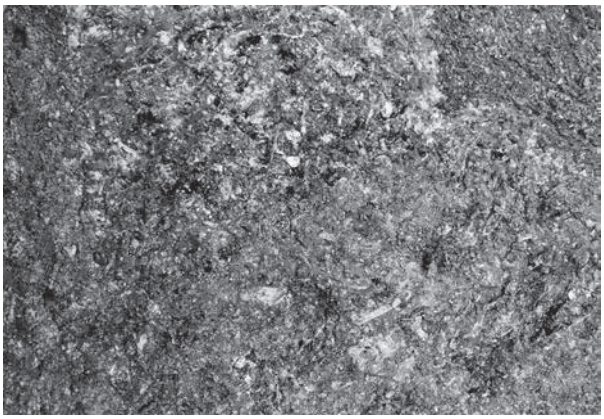
5　1面 94a・b号遺構検出状況（A区 南から）



6　1面 94a号遺構完掘状況（A区 南から）

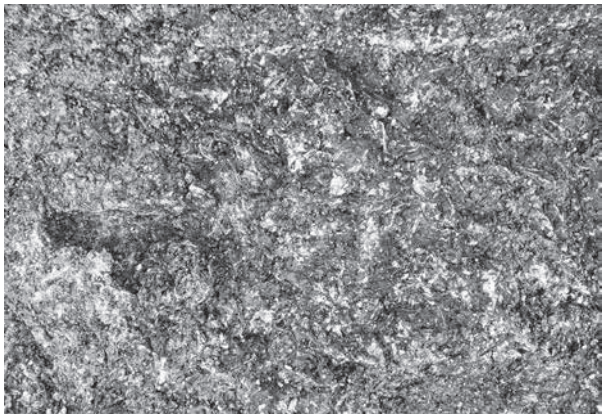


7　1面 94b号遺構完掘状況（A区 南から）

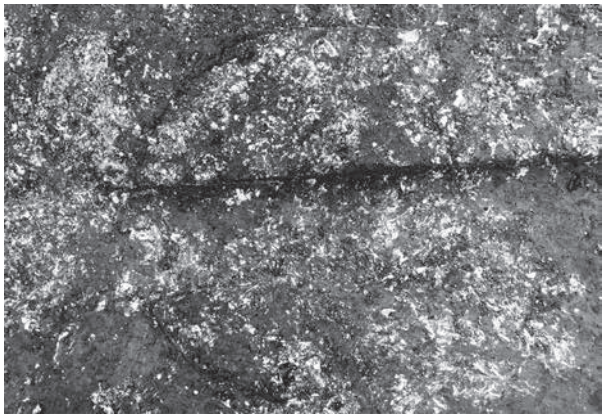


8　1面 95号遺構検出状況（A区 北から）

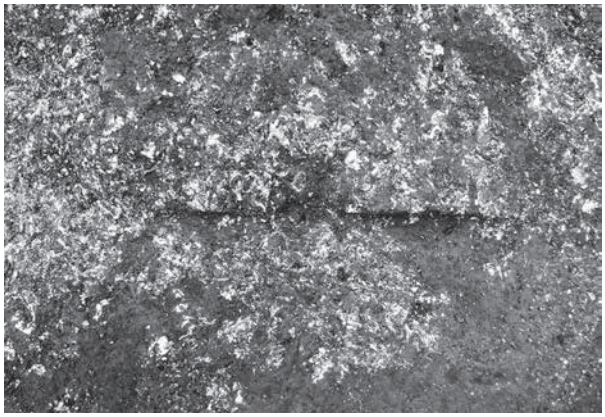
図版 20



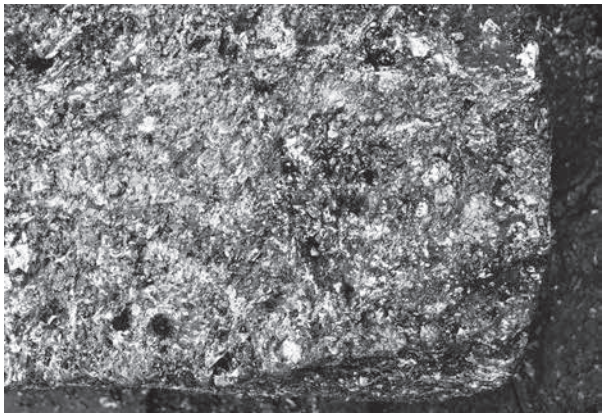
1　1面 95号遺構完掘状況（A区 北から）



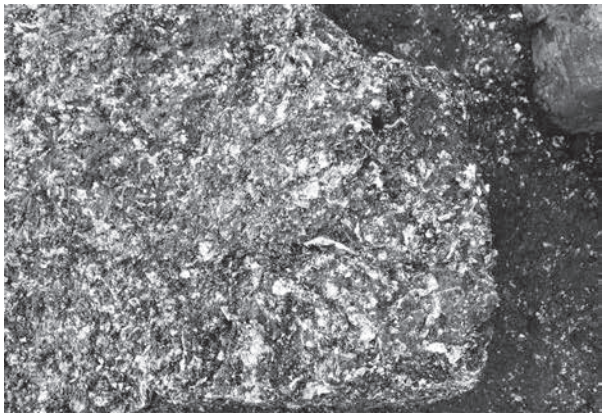
2　1面 96号遺構検出状況（A区 北から）



3　1面 96号遺構完掘状況（A区 北から）

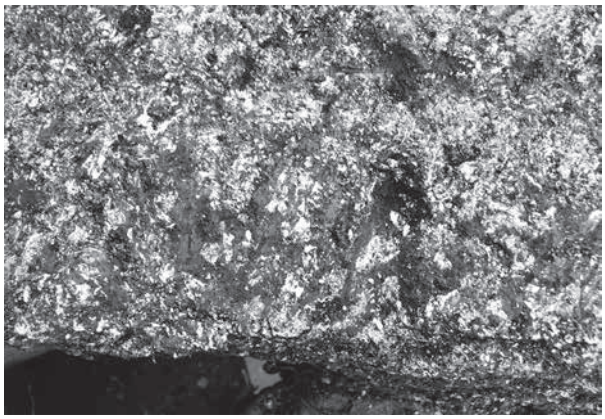


4　1面 97号遺構検出状況（A区 南から）

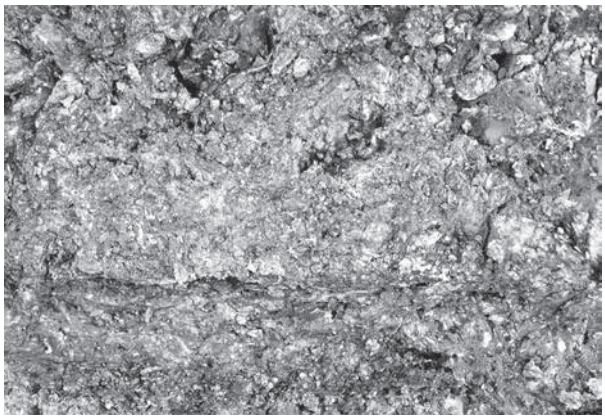


5　1面 97号遺構完掘状況（A区 南から）

6　1面 98号遺構土層堆積状況（A区 東から）



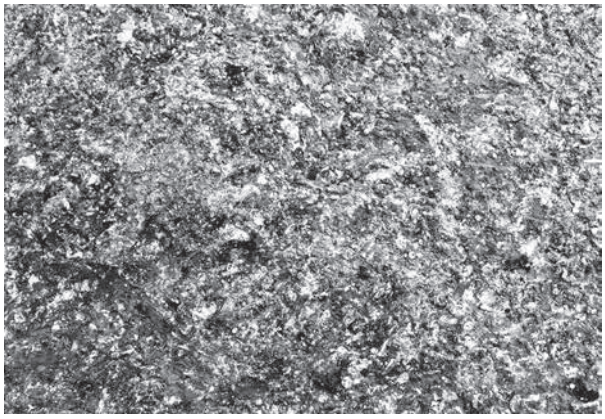
7　1面 98号遺構完掘状況（A区 東から）



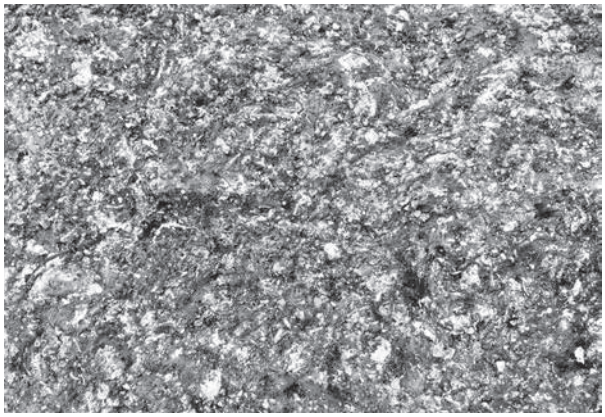
8　1面 99号遺構検出状況（A区 西から）

図版 21

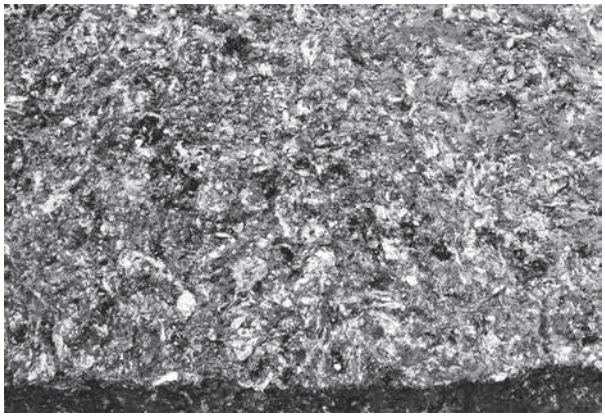
1　1面 99号遺構完掘状況（A区 西から）



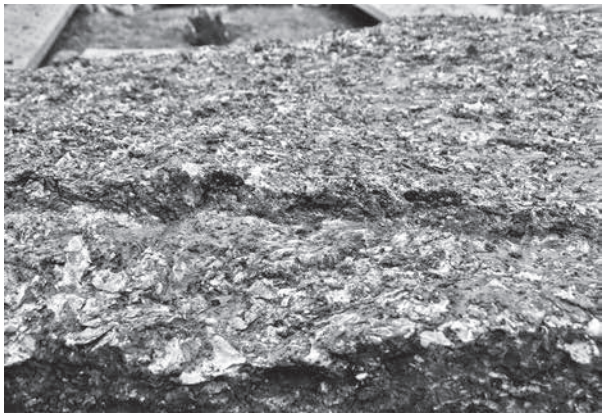
2　1面 100号遺構検出状況（A区 東から）



3　1面 100号遺構完掘状況（A区 東から）

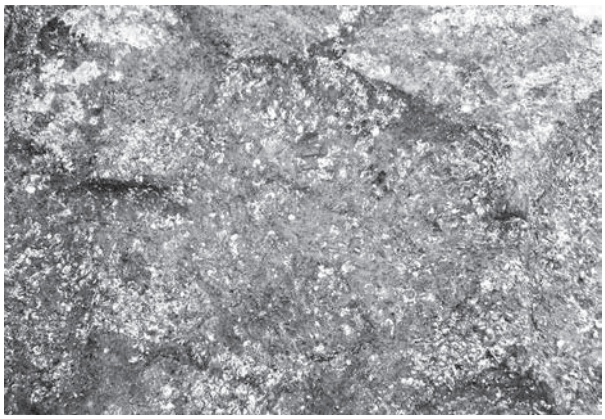


4　1面 101号遺構検出状況（A区 東から）



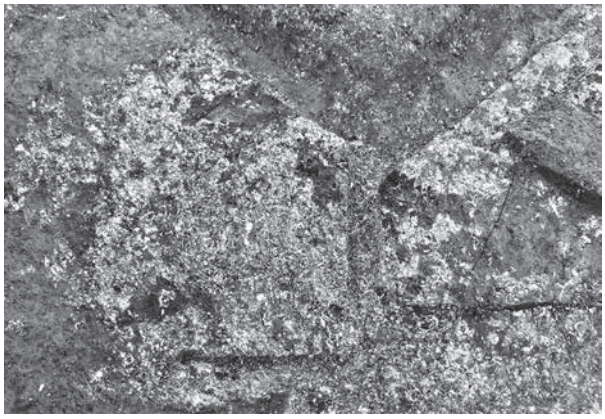
5　1面 101号遺構土層堆積状況（A区 東から）

6　1面 102a・b号遺構検出状況（A区 南から）

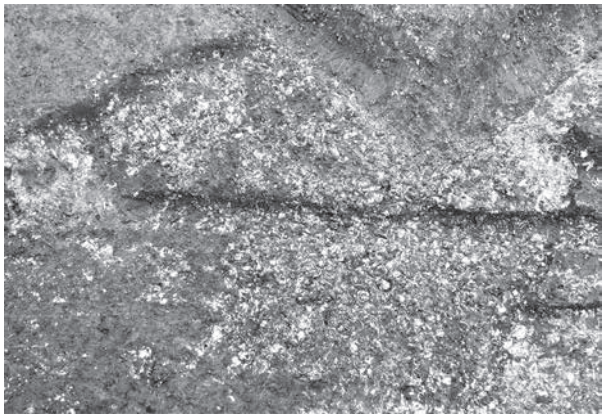


7　1面 102a号遺構完掘状況（A区 南東から）

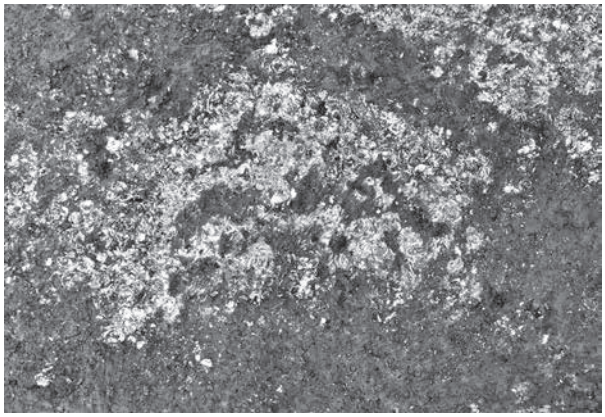
8　1面 102b号遺構完掘状況（A区 南東から）



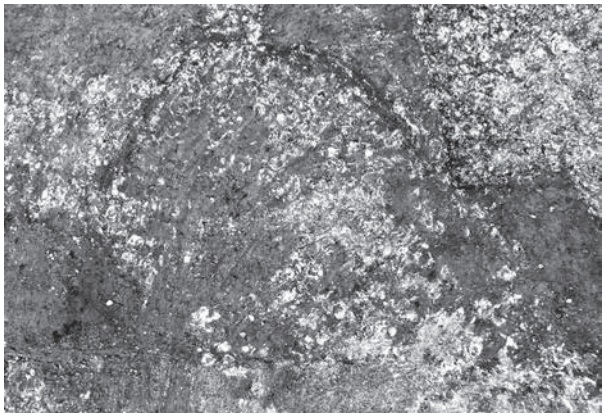
1　1面 102c号遺構検出状況（A区 南東から）



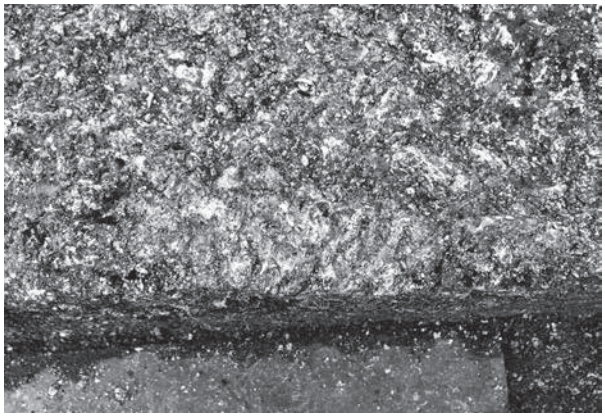
2　1面 102c号遺構完掘状況（A区 南東から）



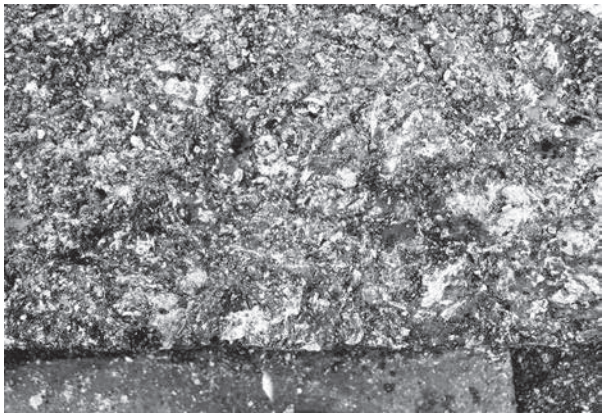
3　1面 103号遺構検出状況（A区 西から）



4　1面 103号遺構完掘状況（A区 西から）

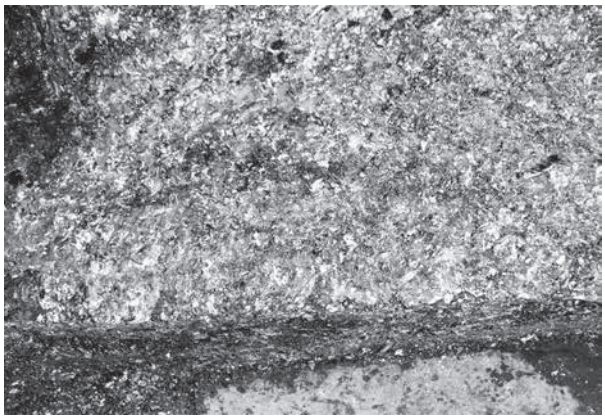


5　1面 104号遺構検出状況（A区 南から）

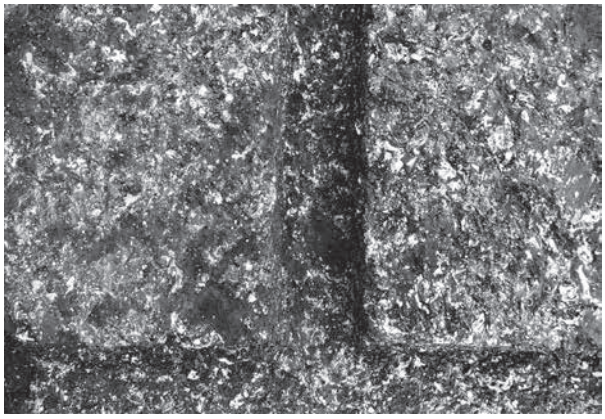


6　1面 104号遺構完掘状況（A区 南から）

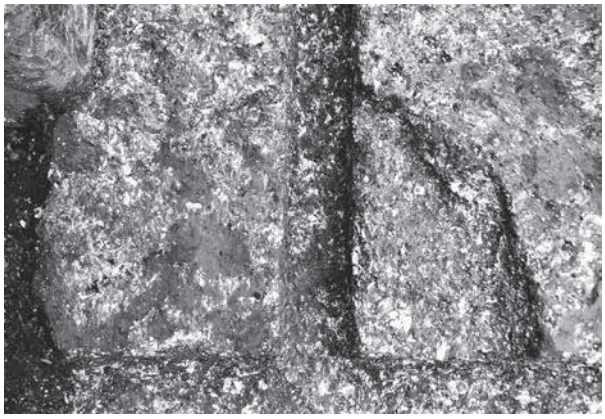
7　1面 105号遺構検出状況（A区 南から）



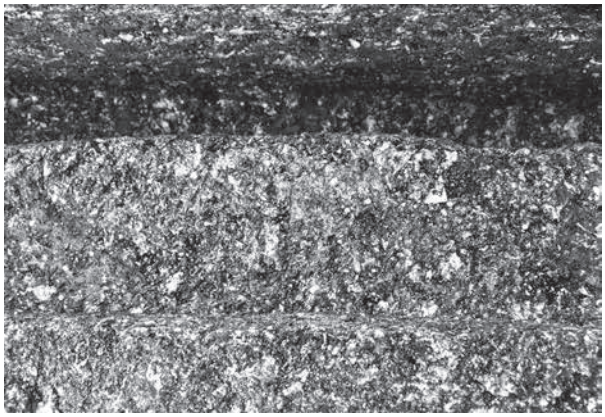
8　1面 105号遺構完掘状況（A区 南から）



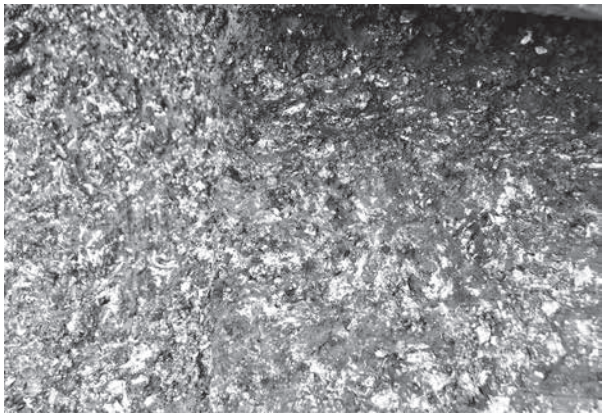
1　1面 108号遺構検出状況（A区 東から）



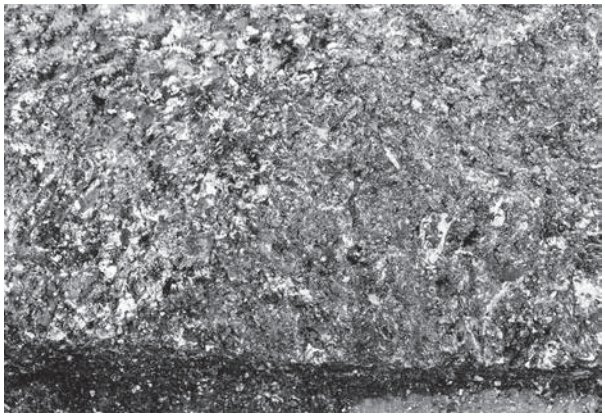
2　1面 108号遺構完掘状況（A区 東から）



3　1面 109号遺構検出状況（A区 西から）

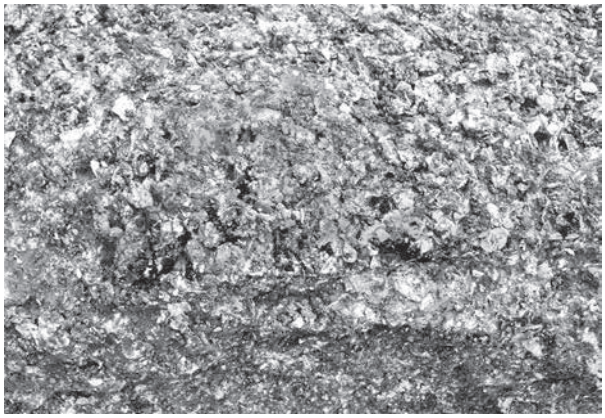


4　1面 109号遺構完掘状況（A区 西から）

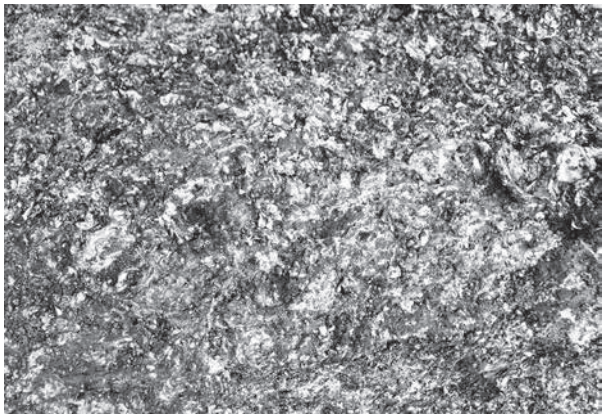


5　1面 110号遺構検出状況（A区 南から）

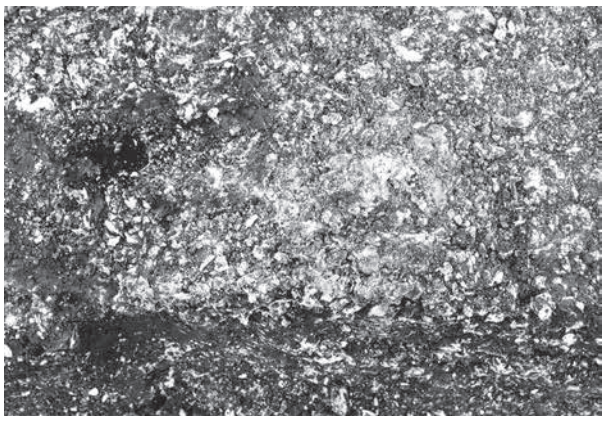
6　1面 110号遺構完掘状況（A区 南から）



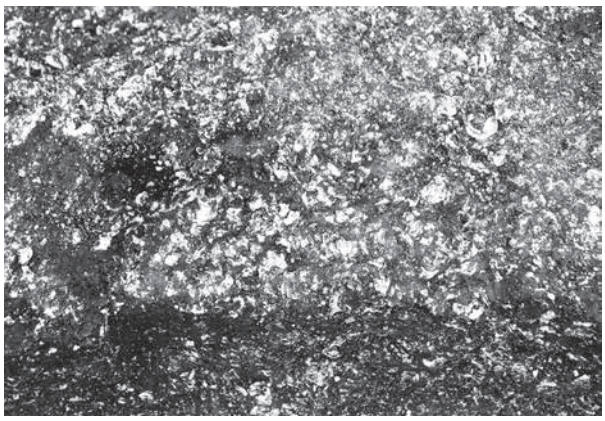
7　1面 111号遺構検出状況（A区 北から）



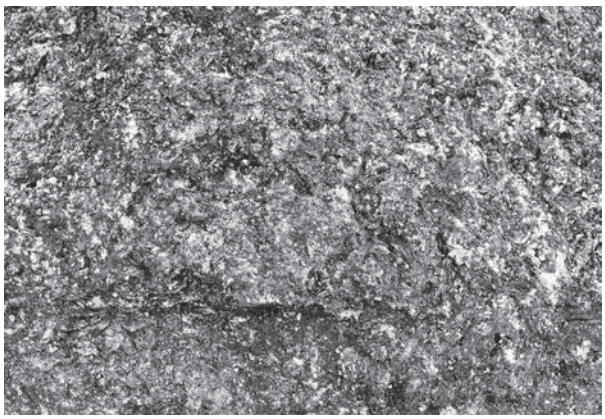
8　1面 111号遺構完掘状況（A区 北から）



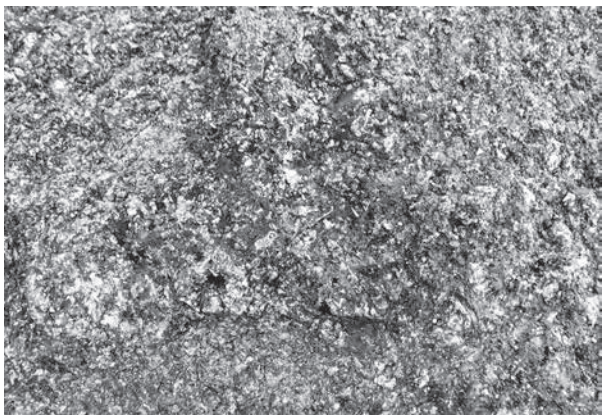
1　1 面 112 号遺構検出状況（A 区 南から）



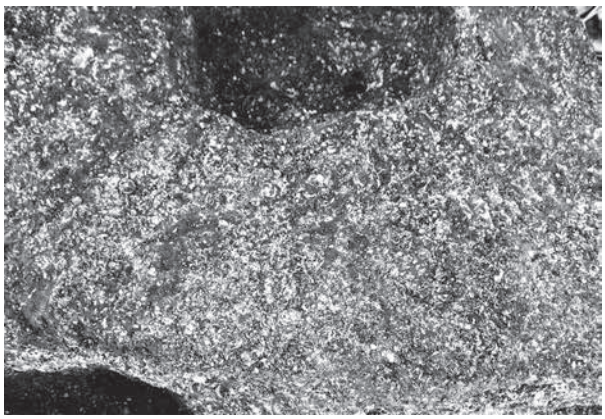
2　1 面 112 号遺構完掘状況（A 区 南から）



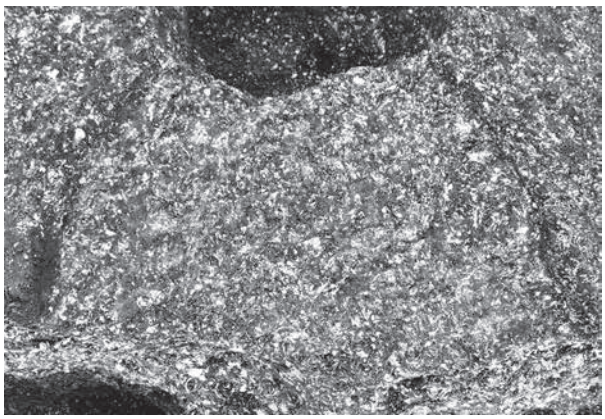
3　1 面 113 号遺構検出状況（A 区 北から）



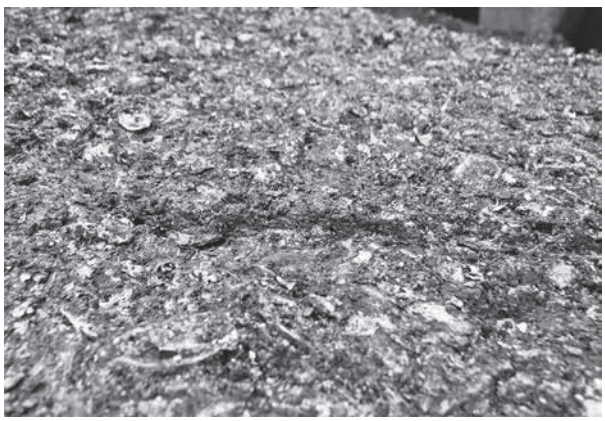
4　1 面 113 号遺構完掘状況（A 区 北から）



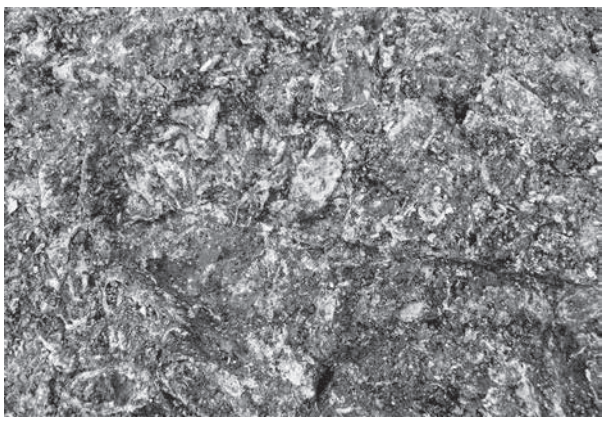
5　1 面 114 号遺構検出状況（A 区 北から）



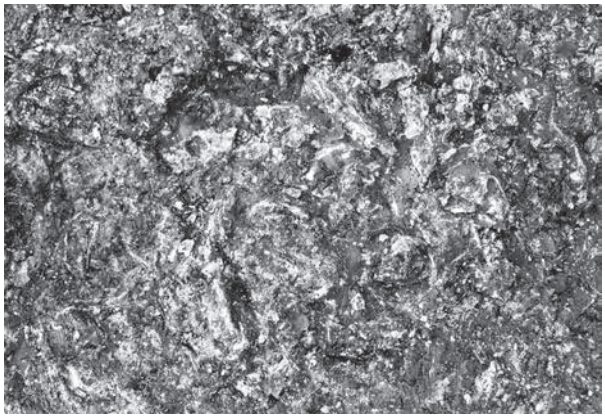
6　1 面 114 号遺構完掘状況（A 区 北から）



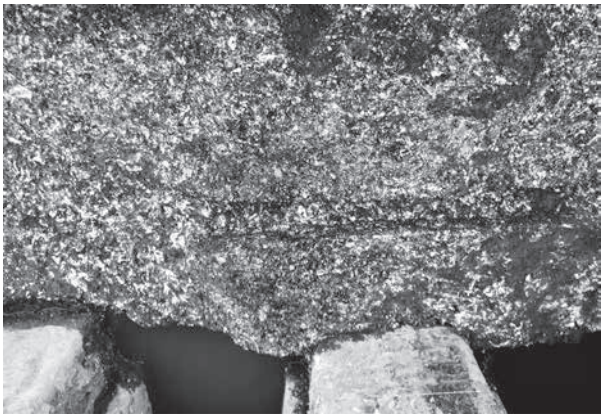
7　1 面 115 号遺構土層堆積状況（A 区 西から）



8　1 面 115 号遺構完掘状況（A 区 西から）



1　1 面 116 号遺構完掘状況（A 区 西から）

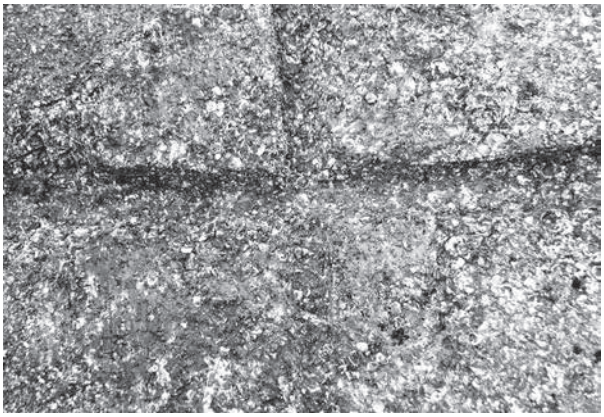


2　1 面 117 号遺構灰層検出状況（A 区 北から）

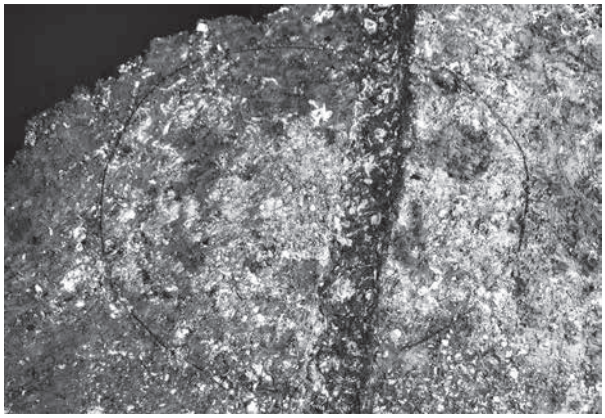
3　1 面 118 号遺構検出状況（A 区 南から）

4　1 面 118 号遺構完掘状況（A 区 南から）

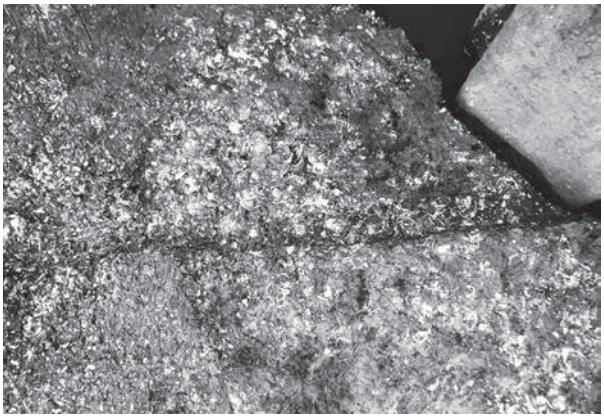
5　1 面 119 号遺構検出状況（A 区 南から）



6　1 面 119 号遺構完掘状況（A 区 南から）

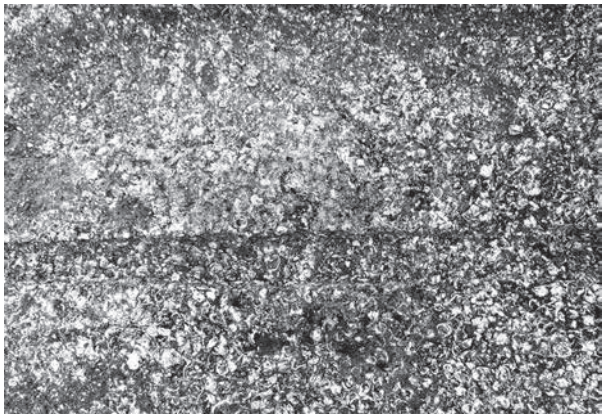


7　1 面 120 号遺構検出状況（A 区 北から）

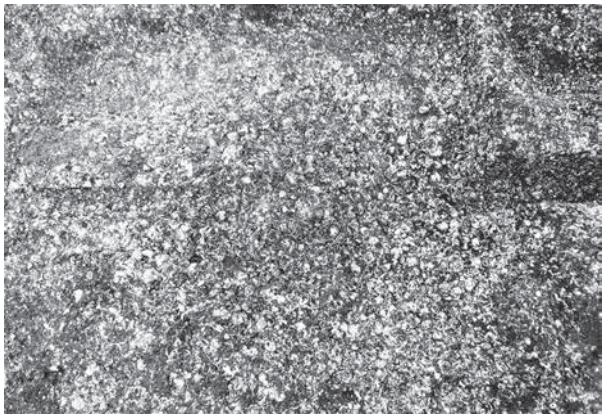


8　1 面 120 号遺構完掘状況（A 区 北西から）

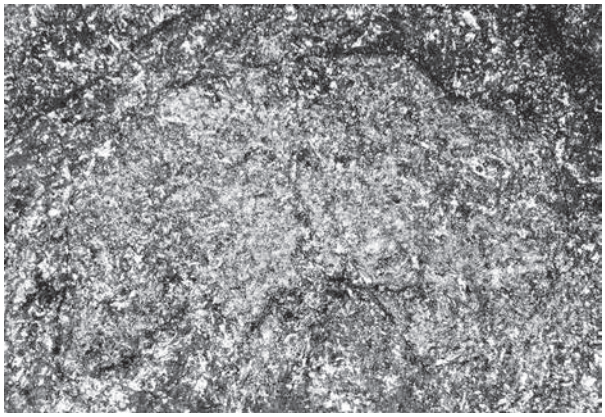
図版 26



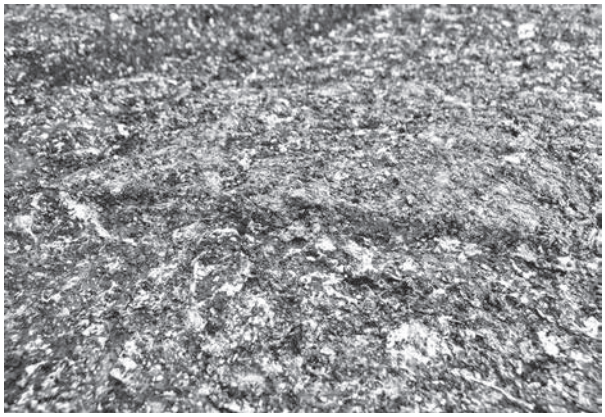
1　1 面 121 号遺構検出状況（A 区 南から）



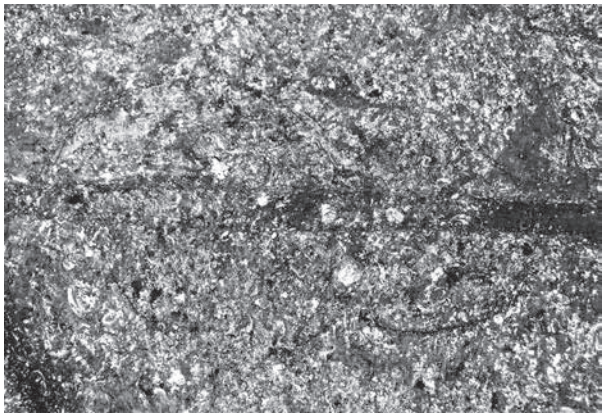
2　1 面 121 号遺構完掘状況（A 区 南から）



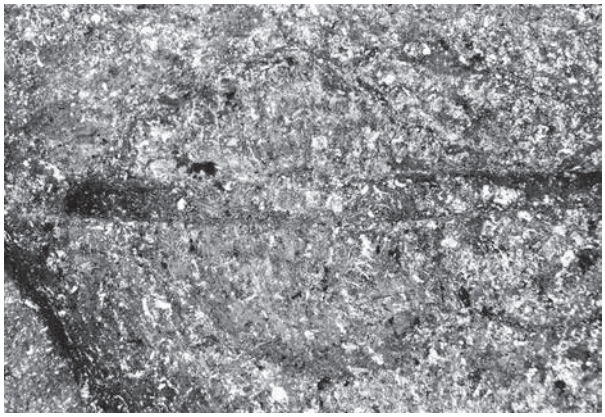
3　1 面 123 号遺構検出状況（A 区 北から）



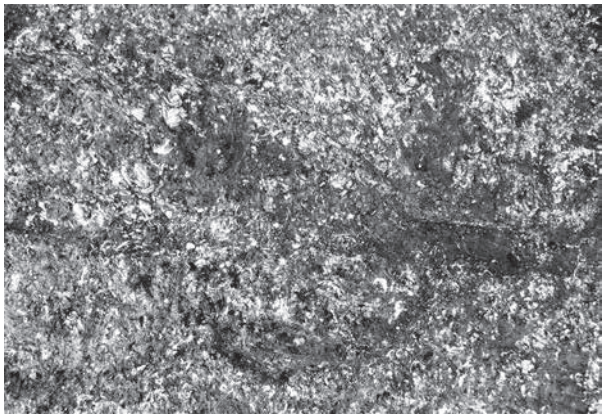
4　1 面 123 号遺構土層堆積状況（A 区 北から）



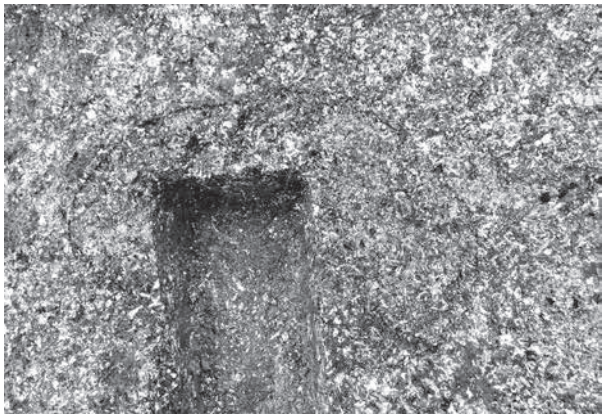
5　1 面 125a・b 号遺構検出状況（A 区 北西から）



6　1 面 125a 号遺構完掘状況（A 区 北西から）

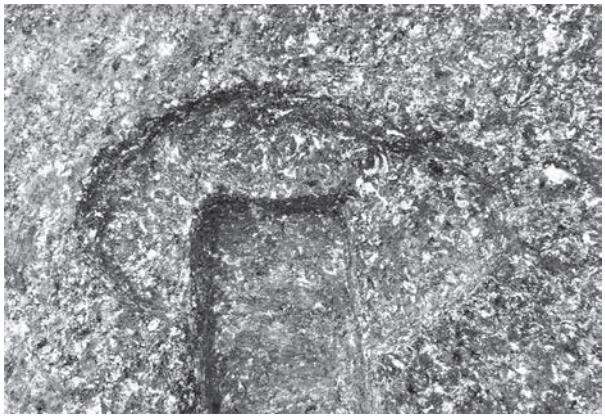


7　1 面 125b 号遺構完掘状況（A 区 北西から）

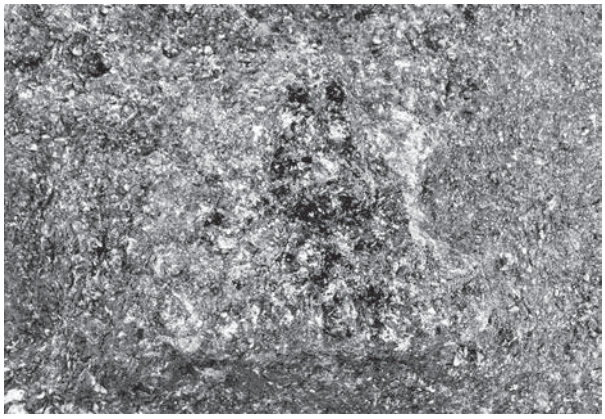


8　1 面 126 号遺構検出状況（A 区 南から）

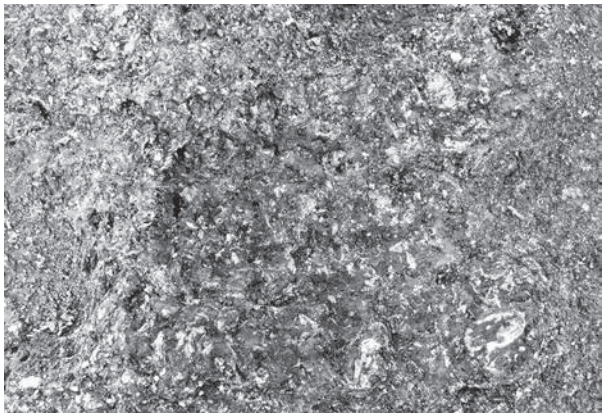
図版 27



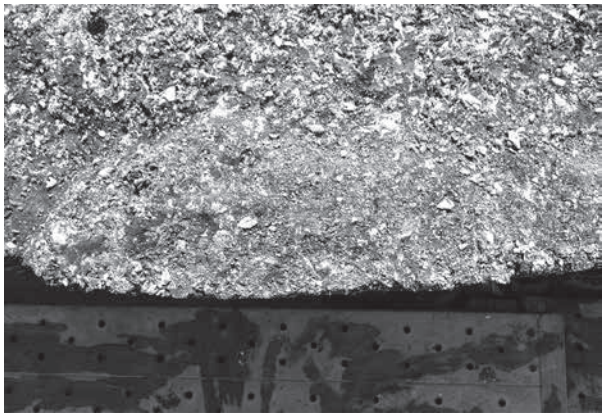
1　1 面 126 号遺構完掘状況（A 区 南から）



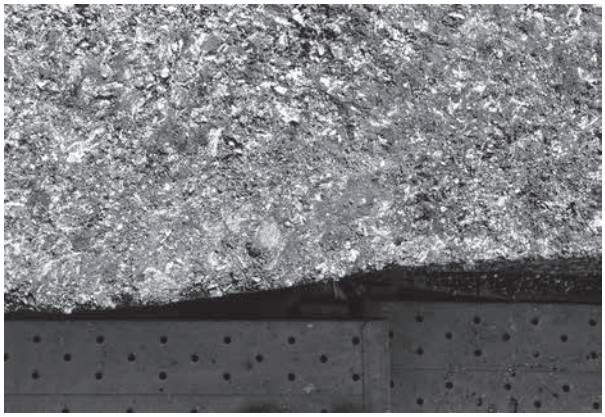
2　1 面 127 号遺構検出状況（A 区 南から）



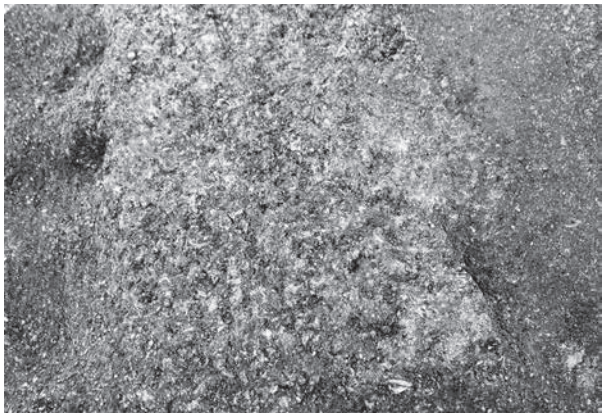
3　1 面 127 号遺構完掘状況（A 区 南から）



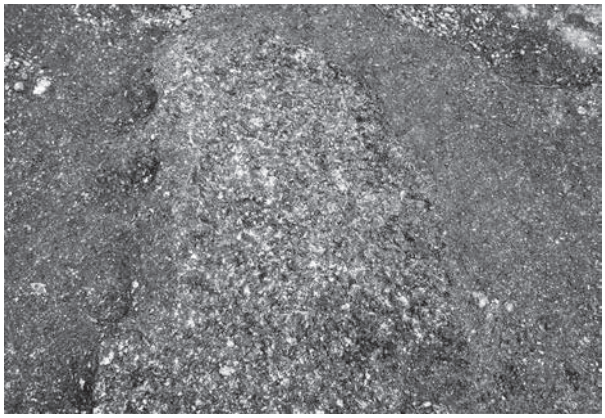
4　1 面 129 号遺構検出状況（A 区 北から）



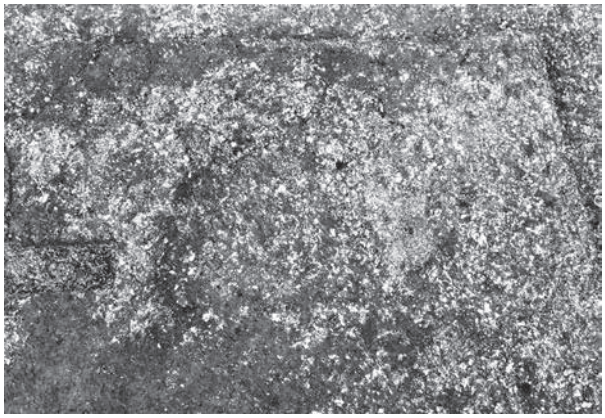
5　1 面 129 号遺構完掘状況（A 区 北から）



6　1 面 130 号遺構検出状況（A 区 南から）

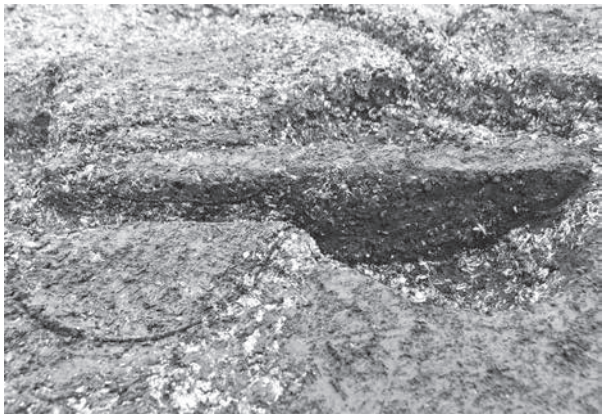


7　1 面 130 号遺構完掘状況（A 区 南から）

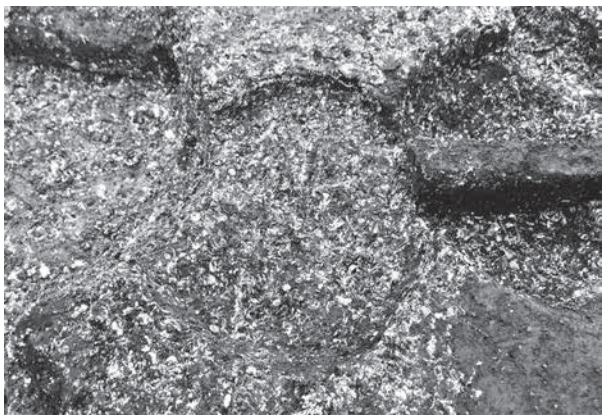


8　1 面 131 号遺構検出状況（A 区 南から）

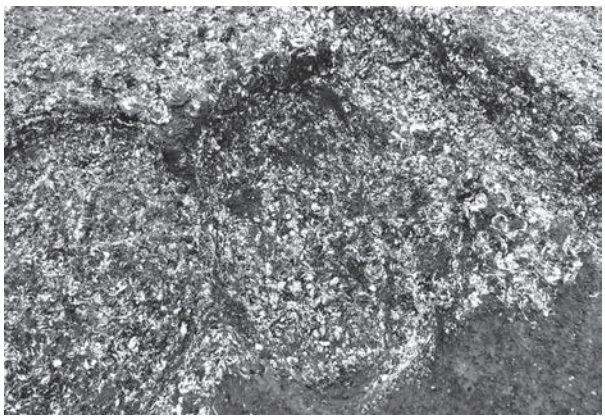
1　1 面 131 号遺構土層堆積状況（A 区 南から）



2　1 面 132a・b 号遺構土層堆積状況（A 区 南東から）

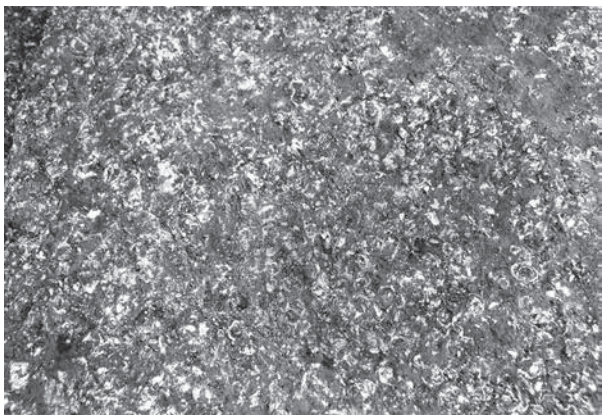


3　1 面 132a 号遺構完掘状況（A 区 南東から）

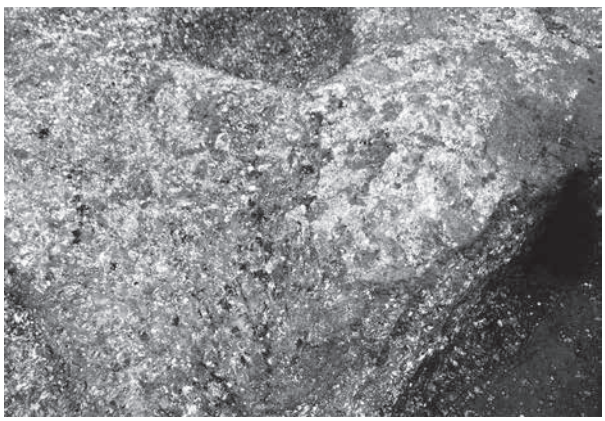


4　1 面 132b 号遺構完掘状況（A 区 南から）

5　1 面 133 号遺構土層堆積状況（A 区 北から）



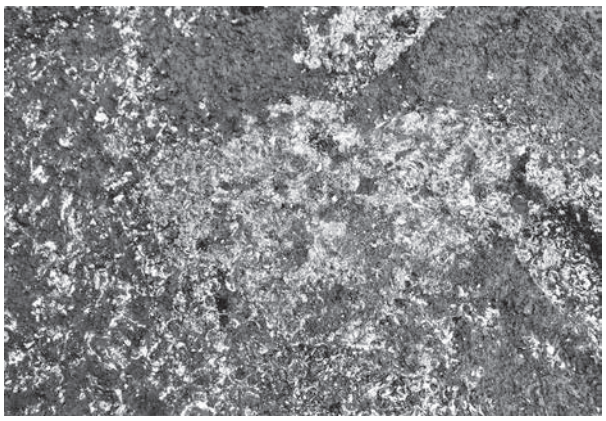
6　1 面 133 号遺構完掘状況（A 区 北から）



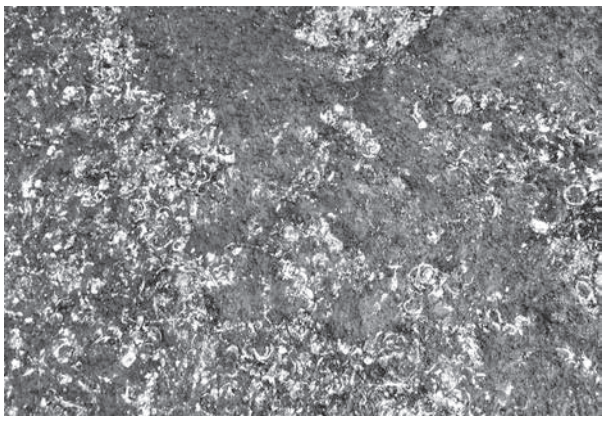
7　1 面 134 号遺構検出状況（A 区 北西から）

8　1 面 134 号遺構完掘状況（A 区 西から）

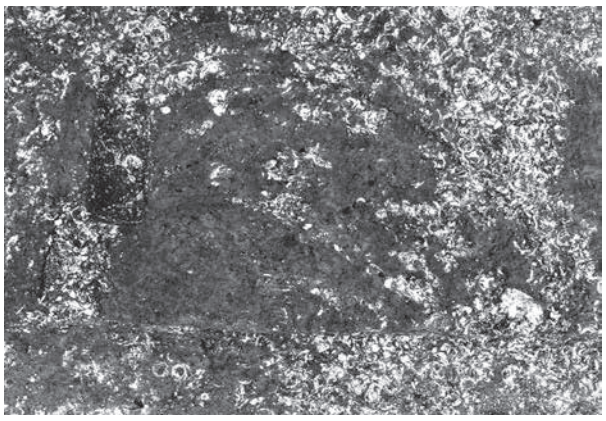
図版 29



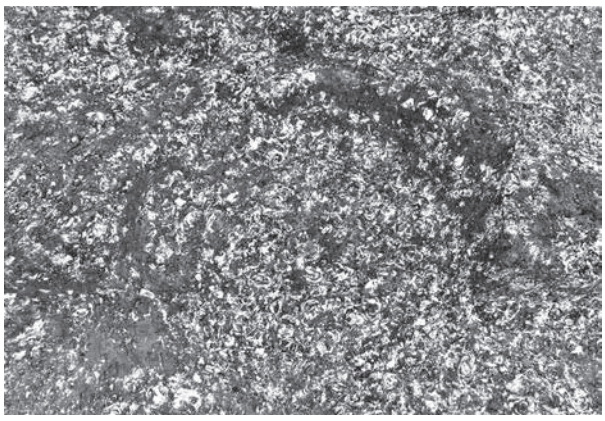
1　1 面 136 号遺構検出状況（A 区 北から）



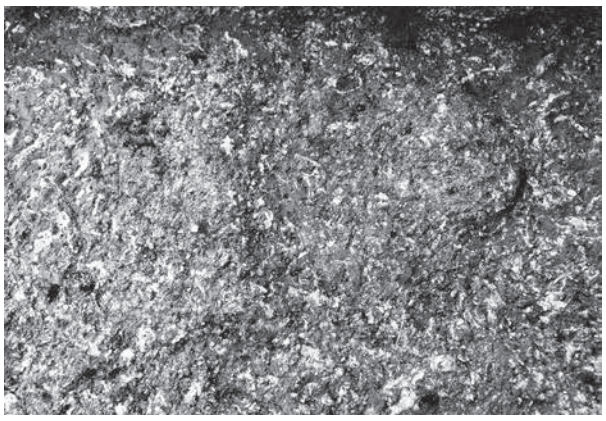
2　1 面 136 号遺構完掘状況（A 区 北から）



3　1 面 137 号遺構検出状況（A 区 北から）



4　1 面 137 号遺構完掘状況（A 区 北から）



5　1 面 138 号遺構検出状況（A 区 西から）

6　1 面 138・139 号遺構土層堆積状況（A 区 南西から）

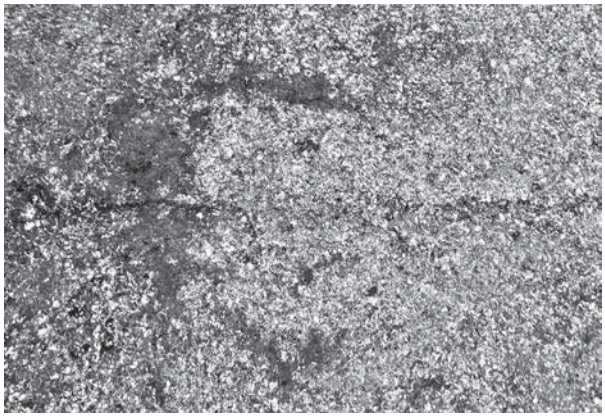
7　1 面 138 号遺構完掘状況（A 区 南西から）

8　1 面 139 号遺構完掘状況（A 区 南西から）

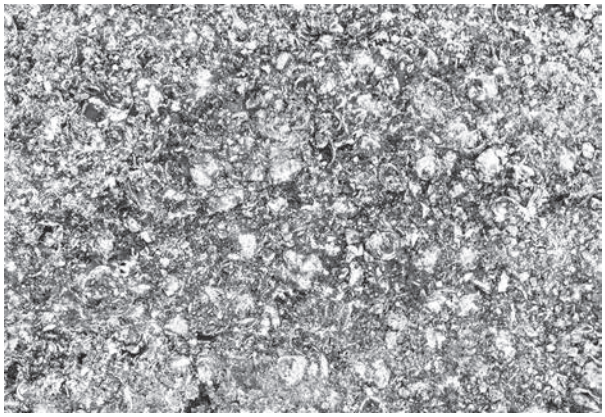
図版 30

1　1 面 140 ～ 142 号遺構検出状況（A 区 北東から）

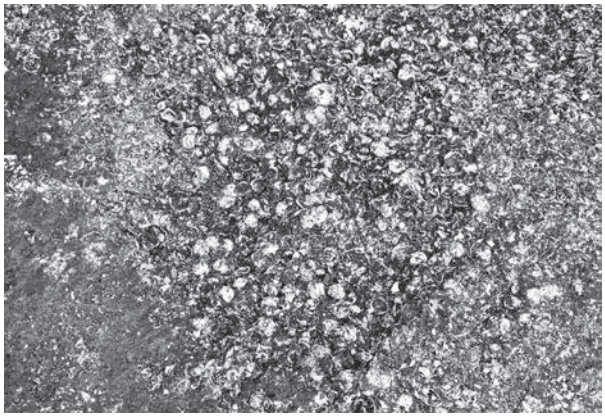
2　1 面 140 ～ 142 号遺構土層堆積状況（A 区 北東から）



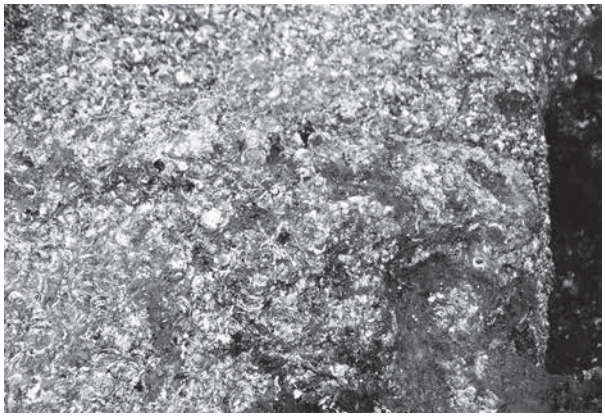
3　1 面 140 号遺構完掘状況（A 区 北東から）



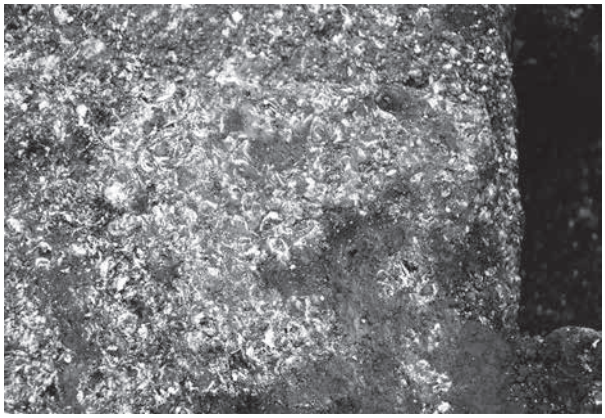
4　1 面 141 号遺構完掘状況（A 区 北東から）



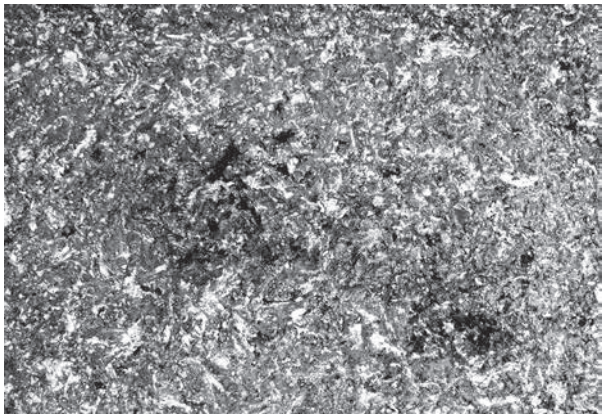
5　1 面 142 号遺構完掘状況（A 区 北東から）



6　1 面 143 号遺構検出状況（A 区 北から）

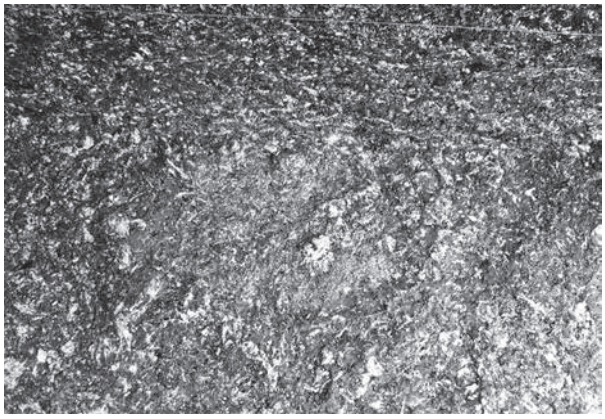


7　1 面 143 号遺構完掘状況（A 区 北から）

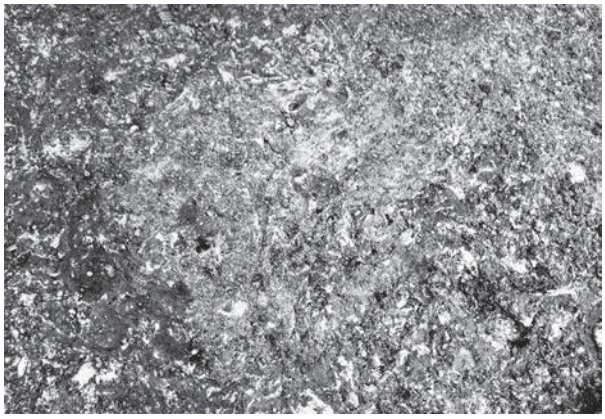


8　1 面 144 号遺構検出状況（A 区 東から）

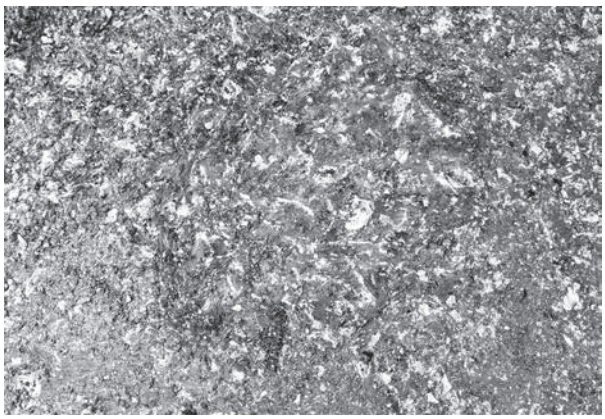
図版 31



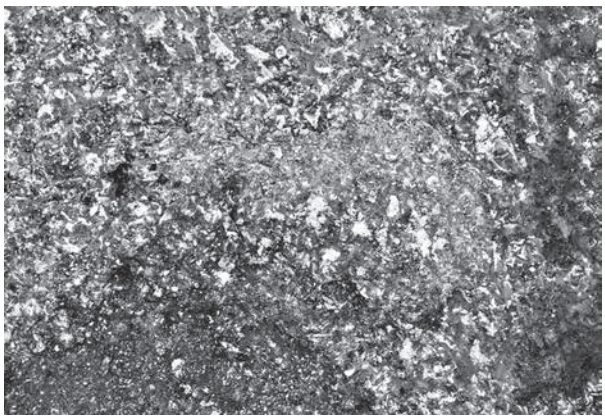
1　1 面 144 号遺構完掘状況（A 区 東から）



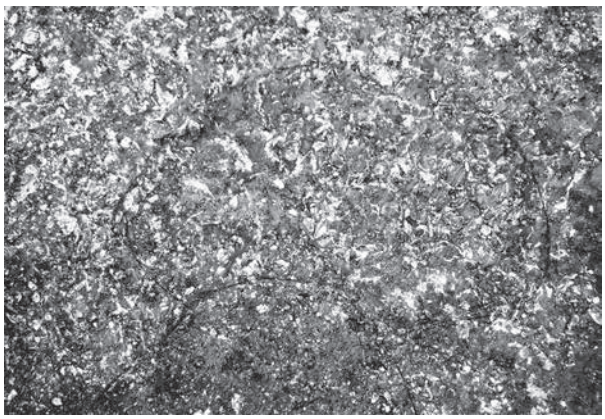
2　1 面 145 号遺構検出状況（A 区 東から）



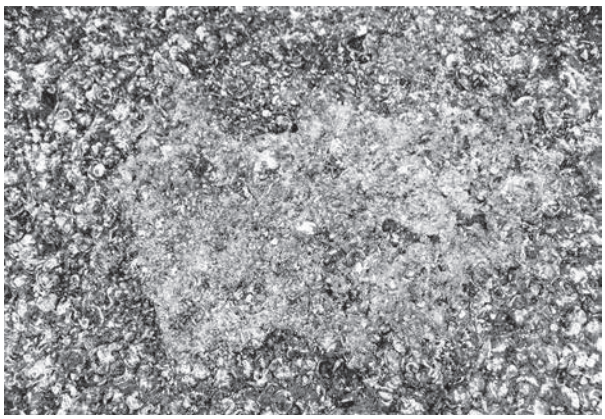
3　1 面 145 号遺構完掘状況（A 区 東から）



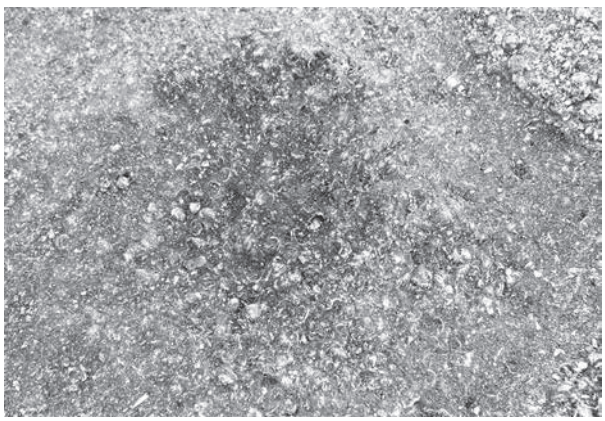
4　1 面 146 号遺構検出状況（A 区 北西から）



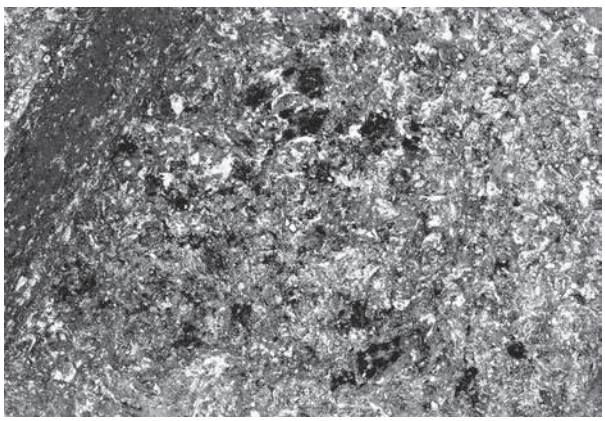
5　1 面 146 号遺構完掘状況（A 区 北西から）



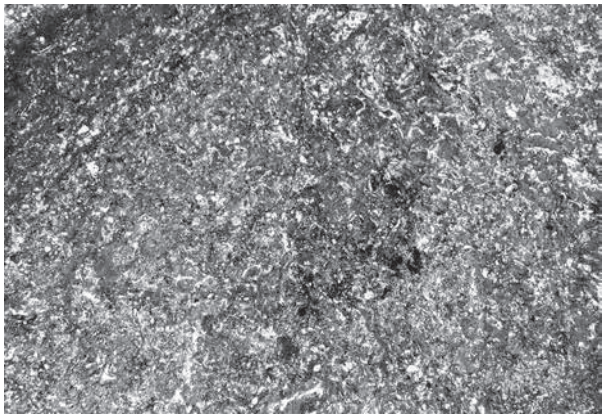
6　1 面 147 号遺構検出状況（A 区 南西から）



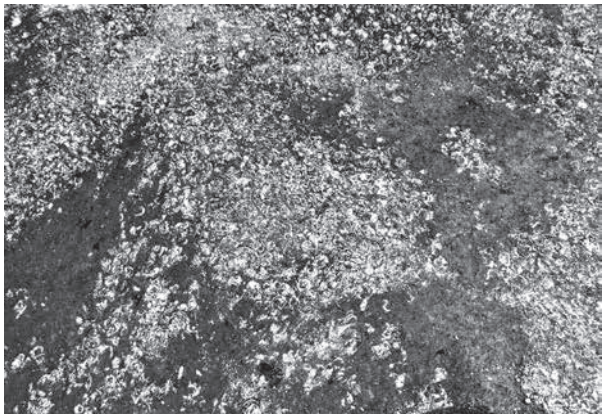
7　1 面 147 号遺構完掘状況（A 区 南東から）



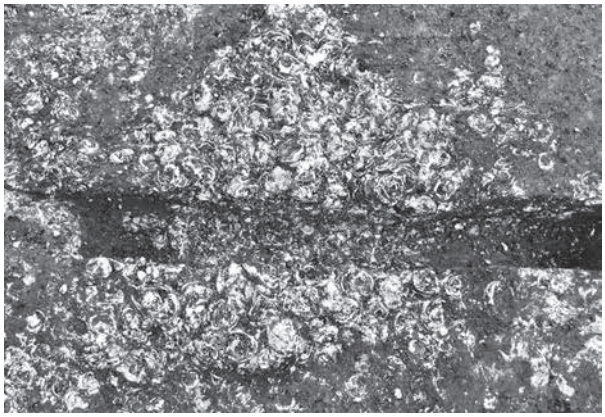
8　1 面 148 号遺構検出状況（A 区 北西から）



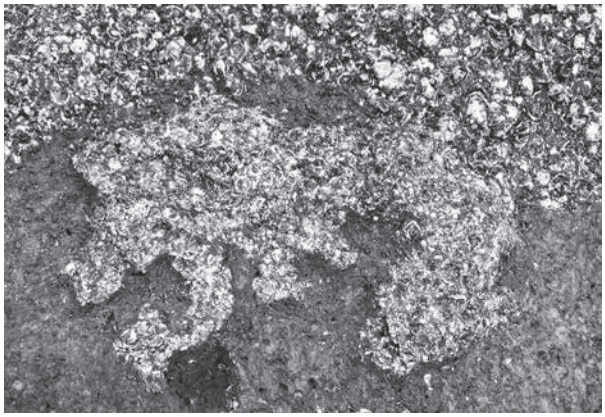
1　1 面 148 号遺構完掘状況（A 区 北西から）



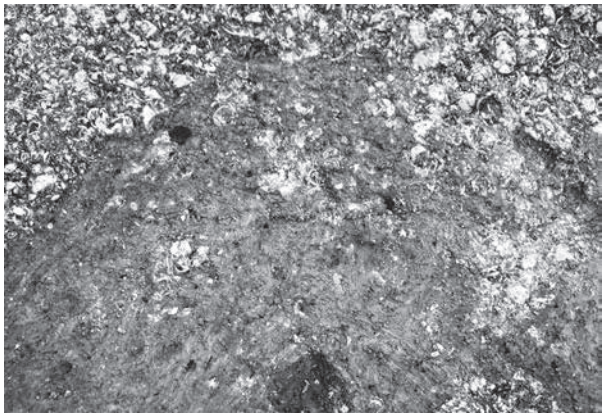
2　1 面 149 号遺構検出状況（A 区 北東から）



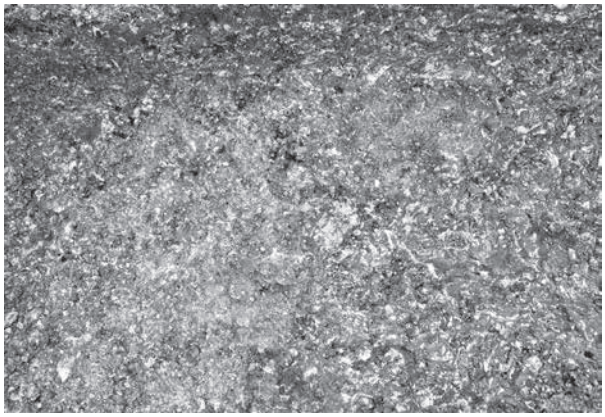
3　1 面 149 号遺構完掘状況（A 区 北東から）



4　1 面 150 号遺構検出状況（A 区 北東から）



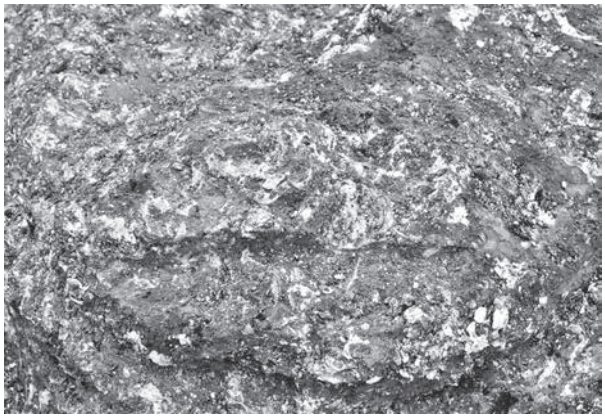
5　1 面 150 号遺構完掘状況（A 区 北東から）



6　1 面 152 号遺構検出状況（A 区 西から）

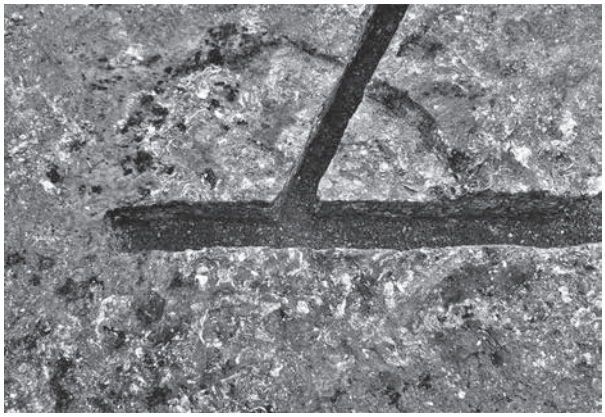
7　1 面 152 号遺構完掘状況（A 区 西から）

8　1 面 155 号遺構土層堆積状況（A 区 北西から）

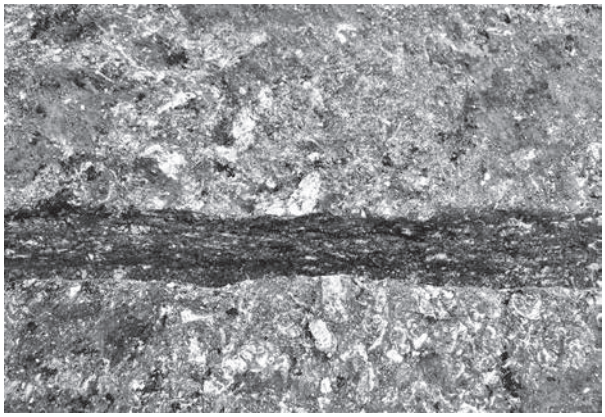


1　1 面 155 号遺構完掘状況（A 区 北西から）

2　1 面 156・157 号遺構検出状況（A 区 南東から）

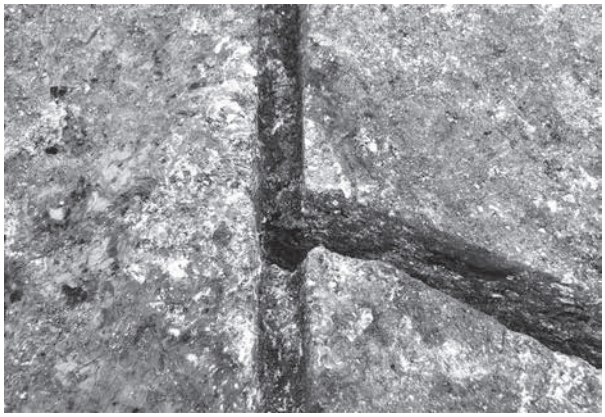


3　1 面 156 号遺構完掘状況（A 区 南から）

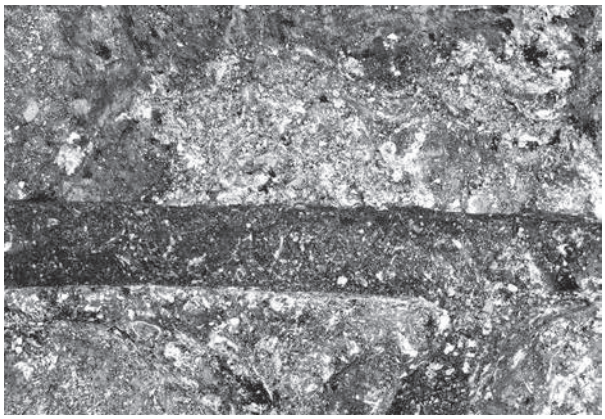


4　1 面 157 号遺構完掘状況（A 区 南東から）

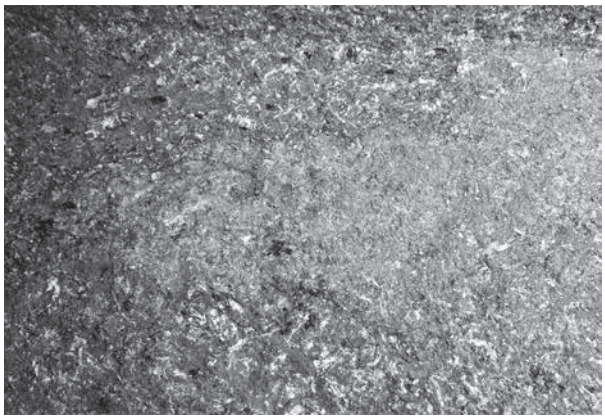
5　1 面 158・159 号遺構検出・土層堆積状況（A 区 南東から）



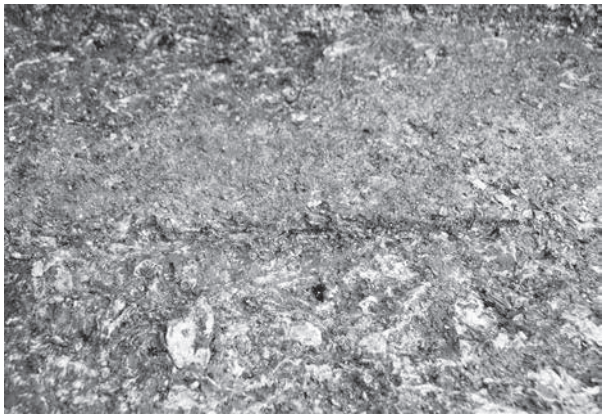
6　1 面 158 号遺構完掘状況（A 区 南西から）



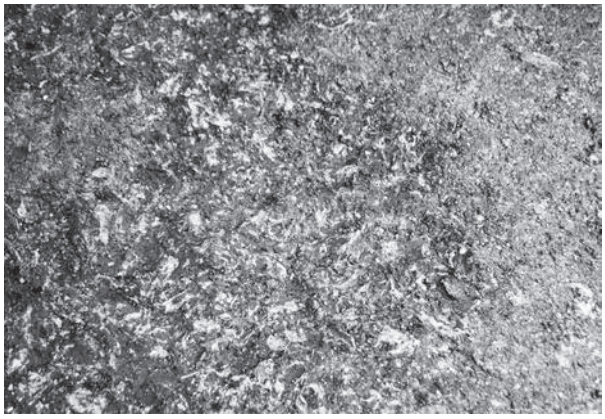
7　1 面 159 号遺構完掘状況（A 区 南東から）



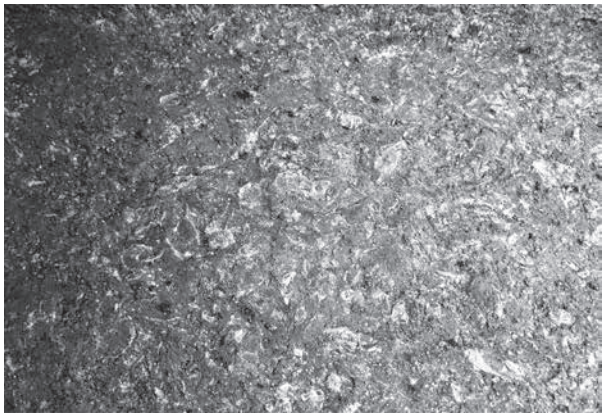
8　1 面 160a・b 号遺構検出状況（A 区 東から）



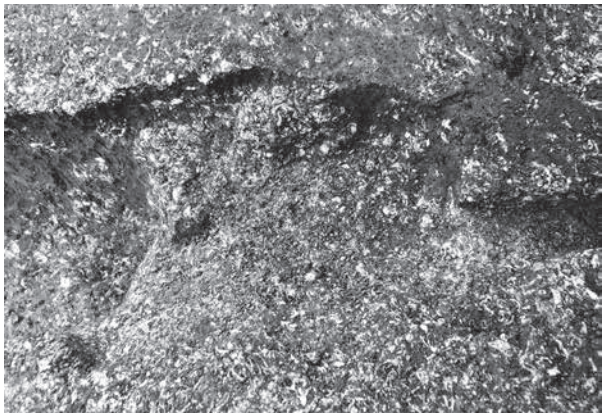
1　1 面 160a 号遺構土層堆積状況（A 区 東から）



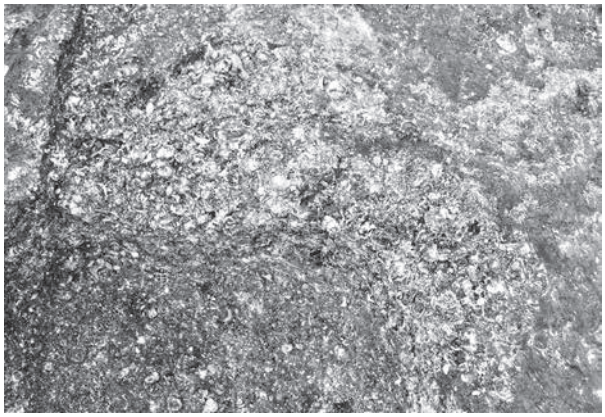
2　1 面 160a 号遺構完掘状況（A 区 東から）



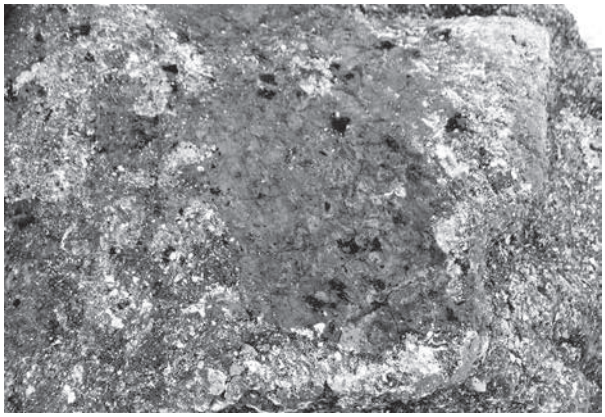
3　1 面 160b 号遺構完掘状況（A 区 西から）



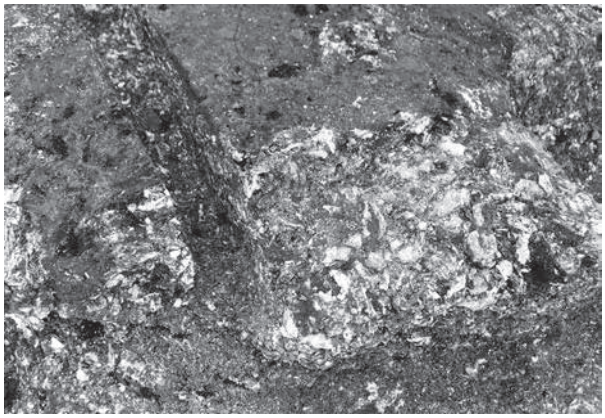
4　1 面 161 号遺構検出状況（A 区 西から）



5　1 面 161 号遺構完掘状況（A 区 西から）

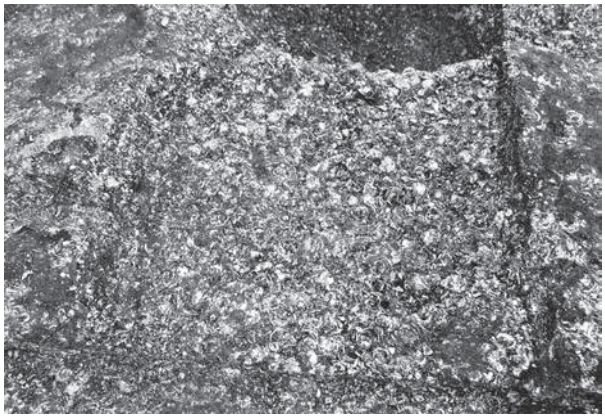


6　1 面 162 号遺構検出状況（A 区 東から）



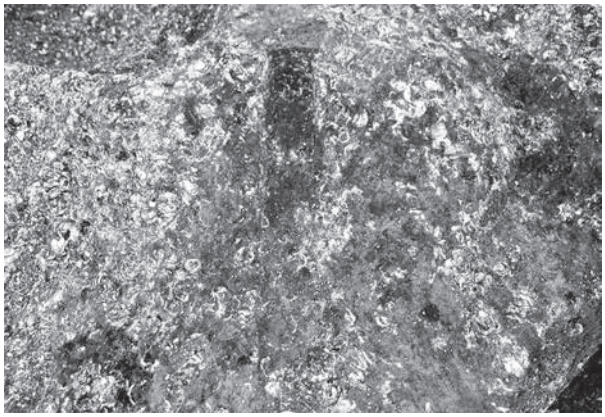
7　1 面 162 号遺構完掘状況（A 区 北から）

8　1 面 163 号遺構土層堆積状況（A 区 東から）

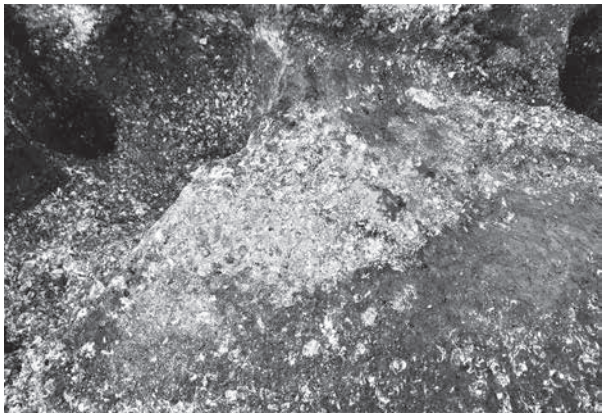


1　1 面 163 号遺構完掘状況（A 区 東から）

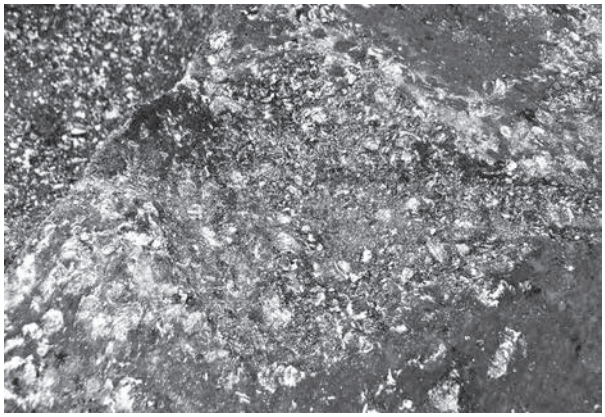
2　1 面 164 号遺構土層堆積状況（A 区 東から）



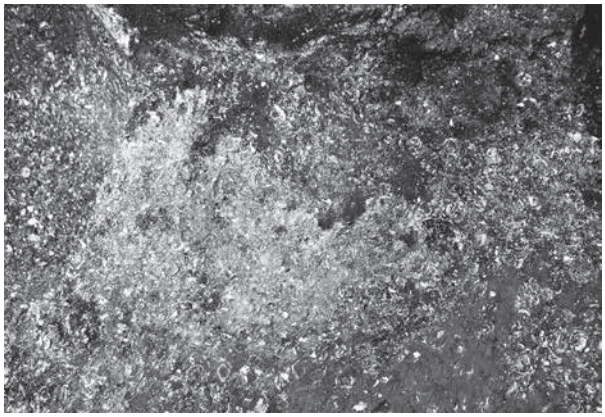
3　1 面 164 号遺構完掘状況（A 区 北から）



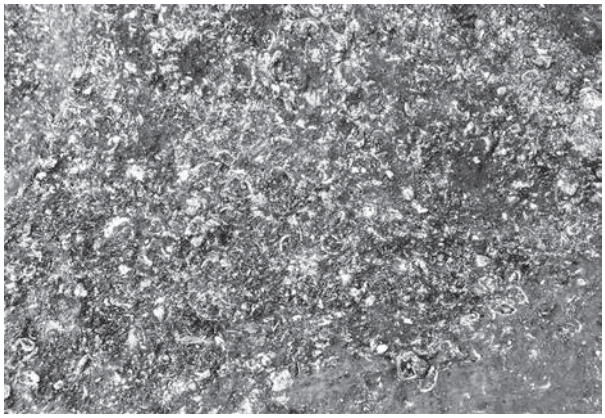
4　1 面 165 号遺構検出状況（A 区 南から）



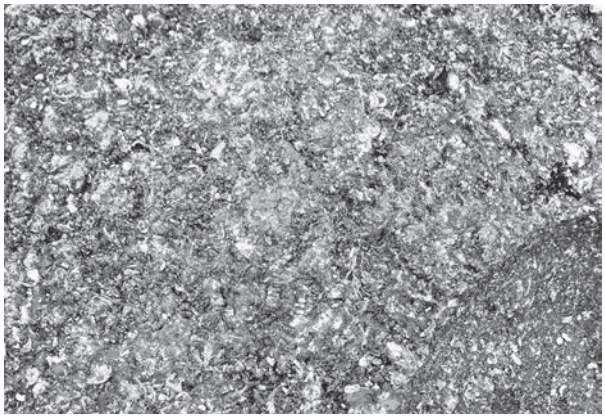
5　1 面 165 号遺構完掘状況（A 区 南から）



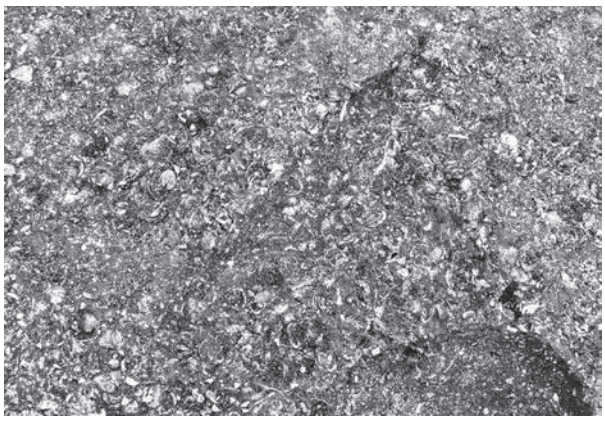
6　1 面 166 号遺構検出状況（A 区 南から）



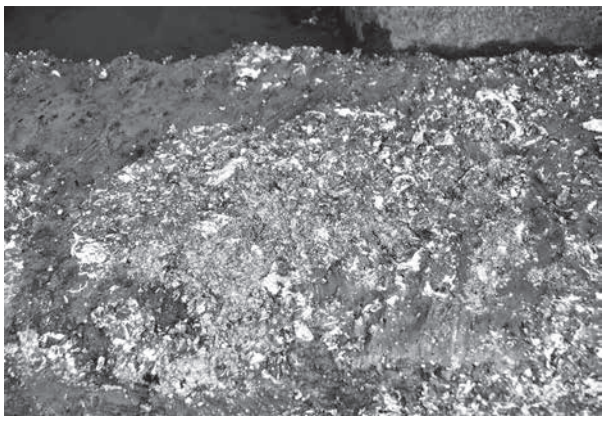
7　1 面 166 号遺構完掘状況（A 区 南から）



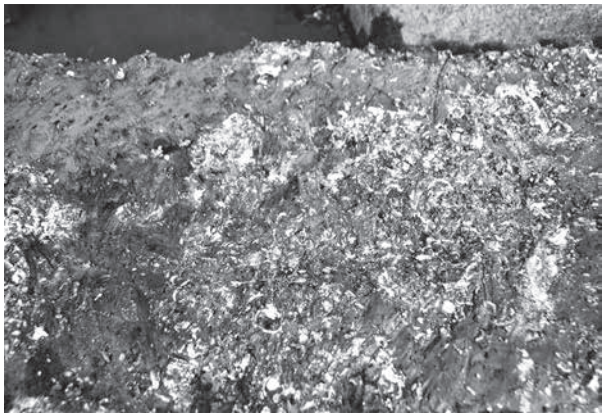
8　1 面 167 号遺構検出状況（A 区 南から）



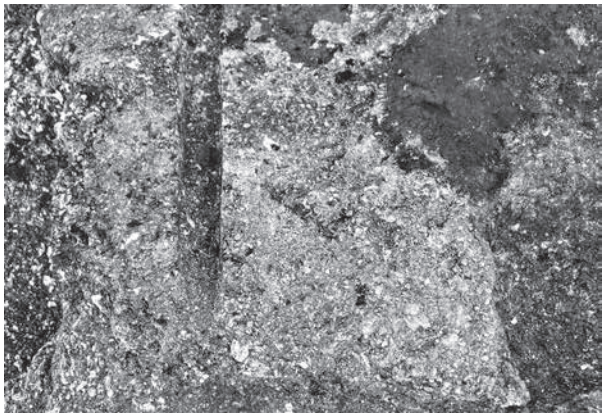
1　1 面 167 号遺構完掘状況（A 区 北東から）



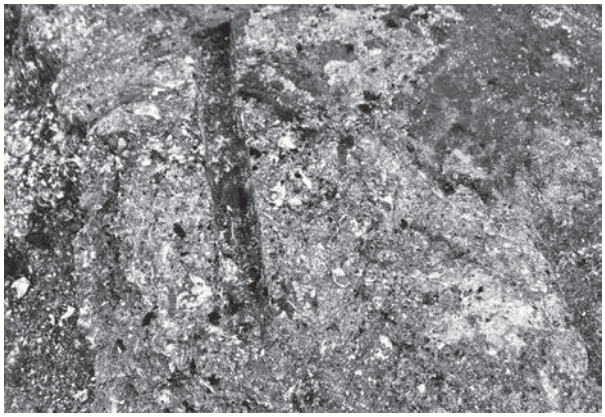
2　1 面 168 号遺構検出状況（A 区 北から）



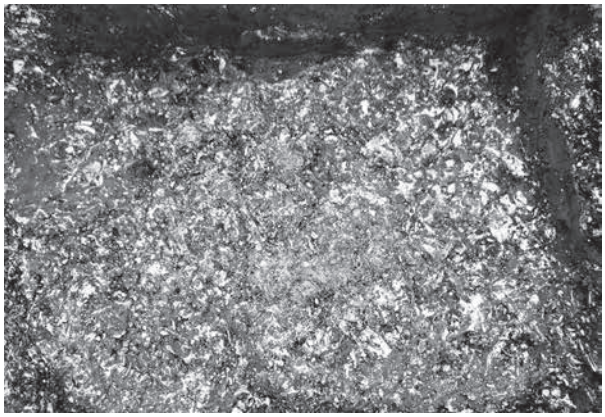
3　1 面 168 号遺構完掘状況（A 区 北から）



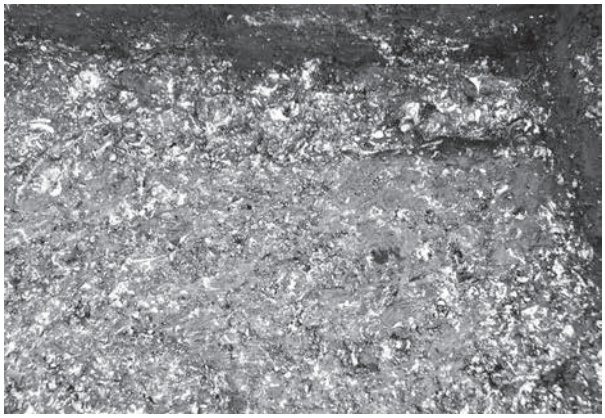
4　1 面 169 号遺構検出状況（A 区 北から）



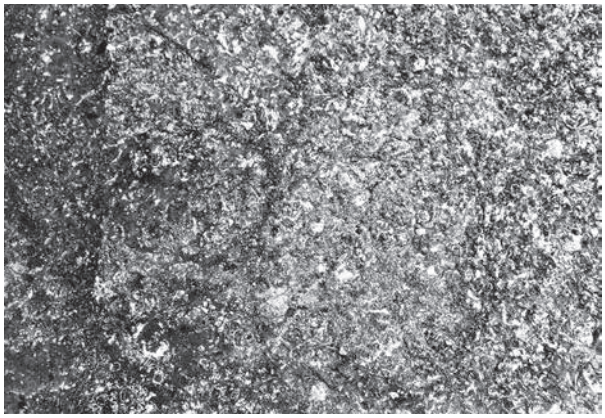
5　1 面 169 号遺構完掘状況（A 区 北から）



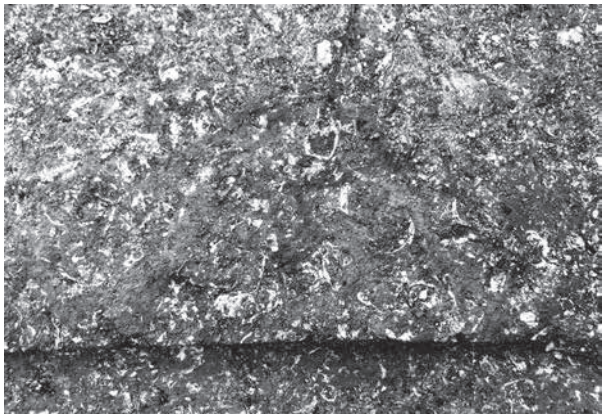
6　1 面 170 号遺構検出状況（A 区 東から）



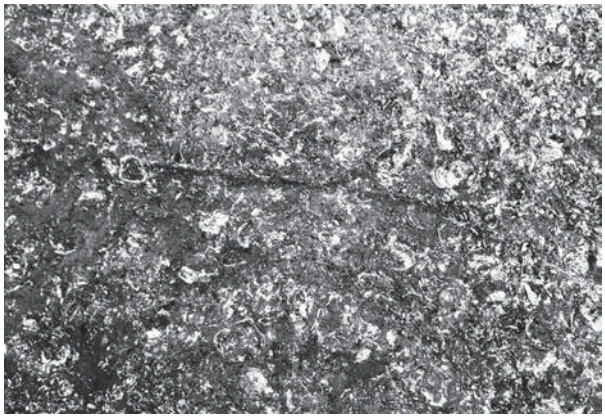
7　1 面 170 号遺構完掘状況（A 区 東から）



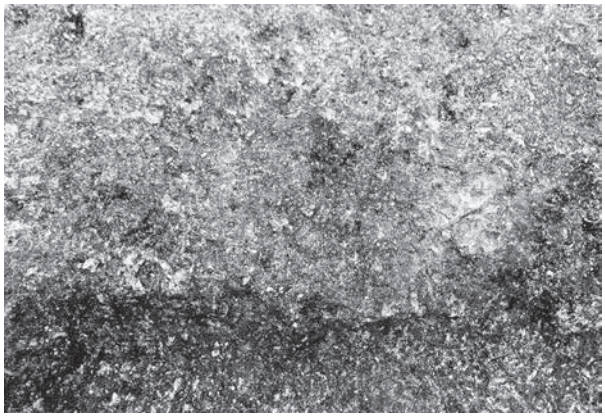
8　1 面 171・172 号遺構検出状況（A 区 東から）



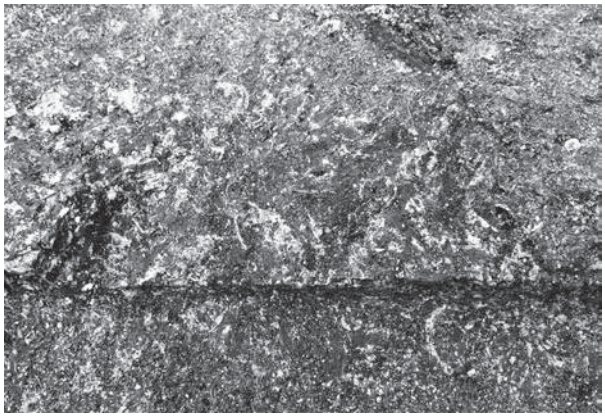
1　1 面 171 号遺構完掘状況（A 区 南から）



2　1 面 172 号遺構完掘状況（A 区 西から）



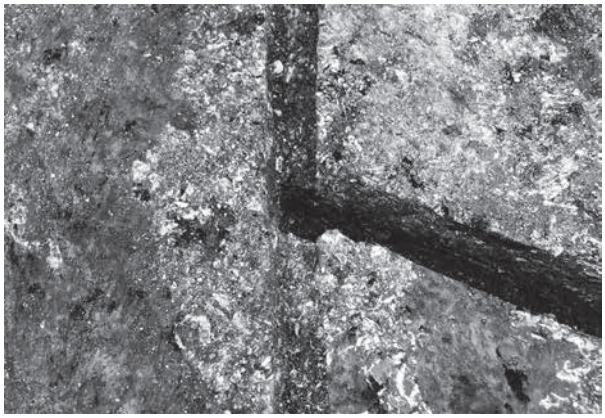
3　1 面 173 号遺構検出状況（A 区 南から）



4　1 面 173 号遺構完掘状況（A 区 南から）

5　1 面 174 号遺構検出状況（A 区 北から）

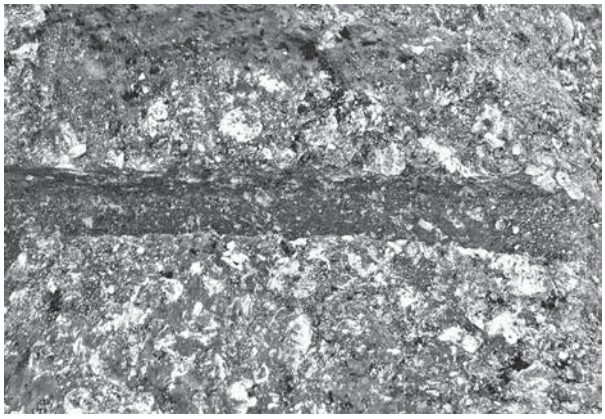
6　1 面 174 号遺構完掘状況（A 区 北から）



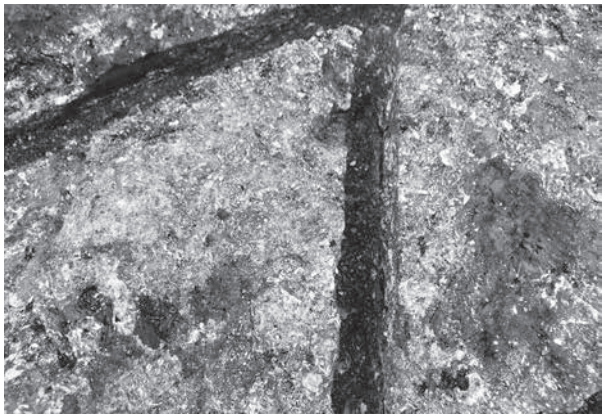
7　1 面 175 号遺構検出状況（A 区 南西から）

8　1 面 175 号遺構完掘状況（A 区 南西から）

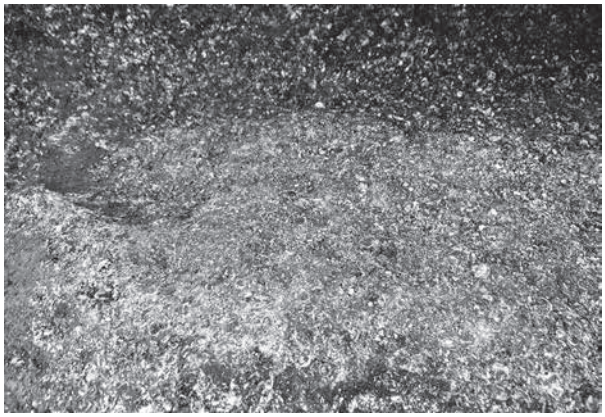
図版 38



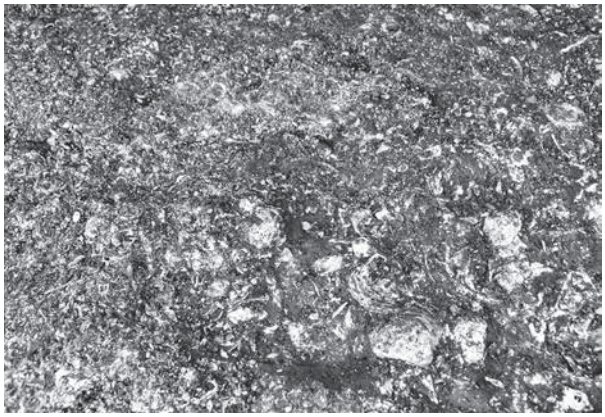
1　1 面 176 号遺構完掘状況（A 区 南から）



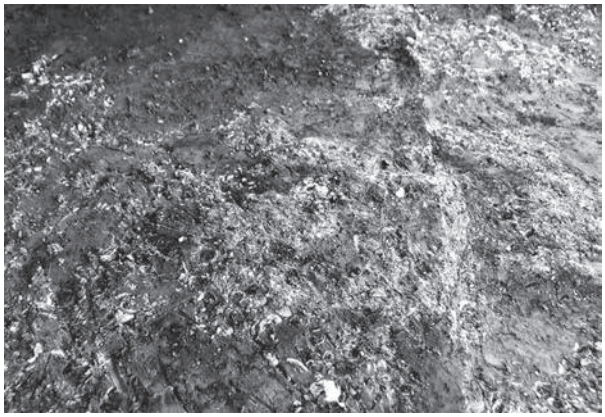
2　1 面 177 号遺構検出状況（A 区 南から）



3　1 面 178 号遺構検出状況（A 区 西から）



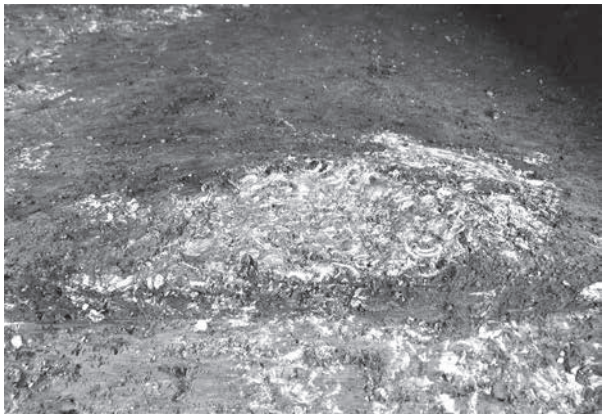
4　1 面 178 号遺構完掘状況（A 区 西から）



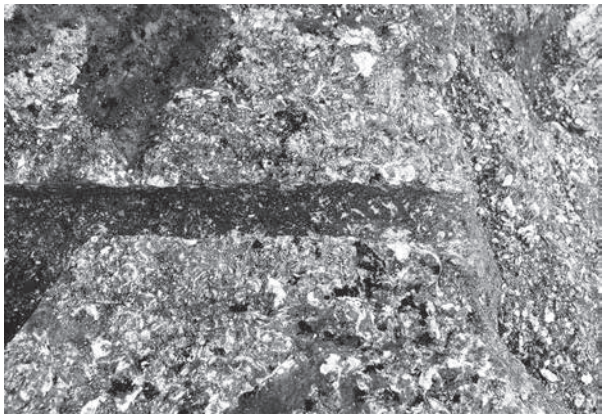
5　1 面 179 号遺構検出状況（A 区 東から）

6　1 面 179 号遺構完掘状況（A 区 北から）

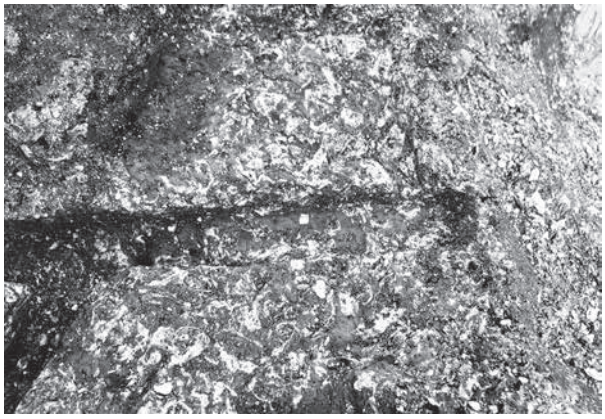
7　1 面 180 号遺構土層堆積状況（A 区 北から）



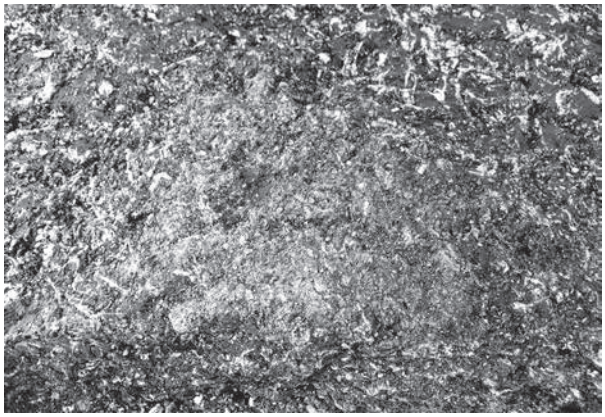
8　1 面 180 号遺構完掘状況（A 区 北から）



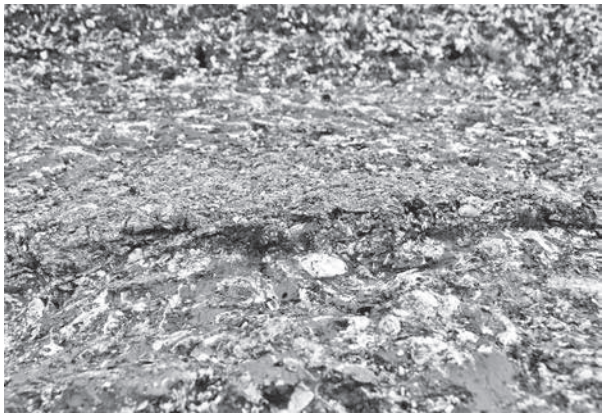
1　1 面 181 号遺構検出状況（A 区 南東から）



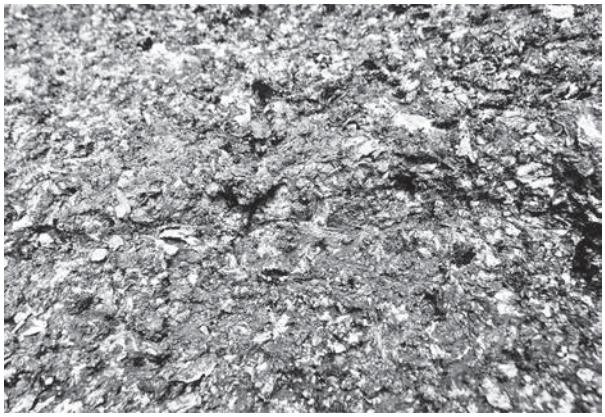
2　1 面 181 号遺構完掘状況（A 区 南東から）



3　1 面 182 号遺構検出状況（A 区 西から）

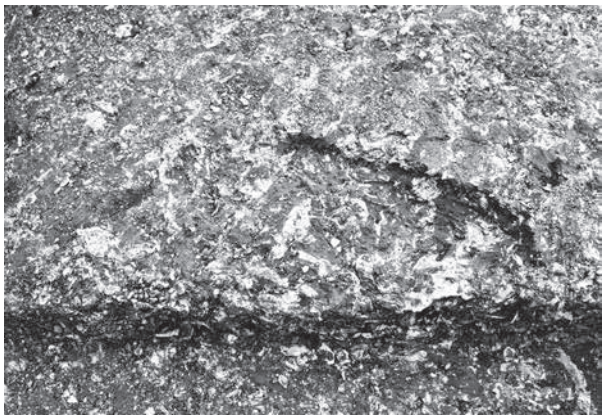


4　1 面 182 号遺構土層堆積状況（A 区 西から）

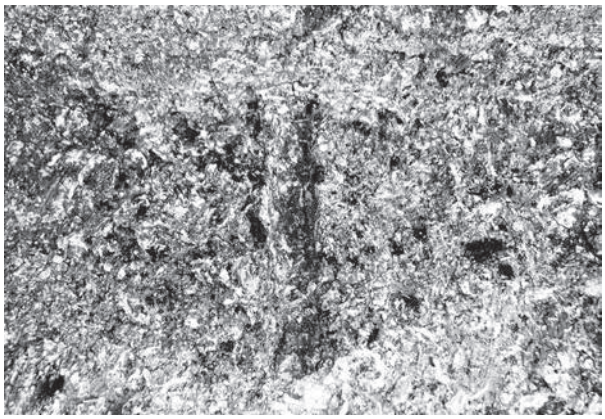


5　1 面 183 号遺構検出・土層堆積状況（A 区 北から）

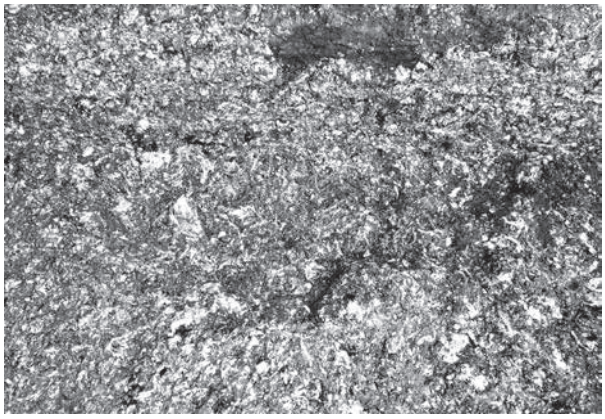
6　1 面 184 号遺構土層堆積状況（A 区 東から）



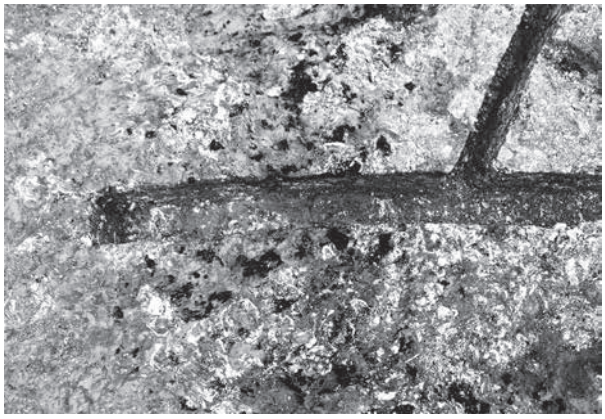
7　1 面 184 号遺構完掘状況（A 区 東から）



8　1 面 185 号遺構検出状況（A 区 北から）



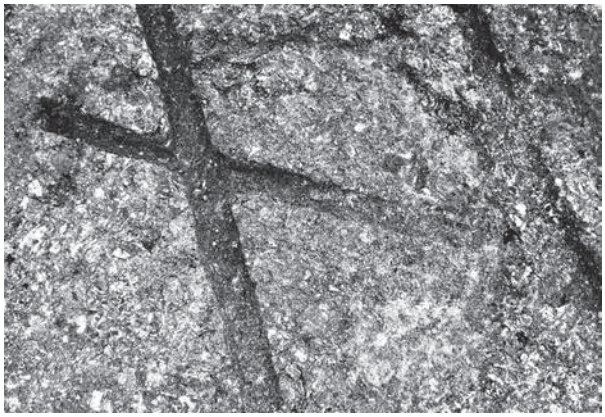
1　1 面 185 号遺構完掘状況（A 区 北から）



2　1 面 187 号遺構検出状況（A 区 南東から）

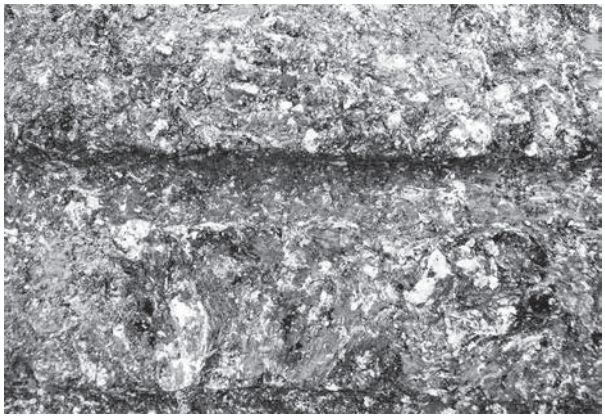
3　1 面 187 号遺構完掘状況（A 区 南東から）

4　1 面 188 号遺構検出状況（A 区 東から）



5　1 面 188 号遺構完掘状況（A 区 東から）

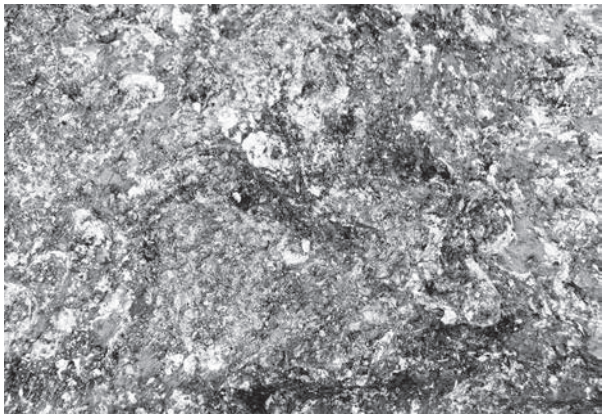
6　1 面 189 ～ 191 号遺構土層堆積状況（A 区 南から）



7　1 面 189 号遺構完掘状況（A 区 南から）

8　1 面 190 号遺構完掘状況（A 区 南から）

図版 41

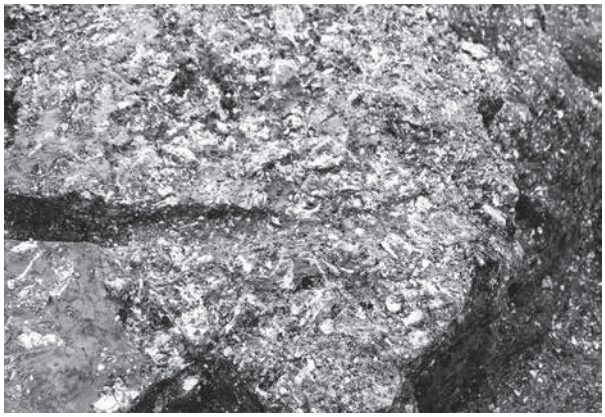


1　1 面 191 号遺構検出状況（A 区 南から）

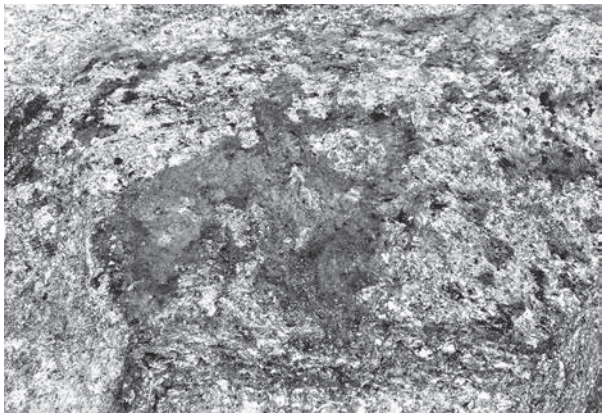
2　1 面 192 号遺構土層堆積状況（A 区 西から）

3　1 面 192 号遺構完掘状況（A 区 西から）

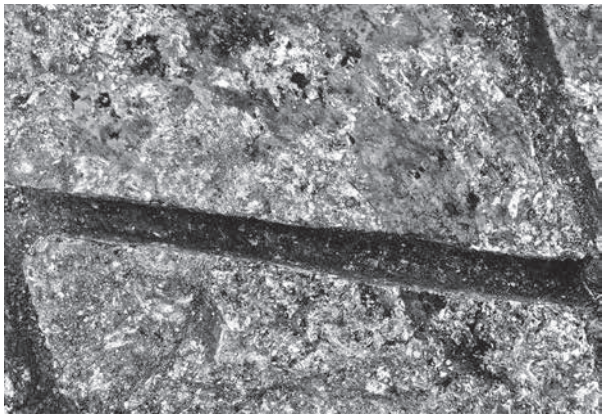
4　1 面 193 号遺構土層堆積状況（A 区 南東から）



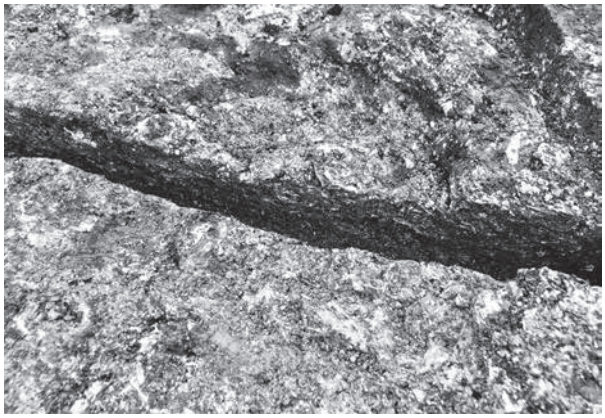
5　1 面 193 号遺構完掘状況（A 区 南東から）



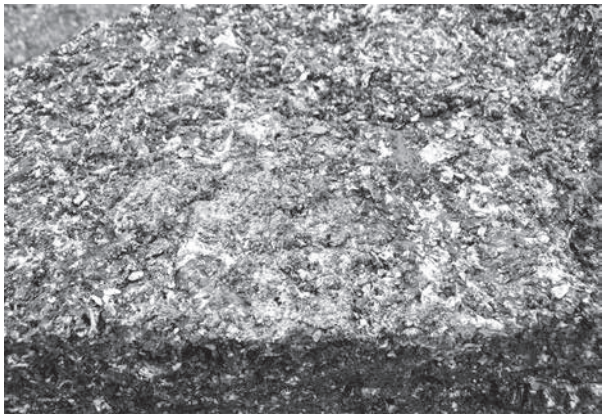
6　1 面 194 号遺構検出状況（A 区 北から）



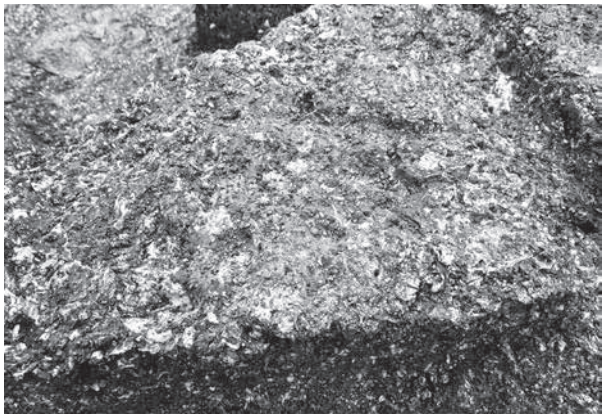
7　1 面 195 号遺構検出状況（A 区 北東から）



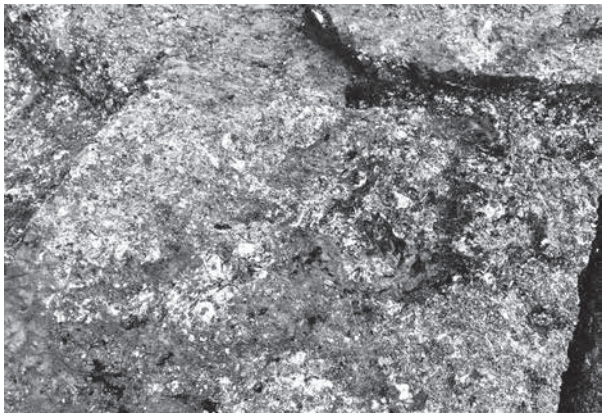
8　1 面 195 号遺構完掘状況（A 区 北東から）



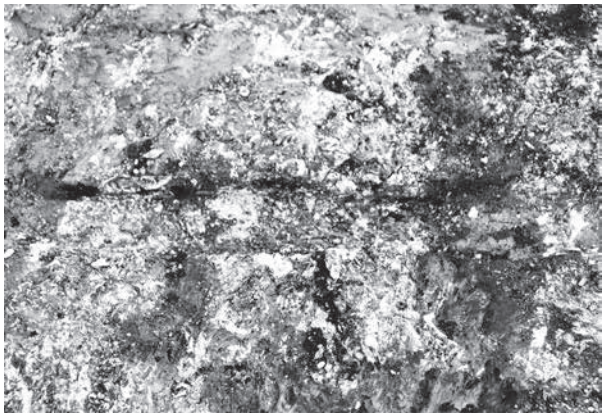
1　1 面 196 号遺構検出状況（A 区 南から）



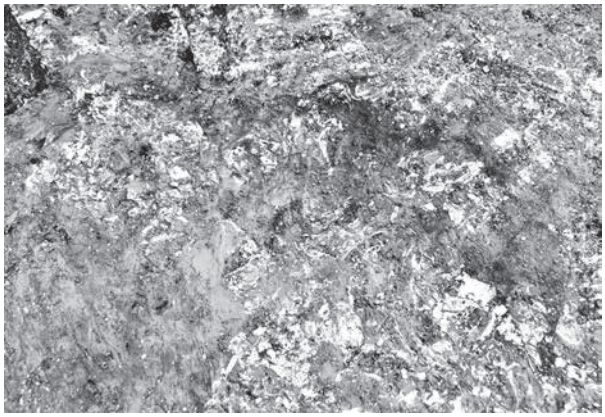
2　1 面 196 号遺構完掘状況（A 区 南から）



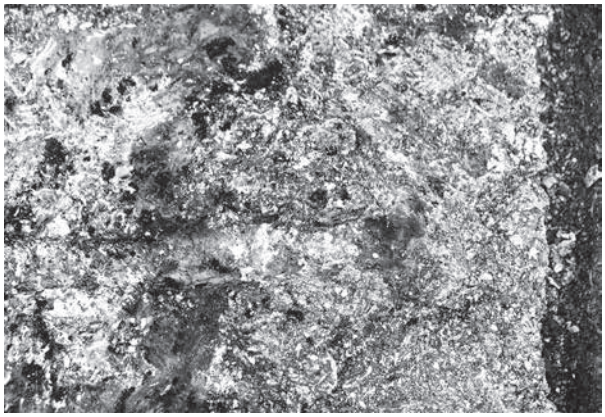
3　1 面 197・198 号遺構検出状況（A 区 南から）



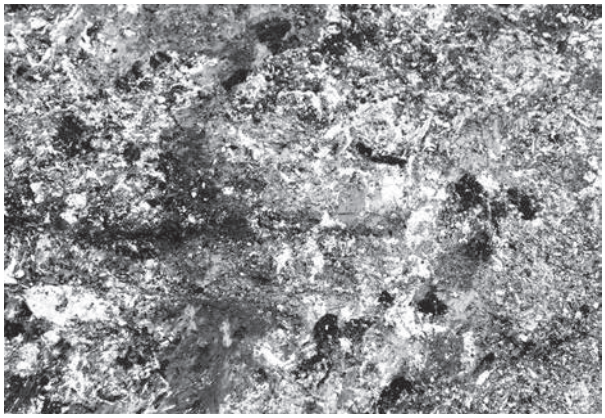
4　1 面 197 号遺構完掘状況（A 区 南から）



5　1 面 198 号遺構完掘状況（A 区 西から）



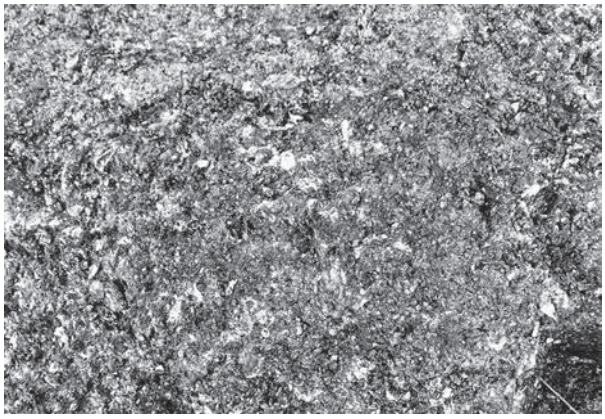
6　1 面 200 号遺構検出状況（A 区 南から）



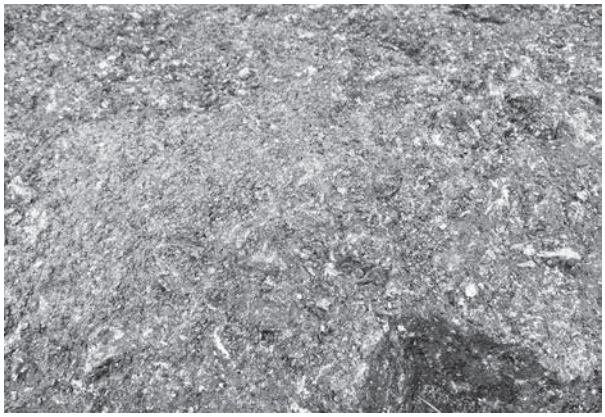
7　1 面 200 号遺構完掘状況（A 区 南から）

8　1 面 201 号遺構土層堆積状況（A 区 東から）

1　1 面 201 号遺構完掘状況（A 区 東から）

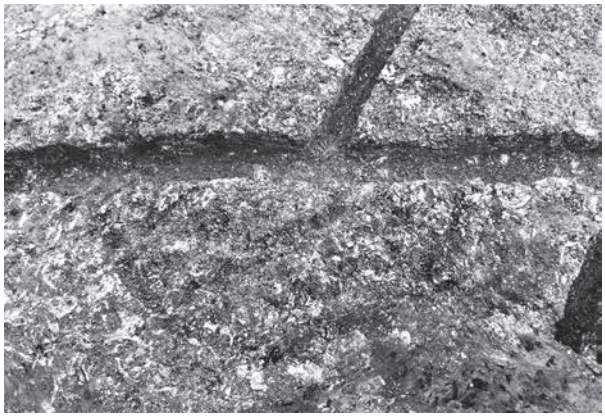


2　1 面 202 号遺構検出状況（A 区 西から）

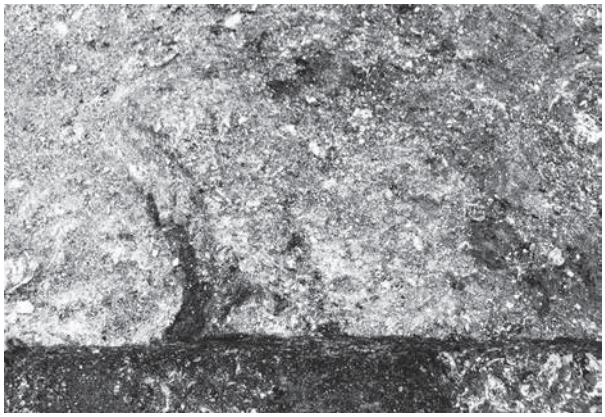


3　1 面 202 号遺構完掘状況（A 区 西から）

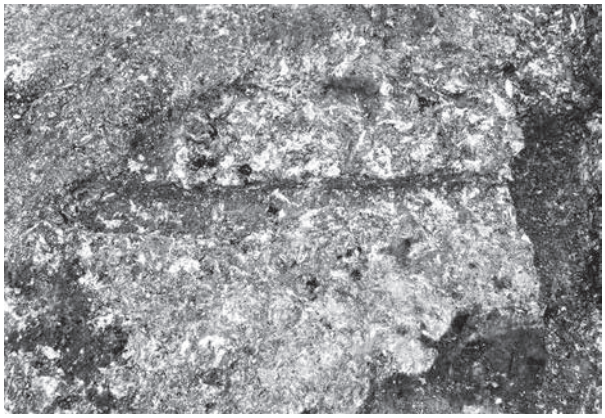
4　1 面 203 号遺構検出状況（A 区 南東から）



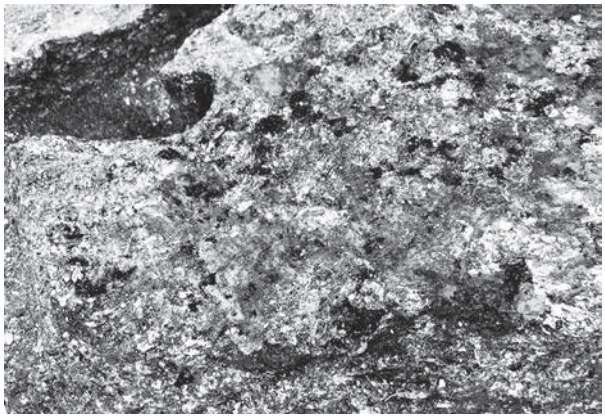
5　1 面 203 号遺構完掘状況（A 区 南東から）



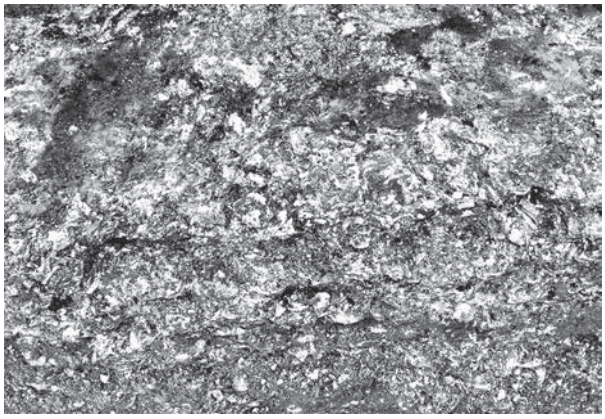
6　1 面 204 号遺構検出状況（A 区 西から）



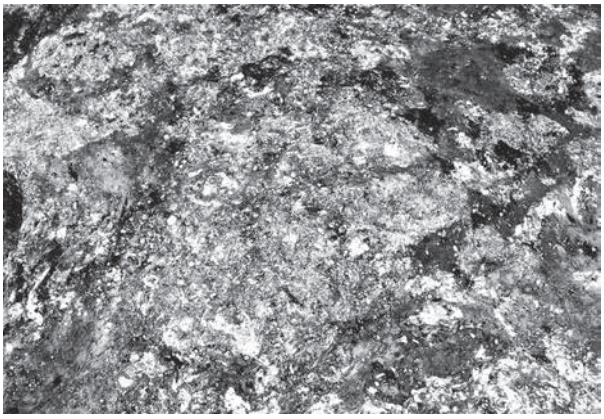
7　1 面 204 号遺構完掘状況（A 区 西から）



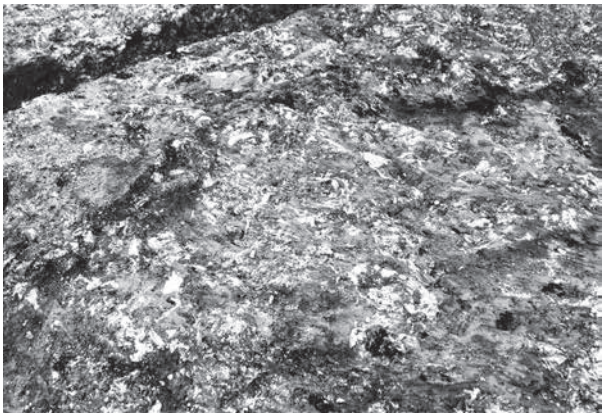
8　1 面 205 号遺構検出状況（A 区 西から）



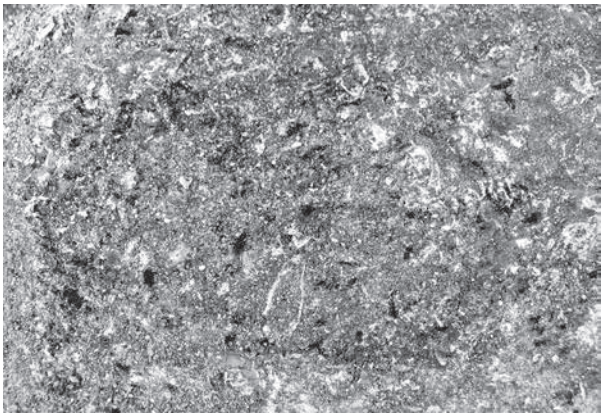
1　1 面 205 号遺構完掘状況（A 区 西から）



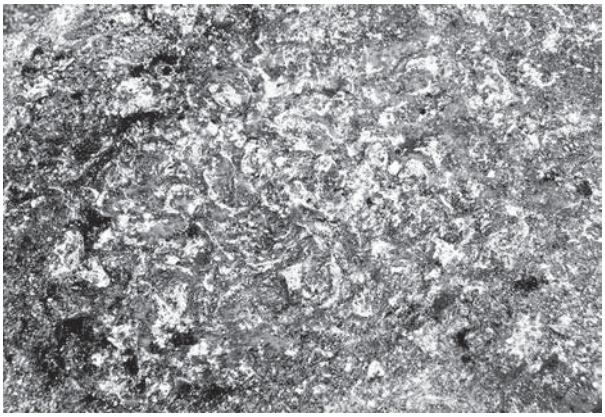
2　1 面 206 号遺構検出状況（A 区 北西から）



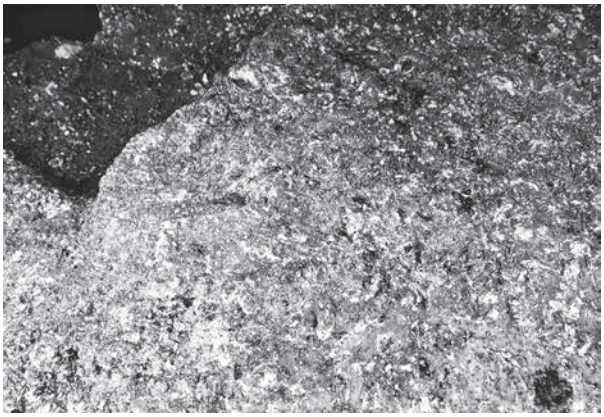
3　1 面 206 号遺構完掘状況（A 区 西から）



4　1 面 207 号遺構検出状況（A 区 西から）



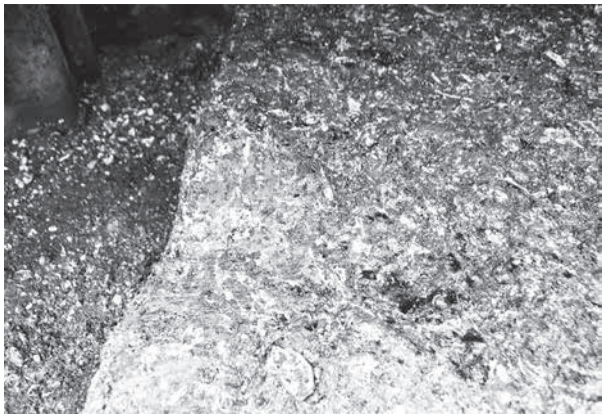
5　1 面 207 号遺構完掘状況（A 区 西から）



6　1 面 208a ～ c 号遺構検出状況（A 区 北から）

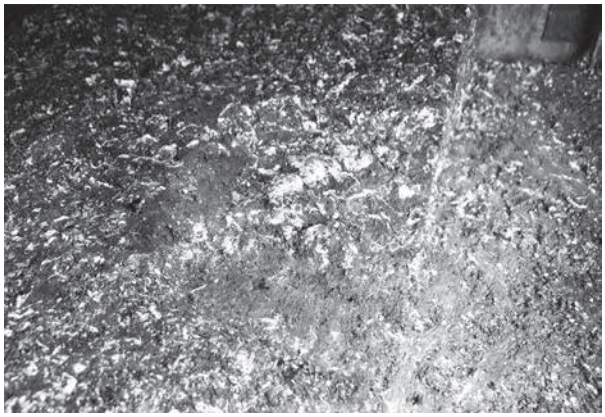
7　1 面 208a・b 号遺構土層堆積状況（A 区 南東から）

8　1 面 208c 号遺構土層堆積状況（A 区 東から）

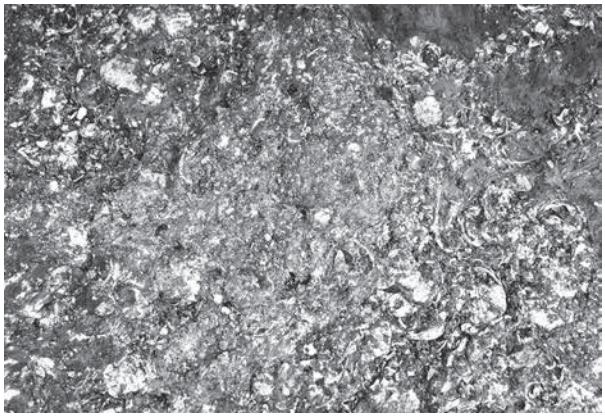


1　1 面 208a ～ c 号遺構完掘状況（A 区 北から）

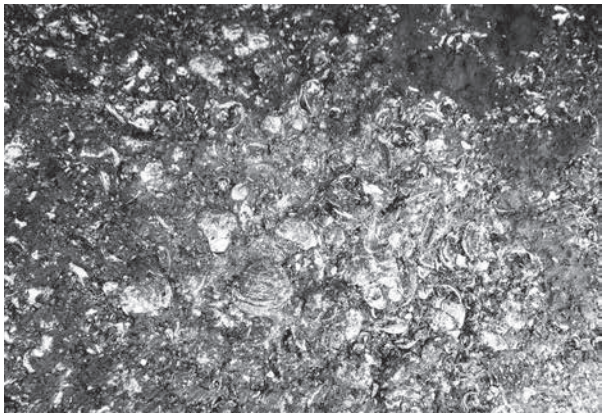
2　1 面 210 号遺構検出状況（A 区 北西から）



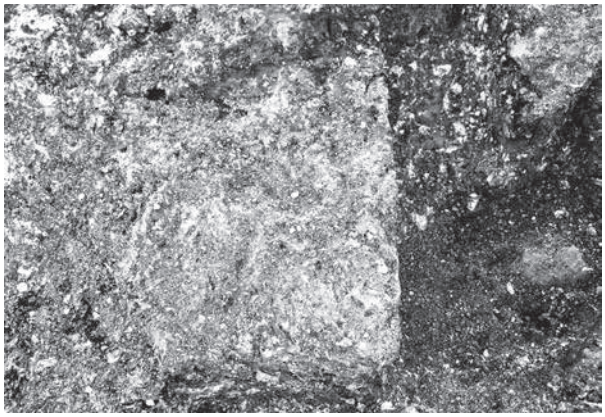
3　1 面 210 号遺構完掘状況（A 区 北西から）



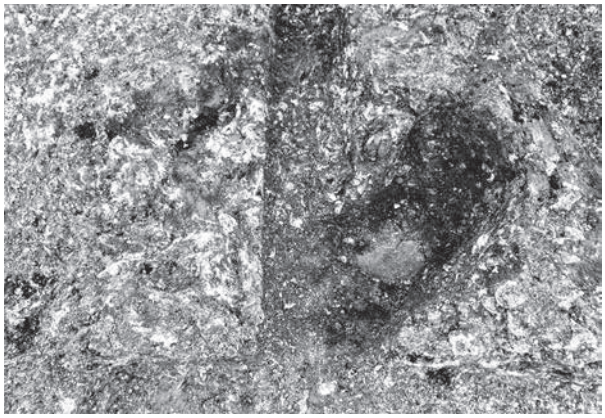
4　1 面 211 号遺構検出状況（A 区 北東から）



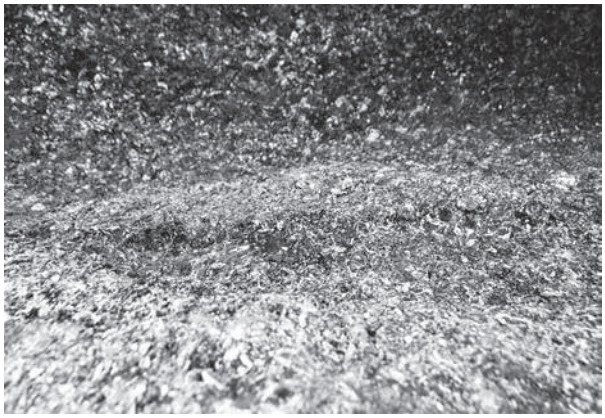
5　1 面 211 号遺構完掘状況（A 区 北東から）



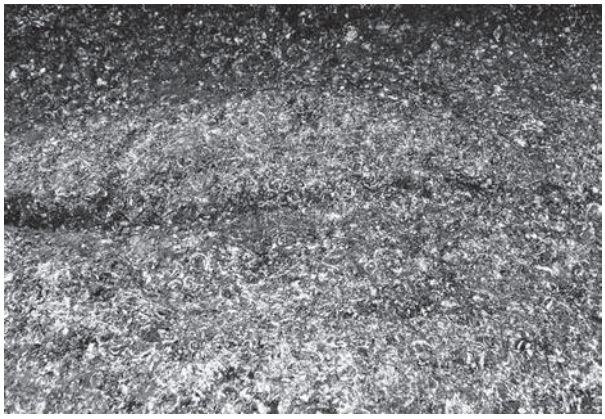
6　1 面 212 号遺構検出状況（A 区 北西から）



7　1 面 212 号遺構完掘状況（A 区 北西から）



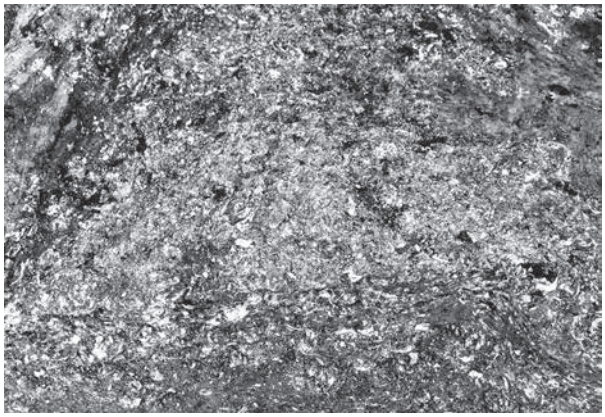
8　1 面 213 号遺構土層堆積状況（A 区 西から）



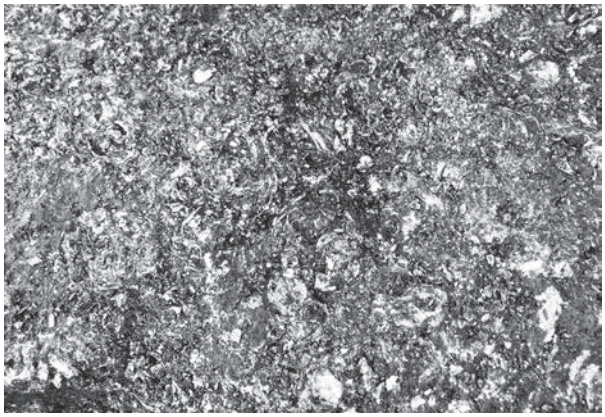
1　1 面 213 号遺構完掘状況（A 区 西から）

2　1 面 214 号遺構土層堆積状況（A 区 東から）

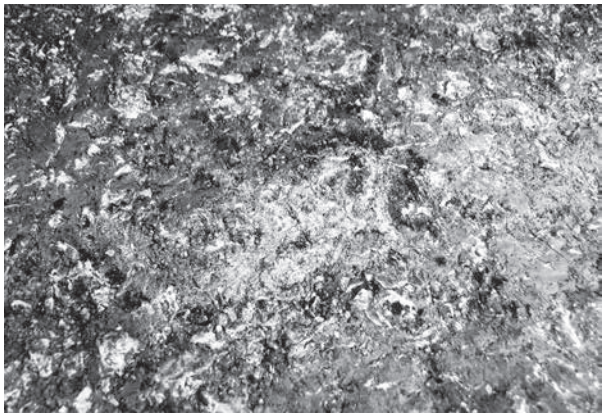
3　1 面 214 号遺構完掘状況（A 区 東から）



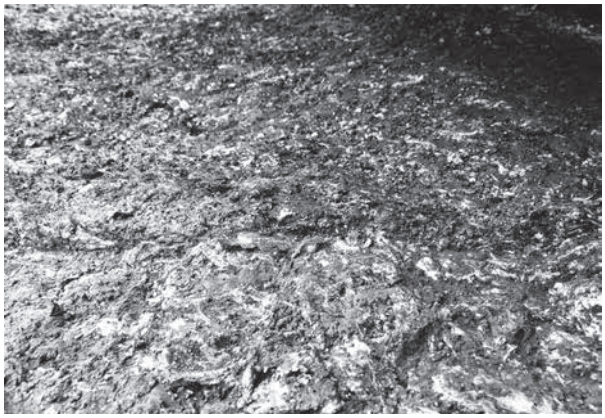
4　1 面 215 号遺構検出状況（A 区 西から）



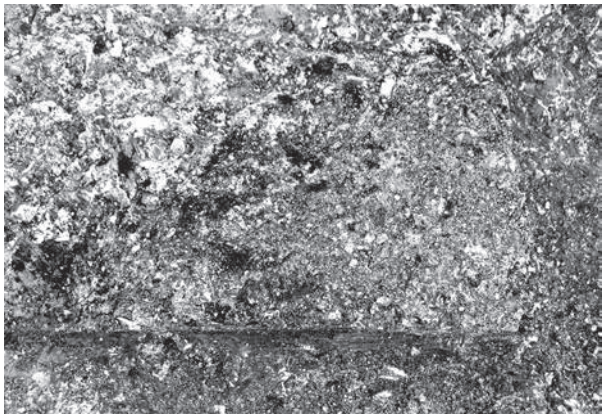
5　1 面 215 号遺構完掘状況（A 区 西から）



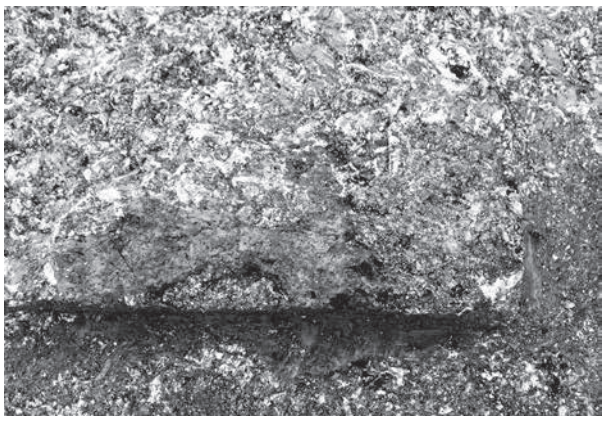
6　1 面 216 号遺構検出状況（A 区 北から）



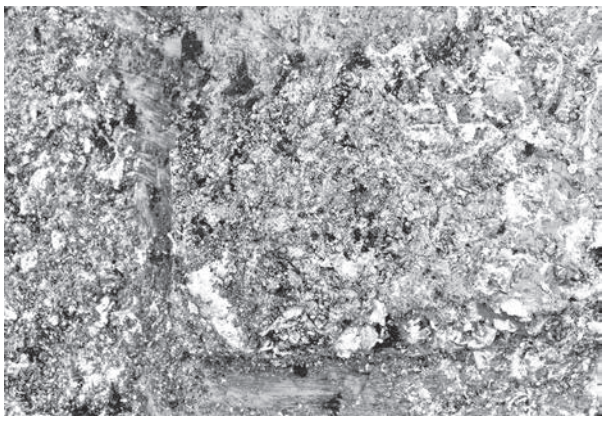
7　1 面 216 号遺構土層堆積状況（A 区 西から）



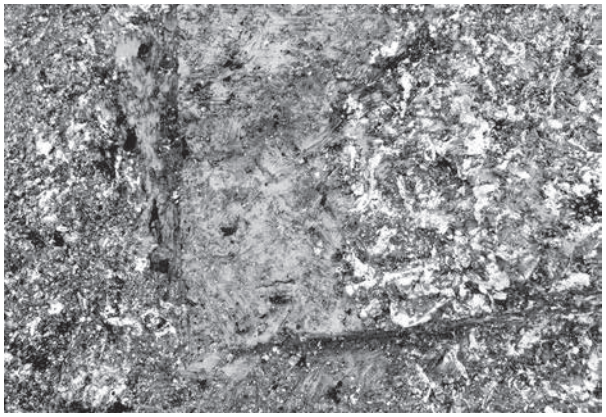
8　1 面 217 号遺構検出状況（A 区 北から）



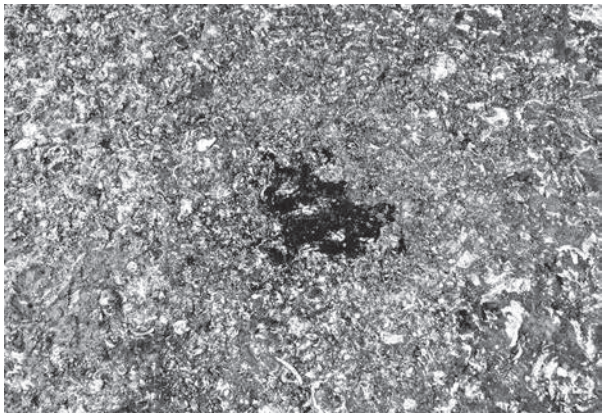
1　1 面 217 号遺構完掘状況（A 区 北から）



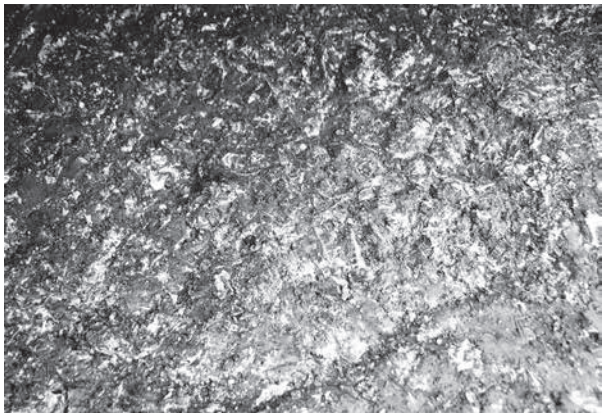
2　1 面 219 号遺構検出状況（A 区 西から）



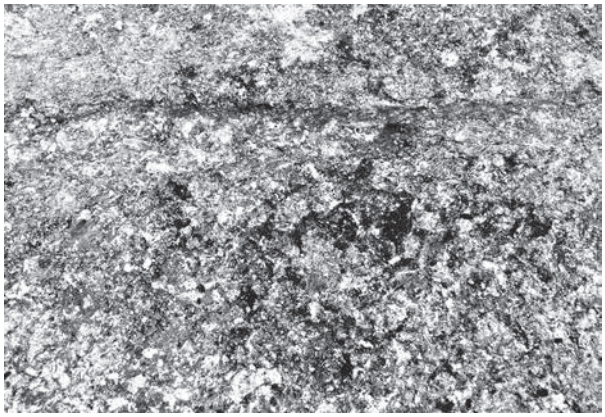
3　1 面 219 号遺構完掘状況（A 区 西から）



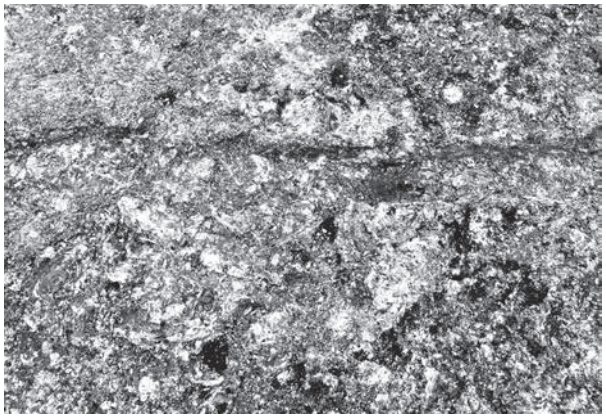
4　1 面 220 号遺構検出状況（A 区 西から）



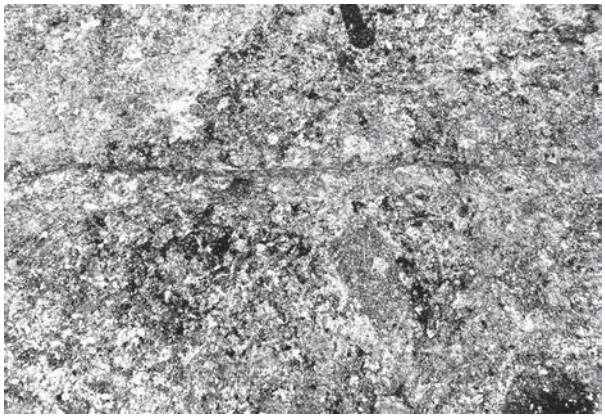
5　1 面 220 号遺構完掘状況（A 区 北から）



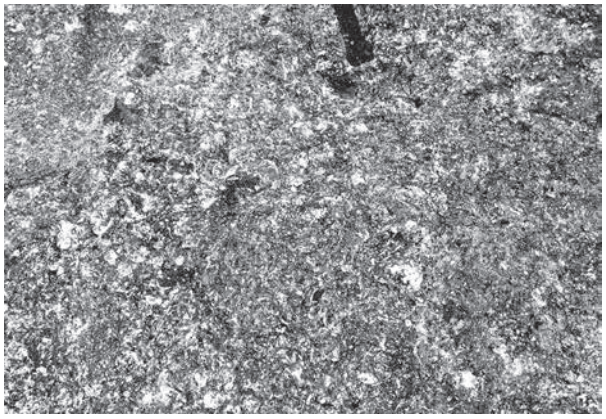
6　1 面 221a 号遺構検出状況（A 区 北から）



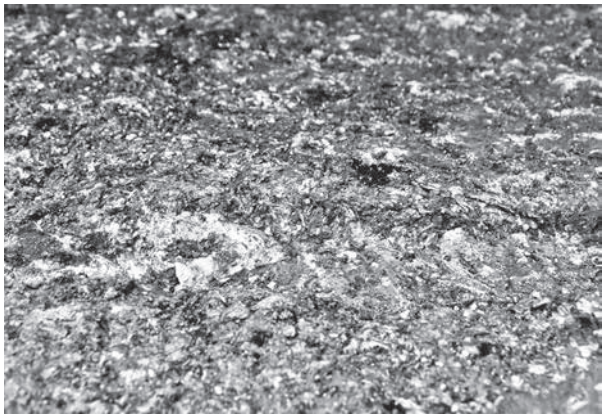
7　1 面 221a 号遺構完掘状況（A 区 北から）



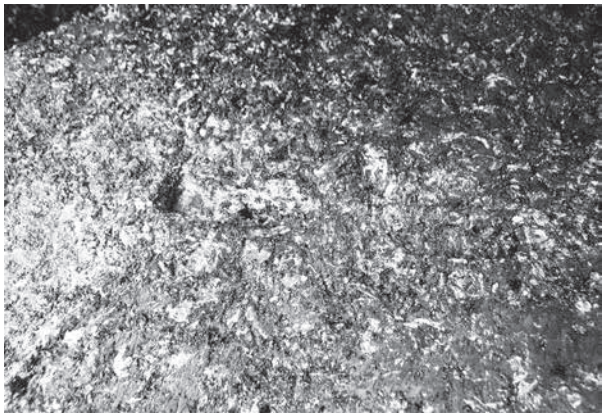
8　1 面 221b 号遺構検出状況（A 区 北から）



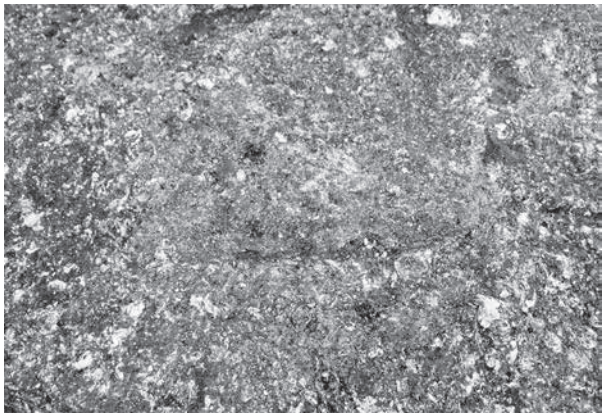
1　1 面 221b 号遺構完掘状況（A 区 北から）



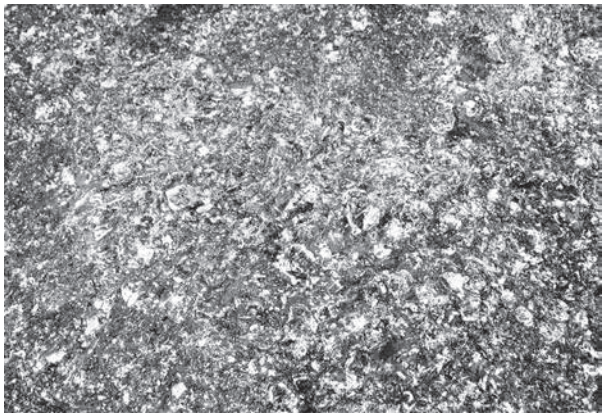
2　1 面 222 号遺構土層堆積状況（A 区 北から）



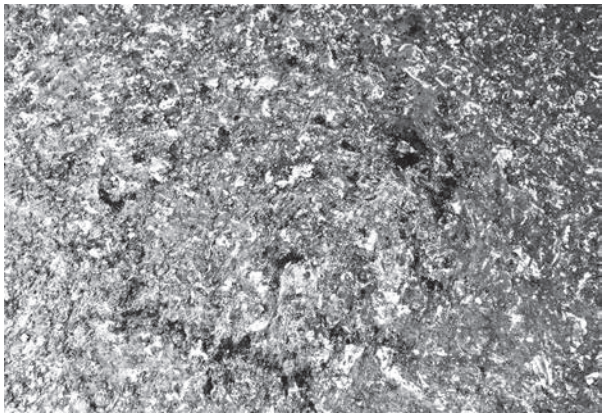
3　1 面 222 号遺構完掘状況（A 区 北から）



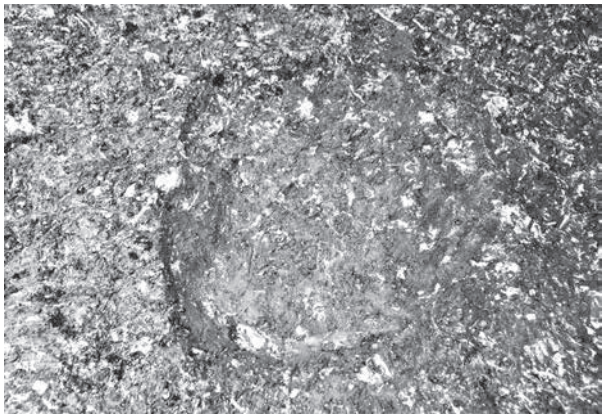
4　1 面 223 号遺構検出状況（A 区 北から）



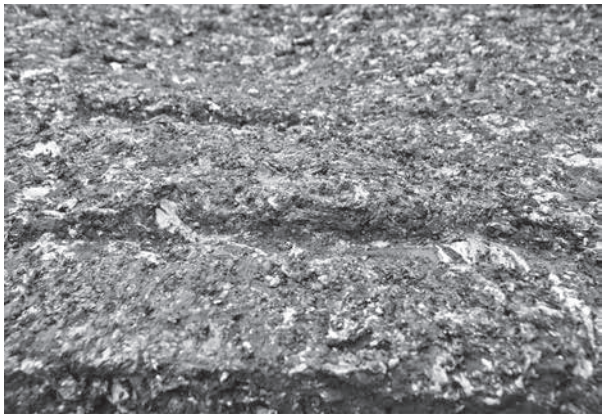
5　1 面 223 号遺構完掘状況（A 区 北から）



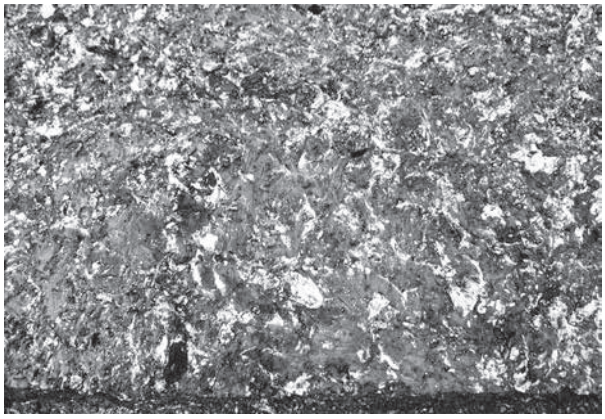
6　1 面 225 号遺構検出状況（A 区 西から）



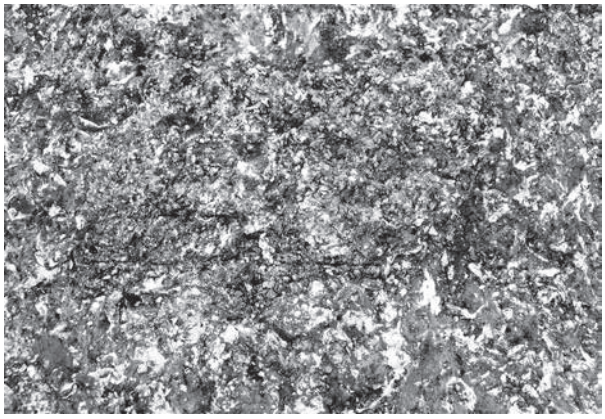
7　1 面 225 号遺構完掘状況（A 区 西から）



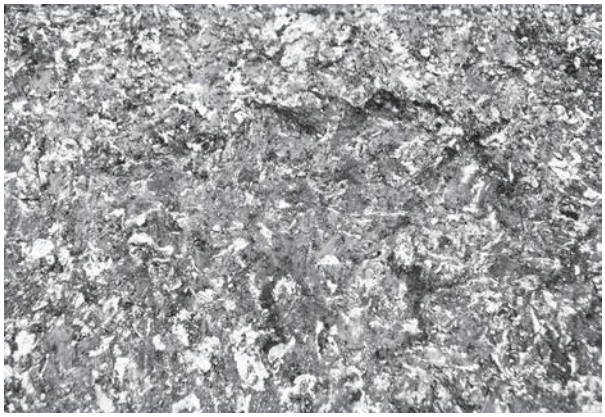
8　1 面 226 号遺構土層堆積状況（A 区 西から）



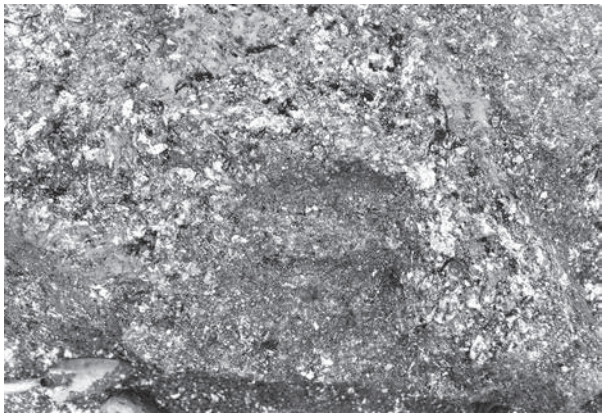
1　1 面 226 号遺構完掘状況（A 区 西から）



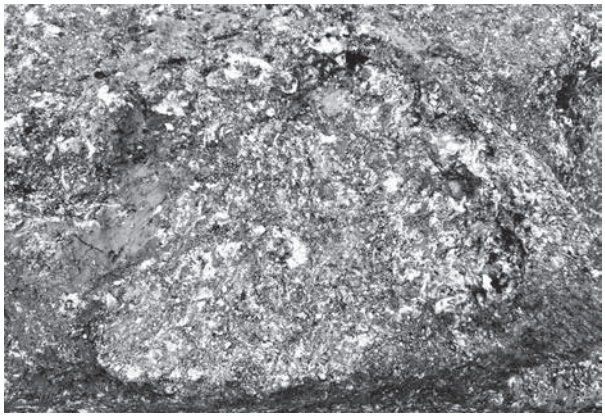
2　1 面 227 号遺構検出状況（A 区 西から）



3　1 面 227 号遺構完掘状況（A 区 西から）

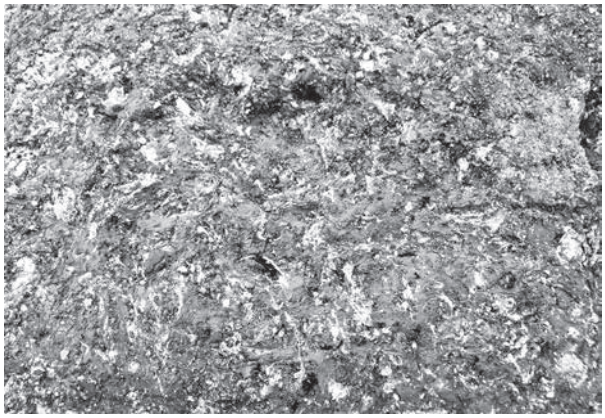


4　1 面 228 号遺構検出状況（A 区 北から）

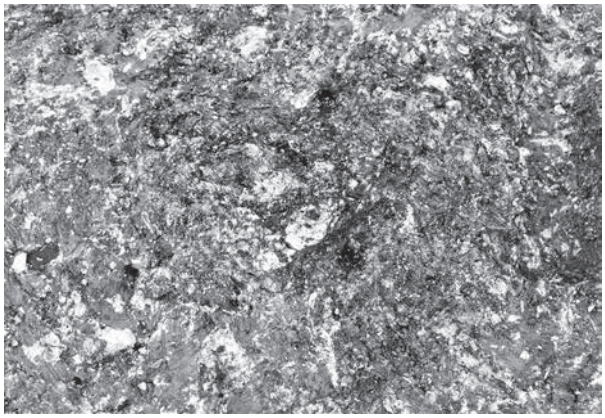


5　1 面 228 号遺構完掘状況（A 区 北から）

6　1 面 229 号遺構土層堆積状況（A 区 南から）

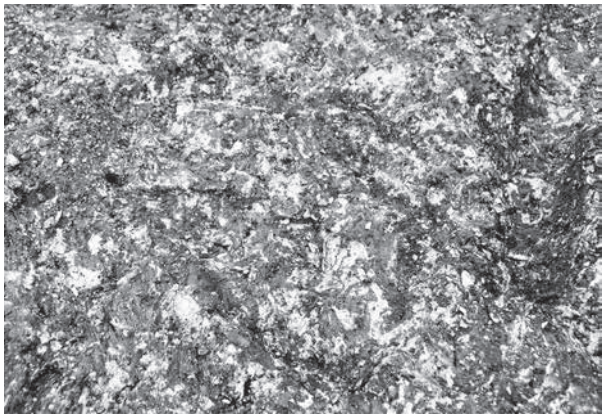


7　1 面 229 号遺構完掘状況（A 区 南から）

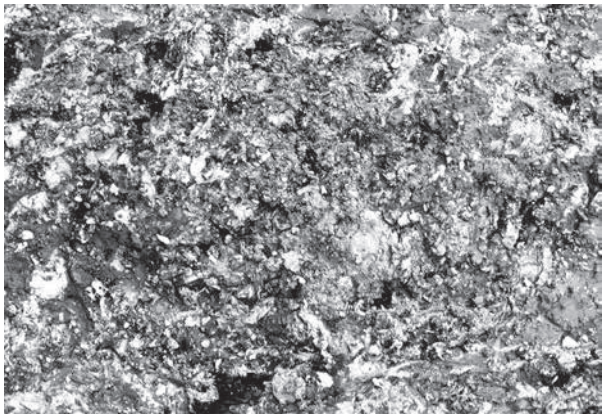


8　1 面 230 号遺構検出状況（A 区 西から）

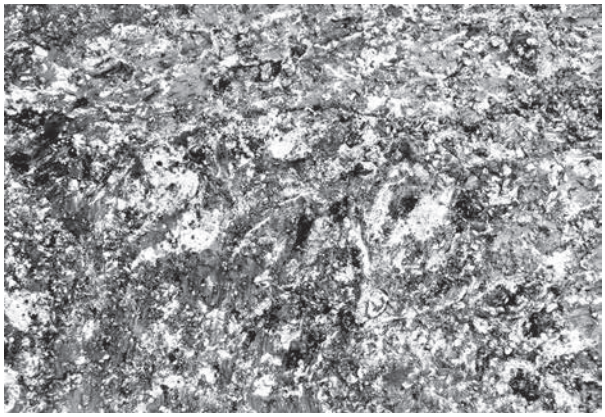
図版 50



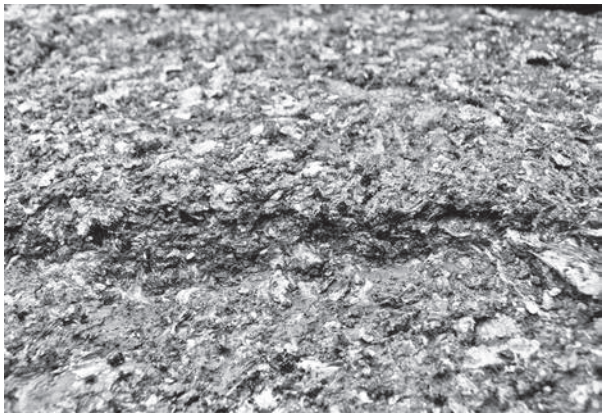
1　1 面 230 号遺構完掘状況（A 区 西から）



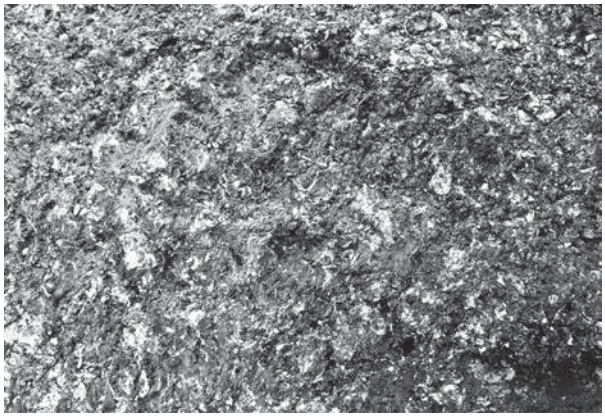
2　1 面 231 号遺構検出状況（A 区 東から）



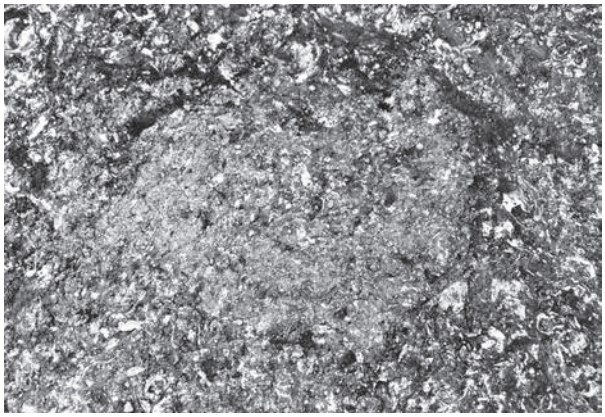
3　1 面 231 号遺構完掘状況（A 区 東から）



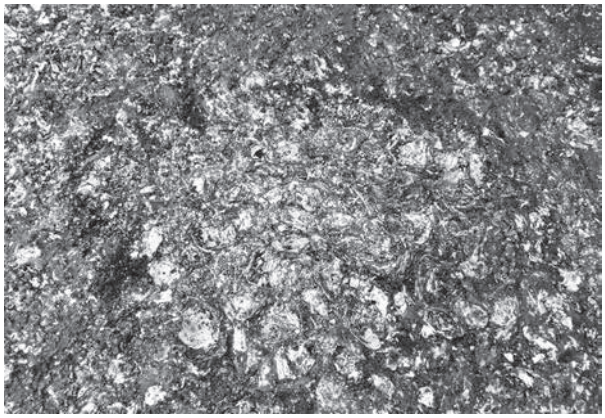
4　1 面 232 号遺構土層堆積状況（A 区 南から）



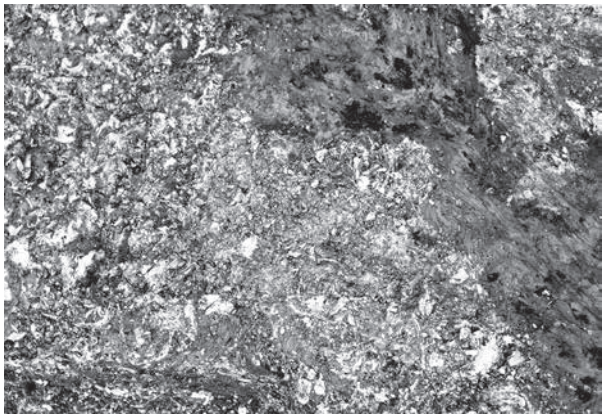
5　1 面 232 号遺構完掘状況（A 区 南から）



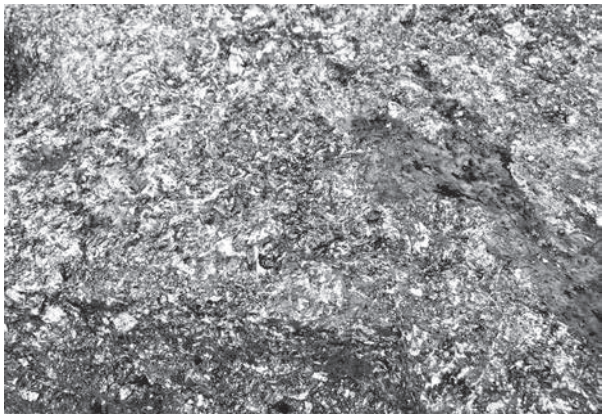
6　1 面 233 号遺構検出状況（A 区 西から）



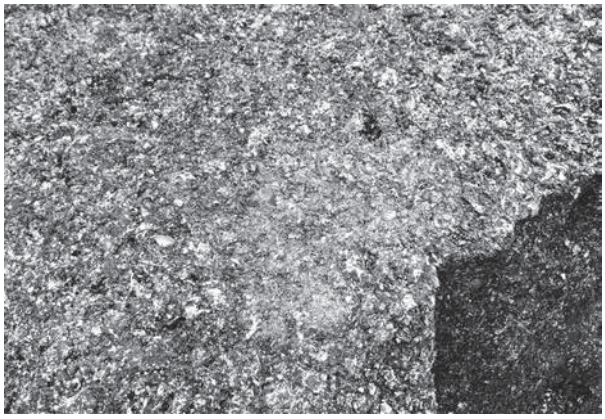
7　1 面 233 号遺構完掘状況（A 区 西から）



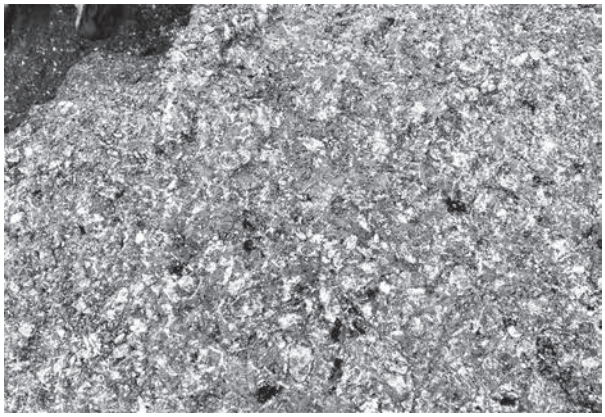
8　1 面 234 号遺構検出状況（A 区 西から）



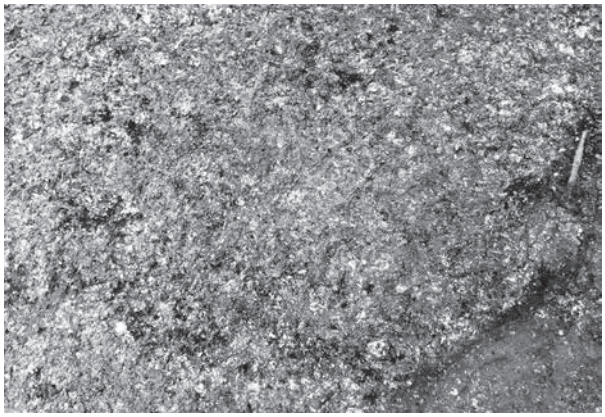
1　1 面 234 号遺構完掘状況（A 区 西から）



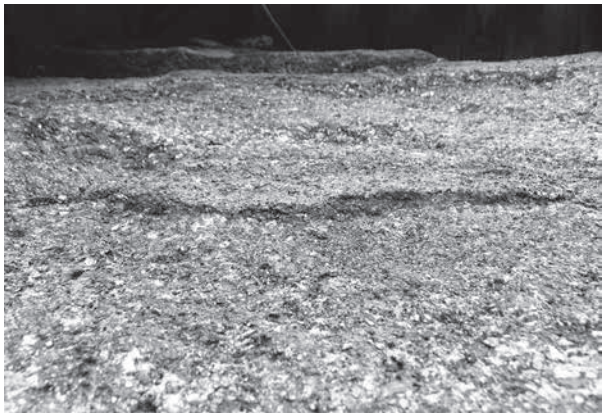
2　1 面 235 号遺構検出状況（A 区 東から）



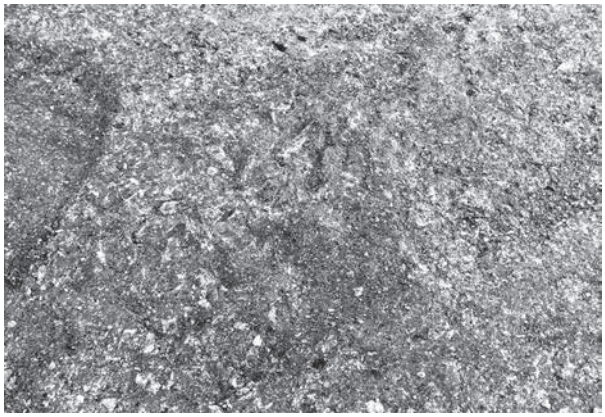
3　1 面 235 号遺構完掘状況（A 区 西から）



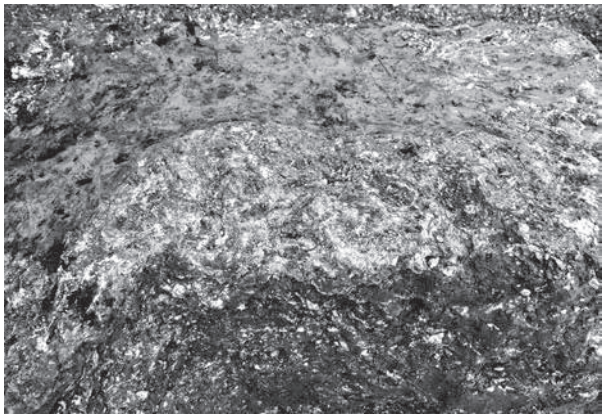
4　1 面 236a・b 号遺構検出状況（A 区 南西から）



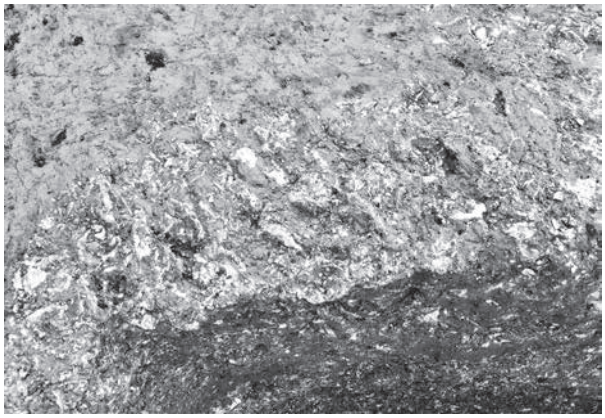
5　1 面 236a・b 号遺構土層堆積状況（A 区 東から）



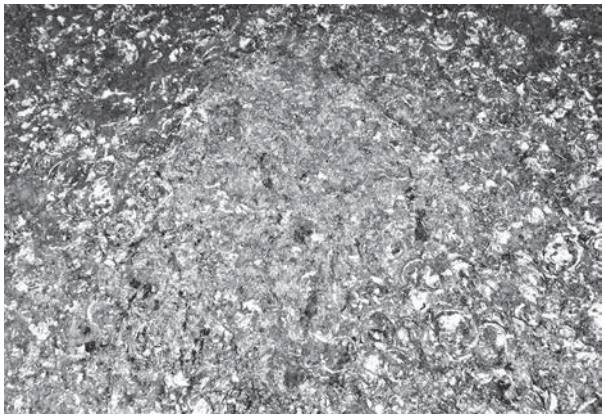
6　1 面 236a・b 号遺構完掘状況（A 区 東から）



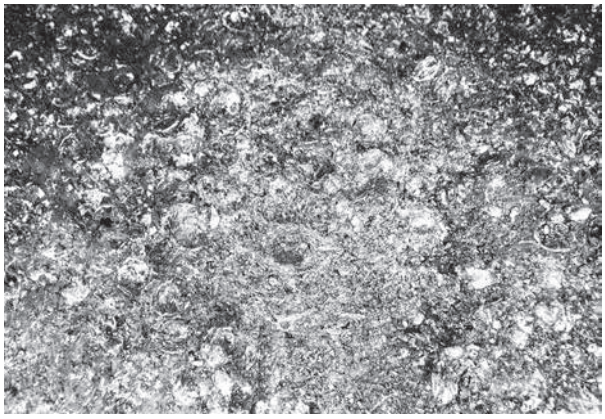
7　1 面 237 号遺構検出状況（A 区 北から）



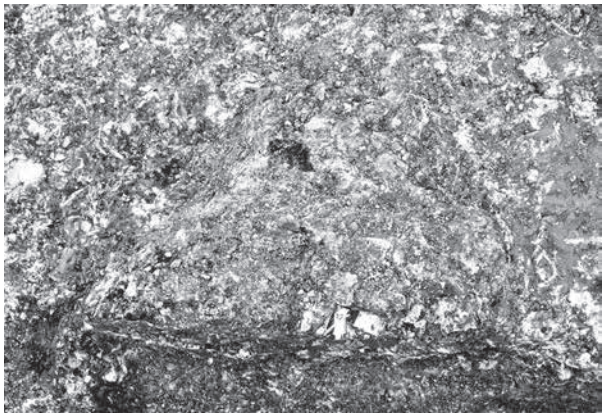
8　1 面 237 号遺構完掘状況（A 区 北から）



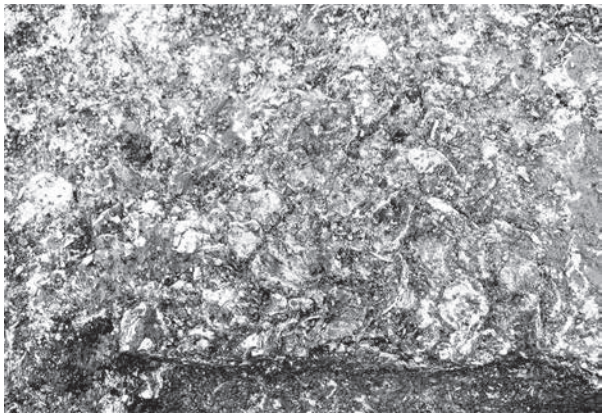
1　1 面 238 号遺構検出状況（A 区 北から）



2　1 面 238 号遺構完掘状況（A 区 北から）

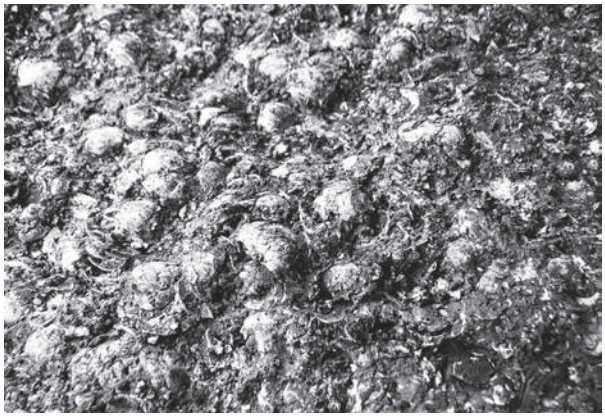


3　1 面 239 号遺構検出状況（A 区 西から）

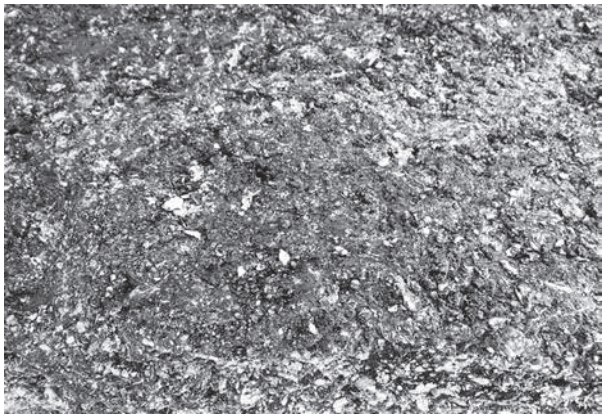


4　1 面 239 号遺構完掘状況（A 区 西から）

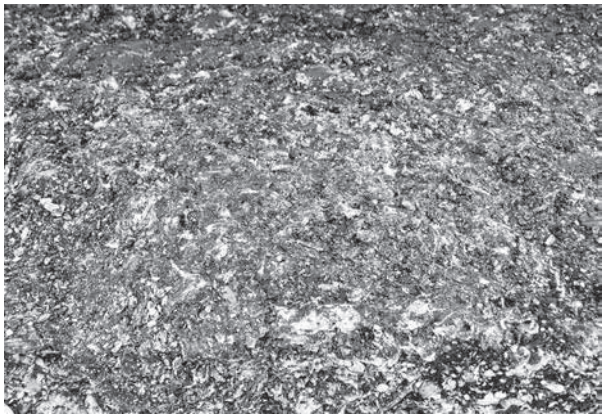
5　1 面 240 号遺構土層堆積状況（A 区 西から）



6　1 面 240 号遺構完掘状況（A 区 西から）

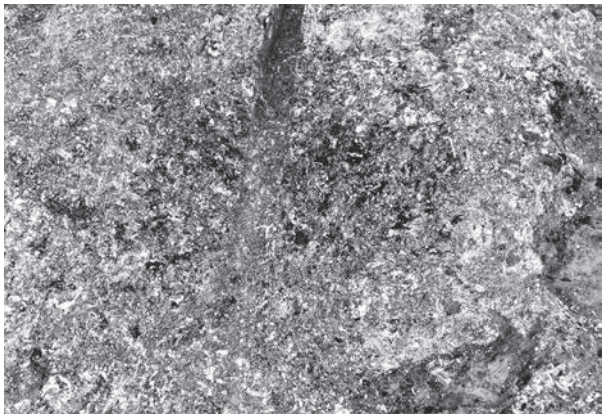


7　1 面 241 号遺構検出状況（A 区 北から）

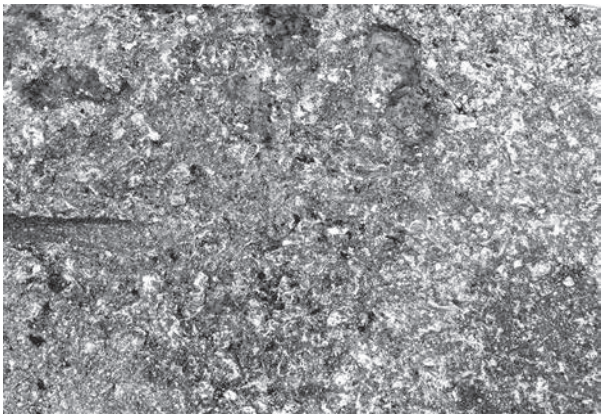


8　1 面 241 号遺構完掘状況（A 区 北から）

図版 53

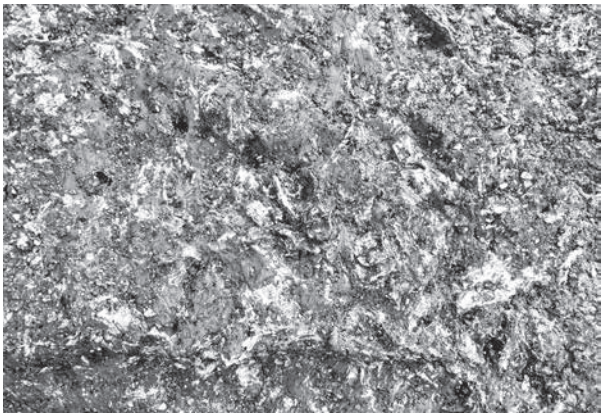


1　1 面 242 号遺構検出状況（A 区 北から）

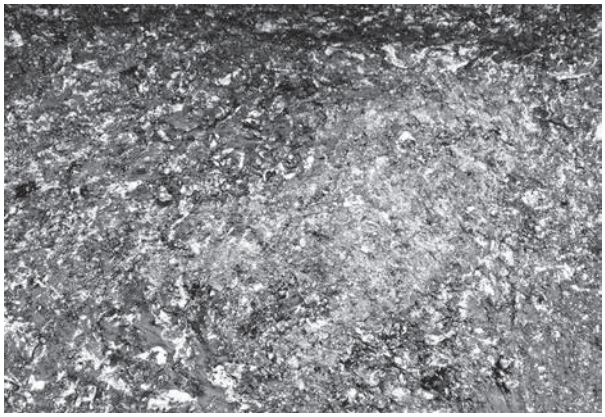


2　1 面 242 号遺構完掘状況（A 区 東から）

3　1 面 243 号遺構土層堆積状況（A 区 東から）

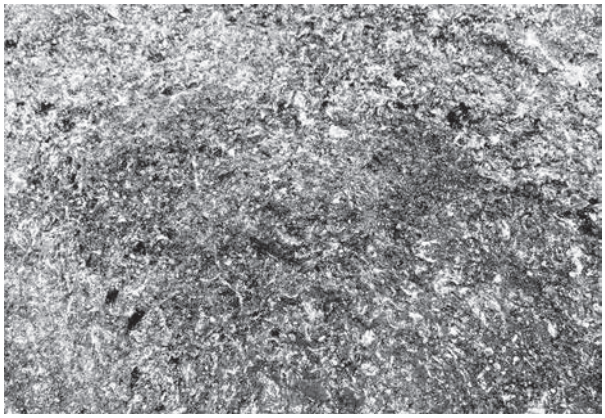


4　1 面 243 号遺構完掘状況（A 区 東から）

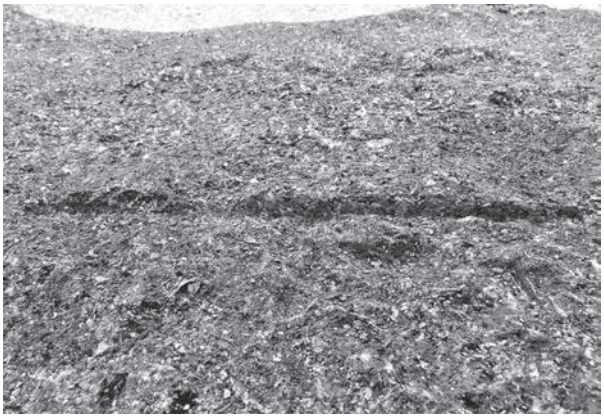


5　1 面 245 号遺構検出状況（A 区 南から）

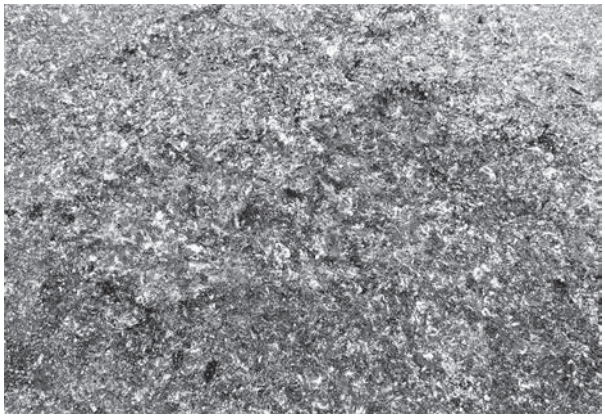
6　1 面 245 号遺構完掘状況（A 区 南から）



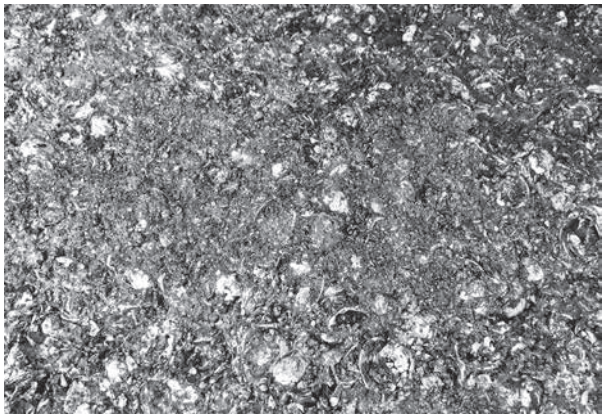
7　1 面 246・248 号遺構検出状況（A 区 南から）



8　1 面 246・248 号遺構土層堆積状況（A 区 南西から）

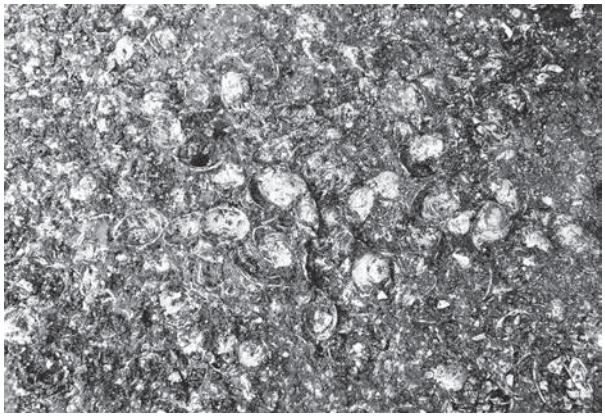


1　1 面 246・248 号遺構完掘状況（A 区 南西から）

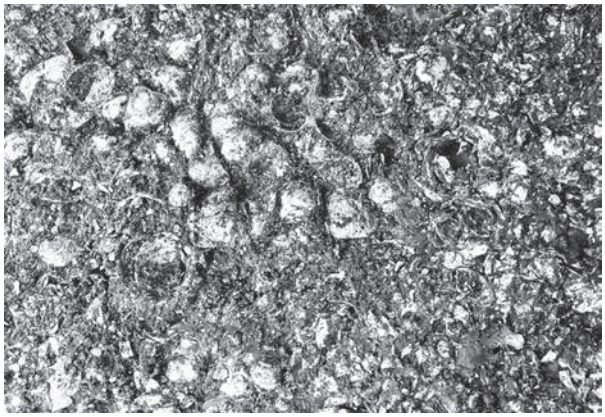


2　1 面 247a・b 号遺構検出状況（A 区 北から）

3　1 面 247a・b 号遺構土層堆積状況（A 区 北西から）

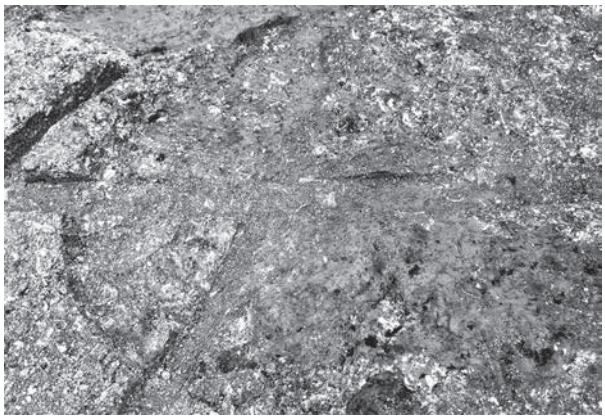


4　1 面 247a 号遺構完掘状況（A 区 北西から）

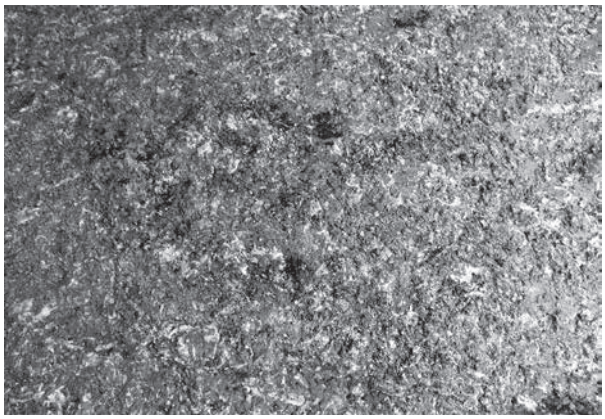


5　1 面 247b 号遺構完掘状況（A 区 北西から）

6　1 面 248・249 号遺構土層堆積状況（A 区 北西から）

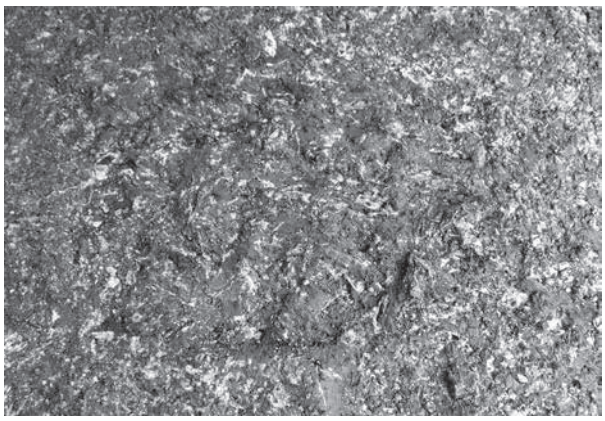


7　1 面 249 号遺構完掘状況（A 区 北西から）



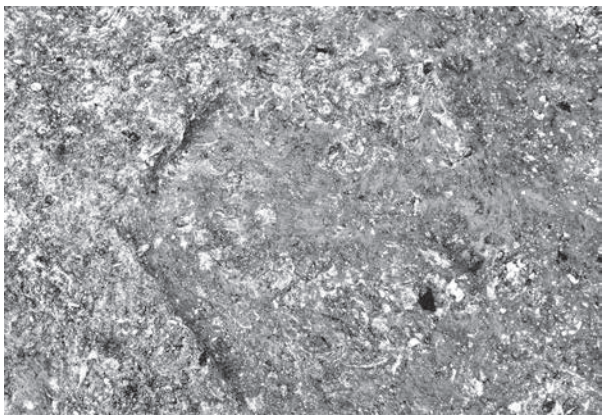
8　1 面 250 号遺構検出状況（A 区 東から）

図版 55

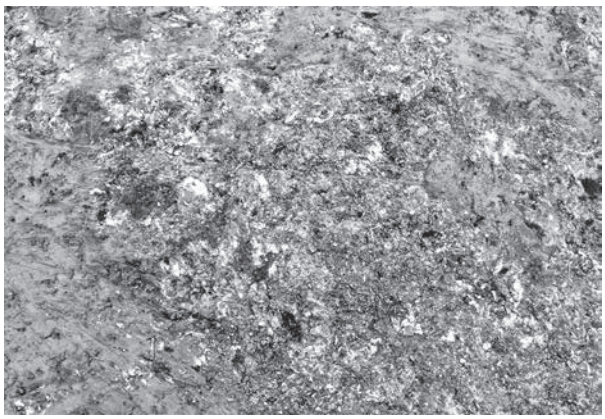


1　1 面 250 号遺構完掘状況（A 区 東から）

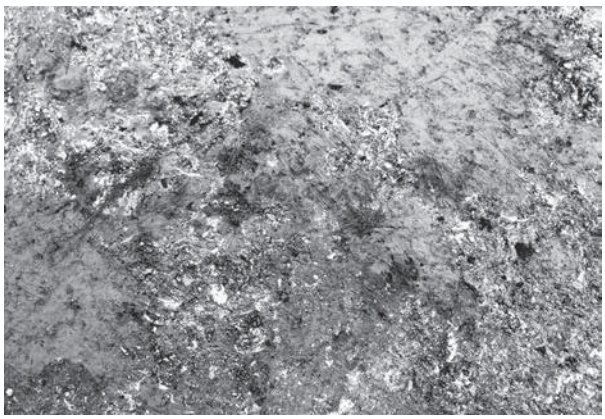
2　1 面 251 号遺構土層堆積状況（A 区 西から）



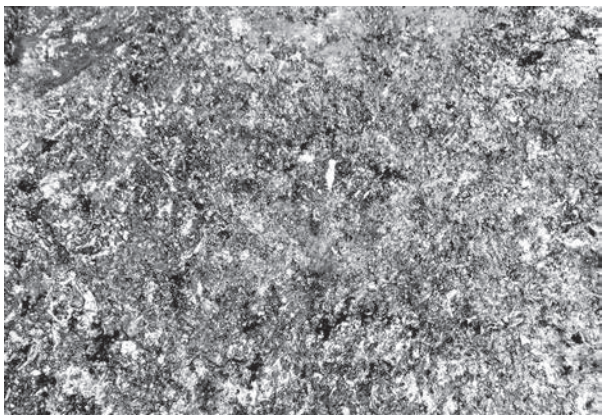
3　1 面 251 号遺構完掘状況（A 区 西から）



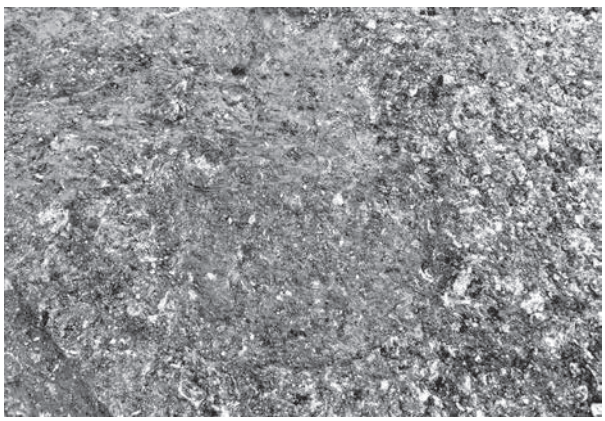
4　1 面 252 号遺構検出状況（A 区 東から）



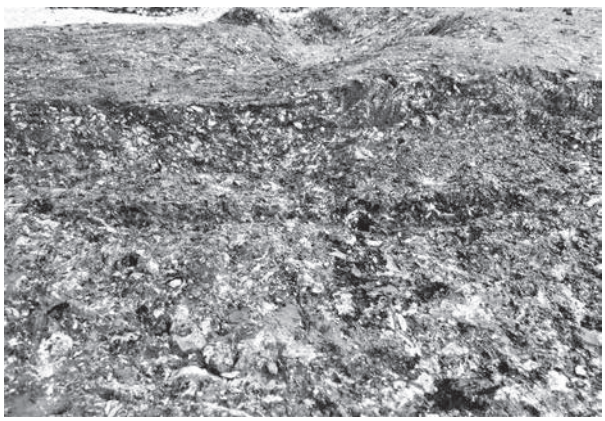
5　1 面 252 号遺構完掘状況（A 区 東から）



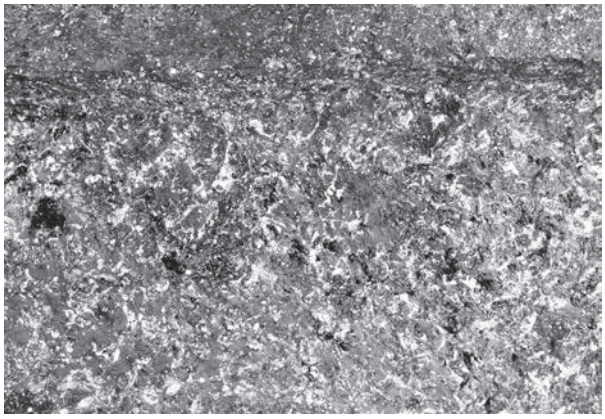
6　1 面 253 号遺構検出状況（A 区 北から）



7　1 面 253 号遺構完掘状況（A 区 東から）

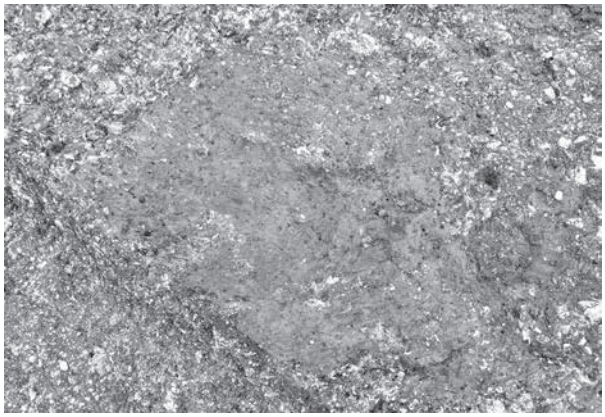


8　1 面 254・255 号遺構土層堆積状況（A 区 東から）

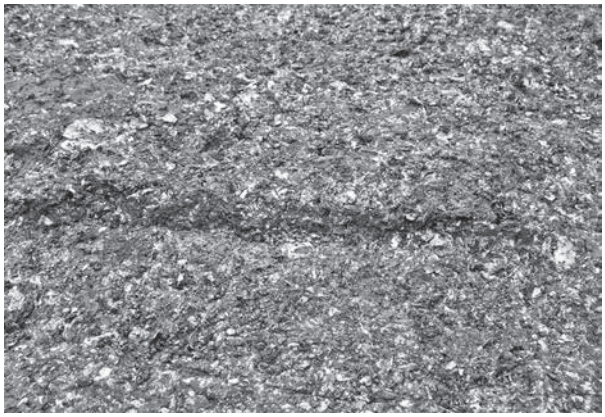


1　1 面 254・255 号遺構完掘状況（A 区 東から）

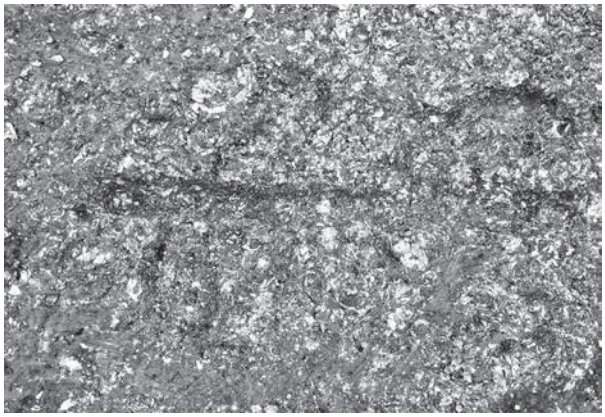
2　1 面 256 号遺構土層堆積状況（A 区 西から）



3　1 面 256 号遺構完掘状況（A 区 西から）

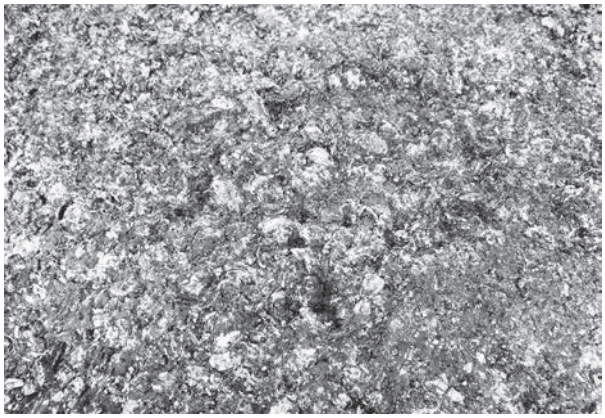


4　1 面 257 号遺構検出・土層堆積状況（A 区 南から）

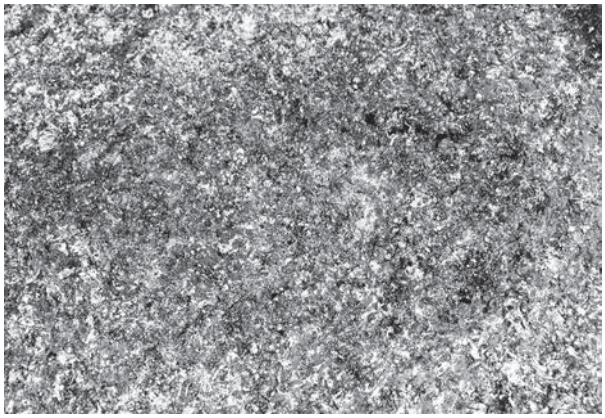


5　1 面 257 号遺構完掘状況（A 区 東から）

6　1 面 258 号遺構検出状況（A 区 東から）

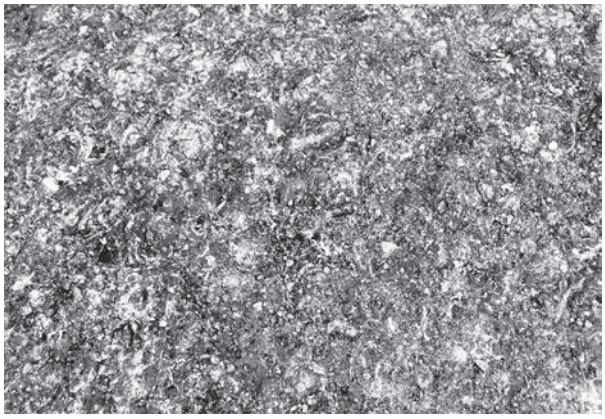


7　1 面 258 号遺構完掘状況（A 区 東から）

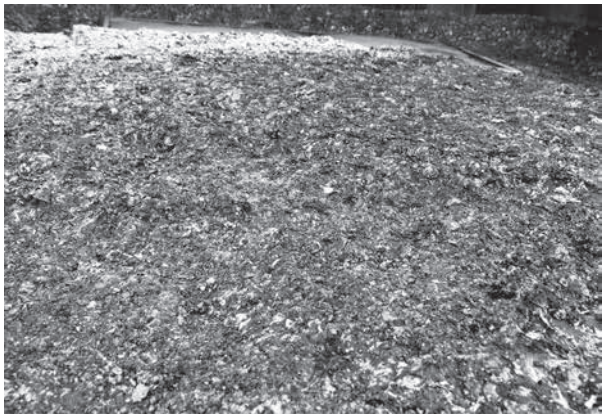


8　1 面 259 号遺構検出状況（A 区 北から）

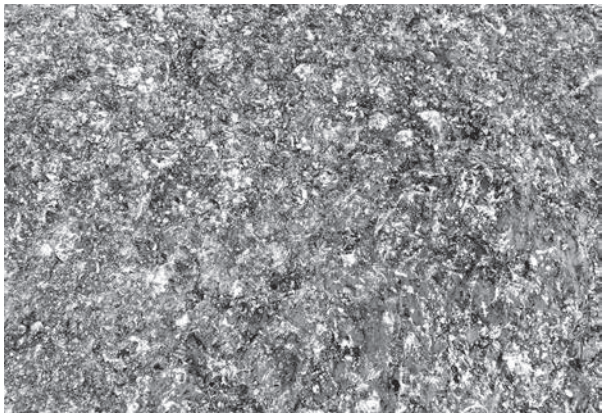
図版 57



1　1 面 259 号遺構完掘状況（A 区 北から）

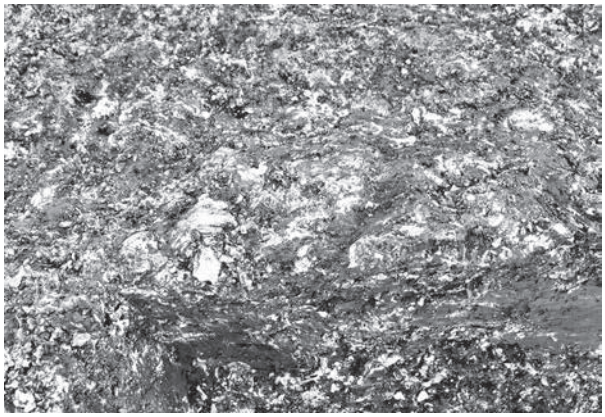


2　1 面 260 号遺構検出・土層堆積状況（A 区 北から）



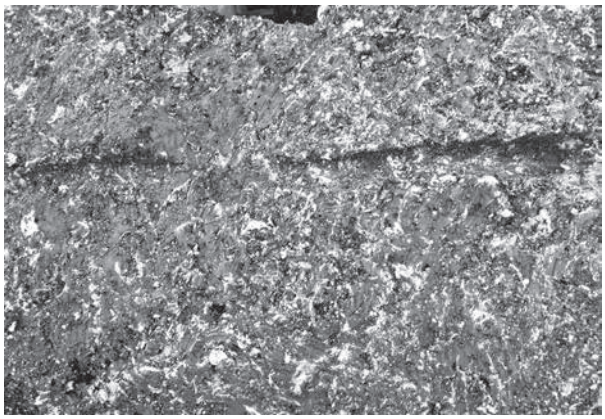
3　1 面 260 号遺構完掘状況（A 区 北から）

4　1 面 261 号遺構土層堆積状況（A 区 北から）



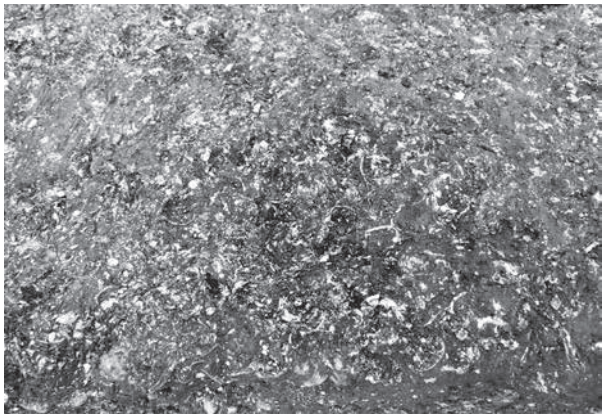
5　1 面 261 号遺構完掘状況（A 区 北から）

6　1 面 262 号遺構土層堆積状況（A 区 南から）

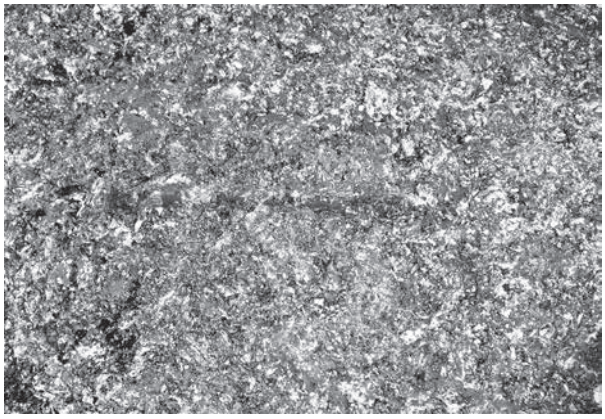


7　1 面 262 号遺構完掘状況（A 区 南から）

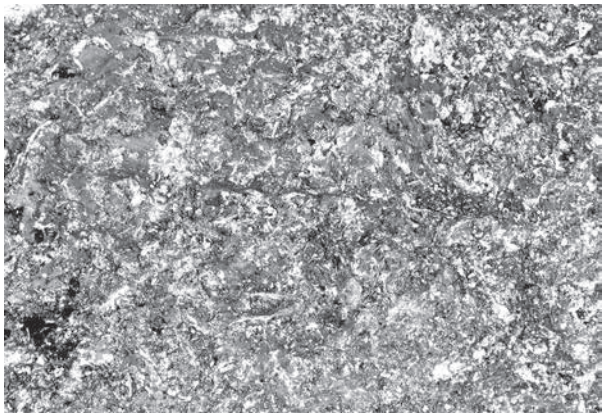
8　1 面 263 号遺構土層堆積状況（A 区 南から）



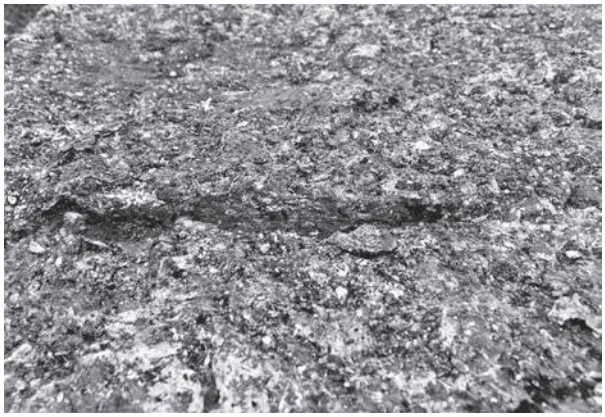
1　1 面 263 号遺構完掘状況（A 区 南から）



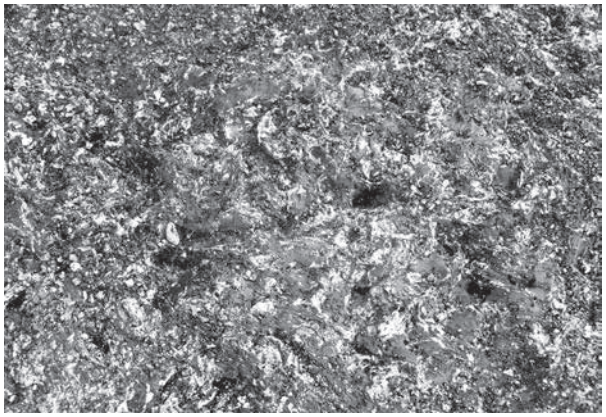
2　1 面 264 号遺構検出状況（A 区 北東から）



3　1 面 264 号遺構完掘状況（A 区 北東から）

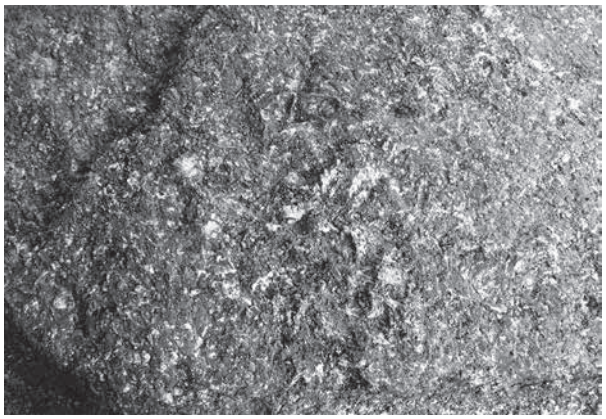


4　1 面 265 号遺構土層堆積状況（A 区 東から）



5　1 面 265 号遺構完掘状況（A 区 東から）

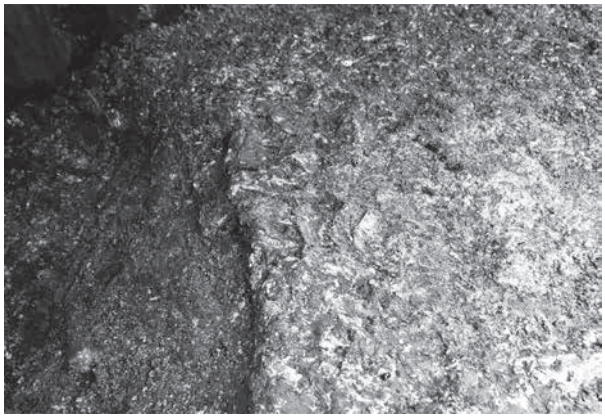
6　1 面 266 号遺構土層堆積状況（A 区 北西から）



7　1 面 266 号遺構完掘状況（A 区 東から）

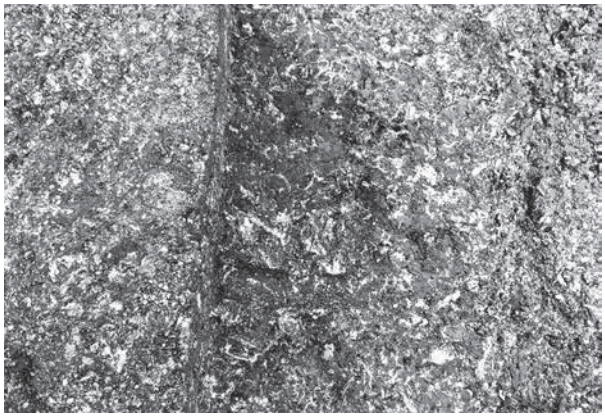
8　1 面 267 号遺構土層堆積状況（A 区 南西から）

図版 59



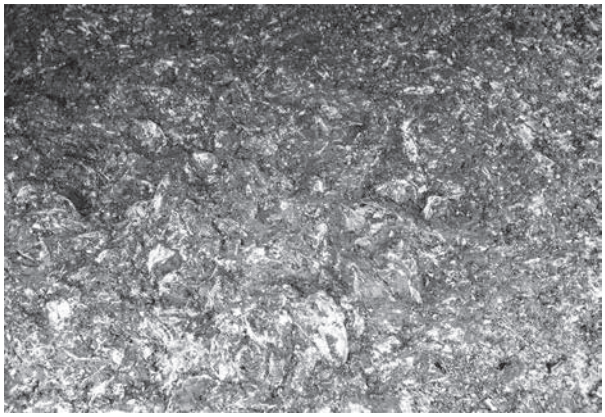
1　1 面 267 号遺構完掘状況（A 区 北から）

2　1 面 268 号遺構土層堆積状況（A 区 東から）

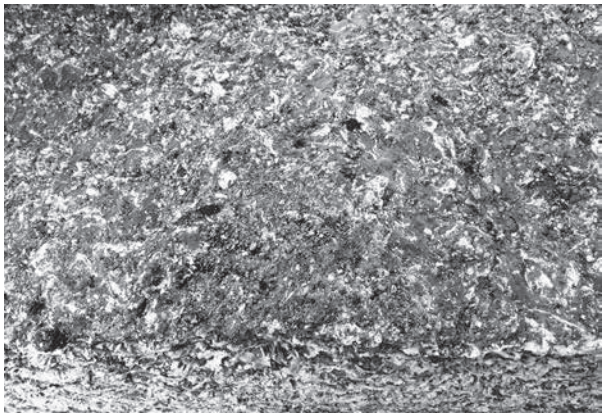


3　1 面 268 号遺構完掘状況（A 区 東から）

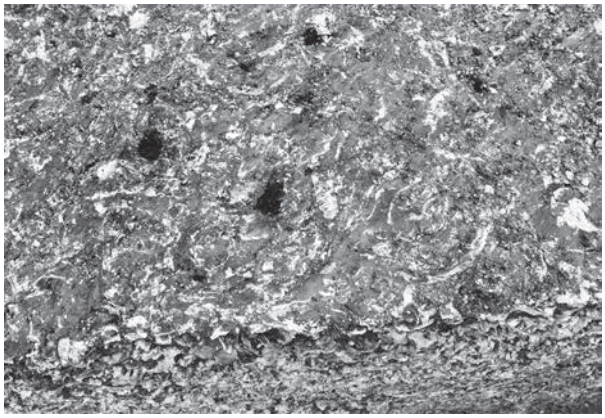
4　1 面 269 号遺構土層堆積状況（A 区 東から）



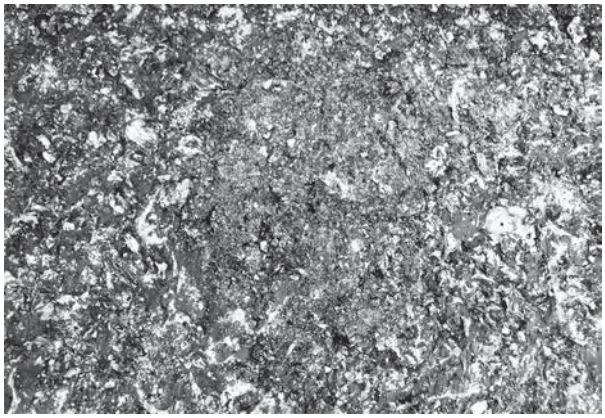
5　1 面 269 号遺構完掘状況（A 区 東から）



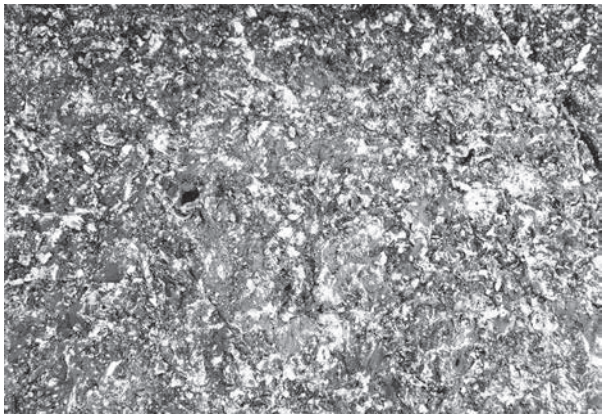
6　1 面 270 号遺構検出状況（A 区 西から）



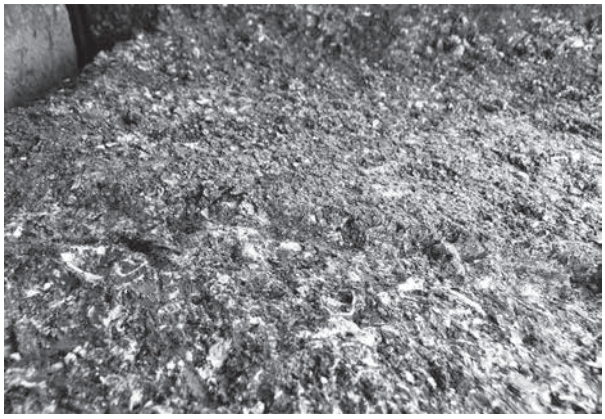
7　1 面 270 号遺構完掘状況（A 区 西から）



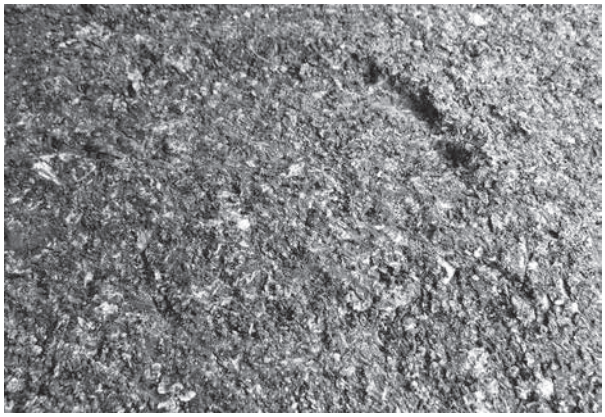
8　1 面 272 号遺構検出状況（A 区 東から）



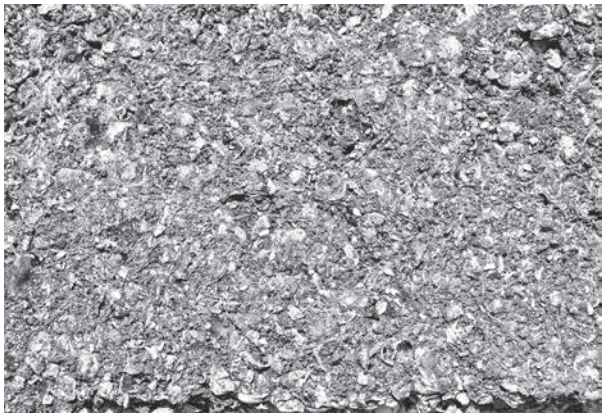
1　1 面 272 号遺構完掘状況（A 区 東から）



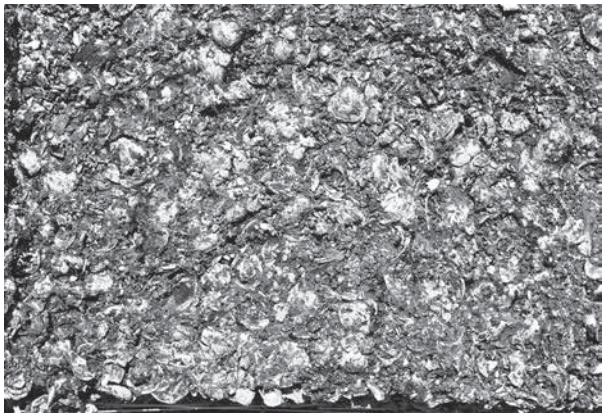
2　1 面 273 号遺構土層堆積状況（A 区 東から）



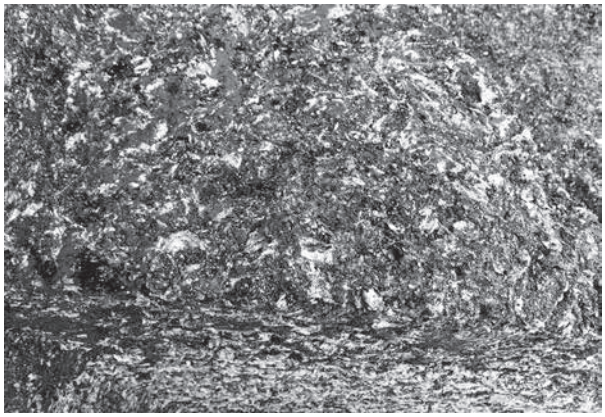
3　1 面 273 号遺構完掘状況（A 区 東から）



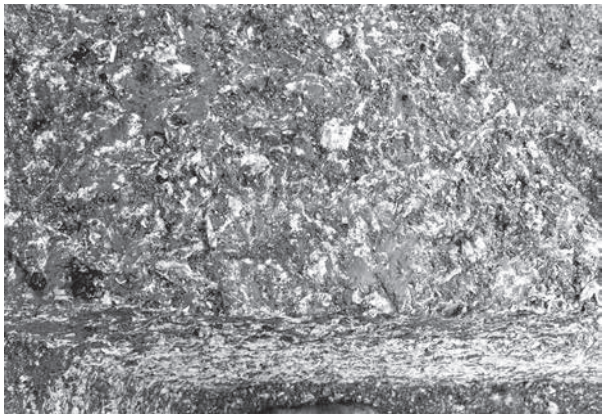
4　1 面 274 号遺構検出状況（A 区 北から）



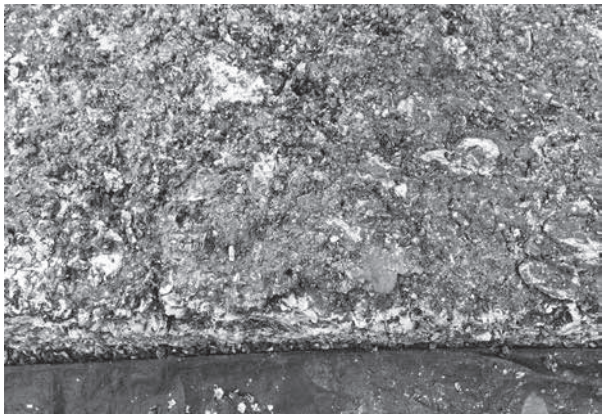
5　1 面 274 号遺構完掘状況（A 区 北から）



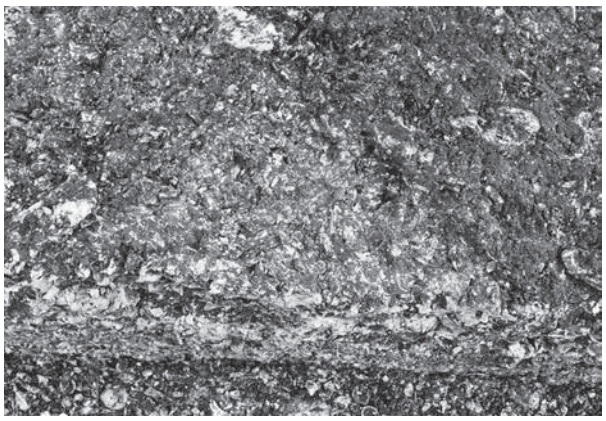
6　1 面 275 号遺構検出状況（A 区 東から）



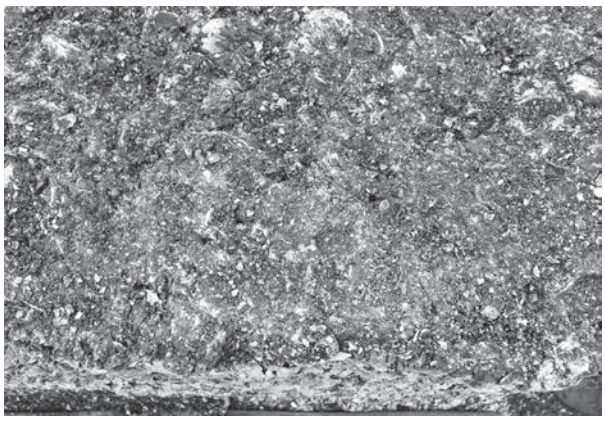
7　1 面 275 号遺構完掘状況（A 区 東から）



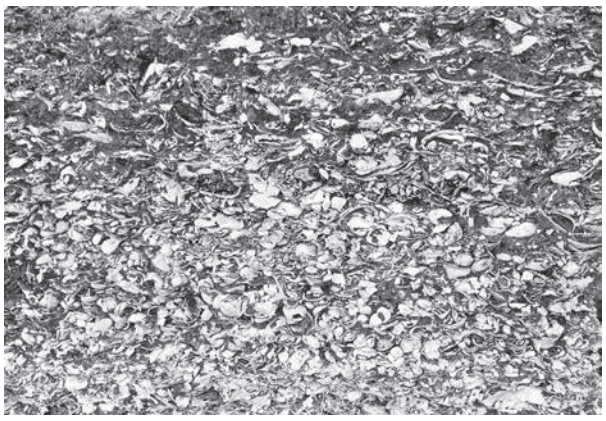
8　1 面 276 号遺構検出状況（A 区 北から）



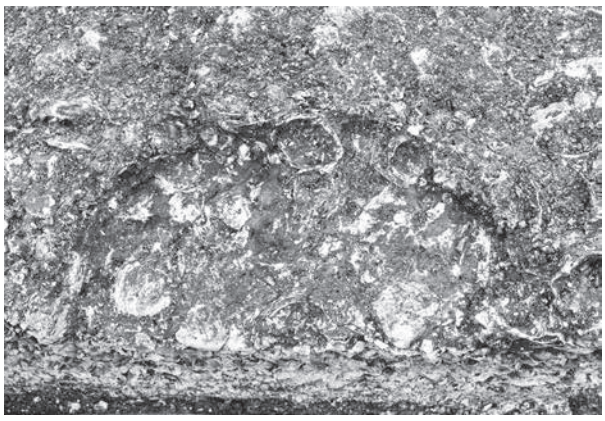
1　1 面 276 号遺構完掘状況（A 区 北から）



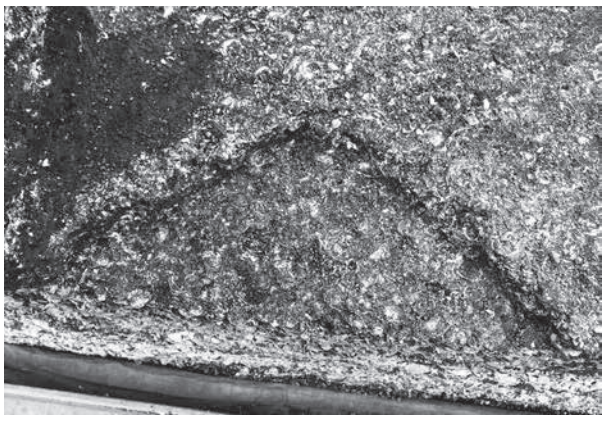
2　1 面 277 号遺構検出状況（A 区 北から）



3　1 面 277 号遺構土層堆積状況（A 区 北から）

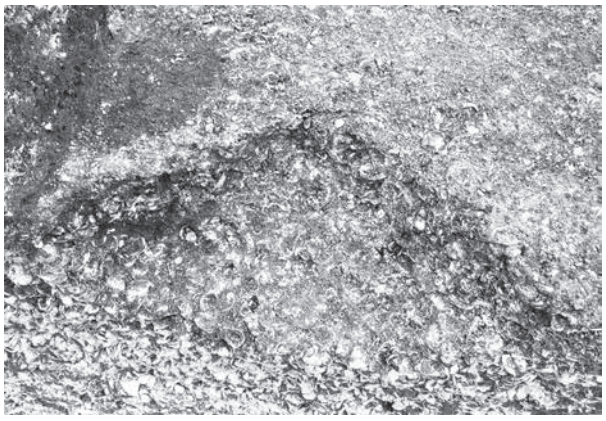


4　1 面 277 号遺構完掘状況（A 区 北から）

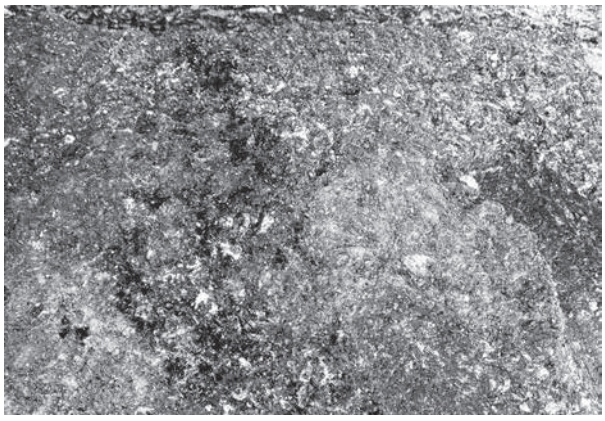


5　1 面 278 号遺構検出状況（A 区 北から）

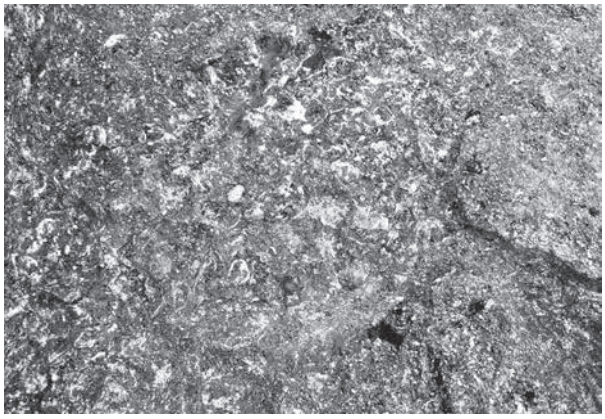
6　1 面 278 号遺構土層堆積状況（A 区 北から）



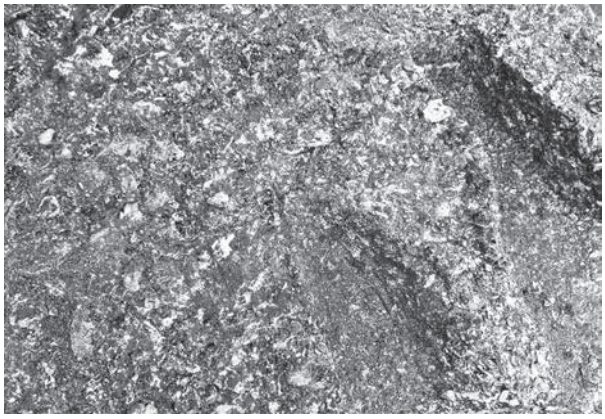
7　1 面 278 号遺構完掘状況（A 区 北から）



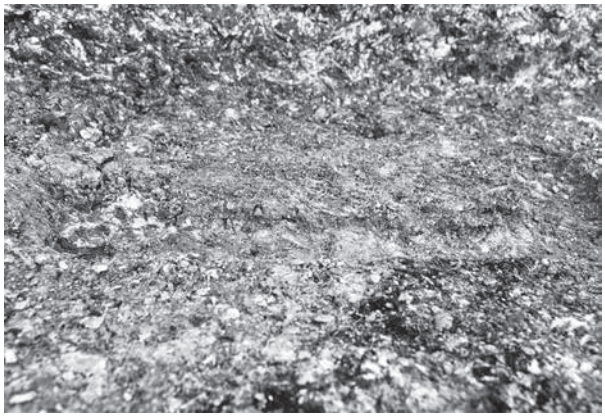
8　1 面 279a・b 号遺構検出状況（A 区 東から）



1　1 面 279a 号遺構完掘状況（A 区 東から）

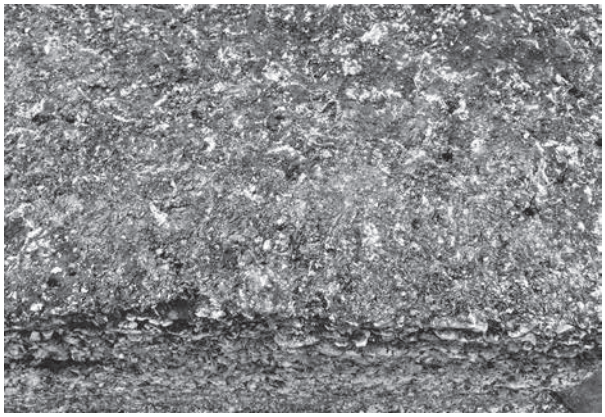


2　1 面 279b 号遺構完掘状況（A 区 東から）



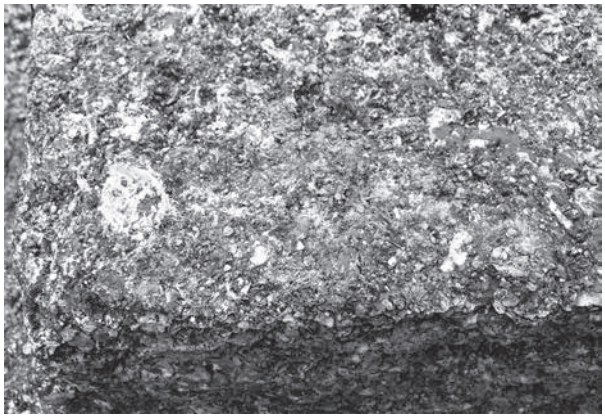
3　1 面 280 号遺構土層堆積状況（A 区 東から）

4　1 面 280 号遺構完掘状況（A 区 北から）

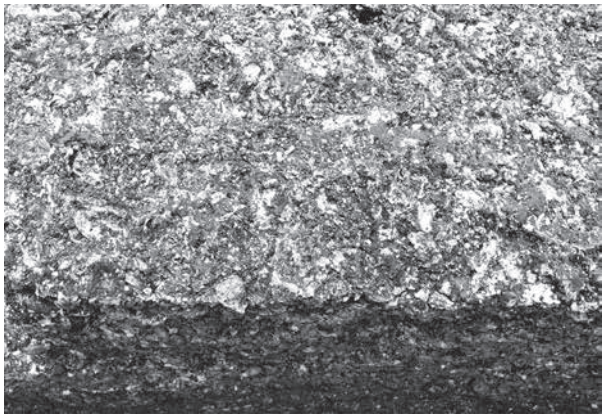


5　1 面 281 号遺構検出状況（A 区 北から）

6　1 面 281 号遺構完掘状況（A 区 北から）

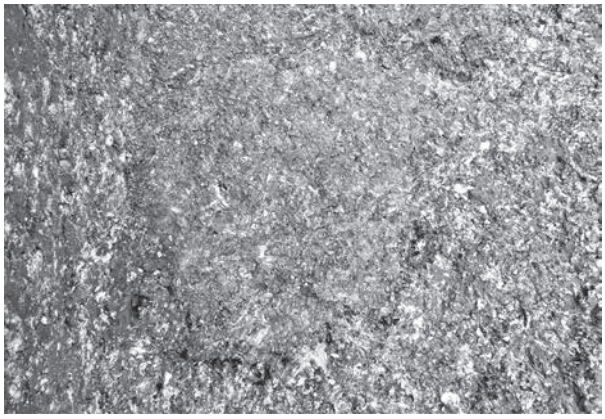


7　1 面 282 号遺構検出状況（A 区 西から）

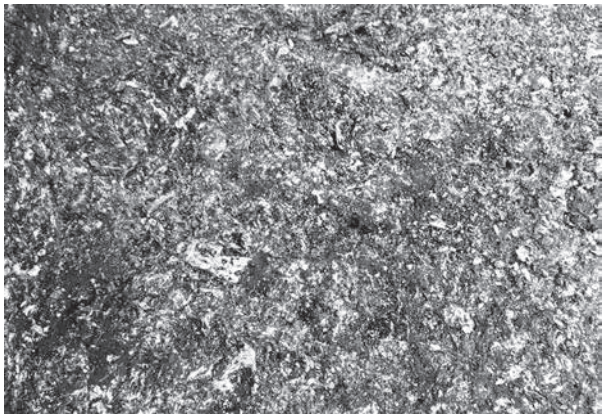


8　1 面 282 号遺構完掘状況（A 区 西から）

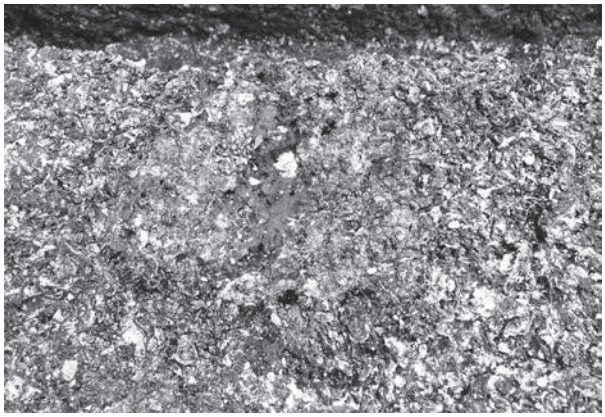
図版 63



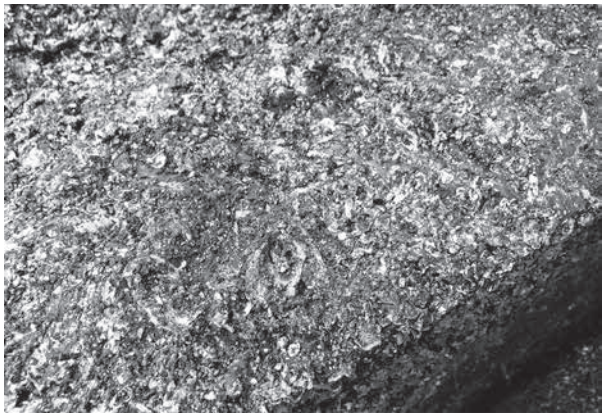
1　1 面 283 号遺構検出状況（A 区 東から）



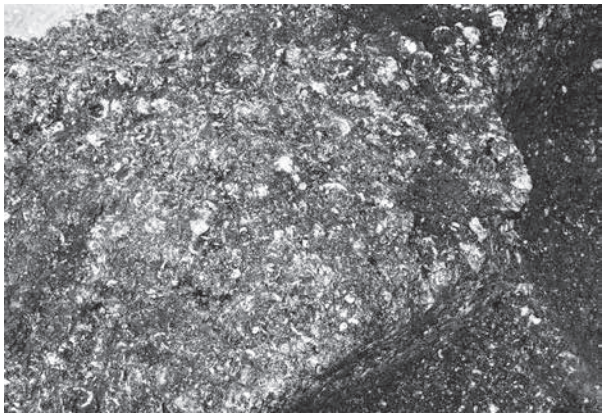
2　1 面 283 号遺構完掘状況（A 区 東から）



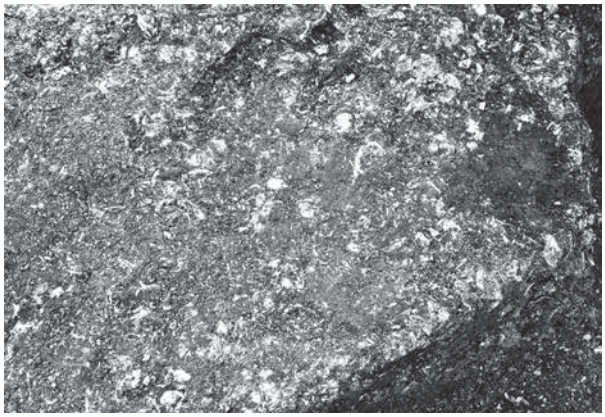
3　1 面 284 号遺構検出状況（A 区 東から）



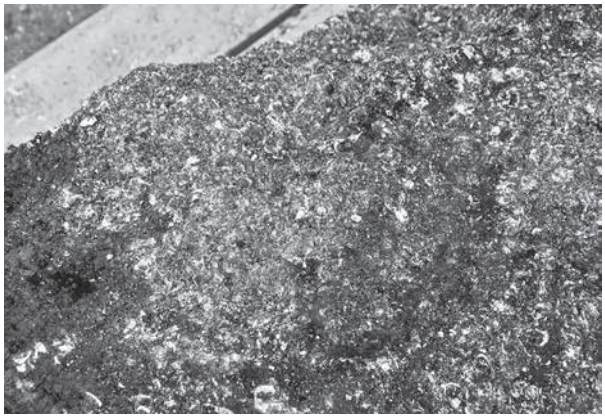
4　1 面 284 号遺構完掘状況（A 区 西から）



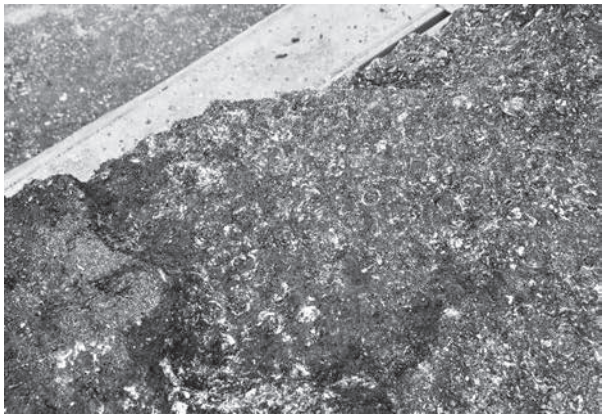
5　1 面 285 号遺構検出状況（A 区 南西から）



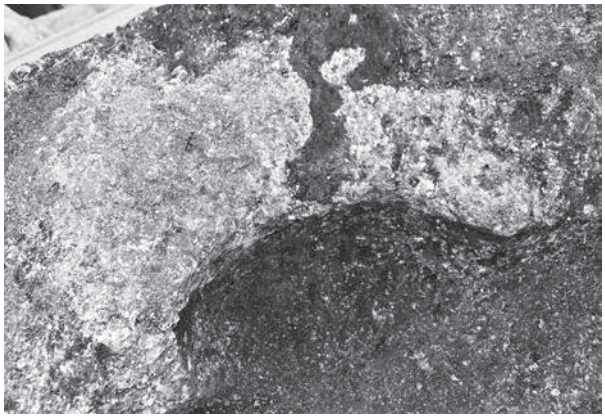
6　1 面 285 号遺構完掘状況（A 区 南西から）



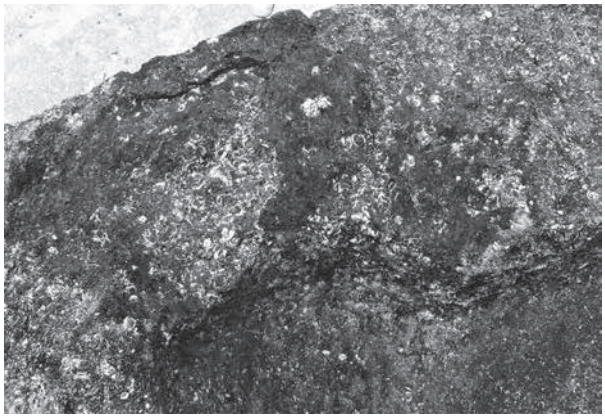
7　1 面 286 号遺構検出状況（A 区 南西から）



8　1 面 286 号遺構完掘状況（A 区 南西から）

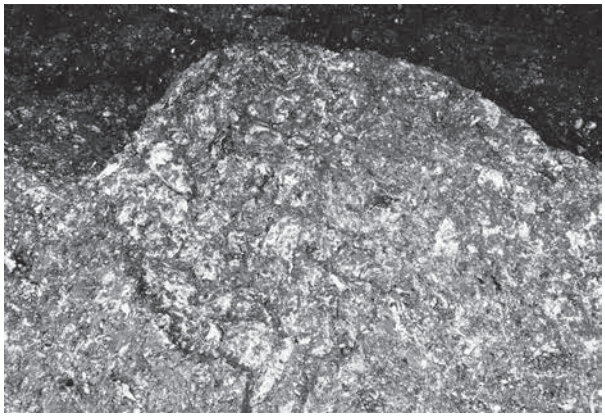


1　1 面 287 号遺構検出状況（A 区 南西から）

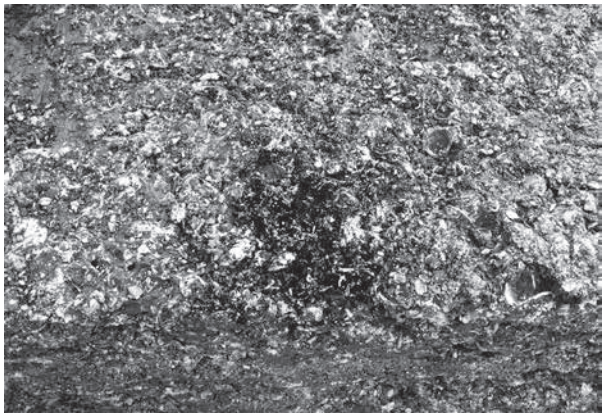


2　1 面 287 号遺構完掘状況（A 区 南西から）

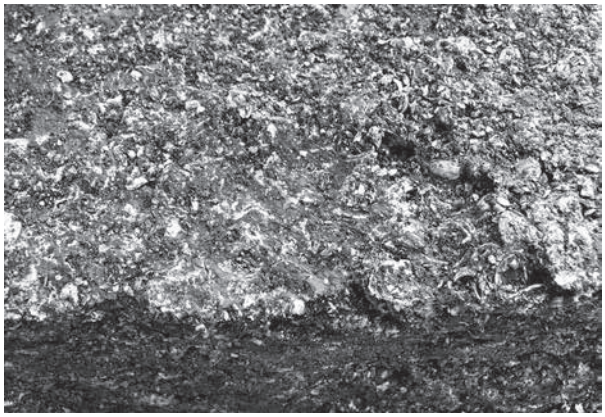
3　1 面 288 号遺構土層堆積状況（A 区 東から）



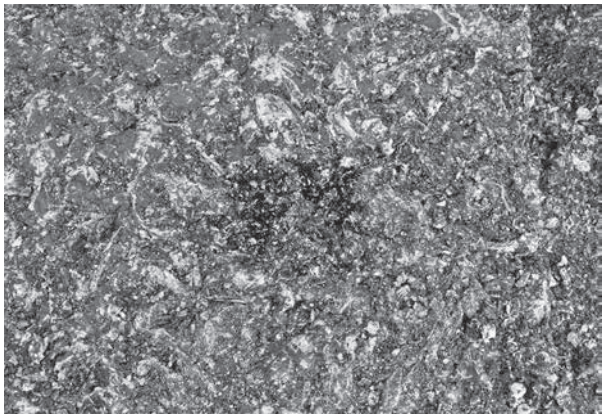
4　1 面 288 号遺構完掘状況（A 区 北から）



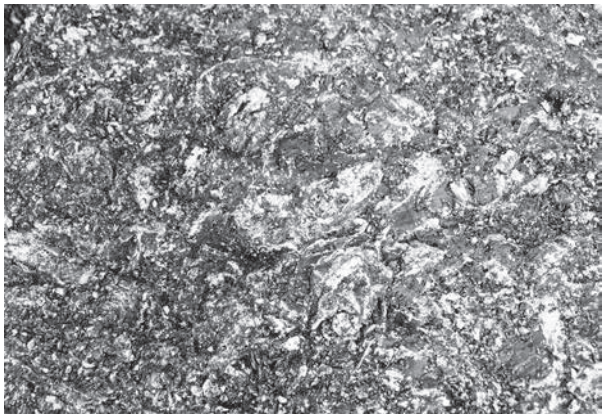
5　1 面 289 号遺構検出状況（A 区 東から）



6　1 面 289 号遺構完掘状況（A 区 東から）

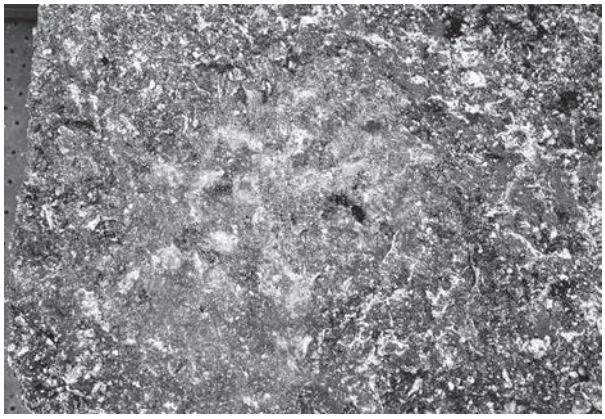


7　1 面 290 号遺構検出状況（A 区 東から）

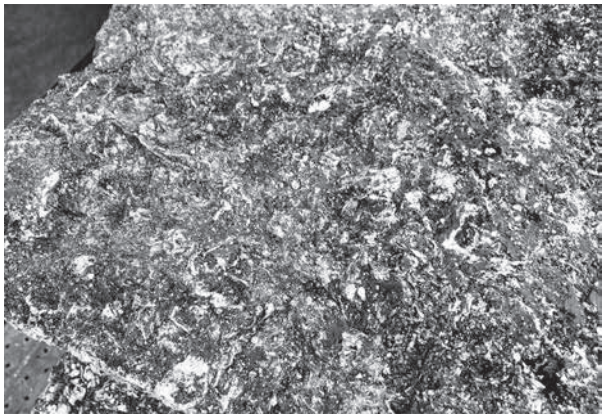


8　1 面 290 号遺構完掘状況（A 区 東から）

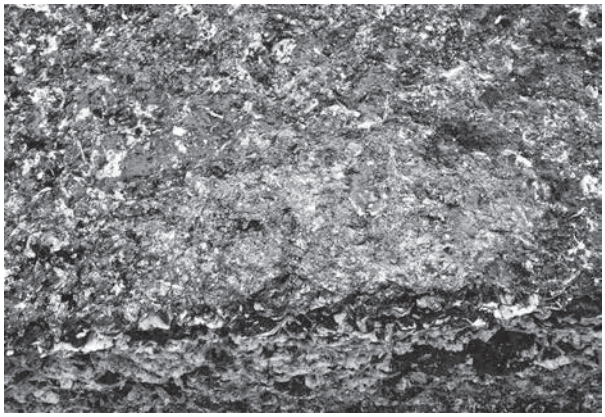
図版 65



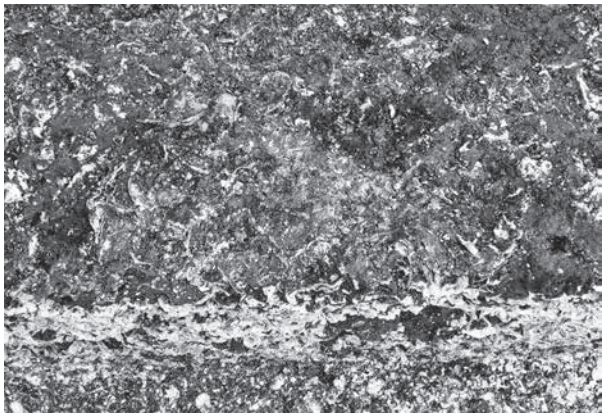
1　1 面 291 号遺構検出状況（A 区 北から）



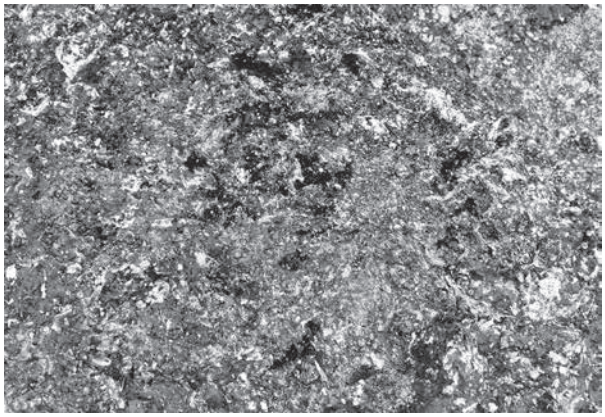
2　1 面 291 号遺構完掘状況（A 区 北西から）



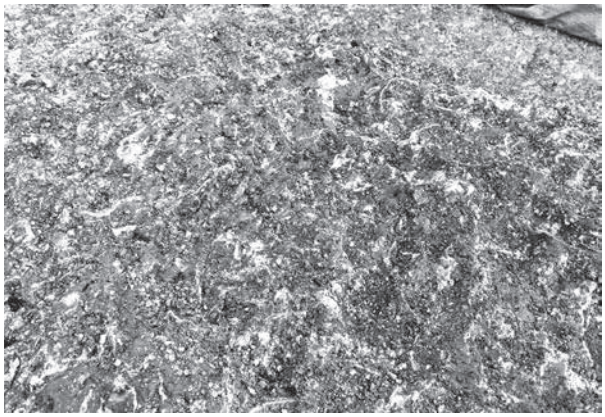
3　1 面 292 号遺構検出状況（A 区 北から）



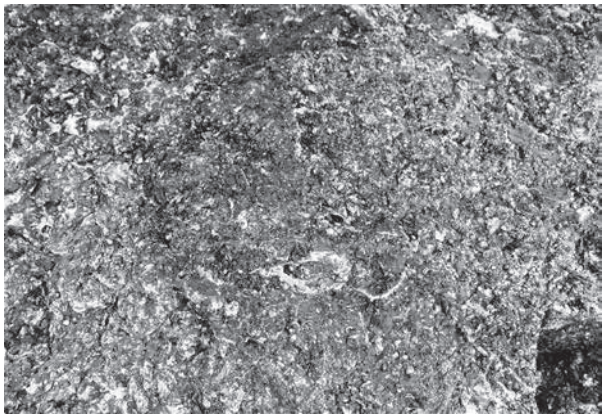
4　1 面 292 号遺構完掘状況（A 区 北から）



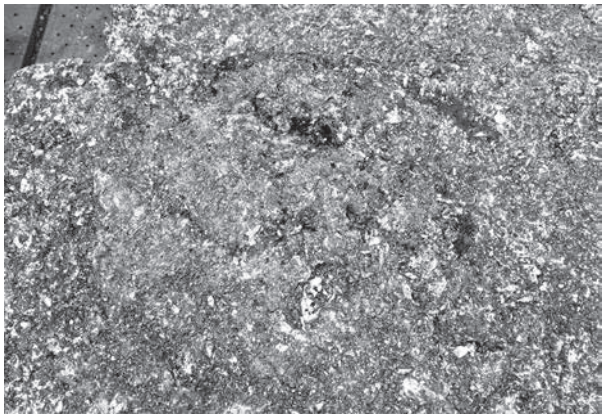
5　1 面 293 号遺構検出状況（A 区 北西から）



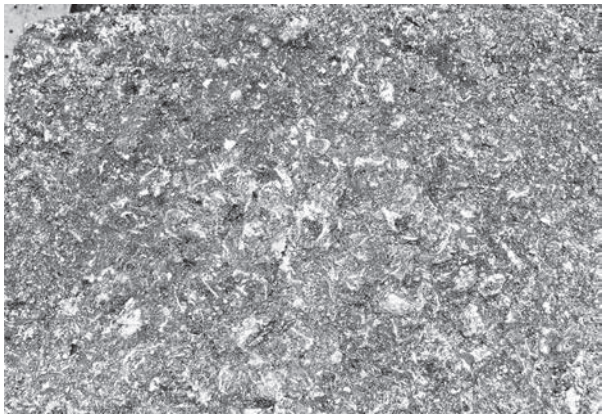
6　1 面 293 号遺構完掘状況（A 区 北西から）



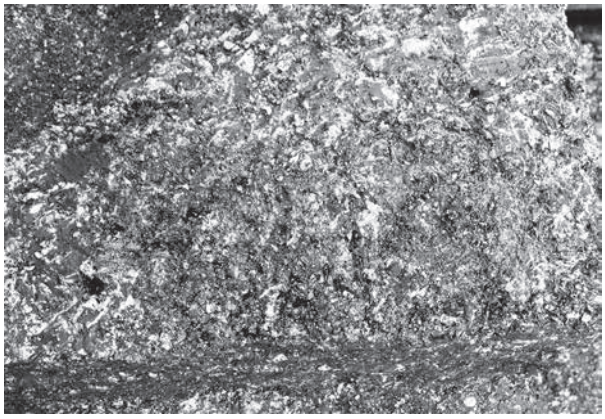
7　1 面 294 号遺構検出状況（A 区 北から）



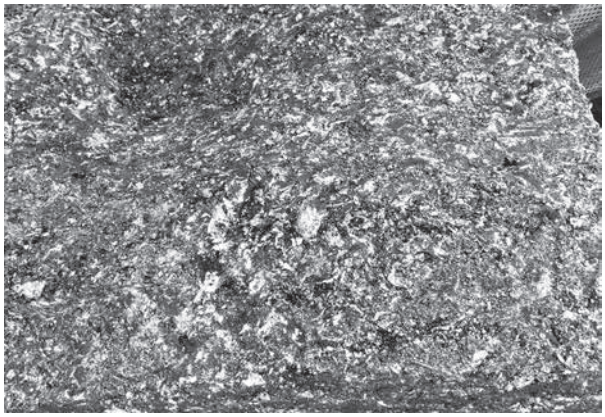
8　1 面 295 号遺構検出状況（A 区 北から）



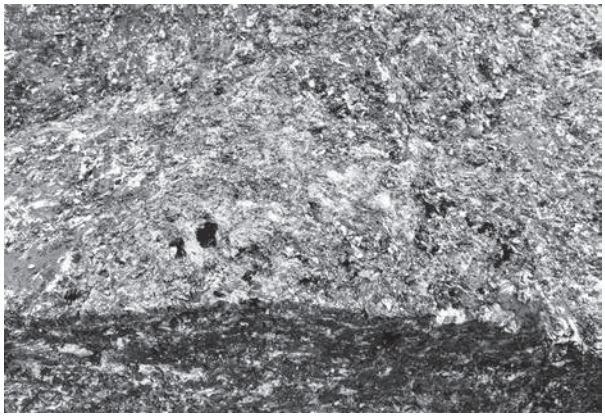
1　1 面 295 号遺構完掘状況（A 区 西から）



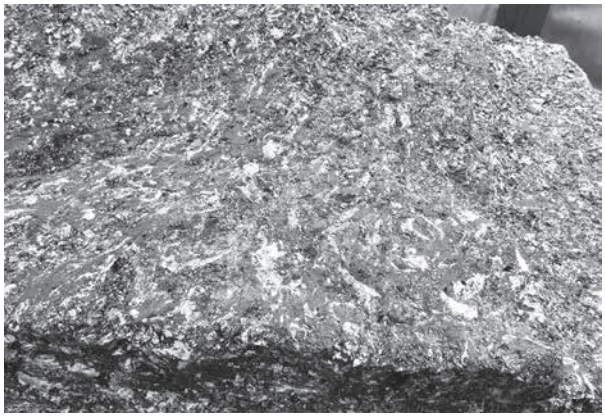
2　1 面 296 号遺構検出状況（A 区 東から）



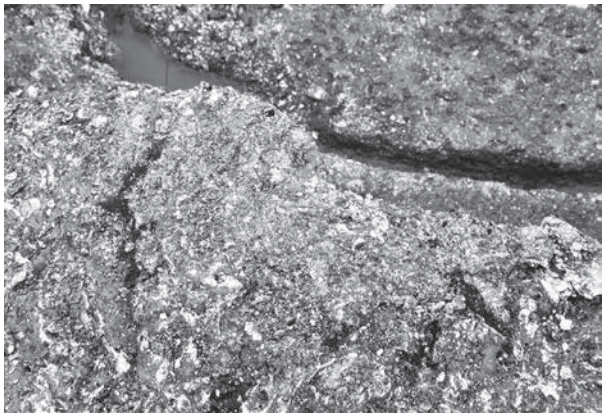
3　1 面 296 号遺構完掘状況（A 区 東から）



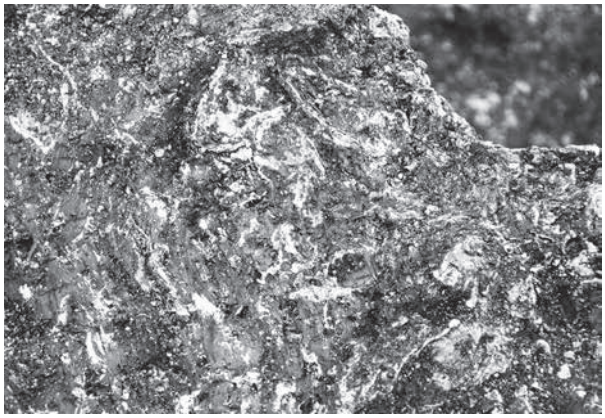
4　1 面 297 号遺構検出状況（A 区 東から）



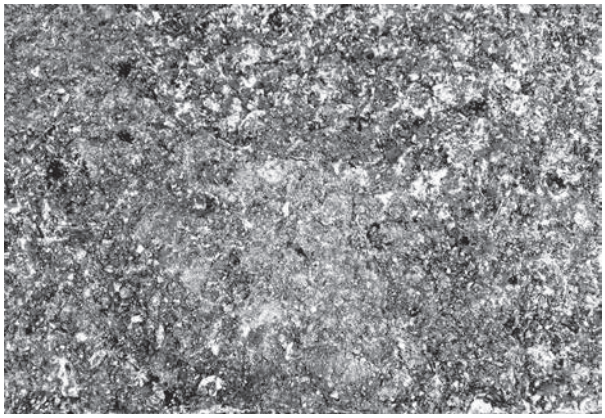
5　1 面 297 号遺構完掘状況（A 区 東から）



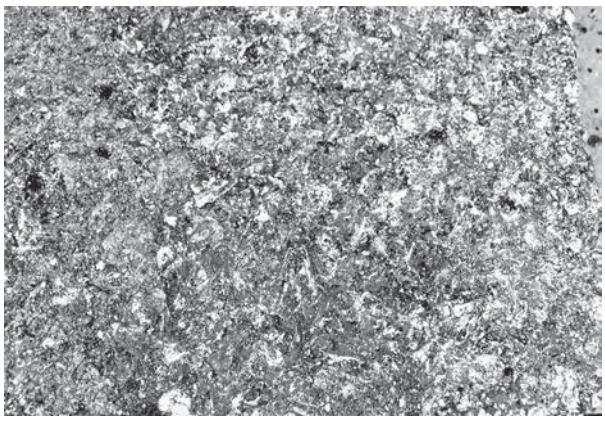
6　1 面 298 号遺構検出状況（A 区 南から）



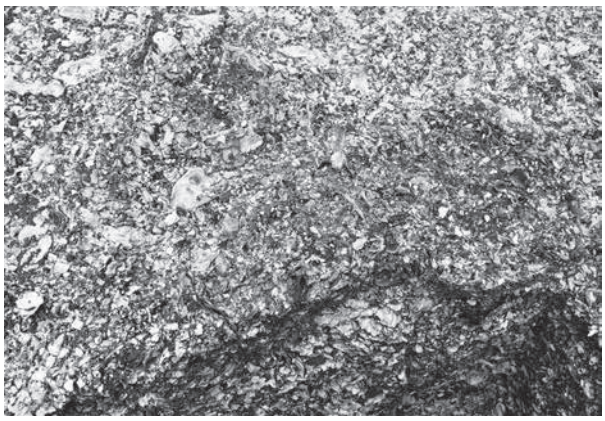
7　1 面 298 号遺構完掘状況（A 区 南から）



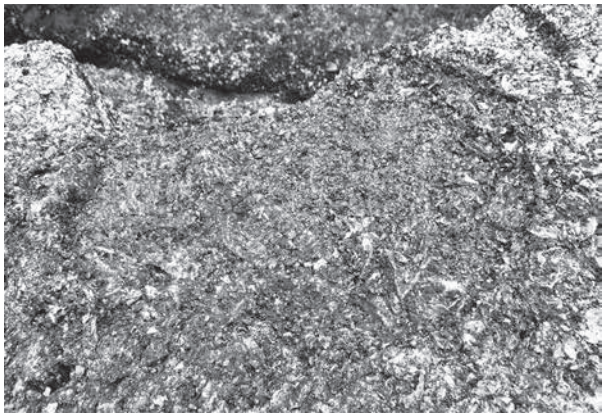
8　1 面 299 号遺構検出状況（A 区 北から）



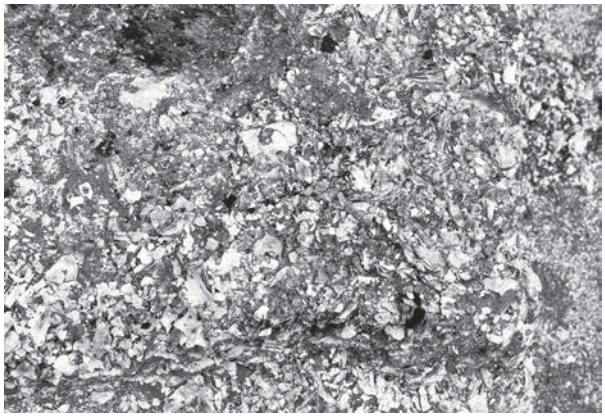
1　1 面 299 号遺構完掘状況（A 区 北から）



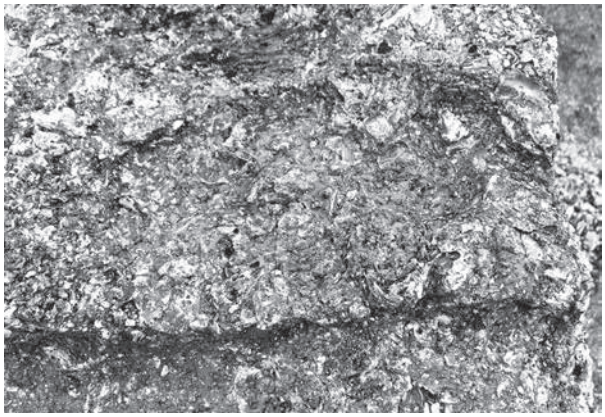
2　1 面 300 号遺構検出状況（A 区 北東から）



3　1 面 300 号遺構完掘状況（A 区 南から）

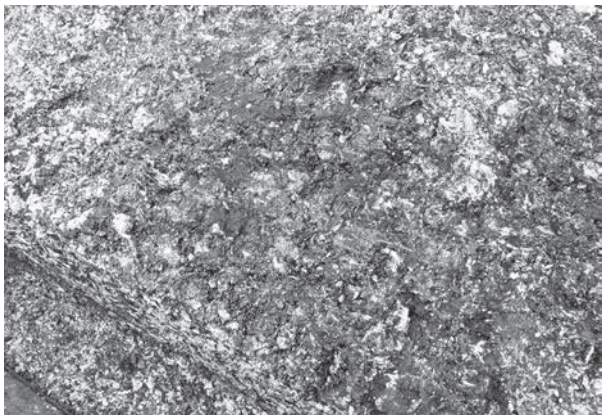


4　1 面 301 号遺構検出状況（A 区 東から）

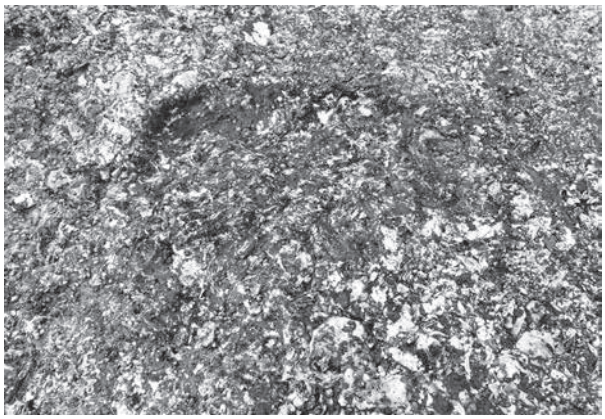


5　1 面 301 号遺構完掘状況（A 区 東から）

6　1 面 302・303 号遺構土層堆積状況（A 区 北西から）

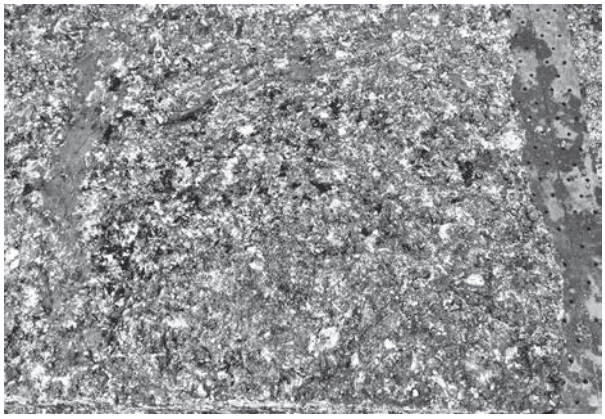


7　1 面 302 号遺構完掘状況（A 区 北西から）

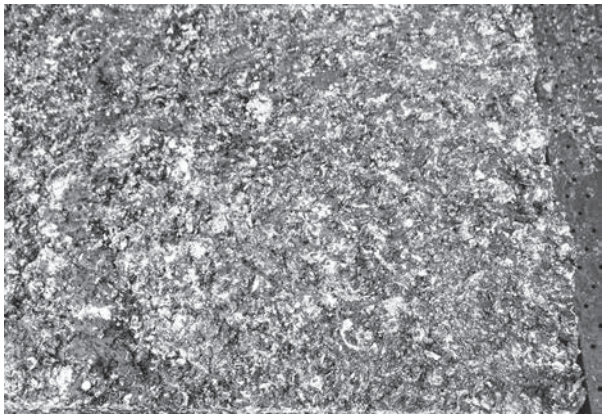


8　1 面 303 号遺構完掘状況（A 区 北西から）

図版 68

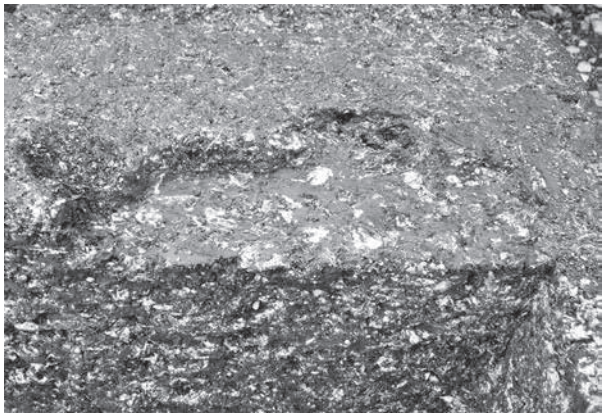


1　1 面 304 号遺構検出状況（A 区 北から）

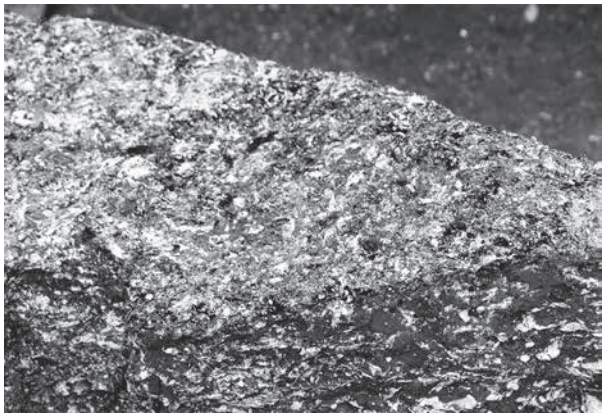


2　1 面 304 号遺構完掘状況（A 区 北から）

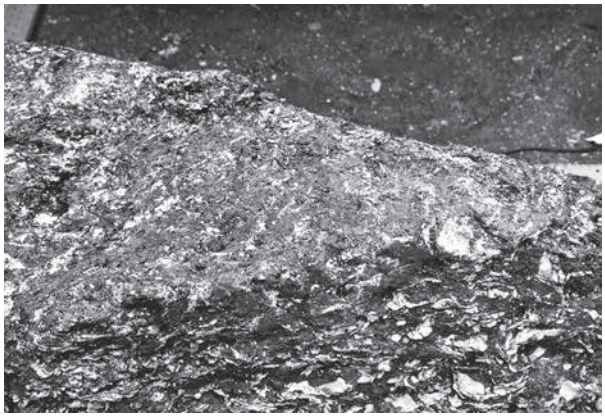
3　1 面 305 号遺構土層堆積状況（A 区 北から）



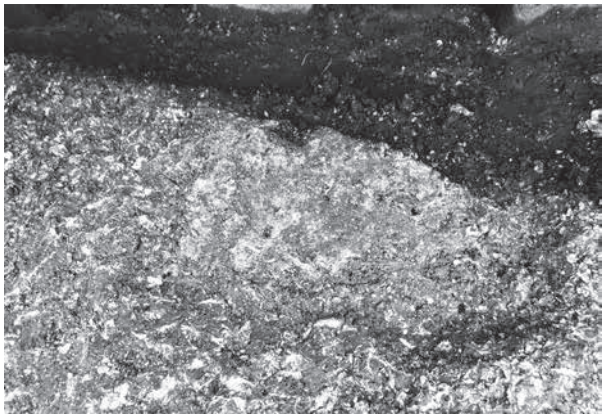
4　1 面 305 号遺構完掘状況（北から）



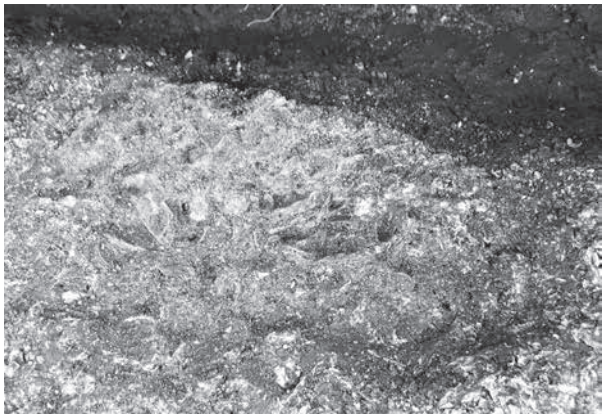
5　1 面 306 号遺構検出状況（A 区 東から）



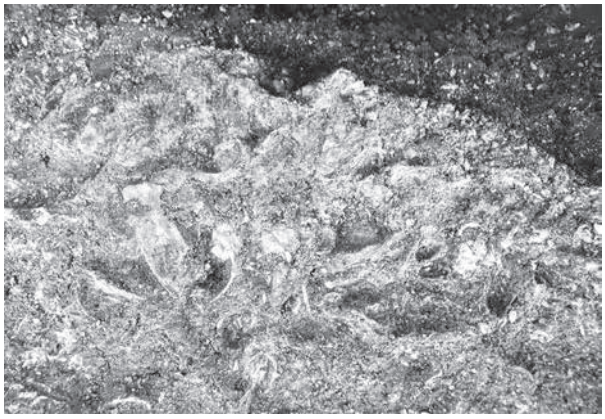
6　1 面 306 号遺構完掘状況（A 区 東から）



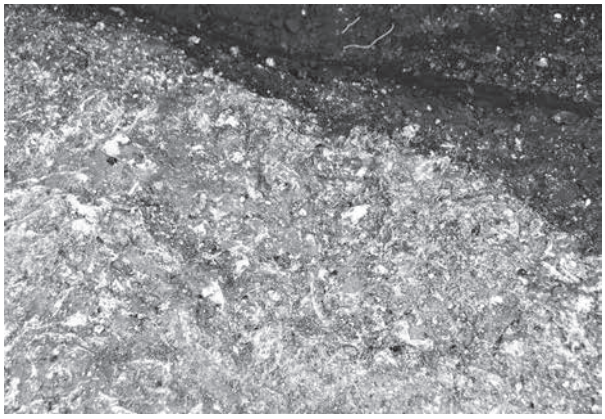
7　1 面 307 号遺構検出状況（A 区 北から）



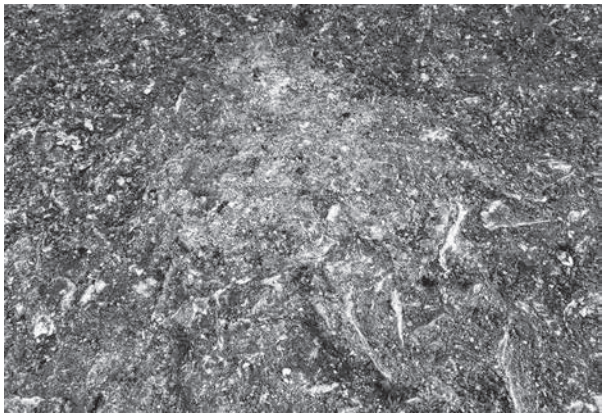
8　1 面 307 号遺構完掘状況（A 区 北から）



1　1 面 308 号遺構検出状況（A 区 北から）



2　1 面 308 号遺構完掘状況（A 区 北から）

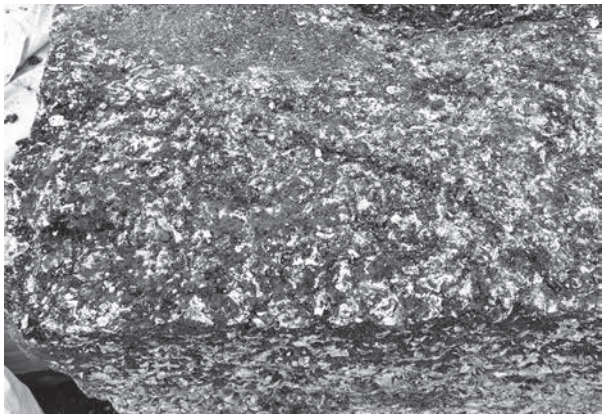


3　1 面 309 号遺構検出状況（A 区 北から）

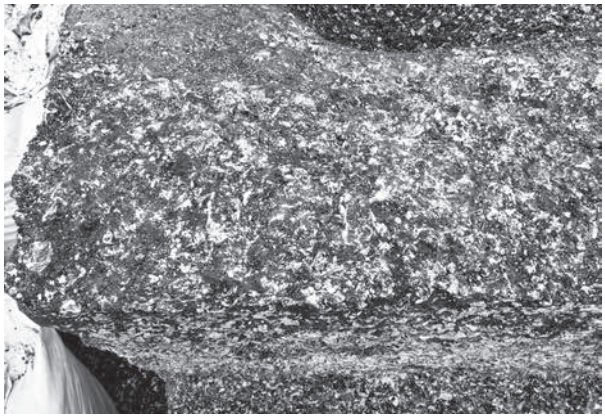
4　1 面 309 号遺構完掘状況（A 区 北から）

5　1 面 310 号遺構検出状況（A 区 南から）

6　1 面 310 号遺構完掘状況（A 区 南から）

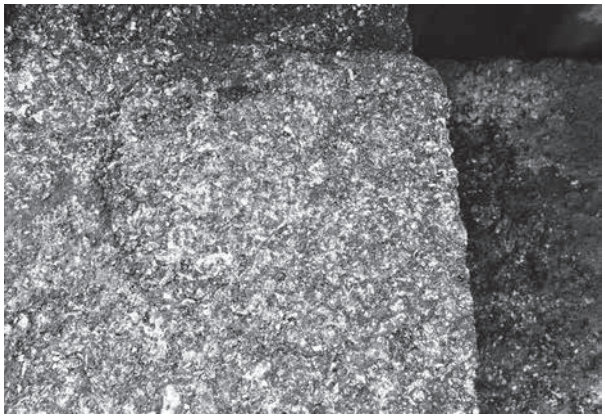


7　1 面 311 号遺構検出状況（A 区 北から）

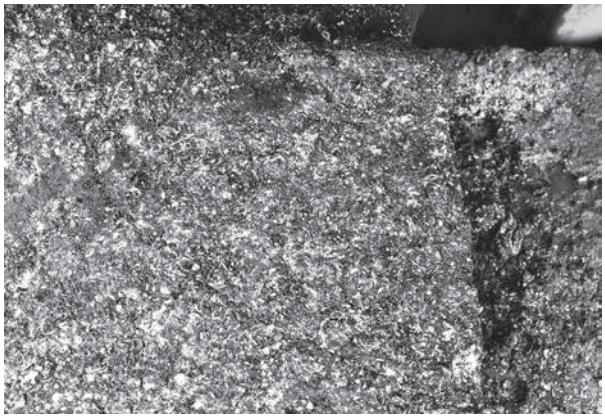


8　1 面 311 号遺構完掘状況（A 区 北から）

図版 70

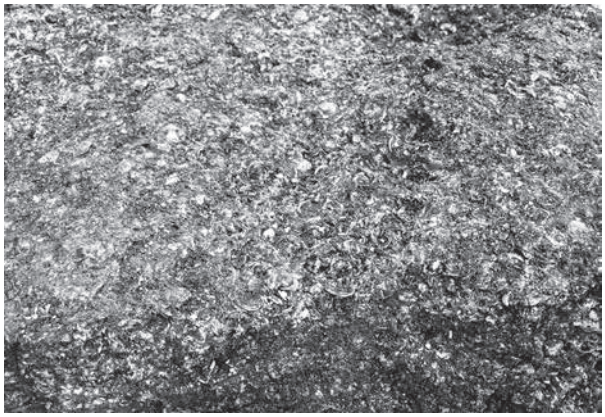


1　1 面 312 号遺構検出状況（A 区 南から）

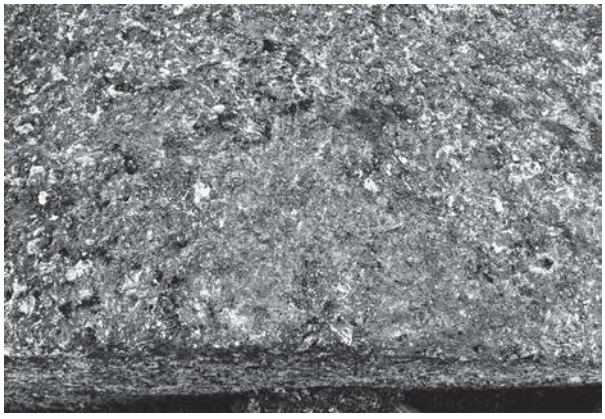


2　1 面 312 号遺構完掘状況（A 区 北から）

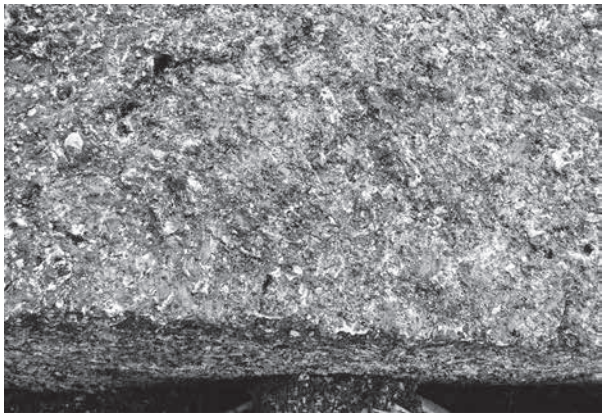
3　1 面 313 号遺構検出状況（A 区 西から）



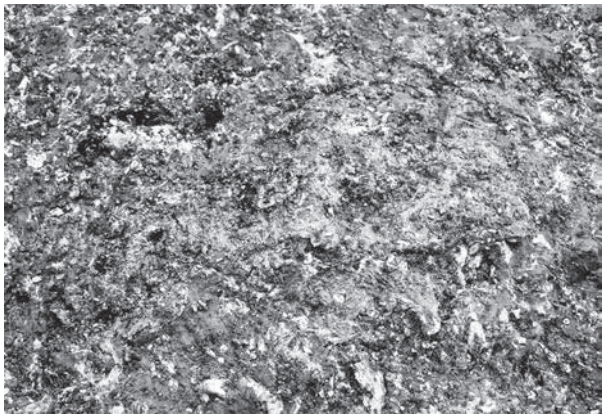
4　1 面 313 号遺構完掘状況（A 区 西から）



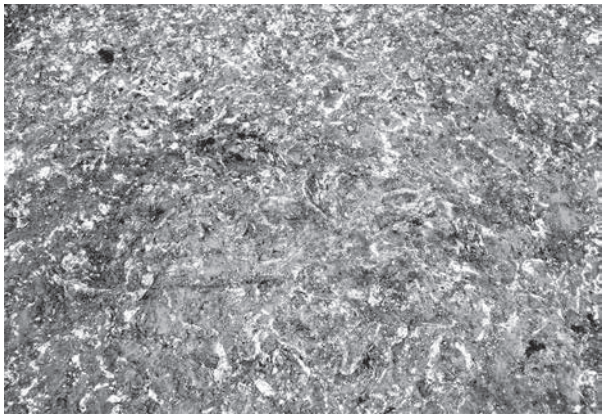
5　1 面 314 号遺構検出状況（A 区 東から）



6　1 面 314 号遺構完掘状況（A 区 東から）

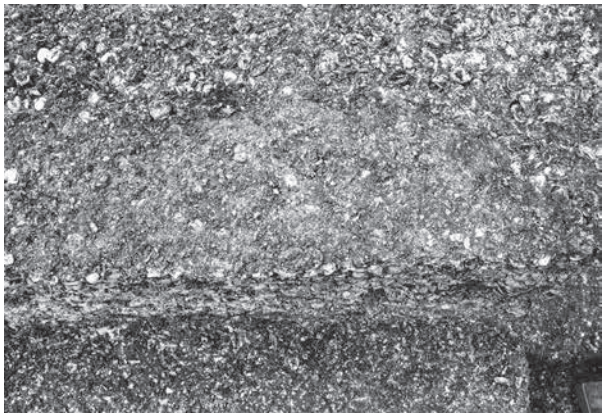


7　1 面 315 号遺構検出状況（A 区 東から）

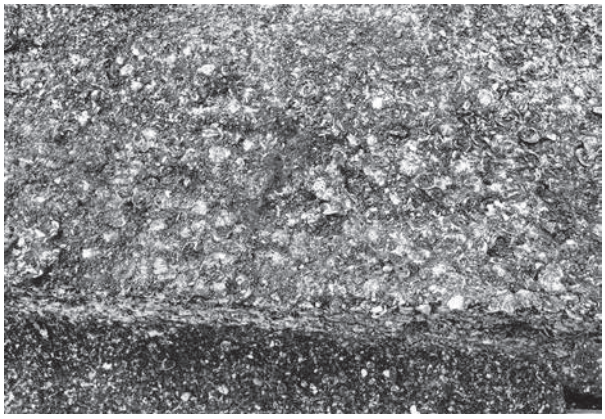


8　1 面 315 号遺構完掘状況（A 区 東から）

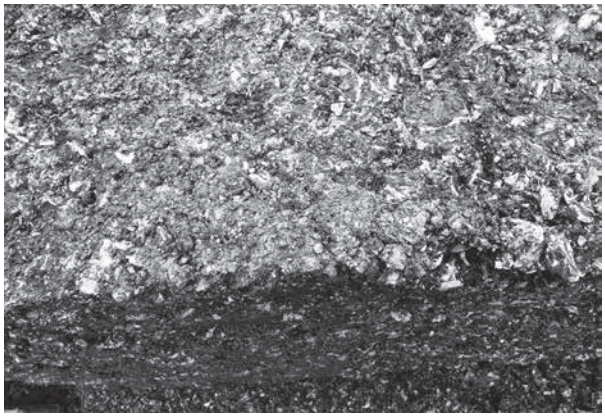
図版 71



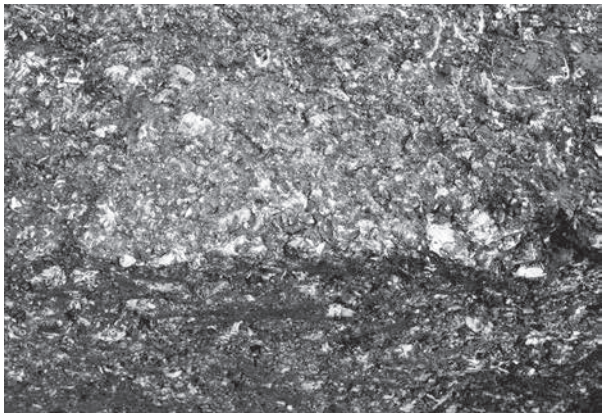
1　1 面 316 号遺構検出状況（A 区 北から）



2　1 面 316 号遺構完掘状況（A 区 北から）



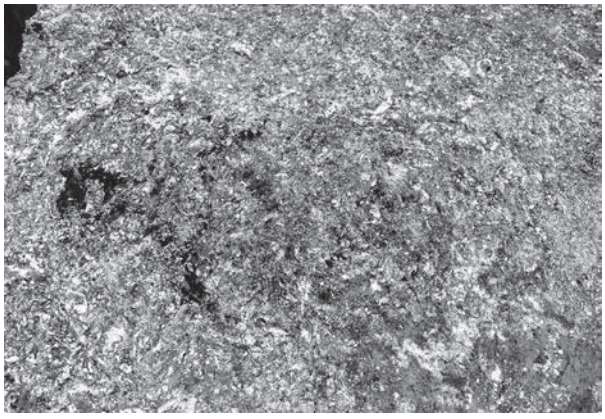
3　1 面 317 号遺構検出状況（A 区 北から）



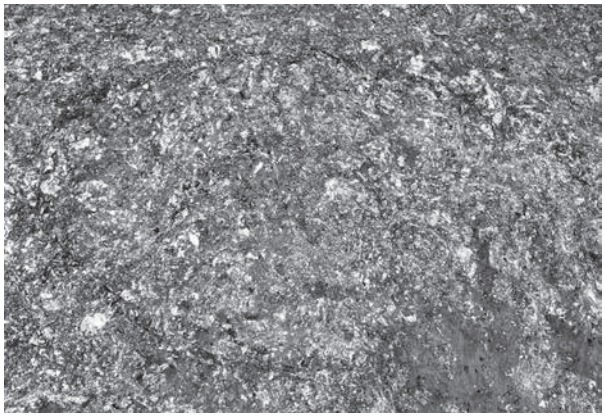
4　1 面 317 号遺構完掘状況（A 区 北から）

5　1 面 319 号遺構検出状況（A 区 西から）

6　1 面 319 号遺構完掘状況（A 区 西から）

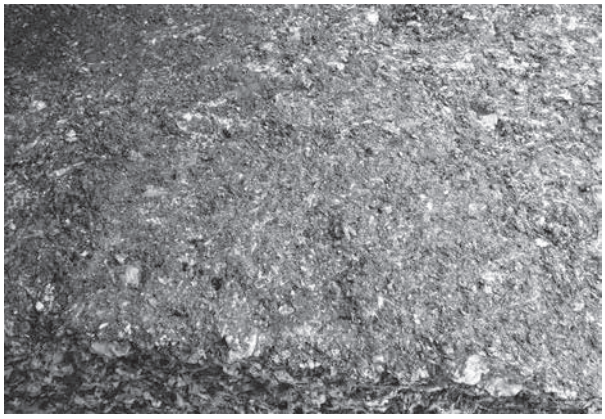


7　1 面 320 号遺構検出状況（A 区 北から）



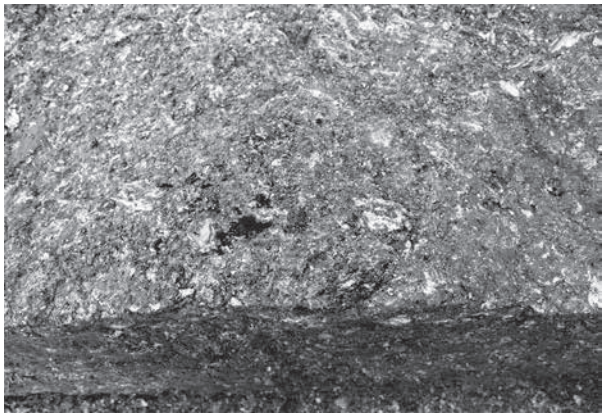
8　1 面 320 号遺構完掘状況（A 区 北から）

図版 72

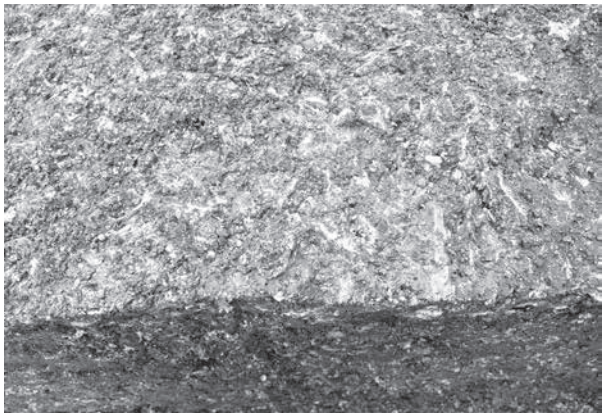


1　1 面 321 号遺構検出状況（A 区 東から）

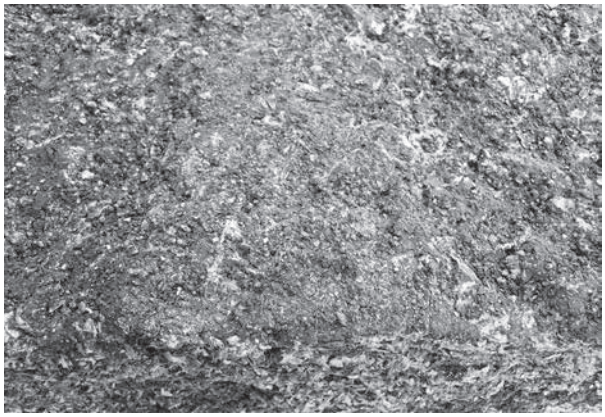
2　1 面 321 号遺構完掘状況（A 区 東から）



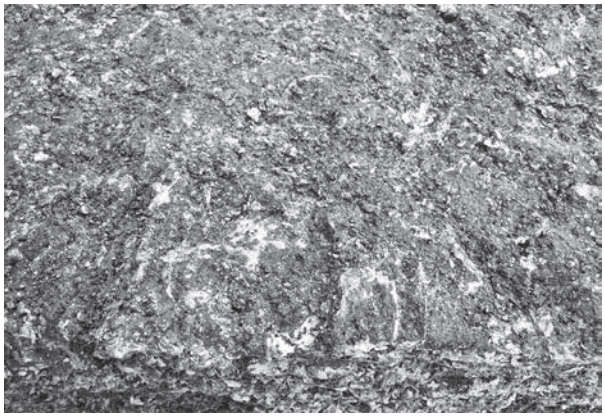
3　1 面 322 号遺構検出状況（A 区 西から）



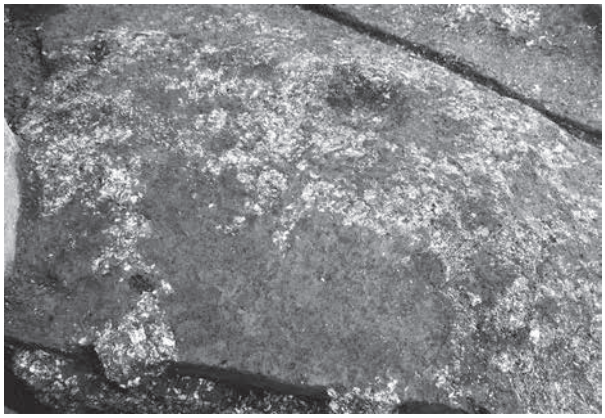
4　1 面 322 号遺構完掘状況（A 区 西から）



5　1 面 323 号遺構検出状況（A 区 東から）



6　1 面 323 号遺構完掘状況（A 区 東から）



7　1 面 79 号遺構検出状況（A 区 北から）

8　1 面 79 号遺構東西土層堆積状況（A 区 北東から）

1　1 面 79 号遺構南北土層堆積状況（A 区 北西から）

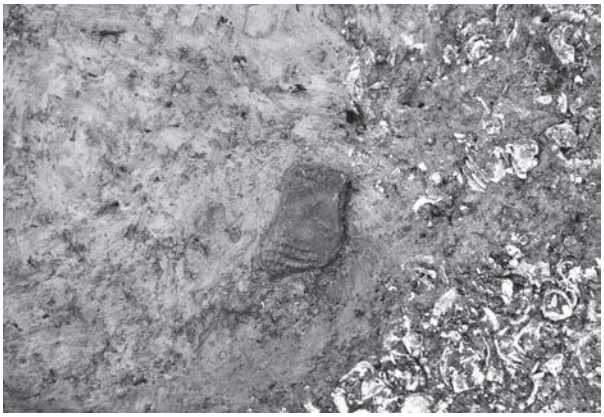
2　1 面 79 号遺構完掘状況（A 区 北から）

3　1 面 106 号遺構灰層範囲検出状況（A 区 北東から）

4　1 面 107 号遺構灰層範囲検出状況（A 区 北東から）

5　1 面 135 号遺構灰層範囲検出状況（A 区 北西から）

6　1 面 153 号遺構土器出土状況（A 区 南西から）



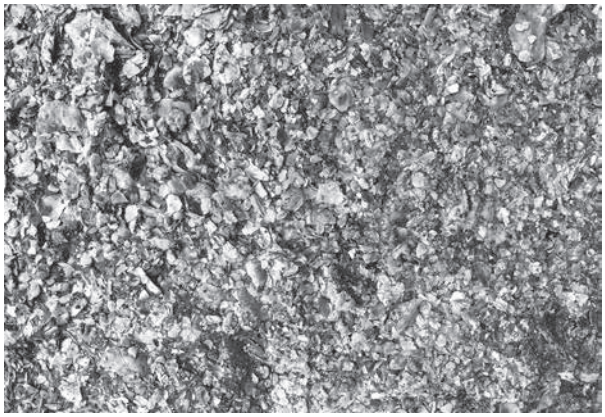
7　1 面 153 号遺構土器出土状況接写（A 区 南西から）

8　1 面 153・154 号遺構半裁状況（A 区 南西から）

1　1 面 153 号遺構完掘状況（A 区 南西から）

2　1 面 154 号遺構完掘状況（A 区 南西から）

3　2 面検出作業風景（B 区 南西から）



4　2 面 破砕貝層平面検出状況（B 区 北から）

5　2 面 破砕貝層堆積状況接写（B 区 西から）

6　2 面検出作業風景（A 区 北東から）

7　2 面貝層堆積状況その 1（A 区 北から）

8　2 面貝層堆積状況その 2（A 区 北から）

1　2 面 B 区東側全景（B 区 南から）

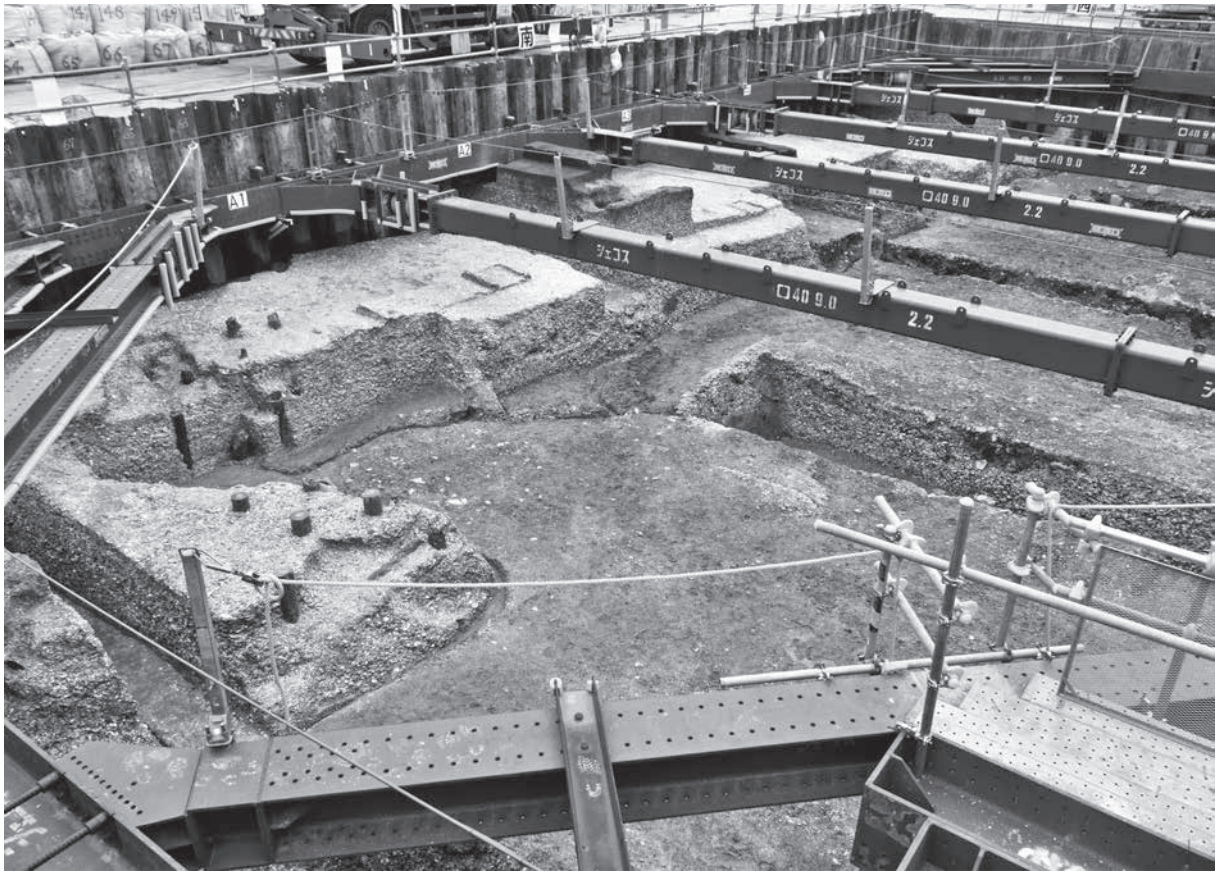
2　2 面 B 区中央全景（B 区 南から）

図版 76

1　2 面 B 区 Sec.3 南側付近全景（B 区 南から）

2　2 面 B 区西側全景（B 区 南から）

図版 77



1　2 面 A 区全景（A 区 北東から）

2　2 面 A 区全景（A 区 北西から）

図版 78

1　3 面 ハマグリ集中箇所全景（A 区 北西から）

2　3 面 ハマグリ集中状況その 1（A 区 北西から）

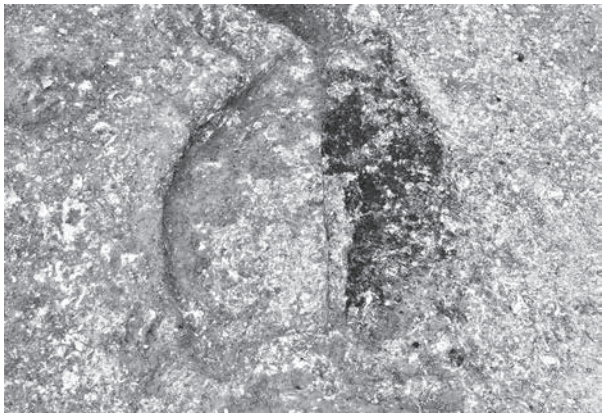
3　3 面 ハマグリ集中状況その 2（A 区 北から）

4　3 面 北西側ハマグリ集中状況その 3（A 区 南東から）

5　3 面 北西側ハマグリ集中状況接写（A 区 北東から）

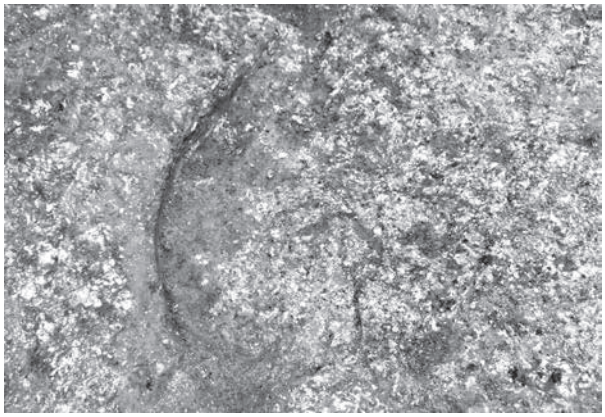
1　3 面 A 区東側ハマグリ集中状況（A 区 北から）

2　3 面 A 区中央ハマグリ層直下マガキ検出状況（A 区 北から）

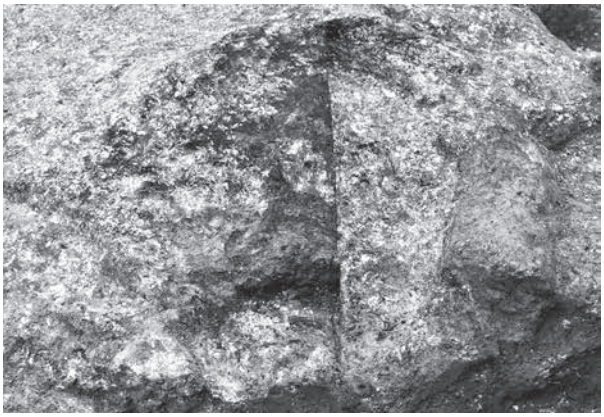


3　3 面 2 号遺構検出・半裁状況（B 区 北から）

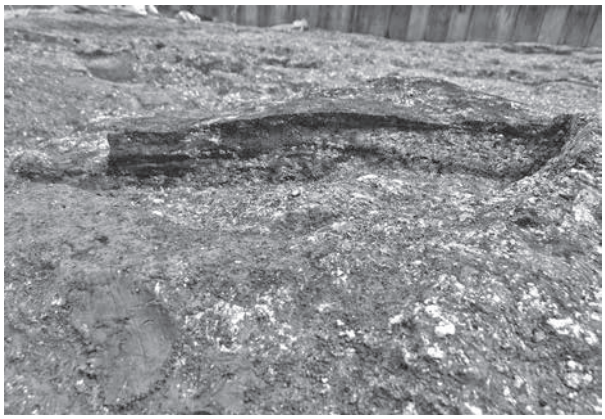
4　3 面 2 号遺構土層堆積状況（B 区 東から）



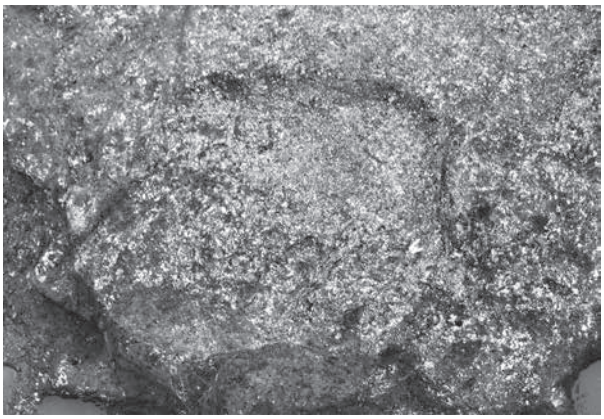
5　3 面 2 号遺構完掘状況（B 区 北から）



6　3 面 3a 号遺構検出・半裁状況（B 区 西から）

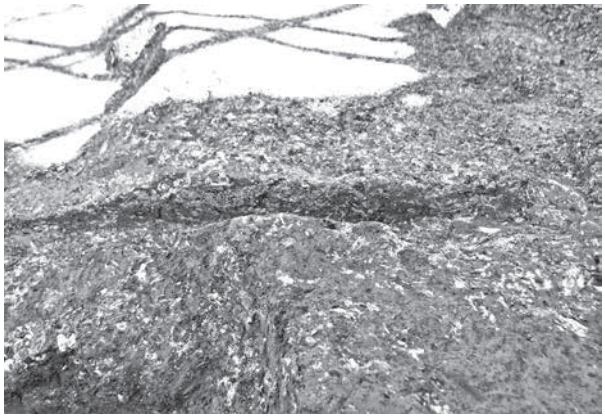


7　3 面 3a 号遺構土層堆積状況（B 区 南から）



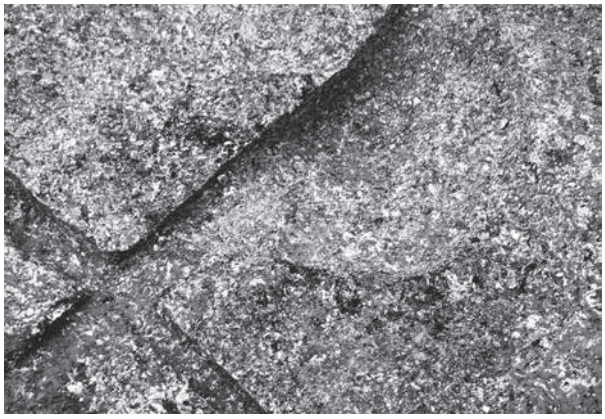
8　3 面 3a 号遺構完掘状況（B 区 東から）

1　3 面 3b 号遺構検出状況（B 区 南から）



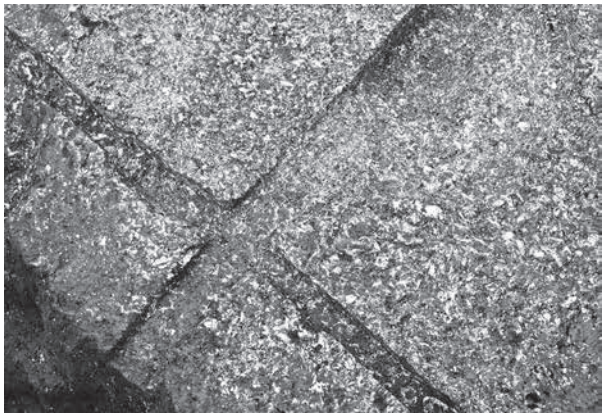
2　3 面 3b 号遺構土層堆積状況（B 区 南から）

3　3 面 3b 号遺構完掘状況（B 区 南から）

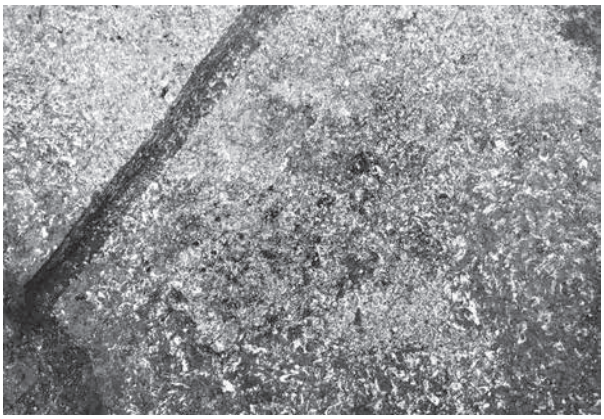


4　3 面 3c 号遺構炭化物・灰層検出状況（B 区 南から）

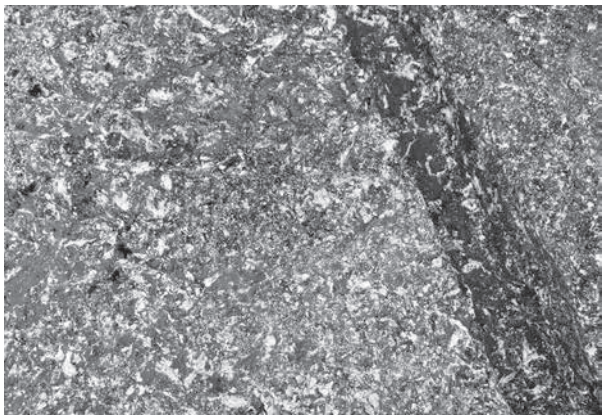
5　3 面 3c 号遺構礫検出状況（B 区 南東から）



6　3 面 3c 号遺構完掘状況 (B 区 南から）

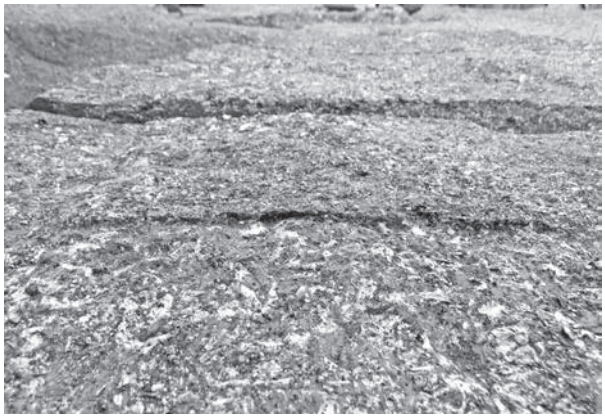


7　3 面 3d~g 号遺構検出状況（B 区 南から）

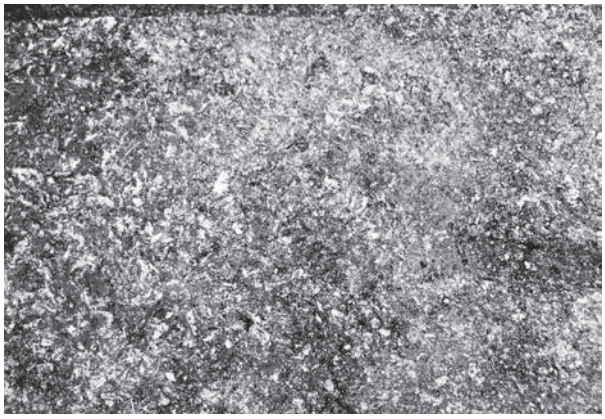


8　3 面 3d 号遺構完掘状況（B 区 西から）

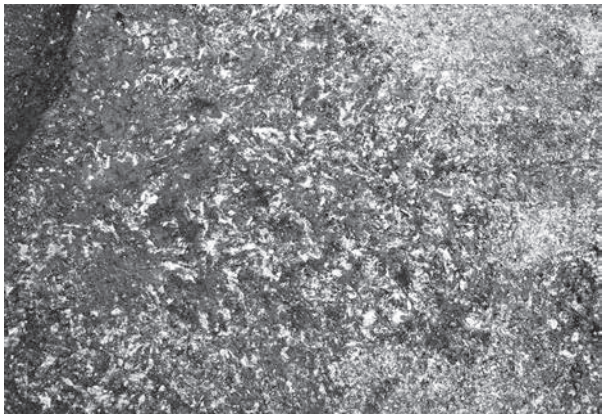
図版 81



1　3 面 3e・f 号遺構土層堆積状況（B 区 南から）

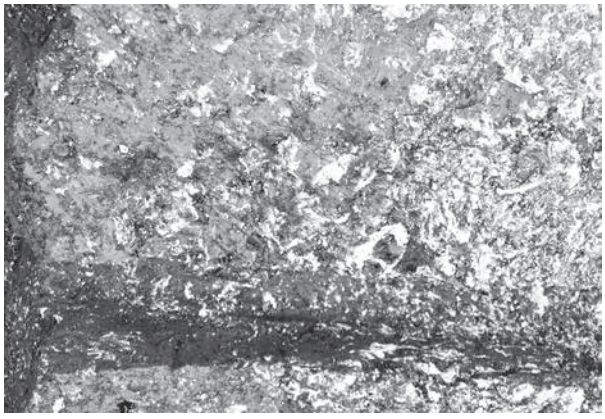


2　3 面 3e 号遺構完掘状況（B 区 東から）

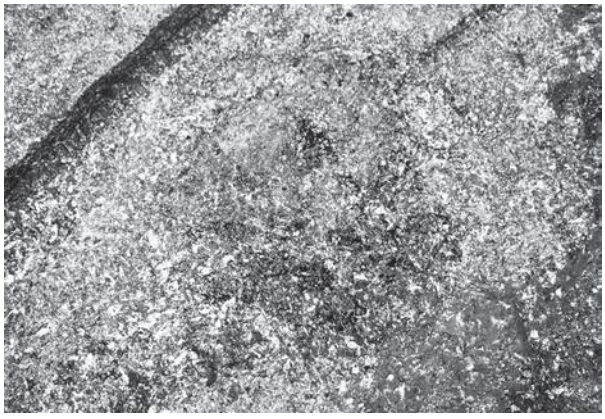


3　3 面 3f 号遺構完掘状況（B 区 東から）

4　3 面 3g 号遺構土層堆積状況（B 区 南から）

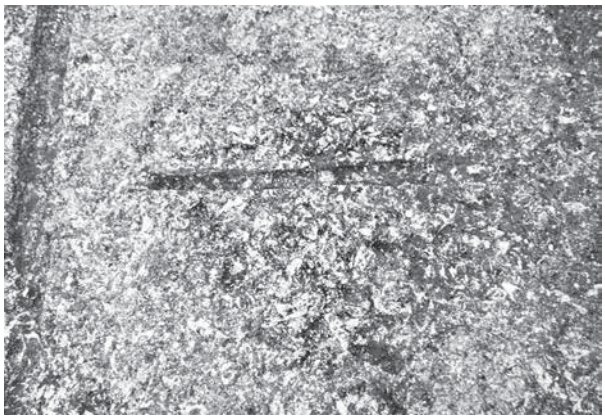


5　3 面 3g 号遺構完掘状況（B 区 南から）

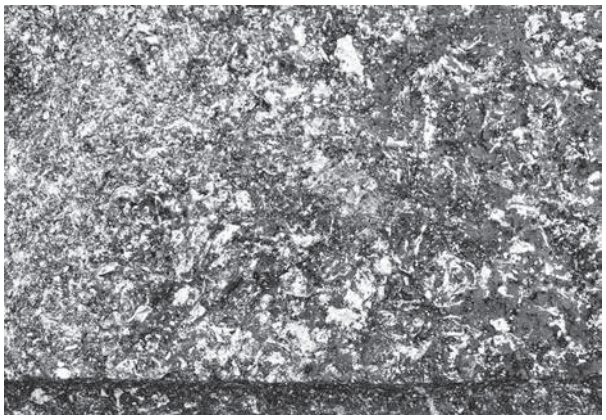


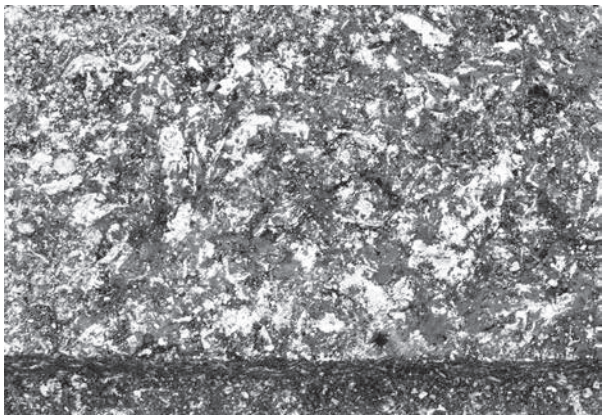
6　3 面 3h 号遺構検出状況（B 区 南から）

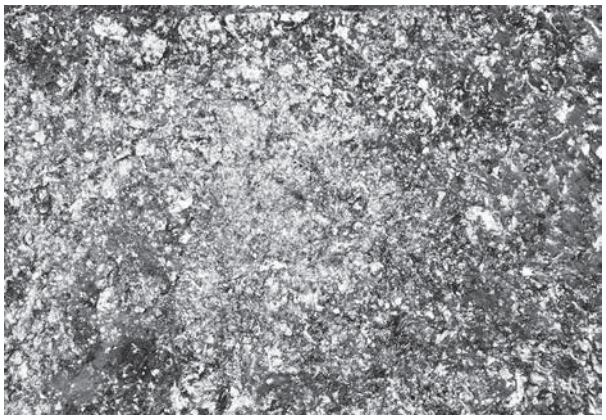
7　3 面 3h 号遺構土層堆積状況（B 区 南から）



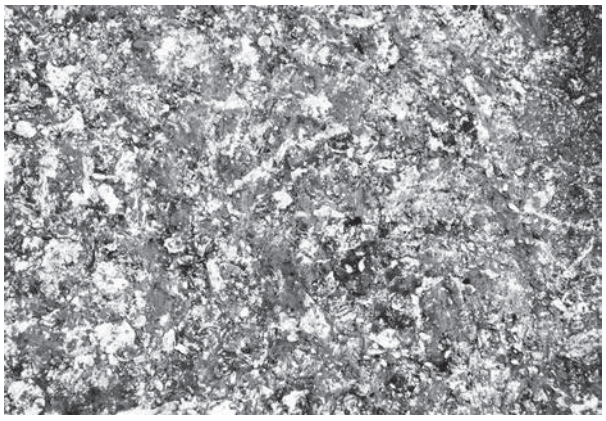
8　3 面 3h 号遺構完掘状況（B 区 南から）


1　3 面 3i 号遺構検出状況（B 区 東から）

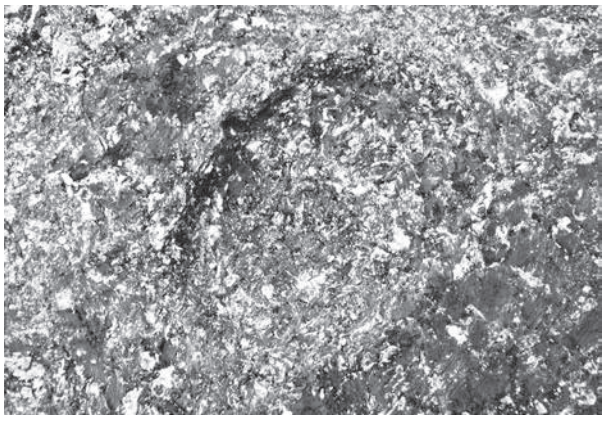

2　3 面 3i 号遺構完掘状況（ B 区 東から）

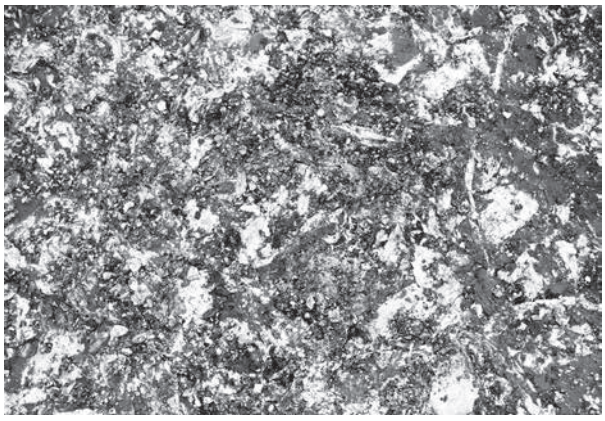

3　3 面 3j 号遺構検出状況（B 区 南東から）

4　3 面 3j 号遺構土層堆積状況（B 区 南から）

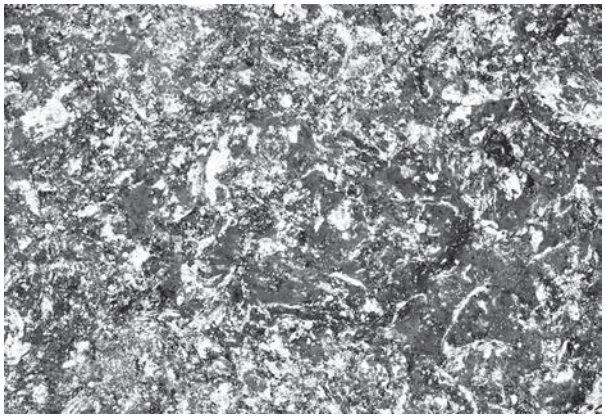

5　3 面 3j 号遺構完掘状況（B 区 北から）

6　3 面 3k 号遺構土層堆積状況（B 区 南から）

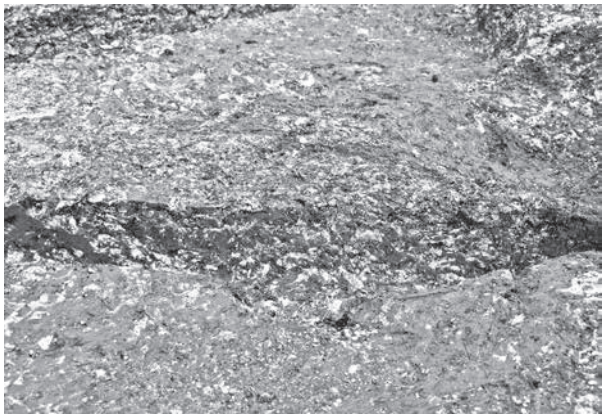

7　3 面 3k 号遺構完掘状況（B 区 南から）


8　3 面 3l 号遺構検出状況（B 区 北から）

図版 83

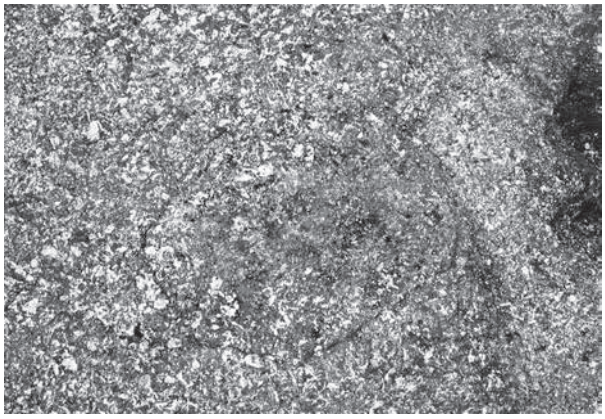


1　3 面 3l 号遺構完掘状況（B 区 北から）



2　3 面 4 号遺構土層堆積状況（B 区 南西から）

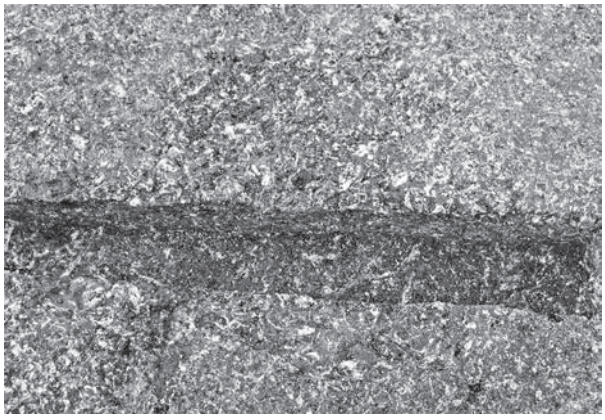
3　3 面 4 号遺構完掘状況（B 区 南から）



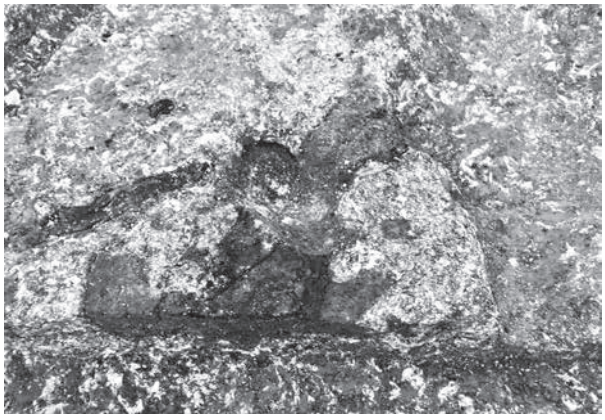
4　3 面 5 号遺構検出状況（B 区 西から）

5　3 面 5 号遺構完掘状況（B 区 北から）

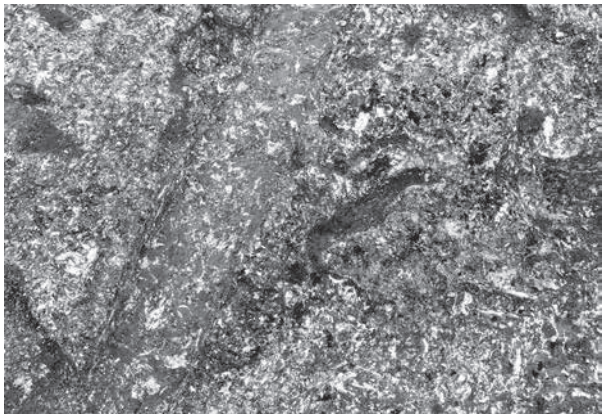
6　3 面 6 号遺構検出・土層堆積状況（B 区 東から）



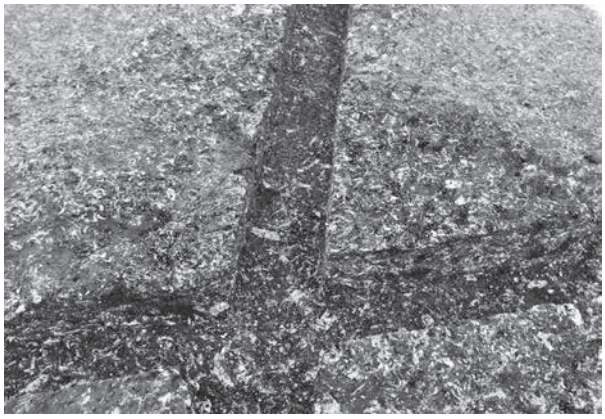
7　3 面 6 号遺構完掘状況（B 区 東から）



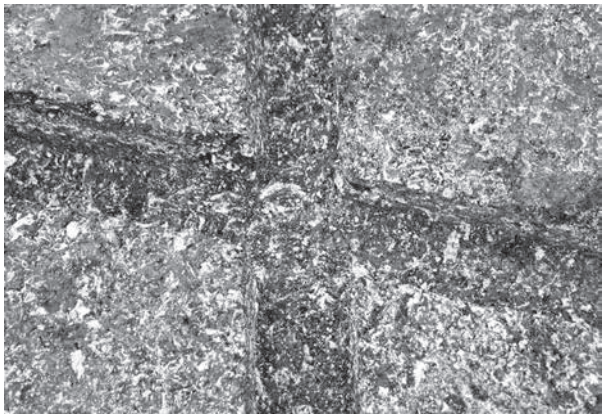
8　3 面 7a 号遺構検出状況（B 区 南から）



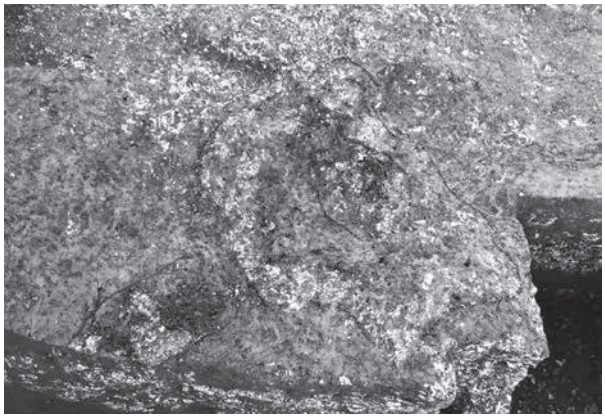
1　3 面 7b 号遺構検出状況（B 区 西から）



2　3 面 8 号遺構検出状況（B 区 南から）

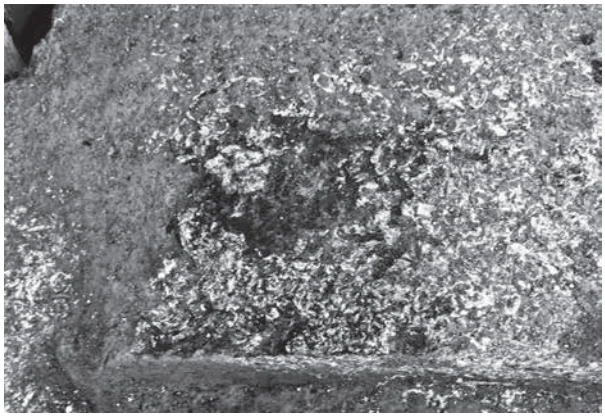


3　3 面 8 号遺構完掘状況（B 区 東から）

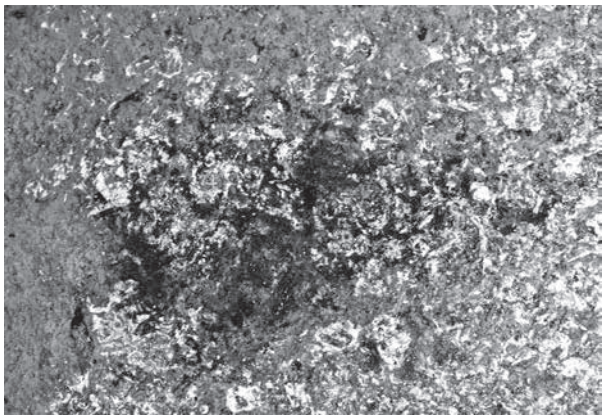


4　3 面 9・10 号遺構検出状況（B 区 東から）

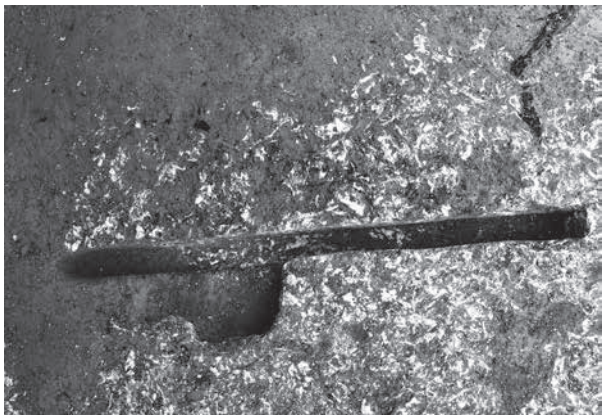
5　3 面 9・10 号遺構完掘状況（B 区 東から）



6　3 面 11a 号遺構検出状況（B 区 東から）



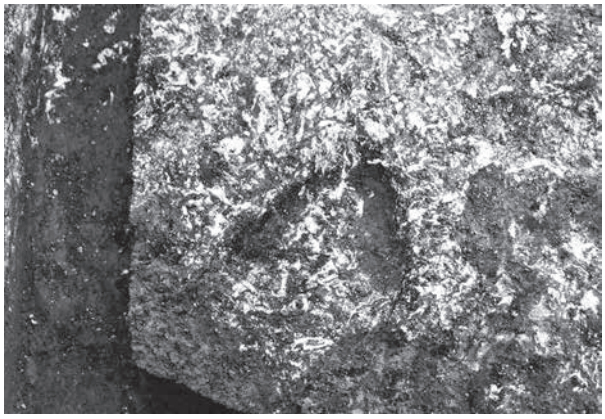
7　3 面 11b 号遺構検出状況（B 区 東から）



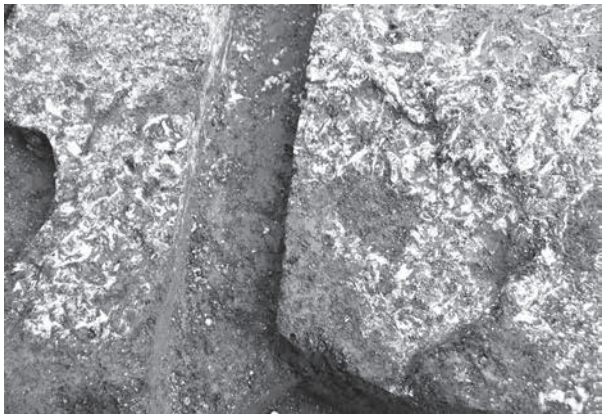
8　3 面 11b 号遺構完掘状況（B 区 東から）

図版 85

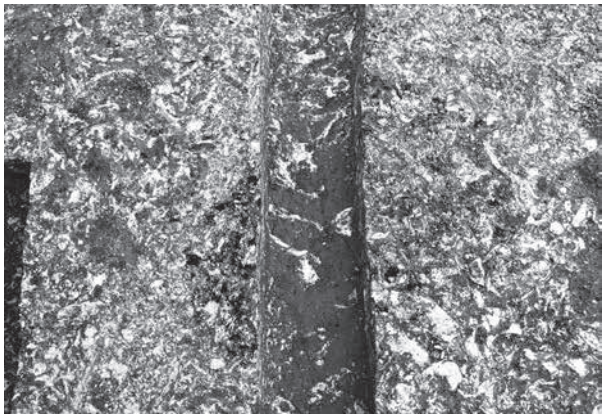
1　3 面 11c 号遺構検出状況（B 区 南から）



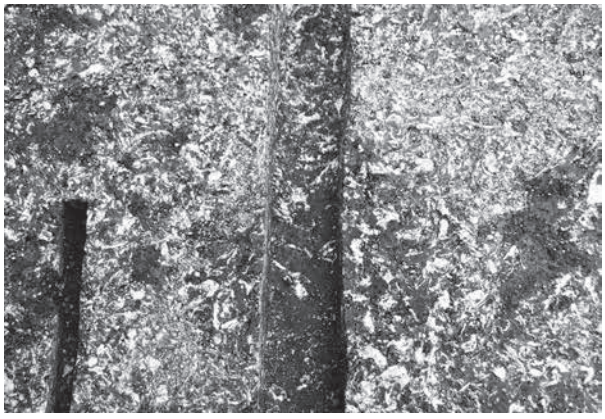
2　3 面 11c 号遺構完掘状況（B 区 南から）



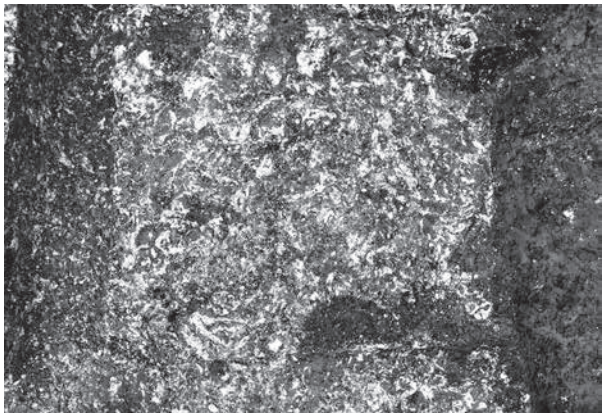
3　3 面 11d 号遺構完掘状況（B 区 南から）



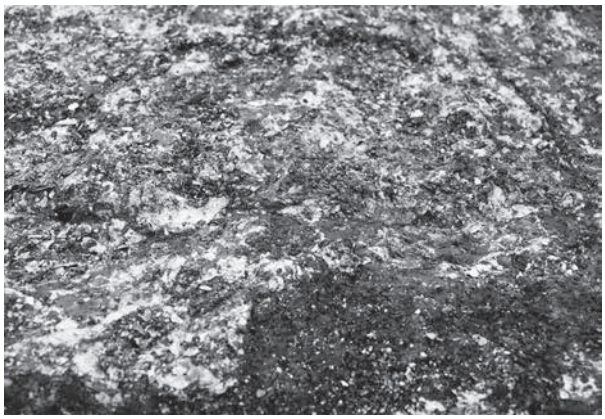
4　3 面 11e 号遺構検出状況（B 区 南から）



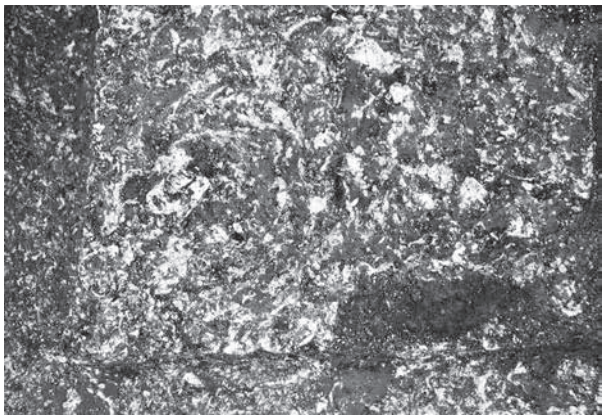
5　3 面 11e 号遺構完掘状況（B 区 南から）



6　3 面 11f 号遺構検出状況（B 区 北から）

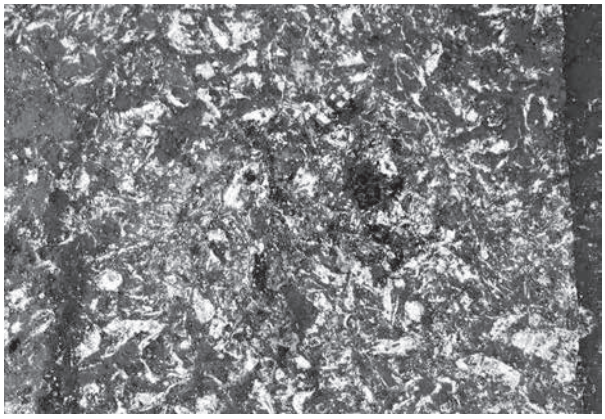


7　3 面 11f 号遺構土層堆積状況（B 区 北から）

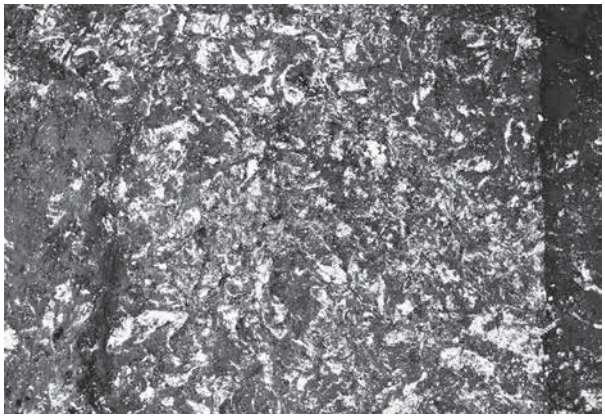


8　3 面 11f 号遺構完掘状況（B 区 北から）

図版 86



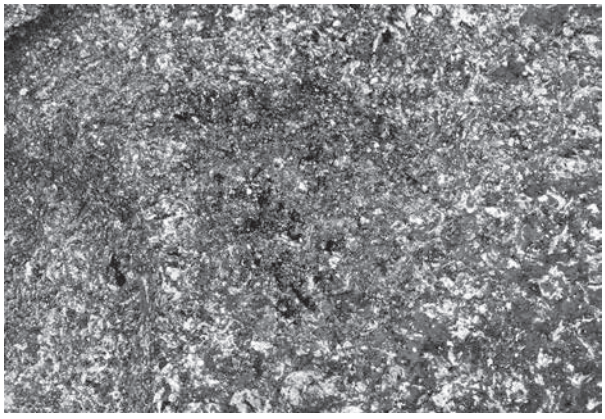
1　3 面 11g 号遺構検出状況（B 区 北から）



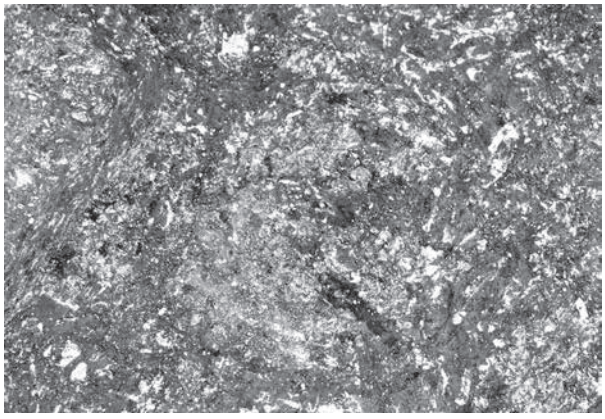
2　3 面 11g 号遺構完掘状況（B 区 北から）

3　3 面 12 号遺構検出状況（B 区 北から）

4　3 面 12 号遺構完掘状況（B 区 北から）

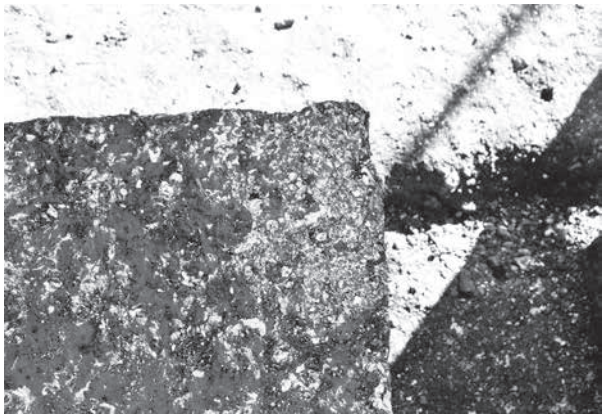


5　3 面 13 号遺構検出状況（B 区 南から）



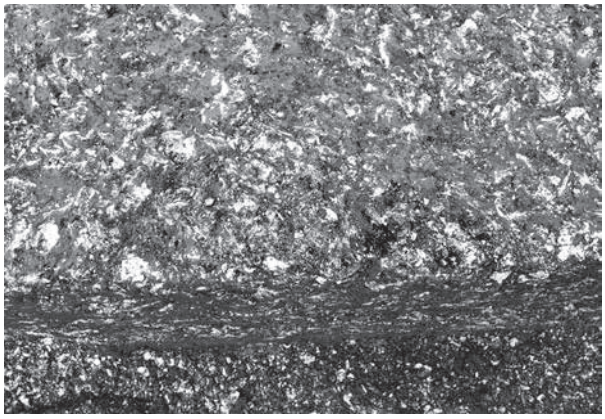
6　3 面 14 号遺構検出状況（B 区 北から）

7　3 面 15 号遺構検出状況（B 区 西から）

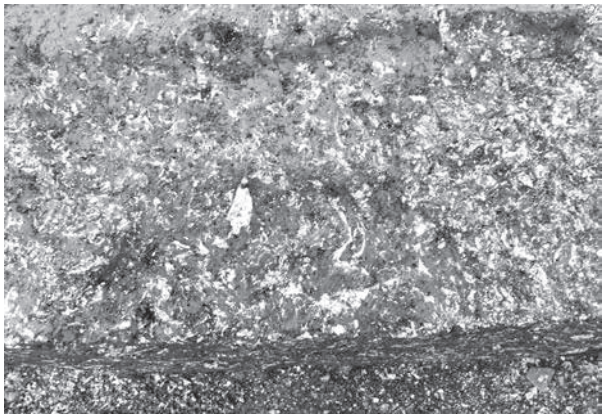


8　3 面 16 号遺構検出状況（B 区 西から）

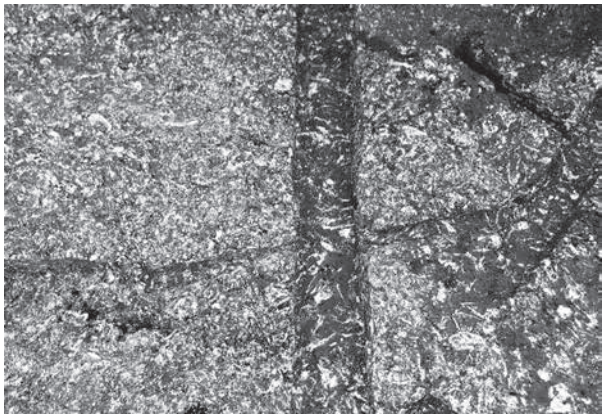
図版 87



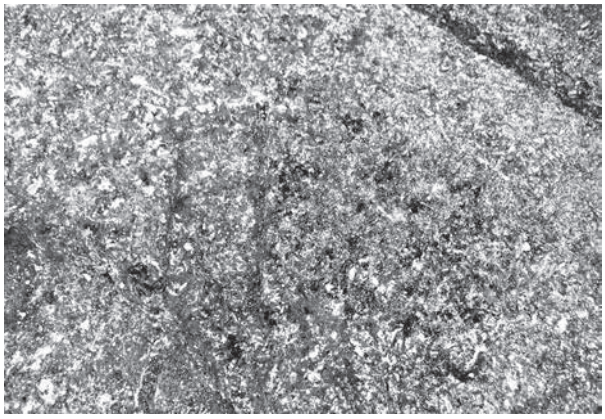
1　3 面 17 号遺構検出状況（B 区 東から）



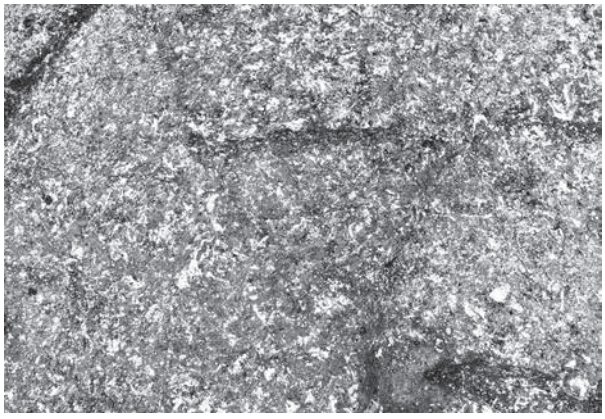
2　3 面 17 号遺構完掘状況（B 区 東から）



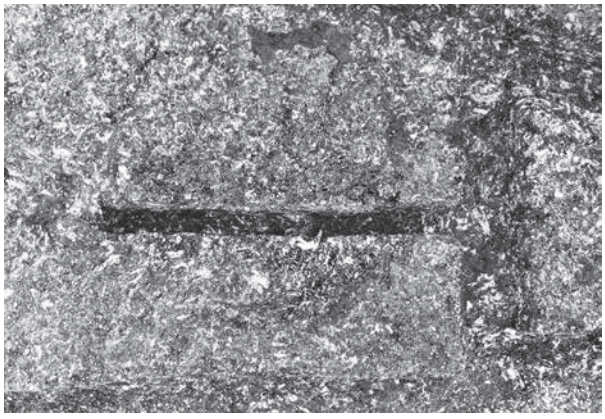
3　3 面 18 号遺構完掘状況（B 区 南から）



4　3 面 19 号遺構検出状況（B 区 西から）

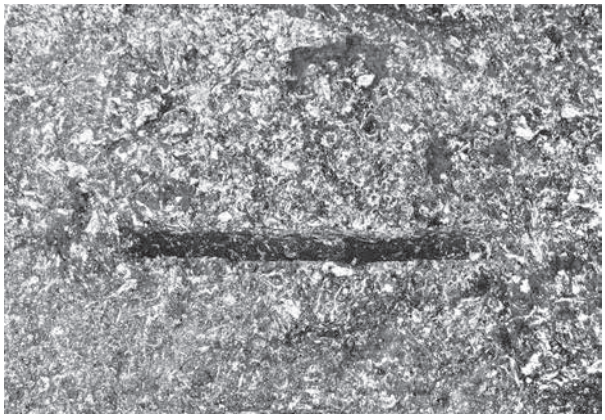


5　3 面 19 号遺構完掘状況（B 区 北から）

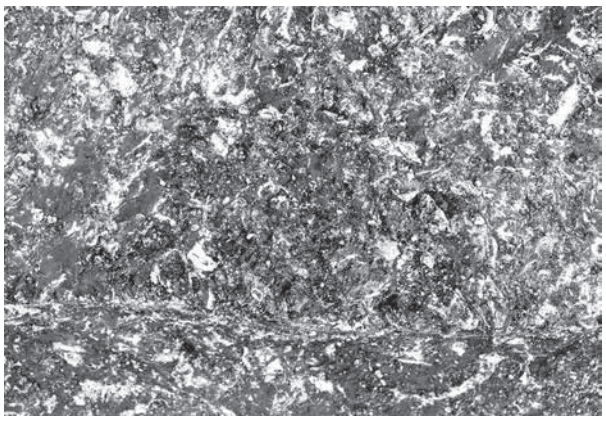


6　3 面 20a・b 号遺構検出状況（B 区 西から）

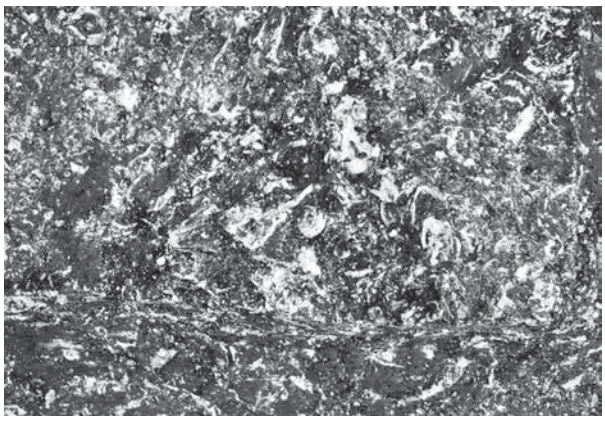
7　3 面 20a・b 号遺構土層堆積状況（B 区 西から）



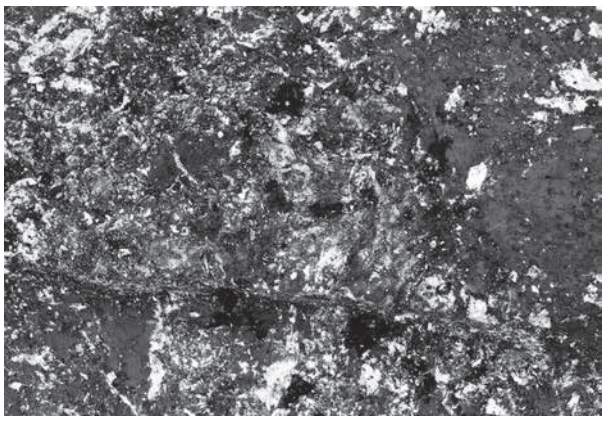
8　3 面 20a・b 号遺構完掘状況（B 区 西から）



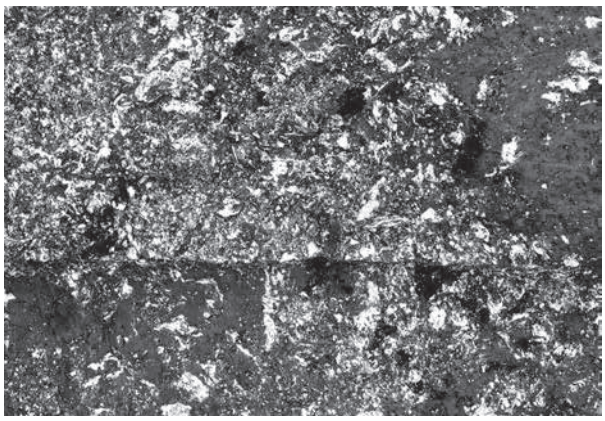
1　3 面 20c 号遺構検出状況（B 区 西から）



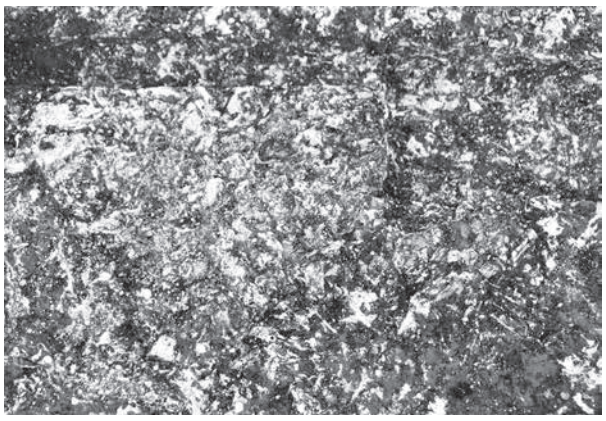
2　3 面 20c 号遺構完掘状況（B 区 西から）



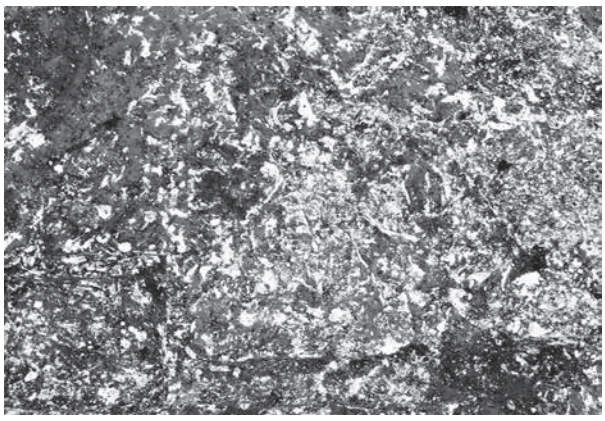
3　3 面 21 号遺構検出状況（B 区 西から）



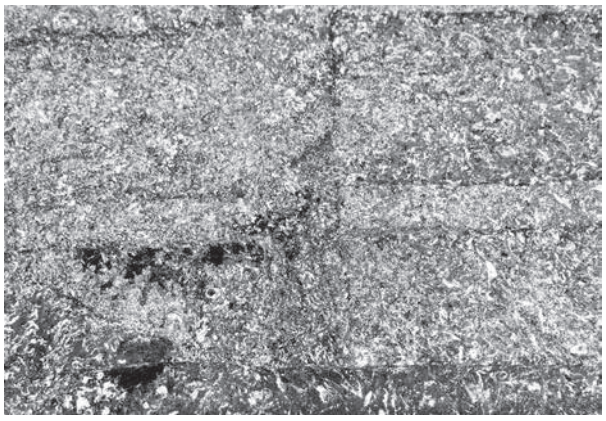
4　3 面 21 号遺構完掘状況（B 区 西から）



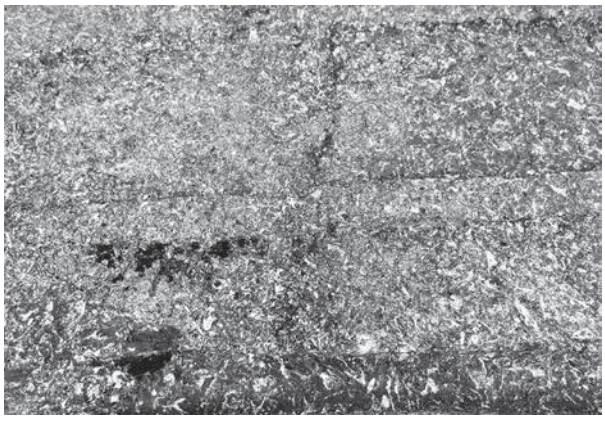
5　3 面 22 号遺構検出状況（B 区 西から）



6　3 面 22 号遺構完掘状況（B 区 西から）

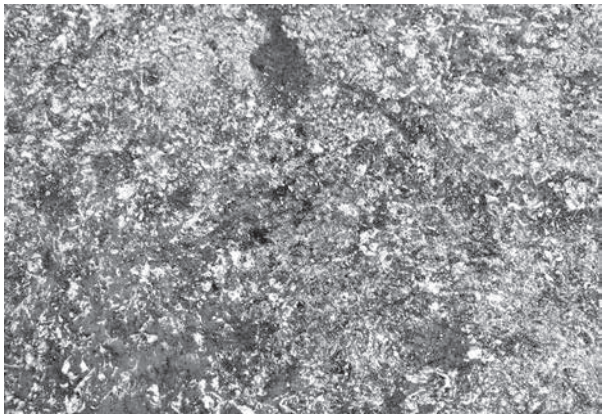


7　3 面 23 号遺構検出状況（B 区 南から）

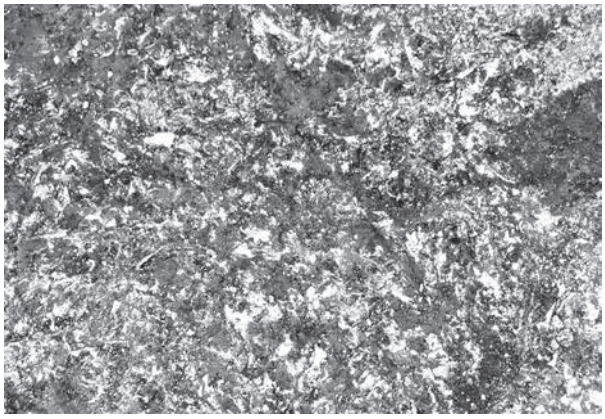


8　3 面 23 号遺構完掘状況（B 区 南から）

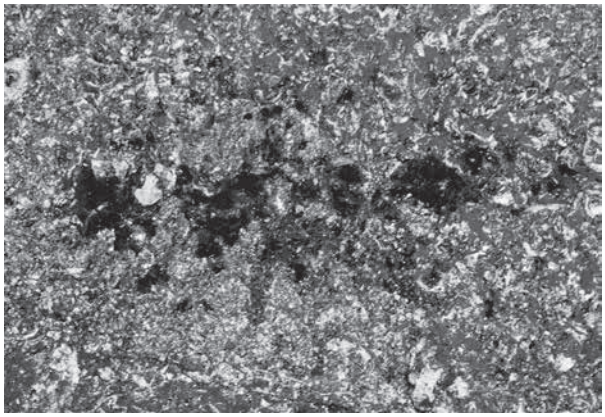
図版 89



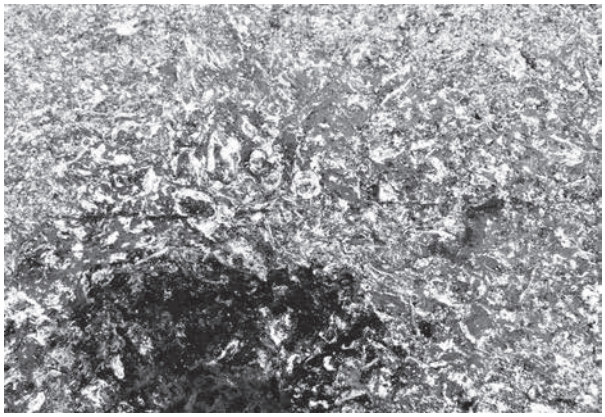
1　3 面 24 号遺構検出状況（B 区 東から）



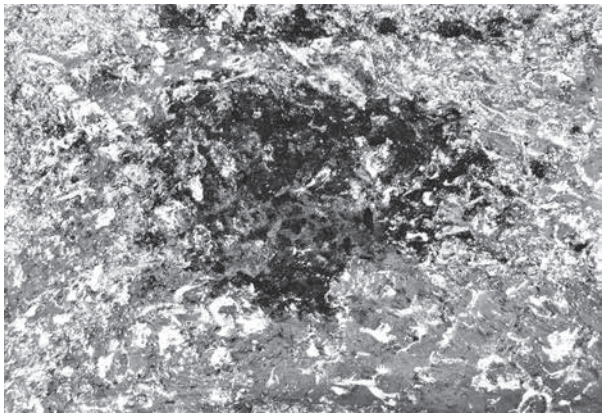
2　3 面 24 号遺構完掘状況（B 区 北から）



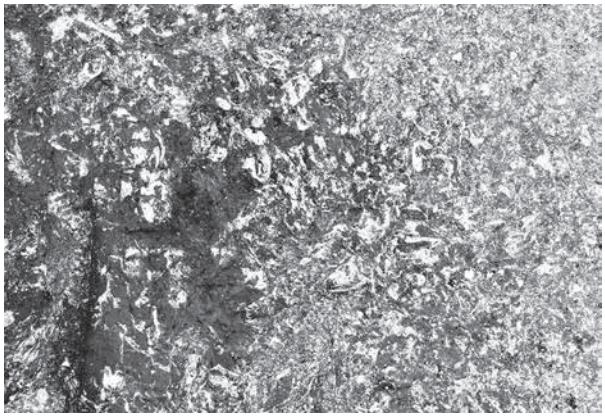
3　3 面 25a 号遺構検出状況（B 区 南から）



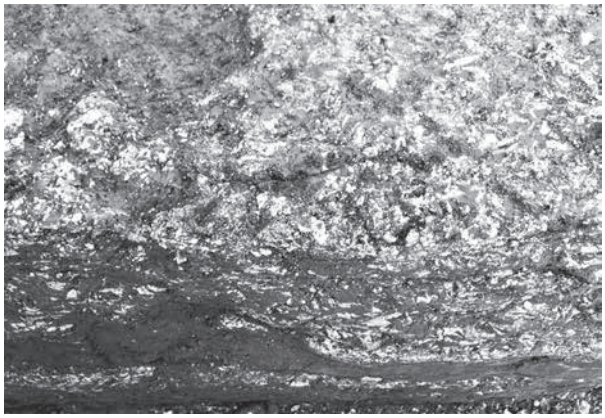
4　3 面 25a 号遺構完掘状況（B 区 南から）



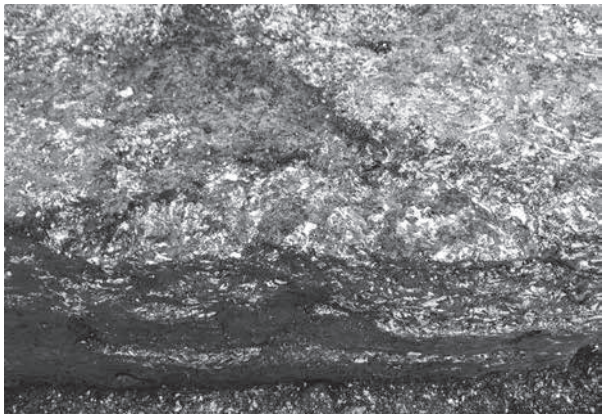
5　3 面 25b 号遺構検出状況（B 区 南から）



6　3 面 25b 号遺構完掘状況（B 区 東から）

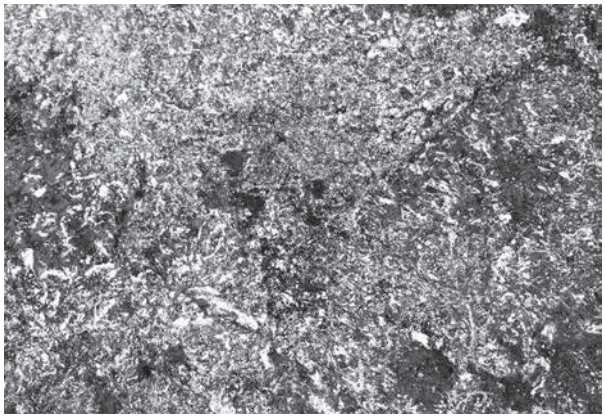


7　3 面 26 号遺構検出状況（B 区 東から）

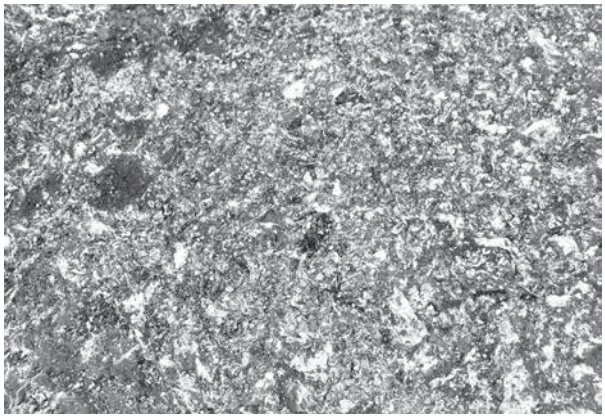


8　3 面 26 号遺構完掘状況（B 区 東から）

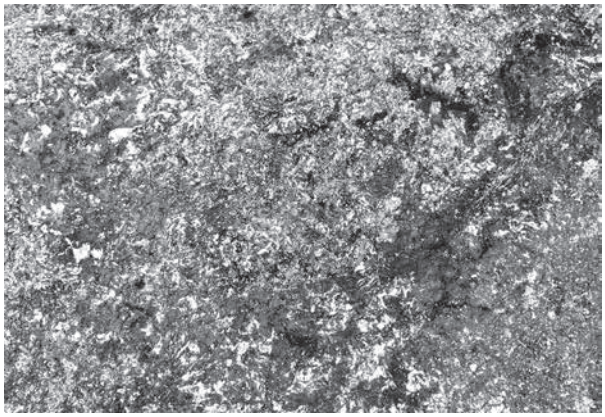
図版 90



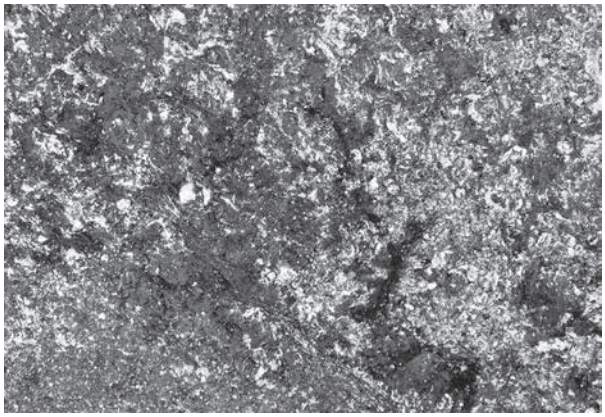
1　3 面 27 号遺構検出状況（B 区 南から）



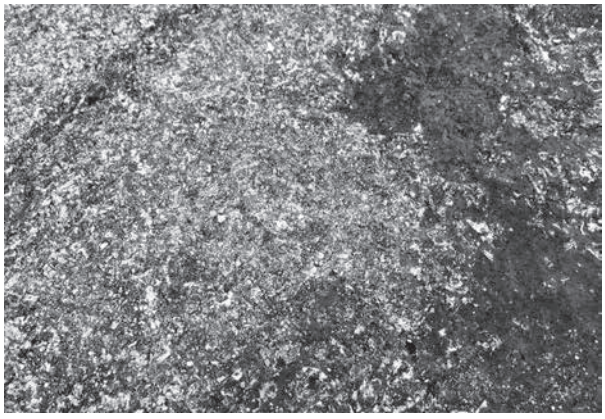
2　3 面 27 号遺構完掘状況（B 区 東から）



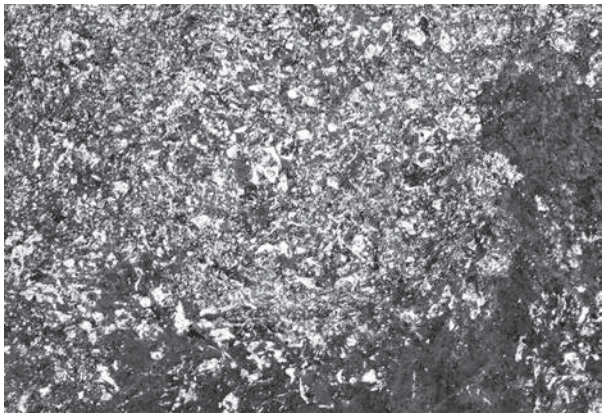
3　3 面 28 号遺構検出状況（B 区 南から）



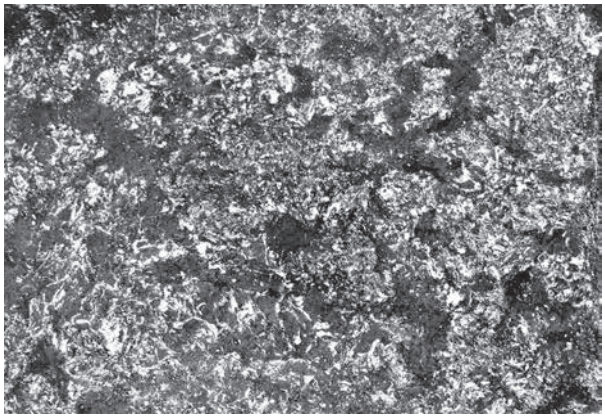
4　3 面 28 号遺構完掘状況（B 区 南から）



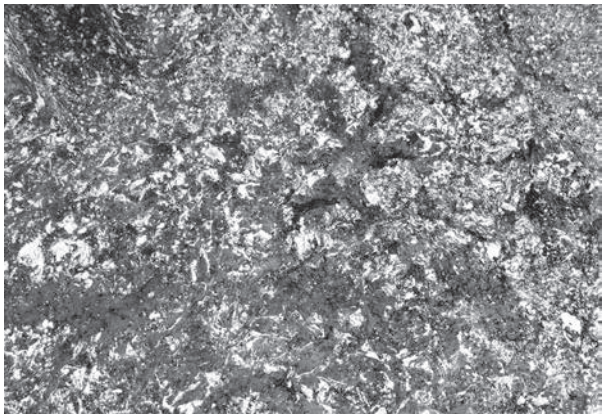
5　3 面 29 号遺構検出状況（B 区 南から）



6　3 面 29 号遺構完掘状況（B 区 南から）

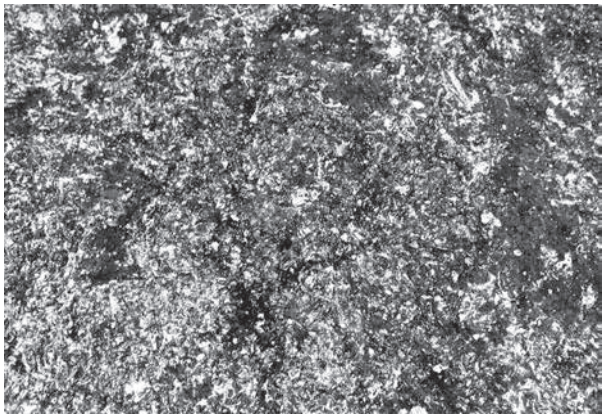


7　3 面 30 号遺構検出状況（B 区 南から）

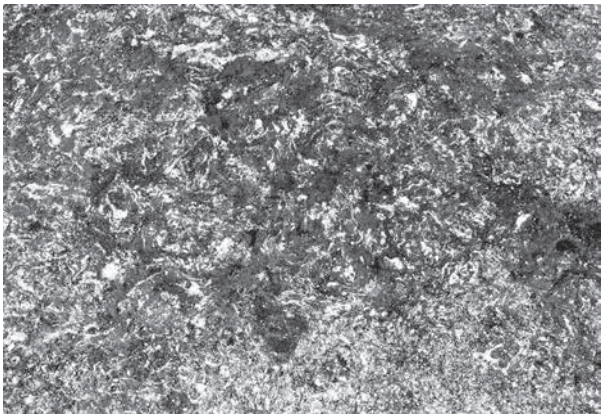


8　3 面 30 号遺構完掘状況（B 区 南から）

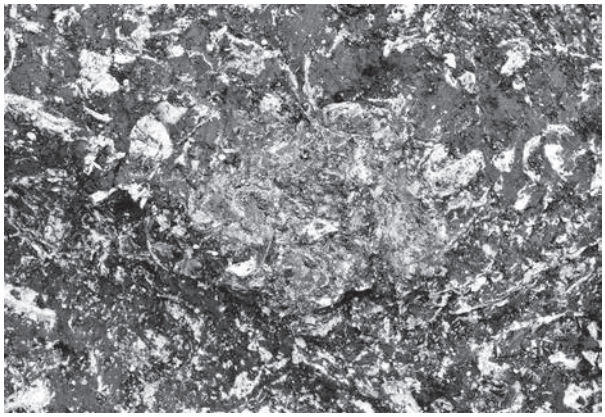
図版 91



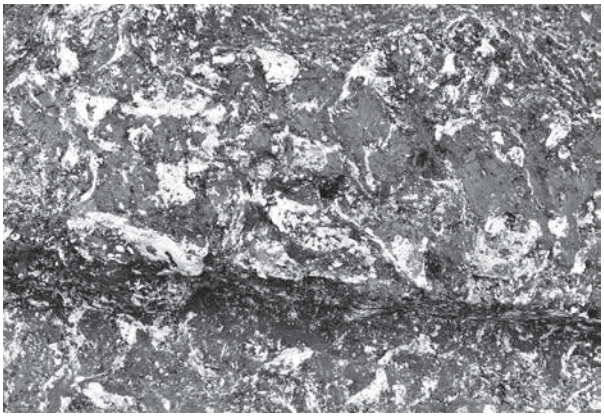
1　3 面 31 号遺構検出状況（B 区 西から）



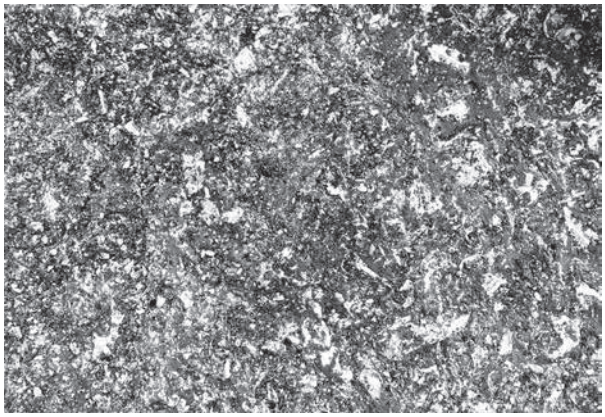
2　3 面 31 号遺構完掘状況（B 区 北から）



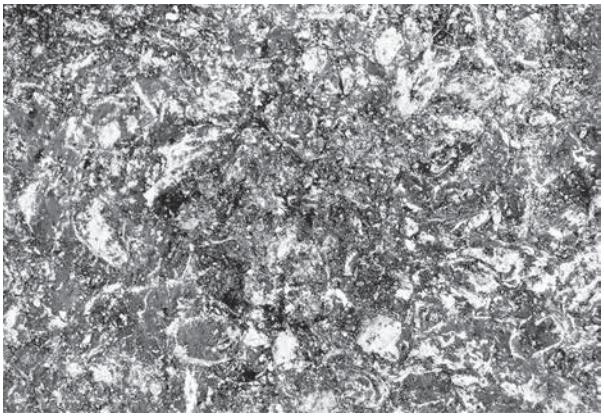
3　3 面 32 号遺構検出状況（B 区 東から）



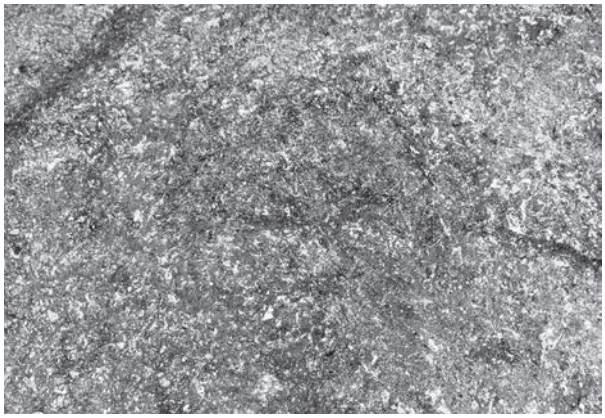
4　3 面 32 号遺構完掘状況（B 区 東から）



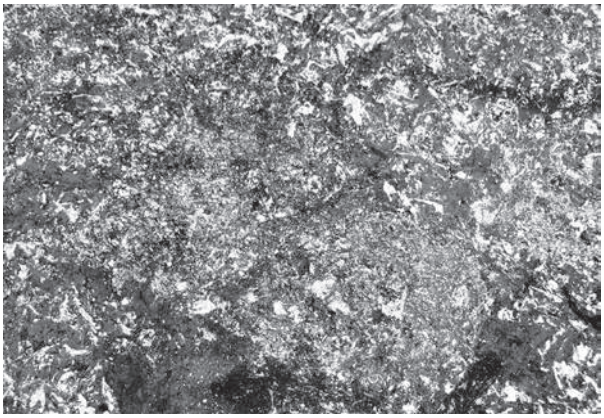
5　3 面 33 号遺構検出状況（B 区 東から）



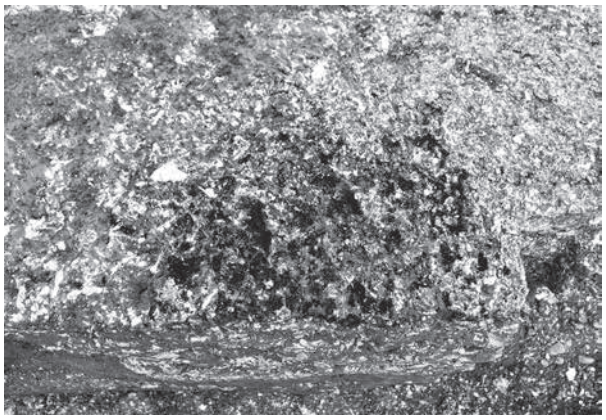
6　3 面 34 号遺構検出状況（B 区 西から）



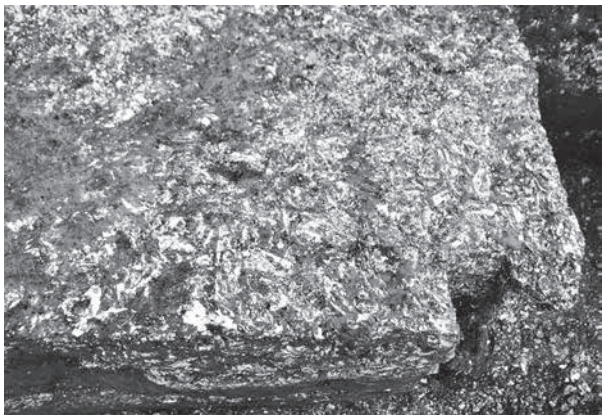
7　3 面 35 号遺構検出状況（B 区 南から）



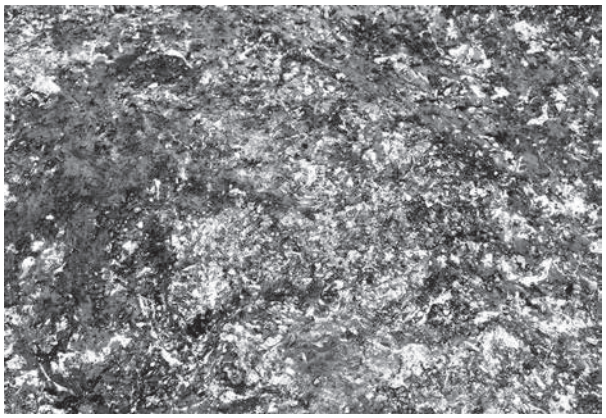
8　3 面 36a・b 号遺構検出状況（B 区 北から）



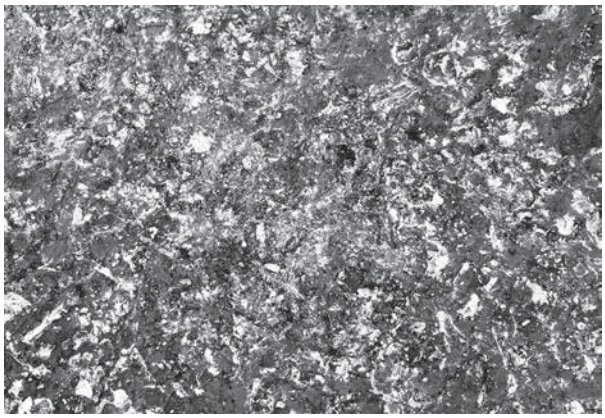
1　3 面 37 号遺構検出状況（B 区 南東から）



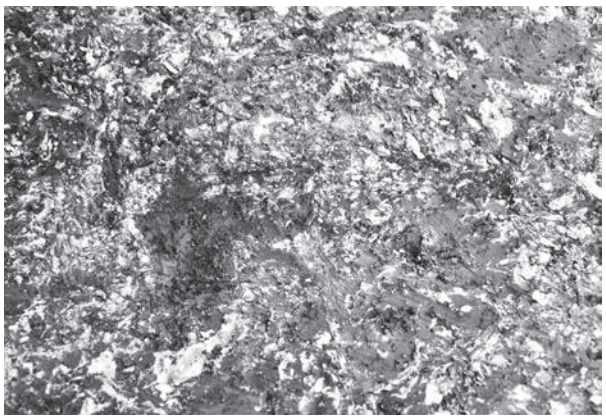
2　3 面 37 号遺構完掘状況（B 区 南東から）



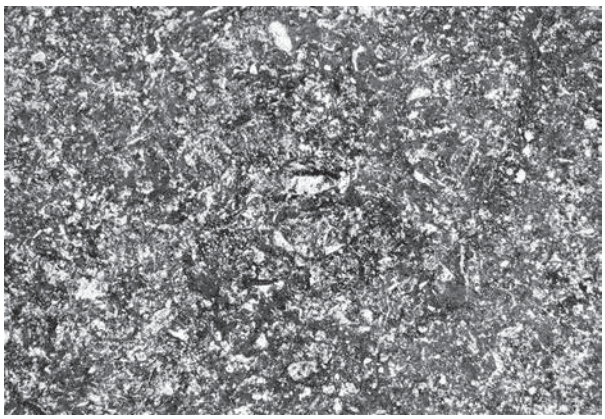
3　3 面 38 号遺構検出状況（B 区 東から）



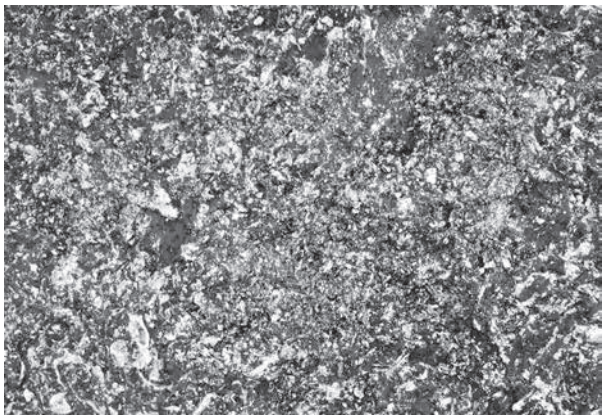
4　3 面 39 号遺構検出状況（B 区 西から）



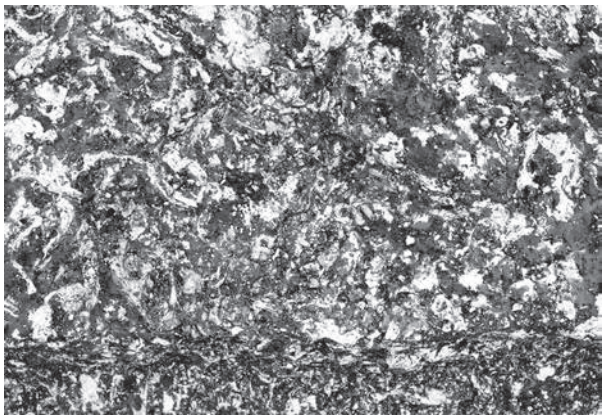
5　3 面 40 号遺構検出・土層堆積状況（B 区 東から）



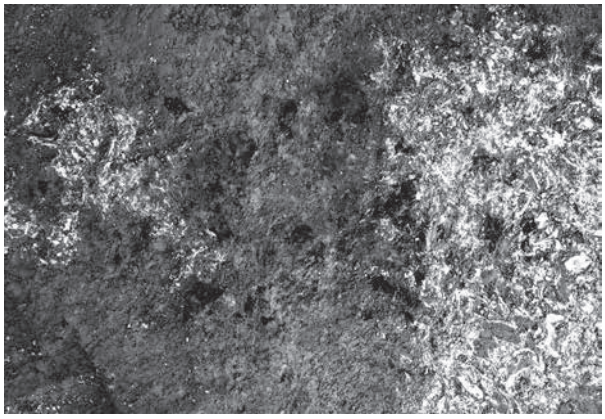
6　3 面 41 号遺構検出状況（B 区 北から）



7　3 面 42 号遺構検出状況（B 区 北から）

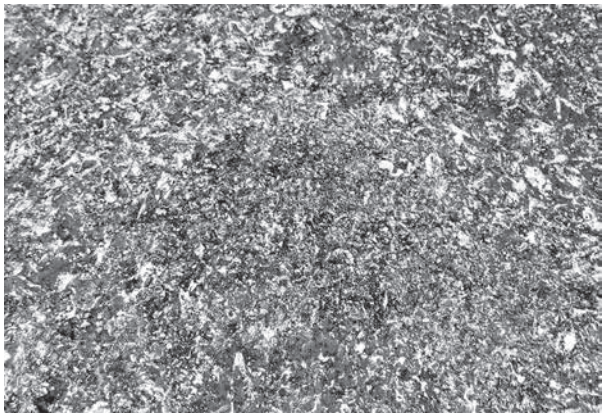


8　3 面 43 号遺構完掘状況（B 区 北から）

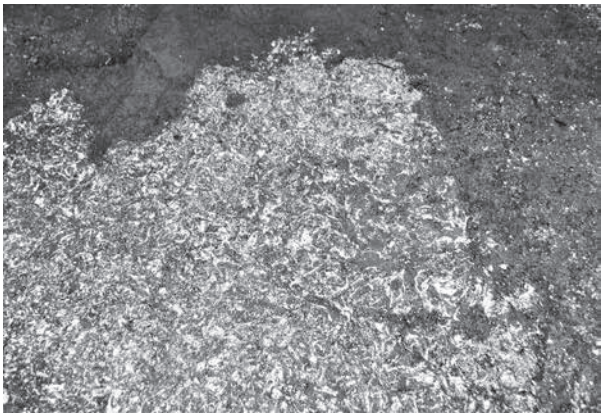


1　3 面 44 号遺構検出状況（B 区 北東から）

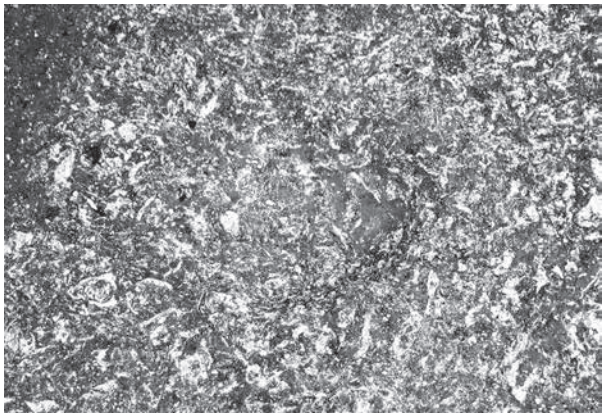
2　3 面 44 号遺構完掘状況（B 区 北東から）



3　3 面 45 号遺構検出状況（B 区 北西から）



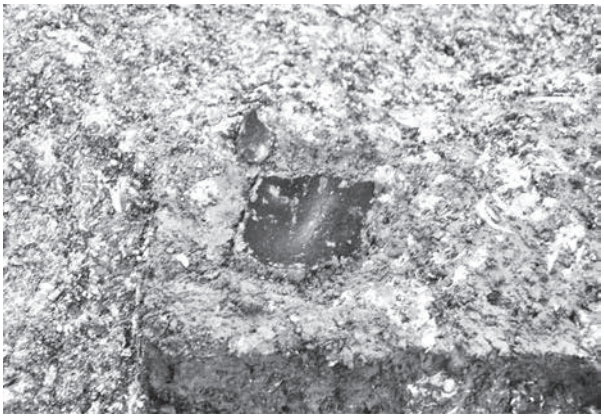
4　3 面 45 号遺構完掘状況（B 区 北から）



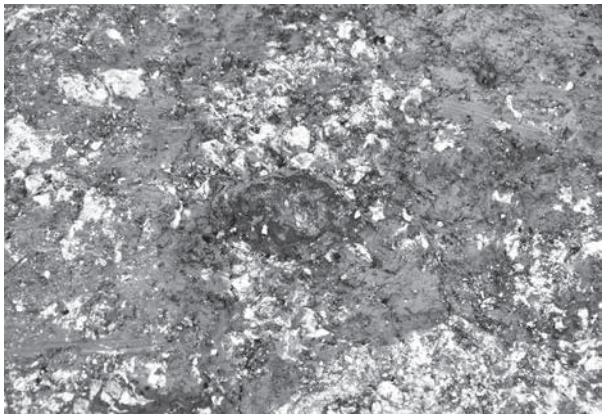
5　3 面 46 号遺構完掘状況（B 区 東から）

6　3 面 18 層土器出土状況（B 区 東から）

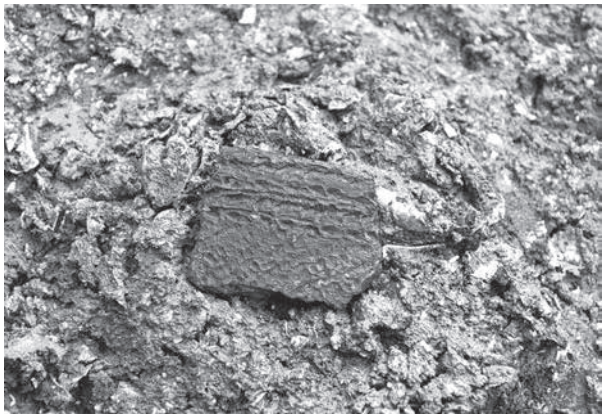
7　3 面 19 層土器出土状況（B 区 東から）



8　3 面 19 層土器出土状況（B 区 東から）

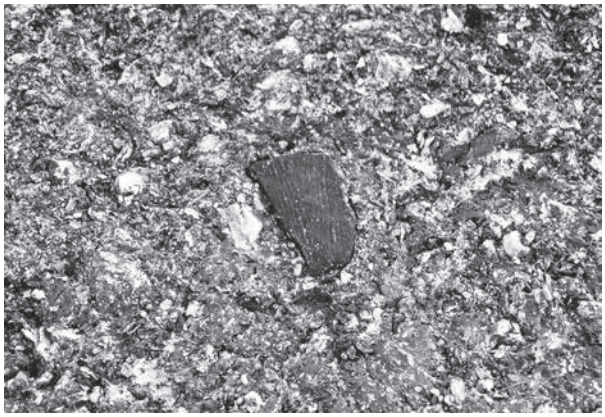


1　3 面 20 層土器出土状況（B 区 東から）



2　3 面 25 層土器出土状況（A 区 南から）

3　3 面 25 層土器出土状況（A 区 西から）

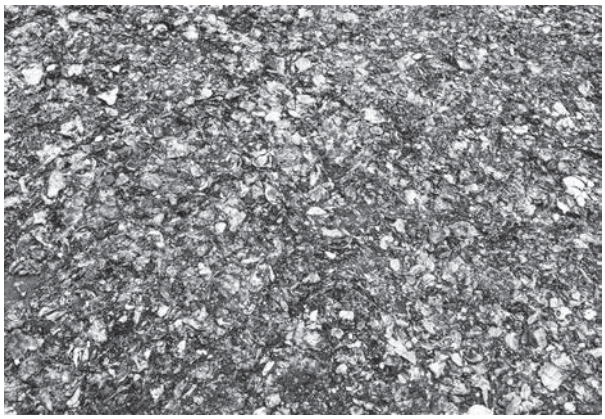


4　3 面 18 層土器片錘出土状況（B 区 北から）

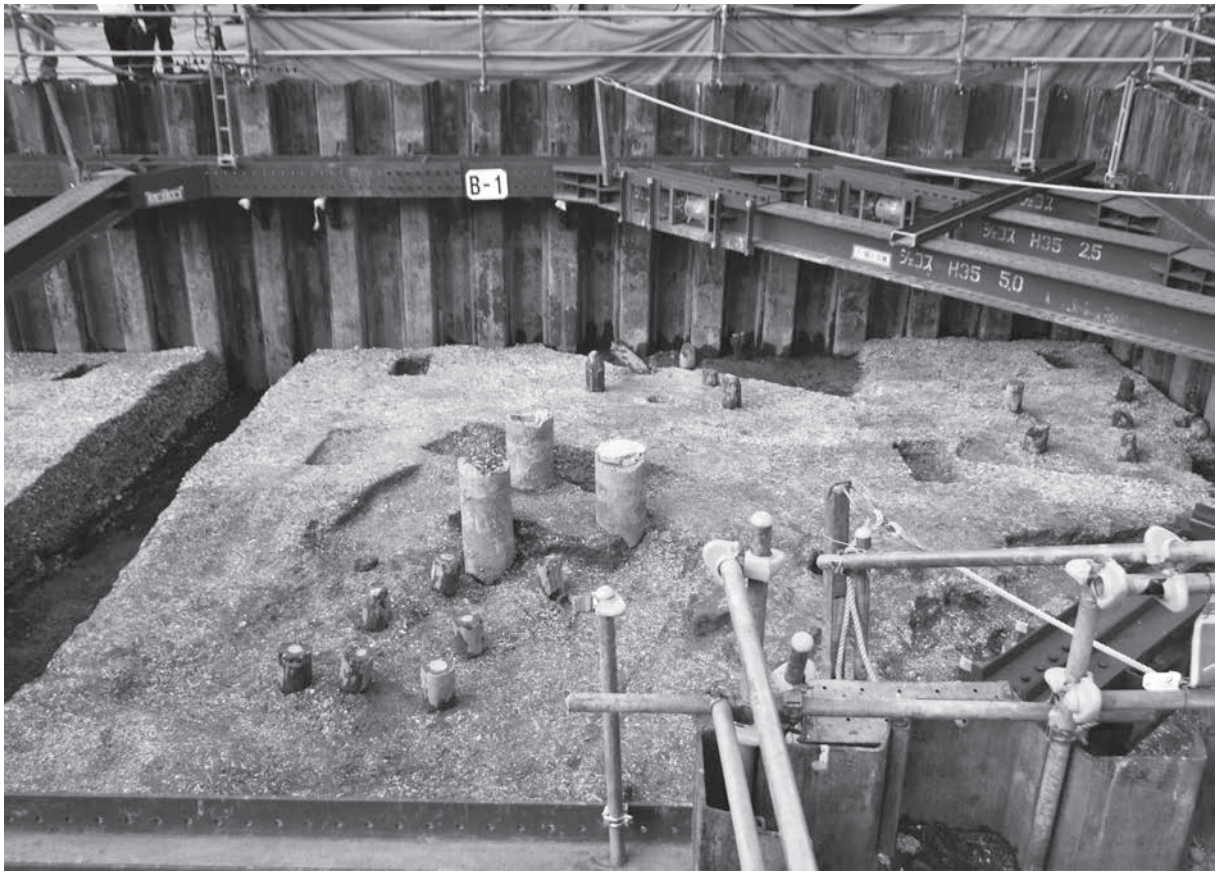
5　3 面 23 層土器片錘出土状況（A 区 北から）

6　3 面 25 層出土打製石斧（B 区 南から）

7　3 面 破砕・還元貝層（23 層）検出状況（A 区 北東から）



8　3 面 破砕・還元貝層（23 層）接写（A 区 北から）

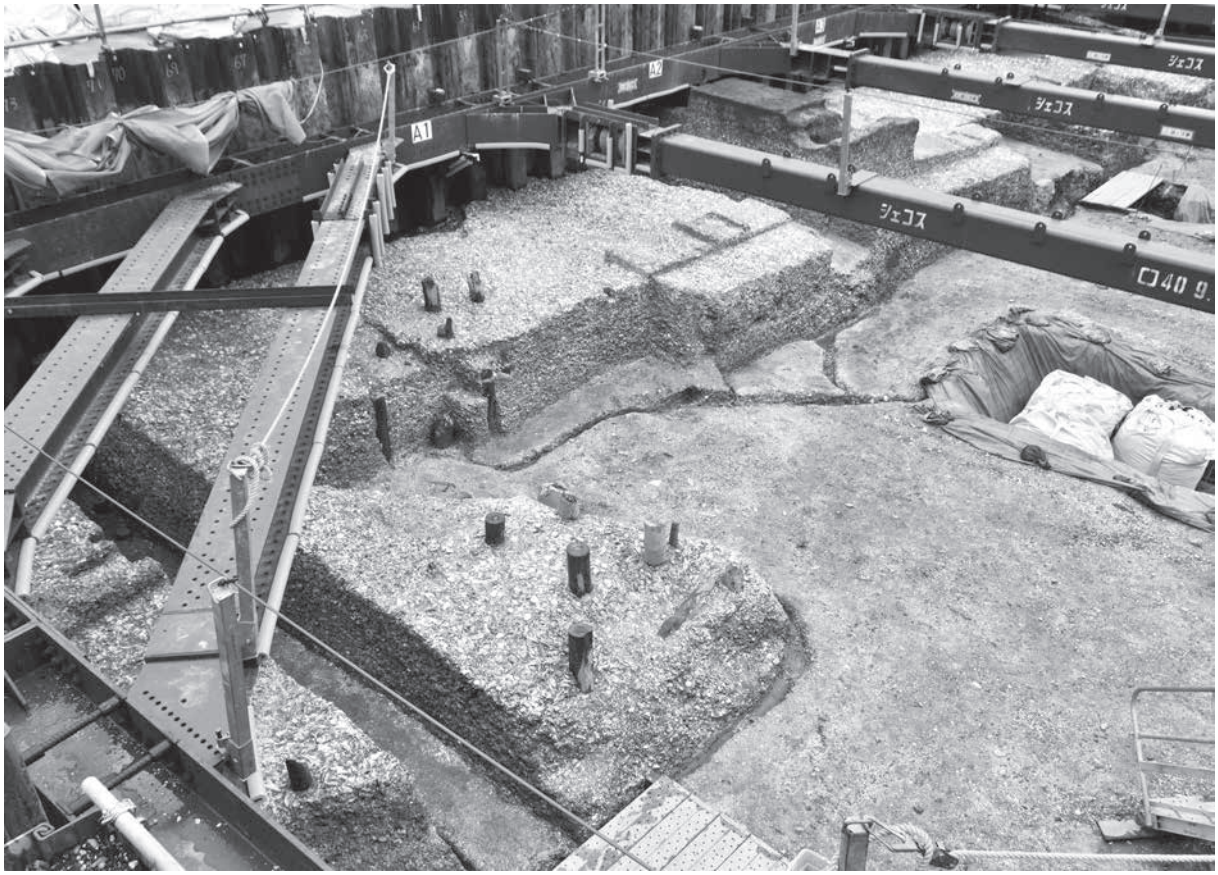


1　3 面 B 区東側全景（B 区 南から）

2　3 面 B 区中央全景（B 区 南から）

1　3 面 B 区 Sec.3 付近全景（B 区 南から）

2　3 面 B 区西側全景（B 区 南から）



1　3 面 A 区全景（A 区 北東から）

2　3 面 A 区全景（A 区 北西から）

1　3-4 面掘削中 Sec.2（A2トレンチ）南側貝層堆積状況（ A 区 東から）

2　3-4 面掘削中 Sec.2（A2トレンチ）南側貝層堆積状況（A 区 北東から）

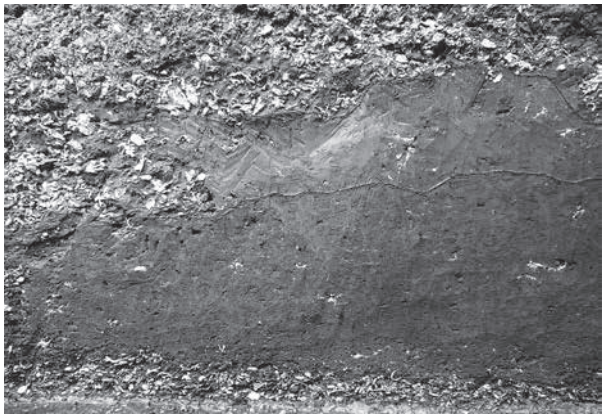
1　3–4 面掘削中 Sec.2（A2トレンチ）南側貝層堆積状況（A 区 北東調査区上から）

2　4 面 Sec.1（A1トレンチ）北側貝層堆積状況（A 区 北西から）

3　4 面 Sec.2（A2トレンチ）南側貝層堆積状況（A 区北東から）

4　4 面 Sec.2（A2トレンチ）北側貝層堆積状況（A 区 南東から）

5　4 面 自然貝層検出状況（A 区 北から）



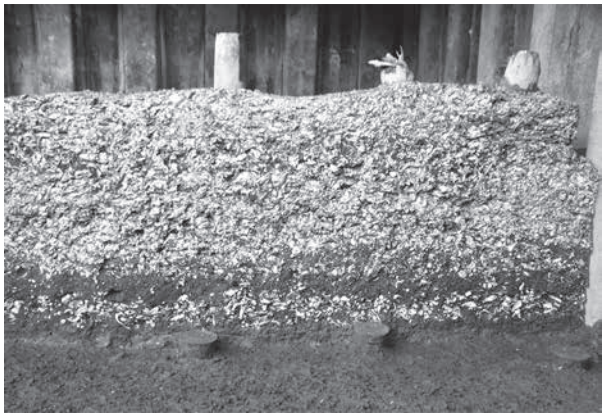
1　4 面 Sec.4（A5 トレンチ）北側シルト質土堆積状況（東から）

2　3–4 面 Sec.9（B2・B3 ﾄﾚﾝﾁ）貝層堆積状況その 1（北から）

3　3–4 面 Sec.9（B2・B3 ﾄﾚﾝﾁ）貝層堆積状況その 2（北から）

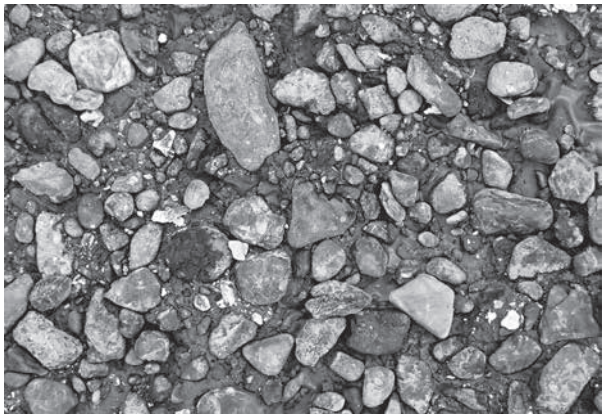
4　3–4 面 Sec.9（B1 トレンチ）貝層堆積状況その 1（北から）

5　3–4 面 Sec.9（B1 トレンチ）貝層堆積状況その 2（北から）



6　3–4 面 Sec.9（B1 トレンチ）貝層堆積状況その 3（北から）

7　4 面 砂礫層検出状況（B 区 北から）



8　4 面 砂礫層検出状況接写（B 区 北から）

1　4 面 杭 1 半裁状況（B 区 西から）

2　4 面 杭 2 半裁状況（B 区 西から）

3　4 面 杭 4・5 半裁状況（B 区 西から）

4　4 面 杭 4 半裁状況（B 区 西から）

5　4 面 杭 5 半裁状況（B 区 西から）

6　4 面 杭 6 半裁状況（B 区 西から）

7　4 面 杭 7 半裁状況（B 区 西から）

8　4 面 杭 8 半裁状況（B 区 西から）

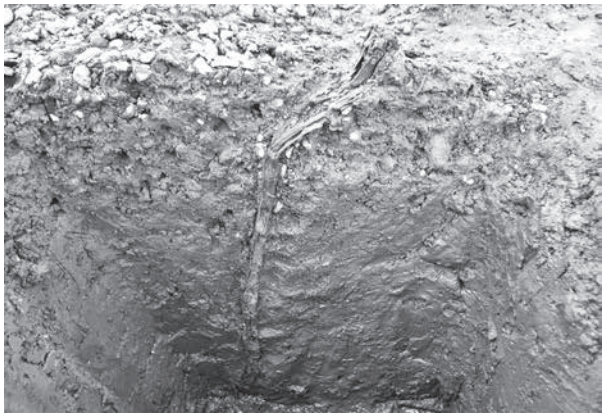
1　4 面 杭 9・10 半裁状況（B 区 南から）

2　4 面 杭 9 上部半裁状況（B 区 東から）

3　4 面 杭 9 下部半裁状況（B 区 西から）

4　4 面 杭 10 半裁状況（B 区 西から）

5　4 面 杭 11 半裁状況（B 区 東から）



6　4 面 杭 12 半裁状況（B 区 東から）

7　4 面 杭 13 半裁状況（B 区 東から）

8　4 面 杭 14 半裁状況（B 区 西から）

1　4 面 杭 15 半裁状況（B 区 東から）

2　4 面 杭 16 半裁状況（B 区 西から）

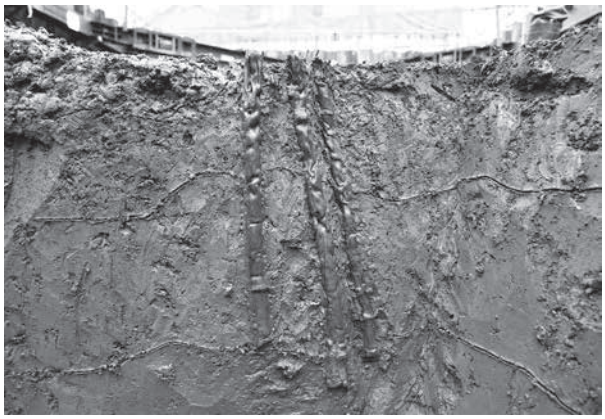
3　4 面 杭 17 半裁状況（B 区 東から）

4　4 面 杭 18 半裁状況（B 区 東から）

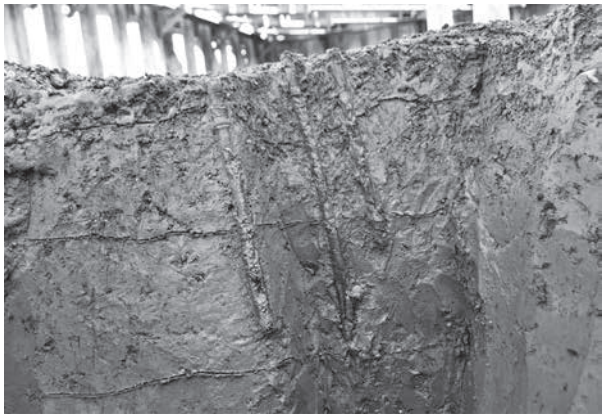
5　4 面 杭 19 半裁状況（B 区 東から）

6　4 面 杭 20 半裁状況（B 区 西から）

7　4 面 杭 21 半裁状況（B 区 西から）



8　4 面 杭 22 ～ 24 半裁状況（B 区 西から）

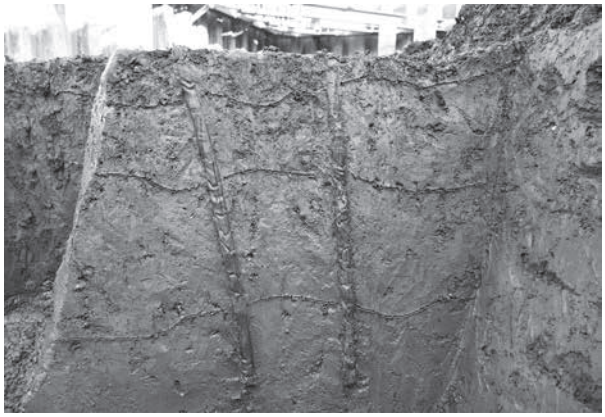


1　4 面 杭 25 ～ 27 半裁状況（B 区 西から）

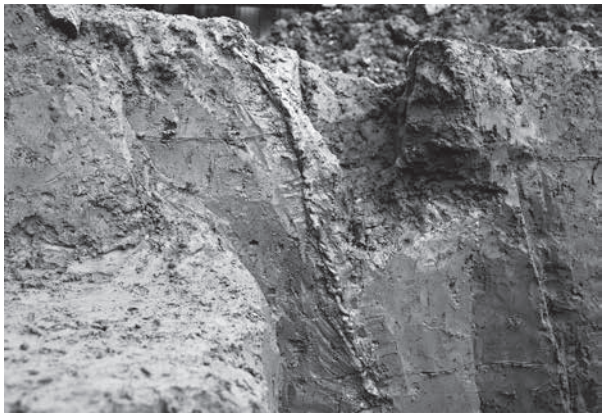
2　4 面 杭 28・29 半裁状況（B 区 南から）

3　4 面 杭 29 ～ 32 半裁状況（B 区 西から）

4　4 面 杭 33 半裁状況（B 区 西から）



5　4 面 杭 34・35 半裁状況（B 区 西から）



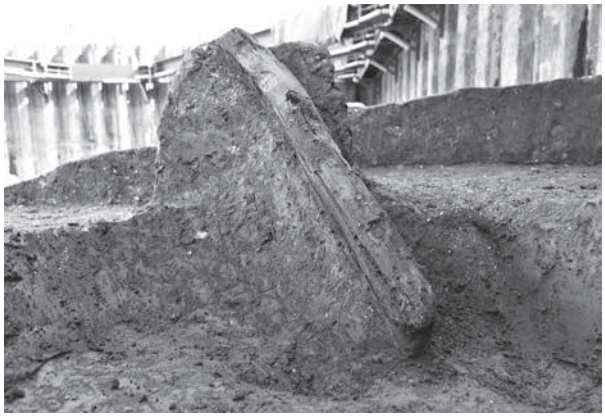
6　4 面 杭 36 半裁状況（B 区 西から）

7　4 面 杭 37 半裁状況（A 区 北から）

8　4 面 杭 39 上部半裁状況（A 区 西から）

1　4 面 杭 39 下部半裁状況（A 区 西から）

2　4 面 杭 40 半裁状況（A 区 東から）



3　4 面 杭 41 半裁状況（A 区 西から）

4　4 面 324 号遺構西側完掘状況その 1（A 区 北東から）

5　4 面 324 号遺構西側完掘状況その 2（A 区 東から）

6　4 面 324 号遺構東側完掘状況（A 区 北西から）

7　4 面 324 号遺構土層堆積状況（A 区 西から）

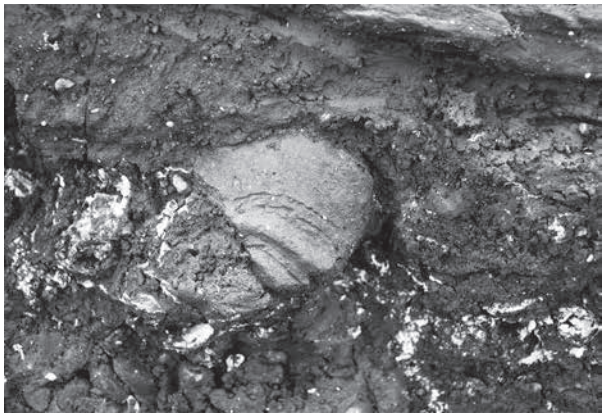
8　4 面 324 号遺構木材出土状況その 1（A 区 西から）

図版 106

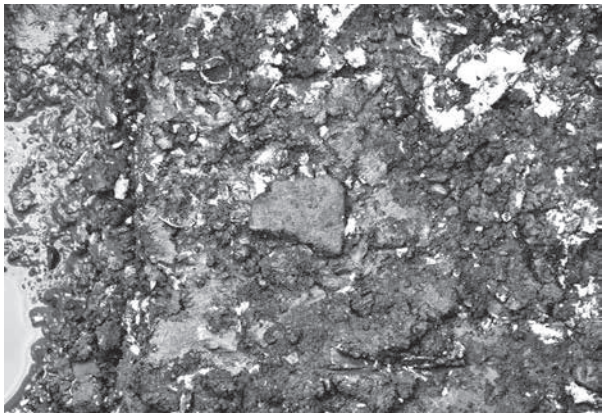
1　4 面 324 号遺構木材出土状況その 2（A 区 東から）

2　4 面 324 号遺構土器片錘出土状況（A 区 南から）

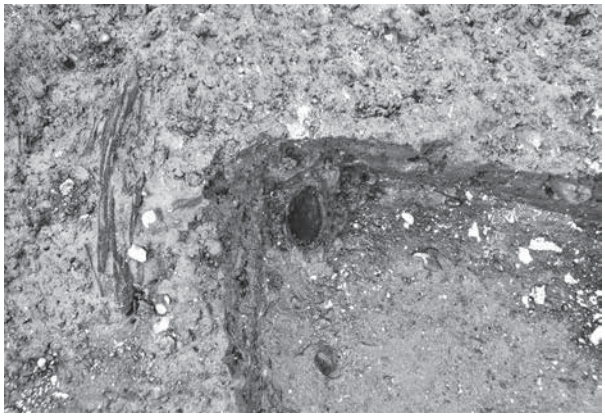
3　4 面 28 層土器出土状況その 1（B 区 西から）



4　4 面 28 層土器出土状況その 2（B 区 南から）



5　4 面 28 層土器出土状況その 3（B 区 北から）



6　4 面 30 層土器出土状況その 1（B 区 東から）

7　4 面 30 層土器出土状況その 2（B 区 東から）

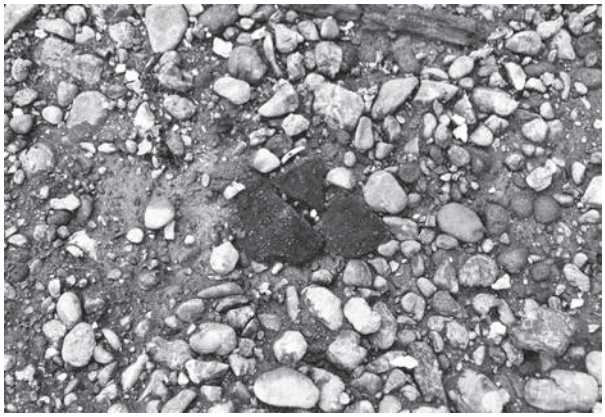
8　4 面 34 層土器出土状況（A 区 南から）

図版 107

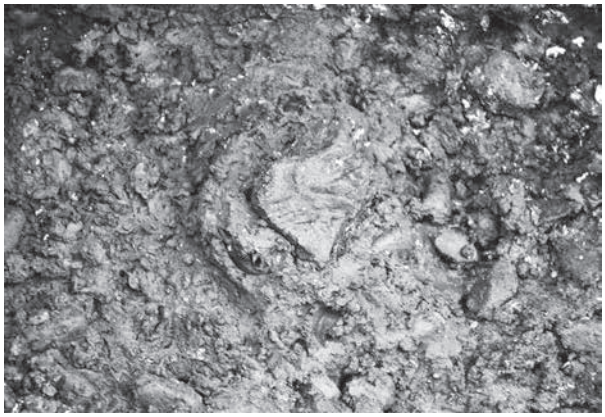
1　4 面 38 層土器出土状況その 1（B 区 北から）

2　4 面 38 層土器出土状況その 2（B 区 北から）

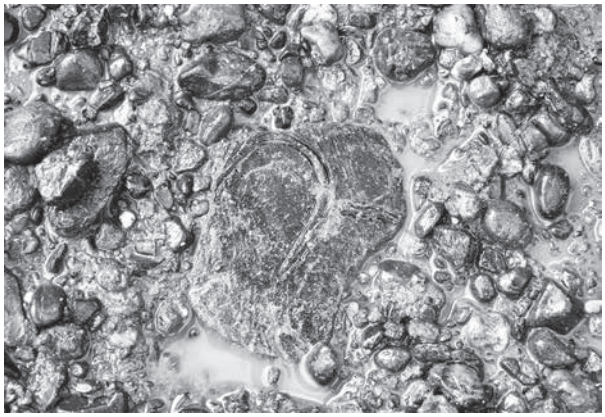
3　4 面 38 層土器出土状況その 3（B 区 北から）



4　4 面 38 層土器出土状況その 4（B 区 南から）



5　4 面 38 層土器出土状況その 5（B 区 北から）

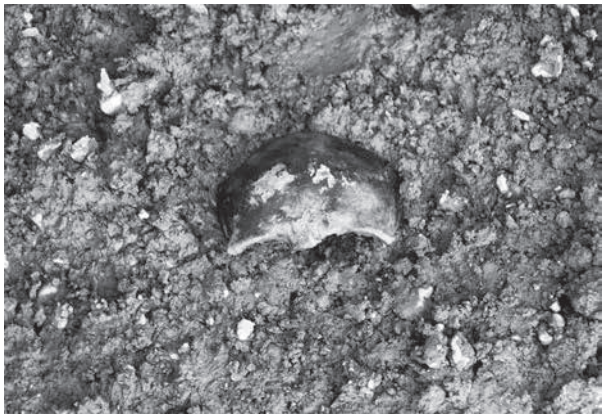


6　4 面 38 層土器出土状況その 6（B 区 北から）

7　4 面 28 層土器片錘出土状況（B 区 東から）

8　4 面 30 層乳棒状石製品出土状況（B 区 西から）

1　4 面 35 層台石出土状況（A 区 西から）



2　4 面 38 層前頭骨出土状況（B 区 南から）

3　4 面 40 層大腿骨出土状況（A 区 南から）

4　4 面 38 層獣骨出土状況その 1（B 区 南から）

5　4 面 38 層獣骨出土状況その 2（B 区 南から）

6　4 面 35 層杭出土状況（A 区 東から）

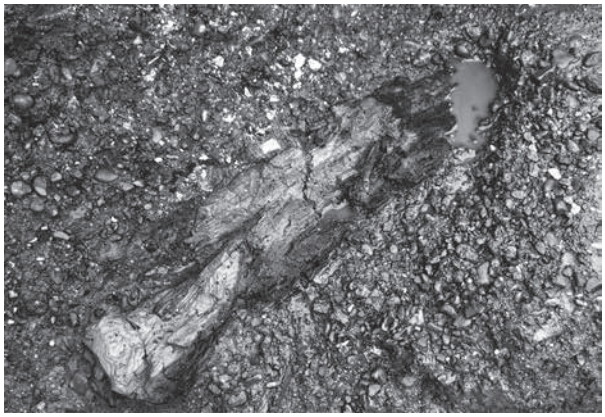
7　4 面 28 層大形材出土状況（B 区 北から）

8　B 区 30 層大形材出土状況（B 区 北から）

図版 109

1　4 面 30 層材出土状況（B 区 南から）

2　4 面 35 層材出土状況（A 区 西から）

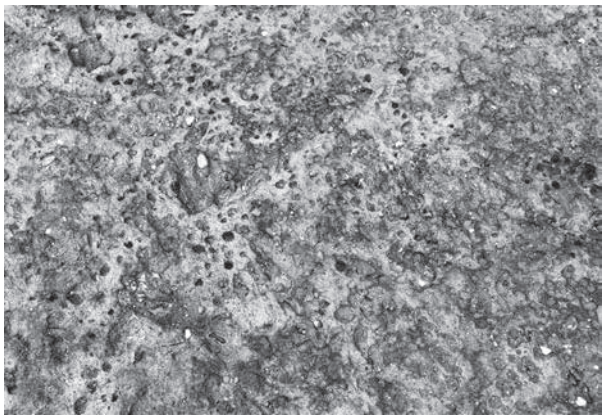


3　4 面 38 層材出土状況（B 区 南から）

4　4 面 40 層材出土状況（A 区 北西から）

5　4 面 40 層材出土状況（B 区 西から）

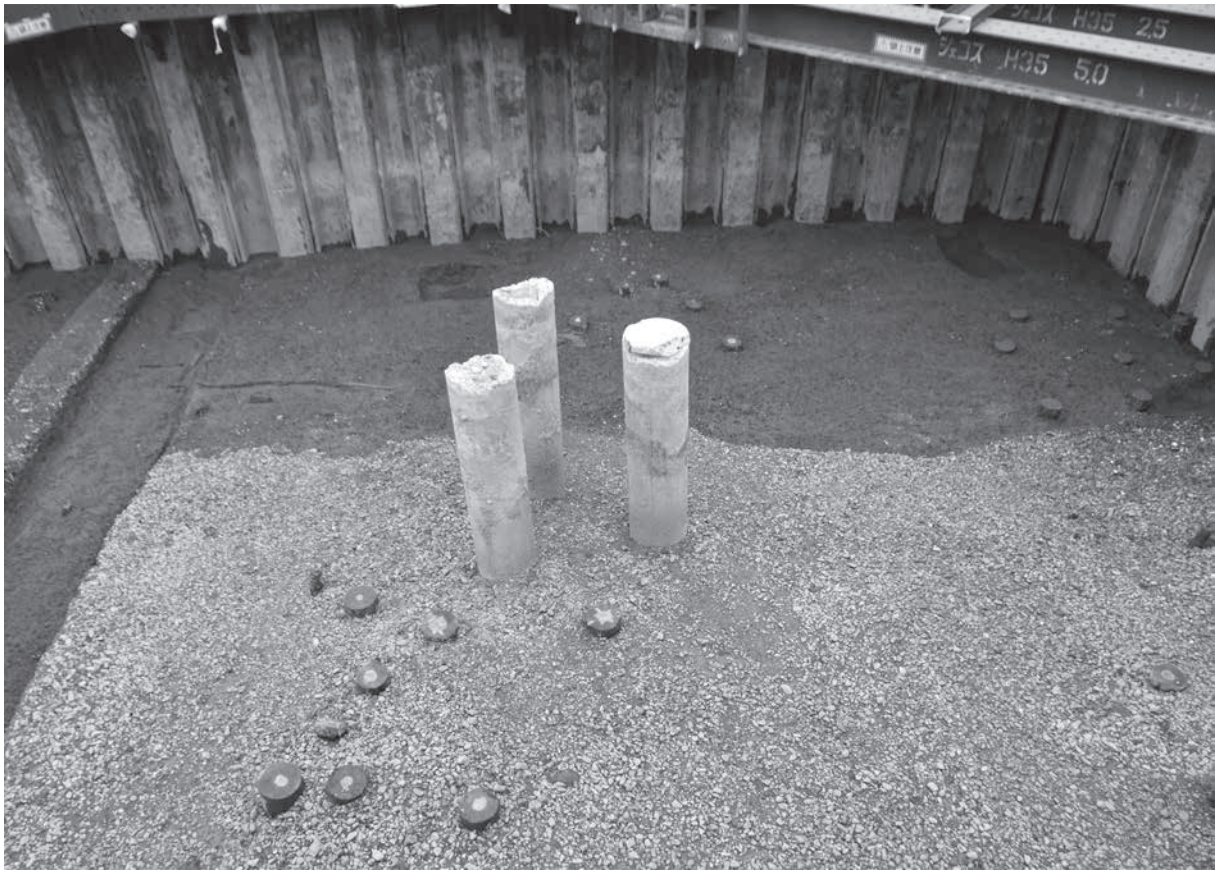
6　4 面下総層群上泉層(東京層)直上材出土状況(A 区 西から)



7　4 面 下総層群上泉層（東京層）生痕化石（A 区 東から）

8　下総層群上泉層（東京層）深掘堆積状況（A 区 東から）

1　4 面 B 区全景（B 区 南東から）

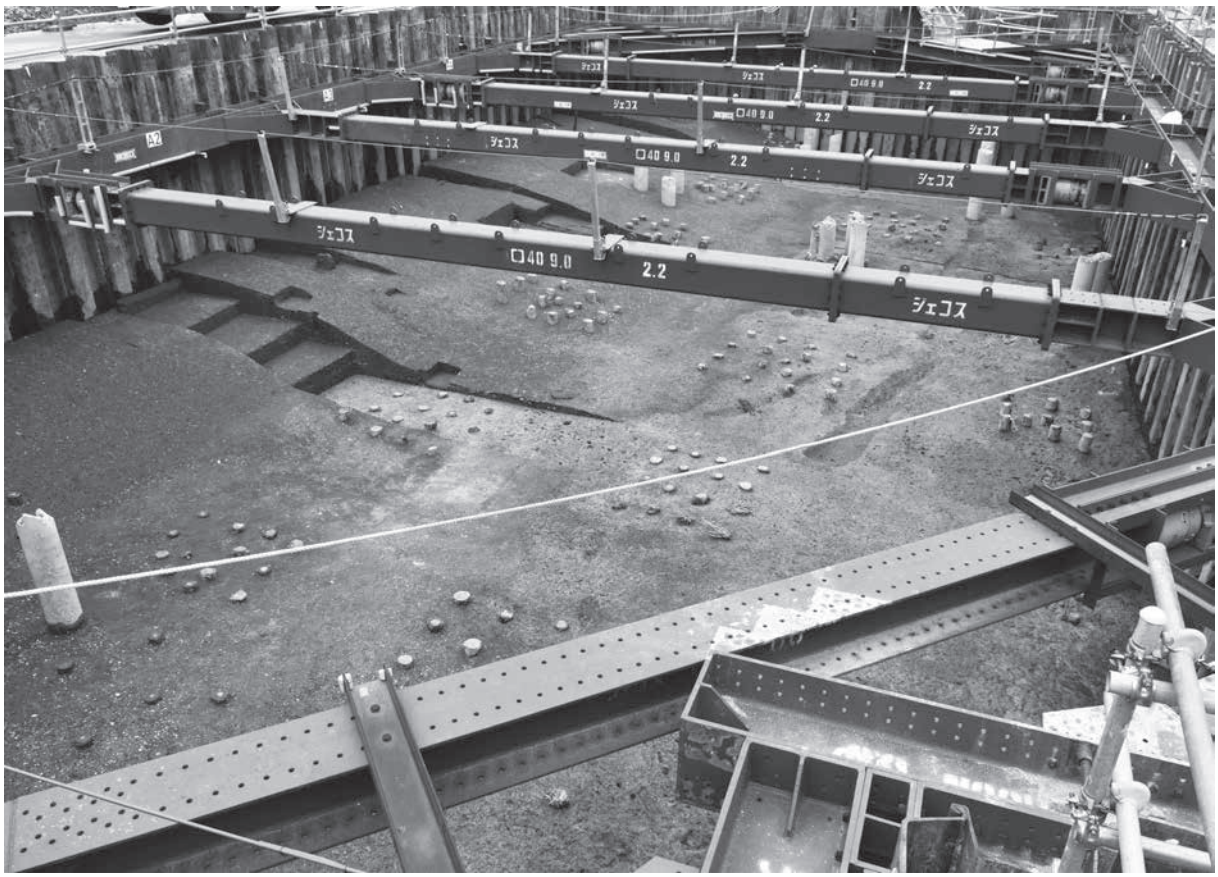


2　4 面 B 区東側全景（B 区 南から）

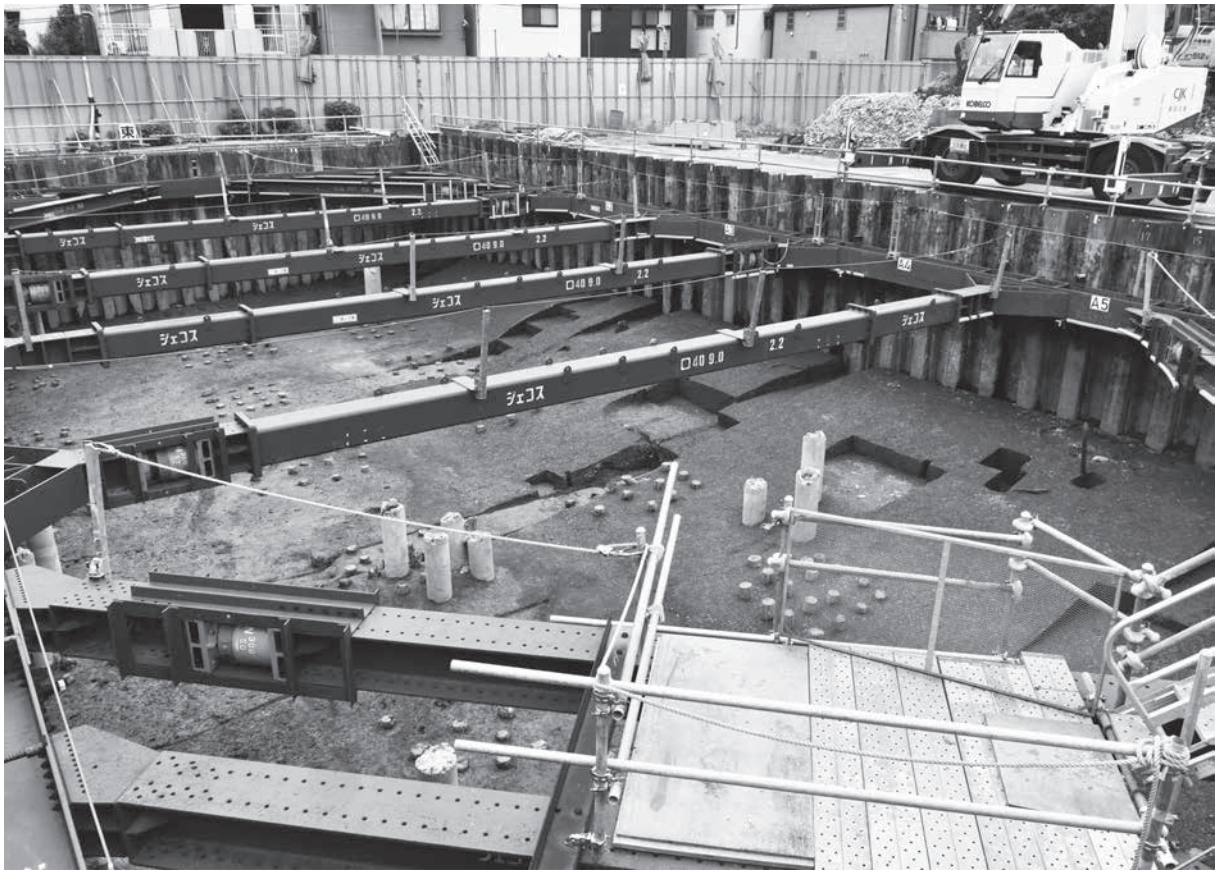
図版 111

1　4 面 B 区中央全景（B 区 南から）

2　4 面 B 区西側全景（B 区 南から）

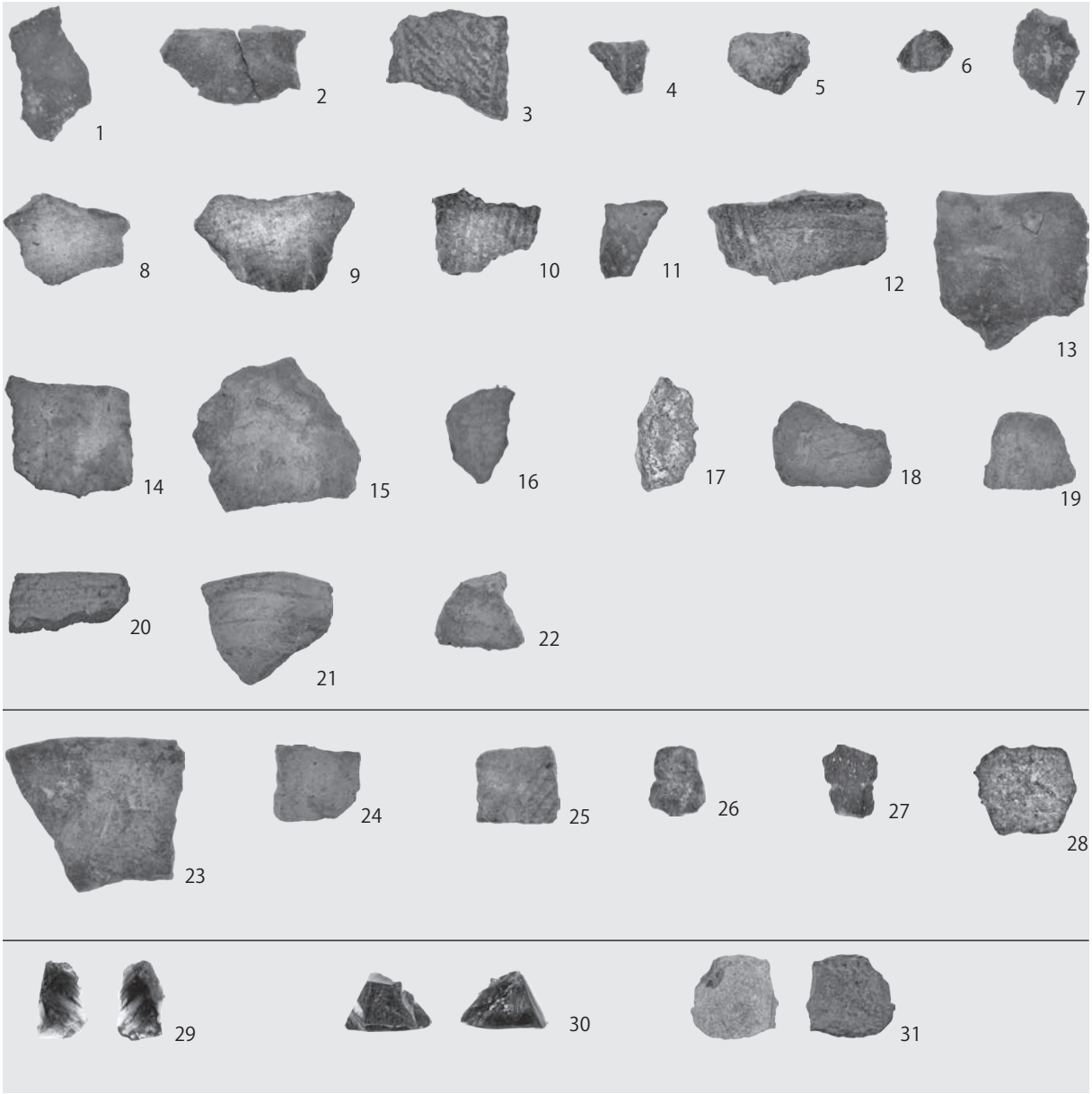


1　4 面 A 区全景（A 区 北東から）

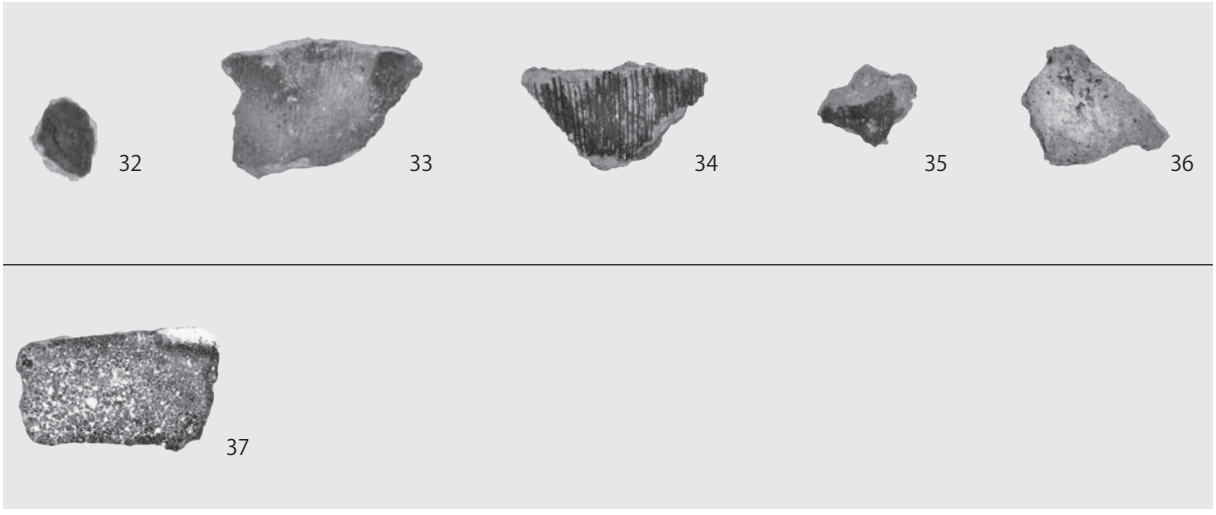


2　4 面 A 区全景（A 区 北西から）

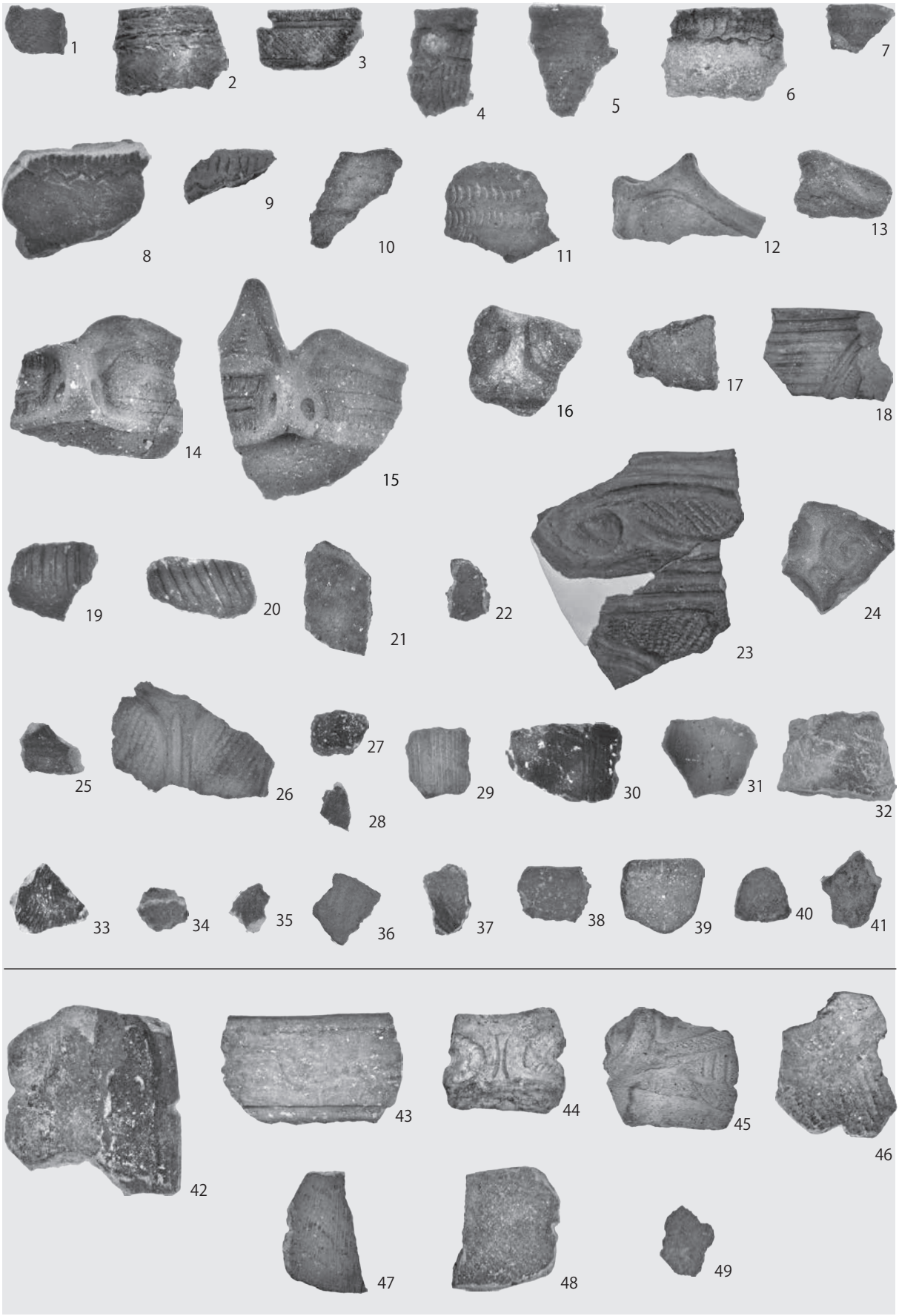
図版 113



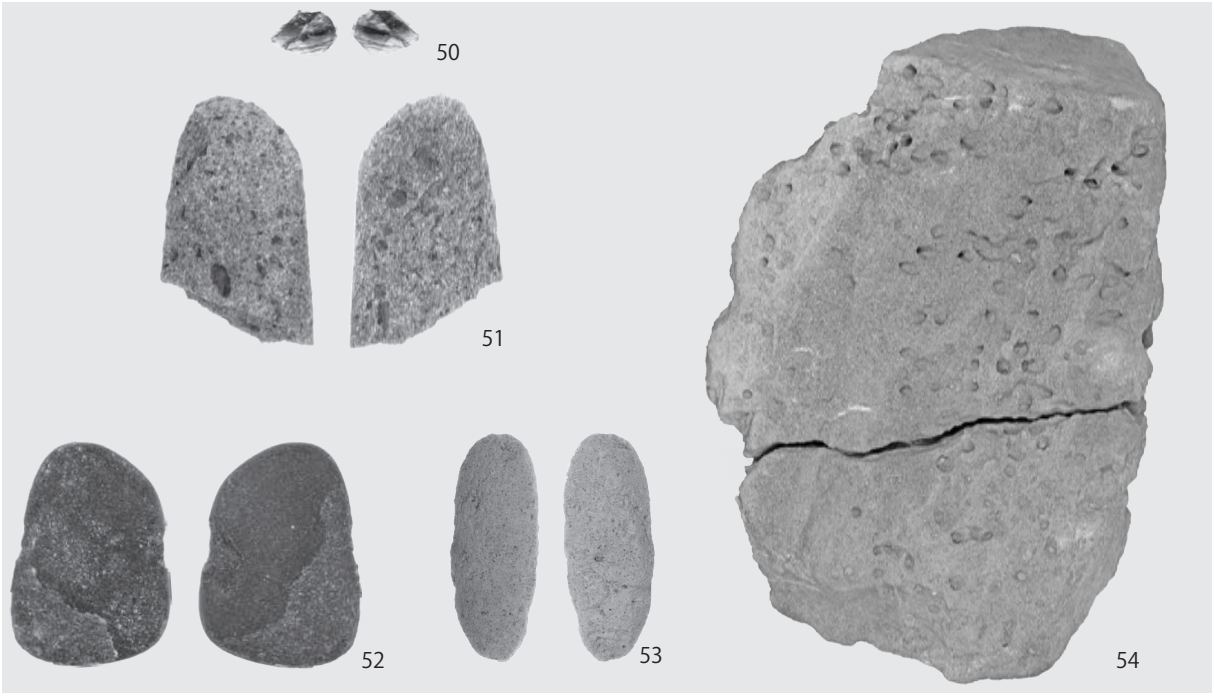
1　1 面出土遺物



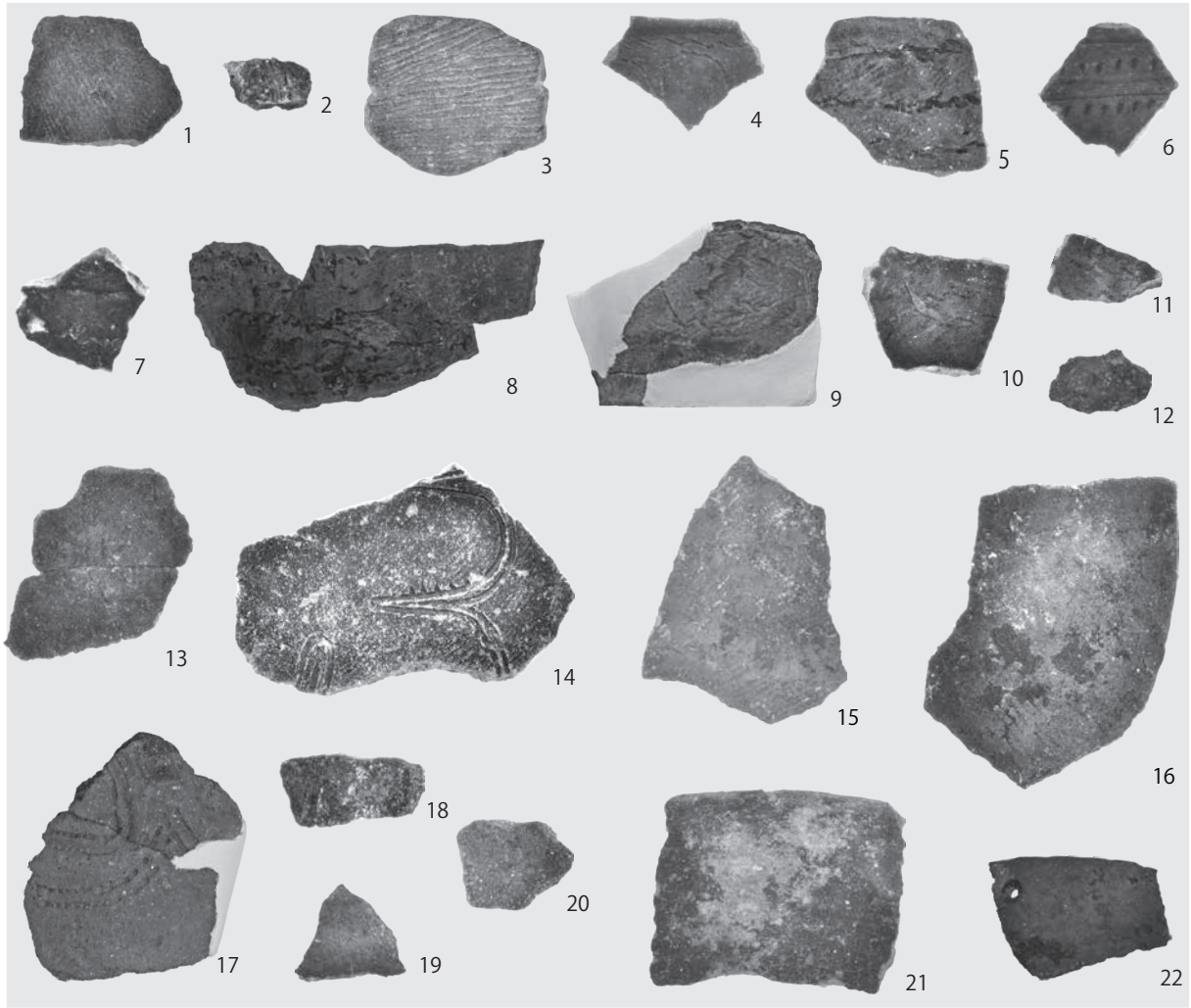
2　2 面出土遺物


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49

1　3 面出土遺物（1）



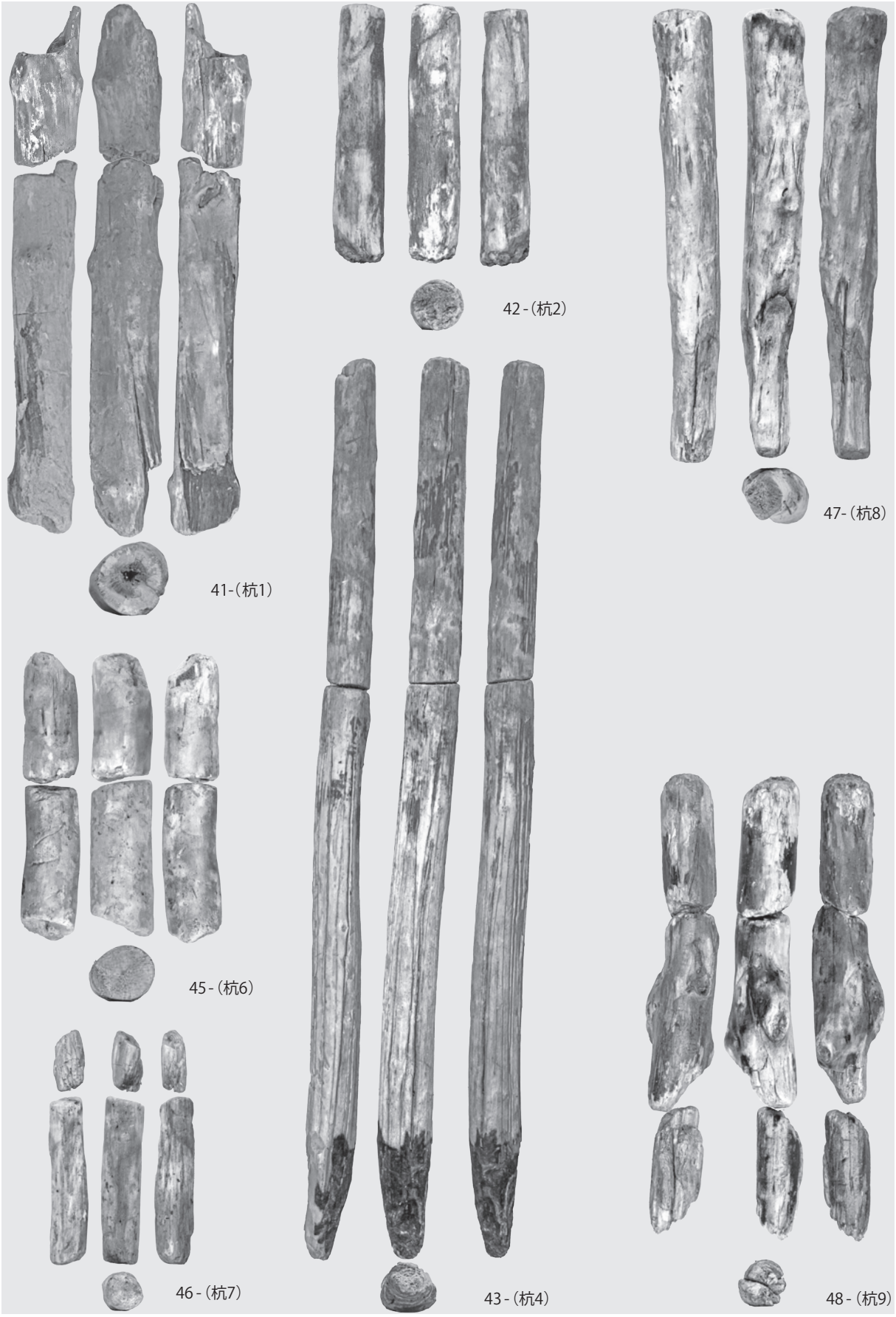
1　3 面出土遺物（2）



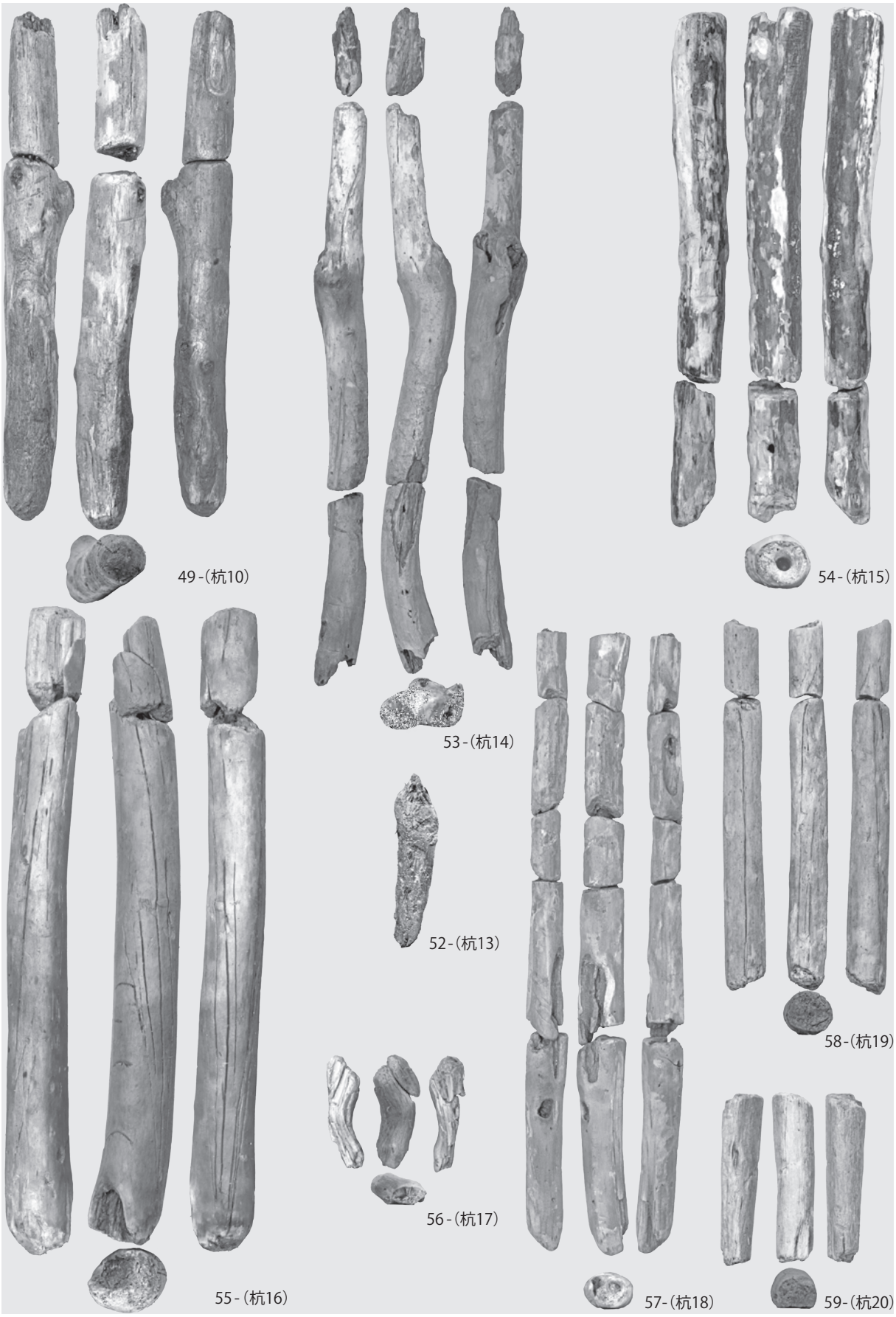
2　4 面出土遺物（1）

図版 116

1　4 面出土遺物（2）



1　4 面出土遺物（3）

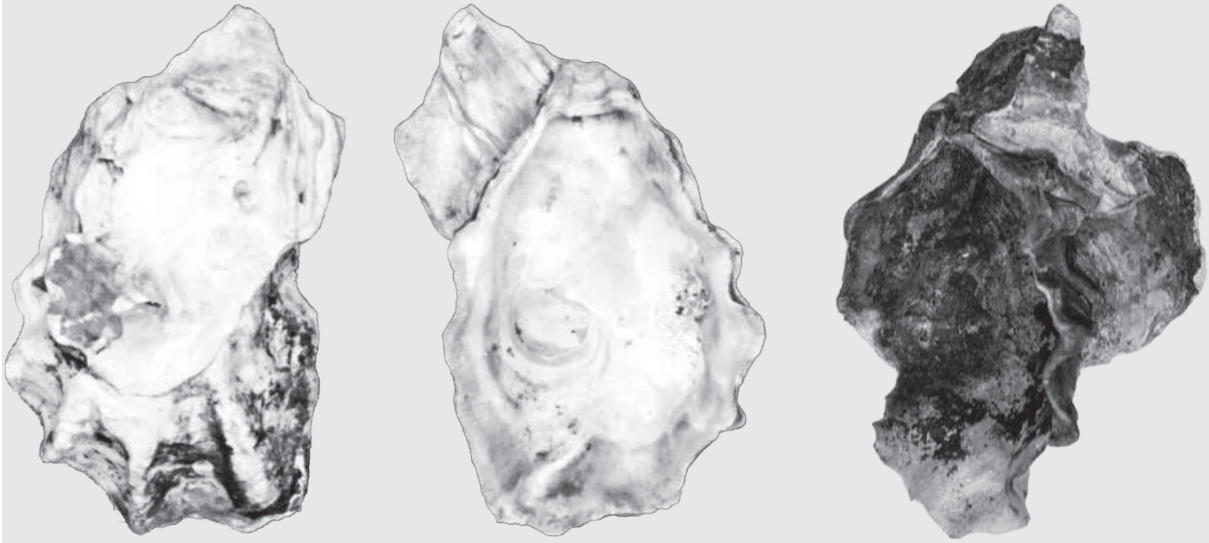


1　4 面出土遺物（4）

図版 119

1　4 面出土遺物（5）

図版 120



1-（マガキ同士が付着したマガキ）

2-（被熱をしているマガキ）

3-（マガキが付着したハイガイ）

4-（アサリの文様が残るマガキ）

1　一括出土遺物

報 告 書 抄 録

ふりがな	さかえちょうかいづか
書名	栄町貝塚
副書名	北区栄町付近石神井川流域貯留池工事に伴う埋蔵文化財調査
巻次	
シリーズ名	東京都埋蔵文化財センター調査報告
シリーズ番号	第375集
編著者名	鈴木啓介 中島一成 牛山英昭 赤堀岳人 井上智仁 斎藤崇人 馬場健司 松元美由紀 鈴木伸哉 植月 学 黒住耐二 梶ケ山真里 米田 穣 尾嵜 真 大森貴之 伊藤 茂 加藤和浩 廣田正史 佐藤正教 山形秀樹 Zaur Lomtatidze 黒沼保子 柴田 徹
編集機関	公益財団法人東京都スポーツ文化事業団　東京都埋蔵文化財センター
所在地	〒206-0033　東京都多摩市落合一丁目14番2　　TEL 042-374-8044
発行年月日	西暦　2023年　3月　31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
さかえちょうかいづか 栄町貝塚	とうきょうときたくさかえちょう 東京都北区栄町 ばん 5番	13117	51	35° 44′ 54″	139° 44′ 42″	20200316 ～ 20211217	955㎡	北区栄町付近石神井川流域貯留池工事に伴う埋蔵文化財調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
栄町貝塚	貝塚	縄文	焚き火址354基 灰層廃土遺構1基 集石1基 杭39基 溝1基 ピット2基	土器・土製品・打製石斧・磨石・凹石・台石・乳棒状石製品・木製品	縄文時代中期～後期初頭にかけての貝塚で、焚き火址が354基と非常に多く検出された。また貝層形成以前に打ち込まれたと思われる木杭・竹杭が合計39基検出されている。貝層はマガキ・ハマグリが中心だが、ヤマトシジミ主体の貝層も発見されている。貝層全体の層厚は検出された最大厚で約2.4m、推定最大厚で約3.6mを測り、近接する中里貝塚に比肩する低地の貝塚である。
		古代		須恵器	
		中世		陶器	
		近世以降		陶磁器	

要約	本報告は、北区栄町付近石神井川流域貯留池工事に伴う埋蔵文化財調査で、栄町貝塚は国指定史跡中里貝塚に近接する貝塚である。貝層は調査区南側から北側に向かって地形の傾斜とともに層厚が増していき、標高3.5～3.9m前後で検出され始めた貝層は、最深部では0.2m前後まで堆積が看取された。貝層を構成する貝種はマガキ・ハマグリが中心で、一部ヤマトシジミ主体の貝層が検出されている。遺構は焚き火址とした灰・炭化物・焼けた破砕貝を覆土に含むものが非常に多く認められ、貝の採取、加工場としての機能が想定される。 また調査区南側貝層下からは、旧海岸線と思われる礫浜状の砂礫層が検出され、この層上から人間の前頭骨が出土し、さらに旧海岸線汀線付近では木や竹を用いた杭が検出されている。

印刷仕様

表紙	レザック	215kg（四六判）
見返し	上質紙	86.5kg（A 判）
本文	マットコート紙	57.5kg（A 判）
写真図版	マットコート紙	57.5kg（A 判）
印刷方式	オフセット印刷	
使用インク	ベジタブルインク	
製版線数	150 線（カラー 175 線）	

本書は永久保存を考慮し、すべて中性紙を使用

北区
栄町貝塚
－北区栄町付近石神井川流域貯留池工事に伴う埋蔵文化財調査－
東京都埋蔵文化財センター調査報告第 375 集

2023 年 3 月 31 日　発行

編集　（公財）東京都スポーツ文化事業団
発行　東京都埋蔵文化財センター
東京都多摩市落合一丁目 14 番２
TEL 042 - 374 - 8044

印刷　明誠企画株式会社
東京都武蔵村山市榎 2-25-5